

JP1 Version 8

# JP1/Automatic Job Management System 2 メッセージ

操作書

3020-3-K28-43

## マニュアルの購入方法

このマニュアル，および関連するマニュアルをご購入の際は，  
巻末の「ソフトウェアマニュアルのサービス ご案内」をご参  
照ください。

## 対象製品

適用 OS のバージョン , JP1/Automatic Job Management System 2 が前提とするサービスパックやパッチなどの詳細については , リリースノートで確認してください。

適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 ( x64 )

P-2412-3K84 JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager 08-50

適用 OS : Windows 2000 , Windows Server 2003 , Windows Server 2003 ( x64 )

P-2412-3384 JP1/Automatic Job Management System 2 - Agent 08-50

適用 OS : Windows XP Professional , Windows Server 2003 , Windows Server 2003 ( x64 )

P-2412-3484 JP1/Automatic Job Management System 2 - View 08-50

適用 OS : Windows XP Professional , Windows Server 2003 , Windows Server 2003 ( x64 )

P-242C-6L84 JP1/Base 08-50

適用 OS : Windows Server 2003 ( IPF )

P-2812-3K84 JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager 08-50

P-2812-3384 JP1/Automatic Job Management System 2 - Agent 08-50

P-282C-6L84 JP1/Base 08-50

適用 OS : Windows Server 2008

P-2A12-3K84 JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager 08-50

P-2A12-3384 JP1/Automatic Job Management System 2 - Agent 08-50

適用 OS : Windows Vista , Windows Server 2008

P-2A12-3484 JP1/Automatic Job Management System 2 - View 08-50

P-2A2C-6L84 JP1/Base 08-50

適用 OS : Windows Server 2008 ( IPF )

P-2D12-3K84 JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager 08-50

P-2D12-3384 JP1/Automatic Job Management System 2 - Agent 08-50

P-2D2C-6L84 JP1/Base 08-50

適用 OS : HP-UX ( PA-RISC )

P-1B12-2781 JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager 08-50

P-1B12-2981 JP1/Automatic Job Management System 2 - Agent 08-50

P-1B2C-6L81 JP1/Base 08-50

適用 OS : HP-UX ( IPF )

P-1J12-2781 JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager 08-50

P-1J12-2981 JP1/Automatic Job Management System 2 - Agent 08-50

P-1J2C-6L81 JP1/Base 08-50

適用 OS : Solaris

P-9312-2781 JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager 08-50

P-9312-2981 JP1/Automatic Job Management System 2 - Agent 08-50

P-9D2C-6L81 JP1/Base 08-50

適用 OS : AIX

P-1M12-2781 JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager 08-50

P-1M12-2981 JP1/Automatic Job Management System 2 - Agent 08-50

P-1M2C-6L81 JP1/Base 08-50

適用 OS : Linux 5 ( x86 ) , Linux AS 4 ( x86 ) , Linux ES 4 ( x86 ) , Linux 5 ( AMD64 & Intel EM64T ) , Linux AS 4 ( AMD64 & Intel EM64T ) , Linux ES 4 ( AMD64 & Intel EM64T )

P-9S12-3781 JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager 08-50

P-9S12-3981 JP1/Automatic Job Management System 2 - Agent 08-50

P-9S2C-7L81 JP1/Base 08-50

適用 OS : Linux 5 ( IPF ) , Linux AS 4 ( IPF )

P-9V12-2781 JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager 08-50

P-9V12-2981 JP1/Automatic Job Management System 2 - Agent 08-50

P-9V2C-6L81 JP1/Base 08-50

## 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

## 商標類

400 は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

Active Directory は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe は、Adobe Systems Incorporated ( アドビシステムズ社 ) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

AIX は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

AS/400 は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

CONNECT : Queue は、米国での Sterling Commerce, Inc. の登録商標です。

GIF は、米国 CompuServe Inc. が開発したフォーマットの名称です。

HP NonStop Server は、ヒューレット・パカード社の商標です。

HP-UX は、米国 Hewlett-Packard Company のオペレーティングシステムの名称です。

INS-C は、日本電信電話 ( 株 ) のサービス名称です。

INS-P は、日本電信電話 ( 株 ) のサービス名称です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Itanium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Lotus Notes は、IBM Corporation の登録商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Excel は、米国 Microsoft Corp. の商品名称です。

Microsoft Exchange Server は、米国 Microsoft Corp. の商品名称です。

Microsoft Mail は、米国 Microsoft Corp. の商品名称です。

Microsoft Office Excel は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

Microsoft SQL Server は、米国 Microsoft Corp. の商品名称です。

MQSeries は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

MSP は、富士通株式会社の登録商標です。

MVS は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

Netscape は、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の登録商標です。  
Netscape Navigator は、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の登録商標です。  
OpenView は、ヒューレット・パカード社の商標です。  
ORACLE は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。  
Outlook は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。  
PA-RISC は、米国 Hewlett-Packard Company の商標です。  
Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。  
R/3 は、SAP AG のドイツ及びその他の国における登録商標または商標です。  
Red Hat は、米国およびその他の国で Red Hat, Inc. の登録商標若しくは商標です。  
SAP は、SAP AG のドイツ及びその他の国における登録商標または商標です。  
Solaris は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。  
SQL\*Plus は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。  
UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。  
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
活文、PDFstaff は、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社の登録商標です。  
プログラムプロダクト「P-9312-2781」、「P-9312-2981」、「P-9D2C-6L81」には、米国 Sun Microsystems, Inc. が著作権を有している部分が含まれています。  
プログラムプロダクト「P-9312-2781」、「P-9312-2981」、「P-9D2C-6L81」には、UNIX System Laboratories, Inc. が著作権を有している部分が含まれています。

## 〔スコープ〕ウィンドウの背景として添付している日本地図データの著作権等についての注意

この地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（行政界・海岸線）を使用したものです。（承認番号 平 21 業使，第 124 号）

国土地理院の承認は、統合システム運用管理プログラム（JP1）（以下「本製品」という。）における使用に限られています。この地図の画像を本製品とは別に利用すること等この地図を本製品以外に利用することを禁じます。

また、地図を含む本製品は、著作権法により保護されています。

地図を翻案・改変等著作権を侵害する行為を行なうことを禁じます。

地図著作・制作者 株式会社 日立製作所 ソフトウェア事業部

All Rights Reserved. Copyright (C) 2009, Hitachi, Ltd.

## 発行

2006 年 6 月（第 1.1 版）3020-3-K28-01

2010 年 9 月（第 3.3 版）3020-3-K28-43



## 著作権

Copyright (C) 2006, 2010, Hitachi, Ltd.

Copyright (C) 2006, 2010, Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

変更内容

変更内容（3020-3-K28-43）

追加・変更内容	変更箇所
記載内容を変更した。詳細は、付録 E を参照のこと。	付録 E

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

# はじめに

---

このマニュアルは、JP1/Automatic Job Management System 2（以降、JP1/AJS2 と省略します）のメッセージの形式、メッセージ、対処方法などを説明したものです。

## 対象読者

JP1/AJS2 を使って自動的に処理を実行したい方、および JP1/AJS2 を使ったシステムを構築したい方を対象としています。

## マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す二つの章から構成されています。なお、このマニュアルは各 OS（Operating System）に共通のマニュアルです。OS ごとに差異がある場合は、本文中でそのつど内容を書き分けています。

### 第 1 章 JP1/AJS2 のメッセージの概要

JP1/AJS2、JP1/Base、および JP1/IM が出力するメッセージの記載先について説明しています。  
また、JP1/AJS2 のメッセージの形式、出力先の一覧、および Windows イベントログと syslog の一覧について説明しています。

### 第 2 章 メッセージ一覧

JP1/AJS2 が出力するメッセージと対処方法について説明しています。

## 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

### JP1/AJS2 関連

- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 解説（3020-3-K21）
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド（3020-3-K22）
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド（3020-3-K23）
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド（3020-3-K24）
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス（3020-3-K25）
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 連携ガイド（3020-3-K27）
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 - Print Option（3020-3-K36）
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 - Definition Assistant（3020-3-K37）
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 - Web Operation Assistant（3020-3-K38）
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 - Datareplicator（3020-3-K39）
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 - Configuration（3020-3-K41）
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 - Scenario Operation

( 3020-3-K42 )

- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 for Web Service ( 3020-3-K43 )
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 for 活文 PDFstaff Option  
( 3020-3-K44 )
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 for Enterprise Applications  
( 3020-3-K51 )
- JP1 Version 7i JP1/Automatic Job Management System 2 for Oracle E-Business Suite  
( 3020-3-F27 )
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 メインフレーム 運用・操作編  
( 3020-3-K52 )
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 メインフレーム リファレンス編  
( 3020-3-K53 )

#### JP1 関連

- JP1 Version 8 JP1/Base 運用ガイド ( 3020-3-K06 )
- JP1 Version 8 JP1/Base メッセージ ( 3020-3-K07 )
- JP1 Version 8 JP1/Base 機能拡張 ( 3020-3-K08 )
- JP1 Version 8 JP1/Integrated Management - Manager システム構築・運用ガイド  
( 3020-3-K01 )
- JP1 Version 8 JP1/Integrated Management - Manager リファレンス ( 3020-3-K02 )
- JP1 Version 8 JP1/Integrated Management - Manager 機能拡張編 ( 3020-3-K03 )
- JP1 Version 8 JP1/Integrated Management - Planning Operation ( 3020-3-K13 )
- JP1 Version 8 JP1/Power Monitor ( 3020-3-K54 )
- JP1 Version 8 JP1/NETM/DM 導入・設計ガイド (Windows(R) 用) ( 3020-3-L36 )
- JP1 Version 8 JP1/NETM/DM 構築ガイド (Windows(R) 用) ( 3020-3-L37 )
- JP1 Version 8 JP1/NETM/DM 運用ガイド 1(Windows(R) 用) ( 3020-3-L38 )
- JP1 Version 8 JP1/NETM/DM 運用ガイド 2(Windows(R) 用) ( 3020-3-L39 )
- JP1 Version 8 JP1/NETM/DM Automatic Installation Tool ガイド (Windows(R) 用)  
( 3020-3-L40 )
- JP1 Version 8 JP1/NETM/DM Administrator Kit ( 3020-3-L41 )
- JP1 Version 8 JP1/NETM/DM SubManager(UNIX(R) 用) ( 3020-3-L42 )
- JP1 Version 8 JP1/NETM/DM Client(UNIX(R) 用) ( 3020-3-L43 )
- JP1 Version 8 JP1/NETM/DM API リファレンス (UNIX(R) 用) ( 3020-3-L44 )
- JP1 Version 6 JP1/NETM/DM Manager ( 3000-3-841 )
- JP1 Version 8 JP1/Performance Management - Agent Option for JP1/AJS2 ( 3020-3-K75 )
- JP1 Version 8 JP1/Cm2/Network Node Manager ネットワーク管理ガイド ( 3020-3-L01 )
- JP1 Version 8 JP1/Cm2/Extensible SNMP Agent ( 3020-3-L04 )
- JP1 Version 7i JP1/NQSEXEC システム管理者ガイド ( 3020-3-F30 )
- JP1 Version 7i JP1/NQSEXEC ユーザーズガイド ( 3020-3-F31 )
- JP1 Version 8 JP1/Script ( Windows(R) 用 ) ( 3020-3-K55 )

- JP1 Version 8 JP1/File Transmission Server/FTP ( Windows(R) 用 )( 3020-3-K57 )
- JP1 Version 8 JP1/File Transmission Server/FTP ( UNIX(R) 用 )( 3020-3-K58 )
- VOS3 オープンジョブウェイ支援 JP1/Open Job Entry ( 6190-3-365 )
- VOS1/FS オープンジョブウェイ支援 for VOS1 ( 6150-3-377 )
- VOSK/FS オープンジョブウェイ支援 for VOSK ( 650-3-416 )
- MVS オープンジョブウェイ支援 JP1/Open Job Entry ( 9000-3-365 )
- OSIV/MSP オープンジョブウェイ支援 JP1/Open Job Entry ( 9000-3-366 )
- JP1 Version 6 JP1/Open Job Entry for Midrange Computer ( 9000-3-367 )

#### メッセージキュー連携関連

- OpenTP1 Version 5 分散アプリケーションサーバ TP1/LiNK 使用の手引 ( 3000-3-390 )
- OpenTP1 Version 5 分散トランザクション処理機能 OpenTP1 プログラム作成の手引 ( 3000-3-361 )
- OpenTP1 Version 5 分散トランザクション処理機能 OpenTP1 システム定義 ( 3000-3-362 )
- OpenTP1 Version 5 分散トランザクション処理機能 OpenTP1 運用と操作 ( 3000-3-363 )
- OpenTP1 Version 5 分散トランザクション処理機能 OpenTP1 プログラム作成リファレンス C 言語編 ( 3000-3-365 )
- OpenTP1 Version 5 分散トランザクション処理機能 OpenTP1 メッセージキューイング機能 TP1/Message Queue 使用の手引 ( 3000-3-711 )
- OpenTP1 Version 5 分散トランザクション処理機能 OpenTP1 メッセージキューイング機能 TP1/Message Queue MQI 解説・文法編 ( 3000-3-712 )

### このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、日立製品およびその他の製品の名称を省略して表記しています。また、英略語を使用しています。正式名称と、このマニュアルでの表記を次の表に示します。

正 式 名 称	このマニュアルでの表記	
JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager	JP1/AJS2 - Manager	JP1/AJS2
JP1/Automatic Job Management System 2 - Agent	JP1/AJS2 - Agent	
JP1/Automatic Job Management System 2 - View	JP1/AJS2 - View	
JP1/Automatic Job Management System 2 - Advanced Manager <sup>1</sup>	JP1/AJS2 - Advanced Manager	
JP1/Automatic Job Management System 2 - Light Edition <sup>1</sup>	JP1/AJS2 - Light Edition	
JP1/Automatic Job Management System 2 - Client Toolkit <sup>1</sup>	JP1/AJS2 - Client Toolkit	
JP1/Automatic Job Management System 2 - Datareplicator	JP1/AJS2 - Datareplicator	
JP1/Automatic Job Management System 2 - Configuration	JP1/AJS2 - Configuration	

正 式 名 称	このマニュアルでの表記	
JP1/Automatic Job Management System 2 - Definition Assistant	JP1/AJS2 - Definition Assistant	
JP1/Automatic Job Management System 2 - Web Operation Assistant	JP1/AJS2 - Web Operation Assistant	
JP1/Automatic Job Management System 2 - Scenario Operation Manager	JP1/AJS2 - Scenario Operation Manager	JP1/AJS2 - Scenario Operation n
JP1/Automatic Job Management System 2 - Scenario Operation View	JP1/AJS2 - Scenario Operation View	
JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager for Mainframe	JP1/AJS2 - Manager for Mainframe	JP1/AJS2 for Mainfra me
JP1/Automatic Job Management System 2 - Agent for Mainframe	JP1/AJS2 - Agent for Mainframe	
JP1/Automatic Job Management System 2 - View for Mainframe	JP1/AJS2 - View for Mainframe	
JP1/Automatic Job Management System 2 for Enterprise Applications	JP1/AJS2 for Enterprise Applications	
JP1/Automatic Job Management System 2 for Oracle E-Business Suite	JP1/AJS2 for Oracle E-Business Suite	
JP1/Automatic Job Management System 2 for Web Service	JP1/AJS2 for Web Service	JP1/AJS2 for Web Service
JP1/Automatic Job Management System 2 - View for Web Service <sup>2</sup>	JP1/AJS2 - View for Web Service	
JP1/Automatic Job Management System 2 for 活文 PDFstaff Option	JP1/AJS2 for 活文 PDFstaff	
JP1/Cm2/Network Node Manager	JP1/Cm2/NNM	NNM
hp OpenView Network Node Manager	hp OpenView NNM	
JP1/File Transmission Server/FTP	JP1/FTP	
JP1/Integrated Management - Manager	JP1/IM - Manager	JP1/IM
JP1/Integrated Management - View	JP1/IM - View	
JP1/Integrated Manager - View <sup>1</sup>		
JP1/Integrated Manager - Central Console <sup>1</sup>	JP1/IM - Central Console	
JP1/Integrated Manager - Central Scope <sup>1</sup>	JP1/IM - Central Scope	
JP1/Integrated Management - Planning Operation	JP1/IM - Planning Operation	
JP1/Open Job Entry	JP1/OJE	
JP1/Open Job Entry for Midrange Computer	JP1/OJE for Midrange Computer	

正 式 名 称	このマニュアルでの表記	
JP1/System Event Service	JP1/SES	
VOS3 JP1/Open Job Entry	JP1/OJE for VOS3	
JP1/Automatic Job Management System 2 - SDK	JP1/AJS2 - SDK	JP1/AJS2
JP1/Automatic Job Management System 2 - Console	JP1/AJS2 - Console	
Microsoft(R) Cluster Server	MSCS	
Microsoft(R) Excel	Excel	
Microsoft(R) Office Excel		
Microsoft(R) Exchange 2000 Enterprise Server	Exchange Server	
Microsoft(R) Exchange 2000 Server		
Microsoft(R) Exchange Server		
Microsoft(R) Internet Explorer(R)	IE	
Microsoft(R) Mail	Microsoft Mail	
Microsoft(R) Message Queue Server	MSMQ	
Microsoft(R) Outlook(R) 2000	Outlook 2000	Outlook
Microsoft(R) Outlook(R) 2002	Outlook 2002	
Microsoft(R) Outlook(R) 2003	Outlook 2003	
Microsoft(R) Outlook(R) 2007	Outlook 2007	
Microsoft(R) Outlook(R) Express	Outlook Express	
Microsoft(R) SQL Server	Microsoft SQL Server	
Microsoft(R) SQL Server Enterprise Edition		
Microsoft(R) Windows(R) 2000 Advanced Server Operating System	Windows 2000	
Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional Operating System		
Microsoft(R) Windows(R) 2000 Server Operating System		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition	Windows Server 2003	Windows Server 2003
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition for Itanium(R)-based Systems	Windows Server 2003 ( IPF )	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition	Windows Server 2003 ( x64 )	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition		

正 式 名 称	このマニュアルでの表記	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise	Windows Server 2008	Windows Server 2008
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 for Itanium(R)-based Systems	Windows Server 2008 ( IPF )	
Microsoft(R) Windows Vista(R) Business	Windows Vista	
Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise		
Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate		
Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System	Windows XP Professional	
AIX 5L 5.3	AIX	
AIX V6.1		
HP-UX 11i V2 (PA-RISC)	HP-UX ( PA-RISC )	HP-UX
HP-UX 11i V2 (IPF)	HP-UX ( IPF )	
HP-UX 11i V3 (IPF)		
Red Hat Enterprise Linux 5 (AMD64 & Intel EM64T)	Linux 5 ( AMD64 & Intel EM64T )	Linux
Red Hat Enterprise Linux 5 (IPF)	Linux 5 ( IPF )	
Red Hat Enterprise Linux 5 (x86)	Linux 5 ( x86 )	
Red Hat Enterprise Linux AS 4 (AMD64 & Intel EM64T)	Linux AS 4 ( AMD64 & Intel EM64T )	
Red Hat Enterprise Linux ES 4 (AMD64 & Intel EM64T)	Linux ES 4 ( AMD64 & Intel EM64T )	
Red Hat Enterprise Linux AS 4 (IPF)	Linux AS 4 ( IPF )	
Red Hat Enterprise Linux AS 4 (x86)	Linux AS 4 ( x86 )	
Red Hat Enterprise Linux ES 4 (x86)	Linux ES 4 ( x86 )	
Solaris 9	Solaris	
Solaris 10		
SAP Business Information Warehouse	SAP BW	
SAP R/3(R)	SAP R/3	

## 注 1

バージョン 7 の製品です。

## 注 2

JP1/AJS2 for Web Service に含まれるコンポーネントです。JP1/AJS2 - View と連携して動作します。

- Windows 2000 , Windows XP Professional , Windows Server 2003 , Windows Server 2008 ,



および Windows Vista を総称して Windows と表記することがあります。

- Linux 5 (IPF), および Linux AS 4 (IPF) を総称して Linux (IPF) と表記することがあります。
- HP-UX, Solaris, AIX, および Linux を総称して, UNIX と表記することがあります。

## このマニュアルで使用する英略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	正式名称
ACL	Access Control List
DB	Database
DBMS	Database Management System
DNS	Domain Name System
EUC	Extended UNIX Code
FQDN	Fully Qualified Domain Name
FTP	File Transfer Protocol
GUI	Graphical User Interface
IPF	Itanium(R) Processor Family
ISAM	Indexed Sequential Access Method
JIS	Japanese Industrial Standard code
LAN	Local Area Network
MAPI	Messaging Application Programming Interface
MIB	Management Information Base
MIME	Multipurpose Internet Mail Extensions
NAT	Network Address Translator
NFS	Network File System
NIC	Network Interface Card
PDF	Portable Document Format
RDB	Relational Database
SNMP	Simple Network Management Protocol
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SUP	Service Using Program
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
UAC	User Account Control
UNC	Universal Naming Convention
WAN	Wide Area Network
WOW64	Windows On Windows 64

英略語	正式名称
WSDL	Web Services Description Language

## JP1 Version 8 での製品体系変更について

JP1 Version 8 では、JP1/AJS2 の製品体系に次の変更がありました。

- JP1/AJS2 - Advanced Manager は廃止されました。JP1/AJS2 - Advanced Manager が提供していた組み込みデータベースは、JP1 Version 8 では、JP1/AJS2 - Manager に同梱されています。
- JP1/AJS2 - Light Edition は廃止されました。
- JP1/AJS2 - Client Toolkit は廃止されました。
- JP1/AJS2 - View は、Windows 版だけの提供となりました。

## JP1 Version 7i での製品体系変更について

JP1 Version 7i では、JP1/AJS2 の製品体系に次の変更がありました。

- JP1/AJS2 - SDK は JP1/AJS2 - Manager に統合されました。JP1/AJS2 - SDK が提供していた関数は、JP1 Version 7i では、JP1/AJS2 - Manager が提供しています。
- JP1/AJS2 - Console は JP1/AJS2 - Manager に統合されました。JP1/AJS2 - Console で使用できた機能は、JP1/AJS2 - Manager で使用できます。
- JP1/AJS2 - Light Edition は、Windows 版だけの提供となりました。

## マニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号を次の表に示します。

記号	意味
[   ]	メニュー項目、ダイアログボックス、ダイアログボックスのボタンなどを示します。 (例) [ ファイル ] - [ 新規作成 ] を選択する。 上記の例では、メニューバーの [ ファイル ] を選んで、プルダウンメニューの [ 新規作成 ] を選択することを示します。

## コマンドの文法に使用する記号

コマンド、およびパラメーターの説明で使用する記号を次の表に示します。

記号	意味と例
 (ストローク)	複数の項目に対して項目間の区切りを示し、「または」の意味を示します。 (例) 「A B C」は、「A, B, または C」を示します。
{   } (波括弧)	この記号で囲まれている複数の項目の中から、一組の項目を必ず選択します。項目と項目の区切りは「 」で示します。 (例) 「{A B C}」は、「A, B, または C のどれかを必ず指定する」ことを示します。

記号	意味と例
[ ] (角括弧)	この記号で囲まれている項目は、任意に指定できます（省略できます）。 (例) 「[A]」は、「必要に応じて A を指定する」ことを示します（必要でない場合は、A を省略できます）。 「[B C]」は、「必要に応じて B、または C を指定する」ことを示します（必要でない場合は、B および C を省略できます）。
... (点線)	この記号の直前に示された項目を繰り返して複数指定できます。なお、項目を複数指定する場合は、項目の区切りに 1 バイトの空白文字（半角スペース）を使用します。 (例) 「A B...」は、「A のあとに、B を複数指定できる」ことを示します。
_ (下線)	括弧で囲まれているすべての項目を省略したときに、システムが採用する値を示します。 (例) 「[A B]」は、「A および B を指定しなかった場合、システムは A を採用する」ことを示します。

## 数式で使用する記号

このマニュアルの数式中で使用する記号を、次の表に示します。

記号	意味
*	乗算記号を示します。
/	除算記号を示します。
	計算結果の値を小数点以下で切り上げることを示します。 (例) 34 / 3 の計算結果は 12 となります。
MAX	計算結果のうち、最も大きい値を選ぶことを示しています。 (例) MAX(3 * 6, 4+7) の計算結果は、18 となります。

## Windows 版 JP1/AJS2 のデフォルトのインストール先フォルダ

Windows 版 JP1/AJS2 のデフォルトのインストール先フォルダは、次のとおりです。

JP1/AJS2 - Manager のデフォルトのインストール先フォルダ

システムドライブ ¥Program Files <sup>1</sup>¥HITACHI¥JP1AJS2  
および

システムドライブ ¥Program Files <sup>1</sup>¥HITACHI¥JP1AJS2CM

JP1/AJS2 - Agent のデフォルトのインストール先フォルダ

システムドライブ ¥Program Files <sup>1</sup>¥HITACHI¥JP1AJS2

JP1/AJS2 - View のデフォルトのインストール先フォルダ

システムドライブ ¥Program Files <sup>2</sup>¥HITACHI¥JP1AJS2V

注 1

はじめに

64 ビット版の Windows Server 2008 および Windows Server 2003 (x64) の場合は、  
「Program Files」を「Program Files (x86)」と読み替えてください。

注 2

64 ビット版の Windows Server 2008、Windows Vista、および Windows Server 2003 (x64) の場合は、「Program Files」を「Program Files (x86)」と読み替えてください。

## このマニュアルで使用する「Administrators 権限」について

このマニュアルで表記している「Administrators 権限」とは、ローカル PC に対して Administrators 権限を持つユーザーを指します。ローカル PC に対して Administrators 権限を持つユーザーであれば、ローカルユーザー、ドメインユーザー、および ActiveDirectory 環境で動作に違いはありません。

## オンラインマニュアルについて

JP1/AJS2 - View では、WWW (World Wide Web) ブラウザーで参照できる HTML マニュアルを提供しています。HTML マニュアルは下記ブラウザーで参照できます。

- Microsoft Internet Explorer 3.02 以降
- Netscape Navigator 3.01 以降

HTML マニュアルの内容は、下記の紙マニュアルと同じです。

- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 解説
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 連携ガイド
- JP1 Version 8 JP1/Automatic Job Management System 2 メッセージ

JP1/AJS2 - View では、[ヘルプ] - [目次]を選択すると目次が表示されます。また、[F1] キーを押して目次を表示することもできます。ただし、拡張子 htm のファイルに WWW ブラウザーが関連づけられていない場合、HTML マニュアルが正しく表示されません。その場合は、htm ファイルと WWW ブラウザーを関連づけてください。

WWW ブラウザーでの文字の表示に関する注意事項

Windows の場合、スタートメニューからオンラインマニュアルを表示させると、すでに表示されているブラウザーの画面上に HTML マニュアルが表示されます。

また、Microsoft Internet Explorer 5 をご使用の場合、文字が不正に表示されることがあります。この場合、次のように設定してください。

- [表示] - [エンコード]の[自動選択]のチェックを外す。
- [表示] - [エンコード]の日本語で[日本語(シフト JIS)]を選択する。

## JP1/AJS2 マニュアルの使い分けについて

JP1/AJS2 のマニュアルは、7 冊に分かれています。次に示す表で各マニュアルの記載内容をご確認の上、利用目的に合わせてマニュアルをお読みください。

マニュアル名	記載内容
JP1/Automatic Job Management System 2 解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>JP1/AJS2 の特長</li> <li>各機能の解説</li> </ul>
JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムの設計時に検討する情報</li> <li>システムの運用時に知っておくべき情報</li> <li>トラブルシューティング</li> </ul>
JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>インストール・セットアップの操作手順</li> </ul>
JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>GUI を使った操作方法</li> </ul>
JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>コマンドの文法</li> </ul>
JP1/Automatic Job Management System 2 連携ガイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>他製品と連携してできる機能</li> </ul>
JP1/Automatic Job Management System 2 メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>JP1/AJS2 が出力するメッセージ</li> </ul>

### 注

バージョン 8 では、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 関数」は提供していません。

## このマニュアルで使用するフォルダ名またはディレクトリ名

このマニュアルでは、Windows のフォルダ名と UNIX のディレクトリ名とが同じ場合、原則として、フォルダ名と表記しています。

## JP1/AJS2 で使用できる正規表現について

ダイアログボックスやコマンドでの定義で、正規表現が使用できる項目があります。Windows での正規表現については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照してください。また、UNIX での正規表現については、UNIX のドキュメントを参照してください。

Windows のホスト上でイベントジョブを実行する場合、JP1/Base の設定によって使用できる正規表現が異なります。使用できる正規表現の設定方法については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」の、使用する正規表現の拡張に関する説明を参照してください。

なお、正規表現で、すべての文字に一致する「.\*」を多数使用すると、検索に時間が掛かることがあります。長いメッセージなどに対しては、必要な個所に対してだけ「.\*」を使用するようにしてください。また、UNIX では、空白以外の文字に一致させたい場合など、「.\*」の代わりに「[^ ]\*（空白以外の文字の繰り返し）」を使用すると、検索時間を短縮できます。

## JIS 2004 ( JIS X 0213:2004 ) で追加された第 3 水準，第 4 水準漢字について

JP1/AJS2 では，JIS 2004 で追加された第 3 水準漢字，第 4 水準漢字を使用できません。これらの文字を使用した場合，正常に動作しないおそれがあります。

### 常用漢字以外の漢字の使用について

このマニュアルでは，常用漢字を使用することを基本としていますが，次の用語については，常用漢字以外の漢字を使用しています。

- 宛先（あてさき）
- 個所（かしょ）
- 栗（くり）色
- 毎（ごと）
- 進捗（しんちょく）
- 橙（だいだい）
- 同梱（どうこん）
- 貼（は）り付け
- 必須（ひつす）
- 閉塞（へいそく）
- 捕捉（ほそく）

### KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト），1MB（メガバイト），1GB（ギガバイト），1TB（テラバイト）はそれぞれ 1,024 バイト， $1,024^2$  バイト， $1,024^3$  バイト， $1,024^4$  バイトです。

# 目次

<b>1</b>	<b>JP1/AJS2 のメッセージの概要</b>	<b>1</b>
1.1	メッセージの分類	2
1.2	メッセージの形式	4
1.2.1	メッセージの出力形式	4
1.2.2	メッセージの記載形式	6
1.2.3	システム管理者の方へ	7
1.3	メッセージの出力先一覧	8
1.4	Windows イベントログと syslog の一覧	46

<b>2</b>	<b>メッセージ一覧</b>	<b>65</b>
2.1	KAVB で始まるメッセージ（プロセス管理が出力するメッセージ）	66
2.2	KAVC で始まるメッセージ（JP1/AJS2 Console に関するメッセージ）	82
2.3	KAVS で始まるメッセージ（スケジューラーに関するメッセージ）	124
2.4	KAVT で始まるメッセージ（イベント・アクション制御に関するメッセージ）	254
2.5	KAVU で始まるメッセージ（ジョブ実行制御に関するメッセージ）	394
2.6	KAVV100 ~ KAVV899（JP1/AJS2 - View に関するメッセージ）	530
2.7	KFP で始まるメッセージ（組み込み DB 関連のメッセージ）	601

付録

	635
付録 A KAVU で始まるメッセージの要因番号	636
付録 B システムコールのリターンコード	638
付録 C 組み込み DB ファイルシステムに対するアクセス要求から返されるエラーコード	649
付録 D 各バージョンの変更内容	652
付録 D.1 08-50 の変更内容	652
付録 D.2 08-10 の変更内容	653
付録 D.3 08-00 の変更内容	653
付録 D.4 07-50 の変更内容	654
付録 D.5 07-11 の変更内容	655
付録 D.6 07-10 の変更内容	656
付録 D.7 07-00 の変更内容	658
付録 E ( 3020-3-K28-43 ) の変更内容	663

付録 F 用語解説	665
-----------	-----

---

索引	681
----	-----

---



# 1

## JP1/AJS2 のメッセージの概要

この章では、JP1/AJS2、JP1/Base、および JP1/IM が出力するメッセージの記載先について説明します。また、JP1/AJS2 のメッセージの形式、出力先の一覧、および Windows イベントログと syslog の一覧について説明します。

---

### 1.1 メッセージの分類

---

### 1.2 メッセージの形式

---

### 1.3 メッセージの出力先一覧

---

### 1.4 Windows イベントログと syslog の一覧

---

## 1.1 メッセージの分類

JP1/AJS2, JP1/Base, および JP1/IM が出力するメッセージの記載先について説明します。

JP1/AJS2 でシステムを運用した場合, JP1/AJS2 のメッセージだけでなく, 前提プログラムである JP1/Base のメッセージが出力されます。また, JP1/IM と連携した場合, JP1/IM のメッセージも出力されます。

JP1/AJS2, JP1/Base, および JP1/IM のメッセージが, どのマニュアルに記載されているかを, メッセージ ID ごとに次の表に示します。

表 1-1 メッセージの記載先

メッセージ ID	メッセージが記載されているマニュアル
KAJP で始まるメッセージ	マニュアル「JP1/Base メッセージ」
KAJS で始まるメッセージ	マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 - Scenario Operation」
KAVA で始まるメッセージ	マニュアル「JP1/Base メッセージ」
KAVB0001 ~ KAVB3160	マニュアル「JP1/Integrated Management - Manager リファレンス」
KAVB3501 ~ KAVB3986	マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 メッセージ」
KAVB4001 ~ KAVB6000	マニュアル「JP1/Integrated Management - Manager リファレンス」
KAVC で始まるメッセージ	マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 メッセージ」
KAVI で始まるメッセージ	マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 - Web Operation Assistant」
KAVS で始まるメッセージ	マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 メッセージ」
KAVT で始まるメッセージ	
KAVU で始まるメッセージ	
KAVV001 ~ KAVV899	
KAVZ で始まるメッセージ	マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 - Definition Assistant」
KFP で始まるメッセージ	マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 メッセージ」
KNAA0001 ~ KNAA3999	マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 - Configuration」
KNAA4000 ~ KNAA5999	マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 - Datareplicator」

メッセージ ID	メッセージが記載されているマニュアル
KAVS4501 ~ KAVS4530	マニュアル「JP1/Integrated Management・Planning Operation」
KAVA6751 ~ KAVA6767	

## 1.2 メッセージの形式

---

JP1/AJS2 が出力するメッセージの形式と、マニュアルでの記載形式を示します。

JP1/AJS2 では、日本語と英語のメッセージをサポートしています。UNIX の場合、どちらの言語で表示するかは、ユーザーごとに環境変数 `LANG` で指定できます。

### 1.2.1 メッセージの出力形式

#### (1) KAV で始まるメッセージ

JP1/AJS2 が出力するメッセージの形式を示します。メッセージはメッセージ ID とそれに続くメッセージテキストで構成されます。形式を次に示します。

- KAVBnnnn-Z メッセージテキスト
- KAVCnnnn-Z メッセージテキスト
- KAVSnnnn-Z メッセージテキスト
- KAVTnnnn-Z メッセージテキスト
- KAVUnnnn-Z メッセージテキスト
- KAVVnnn-Z メッセージテキスト

メッセージ ID は、次の内容を示しています。

K

システム識別子を示します。

AVB, AVC, AVS, AVT, AVU, または AVV

JP1/AJS2 のメッセージであることを示します。

nnnn, または nnn

メッセージの通し番号を示します。

Z

メッセージの種類を示します。

- E: エラー  
処理は中断されます。ただし、コマンドで複数の任意名を指定した場合、それぞれの任意名の処理に対して出力されますが、コマンドの処理は続行されます。
- W: 警告  
メッセージ出力後、処理は続けられます。
- I: 通知  
ユーザーに情報を知らせます。
- Q: 応答要求  
ユーザーに応答を促します。

- K：処理継続  
処理を続行します。

メッセージレベルとイベントログ（Windows）との対応について次の表に示します。

表 1-2 イベントログ（Windows）との対応

メッセージレベル	イベントログの種類	
	レベル	意味
-E	エラー	システムエラー，ジョブの異常終了，監視の失敗など。
-W	警告	ジョブの警告終了，ジョブネットの遅延，設定ファイルの読み込み失敗など。
-I	情報	ジョブの保留通知，ジョブの実行開始，ジョブの正常終了，監視開始通知など。
-Q	該当しない	該当しない。

syslog（UNIX）の priority レベルとの対応について，次の表に示します。

表 1-3 syslog（UNIX）の priority レベルとの対応

メッセージレベル	syslog の priority レベル	
	レベル	意味
-E	LOG_ERR	システムエラー，ジョブの異常終了，監視の失敗など。
-W	LOG_WARNING	ジョブの警告終了，ジョブネットの遅延，設定ファイルの読み込み失敗など。
-I	LOG_NOTICE	ジョブの保留通知，監視開始通知など。
	LOG_INFO	ジョブの実行開始，正常終了など。
-Q	該当しない	該当しない。

## （2）KFP で始まるメッセージ

組み込み DB が出力するメッセージの形式を示します。メッセージはメッセージ ID とそれに続くメッセージテキストで構成されます。形式を次に示します。

- KFPxnnnn-Z メッセージテキスト

KFPx

組み込み DB のメッセージであることを示します。

x

メッセージの管理元を識別するコードです。

nnnn

メッセージの通し番号を示します。

## Z

メッセージの種類を示します。

- E：エラー

処理は中断されます。ただし、コマンドで複数の任意名を指定した場合、それぞれの任意名の処理に対して出力されますが、コマンドの処理は続行されます。

- W：警告

メッセージ出力後、処理は続けられます。

- I：通知

ユーザーに情報を知らせます。

- Q：応答要求

ユーザーに応答を促します。

- K：処理継続

処理を続行します。

## 1.2.2 メッセージの記載形式

### (1) KAV で始まるメッセージ

このマニュアルでのメッセージの記載形式を示します。ゴシックで書かれている部分は、メッセージが表示されるたびに表示内容が変わる個所を示しています。また、メッセージをメッセージ ID 順に記載しています。記載形式の例を次に示します。

ただし、KAVU で始まるメッセージ ID で、「関数名：」が付いているメッセージは、場合によっては「関数名：」が表示されないことがあります。

### メッセージ ID

---

英語メッセージテキスト

日本語メッセージテキスト

メッセージの説明文

#### (S)

システムの処置を示します。

#### (O)

メッセージが出力されたときに、オペレーターのとる処置を示します。

### (2) KFP で始まるメッセージ

このマニュアルでの KFP で始まるメッセージの記載形式を示します。メッセージはメッセージ ID 順に記載しています。記載形式の例を次に示します。

### メッセージ ID

---

メッセージテキスト (Y)

### メッセージの説明文

(S)

システムの処置を示します。

(P)

メッセージが出力されたときに、プログラマーのとり処置を示します。

(O)

メッセージが出力されたときに、オペレーターのとり処置を示します。

[ 対処 ]

メッセージを受け取った組み込み DB システム管理者のとり処置を示します。

注

メッセージの出力先種別を示します。詳細については、「1.3(7) KFP で始まるメッセージの出力先」を参照してください。

## 1.2.3 システム管理者の方へ

運用中にトラブルが発生した場合には、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17. トラブルシューティング」を参照してログ情報を採取し、初期調査をしてください。

トラブル要因の初期調査をする場合は、OS のログ情報（Windows の場合は Windows イベントログ、UNIX の場合は syslog）や、JP1/AJS2 が出力する各種ログ情報を参照してください。これらのログ情報でトラブル発生時間帯の内容を参照して、トラブルを回避したり、トラブルに対処したりしてください。

また、トラブルが発生するまでの操作方法などを記録してください。同時に、できるだけ再現性の有無を確認するようにしてください。

JP1/AJS2 では、JP1/Base のプロセス管理に関するメッセージも出力されます。JP1/AJS2 のトラブルを監視する場合は、JP1/Base のプロセス管理に関するメッセージもあわせて監視してください。

## 1.3 メッセージの出力先一覧

ここでは、JP1/AJS2 が出力する各メッセージの出力先を一覧で示します。

### (1) KAVB で始まるメッセージの出力先

メッセージ ID が KAVB3501 ~ KAVB3986 のメッセージはプロセス管理に関するメッセージです。プロセス管理に関するメッセージの出力先を次の表に示します。表中ではそれぞれの出力先を凡例のように表記しています。

#### (凡例)

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLlib2 : 統合トレースログ

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

JP1 イベント : JP1 イベント

: 出力する

- : 出力しない

表 1-4 プロセス管理に関するメッセージの出力先

メッセージ ID	出力先					
	syslog	イベント ログ	HNTRLlib2	stdout	stderr	JP1 イベント
KAVB3501			-	-	-	-
KAVB3502	-	-		-		-
KAVB3503	-	-	-	-		-
KAVB3504	-	-		-		-
KAVB3516		-	-	-		-
KAVB3552 ~ KAVB3612	-	-		-	-	-
KAVB3613				-	-	
KAVB3614				-	-	-
KAVB3616	-	-	-	-	-	
KAVB3620					-	-
KAVB3621		-		-	-	-
KAVB3623		-		-	-	-
KAVB3624				-	-	-
KAVB3625 ~ KAVB3626					-	-



メッセージ ID	出力先					
	syslog	イベント ログ	HNTRLib2	stdout	stderr	JP1 ベント
KAVB3627	-	-		-	-	-
KAVB3631	-	-		-	-	-
KAVB3642 ~ KAVB3644				-	-	-
KAVB3645 ~ KAVB3646	-	-		-	-	-
KAVB3649					-	-
KAVB3651 ~ KAVB3662	-	-			-	-
KAVB3663	-	-	-	-		-
KAVB3672 ~ KAVB3684	-	-			-	-
KAVB3685 ~ KAVB3694	-	-	-		-	-
KAVB3705 ~ KAVB3736	-	-		-	-	-
KAVB3737				-	-	
KAVB3743 ~ KAVB3751	-	-		-	-	-
KAVB3752				-	-	-
KAVB3760 ~ KAVB3769	-	-		-	-	-
KAVB3777 ~ KAVB3786	-	-		-	-	-
KAVB3788				-	-	-
KAVB3792	-		-	-	-	-
KAVB3802	-	-		-	-	-
KAVB3846 ~ KAVB3855	-	-		-	-	-
KAVB3862				-	-	-
KAVB3863	-	-		-	-	-
KAVB3870			-		-	-
KAVB3871	-	-	-		-	-
KAVB3872			-		-	-
KAVB3873	-	-	-		-	-

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先					
	syslog	イベント ログ	HNTRLib2	stdout	stderr	JP1 ベント
KAVB3874 ~ KAVB3875			-		-	-
KAVB3899			-		-	-
KAVB3905 ~ KAVB3910	-	-		-	-	-
KAVB3911 ~ KAVB3914	-	-			-	-
KAVB3935	-	-		-	-	-
KAVB3953				-	-	
KAVB3956 ~ KAVB3957				-	-	-
KAVB3960	-	-	-		-	-
KAVB3961	-	-			-	-
KAVB3981 ~ KAVB3984	-	-		-	-	-
KAVB3986	-	-			-	-

### (2) KAVC で始まるメッセージの出力先

メッセージ ID が KAVC で始まるメッセージは、JP1/AJS2 Console に関するメッセージです。JP1/AJS2 Console の各コンポーネントで表示するメッセージの出力先を次に示します。

#### (a) KAVC0001 ~ KAVC2000 (JP1/AJS2 Console Manager に関するメッセージ)

JP1/AJS2 Console Manager に関するメッセージの出力先を次の表に示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

#### (凡例)

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLib2 : 統合トレースログ

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

: 出力する

- : 出力しない

表 1-5 JP1/AJS2 Console Manager に関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先				
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr
KAVC0001 ~ KAVC0002				-	-
KAVC0081 ~ KAVC0104	-	-	-	-	
KAVC0108				-	
KAVC0119 ~ KAVC0158	-	-	-	-	
KAVC0200	-	-		-	-
KAVC0330 ~ KAVC0331				-	
KAVC0355	-	-		-	-
KAVC0356				-	
KAVC0385	-	-		-	-
KAVC0456	-	-		-	-
KAVC0532 ~ KAVC0533	-	-		-	-
KAVC0802				-	-
KAVC0803	-	-		-	-
KAVC0805				-	-
KAVC0806	-	-	-	-	
KAVC0807				-	-
KAVC0901 ~ KAVC0904				-	
KAVC0905			-	-	-
KAVC0907				-	
KAVC0920			-	-	-
KAVC0950 ~ KAVC0953				-	

(b) KAVC2001 ~ KAVC4000 (JP1/AJS2 Console Agent に関するメッセージ)

JP1/AJS2 Console Agent に関するメッセージの出力先を次の表に示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

( 凡例 )

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

HNTRLib2：統合トレースログ

stdout：標準出力

stderr：標準エラー出力

：出力する

-：出力しない

表 1-6 JP1/AJS2 Console Agent に関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先				
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr
KAVC2001 ~ KAVC2002				-	-
KAVC2081 ~ KAVC2103	-	-	-	-	
KAVC2108				-	
KAVC2119 ~ KAVC2158	-	-	-	-	
KAVC2200	-	-		-	-
KAVC2330 ~ KAVC2331				-	
KAVC2381 ~ KAVC2388	-	-		-	-
KAVC2456 ~ KAVC2457	-	-		-	-
KAVC2532 ~ KAVC2539	-	-		-	-
KAVC2804	-	-		-	-
KAVC2805				-	-
KAVC2901 ~ KAVC2904				-	
KAVC2905			-	-	-
KAVC2907				-	
KAVC2920			-	-	-
KAVC2950 ~ KAVC2953				-	

(c) KAVC4001 ~ KAVC6000 (JP1/AJS2 Console View に関するメッセージ)

JP1/AJS2 Console View に関するメッセージの出力先を次の表に示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

ダイアログ：メッセージダイアログボックス

ログ：JP1/AJS2 Console View のログファイル

stderr：標準エラー出力

：出力する

-：出力しない

#### 注

- Windows XP Professional および Windows Server 2003 の場合

JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ

¥log¥ajs2coview#nnnn\_{1|2}.log

JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダは、デフォルトでは「システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥jplajs2v」です。64 ビット版の環境では、「システムドライブ ¥Program Files (x86)¥Hitachi¥jplajs2v」です。

- Windows Vista および Windows Server 2008 の場合

%ALLUSERSPROFILE%¥Hitachi¥JP1¥JP1\_DEFAULT¥JP1AJS2V¥log¥ajs2coview#nnnn\_{1|2}.log

「%ALLUSERSPROFILE%」のデフォルトは「システムドライブ ¥ProgramData」です。

#### 補足事項

JP1/AJS2 Console View を単数起動時の場合は、「#nnnn\_」が省略されます。

複数起動時の場合は、「#nnnn」には 0001 ~ 9999 の任意の値が割り当てられます。

表 1-7 JP1/AJS2 Console View に関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先		
	ダイアログ	ログ	stderr
KAVC4001 ~ KAVC4004			-
KAVC4005 ~ KAVC4006		-	
KAVC4008 ~ KAVC4011		-	-
KAVC4012 ~ KAVC4015			-
KAVC4016		-	
KAVC4017 ~ KAVC4019	-	-	

# 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先		
	ダイアログ	ログ	stderr
KAVC4020 ~ KAVC4022			-
KAVC4101 ~ KAVC4104	-		-
KAVC4106			-
KAVC4107 ~ KAVC4111	-		-
KAVC4112		-	-
KAVC4113 ~ KAVC4114	-		-
KAVC4115 ~ KAVC4116			-
KAVC4117 ~ KAVC4119	-		-
KAVC4220			-
KAVC4221	-		-
KAVC4222			-
KAVC4223		-	-
KAVC4224			-
KAVC4232	-		-
KAVC4233			-
KAVC4234	-		-
KAVC4302 ~ KAVC4523			-
KAVC4524	-		-
KAVC4525 ~ KAVC4530			-
KAVC4537 ~ KAVC4559	-		-
KAVC4560 ~ KAVC4621			-
KAVC4622	-		-
KAVC4623		-	-
KAVC4624 ~ KAVC4645			-
KAVC4646		-	-

注

Windows 版ではメッセージダイアログボックスに、UNIX 版では標準エラー出力に出力されます。

(d) KAVC6001 ~ KAVC7000 (状態不明時または操作失敗時に表示されるメッセージ)

JP1/AJS2 Console View 上のダイアログボックスに表示されるメッセージです。それぞれの状況によって、出力先が異なります。

- JP1/AJS2 Console View で表示している監視オブジェクト状態が「状態不明」の場合状態不明になった要因として [ 詳細情報 - [ AJS2 ユニット監視オブジェクト ] ] ダイアログボックスの [ 情報 ] テキストエリアに出力されます。[ 詳細情報 - [ AJS2 ユニット監視オブジェクト ] ] ダイアログボックスについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 14. JP1/AJS2 Console の画面」を参照してください。
- JP1/AJS2 Console View で監視オブジェクトに対する操作に失敗した場合操作に失敗した要因として「KAVC4646-E」のエラーダイアログボックスの [ エラー詳細 ] テキストエリアに出力されます。

### (3) KAVS で始まるメッセージの出力先

メッセージ ID が KAVS で始まるメッセージ (スケジューラーに関するメッセージ) の出力先を次の表に示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

( 凡例 )

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLib2 : 統合トレースログ

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

実行結果詳細 : [ 実行結果詳細 ] ダイアログボックス

JP1 イベント : JP1 イベント

: 出力する

- : 出力しない

表 1-8 KAVS で始まるメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVS0100 ~ KAVS0107	-	-	-	-		-	-
KAVS0108	-	-	-	-		-	-
KAVS0110 ~ KAVS0118	-	-	-	-		-	-

# 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVS0119				-		-	-
KAVS0120 ~ KAVS0124	-	-	-	-		-	-
KAVS0125				-		-	-
KAVS0126 ~ KAVS0130	-	-	-	-		-	-
KAVS0132 ~ KAVS0135				-	-	-	-
KAVS0141 ~ KAVS0167	-	-	-	-		-	-
KAVS0168				-		-	-
KAVS0169 ~ KAVS0175	-	-	-	-		-	-
KAVS0176				-		-	-
KAVS0177 ~ KAVS0188	-	-	-	-		-	-
KAVS0189				-		-	-
KAVS0190 ~ KAVS0199	-	-	-	-		-	-
KAVS0200 ~ KAVS0201	1	1		-	-	-	
KAVS0202				-	-	-	
KAVS0203			-	-	-	-	
KAVS0204				-	-	-	
KAVS0208 ~ KAVS0209	-	-	-	-		-	-
KAVS0210					-	-	-
KAVS0211				-		-	-
KAVS0212 ~ KAVS0218				-	-	-	-
KAVS0219	-	-	-	-		-	-
KAVS0220 ~ KAVS0221	2	2		-	-	-	-
KAVS0230 ~ KAVS0232				-	-	-	-
KAVS0240 ~ KAVS0241	3	3		-	-	-	



メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	実行結果詳 細	JP1 イベ ント
KAVS0242	-	-	-	-	-	-	
KAVS0243 ~ KAVS0244	3	3		-	-	-	
KAVS0245 ~ KAVS0246				-	-	-	-
KAVS0247	-	-		-	-	-	-
KAVS0248	5	5		-	-	-	
KAVS0249	-	-	4	-	-	-	-
KAVS0251 ~ KAVS0254				-	-	-	-
KAVS0260 ~ KAVS0262	3	3		-	-	-	
KAVS0263 ~ KAVS0264	5	5		-	-	-	
KAVS0265	5, 6	5		-	-	-	
KAVS0266 ~ KAVS0267				-	-	-	-
KAVS0268	3	3		-	-	-	
KAVS0269	5	5		-	-	-	
KAVS0270	3	3		-	-	-	
KAVS0271	5	5		-	-	-	
KAVS0272 ~ KAVS0273				-	-	-	
KAVS0274				-	-	-	-
KAVS0275 ~ KAVS0276	3	3		-	-	-	
KAVS0277				-	-	-	
KAVS0278	-	-	-	-	-	-	
KAVS0279	3	3		-	-	-	
KAVS0289 ~ KAVS0297	-	-	-	-		-	-
KAVS0300	-	-	-	-		-	-
KAVS0301				-		-	-

# 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVS0304 ~ KAVS0311	-	-	-	-		-	-
KAVS0314 ~ KAVS0319				-		-	-
KAVS0322 ~ KAVS0470	-	-	-	-		-	-
KAVS0475	-	-	-		-	-	-
KAVS0476 ~ KAVS0478	-	-	-	-		-	-
KAVS0500				-	-	-	-
KAVS0530 ~ KAVS0535	7	7		-	-	-	-
KAVS0536 ~ KAVS0537				-	-	-	-
KAVS0540 ~ KAVS0667	-	-	-	-		-	-
KAVS0670				-	-	-	-
KAVS0671 ~ KAVS0712	-	-	-	-		-	-
KAVS0715 ~ KAVS0716	-	-	-	-	-	-	
KAVS0720 ~ KAVS0800	-	-	-	-		-	-
KAVS0827 ~ KAVS0828	-	-	-		-	-	-
KAVS0849 ~ KAVS0858	-	-	-	-		-	-
KAVS0863 ~ KAVS0866				-		-	-
KAVS0867				-		-	-
KAVS0868	-	-	-	-		-	-
KAVS0869				-		-	-
KAVS0870	-	-	-		-	-	-
KAVS0872 ~ KAVS0877	-	-	-	-		-	-
KAVS0880	-	-	-		-	-	-
KAVS0885 ~ KAVS0888	-	-	-	-		-	-

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVS0889 ~ KAVS0893	-	-		-	-	-	-
KAVS0894 ~ KAVS0898	-	-	-	-		-	-
KAVS0900				-	-	-	-
KAVS0901				-		-	-
KAVS0902				-			-
KAVS0903 ~ KAVS0904				-		-	-
KAVS0905				-	-	-	-
KAVS0907				-		-	-
KAVS0909				-		-	-
KAVS0915				-		-	-
KAVS0920			-	-	-	-	-
KAVS0921				-	-	-	-
KAVS0930				-		-	-
KAVS0931	-	-	-	-		-	-
KAVS0932				-		-	-
KAVS0933				-	-	-	-
KAVS0934 ~ KAVS0935				-		-	-
KAVS0936	-	-	-	-		-	-
KAVS0940 ~ KAVS0950				-	-	-	-
KAVS0960 ~ KAVS0964				-		-	-
KAVS0965 ~ KAVS0971				-	-	-	-
KAVS0980 ~ KAVS0990				-		-	-
KAVS0991	-	-	-	-		-	-
KAVS0992				-		-	-
KAVS0993 ~ KAVS0994	-	-	-	-		-	-
KAVS0996	-	-	-	-		-	-
KAVS0997			-	-		-	-

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVS0998 ~ KAVS0999				-	-	-	
KAVS1002 ~ KAVS1008				-		-	-
KAVS1009	8	8		-	-	-	-
KAVS1200	-	-	-	-		-	-
KAVS1300 ~ KAVS1302				-		-	-
KAVS1400 ~ KAVS1401				-	-	-	-
KAVS1500 ~ KAVS1504				-		-	
KAVS1510	-	-	9	-	-	-	-
KAVS1512			-	-	-	-	-
KAVS1513	-	-	-	-		-	-
KAVS1514 ~ KAVS1515				-	-	-	-
KAVS1570 ~ KAVS1572	-	-		-	-	-	-
KAVS1600 ~ KAVS1602 10	-	-	-	-	-	-	-
KAVS1703 ~ KAVS1707	-	-	-	-		-	-
KAVS1709			-	-		-	-
KAVS1713			-	-		-	-
KAVS1714 ~ KAVS1718	-	-	-	-		-	-
KAVS1719	-	-			-	-	-
KAVS1720	-	-		-		-	-
KAVS1721 ~ KAVS1723	-	-		-	-	-	-
KAVS1724	-	-	-	-		-	-
KAVS1725			-	-		-	-
KAVS1726	-	-		-	-	-	-
KAVS1727	-	-		-	-	-	-

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	実行結果詳 細	JP1 イベ ント
KAVS1728	-	-		-	-	-	-
KAVS1729	-	-		-	-	-	-
KAVS1730	-	-		-	-	-	-
KAVS1731 ~ KAVS1742	-	-	-		-	-	-
KAVS1751 ~ KAVS1759	-	-	-		-	-	-
KAVS1770 ~ KAVS1773	-	-	-		-	-	-
KAVS1774 ~ KAVS1784	-	-	-	-		-	-
KAVS1785	-	-	-		-	-	-
KAVS1786	-	-	-	-		-	-
KAVS1790			-	-		-	-
KAVS1791			-	-		-	-
KAVS1792	-	-	-	-		-	-
KAVS1801 ~ KAVS1806				-	-	-	-
KAVS1807 ~ KAVS1811				-	-		-
KAVS1812				-		-	-
KAVS1813 ~ KAVS1816				-	-		-
KAVS1817 ~ KAVS1828				-	-		-
KAVS1829				-			-
KAVS1830				-			-
KAVS1831	11	11	11	-		-	-
KAVS1832 ~ KAVS1836				-	-		-
KAVS1837 ~ KAVS1838				-	-	-	-
KAVS1839 ~ KAVS1841				-	-		-
KAVS1842 ~ KAVS1845				-	-	-	-

# 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVS1846				-	-		-
KAVS1847	-	-		-			-
KAVS1848 ~ KAVS1854				-	-	-	-
KAVS1861				-	-	-	-
KAVS1862 ~ KAVS1863				-	-	-	-
KAVS1864				-		-	-
KAVS1865 ~ KAVS1872				-	-	-	-
KAVS1873 ~ KAVS1874				-	-		-
KAVS1875 ~ KAVS1878				-	-	-	-
KAVS1879				-	-		-
KAVS1881 ~ KAVS1886				-	-		-
KAVS1887				-	-	-	-
KAVS1888 ~ KAVS1890				-	-		-
KAVS1891 ~ KAVS1898				-	-	-	-
KAVS1900 ~ KAVS1908				-	-	-	-
KAVS1909				-	-		-
KAVS1920				-	-	-	-
KAVS1921				-	-		-
KAVS1922				-	-	-	-
KAVS1923				-	-		-
KAVS1924				-	-	-	-
KAVS1925				-			-
KAVS1926	-	-		-			-
KAVS1927				-			-
KAVS1929				-	-	-	-
KAVS1930				-	-	-	-
KAVS1931	-	-	-	-	-		-

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVS1932				-	-	-	-
KAVS1933	-	-	-	-	-		-
KAVS1939	-	-		-	-		-
KAVS1940 ~ KAVS1943				-	-	-	-
KAVS1952	-	-	-	-		-	-
KAVS1953				-		-	-
KAVS1954	11	11	11	-		-	-
KAVS1955	-	-	-	-		-	-
KAVS1956				-		-	-
KAVS1957 ~ KAVS1960	-	-	-	-		-	-
KAVS1961	11	11	11	-		-	-
KAVS1962	11	11	11	-		-	-
KAVS1963				-			-
KAVS1964				-			-
KAVS1965				-	-	-	-
KAVS1966 ~ KAVS1970				-	-	-	-
KAVS1971 ~ KAVS1977				-	-		-
KAVS1978				-	-	-	-
KAVS1979				-	-		-
KAVS1980 ~ KAVS1983				-		-	-
KAVS1985 ~ KAVS1988	-	-	-	-		-	-
KAVS1989 ~ KAVS1993				-		-	-
KAVS1994	-	-	-	-		-	-
KAVS1995				-		-	-
KAVS1996	-	-	-		-	-	-
KAVS1997	-	-	-	-		-	-
KAVS1998	11	11	11	-		-	-

# 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVS2101 ~ KAVS2110	-	-	-	-		-	-
KAVS2113 ~ KAVS2120	-	-	-	-		-	-
KAVS3400 ~ KAVS3401	-	-			-	-	-
KAVS3402 ~ KAVS3403	-	-		-	-	-	-
KAVS3404 ~ KAVS3405	-	-			-	-	-
KAVS3406 ~ KAVS3407	-	-		-	-	-	-
KAVS3408	-	-	-		-	-	-
KAVS3409 ~ KAVS3410	-	-		-	-	-	-
KAVS3411 ~ KAVS3413	-	-	-		-	-	-
KAVS3414 ~ KAVS3423	-	-		-	-	-	-
KAVS3424	-	-			-	-	-
KAVS3425 ~ KAVS3430	-	-		-	-	-	-
KAVS3431	-	-			-	-	-
KAVS3432	-	-		-	-	-	-
KAVS3600	-	-	-	-		-	-
KAVS3910				-		-	-
KAVS4091 ~ KAVS4092				-	-	-	-
KAVS4200 ~ KAVS4204				-	-	-	-
KAVS4209				-	-	-	-
KAVS4210 ~ KAVS4212	-	-	-	-		-	-
KAVS4601 ~ KAVS4621	-	-	-	-		-	-
KAVS4700 ~ KAVS4707	3	3		-	-		-



メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	実行結果詳 細	JP1 イベ ント
KAVS4708	3	3		-	-	-	-
KAVS4710	-	-	-	-	-		-
KAVS4711 ~ KAVS4716	3	3		-	-		-
KAVS4720 ~ KAVS4725				-	-	-	-
KAVS4730 ~ KAVS4733	3	3		-	-		-
KAVS4822 ~ KAVS4824	-	-	-	-		-	-
KAVS4826 ~ KAVS4830	-	-	-	-		-	-
KAVS4832 ~ KAVS4839	-	-	-	-		-	-
KAVS4900 ~ KAVS4918				-	-	-	-

## 注 1

スケジューラーサービス環境の設定によって出力されます。

## Windows の場合

[ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] タブにある [ スケジューラーサービスログのイベントログ出力 ] の設定、または環境設定パラメーター `AJSSYSLOG` の設定によって出力されます。

## UNIX の場合

環境設定パラメーター `AJSSYSLOG` の設定によって出力されます。

詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.4 スケジューラーログを定義する」、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

## 注 2

スケジューラーサービス環境の設定によって出力されます。

## Windows の場合

[ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] タブにある [ スケジューラーログ出力プロセスの開始・終了ログ出力 ( イベントログ ) ] の設定、または環境設定パラメーター `LOGDSYSLOG` の設定によって出力されます。

#### UNIX の場合

環境設定パラメーター LOGSYSLOG の設定によって出力されます。

詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.4 スケジューラーログを定義する」、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

#### 注 3

スケジューラーサービス環境の設定によって出力されます。

#### Windows の場合

[ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] タブにある [ ジョブネットログのイベントログ出力 ] の設定、または環境設定パラメーター NETSYSLOG の設定によって出力されます。

#### UNIX の場合

環境設定パラメーター NETSYSLOG の設定によって出力されます。

詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.4 スケジューラーログを定義する」、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

#### 注 4

環境設定パラメーター JOBDELAYWARNMSG および HNTROLGLEVEL の設定によって出力されます。環境設定パラメーターの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

#### 注 5

スケジューラーサービス環境の設定によって出力されます。

#### Windows の場合

[ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] タブにある [ ジョブログのイベントログ出力 ] の設定、または環境設定パラメーター JOBSYSLOG の設定によって出力されます。

#### UNIX の場合

環境設定パラメーター JOBSYSLOG の設定によって出力されます。

詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.4 スケジューラーログを定義する」、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

#### 注 6

環境設定パラメーター SYSLOGJOBMSG の設定によって出力されます。環境設定パラ

メーターの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.14 ジョブ・イベントジョブのエラーメッセージを syslog に出力するための設定」を参照してください。

注 7

スケジューラーサービス環境の設定によって出力されます。

Windows の場合

[ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ 論理ホスト共通 ] タブにある [ JP1/AJS2 - Monitor サービスの開始・終了ログ出力 ( イベントログ ) ] の設定、または環境設定パラメーター MONSYSLOG の設定によって出力されます。

UNIX の場合

環境設定パラメーター MONSYSLOG の設定によって出力されます。

詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.1 論理ホスト共通の情報を定義する」、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

注 8

スケジューラーサービス環境の設定によって出力されます。

Windows の場合

[ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ 論理ホスト共通 ] タブにある [ JP1/AJS2 - Monitor サービスの認証ログ出力 ( イベントログ ) ] の設定、または環境設定パラメーター AUTHSYSLOG の設定によって出力されます。

UNIX の場合

環境設定パラメーター AUTHSYSLOG の設定によって出力されます。

詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.1 論理ホスト共通の情報を定義する」、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

注 9

再編成ログに出力されます。

注 10

JP1/AJS2 Console View の [ 詳細情報 - [ AJS2 ユニット監視オブジェクト ] ] ダイアログボックスの [ 情報 ] テキストエリアに出力されます。 [ 詳細情報 - [ AJS2 ユニット監視オブジェクト ] ] ダイアログボックスについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 14.3.5 [ 詳細情報 - [ オブジェクト種別 ] ] ダイアログボックス」を参照してください。

注 11

ajsqlattach コマンドおよび ajsqldetach コマンド実行時は出力されません。

## (4) KAVT で始まるメッセージの出力先

メッセージ ID が KAVT で始まるメッセージ（イベント・アクション制御に関するメッセージ）の出力先を次の表に示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

（凡例）

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLib2 : 統合トレースログ

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

実行結果詳細 : [ 実行結果詳細 ] ダイアログボックス

JP1 イベント : JP1 イベント

: 出力する

- : 出力しない

表 1-9 KAVT で始まるメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVT0001	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0002 ~ KAVT0008				-	-	-	-
KAVT0009	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0020 ~ KAVT0023	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0025 ~ KAVT0027	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0034 ~ KAVT0036	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0039	-	-	-	-	-		-
KAVT0042	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0043 ~ KAVT0045	-	-	-	-	-		-
KAVT0058 ~ KAVT0094	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0098 ~ KAVT0099	-	-	1	-	-	-	-

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNT RLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVT0101 ~ KAVT0106	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0108	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0110	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0116	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0118	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0145 ~ KAVT0147	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0157	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0171	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0178 ~ KAVT0187	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0193 ~ KAVT0194	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0247 ~ KAVT0250	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0261	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0268	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0271 ~ KAVT0273	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0280	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0281 ~ KAVT0285	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0287	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0293 ~ KAVT0297	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0301 ~ KAVT0303	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0325 ~ KAVT0333	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0340 ~ KAVT0347	-	-		-	-	-	-
KAVT0401	-	-	-	-	-		-
KAVT0402 ~ KAVT0403	-	-	1	-	-		-

# 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNT RLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVT0404 ~ KAVT0406	-	-	-	-	-		-
KAVT0408	-	-	1	-	-		-
KAVT0409 ~ KAVT0411	-	-	-	-	-		-
KAVT0498 ~ KAVT0499	-	-	-	-	-	-	
KAVT0502	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0508	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0511 ~ KAVT0513	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0515	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0520 ~ KAVT0524	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0526 ~ KAVT0530	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0539 ~ KAVT0542	-	-	1	-	-		-
KAVT0544	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0559	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0562 ~ KAVT0563				-	-	-	-
KAVT0566	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0567	-	-	1	-	-		-
KAVT0570				-	-	-	-
KAVT0572				-	-	-	-
KAVT0582	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0588 ~ KAVT0593	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0600	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0603	-	-	-	-	-		-
KAVT0606 ~ KAVT0618	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0620	-	-	1	-	-		-

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNT RLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVT0621	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0625	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0628 ~ KAVT0629	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0632 ~ KAVT0633	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0635	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0637	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0641 ~ KAVT0646	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0649 ~ KAVT0651	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0654	-	-	1	-	-	-	-
KAVT0900 ~ KAVT0901	-	-	-	-	-	-	
KAVT0910 ~ KAVT0911		-	1	-	-	-	-
KAVT0912				-	-	-	-
KAVT0950 ~ KAVT0963	-	-	-		-	-	-
KAVT0980 ~ KAVT0981	-	-	1	-	-	-	-
KAVT1001 ~ KAVT1002	-	-	1	-	-	-	-
KAVT1003				-	-	-	-
KAVT1004 ~ KAVT1006	-	-	1	-	-	-	-
KAVT1007	-	-	1	-	-		-
KAVT1008				-	-	-	-
KAVT1013 ~ KAVT1015	-	-	1	-	-		-
KAVT1017	-	-	-	-	-		-
KAVT1025 ~ KAVT1028	-	-	1	-	-		-
KAVT1029 ~ KAVT1030	-	-	1	-	-	-	-

# 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNT RLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVT1031				-	-		-
KAVT1032				-	-	-	-
KAVT1033	-	-	1	-	-		-
KAVT1037 ~ KAVT1040				-	-	-	-
KAVT1041	-	-	1	-	-		-
KAVT1042				-	-	-	-
KAVT1045 ~ KAVT1048	-	-	1	-	-		-
KAVT1050				-	-	-	-
KAVT1052 ~ KAVT1056	-	-	1	-	-		-
KAVT1058 ~ KAVT1061	-	-	-	-	-		-
KAVT1062 ~ KAVT1067	-	-	1	-	-	-	-
KAVT1200 ~ KAVT1205	-	-	1	-	-		-
KAVT1206 ~ KAVT1213	-	-	1	-	-		-
KAVT1214	-	-	1	-	-	-	-
KAVT1217	-	-	1	-	-		-
KAVT1226	-	-	1	-	-	-	-
KAVT2001	-	-	1	-	-	-	-
KAVT2004 ~ KAVT2007	-	-	-	-	-		-
KAVT2012	-	-	1	-	-	-	-
KAVT2013 ~ KAVT2016	-	-	1	-	-		-
KAVT2017 ~ KAVT2018	-	-	-	-	-		-
KAVT2019	-	-	1	-	-	-	-
KAVT2020	-	-	-	-	-		-
KAVT2021 ~ KAVT2024	-	-	1	-	-	-	-



メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNT RLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVT2025 ~ KAVT2026	-	-	1	-	-		-
KAVT2028 ~ KAVT2029	-	-	1	-	-	-	-
KAVT2030 ~ KAVT2033	-	-	1	-	-		-
KAVT2034	-	-	1	-	-	-	-
KAVT2035 ~ KAVT2038	-	-	1	-	-		-
KAVT3001 ~ KAVT3015	-	-		-	-	-	-
KAVT3016	-	-		-	-		-
KAVT3017 ~ KAVT3040	-	-		-	-	-	-
KAVT3041	-	-		-	-		-
KAVT3042 ~ KAVT3206	-	-		-	-	-	-
KAVT3210 ~ KAVT3212	-	-		-	-	-	-
KAVT3268 ~ KAVT3271	-	-		-	-		-
KAVT3273 ~ KAVT3274	-	-		-	-		-
KAVT3275	-	-		-	-	-	-
KAVT3276 ~ KAVT3295	-	-		-	-		-
KAVT3296 ~ KAVT3304	-	-		-	-	-	-
KAVT3401	-			-	-	-	-
KAVT3402	-	-		-	-	-	-
KAVT3403	-			-	-	-	-
KAVT3404 ~ KAVT3405	-	-		-	-	-	-
KAVT3406	-			-	-	-	-
KAVT3407	-	-		-	-	-	-
KAVT3408	-			-	-	-	-

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNT RLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVT3409 ~ KAVT3420	-	-		-	-	-	-
KAVT3451 ~ KAVT3457	-	-		-	-		-
KAVT3458 ~ KAVT3460	-	-		-	-	-	-
KAVT3461 ~ KAVT3468	-	-		-	-		-
KAVT3469	-	-		-	-	-	-
KAVT3473 ~ KAVT3499	-	-		-	-		-
KAVT3501 ~ KAVT3502	-	-	1	-	-	-	-
KAVT3504		-	1	-	-		-
KAVT3512	-	-	1	-	-		-
KAVT3513				-	-		-
KAVT3514				-	-	-	-
KAVT3515				-	-		-
KAVT3519	-	-	1	-	-		-
KAVT3520				-	-	-	-
KAVT3521	-	-	1	-	-		-
KAVT3522	-	-	1	-	-	-	-
KAVT3523 ~ KAVT3524	-	-	1	-	-		-
KAVT3525 ~ KAVT3533	-	-	1	-	-	-	-
KAVT3534				-	-	-	-
KAVT3538 ~ KAVT3555	-	-	1	-	-	-	-
KAVT3556 ~ KAVT3558	-	-	1	-	-		-
KAVT3559 ~ KAVT3566	-	-	1	-	-	-	-
KAVT3567 ~ KAVT3570	-	-	1	-	-		-

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNT RLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVT3571 ~ KAVT3586	-	-	1	-	-	-	-
KAVT3587	-	-	1	-	-		-
KAVT3588 ~ KAVT3596	-	-	1	-	-	-	-
KAVT3597	-	-	1	-	-		-
KAVT3598	-	-	1	-	-	-	-
KAVT3700 ~ KAVT3720	-	-	1	-	-		-
KAVT3721 ~ KAVT3723	-	-	-	-	-		-
KAVT3801 ~ KAVT3824	-	-	2	-	-	-	-
KAVT4031	-	-		-	-	-	-
KAVT4036 ~ KAVT4037	-	-		-	-		-
KAVT4039	-	-		-	-		-
KAVT4057	-	-		-	-	-	-
KAVT4058	-	-		-	-		-
KAVT4068 ~ KAVT4072	-	-		-	-		-
KAVT4075 ~ KAVT4076	-	-		-	-		-
KAVT4080	-	-		-	-		-
KAVT4122 ~ KAVT4125	-	-		-	-		-
KAVT4134 ~ KAVT4150	-	-		-	-		-
KAVT4152	-	-		-	-		-
KAVT4155 ~ KAVT4156	-	-		-	-		-
KAVT4158 ~ KAVT4159	-	-	-	-	-		-
KAVT4160 ~ KAVT4161	-	-		-	-		-
KAVT4162	-	-		-	-		-

# 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNT RLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVT4163 ~ KAVT4168	-	-		-	-		-
KAVT4170 ~ KAVT4188	-	-		-	-		-
KAVT4189 ~ KAVT4190	-	-		-	-		-
KAVT4192 ~ KAVT4193	-	-		-	-		-
KAVT4195 ~ KAVT4197	-	-		-	-		-
KAVT4198 ~ KAVT4202	-	-		-	-		-
KAVT4203 ~ KAVT4216	-	-		-	-		-
KAVT4222 ~ KAVT4223	-	-		-	-		-
KAVT4230	-	-		-	-		-
KAVT4232	-	-		-	-		-
KAVT4235 ~ KAVT4253	-	-		-	-		-
KAVT4254 ~ KAVT4256	-	-		-	-		-
KAVT4257 ~ KAVT4258	-	-		-	-	-	-
KAVT4259	-	-		-	-		-
KAVT4260 ~ KAVT4414	-	-		-	-	-	-
KAVT4417 ~ KAVT4419	-	-		-	-	-	-
KAVT4451 ~ KAVT4457	-	-		-	-		-
KAVT4458 ~ KAVT4460	-	-		-	-	-	-
KAVT4461 ~ KAVT4468	-	-		-	-		-
KAVT4469 ~ KAVT4474	-	-		-	-	-	-
KAVT4499	-	-		-	-		-

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNT RLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVT4501 ~ KAVT4502	-	-	1	-	-		-
KAVT4503 ~ KAVT4505	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4506 ~ KAVT4512	-	-	1	-	-		-
KAVT4513	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4517	-	-	1	-	-		-
KAVT4521 ~ KAVT4526	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4527 ~ KAVT4528	-	-	1	-	-		-
KAVT4529 ~ KAVT4531	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4532 ~ KAVT4533	-	-	1	-	-		-
KAVT4534 ~ KAVT4537	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4538 ~ KAVT4539	-	-	1	-	-		-
KAVT4540 ~ KAVT4543	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4547	-	-	1	-	-		-
KAVT4548 ~ KAVT4551	-	-	-	-	-		-
KAVT4552 ~ KAVT4554	-	-	1	-	-		-
KAVT4555	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4556	-	-	1	-	-		-
KAVT4557	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4558 ~ KAVT4559	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4560	-	-	1	-	-		-
KAVT4561	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4562 ~ KAVT4571	-	-	1	-	-		-

# 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNT RLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVT4572 ~ KAVT4575	-	-	1	-	-		-
KAVT4576	-	-	1	-	-		-
KAVT4577	-	-	1	-	-		-
KAVT4579	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4581	-	-	1	-	-		-
KAVT4582	-	-	1	-	-		-
KAVT4583	-	-	1	-	-		-
KAVT4584	-	-	1	-	-		-
KAVT4585	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4586 ~ KAVT4591	-	-	1	-	-		-
KAVT4593	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4595	-	-	1	-	-		-
KAVT4596	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4597 ~ KAVT4598	-	-	1	-	-		-
KAVT4631 ~ KAVT4685	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4687	-	-	1	-	-		-
KAVT4688 ~ KAVT4694	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4695	-	-	-	-	-		-
KAVT4696 ~ KAVT4701	-	-	1	-	-	-	-
KAVT4951 ~ KAVT4962	-	-	1	-		-	-
KAVT5251 ~ KAVT5254	-	-		-	-		-
KAVT5255	-	-		-	-	-	-
KAVT5256	-	-		-	-		-
KAVT5264 ~ KAVT5266	-	-		-	-		-
KAVT5267	-	-		-	-		-

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベントログ	HNT RLib2	stdout	stderr	実行結果詳細	JP1 イベント
KAVT5268	-	-		-	-		-
KAVT5269 ~ KAVT5280	-	-		-	-		-
KAVT5286 ~ KAVT5290	-	-		-	-		-
KAVT5451 ~ KAVT5465	-	-		-	-		-
KAVT5466	-	-		-	-		-
KAVT5467	-	-		-	-	-	-
KAVT6001 ~ KAVT6006	-	-	-	-	-		-
KAVT6100 ~ KAVT6104	-	-	-	-	-		-
KAVT7001 ~ KAVT7002	-	-	1	-	-	-	-
KAVT7003	-	-	-	-	-		-
KAVT7004	-	-	1	-	-	-	-
KAVT7005 ~ KAVT7006	-	-	-	-	-		-
KAVT7007 ~ KAVT7011	-	-	1	-	-	-	-
KAVT7012 ~ KAVT7016	-	-	1	-	-		-
KAVT7501 ~ KAVT7514	-	-	2	-	-		-
KAVT8001 ~ KAVT8340	-	-	2	-		-	-
KAVT8341	-	-	-	-		-	-
KAVT8342	-	-		-		-	-
KAVT8343	-	-	-	-		-	-
KAVT8401 ~ KAVT8406	-	-	2	-	-	-	-

## 注 1

ジョブ・イベントジョブのエラーメッセージを syslog に出力するための設定をしている場合、メッセージの種類がエラー（-E）のメッセージは、ファシリティ=LOG\_DAEMON で syslog にも出力されます。

## 注 2

ジョブ・イベントジョブのエラーメッセージを syslog に出力するための設定をしている場合、メッセージの種類がエラー（・E）のメッセージは、ファシリティ =LOG\_USER で syslog にも出力されます。

ジョブ・イベントジョブのエラーメッセージを syslog に出力するための設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.14 ジョブ・イベントジョブのエラーメッセージを syslog に出力するための設定」を参照してください。

## (5) KAVU で始まるメッセージの出力先

メッセージ ID が KAVU で始まるメッセージ（ジョブ実行制御に関するメッセージ）の出力先を次の表に示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

## (凡例)

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLlib2 : 統合トレースログ

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

実行結果詳細 : [ 実行結果詳細 ] ダイアログボックス

JP1 イベント : JP1 イベント

: 出力する

- : 出力しない

表 1-10 KAVU で始まるメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLlib2	stdout	stderr	実行結果 詳細	JP1 イ ベント
KAVU0200	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0201 ~ KAVU0203	1	1	2	-	-	-	-
KAVU0204	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0205 ~ KAVU0206	1	1	2	-	-	-	-
KAVU0207 ~ KAVU0214	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0215 ~ KAVU0221	1	1	2	-	-	-	-



メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib2	stdout	stderr	実行結果 詳細	JP1 イ ベント
KAVU0222 ~ KAVU0223	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0224 ~ KAVU0225	1	1	2	-	-	-	-
KAVU0226 ~ KAVU0232	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0233	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0234	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0235	1	1	2	-	-	-	-
KAVU0236	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0237 ~ KAVU0242	1	1	2	-	-	-	-
KAVU0243	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0244	1	1	2	-	-	-	-
KAVU0245 ~ KAVU0247	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0248 ~ KAVU0252	1	1	2	-	-	-	-
KAVU0253 ~ KAVU0268	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0269	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0300 ~ KAVU0467	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0470 ~ KAVU0471	-	-	-	-	-	-	-
KAVU0474	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0500	-	-	2	-	-	-	-
KAVU0800 ~ KAVU0875	-	-	-	-	-	-	-
KAVU0900 ~ KAVU0999	-	-	-	-	-	-	-
KAVU1100 ~ KAVU1106	-	-	-	-	-	-	-
KAVU1201 ~ KAVU2236	-	-	4	-	-	-	-

# 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib2	stdout	stderr	実行結果 詳細	JP1 イ ベント
KAVU2237 ~ KAVU2242	-	-	4	-	-	-	-
KAVU2243 ~ KAVU2246	-	-	4	-	-	-	-
KAVU3100 ~ KAVU3104				-	-	-	-
KAVU3105		-		-	-	-	-
KAVU3110 ~ KAVU3111				-	-	-	-
KAVU3112		-		-	-	-	-
KAVU3200 ~ KAVU3212	-	-	4	-	-	-	-
KAVU3213 ~ KAVU3216	-	-		-	-	-	-
KAVU3221 ~ KAVU3295	-	-	4	-	-	-	-
KAVU3500 ~ KAVU3599	-	-	4	-	-	-	-
KAVU3800	-	-	-		-	-	-
KAVU3900 ~ KAVU3906	-	-	-	-		-	-
KAVU4100 ~ KAVU4113				-	-	-	-
KAVU4200 ~ KAVU4293	-	-	4	-	-	-	-
KAVU4294 ~ KAVU4296	-	-	4	-	-		-
KAVU4297	-	-	4	-	-	-	-
KAVU4299	-	-	-	-		-	-
KAVU4300 ~ KAVU4312	-	-	4	-	-	-	-
KAVU4331	-	-	4	-	-	-	-
KAVU4500 ~ KAVU4526	-	-	4	-	-	-	-
KAVU4527 ~ KAVU4528	-	-	-	-	-		-
KAVU4529 ~ KAVU4599	-	-	4	-	-	-	-

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib2	stdout	stderr	実行結果 詳細	JP1 イ ベント
KAVU4626	-	-	-	-	-	-	-
KAVU4700 ~ KAVU4704	-	-	4	-	-	-	-
KAVU4717 ~ KAVU4718	-	-	4	-	-	-	-
KAVU4720	-	-	4	-	-	-	-
KAVU5002 ~ KAVU5007	-	-	-	-	-	-	-
KAVU5009	-	-	-	-	-	-	-
KAVU5012 ~ KAVU5014	-	-	-	-	-	-	-
KAVU5015	-	-	2	-	-	-	-
KAVU5016	-	-	2	-	-	-	-
KAVU5200 ~ KAVU5296	-	-	2	-	-	-	-
KAVU5309 ~ KAVU5311	-	-	-	-	-	-	-
KAVU5501 ~ KAVU5502	-	-	2	-	-	-	-
KAVU5800 ~ KAVU5801	-	-	-	-	-	-	-
KAVU5900 ~ KAVU5971	-	-	-	-	-	-	-
KAVU5980 ~ KAVU5984	3	3	-	-	3	-	3
KAVU5986	-	-	-	-	-	-	-
KAVU6100 ~ KAVU6109	-	-	-	-	-	-	-
KAVU6200 ~ KAVU6218	-	-	2	-	-	-	-
KAVU7110 ~ KAVU7111	-	-	-	-	-	-	-
KAVU7112 ~ KAVU7113	-	-	-	-	-	-	-
KAVU7200 ~ KAVU7240	-	-	2	-	-	-	-

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	出力先						
	syslog	イベント ログ	HNTRLib2	stdout	stderr	実行結果 詳細	JP1 イ ベント
KAVU7530 ~ KAVU7535	-	-	2	-	-	-	-

### 注 1

ジョブ実行制御のコマンドを実行した場合、またはジョブネットからジョブの登録に失敗した場合は、Windows イベントログおよび syslog には出力されません。

### 注 2

環境設定パラメーター SYSLOGJOBMSG の設定によって、メッセージの種類がエラー (-E) のメッセージは、ファシリティ = LOG\_DAEMON または LOG\_USER で syslog にも出力されます。

環境設定パラメーター SYSLOGJOBMSG の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.14 ジョブ・イベントジョブのエラーメッセージを syslog に出力するための設定」を参照してください。

### 注 3

コマンドの指定オプションによって、出力先が異なります。

### 注 4

環境設定パラメーター SYSLOGJOBMSG の設定によって、メッセージの種類がエラー (-E) のメッセージは、ファシリティ = LOG\_DAEMON で syslog にも出力されます。

環境設定パラメーター SYSLOGJOBMSG の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.14 ジョブ・イベントジョブのエラーメッセージを syslog に出力するための設定」を参照してください。

ジョブ・イベントジョブのエラーメッセージを syslog に出力するための設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.14 ジョブ・イベントジョブのエラーメッセージを syslog に出力するための設定」を参照してください。

## (6) KAVV で始まるメッセージの出力先

メッセージ ID が KAVV で始まるメッセージ (JP1/AJS2 - View に関するメッセージ) の出力先を次に示します。

Windows XP Professional および Windows Server 2003 の場合

JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ ¥log¥ajs2view#nnnn\_{1|2}.log

JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダは、デフォルトでは「システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥jp1ajs2v」です。64 ビット版の環境では、「システムドライブ ¥Program Files (x86)¥Hitachi¥jp1ajs2v」です。

#### Windows Vista および Windows Server 2008 の場合

```
%ALLUSERSPROFILE%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2V¥log¥ajs2view
#nnnn_{1|2}.log
```

「%ALLUSERSPROFILE%」のデフォルトは「システムドライブ ¥ProgramData」です。

#### 補足事項

- JP1/AJS2 - View を単数起動時の場合は、「#nnnn\_」が省略されます。複数起動時の場合は、「#nnnn」には 0001 ~ 9999 の任意の値が割り当てられます。
- JP1/AJS2 の中では、JP1/Base のプロセス管理を使用しています。JP1/AJS2 のトラブルを監視するのとあわせて、JP1/Base のプロセス管理に関するメッセージも監視してください。

### (7) KFP で始まるメッセージの出力先

KFP で始まるメッセージの出力先は、各メッセージの説明に記載されている出力先種別で確認できます。出力先種別の意味を次に示します。

- A : SQLCA (SQL 連絡領域)
- E : 標準エラー出力
- L : syslog ファイルまたは Windows イベントログ
- S : 標準出力

## 1.4 Windows イベントログと syslog の一覧

### (1) Windows イベントログと syslog 出力メッセージ情報一覧

JP1/AJS2 が Windows イベントログと syslog に出力する情報の一覧を次に示します。

表 1-11 Windows イベントログと syslog 出力メッセージ情報一覧

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVB3501-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3516-E	-	-	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3613-W	2	警告	LOG_USER	LOG_WARNING
KAVB3614-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3620-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3621-E	-	-	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3623-E	-	-	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3624-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3625-E ~ KAVB3626-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3642-E ~ KAVB3644-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3649-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3737-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3752-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3788-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3792-E	1	エラー	-	-
KAVB3862-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3870-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3872-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3874-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3875-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3899-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVB3953-E ~ KAVB3957-E	1	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0001-I	10001	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVC0002-I	10002	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVC0108-E	10108	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0330-E	10330	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0331-E	10331	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0356-E	10356	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0802-E	10802	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVC0805-E	10805	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVC0807-E	10807	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVC0901-E	10901	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0902-E	10902	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0903-E	10903	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0904-E	10904	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0905-E	10905	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0907-E	10907	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0920-W	10920	警告	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_WARNING
KAVC0950-E	10950	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0951-E	10951	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC0953-E	10953	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC2001-I	12001	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVC2002-I	12002	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVC2108-E	12108	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC2330-E	12330	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVC2331-E	12331	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC2805-E	12805	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVC2901-E	12901	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC2902-E	12902	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC2903-E	12903	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC2904-E	12904	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC2905-E	12905	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC2907-E	12907	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC2920-W	12920	警告	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_WARNING
KAVC2950-E	12950	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC2951-E	12951	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVC2953-E	12953	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0119-E	30119	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0125-E	30125	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0132-E	30132	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0135-E	30135	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0168-E	30168	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0176-E	30176	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0189-E	30189	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0200-I	30200	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0201-I	30201	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0202-E	30202	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0203-I	30203	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0204-E	30204	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR



メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVS0210-I	30210	情報	LOG_USER	LOG_INFO
KAVS0211-W	30211	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS0212-W	30212	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS0213-I	30213	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0214-I	30214	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0215-I	30215	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0216-E	30216	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0217-E	30217	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0218-E	30218	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0220-I	30220	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0221-I	30221	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0230-E	30230	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0231-W	30231	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS0232-W	30232	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS0240-I	30240	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0241-I	30241	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0243-E	30243	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0244-E	30244	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0248-I	30248	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0251-I <sub>2</sub>	-	-	-	-
KAVS0252-I <sub>2</sub>	-	-	-	-
KAVS0253-I <sub>2</sub>	-	-	-	-
KAVS0254-I <sub>2</sub>	-	-	-	-
KAVS0260-I	30260	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0261-I	30261	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0262-E	30262	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0263-I	30263 ( 31263 ) 1	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0264-I	30264 ( 31264 ) 1	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVS0265-E	30265 ( 31265 ) 1	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0267-I	30267	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0268-W	30268	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS0269-W	30269 ( 31269 ) 1	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS0270-I	30270	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0271-I	30271	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0272-E	30272	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0273-E	30273	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0274-E	30274	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0275-I	30275	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0276-I	30276	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0277-I	30277	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0279-E	30279	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0301-E	30301	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0314-E	30314	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0315-E	30315	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0317-E	30317	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0318-E	30318	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0319-E	30319	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0500-E	30500	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0530-I	30530	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0531-I	30531	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0532-I	30532	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0533-I	30533	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS0534-I	30534	情報	LOG_USER	LOG_INFO
KAVS0535-I	30535	情報	LOG_USER	LOG_INFO
KAVS0670-E	30670	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0863-E	30863	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0864-E	30864	エラー	LOG_USER	LOG_ERR

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVS0865-E	30865	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0866-E	30866	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0867-E	30867	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0869-E	30869	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0900-W	30900	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS0901-E	30901	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0902-E	30902	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0903-E	30903	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0904-E	30904	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0905-E	30905	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0907-E	30907	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0909-E	30909	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0915-E	30915	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0920-W	30920	警告	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_WARNING
KAVS0921-W	30921	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS0930-E	30930	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0932-E	30932	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0933-W	30933	警告	LOG_USER	LOG_WARNING
KAVS0934-E	30934	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0935-E	30935	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0936-E	30936	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0940-E	30940	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0941-E	30941	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0942-W	30942	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS0943-E	30943	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVS0945-E	30945	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0946-E	30946	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0950-E	30950	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0960-E	30960	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0961-E	30961	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0962-E	30962	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0964-E	30964	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0965-E	30965	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0966-E	30966	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0970-E	30970	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0971-E	30971	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0981-E	30981	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0982-E	30982	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0983-E	30983	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0984-E	30984	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0985-E	30985	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0986-E	30986	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0987-E	30987	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0988-E	30988	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0989-E	30989	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0990-E	30990	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS0992-E	30992	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0998-E	30998	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS0999-W	30999	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS1002-E	31002	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1003-E	31003	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVS1004-E	31004	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1005-E	31005	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1006-W	31006	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS1007-E	31007	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1008-E	31008	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1009-W	31009	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS1300-I	31300	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1301-I	31301	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1302-I	31302	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1400-E	31400	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1500-I	31500	情報	LOG_USER	LOG_INFO
KAVS1501-I	31501	情報	LOG_USER	LOG_INFO
KAVS1502-E	31502	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVS1503-I	31503	情報	LOG_USER	LOG_INFO
KAVS1504-W	31504	警告	LOG_USER	LOG_WARNING
KAVS1512-E	31512	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS1514-E	31514	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS1515-E	31515	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVS1709-E	31709	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVS1713-E	31713	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVS1725-E	31725	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVS1790-E	31790	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVS1791-E	31791	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVS1801-I	31801	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1802-I	31802	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1803-E	31803	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1804-I	31804	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1805-E	31805	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1806-I	31806	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1807-E	31807	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1808-E	31808	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVS1809-E	31809	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1810-E	31810	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1811-E	31811	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1812-E	31812	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1813-E	31813	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1814-E	31814	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1815-E	31815	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1816-E	31816	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1817-E	31817	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1818-E	31818	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1819-E	31819	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1820-E	31820	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1821-E	31821	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1822-E	31822	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1823-E	31823	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1824-E	31824	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1825-E	31825	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1826-E	31826	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1827-E	31827	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1828-E	31828	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1829-E	31829	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1830-E	31830	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1831-E	31831	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1832-E	31832	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1833-E	31833	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1834-E	31834	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1835-E	31835	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1836-E	31836	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1837-E	31837	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1838-E	31838	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1839-E	31839	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1840-E	31840	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1841-E	31841	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVS1842-E	31842	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1843-E	31843	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1844-E	31844	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1845-E	31845	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1846-E	31846	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1848-W	31848	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS1849-W	31849	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS1850-E	31850	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1851-I	31851	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1852-I	31852	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1853-I	31853	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1854-E	31854	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1861-E	31861	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1862-I	31862	情報	-	-
KAVS1863-I	31863	情報	-	-
KAVS1864-E	31864	エラー	-	-
KAVS1865-E	31865	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1866-E	31866	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1867-E	31867	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1868-E	31868	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1869-E	31869	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1870-E	31870	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1871-E	31871	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1872-E	31872	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1873-E	31873	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1874-E	31874	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1875-E	31875	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1876-E	31876	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1877-E	31877	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1878-E	31878	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1879-E	31879	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1881-E	31881	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1882-E	31882	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVS1883-E	31883	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1884-E	31884	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1885-E	31885	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1886-E	31886	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1887-E	31887	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1888-E	31888	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1889-E	31889	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1890-E	31890	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1891-E	31891	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1892-E	31892	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1893-E	31893	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1894-E	31894	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1896-E	31896	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1897-E	31897	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1898-I	31898	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1900-W	31900	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS1901-I	31901	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1902-W	31902	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS1903-E	31903	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1904-E	31904	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1905-W	31905	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS1906-E	31906	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1907-E	31907	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1908-W	31908	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS1909-E	31909	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1920-E	31920	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1921-E	31921	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1922-W	31922	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS1924-E	31924	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1925-E	31925	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1927-E	31927	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1929-I	31929	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1930-W	31930	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING



メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVS1932-E	31932	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1940-E	31940	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1941-E	31941	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1942-E	31942	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1943-E	31943	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1953-E	31953	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1956-E	31956	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1963-E	31963	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1964-E	31964	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1965-I	31965	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1966-I	31966	情報	-	-
KAVS1967-I	31967	情報	-	-
KAVS1968-I	31968	情報	-	-
KAVS1969-I	31969	情報	-	-
KAVS1970-I	31970	情報	-	-
KAVS1971-E	31971	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1972-E	31972	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1973-E	31973	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1974-E	31974	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1975-E	31975	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1976-E	31976	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1977-E	31977	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1978-E	31978	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1979-E	31979	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1980-I	31980	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1981-I	31981	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1982-I	31982	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1983-I	31983	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1984-I 2	-	-	-	-
KAVS1989-E	31989	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1990-E	31990	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1991-E	31991	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVS1992-E	31992	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1993-E	31993	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1995-E	31995	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS1996-I	31996	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS1997-E	31997	エラー	-	-
KAVS1998-E	31998	エラー	-	-
KAVS4091-E	34091	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4092-I	34092	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS4200-E	34200	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4201-E	34201	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4202-E	34202	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4203-E	34203	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4204-E	34204	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4700-E	34700	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4701-E	34701	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4702-E	34702	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4703-E	34703	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4704-E	34704	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4705-E	34705	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4706-E	34706	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4707-E	34707	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4708-E	34708	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4711-E	34711	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4712-E	34712	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4713-E	34713	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4714-E	34714	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4715-E	34715	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4716-E	34716	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4720-E	34720	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4721-E	34721	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4722-I	34722	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS4723-I	34723	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS4724-E	34724	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVS4725-E	34725	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4900-I	34900	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS4901-I	34901	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS4902-W	34902	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS4903-I	34903	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS4904-I	34904	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVS4905-E	34905	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4906-W	34906	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS4907-W	34907	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS4908-E	34908	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4909-E	34909	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4910-E	34910	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4911-E	34911	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4912-E	34912	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4913-E	34913	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4914-E	34914	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4915-I	34915	情報	LOG_DAEMON	LOG_DAEMON
KAVS4916-W	34916	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVS4917-E	34917	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVS4918-I	34918	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVT0002-I	10002	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVT0003-I	10003	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVT0008-E	10008	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT0562-I	10562	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVT0563-I	10563	情報	LOG_DAEMON	LOG_INFO
KAVT0570-E	10570	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT0572-E	10572	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT0912-E	10912	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT1003-E	11003	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT1008-E	11008	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT1013-E	11013	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT1031-E	11031	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT1032-E	11032	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVT1037-E	11037	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT1040-E	11040	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT1042-E	11042	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT1050-E	11050	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT3401-I	13401	情報	-	-
KAVT3403-I	13403	情報	-	-
KAVT3406-I	13406	情報	-	-
KAVT3408-I	13408	情報	-	-
KAVT3504-E	-	-	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT3513-E	13513	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT3514-E	13514	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT3515-E	13515	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT3520-E	13520	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVT3534-E	13534	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVU0201-E	20201	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0202-E	20202	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0203-E	20203	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0205-E	20205	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0206-E	20206	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0215-E	20215	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0216-E	20216	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0217-E	20217	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0218-E	20218	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0219-E	20219	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0220-E	20220	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVU0221-E	20220	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0224-E	20224	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0225-W	20225	警告	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_WARNING
KAVU0235-E	20235	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0237-E	20237	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0238-E	20238	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0239-E	20239	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0240-E	20240	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0241-E	20241	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0242-E	20242	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0244-E	20244	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0248-E	20248	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0249-E	20249	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0250-E	20250	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0251-E	20251	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU0252-E	20252	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU1100-I	21100	情報	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU1101-I	21101	情報	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU1102-E	21102	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVU1103-I	21103	情報	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU1104-E	21104	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVU1105-E	21105	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR

## 1. JP1/AJS2 のメッセージの概要

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVU1106-E	21106	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVU3100-I	23100	情報	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU3101-I	23101	情報	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU3104-I	23104	情報	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU3105-I	-	-	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU3110-E	23110	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVU3111-E	23111	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVU3112-E	-	-	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVU4100-I	24100	情報	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU4101-I	24101	情報	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU4102-I	24102	情報	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU4103-I	24103	情報	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU4104-I	24104	情報	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU4105-I	24105	情報	LOG_DAEMON	LOG_NOTICE
KAVU4110-E	24110	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVU4111-E	24111	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVU4112-E	24112	エラー	LOG_DAEMON	LOG_ERR
KAVU4113-W	24113	警告	LOG_DAEMON	LOG_WARNING
KAVU5009-E	25009	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVU5980-I	25980	情報	LOG_USER	LOG_NOTICE
KAVU5981-I	25981	情報	LOG_USER	LOG_NOTICE
KAVU5982-E	25982	エラー	LOG_USER	LOG_ERR
KAVU5983-I	25983	情報	LOG_USER	LOG_NOTICE
KAVU5984-W	25984	警告	LOG_USER	LOG_WARNING
KAVU6100-I	26100	情報	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_NOTICE
KAVU6101-I	26101	情報	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_NOTICE
KAVU6102-E	26102	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU6103-E	26103	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU6104-E	26104	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)		UNIX ( syslog )	
	イベント ID	種類	ファシリティ	レベル
KAVU6105-E	26105	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU6106-E	26106	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU6107-E	26107	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU6108-E	26108	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU6109-E	26109	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU7110-E	-	-	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU7111-E	-	-	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU7112-E	27112	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR
KAVU7113-E	27113	エラー	LOG_DAEMON , LOG_USER	LOG_ERR

## 注 1

[ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] タブにある [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に [ 完全 ] を指定している場合は、括弧内のイベント ID で出力されます。

## 注 2

キューレスログファイルに出力されます。詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 E.2 キューレスエージェントサービスが出力するログ」を参照してください。

## (2) Windows イベントログの情報

JP1/AJS2 が出力するイベントの「ソース」は「JP1/AJS2」が設定されます。

ただし、例外として JP1/AJS2 Console で出力するイベントの「ソース」は、それぞれ次のものが設定されるので注意してください。

- JP1/AJS2 Console Manager の場合："JP1/AJS2 Console Manager"
- JP1/AJS2 Console Agent の場合："JP1/AJS2 Console Agent"





# 2

## メッセージ一覧

JP1/AJS2 が出力するメッセージと対処方法について説明します。

- 
- |     |   |
|-----|---|
| 2.1 | KAVB で始まるメッセージ ( プロセス管理が出力するメッセージ )             |
| 2.2 | KAVC で始まるメッセージ ( JP1/AJS2 Console に関するメッセージ )   |
| 2.3 | KAVS で始まるメッセージ ( スケジューラーに関するメッセージ )             |
| 2.4 | KAVT で始まるメッセージ ( イベント・アクション制御に関するメッセージ )        |
| 2.5 | KAVU で始まるメッセージ ( ジョブ実行制御に関するメッセージ )             |
| 2.6 | KAVV100 ~ KAVV899 ( JP1/AJS2 - View に関するメッセージ ) |
| 2.7 | KFP で始まるメッセージ ( 組み込み DB 関連のメッセージ )              |
-

## 2.1 KAVB で始まるメッセージ（プロセス管理が出力するメッセージ）

KAVB で始まるメッセージ（プロセス管理が出力するメッセージ）の一覧次に示します。

### KAVB3501-E

An attempt to open the message file has failed.

メッセージファイルのオープンに失敗しました。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

Windows の場合

資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

UNIX の場合

次の要因が考えられます。環境の確認を行ってください。

- /opt/jplajs2/lib/nls 配下のファイルに読み取り権限がないおそれがあります。読み取り権限を与えてください。
- システムでオープンできるファイルの最大値になっているおそれがあります。カーネルパラメーターを見直してください。
- 一時的なメモリー不足が考えられます。再実行してください。また、不要なプロセスを終了してから再実行してください。
- ディレクトリまたはファイルが削除されたおそれがあります。再インストールしてください。

解決できない場合は、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

### KAVB3502-E

An attempt to read the message file has failed.

メッセージファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

JP1/AJS2 のセットアップが正常終了したか確認してください。

### KAVB3503-E

An attempt to read the message file has failed.

メッセージファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

/opt/jplajs2/lib/nls ディレクトリ下にメッセージファイル（jbsspm.cat）があるか、また、参照権限が適切か確認してください。

### KAVB3504-E

An error occurred in internal processing to output a message.

メッセージ出力の内部処理でエラーが発生しました。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認してください。

### KAVB3516-E

An attempt to start the process management has failed.  
(errno = 要求コード)

プロセス管理の起動に失敗しました。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

製品が正しくインストールされているか確認してください。

### KAVB3552-E

コンポーネント名 管理対象プロセス名 has timed out.  
コンポーネント名の管理対象プロセス名への要求はタイムアウトしました

要求がタイムアウトしました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は、プロセス管理で管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

(O)

リロード要求の場合、タイムアウト値を大きくして再実行してください。その他の場合、しばらく待ったあと、要求を再実行してください。再実行しても同じ現象が発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

**KAVB3553-E**

SIGKILL was sent to 管理対象プロセス名 of コンポーネント名, but termination could not be detected.  
 コンポーネント名の管理対象プロセス名へSIGKILLを送信しましたが、終了を検知できません

SIGKILLを送信しましたが、終了を検知できません。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

- (S)  
 プロセス管理を終了します。
- (O)  
 資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

**KAVB3554-I**

A コンポーネント名 reload request has finished.  
 コンポーネント名のリロード要求は完了しました

リロード要求が完了しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
 処理を続行します。

**KAVB3564-I**

jxx\_spmd: コンポーネント名 will now start all inactive processes.  
 jxx\_spmd: コンポーネント名の停止中の全プロセスを起動します

停止中の管理対象のプロセスをすべて起動します。jxx は jajs です。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
 処理を続行します。

**KAVB3574-I**

jxx\_spmd\_reload: A reload request will now be sent to all running processes of コンポーネント名.  
 jxx\_spmd\_reload: コンポーネント名の起動中の全プロセスに対しリロード要求を送信します

起動中の管理対象のプロセスすべてに対しリロード要求を送信します。jxx は jajs です。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
 処理を続行します。

**KAVB3577-I**

jxx\_spmd\_stop: A stop request will now be sent to all processes of コンポーネント名.  
 jxx\_spmd\_stop: コンポーネント名の全プロセスに対し停止要求を送信します

管理対象のプロセスすべてに対し停止要求を送信します。jxx は jajs です。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
 処理を続行します。

**KAVB3578-I**

コンポーネント名 has ended.  
 コンポーネント名を終了します

プロセス管理を終了します。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
 プロセス管理を終了します。

**KAVB3586-I**

コンポーネント名 has terminated.  
 コンポーネント名を終了します

プロセス管理を終了します。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
 プロセス管理を終了します。

**KAVB3597-I**

jxx\_spmd\_stop -kill: A forced stop (kill) will be performed on all processes of コンポーネント名.  
 jxx\_spmd\_stop -kill: コンポーネント名の全プロセスに強制停止を行います

管理対象のプロセスすべてに対し強制停止を行います。jxx は jajs です。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
 処理を続行します。

**KAVB3599-E**

main\_loop: An invalid request was received. (event ID = 要求種別)  
 main\_loop: 不正な要求を受け取りました eventid = 要求種別

不正な要求を受け取りました。

- (S)  
 処理を続行します。
- (O)  
 資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB3602-I

---

コンポーネント名 received a startup report from 管理対象プロセス名.  
コンポーネント名の管理対象プロセス名から起動完了通知を受信しました

---

起動完了通知を受信しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVB3603-I

---

All processes of コンポーネント名 are running.  
コンポーネント名の全プロセスが起動しました

---

管理対象プロセスがすべて起動しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVB3604-I

---

コンポーネント名 startup has finished.  
コンポーネント名の起動が完了しました

---

サービスの起動が完了しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVB3605-I

---

コンポーネント名 completed to send the start up request to the 管理対象プロセス名.  
コンポーネント名の管理対象プロセス名に対する起動要求が完了しました

---

異常終了した管理対象プロセスの再起動が完了しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVB3608-I

---

コンポーネント名 received a reload-completed notification from 管理対象プロセス名.  
コンポーネント名の管理対象プロセス名からリロード完了通知を受信しました

---

管理対象プロセスからリロード完了通知を受信しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVB3609-I

---

A コンポーネント名 reload request has finished.  
コンポーネント名のリロード要求が完了しました

---

管理対象プロセスのリロード処理がすべて完了しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVB3610-I

---

コンポーネント名 received an termination notification from 管理対象プロセス名.  
コンポーネント名の管理対象プロセス名から終了通知を受信しました

---

管理対象プロセスから終了通知を受信しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVB3612-I

---

A stop request will now be sent to all processes of コンポーネント名.  
コンポーネント名の全プロセスに対し停止要求を送信します

---

管理対象プロセスすべてに対し停止要求を送信します。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVB3613-W

---

A コンポーネント名 timeout occurred in 管理対象プロセス名. Processing continues.  
コンポーネント名の管理対象プロセス名の起動がタイムアウトしました 処理を継続します

---

管理対象プロセスの起動タイムアウトが発生しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)  
処理を続行します。

(O)  
しばらく待ったあと、管理対象プロセスの起動が完了しないで、サービスが起動しない場合は、  
jajs\_spmd\_stop -kill で強制終了し再起動してください。

**KAVB3614-E**

Process management will now stop because an invalid コンポーネント名 status occurred.  
コンポーネント名不正な状態のためプロセス管理を停止します

不正な状態のためプロセス管理を停止します。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
プロセス管理を終了します。
- (O)  
資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

**KAVB3616-I**

Restart of the コンポーネント名 管理対象プロセス名 has finished.  
コンポーネント名 の管理対象プロセス名 の再起動が完了しました

異常終了した管理対象プロセスの再起動が完了しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVB3620-E**

The user does not have permission to execute the command 実行コマンド名.  
実行権限がありません。実行コマンド名

Administrators 権限がないユーザーがコマンドを実行しようとした。

- (S)  
コマンドを実行しません。
- (O)  
Administrators 権限があるユーザーで実行してください。

**KAVB3621-E**

A fork system call failed during initialization: コンポーネント名  
初期化時に fork に失敗しました: コンポーネント名

プロセス管理の起動時にバックグラウンドで実行するための fork システムコールに失敗しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
プロセス管理を終了します。
- (O)  
システムのメモリーが不足していないか確認してください。

さい。また、OS が正常に運用されているか確認してください。

**KAVB3623-E**

The setsid function failed. (エラーの説明)  
setsid 関数が失敗しました エラーの説明

setsid システムコールが失敗しました。

- (S)  
プロセス管理を終了します。
- (O)  
システムのメモリーが不足していないか確認してください。また、OS が正常に運用されているか確認してください。

**KAVB3624-E**

An attempt to create a process management table has failed.  
プロセス管理テーブルの作成に失敗しました

プロセス管理テーブルの作成に失敗しました。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
システムのメモリーが不足していないか、また、製品が正しくインストールされているか確認してください。拡張起動プロセス定義ファイル (jp1xx\_service\_0700.conf) の設定値が正しく設定されているか確認してください。また、プロセス管理の管理対象プロセスが正常終了しないで残ってしまっていないか確認してください。jp1xx は、jp1ajs です。  
拡張起動プロセス定義ファイルを削除後、プロセス管理を起動してください。

**KAVB3625-E**

An internal error occurred. Execution Command names differ. 実行コマンド名  
内部エラー: 実行コマンド名の不一致. 実行コマンド名

実行コマンド名の不一致です。

- (S)  
プロセス管理を終了します。
- (O)  
資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

**KAVB3626-E**

An attempt to create a lock file has failed. ロックファイルのパス-エラーの説明  
ロックファイルの作成に失敗しました. ロックファイルのパス エラーの説明

ロックファイルの作成に失敗しました。

- (S)           プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)           conf ディレクトリがあるか、読み込み権限および書き込み権限があるか確認してください。また、クラスタシステムで運用している場合、定義した conf ディレクトリがあるか、読み込み権限および書き込み権限があるか確認してください。

---

#### KAVB3627-I

コンポーネント名 is already running.  
コンポーネント名はすでに起動しています

サービスの二重起動です。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)           プロセス管理コマンドを終了します。

---

#### KAVB3631-E

build\_proc\_table : The return value NULL was returned to the getfield function. 設定値  
build\_proc\_table : getfield 関数に戻り値 NULL が返りました. 設定値.

拡張起動プロセス定義ファイル  
(jp1xx\_service\_0700.conf) のエントリーが正しく設定されていません。jp1xx は、jp1ajs です。

- (S)           プロセス管理を終了します。
- (O)           拡張起動プロセス定義ファイルのエントリーが正しく設定されているか確認してください。

---

#### KAVB3642-E

An internal error occurred. Component names differ. コンポーネント名  
内部エラー：コンポーネント名の不一致 コンポーネント名

コンポーネント名の不一致です。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)           プロセス管理を終了します。
- (O)           資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

---

#### KAVB3643-E

An attempt to open the environment definition file ファイル名 has failed.  
環境定義ファイルがオープンできませんでした ファイル名

環境定義ファイルがオープンできませんでした。

- (S)           プロセス管理を終了します。
- (O)           製品が正しくインストールされているか確認してください。

---

#### KAVB3644-E

An attempt to expand the environment variables has failed.  
環境変数の展開に失敗しました

jp1xx\_env.conf からの環境変数の読み込み処理に失敗しました。jp1xx は、jp1ajs です。

- (S)           プロセス管理を終了します。
- (O)           システムのメモリーが不足していないか確認してください。

---

#### KAVB3645-I

The logical hostname for process management is 論理ホスト名.  
プロセス管理 論理ホスト名 論理ホスト名

プロセス管理は論理ホストで起動します。

- (S)           処理を続行します。

---

#### KAVB3646-I

The オプション名 option is specified.  
オプション名オプションが指定されました

プロセス管理はオプション付きで起動します。

- (S)           処理を続行します。

---

#### KAVB3649-E

The environment variable of JP1\_HOSTNAME is empty.  
環境変数 JP1\_HOSTNAME が空文字です

環境変数 JP1\_HOSTNAME の設定が正しくありません。

- (S)           プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)

環境変数 JP1\_HOSTNAME に正しい論理ホスト名を設定するか、環境変数 JP1\_HOSTNAME を削除してください。

#### KAVB3651-I

Startup processing for コンポーネント名 has started.  
コンポーネント名の起動処理を開始します

プロセス管理が管理対象プロセスの起動処理を行います。  
コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S) プロセス管理が管理対象プロセスを起動します。

#### KAVB3652-E

A timeout occurred during the wait for a response.  
(timeout period = タイムアウト秒 seconds)  
応答待ちタイムアウトが発生しました タイムアウト秒 :  
タイムアウト秒

応答を待っている間にタイムアウトが発生しました。

- (S) プロセス管理コマンドを終了します。
- (O) タイムアウト値を変えて再実行してください。

#### KAVB3653-E

An attempt to send a request to the process management  
has failed.  
プロセス管理への要求送信に失敗しました

プロセス管理コマンドからプロセス管理への通信に失敗しました。

- (S) プロセス管理コマンドを終了します。
- (O) `/var/opt/jplajs2/tmp` ディレクトリがあるか確認してください。

#### KAVB3654-E

An attempt to receive a response from the process  
management has failed.  
プロセス管理からの応答受信に失敗しました

プロセス管理コマンドがプロセス管理からのデータ受信に失敗しました。

- (S) プロセス管理コマンドを終了します。
- (O) プロセス管理を再起動して、再実行してください。

#### KAVB3655-E

Invalid data was received from the process management.  
プロセス管理から不正なデータを受信しました

プロセス管理コマンドがプロセス管理から不正なデータ受信しました。

- (S) プロセス管理コマンドを終了します。
- (O) 一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。  
プロセス管理を再起動後、再実行してください。

#### KAVB3656-I

The startup command terminated normally.  
起動コマンドは正常終了しました

プロセス管理の起動コマンドは正常終了しました。

- (S) プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3657-E

The startup command terminated abnormally  
起動コマンドは異常終了しました

起動コマンドは異常終了しました。

- (S) プロセス管理コマンドを終了します。
- (O) `jajs_spm�_status` コマンドで状態を確認後、再実行してください。

#### KAVB3658-E

The startup command terminated abnormally due to an  
inconsistent state.  
起動コマンドは状態不正のため異常終了しました

プロセス管理がほかの処理をしている状態で、コマンドを実行した場合に出力されます。

- (S) プロセス管理コマンドを終了します。
- (O) しばらく待ってから `jajs_spm�_status` で状態を確認後、再実行してください。

#### KAVB3659-I

There were no processes that could run.  
起動できるプロセスがありませんでした

起動できるプロセスがありません。

- (S) プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3660-E

---

Invalid data was received.  
不正なデータを受信しました

---

プロセス管理コマンドがプロセス管理から不正なデータ受信しました。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。  
プロセス管理を再起動後、再実行してください。

#### KAVB3661-E

---

An unexpected result code was received. (return code = リターンコード)  
ありえない結果コードを受信しました。Return Code = リターンコード

---

プロセス管理コマンドがプロセス管理からありえない結果コードを受信しました。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
jajs\_spm�\_status で状態を確認後、再実行してください。

#### KAVB3662-I

---

The process management is not running.  
プロセス管理は停止しています

---

プロセス管理が停止しています。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3663-E

---

Execute the command from the administrator console.  
管理者コンソールよりコマンドを実行してください

---

このコマンドは、管理者権限で実行しているコマンドプロンプト上、または JP1/Base 管理者コンソール上で実行する必要があります。

- (S)  
コマンドの処理を終了します。
- (O)  
管理者権限で実行しているコマンドプロンプト上、または JP1/Base 管理者コンソール上でコマンドを再実行してください。

#### KAVB3672-I

---

A forced termination (kill) of コンポーネント名 has started.

コンポーネント名の強制終了処理を開始します

---

プロセス管理の強制終了処理を開始します。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3674-I

---

Termination processing of コンポーネント名 has started.  
コンポーネント名の終了処理を開始します

---

プロセス管理の終了処理を開始します。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3675-I

---

The stop command terminated normally.  
終了コマンドは正常終了しました

---

プロセス管理の終了コマンドが正常終了しました。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3676-E

---

The stop command terminated abnormally.  
終了コマンドは異常終了しました

---

終了コマンドは異常終了しました。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

- (O)  
しばらく待ってから jajs\_spm�\_status で状態を確認後、再実行してください。

#### KAVB3677-E

---

The stop command terminated abnormally due to an inconsistent state.

終了コマンドは状態不正のため異常終了しました

---

プロセス管理がほかの処理をしている状態で、コマンドを実行しました。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

- (O)  
しばらく待ってから再実行してください。



**KAVB3678-I**

There were no processes that could terminate.  
終了できるプロセスが存在しませんでした

終了できるプロセスがありません。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

**KAVB3680-I**

Reload processing for コンポーネント名 has started.  
コンポーネント名のリロード処理を開始します

プロセス管理の管理対象プロセスのリロード処理を開始します。コンポーネント名はJP1\_AJS2です。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

**KAVB3681-I**

The reload command terminated normally.  
リロードコマンドは正常終了しました

プロセス管理のリロードコマンドが正常終了しました。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

**KAVB3682-E**

The reload command terminated abnormally.  
リロードコマンドは異常終了しました

リロードコマンドが異常終了しました。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
管理対象プロセスで、リロード処理に失敗しているプロセスがないか確認してください。

**KAVB3683-E**

The reload command terminated abnormally due to an inconsistent state.  
リロードコマンドは状態不正のため異常終了しました

プロセス管理がほかの処理をしている状態で、コマンドを実行しました。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
しばらく待ってから再実行してください。

**KAVB3684-E**

There were no processes that could be reloaded.  
リロードできるプロセスが存在しませんでした

リロードできるプロセスがありません。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
管理対象プロセスが起動しているか確認してください。

**KAVB3685-E**

A timeout occurred in プロセス名.  
プロセス名がタイムアウトしました

プロセス名で示すプロセスのリロード処理がタイムアウトしました。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
管理対象プロセスでリロード処理に失敗しているプロセスがないか確認してください。

**KAVB3690-I**

Processing to report the status of コンポーネント名 has started.  
コンポーネント名の状態通知処理を開始します

プロセス管理の状態通知処理を開始します。コンポーネント名はJP1\_AJS2です。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

**KAVB3691-I**

All the processes have started.  
プロセスは全て起動しています

すべての管理対象プロセスが起動しています。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

**KAVB3692-I**

Some of the processes have started.  
プロセスは一部起動しています

一部の管理対象プロセスが起動しています。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

**KAVB3693-I**

All of the processes have stopped.  
プロセスは全て停止しています

すべての管理対象プロセスが停止しています。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

### KAVB3694-I

Part of the process is now restarting.  
プロセスは一部再起動中です

プロセス管理は一部再起動中です。

- (S) プロセス管理の状態通知コマンドを終了します。

### KAVB3705-I

管理対象プロセス名 is now starting. (process ID = プロセスID)  
管理対象プロセス名 開始中... pid = プロセスID

管理対象プロセスを起動中です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

- (S) 処理を続行します。

### KAVB3732-I

コンポーネント名 detected the termination of 管理対象プロセス名. (process ID = プロセスID)  
コンポーネント名 管理対象プロセス名の停止を検知しました プロセスID = プロセスID

管理対象プロセスの停止を検知しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

- (S) 処理を続行します。

### KAVB3736-I

All processes of コンポーネント名 have stopped.  
コンポーネント名の全プロセスが停止しました

管理対象プロセスがすべて停止しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S) プロセス管理を終了します。

### KAVB3737-E

The コンポーネント名 管理対象プロセス名 terminated abnormally.  
コンポーネント名 の 管理対象プロセス名は異常終了しました

管理対象プロセスの異常終了を検知しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

- (S) 処理を続行します。

- (O) 異常終了した管理対象プロセスが出力している統合トレースログを参照し、障害要因を取り除いてください。jajs\_spmc\_status コマンドで状態を確認後、再起動してください。  
もし、管理対象プロセスの出力しているメッセージがなかった場合、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。  
また、拡張起動プロセス定義ファイルの再起動可否に「1 (再起動する)」を指定している場合、運用状況によってこのエラーメッセージが出力されることがあります。この場合の要因と対策については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 15.15.1 異常終了した JP1/AJS2 のプロセスを再起動する」の注意事項を参照してください。

### KAVB3743-I

コンポーネント名 has terminated.  
コンポーネント名を終了します

プロセス管理を終了します。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S) プロセス管理を終了します。

### KAVB3744-I

コンポーネント名 startup has finished.  
コンポーネント名の起動が完了しました

サービスの起動が完了しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S) 処理を続行します。

### KAVB3745-I

The コンポーネント名 startup request has finished.  
コンポーネント名の起動要求が完了しました

起動要求が完了しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S) 処理を続行します。

### KAVB3751-E

The process stopped in response to the signal. pid = プロセスID. signal = シグナル番号.  
プロセスがシグナルを受けて停止しました. pid = プロセスID. signal = シグナル番号.

管理対象プロセスがシグナルを受けて停止しました。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。シグナル番号は、停止する要因となったシグナル番号

です。

(S)

処理を続行します。

(O)

異常終了した管理対象プロセスが出力している統合トレースログを参照し、障害の要因を取り除いてください。jajs\_spmc\_status コマンドで状態を確認後、再起動してください。

管理対象プロセスが出力しているメッセージがなかった場合は、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

### KAVB3752-E

An attempt to start 管理対象プロセス名 has finished.  
(return code = リターンコード, detail code = 要因コード)

管理対象プロセスの起動に失敗しました。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

### KAVB3760-I

The changes to ファイル名 were not applied.  
ファイル名の変更は採用されませんでした

拡張起動プロセス定義ファイル

(jp1xx\_service\_0700.conf) の設定変更は採用されませんでした。jp1xx は、jplajs です。

(S)

処理を続行します。

(O)

設定値を変更して再実行してください。

### KAVB3761-E

In the file ファイル名, the restart-or-not value is invalid.  
(restart-or-not = 設定値)

定義ファイルファイル名: 再起動可否の値が不正です。設定値

拡張起動プロセス定義ファイル

(jp1xx\_service\_0700.conf) で設定された再起動可否の値が不正です。jp1xx は、jplajs です。

(S)

処理を続行します。

(O)

設定値を変更して再実行してください。

### KAVB3762-I

Set 0 or 1 for the restart-or-not value.

再起動可否: 0 か 1 を設定してください

拡張起動プロセス定義ファイル

(jp1xx\_service\_0700.conf) で設定する再起動可否の値は 0 か 1 を設定してください。jp1xx は、jplajs です。

(S)

処理を続行します。

(O)

再起動可否の値は 0 か 1 を設定してください。

### KAVB3763-E

In the file ファイル名, the number-of-restarts value is invalid. (restart num. = 設定値)

定義ファイルファイル名: 再起動回数の値が不正です。設定値

拡張起動プロセス定義ファイル

(jp1xx\_service\_0700.conf) で設定された再起動回数の値が不正です。jp1xx は、jplajs です。

(S)

処理を続行します。

(O)

設定値を変更して再実行してください。

### KAVB3764-I

Set 0 to 99 for the number-of-restarts value.

再起動回数: 0 から 99 を設定してください

拡張起動プロセス定義ファイル

(jp1xx\_service\_0700.conf) で設定する再起動回数の値は 0 から 99 を設定してください。jp1xx は、jplajs です。

(S)

処理を続行します。

(O)

再起動回数の値は 0 から 99 を設定してください。

### KAVB3765-E

In the file ファイル名, the restart interval value is invalid. (restart interval = 設定値)

定義ファイルファイル名: リトライ間隔の値が不正です。設定値

拡張起動プロセス定義ファイル

(jp1xx\_service\_0700.conf) で設定されたリトライ間隔の値が不正です。jp1xx は、jplajs です。

(S)

処理を続行します。

(O)

## KAVB3766-I ~ KAVB3778-I

設定値を変更して再実行してください。

### KAVB3766-I

Set 0 to 3600 for the restart interval value.  
リトライ間隔: 0 から 3600 を設定してください

拡張起動プロセス定義ファイル  
(jp1xx\_service\_0700.conf) で設定するリトライ間隔  
の値は 0 から 3,600 を設定してください。jp1xx は,  
jplajs です。

- (S)
- 処理を続行します。
- (O)
- リトライ間隔の値は 0 から 3,600 を設定してください。

### KAVB3767-E

In the file ファイル名, the restart-count reset time is  
invalid. (restart-count reset time = 設定値)  
定義ファイルファイル名: 再起動回数リセット時間の値が  
不正です。設定値

拡張起動プロセス定義ファイル  
(jp1xx\_service\_0700.conf) で設定された再起動回数  
リセット時間の値が不正です。jp1xx は, jplajs です。

- (S)
- 処理を続行します。
- (O)
- 設定値を変更して再実行してください。

### KAVB3768-I

Set 3600 to 2147483647 for the restart-count reset time.  
再起動回数リセット時間: 3600 から 2147483647 を設定  
してください

拡張起動プロセス定義ファイル  
(jp1xx\_service\_0700.conf) で設定する再起動回数リ  
セット時間の値は 3,600 から 2,147,483,647 を設定して  
ください。jp1xx は, jplajs です。

- (S)
- 処理を続行します。
- (O)
- 再起動回数リセット時間の値は 3,600 から  
2,147,483,647 を設定してください。

### KAVB3769-I

In ファイル名, check the entries:  
process-name|path|startup-option|restart-or-not|num  
ber-of-restarts|restart-interval|restart-count-reset-tim  
e|

ファイル名のエントリを確認してください: プロセス名|  
パス|起動オプション|再起動可否|再起動回数|リトライ  
間隔|再起動回数リセット時間|

拡張起動プロセス定義ファイル  
(jp1xx\_service\_0700.conf) のエントリーを確認して  
ください。jp1xx は, jplajs です。

- (S)
- 処理を続行します。
- (O)
- 拡張起動プロセス定義ファイルのエントリーを確認し  
てください。  
連携機能を使用するために jplajs\_spmd.conf を  
カスタマイズしている場合は, jplajs\_spmd.conf  
にエントリーしているプロセスが, 拡張起動プロセス  
定義ファイル (jplajs\_service\_0700.conf) に  
エントリーされているか確認してください。  
エントリーがない場合は, 拡張起動プロセス定義ファ  
イルのモデルファイル (ファイル名の末尾に,  
「.model」が付いています) を参照し, 該当するプロ  
セスのエントリーを拡張起動プロセス定義ファイルに  
コピーしてください。

### KAVB3777-I

コンポーネント名: The stopped 管理対象プロセス名 will  
be restarted. (restart count = 再起動回数)

コンポーネント名: 停止した 管理対象プロセス名 を再起  
動します。再起動回数 = 再起動回数

停止した管理対象プロセスを再起動します。コンポーネ  
ント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は, プロセ  
ス管理の管理している各コンポーネントを構成している  
プロセスの名前です。

- (S)
- 管理対象プロセスを再起動します。

### KAVB3778-I

コンポーネント名: A startup request was sent to the  
process 管理対象プロセス名.

コンポーネント名: 管理対象プロセス名 に起動要求を送信  
しました

管理対象プロセスに起動要求を送信しました。コンポー  
ネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は, プロ  
セス管理の管理している各コンポーネントを構成している  
プロセスの名前です。

- (S)
- 処理を続行します。

**KAVB3779-I**

コンポーネント名: An attempt to send a startup request to the process 管理対象プロセス名 failed.

コンポーネント名: 管理対象プロセス名 の起動要求の送信が失敗しました

管理対象プロセスの起動要求送信に失敗しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVB3786-E**

To process 管理対象プロセスの子プロセスID, the system sent the signal シグナル名.

pid = 管理対象プロセスの子プロセスID のプロセスに シグナル名 を送信しました

管理対象プロセスの子プロセスにシグナルを送信しました。管理対象プロセスの子プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスが生成するプロセスのプロセス ID です。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVB3788-E**

コンポーネント名: The number of restarts of 管理対象プロセス名 exceeded the specified restart count.

コンポーネント名: 管理対象プロセス名 の再起動が設定再起動回数を超えました

管理対象プロセスの再起動回数が設定値を超えました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
異常終了した管理対象プロセスが出力している統合トレースログを参照し、障害要因を取り除いてください。jajs\_spm\_status コマンドで状態を確認後、プロセス管理を再起動してください。もし、管理対象プロセスの出力しているメッセージがなかった場合、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

**KAVB3792-E**

コンポーネント名: A start parameter is invalid: [-hot | -cold [-q {clear | noclear}]] | -warm]

コンポーネント名: 開始パラメータが不正です。[-hot | -cold [-q {clear | noclear}]] | -warm]

開始パラメーターが不正です。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
プロセス管理を終了します。

- (O)  
開始パラメーターを確認してから再実行してください。

**KAVB3802-W**

The process manager will not be monitored because an attempt to initialize the health check function failed.  
ヘルスチェック機能の初期化に失敗したためプロセス管理は監視されません

ヘルスチェック機能の初期化に失敗したためプロセス管理は監視されません。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
ヘルスチェック機能でプロセス管理を監視するためには、プロセス管理を再起動してください。

**KAVB3846-I**

コンポーネント名 completed the reload request.  
コンポーネント名のリロード要求は完了しました

リロード処理が完了しました。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVB3855-I**

The process 管理対象プロセス名 will be terminated by SIGKILL. (process ID = プロセスID)  
プロセス 管理対象プロセス名 SIGKILL で停止します...  
pid = プロセスID

管理対象プロセスに SIGKILL を送信しました。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVB3862-E**

コンポーネント名: No processes could be started.  
コンポーネント名プロセスが一つも起動できませんでした

管理対象プロセスが一つも起動できませんでした。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S)  
プロセス管理を終了します。
- (O)  
システムのメモリーが不足していないか、また、製品

が正しくインストールされているか確認してください。

### KAVB3863-E

コンポーネント名: No processes can be reloaded.  
コンポーネント名 リロードできるプロセスがありません

管理対象プロセスがすべてリロードできる状態ではありませんでした。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

- (S) 処理を続行します。
- (O) しばらく待ったあと、再実行してください。

### KAVB3870-E

The conf directory path cannot be obtained from the common definition.  
共通定義から conf ディレクトリパスが取得できません

共通定義から conf ディレクトリパスが取得できませんでした。

- (S) プロセス管理コマンドを終了します。
- (O) 共通定義情報が設定されていない状態です。設定が正しいか確認してください。  
クラスタシステムで運用している場合  
プロセス管理コマンドで指定している引数の論理ホスト名が正しいか確認してください。また、環境変数 JP1\_HOSTNAME の設定している論理ホスト名が正しいか確認してください。マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」のクラスタシステムで運用する場合の設定をしていない、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド」のクラスタ運用のセットアップの設定をしていない場合は、設定してください。  
クラスタシステムで運用していない場合  
環境変数 JP1\_HOSTNAME を設定して起動していないか確認してください。環境変数 JP1\_HOSTNAME を設定していない場合は、次の操作を行って回復してください。
  - Windows の場合  
上書きインストールを行ってください。
  - UNIX の場合  
jplajs2\_setup コマンドを実行してください。

### KAVB3871-E

The conf directory path cannot be obtained by using the specified logical hostname.

指定された論理ホスト名で conf ディレクトリパスが取得できません

指定された論理ホスト名で共通定義から conf ディレクトリパスが取得できませんでした。

- (S) プロセス管理コマンドを終了します。
- (O) クラスタシステムでの運用が前提です。指定した論理ホスト名が正しいか、または設定が正常に終了しているか確認してください。

### KAVB3872-E

The log directory path cannot be obtained from the common definition information.  
共通定義から log ディレクトリパスが取得できません

共通定義から log ディレクトリパスが取得できませんでした。

- (S) プロセス管理コマンドを終了します。
- (O) クラスタシステムで運用している場合、論理ホスト名の設定が正しいか、または設定が正常に終了しているか確認してください。クラスタシステムで運用していない場合は、次の操作を行って回復してください。  
UNIX の場合  
セットアップコマンドを実行してください。  
Windows の場合  
修正インストールを行ってください。

### KAVB3873-E

The log directory path cannot be obtained by using the specified logical hostname.

指定された論理ホスト名で log ディレクトリパスが取得できません

指定された論理ホスト名で共通定義から log ディレクトリパスが取得できませんでした。

- (S) プロセス管理コマンドを終了します。
- (O) クラスタシステムでの運用が前提です。指定した論理ホスト名が正しいか、または設定が正常に終了しているか確認してください。

**KAVB3874-E**

HNTRLib could not be initialized.  
HNTRLib が初期化できませんでした

HNTRLib2 が初期化できませんでした。ログが出力されません。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
プロセス管理起動時の場合は、プロセス管理を停止し、再起動してください。

**KAVB3875-E**

HNTRLib could not be initialized.  
HNTRLib が初期化できませんでした

HNTRLib2 が初期化できませんでした。ログが出力されません。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
プロセス管理起動時の場合は、プロセス管理を停止し、再起動してください。

**KAVB3899-E**

The work directory path cannot be acquired from the common definition information. (return code = リターンコード)  
共通定義から work ディレクトリパスが取得できません

共通定義から work ディレクトリパスが取得できませんでした。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
クラスタシステムで運用している場合、論理ホスト名の設定が正しいか、または設定が正常に終了しているか確認してください。クラスタシステムで運用していない場合は、次の操作を行って回復してください。
- Windows の場合  
修正インストールを行ってください。
- UNIX の場合  
セットアップコマンドを実行してください。

**KAVB3905-I**

A stop request was sent to the process 管理対象プロセス名. (process ID = プロセスID)  
プロセス 管理対象プロセス名に停止要求を送信しました  
... pid = プロセスID

管理対象プロセスに停止要求を送信しました。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネン

トを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVB3908-I**

A reload request was sent to the process 管理対象プロセス名. (process ID = プロセスID)  
プロセス 管理対象プロセス名にリロード要求を送信しました... pid = プロセスID

管理対象プロセスにリロード要求を送信しました。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVB3910-I**

SIGTERM will terminate the process 管理対象プロセス名. (process ID = プロセスID)  
プロセス 管理対象プロセス名 SIGTERM で停止します... pid = プロセスID

管理対象プロセスに SIGTERM を送信しました。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVB3911-E**

The process management daemon is busy.  
コマンド処理中です

コマンドを処理中です。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
しばらく待ってから再実行してください。起動、停止、またはリロード処理中に、jajs\_spmc, jajs\_spmc\_stop, jajs\_spmc\_reload コマンドを実行した場合に出力されているときは、処理が完了するのを待ってから再実行してください。

**KAVB3912-I**

The process is running.  
プロセスは起動しています

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

### KAVB3913-I

The process is not running.  
プロセスは停止しています

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。

### KAVB3914-E

An attempt to open the lock file under the conf directory has failed.  
conf ディレクトリのロックファイルがオープンできません

conf ディレクトリのロックファイルがオープンできませんでした。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
conf ディレクトリがあるか、または書き込み権限があるか確認してください。  
クラスタシステムで運用している場合、定義した conf ディレクトリがあるか、または書き込み権限があるか確認してください。

### KAVB3935-E

create\_pre\_process\_entry: Memory allocation failed. (要求コード)  
create\_pre\_process\_entry: メモリ確保に失敗しました: 要因コード

起動前処理管理テーブルの作成に失敗しました。起動前処理は行われません。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
メモリー不足が発生していないか確認してください。

### KAVB3953-E

Startup preprocessing for JP1\_AJS2 has failed.  
(preprocessing name = 起動前処理名)  
JP1\_AJS2の起動前処理: 起動前処理名 が失敗しました

起動前処理が失敗しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
JP1/AJS2 事前起動プロセス定義ファイル  
(jplajs\_spmd\_pre.conf) の内容を確認してください。

### KAVB3956-E

The JP1/AJS2 will not start because startup conditions for disaster start mode are not met. Termination code = 終了コード  
ディザスタースタートモードの起動条件を満たさないため、JP1/AJS2は起動できません。終了コード = 終了コード

ディザスタースタートモードの起動条件を満たさないため、JP1/AJS2 を起動しませんでした。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 - Datareplicator」のディザスタリカバリーによる運用切り替えの手順に沿っているかを確認し、プロセス管理コマンドを実行してください。

### KAVB3957-E

The JP1/AJS2 cannot start other than the disaster start mode because the JP1/AJS2 is running in the disaster mode. Termination code = 終了コード  
ディザスター運用中のため、ディザスタースタートモード以外でJP1/AJS2は起動できません。終了コード = 終了コード

ディザスター運用中にディザスタースタートモード以外のスタートモードを指定したため、JP1/AJS2 を起動しませんでした。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
ディザスター運用中はディザスタースタートモードを指定してください。またはJP1/AJS2のディザスター機能を解除してからプロセス管理コマンドを実行してください。

### KAVB3960-I

Startup preprocessing is being performed.  
起動前処理中です

プロセス管理は起動前処理中です。

- (S)  
プロセス管理の状態通知コマンドを終了します。

### KAVB3961-E

The request could not be accepted because startup preprocessing is being performed.  
起動前処理中の為、要求を受けられません

プロセス管理は起動前処理中のため、コマンド要求を受け付けられませんでした。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。



(O)

しばらく待ってから再実行してください。

---

#### KAVB3981-I

---

jxx\_spmc\_stop job: A request to stop job restrictions will be sent to all processes of コンポーネント名.

jxx\_spmc\_stop job: コンポーネント名の全プロセスに対しジョブ制限停止要求を送信します

---

管理対象のプロセスすべてに対しジョブ制限停止要求を送信します。jxx は jajs です。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

(S)

処理を続行します。

---

#### KAVB3984-I

---

A request to stop job restrictions has been sent to the process 管理対象プロセス名. (process ID = プロセスID)  
プロセス 管理対象プロセス名にジョブ制限停止要求を送信しました... pid = プロセスID

---

管理対象プロセスにジョブ制限停止要求を送信しました。  
管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

(S)

処理を続行します。

---

#### KAVB3986-I

---

Processing to stop コンポーネント名 job restrictions has started.

コンポーネント名のジョブ制限終了処理を開始します

---

プロセス管理のジョブ制限終了処理を開始します。コンポーネント名は JP1\_AJS2 です。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

## 2.2 KAVC で始まるメッセージ (JP1/AJS2 Console に関するメッセージ)

KAVC で始まるメッセージ (JP1/AJS2 Console に関するメッセージ) の一覧を次の項目ごとに示します。

### (1) KAVC0001 ~ KAVC2000 (JP1/AJS2 Console Manager に関するメッセージ)

#### KAVC0001-I

JP1/AJS2 Console Manager service started.  
JP1/AJS2 Console Manager サービスを開始しました

JP1/AJS2 Console Manager サービスを起動しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVC0002-I

JP1/AJS2 Console Manager service ended.  
JP1/AJS2 Console Manager サービスを終了しました

JP1/AJS2 Console Manager サービスを終了しました。

(S)  
JP1/AJS2 Console Manager サービスを終了しました。

#### KAVC0081-I

JP1/AJS2 Console Manager service has been installed.

JP1/AJS2 Console Manager サービスはセットアップされました。

(S)  
JP1/AJS2 Console Manager サービスはセットアップされました。

#### KAVC0082-I

JP1/AJS2 Console Manager service has been removed.

JP1/AJS2 Console Manager サービスは削除されました。

(S)  
JP1/AJS2 Console Manager サービスは削除されました。

#### KAVC0083-I

Stopping JP1/AJS2 Console Manager service.

JP1/AJS2 Console Manager サービスを停止しています。

(S)  
JP1/AJS2 Console Manager サービスを停止しています。

#### KAVC0084-E

JP1/AJS2 Console Manager service is set up already.

JP1/AJS2 Console Manager サービスはセットアップ済みのため JP1/AJS2 Console Manager のセットアップ処理を行いませんでした。

(S)  
セットアップ処理を終了します。

(O)  
JP1/AJS2 Console Manager サービスがセットアップされているかを確認してください。

#### KAVC0085-E

JP1/AJS2 Console Manager service is not set up.

JP1/AJS2 Console Manager サービスはセットアップされていないため JP1/AJS2 Console Manager サービスの削除処理を行いませんでした。

(S)  
セットアップ処理を終了します。

(O)  
JP1/AJS2 Console Manager サービスがセットアップされているかを確認してください。

#### KAVC0086-E

An error occurred during installing JP1/AJS2 Console Manager service. : 保守情報1 保守情報2

JP1/AJS2 Console Manager サービスのセットアップ中にエラーが発生しました。

(S)  
セットアップ処理を終了します。

(O)  
Administrators 権限を持つ OS ユーザーでセットアップコマンドを実行してください。また、メモリー不足またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了したあと、再度セットアップコマンドを実行してください。

**KAVC0087-E**

An error occurred during removing JP1/AJS2 Console Manager service. : 保守情報1 保守情報2

JP1/AJS2 Console Manager サービスの削除中にエラーが発生しました。

- (S)           セットアップ処理を終了します。
- (O)           Administrators 権限を持つ OS ユーザーでセットアップコマンドを実行してください。また、メモリー不足またはディスクの容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了したあと、再度セットアップコマンドを実行してください。

**KAVC0100-E**

Illegal option (オプション) exists.  
不正なオプション (オプション) が指定されています

不適切なオプションを指定しています。

- (S)           コマンドの実行を中止します。
- (O)           正しいオプションを指定したあと、再度コマンドを実行してください。

**KAVC0101-E**

Value for option (オプション) is not specified.  
オプション (オプション) の値が指定されていません

値を必要とするオプションに対して、値を指定していません。

- (S)           コマンドの実行を中止します。
- (O)           オプションの値を指定したあと、再度コマンドを実行してください。

**KAVC0102-E**

Extra argument(s) exist.  
余分な引数が指定されています

不要な引数を指定しています。

- (S)           コマンドの実行を中止します。
- (O)           不要な引数を削除したあと、再度コマンドを実行してください。

**KAVC0103-E**

Invalid value for option (オプション).  
オプション (オプション) の値に誤りがあります

オプションの値を誤って指定しています。

- (S)           コマンドの実行を中止します。
- (O)           オプションの値を正しく指定したあと、再度コマンドを実行してください。

**KAVC0104-E**

Option (オプション) appears twice or more.  
オプション (オプション) が2回以上指定されています

同じオプションを 2 回以上指定しています。

- (S)           コマンドの実行を中止します。
- (O)           2 回以上指定したオプションを 1 回だけに指定し直したあと、再度コマンドを実行してください。

**KAVC0108-E**

Only super user or administrator can execute.  
スーパーユーザーまたはアドミニストレーターでなければ実行できません

スーパーユーザー権限または Administrators 権限を持たないユーザーがコマンドを実行しようとしてしました。

- (S)           コマンドの実行を中止します。
- (O)           スーパーユーザー権限または Administrators 権限を持つユーザーでコマンドを実行してください。

**KAVC0119-E**

Cannot use - in use by other user. : ファイル名  
ほかで使用中のため操作できません : ファイル名

操作しようとしているファイルを、ほかのユーザーが使用しているため操作できません。

- (S)           コマンドの実行を中止します。
- (O)           ほかのユーザーの使用が終了したあと、再度コマンドを実行してください。

**KAVC0126-E**

Operand value exceeds prescribed length.  
オペランドの値が規定長を超えています

オペランドの値が規定長を超えています。

ajscmprint コマンド実行時には次の原因が考えられます。

- 引数 -u に指定する JP1 ユーザー名が 31 バイトを超えている。
- 引数 -mh に指定する 論理ホスト名が 255 バイトを超えている。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

誤りを訂正したあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVC0127-E

Specified file (ファイル名) does not exist.

指定したファイル (ファイル名) は存在しません

指定したファイルはありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ファイル名を正しく指定したあと、またはファイルを作成したあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVC0150-E

The business scope cannot be displayed because another user is currently changing the definition.

業務スコープは他で定義中のため表示できません

ajscmprint の -u オプションで指定した JP1 ユーザーの業務スコープを表示しようとしたますが、ほかで対象となる業務スコープが定義中であるので表示できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

-u オプションで指定した JP1 ユーザーでログインしている JP1/AJS2 Console View を監視モードにするか、終了させてから、再度コマンドを実行してください。

### KAVC0151-E

The definition information of the specified user was not found. : 保守情報

指定されたユーザーの定義情報が見つかりません : 保守情報

ajscmprint の -u オプションで指定した JP1 ユーザーの業務スコープは定義されていません。業務スコープを定義しているのにこのメッセージが表示される場合は、次の原因が考えられます。

- -u オプションで指定した JP1 ユーザー名に誤りがある。
- 論理ホストを使用している場合は -mh オプションまた

は環境変数 JP1\_HOSTNAME で正しく論理ホストを指定していない。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

原因を取り除いたあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVC0152-E

The logical host name is invalid. : 保守情報

論理ホスト名が不正です : 保守情報

コマンドのオプションおよび環境変数 JP1\_HOSTNAME で指定した論理ホスト名に誤りがあります。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

原因を取り除いたあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVC0158-E

Invalid options are specified.

オプションの指定に誤りがあります

オプションの指定に誤りがあります。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

正しいオプションを指定したあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVC0200-E

Failed to convert string (文字コード変換前の文字列) : 保守情報1 保守情報2 保守情報3

文字コード変換に失敗しました (文字コード変換前の文字列) : 保守情報1 保守情報2 保守情報3

文字コード変換に失敗しました。

(S)

処理を中止します。

(O)

このメッセージの前に KAVC0902-E が出力されている場合は、メモリー不足が発生しています。KAVC0902-E の対処方法に従って対処してください。このメッセージの前に KAVC0902-E が出力されていない場合は、システム管理者に連絡して資料採取してください。採取する資料については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management

System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

### KAVC0330-E

No authorization.  
権限がありません

関連するファイル・ディレクトリに対する権限がありません。

- (S)  
コマンド実行時はコマンドの実行を中止します。それ以外の場合は処理を中断します。
- (O)  
コマンド実行時は権限を持つユーザーで実行してください。それ以外の場合は、サービス実行ユーザーの権限を確認してください。

### KAVC0331-E

Invalid specification in configuration definition. (項目名)  
構成定義に誤った指定があります (項目名)

JP1/AJS2 Console Manager の環境設定に誤った指定があります。

- (S)  
デフォルト値を使用して処理を続行します。
- (O)  
マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.6.1 JP1/AJS2 Console Manager 環境の設定」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.5.1 JP1/AJS2 Console Manager 環境の設定」を参照して項目名に出力されている構成定義パラメーターを正しく設定してください。  
なお、項目名に DATADIRECTORY が表示されている場合は、構成定義パラメーター DATADIRECTORY で指定したディレクトリがあるかどうかを確認し、ない場合はディレクトリを作成してください。  
クラスタ環境で ajscmprint コマンドを実行し、このメッセージ (項目名は DATADIRECTORY) が表示された場合は、コマンドを実行したマシンが指定した論理ホストの実行系であるかどうかを確認してください。実行系でない場合は、実行系で ajscmprint コマンドを実行してください。

### KAVC0355-E

Invalid data received from JP1/AJS2 Console Agent. (保守情報1, 保守情報2)  
JP1/AJS2 Console Agentから受信したデータが不正です (保守情報1, 保守情報2)

JP1/AJS2 Console Agent から不正なデータを受信しました。

- (S)

対象となる JP1/AJS2 Console Agent との通信を打ち切り、処理を続行します。

- (O)

JP1/AJS2 Console Manager マシンで定義しているポート番号 (jp1ajs2ca) が、監視している JP1/AJS2 Console Agent マシンの定義と一致しているかどうかを確認してください。

### KAVC0356-E

Defined data is corrupted. :保守情報  
定義データが壊れています：保守情報

定義データが壊れているため処理できません。

- (S)  
定義データの壊れている JP1 ユーザーに対する処理を中断し、処理を続行します。
- (O)  
JP1/AJS2 Console Manager サービスを停止し次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。  
・ JP1/AJS2 Console Manager のログ情報  
・ データディレクトリ  
ログ情報の採取方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。  
資料採取後はデータディレクトリを削除し、バックアップしているデータディレクトリをリストアしてください。  
リストアが完了したら JP1/AJS2 Console Manager サービスを起動してください。  
データディレクトリのデフォルトパスは次のようになっています。  
・ Windows 版  
JP1/AJS2 Console のインストール先フォルダ  
¥database  
・ UNIX 版  
/var/opt/jp1ajs2cm/database  
論理ホストで使用している場合や、デフォルト以外のパスを指定している場合は、構成定義パラメーター DATADIRECTORY の値を参照してください。

### KAVC0385-E

Invalid data received from JP1/AJS2 Console View. (保守情報1, 保守情報2)  
JP1/AJS2 Console Viewから受信したデータが不正です (保守情報1, 保守情報2)

JP1/AJS2 Console View またはほかのプログラムから不正なデータを受信しました。

## KAVC0456-E ~ KAVC0806-E

(S)  
対象となる JP1/AJS2 Console View との通信を打ち切り、処理を続行します。

(O)  
JP1/AJS2 Console Manager マシンで定義しているポート番号 (jp1ajs2cm) に対して、JP1/AJS2 Console View 以外のプログラムから不当にアクセスされていないかどうかを確認してください。

### KAVC0456-E

Cannot connect because the number of connections exceeded the maximum.

接続数が最大値を超えたため接続できません

JP1/AJS2 Console View からの接続数が、構成定義パラメーターの MAXSESSION で指定された値を超えたため、これ以上接続できません。

(S)  
最大数を超えた接続はエラーとし、処理を続行します。

(O)  
不要な JP1/AJS2 Console View を終了させてください。必要に応じて構成定義パラメーター MAXSESSION の値を再設定してください。

### KAVC0532-I

Reception processing from JP1/AJS2 Console View has started. (From: IPアドレス, To: 論理ホスト名, JP1ユーザー名, PID: プロセスID)

JP1/AJS2 Console Viewから受け付けた処理を開始します (From: IPアドレス, To: 論理ホスト名, JP1ユーザー名, PID: プロセスID)

JP1/AJS2 Console View から受け付けた処理を開始します。From で示す IP アドレスから JP1 ユーザー名で示すユーザーの接続を To で示す論理ホストで受け付け、PID で示す処理プロセスを起動しました。

(S)  
処理を続行します。

### KAVC0533-I

Reception processing from JP1/AJS2 Console View has ended. (PID: プロセスID)

JP1/AJS2 Console Viewから受け付けた処理を終了しました (PID: プロセスID)

JP1/AJS2 Console View から受け付けた処理を終了しました。PID で示す処理プロセスを終了しました。

(S)  
JP1/AJS2 Console View から受け付けた処理を終了します。

### KAVC0802-E

Cannot connect to Access Control Server.

認証サーバに接続できません

認証サーバに接続できません。

(S)  
JP1/AJS2 Console View からの接続をエラーとし、処理を続行します。

(O)  
認証サーバ名が正しいかどうか、または指定している認証サーバホストで認証サーバが起動されているかどうかを確認してください。

### KAVC0803-E

Login information is invalid.

ログイン情報が無効です

ログイン情報が無効のため、JP1/AJS2 Console View からの接続を受け付けません。

(S)  
JP1/AJS2 Console View からの接続をエラーとし、処理を続行します。

(O)  
JP1/AJS2 Console View 上でログイン画面が表示されるのでパスワードを入力し再度ログインを行ってください。

### KAVC0805-E

Logical host's composition is not right.

論理ホストの構成が正しくありません

JP1/AJS2 Console View から接続された論理ホストに JP1/AJS2 Console Manager の設定が見つかりません。

(S)  
JP1/AJS2 Console View からの接続をエラーとし、処理を続行します。

(O)  
JP1/AJS2 Console View 上でログイン時に KAVC4507-E のエラーメッセージボックスが表示されているので、そちらの対処方法に従ってください。

### KAVC0806-E

Environment file name length exceeds 255 bytes.

環境変数ファイル名の長さが255バイトを超えています

環境変数ファイル名の長さが、ホスト名の最大長である255バイトを超えています。

(S)  
コマンドの実行を中止します。

(O)  
環境変数 JP1\_HOSTNAME の設定を見直してください

い。

### KAVC0807-E

An error exists in the certification server setting of the host (ホスト名). (login point IP address: IPアドレス)  
ホスト (ホスト名) の認証サーバの設定に誤りがあります (ログイン先IPアドレス: IPアドレス)

IP アドレスに示されているホストに対応する認証サーバの設定に誤りがあります。

- (S)  
JP1/AJS2 Console View からの接続をエラーとし、処理を続行します。
- (O)  
該当するホストの認証サーバの設定を見直して、正しく設定してください。また、メッセージに出力されているホスト名と IP アドレスが一致しているか確認してください。

### KAVC0901-E

I/O error occurred. :保守情報1 保守情報2 保守情報3  
入出力エラーが発生しました: 保守情報1 保守情報2 保守情報3

処理中にファイルの入出力などで I/O エラーが発生しました。

- (S)  
エラーが発生したファイルに対する処理を中止し、プロセスを続行します。ただし、システムファイルの入出力エラーで処理を続けられない場合は、プロセスを中止します。
- (O)  
syslog ファイルを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVC0902-E

Insufficient memory occurred. :保守情報1 保守情報2 保守情報3  
メモリー不足が発生しました: 保守情報1 保守情報2 保守情報3

メモリー不足を検知した処理を中断します。処理が続行できない基幹部分のメモリー確保で、メモリー不足を検知した場合は、プロセスを中止します。

- (S)  
エラーが発生したプロセスを中止します。
- (O)  
次の確認をしたあと、必要に応じてメモリー不足となった処理を再度実行してください。  
・UNIXの場合は、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターのメモリーに関する設定値が、見積もり値以上になっているか確認してください。

- ・現象発生時に稼働しているプロセスの状態を確認し、見積もり値以上のメモリーがあるか確認してください。

### KAVC0903-E

System error occurred. :保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4  
システムエラーが発生しました: 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

処理中にシステムエラーが発生しました。

- (S)  
エラーが発生したプロセスを終了します。
- (O)  
システム管理者に連絡して資料採取をしてください。採取する資料については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

### KAVC0904-E

Unexpected error occurred in JP1/AJS2 Console Manager. :保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4  
JP1/AJS2 Console Managerで予期しないエラーが発生しました: 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

処理中に予期しないエラーが発生しました。

- (S)  
エラーが発生したプロセスを中止し、可能であればそのプロセスのコアダンプを出力します。
- (O)  
システム管理者に連絡して資料採取をしてください。採取する資料については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

### KAVC0905-E

Failed to put message (メッセージID). :保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

エラーが発生したためメッセージを出力しようとしたましたが、その出力にも失敗しました。

- (S)  
エラーが発生したプロセスを中止します。
- (O)  
表示されたメッセージおよびシステムのエラーメッセージに従って対処してください。

### KAVC0907-E

No more space in file (ファイル名).  
ファイル (ファイル名) に空き容量がありません

ファイルを書き込もうとしているファイルシステム、またはデバイスに空き容量がありません。

- (S)  
エラーが発生したプロセスを中止します。
- (O)  
不要なファイルを消去して空き容量を作ってください。また、ユーザーファイルの場合は、別のファイルシステムがデバイスに出力してください。

### KAVC0920-W

Message process failed to initialize. (保守情報)

メッセージ出力の初期化に失敗しました。

- (S)  
メッセージはテキストのない状態で出力されます。なお、保守情報に「HNTR\_Initialize Failure」が出力されている場合は、統合トレースログにメッセージが出力されません。
- (O)  
リソース不足、または Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor の起動状態などを確認してください。UNIX の場合、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターの次の項目を見直してください。
- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
  - 最大ファイル記述子数 (ファイルシステムに関わる制限値)

### KAVC0950-E

File processing count exceeds the limit.  
処理できるファイル数の上限を超えました

処理できるファイル数が制限値を超えました。

- (S)  
エラーが発生したプロセスを中止します。
- (O)  
不要なウィンドウやダイアログボックス、不要なプロセスを終了し、再度操作してください。UNIX の場合、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターの次の項目を見直してください。
- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
  - 最大ファイル記述子数 (ファイルシステムに関わる制限値)

### KAVC0951-E

Not enough space in file system.  
ファイルシステムに十分な領域がありません

ファイルシステムに十分な領域がありません。

- (S)  
エラーが発生したプロセスを中止します。
- (O)  
不要なウィンドウやダイアログボックス、不要なプロセスを終了し、不要なファイルを削除した上、使用可能な領域を確保したあと再度操作してください。UNIX の場合、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターの次の項目を見直してください。
- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
  - 最大ファイル記述子数 (ファイルシステムに関わる制限値)

### KAVC0953-E

System resources became insufficient.  
システムリソース不足が発生しました

システムリソースが不足しました。

- (S)  
エラーが発生したプロセスを中止します。
- (O)  
不要なウィンドウやダイアログボックス、不要なプロセスを終了し、再度操作してください。UNIX の場合、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターの次の項目を見直してください。
- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
  - 最大ファイル記述子数 (ファイルシステムに関わる制限値)

## (2) KAVC2001 ~ KAVC4000 (JP1/AJS2 Console Agent に関するメッセージ)

### KAVC2001-I

JP1/AJS2 Console Agent service started.  
JP1/AJS2 Console Agent サービスを開始しました

JP1/AJS2 Console Agent サービスを起動しました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVC2002-I

JP1/AJS2 Console Agent service ended.  
JP1/AJS2 Console Agent サービスを終了しました

JP1/AJS2 Console Agent サービスを終了しました。

- (S)  
JP1/AJS2 Console Agent サービスを終了しました。



**KAVC2081-I**


---

JP1/AJS2 Console Agent service has been installed.

---

JP1/AJS2 Console Agent サービスがセットアップされました。

- (S) セットアップ処理を終了します。

**KAVC2082-I**


---

JP1/AJS2 Console Agent service has been removed.

---

JP1/AJS2 Console Agent サービスが削除されました。

- (S) セットアップ処理を終了します。

**KAVC2083-I**


---

Stopping JP1/AJS2 Console Agent service.

---

JP1/AJS2 Console Agent サービスを停止しています。

- (S) JP1/AJS2 Console Agent サービスを停止しています。

**KAVC2084-E**


---

JP1/AJS2 Console Agent service has already been installed.

---

JP1/AJS2 Console Agent サービスはセットアップ済みのため JP1/AJS2 Console Agent のセットアップ処理を行いませんでした。

- (S) セットアップ処理を終了します。

- (O) JP1/AJS2 Console Agent サービスがセットアップされているかを確認してください。

**KAVC2085-E**


---

JP1/AJS2 Console Agent service has not been installed yet.

---

JP1/AJS2 Console Agent サービスはセットアップされていないため JP1/AJS2 Console Agent サービスの削除処理を行いませんでした。

- (S) セットアップ処理を終了します。

- (O) JP1/AJS2 Console Agent サービスがセットアップされているかを確認してください。

**KAVC2086-E**


---

An error occurred during installing JP1/AJS2 Console Agent service. :保守情報1 保守情報2

---

JP1/AJS2 Console Agent サービスのセットアップ中にエラーが発生しました。

- (S) セットアップ処理を終了します。

- (O) Administrators 権限を持つ OS ユーザーでセットアップコマンドを実行してください。また、メモリー不足またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了したあと、再度セットアップコマンドを実行してください。

**KAVC2087-E**


---

An error occurred during removing JP1/AJS2 Console Agent service. :保守情報1 保守情報2

---

JP1/AJS2 Console Agent サービスの削除中にエラーが発生しました。

- (S) セットアップ処理を終了します。

- (O) Administrators 権限を持つ OS ユーザーでセットアップコマンドを実行してください。また、メモリー不足またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了したあと、再度セットアップコマンドを実行してください。

**KAVC2100-E**


---

Illegal option (オプション) exists.

不正なオプション (オプション) が指定されています

---

不適切なオプションを指定しています。

- (S) コマンドの実行を中止します。

- (O) 正しいオプションを指定したあと、再度コマンドを実行してください。

**KAVC2102-E**


---

Extra argument(s) exist.

余分な引数が指定されています

---

不要な引数を指定しています。

- (S) コマンドの実行を中止します。

- (O) 不要な引数を削除したあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVC2103-E

Invalid value for option (オプション).  
オプション (オプション) の値に誤りがあります

オプションの値を誤って指定しています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
オプションの値を正しく指定したあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVC2108-E

Only super user or administrator can execute.  
スーパーユーザーまたはアドミニストレーターでなければ実行できません

スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持たないユーザーがコマンドを実行しようとした。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持つユーザーでコマンドを実行してください。

### KAVC2119-E

Cannot use - in use by other user. :ファイル名  
ほかで使用中のため操作できません :ファイル名

操作しようとしているファイルを、ほかのユーザーが使用しているため操作できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ほかのユーザーの使用が終了したあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVC2127-E

Specified file (ファイル名) does not exist.  
指定したファイル (ファイル名) は存在しません

指定したファイルはありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ファイル名を正しく指定したあと、またはファイルを作成したあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVC2158-E

Invalid options are specified.  
オプションの指定に誤りがあります

オプションの指定に誤りがあります。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
正しい選択オプションを指定したあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVC2200-E

Failed to convert string (文字コード変換前の文字列) : 保守情報1 保守情報2 保守情報3  
文字コード変換に失敗しました (文字コード変換前の文字列) : 保守情報1 保守情報2 保守情報3

文字コード変換に失敗しました。

- (S)  
処理を中止します。
- (O)  
このメッセージの前に KAVC2902-E が出力されている場合は、メモリー不足が発生しています。KAVC2902-E の対処方法に従って対処してください。このメッセージの前に KAVC2902-E が出力されていない場合は、システム管理者に連絡して資料採取してください。  
採取する資料については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

### KAVC2330-E

No authorization.  
権限がありません

関連するファイル・ディレクトリに対する権限がありません。

- (S)  
コマンド実行時はコマンドの実行を中止します。それ以外の場合は処理を中断します。
- (O)  
コマンド実行時は権限を持つユーザーで実行してください。それ以外の場合は、サービス実行ユーザーの権限を確認してください。

### KAVC2331-E

Invalid specification in configuration definition. (項目名)  
構成定義に誤った指定があります (項目名)

JP1/AJS2 Console Agent の環境設定に誤った指定があります。

- (S)  
デフォルト値を使用して処理を続行します。

(O)

マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.6.2 JP1/AJS2 Console Agent 環境の設定」, およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.5.2 JP1/AJS2 Console Agent 環境の設定」を参照して項目名に出力されている構成定義パラメーターを正しく設定してください。

### KAVC2381-E

JP1/AJS2 Console Agent service has already started monitoring. 保守情報  
JP1/AJS2 Console Agentサービスは既に監視を開始しています 保守情報

JP1/AJS2 Console Agent はすでに監視を開始しているにもかかわらず, JP1/AJS2 Console Manager からオブジェクトリストの更新要求または監視開始要求を受信しました。

(S)

対象となる JP1/AJS2 Console Manager との通信を打ち切り, 処理を続行します。

(O)

システム管理者に連絡して資料採取をしてください。採取する資料については, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」, およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

### KAVC2382-E

JP1/AJS2 Console Agent service is not ready to start monitoring. 保守情報  
JP1/AJS2 Console Agentサービスは監視開始の準備ができていません 保守情報

JP1/AJS2 Console Manager からの監視開始要求を受信しましたが, JP1/AJS2 Console Agent で監視開始の準備ができていません。

(S)

対象となる JP1/AJS2 Console Manager との通信を打ち切り, 処理を続行します。

(O)

システム管理者に連絡して資料採取をしてください。採取する資料については, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」, およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

### KAVC2383-E

JP1/AJS2 Console Agent service has already stopped monitoring. 保守情報

JP1/AJS2 Console Agentサービスは既に監視を停止しています 保守情報

JP1/AJS2 Console Manager からの監視開始要求を受信しましたが, JP1/AJS2 Console Agent ではすでに監視を停止しています。

(S)

対象となる JP1/AJS2 Console Manager との通信を打ち切り, 処理を続行します。

(O)

システム管理者に連絡して資料採取をしてください。採取する資料については, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」, およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

### KAVC2384-E

JP1/AJS2 Console Agent service is not updating the monitored object list. 保守情報  
JP1/AJS2 Console Agentサービスは監視オブジェクト更新中ではありません 保守情報

JP1/AJS2 Console Manager から監視対象のオブジェクト一覧を受信しましたが, JP1/AJS2 Console Agent が受信できる状態ではありません。

(S)

対象となる JP1/AJS2 Console Manager との通信を打ち切り, 処理を続行します。

(O)

システム管理者に連絡して資料採取をしてください。採取する資料については, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」, およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

### KAVC2385-E

Invalid data has been received from JP1/AJS2 Console Manager. 保守情報  
JP1/AJS2 Console Managerから受信したデータが不正です 保守情報

JP1/AJS2 Console Manager またはほかのプログラムから不正なデータを受信しました。

(S)

対象となる JP1/AJS2 Console Manager との通信を

打ち切り、処理を続行します。

(O)

JP1/AJS2 Console Agent マシンで定義しているポート番号 (jp1ajs2ca) に対して、JP1/AJS2 Console Manager 以外のプログラムから不当にアクセスされていないかどうかを確認してください。

#### KAVC2386-E

An invalid value exists in the monitoring properties. : 保守情報1 保守情報2 保守情報3  
監視プロパティの値が不正です : 保守情報1 保守情報2 保守情報3

JP1/AJS2 Console Manager から受信した監視プロパティの値が不正です。

(S)

対象となる JP1/AJS2 Console Manager との通信を打ち切り、処理を続行します。

(O)

JP1/AJS2 Console Manager で指定された監視方法が、JP1/AJS2 Console Agent で未サポートのおそれがあります。この場合は、JP1/AJS2 Console View で対応する監視オブジェクトの表示状態が「状態不明」となり、[ 詳細情報 ] ダイアログボックスの [ 情報 ] テキストエリアに KAVC6251-E のメッセージが表示されるため、使用しているバージョンでサポートしている監視方法を設定するようにしてください。

#### KAVC2387-E

The request from JP1/AJS2 Console Manager could not be processed. : 保守情報1 保守情報2  
JP1/AJS2 Console Manager からの要求を受け付けることができませんでした : 保守情報1 保守情報2

JP1/AJS2 Console Manager から要求を受信しましたが、JP1/AJS2 Console Agent が受け付けられる状態ではありません。

(S)

対象となる JP1/AJS2 Console Manager との通信を打ち切り、処理を続行します。

(O)

システム管理者に連絡して資料採取をしてください。採取する資料については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

#### KAVC2388-E

An attempt to start the command failed. : 保守情報  
コマンドの起動に失敗しました : 保守情報

JP1/AJS2 Console Manager から受け付けたコマンド実行要求で指定されたコマンドの起動に失敗しました。

(S)

該当する操作をエラーとし、処理を続行します。

(O)

メモリー不足およびシステム資源不足のおそれがありますので、メモリー容量は足りているか、またソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照して設定しているカーネルパラメーターの値は適切かどうかを見直してください。

#### KAVC2456-E

Cannot connect because the number of connections exceeded the maximum.

接続数が最大値を超えたため接続できません

JP1/AJS2 Console Manager からの接続数が、構成定義パラメーターの MAXSESSION で指定された値を超えたため、これ以上接続できません。

(S)

最大数を超えた接続はエラーとし、処理を続行します。

(O)

不要に JP1/AJS2 Console View でこのマシン上のホストを監視している場合は、JP1/AJS2 Console View を終了してください。  
必要に応じて構成定義パラメーター MAXSESSION の値を再設定してください。

#### KAVC2457-E

Cannot connect to host. 保守情報  
ホストに接続できません 保守情報

ホストへの接続が制限されているため、JP1/AJS2 Console Manager から JP1/AJS2 Console Agent への接続時、JP1/AJS2 Console Agent 上で、接続ホストが特定できません。

(S)

JP1/AJS2 Console Manager からの接続をエラーとし、処理を続行します。

(O)

AJS2 ユニット監視オブジェクトのホスト名の指定が正しいか確認してください。また、複数 LAN 接続構成の環境では、JP1/Base の設定が正しいか確認してください。

**KAVC2532-I**

Reception processing from JP1/AJS2 Console Manager has started. (From: IPアドレス, To: 論理ホスト名, PID: プロセスID)

JP1/AJS2 Console Manager から受け付けた処理を開始します (From: IPアドレス, To: 論理ホスト名, PID: プロセスID)

JP1/AJS2 Console Manager からの接続を受け付けた処理を開始します。From で示す IP アドレスから To で示す論理ホストで受け付け、PID で示す処理プロセスを起動しました。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVC2533-I**

Reception processing from JP1/AJS2 Console Manager has ended. プロセス情報

JP1/AJS2 Console Managerから受け付けた処理を終了します プロセス情報

JP1/AJS2 Console Manager から受け付けた接続に対して、JP1/AJS2 Console Agent の処理を終了します。

- (S)  
JP1/AJS2 Console Manager から受け付けた処理を終了します。

**KAVC2534-I**

JP1/AJS2 Console Agent service will connect to the scheduler service (サービス名). JP1ユーザー名 プロセス情報

JP1/AJS2 Console Agentサービスがスケジューラーサービス (サービス名) に接続します JP1ユーザー名 プロセス情報

JP1/AJS2 Console Agent サービスがスケジューラーサービス (サービス名) に接続し、情報の収集を開始しました。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVC2535-I**

JP1/AJS2 Console Agent service will disconnect from the scheduler service (サービス名). JP1ユーザー名 プロセス情報

JP1/AJS2 Console Agentサービスがスケジューラーサービス (サービス名) の接続を切断します JP1ユーザー名 プロセス情報

JP1/AJS2 Console Agent サービスがスケジューラーサービス (サービス名) の接続を終了しました。

- (S)  
情報の収集処理を終了し処理を続行します。

**KAVC2536-I**

The refreshing request has started.

最新情報取得要求を開始します

JP1/AJS2 Console Manager から受け付けた最新情報取得要求を開始します。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVC2537-I**

The refreshing request has ended.

最新情報取得要求を終了します

JP1/AJS2 Console Manager から受け付けた最新情報取得要求を終了します。

- (S)  
最新情報更新処理を終了し処理を続行します。

**KAVC2538-I**

The command execution request will now start. : コマンド名  
コマンド実行要求 (コマンド名) を開始します

JP1/AJS2 Console Manager から受け付けたコマンド実行要求を開始します。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVC2539-I**

The command execution request will now end. : コマンド名  
コマンド実行要求 (コマンド名) を終了します

JP1/AJS2 Console Manager から受け付けたコマンド実行要求を終了します。

- (S)  
コマンド実行処理を終了し処理を続行します。

**KAVC2804-E**

The user-mapping has failed. 保守情報1 保守情報2 保守情報3

ユーザーマッピングに失敗しました 保守情報1 保守情報2 保守情報3

ユーザーマッピングに失敗しました。

- (S)  
JP1/AJS2 Console Manager との接続を打ち切り、処理を続行します。

- (O)  
JP1/AJS2 Console View 上で該当ホストの監視オブジェクトの状態が「状態不明」となり、そのオブジェクトに対する [ 詳細情報 ] ダイアログボックスで [ 情

報] テキストエリアに KAVC6222-E のメッセージが表示されているものがあります。KAVC6222-E の対処方法を参照して、JP1/AJS2 Console View でログインしている JP1 ユーザー名で正しくユーザーマッピングの設定が行われているかどうかを確認してください。

#### KAVC2805-E

The logical host's configuration is incorrect. :保守情報  
論理ホストの構成が正しくありません :保守情報

JP1/AJS2・Manager の物理ホストまたは論理ホストの設定が正しくありません。

次の原因が考えられます。

- 該当論理ホストに JP1/AJS2 Manager がセットアップされていない。
- 物理ホストのホスト名が 255 バイトを超える。

(S)

JP1/AJS2 Console Manager との接続を打ち切り、処理を続行します。

(O)

保守情報に出力されたホスト名が「JP1\_DEFAULT」の場合は、ホスト名が 255 バイトを超えて定義していないかどうかを確認してください。  
保守情報に出力されたホスト名が論理ホストの場合は、JP1/AJS2・Manager が論理ホスト上でセットアップされていないため、AJS2 ユニット監視オブジェクトの「監視先ホスト名」の指定を見直してください。

#### KAVC2901-E

I/O error occurred. :保守情報1 保守情報2 保守情報3  
入出力エラーが発生しました :保守情報1 保守情報2 保守情報3

処理中にファイルの入出力などで I/O エラーが発生しました。

(S)

エラーの発生したファイルに対する処理を中止し、プロセスを続行します。  
ただし、システムファイルの入出力エラーで処理を続けられない場合は、プロセスを中止します。

(O)

syslog ファイルを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVC2902-E

Insufficient memory occurred. :保守情報1 保守情報2 保守情報3  
メモリー不足が発生しました :保守情報1 保守情報2 保守情報3

メモリー不足が発生しました。

(S)

メモリー不足を検知した処理を中断します。処理が続行できない基幹部分のメモリー確保で、メモリー不足を検知した場合は、プロセスを中止します。

(O)

次の確認をしたあと、必要に応じてメモリー不足となった処理を再度実行してください。

- UNIX の場合は、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターのメモリーに関する設定値が、見積もり値以上になっているか確認してください。
- 現象発生時に稼働しているプロセスの状態を確認し、見積もり値以上のメモリーがあるか確認してください。

#### KAVC2903-E

System error occurred. :保守情報1 保守情報2 保守情報3  
保守情報4

システムエラーが発生しました :保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

エラーの発生したプロセスを終了します。

(O)

システム管理者に連絡して資料採取をしてください。  
採取する資料については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

#### KAVC2904-E

Unexpected error occurred in JP1/AJS2 Console Agent. :  
保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

JP1/AJS2 Console Agent で予期しないエラーが発生しました :保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

処理中に予期しないエラーが発生しました。

(S)

エラーの発生したプロセスを中止し、可能であればそのプロセスのコアダンプを出力します。

(O)

システム管理者に連絡して資料採取をしてください。  
採取する資料については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

**KAVC2905-E**

Failed to put message (メッセージID). :保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

エラーが発生したためメッセージを出力しようとしたのですが、その出力にも失敗しました。

(S)

エラーの発生したプロセスを中止します。

(O)

表示されたメッセージおよびシステムのエラーメッセージに従って対処してください。

**KAVC2907-E**

No more space in file (ファイル名).  
ファイル (ファイル名) に空き容量がありません

ファイルを書き込もうとしているファイルシステム、またはデバイスに空き容量がありません。

(S)

エラーの発生したプロセスを中止します。

(O)

不要なファイルを消去して空き容量を作ってください。また、ユーザーファイルの場合は、別のファイルシステムがデバイスに出力してください。

**KAVC2920-W**

Message process failed to initialize. (保守情報)

メッセージ出力の初期化に失敗しました。

(S)

メッセージはテキストのない状態で出力されます。なお、保守情報に「HNTR\_Initialize Failure」が出力されている場合は、統合トレースログにメッセージが出力されません。

(O)

リソース不足、または Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor の起動状態などを確認してください。UNIX の場合、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターの次の項目を見直してください。

- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
- 最大ファイル記述子数 (ファイルシステムに関わる制限値)

**KAVC2950-E**

File processing count exceeds the limit.  
処理できるファイル数の上限を超えました

処理できるファイル数が制限値を超えました。

(S)

エラーが発生したプロセスを中止します。

(O)

不要なウィンドウやダイアログボックス、不要なプロセスを終了し、再度操作してください。

UNIX の場合、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターの次の項目を見直してください。

- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
- 最大ファイル記述子数 (ファイルシステムに関わる制限値)

**KAVC2951-E**

Not enough space in file system.  
ファイルシステムに十分な領域がありません

ファイルシステムに十分な領域がありません。

(S)

エラーの発生したプロセスを中止します。

(O)

不要なウィンドウやダイアログボックス、不要なプロセスを終了し、不要なファイルを削除した上、使用可能な領域を確保したあと再度操作してください。

UNIX の場合、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターの次の項目を見直してください。

- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
- 最大ファイル記述子数 (ファイルシステムに関わる制限値)

**KAVC2953-E**

System resources became insufficient.  
システムリソース不足が発生しました

システムリソースが不足しました。

(S)

エラーの発生したプロセスを中止します。

(O)

不要なウィンドウやダイアログボックス、不要なプロセスを終了し、再度操作してください。

UNIX の場合、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターの次の項目を見直してください。

- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
- 最大ファイル記述子数 (ファイルシステムに関わる制限値)

### (3) KAVC4001 ~ KAVC6000 (JP1/AJS2 Console View に関するメッセージ)

#### KAVC4001-E

During (処理名), (例外名) occurred. JP1/AJS2 Console View will now end.

Detailed information [(保守情報)]

(処理名) 中に (例外名) が発生しました。JP1/AJS2 Console Viewを終了します。

詳細情報: [(保守情報)]

「処理名」の処理中に「例外名」の例外が発生しました。

(S)

JP1/AJS2 Console View を終了します。

(O)

次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

- 画面のハードコピー
- JP1/AJS2 Console View のログファイル

JP1/AJS2 Console View のログファイルは、このメッセージダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックしたあとに採取してください。

#### KAVC4002-E

During (処理名), Memory became insufficient. JP1/AJS2 Console View will now end.

Detailed information [(保守情報)]

(処理名) 中にメモリー不足が発生しました。JP1/AJS2 Console Viewを終了します。

詳細情報: [(保守情報)]

「処理名」の処理中にメモリー不足が発生しました。

(S)

JP1/AJS2 Console View を終了します。

(O)

マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 12.2.5 メモリー所要量を設定する」を参照し JP1/AJS2 Console View で使用するメモリーサイズの上限值を変更してから JP1/AJS2 Console View を再起動してください。

#### KAVC4003-E

During (処理名), a required class file ((クラスファイル名)) was not found.

Detailed information [(保守情報)]

(処理名) 中に必要なクラスファイル ((クラスファイル名)) が見つかりません。

詳細情報 [(保守情報)]

JP1/AJS2 Console View の実行に必要なクラスファイルが見つかりません。

(S)

JP1/AJS2 Console View を終了します。

(O)

JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

#### KAVC4004-E

During (処理名), the system error occurred. (error factor: (エラー要因))

(処理名) 中にシステムエラーが発生しました。(エラー要因: (エラー要因))

「処理名」の処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

JP1/AJS2 Console View を終了します。

(O)

JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

#### KAVC4005-E

An unexpected error occurred in start processing.

(Detailed information: (保守情報1), (保守情報2))

起動処理中に予期しないエラーが発生しました。(詳細情報: (保守情報1), (保守情報2))

JP1/AJS2 Console View の起動処理中に予期しないエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

メモリー不足、またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了したあと、JP1/AJS2 Console View を再起動してください。解決できない場合は、JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

#### KAVC4006-E

Failed to start JP1/AJS2 Console View.

(Detailed information: (保守情報))

JP1/AJS2 Console Viewの起動に失敗しました。(詳細情報: (保守情報))

JP1/AJS2 Console View の起動に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

メモリー不足、またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了したあと、JP1/AJS2 Console View を再起動してください。ドライブ直下にインストールしないでください。解決できない場合は、JP1/AJS2 - View の構成が壊れてい



ることが考えられます。修復インストールしてください。

#### KAVC4008-E

JP1/AJS2 - View is installed in an invalid folder.  
不正なフォルダにインストールされています。

不正なフォルダにインストールされているため JP1/AJS2 Console View が起動できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 Console View の起動ファイル  
(ajskon.exe) が、次のフォルダにあることを確認  
してください。  
JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ ¥bin

#### KAVC4010-E

An option specified in ajskon2.conf is too long.  
ajskon2.conf で指定されたオプションが長すぎます。

ajskon2.conf の jreparam に指定されたオプションが  
長過ぎるため、JP1/AJS2 Console View が起動できま  
せん。

(S)

処理を中断します。

(O)

ajskon2.conf.model と比較し、不要なオプショ  
ンが指定されていないかどうか確認してください。

#### KAVC4011-E

The command line parameter is too long.  
コマンドラインパラメーターが長すぎます。

ajskon コマンドに指定したコマンドラインパラメーター  
が長過ぎるため、JP1/AJS2 Console View が起動できま  
せん。

(S)

処理を中断します。

(O)

正しくコマンドラインパラメーターを指定したあと、  
再度 ajskon コマンドを実行してください。

#### KAVC4012-E

There is an invalid parameter. [(不正なパラメーター)]  
不正なパラメーターがあります。[(不正なパラメ  
ーター)]

ajskon コマンドに指定されたパラメーターに、不正なパ  
ラメーターがあります。

(S)

JP1/AJS2 Console View を終了します。

(O)

誤っているパラメーターを修正したあと、再度コマ  
ンドを実行してください。

#### KAVC4013-E

A required parameter is missing. [(不足しているパラメ  
ーター)]  
必要なパラメーターが不足しています。[(不足している  
パラメーター)]

ajskon コマンドに指定されたパラメーターが不足してい  
ます。

(S)

JP1/AJS2 Console View を終了します。

(O)

不足しているパラメーターを追加したあと、再度コマ  
ンドを実行してください。

#### KAVC4014-E

The same parameter has already been defined. [(同じパ  
ラメーター)]  
同じパラメーターがすでに指定されています。[(同じパ  
ラメーター)]

ajskon コマンドに指定されたパラメーターが重複してい  
ます。

(S)

JP1/AJS2 Console View を終了します。

(O)

重複しているパラメーターを取り除いたあと、再度コ  
マンドを実行してください。

#### KAVC4015-E

The port number could not be obtained. Confirm whether  
the service name is defined correctly.  
ポート番号の取得に失敗しました。サービス名が正しく設  
定されているか確認してください。

JP1/AJS2 Console Manager に接続するためのポート番号  
の取得に失敗しました。

(S)

JP1/AJS2 Console View を終了します。

(O)

services ファイルにサービス名と jplajs2cm のポー  
ト番号が正しく設定されているかどうか確認してくだ  
さい。ポート番号が正しく定義されている場合は、メ  
モリー不足、またはディスクの空き容量不足のおそれ  
があります。不要なアプリケーションを終了したあ  
と、JP1/AJS2 Console View を再起動してください。

### KAVC4016-E

JP1/AJS2 Console View cannot be used because it has not been set up.

セットアップがされていないためJP1/AJS2 Console Viewは使用できません。

JP1/AJS2 Console View のセットアップがされていないため、JP1/AJS2 Console View が起動できません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
JP1/AJS2 Console View をセットアップしてください。

### KAVC4017-E

Setup cannot be executed because the installation was incorrect.

正しくインストールされていないためセットアップできません。

JP1/AJS2 - View が正しくインストールされていないため、セットアップできません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

### KAVC4018-E

You do not have permission to execute the setup program.

セットアッププログラムを実行する権限がありません。

Administrators 権限を持たないユーザーで JP1/AJS2 Console View のセットアップコマンドを実行しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
Administrators 権限を持つユーザーで JP1/AJS2 Console View のセットアップコマンドを実行してください。

### KAVC4019-E

Setup failed. (Detailed information: (保守情報) セットアップに失敗しました。(詳細情報: (保守情報))

セットアップコマンドの実行に失敗しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
メモリー不足またはディスクの空き容量不足のおそれ

があります。不要なアプリケーションを終了したあと、再度セットアップコマンドを実行してください。保守情報に「JP1/IM Console View」が表示されている場合は、JP1/IM - Console View および JP1/IM - View が正しくインストールされているかを確認してください。

### KAVC4020-E

The login information file ((ファイル名)) is not found. ログイン情報ファイル((ファイル名))が見つかりません。

指定されたログイン情報ファイルが見つからない、またはアクセスできないため自動ログインできませんでした。

(S)  
JP1/AJS2 Console View を終了します。

(O)  
指定したログイン情報ファイルが次のディレクトリに格納されていることを確認してください。また、JP1/AJS2 Console View を起動したユーザーがログイン情報ファイルを読み込むことができる権限があるかどうかを確認してください。  
JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ ¥conf¥

### KAVC4021-E

Specify the value of the login information ((キーワード)) in the login information file ((ファイル名)). ログイン情報ファイル((ファイル名))のログイン情報((キーワード))の値を指定してください。

ログイン情報ファイルに、「キーワード」に対する値が設定されていないため、自動ログインできませんでした。なお、パスワードの値が指定されていない場合は、このメッセージは表示されません。

(S)  
自動ログイン処理を中断し、[ ログイン ] 画面を表示します。パスワードの指定はあるが、ユーザー名またはホスト名のどちらかの指定がない場合は、[ ログイン ] 画面にパスワードは表示されません。

(O)  
[ ログイン ] 画面は、ログイン情報ファイルでキーワードに対する値が設定されていない箇所が未入力の状態が表示されています。未入力部分を入力したあと、ログインしてください。  
また、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajjson」を参照し、ログイン情報ファイルの内容を確認してください。

**KAVC4022-E**

The keyword ((キーワード)) in the login information file ((ファイル名)) is not specified.

ログイン情報ファイル((ファイル名))のキーワード((キーワード))が指定されていません。

ログイン情報ファイルに、「キーワード」が設定されていないため、自動ログインできませんでした。次の原因が考えられます。

- 「キーワード」を設定していない。
- 「キーワード」の前後に空白文字またはタブ記号などが含まれている。

(S)

自動ログイン処理を中断し、[ ログイン ] 画面を表示します。パスワードの指定はあるが、ユーザー名またはホスト名のどちらかの指定がない場合は、[ ログイン ] 画面にパスワードは表示されません。

(O)

[ ログイン ] 画面は、ログイン情報ファイルで設定されていないキーワードの部分が未入力状態で表示されています。未入力部分を入力したあと、ログインしてください。

また、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajjson」を参照し、ログイン情報ファイルの内容を確認してください。

**KAVC4101-I**

"(ウィンドウ名)" was opened.  
「(ウィンドウ名)」を開きました。

「ウィンドウ名」を開いたことを通知するメッセージです。

(S)

「ウィンドウ名」を開いたことをログに出力しました。

**KAVC4102-I**

"(ウィンドウ名)" was closed.  
「(ウィンドウ名)」を閉じました。

「ウィンドウ名」を閉じたことを通知するメッセージです。

(S)

「ウィンドウ名」を閉じたことをログに出力しました。

**KAVC4103-I**

"(メニュー名)" was selected.  
「(メニュー名)」を選択しました。

「メニュー名」が選択されたことを通知するメッセージです。

(S)

「メニュー名」が選択されたことをログに出力しました。

**KAVC4104-W**

((キーワード)). has been set to an invalid value ((値)).  
(キーワード)に不正な値(値)が指定されています。

設定ファイルに指定した「キーワード」に不正な値が指定されています。

(S)

デフォルト値を使用して処理を続行します。

(O)

「キーワード」に対する値の指定に誤りがないかどうか確認してください。

**KAVC4106-W**

There is an ineffective parameter. [(無効なパラメーター)]  
無効なパラメーターがあります。[ (無効なパラメーター) ]

ajjson コマンドに無効なパラメーターが指定されています。

(S)

無効なパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

コマンドラインパラメーターの内容に誤りがないかどうか確認してください。

**KAVC4107-I**

JP1/AJS2 Console View was started. (Version: (バージョン), OS user name: (OSユーザー名))  
JP1/AJS2 Console Viewを起動しました(バージョン: (バージョン), OSユーザー名: (OSユーザー名))。

JP1/AJS2 Console View を起動したことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 Console View を起動したことをログに出力しました。

**KAVC4108-I**

JP1/AJS2 Console View was stopped.  
JP1/AJS2 Console Viewを終了しました。

JP1/AJS2 Console View を終了したことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 Console View を終了したことをログに出力しました。

**KAVC4109-I**

"(ダイアログ名)" dialog box was opened.  
「(ダイアログ名)」ダイアログを開きました。

「ダイアログ名」に表示されているダイアログボックスを

## KAVC4110-I ~ KAVC4116-I

開いたことを通知するメッセージです。

- (S)
- 「ダイアログ名」に表示されているダイアログボックスを開いたことをログに出力しました。

### KAVC4110-I

"(ダイアログ名)" dialog box was closed.  
「(ダイアログ名)」ダイアログを閉じました。

「ダイアログ名」に表示されているダイアログボックスを閉じたことを通知するメッセージです。

- (S)
- 「ダイアログ名」に表示されているダイアログボックスを閉じたことをログに出力しました。

### KAVC4111-I

The "(ボタン名)" button was chosen in the "(ダイアログ名)" dialog box.  
「(ダイアログ名)」ダイアログで[(ボタン名)]ボタンを押下しました。

「ダイアログ名」に表示されているダイアログボックスで[ボタン名]ボタンがクリックされたことを通知するメッセージです。

- (S)
- 「ダイアログ名」に表示されているダイアログボックスで[ボタン名]ボタンがクリックされたことをログに出力しました。

### KAVC4112-I

Now communicating. Please wait.  
通信中です。しばらくお待ちください...

JP1/AJS2 Console Manager との通信待ちメッセージです。

- (S)
- JP1/AJS2 Console Manager との通信待ちであり、指定された操作がすぐに処理できないことを通知します。指定された操作が処理できる状態になれば自動的にメッセージボックスを閉じ処理を続けます。
- (O)
- 操作をキャンセルしたい場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

### KAVC4113-I

"(メニュー名)" was checked.  
「(メニュー名)」をチェックしました。

メニューチェックしたことを通知するメッセージです。

- (S)
- メニューチェックしたことをログに出力しました。

### KAVC4114-I

The check of "(メニュー名)" was released.  
「(メニュー名)」のチェックを解除しました。

メニューチェックを解除したことを通知するメッセージです。

- (S)
- メニューチェックを解除したことをログに出力しました。

### KAVC4115-I

An error occurred, so an operation was not processed.  
エラーが発生したため処理しなかった操作があります。

エラーが発生したために、このメッセージを表示する前に実行した操作が処理されていないことを通知するメッセージです。

- (S)
- エラーが発生したために、このメッセージを表示する前に実行した操作が処理されていないことを通知します。通知後は現在の JP1/AJS2 Console Manager に定義されている情報を表示します。

- (O)
- 定義情報の更新時に、このメッセージが表示された場合は、現在画面に表示されている定義情報から、更新処理がどこまで反映されているかを確認してください。
- 定義情報の更新時以外に、このメッセージが表示された場合は、必要に応じて、処理されなかった操作をやり直してください。
- なお、ユーザーに確認を行う KAVCnnnn-Q のメッセージで[はい]を選択した直後にこのメッセージが表示された場合、エラーの原因を示すエラーメッセージが表示されないことがあります。エラーの発生原因を調査する場合は、JP1/AJS2 Console View のログファイル(ajs2coview#nnnn\_{1|2}.log)から KAVCnnnn-Q のメッセージを表示した日以降に出力されているエラーメッセージを参照してください。
- 注
- JP1/AJS2 Console View を単数起動している場合は、「#nnnn\_」が省略されます。複数起動している場合は、「nnnn」には 0001 ~ 9999 の任意の値が割り当てられます。

### KAVC4116-I

The connection was severed, so an operation was not processed.  
接続が切れているため処理しなかった操作があります。

処理中に JP1/AJS2 Console Manager との接続が切れていることを検出したために、このメッセージを表示する前に実行した操作が処理されていないことを通知するメッセージです。

- (S)

JP1/AJS2 Console Manager との接続が切れていることを検出したために、このメッセージ表示前に実行した操作が処理されていないことを通知します。自動再接続が抑止されていない場合は JP1/AJS2 Console Manager に再度接続し現在の JP1/AJS2 Console Manager に定義されている情報を表示します。ただし、モード変更時や再接続処理中に、接続が切れていることを検出した場合には再接続しません。

(O)

定義情報の更新時に、このメッセージが表示された場合は、現在画面に表示されている定義情報から、更新処理がどこまで反映されているかを確認してください。  
[スコープ] ウィンドウのステータスバーに「接続が切れています。」というメッセージが表示されている場合は、[メインスコープ] ウィンドウで [ファイル] - [再接続] を実行すると再接続されます。

### KAVC4117-W

An attempt to read the setting file ((ファイル名)) failed. [(保守情報)]  
設定ファイル((ファイル名))の読みこみに失敗しました。[(保守情報)]

設定ファイルの読み込みに失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

設定ファイルの読み込みに失敗したことをログ出力しました。  
デフォルトを仮定して処理を続行します。

(O)

設定ファイルに対して JP1/AJS2 Console View を起動した OS ユーザーが読み込み権限を持っているかどうか確認してください。

### KAVC4118-W

(キーワード) could not be updated.  
(キーワード) を更新することができませんでした。

JP1/AJS2 Console View で自動的に保存するウィンドウサイズなどの情報を更新できなかったことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 Console View で自動的に保存するウィンドウサイズなどの情報を更新できなかったことをログに出力しました。

(O)

設定ファイル格納フォルダ以下のファイルの権限を不当に変更していないかどうか確認してください。  
設定ファイル格納フォルダの場所は次のとおりです。  
Windows XP Professional および Windows Server 2003 の場合  
JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ

¥conf

Windows Vista および Windows Server 2008 の場合  
%ALLUSERSPROFILE%\Hitachi\JP1\JP1\_DE  
FAULT¥JP1AJS2V¥conf  
「%ALLUSERSPROFILE%」のデフォルトは「システムドライブ¥ProgramData」です。

### KAVC4119-W

The communication options could not be acquired. [(保守情報)]  
通信オプションの取得に失敗しました。[(保守情報)]

JP1/AJS2 Console View の通信オプションの取得に失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

通信オプションの取得に失敗したことをログ出力しました。  
デフォルト値を仮定して処理を続行します。

(O)

ajskon.conf に対して JP1/AJS2 Console View を起動した OS ユーザーが読み込み権限を持っているかどうか確認してください。

### KAVC4220-I

The connection destination was reconnected, so all the Detail Information dialog boxes were closed.  
再接続したため詳細情報ダイアログを閉じました。

JP1/AJS2 Console Manager との接続が切れ、再接続しました。しかし、接続が切れたときの定義情報と再接続後の定義情報が一致しないおそれがあるため、現在表示しているすべての [詳細情報] ダイアログボックスを閉じたことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 Console Manager との接続が切れ、再接続しました。しかし、接続が切れたときの定義情報と再接続後の定義情報が一致しないおそれがあるため、現在表示しているすべての [詳細情報] ダイアログボックスを閉じたことを通知します。

(O)

再度、[詳細情報] ダイアログボックスを開いてください。

### KAVC4221-W

The background image file ((ファイル名)) cannot be accessed.  
背景イメージファイル((ファイル名))にアクセスできませんでした。

背景イメージファイルの読み込みに失敗したため、背景イメージを表示できないことを通知するメッセージです。

(S)

マップエリアに「ファイル名」の背景イメージを表示

## KAVC4222-I ~ KAVC4234-I

できないことをログに出力しました。

(O)

「ファイル名」の有無およびアクセス権を確認してください。背景イメージファイルの親ディレクトリがない場合は、背景イメージ格納フォルダを正しく設定してください。

### KAVC4222-I

The business scope to be displayed is already minimized.  
表示する業務スコープはすでにアイコン化されています。

表示しようとした業務スコープはすでに別のスコープ画面で表示していたので、その画面を前面に出そうとしたのですが、アイコン化されているため前面に出せなかったことを通知するメッセージです。

(S)

スコープ画面を前面表示しようとしたのですが、アイコン化されているため前面表示できなかったことを通知します。

(O)

アイコン化されているスコープ画面を、手動で元のサイズに戻してください。

### KAVC4223-I

The ((操作名称)) is performing. Please wait.  
(操作名称)を行っています。しばらくお待ちください...

JP1/AJS2 Console Agent 上で指定した操作が完了するのを待っていることを通知するメッセージです(このメッセージは閉じることができません)。

(S)

JP1/AJS2 Console Agent で指定した操作が完了するのを待っていることを通知します。JP1/AJS2 Console Agent 上で操作が完了したあと、自動的にメッセージボックスを閉じます。

### KAVC4224-I

The operation result is unknown because the connection with the connection destination was severed while performing the operation.

操作中に接続先との接続が切れたため操作結果が不明です。

メッセージ「KAVC4223-I」を表示して JP1/AJS2 Console Agent 上で指定した操作が完了するのを待ちましたが、途中で接続先との接続が切れたために操作が成功したかどうか不明であることを通知するメッセージです。

(S)

指定した操作が完了するのを待っている間に接続先との接続が切れたために操作が成功したかどうか不明であることを通知します。

(O)

再接続後に表示した監視オブジェクトの状態を見て操作が行われたかどうか確認してください。

### KAVC4232-W

The icon image file ((ファイル名)) cannot be accessed.  
アイコンイメージファイル((ファイル名))にアクセスできませんでした。

アイコンイメージファイルの読み込みに失敗したため、指定されたアイコンイメージを表示できなかったことを通知するメッセージです。

(S)

指定されたアイコンイメージを表示できないため、デフォルトアイコンイメージでアイコンを表示したことをログ出力しました。

(O)

「ファイル名」の有無およびアクセス権を確認してください。アイコンイメージファイルの親ディレクトリがない場合は、アイコンイメージ格納フォルダを正しく設定してください。

### KAVC4233-I

The background cannot be displayed because the background image file ((ファイル名)) cannot be accessed.  
背景イメージファイル((ファイル名))にアクセスできないため背景は表示されません。

[背景の設定] ダイアログボックスで[プレビュー]ボタンをクリックしたときに、背景イメージにアクセスできなかったため背景が表示されないことを通知するメッセージです。

(S)

[プレビュー]ボタンをクリックする前に背景イメージを表示していた場合でも、マップエリアに背景を表示しません。

(O)

「ファイル名」の有無およびアクセス権を確認してください。背景イメージファイルの親フォルダがない場合は、背景イメージ格納フォルダを正しく設定してください。

### KAVC4234-I

The business scope ((業務スコープ名)) was opened.  
業務スコープ((業務スコープ名))を開きました。

[スコープ]ウィンドウで表示する業務スコープを変更したことを通知するメッセージです。

(S)

[スコープ]ウィンドウで表示する業務スコープを変更したことをログ出力しました。

**KAVC4302-Q**

Are you sure you want to log out?  
終了（ログアウト）してもよろしいですか？

JP1/AJS2 Console View を終了するかどうか確認します。

- (S)  
ユーザーの応答を待ちます。
- (O)  
終了する場合は [ はい ] ボタンを，取り消す場合は [ いいえ ] ボタンを選択してください。

**KAVC4303-Q**

Are you sure you want to delete the (名称)?  
(名称) を削除します。よろしいですか？

オブジェクトを削除するかどうか確認します。

- (S)  
ユーザーの応答を待ちます。
- (O)  
削除する場合は [ はい ] ボタンを，取り消す場合は [ いいえ ] ボタンを選択してください。

**KAVC4304-Q**

Are you sure you want to delete the selected (個数) objects?  
選択された (個数) 個のオブジェクトを削除します。よろしいですか？

オブジェクトを削除するかどうか確認します。

- (S)  
ユーザーの応答を待ちます。
- (O)  
削除する場合は [ はい ] ボタンを，取り消す場合は [ いいえ ] ボタンを選択してください。

**KAVC4305-Q**

The execution ID is unknown. Are you sure you want to start JP1/AJS2 - View?  
実行IDが不明なためJP1/AJS2-View画面を起動します。よろしいですか？

ダブルクリック，または [ 詳細情報 ] ダイアログボックスの [ 画面起動 ] ボタンで [ ジョブネットモニタ ] ウィンドウを起動しようとしたが，実行 ID が不明なため代わりに [ JP1/AJS2 - View ] ウィンドウを起動してもよいかどうか確認します。

- (S)  
ユーザーの応答を待ちます。
- (O)  
[ JP1/AJS2 - View ] ウィンドウを起動する場合は [ はい ] ボタンを，取り消す場合は [ いいえ ] ボタンを選択してください。

**KAVC4306-Q**

The specified color ((作成色名)) is in use. Are you sure you want to delete it?

指定した表示色（（作成色名））は，現在使用中です。このまま削除してもよろしいですか？

- [ 表示色の選択 ] ダイアログボックスでユーザー作成色を削除しようとしたが，状態表示色として割り当てられているため，削除するかどうか確認します。
- (S)  
ユーザーの応答を待ちます。

- (O)  
表示色を削除する場合は [ はい ] ボタンを，取り消す場合は [ いいえ ] ボタンを選択してください。[ はい ] ボタンを選択した場合の状態表示色の割り当ては，デフォルトの設定が適用されます。

**KAVC4307-Q**

Are you sure you want to perform the (操作名称) on (名称)?  
(名称) に (操作名称) を行います。よろしいですか？

指定した監視オブジェクトに対してメッセージに表示されている操作を実行するかどうか確認します。

- (S)  
ユーザーの応答を待ちます。
- (O)  
操作を実行する場合は [ はい ] を，取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

**KAVC4308-Q**

The background image file ((ファイル名)) cannot be accessed. Are you sure you want to define the specified file name for the background image file?  
背景イメージファイル（（ファイル名））にアクセスできません。このまま指定されたファイル名を背景に設定してもよろしいですか？

背景を設定しようとしたが，背景イメージファイルにアクセスできません。このまま指定されたファイル名を背景に設定してもよいかどうか確認します。

- (S)  
ユーザーの応答を待ちます。
- (O)  
背景イメージは表示されなくても設定だけを有効にする場合は [ はい ] を，取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

## KAVC4309-Q

The icon image file ((ファイル名)) cannot be accessed. Are you sure you want to define the specified file name for the icon image file?

指定されたアイコンファイル（（ファイル名））にアクセスできません。このまま指定されたアイコンファイル名を設定してもよろしいですか？

アイコンイメージを設定しようとしたますが、アイコンイメージファイルにアクセスできません。このまま指定されたアイコンファイル名を設定してもよいかどうか確認します。

- (S) ユーザーの応答を待ちます。

- (O) 指定したアイコンイメージは表示されなくても設定だけを有効にする場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

## KAVC4501-E

Cannot connect to the connection destination host or JP1/AJS2 Console Manager service on the connection destination host.

Detailed information [(接続先ポート番号) : (接続先IPアドレス)]

接続先ホストまたは接続先ホストのJP1/AJS2 Console Managerサービスに接続できません。

詳細情報 [(接続先ポート番号) : (接続先IPアドレス)]

接続先ホスト、または接続先ホストのJP1/AJS2 Console Manager サービスに接続できません。次の原因が考えられます。

- 接続先ホストのJP1/AJS2 Console Manager サービスが起動していない。
- ポート番号 (jp1ajs2cm) の定義が接続先と一致していない。
- 接続先ホストが起動していない。
- 接続先ホストとネットワーク接続できる状態ではない。
- 接続先との間にファイアウォールがある場合は、通過できるように設定されていない。

- (S) 処理を中断します。

- (O) エラーの原因を取り除いたあと、再度操作してください。  
また、サーバがビジーな状態の場合は接続できない場合があります。接続しようとしているJP1/AJS2 Console Manager に対して、複数のJP1/AJS2 Console View から接続しようとする場合は、リトライ回数を設定してください（デフォルトは1回です）。  
リトライ回数の設定方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 12. JP1/AJS2 Console 画面のカスタマイズ」

を参照してください。

## KAVC4502-E

The data to the connection destination could not be sent or received.

データの送受信に失敗しました。

JP1/AJS2 Console Manager とのデータの送受信に失敗しました。

- (S) 処理を中断します。

- (O) ネットワークの一時的な問題が考えられます。定義情報の更新時にこのエラーメッセージが表示された場合は、定義内容が更新されているかどうか確認し、更新されていない場合は再度同じ操作をしてください。  
また、何度もこのメッセージが表示される場合は、JP1/AJS2 Console Manager で異常が発生しているおそれがあります。  
JP1/AJS2 Console Manager のホストにある syslog ファイル（UNIX の場合）や、イベントログ（Windows の場合）などのログ情報を参照して調査してください。そのあと、調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。

## KAVC4503-E

Processing was interrupted because an error was detected in the received data. Confirm that the port number (jp1ajs2cm) is the same at the connection destination.

Detailed information [(保守情報)]

受信データに異常を検出したため処理を中断します。ポート番号 (jp1ajs2cm) の定義が接続先と一致しているかを確認してください。

詳細情報 [(保守情報)]

送られてきたデータにプロトコル上の不正なデータを検出しました。

- (S) 処理を中断します。

- (O) ポート番号 (jp1ajs2cm) の定義が接続先と一致しているかどうか確認してください。

## KAVC4504-E

The host name is specified incorrectly.

ホスト名が不正です。

接続ホスト名で指定されたホスト名ではホスト名解決できません。

- (S) 処理を中断します。

- (O) 正しいホスト名、または IP アドレスを入力してください。



さい。

#### KAVC4505-E

Cannot connect because the number of connections exceeded the maximum.

接続数が最大値を超えたため接続できません。

JP1/AJS2 Console Manager との接続数が最大値を超えたため接続できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続数が最大値以下になったあと、再度接続してください。

最大接続数は JP1/AJS2 Console Manager の環境設定で変更できます。必要に応じて構成定義パラメーター MAXSESSION の値を設定してください。

#### KAVC4506-E

A timeout occurred while waiting for the response from the connection destination.

接続先からの応答待ちにタイムアウトしました。

JP1/AJS2 Console Manager からの応答待ちでタイムアウトになりました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 Console Manager に異常がないかどうか確認してください。JP1/AJS2 Console Manager での処理に時間が掛かっている場合もあるため、定義情報の更新時は内容が反映されているかどうか確認してください。タイムアウト値は変更もできます。設定方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 12. JP1/AJS2 Console 画面のカスタマイズ」を参照してください。

#### KAVC4507-E

Communication access was denied at the connection destination.

接続先から通信アクセスが拒否されました。

接続先の JP1/Base の設定で、接続ホストで指定したホスト名または IP アドレスに対して通信しない設定になっているため接続できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先の JP1/Base の設定で物理ホストに対して受信側バインド方式が IP バインド方式になっているかどうか確認してください。IP バインド方式の場合は、接続先ホスト名に設定されている IP アドレスまたは

その IP アドレスにホスト名解決ができるホスト名を指定してください。

#### KAVC4511-E

The user name or password is invalid.

ユーザー名、またはパスワードに誤りがあります。

JP1 ユーザー名かパスワードに誤りがあったため、ログインできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先の認証サーバで登録されている、JP1 ユーザー名とパスワードを入力して、ログインしてください。

#### KAVC4512-E

The Access Control Server at the connection destination could not be connected.

接続先で認証サーバに接続できません。

接続先で認証サーバに接続できないためユーザー認証処理ができず、ログインまたは接続できません。次の原因が考えられます。

- 接続先の JP1/Base の設定で認証サーバのホスト名を誤って指定している。
- 接続先で指定している認証サーバが起動していない。

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーの原因を取り除いたあと、ログインおよびメニュー [ ファイル ] - [ 再接続 ] をしてください。なお、UNIX で認証サーバを自ホストに指定しているときは、JP1/Base を認証サーバとして起動する設定が必要です。設定方法は、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」の認証サーバの指定の説明を参照してください。

#### KAVC4513-E

The user could not be authenticated at the connection destination.

Detailed information [(保守情報)]

接続先でユーザー認証処理に失敗しました。

詳細情報 [ (保守情報) ]

接続先でユーザー認証に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

- 画面のハードコピー
- JP1/AJS2 Console View のログ情報

- 接続先の JP1/AJS2 Console Manager のログ情報
- 接続先の JP1/Base のログ情報（認証サーバが別のホストにある場合は、認証サーバ側の JP1/Base のログ情報も含まれます）
- ログ情報の採取方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

また、JP1/Base のログ情報の採取方法は、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照してください。

#### KAVC4514-E

You cannot use the current login information to log in.  
現在のログイン情報ではログインできません。

JP1/IM・View から JP1/AJS2 Console View を起動した場合は、接続先の認証圏が異なるか、または JP1/AJS2 Console View を起動するまでに認証サーバが再起動したため、現在のログイン情報でログインできませんでした。通常に JP1/AJS2 Console View を起動した場合は、JP1/AJS2 Console View のログイン処理中に認証サーバが再起動したため、現在のログイン情報でログインできませんでした。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)
- 再度ログインしてください。

#### KAVC4515-E

You cannot use the current login information to connect.  
Log in again.  
現在のログイン情報では接続できません。再ログインしてください。

認証サーバが再起動されたか、現在の JP1/AJS2 Console View を起動した View がログアウトしたため、現在のログイン情報が無効になり、接続先と接続できなくなりました。

- (S)
- 処理を中断し [ ログイン ] 画面を表示します。

- (O)
- 再度ログインしてください。

#### KAVC4516-E

You cannot make a connection because another user is currently changing the definition.  
他で定義中のため接続できません。

ほかの JP1/AJS2 Console View で同じルート業務スコープに対して定義中であるため接続できません。

- (S)

処理を中断します。

- (O)
- ほかの JP1/AJS2 Console View が定義モードでなくなるのを待ってから、再度ログイン、または接続してください。

#### KAVC4520-E

The information about the connection destination ((情報)) cannot be obtained.  
接続先の情報 ( (情報) ) が取得できません。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager の「情報」が取得できないため、接続できません。

- (S)
- 処理を中断し、接続を切断します。

- (O)
- 次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。
- 画面のハードコピー
  - JP1/AJS2 Console View のログ情報
  - JP1/AJS2 Console Manager のログ情報
- ログ情報の採取方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

#### KAVC4521-E

The character code-set for the connection destination (文字コード名) is not supported.  
接続先で指定している文字コード (文字コード名) はサポートできません。

接続先で指定された文字コードを使って処理できません。

- (S)
- 処理を中断し、接続を切断します。
- (O)
- JP1/AJS2 Console Manager の設定に誤りがないかどうか確認してください。

#### KAVC4522-E

The content of the connection destination information ((情報内容)) has been changed. Please restart JP1/AJS2 Console View.

接続先の情報 ( (情報内容) ) に変更がありました。  
JP1/AJS2 Console View を再度起動してください。

接続先のバージョンまたは文字コードに変更があったため処理を続行することはできません。

- (S)
- 処理を中断し、接続を切断します。

(O)

ログアウトしてから再度 JP1/AJS2 Console View を起動してください。

**KAVC4523-E**

Processing failed because the received data was invalid.  
受信データが不正なため処理できません。

JP1/AJS2 Console Manager から送られてきたデータが不正なため処理できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

- 画面のハードコピー
- JP1/AJS2 Console View のログ情報
- JP1/AJS2 Console Manager のログ情報

ログ情報の採取方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

**KAVC4524-W**

The login information could not be released. ((保守情報))  
ログイン情報の解放に失敗しました。( (保守情報) )

ログイン情報の解放に失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

ログイン情報の解放に失敗したことをログに出力しました。

(O)

このメッセージは内部ログですので対処は不要です。

**KAVC4525-E**

The information about the connection destination ((情報)) is invalid.

接続先の情報 ( (情報) ) が不正です。

接続先の情報が不正なため処理できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

- 画面のハードコピー
- JP1/AJS2 Console View のログ情報
- JP1/AJS2 Console Manager のログ情報

ログ情報の採取方法については、マニュアル「JP1/

Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

**KAVC4526-E**

Inaccurate data was detected. Check the setup of the character code at the connection destination. ((文字コード名))

不正なデータを検出しました。接続先の文字コードの設定を確認してください。( (文字コード名) )

文字コードの不正で、JP1/AJS2 Console View では表示できない不正なデータを検出しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ログアウトしたあと、接続先の JP1/AJS2 Console Manager で文字コードの設定を運用途中で変更し、かつ変更前のデータが残っていないかどうか確認してください。

なお、このメッセージが表示されていない場合でも、JP1/AJS2 Console View の表示が文字化けしている場合は、上記と同じ対処をしてください。

**KAVC4527-E**

An error occurred in session processing.  
Detailed information [(保守情報)]  
セッション処理でエラーが発生しました。  
詳細情報: [ (保守情報) ]

JP1/AJS2 Console View から送信したデータに不正がありました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

- 画面のハードコピー
- JP1/AJS2 Console View のログ情報
- JP1/AJS2 Console Manager のログ情報

ログ情報の採取方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

## KAVC4530-Q

The connection with the connection destination was severed. Do you want to re-connect?

接続先との接続が切れています。再接続しますか？

JP1/AJS2 Console Manager との接続が切れているため、再接続するかどうか確認します。JP1/AJS2 Console View では JP1/AJS2 Console Manager との接続が切れている場合は、このメッセージを表示しないで自動的に再接続します。ただし、JP1/AJS2 Console View のカスタマイズで自動的に再接続しない設定になっている場合には、このメッセージを表示します。

(S)

ユーザーの応答を待ちます。

(O)

再接続する場合は [ はい ] ボタンを、取り消す場合は [ いいえ ] ボタンを選択してください。

## KAVC4537-I

ENUM\_RECV (受信情報)

ENUM\_RECV ( 受信情報 )

JP1/AJS2 Console Manager からデータを受信したことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 Console Manager からデータを受信したことをログに出力しました。

## KAVC4538-I

REQ\_EXECCOMMAND : (保守情報)

REQ\_EXECCOMMAND : ( 保守情報 )

JP1/AJS2 Console Manager に操作要求を行ったことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 Console Manager に操作要求を行ったことをログに出力しました。

## KAVC4539-I

NOTIFY\_EXECCOMMAND : (保守情報)

NOTIFY\_EXECCOMMAND : ( 保守情報 )

操作完了通知を受けたことを通知するメッセージです。

(S)

操作が完了したことをログに出力しました。

## KAVC4540-I

CONNECT (接続情報)

CONNECT ( 接続情報 )

JP1/AJS2 Console Manager との接続に成功したことを通知するメッセージです。

(S)

「接続情報」の内容で接続に成功したことをログに出力しました。

## KAVC4541-E

CONNECT\_ERR ((保守情報)) [(接続情報)]

CONNECT\_ERR ( ( 保守情報 ) ) [ ( 接続情報 ) ]

接続時にエラーになったことや、すでに接続された状態のときに接続が切断されたことを通知するメッセージです。

(S)

接続に失敗したまたは切断されたことをログに出力し処理を続行します。接続に失敗した場合は、設定によりリトライ処理を行います。

(O)

このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

## KAVC4542-I

CLOSE (接続情報)

CLOSE ( 接続情報 )

JP1/AJS2 Console Manager との接続をクローズしたことを通知するメッセージです。

(S)

「接続情報」の内容の接続をクローズしたことをログに出力しました。

## KAVC4543-W

CLOSE\_ERR ((保守情報)) [(接続情報)]

CLOSE\_ERR ( ( 保守情報 ) ) [ ( 接続情報 ) ]

JP1/AJS2 Console Manager との接続のクローズに失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

「接続情報」の内容のクローズに失敗したことをログに出力し、処理を続行します。

(O)

このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

## KAVC4544-W

WARNING (保守情報)

WARNING ( 保守情報 )

続行できるエラーが発生したことを通知するメッセージです。

(S)

続行できるエラーが発生したことをログに出力し、処理を続行します。

(O)

このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

す。

#### KAVC4545-I

NOTIFY\_MONSTAT: (保守情報)  
NOTIFY\_MONSTAT: (保守情報)

JP1/AJS2 Console Manager の監視状態が変更になったことを通知するメッセージです。

- (S)
- JP1/AJS2 Console Manager の監視状態が変更になったことをログに出力しました。

#### KAVC4546-W

INVALID\_DATA (受信データ)  
INVALID\_DATA (受信データ)

JP1/AJS2 Console Manager から受信したデータが不正な場合にそのデータ内容を出力するメッセージです。

- (S)
- 障害発生時の調査用にログ出力し、処理を続行します。
- (O)
- このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

#### KAVC4547-I

SEND (保守情報)  
SEND (保守情報)

JP1/AJS2 Console Manager ヘデータを送信したことを通知するメッセージです。

- (S)
- JP1/AJS2 Console Manager ヘデータを送信したことをログに出力しました。

#### KAVC4548-I

SDUMP (送信データ)  
SDUMP (送信データ)

JP1/AJS2 Console Manager への送信データを通知するメッセージです。

- (S)
- 送信データをログに出力しました。

#### KAVC4549-I

RECV (保守情報)  
RECV (保守情報)

JP1/AJS2 Console Manager からデータを受信したことを通知するメッセージです。

- (S)
- JP1/AJS2 Console Manager からデータを受信したこ

とをログに出力しました。

#### KAVC4550-I

RDUMP (受信データ)  
RDUMP (受信データ)

JP1/AJS2 Console Manager からの受信データを通知するメッセージです。

- (S)
- 受信データをログに出力しました。

#### KAVC4551-I

NET\_OPTION: (通信オプション)  
NET\_OPTION: (通信オプション)

JP1/AJS2 Console View に設定した通信オプションの値を通知するメッセージです。

- (S)
- JP1/AJS2 Console View に設定した通信オプションの値をログに出力しました。

#### KAVC4552-E

SEND\_ERR ((保守情報))  
SEND\_ERR ((保守情報))

JP1/AJS2 Console Manager へのデータ送信に失敗したことを通知するメッセージです。

- (S)
- JP1/AJS2 Console Manager へのデータ送信に失敗したことをログに出力し、処理を続行します。
- (O)
- このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

#### KAVC4553-I

NOTIFY\_CHGSTAT: ((保守情報))  
NOTIFY\_CHGSTAT: ((保守情報))

状態変更通知を受けたことを通知するメッセージです。

- (S)
- オブジェクトの状態が変更されたことをログに出力しました。

#### KAVC4554-I

REQ\_START (保守情報)  
REQ\_START (保守情報)

JP1/AJS2 Console Manager への要求送信処理を開始したことを通知するメッセージです。

- (S)
- JP1/AJS2 Console Manager への要求送信処理を開始したことをログに出力しました。

### KAVC4555-I

REQ\_END (保守情報)

REQ\_END (保守情報)

JP1/AJS2 Console View から JP1/AJS2 Console Manager への要求が正常に実行されたことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 Console Manager から正常な応答が返り、JP1/AJS2 Console View から JP1/AJS2 Console Manager への要求が正常に実行されたことをログに出力しました。

### KAVC4556-I

ERR\_SDUMP (送信データ)

ERR\_SDUMP (送信データ)

JP1/AJS2 Console View から JP1/AJS2 Console Manager への要求でエラーが発生したときに、JP1/AJS2 Console View から送信したデータを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 Console View から JP1/AJS2 Console Manager への要求でエラーが発生したときに、JP1/AJS2 Console View から送信したデータをログに出力しました。

### KAVC4557-I

MANAGER\_ERR (保守情報)

MANAGER\_ERR (保守情報)

JP1/AJS2 Console View から JP1/AJS2 Console Manager への要求で、JP1/AJS2 Console Manager からエラー応答があったことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 Console View から JP1/AJS2 Console Manager への要求で、JP1/AJS2 Console Manager からエラー応答があったことをログに出力しました。

### KAVC4558-W

LOGOUT\_ERR (保守情報)

LOGOUT\_ERR (保守情報)

JP1/AJS2 Console View のログアウト時にエラーが発生したことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 Console View のログアウト時にエラーが発生したことをログに出力し、処理を続行します。

(O)

このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

### KAVC4559-I

REQ\_ERR (保守情報)

REQ\_ERR (保守情報)

JP1/AJS2 Console View から JP1/AJS2 Console Manager への要求でエラーが発生したことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 Console View から JP1/AJS2 Console Manager への要求でエラーが発生したことをログに出力しました。

### KAVC4560-E

An error occurred at the connection destination.

Detailed information [(保守情報)]

接続先でエラーが発生しました。

詳細情報 [(保守情報)]

接続先の JP1/AJS2 Console Manager でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 Console Manager のホストにある Windows イベントログ (Windows の場合)、または syslog ファイル (UNIX の場合) などのログ情報を参照して調査してください。そのあと、調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。

### KAVC4561-E

Memory became insufficient at the connection destination.

接続先でメモリー不足が発生しました。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager でメモリー不足が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先の JP1/AJS2 Console Manager でメモリー不足の発生する状態になっていないかどうか次の確認をしてください。

- UNIX の場合は、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターのメモリーに関する設定値が、見積もり値以上になっているかどうか確認してください。

現象発生時に稼働しているプロセスの状態を確認し、見積もり値以上のメモリーがあるかどうか確認してください。

**KAVC4562-E**

There is insufficient space for the file at the connection destination.

接続先でファイルの空き容量がありません。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager でファイルを書き込もうとしているファイルシステム、またはデバイスに空き容量がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先の不要なファイルを削除して空き容量を作成してください。

**KAVC4563-E**

Resources became insufficient at the connection destination.

接続先でリソース不足が発生しました。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager でリソース不足が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 Console Manager のホストにある Windows イベントログ (Windows の場合)、または syslog ファイル (UNIX の場合) などのログ情報を参照して調査してください。そのあと、調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。

**KAVC4564-E**

JP1/AJS2 Console Manager service needs the required permission.

JP1/AJS2 Console Manager サービスに必要な権限がありません。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager サービスが処理を実行するために必要な権限がないため処理できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先の JP1/AJS2 Console Manager サービスが持つ権限を確認してください。

- Windows の場合

JP1/AJS2 Console Manager サービスのアカウントがローカルシステムアカウントになっていることを確認してください。

また、ユーザーアカウントの場合はマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 5.2.3 JP1/AJS2 のサービスの設定を変更する必要がある場合 (Windows 限定)」を参照し、指定したユーザーがサービスとして必要な権限を持っているかどうかを確認してください。

- UNIX の場合

ajscminetd の実行ユーザーがスーパーユーザーになっていることを確認してください。

**KAVC4565-E**

Defined data is corrupted at the connection destination.  
接続先の定義データが壊れています。

接続先の定義データが壊れているため処理できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 Console Manager サービスを停止し次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

- JP1/AJS2 Console View のログ情報
- JP1/AJS2 Console Manager のログ情報
- データディレクトリ

ログ情報の採取方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。  
資料採取後はデータディレクトリを削除し、バックアップしているデータディレクトリをリストアしてください。

**KAVC4566-E**

An error occurred in JP1/Base at the connection destination.

Detailed information [(保守情報)]

接続先の JP1/Base でエラーが発生しました。

詳細情報 [ (保守情報) ]

接続先の JP1/Base でエラーが発生したため処理できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 Console Manager のホストにある Windows イベントログ (Windows の場合)、または syslog ファイル (UNIX の場合) などのログ情報を参照して調査してください。そのあと、調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。

**KAVC4567-E**

A configuration definition parameter that must be defined does not exist or is specified incorrectly at the connection destination.

接続先で定義されていない構成定義パラメーターが存在しないか誤りがあります。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager の環境設定に誤り

があるため処理できません。

次の原因が考えられます。

- 接続先で JP1/AJS2 Console Manager がセットアップされていない。
- 構成定義パラメーター DATADIRECTORY で指定したディレクトリがない。
- JP1/AJS2 Console Manager がクラスタ構成の場合はフェールオーバー中である。

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーの原因を取り除いたあと、再度ログインしてください。  
クラスタ構成でフェールオーバー中の場合はフェールオーバーが完了するのを待ってから再度ログインおよび [ ファイル ] - [ 再接続 ] を行ってください。  
なお、JP1/AJS2 Console Manager の構成定義パラメーターを変更した場合は、JP1/AJS2 Console Manager サービスを再起動しないと変更内容が反映されません。  
JP1/AJS2 Console Manager をセットアップしたあと、JP1/Base をアンインストールして再度インストールした場合は、JP1/AJS2 Console Manager を再度セットアップする必要があります。

#### KAVC4568-I

InterProcess : (通信データ)

InterProcess : ( 通信データ )

プロセス間通信処理を行っていることを通知するメッセージです。

(S)

プロセス間通信処理を行っていることをログに出力しました。

#### KAVC4569-W

InterProcess : (保守情報)

InterProcess : ( 保守情報 )

プロセス間通信処理中に、続行できるエラーが発生したことを通知するメッセージです。

(S)

プロセス間通信処理中に、続行できるエラーが発生したことをログに出力しました。

(O)

このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

#### KAVC4570-E

InterProcess : (保守情報)

InterProcess : ( 保守情報 )

プロセス間通信処理中に、エラーが発生したことを通知す

るメッセージです。

(S)

プロセス間通信処理中に、エラーが発生したことをログに出力しました。

(O)

このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

#### KAVC4601-E

Specify (フィールド名).

(フィールド名) を指定してください。

「フィールド名」が指定されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

「フィールド名」に値を入力して、再度操作してください。

#### KAVC4602-E

The Define Details dialog box cannot be displayed because the selected object is unknown.

不明なオブジェクトが選択されているため詳細定義ダイアログは表示できません。

指定されたオブジェクトは、上位バージョンで追加されたオブジェクトのため [ 詳細定義 ] ダイアログボックスを表示できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 詳細定義 ] ダイアログボックスを表示するには、JP1/AJS2 - View を接続先の JP1/AJS2 - Manager と同じバージョンにバージョンアップしてください。

#### KAVC4603-E

The Definition mode is unavailable because the object is currently being monitored.

他で監視中のため定義モードにできません。

ほかで監視中のため定義モードにできません。

(S)

処理を中断します ( 監視モードのままになります )。

(O)

ほかで監視中でないことを確認してから、再度定義モードに変更してください。  
また、ajscmprint コマンド実行中に定義モードに変更しようとした場合も、このメッセージが表示されます。ajscmprint コマンドの実行が終わってから再度定義モードに変更してください。



**KAVC4604-E**

The Main Scope window cannot be displayed in front because it is minimized.

メインスコープ画面はアイコン化されているため前面表示できません。

[メインスコープ] ウィンドウを前面表示しようとしたが、アイコン化されているため前面表示できませんでした。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
[メインスコープ] ウィンドウを手動で元のサイズに戻してください。

**KAVC4605-E**

Select objects.  
オブジェクトを選択してください。

オブジェクトが選択されていないので操作できません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
マップエリア上で操作対象のオブジェクトを選択したあと、再度操作してください。

**KAVC4606-E**

The Definition mode is unavailable because the monitoring status is not "Monitoring".  
監視状態が監視中でないため定義モードにできません。

接続先で監視状態が監視中ではないため定義モードにできません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
モードパネルの監視状態の表示が「監視中」になってから再度定義モードにしてください。

**KAVC4607-E**

The Monitoring mode is unavailable because the monitoring status is "Stopped Monitoring".  
監視状態が監視停止でないため監視モードにできません。

接続先で監視状態が監視停止ではないため定義モードにできません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
モードパネルの監視状態の表示が「監視停止」になってから再度監視モードにしてください。

**KAVC4608-E**

An object that is cut or copied was not found.

切り取りまたはコピーされているオブジェクトがありません。

切り取りまたはコピーされているオブジェクトがないため、貼り付けできません。  
なお、切り取りまたはコピーしたオブジェクトを削除した場合、そのオブジェクトは切り取りまたはコピー対象から外れます。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
貼り付ける前に切り取りまたはコピーをしてください。

**KAVC4609-E**

The setting could not be updated.  
設定を更新することができませんでした。

JP1/AJS2 Console View の設定ファイルの書き込みに失敗したため、設定された内容を更新できません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
設定ファイル格納フォルダ以下のファイル権限を不当に変更していないかどうか確認してください。  
設定ファイル格納フォルダの場所は次のとおりです。  
Windows XP Professional および Windows Server 2003 の場合  
JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ  
¥conf  
Windows Vista および Windows Server 2008 の場合  
%ALLUSERSPROFILE%\¥Hitachi¥JP1¥JP1\_DE  
FAULT¥JP1AJS2V¥conf  
「%ALLUSERSPROFILE%」のデフォルトは「システムドライブ ¥ProgramData」です。

**KAVC4610-E**

The object could not be pasted because the maximum number of definitions was exceeded.  
最大定義数を超えるため貼り付けられません。

最大定義数を超えるため、オブジェクトを貼り付けできません。

(S)  
最大定義数まで貼り付けの処理が実行されます。

(O)  
業務スコープも定義数の対象になります。階層構造を見直して不要な階層があれば業務スコープによるグループ化を止めてください。

#### KAVC4611-E

Select one object.

オブジェクトを一つ選択してください。

オブジェクトが選択されていない、またはオブジェクトが複数選択されているので操作できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

マップエリア上で操作対象のオブジェクトを一つ選択したあと、再度操作してください。

#### KAVC4612-E

Select one (オブジェクト種別)

(オブジェクト種別) を一つ選択してください。

「オブジェクト種別」のオブジェクトが選択されていない、または「オブジェクト種別」のオブジェクトが複数選択されているので操作できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

マップエリア上で操作対象となるオブジェクト種別のオブジェクトを一つ選択したあと、再度操作してください。

#### KAVC4613-E

Jobnet Monitor could not be started because the execution ID is unknown.

実行IDが不明なためジョブネットモニタ画面を起動できません。

実行 ID が不明なため [ジョブネットモニタ] ウィンドウを起動できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

必要に応じて、メニュー [表示] - [JP1/AJS2 - View] - [JP1/AJS2 - View 画面] を選択し、[JP1/AJS2 - View] ウィンドウを起動してください。

#### KAVC4614-E

An upper-level business scope does not exist.

上位業務スコープは存在しません。

ルート業務スコープ表示中に上位業務スコープを表示しようとした。

(S)

処理を中断します。

(O)

現在表示している業務スコープの階層を確認してください。

#### KAVC4615-E

An object with the same name already exists. Rename the object.

すでに同一名称のオブジェクトが存在します。名称を変更してください。

同一階層に同一名称のオブジェクトは定義できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

名称を変更して定義してください。

#### KAVC4616-E

Enter the (値1)・(値2) for (フィールド名).

(フィールド名) には、(値1)・(値2) の値を指定してください。

「フィールド名」に値が指定されていない、または不正な値が指定されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

(フィールド名) には、(値1) から (値2) の範囲で値を指定してください。

#### KAVC4617-E

A maximum of 50 colors can be created.

表示色は最大50色まで作成可能です。

表示色は最大 50 色しか作成できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要な表示色を削除したあと、再度表示色を作成してください。

#### KAVC4618-E

A color with the specified RGB element already exists, so you cannot specify the RGB element.

すでに存在する表示色と同じRGB要素を指定することはできません。

基本色、または既存のユーザー作成色と同一の RGB 要素を持つ表示色は、作成できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

既存の表示色と重複しない RGB 要素の値を指定して、再度表示色を作成してください。

**KAVC4619-E**

A color with the same name already exists, so you cannot specify the name.

すでに存在する表示色と同じ名称を指定することはできません。

基本色、または既存のユーザー作成色と同一名称の表示色は、作成できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

既存の表示色と重複しない名称を指定して、再度表示色を作成してください。

**KAVC4620-E**

Failed to start JP1/AJS2 - View.

JP1/AJS2 - Viewの起動に失敗しました。

JP1/AJS2 - View の起動に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

メモリー不足、またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了したあと、再度操作してください。

解決できない場合は、JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

**KAVC4621-E**

Select an item in the Available colors list.

選択可能な表示色の一覧で項目を選択してください。

[ 選択可能な表示色の一覧 ] で表示色が選択されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 選択可能な表示色の一覧 ] で表示色を選択してください。

**KAVC4622-E**

An error occurred while displaying the message box.

メッセージボックスの表示処理中にエラーが発生しました。

メッセージボックスの表示処理中にエラーが発生しました。

(S)

メッセージボックスの表示でエラーが発生したことをログに出力します。

(O)

次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

- JP1/AJS2 Console View のログ情報

**KAVC4623-E**

The log could not be output. Detailed information ((保守情報))

ログ出力処理に失敗しました。詳細情報 ( ( 保守情報 ) )

ログ出力処理に失敗しました。次の原因が考えられます。

- ログフォルダ以下のファイルに対するアクセス権がない。
- ディスクの空き容量が不足している。

ログフォルダの場所は次のとおりです。

Windows XP Professional および Windows Server 2003 の場合

JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ ¥log

Windows Vista および Windows Server 2008 の場合

%ALLUSERSPROFILE%¥Hitachi¥JP1¥JP1\_DEFAULT¥JP1AJS2V¥log

「%ALLUSERSPROFILE%」のデフォルトは「システムドライブ ¥ProgramData」です。

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーの原因を取り除いてください。

解決できない場合は、JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

**KAVC4624-E**

You cannot create an object because the maximum number of definitions was exceeded.

最大定義数を超えるためオブジェクトを作成できません。

最大定義数を超えるためオブジェクトを作成できません。

(S)

処理を中断します。

[ 監視オブジェクトの自動作成 ] 時は、エラーを検出するまで作成処理を実行します。

(O)

業務スコープも定義数の対象になります。階層構造を見直して不要な階層があれば業務スコープによるグループ化を止めてください。

**KAVC4626-E**

The help is not installed.

ヘルプがインストールされていません。

ヘルプがインストールされていないためヘルプを表示できません。

(S)

## KAVC4628-E ~ KAVC4634-E

処理を中断します。

(O)

ヘルプを表示するにはヘルプをインストールしてください。

### KAVC4628-E

The help file is associated with the browser.

ヘルプファイルがブラウザーに関連付けられていません。

ヘルプファイルがブラウザーに関連づけられていないためヘルプを表示できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

HTML ファイル (拡張子 .htm) と WWW ブラウザーを関連づけてください。

### KAVC4629-E

An attempt to display the help failed.

ヘルプの表示に失敗しました。

ヘルプを表示できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

### KAVC4631-E

The specified operation was not performed because the connection was severed during processing.

途中で接続が切れたため指定された操作を行いませんでした。

確認メッセージダイアログボックス表示中およびダイアログボックス表示中に接続が切れたので、そのあとの更新操作、および AJS2 ユニット監視オブジェクトに対する操作を行いませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

再度、更新操作および AJS2 ユニット監視オブジェクトに対する操作を行ってください。

### KAVC4632-E

The available file extensions are .jpg and .gif. Specify a valid file name.

ファイルの拡張子は「.jpg」及び「.gif」が有効となります。再度正しいファイル名を入力してください。

背景イメージファイルの拡張子は「.jpg」および「.gif」である必要があります。

(S)

処理を中断します。

(O)

拡張子が「.jpg」または「.gif」のファイルを指定してください。

### KAVC4633-E

The available icon file extension is .gif. Specify a valid file name.

アイコンファイルの拡張子は「.gif」が有効となります。再度正しいファイル名を入力してください。

アイコンイメージファイルの拡張子は「.gif」である必要があります。

(S)

処理を中断します。

(O)

拡張子が「.gif」のファイルを指定してください。

### KAVC4634-E

The (名称) directory ((ディレクトリ名)) does not exist, or a file with the extension ((拡張子名)) does not exist in the directory.

(名称)ディレクトリ((ディレクトリ名))が存在しないか、そのディレクトリに拡張子((拡張子名))のファイルが存在しません。

[ファイル選択] ダイアログボックスを表示しようとしたが、「ディレクトリ名」のディレクトリがないか、その配下に拡張子が「拡張子名」のファイルがないため [ファイル選択] ダイアログボックスを表示できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

「ディレクトリ名」があるかどうか、またはそのディレクトリに拡張子が「拡張子名」のファイルがあるかどうか確認してください。

なお、このエラーメッセージが表示された直後にディレクトリを作成したり、対応する拡張子のファイルをディレクトリに追加したりしても、[ファイル選択] ダイアログボックスを起動した [詳細定義] ダイアログボックス (または [背景の設定] ダイアログボックス) を再表示させるまでは、[...] ボタンをクリックしてもこのエラーメッセージが再度表示されます。新しい情報に更新するには、いったん [詳細定義] ダイアログボックス (または [背景の設定] ダイアログボックス) を閉じて、再度ダイアログボックスを表示してから [...] ボタンをクリックしてください。

**KAVC4635-E**

The automatically created monitored object information is not saved.

自動作成する監視オブジェクト情報が記憶されていません。

自動作成する監視オブジェクト情報が記憶されていないため、監視オブジェクトを自動作成できなかったことを通知するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ JP1/AJS2 - View ] ウィンドウで監視対象となるルートジョブネットを選択し、[ オプション ] - [ 監視オブジェクトとして記憶 ] を実行してから、再度操作してください。

なお、JP1/AJS2 Console View のログイン先の JP1/AJS2 Console Manager の文字コードが「C」のとき、ユニット完全名に ASCII 文字以外の文字が含まれるルートジョブネットを AJS2 ユニット監視オブジェクトとして作成することはできません。

また、JP1/AJS2 - View でログイン時に指定したホスト名が ASCII 文字以外の場合に、このエラーメッセージが表示されたときは、JP1/AJS2 - View を起動して接続ホスト名に IP アドレスを指定してから JP1/AJS2 - Manager にログインし、メニュー [ オプション ] - [ 監視オブジェクトとして記憶 ] を実行してください。

**KAVC4636-E**

Refresh is not possible because the monitor status is not "Monitoring".

監視状態が監視中でないため最新情報に更新できません。

接続先で監視状態が監視中でないため最新情報に更新できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

モードパネルの監視状態の表示が「監視中」になってから再度最新情報に更新してください。

**KAVC4637-E**

The object could not be created because the maximum number of objects definable in the definition destination business scope is exceeded.

定義先の業務スコープで定義可能なオブジェクトの最大数を超えるためオブジェクトを作成できません。

定義先の業務スコープで作成可能なオブジェクトの最大数を超えたため、オブジェクトを作成できません。

(S)

処理を中断します。

[ 監視オブジェクトの自動作成 ] 時は、エラーを検出

するまで作成処理を実行します。

(O)

定義先の業務スコープのマップサイズを大きくしてから再度定義してください。

**KAVC4638-E**

The business scope could not be created because the maximum number of business scope hierarchy levels is exceeded.

業務スコープの最大階層数を超えるため業務スコープは作成できません。

ネスト業務スコープは最大 3 階層です。それ以上の階層を作成することはできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

業務スコープの最大階層数を超えないように作成してください。

**KAVC4639-E**

An object cannot be pasted because the maximum number of objects definable in the definition destination business scope is exceeded.

貼り付け先の業務スコープで定義可能なオブジェクトの最大数を超えるため貼り付けられません。

貼り付け先の業務スコープで作成可能なオブジェクトの最大数を超えたため、オブジェクトを貼り付けられません。

(S)

エラーを検出するまで貼り付け処理を実行します。

(O)

貼り付け先の業務スコープのマップサイズを大きくしてから、貼り付けることができなかったオブジェクトに対して再度コピーまたは切り取りをしたあと、貼り付けてください。

**KAVC4640-E**

A business scope cannot be pasted because the maximum number of business scope hierarchy levels is exceeded. 業務スコープの最大階層数を超えるため業務スコープは貼り付けられません。

ネスト業務スコープは最大 3 階層です。それを超える階層を作成することはできません。

(S)

エラーを検出するまで貼り付けの処理が実行されません。

(O)

業務スコープを貼り付ける場合は、業務スコープが最大階層数を超えないようにしてください。

#### KAVC4641-E

Moving is not possible because the cut business scope and paste destination business scope are the same.  
切り取り元の業務スコープと貼り付け先の業務スコープが同じため移動できません。

切り取り元と貼り付け先が同じなため、移動になりません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
移動するときは切り取り元とは別の業務スコープに貼り付けてください。

#### KAVC4642-E

A business scope cannot be moved to a lower hierarchy level.  
業務スコープは下位の階層に移動できません。

切り取りをした業務スコープは、その下位の階層に貼り付けることはできません。

- (S)  
エラーを検出するまで貼り付けの処理が実行されません。
- (O)  
切り取りをした業務スコープを、上位の階層または別の階層に貼り付けてください。

#### KAVC4643-E

The (操作名称) is not possible because the monitoring status is not "Monitoring".  
監視状態が監視中でないため (操作名称) を行うことができません。

接続先で監視状態が監視中ではないため操作を実行できません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
モードパネルの監視状態の表示が「監視中」になってから再度操作を実行してください。

#### KAVC4644-E

The (操作名称) is not possible because the status has not been obtained.  
状態が取得できていないため (操作名称) を行うことができません。

操作対象の監視オブジェクトの状態が「状態不明」および「状態未取得」のため操作を実行できません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)

操作対象の監視オブジェクトの状態が正しく取れてから、再度操作を実行してください。

#### KAVC4645-E

The (操作名称) is not possible because the execution ID is unknown.

実行IDが不明なため (操作名称) を行うことができません。

操作対象の監視オブジェクトの状態が「未登録」または「未計画」のため、指定した操作を実行できません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
操作対象の監視オブジェクトの状態が正しく取れて、かつ、「未登録」または「未計画」以外の状態になってから、再度操作を実行してください。

#### KAVC4646-E

The operation failed.  
操作に失敗しました。

AJS2 ユニット監視オブジェクトに対する操作が失敗しました。

- (S)  
ダイアログボックスにエラー要因を表示します。
- (O)  
[ エラー詳細 ] テキストエリアに表示されているメッセージに従って対処してください。  
KAVC で始まるメッセージについては、該当するメッセージ ID の説明を参照してください。  
KAVS で始まるメッセージについては、「2.3 KAVS で始まるメッセージ (スケジューラーに関するメッセージ)」を参照してください。

### (4) KAVC6001 ~ KAVC7000 (状態不明時または操作失敗時に表示されるメッセージ)

#### KAVC6101-E

An error occurred at the connection destination. Detailed information [(保守情報)]

接続先でエラーが発生しました。詳細情報: [(保守情報)]

接続先の JP1/AJS2 Console Manager でエラーが発生したため、状態表示できません。または、操作に失敗しました。

- (S)  
状態取得時は対象オブジェクトの状態を「状態不明」に、操作時は操作をエラーにし、処理を続行します。
- (O)

JP1/AJS2 Console Manager のホストにあるイベントログ (Windows の場合), または syslog ファイル (UNIX の場合) などのログ情報を参照して調査してください。そのあと, 調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。

#### KAVC6102-E

Memory became insufficient at the connection destination.

接続先でメモリー不足が発生しました。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager でメモリー不足が発生したため, 状態表示できません。または, 操作に失敗しました。

(S)

状態取得時は対象オブジェクトの状態を「状態不明」に, 操作時は操作をエラーにし, 処理を続行します。

(O)

接続先の JP1/AJS2 Console Manager でメモリー不足が発生する状態になっていないかどうか確認してください。

#### KAVC6103-E

There is insufficient space for the file at the connection destination.

接続先でファイルの空き容量がありません。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager でファイルを書き込もうとしているファイルシステム, またはデバイスに空き容量がないため状態表示できません。または, 操作に失敗しました。

(S)

状態取得時は対象オブジェクトの状態を「状態不明」に, 操作時は操作をエラーにしたあと, 処理を続行します。

(O)

接続先の不要なファイルを削除し, 空き容量を確保してください。

#### KAVC6104-E

Resources became insufficient at the connection destination.

接続先でリソース不足が発生しました。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager でリソース不足が発生したため状態表示できません。または, 操作に失敗しました。

(S)

状態取得時は対象オブジェクトの状態を「状態不明」に, 操作時は操作をエラーにし, 処理を続行します。

(O)

接続先の JP1/AJS2 Console Manager ホストにあるイベントログ (Windows の場合), または syslog

ファイル (UNIX の場合) などのログ情報を参照して調査してください。そのあと, 調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。

#### KAVC6111-E

The host name of the monitoring destination could not be resolved.

監視先ホスト名が解決できません。

詳細定義ダイアログボックスで, 監視対象ホスト名に指定したホスト名が接続先の JP1/AJS2 Console Manager でホスト名解決できないため状態表示できません。

(S)

対象オブジェクトの状態を「状態不明」とし, 処理を続行します。

(O)

詳細定義ダイアログボックスの監視対象ホスト名には, JP1/AJS2 Console Manager でホスト名解決できるホスト名を指定してください。または接続先の JP1/AJS2 Console Manager で指定したホスト名がホスト名解決できるように設定してください。

#### KAVC6112-E

Cannot connect to the monitoring destination.

監視先に接続できません。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager から監視先ホストまたは監視先ホストの JP1/AJS2 Console Agent ホストに接続できないため状態表示できません。次の原因が考えられます。

- ・監視先ホストの JP1/AJS2 Console Agent サービスが起動していない。
- ・ポート番号 (jp1ajs2ca) の定義が接続先と監視先で一致していない。
- ・監視先ホストが起動していない。
- ・接続先ホストと監視先ホストがネットワーク接続できる状態でない。
- ・接続先ホストと監視先ホストの間にファイアウォールがある場合, 通過できるように設定されていない。

(S)

対象オブジェクトの状態を「状態不明」とし, 処理を続行します。

(O)

エラーの原因を取り除いてください。

#### KAVC6113-E

A timeout occurred while waiting for the response from the monitoring destination.

監視先からの応答待ちにタイムアウトしました。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager で, 監視先の JP1/AJS2 Console Agent からの応答待ちにタイムアウトしたため状態表示できません。または, 操作に失敗しました。

(S)

## KAVC6114-E ~ KAVC6202-E

状態取得時は対象オブジェクトの状態を「状態不明」に、操作時は操作をエラーにし、処理を続行します。

(O)

監視先ホストの JP1/AJS2 Console Agent に異常がないかどうか確認してください。また、接続先の JP1/AJS2 Console Manager の環境設定で構成定義パラメーター IPC\_TIMEOUT の設定をしている場合、タイムアウト時間が短過ぎでないかどうか確認してください。

### KAVC6114-E

The connection was reset at the monitoring destination.  
監視先から切断されました。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager と監視先の JP1/AJS2 Console Agent 間の接続が切断されたため状態表示できません。または、操作に失敗しました。

(S)

状態取得時は対象オブジェクトの状態を「状態不明」に、操作時は操作をエラーにし、処理を続行します。

(O)

監視先ホストの JP1/AJS2 Console Agent に異常がないかどうか確認してください。また、接続先と監視先との間で通信障害が発生していないかどうか確認してください。

### KAVC6115-E

The data received from the monitoring destination is invalid.  
監視先からの受信データに誤りがあります。

接続先の JP1/AJS2 Console Manager で、監視先の JP1/AJS2 Console Agent から不正なデータを受信したため状態表示できません。または、操作に失敗しました。

(S)

状態取得時は対象オブジェクトの状態を「状態不明」に、操作時は操作をエラーにし、処理を続行します。

(O)

ポート番号 (jp1ajs2ca) の定義が接続先と監視先で一致しているかどうか確認してください。

### KAVC6116-E

The number of hosts to be monitored exceeded the maximum.  
監視できるホスト数の最大値を超えました。

ルート業務スコープで監視できるホスト数の最大値を超えたため状態表示できません。

(S)

対象オブジェクトの状態を「状態不明」とし、処理を続行します。

(O)

同一ホスト上に複数の監視対象がある場合には、各監視オブジェクトの [ホスト名] は同じ指定をしてください。

ルート業務スコープで監視できる最大ホスト数は 50 です。それ以上のホストを監視したい場合は、別のルート業務スコープを作成して監視オブジェクトを定義してください。

### KAVC6201-E

An error occurred at the monitoring destination.  
Detailed information [(保守情報)]  
監視先でエラーが発生しました。  
詳細情報 [(保守情報)]

監視先の JP1/AJS2 Console Agent でエラーが発生したため状態表示できません。または、操作できません。

(S)

状態取得時は対象オブジェクトの状態を「状態不明」に、操作時は操作をエラーにし、処理を続行します。

(O)

JP1/AJS2 Console Agent のホストにあるイベントログ (Windows の場合)、または syslog ファイル (UNIX の場合) などのログ情報を参照し、出力されている JP1/AJS2 Console Agent のメッセージに従って対処してください。  
また、操作エラー時のダイアログボックス (KAVC4646-E) の [エラー詳細] にこのメッセージが表示された場合、JP1/AJS2 Console Agent ホストで生成されたプロセスまたは実行中のコマンドが強制終了されたおそれがあります。JP1/AJS2・View で操作結果を確認し、失敗している場合は操作を再実行してください。

### KAVC6202-E

Memory became insufficient at the monitoring destination.  
監視先でメモリー不足が発生しました。

監視先の JP1/AJS2 Console Agent でメモリー不足が発生したため状態表示できません。または、操作できません。

(S)

状態取得時は対象オブジェクトの状態を「状態不明」に、操作時は操作をエラーにし、処理を続行します。

(O)

監視先の JP1/AJS2 Console Agent でメモリー不足が発生する状態になっていないかどうか次の確認をしてください。

- UNIX の場合は、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターのメモリーに関する設定値が、見積もり値以上になっているかどうか確認してください。
- 現象発生時に稼働しているプロセスの状態を確認し、見積もり値以上のメモリーがあるかどうか確認してください。



**KAVC6203-E**

There is insufficient space for the file at the monitoring destination.

監視先でファイルの空き容量がありません。

監視先の JP1/AJS2 Console Agent でファイルを書き込もうとしているファイルシステム、またはデバイスに空き容量がないため状態表示できません。または、操作できません。

(S)

状態取得時は対象オブジェクトの状態を「状態不明」に、操作時は操作をエラーにし、処理を続行します。

(O)

監視先の JP1/AJS2 Console Agent ホストにある不要なファイルを削除し、空き容量を確保してください。

**KAVC6204-E**

Resources became insufficient at the monitoring destination.

監視先でリソース不足が発生しました。

監視先の JP1/AJS2 Console Agent でリソース不足が発生したため状態表示できません。または、操作できません。

(S)

状態取得時は対象オブジェクトの状態を「状態不明」に、操作時は操作をエラーにし、処理を続行します。

(O)

監視先の JP1/AJS2 Console Agent ホストにあるイベントログ (Windows の場合)、または syslog ファイル (UNIX の場合) などのログ情報を参照して調査してください。そのあと、調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。

**KAVC6211-E**

Cannot connect because the number of connections exceeded the maximum at the monitoring destination.

監視先で最大接続数を超えたため接続できません。

監視先の JP1/AJS2 Console Agent への接続数が最大値を超えたため、接続先の JP1/AJS2 Console Manager から監視先の JP1/AJS2 Console Agent に接続できず、状態表示できません。

(S)

対象オブジェクトの状態を「状態不明」とし、処理を続行します。

(O)

複数の JP1/AJS2 Console View を使用して同じルート業務スコープ上の業務を監視している場合、不要な JP1/AJS2 Console View をログアウトしてください。また、同一ホスト上に複数の監視対象がある場合には、各監視オブジェクトの [ホスト名] は同じ指定をしてください。

最大接続数は JP1/AJS2 Console Agent の環境設定で

変更できます。構成定義パラメーター MAXSESSION の値を設定してください。

**KAVC6212-E**

Communication access was denied at the monitoring destination.

監視先から通信アクセスが拒否されました。

監視先ホストの JP1/Base の設定で、詳細定義ダイアログボックスで監視対象のホスト名に指定したホスト名または IP アドレスに対して通信しない設定になっているため接続できず、状態表示できません。

(S)

対象オブジェクトの状態を「状態不明」とし、処理を続行します。

(O)

監視先ホストの JP1/Base の設定で、物理ホストに対して受信側バインド方式が IP バインド方式になっているかどうか確認してください。IP バインド方式の場合は、詳細定義ダイアログボックスで監視対象のホスト名に設定されている IP アドレス、またはその IP アドレスにホスト名解決できるホスト名を指定してください。

**KAVC6222-E**

User mapping failed. The user was not associated with an OS user at the monitoring destination.

監視先でユーザーマッピングに失敗しました。

監視先でユーザーマッピングに失敗したため状態表示できません。次の原因が考えられます。

- 監視先ホストの JP1/Base のユーザーマッピングの設定で、接続先の JP1/AJS2 Console Manager からの JP1 ユーザーに対して OS ユーザーがマッピングされていない。
- 監視先ホストの JP1/Base のユーザーマッピングの設定で、JP1 ユーザーにマッピングされている OS ユーザーが OS の設定で削除されているか、またはパスワードが変更されている。
- 監視先ホストの JP1/Base のパスワード管理の設定で、JP1 ユーザーにマッピングする OS ユーザーが登録されていない。
- 監視先ホストの JP1/Base のユーザーマッピングの設定で、サーバホスト名に JP1/AJS2 Console Manager のホスト名が指定されている場合は監視先ホストで JP1/AJS2 Console Manager のホスト名がホスト名解決できない。

(S)

対象オブジェクトの状態を「状態不明」とし、処理を続行します。

(O)

エラーの原因を取り除いてください。

### KAVC6231-E

An error occurred in JP1/Base at the monitoring destination.

監視先のJP1/Baseでエラーが発生しました。

監視先ホストのJP1/Baseでエラーが発生したため状態表示できません。

- (S)
- 対象オブジェクトの状態を「状態不明」とし、処理を続行します。

- (O)
- 監視先のJP1/AJS2 Console Agent ホストにあるイベントログ (Windows の場合), または syslog ファイル (UNIX の場合) などのログ情報を参照して調査してください。そのあと、調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。

### KAVC6232-E

JP1/AJS2 Console Agent service needs the required permission.

JP1/AJS2 Console Agent サービスに必要な権限がありません。

監視先ホストのJP1/AJS2 Console Agent サービスが処理を実行するために必要な権限がないため状態表示できません。

- (S)
- 対象オブジェクトの状態を「状態不明」とし、処理を続行します。

- (O)
- 監視先ホストのJP1/AJS2 Console Agent サービスが持つ権限を確認してください。
- Windows の場合  
JP1/AJS2 Console Agent サービスのアカウントがローカルシステムアカウントになっていることを確認してください。  
また、ユーザーアカウントの場合はマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 5.2.3 JP1/AJS2 のサービスの設定を変更する必要がある場合 (Windows 限定)」を参照し、指定したユーザーがサービスとして必要な権限を持っているかどうかを確認してください。
  - UNIX の場合  
ajscainetd の実行ユーザーがスーパーユーザーになっていることを確認してください。

### KAVC6241-E

The status could not be obtained at the monitoring destination.

監視先で状態取得に失敗しました。

監視先ホストのJP1/AJS2 Console Agent で状態取得処理に失敗したため状態表示できません。

- (S)
- 対象オブジェクトの状態を「状態不明」とし、処理を続行します。

- (O)
- 監視先ホストのJP1/AJS2 - Manager が正しくインストールされているかどうか確認してください。  
なお、監視先ホストのJP1/AJS2 - Manager がクラスタ構成の場合、フェールオーバーのタイミングによりこのメッセージが表示されることがあります。この場合はフェールオーバーが完了するのを待ってから、[表示] - [最新情報に更新] を行ってください。

### KAVC6242-E

The specified scheduler service does not exist.

指定したスケジューラーサービスは存在しません。

監視先ホストのJP1/AJS2 - Manager 上には、指定したスケジューラーサービスがないため状態表示できません。または、監視先ホスト上にJP1/AJS2 - Manager がセットアップされていないため状態表示できません。

- (S)
- 対象オブジェクトの状態を「状態不明」とし、処理を続行します。

- (O)
- [詳細定義] ダイアログボックスの[AJS2 ユニット名] で正しいスケジューラーサービス名を指定してください。  
また、[ホスト名] に指定しているホスト上にJP1/AJS2 - Manager がセットアップされていることを確認してください。

### KAVC6243-E

The object to monitor is specified incorrectly.

監視対象の指定に誤りがあります。

[詳細定義] ダイアログボックスの監視対象で指定した内容にフォーマット不正があったため状態表示できません。

- (S)
- 対象オブジェクトの状態を「状態不明」とし、処理を続行します。

- (O)
- AJS2 ユニット監視オブジェクトの場合は、[詳細定義] ダイアログボックスの監視対象 (AJS2 ユニット名) を、次のように指定してください。  
スケジューラーサービス名: /ジョブネットワーク要素名

### KAVC6251-E

The specified monitoring method is not supported.

指定した監視方法は未サポートです。

監視先ホストのJP1/AJS2 Console Agent では、[監視プロパティ] で指定された監視方法で監視できません。

(S)  
対象オブジェクトの状態を「状態不明」とし、処理を続行します。

(O)  
監視先の JP1/AJS2 - Manager を [ 監視プロパティ ] で指定した監視方法をサポートしているバージョンへバージョンアップするか, [ 監視プロパティ ] の設定で監視先の JP1/AJS2 - Manager がサポートしている監視方法を指定してください。  
監視先の JP1/AJS2 - Manager のバージョンが 06-71 の場合は次の監視方法だけサポートしています。

- 全世代時刻優先
- 当日時刻優先

#### KAVC6252-E

The specified monitored object-classification is not supported.

指定した監視オブジェクト種別は未サポートです。

監視先ホストの JP1/AJS2 Console Agent では、指定された監視オブジェクトを監視または操作できません。

(S)  
状態取得時は対象オブジェクトの状態を「状態不明」に、操作時は操作をエラーにし、処理を続行します。

(O)  
監視先の JP1/AJS2 - Manager を対象監視オブジェクトの監視または操作をサポートしているバージョンへバージョンアップしてください。

#### KAVC6301-E

The operation function is not supported at the monitoring destination.

監視先では操作機能がサポートされていません。

監視先ホストの JP1/AJS2 Console Agent では操作機能がサポートされていません。

(S)  
操作をエラーとし、処理を続行します。

(O)  
監視先の JP1/AJS2 - Manager を、操作機能をサポートしているバージョンへバージョンアップしてください。  
監視先の JP1/AJS2 - Manager が 06-71 の場合は、操作機能をサポートしていません。

#### KAVC6302-E

The operation function is not enabled at the monitoring destination.

監視先で操作機能が許可されていません。

監視先ホストの JP1/AJS2 Console Agent では操作機能が使用できないように設定されています。

(S)

操作をエラーとし、処理を続行します。

(O)  
監視先で JP1/AJS2 Console Agent の環境設定により構成定義パラメーター ENABLEOPERATION を yes に設定してください。

#### KAVC6303-E

The specified operation is not possible at the monitoring destination.

監視先では指定された操作を行うことができません。

監視先ホストの JP1/AJS2 Console Agent では指定された操作を実行できる環境ではありません。

(S)  
操作をエラーとし、処理を続行します。

(O)  
監視先の JP1/AJS2 - Manager が正しくインストールされているかどうか確認してください。

## 2.3 KAVS で始まるメッセージ（スケジューラーに関するメッセージ）

KAVS で始まるメッセージ（スケジューラーに関するメッセージ）の一覧次に示します。

### 補足事項

KAVS で始まるメッセージには、キューレスジョブ実行機能に関するメッセージも含まれています。

#### KAVS0100-E

Illegal option (オプション) exists.

不正なオプション（オプション）が指定されています

不適切なオプションを指定しています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

正しいオプションを指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0101-E

Value for option (オプション) is not specified.

オプション（オプション）の値が指定されていません

値を必要とするオプションに対して、値を指定していません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

オプションの値を指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0102-E

Extra argument(s) exist.

余分な引数が指定されています

不要な引数を指定しています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

不要な引数を削除したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0103-E

Invalid value for option (オプション).

オプション（オプション）の値に誤りがあります

オプションの値を誤って指定しています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

オプションの値を正しく指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0104-E

Option (オプション) appears twice or more.

オプション（オプション）が2回以上指定されています

同じオプションを2回以上指定しています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

2回以上指定したオプションを、1回だけに指定し直したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0105-E

Jobnet name not specified.

ジョブネット名の指定がありません

ジョブネット名を指定していません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ジョブネット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0106-E

Cannot treat as Jobnet.: 名前

ジョブネットとして扱えません：名前

「名前」で表示されたものは、ジョブネットとして扱えません。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、複数のジョブネットを指定（正規表現での指定を含む）した場合は、コマンドの実行を続行します。

(O)

「名前」が表示される場合は、ユニットとして扱うユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

「名前」が表示されない場合は、ジョブネット名に使用できない文字を使っていないか確認してください。使用できない文字を削除したあと、コマンドを再実行してください。

使用できない文字を次に示します。

• (

- )
- ,(コンマ)
- :(コロン)
- ;(セミコロン)
- =
- /
- 空白文字

### KAVS0107-E

Scheduler service has not started.  
スケジューラーサービスが開始していません

スケジューラーサービスを起動していません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ajssstart コマンドでスケジューラーサービスを起動したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0108-E

Only super user or administrator can execute.  
スーパーユーザまたはアドミニストレータでなければ実行できません

スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持たないユーザーがコマンドを実行しようとした。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持つユーザーがコマンドを実行してください。  
Windows で UAC 機能が有効の場合は、管理者で再度コマンドを実行してください。

### KAVS0110-E

Jobnet (ジョブネット名) is in execution.  
ジョブネット (ジョブネット名) は実行中です

ジョブネットは実行中です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブネットの実行が終了したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0111-E

Unit name not specified.  
ユニット名の指定がありません

ユニット名を指定していません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0112-E

Cannot treat as Unit. : 名前  
ユニットとして扱えません : 名前

「名前」で表示されたものは、ユニットとして扱えません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。ただし、複数のユニットを指定 (正規表現での指定を含む) した場合は、コマンドの実行を続行します。

- (O)  
「名前」が表示される場合は、ユニットとして扱えるユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。  
「名前」が表示されない場合は、ジョブネット名に使用できない文字を使っていないか確認してください。  
使用できない文字を削除したあと、コマンドを再実行してください。  
使用できない文字を次に示します。

- (
- )
- ,(コンマ)
- :(コロン)
- ;(セミコロン)
- =
- /
- 空白文字

### KAVS0113-E

No authority for Unit (ユニット名).  
ユニット (ユニット名) に対する権限がありません

ユニットに対する権限がありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ユニットに対して権限を持つユーザーが、コマンドを実行してください。

### KAVS0115-E

Unit (ユニット名) already registered as Jobnet.  
ユニット (ユニット名) はジョブネットとしてすでに登録されています。

- ユニットはジョブネットとしてすでに登録されています。  
次の原因が考えられます。
- 登録済みのユニットに対して関連情報変更オプションを指定している。
  - 登録済みのホストリンクジョブネットに対してホストリンクジョブネット情報変更オプションを指定している。
  - 配下のユニットが登録済みのプランニンググループに対してジョブネットコネクタ情報変更オプションを指定し

## KAVS0116-E ~ KAVS0126-E

ている。

- 登録済みのユニットに対してジョブネットコネクタ情報変更オプションを指定している。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ユニットの登録を解除したあと、コマンドを再実行してください。また ajschgnet の関連情報変更オプションを指定し、ユニット名にサスペンド中のジョブネットを指定する場合は、-s オプションを付けてコマンドを再実行してください。

### KAVS0116-E

Cannot specify these options together.

同時に指定できないオプションが指定されています

同時に指定できないオプションを指定しています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

指定したオプションを確認し、同時に指定できるオプションの組み合わせで、コマンドを再実行してください。

### KAVS0117-E

Job name not specified.

ジョブ名の指定がありません

ジョブ名を指定していません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ジョブ名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0119-E

Cannot use - in use by other user. : ユニット名またはファイル名

ほかで使用中のため操作できません：ユニット名またはファイル名

操作しようとしているジョブ、ジョブネット、またはジョブグループを、ほかのユーザーが使用しているため操作できません。または、操作しようとしているファイルを、ほかのユーザーが使用しているため操作できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ほかのユーザーの使用が終了したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0123-E

Cannot read configuration definition parameter - no authorization.

権限がないため構成定義パラメーターを入力できません

構成定義パラメーターを入力できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

構成定義パラメーターを設定し直したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0125-E

Cannot open specified file (ファイル名) : 保守情報

指定したファイル (ファイル名) がオープンできません : 保守情報

指定したファイルがオープンできません。次に示す要因が考えられます。

- アクセス権限がないファイルを指定している。
- 存在しないファイルを指定している。
- すでに存在しているファイルと同じ名称のファイルを作成しようとしている。
- 読み込み専用のファイルを指定している。
- 使用中のファイルを指定している。
- ファイル名またはディレクトリ名に不正な文字を指定している。
- ディレクトリを指定している。
- ファイルを書き込もうとしているファイルシステム、またはデバイスに空き容量が不足している。
- プロセスやシステムが処理できるファイル数の制限を超えている。
- メモリーが不足している。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ファイルの誤りを訂正したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0126-E

Operand value exceeds prescribed length.

オペランドの値が規定長を超えています

オペランドの値が規定長を超えています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

オプションの値を訂正したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0127-E**

Specified file (ファイル名) does not exist.  
指定したファイル (ファイル名) は存在しません

指定したファイルはありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ファイル名を正しく指定したあと、またはファイルを作成したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0129-E**

Jobnet (ジョブネット名) is not executing.  
ジョブネット (ジョブネット名) は実行中ではありません

ジョブネットは実行中ではありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ジョブネットの実行中にコマンドを再実行してください。

**KAVS0130-E**

Specified Jobnet (ジョブネット名) is not registered.  
指定したジョブネット (ジョブネット名) は登録されていません

指定したジョブネットは登録されていません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ジョブネットを登録したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0132-E**

Job error information directory (ディレクトリ名) does not exist.  
ジョブエラー情報ディレクトリ (ディレクトリ名) は存在しません

環境設定パラメーターの JOBINFDIR, または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラファイルの構成 2 ] - [ ジョブエラー情報ディレクトリ名 ] に指定したジョブエラー情報ディレクトリがありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ジョブエラー情報ディレクトリを作成したあと、コマンドを再実行してください。  
設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.3

スケジューラファイルの構成を定義する」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

**KAVS0135-E**

Job error information directory name (ディレクトリ名) is invalid.

ジョブエラー情報ディレクトリ名 (ディレクトリ名) が不正です

環境設定パラメーターの JOBINFDIR, または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラファイルの構成 2 ] - [ ジョブエラー情報ディレクトリ名 ] が不正です。

次の原因が考えられます。

- 環境設定パラメーターに指定したディレクトリが誤っています
- [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラファイルの構成 2 ] - [ ジョブエラー情報ディレクトリ名 ] が誤っています

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
正しいジョブエラー情報ディレクトリ名を指定したあと、コマンドを再実行してください。  
ジョブエラー情報ディレクトリ名の設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.3 スケジューラファイルの構成を定義する」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

**KAVS0141-E**

Cannot operate specified Jobnet (ユニット名) under current condition.

指定したジョブネット (ユニット名) は操作できる状態ではありません

指定したジョブネットは操作できる状態ではありません。  
次の原因が考えられます。

- 実行されていないジョブネットを再実行した
- 終了状態でないジョブを再実行した
- 実行中のルートジョブネットに対して、保留オプションを指定して再実行した
- 実行中であり、かつリモートジョブネットのルートジョブネットを再実行した

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
コマンドが実行できる状態のユニット名を指定したあと、再実行してください。  
再実行については、マニュアル「JP1/Automatic Job

Management System 2 解説 10.2.11 実行が終了したジョブネットやジョブを再実行する」を参照してください。

#### KAVS0143-E

Cannot execute ~ currently in process of restriction.  
制限処理中のため実行できません

制限処理中のため、即時実行登録および再実行ができません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 実行抑止、または制限停止状態を解除したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0144-E

No authority for Job (ジョブ名).  
ジョブ (ジョブ名) に対する権限がありません

ジョブに対する権限がありません。

- (S) コマンドの実行を終了します。ただし、複数のジョブを指定 (正規表現での指定を含む) した場合は、コマンドの実行を続行します。
- (O) ジョブに対して権限を持つユーザーがコマンドを実行してください。

#### KAVS0145-E

Cannot treat as Job.: ユニット名  
ジョブとして扱えません: ユニット名

ジョブに対してだけ実行できるコマンドを、ジョブ以外のユニットに対して実行しています。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、複数のジョブを指定 (正規表現での指定を含む) した場合は、処理を続行します。
- (O) ユニット名にジョブ名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0146-E

Options (オプション) are specified too many times.  
オプション (オプション) の指定が多すぎます

オプションの指定が多過ぎます。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 同時に指定できるオプションの数を確認したあと、コ

マンドを再実行してください。

#### KAVS0150-E

Backup information directory name (ディレクトリ名) is too long.

退避情報ディレクトリ名 (ディレクトリ名) が長すぎます

退避情報ディレクトリ名を、256 バイト以上の文字列で指定しています。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 退避情報ディレクトリ名を 255 バイト以内で指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0157-E

A relation in opposite direction already exists among elements in the specified Unit (ユニット名).  
指定されたユニット (ユニット名) の要素間には既に逆方向で関連設定されています

指定されたユニットは、すでに逆方向で関連づけられています。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 関連情報変更オプションの値を見直したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0158-E

Invalid value for option (オプション) on specified Unit (ユニット名).

ユニット (ユニット名) に指定したオプション (オプション) に誤りがあります

ユニットに指定した関連情報変更オプションに誤りがあります。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 関連情報変更オプションの値を見直したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0159-W

Option (オプション) has been ignored which is incompatible with the Unit (ユニット名).

ユニット (ユニット名) に指定できないオプション (オプション) を無効にしました

ユニットに指定できないオプションを無効にしました。

- (S)
- (O) 処理を続行します。



**KAVS0161-I**

Unit does not found for selected option. : ユニット名  
選択オプションにあうユニットが存在しません : ユニット  
名

次の原因が考えられます。

- 指定したユニット名には選択オプションに合うユニットがありません。
- 指定したユニットの上位ユニットに対して参照権限がありません。
- コマンドの操作対象にならないユニットが指定されています。

(S)  
コマンドの実行を中止します。

(O)  
誤りを訂正したあと、再実行してください。

**KAVS0162-E**

Invalid scheduler service name. : サービス名  
スケジューラーサービス名の指定に誤りがあります : サービス名

-F オプション、または環境変数 `AJSCONF` に指定したスケジューラーサービス名を誤って指定しています。

(S)  
コマンドの実行を中止します。

(O)  
スケジューラーサービス名を正しく指定したあと、コマンドを再実行してください。  
環境変数については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 付録 B.1 環境変数を定義するときの注意事項」を参照してください。

**KAVS0166-E**

Cannot create a plan for the specified period. : ジョブネット名  
指定した期間の予定は作成できません : ジョブネット名

指定した期間で予定を作成できません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
ジョブネットのスケジュール定義を見直したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0167-E**

Specified registration number is not found. : ジョブネット名  
指定した登録番号は登録されていません : ジョブネット名

指定した登録番号は登録されていません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
登録番号を正しく指定したあと、またはジョブネットを登録したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0168-E**

Invalid information in definition schedule file (予定情報  
ファイル名). (sentence: 文番号, information: 情報番号)  
予定情報ファイル (予定情報ファイル名) の情報に誤り  
があります (文番号: 文番号, 情報番号: 情報番号)

予定情報ファイルのパラメーターを誤って指定しています。

(S)  
コマンドの実行を中止します。

(O)  
マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 2.4 予定情報ファイルの作成」を参照し、予定情報ファイルの内容を確認してから、コマンドを再実行してください。

**KAVS0169-E**

Cannot operate - Jobnet has been shutdown. : ジョブネット名  
閉塞されているため操作はできません : ジョブネット名

指定したジョブネットは閉塞しています。  
次の原因が考えられます。

- 参照するカレンダーに定義しているユニットがない
- 排他スケジュールに定義したユニットがない

(S)  
処理を終了します。

(O)  
閉塞したジョブネットの登録を解除後、スケジュール定義を見直して再登録してください。必要であれば、コマンドを再実行してください。

**KAVS0170-E**

No authority for schedule definition file (予定情報  
ファイル名).  
予定情報ファイル (予定情報ファイル名) に対する権限  
がありません

指定した予定情報ファイルに対する権限がありません。

(S)  
処理を終了します。

(O)  
予定情報ファイルに対して権限を持つユーザーがコマンドを実行してください。

**KAVS0171-E**

Temporary directory (ディレクトリ名) does not exist.  
 テンプディレクトリ (ディレクトリ名) は存在しません

環境設定パラメーターの `AJSTMPDIR`, または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーファイルの構成 2 ] - [ 一時ファイル用ディレクトリ名 ] に指定した, 一時ファイル用ディレクトリがありません。

- (S)  
 処理を終了します。
- (O)  
 一時ファイル用ディレクトリ名を正しく指定したあと, または一時ファイル用ディレクトリを作成したあと, コマンドを再実行してください。  
 設定については, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.3 スケジューラーファイルの構成を定義する」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

**KAVS0172-E**

Temporary directory name (ディレクトリ名) is invalid.  
 テンプディレクトリ名 (ディレクトリ名) が不正です

環境設定パラメーターの `AJSTMPDIR`, または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーファイルの構成 2 ] - [ 一時ファイル用ディレクトリ名 ] に指定した一時ファイル用ディレクトリ名の指定に誤りがあります。

次の原因が考えられます。

- 一時ファイル用ディレクトリ名が指定されていない
- 一時ファイル用ディレクトリ名に 181 バイト以上の名称が指定されている
- 一時ファイル用ディレクトリ名にファイル名を指定している
- ディレクトリ名に使用できない文字を使用している

- (S)  
 処理を終了します。
- (O)  
 スケジューラーサービスの環境設定で指定した一時ファイル用ディレクトリ名を修正し, スケジューラーサービスを再起動したあと, コマンドを再実行してください。  
 使用できない文字を次に示します。
- ディレクトリ名に使用できない文字 (Windows)  
`¥ / ; * ? " < > | : ,`
  - ディレクトリ名に使用できない文字 (UNIX)  
`¥ / ; * ? " < > | 空白 . & ' ` ~ ( )`

**KAVS0173-E**

No authority to use temporary directory (ディレクトリ名).

テンプディレクトリ (ディレクトリ名) に対する権限がありません

環境設定パラメーターの `AJSTMPDIR`, または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーファイルの構成 2 ] - [ 一時ファイル用ディレクトリ名 ] に指定した, 一時ファイル用ディレクトリに対する権限がありません。

- (S)  
 処理を終了します。
- (O)  
 一時ファイル用ディレクトリに対して, 権限を持つユーザーがコマンドを実行してください。

**KAVS0175-E**

Schedule definition file (ファイル名) contains undefined unit(s).

予定情報ファイル (ファイル名) の中に存在しないユニット定義があります

予定情報ファイルの中に存在しないユニットの実行予定があります。

- (S)  
 コマンドの実行を中止します。
- (O)  
 コマンドに指定したユニットの予定情報ファイルを指定したあと, コマンドを再実行してください。

**KAVS0176-E**

Table name is invalid.

テーブル名が不正です

構成定義ファイルに, テーブル名を誤って指定しています。

- (S)  
 コマンドの実行を中止します。
- (O)  
 構成定義ファイルにテーブル名を正しく指定したあと, コマンドを再実行してください。

**KAVS0177-E**

Database type is invalid.

データベースの種別が不正です

指定したデータベースを操作できません。

- (S)  
 処理を終了します。
- (O)  
 データベースの種別を正しく設定したあと, コマンド

を再実行してください。

#### KAVS0178-E

Tables already exist.  
テーブルが作成済みです

テーブルが作成済みです。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

すでにテーブルが作成されているため、ajsssetup  
コマンドを使用して再セットアップする必要はありません。再作成を行いたい場合は、データベース格納  
ディレクトリ配下のファイルを削除したあと、コマ  
ンドを再実行してください。

#### KAVS0179-E

Specified Scheduler service not exist.  
指定したスケジューラーサービスは存在しません

指定したスケジューラーサービスがありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

処理対象とするスケジューラーサービス名を正しく指  
定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0180-E

Specified Execution ID was not found. : 保守情報  
指定した実行IDは登録されていません : 保守情報

指定した実行 ID は登録されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

実行 ID を正しく指定したあと、コマンドを再実行し  
てください。

#### KAVS0181-E

Execution ID cannot be appointed.  
実行IDは指定できません

実行 ID は指定できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

実行 ID を指定する必要はありません。

#### KAVS0182-E

Logical host name cannot be appointed.  
論理ホスト名は指定できません

論理ホスト名は指定できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

実行したコマンドは、リモート実行することはできま  
せん。処理を実行したいホスト上で、論理ホスト名を  
指定しないで実行してください。

#### KAVS0183-E

Unit name (ユニット名) is too long.  
ユニット名が長すぎます : ユニット名

ユニット名を 931 バイト以上の文字列で指定しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

ユニット名を 930 バイト以内で指定したあと、コマ  
ンドを再実行してください。

#### KAVS0184-E

Invalid execution ID. : 保守情報  
実行IDの指定に誤りがあります : 保守情報

指定した実行 ID に誤りがあります。

(S)

処理を終了します。

(O)

実行 ID を正しく指定したあと、コマンドを再実行し  
てください。

#### KAVS0185-E

Cannot operate - wait for start condition. : ユニット名  
起動条件待ちで操作できません : ユニット名

起動条件待ちで操作できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

起動条件待ち以外のユニットを指定したあと、コマ  
ンドを再実行してください。

#### KAVS0186-E

Package file name not specified.  
パッケージファイル名の指定がありません

パッケージファイル名を指定していません。

- (S)  
処理を終了します。

- (O)  
パッケージファイル名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0187-E

Invalid host name. : ホスト名  
ホスト名の指定に誤りがあります: ホスト名

ホスト名を誤って指定しています。

- (S)  
処理を終了します。

- (O)  
ホスト名を正しく指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0188-E

Contradiction in options (オプション) value for the Unit (ユニット名).  
ユニット (ユニット名) に対するオプション (オプション) の値が矛盾しています

ユニットに対するオプションの値が矛盾しています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
メッセージ中の「オプション」に表示されているオプションの値を見直したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0189-E

Database file install directory is invalid. : ディレクトリ名  
リターンコード  
データベースファイル格納ディレクトリの指定に誤りがあります: ディレクトリ名 リターンコード

環境設定パラメーターの AJSDBDIRECTORY, または,  
[ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーファイルの構成 ] - [ データベースディレクトリ名 ] に誤りがあります。

- (S)  
サービスを異常終了します。

- (O)  
AJSDBDIRECTORY に指定したディレクトリを確認して、再セットアップしたあと、サービスを再起動してください。  
また、ディレクトリの設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.3 スケジューラーファイルの構成を定義する」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.1

スケジューラーサービス環境の設定手順」を参照してください。

#### KAVS0190-E

The scheduler service (サービス名) is not defined on the host (ホスト名).  
ホスト (ホスト名) にはスケジューラーサービス (サービス名) が定義されていません

実行対象のホストには、指定したスケジューラーサービスが定義されていません。

次の原因が考えられます。

- 指定したホスト名に誤りがある。
- 指定したスケジューラーサービス名に誤りがある。

- (S)  
処理を終了します。

- (O)  
ajssetup コマンドを実行した場合は、指定したホスト名 (環境変数 JP1\_HOSTNAME の設定または -mh オプション値) またはスケジューラーサービス名 (環境変数 AJSCONF の設定または -F オプション値) の誤りを訂正して、コマンドを再実行してください。  
また、それ以外のコマンドの場合は、指定したホスト名 (環境変数 JP1\_HOSTNAME の設定) またはスケジューラーサービス名 (環境変数 AJSCONF の設定または -F オプション値) の誤りを訂正して、コマンドを再実行してください。  
環境変数については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド 環境変数一覧」を参照してください。

#### KAVS0191-E

Cannot communicate with scheduler service.  
スケジューラーサービスと通信できません

スケジューラーサービスと通信中にサービスが停止したなどの理由で、スケジューラーサービスと通信できない状態が発生しました。

- (S)  
処理を終了します。

- (O)  
スケジューラーサービスが停止していないか確認してください。原因を調査したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0192-E

Failed to make tables. : リターンコード  
テーブルの作成に失敗しました: リターンコード

システム資源が不足しているため、ファイルを作成できませんでした。

- (S)  
処理を終了します。

(O)

カーネルパラメーターのセマフォと共有メモリーの設定値を見直してください。見直したあと、ajsssetup コマンドを再実行してください。  
カーネルパラメーターについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

**KAVS0193-E**

Cannot use - Unit (ユニット名) is in the suspend state.  
ユニット (ユニット名) はサスペンド状態のため操作できません

指定されたユニットはサスペンド状態のため操作できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

サスペンド状態を解除したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0194-E**

Cannot use - Unit (ユニット名) is not in the suspend state.  
ユニット (ユニット名) はサスペンド状態ではないため操作できません

指定されたユニットは、サスペンド状態ではないため操作できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ユニットの実行登録を解除したあと、またはサスペンド状態にしたあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0196-E**

Cannot use - JP1/AJS2 - Manager for Mainframe has not started. : ユニット名  
JP1/AJS2 - Manager for Mainframe が起動されていないため操作できません : ユニット名

JP1/AJS2 - Manager for Mainframe のサービスが起動されていないため操作できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、複数のユニットを指定 (正規表現での指定を含む) した場合は、処理を続行します。

(O)

JP1/AJS2 - Manager for Mainframe のサービスを起動したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0197-E**

Abnormality occurred in JP1/AJS2 - Manager for Mainframe or in the mainframe. : ユニット名  
JP1/AJS2 - Manager for Mainframe 又はメインフレームで異常が発生しました : ユニット名

JP1/AJS2 - Manager for Mainframe, またはメインフレームで異常が発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、複数のユニットを指定 (正規表現での指定を含む) した場合は、処理を続行します。

(O)

次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

- イベントログ (Windows の場合)
- syslog ファイル (UNIX の場合)
- JP1/AJS2 - Manager for Mainframe の必要資料

**KAVS0198-E**

Cannot use - Unit (ユニット名) is currently setting or releasing the suspend setting.  
ユニット (ユニット名) は現在サスペンド設定中又は解除中なので操作できません

ほかのユーザーがユニットをサスペンド状態にしているか、またはサスペンド状態を解除しているため操作できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、複数のユニットを指定 (正規表現での指定を含む) した場合は処理を続行します。

(O)

処理が終了したあと、再実行してください。

**KAVS0199-E**

Cannot use because the suspend function is ineffective. : ユニット名  
サスペンド機能が有効でないため操作できません : ユニット名

サスペンド機能が使用できるようにセットアップされていないため操作できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、複数のユニットを指定 (正規表現での指定を含む) した場合は、処理を続行します。

(O)

ajsssetup -m でサスペンド機能が使用できるようにセットアップしたあと、再実行してください。

#### KAVS0200-I

---

Scheduler service started. (スケジューラーサービス名)  
スケジューラーサービスを開始しました (スケジューラーサービス名)

---

スケジューラーサービスを起動しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVS0201-I

---

Scheduler service ended. (スケジューラーサービス名)  
スケジューラーサービスを終了しました (スケジューラーサービス名)

---

スケジューラーサービスを終了しました。

- (S)  
スケジューラーサービスを終了しました。

#### KAVS0202-E

---

Log daemon ended abnormally. (code: コード)  
履歴デーモンが異常終了しました (code: コード)

---

履歴デーモンが異常終了しました。

- (S)  
履歴デーモンの処理を中止します。ただし、スケジューラーサービスによる運用は続行します。
- (O)  
システム管理者に連絡して資料を採取してください  
(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

#### KAVS0203-I

---

Log file (交代前スケジューラーログファイル名) has been changed to 交代後スケジューラーログファイル名。  
履歴ファイル (交代前スケジューラーログファイル名) を履歴ファイル (交代後スケジューラーログファイル名) に交代します

---

スケジューラーログファイルが構成定義パラメーターで指定した容量を超えるため、スケジューラーログファイルを交代します。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
必要に応じて、スケジューラーログファイルのバックアップをとってください。

#### KAVS0204-E

---

Scheduler service (スケジューラーサービス名) ended (name: プロセス名, code: 戻り値), but Scheduler service restart.

スケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) が異常終了したため、再起動します (name: プロセス名, code: 戻り値)

---

スケジューラーサービスが異常終了したため再起動します。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
システム管理者に連絡して資料を採取してください  
(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

#### KAVS0208-E

---

Scheduler service is active.  
スケジューラーサービスは起動中です

---

スケジューラーサービスはすでに起動しています。

- (S)  
処理を終了します。

#### KAVS0209-E

---

Scheduler service is inactive.  
スケジューラーサービスは停止中です

---

スケジューラーサービスはすでに停止しています。

- (S)  
処理を終了します。

#### KAVS0210-I

---

Local time has been changed from 変更前ローカル日時 to 変更後ローカル日時。  
ローカル日時を (変更前ローカル日時) から (変更後ローカル日時) に変更しました

---

スケジューラーサービスのローカル日時を変更しました。

- (S)  
処理を終了します。

#### KAVS0211-W

---

Standstill of last scheduler service (プロセス名) was incomplete.  
前回のスケジューラーサービス (プロセス名) の停止が不完全でした

---

前回のスケジューラーサービスの停止時、完全に停止処理がされていません。ジョブが実行中に不当に停止されたおそれがあるため、ジョブの状態を確認してください。

- (S)

サービスの起動を続行します。

- (O) ジョブの実行状態などに問題がないか確認してください。

### KAVS0212-W

Failed in elimination of connection information of JP1/AJS2 - Manager for Mainframe. : 保守情報  
JP1/AJS2 - Manager for Mainframeとの連携情報の削除に失敗しました : 保守情報

JP1/AJS2 - Manager for Mainframe との連携情報を削除できませんでした。

- (S) スケジューラーサービスのコールドスタート処理を続行します。
- (O) システム管理者に連絡して資料を採取してください  
(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。  
また、JP1/AJS2 for Mainframe の  
hpsdelrelation コマンドを単体で起動して、連携情報の削除を実行してください。  
hpsdelrelation コマンドについては、マニュアル  
「JP1/Automatic Job Management System 2 メイン  
フレーム リファレンス編」を参照してください。

### KAVS0213-I

The job-execution suppression option is set for the scheduler service (スケジューラーサービス名)。  
スケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) は、ジョブ実行抑止オプションが設定されています

ジョブ実行抑止オプションが設定されているため、ジョブは実行されません。

- (S) 処理を続行します。
- (O) ジョブを実行させる場合、ajsalter -s none で  
ジョブ実行抑止を解除し、運用を継続してください。

### KAVS0214-I

The generation management sub-daemon (スケジューラーサービス名) started.  
世代管理サブデーモン (スケジューラーサービス名) を開始しました

世代管理サブデーモンを起動したことを通知するメッセージです。

- (S) 処理を続行します。

### KAVS0215-I

The generation management sub-daemon (スケジューラーサービス名) ended.  
世代管理サブデーモン (スケジューラーサービス名) を終了しました

世代管理サブデーモンを終了したことを通知するメッセージです。

- (S) 処理を続行します。

### KAVS0216-E

The generation management sub-daemon (スケジューラーサービス名) ended abnormally. (code: コード)  
世代管理サブデーモン (スケジューラーサービス名) が異常終了しました (code : コード)

世代管理サブデーモンが異常終了したため、ジョブネット登録情報の削除処理はスケジューリングプロセス (ajsschd) で行われます。

- (S) 処理を続行します。
- (O) このエラーメッセージの前後に出力されたメッセージに従って対処してください。

### KAVS0217-E

The generation management sub-daemon (スケジューラーサービス名) ended abnormally, so the generation management sub-daemon will now restart.  
世代管理サブデーモン (スケジューラーサービス名) が異常終了したため、再起動します

世代管理サブデーモンが異常終了したため、世代管理サブデーモンを再起動します。

- (S) 処理を続行します。
- (O) このエラーメッセージの前後に出力されたメッセージに従って対処してください。

### KAVS0218-E

The database is still being accessed, so the cold start of the scheduler service (スケジューラーサービス名) ended abnormally.

データベースへのアクセスが残っているためスケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) をコールドスタートできませんでした

コールドスタートしようとしたスケジューラーサービスのデータベースへのアクセスが残っていたため、データベースの登録情報が消去できず、スケジューラーサービスをコールドスタートできませんでした。次の理由が考えられます。

## KAVS0219-E ~ KAVS0240-I

- 対象のスケジューラーサービスに対して、JP1/AJS2・View を接続している。
- 対象のスケジューラーサービスに対して、JP1/AJS2 のコマンドを実行している。

(S)  
処理を中止します。

(O)  
JP1/AJS2 Monitor サービスを一時的に停止し、接続中の JP1/AJS2・View の接続をすべて切断してください。また、実行中のコマンドがある場合、その終了を待つか、処理を中止してください。  
データベースへアクセスしている処理を取り除いた状態で、ajsstart -c コマンドを使用して対象スケジューラーサービスに対して再度コールドスタートを実行してください。

### KAVS0219-E

Startup will now stop due to a stop request to the scheduler service. (スケジューラーサービス名)  
スケジューラーサービスの停止要求により、起動処理を中止します：スケジューラーサービス名

ほかでスケジューラーサービスの停止要求があったため、起動処理を中止します。

(S)  
コマンドの実行を中止します。

(O)  
スケジューラーサービスを起動してよい場合、コマンドを再実行してください。

### KAVS0220-I

Scheduler log output process started.  
スケジューラーログ出力プロセスを開始しました

スケジューラーログ出力プロセスを開始しました。

(S)  
処理を続行します。

### KAVS0221-I

Scheduler log output process ended.  
スケジューラーログ出力プロセスを終了しました

スケジューラーログ出力プロセスを終了しました。

(S)  
スケジューラーログ出力プロセスを終了しました。

### KAVS0230-E

Connection to database has been reset.  
データベースとの接続が切断されました

データベースとの接続が切断されたことを検知したため、スケジューラーサービスを停止します。  
使用している組み込み DB が停止しているおそれがありま

す。

(S)  
スケジューラーサービスを停止します。

(O)  
syslog、またはイベントログに出力されたデータベースのメッセージを参照し、データベースとスケジューラーサービスが接続できる状態にしたあと、スケジューラーサービスを起動させてください。

### KAVS0231-W

Cannot read job-status reporting port information,service name=サービス名  
ジョブ状態通知ポートの情報が読み込めません サービス名=サービス名

メッセージに表示されたサービス名のポート番号が読み込めません。ポート番号に「20245」を仮定してスケジューラーサービスを起動します。

(S)  
処理を続行します。

(O)  
services ファイルを確認し、正しいサービス名とポート番号を設定したあと、再起動してください。  
JP1/AJS2 で使用するポートについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 C.1 ポート番号一覧」を参照してください。

### KAVS0232-W

Cannot read host name information. : 保守情報 1 保守情報2  
ホスト名情報が取得できません : 保守情報 1 保守情報2

自ホストの情報が取得できませんでした。そのため、判定ジョブや OR ジョブの終了メッセージのホスト名には何もセットされません。

(S)  
処理を続行します。

(O)  
JP1/Base のホスト名情報設定（環境変数 JP1\_HOSTNAME）や、ネットワークの設定を見直してください。また、hostname コマンドを使用して、自ホスト名が正しく設定されていることを確認してください。正しく設定したあと、スケジューラーサービスを再起動してください。

### KAVS0240-I

Monitoring of a jobnet's start conditions started. (name: ジョブネット名: 実行ID)  
ジョブネット（ジョブネット名：実行ID）の起動条件監視を開始します



ジョブネットの起動条件監視を開始します。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

#### KAVS0241-I

Monitoring of a jobnet's start conditions ended. (name: ジョブネット名: 実行ID, status: 状態)  
ジョブネット (ジョブネット名: 実行ID) の起動条件監視が終了しました (status: 状態)

ジョブネットの起動条件監視が終了しました。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。「状態」に表示される文字列とその意味を次に示します。

- u: 監視未起動終了
- c: 監視打ち切り終了
- i: 監視中断
- n: 監視正常終了

(S)

処理を続行します。

#### KAVS0242-I

The execution request of the event job started. (name: ジョブ名: 実行ID)  
イベントジョブ (ジョブ名: 実行ID) の実行要求を開始します

イベントジョブの実行要求を開始します。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

#### KAVS0243-E

Cannot terminate the jobnet(ジョブネットコネクタ名: 実行ID) - jobnet for the connection destination is not registered.

接続先のジョブネットが実行登録されていないためジョブネットコネクタ (ジョブネットコネクタ名: 実行ID) を終了できません

ジョブネットコネクタの実行を開始しましたが、接続先のジョブネットが実行登録されていないため、ジョブネットコネクタを終了できません。

(S)

ジョブネットコネクタの状態が異常検出実行中になります。

(O)

メッセージに出力されたジョブネットコネクタの定義から対応する接続先のジョブネットを確認し、対応する接続先のジョブネットを実行登録してください。

#### KAVS0244-E

Cannot start the jobnet for the connection destination(ジョブネット名: 実行ID) - jobnet connector is not registered.

ジョブネットコネクタが実行登録されていないため接続先のジョブネット (ジョブネット名: 実行ID) の実行を開始できません

接続先のジョブネットに、対応するジョブネットコネクタが定義されたルートジョブネットが実行登録されていないため、接続先のジョブネットの実行を開始できません。

(S)

接続先のジョブネットの状態が開始時刻待ちになります。

(O)

メッセージに出力された接続先のジョブネットの定義から対応するジョブネットコネクタを確認し、対応するジョブネットコネクタが定義されたルートジョブネットを実行登録してください。

#### KAVS0245-W

The execution result (execution-ID: 実行ID) of the jobnet (ジョブネット名) was deleted to create a new generation. ジョブネット (ジョブネット名) の新規世代を作成するため実行結果 (実行ID: 実行ID) を削除しました

新規世代作成によりジョブネットの世代数が制限値を超えないように実行結果を一代分だけ削除しました。起動条件付きジョブネットの場合、削除した監視中の世代から派生した世代も削除しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVS0246-E

The system failed to delete the execution result (execution-ID: 実行ID) of the jobnet (ジョブネット名).: 保守情報  
ジョブネット (ジョブネット名) の実行結果 (実行ID: 実行ID) の削除に失敗しました: 保守情報

実行結果を一代分だけ削除しようとしたが、削除に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

直前に出力されている syslog/ イベントログのメッ

セージに従って対処してください。

### KAVS0247-E

An attempt to delete the execution result (execution-ID: 実行ID) of the jobnet (ジョブネット名), which has a start condition, failed.: 保守情報

起動条件付きジョブネット (ジョブネット名) の実行結果世代 (実行ID: 実行ID) の削除に失敗しました: 保守情報

メモリー不足が発生したため、起動条件付きジョブネットの実行結果世代の削除に失敗しました。

保存世代数に達している場合、最も古い実行結果世代を一つ削除します。起動条件付きジョブネットの処理は、中断しないで続きます。

(S)

保存世代数に達している場合、最も古い実行結果世代を一つ削除して、処理を続けます。

(O)

メモリー不足を検知したため、実行結果世代の削除に失敗しました。

次の設定を確認してください。

- UNIX の場合は、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターのメモリーに関する設定値が、見積もり値以上になっているか確認してください。
- 現象発生時に稼働しているプロセスの状態を確認し、見積もり値以上のメモリーがあるか確認してください。

削除された実行結果世代の状態を確認する場合は、スケジューラーログより状態を確認してください。

### KAVS0248-I

End of a Job delayed. (name: ジョブ名: 実行ID)

ジョブ (ジョブ名: 実行ID) の終了が遅延しています

ジョブの終了が遅延しています。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] タブで [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に「完全」を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

### KAVS0249-W

The scheduler services stopped before execution of the job began.

ジョブ (ジョブ名: 実行ID) が実行開始する前にスケジューラーサービスが停止しました

ジョブが実行中になる前にスケジューラーサービスが停止したため、エージェントでジョブが実行開始しても、ジョブの状態が実行中になるのはスケジューラーサービス起動時となり、ジョブの実行所要時間の遅延検出が遅れるおそれがあります。

(S)

処理を続行します。

(O)

ajsshow コマンドで、ほかのホストで実行したジョブの実行開始日時または終了日時を確認し、ジョブが実行所要時間を超えて長時間実行中になっていないか確認してください。

### KAVS0251-I

保守情報

保守情報

キューレスジョブが実行開始しました。保守情報の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 E.2 キューレスエージェントサービスが出力するログ」を参照してください。

(S)

処理を続行します。

### KAVS0252-I

保守情報

保守情報

キューレスジョブが正常終了しました。保守情報の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 E.2 キューレスエージェントサービスが出力するログ」を参照してください。

(S)

処理を続行します。

### KAVS0253-E

保守情報

保守情報

キューレスジョブが異常終了しました。保守情報の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 E.2 キューレスエージェントサービスが出力するログ」を参照してください。

(S)

処理を続行します。

(O)

統合トレースログまたはジョブの実行結果詳細でエラー要因を確認して、エラー要因を取り除いたあと、該当するジョブを再実行してください。

### KAVS0254-W

保守情報

保守情報

キューレスジョブが警告終了しました。保守情報の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 E.2 キューレスエージェントサービスが出力するログ」を参照してください。

(S)

処理を続行します。

(O)

統合トレースログまたはジョブの実行結果詳細でエラー要因を確認して、エラー要因を取り除いたあと、該当するジョブを再実行してください。

**KAVS0260-I**

Jobnet started. (name: ジョブネット名: 実行ID)  
ジョブネット (ジョブネット名: 実行ID) を開始します

ジョブネットを開始します。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

**KAVS0261-I**

Jobnet ended normally. (name: ジョブネット名: 実行ID)  
ジョブネット (ジョブネット名: 実行ID) が正常終了しました

ジョブネットが正常終了しました。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

**KAVS0262-E**

Jobnet ended abnormally. (name: ジョブネット名: 実行ID)  
ジョブネット (ジョブネット名: 実行ID) が異常終了しました

ジョブネットが異常終了しました。

(S)

処理を続行します。なお、実行 ID は、環境設定パラメーターの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(O)

配下のユニットの実行状態を確認し、正しく実行されていない原因を調べて対処してください。

**KAVS0263-I**

Job started. (name: ジョブ名: 実行ID, host: ホスト名, JOBID: ジョブ番号)  
ジョブ (ジョブ名: 実行ID) を開始します (host: ホスト名, JOBID: ジョブ番号)

ジョブを開始します。

(S)

処理を続行します。実行 ID、ホスト名、およびジョブ番号は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

**KAVS0264-I**

Job ended normally. (name: ジョブ名: 実行ID, host: ホスト名, code: コード, JOBID: ジョブ番号)  
ジョブ (ジョブ名: 実行ID) が正常終了しました (host: ホスト名, code: コード, JOBID: ジョブ番号)

ジョブが正常終了しました。実行 ID、コード、およびジョブ番号は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

**KAVS0265-E**

Job ended abnormally. (name: ジョブ名: 実行ID, status: 状態, code: コード, host: ホスト名, JOBID: ジョブ番号)  
ジョブ (ジョブ名: 実行ID) が異常終了しました (status: 状態, code: コード, host: ホスト名, JOBID: ジョブ番号)

ジョブが異常終了しました。

「状態」に表示される文字列とその意味を次に示します。

- ・ a : 異常検出
- ・ f : 起動失敗
- ・ c : 強制終了
- ・ ? : 終了状態不明

詳細については、[ 実行結果詳細 ] ダイアログボックスで確認してください。  
実行 ID とジョブ番号は、環境設定パラメーターの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

異常終了した原因を調べて、対処してください。原因を特定できない場合は、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

なお、PC ジョブでコードが 128 の場合は、デスクトップヒープ領域不足でジョブが異常終了しているおそれがあります。

マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 5.2.3 JP1/AJS2 のサービスの設定を変更する必要がある場合 (Windows 限定)」を参照し、必要であれば JP1/AJS2 サービスのアカウント変更を行います。また、同時ジョブ実行数やシステム全体の起動プロセスを見直すなど、デスクトップヒープ領域が不足しないよう対策を行ってください。

-e オプションを指定しないで jpomanevreset コマンドを実行したあと、JP1/AJS2 サービスを起動した場合も、このメッセージが出力されます。これは、イベントリセットによるイベントジョブの実行終了に伴うメッセージのため、無視してください。

### KAVS0267-I

All Jobnet entries canceled. (スケジューラーサービス名) ジョブネットを全て登録解除しました (スケジューラーサービス名)

すべてのジョブネットの登録を強制的に取り消しました。

(S)

スケジューラーサービスのコールドスタート処理を続行します。

(O)

必要に応じてジョブネットの所有者に、登録が取り消されたことを知らせてください。

### KAVS0268-W

Jobnet ended with warning. (name: ジョブネット名: 実行ID)

ジョブネット (ジョブネット名: 実行ID) が警告終了しました

ジョブネットが警告終了しました。実行 ID は、環境設定パラメーターの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

配下のユニットの実行状態を確認し、正しく実行されていない原因を調べて対処してください。

### KAVS0269-W

Job ended with warning. (name: ジョブ名: 実行ID, code: コード, host: ホスト名, JOBID: ジョブ番号)  
ジョブ (ジョブ名: 実行ID) が警告終了しました (code: コード, host: ホスト名, JOBID: ジョブ番号)

ジョブが警告終了しました。実行 ID とジョブ番号は、環境設定パラメーターの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

警告終了した原因を調べて、対処してください。ジョブの実行結果の詳細については、JP1/AJS2 - View の [ 実行結果詳細 ] ダイアログボックスで確認してください。

### KAVS0270-I

Jobnet cannot be executed while being held. (name: ジョブネット名: 実行ID)

ジョブネット (ジョブネット名: 実行ID) は保留中のため実行できません

ジョブネットは保留中のため実行できません。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

必要に応じて、ジョブネットの保留を解除してください。

### KAVS0271-I

Job cannot be executed while being held. (name: ジョブ名: 実行ID)

ジョブ (ジョブ名: 実行ID) は保留中のため実行できません

ジョブは保留中のため実行できません。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

必要に応じて、ジョブの保留を解除してください。

### KAVS0272-E

Jobnet (ジョブネット名: 実行ID) cannot be executed - error (保守情報) occurred.

続行不可能なエラー（保守情報）が発生したためジョブネット（ジョブネット名：実行ID）は実行できません

「保守情報」に表示されるエラーが発生したため、ジョブネットを実行できません。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

ジョブネットを閉塞状態にします。

(O)

このメッセージの前に出力されたメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除いてください。  
そのあと、閉塞状態になったジョブネットの登録を解除したあと、ジョブネットを再登録してください。

### KAVS0273-E

Jobnet (ジョブネット名: 実行ID) cannot be scheduled - error (保守情報) occurred.

続行不可能なエラー（保守情報）が発生したためジョブネット（ジョブネット名：実行ID）の次回実行予定が求められません

「保守情報」に表示されるエラーが発生したため、ジョブネットの次回実行予定を登録できません。原因として、ジョブネットのスケジュール定義 [ 排他スケジュール ] または [ 他のジョブグループのカレンダーを参照 ] に存在しないユニットが指定されていることが考えられます。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に [ 完全 ] を指定した場合に出力されます。

(S)

ジョブネットを閉塞状態にします。

(O)

ジョブネットのスケジュール定義 [ 排他スケジュール ] または [ 他のジョブグループのカレンダーを参照 ] の設定に誤りが無いかを確認してください。  
誤りが無ければ、このメッセージの前に出力されたメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除いてください。  
そのあと、閉塞状態になったジョブネットの登録を解除したあと、ジョブネットを再登録してください。

### KAVS0274-E

The number of jobnets for execution registration exceeded the limit. (Jobnet: ジョブネット名, code: コード)  
登録可能なジョブネット数が限界値を越えました  
(Jobnet: ジョブネット名, code: コード)

実行登録できるジョブネットの数が制限値を超えたため、次回実行予定を登録できません。

(S)

ジョブネットの次回実行予定をなしにします。

(O)

不要なジョブネットの登録を解除したあと、ジョブネットを再登録してください。

### KAVS0275-I

Start of a Jobnet delayed. (name: ジョブネット名: 実行ID)  
ジョブネット（ジョブネット名：実行ID）の開始が遅延しています

ジョブネットの開始が遅延しています。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

### KAVS0276-I

End of a Jobnet delayed. (name: ジョブネット名: 実行ID)  
ジョブネット（ジョブネット名：実行ID）の終了が遅延しています

ジョブネットの終了が遅延しています。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

(S)

処理を続行します。

### KAVS0277-I

Start time for next execution schedule has been reached. (name: ジョブネット名: 実行ID)  
ジョブネット（ジョブネット名：実行ID）が実行中に予定世代の実行時刻に到達しました

ジョブネットの実行中に、予定世代が実行時刻に到達したり、起動条件が成立したりなど、新たにジョブネットの実行を開始しようとした。しかし、多重起動を設定していないため、キューイングされました。  
または、起動条件付きジョブネットの「打ち切り時間」に達しました。

実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

- (S) 処理を続行します。
- (O) ユーザーの運用に合わせた対処をしてください。  
なお、起動条件付きジョブネットへの対処は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 8.5.1 起動条件を設定したジョブネットを運用する」を参照してください。

### KAVS0278-I

Job submit started. (name: ジョブ名: 実行ID)  
ジョブ (ジョブ名: 実行ID) のサブミットを開始します

ジョブのサブミットを開始します。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

- (S) 処理を続行します。

### KAVS0279-E

Jobnet ended with execution-deferred status. (name: ジョブネット名: 実行ID)  
ジョブネット (ジョブネット名: 実行ID) が繰り越し未実行になりました

ジョブネットが繰り越し未実行になりました。実行 ID は、構成定義ファイルの LOGINFOALL パラメーターに yes を指定した場合、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーログの設定 ] - [ スケジューラーログとイベントログの出力情報 ] に完全を指定した場合に出力されます。

- (S) スケジュール制御プロセスの処理を続行します。

### KAVS0289-E

Manager's host name not specified.  
マネージャのホスト名が指定されていません

リモートジョブネットの実行マネージャーを指定していません。

- (S) リモートジョブネットを異常終了させます。
- (O) リモートジョブネットの実行マネージャーを正しく指定したあと、リモートジョブネットを実行登録してく

ださい。

### KAVS0291-E

Specified host name does not exist. : ホスト名  
指定したホスト名 (ホスト名) は存在しません

指定したホスト名はありません。

- (S) ジョブの実行時は、ジョブを異常終了 ( 起動失敗 ) にして、処理を続行します。  
コマンドの実行時は、コマンドの実行を中止します。
- (O) 正しいホスト名を指定して、再実行してください。

### KAVS0297-E

Cannot create directory or file (ディレクトリ名またはファイル名): 保守情報1 保守情報2 保守情報3  
ディレクトリ又はファイル (ディレクトリ名またはファイル名) が作成できません: 保守情報1 保守情報2 保守情報3

一時ファイル用ディレクトリにアクセス権限がないなどの原因で、ディレクトリまたはファイルを作成できません。

- (S) 処理を中止します。
- (O) 一時ファイル用ディレクトリに更新権限があるか確認してください。  
JP1/AJS2・View からルートジョブネットを確定実行登録したときにこのエラーが発生した場合は、ほかのユーザーが確定実行登録していることが考えられます。ほかのユーザーの確定登録が終了したあとで、確定登録の操作を再度実行してください。

### KAVS0300-E

Unit does not exist.  
ユニットは存在しません

次の原因が考えられます。

- 指定したユニットをほかのユーザーが削除しました。
- 実行登録したジョブネットスケジュールのカレンダー情報に指定したジョブグループがありません。

- (S) 処理を終了します。

- (O) ウィンドウをオープンし直してください。

### KAVS0301-E

No authorization.  
権限がありません

ユニット ( 下位のユニットを含む ) または関連するファイル ( 標準エラー出力ファイルなど ) に対する権限がありません

せん。または、環境変数 JP1\_USERNAME に指定した JP1 ユーザー名のユーザーマッピング処理で、メモリー不足が発生し、ユニットに対する権限の確認ができません。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
権限を持つユーザーが処理を実行してください。

#### KAVS0304-E

In use by other user.  
ほかで使用中です

ほかのユーザーがユニットを使用しています。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
ほかのユーザーの使用が終了したあと、再操作してください。

#### KAVS0311-E

Invalid Unit definition.  
ユニットの定義内容が不正です

ユニットの定義内容に誤りがあります。

- (S)  
処理を中止します。ただし、複数のユニット定義ファイル名を指定した場合、処理を継続します。
- (O)  
ユニット定義ファイルを正しく記述したあと、コマンドを再実行してください。  
また、ユニット定義ファイルの設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 2. 情報定義ファイルの作成」を参照してください。

#### KAVS0314-E

File processing count exceeds the limit.  
処理できるファイル数の上限を超えました

処理できるファイル数が制限値を超えました。

- (S)  
処理を中止します。
- (O)  
不要なウィンドウやダイアログボックス、および不要なファイルを削除し、使用可能な領域を確保後に再実行してください。  
UNIX の場合、カーネルパラメーターの次の項目を確認してください。
- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
  - 最大ファイル記述子数（ファイルシステムに関わる制限値）
- また、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを

参照し、ファイルシステムに関する設定を変更してください。

#### KAVS0315-E

Not enough space in file system.  
ファイルシステムに十分な領域がありません

ファイルシステムに十分な領域がありません。

- (S)  
処理を中止します。
- (O)  
不要なウィンドウやダイアログボックス、および不要なファイルを削除し、使用可能な領域を確保後に再実行してください。  
UNIX の場合、カーネルパラメーターの次の項目を確認してください。
- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
  - 最大ファイル記述子数（ファイルシステムに関わる制限値）
- また、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、ファイルシステムに関する設定を変更してください。

#### KAVS0317-E

Lock resources count exceeds the limit.  
処理できるロック資源数の上限を超えました

システムで処理できるファイルロック資源数の上限を超えました。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
不要なウィンドウやダイアログボックス、および不要なファイルを削除し、使用可能な領域を確保後に再実行してください。  
UNIX の場合、カーネルパラメーターの次の項目を確認してください。
- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
  - 最大ファイル記述子数（ファイルシステムに関わる制限値）
- また、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、ファイルシステムに関する設定を変更してください。

#### KAVS0318-E

System resources became insufficient.  
システムリソース不足が発生しました

システムリソースが不足しました。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
不要なウィンドウやダイアログボックスを閉じたあ

と、再実行してください。

UNIX の場合、カーネルパラメーターの次の項目を確認してください。

- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
- 最大ファイル記述子数（ファイルシステムに関わる制限値）

カーネルパラメーターについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

## KAVS0319-E

Files not exist or cannot access files by insufficient system resources. : 保守情報

ファイルが存在しないかシステム資源不足のためファイルにアクセスできません : 保守情報

次の理由でファイルにアクセスできませんでした。

- ロックファイルや ISAM ファイルがない
- 環境設定パラメーターの AJSTMPDIR に指定した一時ファイル用ディレクトリがない
- JP1/AJS2 - View で [ 退避 ] または [ 回復 ] ダイアログボックス表示中に、ajsbkudel コマンドなどによって、対象の退避ボックスまたは退避ファイルが削除された
- システム資源が不足している

(S)

処理を終了します。

(O)

環境設定パラメーターの AJSBDDIRECTORY、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーファイルの構成 ] - [ データベースディレクトリ名 ] に指定したデータベースディレクトリに、ロックファイルや ISAM ファイルがあるか確認してください。ファイルがない場合は、スケジューラーサービスをセットアップしてください。ファイルがある場合は、環境設定パラメーターの AJSTMPDIR、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーファイルの構成 2 ] - [ 一時ファイルディレクトリ名 ] に指定した一時ファイル用ディレクトリがあるか確認してください。

JP1/AJS2 - View で [ 退避 ] または [ 回復 ] ダイアログボックス表示中に、ajsbkudel コマンドなどによって、対象の退避ボックスまたは退避ファイルが削除された場合は、JP1/AJS2 - View で [ 退避 ] または [ 回復 ] ダイアログボックスを閉じてから再度表示させてください。

上記以外の場合は、カーネルパラメーターのセマフォと共有メモリーの設定値を見直してください。カーネルパラメーターについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

## KAVS0322-E

Cannot operate - Scheduler service has not started.

スケジューラーサービスが起動されていないため操作できません

指定したスケジューラーサービス名が正しくない、またはスケジューラーサービスを起動していないため操作できません。

または、Windows の Terminal Service と連携していないため、ターミナルサービスを利用した操作ができません。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定したスケジューラーサービスの名称を確認し、JP1/AJS2 サービスまたは JP1/AJS2 Monitor サービスを起動したあと、再操作してください。リモートジョブネットの実行時に出力された場合は、リモートジョブネットの実行先ホストで、環境設定パラメーター REMNETSERVICECENAME、または [ マネージャー環境設定 ] の [ 論理ホスト共通 ] - [ リモートジョブネットスケジューラーサービス名 ] に指定したスケジューラーサービスを起動したあと、再操作してください。

ただし、次のコマンドの場合は、JP1/AJS2 サービスを起動したあと、再操作してください。

- ajsalter
- ajschgstat
- ajsentry
- ajsintrpt
- ajskill
- ajsleave
- ajsplan
- ajsrerun
- ajsstart
- ajsstop
- ajssuspend

または、ターミナルサービスを利用しない環境で再操作してください。

## KAVS0369-E

Cannot operate - version is different.

バージョン不一致のため操作できません

操作する対象のジョブネットワーク要素を管理する JP1/AJS2 と、操作する側の JP1/AJS2 のバージョンが合わないため、操作できません。

(S)

処理を続行します。

(O)

スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持つユーザーにバージョンを確認してください。



**KAVS0435-E**

Environment file name length exceeds 255 bytes.  
環境変数ファイル名の長さが255バイトを超えています

環境変数ファイル名を 256 バイト以上で指定しています。

- (S)  
処理を中止します。
- (O)  
環境変数ファイル名を 255 バイト以内で指定したあと、再実行してください。

**KAVS0439-E**

Complete Unit name is too long.  
ユニットの完全名が長すぎます

指定したユニットの完全名は制限値を超えています。上限は次のとおりです。

- ジョブ名, リカバリージョブ名: 930 バイト以内
- 上記以外: 899 バイト以内

- (S)  
処理を中止します。
- (O)  
ユニットの完全名を制限値以内で指定したあと、再実行してください。

**KAVS0470-E**

Among the generations registered in the specified period, there is no generation whose registration can be canceled. (ユニット名)  
指定した期間に登録解除できる世代はありません: ユニット名

指定した期間に登録情報がないため、登録解除できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
登録解除する期間を確認したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0475-I**

There is no log record that satisfies the specified conditions.  
指定した条件に合うログレコードがありません

指定した条件に合うログレコードがないため、情報を出力できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
指定する条件を訂正したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0476-E**

Invalid format in the specified scheduler log file. (line:行番号)  
指定したスケジューラーログファイルの形式に誤りがあります (行番号: 行番号)

指定したスケジューラーログファイルの行番号行目に不正な形式のログレコードがあります。

- (S)  
行番号行目の次の行から処理を続行します。
- (O)  
スケジューラーログファイルの内容を確認し、必要に応じてコマンドを再実行してください。

**KAVS0477-E**

Scheduler log file name not specified.  
スケジューラーログファイル名の指定がありません

スケジューラーログファイル名が指定されていません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
スケジューラーログファイル名を指定し、コマンドを再実行してください。

**KAVS0478-E**

Scheduler log file name is too long.  
スケジューラーログファイル名が長すぎます

スケジューラーログファイル名を、256 バイト以上の文字列で指定しています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
スケジューラーログファイル名を 255 バイト以内で指定したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0500-E**

Scheduler service has already started.  
スケジューラーサービスは既に開始しています

すでにスケジューラーサービスが起動されています。

- (S)  
処理を中止します。
- (O)  
jajs\_spmdd\_status コマンドなどで、プロセスの状態を確認してください。  
また、スケジューラーサービスおよび論理ホストの追加・削除手順に誤りがないか、確認してください。手順については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.7.1 スケジューラーサービスの多重起動の設定」、マニ

アル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 9.4 クラスタ運用の環境設定」, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.7.1 スケジューラーサービスの多重起動の設定」, およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 18.4 クラスタ運用の環境設定」を参照してください。

#### KAVS0530-I

JP1/AJS2 Monitor service started.  
JP1/AJS2 Monitorサービスを起動します

JP1/AJS2 Monitor サービスを起動します。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVS0531-I

JP1/AJS2 Monitor service stopped.  
JP1/AJS2 Monitorサービスを停止します

JP1/AJS2 Monitor サービスを停止します。

- (S)  
JP1/AJS2 Monitor サービスを停止します。

#### KAVS0532-I

JP1/AJS2 Monitor service started accepted processing.  
(From: IPアドレス, To: 論理ホスト名, JP1ユーザー名, PID: プロセスID)  
JP1/AJS2 Monitorサービスが受け付けた処理を開始します (From: IPアドレス, To: 論理ホスト名, JP1ユーザー名, PID: プロセスID)

JP1/AJS2 Monitor サービスが受け付けた処理を開始します。From で示す IP アドレスから ajsinetd が受け付けたモニターサーバを, To で示す論理ホストで起動しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVS0533-I

JP1/AJS2 Monitor service ended accepted processing.  
(From: IPアドレス, To: 論理ホスト名, JP1ユーザー名, PID: プロセスID)  
JP1/AJS2 Monitorサービスが受け付けた処理を終了しました (From: IPアドレス, To: 論理ホスト名, JP1ユーザー名, PID: プロセスID)

JP1/AJS2 Monitor サービスが, 受け付けた処理を終了しました。ajsinetd が From で示す IP アドレスから受け付け, To で示す論理ホストで起動したモニターサーバを終了しました。

- (S)  
JP1/AJS2 Monitor サービスが, 受け付けた処理を終

了しました。

#### KAVS0534-I

JP1/AJS2 - View has been connected to the scheduler service (スケジューラーサービス名). (JP1ユーザー名 (OSユーザー名), プロセスID)  
JP1/AJS2 - Viewをスケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) に接続しました (JP1ユーザー名 (OSユーザー名), プロセスID)

JP1/AJS2 - View をスケジューラーサービスに接続しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVS0535-I

JP1/AJS2 - View has been disconnected from the scheduler service (スケジューラーサービス名). (JP1ユーザー名 (OSユーザー名), プロセスID)  
JP1/AJS2 - Viewのスケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) への接続を終了しました (JP1ユーザー名 (OSユーザー名), プロセスID)

JP1/AJS2 - View がスケジューラーサービスへの接続を終了しました。

- (S)  
JP1/AJS2 - View がスケジューラーサービスへの接続を終了します。

#### KAVS0536-I

JP1/AJS2 - Scenario Operation has been connected to the scheduler service (スケジューラーサービス名). (JP1ユーザー名 (OSユーザー名), プロセスID)  
JP1/AJS2 - Scenario Operationをスケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) に接続しました (JP1ユーザー名 (OSユーザー名), プロセスID)

JP1/AJS2 - Scenario Operation をスケジューラーサービスに接続しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVS0537-I

JP1/AJS2 - Scenario Operation has been disconnected from the scheduler service (スケジューラーサービス名). (JP1ユーザー名 (OSユーザー名), プロセスID)  
JP1/AJS2 - Scenario Operationのスケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) への接続を終了しました (JP1ユーザー名 (OSユーザー名), プロセスID)

JP1/AJS2 - Scenario Operation がスケジューラーサービスへの接続を終了しました。

- (S)  
JP1/AJS2 - Scenario Operation がスケジューラー

サービスへの接続を終了します。

#### KAVS0540-Q

Ok to change the local time? (y: OK/n: NO)  
ローカル日時を変更しますか (y: する/n: しない)

ローカル日時を変更するかどうかを確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

変更する場合は, y を入力してください。  
変更しない場合は, n を入力してください。

#### KAVS0541-E

Specified local time is not acceptable.  
変更するローカル日時に誤りがあります

変更するローカル日時が範囲外 (1994 ~ 2036 年以外) です。

(S)

処理を中止します。

(O)

ローカル日時を西暦 1994 ~ 2036 年の範囲で設定してください。

#### KAVS0582-E

Specified data format is not acceptable for the environment variable. : 環境変数名  
環境変数の指定に誤りがあります: 環境変数名

環境変数を誤って指定しています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

環境変数を正しく指定したあと, コマンドを再実行してください。  
また, 環境変数については, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド 環境変数一覧」を参照してください。

#### KAVS0600-E

Valid calendar definition options not specified.  
有効なカレンダー定義オプションが指定されていません

カレンダーの定義に必要なオプションを指定していません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

カレンダーの定義に必要なオプションを指定したあ

と, コマンドを再実行してください。

#### KAVS0601-E

Date information file (ファイル名) does not exist.  
日付情報ファイル (ファイル名) が存在しません

日付情報ファイルがありません。

(S)

コマンドの実行を続行します。作成されていないファイルの処理は中止します。

(O)

日付情報ファイルを作成したあと, コマンドを再実行してください。

#### KAVS0602-E

Illegal date (日付) specified.  
不正な日付 (日付) が指定されています

日付を誤って指定しています。

(S)

コマンドの実行を続行します。不適切な日付は無効になります。

(O)

日付を正しく指定したあと, コマンドを再実行してください。

#### KAVS0603-E

Illegal character exists in option string (オプション文字列).  
オプション文字列 (オプション文字列) 中に不正な文字があります

オプションや日付情報ファイルに不適切な文字を指定しています。

(S)

コマンドの実行を続行します。不適切な文字は無効になります。

(O)

オプションや日付情報ファイルに正しい文字を指定したあと, コマンドを再実行してください。

#### KAVS0604-E

Cannot read date information file (ファイル名) - error occurred.  
日付情報ファイル (ファイル名) の入力中にエラーが発生しました

日付情報ファイルの入力中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を続行します。エラーの発生したファイルは無効になります。

(O)

指定した日付情報ファイル（運用日情報ファイル，休業日情報ファイル，取消日情報ファイル，カレンダー情報ファイル）を調べてエラー原因を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

#### KAVS0605-E

Cannot read date information file (ファイル名)・no authority.

権限がないため日付情報ファイル（ファイル名）を入力できません

日付情報ファイルに対するアクセス権限がありません。

- (S) コマンドの実行を続行します。アクセス権限のないファイルは無効になります。
- (O) 指定した日付情報ファイル（運用日情報ファイル，休業日情報ファイル，取消日情報ファイル，カレンダー情報ファイル）に対してアクセス権限を設定したあと，コマンドを再実行してください。

#### KAVS0620-Q

Ok to clear Unit (ユニット名)? (y: OK/n: NO)

ユニット（ユニット名）を消去しますか（y：する/n：しない）

ユニットを消去するかどうかを確認します。

- (S) 応答を待ちます。
- (O) 消去する場合は，y を入力してください。  
消去しない場合は，n を入力してください。

#### KAVS0621-E

Cannot delete・Unit (ユニット名) is registered.

ユニット（ユニット名）は登録されているため削除できません

指定したユニットは，登録されているルートジョブネット，または登録されているジョブネット中のユニットであるため削除できません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ユニットの登録を解除したあと，コマンドを再実行してください。また，サスペンド状態であるルートジョブネットの中に定義しているジョブネットおよびジョブを削除する場合は，-s オプションを付けてコマンドを再実行してください。

#### KAVS0622-E

Cannot delete・Unit (ユニット名) has registered Jobnet.  
ユニット（ユニット名）には登録されているジョブネットが存在するため削除できません

ユニットには登録されているジョブネットがあるため削除できません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ジョブネットの登録を解除したあと，コマンドを再実行してください。

#### KAVS0623-E

Cannot delete・Unit (ユニット名) is running.

ユニット（ユニット名）は実行中のため削除できません

ユニットは実行中のため削除できません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ユニットの処理が終了したあと，コマンドを再実行してください。

#### KAVS0624-E

Cannot delete・Unit (ユニット名) has a Hostlink jobnet.  
ユニット（ユニット名）にはホストリンクジョブネットが存在するため削除できません

ユニットの下には，登録済みのホストリンクジョブネットがあるため削除できません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ホストリンクジョブネットを含むジョブネットの登録を解除したあと，コマンドを再実行してください。

#### KAVS0630-E

Cannot copy・Unit (ユニット名) is already registered.

ユニット（ユニット名）は登録されているため複写できません

出力先ユニットは登録されているため複写できません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 出力先ユニットの登録を解除したあと，コマンドを再実行してください。また，サスペンド状態であるルートジョブネットの中にジョブネットおよびジョブを複写する場合は，-s オプションを付けてコマンドを再実行してください。

**KAVS0631-E**

Cannot move - Unit (ユニット名) is already registered.  
 ユニット (ユニット名) は登録されているため移動できません

出力先ユニットは登録されているため移動できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

出力先ユニットの登録を解除したあと、コマンドを再実行してください。また、サスペンド状態であるルートジョブネットの中にジョブネットおよびジョブを移動する場合は、-s オプションを付けてコマンドを再実行してください。

**KAVS0632-E**

Cannot move - Unit (ユニット名) contain a registered Jobnet.  
 ユニット (ユニット名) には登録されているジョブネットが存在するため移動できません

出力先ユニットは登録されているジョブネットがあるため移動できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

出力先ジョブネットの登録を解除したあと、コマンドを再実行してください。また、サスペンド状態であるルートジョブネットの中にジョブネットおよびジョブを移動する場合は、-s オプションを付けてコマンドを再実行してください。

**KAVS0633-E**

Cannot move - Unit of the same name (ユニット名) exists.  
 同じ名前のユニット (ユニット名) が存在するため移動できません

移動先に同じ名前のユニットがあるため移動できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ユニット名を変更したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0634-E**

Cannot copy - Unit of the same name (ユニット名) exists.  
 同じ名前のユニット (ユニット名) が存在するため複写できません

複写先に同じ名前のユニットがあるため複写できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ユニット名を変更したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0635-E**

Cannot copy - Unit (ユニット名) does not exist.  
 ユニット (ユニット名) が存在しないため複写できません

複数のユニットを複写しようとしたましたが、複写先ユニットがないため複写できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

複写先ユニットを作成したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0636-E**

Cannot move - Unit (ユニット名) does not exist.  
 ユニット (ユニット名) が存在しないため移動できません

複数のユニットを移動しようとしたましたが、移動先ユニットがないため移動できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

移動先ユニットを作成したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0637-E**

Output Unit name not specified.  
 出力先ユニット名の指定がありません

出力先ユニット名を指定していません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

-o オプションで出力先ユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0638-E**

Cannot treat as output Unit. : ユニット名  
 出力先ユニットとして扱えません : ユニット名

「ユニット名」で表示されたユニットは出力先ユニットとして扱えません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

複写、または移動しようとしたユニットの条件を見直して、コマンドを再実行してください。

### KAVS0639-E

Cannot copy the Unit (ユニット名) - currently used by another user.

ユニット (ユニット名) は他で操作中のため複写できません

ほかのユーザーがユニットを操作しているため複写できません。

- (S) コマンドの実行を中止します。

- (O) 複写先の操作が終了したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0640-E

Cannot move the Unit (ユニット名) - currently used by another user.

ユニット (ユニット名) は他で操作中のため移動できません

ほかのユーザーがユニットを操作しているため移動できません。

- (S) コマンドの実行を中止します。

- (O) 移動先の操作が終了したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0641-E

No authority to use output Unit (ユニット名).  
出力先ユニット (ユニット名) に対する権限がありません

出力先ユニットに対する権限がないため定義できません。  
次の原因が考えられます。

- 出力先ユニットに更新権限がない
- 出力先ユニットの上位ユニットに対して参照権限がない

- (S) コマンドの実行を中止します。

- (O) 出力先ユニットに対して更新権限を持つユーザーまたは出力先ユニットの上位ユニットに対して参照権限を持つユーザーで、コマンドを再実行してください。

### KAVS0642-E

Cannot copy - Unit has Hostlink jobnet. : ユニット名  
ユニット (ユニット名) にはホストリンクジョブネットが存在するため複写できません

下位にホストリンクジョブネットがあるユニットを、リモートジョブネットの下に複写できません。また、上位にリモートジョブネットがあるジョブネットの下にも複写できません。

- (S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定している場合、ほかのユニットの処理は続行します。

- (O)

入力元ユニットにホストリンクジョブネットが含まれていないか確認してください。また、出力先ユニットがリモートジョブネットか、または出力先ユニットの上位にリモートジョブネットがないか確認してください。  
正しいユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0643-E

Cannot move - Unit has a Hostlink jobnet. : ユニット名  
ユニット (ユニット名) にはホストリンクジョブネットが存在するため移動できません

下位にホストリンクジョブネットがあるユニットを、リモートジョブネットの下に移動できません。また、上位にリモートジョブネットがあるジョブネットの下にも移動できません。

- (S) 処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定している場合、ほかのユニットの処理は続行します。

- (O) 入力元ユニットにホストリンクジョブネットが含まれていないか確認してください。また、出力先ユニットがリモートジョブネットか、または出力先ユニットの上位にリモートジョブネットがないか確認してください。  
正しいユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0644-E

A Hostlink jobnet (ユニット名) cannot be copied to a unit other than a jobnet.  
ホストリンクジョブネット (ユニット名) はジョブネット以外のユニットに複写できません

ホストリンクジョブネットはジョブ以外のユニットに複写できません。

次の原因が考えられます。

- ホストリンクジョブネットを、リモートジョブネットの下に複写しようとした。
- ホストリンクジョブネットを、上位にリモートジョブネットがあるジョブネットの下に複写しようとした。

- (S) 処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定している場合、ほかのユニットの処理は続行します。

- (O) 出力先ユニットがリモートジョブネットではないか、または出力先ユニットの上位にリモートジョブネットがないか確認してください。  
正しいユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0645-E**

A Hostlink jobnet (ユニット名) cannot be moved to a unit other than a jobnet.

ホストリンクジョブネット (ユニット名) はジョブネット以外のユニットに移動できません

ホストリンクジョブネットはジョブ以外のユニットに移動できません。

次の原因が考えられます。

- ・ホストリンクジョブネットを、リモートジョブネットの下に移動しようとした。
- ・ホストリンクジョブネットを、上位にリモートジョブネットがあるジョブネットの下に移動しようとした。

(S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定してある場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

出力先ユニットがリモートジョブネットではないか、または出力先ユニットの上位にリモートジョブネットがないか確認してください。  
正しいユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0646-E**

A Hostlink jobnet (ユニット名) cannot be copied to a registered unit.

ホストリンクジョブネット (ユニット名) は登録済みユニットに複写できません

ホストリンクジョブネットは、登録済みのユニットの下には複写できません。

(S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定してある場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

出力先ユニットの登録を解除したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0647-E**

A unit other than a jobnet in the planning-group cannot be moved. : ユニット名

プランニンググループの中にジョブネット以外のユニットは移動できません : ユニット名

プランニンググループの中にジョブネットまたはリモートジョブネット以外のユニットを移動しようとした。

(S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定してある場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

出力先がプランニンググループでないか確認してください。正しいユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0648-E**

A unit other than a jobnet in the planning-group cannot be copied. : ユニット名

プランニンググループの中にジョブネット以外のユニットは複写できません : ユニット名

プランニンググループの中にジョブネットまたはリモートジョブネット以外のユニットを複写しようとした。

(S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定してある場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

出力先がプランニンググループでないか確認してください。正しいユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0650-E**

Invalid specification in the Unit definition parameter file (ファイル名). (sentence: 文番号)

ユニット定義パラメタファイル (ファイル名) の内容に誤りがあります (文番号: 文番号)

ユニット定義パラメタファイルを誤って記述しています。

次の原因が考えられます。

- ・ユニット定義パラメタのシンタックスに誤りがある。
- ・同時に指定できない組み合わせの指定が含まれている。
- ・同時に指定しなければならないパラメタが不足している。
- ・階層の限界を超えている。
- ・定義ユニットの個数が限界に達している。
- ・ジョブネットの中にジョブグループ、プランニンググループまたはマネージャーユニットを作成しようとした。
- ・ジョブ、マネージャーユニット、ホストリンクジョブネット、または起動条件ユニットの中にジョブネットワーク要素を作成しようとした。
- ・ルートジョブネットに指定できないパラメタが含まれている。
- ・起動条件の中に 32 個を超えるイベントジョブを作成しようとした。
- ・指定できない組み合わせの関連定義が指定されている。
- ・起動条件の中に、イベントジョブ以外のユニット、またはリカバリー属性のユニットを作成しようとした。
- ・ホストリンクジョブネットの上位パスに、リモートジョブネットが指定されている。
- ・リモートジョブネット配下のユニットで、実行先マネージャーのバージョンでサポートしていない機能を使用している。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、複数のユニット定義パラメタファイル名を指定した場合、処理を続行します。

(O)

ユニット定義ファイルについては、マニュアル「JPI/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 2.1 ユニット定義ファイルの作成」を参照し、ユニット定義パラメーターファイルを確認してから、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0651-E

Cannot define Unit (ユニット名) is already registered.  
ユニット (ユニット名) は登録されているため定義できません

ユニットには、登録されているジョブネットがあるためジョブネットワーク要素を定義できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。ただし、複数のユニット定義ファイル名を指定した場合、処理を続行します。
- (O)  
ユニットの登録を解除したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0652-E

Cannot define Unit of the same name (ユニット名) exists.  
同じ名前のユニット (ユニット名) が存在するため定義できません

定義先に同じ名前のユニットがあるため定義できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。ただし、複数のユニット定義ファイル名を指定した場合、処理を続行します。
- (O)  
ユニットの名前を変更したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0653-E

Cannot treat as definition Unit. : ユニット名  
定義先ユニットとして扱えません: ユニット名

「ユニット名」に表示されたユニットは、定義先ユニットとして扱えません。

次の原因が考えられます。

- 定義先に指定したユニットがない。
- 定義先に指定したユニット種別が次のうちのどれかである。
  - ・ジョブ
  - ・ホストリンクジョブネット
  - ・マネージャージョブネット
  - ・マネージャージョブグループ
  - ・シナリオユニット

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

(O)

定義先ユニットを正しく指定して、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0654-E

Cannot use the Unit (ユニット名) - currently used by another user.

ユニット (ユニット名) は他で操作中のため定義できません

ほかのユーザーがユニットを操作しているため定義できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ほかのユーザーがユニットの操作が終了したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0655-E

Not authorized to access the definition parameter file (ファイル名).

ユニット定義パラメタファイル (ファイル名) に対する権限がありません

ユニット定義ファイルに対するアクセス権限がありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。ただし、複数のユニット定義ファイル名を指定した場合、処理を続行します。
- (O)  
ユニット定義に対してアクセス権限を設定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0656-Q

Ok to update Unit (ユニット名)? (y: OK/n: NG)

ユニット (ユニット名) を更新しますか (y: する/n: しない)

ユニットを更新するかどうかを確認します。

- (S)  
応答を待ちます。
- (O)  
更新する場合は、y を入力してください。  
更新しない場合は、n を入力してください。

#### KAVS0657-E

Cannot treat as a Unit definition parameter file. : ファイル名

ユニット定義パラメタファイルとして扱えません: ファイル名

ユニット定義パラメーターファイルとして扱えない形式のファイル指定しているため解析できません。



- (S)  
コマンドの実行を中止します。ただし、複数のユニット定義パラメーターファイル名を指定した場合、処理を続行します。
- (O)  
ユニット定義パラメーターファイルとして扱える形式のファイルを指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0658-E

Cannot define Unit (ユニット名).  
ユニット (ユニット名) は定義できません

次の原因でユニットを定義できません。

- ・ジョブネットの中にジョブグループを定義しようとした。
- ・ジョブの中にユニットを定義しようとした。
- ・ルートジョブネット以外のユニットの中に、起動条件 (.CONDITION) を定義しようとした。
- ・ユニットの中に、定義できるユニットの個数が制限値 (マップサイズ) を超えた。
- ・起動条件 (.CONDITION) の中に、定義できるイベントジョブの個数が限界 (32 個) を超えた。
- ・階層の数が、制限値を超えた。
- ・ユニットの完全名が、制限値 (930 バイト) を超えた。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
エラー原因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0659-E

No authority to use definition Unit (ユニット名).  
定義先ユニット (ユニット名) に対する権限がありません

定義先ユニットに対する権限がないため定義できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
定義先ユニットに対して権限を持つユーザーがコマンドを実行してください。

#### KAVS0660-E

Unit (ユニット名) left over.  
ユニット (ユニット名) が残りました

ユニットの作成の途中でエラーが発生したため、削除しようとしたが、すべてのユニットは削除できませんでした。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)

削除されなかったユニットを `ajsdelete` コマンドで削除してください。

#### KAVS0661-E

Cannot define Unit (ユニット名) is running.  
ユニット (ユニット名) は実行中のため定義できません

ユニットは実行中のため、強制的に更新できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ユニットの実行が終了したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0662-E

Cannot define Unit (ユニット名) has a Hostlink jobnet.  
ユニット (ユニット名) にはホストリンクジョブネットが存在するため定義できません

ユニットの下には、登録済みのホストリンクジョブネットがあるため、強制的に更新できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ホストリンクジョブネットを含むジョブネットの実行登録を解除したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0663-E

A Hostlink jobnet cannot be defined in a unit other than a jobnet. : ユニット名  
ホストリンクジョブネットはジョブネット以外のユニットに定義できません : ユニット名

ホストリンクジョブネットはジョブネット以外のユニットに定義できません

次の原因が考えられます。

- ・ホストリンクジョブネットを、リモートジョブネットの下に定義しようとした。
- ・ホストリンクジョブネットを、上位にリモートジョブネットがあるジョブネットの下に定義しようとした。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
定義先ユニットがリモートジョブネットではないか、または出力先ユニットの上位にリモートジョブネットがないか確認してください。  
正しい定義先ユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0664-E

A Hostlink jobnet cannot be defined in a registered unit.

：ユニット名

ホストリンクジョブネットは登録済みユニットに定義できません：ユニット名

ホストリンクジョブネットは、登録済みユニットの下には定義できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

定義先ユニット名に指定したユニットが、登録済みではないか確認してください。登録されていない定義先ユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0665-E

A unit other than a jobnet in the planning-group cannot be defined.：ユニット名

プランニンググループの中にジョブネット以外のユニットは定義できません：ユニット名

プランニンググループの中にジョブネットまたはリモートジョブネット以外のユニットを定義しようとした。

(S)

処理を終了します。

(O)

定義先がプランニンググループでないか確認してください。正しい定義先ユニット名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0666-E

Cannot define - Unit (ユニット名) is a Scenario management group.

ユニット (ユニット名) はシナリオ管理グループのため定義できません

ユニットはシナリオ管理グループのため、強制的に更新できません。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

シナリオ管理グループを強制的に更新することはできません。  
シナリオ管理グループを再作成する場合には、  
ajssosetup コマンドでアンセットアップしたあと、  
再度セットアップを実行して、シナリオ管理グループを作成してください。

### KAVS0667-I

Do not create - Unit (ユニット名) is a Scenario unit.

ユニット (ユニット名) はシナリオユニットのため作成を行いませんでした

ユニットはシナリオユニットのため、作成しませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

作成しようとしたユニットは、シナリオユニットのため作成しませんでした。シナリオユニットを作成する場合は、JP1/AJS2 - Scenario Operation と連携し、JP1/AJS2 - Scenario Operation からユニットを作成してください。

### KAVS0670-E

Definition is invalid. (Jobnet: ジョブネット名)

定義に誤りがあります (Jobnet: ジョブネット名)

ジョブネットのスケジュール定義情報に誤りがあります。次の原因が考えられます。

- ・ 参照するカレンダーに指定したジョブグループがない。
- ・ 排他スケジュールに指定したジョブネットがない。

(S)

スケジュール制御プロセスの処理を中止します。

(O)

ジョブネットのスケジュール定義情報を正しく指定してください。  
ほかのジョブグループのカレンダーを参照する方法や、排他スケジュールに関する説明は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 解説 3.4.2 スケジュール情報の定義」を参照してください。

### KAVS0671-E

Error occurred in file (ファイル名).：リターンコード

ファイル (ファイル名) の処理でエラーが発生しました：リターンコード

リモートジョブネット実行先ホストで、定義情報ファイルを作成中に次の障害が発生しました。

- ・ ディスクに空きがない。
- ・ ディスクの入出力エラーが発生した。
- ・ ファイルが消去されている。

(S)

リモートジョブネットを異常終了させます。

(O)

原因を調査したあと、再実行してください。

### KAVS0681-E

Jobnet (ジョブネット名) already registered.

ジョブネット (ジョブネット名) は既に登録されています

ジョブネットはすでに登録されています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

別のジョブネットを指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0682-E

Registerable Jobnet number exceeds the limit.  
登録可能なジョブネット数が限界値を超えました

登録できるジョブネット数が制限値を超えました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

不要なジョブネットの登録を解除したあと、再実行してください。

#### KAVS0683-E

Specified Jobnet (ジョブネット名) cannot be registered.  
指定したジョブネット (ジョブネット名) は登録できません

次の理由でジョブネットを登録できません。

- 登録日が有効期日を過ぎている。
- 登録日が実行開始日を過ぎているのに、処理サイクル、または振替方法を指定していない。
- 実行開始日が休業日であるのに、処理サイクルを指定していない。
- 実行予定日が 2037 年以降。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

エラー原因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0684-E

Exclusion Jobnet definition of Jobnet (ジョブネット名) is invalid.  
排他ジョブネット定義に誤りがあります：ジョブネット名

同じ階層にないジョブネット、または自ジョブネットを定義しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

同じ階層に主ジョブネット以外のジョブネットを定義したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0685-E

Calendar definition of Jobnet (ジョブネット名) is invalid.  
カレンダー定義に誤りがあります：ジョブネット名

カレンダー定義に誤りがあります。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

カレンダー情報を正しく定義したあと、コマンドを再実行してください。

カレンダー定義の書式については、マニュアル

「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajscalendar」の補足事項を参照してください。

#### KAVS0686-E

None of the start definitions of the Jobnet (ジョブネット名) are defined.

開始日定義がすべて未定義です：ジョブネット名

開始日がすべて未定義です。

(S)

処理を終了します。

(O)

開始日を定義したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0692-E

Can perform fixed registration only - Jobnet (ユニット名) has a Hostlink jobnet.

ジョブネット (ユニット名) にはホストリンクジョブネットが存在するため確定登録しかできません

ジョブネットにホストリンクジョブネットがあるユニットは、確定登録以外の登録はできません。

(S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定してある場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

確定登録オプションを指定してコマンドを再実行してください。

#### KAVS0693-E

You cannot perform the operation because the Hostlink jobnet is in a jobnet that has a start condition. : ユニット名

起動条件付きのジョブネットにホストリンクジョブネットが含まれているため操作できません

指定したジョブネットの下に、ホストリンクジョブネットと起動条件が同時に存在するため操作できません。

(S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定してある場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

ホストリンクジョブネットと起動条件ユニットが、ルートジョブネットの下に同時に存在しないように、ユニット構成を変更したあと、コマンドを再実行してください。

## KAVS0694-E

Permission for the file (ファイル名) is lacking, so a jobnet-end wait is impossible.  
 ファイル (ファイル名) に権限がないためジョブネットの終了を待てません

ジョブネット終了待ち用のファイルに更新権限がないため、実行終了待ちオプション (-w) を付けて操作できません。

(S)  
 コマンド処理を中止します。

(O)  
 ジョブネット終了待ち用のファイルはデータベースファイル格納ディレクトリの「AJSNWT.LCK」です。ファイルに更新権限を付けたあとに、コマンドを再実行してください。

## KAVS0695-E

The file (ファイル名) does not exist, so a jobnet-end wait is impossible.  
 ファイル (ファイル名) が存在しないためジョブネットの終了を待てません

次の理由で、実行待ちオプション (-w) を付けて操作できません。  
 ・ サービスが起動されないため、ジョブネット終了待ち用のファイルが確保できていない。

(S)  
 コマンド処理を中止します。

(O)  
 サービスが起動されているか確認してください。  
 起動されていない場合は、JP1/AJS2 サービスを開始してから、再度投入してください。

## KAVS0696-E

The jobnet-end wait count exceeded the limit, so the operation cannot be performed.  
 ジョブネット終了待ちの限界値を超えたため操作できません

ジョブネット終了待ちを同時に実行できる限界値を超えたため、終了待ちオプション (-w) を付けて操作できません。

(S)  
 コマンド処理を中止します。

(O)  
 ほかで、-w オプション付きで実行中の ajsentry、または ajsplan の実行が終了したあと、再度投入してください。  
 ほかで、-w オプション付きで実行中の ajsentry、または ajsplan がない場合は、JP1/AJS サービスの再起動が必要です。

## KAVS0697-E

The jobnet registration method is incorrect.: ユニット名  
 ジョブネットの登録方法に誤りがあります: ユニット名

プランニンググループの下のルートジョブネットは、ajsentry コマンドの -p オプション指定の確定登録しかできません。

(S)  
 コマンドの実行を中止します。ただし、ユニットが複数指定されている場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)  
 登録するユニットとコマンドのオプションを確認して、エラー原因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

## KAVS0698-E

A new generation of the jobnet (ジョブネット名) could not be created because the number of jobnet generations has reached the system limit.  
 世代数が上限値に達したためジョブネット (ジョブネット名) の新規世代を作成できませんでした

期間指定または日付指定による確定実行登録、および計画一時変更の次回予定追加でジョブネットの世代数が制限値を超えないように実行結果を一代分だけ削除しようとしたが、実行結果の世代がないため新規世代を作成できませんでした。

(S)  
 処理を中止します。

(O)  
 ジョブネットの世代数 (起動条件成立によって作成される世代を除く) が 8,000 世代を超えることはできません。  
 日付指定による確定実行登録、および計画一時変更の次回予定追加で予定を追加する場合、実行中の世代が一つ以上終了してから再実行してください。  
 期間指定による確定実行登録の場合、合計が 8,000 世代を超えない分については登録できています。  
 それ以降の予定については、登録しようとする世代数分の世代が終了してから再実行してください。

## KAVS0699-E

A new generation of the jobnet (ジョブネット名) could not be created because the system failed to delete an execution result.

実行結果世代の削除に失敗したためジョブネット (ジョブネット名) の新規世代を作成できませんでした

期間指定または日付指定による確定実行登録、および計画一時変更の次回予定追加でジョブネットの世代数が制限値を超えないように実行結果を一代分だけ削除しようとしたが、実行結果の削除に失敗したため新規世代を作成できませんでした。

(S)

処理を中止します。

(O)

直前に出力されている `syslog` またはイベントログのメッセージに従って対処してください。

**KAVS0700-W**

A unit was deleted during the command processing.  
コマンド処理中に削除されたユニットがあります

コマンド処理中に削除されたユニットがあります。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、複数のユニットを指定（正規表現での指定を含む）した場合は、処理を続行します。

(O)

指定したユニットがあるか確認してください。ユニットを指定したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0701-E**

A unit that is the target of the operation was not found. : ユニット名  
操作対象となるユニットが見つかりません : ユニット名

プランニンググループの配下から現在運用中のユニットを自動的に選択してコマンドを実行しましたが、操作対象となる世代のユニットが見つかりません。

次の原因が考えられます。

- 自動選択された操作対象のユニットに、指定したパス名のユニットがない。
- 自動選択された操作対象のユニット、またはそのユニットの上位ユニットに、参照権限がない。

ユニットを自動的に選択するには、次の方法でコマンドを実行します。

- `-x` オプションに「yes」または「auto」を指定し、かつプランニンググループ配下のルートジョブネット名を省略した形式でユニット名を指定する。
- 環境変数 `AJSAUTOJUDGE` に「YES」または「AUTO」を指定し、かつプランニンググループ配下のルートジョブネット名を省略した形式でユニット名を指定する。
- `-x` オプションおよび環境変数 `AJSAUTOJUDGE` を指定しないで、かつプランニンググループ配下のルートジョブネット名を省略した形式でユニット名を指定する。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、ユニットが複数指定されている場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

エラー原因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0702-E**

An execution generation that is the target of the operation was not found. : ユニット名

操作対象となる実行世代が見つかりません : ユニット名

プランニンググループの配下から現在運用中のユニットを自動的に選択してコマンドを実行しましたが、操作対象となる世代が見つかりません。

次の原因が考えられます。

- `ajspplan` コマンドを実行した場合、次回実行予定があるユニットがない。
- `ajskill`, `ajsintrpt`, `ajschgstat`, `ajsrerun` コマンドを実行した場合、実行を開始したことのあるユニットがない。
- 次のどれかの理由で、操作対象の世代がコマンド処理中になくなった。
  1. 保存世代数の指定によって、操作対象の世代が削除された。
  2. 実行中止された。
  3. 登録解除された。

ユニットを自動的に選択するには、次の方法でコマンドを実行します。

- `-x` オプションに「yes」または「auto」を指定し、かつプランニンググループ配下のルートジョブネット名を省略した形式でユニット名を指定する。
- 環境変数 `AJSAUTOJUDGE` に「YES」または「AUTO」を指定し、かつプランニンググループ配下のルートジョブネット名を省略した形式でユニット名を指定する。
- `-x` オプションおよび環境変数 `AJSAUTOJUDGE` を指定しないで、かつプランニンググループ配下のルートジョブネット名を省略した形式でユニット名を指定する。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、ユニットが複数指定されている場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

操作対象となるユニットの状態を確認したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0710-E**

There is no permission for the Unit ID (ユニットID).  
ユニットID (ユニットID) に対する権限がありません

指定したユニット ID のユニットに対する権限がありません。

次の原因が考えられます。

- 指定したユニット ID のユニットに対する権限がありません。
- 指定したユニット ID のユニットの上位ユニットに対して参照権限がありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、ユニット ID が複数指定されている場合、ほかのユニット ID の処理を続行します。

- (O)
- ユニット ID のユニットに対して権限を持つユーザーが、コマンドを実行してください。

#### KAVS0711-E

---

There is an error in the specified Unit ID (ユニットID).  
ユニットID (ユニットID) の指定に誤りがあります

---

ユニット ID の指定に誤りがあります。

- (S)
- コマンドの実行を中止します。ただし、ユニット ID が複数指定されている場合、ほかのユニット ID の処理を続行します。
- (O)
- ユニット ID を正しく指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0712-E

---

The specified Unit ID (ユニットID) does not exist.  
指定したユニットID (ユニットID) は存在しません

---

指定したユニット ID のユニットがありません。

- (S)
- コマンドの実行を中止します。ただし、ユニット ID が複数指定されている場合、ほかのユニット ID の処理を続行します。
- (O)
- 存在するユニットのユニット ID を指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0715-I

---

The command or JP1/AJS2 - View operation started.  
(Operation name : コマンド名)  
コマンド、またはJP1/AJS2 - Viewによる操作を開始します (操作名 : コマンド名)

---

コマンド、またはJP1/AJS2 - View から操作が開始されました。

- (S)
- 処理を続行します。

#### KAVS0716-I

---

The command or JP1/AJS2 - View operation ended.  
(Operation name : コマンド名)  
コマンド、またはJP1/AJS2 - Viewによる操作が終了しました (操作名 : コマンド名)

---

コマンド、またはJP1/AJS2 - View からの操作が終了しました。

- (S)
- 処理を続行します。

#### KAVS0720-E

---

Specified execution start date is before current date.  
指定した実行開始日が過去です

---

実行開始日に過去の日付を指定しています。

- (S)
- コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 実行開始日に未来の日付を指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0721-E

---

Specified Jobnet (ジョブネット名) does not accept temporary change in plan.  
指定したジョブネット (ジョブネット名) は計画一時変更が行われていません

---

指定したジョブネットは、計画一時変更がされていません。

- (S)
- コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 別のジョブネットを指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0722-E

---

Specified Jobnet (ジョブネット名) has already terminated.  
指定したジョブネット (ジョブネット名) は既に行が終了しています

---

指定したジョブネットは実行が終了しています。

- (S)
- コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 実行中のジョブネットを指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0723-E

---

Specified Jobnet (ジョブネット名) has already accepted temporary change in plan.  
指定したジョブネット (ジョブネット名) は既に計画一時変更が行われています

---

指定したジョブネットは計画一時変更がされています。

- (S)
- コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 計画変更されていないジョブネットを指定したあと、コマンドを実行してください。

**KAVS0724-E**

No further plan in specified Jobnet (ジョブネット名).  
指定したジョブネット (ジョブネット名) には次回以降の  
予定がありません

指定したジョブネットには次回以降の予定がないため計画  
一時変更したり、保留属性を変更したりできません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
次回実行予定のあるジョブネットを指定したあと、コ  
マンドを再実行してください。

**KAVS0729-E**

Cannot change plan temporarily - specified execution  
start date of Jobnet (ジョブネット名) is different from  
that of higher Jobnet.

指定したジョブネット (ジョブネット名) の実行開始日が  
上位ジョブネットと異なるため計画一時変更ができません

指定したジョブネットの実行開始日が、上位ジョブネット  
の次回実行予定日と異なるため、計画一時変更ができま  
せんでした。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
指定したジョブネットの実行開始日を上位ジョブネッ  
トと同じにしたあと、コマンドを再実行してくださ  
い。

**KAVS0731-E**

Options are needed.  
オプションの指定が必要です

オプションを指定していません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
必要なオプションを指定したあと、コマンドを再実行  
してください。

**KAVS0732-E**

Cannot temporarily change the plan on the specified  
start date. : ユニット名  
指定した開始日時に計画一時変更できません : ユニット名

指定した開始日時が 2037 年以降のために、計画一時変更  
ができません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
2036 年以前の開始日時を指定したあと、コマンドを

再実行してください。

**KAVS0740-E**

Jobnet (ジョブネット名) is already suspended.  
ジョブネット (ジョブネット名) は既にサスペンド状態  
です

すでにサスペンド状態であるのに、サスペンド状態にし  
ようとした。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
必要に応じて、一度 ajssuspend コマンドの -c オ  
プションでサスペンド状態を解除したあと、  
ajssuspend コマンドの -s オプションを再実行して  
ください。

**KAVS0741-E**

Jobnet (ジョブネット名) is not suspended.  
ジョブネット (ジョブネット名) はサスペンド状態ではあ  
りません

すでにサスペンド状態ではないのに、サスペンド状態を解  
除しようとした。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
必要に応じて、一度 ajssuspend コマンドの -s オ  
プションでサスペンド状態にしたあと、ajssuspend  
コマンドの -c オプションを再実行してください。

**KAVS0742-E**

Cannot use - Jobnet (ジョブネット名) is now monitoring.  
ジョブネット (ジョブネット名) は起動条件監視中のため  
操作できません

指定したジョブネットは起動条件を監視しているために、  
サスペンド状態にできません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ジョブネットの起動条件監視が終了したあと、コマン  
ドを再実行してください。

**KAVS0743-E**

Cannot suspend - Jobnet (ユニット名) is now running.  
ジョブネット (ジョブネット名) は実行中のためサスペ  
ンド状態にできません

指定されたジョブネットは実行しているために、サスペ  
ンド状態にできません。

- (S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ジョブネットの実行が終了したあと、再実行するか、または -n オプションを指定して、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0763-E

Cannot hold rerun - specified Jobnet (ユニット名) already running.

指定したジョブネット (ユニット名) は実行中のため保留再実行できません

指定したジョブネットは実行しているために、保留再実行できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ジョブネットの実行が終了したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0764-E

Specified Unit (ユニット名) cannot rerun.

指定したユニット (ユニット名) は再実行できません

指定したユニットは再実行できません。

次の原因が考えられます。

- 再実行しようとしたネストジョブネットまたはジョブが、実行中、異常検出実行中、警告検出実行中、先行終了待ち、開始時刻待ち、または保留中である
- 再実行しようとしたネストジョブネットまたはジョブがリカバリー属性を持ち、先行のジョブネットまたはジョブが正常終了または警告終了した
- 再実行しようとしたネストジョブネットまたはジョブが、判定ジョブか判定ジョブの従属ユニットである
- 再実行しようとしたネストジョブネットまたはジョブの上位ジョブネットにスケジュールがない

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

指定したユニットの状態が再実行できる状態が確認して、コマンドを再実行してください。  
また、再実行に関しては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 9.11 ジョブネットやジョブを再実行する」を参照してください。

#### KAVS0771-E

Job (ユニット名) condition verify error.

ジョブ (ユニット名) の状態が指定された条件に一致しません

ジョブの状態が指定された条件に一致しません。

次の原因が考えられます。

- t オプションで exit を指定しているが、終了コードが

設定されていない

- v オプションで指定した状態と、指定したユニットの状態が異なる
- マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajschgstat」の表 1-20 または表 1-21 で変更できない組み合わせである

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

正しい条件を指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0780-E

Specified Jobnet (ジョブネット名) has no information for display.

指定したジョブネット (ジョブネット名) には表示する情報がありません

指定したジョブネットには表示する情報がありません。

(S)

対象ユニットに対する処理を中止します。複数のユニットを指定 (正規表現での指定を含む) した場合は、次のユニットから処理を続行します。

(O)

別のジョブネットを指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0781-E

Invalid formatting directives are specified.

不正なフォーマット指示子が指定されています

フォーマット指示子を誤って指定しています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

フォーマット指示子を正しく指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0783-E

Specified user does not exist.

指定したユーザは存在しません

リモートジョブネットを登録したユーザーで、実行先の JP1/Base のユーザーマッピングに失敗しました。

(S)

リモートジョブネットを異常終了させます。

(O)

実行先の JP1/Base の設定を見直し、ユーザーマッピングされているユーザーを指定してください。正しいユーザーを指定したあと、リモートジョブネットを実行登録してください。



**KAVS0784-E**

Cannot output the result information with the option -g 0.  
オプション -g 0 の指定では結果情報の出力が行えません

-g 0 と -1 オプションを同時に指定しています。なお、-1 オプションはデフォルトオプションです。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

-g 0 オプションと -1 オプションを同時に指定しないようにして、コマンドを再実行してください。

**KAVS0785-E**

Insufficient options specified.  
オプションの指定が不足しています

必要なオプションを指定していません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

必要なオプションを指定したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0800-E**

Job (ジョブ名) is not executing.  
ジョブ (ジョブ名) は実行中ではありません

実行中ではないジョブを強制終了しました。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

実行中のジョブを指定したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0827-I**

The JP1/AJS2 - View connection information output is complete.  
JP1/AJS2 - View接続情報の出力が終了しました

JP1/AJS2 - View 接続情報の出力が終了しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

**KAVS0828-I**

There is no output information because the JP1/AJS2 Monitor service is not started.  
JP1/AJS2 Monitorサービスが起動されていないため、出力情報は存在しません

JP1/AJS2 Monitor サービス (Windows) または ajsinetd (UNIX) が起動されていないため、JP1/AJS2 - View 接続

の出力情報はありません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

JP1/AJS2 Monitor サービス (Windows) または ajsinetd (UNIX) が起動されているか確認してください。

**KAVS0849-E**

Fail to put SNMP trap. : 保守情報  
SNMPトラップの発行に失敗しました : 保守情報

SNMPトラップの発行に失敗しました。

次の原因が考えられます。

- SNMP サービスが組み込まれていません
- SNMPトラップ認証用コミュニティ名が未設定です
- SNMPトラップ送信に失敗しました

(S)

処理を終了します。

(O)

SNMP サービスの設定を見直して、コマンドを再実行してください。

SNMP サービスの設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 連携ガイド 14.2 JP1/Cm2 または hp OpenView 連携時のセットアップ (Windows ホストの場合)」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 連携ガイド 14.3 JP1/Cm2 または hp OpenView 連携時のセットアップ (UNIX ホストの場合)」を参照してください。

**KAVS0850-E**

Specified backup box (退避ボックス名) already exists.  
指定した退避ボックス (退避ボックス名) は既に存在します

指定した退避ボックスはすでに作成されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

退避ボックス名を確認したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS0851-E**

Specified backup box (退避ボックス名) does not exist.  
指定した退避ボックス (退避ボックス名) がありません

指定した退避ボックス名がありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

退避ボックス名を正しく指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0852-E

Cannot use backup box (退避ボックス名) - in use by other user.

退避ボックス (退避ボックス名) は他で使用中です

ほかのユーザーが退避ボックスを使用しているため処理できません。

- (S) 処理を終了します。

- (O) ほかのユーザーの使用が終了したあと、再実行してください。

#### KAVS0853-E

No authority to use backup box (退避ボックス名).

退避ボックス (退避ボックス名) に対する権限がありません

退避ボックスに対する権限がありません。

- (S) 処理を終了します。

- (O) 退避ボックスに対して権限を持つユーザーが処理を実行してください。

#### KAVS0854-E

Specified backup file (退避ファイル名) already exists.

指定した退避ファイル (退避ファイル名) は既に存在します

指定した退避ファイルはすでに作成されています。

- (S) コマンドの実行を中止します。

- (O) 退避ボックス名を確認したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0855-E

Specified backup file (退避ファイル名) does not exist.

指定した退避ファイル (退避ファイル名) がありません

指定した退避ファイルがありません。

- (S) 処理を終了します。

- (O) 退避ファイル名を確認したあと、再実行してください。

#### KAVS0856-E

No authority to use backup file (退避ファイル名).

退避ファイル (退避ファイル名) に対する権限がありません

退避ファイルに対する権限がありません。

- (S) 処理を終了します。

- (O) 退避ファイルに対して権限を持つユーザーが処理を実行してください。

#### KAVS0857-E

Cannot treat as backup file. : 退避ファイル名

退避ファイルとして扱えません : 退避ファイル名

「退避ファイル名」で表示されたものは退避ファイルとして扱えません。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、複数の退避ファイルを指定した場合、処理を続行します。

- (O) 正しい退避ファイル名を確認したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0858-E

Backup box name not specified.

退避ボックス名の指定がありません

退避ボックス名を指定していません。

- (S) コマンドの実行を中止します。

- (O) 退避ボックス名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0863-E

Interprocess communication failed. : 保守情報1 保守情報2 保守情報3

プロセス間通信に失敗しました : 保守情報1 保守情報2 保守情報3

次の理由で、プロセス間通信に失敗しました。

- JP1/AJS2 サービスが起動されていない。
- 通信先の JP1/AJS2 Monitor サービスが起動されていない。
- JP1/Base イベントサービスとの通信でエラーが発生した。

- (S) JP1/AJS2 サービス、または通信先の JP1/AJS2 Monitor サービスが起動されていない場合、処理を終了します。

JP1/Base のイベントサービスとの通信でエラーが発生した場合、次回からのイベント出力を EVENTRETRY オプションの指定に従って、処理を行います。EVENTRETRY オプションに「yes」を指定した場合、次のイベント出力時も JP1/Base のイベントサービスと接続します。EVENTRETRY オプションを省略するか、または「no」を指定した場合、JP1/AJS2 サービスを再起動するまでイベント出力を閉塞します。

(O)

原因を調査したあと、コマンドを再実行してください。

JP1/AJS2 サービス、または通信先の JP1/AJS2 Monitor サービスが起動されていない場合は、該当するサービスを起動してください。

保守情報 1 に "Failed to put Event." のメッセージが出力されている場合で、EVENTRETRY オプションを省略するか、または「no」を指定したとき、JP1/Base のイベントサービスの状態を確認して、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。

#### KAVS0864-E

Connection was reset during interprocess communication.

プロセス間通信で接続がリセットされました

JP1/AJS2 サービスが停止した、JP1/AJS2 - Manager での処理中に接続元 JP1/AJS2 - View が停止した、またはジョブネットワーク要素を操作するコマンドのリモート実行中にコマンドが停止したため、プロセス間通信で接続がリセットされました。

(S)

処理を終了します。

(O)

原因を調査したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0865-E

A timeout occurred during interprocess communication. プロセス間通信でタイムアウトが発生しました

要求された処理中にタイムアウトが発生しました。

次の原因が考えられます。

- 規模の大きなジョブネットを実行中である
- JP1/AJS2 のコマンドが大量に実行中である
- 他ホストに対する要求の場合、他ホストが起動していない
- 他ホストに対する要求の場合、ネットワークに問題がある

(S)

処理を終了します。

(O)

規模の大きなジョブネットを実行中である場合、また

は JP1/AJS2 のコマンドが大量に実行中である場合は、該当する処理が終了したあと、再度操作を行ってください。他ホストに対する要求の場合は、他ホストと通信できるようにしてから、再度操作を行ってください。

#### KAVS0866-E

Remote connection failed. : 保守情報1 保守情報2

リモート接続に失敗しました : 保守情報1 保守情報2

リモート接続時にネットワーク障害、またはルーティングエラーによって、接続先ホストに接続できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

原因を調査したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0867-E

Remote jobnet ended abnormally - error occurred. : リターンコード

リモートジョブネット実行中にエラーが発生しました : リターンコード

リモートジョブネット実行中に、回復できないエラーが発生しました。

(S)

リモートジョブネットを異常終了させます。

(O)

このメッセージの直前、またはリモートジョブネットの実行結果詳細に出力されているメッセージに従って対応したあと、再実行してください。このメッセージの直前、またはリモートジョブネットの実行結果詳細にメッセージが出力されていない場合、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

#### KAVS0868-E

The user could not be authenticated at the specified host. : ホスト名 保守情報1

指定したホスト(ホスト名)でユーザ認証に失敗しました : 保守情報1

指定したホストで、ユーザー認証に失敗しました。または、JP1 ユーザー名のユーザーマッピング処理でメモリー不足が発生し、ユーザーマッピングによる認証確認できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定したホストのユーザー情報の設定を修正したあと、コマンドを再実行してください。  
保守情報 1 が「12,0,0x00000002」の場合、JP1/

Base のユーザーマッピングの設定を修正してください。

保守情報 1 が「11」で始まる場合、JP1/Base で設定した OS ユーザーのパスワードが正しいか、OS ユーザーのアカウントがロックアウトされていないかを確認してください。

設定に誤りがない場合、また解消されない場合は、メモリ不足が発生しているおそれがあります。

「ホスト名」に表示されたホストの共有メモリ使用状態を確認してください。UNIX の場合、カーネルパラメーターのメモリ設定値を見直してください。

カーネルパラメーターについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノート、およびマニュアル「JP1/Base 運用ガイド」のカーネルパラメーターの説明を参照してください。

### KAVS0869-E

Invalid data was received. : (IPアドレス) 保守情報1 保守情報2

不正なデータを受信しました : (IPアドレス) 保守情報1 保守情報2

IP アドレスで示す接続元から、不正なデータを受信しました。

- (S)
- 通信を切断します。

### KAVS0870-I

Saving unit (ユニット名) to backup box (退避ボックス名).  
ユニット (ユニット名) を退避ボックス (退避ボックス名) へ退避します

退避コマンドの処理を開始します。

- (S)
- 処理を続行します。

### KAVS0872-E

Unit (ユニット名) already saved.  
ユニット (ユニット名) は既に退避してあります

すでに退避してあるユニットと、同じ名称のユニットを退避しようとした。

- (S)
- 処理を中止します。
- (O)
- 退避ファイルを確認して、必要に応じて退避ファイルを削除したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0873-E

Backup box (退避ボックス名) is full.  
退避ボックスは (退避ボックス名) は満杯です

退避ボックスの退避ファイル数が 1,024 個を超えました。

- (S)
- 処理を中止します。
- (O)
- 退避ボックスを変更したあと、または退避ファイルを削除したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0874-Q

OK to update backup file (退避ファイル名)? (y: OK/n: NO)  
退避ファイル (退避ファイル名) を更新しますか (y : する/n : しない)

退避ファイルを更新するかどうかを確認します。

- (S)
- 応答を待ちます。
- (O)
- 更新する場合は、y を入力してください。  
更新しない場合は、n を入力してください。

### KAVS0875-Q

OK to clear backup box (退避ボックス名)? (y: OK/n: NO)  
退避ボックス (退避ボックス名) を削除しますか (y : する/n : しない)

退避ボックスを削除するかどうかを確認します。

- (S)
- 応答を待ちます。
- (O)
- 削除する場合は、y を入力してください。  
削除しない場合は、n を入力してください。

### KAVS0876-Q

OK to clear backup file (退避ファイル名)? (y: OK/n: NO)  
退避ファイル (退避ファイル名) を削除しますか (y : する/n : しない)

退避ファイルを削除するかどうかを確認します。

- (S)
- 応答を待ちます。
- (O)
- 削除する場合は、y を入力してください。  
削除しない場合は、n を入力してください。

### KAVS0877-E

A backup box could not be made. : 保守情報1保守情報2  
退避ボックスの作成に失敗しました : 保守情報1保守情報2

次の理由で、退避ボックスの作成に失敗しました。

- 退避情報ディレクトリに権限がない。
- ディスクに退避ボックスを作成する容量がない。

- (S)

処理を終了します。

(O)

エラー原因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0880-I

Restoring unit (ユニット名) to unit (ユニット名).  
ユニット (ユニット名) を (ユニット名) へ回復します

回復コマンドの処理を開始します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVS0885-E

Restoration unit (ユニット名) does not exist.  
回復先のユニット (ユニット名) がありません

回復先のユニットがないため回復できません。

(S)

ユニットの回復を中止します。

(O)

回復先のユニットを作成したあと、または回復先を正しく指定したあとに、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0887-E

Cannot use restoration unit (ユニット名) - in use by other user.

回復先のユニット (ユニット名) は他で使用中のため回復できません

ほかのユーザーが回復先のユニットを使用しているため回復できません。

(S)

ユニットの回復を中止します。

(O)

ほかのユーザーの使用が終了したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS0889-E

An error occurred in the process that starts the remote jobnet (サービス名:ジョブネット名:実行ID). : 保守情報  
リモートジョブネット (サービス名:ジョブネット名:実行ID) を開始する処理でエラーが発生しました: 保守情報

リモートジョブネットを実行する際に、定義元マネージャーホストから実行先マネージャーホストへ定義を転送して実行登録する処理でエラーが発生しました。

次の原因が考えられます。

- ・ 定義元マネージャーホストと実行先マネージャーホストの間で通信障害が発生している
- ・ 定義元マネージャーホストまたは実行先マネージャーホストでメモリー不足 (Windows の場合はデスクトップ

ヒープ不足を含む) が発生している

- ・ 実行先マネージャーホストのスケジューラーサービスが起動していない
- ・ 実行先マネージャーホストの JP1/AJS2 Monitor サービスが起動していない
- ・ 実行先マネージャーホストまたは定義元マネージャーホストのユーザーマッピング処理でエラーが発生している

(S)

定義元マネージャーホストのリモートジョブネットの状態を「異常検出終了」にします。

(O)

定義元マネージャーホストおよび実行先マネージャーホストで状態を確認し、エラーの原因を取り除いてください。

また、実行先マネージャーホストで実行登録されているおそれがあるため、対応するジョブネットが実行されているかを確認し、必要に応じて次に示す対応を行ってください。

- ・ 実行先マネージャーホストで実行していた場合  
スケジューラーログなどでジョブネットの実行が終了していることを確認したあと、定義元マネージャーホストで、確認したジョブネットの終了状態に応じて再実行して業務を回復させてください。
- ・ 実行先マネージャーホストで実行していなかった場合  
定義元マネージャーホストで、異常検出終了したリモートジョブネットから再実行して業務を回復させてください。

#### KAVS0890-E

An error occurred in the process that notifies the defined manager host of the start of the remote jobnet (サービス名:ジョブネット名:実行ID). : 保守情報  
リモートジョブネット (サービス名:ジョブネット名:実行ID) の開始を定義元マネージャーホストへ通知する処理でエラーが発生しました: 保守情報

実行先マネージャーホストから定義元マネージャーホストへ、リモートジョブネットの開始を通知する処理でエラーが発生しました。

次の原因が考えられます。

- ・ 定義元マネージャーホストと実行先マネージャーホストの間で通信障害が発生している
- ・ 定義元マネージャーホストまたは実行先マネージャーホストでメモリー不足 (Windows の場合はデスクトップヒープ不足を含む) が発生している
- ・ 定義元マネージャーホストのスケジューラーサービスが起動していない
- ・ 定義元マネージャーホストの JP1/AJS2 Monitor サービスが起動していない
- ・ 定義元マネージャーホストのユーザーマッピング処理でエラーが発生している

(S)

開始通知処理を中止し、リモートジョブネットの実行を継続します。

(O)

開始通知処理が失敗しても、リモートジョブネットの実行には影響ありません。

ただし、同様の原因によって終了通知に失敗するおそれがあります。定義元マネージャーホストおよび実行先マネージャーホストで、エラーの原因を取り除いてください。

なお、このメッセージのあとに、対象ジョブネットに関してメッセージ KAVS0891-E が出力されている場合は、終了通知に失敗しています。

KAVS0891-E に記載されているオペレーターの処置に従って、リモートジョブネットの状態を回復させてください。

### KAVS0891-E

An error occurred in the process that notifies the defined manager host of the end of the remote jobnet (サービス名:ジョブネット名:実行ID): (リカバリー情報1 リカバリー情報2 リカバリー情報3 リカバリー情報4 リカバリー情報5 リカバリー情報6) 保守情報

リモートジョブネット (サービス名:ジョブネット名:実行ID) の終了を定義元マネージャーホストへ通知する処理でエラーが発生しました: (リカバリー情報1 リカバリー情報2 リカバリー情報3 リカバリー情報4 リカバリー情報5 リカバリー情報6) 保守情報

実行先マネージャーホストから定義元マネージャーホストへ、リモートジョブネットの終了を通知する処理でエラーが発生しました。

次の原因が考えられます。

- 定義元マネージャーホストと実行先マネージャーホストの間で通信障害が発生している
- 定義元マネージャーホストまたは実行先マネージャーホストでメモリ不足 (Windows の場合はデスクトップヒープ不足を含む) が発生している
- 定義元マネージャーホストのスケジューラーサービスが起動していない
- 定義元マネージャーホストの JP1/AJS2 Monitor サービスが起動していない
- 定義元マネージャーホストのユーザーマッピング処理でエラーが発生している

(S)

終了通知処理を中止します。

(O)

定義元マネージャーホストおよび実行先マネージャーホストで、エラー原因を取り除いてください。

定義元マネージャーホスト上のリモートジョブネットの状態が「実行中」であれば、次の回復手順でリモートジョブネットの状態を終了状態にしてください。

1. 定義元マネージャーホストのスケジューラーサービスが起動しているか確認する。
2. 定義元マネージャーホストで、作業フォルダに移動して、次のコマンドを実行する。  
このコマンドを実行するには、Administrators 権限 (Windows の場合) またはスーパーユーザー権限 (UNIX の場合) が必要です。

Windows の場合

JP1/AJS2 のインストール先フォルダ

```
¥tools¥ajsremnetrcv.bat
```

リカバリー情報 1 リカバリー情報 2 リカバリー情報 3

リカバリー情報 4 リカバリー情報 5 リカバリー情報 6

```
> .¥ajsremnetrcv.log
```

UNIX の場合

```
/opt/jplajs2/tools/ajsremnetrcv
```

リカバリー情報 1 リカバリー情報 2 リカバリー情報 3

リカバリー情報 4 リカバリー情報 5 リカバリー情報 6

```
> ./ajsremnetrcv.log
```

3. リモートジョブネットの状態が終了状態になっているか確認する。

終了状態になっていない場合は、次の資料を採択したあと、システム管理者に連絡してください。

- ajsremnetrcv がエラーメッセージを出力している場合は、出力メッセージ
- ajsremnetrcv.log

4. ajsremnetrcv.log ファイルを削除する。

補足事項

ajsremnetrcv コマンドは緊急時の回復用のコマンドであり、上記の回復手順以外の目的では使用できません。そのため、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス」には、このコマンドの説明は記載していません。

### KAVS0892-E

An error occurred in the process that deletes the definition of the remote jobnet (サービス名:ジョブネット名:実行ID) transferred to the executing manager host.: (実行先マネージャーホスト名 実行先マネージャーホストのジョブグループ名) 保守情報

実行先マネージャーホストに転送したリモートジョブネット (サービス名:ジョブネット名:実行ID) の定義を削除する処理でエラーが発生しました: (実行先マネージャーホスト名 実行先マネージャーホストのジョブグループ名) 保守情報

実行先マネージャーホストに転送したリモートジョブネットの定義を削除する処理でエラーが発生しました。

次の原因が考えられます。

- 定義元マネージャーホストと実行先マネージャーホストの間で通信障害が発生している
- 定義元マネージャーホストまたは実行先マネージャーホストでメモリ不足 (Windows の場合はデスクトップヒープ不足を含む) が発生している
- 実行先マネージャーホストのスケジューラーサービスが起動していない
- 実行先マネージャーホストの JP1/AJS2 Monitor サービスが起動していない
- 実行先マネージャーホストのユーザーマッピング処理で

- エラーが発生している
- ・リモートジョブネットに実行予定がない、繰り越し未実行になったなどの理由のため、実行先マネージャーホストでリモートジョブネットが実行されていない

(S)

リモートジョブネットの定義を削除する処理を中止します。

(O)

定義元マネージャーホストおよび実行先マネージャーホストで、エラー原因を取り除いてください。ただし、リモートジョブネットに実行予定がない、繰り越し未実行になったなどの理由のため、実行先マネージャーホストでリモートジョブネットが実行されなかったときに出力されたエラーメッセージの場合、対応の必要はありません。

エラー原因を取り除いた場合は、対応するジョブネットの登録解除および削除処理が完了していないおそれがありますので、表示された実行先マネージャーホストで、実行先マネージャーホストのジョブグループ名配下のジョブネットを登録解除し、ジョブグループを削除してください。

サスペンド中にリモートジョブネットを削除した場合、ジョブネット名が数字で表示されますが、定義元マネージャーホストの処理は正常に行われており、動作には問題ありません。上記手順で登録解除および削除処理を行ってください。

#### KAVS0893-E

An error occurred in the process that kills the remote jobnet (サービス名:ジョブネット名:実行ID): 保守情報  
リモートジョブネット (サービス名:ジョブネット名:実行ID) を強制終了する処理でエラーが発生しました: 保守情報

リモートジョブネットを強制終了する処理でエラーが発生しました。

次の原因が考えられます。

- ・定義元マネージャーホストと実行先マネージャーホストの間で通信障害が発生している
- ・定義元マネージャーホストまたは実行先マネージャーホストでメモリ不足 (Windows の場合はデスクトップヒープ不足を含む) が発生している
- ・実行先マネージャーホストのスケジューラーサービスが起動していない
- ・実行先マネージャーホストの JP1/AJS2 Monitor サービスが起動していない
- ・実行先マネージャーホストのユーザーマッピング処理でエラーが発生している
- ・実行先マネージャーホスト上の該当ジョブネットがすでに終了している

(S)

リモートジョブネットを強制終了する処理を中止します。

(O)

定義元マネージャーホストおよび実行先マネージャー

ホストで、エラー原因を取り除いてください。対応するジョブネットの状態を確認し、必要であれば再度強制終了してください。

なお、強制終了のあとに登録解除および定義削除を行った場合、ジョブネット名が数字で表示されることがありますが、実行先マネージャーホスト上ではリモートジョブネットが終了しており、問題ありません。

#### KAVS0898-E

The suspend function is set up already.

既にサスペンド機能はセットアップされています

すでにサスペンド機能はセットアップされているため、`ajsetup -m` の実行は不要です。

(S)

処理を終了します。

#### KAVS0900-W

Minor error occurred.: 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

軽度のエラーが発生しました: 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

処理を続けられるエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

保守情報に「SPMD communication error」の文字列がある場合は、`jajs_spmd` プロセスが正常に動作しているかを確認してください。

システム内に異常が発生し `jajs_spmd` プロセスが先に消滅した場合に本エラーメッセージが出力されることがありますが動作には問題ありません。

上記以外の場合は、このメッセージの前後に出力されたメッセージに従って対処してください。

#### KAVS0901-E

I/O error occurred.: 保守情報1 保守情報2 保守情報3

入出力エラーが発生しました: 保守情報1 保守情報2 保守情報3

処理中にファイルの入出力などで I/O エラーが発生しました。

(S)

エラーの発生したファイルに対する処理を中止し、プロセスを続行します。

ただし、システムファイルの入出力エラーで処理を続けられない場合は、プロセスを中止します。

(O)

OS で出力されている Windows イベントログまたは `syslog` ファイルのエラー情報、および OS で固有に取得されているその他のエラー情報を参照し、対処して

ください。対処できない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS0902-E

Insufficient memory occurred. : 保守情報1 保守情報2 保守情報3

メモリ不足が発生しました : 保守情報1 保守情報2 保守情報3

メモリー不足が発生しました。

- (S)
- メモリー不足を検知した処理を中断します。処理が続行できない基幹部分のメモリー確保で、メモリー不足を検知した場合は、プロセスを中止します。

- (O)
- 次の設定を確認してください。
- UNIX の場合は、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターのメモリーに関する設定値が、見積もり値以上になっているか確認してください。
  - 現象発生時に稼働しているプロセスの状態を確認し、見積もり値以上のメモリーがあるか確認してください。
- 必要であれば、メモリー不足となった処理を再度実行してください。

### KAVS0903-E

System error occurred. : 保守情報1 保守情報2 保守情報3  
システムのエラーメッセージ  
システムエラーが発生しました : 保守情報1 保守情報2 保守情報3  
システムのエラーメッセージ

処理中にシステムエラーが発生しました。

- (S)
- エラーの発生したプロセスを終了します。
- (O)
- OS で出力されている Windows イベントログまたは syslog ファイルのエラー情報、および OS で固有に取得されているその他のエラー情報を参照し、対処してください。対処できない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS0904-E

Unexpected error occurred in JP1/AJS2. : 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

JP1/AJS2で予期しないエラーが発生しました : 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

処理中に予期しないエラーが発生しました。

- (S)
- エラーの発生した処理を中止します。

- (O)
- このエラーメッセージの前後に出力されたメッセージに従って対処してください。対処できない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS0905-E

Failed to put message (メッセージID) : 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

エラーが発生したためメッセージを出力しようとしたが、その出力にも失敗しました。

- (S)
- エラーの発生したプロセスを中止します。
- (O)
- 表示されたメッセージおよびシステムのエラーメッセージに従って対処してください。

### KAVS0907-E

No more space in file (ファイル名).  
ファイル (ファイル名) に空き容量がありません

ファイルを書き込もうとしているファイルシステム、またはデバイスに空き容量がありません。

- (S)
- エラーの発生したプロセスを中止します。
- (O)
- 不要なファイルを消去して空き容量を作ってください。また、ユーザーファイルの場合は、別のファイルシステムがデバイスに出力してください。

### KAVS0909-E

Shared memory is not available. : 保守情報1 保守情報2  
共有メモリーが確保できません : 保守情報1 保守情報2

システムリソースの一つである共有メモリーが取得できないか、または必要な共有メモリーがありません。

- (S)
- エラーの発生したプロセスを終了します。
- (O)
- システムの共有メモリーサイズが不足している場合、カーネルパラメーターを拡大してください。スケジューラーサービスの稼働に必要な共有メモリーが削除された場合は、スケジューラーサービスを再起動する必要があります。

### KAVS0915-E

Resource lack occurred : 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

リソース不足が発生しました : 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4



リソース不足が発生しました。不足したリソース情報は保守情報に出力されます。

(S)

処理を中止します。

(O)

ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照して、見積もりをし直してください。

### KAVS0920-W

Message process failed to initialize. (保守情報)

メッセージ出力の初期化に失敗しました。

(S)

メッセージはテキストのない状態で出力されます。なお、保守情報に「HNTR\_Initialize Failure」が出力されている場合は、統合トレースログにメッセージが出力されません。

(O)

リソース不足、または Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor の起動状態などを確認してください。UNIX の場合、カーネルパラメーターの次の項目を見直してください。

- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
- 最大ファイル記述子数（ファイルシステムに関わる制限値）

カーネルパラメーターについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、ファイルシステムに関する設定を変更してください。原因を特定できない場合は、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS0921-W

Connection to scheduler service has been reset. : 保守情報

スケジューラーサービスとの接続が切断されました : 保守情報

スケジューラーサービスのプロセス間の通信が、接続先プロセスの終了などによって切断されました。

(S)

処理を終了します。

(O)

スケジューラーサービスの強制終了時にも出力されることがあります。前後の操作内容、およびメッセージから原因を調べて、対処してください。

### KAVS0930-E

Exclude error occurred. : 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

排他エラーが発生しました : 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

排他エラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次のことが要因として考えられます。それぞれの要因に対応する対処方法に従ってください。このメッセージの前後にエラーメッセージが出力されている場合は、その対処方法も参照してください。

要因 1

ISAM ファイルの再編成時、または ajsdbcond コマンドに -1 オプションを指定して実行したときに、ISAM ファイルにアクセスしているプロセスがあるため、占有排他を確保できなかった。

対処

スケジューラーサービスが起動中であるか、または JP1/AJS2・View、ジョブネットワーク要素を操作するコマンド、および連携製品からジョブネットワーク要素を参照・更新していたことが考えられます。スケジューラーサービスを停止し、ジョブネットワーク要素を参照・更新していない状態で、エラーとなった操作を再度実行してください。

ISAM ファイル再編成の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 15.14.3 ISAM データベースを再編成する」を参照してください。

要因 2

OS が AIX で、ISAM ロックテーブル分割機能を使用している場合に、ISAM ロックテーブルを確保できなかった。

対処

関連する JP1 サービスをすべて停止し、環境変数 EXTSHM=ON を設定してからエラーになった操作を再度実行してください。

詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 9.2.2 ISAM ロックテーブルの分割の設定」を参照してください。

要因 3

ISAM ロックテーブルの状態が不正になった。

対処

ISAM ロックテーブルを削除してから、エラーになった操作を再度実行してください。

詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 9.2.2 ISAM ロックテーブルの分割の設定」を参照してください。

## 要因 4

他製品（バックアップソフト、ウイルス対策ソフトなど）から ISAM ファイルの占有排他が確保されているため、JP1/AJS2 からアクセスできなかった。

## 対処

他製品からの ISAM ファイルへのアクセスがないことを確認したあと、エラーになった操作を再度実行してください。

## 要因 5

組み込み DB を使用しているときに、デッドロックが発生した。

## 対処

デッドロック状態は自動的に解除されます。必要に応じて、エラーになった操作を再度実行してください。

これらの対処を行ってもエラーが出力される場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

**KAVS0931-E**

Condense failed. : 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

再編成に失敗しました : 保守情報1 保守情報2 保守情報3 保守情報4

データベースの再編成に失敗しました。

## (S)

処理を終了します。

## (O)

原因を調査したあと、スケジューラーサービスのデータベース再編成を再実行してください。  
次の原因が考えられます。

- 再編成に必要なディスクの空き容量が不足している  
自動再編成を実施する場合に必要なディスク空き容量については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 5.3.9 データベースに ISAM を使用する場合はオプションについて検討する」を参照してください。
- プロセスやシステムのファイルオープンの上限に達した  
マシンのプロセス稼働状態を確認し、稼働が少ない状態になってから再実行してください。
- メモリ不足が発生した  
必要であれば、カーネルパラメーターのメモリに関する設定値を見直して、再設定してください。  
カーネルパラメーターについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

原因が特定できない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

**KAVS0932-E**

Error occurred during database access. : 保守情報1 保守情報2 保守情報3  
データベースアクセス中にエラーが発生しました : 保守情報1 保守情報2 保守情報3

データベースアクセス中にエラーが発生しました。

## (S)

処理を終了します。

## (O)

次のことが要因として考えられます。それぞれの要因に対応する対処方法に従ってください。このメッセージの前後にエラーメッセージが出力されている場合は、その対処方法も参照してください。

## 要因 1

ディスク障害、CPU 障害、その他ハード障害などによって、データベースのファイルが破壊された。

## 対処

スケジューラーデータベースまたはジョブ実行環境データベースを再編成してください。再編成を行っても復旧できない場合は、再作成が必要です。  
ISAM ファイル再編成の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 15.14.3 ISAM データベースを再編成する」を参照してください。  
ISAM ファイル再作成の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.8 ISAM ファイルの再作成」を参照してください。

## 要因 2

クラスタ構成時に、実行系および待機系から同時にデータベースにアクセスしたため、データベースのファイルが破壊された。

## 対処

要因 1 の対処方法と同じです。

## 要因 3

スケジューラーデータベースに組み込み DB を使用している場合、JP1/AJS2 サービスおよび JP1/AJS2 Monitor サービスの停止時に、すでに組み込み DB が停止していた。

## 対処

JP1/AJS2 サービスおよび JP1/AJS2 Monitor サービスが停止できていれば、このエラーの発生による問題はありません。組み込み DB を先に停止しないでください。

## 要因 4

クラスタ構成時、スケジューラーデータベースに ISAM を使用している場合、スケジューラーサービスの環境設定パラメーター ISAMWRITEMODE に「sync」を設定していないため、フェールオーバー時に ISAM ファイルの状態が不整合に

なった。

対処

スケジューラーデータベースを再編成してください。再編成を行っても復旧できない場合は、再作成が必要です。

ISAM ファイル再編成の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 15.14.3 ISAM データベースを再編成する」を参照してください。

ISAM ファイル再作成の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.8 ISAM ファイルの再作成」を参照してください。

要因 5

JP1/AJS2 の運用中にディスク操作を行ったため、データベースのファイルが破壊された。

対処

要因 1 の対処方法と同じです。

要因 6

OS 上で扱えるファイルサイズが制限されている。

対処

カーネルパラメーターのファイルサイズについての見積もりを確認し、設定してください。カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

要因 7

スケジューラーデータベースまたはジョブ実行環境データベースに使用している ISAM ファイルのサイズが 2 ギガバイトに達している。

対処

マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 8.1.1 JP1/AJS2 運用上の注意事項について」を参照し、ISAM ファイルのサイズを小さくしてください。

要因 8

ISAM ロックテーブル領域が不足している。

対処

ISAM ロックテーブルの見積もりを確認し、設定してください。見積もり方法は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 4.3.1 ISAM ロックテーブルエントリサイズを見積もる」を参照してください。

要因 9

JP1/AJS2 稼働中の電源断などによる予期しない OS の停止によって、データベースのファイルが破壊された。

対処

要因 1 の対処方法と同じです。

要因 10

JP1/AJS2 - View からのアクセスがエラーになる場合、JP1/AJS2 - View のログイン JP1 ユーザーにマッピングされた OS ユーザーによるスケジューラーデータベースへの更新権限がない。

対処

スケジューラーデータベースディレクトリまでのアクセス権限、およびスケジューラーデータベースファイルのアクセス権限を確認し、設定してください。

要因 11

スケジューラーデータベースに組み込み DB を使用している場合、組み込み DB が稼働していない。

対処

組み込み DB を稼働させてから、該当する組み込み DB をスケジューラーデータベースとしているスケジューラーサービス、および JP1/AJS2 Monitor サービスを再起動してください。

要因 12

クラスタ構成時、OS の電源停止や障害などによって予期しないフェールオーバーが発生したときに、ISAM ファイルの状態が不整合になった。

対処

要因 1 の対処方法と同じです。

要因 13

クラスタ構成時、JP1/AJS2 - View を接続したままの状態で系切り替えをした、系切り替えのタイミングで JP1/AJS2 - View で接続したなど、共有ディスクがマウントされていない状態で JP1/AJS2 - View からスケジューラーデータベースにアクセスした。

対処

共有ディスクをマウントしてから JP1/AJS2 - View を操作してください。

## KAVS0933-W

RDBUSER (ユーザー名) has connect privilege.

RDBUSER (ユーザー名) はコネクト権限を持っています

環境設定パラメーターの RDBUSER、または [ マネージャ環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーファイルの構成 ] - [ RDB アクセスユーザー ] に指定されたユーザーは、データベースに接続する権限を持っています。

ajissetup コマンドによって、ユーザーのパスワードが変更されているおそれがあります。パスワードが変更されている場合、ユーザー認証に失敗し、データベースに接続できないおそれがあります。

(S)

既存ユーザーが存在したため、ajissetup コマンドの処置でパスワードが次のように再設定されます。

- 環境設定パラメーターの RDBPASSWORD が指定さ

れている場合は、その内容。

- 環境設定パラメーターの RDBPASSWORD が指定されていない場合は、環境設定パラメーターの RDBUSER からスクランブルした内容。

(O)

DBMS 接続ユーザーの設定が変更されたことによる問題がないか確認してください。パスワード変更については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.3 スケジューラーファイルの構成を定義する」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

### KAVS0934-E

The specified tablespace or RDAREA does not exist.  
指定された表領域またはRDAREAは存在しません

ajssetup コマンドで指定された表領域、または RDAREA がいないため、テーブルが作成できませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ajssetup コマンドの引数に正しい表領域、または RDAREA を指定したあとに、再実行してください。

### KAVS0935-E

The specified tablespace or RDAREA is invalid.  
不正な表領域またはRDAREAが指定されました

ajssetup コマンドで指定された表領域、または RDAREA が不正なため、テーブルが作成できませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ajssetup コマンドの引数に正しい表領域、または RDAREA を指定したあとに、再実行してください。

### KAVS0936-E

The schema is already defined.  
スキーマは既に定義されています

すでにスキーマが定義されているために、スキーマが作成できませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

スキーマがすでに定義されているため、ajssetup

コマンドを使用して再セットアップする必要はありません。既存のスキーマを破棄して再作成してもよい場合は、DBMS 上でスキーマを削除したあと、ajssetup コマンドを再実行してください。

### KAVS0940-E

Event Action Manager is busy. : 保守情報 保守情報 保守情報 保守情報  
イベントアクション機能マネージャーがビジーです : 保守情報 保守情報 保守情報 保守情報

イベント・アクション制御マネージャーがビジーのため、イベントの処理ができません。

(S)

イベント監視、または起動条件に対する操作を中止します。

(O)

時間を空けてから再操作してください。再操作しても改善されない場合は、資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVS0941-E

No event job in start condition. : ジョブネット名  
起動条件にアイコンが登録されていません : ジョブネット名

起動条件にアイコンが、登録されていないジョブネットを実行開始しようとした。

(S)

ジョブネットを監視打ち切り終了にします。

(O)

起動条件にイベントアイコンを定義するか、起動条件を削除してください。

### KAVS0942-W

Connection to job status notification process has been reset.  
状態通知プロセスとの接続が切れました

ジョブ完了待ちプロセスが状態通知プロセスと通信中に状態通知プロセスが停止したため、状態通知プロセスとの接続が切れました。

(S)

スケジューラーサービスを停止します。

(O)

前後のメッセージに「KAVU6101-I」があれば、状態通知プロセス終了時を契機として出力されるメッセージ出力なので問題ありません。「KAVU6101-I」のメッセージがない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVS0943-E**

Cannot connect to job status notification process. : 保守情報1保守情報2保守情報3  
状態通知プロセスと接続できません: 保守情報1保守情報2保守情報3

状態通知プロセスと接続できなかったため、スケジューラサービスを起動できません。

(S)

スケジューラサービスを停止します。

(O)

前後のメッセージから、状態通知プロセスと接続できなかった原因を調べて対処してください。  
また、services ファイルのジョブ状態通知用のポート番号が正しく設定されているか確認してください。状態通知ポートのデフォルト値は「20245」です。原因を取り除いたあと、スケジューラサービスを起動させてください。

**KAVS0945-E**

A scheduler daemon ended abnormally. (name: デモンプロセス名, code: 終了コード, 保守情報1, 保守情報2)  
スケジューラのデモンが異常終了しました (name: デモンプロセス名, code: 終了コード, 保守情報1, 保守情報2)

スケジューラサービス (デモン) が異常終了しました。

(S)

スケジューラサービスを終了します。

(O)

このエラーメッセージの前後に表示されたシステムのエラーメッセージから原因を調べ対処してください。  
前後のエラーメッセージから原因を特定できない場合は、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVS0946-E**

The error occurred during scheduler service(スケジューラサービス名) start processing. : 保守情報1保守情報2保守情報3保守情報4  
スケジューラサービス(スケジューラサービス名)の起動処理中にエラーが発生しました: 保守情報1保守情報2保守情報3保守情報4

スケジューラサービスの起動中にエラーが発生しました。

(S)

スケジューラサービスを終了します。

(O)

スケジューラサービスの異常終了時に自動で再起動するように設定している場合は、自動的にスケジュー

ラサービスが再起動します。再起動時に再度メッセージ KAVS0946-E が出力されます。起動に失敗した場合は、このメッセージの直前に出力されるメッセージの対処方法に従ってエラー要因を取り除いたあと、「スケジューラサービス名」に表示されたスケジューラサービスを再起動してください。  
このメッセージの直前にメッセージ KAVS0903-E が出力された場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVS0950-E**

An error (保守情報) occurred so the jobnet (ルートジョブネット名) cannot be executed according to schedule.  
エラー (保守情報) が発生したためジョブネット (ルートジョブネット名) はスケジュール通りに実行できません

ルートジョブネットを開始時刻待ちにする際にエラーが発生したため、状態は開始時刻待ちになっていますが、実行できません。また、エラーが発生したルートジョブネットがプランニンググループの下にあった場合、同じプランニンググループの下にあるほかのルートジョブネットの実行も正しく開始されないことがあります。

(S)

スケジューラサービスはエラーの発生したルートジョブネットに関する処理を中断しますが、サービス自体は停止しないでその他の処理を継続します。

(O)

エラーが発生したルートジョブネットを登録解除して、実行登録し直してください。また、ルートジョブネットがプランニンググループの下にある場合は、同じプランニンググループの下のほかのルートジョブネットも登録し直してください。

**KAVS0960-E**

Not enough resource to execute Hostlink jobnet. : 保守情報  
リソース不足のためホストリンクジョブネットの実行ができません: 保守情報

ファイル記述子などのシステムリソースが不足したため、ホストリンクジョブネットの実行に失敗しました。

(S)

ホストリンクジョブネットの処理を異常終了させます。

(O)

システムリソースの割り当てを大きくしてください。  
UNIX の場合、カーネルパラメーターの次の項目を見直してください。  
・プロセスやシステムの最大ファイルオープン数  
・最大ファイル記述子数 (ファイルシステムに関わる制限値)

カーネルパラメーターについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

### KAVS0961-E

Cannot connect to JP1/AJS2 - Manager for Mainframe. : 保守情報1 保守情報2

JP1/AJS2 - Manager for Mainframe と接続できません : 保守情報1 保守情報2

JP1/AJS2 - Manager for Mainframe と接続できなかったため、ホストリンクジョブネットの実行に失敗しました。

- (S)
- ホストリンクジョブネットの処理を異常終了させます。
- (O)
- 次の設定が正しいか確認してください。
- 構成定義パラメーターの連携する JP1/AJS2 - Manager for Mainframe の設定やポート ID の設定が正しいか。
  - 連携する JP1/AJS2 - Manager for Mainframe が正常に起動しているか。
  - 連携する JP1/AJS2 - Manager for Mainframe のバージョンが正しいか。
  - ネットワークの設定が正しいか。

### KAVS0962-E

Connection to JP1/AJS2 - Manager for Mainframe has been reset. : 保守情報1 保守情報2

JP1/AJS2 - Manager for Mainframe との接続が切断されました : 保守情報1 保守情報2

JP1/AJS2 - Manager for Mainframe との接続が切断されたため、ホストリンクジョブネットの実行に失敗しました。

- (S)
- ホストリンクジョブネットの処理を異常終了させます。
- (O)
- 次の項目を確認してください。
- 連携する JP1/AJS2 - Manager for Mainframe が正常に起動しているか。
  - 連携する JP1/AJS2 - Manager for Mainframe のバージョンが正しいか。
  - ネットワークの設定が正しいか。

### KAVS0964-E

Abnormality occurred in JP1/AJS2 - Manager for Mainframes or in the mainframe. : 保守情報  
JP1/AJS2 - Manager for Mainframe 又はメインフレームで異常が発生しました : 保守情報

JP1/AJS2 - Manager for Mainframe またはメインフレームで異常が発生しました。

- (S)
- エラーの発生した処理を中断し、プロセスの処理を続行します。

- (O)
- システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。
- また、JP1/AJS2 - Manager for Mainframe の必要資料採取もしてください。

### KAVS0965-E

Specification of the exclusion schedule specified in the jobnet (ジョブネット名2) inside the jobnet (ジョブネット名1) includes an error.

ジョブネット (ジョブネット名1) 中のジョブネット (ジョブネット名2) に指定した排他スケジュールの指定に誤りがあります

ジョブネットまたはネストジョブネットに指定した、排他スケジュールの定義に誤りがあります。

- (S)
- ジョブネットのスケジュールの割り当て処理を中止します。
- (O)
- 排他スケジュールの定義に正しいジョブネット名を指定し、一時変更でスケジュールを割り当ててください。または、ジョブネットを再登録してください。

### KAVS0966-E

Specification of the reference calendar specified in the jobnet (ジョブネット名2) inside the jobnet (ジョブネット名1) includes an error.

ジョブネット (ジョブネット名1) 中のジョブネット (ジョブネット名2) に指定した参照するカレンダーの指定に誤りがあります

ジョブネット、またはネストジョブネットに指定した、参照カレンダーの定義に誤りがあります。

- (S)
- ジョブネットのスケジュールの割り当て処理を中止します。
- (O)
- 参照カレンダーの定義に正しいジョブグループ名を指定し、一時変更でスケジュールを割り当ててください。または、ジョブネットを再登録してください。

### KAVS0970-E

Failed in the execution resumption processing after releasing the Suspend setting. : 保守情報1  
サスペンド設定解除後の実行再開処理に失敗しました : 保守情報1

サスペンド状態から、実行状態へ回復させる処理に失敗しました (サスペンド状態は解除されています)。

- (S)
- 処理を継続します。

- (O) システム管理者に連絡して資料を採取してください  
(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。  
エラー要因を解決したあと、登録を解除して再登録してください。

#### KAVS0971-E

The error occurred during suspension processing. : 保守情報1  
サスペンド処理中にエラーが発生しました：保守情報1

サスペンド処理中に、エラーが発生しました。

- (S) 要求された処理を中断します。

- (O) システム管理者に連絡して資料を採取してください  
(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

#### KAVS0980-E

The database table structures are incompatible.  
データベースのテーブル構造に互換性がありません

スケジューラーサービスで使用するデータベースのテーブル構造に、互換性がありません。

- (S) 処理を終了します。

- (O) 使用しているバージョンの `ajsetup -t` コマンドで、テーブルを再作成してください。

#### KAVS0981-E

The table is not found.  
テーブルが見つかりません

データベースのテーブルが見つかりません。

- (S) 処理を終了します。

- (O) UNIX の場合
- 構成定義の `TABLENAMEPREFIX` , `TABLENAMEPOSTFIX` の値を確認する。
  - テーブルがない場合は、`ajsetup -t` でテーブルを作成する。
- Windows の場合
- 環境設定 GUI ([ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックス)) のテーブル名プリフィックスの値を確認する。
  - テーブルがない場合は、`ajsetup -t` でテーブルを作成する。

#### KAVS0982-E

Could not connect to the database because the upper limit of a server setting was exceeded.

サーバー側の設定値の上限を超えたためデータベースに接続できませんでした

データベースサーバで、定義されている制限値を超えてしまったため、データベースに接続できませんでした。

- (S) 処理を終了します。

- (O) データベースに接続しているほかのプロセスを停止するか、データベースの制限を設定し直したあとに、再実行してください。

#### KAVS0983-E

Could not connect to the database because the username or password was invalid.

ユーザー名またはパスワードに誤りがあるためデータベースに接続できませんでした

接続しようとしたユーザー名か、パスワードに誤りがあるため、データベースに接続できませんでした。

- (S) 処理を終了します。

- (O) 正しいユーザー名とパスワードを設定したあとに、再実行してください。

#### KAVS0984-E

Could not connect to the database because a required permission was lacking.

権限がないためデータベースに接続できませんでした

接続しようとしたユーザーには、データベースに接続する権限がないために、接続できませんでした。

- (S) 処理を終了します。

- (O) 権限を持っているユーザーを指定したあとに、再実行してください。

#### KAVS0985-E

Could not connect to the database.  
データベースに接続できませんでした

データベースに接続できませんでした。

- (S) 処理を終了します。

- (O) データベースが稼働しているか、確認してください。

## KAVS0986-E

Column size was exceeded because of character set conversion.

文字コードの変換によってデータの列のサイズを超えました

文字コードが変換（シフト JIS から EUC への変換など）されたために、列のサイズを超える長さのデータを書き込もうとしました。

- (S) 処理を終了します。
- (O) データベースのキャラクターセットと、JP1/AJS2 で使用する文字コード（AJSCCHARCODE など）を統一してください。
- データベースのキャラクターセットについては、使用しているデータベースのマニュアルを参照してください。JP1/AJS2 で使用する文字コード（AJSCCHARCODE など）の確認については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.1 論理ホスト共通の情報を定義する」、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

## KAVS0987-E

A permission required to operate the database is lacking.  
データベース操作を実行する権限が不足しています

データベースを操作する権限がありません。

- (S) 処理を終了します。
- (O) 適切な権限を持ったユーザーを指定したあとに、再実行してください。

## KAVS0988-E

Insufficient tablespace or RDAREA.  
表領域またはRDAREAに空きがありません

表領域、または RDAREA に空きがありません。

- (S) 処理を終了します。
- (O) 表領域、RDAREA の再編成、領域拡張などによって空き領域を作成したあと、再操作してください。
- データベースの詳細なエラーメッセージに関しては、syslog、イベントログに出力されます。組み込み DB の場合、次のメッセージが出力されます。
- KFP00211-I
- また、データベースの再編成については、マニュアル

「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 15.14.4 組み込み DB データベースを再編成する」を参照してください。

## KAVS0989-E

The permission for ISAM files is insufficient.  
ISAMファイルに適切な権限が与えられていません

ISAM ファイルに対して、適切な権限が与えられていません。

- (S) 処理を終了します。
- (O) ISAM ファイルに適切な権限を与えたあとに、再実行してください。

## KAVS0990-E

Failed to load libraries  
ライブラリがロードできません

JP1/AJS2 が必要とするライブラリーのロードに失敗しました。

- (S) 処理を終了します。
- (O) 連携プログラムの環境設定と構成定義を正しく設定して、コマンドを再実行してください。
- なお、DBMS 連携用のライブラリーがロードできなかった場合は、イベントログ、または syslog にライブラリー名を含むエラーメッセージ「KAVS0932-E」が出力されます。DBMS 製品が正しくインストールされているか、適切に環境設定がされているかを確認してください。
- また、JP1/AJS2 を使用する OS ユーザーすべてに対して、ライブラリーのロードパスを表す次の環境変数に DBMS 製品のライブラリーパスが含まれていることを確認してください。これらの環境変数は、JP1/AJS2 サービス、および JP1/AJS2 Monitor を起動するときにも必要です。JP1/AJS2 または JP1/Base の起動スクリプト、`jajs_start`、`jajs_start.cluster` を使用している場合にも、環境変数に設定されているかを確認してください。
- Windows の場合：PATH
  - HP-UX の場合：SHLIB\_PATH
  - Solaris, Linux の場合：LD\_LIBRARY\_PATH
  - AIX の場合：LIBPATH

## KAVS0991-E

Not supported on related programs (プログラム名).  
関連プログラム (プログラム名) でサポートされていません

プログラム名で示す関連プログラムに、要求された機能が



サポートされていません。

- (S)  
コマンド処理を中止します。
- (O)  
前提プログラムのサポートバージョンを確認して、バージョンアップしてください。

### KAVS0992-E

There is no permission for オブジェクト名.: 保守情報1, 保守情報2, 保守情報3  
オブジェクト名に対する権限がありません : 保守情報1, 保守情報2, 保守情報3

オブジェクト名に対する権限がありません。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
メッセージに表示されているオブジェクトに対して正しい権限を与えたあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0993-E

Invalid database backup file.  
指定されたデータベース退避ファイルの内容が正しくありません

- 次の原因が考えられます。
- データベース退避ファイル名を誤って指定しています。
  - 異なるテーブル間でデータベースを移行しようしました。
  - 異なるプラットフォーム間でデータベースを移行しようしました。
  - エクスポート処理が正しく行われませんでした。

- (S)  
コマンドの処理を中止します。
- (O)  
誤りを訂正したあと、再実行してください。

### KAVS0994-E

Record existed in specified database table.  
指定されたデータベーステーブルにレコードが存在します。

インポート先のデータベーステーブルにレコードがありません。

- (S)  
コマンドの処理を中止します。
- (O)  
-c オプションを指定してコマンドを再実行してください。-c オプションを指定して実行することにより、指定したテーブルにあるすべてのレコードを削除したあと、指定されたデータベース退避ファイルのレコー

ドがインポートされます。一度削除されたレコードは元に戻すことができません。  
インポート先のテーブルのレコードが完全に不要なことが確認できない場合は、ajsdbeexport コマンドを使用してバックアップを取ったあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS0996-E

Error exist in option.  
オプション指定に誤りがあります。

指定したオプションに誤りがあります。

- (S)  
コマンド処理を中止します。
- (O)  
オプションの指定内容を見直してください。

### KAVS0997-E

The scheduler service failed to start.: 保守情報1 保守情報2  
スケジューラーサービスの開始に失敗しました: 保守情報1 保守情報2

ajssstart コマンドでスケジューラーサービスが開始できませんでした。

- (S)  
コマンド処理を中止します。
- (O)  
スケジューラーサービスが開始できなかった原因が syslog または Windows イベントログに出力されているため、これらを参照して対処してください。

### KAVS0998-E

The system will wait because the database could not be connected. (Scheduler service: スケジューラーサービス名, Waittime: 最大待ち合わせ時間, Host: ホスト名)  
指定された時間内にデータベースに接続できませんでした (Scheduler service: スケジューラーサービス名, Waittime: 最大待ち合わせ時間, Host: ホスト名)

指定された最大待ち合わせ時間の間にデータベースに接続できませんでした。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
データベースが稼働しているかどうかを、確認してください。  
データベースが稼働しているかどうかの確認方法は、該当するデータベースのマニュアルを参照してください。  
データベースが起動処理中である場合、最大待ち合わせ時間を見直してください。

**KAVS0999-W**

The database could not be connected within the specified time. ( Scheduler service : スケジューラーサービス名, Waittime : 最大待ち合わせ時間, Host : ホスト名 )  
データベースに接続できなかったため待ち合わせを行います ( Scheduler service : スケジューラーサービス名, Waittime : 最大待ち合わせ時間, Host : ホスト名 )

データベースに接続できなかったため、待ち合わせを行います。

- ( S )  
一定時間後に再度、接続を行います。
- ( O )  
データベースが稼働しているかどうかを、確認してください。  
データベースが稼働しているかどうかの確認方法は、該当するデータベースのマニュアルを参照してください。

**KAVS1002-E**

AJS daemon ended abnormally. (name: デーモンプロセス名, code: 終了コード)  
AJSデーモンが異常終了しました ( name : デーモンプロセス名, code : 終了コード )

スケジューラーサービスが異常終了しました。

- ( S )  
処理を終了します。
- ( O )  
このメッセージの前に出力されたメッセージに従って対処してください。

**KAVS1003-E**

Invalid specification in configuration definition. (項目名)  
構成定義に誤った指定があります ( 項目名 )

環境設定パラメーターの値、または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの定義内容に誤った指定があります。

- ( S )  
処理を終了します。
- ( O )  
「項目名」に出力された値を正しく設定したあと、コマンドを再実行してください。  
出力された項目名については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.2 スケジューラーサービスの制御を定義する」、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

**KAVS1004-E**

Scheduler service does not exist.  
スケジューラーサービスがありません

スケジューラーサービスがありません。

- ( S )  
処理を終了します。
- ( O )  
処理対象とする AJS サービス名を正しく指定したあと、コマンドを再実行してください。  
また、次のことを確認してください。
- 起動した JP1/AJS2 サービス (物理または論理ホスト) の環境設定で、スケジューラーサービスの設定がされているか。
  - 起動した JP1/AJS2 サービス (物理または論理ホスト) の環境設定で、スケジューラーサービス名が、異なる JP1/AJS2 サービス (物理または論理ホスト) と同じ名称で設定されていないか。

**KAVS1005-E**

Cannot connect to Access Control Server.  
認証サーバに接続できません

認証サーバに接続できません。

- ( S )  
処理を終了します。
- ( O )  
認証サーバ名が正しいかどうか、または指定している認証サーバホストで認証サーバが起動されているかどうか確認してください。  
認証サーバの起動と接続を確認したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS1006-W**

Change of Logical Host or Scheduler Service is incomplete.  
論理ホストまたはスケジューラーサービスの変更が不完全です

構成定義の論理ホスト、またはスケジューラーサービスの変更が、動作情報に反映されていません。

- ( S )  
処理を続行します。
- ( O )  
次の手順に従って、対処をしてください。
- 動作中の JP1/AJS2 のすべてのプロセス ( サービス, コマンドなど ) を停止する。
  - すべての論理ホストと物理ホストの JP1/AJS2 サービス, および JP1/AJS2 Monitor サービスの停止を確認する。  
Windows の場合は, [ コントロールパネル ] または [ 管理ツール ] の [ サービス ] で, サービスの停止を確認し, 手順 4 に進んでください。

UNIX の場合は、`jajs_spmc_status` コマンドを使用して、JP1/AJS2 サービスの停止を確認してください。また、JP1/AJS2 Monitor サービスについては、`ps` コマンドを使用して、`ajsinetd` プロセスが終了していることを確認してください。サービスの停止を確認後、手順 3 に進んでください。

3. `ajsshmdel` コマンドを実行する。
4. JP1/AJS2 を再起動する。

`ajsshmdel` コマンドについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.7.1 スケジューラーサービスの多重起動の設定」を参照してください。

### KAVS1007-E

Host name cannot be resolved. (論理ホスト名)  
ホスト名が解決できません (論理ホスト名)

論理ホストのホスト名解決ができませんでした。

- (S)
- 処理を中止します。
- (O)
- 論理ホスト名が解決できるように、環境変数 `JP1_HOSTNAME` や `hosts` ファイルなどの設定を確認したあと、再実行してください。

### KAVS1008-E

An error exists in the certification server setting of the host (ホスト名). (login point IP address: IPアドレス)  
ホスト (ホスト名) の認証サーバの設定に誤りがあります (ログイン先IPアドレス: IPアドレス)

IP アドレスに示されている接続先ホストの認証サーバの設定に誤りがあります。

- (S)
- 処理を終了します。
- (O)
- 接続先ホストの認証サーバの設定を見直して、正しく設定してください。また、接続 (ログイン) 先の IP アドレスと接続しようとしたホストが一致しているか確認してください。

### KAVS1009-W

The connection from host (IP address:IPアドレス, JP1 user name:JP1ユーザー名) to host (論理ホスト) was refused.

ホスト (IPアドレス: IPアドレス, JP1ユーザー名: JP1ユーザー名) からホスト (論理ホスト) への接続を拒否しました

「IP アドレス」に示されたホストから、「論理ホスト」に示されたホストへの接続で、「JP1 ユーザー名」に示されたユーザーの JP1/Base でのユーザー認証またはユーザーマッピングに失敗したため、接続を拒否しました。

- (S)
- 接続を中断し、次の要求を待ちます。

### KAVS1200-E

The value of the option (オプション名) exceeds the value specified for the environment setting parameter (パラメタ名) of the scheduler service (サービス名).

オプション (オプション名) の値がスケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) の環境設定パラメタ (パラメタ名) に指定した値を超えています

コマンドのオプションに指定した値が、スケジューラーサービスの環境設定パラメーターに指定した値を超えています。

- (S)
- コマンドの実行を中止します。ただし、複数のジョブネットワーク要素名 (正規表現での指定を含む) を指定した場合は、処理を続行します。

- (O)
- オプションの値を正しく指定したあと、コマンドを再実行してください。
- また、「パラメーター名」に表示された環境設定パラメーターの値を変更したあと、コマンドを再実行してください。
- ・「パラメーター名」に表示された環境設定パラメーターが "MAXSAVEGEN" の場合  
環境設定パラメーターの MAXSAVEGEN の値を見直し、必要であれば変更してください (Windows, UNIX 共通)。設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義内容」を参照してください。

### KAVS1300-I

An attempt to obtain a host name failed. : 保守情報1, 保守情報2, 保守情報3  
ホスト名の取得に失敗しました: 保守情報1, 保守情報2, 保守情報3

ホスト名の取得に失敗しました。

- (S)
- 処理を続行します。

- (O)
- 実行対象ホスト (環境変数 `JP1_HOSTNAME` の設定など) を見直してください。

### KAVS1301-I

An attempt to obtain the name of the directory for backup information failed. : 保守情報1, 保守情報2, 保守情報3

待機情報ファイル出力ディレクトリ名の取得に失敗しました: 保守情報1, 保守情報2, 保守情報3

待機情報ファイル出力ディレクトリ名の取得に失敗しました

## KAVS1302-I ~ KAVS1502-E

た。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のことを確認してください。

- ・ システムのリソースが不足していないか。
- ・ 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- ・ JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVS1302-I

An attempt to obtain the name of the directory for installation of JP1/AJS2 failed. : 保守情報1, 保守情報2, 保守情報3

JP1/AJS2のインストールディレクトリ名の取得に失敗しました : 保守情報1, 保守情報2, 保守情報3

JP1/AJS2のインストールディレクトリ名の取得に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のことを確認してください。

- ・ システムのリソースが不足していないか。
- ・ 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- ・ JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVS1400-E

The status of the jobnet (ジョブネット名) whose start condition was being monitored could not be confirmed. (実行ID)

起動条件監視中のジョブネット (ジョブネット名) の状態を確認できませんでした (実行ID)

起動条件監視中のジョブネットの状態を確認できませんでした。

(S)

該当するジョブネットの監視を終了します。

(O)

該当するジョブネットを再度実行登録してください。クラスタシステムを使用している場合、待機情報ファイル出力ディレクトリ名が正しく設定されているか確認してください。

-e オプションを指定しないで jpomanevreset コマンドを実行したあと、JP1/AJS2 サービスを起動した場合にも、このメッセージが出力されます。これは、イベントリセットによる起動条件の監視終了に伴うメッセージのため、無視してください。

### KAVS1401-E

A notice of a start in the maintenance mode from scheduler service to Event Action Manager failed. : 保守情報

スケジューラーサービスからイベントアクション機能マネージャーへのメンテナンスモードの開始通知に失敗しました : 保守情報

メンテナンスモードの開始を、スケジューラーサービスからイベント・アクション制御マネージャーに通知できませんでした。

そのため、メンテナンスモード中に発生したイベントが検知されないおそれがあります。

(S)

メンテナンスモードの開始処理を続行します。

(O)

直ちにメンテナンスモードを解除して、このメッセージの前に出力されたメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除いてください。エラー原因を取り除いたあと、メンテナンスコマンドを再実行してください。

### KAVS1500-I

Database condensing of the scheduler service (サービス名) started. 開始日時  
スケジューラーサービス (サービス名) のデータベース再編成を開始しました 開始日時

スケジューラーサービスのデータベース再編成を開始しました。

(S)

データベース再編成処理を続行します。

### KAVS1501-I

Database condensing of the scheduler service (サービス名) ended normally. 開始日時・終了日時 (所要時間)  
スケジューラーサービス (サービス名) のデータベース再編成が正常終了しました 開始日時・終了日時 (所要時間)

スケジューラーサービスのデータベース再編成が正常終了しました。

(S)

データベース再編成処理を正常終了します。

### KAVS1502-E

Database condensing of the scheduler service (サービス名) ended abnormally. 開始日時・終了日時 (所要時間)  
スケジューラーサービス (サービス名) のデータベース再編成が異常終了しました 開始日時・終了日時 (所要時間)

スケジューラーサービスのデータベース再編成が異常終了しました。

(S)

データベース再編成処理を終了します。

(O)

データベース再編成ログファイルと syslog または Windows イベントログを参照し、再編成が異常終了した原因を調査し、スケジューラーサービスの ISAM データベース再編成を再実行してください。  
データベースの再編成については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 15.14.3 ISAM データベースを再編成する」を参照してください。

**KAVS1503-I**

The ISAM unused area size of the scheduler service (サービス名) is サイズMB.

スケジューラーサービス (サービス名) の ISAM 未使用領域サイズはサイズMBです

スケジューラーサービスの ISAM ファイル未使用領域サイズを出力します。

(S)

ISAM 未使用領域サイズを出力します。

**KAVS1504-W**

The ISAM unused area size of the scheduler service (サービス名) is サイズMB, which exceeds the サイズMB threshold value.

スケジューラーサービス (サービス名) の ISAM 未使用領域サイズはサイズMBで、しきい値 (サイズMB) に達しています

スケジューラーサービスの ISAM ファイルの未使用領域サイズが、指定した未使用領域サイズに達しています。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

スケジューラーサービスの ISAM ファイルの再編成を実施してください。  
ISAM ファイルの再編成については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 15.14.3 ISAM データベースを再編成する」を参照してください。

**KAVS1510-I**

CONDENSE: ISAM再編成統計情報

CONDENSE: ISAM再編成統計情報

データベース再編成ログに、スケジューラーサービスの ISAM ファイル再編成中の状態を出力します。

このメッセージには次の情報が表示されます。

- ・ 開始日時、終了日時、所要時間
- ・ データベース再編成前および再編成後の未使用領域サイズ、総ファイルサイズ

(S)

ISAM ファイルの状態を ISAM 再編成ログに出力し

ます。

**KAVS1512-E**

The size of ISAM file exceeded the maximum size (2-Gigabyte).

ISAM ファイルのサイズが上限値 (2ギガバイト) を超えました

データベースアクセス中に ISAM のテーブルを構成するファイルサイズが上限値 (2ギガバイト) を超えました。

(S)

処理を終了します。

(O)

ISAM ファイルのサイズが2ギガバイトを超えたため、データベースアクセスができません。運用に必要なジョブネットワーク要素を登録解除および削除するか、ジョブ実行環境のジョブ情報保存日数を小さくするなどして、ISAM ファイルサイズを削減してください。

**KAVS1513-E**

An error occurred during command processing.: 保守情報  
コマンド実行中にエラーが発生しました: 保守情報

スクリプトから JP1/AJS2 および OS のコマンドを実行した際にエラーが発生しました。

(S)

スクリプト実行環境が正しいか確認してください。環境設定後、スクリプトを再実行してください。

(O)

処理を終了します。

**KAVS1514-E**

An attempt to read the configuration definition failed. (項目名: リターンコード)  
構成定義の読み込みに失敗しました (項目名: リターンコード)

構成定義の読み込みに失敗しました。

(S)

デフォルト値を仮定して、処理を続行します。

(O)

仮定された値が意図しない値の場合は、エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。エラー要因としてはメモリー不足が発生しているおそれがあります。統合トレースログで同時刻にメモリー不足のログが出力されているか確認してください。メモリー不足のログが出力されている場合は、メモリー見直しを見直してください。ほかの不要なアプリケーションが起動されている場合はアプリケーションを停止してください。エラー要因がメモリー不足でない場合は内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

## KAVS1515-E

Invalid specification in configuration definition. (項目名 : リターンコード)  
構成定義に誤った指定があります (項目名 : リターンコード)

構成定義に誤った指定があります。

- (S)  
デフォルト値を仮定して、処理を続行します。
- (O)  
「項目名」に出力された値を正しく設定してください。  
出力された項目名については、マニュアル「JP1/  
Automatic Job Management System 2 セットアップ  
ガイド 4. 環境設定」、またはマニュアル「JP1/  
Automatic Job Management System 2 セットアップ  
ガイド 14. 環境設定」に記載されています。

## KAVS1570-I

Adapter command (保守情報1) started.  
アダプタコマンド (保守情報1) を開始します

アダプターコマンドを開始しました。  
保守情報には、次の情報が表示されます。  
保守情報 1: アダプターコマンド名と指定されたオプション値

- (S)  
アダプターコマンドが開始されました。

## KAVS1571-I

Adapter command (保守情報1) ended. (保守情報2)  
アダプタコマンド (保守情報1) が終了しました。 (保守情報2)

アダプターコマンドが終了しました。  
保守情報には、次の情報が表示されます。  
保守情報 1: アダプターコマンド名  
保守情報 2: アダプターコマンド戻り値

- (S)  
アダプターコマンドが終了しました。

## KAVS1572-W

Adapter command (保守情報1) canceled.  
アダプタコマンド (保守情報1) がキャンセルされました。

アダプターコマンドがキャンセルされました。  
保守情報には、次の情報が表示されます。  
保守情報 1: アダプターコマンド名

- (S)  
アダプターコマンドがキャンセルされました。

## KAVS1600-E

The specified unit name is invalid.  
ユニット名の指定に誤りがあります

ユニット名の指定で、次のどれかの誤りがあり、状態が取得できませんでした。

- 指定したユニットがない。
- 指定したユニットに対する権限がない。
- 指定したユニットは、マネージャージョブグループ、マネージャージョブネット、またはルートジョブネットより下の階層のユニットであり、状態取得できるユニットではない。

このメッセージは、JP1/AJS2 Console View の [ 詳細情報 - [ AJS2 ユニット監視オブジェクト ] ] ダイアログボックスの [ 情報 ] テキストエリアに出力されます。 [ 詳細情報 - [ AJS2 ユニット監視オブジェクト ] ] ダイアログボックスについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 14.3.5 [ 詳細情報 - [ オブジェクト種別 ] ] ダイアログボックス」を参照してください。

- (S)  
指定したユニットに対する状態取得処理を終了します。
- (O)  
状態取得できるユニットで、権限のあるユニット名を指定してください。

## KAVS1601-E

Requests to the specified unit could not be processed.  
指定したユニットに対する要求は処理できません

指定したユニットに対する要求はサポートされていないため、状態が取得できませんでした。

このメッセージは、JP1/AJS2 Console View の [ 詳細情報 - [ AJS2 ユニット監視オブジェクト ] ] ダイアログボックスの [ 情報 ] テキストエリアに出力されます。 [ 詳細情報 - [ AJS2 ユニット監視オブジェクト ] ] ダイアログボックスについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 14.3.5 [ 詳細情報 - [ オブジェクト種別 ] ] ダイアログボックス」を参照してください。

- (S)  
指定したユニットに対する状態取得処理を終了します。
- (O)  
状態取得できるユニット名を指定してください。

## KAVS1602-E

Maintenance is being performed, so status obtainment is not possible.  
メンテナンス中のため状態取得できません

データベースがメンテナンス中のため、状態が取得できませんでした。

このメッセージは、JP1/AJS2 Console View の [ 詳細情報 - [ AJS2 ユニット監視オブジェクト ] ] ダイアログボックスの [ 情報 ] テキストエリアに出力されます。[ 詳細情報 - [ AJS2 ユニット監視オブジェクト ] ] ダイアログボックスについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 14.3.5 [ 詳細情報 - [ オブジェクト種別 ] ] ダイアログボックス」を参照してください。

(S)

指定したユニットに対する状態取得処理を終了します。

(O)

メンテナンスが終了したあと、再度実行してください。

### KAVS1703-E

The command executed during reorganization of the scheduler service (サービス名) database ended abnormally. : Jischk -l3 テーブル名 : return code = Jischk のリターンコード (Please look at メンテナンスログファイル名)  
スケジューラーサービス (サービス名) のデータベース再編成中に実行したコマンドが異常終了しました : Jischk -l3 テーブル名 : return code = Jischk のリターンコード ( Please look at メンテナンスログファイル名 )

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、ISAM ファイルの整合性を検証する Jischk コマンドで、データ情報の不正を検出しました。Jischk のエラーメッセージはメンテナンスログファイルを参照してください。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、処理中のサービスに未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実行を続行します。

(O)

資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVS1704-E

The command executed during reorganization of the scheduler service (サービス名) database ended abnormally. : Jisext テーブル名 テーブル名.back : return code = Jisext のリターンコード  
スケジューラーサービス (サービス名) のデータベース再編成中に実行したコマンドが異常終了しました : Jisext テーブル名 テーブル名.back : return code = Jisext のリターンコード

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、ISAM ファイルからデータを抽出する Jisext コマンドでエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、処理中のサービスに未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実

行を続行します。

(O)

スーパーユーザーまたは Administrators 権限を持つユーザーでコマンドを実行してください。サービスが起動中、またはファイルを占有しているプロセスがないかどうかを確認してください。また、ディスクに空き容量があるかどうかを確認してから、コマンドを再実行してください。

### KAVS1705-E

The command executed during reorganization of the scheduler service (サービス名) database ended abnormally. : Jisconv -t SI テーブル名.back テーブル名\_NEW : return code = Jisconv のリターンコード  
スケジューラーサービス (サービス名) のデータベース再編成中に実行したコマンドが異常終了しました : Jisconv -t SI テーブル名.back テーブル名\_NEW : return code = Jisconv のリターンコード

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、抽出したデータから ISAM ファイルを再作成する Jisconv コマンドでエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、処理中のサービスに未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実行を続行します。

(O)

スーパーユーザーまたは Administrators 権限を持つユーザーでコマンドを実行してください。また、ディスクに空き容量があるかどうかを確認してから、コマンドを再実行してください。原因不明の場合は、資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVS1706-E

An attempt to create a backup directory during reorganization of the scheduler service (サービス名) database failed. (ディレクトリ名) : return code = リターンコード  
スケジューラーサービス (サービス名) のデータベース再編成中にバックアップディレクトリを作成する処理が失敗しました (ディレクトリ名) : return code = リターンコード

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、作業ディレクトリの作成に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、ほかのサービスがある場合は、コマンドの実行を続行します。

(O)

スケジューラーサービスの一時ファイル用ディレクトリに指定されているディレクトリに書き込み権限があるかどうか、また、ディスクに空き容量があるかどうかを確認してください。

**KAVS1707-E**

An attempt to copy files for backing up and recovering ISAM files during reorganization of the scheduler service (サービス名) database failed. (テーブル名) : return code = リターンコード

スケジューラーサービス (サービス名) のデータベース再編成中にISAMファイルをバックアップ・リカバリーするためのファイルコピー処理に失敗しました (テーブル名) : return code = リターンコード

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、ISAM ファイルをバックアップ・リカバリーするためのファイルのコピーに失敗しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、処理中のサービスに未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実行を続行します。
- (O) ディスクに空き容量があるかどうかを確認してから、コマンドを再実行してください。

**KAVS1709-E**

An attempt to rename files for recovering ISAM files during reorganization of the scheduler service (サービス名) database failed. (テーブル名) : return code = リターンコード

スケジューラーサービス (サービス名) のデータベース再編成中にISAMファイルをリカバリーするためのファイルリネーム処理が失敗しました (テーブル名) : return code = リターンコード

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、ISAM ファイルをリカバリーするためのファイルのリネームに失敗しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、処理中のサービスに未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実行を続行します。
- (O) スケジューラーサービスのデータベースディレクトリに指定されているディレクトリに書き込み権限があるかどうかを確認してください。

**KAVS1713-E**

An attempt to start the scheduler service (サービス名) failed. : 保守情報  
スケジューラーサービス (サービス名) の起動処理が失敗しました : 保守情報

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、スケジューラーサービス起動処理が失敗しました。

次の原因が考えられます。

- 該当するスケジューラーサービスに対して、jajs\_maintain コマンドを同時に複数実行している。
- jajs\_maintain コマンドの実行中に、該当するスケ

ジューラーサービスが起動された。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、ほかのサービスが未処理の場合は、コマンドの実行を続行します。
- (O) jajs\_maintain コマンドが終了してから、起動処理が失敗したスケジューラーサービスを手動で起動してください。このメッセージの前後にエラーメッセージが出力されている場合は、そちらのメッセージの対処方法も参照してください。

**KAVS1714-E**

An attempt to start the script for reorganizing the scheduler service (サービス名) table (テーブル名) failed. : 保守情報  
スケジューラーサービス (サービス名) のテーブル (テーブル名) 再編成を行うためのスクリプト起動処理が失敗しました : 保守情報

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、テーブル再編成を行うためのスクリプト起動処理が失敗しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、ほかのサービスが未処理の場合は、コマンドの実行を続行します。
- (O) メモリー不足かシステムで起動できるプロセス数の上限に達したおそれがあります。
- UNIX の場合、カーネルパラメーターのメモリーに関する設定値とプロセスに関する設定値を見直し、再設定を行ってください。  
カーネルパラメーター、使用するメモリーの見積もり方法については、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。
  - 現象発生時に稼働しているプロセスの状態を確認し、見積もり値以上のメモリーがあるか確認してください。
  - 原因不明の場合は、資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVS1715-E**

The script for reorganizing the scheduler service (サービス名) table (テーブル名) failed. : 保守情報  
スケジューラーサービス (サービス名) のテーブル (テーブル名) 再編成を行うためのスクリプトが異常終了しました : 保守情報

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、テーブル再編成を行うためのスクリプトが予期しないエラーで異常終了しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、処理中のサービスに未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実



行を続行します。

(O)

再編成が異常終了したテーブルに問題がないか「Jischk -l3 テーブル名」を実行して確認してください。Jischk については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照してください。また、Jischk の実行結果を採取したあと、システム管理者に連絡してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVS1716-E

An attempt to prepare for reorganization of the scheduler service (サービス名) database failed. : 保守情報  
スケジューラーサービス (サービス名) の再編成を行う前の準備処理が失敗しました : 保守情報

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、テーブル再編成を行うための準備処理が失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。ただし、ほかのサービスが未処理の場合は、コマンドの実行を続行します。

(O)

- メモリー不足がシステムで起動できるプロセス数の上限に達したおそれがあります。
- UNIX の場合、カーネルパラメーターのメモリーに関する設定値とプロセスに関する設定値を見直し、再設定を行ってください。  
カーネルパラメーター、使用するメモリーの見積もり方法については、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。
- 現象発生時に稼働しているプロセスの状態を確認し、見積もり値以上のメモリーがあるか確認してください。
- 原因不明の場合は、資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVS1717-E

Maintenance is being performed, so execution is impossible.(保守情報1)

メンテナンス中のため、実行できません(保守情報1)

メンテナンス中、または反映側 JP1/AJS2 - Datareplicator が起動中であるため、指定したコマンドは実行できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

メンテナンス終了後、または反映側 JP1/AJS2 - Datareplicator の停止を確認したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS1718-E

The scheduler service (サービス名) database connection exists, so shifting to the maintenance mode is impossible. スケジューラーサービス (サービス名) のデータベースに接続が存在するため、メンテナンスモードに移行できません

メンテナンスモードに入る際に、サービス以外のプロセスがデータベースに接続しているため、メンテナンスモードに移行できませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/AJS2 - View, JP1/AJS2 Console などからログオフしてデータベースにアクセスしているプロセスがない状態にしてください。

### KAVS1719-I

The maintenance processing of the scheduler service ended normally.

スケジューラーサービスのメンテナンス処理が正常終了しました

スケジューラーサービスのメンテナンス処理が正常終了しました。

(S)

スケジューラーサービスのメンテナンス処理を正常終了します。

### KAVS1720-E

The maintenance processing of the scheduler service ended abnormally. : 保守情報

スケジューラーサービスのメンテナンス処理が異常終了しました : 保守情報

スケジューラーサービスのメンテナンス処理が異常終了しました。

次の原因が考えられます。

- ディスクの空き容量が不足している  
並列実行機能を有効にした場合、システム上に十分なディスク空き容量が必要です。  
自動再編成を実施する場合に必要なディスク空き容量については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 5.3.9 データベースに ISAM を使用する場合のオプションについて検討する」を参照してください。
- プロセスまたはシステムがファイルオープンの上限に達した  
マシンのプロセス稼働状態を確認し、稼働が少ない状態になってから再実行してください。
- メモリー不足が発生した  
UNIX の場合、カーネルパラメーターのメモリー設定値を見直してください。  
カーネルパラメーターについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

## KAVS1721-I ~ KAVS1725-E

(S) スケジューラーサービスのメンテナンス処理を異常終了します。

(O) メンテナンスログファイルと syslog または Windows イベントログを参照して、出力されているエラーメッセージからメンテナンス処理が異常終了した原因を調べて対処してください。そのあと、メンテナンス処理を再実行してください。  
原因を特定できない場合は、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVS1721-I

The jajs\_maintain command started.(保守情報1)  
jajs\_maintainコマンドを開始しました(保守情報1)

jajs\_maintain コマンドを開始しました。

(S) jajs\_maintain コマンドを開始します。

### KAVS1722-I

jajs\_maintain command ended normally.  
jajs\_maintainコマンドが正常終了しました

jajs\_maintain コマンドが正常終了しました。

(S) jajs\_maintain コマンドを正常終了します。

### KAVS1723-E

jajs\_maintain command ended abnormally.  
jajs\_maintainコマンドが異常終了しました

jajs\_maintain コマンドが異常終了しました。

(S) jajs\_maintain コマンドを終了します。

(O) 次の項目を確認して、メンテナンス処理が異常終了した原因を調査したあと、メンテナンス処理を再実行してください。

- -show を指定した場合  
ジョブ実行環境が運用開始処理中、または停止処理中のため状態を取得することができなかったおそれがあります。時間を置いて再度実行してください。
- -r start を指定した場合  
回復しようとしたジョブ実行環境、またはスケジューラーサービスはメンテナンス中であるおそれがあります。回復が必要なジョブ実行環境、またはスケジューラーサービスの運用状態を確認して、コマンドを再実行してください。
- -m manager または -m scheduler を指定した場合  
このメッセージと同時に標準エラーに出力されてい

るメッセージに従って対応したあと、再実行してください。

### KAVS1724-E

The scheduler service control file does not exist.  
スケジューラーサービス制御用ファイルがありません

コマンドの実行に必要なファイルが作成されていません。

(S) コマンドの実行を中止します

(O) 次のことを確認して対処してください。

- 指定したスケジューラーサービス名に誤りがないか確認してください。
- 指定したスケジューラーサービスがセットアップされているか確認してください。セットアップされていなければ、ajsssetup コマンドを実行してスケジューラーサービスをセットアップしてください。
- バージョンアップしたあとにこのメッセージが出力された場合は、いったん JP1/AJS2 サービスまたは JP1/AJS2 Monitor サービスを起動してください。JP1/AJS2 サービスまたは JP1/AJS2 Monitor サービスを起動すると、対象となる物理ホストまたは論理ホスト上にあるすべてスケジューラーサービスの制御ファイルが作成されます。
- クラスタシステムを採用している場合は、最初のフェールオーバーが発生したときにいったん JP1/AJS2 サービスまたは JP1/AJS2 Monitor サービスを起動する必要があります。

### KAVS1725-E

An error occurred in the processing accompanying the reconfiguration of the job execution environment. : 保守情報1 (保守情報2)  
ジョブ実行環境の再編成に伴う処理でエラーが発生しました : 保守情報1 (保守情報2)

ジョブ実行環境の再編成に伴う処理でエラーが発生しました。

(S) 処理を続行します。

(O) ジョブ実行環境の再編成に失敗しているおそれがあります。次に示す保守情報 1 に対応する KAVU メッセージの対処法を確認し、要因を取り除いたあと、メンテナンスコマンドを再実行してください。

- ジョブ実行環境データベースがメンテナンス中です KAVU0474-E
- データベース情報の取得に失敗しました KAVU0500-E
- メモリー不足が発生しました KAVU0922-E
- 論理矛盾が発生しました KAVU0923-E
- マネージャーに接続できません

KAVU0945-E

- マネージャーホスト名から IP アドレス解決に失敗しました  
KAVU0946-E
- 運用開始処理中または停止処理中です  
KAVU0950-E
- マネージャーからの応答が返ってきません  
KAVU0953-E
- マネージャーの内部的要因でコマンドの実行に失敗しました  
KAVU0954-E
- マネージャーでメモリー不足が発生しました  
KAVU0966-E
- マネージャーで致命的なエラーが発生しました  
KAVU0968-E
- マネージャーで論理矛盾が発生しました  
KAVU0969-E
- 要求したマネージャーでは未サポート要求です  
KAVU0970-E
- 実行環境が不正です  
KAVU0972-E

#### KAVS1726-I

The scheduler service (スケジューラーサービス名) was shifted to maintenance mode.  
スケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) をメンテナンスモードに移行しました

スケジューラーサービスをメンテナンスモードに移行しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVS1727-I

The scheduler service (スケジューラーサービス名) was stopped.  
スケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) を停止しました

スケジューラーサービスを停止しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVS1728-I

The scheduler service (スケジューラーサービス名) has already stopped.  
スケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) は停止中です

スケジューラーサービスは停止中です。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVS1729-I

The start request of the scheduler service (スケジューラーサービス名) was executed.  
スケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) の開始要求を行いました

スケジューラーサービスの開始を要求しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVS1730-I

The maintenance mode of the scheduler service (スケジューラーサービス名) was canceled.  
スケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) のメンテナンスモードを解除しました

スケジューラーサービスのメンテナンスモードを解除しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVS1731-E

Back up scheduler database (unit information only).  
スケジューラーサービスのユニット定義テーブルのみの退避を開始します

スケジューラーサービスのユニット定義テーブルに対してだけ、退避を開始しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVS1732-E

Succeeded in backup of a scheduler service ISAM file.  
スケジューラーサービスのISAMファイルの退避に成功しました

スケジューラーサービスの ISAM ファイルの退避に成功しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVS1733-E

Backup directory (退避先ディレクトリ名).  
退避先ディレクトリは(退避先ディレクトリ名)です

退避先ディレクトリ名を表示します。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVS1734-E

-F option is not specified.  
-Fオプションが指定されていません

## KAVS1735-E ~ KAVS1741-E

-F オプションが指定されていません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
「-F スケジューラーサービス名」を指定して、再度実行してください。

### KAVS1735-E

Need to rerun this command.

このコマンドを再実行する必要があります

このコマンドを再度実行する必要があります。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
同時に出力されるメッセージを見て対処してください。

### KAVS1736-E

Backup failed. Command ended abnormally. : ajsgtroot

-F サービス名 オプション : return code = ajsgtrootコマンドの戻り値

コマンドの実行に失敗したため、退避に失敗しました :

ajsgtroot -F サービス名 オプション : return code =

ajsgtrootコマンドの戻り値

ajsgtroot コマンドの実行に失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
指定したスケジューラーサービスの構成定義情報が正しく設定されているか確認してください。

### KAVS1737-E

Database type of (スケジューラーサービス名) is not ISAM.

スケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) のデータベース種別がISAMではありません

指定したスケジューラーサービスのデータベース種別がISAM ではありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
データベース種別が ISAM のスケジューラーサービス名を指定して、再度実行してください。

### KAVS1738-E

Specified name is not directory (ディレクトリ名).

指定した名前がディレクトリではありません : ディレクトリ名

指定したスケジューラーサービスのデータベースディレクトリ名に指定されている値が、ディレクトリではありません。または、回復元ディレクトリに指定された値が、ディレクトリではありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
構成定義情報が正しく設定されているか確認してください。

### KAVS1739-E

Backup failed. Failed to make directory (ディレクトリ名). : return code = mkdirの戻り値

ディレクトリ (ディレクトリ名) の作成に失敗したため、退避に失敗しました : return code = mkdirの戻り値

退避先ディレクトリの作成に失敗したため、スケジューラーサービスの ISAM ファイルの退避に失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
-b オプションを指定した場合、指定したディレクトリの親ディレクトリに書き込み権限があるかどうか、ディレクトリかどうかを確認してください。-b オプションを指定しなかった場合、スケジューラーサービスの退避先ディレクトリに書き込み権限があるかどうか、およびディレクトリかどうかを確認してください。

### KAVS1740-E

Cannot access backup directory (ディレクトリ名).

退避先ディレクトリにアクセスできません : ディレクトリ名

退避先ディレクトリにアクセスできません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
-b オプションを指定した場合、指定したディレクトリに書き込み権限があるかどうか確認してください。

### KAVS1741-E

Backup failed. Failed to copy (ファイル名). : return code = cpの戻り値

ファイル (ファイル名) のコピーに失敗したため、退避に失敗しました : return code = cpの戻り値

ファイルのコピーに失敗したため、スケジューラーサービスの ISAM ファイルの退避に失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
退避先ディレクトリに書き込み権限があるかどうか、

退避先ディレクトリに上書きで退避する場合は退避先ディレクトリに存在するファイルに書き込み権限があるかどうか確認してください。

また、ディスクに空き容量があるかどうか確認してください。

同時に出力される cp コマンドのエラーメッセージに従って対処してください。

#### KAVS1742-E

Backup failed. Failed to compare (ファイル名). : return code = cmpの戻り値

ファイル (ファイル名) のコンペアに失敗したため、退避に失敗しました : return code = cmpの戻り値

ファイルのコンペアに失敗したため、スケジューラーサービスの ISAM ファイルの退避に失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
バックアップ元とバックアップ先のコンペアに失敗しました。スケジューラーサービスのデータベースが更新されたおそれがあります。同時に出力される cmp コマンドのエラーメッセージに従って対処してください。

#### KAVS1751-E

Restoring scheduler database (unit information only). スケジューラーサービスのユニット定義テーブルを回復します

スケジューラーサービスのユニット定義テーブルを回復します。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVS1752-E

Succeeded in restoring of a scheduler service ISAM file. スケジューラーサービスのユニット定義テーブルの回復に成功しました

スケジューラーサービスのユニット定義テーブルの回復に成功しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVS1753-E

Restore failed. Command ended abnormally. : ajsgtroot -F サービス名 オプション : return code = ajsgtroot コマンドの戻り値  
コマンドの実行に失敗したため、回復に失敗しました : ajsgtroot -F サービス名 オプション : return code = ajsgtroot コマンドの戻り値

ajsgtroot コマンドの実行に失敗したため、回復に失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
指定したスケジューラーサービスの構成定義情報が正しく設定されているか確認してください。

#### KAVS1754-E

Cannot access database directory (ディレクトリ名). データベースディレクトリ (ディレクトリ名) にアクセスできません

データベースディレクトリにアクセスできません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
-b オプションを指定した場合、指定したディレクトリに書き込み権限があるかどうか確認してください。

#### KAVS1755-E

A file (ファイル名) is not found. ファイル (ファイル名) が見つかりません

ファイルが見つかりません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
回復元ディレクトリに指定したディレクトリに、スケジューラーサービスのユニット定義テーブルがありません。

#### KAVS1756-E

Failed to delete ISAM file (ファイル名). : return code = rm の戻り値  
ISAM ファイル (ファイル名) の削除に失敗しました : return code = rm の戻り値

ISAM ファイルの削除に失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
同時に出力される rm コマンドのエラーメッセージに従って対処してください。

#### KAVS1757-E

Restore failed. Failed to copy (ファイル名). : return code = cp の戻り値  
ファイル (ファイル名) のコピーに失敗したため、回復に失敗しました : return code = cp の戻り値

ISAM ファイルの複写に失敗しました。

- (S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

データベースディレクトリに書き込み権限があるかどうか確認してください。

ディスクに空き容量があるかどうか確認してください。

同時に出力される cp コマンドのエラーメッセージに従って対処してください。

#### KAVS1758-E

---

Restore failed. Failed to compare (ファイル名): return code = cmpの戻り値  
ファイル(ファイル名)のコンペアに失敗したため、回復に失敗しました: return code = cmpの戻り値

---

ISAM ファイルの複写に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ディスクに空き容量があるかどうか確認してください。同時に出力される cmp コマンドのエラーメッセージに従って対処してください。

#### KAVS1759-E

---

Restore failed. Command ended abnormally: コマンド名 オプション: return code = コマンドの戻り値  
コマンドの実行に失敗したため、回復に失敗しました: コマンド名 オプション: return code = コマンドの戻り値

---

コマンドの実行に失敗したため、回復に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

「コマンド名」に出力されているコマンドが実行できる環境かどうか確認し、同時に出力されるエラーメッセージに従って対処してください。

#### KAVS1770-I

---

The adapter command setup has started.

---

アダプターコマンドのセットアップが開始されました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVS1771-I

---

The adapter command setup completed normally.

---

アダプターコマンドのセットアップが正常終了しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVS1772-I

---

The adapter command unsetup has started.

---

アダプターコマンドのアンセットアップが開始されました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVS1773-I

---

The adapter command unsetup completed normally.

---

アダプターコマンドのアンセットアップが正常終了しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVS1774-E

---

The logon account does not have permission to setup.

---

コマンド実行権限がないため、コマンドを実行できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドを実行する権限のあるユーザーで再度実行してください。

#### KAVS1775-E

---

The 引数 arguments is incorrect.

---

コマンドの引数が不正です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドの引数を確認して再度実行してください。

#### KAVS1776-E

---

There are too many command arguments.

---

コマンドの引数が多過ぎます。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドの引数を確認して再度実行してください。

#### KAVS1777-E

---

Setup and unsetup cannot be specified simultaneously.

---

セットアップとアンセットアップは同時に実行できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
コマンドの引数を確認して再度実行してください。

#### KAVS1778-E

A duplicated command argument cannot be specified.

コマンド引数を重複して指定できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
コマンドの引数を確認して再度実行してください。

#### KAVS1779-E

JP1/Base is not installed,so the adapter command setup failed.

JP1/Base の製品がインストールされていないため、アダプターコマンドのセットアップに失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
関連製品がインストールされているかどうか確認してください。

#### KAVS1780-E

The JP1/Base installation location is unobtainable.

JP1/Base のインストール先を取得できませんでした。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
関連製品がインストールされているかどうか確認してください。

#### KAVS1781-E

The アダプタコマンド adapter command does not exist.

アダプターコマンドがありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
アダプターコマンドがあるかどうか確認してください。

#### KAVS1782-E

The adapter command configuration file storage directory does not exist.

アダプターコマンド設定ファイルの格納ディレクトリがありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
アダプターコマンド設定ファイルの格納ディレクトリがあるかどうか確認してください。

#### KAVS1783-E

An attempt to delete the 設定ファイル adapter command configuration file failed.

アダプターコマンド設定ファイルの削除に失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
アダプターコマンド設定ファイルの有無およびアクセス権を確認してください。

#### KAVS1784-E

An attempt to setup an adapter command failed.

アダプターコマンドのセットアップに失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

#### KAVS1785-E

The アダプタコマンド設定ファイル adapter command configuration file does not exist.

アダプターコマンド設定ファイルがありません。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVS1786-E

An unexpected error occurred.

予期しないエラーが発生しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
保守員に連絡してください。

#### KAVS1790-E

An error occurred in the processing which acquires the process state of job execution environment. : 保守情報 1  
ジョブ実行環境の運用状態を取得する処理でエラーが発生しました :保守情報1

ジョブ実行環境の運用状態を取得する処理でエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

ただし、jajs\_maintain コマンドに -show オプションを指定している場合は処理を続行します。

(O)

次に示す保守情報 1 に対応する KAVU メッセージの対処法を確認し、要因を取り除いたあと、メンテナンスコマンドを再実行してください。

- データベース情報の取得に失敗しました  
KAVU0500-E
- メモリー不足が発生しました  
KAVU0922-E
- 論理矛盾が発生しました  
KAVU0923-E
- マネージャーに接続できません  
KAVU0945-E
- マネージャーホスト名から IP アドレス解決に失敗しました  
KAVU0946-E
- 運用開始処理中または停止処理中です  
KAVU0950-E
- マネージャーからの応答が返ってきません  
KAVU0953-E
- マネージャーの内部的要因でコマンドの実行に失敗しました  
KAVU0954-E
- マネージャーでメモリー不足が発生しました  
KAVU0966-E
- マネージャーで致命的なエラーが発生しました  
KAVU0968-E
- マネージャーで論理矛盾が発生しました  
KAVU0969-E
- 要求したマネージャーでは未サポート要求です  
KAVU0970-E
- 実行環境が不正です  
KAVU0972-E

### KAVS1791-E

An error occurred in the processing which usually requires operation of job execution environment. :保守情報1

ジョブ実行環境に通常運転を要求する処理でエラーが発生しました :保守情報1

ジョブ実行環境に通常運転を要求する処理でエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

次に示す保守情報 1 に対応する KAVU メッセージの対処法を確認し、要因を取り除いたあと、メンテナンスコマンドを再実行してください。

- データベース情報の取得に失敗しました  
KAVU0500-E
- メモリー不足が発生しました  
KAVU0922-E

- 論理矛盾が発生しました  
KAVU0923-E
- マネージャーに接続できません  
KAVU0945-E
- マネージャーホスト名から IP アドレス解決に失敗しました  
KAVU0946-E
- 運用開始処理中または停止処理中です  
KAVU0950-E
- マネージャーからの応答が返ってきません  
KAVU0953-E
- マネージャーの内部的要因でコマンドの実行に失敗しました  
KAVU0954-E
- マネージャーでメモリー不足が発生しました  
KAVU0966-E
- マネージャーで致命的なエラーが発生しました  
KAVU0968-E
- マネージャーで論理矛盾が発生しました  
KAVU0969-E
- 要求したマネージャーでは未サポート要求です  
KAVU0970-E
- 実行環境が不正です  
KAVU0972-E

### KAVS1792-E

The job execution control manager is currently running.  
ジョブ実行制御マネージャーが起動中です

JP1/AJS2 サービスのジョブ実行制御マネージャープロセスが起動中です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/AJS2 サービスが停止しているか確認し、必要に応じてコマンドを再実行してください。

### KAVS1801-I

The queueless agent will now start.  
キューレスエージェントを開始します

キューレスエージェントサービスを開始します。

(S)

キューレスエージェントサービスを開始します。

### KAVS1802-I

The queueless agent will now stop.  
キューレスエージェントを終了します

キューレスエージェントサービスを終了します。

(S)

キューレスエージェントサービスを終了します。



**KAVS1803-E**

The queueless agent abnormally ended.  
キューレスエージェントが異常終了しました

キューレスエージェントサービスが異常終了しました。

- (S)  
キューレスエージェントサービスが異常終了しました。
- (O)  
このメッセージの直前に出力されるメッセージの対処方法に従って対処してください。

**KAVS1804-I**

The queueless agent will now terminate.  
キューレスエージェントを打ち切ります

キューレスエージェントサービスが、`ajsqlstop` コマンドから強制停止要求を受け付けました。

- (S)  
キューレスエージェントサービスを終了します。

**KAVS1805-E**

The port (ポート名) cannot be used because another user is already using the port.  
ポート (ポート名) は他で使用中です

ポート「ポート名」が使用済みのため、このメッセージを出力したサービスを起動できません。

- (S)  
このメッセージを出力したサービスを終了します。
- (O)  
次のどちらかの対処を実施したあと、このメッセージを出力したサービスを再起動してください。
- `netstat` コマンドなどで、ポート「ポート名」を使用しているプロセスを特定し、該当するプロセスを停止する。Windows の場合はタスクマネージャ、UNIX の場合は `kill` コマンドを使用して該当するプロセスを停止する。
  - `services` ファイルを編集して、このメッセージを出力したサービスが使用するポート番号を変更する。
- このメッセージを出力したサービス名は、このメッセージと同時に統合トレースログへ出力される AP 名から特定してください。  
統合トレースログファイルへ出力される内容の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.2.1(2) 統合トレースログ」を参照してください。

**KAVS1806-I**

The user mapping cache was cleared.: プロセス名  
ユーザーマッピングのキャッシュをクリアしました: プロセス名

「プロセス名」のユーザーマッピングキャッシュを消去しました。

- (S)  
「プロセス名」のユーザーマッピングキャッシュを消去しました。

**KAVS1807-E**

The maximum number of waiting jobs has been reached, so the job (ジョブ名) cannot be accepted.  
ジョブ実行待ち数上限に達したため、ジョブ (ジョブ名) を受け付けることができません

最大同時ジョブ実行数、および最大待ちジョブ数の上限に達したため、キューレスジョブ「ジョブ名」を受け付けることができません。

- (S)  
キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

- (O)  
JP1/AJS2・View から、該当するキューレスエージェントサービスに対して実行待ち状態であるキューレスジョブの数が、最大待ちジョブ数の上限に達していないことを確認してください。上限に達していない状態で、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。
- また、現在設定されている最大同時実行ジョブ数、および最大待ちジョブ数の値は、現在の運用に適していないおそれがあります。見直しを実施し、必要に応じて値を変更してください。
- 最大同時実行ジョブ数、および最大待ちジョブ数の値は、環境設定パラメーター `AJSQJL_JOBMAX`、および `AJSQJL_JOBWAITMAX` で設定します。詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設定」(Windows の場合)、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.4 キューレスジョブ実行環境の設定」(UNIX の場合)を参照してください。

**KAVS1808-E**

The maximum number of waiting jobs in the class (クラス名) has been reached, so the job (ジョブ名) cannot be accepted.

クラス (クラス名) のジョブ実行待ち数上限に達したため、ジョブ (ジョブ名) を受け付けることができません

クラス「クラス名」の最大同時ジョブ実行数、および最大待ちジョブ数の上限に達したため、キューレスジョブ「ジョブ名」を受け付けることができません。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

JP1/AJS2 - View から、該当するキューレスエージェントサービスのクラス「クラス名」に対して実行待ち状態であるキューレスジョブの数が、最大待ちジョブ数の上限に達していないことを確認してください。上限に達していない状態で、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

現在設定されているクラス「クラス名」の最大同時実行ジョブ数、および最大待ちジョブ数の値は、現在の運用に適していないおそれがあります。見直しを実施し、必要に応じて値を変更してください。

クラスに関する最大同時実行ジョブ数、および最大待ちジョブ数の値は、環境設定パラメーター `AJSQ_L_CJOBMAX`、および `AJSQ_L_CJOBWAITMAX` で設定します。詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.15 キューレスジョブ環境でクラスを指定したジョブを実行するための設定」(Windows の場合)、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.12 キューレスジョブ環境でクラスを指定したジョブを実行するための設定」(UNIX の場合)を参照してください。

## KAVS1809-E

The request is to an unattached host (ホスト名), so the job (ジョブ名) cannot be accepted.

アタッチされていないホスト (ホスト名) への要求のため、ジョブ(ジョブ名)を受け付けることができません

アタッチされていないホスト「ホスト名」へのジョブ実行要求のため、キューレスジョブ「ジョブ名」を受け付けることができません。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

`ajsqlattach` コマンドを実行してホスト「ホスト名」をアタッチし、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

(例) 論理ホスト `Lhost` をアタッチする場合

次のように `ajsqlattach` コマンドを実行してください。

```
ajsqlattach -h Lhost
```

`ajsqlattach` コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `ajsqlattach`」を参照してください。

## KAVS1810-E

The specified class (クラス名) does not exist, so the job (ジョブ名) cannot be accepted.

指定したクラス (クラス名) は存在しないため、ジョブ (ジョブ名) を受け付けることができません

クラス「クラス名」がないため、キューレスジョブ「ジョブ名」を受け付けることができません。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

次の対処を実施してください。

- [実行ホスト] に正しいホスト名、およびクラス名を指定していることを確認してください。不正なホスト名、またはクラス名を訂正したあと、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。
- クラス「クラス名」が [実行ホスト] に指定したホスト上にあることを、`ajsqlstatus` コマンドを実行して確認してください。

(例) 論理ホスト `Lhost` の詳細情報を出力する場合  
次のように `ajsqlstatus` コマンドを実行してください。

```
ajsqlstatus -h Lhost
```

`ajsqlstatus` コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `ajsqlstatus`」を参照してください。

- クラス「クラス名」がない場合は、クラスを作成してエラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。クラス作成の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.15 キューレスジョブ環境でクラスを指定したジョブを実行するための設定」を参照してください。

## KAVS1811-E

Memory is insufficient, so the job (ジョブ名) cannot be accepted.

メモリ不足のためジョブ (ジョブ名) を受け付けることができません

メモリー不足のため、キューレスジョブ「ジョブ名」を受け付けることができません。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

Windows の場合はタスクマネージャ、UNIX の場合は `top` コマンドなどを使用してメモリーの空き状態を確認してください。

ジョブ実行に必要なメモリーを確保できる状態になったあと、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

### KAVS1812-E

The configuration definition of the logical host (論理ホスト名) does not exist.

論理ホスト (論理ホスト名) の構成定義がありません

論理ホスト「論理ホスト名」の環境設定がされていません。

(S)

キューレスエージェントサービス起動時にエラーが発生した場合は、処理を続行します。ただし、当該論理ホストは、ジョブ実行先ホストとして扱われません。コマンド実行時にエラーが発生した場合は、処理を中止します。

(O)

論理ホスト「論理ホスト名」の環境設定を実施後、キューレスエージェントサービスを再起動してください。また、コマンド実行時の場合は、引数に正しい論理ホスト名が指定されていることを確認してください。

### KAVS1813-E

An error occurred during an attempt to acquire the configuration definition of the logical host (論理ホスト). (function=保守情報1, code=保守情報2)

論理ホスト (論理ホスト) の構成定義の取得に失敗しました (関数=保守情報1, コード=保守情報2)

論理ホスト「ホスト名」の環境設定パラメーター値の取得に失敗しました。

(S)

- キューレスエージェントサービスが起動処理でこのメッセージを出力した場合、キューレスエージェントサービスは異常終了します。論理ホストのアタッチ処理でこのメッセージを出力した場合、該当する論理ホストのアタッチ処理を中止します。
- キューレスジョブ実行制御関連のコマンドがこのメッセージを出力した場合、コマンド実行を中止します。
- キューレスクラスタプロセスが起動処理でこのメッセージを出力した場合、論理ホストのアタッチ処理を中止して起動処理を続行します。

(O)

統合トレースログから、このメッセージを出力したサービス (プロセス) を特定してください。キューレスエージェントサービスがこのメッセージを出力した場合は、物理ホスト、および該当する論理ホスト「論理ホスト名」の環境設定を再度実施し、キューレスエージェントサービスを再起動してください。キューレスジョブ実行関連のコマンドがこのメッセージを出力した場合は、引数に正しい論理ホスト名が指

定されていることを確認してください。

キューレスクラスタプロセスがこのメッセージを出力した場合は、論理ホスト「論理ホスト名」の環境設定を再度実施し、該当する JP1/AJS2 サービスを再起動してください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

また、このメッセージを出力したサービス名 (プロセス名) は、このメッセージと同時に統合トレースログへ出力される AP 名から特定してください。統合トレースログファイルへ出力される内容の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.2.1(2) 統合トレースログ」を参照してください。

### KAVS1814-E

The host name is invalid. : 保守情報1 (保守情報2) 保守情報3

ホスト名が不正です: 保守情報1 (保守情報2) 保守情報3

保守情報 1 に出力されたホスト名が不正です。次の原因が考えられます。

- 保守情報 1 に出力されたホスト名の IP アドレスを解決できない
- 保守情報 1 に出力されたホスト名の環境設定に誤りがある

なお、保守情報 1 に何も出力されない場合は、物理ホスト名を指します。

(S)

- キューレスエージェントサービスが起動処理でこのメッセージを出力した場合、キューレスエージェントサービスは異常終了します。論理ホストのアタッチ処理でこのメッセージを出力した場合、該当する論理ホストのアタッチ処理を中止します。キューレスジョブ実行処理、およびキューレスジョブ強制終了処理でこのメッセージを出力した場合、処理を続行します。
- キューレスファイル転送サービスが起動処理でこのメッセージを出力した場合、キューレスファイル転送サービスは異常終了します。

(O)

次の対処を実施してください。

- hosts ファイル、および jp1hosts ファイルに、保守情報 1 に出力されたホスト名が設定されていることを確認してください。
- キューレスジョブの強制終了処理でこのメッセージを出力した場合は、Windows の場合はタスクマネージャ、UNIX の場合は kill コマンドなどで、該当するプログラムを手動で終了してください。

**KAVS1815-E**

An attempt to write to the status file (ステータスファイル名) failed.: 保守情報1 (保守情報2)  
ステータスファイル (ステータスファイル名) の書き込みに失敗しました: 保守情報1 (保守情報2)

キューレスエージェントサービスで論理ホスト単位に管理するステータスファイル「ステータスファイル名」の書き込みに失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のどれかの対処を実施してください。

- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、ステータスファイル「ステータスファイル名」が削除されているおそれがあります。ファイルがない場合は、キューレスエージェントサービスを再起動、またはエラーとなったステータスファイル「ステータスファイル名」を所有する論理ホストをデタッチし、再度アタッチしてください。
- 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、ステータスファイル「ステータスファイル名」に対する書き込み権限が変更されているおそれがあります。キューレスエージェントサービス起動ユーザー、およびキューレスジョブを実行する OS ユーザーから、ステータスファイル「ステータスファイル名」に対して書き込みができるよう権限を変更し、キューレスエージェントサービスを再起動、またはエラーとなったステータスファイル「ステータスファイル名」を所有する論理ホストをデタッチし、再度アタッチしてください。
- 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。また、次の原因も考えられます。該当するエラー要因を取り除いてください。
  - ディスクの空き容量が不足している
  - メモリーが不足している
  - ステータスファイル作成先ディレクトリに、ステータスファイルと同じ名前のディレクトリが作成されている
 エラー要因を取り除いたあと、キューレスエージェントサービスを再起動、またはエラーとなったステータスファイル「ステータスファイル名」を所有する論理ホストをデタッチし、再度アタッチしてください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

(例)

- 論理ホスト Lhost をデタッチする場合  
次のように ajsqldetach コマンドを実行してください。

```
ajsqldetach -h Lhost
```

ajsqldetach コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsqldetach」を参照してください。

- 論理ホスト Lhost をアタッチする場合  
次のように ajsqlattach コマンドを実行してください。

```
ajsqlattach -h Lhost
```

ajsqlattach コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsqlattach」を参照してください。

**KAVS1816-E**

An attempt to open the status file (ステータスファイル名) failed.: 保守情報1 (保守情報2)  
ステータスファイル (ステータスファイル名) のオープンに失敗しました: 保守情報1 (保守情報2)

キューレスエージェントサービスの論理ホスト単位に管理するステータスファイル「ステータスファイル名」のオープンに失敗したため、当該論理ホストのステータスファイルは使用できません。

(S)

キューレスエージェントサービスが起動処理でこのメッセージを出力した場合、キューレスエージェントサービスは異常終了します。論理ホストのアタッチ処理でこのメッセージを出力した場合、該当する論理ホストのアタッチ処理を中止します。

(O)

次のどれかの対処を実施してください。

- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、ステータスファイル「ステータスファイル名」が削除されているおそれがあります。ファイルがない場合は、キューレスエージェントサービスを再起動、またはエラーとなったステータスファイル「ステータスファイル名」を所有する論理ホストをデタッチし、再度アタッチしてください。
- 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、ステータスファイル「ステータスファイル名」に対する読み込み、および書き込み権限が変更されているおそれがあります。キューレスエージェントサービス起動ユーザー、およびキューレスジョブを実行する OS ユーザーから、ステータスファイル「ステータスファイル名」に対して読み込み、および書き込みができるよう権限を変更し、キューレスエージェントサービスを再起動、またはエラーとなったステータスファイル「ステータスファイル名」を所有する論理ホストをデタッチし、再度アタッチしてください。
- 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。また、次の原因も考えられます。該当するエ

ラー要因を取り除いてください。

- ・ディスクの空き領域が不足している
  - ・メモリーが不足している
  - ・ステータスファイル作成先ディレクトリに、ステータスファイルと同じ名前のディレクトリが作成されている
- エラー要因を取り除いたあと、キューレスエージェントサービスを再起動、またはエラーとなったステータスファイル「ステータスファイル名」を所有する論理ホストをデタッチし、再度アタッチしてください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

(例)

- ・論理ホスト Lhost をデタッチする場合  
次のように ajsqldetach コマンドを実行してください。  

```
ajsqldetach -h Lhost
```

ajsqldetach コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsqldetach」を参照してください。
- ・論理ホスト Lhost をアタッチする場合  
次のように ajsqlattach コマンドを実行してください。  

```
ajsqldattach -h Lhost
```

ajsqldattach コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsqlattach」を参照してください。

## KAVS1817-E

IPC initialization failed, so the job (ジョブ名) cannot be executed. (保守情報1)

通信初期化処理に失敗したため、ジョブ (ジョブ名) が実行できません (保守情報1)

次のどれかの要因によって、キューレスジョブ「ジョブ名」が実行できません。

- ・キューレスジョブ「ジョブ名」を実行したホスト名の IP アドレス解決に失敗した (誤った IP アドレスを解決した)
- ・通信障害が発生している
- ・メモリー不足が発生している

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

次のどれかの対処を実施したあと、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

- ・DNS, hosts ファイル, または jp1hosts ファイルに、正しいキューレスジョブ実行ホスト名、およ

び IP アドレスを登録する。

- ・ ping コマンドなどでネットワークの状態を確認し、通信障害発生要因を取り除く。
- ・ Windows の場合はタスクマネージャ, UNIX の場合は top コマンドなどを使用してメモリーに十分な空きがあることを確認する。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

## KAVS1818-E

An error occurred during internal file (ファイル名) processing, so the job (ジョブ名) cannot be executed. : 保守情報1 (保守情報2)

内部ファイル (ファイル名) の処理でエラーが発生したため、ジョブ (ジョブ名) が実行できません : 保守情報1 (保守情報2)

キューレスジョブ実行時に使用する内部ファイル「ファイル名」の処理でエラーが発生したため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

次のエラー要因を取り除いたあと、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

- ・保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、内部ファイル「ファイル名」に出力されたディレクトリパスがあることを確認してください。
- ・保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、キューレスエージェントサービス起動ユーザー、および該当するキューレスジョブを実行する OS ユーザーに、内部ファイル「ファイル名」のディレクトリパスに対して読み込み、および書き込みができる適切な権限が設定されていることを確認してください。
- ・保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。また、次の原因も考えられます。該当するエラー要因を取り除いてください。
  - ・ディスクの空き容量が不足している
  - ・メモリーが不足している

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1819-E

The specified work path (パス名) is invalid, so the job (ジョブ名) cannot be executed. : 保守情報1 (保守情報2)  
ワークパス (パス名) の指定に誤りがあるため、ジョブ (ジョブ名) が実行できません : 保守情報1 (保守情報2)

ワークパス「パス名」、またはカレントディレクトリへのアクセスに失敗したため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

- (S)
- キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。
- (O)
- ワークパス「パス名」に出力されたディレクトリパスがあること、またはキューレスエージェントサービス起動ユーザー、およびキューレスジョブを実行するOSユーザーから、ワークパス「パス名」に対して読み込み、および書き込みができることを確認してください。確認後、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

### KAVS1820-E

Memory is insufficient, so the job (ジョブ名) cannot be executed.

メモリ不足のためジョブ (ジョブ名) が実行できません

メモリー不足のため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

- (S)
- キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。
- (O)
- Windows の場合はタスクマネージャ、UNIX の場合は top コマンドなどを使用してメモリーの空き状態を確認してください。  
エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」の実行に必要なメモリーを確保できる状態になったあと、ジョブを再度実行してください。

### KAVS1821-E

An iconv\_open error occurred, so character conversion is not possible. : 保守情報1 (保守情報2)  
文字コード変換の準備に失敗したため、文字コード変換は行いません : 保守情報1 (保守情報2)

文字コード変換の準備に失敗したため、文字コード変換は行いません。

- (S)
- 処理を続行します。
- (O)
- 文字コード変換を行うには、文字コードの設定を確認してキューレスエージェントを再起動してください。

### KAVS1822-E

The file (ファイル名) does not exist on the transmission source host (ホスト名), so the job (ジョブ名) cannot be executed.

転送元ホスト (ホスト名) のファイル (ファイル名) が存在しないため、ジョブ (ジョブ名) が実行できません

マネージャーホスト「ホスト名」でファイル「ファイル名」がないため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

- (S)
- キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。
- (O)
- 次のどちらかの対処を実施したあと、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。
- 転送元ファイル「ファイル名」が、転送元ホスト「ホスト名」上にあること
  - 転送元ファイル「ファイル名」のファイル名が、254 文字以下であること (PC ジョブの場合)

### KAVS1823-E

No access permission is granted for the file (ファイル名) on the transmission host (ホスト名), so the job (ジョブ名) cannot be executed.

転送元ホスト (ホスト名) のファイル (ファイル名) にアクセス権限がないため、ジョブ (ジョブ名) が実行できません

マネージャーホスト「ホスト名」のファイル「ファイル名」にアクセス権限がないため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

- (S)
- キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。
- (O)
- ファイル「ファイル名」にディレクトリパス名が指定されているおそれがあります。ディレクトリパス名を指定している場合は、[ 転送元ファイル名 ] にファイル名を指定し、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

### KAVS1824-E

An error occurred in the file (ファイル名) on the transmission source host (ホスト名), so the job (ジョブ名) cannot be executed.

転送元ホスト (ホスト名) のファイル (ファイル名) でエラーが発生したため、ジョブ (ジョブ名) が実行できません

マネージャーホスト「ホスト名」上のファイル「ファイル名」の読み込みに失敗したため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

- (S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

キューレスファイル転送サービスを起動したユーザーに、ファイル「ファイル名」に対する読み込み権限を与えたあと、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

### KAVS1825-E

An error occurred in the transmission file (ファイル名), so the job (ジョブ名) cannot be executed. : 保守情報1 (保守情報2)

転送先ファイル (ファイル名) でエラーが発生したため、ジョブ (ジョブ名) が実行できません : 保守情報1 (保守情報2)

マネージャーホスト「ホスト名」上のファイル「ファイル名」でエラーが発生したため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

次のエラー要因を取り除いたあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、転送先ファイル「ファイル名」に指定されたディレクトリパスがありません。該当するディレクトリパスがあることを確認してください。
- 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、転送先ファイル「ファイル名」の作成に失敗しています。転送先ファイル「ファイル名」を作成できるように、該当するファイル、またはディレクトリパスにキューレスエージェントサービスの起動ユーザー、およびマッピングされた OS ユーザーで読み込み、および書き込みができる権限を設定してください。
- 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVS1826-E

An IPC error occurred during file transmission, so the job (ジョブ名) cannot be executed. : 保守情報1 (保守情報2, 保守情報3)

ファイル転送で通信エラーが発生したため、ジョブ (ジョブ名) が実行できません : 保守情報1 (保守情報2, 保守情報3)

ファイル転送で通信エラーが発生したため、キューレスジョブ「ジョブ名」が実行できません。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

マネージャーホスト、およびエージェントホスト間でそれぞれ ping コマンド、または jplping コマンドを実行し、正常に通信ができることを確認したあと、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

また、保守情報 1 の出力内容に従ってエラー要因を取り除き、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVS1827-E

The job (ジョブ名) cannot be executed because the processing is restricted.

制限処理中のためジョブ (ジョブ名) を実行できません

キューレスエージェントサービスが制限処理中のため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

キューレスエージェントサービスの制限停止が終了したあと、キューレスエージェントサービスを再起動し、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

### KAVS1828-E

The specified priority value is invalid. (ジョブ名)  
優先順位の指定に誤りがあります (ジョブ名)

UNIX ジョブで実行優先順位として 4 または 5 を指定した場合は、スーパーユーザー権限が必要です。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

キューレスジョブ「ジョブ名」の実行 OS ユーザーをスーパーユーザーに変更する、または優先順位を 1 ~ 3 に変更してから、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

### KAVS1829-E

A system call (関数名) error occurred in the Queueless Agent service. : 保守情報1 保守情報2

キューレスエージェントサービスでシステムコール (関数名) でエラーが発生しました : 保守情報1 保守情報2

キューレスエージェントサービスでシステムコールエラーが発生しました。

(S)

サービス起動処理,または要求処理を中止します。

(O)

- 関数名  
=GetProcAddress(Wow64DisableWow64FsRedirection), および保守情報 2=127 の場合, Windows Server 2003 (x64) Service Pack 1 以降以外の OS で, キューレスジョブ実行環境設定ファイルで定義する環境設定パラメーター  
DISABLE\_FS\_REDIRECTION を設定しています。  
この環境設定パラメーターは, Windows Server 2003 (x64) Service Pack 1 以降以外の OS には設定しないでください。  
DISABLE\_FS\_REDIRECTION の詳細については, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.28 WOW64 環境でジョブを実行する際にファイルシステムリダイレクトを無効にする設定」を参照してください。
  - 関数名 = CreateDesktop, 保守情報 2=8 の場合, および環境設定パラメーター  
AJSQ\_CREATEWINDOWSTATION に yes を設定している場合, ジョブ実行時に使用するジョブ実行 OS ユーザーの数が多過ぎます。  
マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.29 キューレスジョブが戻り値 128 で異常検出終了となる問題を回避するための設定」の「(4) 注意事項」に従って対処してください。  
AJSQ\_CREATEWINDOWSTATION の詳細については, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.29 キューレスジョブが戻り値 128 で異常検出終了となる問題を回避するための設定」を参照してください。
- 上記以外の場合は, システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

## KAVS1830-E

The job (ジョブ名) cannot be executed because the length of the string (変換前の文字列) after variable substitution is too long.: 変換後の文字列長  
変数置換処理後の文字列 (変換前の文字列) が長すぎるためジョブ (ジョブ名) が実行できません: 変換後の文字列長

ジョブ定義で使用している変数を置換すると, 指定可能な文字列の最大長を超えてしまう定義項目があるため, キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。  
変数置換後の各定義項目の最大長は次のとおりです。

- 実行ファイル名 (PC ジョブ限定): 767 バイト
- スクリプトファイル名 (UNIX ジョブ限定): 767 バイト

- パラメーター: 1535 バイト
- コマンド文 (UNIX ジョブ限定): 制限なし
- 標準入力ファイル名: 767 バイト
- 標準出力ファイル名: 767 バイト
- 標準エラー出力ファイル名: 767 バイト

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

ジョブ定義を編集し, 変数置換後の文字列が最大長を超えないようにしてから, エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

## KAVS1831-E

An attempt to attach the logical host (論理ホスト) has failed.

論理ホスト (論理ホスト) のアタッチに失敗しました

キューレスエージェントサービスの起動時, ajsqlattach コマンド実行時, またはキューレスクラスタプロセス起動時に論理ホスト「論理ホスト」のアタッチに失敗しました。

(S)

キューレスエージェントサービスは, 該当する論理ホストのアタッチ処理を中止して処理を続行します。  
ajsqlattach コマンドは異常終了します。  
キューレスクラスタプロセスは, 該当する論理ホストのアタッチ処理を中止します。アタッチ処理を中止した場合, デフォルトの設定ではキューレスクラスタプロセスは異常終了しないで起動処理を続行します。  
キューレスクラスタプロセスを異常終了させたい場合は, 環境設定パラメーター AJSQ\_CLUSTERREQ に「error」を設定してください。  
AJSQ\_CLUSTERREQ の詳細については, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設定」を参照してください。

(O)

共有ディスクがマウントされていない, ディスク空き容量不足などの原因が考えられます。  
統合トレースログに出力されている前後のエラーメッセージに従って対処してください。  
エラー要因を取り除いたあと, ajsqlattach コマンドを実行してエラーとなった論理ホストを再度アタッチしてください。  
また, キューレスクラスタプロセス起動時にこのメッセージが出力された場合は, エラー要因を取り除いたあと, 該当する JP1/AJS2 のサービスを再起動して, エラーとなった論理ホストを再度アタッチしてください。

(例) 論理ホスト Lhost をアタッチする場合

次のように ajsqlattach コマンドを実行してください。



```
ajsqlattach -h Lhost
```

ajsqlattach コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsqlattach」を参照してください。

### KAVS1832-E

Reception processing timed out during TCP/IP communication. (接続先ホスト名, ジョブ名, 保守情報)  
TCP/IP通信で受信処理がタイムアウトになりました (接続先ホスト名, ジョブ名, 保守情報)

応答受信待ちでタイムアウトが発生しました。

次の原因が考えられます。

- 接続先のホストの CPU 負荷が非常に高い
- システム資源が不足している

(S)

キューレスジョブ起動時にエラーが発生した場合は、キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

キューレスジョブ終了時にエラーが発生した場合は、キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「異常検出終了」にします。

(O)

接続先ホストの CPU 負荷状況、またはカーネルパラメーターの設定でシステム資源の制限値を確認したあと、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVS1833-E

An error occurred in the standard input file (ファイル名). : 保守情報1 (保守情報2)  
標準入力ファイル (ファイル名) でエラーが発生しました : 保守情報1 (保守情報2)

標準入力ファイルでエラーが発生しました。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

次のエラー要因を取り除いたあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、標準入力ファイル「ファイル名」がありません。該当する標準入力ファイル「ファイル名」があることを確認し、再度ジョブを実行してください。
- 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、標準入力ファイル「ファイル名」の読み込みに失敗しています。マッピングされた OS ユーザー

で標準入力ファイル「ファイル名」を読み込みができるように、該当するファイル、およびディレクトリパスに適切な権限を設定してから、再度ジョブを実行してください。

- 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVS1834-E

An error occurred in the standard output file (ファイル名). : 保守情報1 (保守情報2)  
標準出力ファイル (ファイル名) でエラーが発生しました : 保守情報1 (保守情報2)

標準出力ファイルでエラーが発生しました。

(S)

キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

(O)

次のエラー要因を取り除いたあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、標準出力ファイル「ファイル名」がありません。該当する標準出力ファイル「ファイル名」があることを確認し、再度ジョブを実行してください。
- 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、標準出力ファイル「ファイル名」の読み込み、または書き込みに失敗しています。マッピングされた OS ユーザーで標準出力ファイル「ファイル名」の読み込み、または書き込みができるように、該当するファイル、およびディレクトリパスに適切な権限を設定してから、再度ジョブを実行してください。
- 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVS1835-E

An error occurred in the standard error output file (ファイル名). : 保守情報1 (保守情報2)  
標準エラー出力ファイル (ファイル名) でエラーが発生しました : 保守情報1 (保守情報2)

標準エラー出力ファイルでエラーが発生しました。

(S)

キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

(O)

次のエラー要因を取り除いたあと、エラーとなった

キューレスジョブを再度実行してください。

- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、標準エラー出力ファイル「ファイル名」がありません。該当する標準エラー出力ファイル「ファイル名」があることを確認し、再度ジョブを実行してください。
- 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、標準エラー出力ファイル「ファイル名」の読み込み、または書き込みに失敗しています。マッピングされた OS ユーザーで標準エラー出力ファイル「ファイル名」の読み込み、または書き込みができるように、該当するファイル、およびディレクトリパスに適切な権限を設定してから、再度ジョブを実行してください。
- 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1836-E

An error occurred in the environment variable file (ファイル名): 保守情報1 (保守情報2)  
環境変数ファイル (ファイル名) でエラーが発生しました: 保守情報1 (保守情報2)

環境変数ファイルでエラーが発生しました。

(S)

キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

(O)

次のエラー要因を取り除いたあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、環境変数ファイル「ファイル名」がありません。該当する環境変数ファイル「ファイル名」があることを確認し、再度ジョブを実行してください。
- 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、環境変数ファイル「ファイル名」の読み込みに失敗しています。マッピングされた OS ユーザーで環境変数ファイル「ファイル名」の読み込みができるように、該当するファイル、およびディレクトリパスに適切な権限を設定してから、再度ジョブを実行してください。
- 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1837-E

A JP1/AJS2 environment setting is incorrect. (logical host=論理ホスト名,label=環境設定パラメーター名)  
JP1/AJS2環境設定の設定値に誤りがあります (論理ホスト=論理ホスト名, ラベル=環境設定パラメーター名)

論理ホスト「論理ホスト名」の JP1/AJS2 環境設定の設定値に誤りがあります。

(S)

ラベル「環境設定パラメーター名」のデフォルト値を使用して処理を続行します。

(O)

ホスト「論理ホスト名」でのラベル「環境設定パラメーター名」の設定値の誤りを取り除き、物理ホストの場合はキューレスエージェントサービスを再起動、論理ホストの場合は ajsqlattach コマンドを実行してホスト「論理ホスト名」をアタッチしてください。

また、キューレスクラスタプロセス起動時にこのメッセージが出力された場合は、ラベル「環境設定パラメーター名」の設定値の誤りを取り除いたあと、該当する JP1/AJS2 のサービスを再起動してください。

(例) 論理ホスト Lhost をアタッチする場合

次のように ajsqlattach コマンドを実行してください。

```
ajsqlattach -h Lhost
```

ajsqlattach コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsqlattach」を参照してください。

### KAVS1838-E

An attempt to read the status file (ファイル名) failed.: 保守情報1 (保守情報2)  
ステータスファイル (ファイル名) の読み込みに失敗しました: 保守情報1 (保守情報2)

キューレスエージェントサービスが論理ホスト単位に管理するステータスファイル「ファイル名」の読み込みに失敗しました。

(S)

エラーとなったステータスファイル「ファイル名」に、キューレスジョブの終了状態を書き込みません。

(O)

次のエラー要因を取り除いたあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、ステータスファイル「ファイル名」がありません。該当するファイル「ファイル名」があることを確認してください。
- 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、ステータスファイル「ファイル名」の読み込

みに失敗しています。キューレスエージェントサービス起動 OS ユーザーでステータスファイル「ファイル名」の読み込みができるように、該当するファイル、およびディレクトリパスに適切な権限が設定されているか確認してください。

- 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1839-E

An error occurred during acquisition of the judgment file (ファイル名): 保守情報1 (保守情報2)  
判定ファイル (ファイル名) 情報取得でエラーが発生しました: 保守情報1 (保守情報2)

判定ファイル「ファイル名」の情報取得でエラーが発生しました。

- (S)
- キューレスジョブの状態を「起動失敗」、または「異常検出終了」にします。
- (O)
- 次のエラー要因を取り除いたあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。
- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、判定ファイル「ファイル名」がありません。該当する判定ファイル「ファイル名」があることを確認し、再度ジョブを実行してください。
  - 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、判定ファイル「ファイル名」の読み込みに失敗しています。マッピングされた OS ユーザーで判定ファイル「ファイル名」を読み込みができるように、該当するファイル、およびディレクトリパスに適切な権限を設定してから、再度ジョブを実行してください。
  - 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。
- 上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1840-E

There are too many characters in a line of the environment variable file (ファイル名).  
環境変数ファイル (ファイル名) の1行の文字数が多すぎます

環境変数ファイル「ファイル名」の1行の文字数が多すぎます。

- (S)
- キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

- (O)
- 環境変数ファイルの内容を確認し、一行の長さが 1,023 バイト以下となるようにしてから、再度ジョブを実行してください。

### KAVS1841-E

Too many processes exist, so the job (ジョブ名) cannot be executed.  
プロセス数が多すぎるため、ジョブ (ジョブ名) の実行ができません

システム内で起動しているプロセス数が多過ぎるため、キューレスジョブ「ジョブ名」の実行ができません。

- (S)
- キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。
- (O)
- システムで同時に起動できるプロセス数の制限を超えているおそれがあります。ps コマンドなどで、システム上に起動されているプロセスの数を確認してください。プロセス数の制限を超えていない状態で、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。
- また、カーネルパラメーターに設定されているプロセス数の制限は、現在の運用に適していないおそれがあります。システム全体で見直しを実施し、必要に応じて値を変更してください。
- JP1/AJS2 についてのカーネルパラメーターの見積もりについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 4.2.5 カーネルパラメーターを見積もる」を参照してください。

### KAVS1842-E

Job result information cannot be sent because an internal file (ファイル名) error occurred.: 保守情報1 (保守情報2)  
内部ファイル (ファイル名) の処理でエラーが発生したため、ジョブ結果を通知できませんでした: 保守情報1 (保守情報2)

キューレスジョブ実行時に使用する内部ファイル「ファイル名」の処理でエラーが発生したため、マネージャーホストへ結果ファイルの内容を通知できませんでした。

- (S)
- キューレスジョブ起動前にこのメッセージが出力された場合は、該当するジョブの状態を「起動失敗」にします。
- キューレスジョブ起動後にこのメッセージが出力された場合は、該当するジョブの状態を「異常検出終了」にします。
- (O)
- 次のエラー要因を取り除いたあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。
- 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された

場合、内部ファイル「ファイル名」の作成、読み込み、または書き込みに失敗しています。キューレスエージェントサービスの起動ユーザー、およびマッピングされた OS ユーザーで内部ファイル「ファイル名」を読み込み、または書き込みができるように、内部ファイルがあるディレクトリパスに適切な権限を設定してください。

- 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。また、次の原因も考えられます。該当するエラー要因を取り除いてください。
  - ・ディスクの空き容量が不足している
  - ・メモリーが不足している

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1843-E

User mapping failed on the remote ftp host (ホスト名), so the job (ジョブ名) cannot be executed.

ファイル転送元ホスト（ホスト名）でユーザーマッピングに失敗したため、ジョブ（ジョブ名）の実行ができません

マネージャーホスト「ホスト名」でユーザーマッピングに失敗したため、キューレスジョブ「ジョブ名」の実行ができません。

- (S)
- キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

- (O)
- マネージャーホスト「ホスト名」の統合トレースログに、キューレスジョブ「ジョブ名」がエラーとなった要因を示すメッセージが出力されます。該当するメッセージの内容に従って対処してください。

### KAVS1844-E

An error occurred on the remote ftp host (ホスト名), so the job (ジョブ名) cannot be executed.

ファイル転送元ホスト（ホスト名）でエラーが発生したため、ジョブ（ジョブ名）の実行ができません

マネージャーホスト「ホスト名」からエージェントホストへのファイル転送に失敗したため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

- (S)
- キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

- (O)
- マネージャーホスト「ホスト名」の統合トレースログに、キューレスジョブ「ジョブ名」がエラーとなった要因を示すメッセージが出力されます。該当するメッセージの内容に従って対処してください。

### KAVS1845-E

An IPC error occurred during the result notification. : システムのエラーメッセージ (保守情報1, 保守情報2)  
結果通知で通信エラーが発生しました：システムのエラーメッセージ (保守情報1, 保守情報2)

通信エラーが発生したため、マネージャーホストへ結果ファイルの内容を通知できませんでした。

- (S)
- キューレスジョブの状態を「異常検出終了」にします。

- (O)
- ping コマンド、および jplping コマンドを実行してエージェントホストからマネージャホスト「ホスト名」へ通信ができること、およびマネージャーホスト「ホスト名」でキューレスファイル転送サービスが起動されていることを確認してください。そのあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。
- 上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1846-E

The job definition (ジョブ名) is invalid.

ジョブ定義文（ジョブ名）に誤りがあります

標準出力ファイル名と標準エラー出力ファイル名を同一にしている、異なる追加書き指定をしています。

- (S)
- キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

- (O)
- ジョブ定義文を見直し、ジョブの定義を修正したあと、ジョブを実行してください。

### KAVS1847-W

A job that was waiting for execution was forcibly terminated.

実行待ち状態のジョブが強制終了されました

実行待ち状態のキューレスジョブに対して強制終了を行った場合に出力されます。

- (S)
- キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

### KAVS1848-W

The job (ジョブ名) was forcibly terminated. (プロセスID) ジョブ（ジョブ名）を強制終了しました（プロセスID）

キューレスジョブ「ジョブ名」を強制終了したことを通知するメッセージです。

- (S)

キューレスジョブ「ジョブ名」を強制終了しました。

#### KAVS1849-W

The job (ジョブ名) was aborted. (プロセスID)  
ジョブ (ジョブ名) を打ち切り終了しました (プロセスID)

キューレスジョブ「ジョブ名」を打ち切り終了したことを通知するメッセージです。

- (S)
- キューレスジョブ「ジョブ名」を打ち切り終了しました。

#### KAVS1850-E

The logical host (ホスト名) is ignored because the number of logical hosts set for the queueless agent exceeds the limit.

キューレスエージェントに設定された論理ホストの数が上限値を超えているため、論理ホスト (ホスト名) は無効です

キューレスエージェントサービスにアタッチされている論理ホストの数が、上限値である 9 ホストに達しているため、論理ホスト「ホスト名」を新たにアタッチできません。

- (S)
- 処理を続行します。
- (O)
- 同時にキューレスエージェントサービスへアタッチできるホスト数は 9 です。 unnecessary 論理ホストを ajsqldetach コマンドでデタッチし、 ajsqlattach コマンドを実行して、論理ホスト「ホスト名」を再度アタッチしてください。

- (例)
- 論理ホスト Lhost をデタッチする場合  
次のように ajsqldetach コマンドを実行してください。

```
ajsqldetach -h Lhost
```

ajsqldetach コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsqldetach」を参照してください。

- 論理ホスト Lhost をアタッチする場合  
次のように ajsqlattach コマンドを実行してください。

```
ajsqlattach -h Lhost
```

ajsqlattach コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsqlattach」を参照してください。

#### KAVS1851-I

The file transmission service will now start.  
ファイル転送サービスを開始します

キューレスファイル転送サービスを開始します。

- (S)
- キューレスファイル転送サービスを開始します。

#### KAVS1852-I

The file transmission service will now stop.  
ファイル転送サービスを終了します

キューレスファイル転送サービスを終了します。

- (S)
- キューレスファイル転送サービスを終了します。

#### KAVS1853-I

The file transmission service will now terminate.  
ファイル転送サービスを打ち切ります

強制終了要求を受け付けたため、キューレスファイル転送サービスを打ち切ります。

- (S)
- キューレスファイル転送サービスを終了します。

#### KAVS1854-E

The file transmission service abnormally ended.  
ファイル転送サービスが異常終了しました

キューレスファイル転送サービスが異常終了しました。

- (S)
- キューレスファイル転送サービスを終了します。
- (O)
- このメッセージの直前に出力されるメッセージの対処方法に従って対処後、キューレスファイル転送サービスを再起動してください。

#### KAVS1855-W

Character code conversion failed. : 保守情報1 (保守情報2)  
文字コード変換に失敗しました : 保守情報1 (保守情報2)

文字コード変換に失敗しました。そのため、次に示す問題が発生します。

- 実行結果詳細が文字化けして表示される
- 転送先ファイルに指定したファイルの内容が不正な文字コードになる

- (S)
- 処理を続行します。
- (O)
- システム管理者に連絡して資料を採取してください  
(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)

い)。

### KAVS1861-E

The file transmission failed.  
ファイル転送が失敗しました

ファイル転送処理中にマネージャーホストとエージェントホスト間で通信処理に失敗したため、ファイル転送に失敗しました。

(S)  
ジョブ実行処理を続行します。

(O)  
ping コマンド、および jplping コマンドを実行して、マネージャーホスト、エージェントホスト間で正常に通信できることを確認してください。そのあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。  
問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVS1862-I

The queueless cluster process (論理ホスト名) will now start.  
キューレスクラスタプロセス (論理ホスト名) を開始します

論理ホスト「論理ホスト名」のキューレスクラスタプロセスを開始します。

(S)  
キューレスクラスタプロセス「論理ホスト名」を開始します。

### KAVS1863-I

The queueless cluster process (論理ホスト名) has started.  
キューレスクラスタプロセス (論理ホスト名) を開始しました

論理ホスト「論理ホスト名」のキューレスクラスタプロセスを開始しました。

(S)  
キューレスクラスタプロセス「論理ホスト名」を開始しました。

### KAVS1864-E

The queueless cluster process (論理ホスト名) ended abnormally.: 保守情報1(保守情報2) 保守情報3  
キューレスクラスタプロセス (論理ホスト名) が異常終了しました: 保守情報1 (保守情報2) 保守情報3

論理ホスト「論理ホスト名」のキューレスクラスタプロセスが異常終了しました。

(S)  
キューレスクラスタプロセス「論理ホスト名」を終了

します。

(O)

キューレスクラスタプロセスが異常終了した要因として、次の内容が考えられます。

- 論理ホスト名が 255 バイト以上である
- プロセス起動中にメモリー不足が発生した
- 論理ホストのアタッチに失敗する
- 論理ホストのデタッチに失敗する

保守情報 2 が invalid hostname の場合は、論理ホスト名が 256 バイト以上になっています。255 バイト以下となるように設定してください。

保守情報 2 が attach failed または保守情報 2 が detach failed の場合は、論理ホストのアタッチまたはデタッチに失敗しています。このメッセージの直前に出力されるメッセージの対処方法に従って対処してください。

保守情報 2 が insufficient memory の場合は、メモリー不足が発生しています。このメッセージの直前に出力されるメッセージの対処方法に従って対処してください。

それ以外の場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVS1865-E

File transmission is impossible because an attempt to create the process failed.: 保守情報1 (保守情報2)  
プロセスの生成に失敗したためファイル転送できません: 保守情報1 (保守情報2)

システム内で起動しているプロセス数が多過ぎるため、ファイル転送を行うキューレスファイル転送ワークプロセスの生成に失敗したためファイル転送できません。

(S)

キューレスファイル転送ワークプロセスの実行を中止します。

(O)

システムで同時に起動できるプロセス数の制限を超えているおそれがあります。ps コマンドなどで、システム上に起動されているプロセスの数を確認してください。プロセス数の制限を超えていない状態で、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

また、カーネルパラメーターに設定されているプロセス数の制限は、現在の運用に適していないおそれがあります。システム全体で見直しを実施し、必要に応じて値を変更してください。

JP1/AJS2 についてのカーネルパラメーターの見積もりは、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 4.2.5 カーネルパラメーターを見積もる」を参照してください。

**KAVS1866-E**

The file transmission failed due to insufficient memory.  
メモリ不足のためファイル転送できません

ファイル転送処理中にメモリー不足が発生したため、ファイル転送できません。

(S)

キューレスファイル転送ワークプロセスの実行を中止します。

(O)

Windows の場合はタスクマネージャ、UNIX の場合は `top` コマンドなどを使用してメモリーの空き状態を確認してください。  
ファイル転送に必要なメモリーを確保できる状態になるまで待ち、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

**KAVS1867-E**

The file transmission service of the host (ホスト名) cannot be connected, so the job (ジョブ名) cannot be executed.  
ホスト (ホスト名) のファイル転送サービスに接続できないため、ジョブ (ジョブ名) が実行できません

マネージャーホスト「ホスト名」のキューレスファイル転送サービスに接続できないため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

`ping` コマンド、および `jp1ping` コマンドを実行してエージェントホストからマネージャホスト「ホスト名」へ通信できること、およびマネージャーホスト「ホスト名」でキューレスファイル転送サービスが起動されていることを確認してください。そのあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。  
上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVS1868-E**

The FTP host (ホスト名) is unknown, so the job (ジョブ名) cannot be executed.  
ファイル転送元のホスト名 (ホスト名) が解決できないため、ジョブ (ジョブ名) が実行できません

マネージャーホスト名「ホスト名」から IP アドレスを解決できないため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

エージェントホスト上でマネージャーホスト名「ホスト名」の IP アドレスを解決できるように、`hosts` ファイル、`jp1hosts` ファイル、または DNS の設定を見直し、マネージャーホストの IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。そのあと、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。  
上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVS1869-E**

The FTP server of the host (ホスト名) cannot be reached, so the job (ジョブ名) cannot be executed.  
ファイル転送元のホスト (ホスト名) に到達できないため、ジョブ (ジョブ名) が実行できません

マネージャーホスト「ホスト名」との通信処理に失敗したため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

`ping` コマンド、および `jp1ping` コマンドを実行してエージェントホストからマネージャホスト「ホスト名」へ通信できることを確認してください。そのあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。  
上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVS1870-E**

The file transmission service of the host (ホスト名) cannot be connected, so an attempt to report the result failed.: ジョブ名  
ホスト (ホスト名) のファイル転送サービスに接続できないため、結果通知に失敗しました: ジョブ名

マネージャーホスト「ホスト名」のキューレスファイル転送サービスに接続できないため、ジョブ実行結果通知に失敗しました。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「異常検出終了」にします。

(O)

`ping` コマンド、および `jp1ping` コマンドを実行してエージェントホストからマネージャホスト「ホスト名」へ通信できること、およびマネージャーホスト「ホスト名」でキューレスファイル転送サービスが起動されていることを確認してください。そのあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。  
上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム

管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

#### KAVS1871-E

The manager host (ホスト名) is unknown, so an attempt to report the result failed. : ジョブ名

マネージャーのホスト名(ホスト名)が解決できないため、結果通知に失敗しました : ジョブ名

マネージャーホスト名「ホスト名」の IP アドレス解決に失敗し、マネージャーホスト名「ホスト名」へ接続することができなかったため、ジョブ実行結果通知に失敗しました。

(S) キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「異常検出終了」にします。

(O) エージェントホスト上でマネージャーホスト名「ホスト名」の IP アドレスが解決できるように、hosts ファイル、jplhosts ファイル、または DNS に、マネージャーホスト名、およびマネージャーホストの IP アドレスが設定されていることを確認してください。そのあと、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。  
上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

#### KAVS1872-E

The host (ホスト名) of the manager is unknown, so an attempt to report the result failed. : ジョブ名

マネージャーのホスト(ホスト名)に到達できないため、結果通知に失敗しました : ジョブ名

マネージャーホスト「ホスト名」との通信処理に失敗したため、ジョブ実行結果通知に失敗しました。

(S) キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「異常検出終了」にします。

(O) hosts ファイル、jplhosts ファイル、または DNS に設定されているマネージャーホストの IP アドレスが誤っているおそれがあります。正しい IP アドレスが登録されていることを確認してください。また、ping コマンド、および jplping コマンドを実行してエージェントホストからマネージャホスト「ホスト名」へ通信できることを確認してください。そのあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。  
上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

#### KAVS1873-E

The specified file (ファイル名) cannot be opened.

指定したファイル(ファイル名)がオープンできません

ファイル「ファイル名」がオープンできません。

(S) キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O) ファイル「ファイル名」がオープンできなかった要因として、次の内容が考えられます。

- ディスクの空き容量が不足している。
- メモリーが不足している。
- ファイル「ファイル名」がない。
- キューレスエージェントサービスのアカウント、またはジョブ実行ユーザーにファイル作成先ディレクトリの書き込み権限、読み取り権限が設定されていない。
- ファイル作成先ディレクトリに、ファイルと同じ名前のディレクトリが作成されている。
- ファイル名「ファイル名」が 255 文字以上である。

上記要因を取り除いてから、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

#### KAVS1874-E

You do not have permission for the specified file (ファイル名).

指定したファイル(ファイル名)に権限がありません

キューレスエージェントサービスのアカウントに、キューレスジョブ実行時に指定したファイル「ファイル名」に対して権限がありません。または、ファイル「ファイル名」にフォルダ名を指定しています。

(S) キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

(O) 指定したファイル「ファイル名」に対して、キューレスエージェントサービスのアカウントで読み込み、または書き込みができる適切な権限を設定したあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。  
ファイル「ファイル名」にフォルダ名を指定していた場合は、ファイル名を指定したあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

#### KAVS1875-E

The class name is too long. (クラス名) (logical host = 論理ホスト)

クラス名(クラス名)が長すぎます(論理ホスト=論理ホスト)

該当する論理ホストの環境設定パラメーターに指定したクラス名「クラス名」が長過ぎます。

(S)



キューレスエージェントサービス起動処理,または論理ホストのタッチ処理を続行します。ただし,該当するクラスはジョブ実行先クラスとして登録されません。

(O)

エラーとなったクラス名「クラス名」を 63 バイト以内で定義し,キューレスエージェントサービスを再起動,またはエラーとなった論理ホストをデタッチしたあと,再度アタッチしてください。

### KAVS1876-E

The class (クラス名) already exists. (logical host = 論理ホスト)

クラス (クラス名) は既に存在します (論理ホスト=論理ホスト)

該当する論理ホスト「論理ホスト」の環境設定パラメータに,同じ名称のクラス「クラス名」を設定していません。

(S)

キューレスエージェントサービス起動処理を続行します。

(O)

論理ホストのクラス名に重複がないことを確認し,キューレスエージェントサービスを再起動してください。ただし,再起動しなくても該当するクラスはジョブ実行先クラスとして使用できます。

### KAVS1877-E

Memory is insufficient, so the class (クラス名) cannot be used. (logical host = 論理ホスト)

メモリ不足のため,クラス (クラス名) は使用できません (論理ホスト=論理ホスト)

メモリ不足が発生したため,クラス「クラス名」は使用できません。

(S)

該当するクラスの作成処理を中止して,キューレスエージェントサービス起動処理,または論理ホストのタッチ処理を続行します。

(O)

Windows の場合はタスクマネージャ,UNIX の場合は top コマンドなどを使用してメモリーの空き状態を確認してください。  
クラスの使用に必要なメモリーを確保できる状態になるまで待ち,キューレスエージェントサービスを再起動,またはエラーとなった論理ホストをデタッチしたあと,再度アタッチしてください。

### KAVS1878-E

The class (クラス名) cannot be created because a JP1/AJS2 environment setting is incorrect. (logical host=ホスト名, label=環境設定パラメーター名)

JP1/AJS2環境設定の設定値に誤りがあるためクラス (クラス名) は作成できません (論理ホスト=ホスト名, ラベル=環境設定パラメーター名)

JP1/AJS2 環境設定の環境設定パラメーター値に誤りがあるため,クラス「クラス名」の作成に失敗しました。

(S)

該当するクラスの作成処理を中止して,キューレスエージェントサービス起動処理,または論理ホストのタッチ処理を続行します。

(O)

ホスト「論理ホスト名」におけるラベル「環境設定パラメーター名」の設定値の誤りを取り除き,キューレスエージェントサービスを再起動,またはエラーとなった論理ホストをデタッチしたあと,再度アタッチしてください。

### KAVS1879-E

An error occurred in the file (ファイル名): 保守情報  
ファイル (ファイル名) の処理でエラーが発生しました: 保守情報

ファイル「ファイル名」の処理でエラーが発生しました。

(S)

キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

(O)

ファイル「ファイル名」がエラーとなった要因として,次の内容が考えられます。

- ディスクの空き容量が不足している。
- メモリーが不足している。
- ファイル作成先ディレクトリに書き込み権限がない。
- ファイル作成先ディレクトリに,ファイルと同じ名前のディレクトリが作成されている。
- ファイル名「ファイル名」が 255 文字以上である。

上記要因を取り除いてから,エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

### KAVS1881-E

An error occurred in the check processing of user mapping. (logical host=論理ホスト名, function=保守情報 1, code=保守情報 2)

ユーザーマッピングのチェック処理でエラーが発生しました (論理ホスト名=論理ホスト名, 関数名=保守情報 1, コード=保守情報 2)

ユーザーマッピングの設定が正しく行われていなかったため,処理に失敗しました。

(S)

キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

(O)

該当する論理ホスト「論理ホスト名」のセットアップに失敗している、または環境が壊れているおそれがあります。統合トレースログを参照してエラーメッセージが出力されていないことを確認してください。エラーメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージの対処に従ってエラー要因を取り除いたあと、キューレスエージェントサービスを再起動してエラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

## KAVS1882-E

The user mapping definition of the JP1 user (JP1ユーザー名) on the host (ホスト名) was not found. (logical host = 論理ホスト名)

ホスト (ホスト名) のJP1ユーザー (JP1ユーザー名) のユーザーマッピング定義がありません (論理ホスト=論理ホスト名)

マネージャーホスト「ホスト名」のJP1ユーザー「JP1ユーザー名」のユーザーマッピング定義がありません。

(S)

キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

(O)

JP1ユーザー「JP1ユーザー名」が、論理ホストのユーザーマッピング情報に定義されていることを確認し、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

ユーザーマッピングの設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 3.1.1 JP1/Base のセットアップ」(Windows の場合)、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 13.1.1 JP1/Base のセットアップ」(UNIX の場合)を参照してください。

## KAVS1883-E

The JP1 user (JP1ユーザー名) on the host (ホスト名) cannot be mapped to the OS user (OSユーザー名). (logical host = 論理ホスト名)

ホスト (ホスト名) のJP1ユーザー (JP1ユーザー名) はOSユーザー (OSユーザー名) にマッピングできません (論理ホスト=論理ホスト名)

マネージャーホスト「ホスト名」のJP1ユーザー「JP1ユーザー名」はOSユーザー「OSユーザー名」にマッピングできません。

(S)

キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

(O)

OSユーザー「OSユーザー名」は、JP1ユーザー

「JP1ユーザー名」にマッピングされていません。

エージェントホスト上で、JP1ユーザー「JP1ユーザー名」にOSユーザー「OSユーザー名」がマッピングされていることを確認したあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

ユーザーマッピングの設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 3.1.1 JP1/Base のセットアップ」(Windows の場合)、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 13.1.1 JP1/Base のセットアップ」(UNIX の場合)を参照してください。

## KAVS1884-E

The OS user (ユーザー名) was not found in the passwd file.

OSユーザー (ユーザー名) はパスワードファイルに未登録です

ジョブを実行しようとしたOSユーザーはpasswd ファイル (/etc/passwd) に未登録です。

(S)

キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

(O)

JP1ユーザーにマッピングしたOSユーザーが存在していることを確認し、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

また、ジョブ開始時または終了時にOSユーザーの登録、削除、またはパスワード変更などをすると、このメッセージが出力されることがあります。その場合は、OSユーザーの登録、削除、またはパスワード変更が終了したあとに該当のジョブを再実行してください。

なお、環境設定パラメーター  
AJSQL\_GETPASSWD\_FTPRETRYINTERVAL または  
AJSQL\_GETPASSWD\_AGTRETRYINTERVAL を設定することでこの問題を回避できます。詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.37 ユーザー情報取得時のリトライを変更する設定」を参照してください。

## KAVS1885-E

An attempt to open the file (ファイル名) failed. : 保守情報1 (保守情報2)

ファイル (ファイル名) のオープンに失敗しました : 保守情報1 (保守情報2)

ファイル「ファイル名」のオープンに失敗しました。

(S)

- キューレスエージェントサービスが起動処理でこのメッセージを出力した場合、サービス起動処理を中止します。
- キューレスジョブ起動時にこのメッセージを出力し

た場合、該当するキューレスジョブの状態を「起動失敗」とします。

- キューレスジョブ終了時にこのメッセージを出力した場合、該当するキューレスジョブの状態を「異常検出終了」とします。

(O)

次のエラー要因を取り除いたあと、キューレスエージェントサービスの再起動、またはエラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、ファイル「ファイル名」のディレクトリパスがあることを確認してください。
- 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、キューレスエージェントサービス起動ユーザー、および該当するキューレスジョブを実行する OS ユーザーに、ファイル「ファイル名」のディレクトリパスで読み込み、および書き込みができる適切な権限が設定されていることを確認してください。
- 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

#### KAVS1886-E

A socket communication error occurred. : 保守情報1 (保守情報2, 保守情報3)

ソケット通信でエラーが発生しました : 保守情報1 (保守情報2, 保守情報3)

ソケット通信でエラーが発生しました。

(S)

キューレスジョブ実行時にこのメッセージが出力された場合は、該当するキューレスジョブを「起動失敗」とします。キューレスジョブ実行制御関連のコマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は、該当するコマンドは異常終了します。

(O)

このメッセージが出力されたあとのメッセージで対応してください。

#### KAVS1887-E

Invalid data was received. (IPCID= IPアドレス)  
不正なデータを受信しました (IPCID=IPアドレス)

「IP アドレス」に示されている接続元から、不正なデータを受信しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

IP アドレスから接続元を確認し、問題のないことを

確認してください。

#### KAVS1888-E

An error occurred during the reading of the passwd file. : 保守情報1 (保守情報2)

パスワードファイルの読み取りでエラーが発生しました : 保守情報1 (保守情報2)

パスワードファイルの読み取りでエラーが発生しました。

(S)

キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

(O)

キューレスジョブ実行時にマッピングしている OS ユーザーが存在していることを確認してください。また、キューレスエージェントサービス起動ユーザーが、passwd ファイル (/etc/passwd) の読み込みができるよう適切な権限が設定されていることを確認してください。そのあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

また、ジョブ開始時または終了時に OS ユーザーの登録、削除、またはパスワード変更などをすると、このメッセージが出力されることがあります。その場合は、OS ユーザーの登録、削除、またはパスワード変更が終了したあとに該当のジョブを再実行してください。

なお、環境設定パラメーター

AJSQSQL\_GETPASSWD\_FTPRETRYINTERVAL または AJSQSQL\_GETPASSWD\_AGTRETRYINTERVAL を設定することでこの問題を回避できます。詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.37 ユーザー情報取得時のリトライを変更する設定」を参照してください。

#### KAVS1889-E

An attempt to read the file (ファイル名) failed. : 保守情報1 (保守情報2)

ファイル (ファイル名) の読み込みに失敗しました : 保守情報1 (保守情報2)

ファイル「ファイル名」の読み込みに失敗しました。

(S)

キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

(O)

次のエラー要因を取り除いたあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、ファイル「ファイル名」がありません。該当するファイル「ファイル名」があることを確認してください。
- 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、ファイル「ファイル名」の読み込みに失敗しています。キューレスエージェントサービスの起動ユーザー、およびマッピングされた OS ユーザーで

ファイル「ファイル名」の読み込みができるように、該当するファイル、およびディレクトリパスに適切な権限を設定してください。

- 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1890-E

An attempt to write to the file (ファイル名) failed.: 保守情報1 (保守情報2)  
ファイル (ファイル名) の書き込みに失敗しました: 保守情報1 (保守情報2)

ファイル「ファイル名」の書き込みに失敗しました。

- (S)
- キューレスジョブの状態を「異常検出終了」にします。
- (O)
- 次のエラー要因を取り除いたあと、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。
- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、ファイル「ファイル名」に出力されたディレクトリパスがあることを確認してください。
  - 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、キューレスエージェントサービス起動ユーザー、および該当するキューレスジョブを実行する OS ユーザーに、ファイル「ファイル名」のディレクトリパスに対して読み込み、および書き込みができる適切な権限が設定されていることを確認してください。
  - 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除いてください。また、次の原因も考えられます。該当するエラー要因を取り除いてください。
    - ・ディスクの空き容量が不足している
    - ・メモリーが不足している

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1891-E

An attempt to open the socket failed.: 保守情報1 (保守情報2)  
ソケットのオープンに失敗しました: 保守情報1 (保守情報2)

ソケットの初期化に失敗しました。

- (S)
- このメッセージを出力したサービスを終了します。
- (O)

メモリー不足のおそれがあります。Windows の場合はタスクマネージャ、UNIX の場合は top コマンドなどを使用してメモリーの空き状態を確認し、起動に失敗したサービスを再起動してください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1892-E

The shared memory size is invalid. (size=サイズ)  
共有メモリのサイズが不正です (サイズ=サイズ)

共有メモリーのサイズが不正です。

- (S)
- キューレスエージェントサービスを終了します。
- (O)
- 次のどちらかの操作を実施し、キューレスエージェントサービスを再起動してください。
- 現在設定されている共有メモリーのサイズに合わせ、最大同時ジョブ実行数を減らす
  - 最大同時ジョブ実行数に合わせて、カーネルパラメーターで設定している共有メモリーのサイズを増加する
- 最大同時実行ジョブ数は、環境設定パラメーター AJSQL\_JOBMAX で設定します。詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.4 キューレスジョブ実行環境の設定」を参照してください。
- また、JP1/AJS2 で使用するカーネルパラメーターの見積もりについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 4.2.5 カーネルパラメーターを見積もる」を参照してください。

### KAVS1893-E

Too many shared memories exist on the system.  
システムの共有メモリー数が多すぎます

システムで使用している共有メモリーの数が多過ぎるため、キューレスエージェントサービスで共有メモリーを使用できません。

- (S)
- キューレスエージェントサービスを終了します。
- (O)
- システムに必要な共有メモリー数を算出し、カーネルパラメーターの値を適切な値に変更してください。変更後、キューレスエージェントサービスを再起動してください。
- JP1/AJS2 の運用に必要な共有メモリーの見積もりについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 4.2.5 カーネルパラメーターを見積もる」を参照してください。

**KAVS1894-E**

The number of shared memory attaches is invalid.  
共有メモリのアタッチ数が不正です

キューレスエージェントサービスに共有メモリーはアタッチできません。

(S)

キューレスエージェントサービスを終了します。

(O)

キューレスエージェントサービスに共有メモリーをアタッチできるよう、該当するカーネルパラメーターの値を 1 以上に設定してください。変更後、キューレスエージェントサービスを再起動してください。

**KAVS1896-E**

A log file (ファイル名) error occurred. : 保守情報1 (保守情報2)

ログファイル (ファイル名) でエラーが発生しました : 保守情報1 (保守情報2)

ログファイル「ファイル名」のオープンまたは書き込み処理でエラーが発生しました。

(S)

- キューレスエージェントサービス起動時にこのメッセージが出力された場合、サービス起動処理を続行します。ただし、ログファイル「ファイル名」にログは出力されません。
- キューレスジョブ実行時にこのメッセージが出力された場合、キューレスジョブ実行処理を続行します。ただし、ログファイル「ファイル名」へ該当するキューレスジョブのログは出力されません。

(O)

次のどれかの対処を実施してください。

- 保守情報 1 に「No such file or directory」と出力された場合、ログファイル「ログファイル名」が削除されているおそれがあります。ファイルがあるかどうかを確認し、ファイルがない場合は、キューレスエージェントサービスを再起動してください。
- 保守情報 1 に「Permission denied」と出力された場合、ログファイル「ログファイル名」に対する読み込み、および書き込み権限が変更されているおそれがあります。キューレスエージェントサービス起動ユーザー、およびキューレスジョブを実行する OS ユーザーから、ログファイル「ログファイル名」に対して読み込み、および書き込みができるよう権限を変更し、キューレスエージェントサービスを再起動してください。
- 保守情報 1 の出力内容が上記以外であった場合、出力内容に従ってエラー要因を取り除き、キューレスエージェントサービスを再起動してください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVS1897-E**

An attempt to start the job (ジョブ名).  
ジョブ (ジョブ名) の起動に失敗しました

内部的なエラーによって、キューレスジョブ「ジョブ名」の起動に失敗しました。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」または「異常検出終了」状態にします。

(O)

エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。再実行しても起動に失敗した場合は、キューレスエージェントサービスを再起動したあと、エラーとなったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

Windows で UAC 機能が有効な場合は、ジョブの実行ユーザーにマッピングされている OS ユーザーに管理者権限がないおそれがあります。管理者権限を持つジョブ実行 OS ユーザーで該当するジョブを実行してください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVS1898-I**

The connection was reset by the peer.  
接続がリセットされました

キューレスエージェントサービスとキューレスジョブリクエストプロセスとの接続、またはキューレスエージェントサービスとキューレスファイル転送サービスとの接続がリセットされました。

(S)

処理を続行します。

(O)

エラーによって接続がリセットされた場合は、このメッセージの直前にエラー要因を示すメッセージが出力されます。出力されたメッセージの対処方法に従って対処してください。

**KAVS1900-W**

The queueless job request process (スケジューラーサービス名:識別番号) abnormally ended. : 保守情報

キューレスジョブリクエストプロセス (スケジューラーサービス名: 識別番号) が異常終了しました : 保守情報

キューレスジョブリクエストプロセスが異常終了したことを通知するメッセージです。

(S)

しきい値に達するまで、該当するキューレスリクエストプロセスを再起動します。

しきい値に達した場合は、該当するキューレスリクエストプロセスを閉塞します。

## KAVS1901-I

The queueless job request process (スケジューラーサービス名:識別番号) was rebooted.

キューレスジョブリクエストプロセス (スケジューラーサービス名: 識別番号) を再起動しました

キューレスジョブリクエストプロセスを再起動したことを通知するメッセージです。

(S)

キューレスジョブリクエストプロセスを再起動しました。

## KAVS1902-W

An attempt to reboot the queueless job request process (スケジューラーサービス名:識別番号) failed. : 保守情報  
キューレスジョブリクエストプロセス (スケジューラーサービス名: 識別番号) の再起動に失敗しました: 保守情報

キューレスジョブリクエストプロセスの再起動に失敗しました。原因として、キューレスジョブリクエストプロセスを複数起動したことによる、システムリソース不足などが考えられます。

(S)

該当するキューレスジョブリクエストプロセスを終了します。

(O)

前後のメッセージから、キューレスジョブリクエストプロセスの再起動に失敗した原因を調べて対処してください。

## KAVS1903-E

The queueless job request process (スケジューラーサービス名:識別番号) was blocked because the maximum number of abnormally ended queueless job request abends was exceeded.

キューレスジョブリクエストプロセス異常終了回数のしきい値越えにより、キューレスジョブリクエストプロセス (スケジューラーサービス名: 識別番号) が閉塞しました

キューレスジョブリクエストプロセスが異常終了した回数がしきい値を超えたことにより、キューレスジョブリクエストプロセスが閉塞しました。

(S)

しきい値を超えたことにより、キューレスジョブリクエストプロセスが閉塞しました。

(O)

メモリー不足がシステムで起動できるプロセス数の上限に達したおそれがあります。

- UNIX の場合、カーネルパラメーターのメモリーに関する設定値とプロセスに関する設定値を見直し、再設定を行ってください。  
カーネルパラメーター、使用するメモリーの見積もり方法については、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

- 現象発生時に稼働しているプロセスの状態を確認し、見積もり値以上のメモリーがあるか確認してください。
- 原因不明の場合は、資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。  
なお、スケジューラーサービスを再起動するとき、ジョブ制限停止で、ほかのジョブの終了を確認したあと、スケジューラーサービスを再起動することをお勧めします。

## KAVS1904-E

All the queueless job request processes of the scheduler service (スケジューラーサービス名) are blocked.

スケジューラーサービス (スケジューラーサービス名) の全てのキューレスジョブリクエストプロセスが閉塞しました

スケジューラーサービス上の、すべてのキューレスジョブリクエストプロセスが異常終了しました。原因として、キューレスジョブリクエストプロセスを複数起動したことによる、システムリソース不足が考えられます。

(S)

スケジューラーサービスを停止します。

(O)

前に出力されたメッセージ「KAVS1903-E」に従ってエラー要因を調査してください。エラー要因を取り除いたあと、スケジューラーサービスを再起動してください。

## KAVS1905-W

The value specified for the maximum number of queueless job request processes in the environment setting parameter is outside the effective range. The default value (多重度) is assumed and processing is continued.

環境設定パラメーターに指定したキューレスジョブリクエストプロセス多重度が有効範囲外です。多重度 (多重度) を仮定して処理を続行します

環境設定パラメーターの QUEUELESSMULTIREQ, または [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ スケジューラーサービスの制御 ] - [ キューレスジョブリクエスト多重度 ] が有効範囲外です。

(S)

「多重度」に示された値を仮定して処理を続行します。

(O)

多重度の値を修正したあと、スケジューラーサービスを再起動してください。  
多重度の設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.2 スケジューラーサービスの制御を定義する」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.1.3 スケジューラーサービス環境設定パラメーターの定義

内容」を参照してください。

#### KAVS1906-E

Initialization of a queueless job request process failed. : 保守情報  
キューレスジョブリクエストプロセスの初期化に失敗しました : 保守情報

キューレスジョブリクエストプロセスの初期化に失敗しました。

- (S) スケジューラーサービスを停止します。
- (O) 前後のメッセージから、キューレスジョブリクエストプロセスの初期化が失敗した原因を調べて対処してください。

#### KAVS1907-E

The starting of a queueless job request process failed. : 保守情報  
キューレスジョブリクエストプロセスの起動に失敗しました : 保守情報

キューレスジョブリクエストプロセスの起動に失敗しました。原因として、キューレスジョブリクエストプロセスを複数起動したことによる、システムリソース不足などが考えられます。

- (S) スケジューラーサービスを停止します。
- (O) 前後のメッセージから、キューレスジョブリクエストプロセスの起動に失敗した原因を調べて対処してください。

#### KAVS1908-W

An attempt to acquire the queueless job function linkage option failed. : 保守情報  
キューレスジョブ機能連携オプションの取得に失敗しました。 : 保守情報

環境設定パラメーターのキューレスジョブ機能の連携オプションが不正か、ほかの障害による環境設定パラメーターの取得に失敗しました。

- (S) キューレスジョブ機能を使用しないでスケジューラーサービスを起動します。この状態でキューレスジョブを実行した場合、そのジョブは「起動失敗」状態で終了します。
- (O) `ajsqlsetup` コマンドを使用してキューレスジョブ機能をセットアップしたあとに、スケジューラーサービスを再起動してください。  
キューレスジョブ機能のセットアップを正しく行っている場合は、前後のメッセージからエラーの原因を調

べて対処してください。

#### KAVS1909-E

The queueless job (ジョブ名) cannot be executed.  
キューレスジョブ (ジョブ名) を実行できません

キューレスジョブを実行できません。次の要因が考えられます。

- キューレスジョブ機能が正しくセットアップされていない。
- キューレスジョブリクエストプロセスの多重度に 0 を設定している。

- (S) キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。
- (O) `ajsqlsetup` コマンドを使用してキューレスジョブ機能の連携をセットアップしたあとに、スケジューラーサービスを再起動させてください。また、構成定義パラメーターに指定したキューレスジョブリクエストプロセスの多重度 ( `QUEUELESSMULTIREQ` ) に 0 を指定している場合は、1 ~ 8 の値を指定したあとにスケジューラーサービスを再起動してください。

#### KAVS1920-E

An error occurred during the starting of the queueless job request process (スケジューラーサービス名:識別番号) : 保守情報  
キューレスジョブリクエストプロセス (スケジューラーサービス名:識別番号) の起動処理時にエラーが発生しました : 保守情報

キューレスジョブリクエストプロセスの起動処理時にエラーが発生しました。

- (S) キューレスジョブリクエストプロセスを停止します。
- (O) 前後のメッセージから、キューレスジョブリクエストプロセスの起動に失敗した原因を調べて対処してください。

#### KAVS1921-E

An attempt to connect with a queueless job execution agent (エージェント名) failed. : 保守情報  
キューレスジョブ実行エージェント (エージェント名) との接続に失敗しました : 保守情報

キューレスジョブ実行エージェントとの接続に失敗しました。

- (S) キューレスジョブの実行要求した場合は、該当するジョブを起動失敗にします。  
キューレスジョブの状態を問い合わせた場合は、該当するジョブの状態を「状態不明」にします。  
ジョブに対する操作要求などを依頼した場合は、指定

## KAVS1922-W ~ KAVS1927-E

した操作が無効になります。

- (O) キューレスジョブ実行エージェントが正しく起動していることを確認したあと、再度キューレスジョブを実行してください。

### KAVS1922-W

The connection with the queueless job execution agent (エージェント名) was closed.: 保守情報  
キューレスジョブ実行エージェント (エージェント名) との接続が切断されました: 保守情報

キューレスジョブ実行エージェントとの接続が切断されました。

- (S) 該当するキューレスジョブ実行エージェントに再接続します。
- (O) マネージャー側とエージェント側のメッセージから、エラーの原因を調べて対処してください。

### KAVS1923-E

A queueless job function cannot be used, processing to the job (ジョブ名) cannot be performed.  
キューレスジョブ機能が使用できないため、ジョブ(ジョブ名)に対する処理を行うことができません

キューレスジョブ機能が使用できないため、ジョブに対する処理を行うことができません。次の要因が考えられます。

- キューレスジョブ機能が正しくセットアップされていない。
- キューレスジョブリクエストプロセス多重度 に 0 を設定している。

- (S) このジョブを状態不明にします。
- (O) ajsqlsetup を使用してキューレスジョブ機能連携をセットアップしたあとにスケジューラーサービスを再起動させてください。また、構成定義パラメーターに指定したキューレスジョブリクエストプロセス多重度 (QUEUELESSMULTIREQ) に 0 を指定している場合は 1 ~ 8 の値を指定したあとにスケジューラーサービスを再起動させてください。

### KAVS1924-E

An attempt to reconnect with a queueless job execution agent (エージェント名) failed.: 保守情報  
キューレスジョブ実行エージェント (エージェント名) との再接続に失敗しました: 保守情報

キューレスジョブ実行エージェントとの再接続に失敗しました。

- (S) 該当するキューレスジョブ実行エージェントで実行していたジョブの状態を「終了状態不明」にします。
- (O) マネージャー側とエージェント側のメッセージから、エラーの原因を調べて対処してください。

### KAVS1925-E

An attempt to forcibly terminate a queueless job (ジョブ名) failed.  
キューレスジョブ(ジョブ名)の強制終了に失敗しました

キューレスジョブの強制終了時に通信エラーが発生したため、強制終了に失敗しました。

- (S) ジョブに対する強制終了処理を中断します。
- (O) 再度、このジョブに対する強制終了処理を行ってください。

### KAVS1926-E

A class name is specified for the execution destination host name of a Jobnet.  
ジョブネットの実行先ホスト名にクラス名が指定されています

ジョブネットの実行先ホスト名にクラス名が指定されています。

- (S) ジョブの状態を「起動失敗」にします。
- (O) このジョブを含むジョブネットの実行先ホスト名からクラス名を取り除いてください。

### KAVS1927-E

The queueless job definition is invalid.  
キューレスジョブの定義内容が不正です

キューレスジョブの定義内容が不正です。

- (S) ジョブの状態を「起動失敗」にします。
- (O) ジョブの定義内容を見直してください。マクロ変数を使用している場合は、マクロ変数を置換すると使用可能な文字列の最大長を超えている定義項目があるおそれがあります。マクロ変数置換後の文字列が最大長を超えないようにしてから、ジョブを再実行してください。



**KAVS1928-I**

The job at the agent (エージェント名) was forcibly terminated.

エージェント (エージェント名) で実行中のジョブを強制終了しました

実行中のジョブを強制終了しました。

(S)

要求処理を終了します。

**KAVS1929-I**

The communication with the queueless job execution agent (エージェントホスト名) was restored.

キューレスジョブ実行エージェント(エージェントホスト名)との通信が回復しました

「エージェントホスト名」で示すキューレスジョブ実行エージェントとの通信が回復しました。

(S)

このメッセージ出力以前に、KAVS1922-W のメッセージが出力されている場合は、当該エージェントへ実行要求していたキューレスジョブの状態を確認します。

また、KAVS1930-W のメッセージが出力されていた場合には、通信障害中に要求できなかったジョブの実行要求や強制終了要求、状態確認要求を再送します。

**KAVS1930-W**

Could not connect with the queueless job execution agent (エージェントホスト名). Reconnection processing started. :保守情報

キューレスジョブ実行エージェント (エージェントホスト名) との接続ができませんでした。再接続処理を開始します :保守情報

「エージェントホスト名」に示されるキューレスジョブ実行エージェントに接続できなかったため、再接続処理を開始します。このメッセージが出力される要因として次の点が考えられます。

- マネージャーホストまたはエージェントホストが LAN に接続されていないなどのネットワーク障害がある
- エージェントホストの名前解決ができない
- エージェントの負荷が高く接続要求を処理できない
- メモリー不足が発生している
- エージェントのキューレスジョブ実行用のポート番号 (jp1ajs2qlagt) の設定に誤りがある
- キューレスジョブ実行エージェントまたはエージェントホスト自体が停止している

(S)

送信できなかったジョブの実行要求や強制終了要求、状態確認要求を再送するため、再接続処理を行います。このメッセージの出力後は、当該エージェントを障害エージェントとして管理し、障害エージェントへの要求はマネージャーホスト上で蓄えて、要求順に一つずつ再接続処理を行います。

再接続処理のタイムアウト時間は OS によって異なりますが、最大でも通信回復処理のタイムアウト時間を設定する環境設定パラメーター

REQDAGTRECONNECTTIMEOUT に指定された時間で再接続処理を打ち切ります。

再接続処理は、60 秒間隔で 2 回行いますが、回復できなかった場合は、処理要求に応じて下記エラーメッセージを出力し、要求を中止します。

- ジョブの実行要求時 KAVS1931-E
- ジョブの強制終了要求時 KAVS1932-E
- ジョブの状態確認要求時 KAVS1933-E

再接続に成功した場合は、KAVS1929-I のメッセージを出力し、蓄えていた要求を順番に再送して障害状態から回復します。

(O)

マネージャーホスト、エージェントホストのログ、およびネットワークの状態を確認し、通信障害の原因を取り除いてください。

**KAVS1931-E**

Could not send the job execution request because an attempt to reconnect with the queueless job execution agent (エージェントホスト名) failed. :保守情報  
キューレスジョブ実行エージェント (エージェントホスト名) との再接続に失敗したためジョブの実行要求ができませんでした :保守情報

「エージェントホスト名」に示されるキューレスジョブ実行エージェントとの通信が回復しなかったため、ジョブの実行要求に失敗しました。

(S)

ジョブの実行要求を中止して、ジョブ状態を起動失敗にします。

(O)

マネージャーホスト、エージェントホストのログ、およびネットワークの状態を確認し、通信障害の原因を取り除いてください。  
通信障害を取り除いたあと、必要に応じて再実行してください。

**KAVS1932-E**

Could not forcibly terminate the job (ジョブ名) because an attempt to reconnect with the queueless job execution agent (エージェントホスト名) failed. :保守情報  
キューレスジョブ実行エージェント (エージェントホスト名) との再接続に失敗したためジョブ(ジョブ名)の強制終了ができませんでした :保守情報

「エージェントホスト名」に示されるキューレスジョブ実行エージェントとの通信が回復しなかったため、ジョブの強制終了要求に失敗しました。

(S)

ジョブの強制終了要求を中止します。

(O)

## KAVS1933-E ~ KAVS1952-E

マネージャーホスト、エージェントホストのログ、およびネットワークの状態を確認し、通信障害の原因を取り除いてください。

通信障害を取り除いたあと、必要に応じて再度ジョブの強制終了を行ってください。

### KAVS1933-E

Could not confirm the job status because an attempt to reconnect with the queueless job execution agent (エージェントホスト名) failed. :保守情報  
キューレスジョブ実行エージェント (エージェントホスト名) との再接続に失敗したためジョブの状態確認ができませんでした :保守情報

「エージェントホスト名」に示されるキューレスジョブ実行エージェントとの通信が回復しなかったため、ジョブの状態確認ができませんでした。

- (S)  
ジョブの状態確認要求を中止して、ジョブを終了状態不明にします。
- (O)  
マネージャーホスト、エージェントホストのログ、およびネットワークの状態を確認し、通信障害の原因を取り除いてください。  
エージェントホストのログから、ジョブの実行状況を確認し、必要に応じてジョブ状態変更を行ってください。

### KAVS1939-E

The macro variable (マクロ変数名) has not been inherited.  
マクロ変数 (マクロ変数名) が引き継がれていません

マクロ変数が引き継がれていません。

- (S)  
該当するキューレスジョブを起動失敗にします。
- (O)  
マクロ変数名が先行ジョブから引き継がれていません。ジョブネットの定義を見直したあと、再度キューレスジョブを実行してください。

### KAVS1940-E

An attempt to initialize the job-ID acquisition processing failed. : 保守情報  
ジョブID取得処理の初期化でエラーが発生しました : 保守情報

ジョブ ID 取得処理の初期化でエラーが発生しました。

- (S)  
ジョブ ID 取得処理の初期化を中止します。
- (O)  
システム管理者に連絡して「保守情報」から原因を調査してください。原因不明の場合は資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してく

ださい)。

### KAVS1941-E

The user does not have permission to access the job-ID management file. (ファイル名)  
ジョブID管理用ファイル (ファイル名) に対する権限がありません

ジョブ ID 管理用ファイルに対して正しい権限が設定されていません。

- (S)  
ジョブ ID 取得処理の初期化を中止します。
- (O)  
ジョブ ID 管理用ファイルに対して正しい権限を設定してください。または、ajsqlsetup コマンドでジョブ ID 管理用ファイルを再作成してください。

### KAVS1942-E

The job-ID management file (ファイル名) data is invalid.  
ジョブID管理用ファイル (ファイル名) のデータが不正です

ジョブ ID 管理用ファイルのデータが不正です。

- (S)  
ジョブ ID 取得処理の初期化を中止します。
- (O)  
ajsqlsetup コマンドでジョブ ID 管理用ファイルを再作成してください。そのあと、コールドスタートでスケジューラーサービスを再起動させてください。

### KAVS1943-E

The job-ID management file (ファイル名) does not exist.  
ジョブID管理用ファイル (ファイル名) が存在しません

ジョブ ID 管理用ファイルがありません。

- (S)  
ジョブ ID 取得処理の初期化を中止します。
- (O)  
ajsqlsetup コマンドでジョブ ID 管理用ファイルを再作成してください。そのあと、コールドスタートでスケジューラーサービスを再起動させてください。

### KAVS1952-E

An attempt to acquire the port information of the queueless agent service failed. (service name: サービス名)  
キューレスエージェントサービスのポート情報の取得に失敗しました (サービス名: サービス名)

接続しようとしているポート情報が読み込めません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

(O)

ポート情報を正しく定義したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS1953-E

The status file specified by the queueless agent environment setup cannot be accessed.

キューレスエージェントの環境設定で指定されたステータスファイルにアクセスできません

次の要因によって、ステータスファイルのオープン、またはアクセスに失敗しました。

- ディスクの空き容量が不足している
- メモリーが不足している
- キューレスエージェントサービス起動ユーザーが、ステータスファイルに対して読み込み権限がない
- キューレスエージェントサービス起動ユーザーが、ステータスファイル作成先ディレクトリに対して書き込み権限がない
- ステータスファイル作成先ディレクトリに、ステータスファイル名と同じ名前のディレクトリが作成されている

(S)

コマンドの実行を中止します。

キューレスクラスタプロセスの場合は、該当する論理ホストのタッチ処理を中止します。タッチ処理を中止した場合、デフォルトの設定ではキューレスクラスタプロセスは異常終了しないで起動処理を続行します。

キューレスクラスタプロセスを異常終了させたい場合は、環境設定パラメーター `AJSQCL_CLUSTERREQ` に「error」を設定してください。

`AJSQCL_CLUSTERREQ` の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設定」を参照してください。

(O)

コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合、エラー要因を取り除いたあと、該当するコマンドを再度実行してください。

キューレスクラスタプロセスでこのメッセージが出力された場合、エラー要因を取り除いたあと、エラーとなった論理ホストの JP1/AJS2 サービスを再起動してください。

(例) 論理ホスト `Lhost` をタッチする場合

次のように `ajsqlattach` コマンドを実行してください。

```
ajsqlattach -h Lhost
```

`ajsqlattach` コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `ajsqlattach`」を参照してください。

### KAVS1954-E

The number of already registered logical hosts has reached the maximum, so additional registration is not possible.

既に登録されている論理ホスト数が最大値に達しているため、追加登録できません

キューレスエージェントサービスにタッチされている論理ホストの数が、最大値である 10 台に達しているため、新たに論理ホストをタッチできません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

キューレスクラスタプロセスの場合は、該当する論理ホストのタッチ処理を中止します。タッチ処理を中止した場合、デフォルトの設定ではキューレスクラスタプロセスは異常終了しないで起動処理を続行します。

キューレスクラスタプロセスを異常終了させたい場合は、環境設定パラメーター `AJSQCL_CLUSTERREQ` に「error」を設定してください。

`AJSQCL_CLUSTERREQ` の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設定」を参照してください。

(O)

キューレスジョブを実行しない論理ホストを

`ajsqldetach` コマンドを実行してデタッチし、エラーとなった論理ホストを `ajsqlattach` コマンドを実行して再度タッチしてください。

キューレスクラスタプロセスから論理ホストをタッチしている場合は、エラーとなった論理ホストの JP1/AJS2 のサービスを再起動してください。

(例)

- 論理ホスト `Lhost` をデタッチする場合

次のように `ajsqldetach` コマンドを実行してください。

```
ajsqldetach -h Lhost
```

`ajsqldetach` コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `ajsqldetach`」を参照してください。

- 論理ホスト `Lhost` をタッチする場合

次のように `ajsqlattach` コマンドを実行してください。

```
ajsqlattach -h Lhost
```

`ajsqlattach` コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `ajsqlattach`」を参照してください。

**KAVS1955-E**

The specified host (ホスト名) has already been attached.  
指定したホスト (ホスト名) は既にアタッチ済みです

指定したホスト「ホスト名」はすでにアタッチ済みです。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ホスト「ホスト名」の状態を `ajsqlstatus` コマンドを実行して確認してください。ホスト「ホスト名」がデタッチされていた場合は、`ajsqlattach` コマンドを実行して、ホスト「ホスト名」をアタッチしてください。

(例)

- 論理ホスト `Lhost` の詳細情報を出力する場合  
次のように `ajsqlstatus` コマンドを実行してください。

```
ajsqlstatus -h Lhost
```

`ajsqlstatus` コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `ajsqlstatus`」を参照してください。

- 論理ホスト `Lhost` をアタッチする場合  
次のように `ajsqlattach` コマンドを実行してください。

```
ajsqlattach -h Lhost
```

`ajsqlattach` コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `ajsqlattach`」を参照してください。

**KAVS1956-E**

An attempt to read the configuration definition failed.  
構成定義の読み取りに失敗しました

環境設定パラメーターの読み込みに失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。  
キューレスクラスタプロセスの場合は、該当する論理ホストのアタッチ処理を中止します。アタッチ処理を中止した場合、デフォルトの設定ではキューレスクラスタプロセスは異常終了しないで起動処理を続行します。

キューレスクラスタプロセスを異常終了させたい場合は、環境設定パラメーター `AJSQCL_CLUSTERREQ` に「error」を設定してください。

`AJSQCL_CLUSTERREQ` の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設

定」を参照してください。

(O)

DNS, `hosts` ファイル, または `jplhosts` ファイルに、正しいキューレスジョブ実行ホスト名, および IP アドレスが登録されていることを確認してください。同時に、メモリー不足でないことを確認し、`ajsqlattach` コマンドを実行してエラーとなった論理ホストを再度アタッチしてください。キューレスクラスタプロセスから論理ホストをアタッチしている場合は、エラーとなった論理ホストの JP1/AJS2 のサービスを再起動してください。  
上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

(例) 論理ホスト `Lhost` をアタッチする場合

次のように `ajsqlattach` コマンドを実行してください。

```
ajsqlattach -h Lhost
```

`ajsqlattach` コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `ajsqlattach`」を参照してください。

**KAVS1957-E**

The number of simultaneous job executions is invalid.  
ジョブ同時実行数が不正です

最大同時ジョブ実行数が不正です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

最大同時ジョブ実行数に 0 ~ 1,024 の値を指定して、再度コマンドを実行してください。

**KAVS1958-E**

The number of jobs waiting for execution is invalid.  
ジョブ実行待ち数が不正です

最大待ちジョブ数が不正です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

最大待ちジョブ数に 0 ~ 102,400 の値を指定して、再度コマンドを実行してください。

**KAVS1959-E**

An attempt to acquire the port information for file transmission failed. (service name: サービス名)  
ファイル転送サービスのポート情報の取得に失敗しました (サービス名: サービス名)

接続しようとしているポート情報が読み込めません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ポート情報を正しく定義したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS1960-E

Specify the logical host name when you specify the class name.

論理ホスト名はクラス名と同時に指定してください

論理ホスト名とクラス名が同時に指定されていません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 当該コマンドに論理ホスト名を指定する場合は、論理ホスト名とクラス名を同時に指定して、コマンドを再実行してください。

### KAVS1961-E

The candidate host (ホスト名) is not attached.

対象ホスト (ホスト名) はアタッチされていません

指定された論理ホスト「ホスト名」はアタッチされていません。

- (S) コマンドの実行を中止します。  
キューレスタスタプロセスの場合は、該当する論理ホストのアタッチ処理を中止します。アタッチ処理を中止した場合、デフォルトの設定ではキューレスタスタプロセスは異常終了しないで起動処理を続行します。  
キューレスタスタプロセスを異常終了させたい場合は、環境設定パラメーター `AJSQCL_CLUSTERREQ` に「error」を設定してください。  
`AJSQCL_CLUSTERREQ` の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設定」を参照してください。
- (O) 対象ホスト「ホスト名」があることを確認してください。対象ホスト「ホスト名」がない場合は、対象ホストを作成してください。

### KAVS1962-E

The command cannot be executed because the target host (ホスト名) is being detached.

対象ホスト (ホスト名) はデタッチ処理中のためコマンドが実行できません

対象ホスト「ホスト名」はデタッチ処理中のため、コマンドの実行を中止します。

- (S) コマンドの実行を中止します。  
キューレスタスタプロセスの場合は、該当する論理ホストのアタッチ処理を中止します。アタッチ処理を中止した場合、デフォルトの設定ではキューレスタスタプロセスは異常終了しないで起動処理を続行します。  
キューレスタスタプロセスを異常終了させたい場合は、環境設定パラメーター `AJSQCL_CLUSTERREQ` に「error」を設定してください。  
`AJSQCL_CLUSTERREQ` の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設定」を参照してください。  
なお、デタッチ処理を中止した場合は異常終了します。

- (O) `ajsqlattach` コマンドの実行によってこのメッセージが出力された場合は、`ajsqlstatus` コマンドを実行して対象ホスト「ホスト名」のデタッチが完了したことを確認したあと、`ajsqlattach` コマンドを再度実行してください。  
キューレスタスタプロセス起動時にこのメッセージが出力された場合は、`ajsqlstatus` コマンドを実行して対象ホスト「ホスト名」のデタッチが完了したことを確認したあと、対象ホスト「ホスト名」の `JP1/AJS2` サービスを再起動してください。  
キューレスタスタプロセス停止時、および `ajsqldetach` コマンドの実行によってこのメッセージが出力された場合は、対処の必要はありません。

- (例) 論理ホスト `Lhost` の詳細情報を出力する場合  
次のように `ajsqlstatus` コマンドを実行してください。

```
ajsqlstatus -h Lhost
```

`ajsqlstatus` コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `ajsqlstatus`」を参照してください。

### KAVS1963-E

.A job (ジョブ名) was not executed because the target host (ホスト名) will be detached.

対象ホスト (ホスト名) がデタッチされるためジョブ (ジョブ名) が実行できません

アタッチされていた対象ホスト「ホスト名」がデタッチ処理中であるため、実行待ち状態のキューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

- (S) キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。
- (O)

ajsqlattach コマンドを実行して対象ホスト「ホスト名」をアタッチし、起動失敗となったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

(例) 論理ホスト Lhost をアタッチする場合

次のように ajsqlattach コマンドを実行してください。

```
ajsqlattach -h Lhost
```

ajsqlattach コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsqlattach」を参照してください。

### KAVS1964-E

A job (ジョブ名) was not executed because queueless agent will now stop.

キューレスエージェントが終了するためジョブ (ジョブ名) が実行できません

キューレスエージェントサービスが終了するため、実行待ち状態のキューレスジョブ「ジョブ名」を実行できません。

(S)

キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。

(O)

キューレスエージェントサービスを再起動してから、起動失敗となったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

### KAVS1965-I

The queueless log file (変更前ファイル名) has been changed to 変更後ファイル名.

キューレスログファイル (変更前ファイル名) をキューレスログファイル (変更後ファイル名) に交代します

キューレスログファイルのサイズが環境設定パラメータで指定した容量を超えるため、キューレスログファイルを交代します。

(S)

処理を続行します。

(O)

必要に応じて、キューレスログファイルのバックアップをとってください。

### KAVS1966-I

The queueless cluster process (論理ホスト名) received a forced termination request from the start daemon.

キューレスクラスタプロセス (論理ホスト名) が起動デモンから強制停止要求を受信しました

論理ホスト「論理ホスト名」のキューレスクラスタプロセスが、JP1/AJS2 起動プロセス (jajs\_spmdd) から強制停

止要求を受けました。

(S)

論理ホストで実行中のキューレスジョブを強制終了し、該当する論理ホストをデタッチします。デタッチ完了後、キューレスクラスタプロセスは停止します。

### KAVS1967-I

The queueless cluster process (論理ホスト名) received a planned termination request from the start daemon.

キューレスクラスタプロセス (論理ホスト名) が起動デモンから計画停止要求を受信しました

論理ホスト「論理ホスト名」のキューレスクラスタプロセスが、JP1/AJS2 起動プロセス (jajs\_spmdd) から計画停止要求を受けました。

(S)

論理ホストで実行中のキューレスジョブの終了を待つから、該当する論理ホストをデタッチします。デタッチ完了後、キューレスクラスタプロセスは停止します。

### KAVS1968-I

The queueless cluster process (論理ホスト名) received a restriction stop request from the start daemon.

キューレスクラスタプロセス (論理ホスト名) が起動デモンからジョブ制限停止要求を受信しました

論理ホスト「論理ホスト名」のキューレスクラスタプロセスが、JP1/AJS2 起動プロセス (jajs\_spmdd) からジョブ制限停止要求を受けました。

(S)

論理ホストで実行中のキューレスジョブを強制終了し、該当する論理ホストをデタッチします。デタッチ完了後、キューレスクラスタプロセスは停止します。

### KAVS1969-I

The queueless cluster process (論理ホスト名) will now stop.

キューレスクラスタプロセス (論理ホスト名) を終了します

論理ホスト「論理ホスト名」のキューレスクラスタプロセスを終了します。

(S)

キューレスクラスタプロセス「論理ホスト名」を終了します。

### KAVS1970-I

The queueless cluster process (論理ホスト名) has ended.

キューレスクラスタプロセス (論理ホスト名) を終了しました

論理ホスト「論理ホスト名」のキューレスクラスタプロセスを終了しました。

- (S) キューレスクラスタプロセス「論理ホスト名」を終了しました。

#### KAVS1971-E

An execution file (ファイル名) was not found, so the job (ジョブ名) execution was not possible.  
実行ファイル(ファイル名)が見つからないためジョブ(ジョブ名)を実行できませんでした

実行ファイル「ファイル名」が見つからないため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できませんでした。

- (S) キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。
- (O) 実行ファイル「実行ファイル名」があること、および実行ファイル名が 254 文字以下であることを確認し、起動失敗となったキューレスジョブ「ジョブ名」を再度実行してください。

#### KAVS1972-E

The execution file (ファイル名) was invalid, so the job (ジョブ名) execution was not possible.  
実行ファイル(ファイル名)が無効なためジョブ(ジョブ名)を実行できませんでした

実行ファイル「ファイル名」が無効なため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できませんでした。

- (S) キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。
- (O) 実行ファイル「ファイル名」が単体で実行できるかどうかを確認し、起動失敗となったキューレスジョブを再度実行してください。

#### KAVS1973-E

The resources required for execution are insufficient, so the job (ジョブ名) execution was not possible.  
実行に必要なリソースが足りないためジョブ(ジョブ名)を実行できませんでした

実行に必要なリソースが不足しているため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できませんでした。

- (S) キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。
- (O) キューレスジョブ「ジョブ名」がエラーとなった要因として、次の内容が考えられます。
- ・メモリーが不足している。
  - ・ディスク容量が不足している。
  - ・デスクトップヒープが不足している。

上記要因を取り除いてから、起動失敗となったキューレスジョブを再度実行してください。

#### KAVS1974-E

The job (ジョブ名) could not be executed because the user does not have the required permission for execution.  
必要な特権を保有していないためジョブ(ジョブ名)を実行できませんでした

キューレスエージェントサービスのアカウントが、キューレスジョブの実行に必要な権限を保有していないため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できませんでした。

- (S) キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。
- (O) キューレスエージェントサービスのアカウントにジョブ実行に必要な権限を設定して、起動失敗となったキューレスジョブを再度実行してください。  
アカウントに対して設定が必要な権限の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 5.2.3 JP1/AJS2 のサービスの設定を変更する必要がある場合 (Windows 限定)」を参照してください。

#### KAVS1975-E

The disk capacity was insufficient, so a job (ジョブ名) could not be performed. : 保守情報  
ディスク容量が足りないためジョブ(ジョブ名)を実行できませんでした : 保守情報

キューレスジョブの実行に必要なディスク容量が不足しているため、キューレスジョブ「ジョブ名」を実行できませんでした。

- (S) キューレスジョブ「ジョブ名」の状態を「起動失敗」にします。
- (O) ディスクに空き領域を確保してから、起動失敗となったキューレスジョブ「ジョブ名」を実行してください。

#### KAVS1976-E

No right is granted to access the execution file (ファイル名).  
実行ファイル(ファイル名)へのアクセス権がありません

キューレスジョブ「ジョブ名」を実行する OS ユーザーに実行ファイル「ファイル名」へのアクセス権がないため、キューレスジョブを実行できませんでした。

- (S) キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。
- (O)

キューレスジョブを実行する OS ユーザーに、実行ファイル「ファイル名」に対して読み込み、および実行権限があることを確認し、起動失敗となったキューレスジョブを再度実行してください。

#### KAVS1977-E

No free space is available on the disk. : (保守情報1) (保守情報2)  
ディスクに空き容量がありません : (保守情報1) (保守情報2)

ディスクの空き容量不足が発生したため、「保守情報 1」に示すディレクトリまたはファイルを作成できません。

(S)

「保守情報 1」に出力されたディレクトリまたはファイルを作成しません。

(O)

ディスクの空き容量を確認したあと、エラーとなった処理を再度実行してください。

#### KAVS1978-E

The forced termination of a job (ジョブ名) failed. (プロセスID) (保守情報1)  
ジョブ (ジョブ名) の強制終了に失敗しました (プロセスID) (保守情報1)

キューレスジョブ「ジョブ名」の強制終了または打ち切り終了に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

キューレスジョブ「ジョブ名」を再度強制終了してください。強制終了できなかった場合は、「プロセスID」から、Windows の場合はタスクマネージャ、UNIX の場合は kill コマンドなどを使用して、キューレスジョブ「ジョブ名」を手動で終了してください。

#### KAVS1979-E

The job is of a format that the destination execution host (ホスト名) cannot accept.  
実行先ホスト (ホスト名) で受け付けられない形式のジョブです

PC ジョブを UNIX ホストへ、または UNIX ジョブを Windows ホストに対して実行しようとしたため、エージェントホスト「ホスト名」でジョブの実行に失敗しました。

(S)

キューレスジョブの状態を「起動失敗」にします。

(O)

ジョブの実行先ホストとして、PC ジョブは Windows ホストを、UNIX ジョブは UNIX ホストを

指定して、エラーとなったキューレスジョブを再度実行してください。

#### KAVS1980-I

The detach processing for the logical host (ホスト名) has been changed from planned detach to forced detach.

論理ホスト (ホスト名) のデタッチ処理を計画デタッチから強制デタッチに変更しました

論理ホスト「ホスト名」のデタッチ処理を、計画デタッチから強制デタッチへ変更しました。

(S)

強制デタッチ処理を実施します。

#### KAVS1981-I

The logical host (ホスト名) was attached.

論理ホスト (ホスト名) をアタッチしました

ajsqlattach コマンド、またはキューレスクラスタプロセスからの要求を受け付けて、論理ホスト「ホスト名」をアタッチしました。

(S)

論理ホスト「ホスト名」に対して、キューレスジョブを実行できるようにします。

#### KAVS1982-I

The logical host (ホスト名) was detached.

論理ホスト (ホスト名) をデタッチしました

ajsqldetach コマンド、またはキューレスクラスタプロセスからの要求を受け付けて、論理ホスト「ホスト名」をデタッチしました。

(S)

論理ホスト「ホスト名」に対して、キューレスジョブを実行できないようにします。

#### KAVS1983-I

The execution environment settings are (ホスト名, Number of simultaneously executable jobs=最大同時ジョブ実行数, Number of jobs waiting for execution=最大待ちジョブ数).

実行環境の設定値は (ホスト名, 同時ジョブ実行数=最大同時ジョブ実行数, 実行待ちジョブ数=最大待ちジョブ数) です

ajsqlalter コマンドの要求を受け付けて、ホスト名「ホスト名」の環境を更新しました。

(S)

ホスト名「ホスト名」の環境を更新します。最大同時ジョブ実行数, 最大待ちジョブ数に変更がない場合は、変更前の値を出力します。



**KAVS1984-I**

保守情報  
保守情報

キューレスジョブのサブミット要求を受け付けました。保守情報の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 E.2 キューレスエージェントサービスが出力するログ」を参照してください。

(S)

処理を続行します。

**KAVS1985-E**

The setup of the queueless job execution environment could not be updated. : 保守情報1 保守情報2 保守情報3  
キューレスジョブ実行環境の設定を更新できませんでした : 保守情報1 保守情報2 保守情報3

ajsqlsetup コマンドが失敗したため、キューレスジョブ実行環境の設定を更新できませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

「アプリケーション実行モード」で動作しているターミナルサービス環境下で ajsqlsetup コマンドを実行した場合、このメッセージを出力してエラーとなります。次の手順に従って ajsqlsetup コマンドを実行してください。

1. コマンドプロンプトを開き、change user コマンドに /query オプションを指定して実行する。  
実行結果から、現在の実行モードが「アプリケーション実行モード」であることを確認する。
2. change user コマンドに /install オプションを指定して実行し、実行モードを「アプリケーションインストールモード」に変更する。
3. ajsqlsetup コマンドを実行する。
4. change user コマンドに /execute オプションを指定して実行し、実行モードを「アプリケーション実行モード」に戻す。

change user コマンドの詳細については、Windows のヘルプを参照してください。  
上記以外の場合、メモリーが不足している、ディスク空き容量が不足しているなどのエラー要因が考えられます。エラー要因を取り除いたあと、ajsqlsetup コマンドを再度実行してください。  
問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVS1986-E**

Access permission for the services file is not granted, so the port information cannot be registered.

services ファイルへのアクセス権限がないためポート情報を登録できません

services ファイルへの書き込み権限がなく、ポート情報の登録に失敗したため、キューレスエージェントサービスのセットアップを中断します。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドを実行した OS ユーザーに、Windows の場合は Administrators 権限、UNIX の場合はスーパーユーザー権限があること、および services ファイルへの書き込み権限があることを確認してください。そのあと、コマンドを再度実行してください。

**KAVS1987-I**

The service (サービス名) stopped.

サービス (サービス名) を停止します

「サービス名」に示すサービスを停止することを通知するメッセージです。

(S)

「サービス名」に示すサービスを停止します。

**KAVS1988-E**

The specified class name (クラス名) does not exist.

指定したクラス名 (クラス名) は存在しません

指定したクラス名「クラス名」はありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

存在するクラス名を指定したあと、コマンドを実行してください。

**KAVS1989-E**

The operation is not possible because the service (サービス名) is not running.

サービス (サービス名) が起動されていないため操作できません

サービス「サービス名」が起動されていないため、コマンドを操作できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。  
キューレスクラスタプロセスの場合は、該当する論理ホストのアタッチ処理を中止します。アタッチ処理を中止した場合、デフォルトの設定ではキューレスクラスタプロセスは異常終了しないで起動処理を続行します。

キューレスクラスタプロセスを異常終了させたい場合は、環境設定パラメーター `AJSQCL_CLUSTERREQ` に「error」を設定してください。

`AJSQCL_CLUSTERREQ` の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設定」を参照してください。

なお、デタッチ処理を中止した場合は異常終了します。

(O)

サービスが起動されているのを確認してからコマンドを実行してください。

サービスが起動されている場合は、時間を空けてから再実行してください。再実行しても改善されない場合は、資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

サービスが起動されているかどうかは、次の方法で確認できます。

Windows の場合

[ コントロールパネル ] または [ 管理ツール ] の [ サービス ] で、サービスの状態を確認してください。

UNIX の場合

`ps` コマンドを使用して、該当するサービスのプロセスがあるか確認してください。

確認するプロセスについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 B.3 プロセサー一覧（UNIX の場合）」を参照してください。

キューレスクラスタプロセス起動時にこのメッセージが出力された場合は、サービス起動後に次のどちらかの方法で論理ホストをアタッチしてください。

- 該当する JP1/AJS2 サービスを再起動する
- `ajsqlattach` コマンドを使用して、論理ホストをアタッチする

キューレスクラスタプロセス停止時にこのメッセージが出力された場合は、サービスが停止されているため、操作は必要ありません。

## KAVS1990-E

An error occurred during the communication with the service (サービス名) because a network access error occurred. : 保守情報

サービス（サービス名）との通信処理中にネットワーク到達不能エラーが発生しました : 保守情報

サービス「サービス名」との通信処理中にネットワーク到達不能エラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

キューレスクラスタプロセスの場合は、該当する論理ホストのアタッチ処理を中止します。アタッチ処理を中止した場合、デフォルトの設定ではキューレスクラスタプロセスは異常終了しないで起動処理を続行しま

す。

キューレスクラスタプロセスを異常終了させたい場合は、環境設定パラメーター `AJSQCL_CLUSTERREQ` に「error」を設定してください。

`AJSQCL_CLUSTERREQ` の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設定」を参照してください。

なお、デタッチ処理を中止した場合は異常終了します。

(O)

`ping` コマンド、および `jplping` コマンドを実行して、サービス「サービス名」に対して通信できることを確認してください。通信できなかった場合は、DNS、hosts ファイル、または `jplhosts` ファイルに、正しいキューレスジョブ実行ホスト名、および IP アドレスが登録されていることを確認してください。

上記の対処完了後、エラーとなったコマンドを再度実行してください。キューレスクラスタプロセス起動時にエラーが発生していた場合は、該当する JP1/AJS2 のサービスを再起動してください。

キューレスクラスタプロセス停止時にエラーが発生していた場合は、`ajsqldetach` コマンドを実行してエラーとなった論理ホストをデタッチしてください。

問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

## KAVS1991-E

A communication timeout occurred during the communication with the service (サービス名). : 保守情報  
サービス（サービス名）との通信処理中に通信タイムアウトが発生しました : 保守情報

サービス「サービス名」との通信処理中に通信タイムアウトが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

キューレスクラスタプロセスの場合は、該当する論理ホストのアタッチ処理を中止します。アタッチ処理を中止した場合、デフォルトの設定ではキューレスクラスタプロセスは異常終了しないで起動処理を続行します。

キューレスクラスタプロセスを異常終了させたい場合は、環境設定パラメーター `AJSQCL_CLUSTERREQ` に「error」を設定してください。

`AJSQCL_CLUSTERREQ` の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設定」を参照してください。

なお、デタッチ処理を中止した場合は異常終了します。

(O)

ネットワークまたはマシンの高負荷によって、タイム

アウトが発生したおそれがあります。Windows の場合はタスクマネージャ、UNIX の場合は `top` コマンドなどを使用して、ネットワークおよびマシンの状態を確認してください。そのあと、エラーとなったコマンドを再度実行してください。

キューレスクラスタプロセス起動時にエラーが発生していた場合は、該当する JP1/AJS2 のサービスを再起動してください。

キューレスクラスタプロセス停止時にエラーが発生していた場合は、`ajsqldetach` コマンドを実行してエラーとなった論理ホストをデタッチしてください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1992-E

The connection was reset during the communication with the service (サービス名): 保守情報  
サービス (サービス名) との通信処理中に接続がリセットされました: 保守情報

サービスとの通信処理中に接続がリセットされました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

キューレスクラスタプロセスの場合は、該当する論理ホストのタッチ処理を中止します。タッチ処理を中止した場合、デフォルトの設定ではキューレスクラスタプロセスは異常終了しないで起動処理を続行します。

キューレスクラスタプロセスを異常終了させたい場合は、環境設定パラメーター `AJSQCL_CLUSTERREQ` に「error」を設定してください。

`AJSQCL_CLUSTERREQ` の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設定」を参照してください。

なお、デタッチ処理を中止した場合は異常終了します。

(O)

ネットワーク障害によって接続が切断されたおそれがあります。ping コマンド、および `jplping` コマンドを実行して、サービス「サービス名」に対して通信できることを確認してください。通信できなかった場合は、通信環境を見直してエラーの要因を取り除いてください。そのあと、エラーとなったコマンドを再度実行してください。

キューレスクラスタプロセス起動時にエラーが発生していた場合は、該当する JP1/AJS2 のサービスを再起動してください。

キューレスクラスタプロセス停止時にエラーが発生していた場合は、`ajsqldetach` コマンドを実行してエラーとなった論理ホストをデタッチしてください。

上記対処で問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1993-E

A buffer shortage occurred during the communication with the service (サービス名): 保守情報  
サービス (サービス名) との通信処理中にバッファ不足が発生しました: 保守情報

サービスとの通信処理中にバッファ不足が発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

キューレスクラスタプロセスの場合は、該当する論理ホストのタッチ処理を中止します。タッチ処理を中止した場合、デフォルトの設定ではキューレスクラスタプロセスは異常終了しないで起動処理を続行します。

キューレスクラスタプロセスを異常終了させたい場合は、環境設定パラメーター `AJSQCL_CLUSTERREQ` に「error」を設定してください。

`AJSQCL_CLUSTERREQ` の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設定」を参照してください。

なお、デタッチ処理を中止した場合は異常終了します。

(O)

ネットワークの高負荷、またはメモリー不足などがエラー要因として考えられます。ネットワークの状態、およびメモリーの状態を確認してください。そのあと、エラーとなったコマンドを再度実行してください。

キューレスクラスタプロセス起動時にエラーが発生していた場合は、該当する JP1/AJS2 のサービスを再起動してください。

キューレスクラスタプロセス停止時にエラーが発生していた場合は、`ajsqldetach` コマンドを実行してエラーとなった論理ホストをデタッチしてください。

問題を解決できなかった場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVS1994-E

Database file install directory is invalid. :(ディレクトリ名) (リターンコード)  
データベースファイル格納ディレクトリの指定に誤りがあります: (ディレクトリ名) (リターンコード)

環境設定パラメーター `AJSDBDIRECTORY` に指定したディレクトリパスに誤りがあるか、またはクラスタの実行系のセットアップ時であれば共有ディスクがマウントされていないおそれがあります。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

環境設定パラメーター `AJSDBDIRECTORY` に指定した

## KAVS1995-E ~ KAVS2101-E

ディレクトリパスがあるか確認してください。クラスタの実行系のセットアップ時であれば、共有ディスクがマウントされているか確認してください。  
確認が完了したらセットアップコマンドを再度実行してください。

### KAVS1995-E

The command ended because an attempt to get the detailed information of the queueless agent service failed.

キューレスエージェントサービスの詳細情報の取得に失敗したためコマンドを終了します

キューレスエージェントサービスの詳細情報の取得処理に失敗したため、コマンドの実行を中止します。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

直前に出力されるメッセージの対処法に従って問題を解決してから、コマンドを再実行してください。

### KAVS1996-I

The system has been switched from planned detach to forced detach, and the target host (ホスト名) has been detached. The command will now end.

計画デタッチから強制デタッチに切り替えられて、対象ホスト(ホスト名)がデタッチされたため、コマンドを終了します

計画デタッチから強制デタッチに切り替えられて、対象ホスト「ホスト名」がデタッチされたため、コマンドを終了します。

(S)

コマンドを終了します。

### KAVS1997-E

No authority for file(ファイル名).

ファイル(ファイル名)に対する権限がありません

コマンドを実行した OS ユーザーに、ファイル「ファイル名」に対する読み取り権限、または書き込み権限がありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドを実行した OS ユーザーに、ファイル「ファイル名」に対する読み取り権限、または書き込み権限を設定したあと、コマンドを再度実行してください。

### KAVS1998-E

The command cannot be executed because the processing is restricted.

制限処理中のため実行できません

次のサービスのうちのどれかが停止処理中のため、コマン

ドを中止します。

- キューレスエージェントサービス
- キューレスファイル転送サービス
- チェックマネージャーサービス
- チェックエージェントサービス

(S)

コマンドを中止します。

キューレスクラスタプロセスの場合は、該当する論理ホストのアタッチ処理を中止します。アタッチ処理を中止した場合、デフォルトの設定ではキューレスクラスタプロセスは異常終了しないで起動処理を続行します。

キューレスクラスタプロセスを異常終了させたい場合は、環境設定パラメーター `AJSQCL_CLUSTERREQ` に「error」を設定してください。

`AJSQCL_CLUSTERREQ` の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.4 キューレスジョブ実行環境の設定」を参照してください。

なお、デタッチ処理を中止した場合は異常終了します。

(O)

サービスを再起動したあと、再度コマンドを実行してください。

キューレスクラスタプロセス起動時にこのメッセージが出力された場合は、`ajsqlstatus` コマンドを実行して対象ホストが停止したことを確認したあと、対象ホストの JP1/AJS2 サービスを再起動してください。キューレスクラスタプロセス停止時、および `ajsqldetach` コマンドの実行によってこのメッセージが出力された場合は、対処の必要はありません。

(例) 論理ホスト `Lhost` の詳細情報を出力する場合  
次のように `ajsqlstatus` コマンドを実行してください。

```
ajsqlstatus -h Lhost
```

`ajsqlstatus` コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `ajsqlstatus`」を参照してください。

### KAVS2101-E

Embedded service is inactive.

組み込みDBは停止中です

組み込み DB は停止中です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

組み込み DB の起動を確認してください。

`ajsembdbstatus -s ust` コマンドを実行して組み込み DB の状態を確認してください。

**KAVS2102-E**

Starting/terminating the embedded service.  
組み込みDBは起動・停止処理中です

組み込み DB は起動・停止処理中です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
組み込み DB の起動・停止を確認してください。  
ajsembdbstatus -s ust コマンドを実行して組み込み DB の状態を確認してください。

**KAVS2103-E**

Embedded service is active.  
組み込みDBは起動中です

組み込み DB は起動中です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
組み込み DB の停止を確認してください。  
ajsembdbstatus -s ust コマンドを実行して組み込み DB の状態を確認してください。

**KAVS2104-E**

Embedded service is not set up.  
組み込みDBがセットアップされていません

組み込み DB がセットアップされていません。スケジューラサービスのデータベースに組み込み DB が設定されていないか、-id で指定したセットアップ識別子が不正です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
-id で指定したセットアップ識別子の値が正しいことを確認してください。または、スケジューラサービスのデータベースに組み込み DB を設定されているか ajsstatus コマンドで確認してください

**KAVS2105-E**

Specified file group (ログファイルグループ名) does not exist.  
指定したファイルグループ (ログファイルグループ名) は存在しません

指定したログファイルグループはありません。  
ajsembdboplog コマンドの -g オプションに指定したログファイルグループ名が誤っています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
指定したログファイルグループを見直してください。

**KAVS2106-E**

Failed to unload.  
アンロードに失敗しました

アンロードに失敗しました。ajsembdboplog -g コマンドで指定したログファイルグループは使用中です。または、ajsembdbbrorg -d コマンドで指定したディレクトリの容量が不足しています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ajsembdbstatus -s prc コマンドを実行して、実行したコマンドが停止していることを確認してから再実行してください。  
ajsembdboplog コマンドが実行中の場合、指定したログファイルグループが使用中でないことを、ajsembdbstatus -l コマンドで確認してください。  
ajsembdbbrorg コマンドが実行中の場合、-d で指定したディレクトリの容量を確認してください。

**KAVS2107-E**

Failed to reload.  
リロードに失敗しました

リロードに失敗しました。ajsembdbbrorg -k reld コマンド実行時、組み込み DB のデータベース領域不足が発生した場合に出力されます。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ajsembdbstatus -s prc コマンドを実行して、実行したコマンドが停止していることを確認してから再実行してください。  
アンロードしたデータをリロードする場合、組み込み DB が運用に最適な容量を確保することがあり、アンロードする前に使用していた領域では領域不足が発生する場合があります。この場合、ajsembdbreclaim コマンドを実行して、無効領域を解放したあとにコマンドを再実行してください。ajsembdbreclaim コマンドを実行して、無効領域が解放できない場合は領域を追加する必要があります。

**KAVS2108-E**

Invalid Embedded service definition.  
組み込みDBの定義が不正です

組み込み DB がコマンドを実行できる環境ではありません。ajsembdboplog -r -t コマンドを実行する場合、組み込み DB の環境はajsembdbbuild -bl が指定されている必要があります。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
実行する組み込み DB の環境を見直してください。組み込み DB の環境構築時に `ajsembdbbuild -bl` を指定していない場合は、組み込み DB の環境の再構築を検討してください。

#### KAVS2109-E

Specified file (ファイル名) exists.  
指定されたファイル (ファイル名) は存在しています

ファイル作成に失敗しました。ajsembdboplog コマンドの `-o` オプションにすでにあるファイルを指定した場合に出力されます。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
指定するファイル名を変更するか、ファイルを削除してから再実行してください。

#### KAVS2110-E

Performing replication.  
レプリケーション中です

処理に失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
JP1/AJS2・Datareplicator が停止していることを確認してください。

#### KAVS2113-E

Failed to read the configuration definition.  
構成定義の読み込みに失敗しました

構成定義の読み込みに失敗しました。組み込み DB の動作に必要な構成定義が設定されていません。資料採取ツール実行時、スケジューラーデータベースの組み込み DB 運用ディレクトリが取得できない場合に出力されます。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
組み込み DB がスケジューラーサービスの DB に設定されているかどうかを `ajsstatus` コマンドで確認してください。スケジューラーサービスの DB に設定されている場合は、セットアップ識別子が設定されているかどうかを確認してください。正しく設定されていない場合は、`jbssetcnf` コマンドを実行してセットアップ識別子を設定してください。

#### KAVS2114-E

Cannot create directory or file (ディレクトリ名またはファイル名).  
ディレクトリ又はファイル (ディレクトリ名またはファイル名) が作成できません

ディレクトリに権限がないためディレクトリまたはファイルの作成に失敗しました。資料採取ツール実行時、次に示すディレクトリに権限がない場合に出力されます。

Windows の場合  
%TEMP%\jplajs2\backlog

UNIX の場合  
/tmp/jplajs2/trouble/

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
指定したディレクトリに権限を付与して再実行してください。

#### KAVS2115-E

Embedded service is not installed.  
組み込みDBがインストールされていません

組み込み DB がインストールされていません。-id で指定したセットアップ識別子に登録された組み込み DB がアンインストール、または環境が削除されたおそれがあります。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
-id に登録された組み込み DB の環境を確認し、アンインストールされている場合は、組み込み DB のインストールおよびセットアップを実行し、スケジューラーサービスのデータベースに組み込み DB を設定し直してください。  
組み込み DB の環境が削除されている場合は、組み込み DB のセットアップを実行し、スケジューラーサービスのデータベースに組み込み DB を設定し直してください。

#### KAVS2116-E

There is an error in the specified option.  
詳細情報  
USAGE

指定したオプションに誤りがあります

指定したオプションに誤りがあります。

「詳細情報」を次に示します。

- Options ( オプション) are needed.  
必須または必要なオプションがありません。
- Illegal option ( オプション) exists.  
不正なオプションが指定されています。

- Extra option (オプション) exist.  
余分なオプションが指定されています。
- Invalid value for option (オプション).  
オプションの値に誤りがあります。  
(オプション) に -F が表示されている場合は, -mh で指定した論理ホストが不正の場合があります。また, -F もしくは -mh のどちらかを指定していない場合, またはどちらも指定していない場合は, 次の内容を確認してください。  
• -F を省略した場合, 環境変数 AJSCONF または環境設定パラメーター DEFAULTSERVICE\_NAME  
• -mh を省略した場合, 環境変数 JP1\_HOSTNAME
- Value of option (オプション) exceeds prescribed length.  
オプションの値が規定長を超えています。
- Value of option (オプション) is not specified.  
オプションの値が指定されていません。
- Option (オプション) appears twice or more.  
オプション (オプション) が 2 回以上指定されています。
- No unload file.  
アンロードファイルがありません。
- Cannot specify these options (オプション) together.  
同時に指定できないオプションが指定されています。

(S)  
コマンドの実行を中止します。

(O)  
オプションを確認して再度実行してください。

### KAVS2117-E

An error has occurred in the コマンド名 command. 保守情報  
コマンド名コマンド実行時にエラーが発生しました 保守情報

コマンド実行時にエラーが発生しました。

(S)  
コマンドの実行を中止します。

(O)  
保守情報に出力されているメッセージを参照してください。

### KAVS2118-Q

Could not stop the embedded service. Continue process? (y/n)  
組み込みDBを停止できませんでした。このまま, 処理を続行しますか? (y: する/n: しない)

処理を続行するかどうかの確認です。組み込み DB の状態が停止状態以外のまま処理を続行すると, エラーとなり処理が中断します。

(S)  
応答を待ちます。

(O)  
ajsembdbstatus -s コマンドを実行して組み込み DB の状態を確認してください。組み込み DB の状態が停止状態になったあと, 「y」を入力し, 処理を続行してください。処理を中断する場合は, 「n」を入力してください。  
「y」または「n」以外が入力された場合は, 「n」を入力したときと同様に処理が中断されます。

### KAVS2119-E

Specified directory (ディレクトリ名) does not exist.  
ディレクトリが存在しません

ajsembdboplog コマンドの -o オプションで指定した出力先ファイル名のディレクトリ部分に誤りがあります。

(S)  
コマンドの実行を中止します。

(O)  
-o オプションで指定した出力先ファイル名 (フルパス指定) に誤りがないか確認し, 正しい出力先ファイル名を指定し再度実行してください。

### KAVS2120-E

A log group cannot add.  
ログファイルグループが追加出来ません

作成できるログファイルグループの上限数を超えるため追加できません。上限数については, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsembdbaddlog」を参照してください。

(S)  
コマンドの実行を中止します。

(O)  
ログファイル数を確認してください。

### KAVS2121-E

Database file already exists.  
作成しようとしたデータベース領域に同じファイル名が既に存在しました

作成しようとしたデータベース領域に同じファイル名がすでにありました。ajsembdbaddlog コマンドまたは ajsembdbaddarea コマンドの -d オプションで指定したディレクトリに, すでに同じファイル名がありました。

(S)  
コマンドの実行を中止します。

(O)  
再度実行してください。

### KAVS2122-E

---

A temporary file already exists.

組み込みDB操作コマンドで作成しようとした一時ファイルと同じファイル名が既に存在しました

---

組み込み DB 操作コマンドで作成しようとした一時ファイルと同じファイル名がすでにありました。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。

- (O)                    再度実行してください。

### KAVS2123-E

---

Embedded DB version is invalid.

組み込みDBのバージョンが不正です

---

組み込み DB のバージョンは JP1/AJS2 の前提バージョンである必要があります。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。

- (O)                    組み込み DB を JP1/AJS2 の前提バージョンにバージョンアップしてください。

### KAVS2124-E

---

Failed in construction of EmbedDB server.

組み込みDBサーバーの構築に失敗しました

---

組み込み DB サーバの構築に失敗しました。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。

- (O)                    このメッセージの前に出力されているエラーメッセージについて対策を行ってください。そのあと、  
ajsembdbunset に -i オプションを指定して組み込み DB 環境を削除し、ajsembdbbuild を実行してください。エラーメッセージと対処方法については、  
マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 20. セットアップ時に使用するコマンド ajsembdbbuild」のエラー発生時の対処を参照してください。

### KAVS2125-E

---

Cannot create directory or file.

ディレクトリ又はファイルが作成できません

---

組み込み DB 運用ディレクトリにアクセス権限がないなどの原因で、ディレクトリまたはファイルを作成できません。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。

- (O)

組み込み DB 運用ディレクトリに書き込み権限があるかどうか確認してください。また、ディスクに空き容量があるかどうか確認してください。

### KAVS2126-E

---

Embedded setup environment already exists.

指定した組み込みDB運用ディレクトリは既にセットアップ済みです。

---

指定した組み込み DB 運用ディレクトリはすでにほかのセットアップ識別子で関連づけられています。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。

- (O)                    指定した組み込み DB 運用ディレクトリが正しいか確認してください。  
組み込み DB 運用ディレクトリとセットアップ識別子の関連づけについては ajsembdbidlist コマンドで確認してください。

### KAVS3400-I

---

An error occurred while adding the JP1/AJS2 Check Manager service. : code=戻り値 api=API名称 err=API戻り値

JP1/AJS2 Check Manager サービスを追加中にエラーが発生しました : code=戻り値 api=API名称 err=API戻り値

---

JP1/AJS2 Check Manager サービスを追加中にエラーが発生しました。

- (S)                    セットアップ処理を終了します。

- (O)                    メモリー不足またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了するか、不要なファイルを消去して空き容量を作ったあと、再度セットアップコマンドを実行してください。

### KAVS3401-I

---

An error occurred while deleting the JP1/AJS2 Check Manager service. : code=戻り値 api=API名称 err=API戻り値

JP1/AJS2 Check Manager サービスを削除中にエラーが発生しました : code=戻り値 api=API名称 err=API戻り値

---

JP1/AJS2 Check Manager サービスを削除中にエラーが発生しました。

- (S)                    セットアップ処理を終了します。

- (O)                    メモリー不足またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了するか、不要なファイルを消去して空き容量を作ったあと、再



度セットアップコマンドを実行してください。

#### KAVS3402-I

The JP1/AJS2 Check Manager service will now start.  
JP1/AJS2 Check Managerサービスを起動します

JP1/AJS2 Check Manager サービスを起動します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVS3403-I

The JP1/AJS2 Check Manager service will now stop.  
JP1/AJS2 Check Managerサービスを停止します

JP1/AJS2 Check Manager サービスを停止します。

(S)

JP1/AJS2 Check Manager サービスを停止します。

#### KAVS3404-I

An error occurred while adding the JP1/AJS2 Check Agent service. : code=戻り値 api=API名称 err=API戻り値  
JP1/AJS2 Check Agentサービスを追加中にエラーが発生しました : code=戻り値 api=API名称 err=API戻り値

JP1/AJS2 Check Agent サービスを追加中にエラーが発生しました。

(S)

セットアップ処理を終了します。

(O)

メモリー不足またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了するか、不要なファイルを消去して空き容量を作ったあと、再度セットアップコマンドを実行してください。

#### KAVS3405-I

An error occurred while deleting the JP1/AJS2 Check Agent service. : code=戻り値 api=API名称 err=API戻り値  
JP1/AJS2 Check Agentサービスを削除中にエラーが発生しました : code=戻り値 api=API名称 err=API戻り値

JP1/AJS2 Check Agent サービスを削除中にエラーが発生しました。

(S)

セットアップ処理を終了します。

(O)

メモリー不足またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了するか、不要なファイルを消去して空き容量を作ったあと、再度セットアップコマンドを実行してください。

#### KAVS3406-I

The JP1/AJS2 Check Agent service will now start.  
JP1/AJS2 Check Agentサービスを起動します

JP1/AJS2 Check Agent サービスを起動します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVS3407-I

The JP1/AJS2 Check Agent service will now stop.  
JP1/AJS2 Check Agentサービスを停止します

JP1/AJS2 Check Agent サービスを停止します。

(S)

JP1/AJS2 Check Agent サービスを停止します。

#### KAVS3408-I

The function for pre-checking definitions is not enabled.  
定義内容の事前チェック機能は有効になっていません。

JP1/AJS2・Manager で定義内容の事前チェック機能が有効になっていないため、操作できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2・Manager で定義内容の事前チェック機能を有効にしてください。

#### KAVS3409-I

An attempt to connect to the Check Agent service (エージェント名) has failed. : 保守情報  
チェックエージェントサービス (エージェント名) との接続に失敗しました : 保守情報

チェックエージェントサービスとの接続に失敗しました。

(S)

当該エージェントについての定義内容の事前チェックはエラーとなり、他のチェックエージェントサービスについて処理を続行します。

(O)

エラーとなったエージェントでチェックエージェントサービスが正しく起動していることを確認したあと、定義内容の事前チェックを再度実行してください。

#### KAVS3410-I

The connection with the check agent service (エージェント名) was closed. : 保守情報  
チェックエージェントサービス (エージェント名) との接続が切断されました : 保守情報

チェックエージェントサービスとの接続が切断されました。

## KAVS3411-I ~ KAVS3417-I

- (S)  
当該エージェントについての定義内容の事前チェックはエラーとなり、他のチェックエージェントサービスについて処理を続行します。
- (O)  
マネージャー側とエージェント側のメッセージから、エラーの原因を調べて対処したあと、定義内容の事前チェックを再度実行してください。

### KAVS3411-I

Definitions are being pre-checked elsewhere, so execution is not possible.

他で定義内容の事前チェック中のため実行できません

ほかで定義内容の事前チェック中のため実行できません。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
ほかで実行中の定義内容の事前チェックが終了したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS3412-I

The host name, scheduler service name, or execution ID cannot be specified for the unit name. : ユニット名  
ユニット名にホスト名、スケジューラーサービス名および、実行IDは指定できません : ユニット名

ユニット名にホスト名、スケジューラーサービス名および、実行 ID は指定できません。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
ホスト名、スケジューラーサービス名、および実行 ID の指定を取り除いて、コマンドを再実行してください。

### KAVS3413-I

An attempt to connect to the check manager service has failed. : 保守情報

チェックマネージャーサービスとの接続に失敗しました : 保守情報

チェックマネージャーサービスとの接続に失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
チェックマネージャーサービスが正しく起動していることを確認したあと、定義内容の事前チェックを再度実行してください。

### KAVS3414-I

The Check Agent ended abnormally.

チェックエージェントが異常終了しました

チェックエージェントサービスが異常終了しました。

- (S)  
チェックエージェントサービスを終了します。
- (O)  
このメッセージの直前に出力されるメッセージの対処方法に従って対処してください。

### KAVS3415-I

JP1/AJS2 Check Agent will now terminate.

チェックエージェントを打ち切ります

ajschkstop コマンドの強制終了要求を受け付けました。

- (S)  
チェックエージェントサービスを終了します。

### KAVS3416-I

The configuration definition of the logical host (論理ホスト名) does not exist.

論理ホスト (論理ホスト名) の構成定義がありません

論理ホスト「論理ホスト名」の環境設定がされていません。

- (S)  
チェックエージェントサービス起動時にエラーが発生した場合は、処理を続行します。ただし、当該論理ホストは、ジョブ実行先ホストとして扱われません。コマンド実行時にエラーが発生した場合は、処理を中止します。
- (O)  
論理ホスト「論理ホスト名」の環境設定を実施後、チェックエージェントサービスを再起動してください。また、コマンド実行時の場合は、引数に正しい論理ホスト名が指定されていることを確認してください。

### KAVS3417-I

An error occurred during an attempt to acquire the configuration definition of the logical host (論理ホスト). (function=保守情報1, code=保守情報2)

論理ホスト (論理ホスト) の構成定義の取得に失敗しました (関数=保守情報1, コード=保守情報2)

論理ホスト「論理ホスト」の環境設定パラメーター値の取得に失敗しました。

- (S)  
チェックエージェントサービス起動時にエラーが発生した場合は、処理を続行します。ただし、当該論理ホストは、ジョブ実行先ホストとして扱われません。コマンド実行時にエラーが発生した場合は、処理を中止

します。

(O)

論理ホスト「論理ホスト」の環境設定パラメーター値に正しい値が設定されていることを確認してから、チェックエージェントサービスを再起動してください。また、コマンド実行時の場合は、引数に正しい論理ホスト名が指定されていることを確認してください。

#### KAVS3418-I

Memory is insufficient, so the job (ジョブ名) cannot be accepted.

メモリ不足のためジョブ (ジョブ名) を受け付けることができません

メモリー不足のため、ジョブを受け付けることができません。

(S)

当該ジョブのチェック処理を中止します。

(O)

ジョブのチェックに必要なメモリーを確保できる状態になるまで待ち、定義内容の事前チェックを再度実行してください。

#### KAVS3419-I

An iconv\_open error occurred, so character conversion is not possible. : 保守情報1 (保守情報2)

文字コード変換の準備に失敗したため、文字コード変換は行いません : 保守情報1 (保守情報2)

文字コード変換の準備に失敗したため、文字コード変換は行いません。

(S)

処理を続行します。

(O)

文字コード変換を行うには、文字コードの設定を確認してチェックエージェントを再起動してください。

#### KAVS3420-I

Too many processes exist, so the job (ジョブ名) cannot be checked.

プロセス数が多すぎるため、ジョブ (ジョブ名) のチェックができません

プロセス数が多過ぎるため、ジョブ「ジョブ名」のチェックができません。

(S)

当該ジョブのチェック処理を中止します。

(O)

チェック可能なプロセス数になるまで待ち、定義内容の事前チェックを再度実行してください。

#### KAVS3421-I

The shared memory size is invalid. (size=サイズ)  
共有メモリのサイズが不正です (サイズ=サイズ)

共有メモリーのサイズが不正です。

(S)

チェックエージェントサービスを終了します。

(O)

カーネルパラメーターのセマフォと共有メモリーの設定値を見直してください。見直したあと、定義内容の事前チェックを再度実行してください。

#### KAVS3422-I

Too many shared memories exist on the system.  
システムの共有メモリ数が多すぎます

システムの共有メモリー数が多過ぎます。

(S)

チェックエージェントを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。システムで決められた共有メモリーの識別子の数が最大値を超えているため、カーネルパラメーターの見直しを行い、再実行してください。

#### KAVS3423-I

The number of shared memory attaches is invalid.  
共有メモリのアタッチ数が不正です

共有メモリーのアタッチ数が不正です。

(S)

チェックエージェントを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。プロセスに結び付けられた共有メモリー・セグメントの数が、システムによって決められた限界を超えているため、カーネルパラメーターの見直しを行い、再実行してください。

#### KAVS3424-I

The setup of the function for pre-checking definitions execution environment could not be updated. : 保守情報1 保守情報2 保守情報3  
定義内容の事前チェック機能の実行環境の設定を更新できませんでした : 保守情報1 保守情報2 保守情報3

ajschsksetup コマンドが失敗したため、定義内容の事前チェック機能の実行環境の設定を更新できませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

セットアップ環境が不正であるおそれがあります。

## KAVS3425-I ~ KAVS3430-I

JP1/AJS2のセットアップが正しく完了していることを確認したあと、再度実行してください。

### KAVS3425-I

An attempt to acquire port information of the check agent service has failed. (service name: サービス名)  
チェックエージェントサービスのポート情報の取得に失敗しました (サービス名: サービス名)

接続しようとしているポート情報が読み込めません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ポート情報を正しく定義したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVS3426-I

The function for pre-checking definitions log file (変更前ファイル名) has been changed to変更後ファイル名.  
定義チェックログファイル (変更前ファイル名) を定義チェックログファイル (変更後ファイル名) に交代します

定義チェックログファイルのサイズが環境設定パラメーターで指定した容量を超えるため、定義チェックログファイルを交代します。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
必要に応じて、定義チェックログファイルのバックアップをとってください。

### KAVS3427-I

JP1/AJS2 Check Manager will now terminate.  
チェックマネージャーが異常終了しました

チェックマネージャーサービスが異常終了しました。

- (S)  
チェックマネージャーサービスを終了します。
- (O)  
このメッセージの直前に出力されるメッセージの対処方法に従って対処してください。このメッセージの直前に「KAVS34」で始まるエラー原因を示すメッセージが出力されていない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVS3428-I

Failed in the request transmission of the definition check function in JP1/AJS2 Check Agent(エージェント名). :保守情報  
チェックエージェント(エージェント名)への定義内容の事前チェック要求に失敗しました: 保守情報

(エージェント名) に表示された JP1/AJS2 Check Agent への定義内容の事前チェック要求に失敗しました。

- (S)  
当該エージェントについての定義内容の事前チェックはエラーとなり、他のチェックエージェントサービスについて処理を続行します。
- (O)  
エラーとなったエージェントホスト上でチェックエージェントサービスが正しく起動していることを確認したあと、定義内容の事前チェックを再度実行してください。

### KAVS3429-I

The connection with JP1/AJS2 Check Agent(エージェント名) is disconnected because there is no response from JP1/AJS2 Check Agent(エージェント名).(時間)  
チェックエージェント(エージェント名)からの応答がないため、チェックエージェント(エージェント名)との接続を切断します(時間)

チェックエージェントからの応答が、(時間)に表示された時間(単位: 秒)ありません。(エージェント名)に表示されたチェックエージェントとの接続を切断します。

- (S)  
当該エージェントについての定義内容の事前チェックはエラーとなり、他のチェックエージェントサービスについて処理を続行します。
- (O)  
マネージャー側とエージェント側のメッセージから、エラーの原因を調べて対処したあと、定義内容の事前チェックを再度実行してください。

### KAVS3430-I

The value(項目名), specified in the environment settings parameter(パラメーター名) of the definitioncheck function, is out of range. The default value(デフォルト値) will be assumed and processing will continue.  
定義内容の事前チェック機能の環境設定パラメーター (パラメーター名) に指定した値 (項目名) が有効範囲外のため、デフォルト値 (デフォルト値) を仮定して処理を続行します

定義内容の事前チェック機能の環境設定パラメーターに指定した値が有効範囲外のため、デフォルト値を仮定して処理を続行します。

- (S)  
(デフォルト値) に示された値を仮定して処理を続行します。
- (O)  
環境設定パラメーターの値を正しく設定したあと、JP1/AJS2 Check Manager または JP1/AJS2 Check Agent を再起動してください。

**KAVS3431-I**

The definitioncheck function error detected while processing プロセス名. (保守情報1, 保守情報2)  
定義内容の事前チェック機能で、プロセス名処理中にエラーを検出しました (保守情報1, 保守情報2)

定義内容の事前チェック機能内の処理中にエラーを検出しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
保守情報 1 と保守情報 2 に対応する KAVS メッセージの対処方法に従って対処したあと、定義内容の事前チェックを再度実行してください。

**KAVS3432-I**

An error has occurred in JP1/AJS2 for the connection host. (接続ホスト名)  
接続ホスト上のJP1/AJS2でエラーが発生しました (接続ホスト名)

次の理由で、接続ホスト上の JP1/AJS2 でエラーが発生しました。

- 接続ホストの JP1/AJS2 Monitor サービスが起動されていない
- 接続ホストの JP1/AJS2 - Manager がルートジョブネットの実行順序制御機能をサポートしていない
- 接続ホストの JP1/AJS2 との通信でエラーが発生した

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
接続ホストでエラーの原因について対処したあと、定義内容の事前チェックを再度実行してください。

**KAVS3600-E**

The JP1/AJS2 - Scenario Operation linkage function has already been set up.  
既にJP1/AJS2 - Scenario Operation連携機能はセットアップされています

すでに JP1/AJS2 - Scenario Operation 連携機能はセットアップされているため、セットアップ処理を行いませんでした。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
すでに JP1/AJS2 - Scenario Operation 連携機能は有効になっているため、ajssosetup コマンドを使用して再セットアップすることはできません。再セットアップを行いたい場合は、一度アンセットアップしたあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS3910-E**

Interprocess communication failed. : 保守情報1 保守情報2 保守情報3  
プロセス間通信に失敗しました：保守情報1 保守情報2 保守情報3

プロセス間通信に失敗しました。

- (S)  
環境設定パラメーター COMMANDEVENT に「yes」を指定している場合、次のイベント出力時も JP1/Base のイベントサービスと接続します。
- (O)  
原因を調査したあと、コマンドを再実行してください。  
JP1/Base イベントサービスが停止している場合は JP1/Base イベントサービスを起動してください。  
保守情報 1 に「Failed to put Event.」のメッセージが出力されている場合で、環境設定パラメーター COMMANDEVENT を省略するか、または「no」を指定しているとき、JP1/Base のイベントサービスの状態を確認して、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。

**KAVS4091-E**

The wrong request was received. (保守情報)  
処理できない不正な要求を受け付けました (保守情報)

ジョブサブミットプロセスが不正な情報を受け取りました。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVS4092-I**

Communication with a command process was disconnected. (保守情報)  
処理要求元コマンドプロセスとの通信が切断されました (保守情報)

処理要求元コマンドプロセスとの通信が切断されました。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVS4200-E**

Failed to write the file created during unit (ユニット名) execution. : 保守情報  
ユニット (ユニット名) 実行時に作成するファイルの書き込みに失敗しました：保守情報

ユニットの実行時に作成するファイルの DB 書き込みに失敗しました。そのため、ディザスターモードでサービスを起動した場合、次に示す問題が発生するおそれがあります。

- ユニット名に表示されたユニットの実行結果詳細がない。

## KAVS4201-E ~ KAVS4203-E

- ・ユニット名に表示されたユニットの後続ユニットの実行時にマクロ変数が正しく引き継がれない。

(S)

ユニットの実行を続行します。

(O)

このメッセージの前に出力されたメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除いてください。エラー原因を取り除いたあと、ユニット名に表示されたユニットを指定して再実行してください。

### KAVS4201-E

Failed to save the macro variable specified during jobnet (ジョブネット名) execution registration. Execution registration cancelled. : 保守情報1 保守情報2

ジョブネット (ジョブネット名) の実行登録時に指定したマクロ変数の保存に失敗したため、実行登録を中止します : 保守情報1 保守情報2

ジョブネットの実行登録時に指定したマクロ変数の保存に失敗したため、実行登録処理を中止します。

(S)

処理を中止します。

(O)

このメッセージの前に出力されたメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除いてください。エラー原因を取り除いたあと、ジョブネットを再登録してください。

### KAVS4202-E

File creation failed during creating a generation of jobnet (ジョブネット名). Generation creation (実行ID) is canceled. : 保守情報1 保守情報2

ジョブネット (ジョブネット名) の世代作成中にファイルの作成に失敗したため、世代 (実行ID) の作成を中止します : 保守情報1 保守情報2

ジョブネットの新規世代の作成中にマクロ変数の引き継ぎ、または新規世代の実行IDの記録に失敗したため、新規世代の作成を中止します。

(S)

処理を中止します。

(O)

このメッセージの前に出力されたメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除いてください。ジョブネットの実行登録に失敗した場合、再登録してください。ジョブネットの実行登録に成功し、ジョブネットの実行前にこのメッセージが出力された場合は、実行登録方法により対処が異なります。実行登録の方法ごとに次の対処をしてください。

確定登録・期間指定 (予定情報ファイル使用時を含む)

指定した期間に世代が作成されているか確認したあと、未作成だった世代を追加登録してください。未作成だった世代数が多い場合、該当する

ジョブネットを全登録解除したあと、再登録してください。

確定登録・未来世代数指定または計画登録

世代の作成が中止された以降の世代は作成されません。該当するジョブネットを全登録解除したあと、再登録してください。

なお、実行登録の方法にかかわらず、起動条件を使用し、実行中にこのメッセージが出力された場合、該当するジョブネットは監視打ち切り終了となります。計画一時変更中または追加登録でこのメッセージが出力された場合は、再度同じ操作を行ってください。

### KAVS4203-E

Deletion of an unnecessary macro variable failed during creating a generation of jobnet (ジョブネット名).

Generation creation (実行ID) is canceled. : 保守情報1 保守情報2

ジョブネット (ジョブネット名) の世代作成中に不要なマクロ変数の削除に失敗したため、世代 (実行ID) の作成を中止します : 保守情報1 保守情報2

ジョブネットの新規世代作成中に不要なマクロ変数のファイルまたはレコードの削除に失敗したため、新規世代の作成を中止します。

(S)

処理を中止します。

(O)

このメッセージの前に出力されたメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除いてください。ジョブネットの実行登録に失敗した場合、再登録してください。ジョブネットの実行登録に成功し、ジョブネットの実行前にこのメッセージが出力された場合は、実行登録の方法によって対処が異なります。実行登録の方法ごとに次の対処をしてください。

確定登録・期間指定 (予定情報ファイル使用時を含む)

指定した期間に世代が作成されているか確認したあと、未作成だった世代を追加登録してください。未作成だった世代数が多い場合、該当するジョブネットを全登録解除したあと、再登録してください。

確定登録・未来世代数指定または計画登録

世代の作成が中止された以降の世代は作成されません。該当するジョブネットを全登録解除したあと、再登録してください。

なお、実行登録の方法にかかわらず、起動条件を使用し、実行中にこのメッセージが出力された場合、該当するジョブネットは監視打ち切り終了となります。計画一時変更中または追加登録でこのメッセージが出力された場合は、再度同じ操作を行ってください。

**KAVS4204-E**

Failed to delete unnecessary file or record for unit (ジョブネット名: 実行ID): 保守情報1保守情報2  
 ユニット (ジョブネット名: 実行ID) の不要なファイルまたはレコードの削除に失敗しました : 保守情報1 保守情報2

ユニットの不要なマクロ変数またはジョブエラー情報の削除に失敗しました。不要なファイルまたはデータベースに不要なファイルのレコードが残ります。

(S)

処理を続行します。

(O)

このメッセージの前に出力されたメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除いてください。当該世代の登録解除に失敗した場合、ジョブネットの実行または再実行をせず、再度登録解除をしてください。該当の世代の登録解除に成功した場合や、新規世代の作成中、世代の実行中、またはサスペンド中のユニットの削除中にこのエラーメッセージが表示された場合、該当のユニットの不要なファイルが残ります。このエラーメッセージが数多く出力される場合、ディスク容量を確認してください。HiRDB または組み込みデータベースを使用し、JP1/AJS2 - Datareplicator を使用している場合、データベースへ不要なファイルのレコードが残ります。pdfstatfs コマンドでデータベースの未使用領域を確認してください。必要に応じてコールドスタートをしてください。

**KAVS4209-W**

An error has occurred while restructuring JP1/AJS2 control file from an EmbedDB.  
 組み込みDBからのJP1/AJS2制御ファイル再構築処理でエラーになったファイルがあります。

次の要因で、ジョブ情報格納フォルダ配下の実行結果詳細ファイルなどの再構築処理でエラーが発生しました。

- ジョブ情報格納フォルダおよびその配下のファイルに更新権限がありません。
- ファイルシステムの空き容量が不足しています。

(S)

処理を続行します。

(O)

このエラーメッセージが出力されると、次の現象が発生するおそれがあります。

- 運用を開始したあと、キューを使用するジョブが異常終了する。
- 再構築する前のジョブの実行結果詳細が表示されない。
- 再構築を行う前のイベントジョブの引き継ぎ情報、およびマクロ変数を使用したジョブやジョブネットが正しく再実行できない。

**KAVS4210-E**

The JP1/AJS2 - Datareplicator linkage function has already been set up.

既にJP1/AJS2 - Datareplicator連携機能はセットアップされています

すでに JP1/AJS2 - Datareplicator 連携機能はセットアップされているため、セットアップ処理を行いませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

すでにセットアップされているため、ajsembdbsetup コマンドを使用して再セットアップする必要はありません。  
 再セットアップを行いたい場合は、ajsembdbsetup -e コマンドを実行してアンセットアップしたあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS4211-E**

The JP1/AJS2 service is not inactive.  
 JP1/AJS2サービスが停止されていません

JP1/AJS2 サービスが停止されていないため、指定したコマンドは実行できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

JP1/AJS2 サービスを停止したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS4212-E**

The JP1/AJS2 - Datareplicator linkage function is not set up.

JP1/AJS2 - Datareplicator連携機能はセットアップされていません

JP1/AJS2 - Datareplicator 連携機能はセットアップされていないため、アンセットアップ処理を行いませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

セットアップされていないため、ajsembdbsetup コマンドを使用してアンセットアップする必要はありません。

**KAVS4601-E**

Cannot treat as jobnet for the connection destination. : ユニット名  
 接続先のジョブネットとして扱えません : ユニット名

接続先のジョブネットだけに指定できるオプションを、接続先のジョブネット以外のユニットに指定しています。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、複数のジョブを指定した場合は、処理を続行します。
- (O) 接続先のジョブネット名を指定して、コマンドを再実行してください。

#### KAVS4602-E

Invalid information relating to jobnet connector. : ユニット名  
ジョブネットコネクタ接続情報の指定方法に誤りがあります : ユニット名

ユニット定義中の実行順序制御情報の指定に誤りがあります。

次の原因が考えられます。

- 実行順序制御情報を含むユニットを次のユニット以外に作成した。
  - ・プランニンググループ
  - ・ルートジョブネット (プランニンググループ配下を除く)
- ルートジョブネットまたはプランニンググループに、ジョブネットコネクタとの接続を行わないように指定したにもかかわらず、次の情報のどれかを指定した。
  - ・[ ジョブネットコネクタ名 ] に値を指定した
  - ・[ 実行順序制御方式 ] に [ 同期 ] を指定した
  - ・[ スケジューラサービス間連携 ] に [ 連携する ] を指定した
  - ・[ 接続ホスト名 ] に値を指定した
  - ・[ 接続サービス名 ] に値を指定した
- ルートジョブネット、プランニンググループまたはジョブネットコネクタに、スケジューラサービス間連携を行わないように指定したにもかかわらず、次の情報のどれかを指定した。
  - ・[ 接続ホスト名 ] に値を指定した
  - ・[ 接続サービス名 ] に値を指定した
- ルートジョブネット、プランニンググループまたはジョブネットコネクタに、スケジューラサービス間連携を行うように指定したにもかかわらず、接続サービス名が指定されていない。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ユニット定義内容を確認し、コマンドを実行してください。

#### KAVS4603-E

Cannot hold rerun jobnet connector. : ユニット名  
ジョブネットコネクタを保留状態にして再実行することはできません : ユニット名

ジョブネットコネクタを保留状態にすることはできません。したがって、再実行できません。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、複数のジョブ

を指定した場合は、処理を続行します。

- (O) 保留オプション (-h) を指定しないで、コマンドを再実行してください。

#### KAVS4607-E

Cannot define jobnet connector in a registered unit. : ユニット名  
ジョブネットコネクタは登録済みユニットに定義できません : ユニット名

登録済みユニットに、ジョブネットコネクタ含むユニットを定義できません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ユニット定義内容を確認し、コマンドを実行してください。

#### KAVS4608-E

Cannot delete the unit(ユニット名) - jobnet connector exist.  
ユニット(ユニット名)にはジョブネットコネクタが存在するため削除できません

登録済みのユニット情報を削除する場合は、ジョブネットコネクタを含むユニットを削除できません。ジョブネットコネクタおよびジョブネットコネクタを配下を含むユニットを削除する場合は、登録解除してから削除してください。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ユニットの登録状態を確認し、コマンドを再度実行してください。

#### KAVS4609-E

Cannot copy the unit(ユニット名) - jobnet connector exist.  
ユニット(ユニット名)にはジョブネットコネクタが存在するため複写できません

登録済みのユニットにユニット情報を複写する場合は、ジョブネットコネクタを含むユニットを複写できません。ジョブネットコネクタおよびジョブネットコネクタを配下を含むユニットを登録済みユニットに複写する場合は、複写先ユニットを登録解除してから実行してください。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ユニットの登録状態を確認し、コマンドを再度実行してください。



**KAVS4610-E**

Cannot move the unit(ユニット名) - jobnet connector exist.

ユニット(ユニット名)にはジョブネットコネクタが存在するため移動できません

登録済みのユニットにユニット情報を移動する場合は、ジョブネットコネクタを含むユニットを移動できません。ジョブネットコネクタおよびジョブネットコネクタを配下を含むユニットを登録済みユニットに移動する場合は、移動先ユニットを登録解除してから実行してください。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    ユニットの登録状態を確認し、コマンドを再度実行してください。

**KAVS4611-E**

Cannot define the unit(ユニット名) - jobnet connector exist.

ユニット(ユニット名)にはジョブネットコネクタが存在するため定義できません

登録済みのユニットに、すでにある同名ユニット情報を上書きして作成する場合、ジョブネットコネクタを含むユニットを作成できません。ジョブネットコネクタおよびジョブネットコネクタを配下を含むユニットを、登録済みユニットの同名ユニットに上書きする場合は、作成先のユニットを登録解除してから実行してください。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    ユニットの登録状態を確認し、コマンドを再度実行してください。

**KAVS4612-E**

Jobnet connector(ユニット名) can only be copy into jobnet.

ジョブネットコネクタ(ユニット名)はジョブネット以外のユニットに複写できません

ジョブネットコネクタをジョブネット以外のユニット配下に複写できません。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    ユニットの複写先を確認し、コマンドを再度実行してください。

**KAVS4613-E**

Jobnet connector(ユニット名) can only be move into jobnet.

ジョブネットコネクタ(ユニット名)はジョブネット以外のユニットに移動できません

ジョブネットコネクタをジョブネット以外のユニット配下に移動できません。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    ユニットの移動先を確認し、コマンドを再度実行してください。

**KAVS4614-E**

A unit including jobnet connector can only be define in jobnet. : ユニット名

ジョブネットコネクタを含むユニットは、ジョブネット以外のユニットに定義できません : ユニット名

ジョブネットコネクタを含むユニットを定義する場合は、作成先の上位ユニットにジョブネット以外のユニットを指定できません。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    ユニットの作成先を確認し、コマンドを再度実行してください。

**KAVS4615-E**

Cannot operate - Condition exist in the jobnet for the connection destination. : ユニット名

接続先のジョブネット配下に起動条件が存在するため操作できません : ユニット名

接続先のジョブネット配下に起動条件が定義されているため、操作できません。

- (S)                    処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定されている場合、ほかのユニットの処理は続行します。
- (O)                    ユニット構成を変更したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS4616-E**

Cannot operate - Jobnet connector exist in the jobnet for the connection destination. : ユニット名

接続先のジョブネット配下にジョブネットコネクタが存在するため操作できません : ユニット名

接続先のジョブネット配下にジョブネットコネクタが定義されているため、操作できません。

- (S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定されている場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

ユニット構成を変更したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS4617-E

Cannot operate - Jobnet connector exist in the condition.  
: ユニット名

起動条件付きジョブネット配下にジョブネットコネクタが存在するため操作できません: ユニット名

起動条件付きのジョブネット配下にジョブネットコネクタが定義されているため、操作できません。

(S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定されている場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

ユニット構成を変更したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS4618-E

Cannot operate - Condition exist in the planning group for the connection destination. : ユニット名  
接続先のプランニンググループ配下に起動条件が存在するため操作できません: ユニット名

接続先のプランニンググループ配下に起動条件が定義されているため、操作できません。

(S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定されている場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

ユニット構成を変更したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS4619-E

Cannot operate - Jobnet connector exist in the planning group for the connection destination. : ユニット名  
接続先のプランニンググループ配下にジョブネットコネクタが存在するため操作できません: ユニット名

接続先のプランニンググループ配下にジョブネットコネクタが定義されているため、操作できません。

(S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定されている場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

ユニット構成を変更したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS4620-E

Cannot operate - Root remote jobnet exist in the planning group for the connection destination. : ユニット名  
接続先のプランニンググループ配下にルートリモートジョブネットが存在するため操作できません: ユニット名

接続先のプランニンググループ配下にルートリモートジョブネットが定義されているため、操作できません。

(S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定されている場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

ユニット構成を変更したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS4621-E

Cannot operate - Jobnet for the connection destination exist in the planning group for the connection destination. : ユニット名  
接続先のプランニンググループ配下に接続先のジョブネットが存在するため操作できません: ユニット名

接続先のプランニンググループ配下に接続先のジョブネットが定義されているため、操作できません。

(S)

処理を終了します。ただし、ユニットが複数指定されている場合、ほかのユニットの処理は続行します。

(O)

ユニット構成を変更したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVS4700-E

The jobnet connector (ジョブネット名:実行ID) ended abnormally because it failed to connect to the connection destination jobnet.  
接続先のジョブネットとの接続に失敗したため、ジョブネットコネクタ(ジョブネット名:実行ID)が実行できません

接続先のジョブネットとの接続に失敗したため、ジョブネットコネクタを実行できません。

(S)

ジョブネットコネクタの状態を異常検出終了にします。

(O)

- 再実行時に発生した場合、およびジョブネットコネクタを定義したルートジョブネットと接続先のジョブネットで、接続関係が成立した世代がない場合は、ジョブネットコネクタを再実行しても実行されません。ジョブネットコネクタの後続ユニットから再実行してください。
- 再実行時以外に発生した場合、統合トレースログに出力されている前後のエラーメッセージに従って対処してください。エラー要因を取り除いたあと、再

度ジョブネットコネクタを実行してください。

#### KAVS4701-E

The jobnet for the connection destination(ジョブネット名:実行ID) ended abnormally because it failed to connect to jobnet connector.

ジョブネットコネクタとの接続に失敗したため、接続先のジョブネット(ジョブネット名:実行ID)が実行できません

ジョブネットコネクタとの接続に失敗したため、接続先のジョブネットが実行できません。

(S)

接続先のジョブネットの状態を異常検出終了にします。

(O)

統合トレースログに出力されている前後のエラーメッセージに従って対処してください。エラー要因を取り除いたあと、再度接続先のジョブネットを実行してください。

#### KAVS4702-E

Cannot execute the jobnet connector(ジョブネット名) because the jobnet name of the connection destination is not specified.

接続先のジョブネット名が指定されていないため、ジョブネットコネクタ(ジョブネット名)が実行できません

接続先のジョブネット名が指定されていないため、ジョブネットコネクタが実行できません。

(S)

ジョブネットコネクタの状態を異常検出終了にします。

(O)

接続先のジョブネット名を指定したあと、再度ジョブネットコネクタを実行してください。

#### KAVS4703-E

Cannot execute the jobnet connector(ジョブネット名) because the jobnet name of the connection destination is invalid.

接続先のジョブネットの指定が不正なため、ジョブネットコネクタ(ジョブネット名)が実行できません

接続先のジョブネットの指定が不正なため、ジョブネットコネクタが実行できません。次の原因が考えられます。

- 接続先のジョブネットに指定したユニットがない
- 接続先のジョブネットに指定したユニットのユニット種別が不正である

(S)

ジョブネットコネクタの状態を異常検出終了にします。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度ジョブネットコネ

クタを実行してください。

#### KAVS4704-E

Cannot execute the jobnet connector(ジョブネット名) because the jobnet for the connection destination is not defined to connect.

接続先のジョブネットから接続されていないため、ジョブネットコネクタ(ジョブネット名)が実行できません

接続先のジョブネットから接続されていないため、ジョブネットコネクタを実行できません。次の原因が考えられます。

- 接続先のジョブネットが「接続する」に設定されていない
- 接続先のジョブネットにジョブネットコネクタを指定していない

(S)

ジョブネットコネクタの状態を異常検出終了にします。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度ジョブネットコネクタを実行してください。

#### KAVS4705-E

Cannot execute the jobnet for the connection destination(ジョブネット名) because the jobnet connector name is not specified.

ジョブネットコネクタ名が指定されていないため、接続先のジョブネット(ジョブネット名)が実行できません

ジョブネットコネクタ名が指定されていないため、接続先のジョブネットを実行できません。

(S)

接続先のジョブネットの状態を異常検出終了にします。

(O)

ジョブネットコネクタ名を指定したあと、再度接続先のジョブネットを実行してください。

#### KAVS4706-E

Cannot execute the jobnet for the connection destination(ジョブネット名) because the jobnet connector name is invalid.

ジョブネットコネクタの指定が不正なため、接続先のジョブネット(ジョブネット名)が実行できません

ジョブネットコネクタの指定が不正なため、接続先のジョブネットを実行できません。次の原因が考えられます。

- ジョブネットコネクタに指定したユニットがない
- ジョブネットコネクタに指定したユニットのユニット種別が不正

(S)

接続先のジョブネットの状態を異常検出終了にします。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度接続先のジョブネットを実行してください。

### KAVS4707-E

Cannot execute the jobnet for the connection destination(ジョブネット名) because the jobnet connector is not defined to connect.

ジョブネットコネクタから接続されていないため、接続先のジョブネット(ジョブネット名)が実行できません

ジョブネットコネクタから接続されていないため、接続先のジョブネットを実行できません。次の原因が考えられます。

- ジョブネットコネクタが接続先のジョブネットを指定していない

(S)

接続先のジョブネットの状態を異常検出終了にします。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度ジョブネットコネクタを実行してください。

### KAVS4708-E

An attempt of job status notification from the jobnet for the connection destination(ジョブネット名:実行ID) has failed. : 保守情報

接続先のジョブネット(ジョブネット名:実行ID)からの状態通知に失敗しました : 保守情報

接続先のジョブネットからジョブネットコネクタへの状態通知に失敗したため、ジョブネットコネクタの状態が正しくないおそれがあります。

(S)

処理を続行します。

(O)

直前に出力されている syslog またはイベントログ、および統合トレースログのメッセージに従って対処してください。

なお、ジョブネットコネクタと接続先のジョブネットの接続関係が不正になっているおそれがあります。その場合、接続先のジョブネットの状態に応じてジョブネットコネクタが正しく状態遷移していないため、必要に応じてジョブネットコネクタを手動で状態変更してください。

### KAVS4710-E

Cannot use the controlling execution order of Root jobnet between scheduler services. (スケジューラーサービス名) : 保守情報

スケジューラーサービス間でのルートジョブネットの実行順序制御機能が使用できません(スケジューラーサービス名) : 保守情報

ジョブネットコネクタまたは接続先のルートジョブネット

が実行できません。次の原因が考えられます。

- スケジューラーサービス間通信制御プロセスがセットアップされていない
- スケジューラーサービス間のルートジョブネットの実行順序制御機能がセットアップされていない
- スケジューラーサービス間通信制御プロセスが停止している  
実行しようとしたジョブネットコネクタまたは接続先のルートジョブネットは、それぞれ KAVS4701-E, KAVS4700-E を出力して異常終了します。

(S)

接続先のジョブネットの状態を「異常検出終了」にします。

(O)

スケジューラーサービス間通信制御プロセスまたはスケジューラーサービス間のルートジョブネットの実行順序制御機能をセットアップしていない場合は、セットアップをして、スケジューラーサービスを再起動してください。

スケジューラーサービス間通信制御プロセスのセットアップについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.7.11 ジョブネットコネクタで異なるスケジューラーサービス間のルートジョブネットの実行順序を制御するための設定」を、スケジューラーサービス間のルートジョブネットの実行順序制御機能のセットアップについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.7.12 ジョブネットコネクタで異なるスケジューラーサービス間のルートジョブネットの実行順序を制御するための設定」を参照してください。

### KAVS4711-E

Cannot execute the jobnet connector (ジョブネット名) because the connection host name of the jobnet of the connection destination is invalid.

接続先のジョブネットの接続ホスト名の指定が不正なため、ジョブネットコネクタ(ジョブネット名)が実行できません

接続先のジョブネットの接続ホスト名の指定が不正なため、ジョブネットコネクタが実行できません。次の原因が考えられます。

- 接続先のジョブネットに指定した接続ホスト名が、ジョブネットコネクタのホストと一致しない

(S)

ジョブネットコネクタの状態を「異常検出終了」にします。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度ジョブネットコネクタを実行してください。

**KAVS4712-E**

Cannot execute the jobnet connector (ジョブネット名) because the connection service name of the jobnet of the connection destination is invalid.

接続先のジョブネットの接続サービス名の指定が不正なため、ジョブネットコネクタ (ジョブネット名) が実行できません

接続先のジョブネットの接続サービス名の指定が不正なため、ジョブネットコネクタが実行できません。次の原因が考えられます。

- ・ 接続先のジョブネットに指定した接続サービス名が、ジョブネットコネクタのスケジューラーサービスと一致しない

(S) ジョブネットコネクタの状態を「異常検出終了」にします。

(O) エラー要因を取り除いたあと、再度ジョブネットコネクタを実行してください。

**KAVS4713-E**

Cannot execute the jobnet connector (ジョブネット名) because the connection range of the jobnet of the connection destination is invalid.

接続先のジョブネットの接続範囲の指定が不正なため、ジョブネットコネクタ (ジョブネット名) が実行できません

接続先のジョブネットの接続範囲の指定が不正なため、ジョブネットコネクタが実行できません。次の原因が考えられます。

- ・ 接続先のジョブネットに指定した接続範囲が、ジョブネットコネクタの接続範囲と一致しない

(S) ジョブネットコネクタの状態を「異常検出終了」にします。

(O) エラー要因を取り除いたあと、再度ジョブネットコネクタを実行してください。

**KAVS4714-E**

Cannot execute the jobnet of the connection destination (ジョブネット名) because the connection host name of the jobnet connector is invalid.

ジョブネットコネクタの接続ホスト名の指定が不正なため、接続先のジョブネット (ジョブネット名) が実行できません

ジョブネットコネクタの接続ホスト名の指定が不正なため、接続先のジョブネットが実行できません。次の原因が考えられます。

- ・ ジョブネットコネクタに指定した接続ホスト名が、接続先のジョブネットのホストと一致しない

(S)

接続先のジョブネットの状態を「異常検出終了」にします。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度接続先のジョブネットを実行してください。

**KAVS4715-E**

Cannot execute the jobnet of the connection destination (ジョブネット名) because the connection service name of the jobnet connector is invalid.

ジョブネットコネクタの接続サービス名の指定が不正なため、接続先のジョブネット (ジョブネット名) が実行できません

ジョブネットコネクタの接続サービス名の指定が不正なため、接続先のジョブネットが実行できません。次の原因が考えられます。

- ・ ジョブネットコネクタに指定した接続サービス名が、接続先のジョブネットのスケジューラーサービスと一致しない

(S)

接続先のジョブネットの状態を「異常検出終了」にします。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度接続先のジョブネットを実行してください。

**KAVS4716-E**

Cannot execute the jobnet of the connection destination (ジョブネット名) because the connection range of the jobnet connector is invalid.

ジョブネットコネクタの接続範囲の指定が不正なため、接続先のジョブネット (ジョブネット名) が実行できません

ジョブネットコネクタの接続範囲の指定が不正なため、接続先のジョブネットが実行できません。次の原因が考えられます。

- ・ ジョブネットコネクタに指定した接続範囲が、接続先のジョブネットの接続範囲と一致しない

(S)

接続先のジョブネットの状態を「異常検出終了」にします。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度接続先のジョブネットを実行してください。

**KAVS4720-E**

An attempt to connect to the process controlling communication between scheduler services has failed. (スケジューラーサービス名): 保守情報

スケジューラーサービス間通信制御プロセスとの接続に失敗しました (スケジューラーサービス名): 保守情報

スケジューラーサービス間通信制御プロセスとの接続に失敗しました。

## KAVS4721-E ~ KAVS4725-E

(S)

再接続回数がしきい値に達していなければ，KAVS4722-I を出力して再接続処理を開始します。再接続が成功したら KAVS4723-I を出力します。  
再接続回数がしきい値に達している場合は，KAVS4724-E を出力してスケジューラーサービス間のルートジョブネットの実行順序制御機能を縮退します。

(O)

このエラーメッセージの前後に出力されたメッセージに従って対処してください。

### KAVS4721-E

The connection with the process controlling communication between scheduler services was closed. (スケジューラーサービス名) : 保守情報  
スケジューラーサービス間通信制御プロセスとの接続が切断されました (スケジューラーサービス名) : 保守情報

スケジューラーサービス間通信制御プロセスとの接続が切断されました。

(S)

再接続回数がしきい値に達していなければ，KAVS4722-I を出力して再接続処理を開始します。再接続が成功したら KAVS4723-I を出力します。  
再接続回数がしきい値に達している場合は，KAVS4724-E を出力してスケジューラーサービス間のルートジョブネットの実行順序制御機能を縮退します。

(O)

このエラーメッセージの前後に出力されたメッセージに従って対処してください。

### KAVS4722-I

Reconnection processing with the process controlling communication between scheduler services started. (スケジューラーサービス名)  
スケジューラーサービス間通信制御プロセスとの再接続処理を開始します (スケジューラーサービス名)

スケジューラーサービス間通信制御プロセスとの再接続処理を開始します。

(S)

スケジューラーサービス間通信制御プロセスとの再接続処理を開始します。

### KAVS4723-I

Reconnect to the process has finished. (スケジューラーサービス名)  
スケジューラーサービス間通信制御プロセスに再接続しました (スケジューラーサービス名)

スケジューラーサービス間通信制御プロセスに再接続しました。

(S)

運用を継続します。

### KAVS4724-E

The number of times the process controlling communication between scheduler services has Reconnection has exceeded the threshold. Therefore, the process controlling communication between scheduler services has been Reconnection processing blocked. (スケジューラーサービス名)  
再接続回数がしきい値を越えたため，スケジューラーサービス間通信制御プロセスとの再接続処理を中断します (スケジューラーサービス名)

スケジューラーサービス間通信制御プロセスとの通信が切断されたことを検知したため再接続を試みましたが，再接続回数がしきい値を超えても接続できないため，再接続処理を中断します。

(S)

スケジューラーサービス間でのルートジョブネットの実行順序制御機能を縮退した状態で処理を継続します。接続範囲が別サービスに設定された実行中のジョブネットコネクタや開始時刻待ちの接続先のジョブネットは異常終了します。  
機能が縮退した状態で，新たに実行しようとしたジョブネットコネクタや接続先のジョブネットは異常終了します。

(O)

スケジューラーサービス間でのルートジョブネットの実行順序を制御するためには，スケジューラーサービスを再起動して実行順序制御機能の縮退を解除してください。

### KAVS4725-E

An IPC error occurred in the process controlling communication between scheduler services. (スケジューラーサービス名) : 保守情報  
スケジューラーサービス間通信制御プロセスで通信エラーが発生しました (スケジューラーサービス名) : 保守情報

スケジューラーサービス間通信制御プロセスでエラーが発生しました。次の原因が考えられます。

- スケジューラーサービス間通信制御プロセスと他プロセスとの通信接続が切断した
- スケジューラーサービス間通信制御プロセスが通信をするときの最大接続数を超過した
- スケジューラーサービス間通信制御プロセスがホスト名の解決に失敗した
- ジョブネットコネクタまたは接続先のジョブネットの接続サービス名に指定したスケジューラーサービスが起動していない
- ジョブネットコネクタまたは接続先のジョブネットの接続ホスト名に指定したホストのスケジューラーサービス間通信制御プロセスが起動していない

(S)

処理を続行します。

(O)

このエラーメッセージの前後に出力されたメッセージに従って対処してください。  
メッセージが出力されていない場合は、接続ホスト名に指定したホストのスケジューラサービス間通信制御プロセスが起動しているか、または接続サービス名に指定したスケジューラサービスが起動しているかを確認してください。

**KAVS4730-E**

Cannot execute the jobnet connector (ジョブネット名) because it failed to resolved to the local host name(host:ホスト名).  
自ホスト名 (host:ホスト名) の解決に失敗したため、ジョブネットコネクタ (ジョブネット名) が実行できません

自ホスト名の解決に失敗したため、ジョブネットコネクタが実行できません。

(S)

ジョブネットコネクタの状態を「異常検出終了」にします。

(O)

hosts ファイルや jplhosts ファイルなどに、ジョブネットコネクタを定義したホストの名前が正しく設定されていることを確認してください。  
正しく設定したあと、再度ジョブネットコネクタを実行してください。

**KAVS4731-E**

Cannot execute the jobnet connector (ジョブネット名) because it failed to resolved to the connection host name of the jobnet of the connection destination.  
接続先のジョブネットに指定した接続ホスト名の解決に失敗したため、ジョブネットコネクタ (ジョブネット名) が実行できません

接続先のジョブネットに指定した接続ホスト名の解決に失敗したため、ジョブネットコネクタが実行できません。

(S)

ジョブネットコネクタの状態を「異常検出終了」にします。

(O)

接続先のジョブネットを定義したホストの hosts ファイルや jplhosts ファイルなどに、接続先のジョブネットの接続ホスト名に指定したホストが正しく設定されていることを確認してください。  
正しく設定したあと、再度ジョブネットコネクタを実行してください。

**KAVS4732-E**

Cannot execute the jobnet (ジョブネット名) of the connection destination because it failed to resolved to the local host name (host:ホスト名).

自ホスト名 (host:ホスト名) の解決に失敗したため、接続先のジョブネット (ジョブネット名) が実行できません

自ホスト名の解決に失敗したため、接続先のジョブネットが実行できません。

(S)

接続先のジョブネットの状態を「異常検出終了」にします。

(O)

hosts ファイルや jplhosts ファイルなどに、接続先のジョブネットを定義したホストの名前が正しく設定されていることを確認してください。  
正しく設定したあと、再度接続先のジョブネットを実行してください。

**KAVS4733-E**

Cannot execute the jobnet (ジョブネット名) of the connection destination because it failed to resolved to the connection host name of the jobnet connector.

ジョブネットコネクタに指定した接続ホスト名の解決に失敗したため、接続先のジョブネット (ジョブネット名) が実行できません

ジョブネットコネクタに指定した接続ホスト名の解決に失敗したため、接続先のジョブネットが実行できません。

(S)

接続先のジョブネットの状態を「異常検出終了」にします。

(O)

ジョブネットコネクタを定義したホストの hosts ファイルや jplhosts ファイルなどに、ジョブネットコネクタの接続ホスト名に指定したホストが正しく設定されていることを確認してください。  
正しく設定したあと、再度接続先のジョブネットを実行してください。

**KAVS4822-I**

Execution registration information of the unit (ユニット名) was not output, because its registration method is not supported for export.

ユニット (ユニット名) は、実行登録種別が出力対象外のため、登録情報の出力を行いませんでした。

対象ユニットが即時実行で実行登録されていたため、登録予定情報のエクスポートを実行しませんでした。

(S)

コマンドの処理を続行します。

**KAVS4823-E**

The unit (ユニット名) cannot be registered for execution, because it does not exist in the execution registration information file.

ユニット (ユニット名) が登録情報ファイルに存在しないため、実行登録できません。

指定されたユニットが登録予定情報ファイル中にありませんでした。

- (S) コマンドの実行を続行します。
- (O) 指定したユニット名を確認し、コマンドを実行してください。

**KAVS4824-E**

The unit (ユニット名) cannot be imported, because you are not the user who exported it.

ユニット (ユニット名) は、退避元と登録ユーザーが異なるため、回復できません。

登録予定情報をエクスポートしたユニットの登録ユーザーとインポート実行ユーザーが異なるため、登録予定情報のインポートに失敗しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) コマンドを実行するユーザーを確認し、コマンドを実行してください。  
複数のユーザーでルートジョブネットを確定実行登録した場合、Administrators 権限 (Windows の場合) またはスーパーユーザー権限 (UNIX の場合) でだけインポートできます。

**KAVS4826-E**

Invalid information in execution registration information file (ファイル名). (文番号:n)

登録情報ファイル (ファイル名) に誤りがあります。(文番号:n)

登録予定情報ファイルを誤って記述しています。  
次の原因が考えられます。

- 不正な情報を記述している
- 「UNIT=」に指定したユニット名が 930 バイトを超えている
- 「UNIT=」に指定したユニット名にホスト名、実行 ID を指定している
- 「ENTRY=」に「s」以外の値を指定している
- 左辺が形式に指定されている値でない
- 右辺の値を「" (ダブルクォーテーション)」または「' (シングルクォーテーション)」で囲んでいる

- (S) コマンドの実行を中止します。

- (O) 登録予定情報ファイルの内容を確認し、コマンドを実行してください。

**KAVS4827-E**

More than one jobnet is specified.

ユニットが複数指定されています

ユニットが複数指定されています。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ユニットのひとつだけ指定して、コマンドを再度実行してください。

**KAVS4828-E**

I/O error occurred. :保守情報

入出力エラーが発生しました：保守情報

処理中にファイルの入出力などで I/O エラーが発生しました。

- (S) エラーが発生したファイルに対する処理を中止し、コマンドを終了します。
- (O) 次のように対処してください。
- Windows の場合  
イベントログを参照し、出力されたメッセージに従って対処してください。対処できない場合は、システム管理者に連絡してください。
- UNIX の場合  
syslog ファイルを参照し、出力されたメッセージに従って対処してください。対処できない場合は、システム管理者に連絡してください。

**KAVS4829-E**

Specified file name (ファイル名) is too long.

指定したファイル名 (ファイル名) が長すぎます

ファイル名が 256 バイト以上の文字列で指定されています。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ファイル名を 255 バイト以内で指定し、コマンドを再実行してください。



**KAVS4830-E**

Execution registration information of some units could not be exported. : 保守情報

登録情報の出力ができなかったユニットがあります : 保守情報

コマンドの実行に失敗したため、登録予定情報を出力できませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

このメッセージの前に出力されているエラーメッセージについて対策を行ってください。または、セットアップ環境が不正であるおそれがあるため、JP1/AJS2 のセットアップが正しく完了していることを確認したあと、再度実行してください。

**KAVS4832-E**

An error occurred while processing the unit (ユニット名). : 保守情報

ユニット (ユニット名) の処理中にエラーが発生しました。 : 保守情報

対象となるユニットに対する処理中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドを続行します。

(O)

このメッセージの前に出力されているエラーメッセージについて対策してください。また、出力されているコマンドラインを参照し、問題への対策を行ってください。そのあと、コマンドを再実行してください。

**KAVS4833-I**

Information that is temporarily changed in the plan for the unit (ユニット名) is not exported.

ユニット (ユニット名) の計画一時変更した情報はエクスポートされません

計画一時変更したユニットをエクスポートしました。計画一時変更した情報はエクスポートされません。

(S)

コマンドを続行します。

(O)

計画一時変更した情報はエクスポートされません。登録予定情報をインポートする際に、再度計画を変更してください。

**KAVS4834-E**

The upcoming schedule for the specified jobnet (ユニット名) was being created, and therefore the execution registration information could not be exported.

指定したジョブネット (ユニット名) の次回予定作成のため、実行登録情報をエクスポートできませんでした。

指定したジョブネットの次回予定作成のため、登録予定情報をエクスポートできませんでした。

(S)

コマンドを続行します。

(O)

指定したジョブネットが実行中または実行登録などの操作中でないことを確認したあとで、コマンドを再実行してください。

一度に大量のユニットをエクスポートしようとしている場合は、複数回に分けてエクスポートしてください。

**KAVS4835-E**

The registration information file contains a unit that does not exist.

登録情報ファイルの中に存在しないユニットがあります : 保守情報

登録予定情報ファイルの中に存在しないユニットがありません。

(S)

コマンドを続行します。

(O)

保守情報に出力されたユニット名の定義を見直してください。または、登録予定情報ファイルの保守情報に出力されたユニットの予定情報セクションから不要なユニットの情報を削除してください。

**KAVS4836-E**

The specified unit (ユニット名) can not be exported either because it does not exist or execution registration has not been performed.

指定したユニット (ユニット名) は存在しないか、実行登録されていないためエクスポートできません

エクスポートできませんでした。次の原因が考えられます。

- 存在しないユニットをエクスポート対象にしている
- ルートジョブネット以外をエクスポート対象にしている

(S)

コマンドを続行します。

(O)

指定したユニットがないか、実行登録されていない。ユニットの状態を確認してから、コマンドを再実行してください。

### KAVS4837-I

---

There is no information to be exported.  
エクスポートする情報はありません

---

コマンドを実行した結果、エクスポートできる情報はありませんでした。

- (S)  
    コマンドを終了します。
- (O)  
    指定したオプションに該当するユニットがない、または指定したユニットがないため、登録予定情報は出力されませんでした。

### KAVS4838-E

---

Units that exist in different scheduler services cannot be specified at the same time (ユニット名).  
異なるスケジューラーサービスに存在するユニットは同時に指定できません (ユニット名)

---

複数の異なるスケジューラーサービスにあるユニットが同時に指定されたため、処理を中止しました。

- (S)  
    コマンドを終了します。
- (O)  
    同一のスケジューラーサービスにあるユニットだけを指定してエクスポートしてください。

### KAVS4839-I

---

Registration information for the unit (ユニット名) was not output because either the unit has not been registered or there is no future schedule.  
ユニット (ユニット名) は、未登録が未来の予定が存在しないため、登録情報の出力を行いませんでした。

---

未登録か、または未来の予定がないルートジョブネットを指定したため、登録予定情報を出力しませんでした。

- (S)  
    コマンドを続行します。
- (O)  
    予定世代があるルートジョブネットを指定してください。

### KAVS4900-I

---

The process controlling communication between scheduler services has started.  
スケジューラーサービス間通信制御プロセスを開始しました

---

- (S)  
    処理を続行します。

### KAVS4901-I

---

The process controlling communication between scheduler services has terminated.  
スケジューラーサービス間通信制御プロセスを終了しました

---

スケジューラーサービス間通信制御プロセスを終了したことを通知するメッセージです。

- (S)  
    処理を続行します。

### KAVS4902-E

---

The process (host:ホスト名, PID:プロセスID) controlling communication between scheduler services has terminated abnormally (保守情報).  
スケジューラーサービス間通信制御プロセス (host:ホスト名, PID:プロセスID) が異常終了しました (保守情報)

---

スケジューラーサービス間通信制御プロセスが異常終了しました。

- (S)  
    スケジューラーサービス間通信制御プロセスの処理を中止します。
- (O)  
    スケジューラーサービス間通信制御プロセスが異常終了した回数がしきい値に達するまで、該当するスケジューラーサービス間通信制御プロセスを再起動します。しきい値に達した場合は、該当するスケジューラーサービス間通信制御プロセスを閉塞します。

### KAVS4903-I

---

The management process for the process controlling communication between scheduler services has started.  
スケジューラーサービス間通信制御プロセスを管理するプロセスを開始しました

---

スケジューラーサービス間通信制御プロセス管理プロセスが開始したことを通知するメッセージです。

- (S)  
    処理を続行します。

### KAVS4904-I

---

The management process for the process controlling communication between scheduler services has terminated.  
スケジューラーサービス間通信制御プロセスを管理するプロセスを終了しました

---

スケジューラーサービス間通信制御プロセス管理プロセスを終了したことを通知するメッセージです。

- (S)  
    処理を続行します。

**KAVS4905-E**

The management process for the process controlling communication between scheduler services has terminated abnormally (保守情報).

スケジューラーサービス間通信制御プロセスを管理するプロセスが異常終了しました (保守情報)

スケジューラーサービス間通信制御プロセス管理プロセスが異常終了しました。

(S) スケジューラーサービス間通信制御プロセス管理プロセスの処理を中止します。

(O) 直前に出力されている syslog または イベントログのメッセージに従って対処してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照)。

**KAVS4906-W**

The value (項目名), specified in the environment settings parameter (パラメーター名), is out of range. The default value (デフォルト値) will be assumed and processing will continue.

環境設定パラメーター (パラメーター名) に指定した値 (項目名) が誤っているため、デフォルト値 (デフォルト値) を仮定して処理を続行します

環境設定パラメーターに指定した値が誤っているため、デフォルト値を仮定して処理を続行します。

(S) 「デフォルト値」に示された値を仮定して処理を続行します。

(O) 環境設定パラメーターの値を正しく設定したあと、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。

**KAVS4907-W**

The number of connections for the process (host:ホスト名) controlling communication between scheduler services has exceeded the maximum value, and therefore the connection could not be made with the connection destination host (host:ホスト名またはIPアドレス).

スケジューラーサービス間通信制御プロセス (host:ホスト名) の接続数が最大値を超えたため、接続先ホスト (host:ホスト名またはIPアドレス) と接続ができませんでした

スケジューラーサービス間通信制御プロセスの接続数が最大値を超えたため、接続できませんでした。

(S) 処理を続行します。  
 なお、接続数が最大値を下回るまで、異なるスケジューラーサービス間のルートジョブネットの実行順序制御は使用できません。  
 また、KAVS4918-I が出力されるまで、次のどちらかの現象が発生します。

- 実行順序制御方式が「同期」の接続先のジョブネットが異常検出終了する。
- ジョブネットコネクタが異常検出終了する。

(O) KAVS4918-I が出力されたあとで、接続できなかったジョブネットコネクタ、または接続先のジョブネットを再実行してください。  
 また、「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.7.11(4) 定義内容」を参照して、環境設定パラメーター GWMAXCONNECTION の値を見直して直してください。

**KAVS4908-E**

The process(host:ホスト名) controlling communication between scheduler services failed to communicate with a process (name:プロセス名) of the same host.: 保守情報  
 スケジューラーサービス間通信制御プロセス (host:ホスト名) が同一ホストのプロセス (name:プロセス名) との通信に失敗しました: 保守情報

スケジューラーサービス間通信制御プロセスが同一ホストのプロセスとの通信に失敗しました。  
 なお、スケジューラーサービス単位で起動するプロセスの場合、プロセス名は「スケジューラーサービス名: プロセス名」の形式で出力されます。

(S) メッセージに出力されたプロセスとの通信を終了します。

(O) 直前に出力されている syslog または イベントログのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合、メッセージに出力されたプロセスが起動しているか確認してください。  
 問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照)。

**KAVS4909-E**

The process(host:ホスト名) controlling communication between scheduler services failed to communicate with the process (host:ホスト名またはIPアドレス) controlling communication between scheduler services at the communication destination.: 保守情報

スケジューラーサービス間通信制御プロセス (host:ホスト名) が通信先のスケジューラーサービス間通信制御プロセス (host:ホスト名またはIPアドレス) との通信に失敗しました: 保守情報

スケジューラーサービス間通信制御プロセスが通信先のスケジューラーサービス間通信制御プロセスとの通信に失敗しました。

(S) 通信先のスケジューラーサービス間通信制御プロセスとの通信を終了します。

## KAVS4910-E ~ KAVS4914-E

(O)

直前に出力されている syslog またはイベントログのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合、メッセージに出力されたスケジューラーサービス間通信制御プロセスが起動しているか確認してください。

問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照)。

### KAVS4910-E

An error occurred during the communication with the process (host:ホスト名またはIPアドレス name:プロセス名) because a network access error occurred.: 保守情報  
プロセス (host: ホスト名またはIPアドレス name: プロセス名) との通信処理中にネットワーク到達不能エラーが発生しました: 保守情報

プロセスとの通信処理中にネットワーク到達不能エラーが発生しました。

なお、スケジューラーサービス単位で起動するプロセスの場合、プロセス名は「スケジューラーサービス名: プロセス名」の形式で出力されます。

(S)

通信を終了します。

(O)

プロセスとの通信環境を確認してください。

### KAVS4911-E

A communication timeout occurred during the communication with the process (host:ホスト名またはIPアドレス name:プロセス名): 保守情報  
プロセス (host: ホスト名またはIPアドレス name: プロセス名) との通信処理中に通信タイムアウトが発生しました: 保守情報

プロセスとの通信処理中に通信タイムアウトが発生しました。

なお、スケジューラーサービス単位で起動するプロセスの場合、プロセス名は「スケジューラーサービス名: プロセス名」の形式で出力されます。

(S)

通信を終了します。

(O)

プロセスとの通信環境を確認してください。

### KAVS4912-E

A buffer shortage occurred during the communication with the process (host:ホスト名またはIPアドレス name:プロセス名): 保守情報  
プロセス (host: ホスト名またはIPアドレス name: プロセス名) との通信処理中にバッファ不足が発生しました: 保守情報

プロセスとの通信処理中にバッファ不足が発生しまし

た。

なお、スケジューラーサービス単位で起動するプロセスの場合、プロセス名は「スケジューラーサービス名: プロセス名」の形式で出力されます。

(S)

通信を終了します。

(O)

プロセスとの通信環境を確認してください。

### KAVS4913-E

The port number could not be obtained. Confirm whether the service name is defined correctly.

ポート番号の取得に失敗しました。サービス名が正しく設定されているか確認してください

スケジューラーサービス間通信制御プロセスが使用するポート番号の取得に失敗しました。

(S)

スケジューラーサービス間通信制御プロセスを終了します。

(O)

services ファイルにサービス名と jp1ajs2gw のポート番号が正しく設定されているかどうか確認してください。ポート番号が正しく定義されている場合は、メモリー不足、またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了したあと、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。

### KAVS4914-E

The connection was reset while the process (host:ホスト名) controlling communication between scheduler services was communicating with the process (host:ホスト名またはIPアドレス) controlling communication between scheduler services at the communication destination.: 保守情報

スケジューラーサービス間通信制御プロセス (host:ホスト名) が通信先のスケジューラーサービス間通信制御プロセス (host: ホスト名またはIPアドレス) との通信中に接続がリセットされました: 保守情報

スケジューラーサービス間通信制御プロセスが通信先のスケジューラーサービス間通信制御プロセスとの通信中に接続がリセットされました。次の要因が考えられます。

- 通信先のホストの JP1/AJS2 サービスが停止した
- 通信先のスケジューラーサービス間通信制御プロセスでエラーが発生した
- 通信先のスケジューラーサービス間通信制御プロセスが異常終了した

(S)

通信先のスケジューラーサービス間通信制御プロセスとの通信を終了します。

(O)

必要に応じて通信先のホストのスケジューラーサービス間通信制御プロセスの起動状態を確認してくださ

い。

#### KAVS4915-I

The process (host:ホスト名) controlling communication between scheduler services has restarted.

スケジューラーサービス間通信制御プロセス (host: ホスト名) を再起動しました

スケジューラーサービス間通信制御プロセスを再起動したことを通知するメッセージです。

(S)

スケジューラーサービス間通信制御プロセスを再起動します。

#### KAVS4916-W

The process (host:ホスト名) controlling communication between scheduler services failed to start (保守情報).

スケジューラーサービス間通信制御プロセス (host: ホスト名) の起動に失敗しました (保守情報)

スケジューラーサービス間通信制御プロセスの起動に失敗しました。原因として、システムリソース不足などが考えられます。

(S)

該当するスケジューラーサービス間通信制御プロセスを終了します。

(O)

前後のメッセージから、スケジューラーサービス間通信制御プロセスの起動に失敗した原因を調べて対処してください。

#### KAVS4917-E

The number of times the process (host:ホスト名) controlling communication between scheduler services has terminated abnormally has exceeded the threshold. Therefore, the process controlling communication between scheduler services has been blocked.

スケジューラーサービス間通信制御プロセス異常終了回数のしきい値越えにより、スケジューラーサービス間通信制御プロセス (host: ホスト名) が閉塞しました

スケジューラーサービス間通信制御プロセスが異常終了した回数がしきい値を超えたため、スケジューラーサービス間通信制御プロセスが閉塞しました。

(S)

しきい値を超えたため、スケジューラーサービス間通信制御プロセスが閉塞しました。

(O)

メモリー不足またはシステムで起動できるプロセス数の上限に達したおそれがあります。

UNIX の場合、カーネルパラメーターのメモリーに関する設定値とプロセスに関する設定値を見直し、再設定してください。カーネルパラメーターについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management

System 2 設計・運用ガイド 4.2.5 カーネルパラメーターを見積もる」を参照してください。使用するメモリーの見積もり方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 4.2.3 メモリー所要量を見積もる」を参照してください。

現象発生時に稼働しているプロセスの状態を確認し、見積もり値以上のメモリーがあるか確認してください。

原因不明の場合は、資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

#### KAVS4918-I

The number of connections for the process (host: ホスト名) controlling communication between scheduler services is below the maximum value.

スケジューラーサービス間通信制御プロセス (host: ホスト名) の接続数が最大値を下回りました

スケジューラーサービス間通信制御プロセスの接続数が最大値を下回ったため、異なるスケジューラーサービス間のルートジョブネットの実行順序制御ができるようになりました。

(S)

処理を続行します。

## 2.4 KAVT で始まるメッセージ（イベント・アクション制御に関するメッセージ）

KAVT で始まるメッセージ（イベント・アクション制御に関するメッセージ）の一覧を次に示します。

### KAVT0001-I

Event Action Manager will now start.  
イベントアクション機能マネージャーを開始します

イベント・アクション制御マネージャーを開始します。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVT0002-I

Finish Event Action Manager.  
イベントアクション機能マネージャープロセスを終了します

イベント・アクション制御マネージャーを終了します。

- (S)  
イベント・アクション制御マネージャーを終了します。

### KAVT0003-I

Event Action Manager has started.  
イベントアクション機能マネージャープロセスを開始しました

イベント・アクション制御マネージャーを開始しました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVT0008-E

Failed to initialize process. (保守情報)  
プロセスの初期化に失敗しました（保守情報）

イベント・アクション制御マネージャーの起動に失敗しました。

- (S)  
イベント・アクション制御マネージャーを終了します。
- (O)  
次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。
- JP1/Base が動作しているか。
  - システムのリソースが不足していないか。
  - JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - 環境設定で設定した内容に誤りがないか。特に、待

機情報ファイル出力ディレクトリ名を正しく設定しているか。

誤りがある場合は、修正後に JP1/AJS2 サービスを停止し、再起動してください。

### KAVT0009-E

Failed to initialize socket. (保守情報)  
ソケットの初期化に失敗しました（保守情報）

イベント・アクション制御マネージャーの開始に失敗しました。

- (S)  
イベント・アクション制御マネージャーを終了します。
- (O)  
次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。
- すでに同じ論理ホスト名の JP1/AJS2 が動作していないか。
  - ホスト名の解決ができていないか。解決できていない場合は、環境変数 JP1\_HOSTNAME、hosts ファイル、または DNS サーバなどの設定を確認してください。
  - services ファイルに JP1/AJS2 のポート番号が登録されているか。登録されていない場合は、登録してください。

### KAVT0020-E

A definition file name could not be created. (保守情報)  
定義ファイル名の生成に失敗しました（保守情報）

イベント・アクション制御マネージャーで構成定義ファイル名の生成に失敗しました。

- (S)  
起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。
- (O)  
JP1/AJS2 をセットアップしたときに指定した待機情報ファイル出力ディレクトリ名の長さを確認してください。指定できる最大長は 160 バイトです。構成定義情報（環境設定）を変更したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

**KAVT0023-E**

An error occurred during processing of a request to monitor event icons. (保守情報) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)  
 イベントアイコン監視要求処理でエラーが発生しました (保守情報) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

イベントジョブ監視開始処理中にエラーが発生しました。

- (S)  
 該当するイベントジョブは、起動失敗の状態で終了します。
- (O)  
 次のことを確認したあと、ajsname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からジョブ名を特定してください。特定したイベントジョブを再度、操作を行ってください。
- システムのリソースが不足していないか。特に、待機情報ファイル出力ディレクトリのディスク容量が不足していないか見直してください。
  - JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
  - 実行先ホスト、および JP1/AJS2 が起動しているか。

**KAVT0025-E**

The last registered contents cannot be recovered because the processing to recover consistency failed.  
 整合性回復処理に失敗したため、前回の登録内容は回復されません

イベント・アクション制御マネージャーで前回停止時に監視状態だった起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブを再度監視できません。

- (S)  
 前回まで登録していた起動条件付きジョブネットを監視打ち切り終了状態、イベントジョブを終了状態不明として、イベント・アクション制御マネージャーを開始します。
- (O)  
 次のことを確認してください。
- システムのリソースが不足していないか。特に、JP1/AJS2 運用中に待機情報ファイル出力ディレクトリがあるディスク容量が不足していなかったか確認してください。
  - JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

待機情報ファイルが壊れているおそれがあるため、コールドスタートしてください。

**KAVT0026-I**

The cold start processing will now start.  
 コールドスタート処理を行います

イベント・アクション制御マネージャーでコールドスタートを開始します。

- (S)  
 処理を続行します。

**KAVT0027-E**

The cold start processing failed. (保守情報)  
 コールドスタート処理に失敗しました (保守情報)

イベント・アクション制御マネージャーでコールドスタートに失敗しました。

- (S)  
 監視しているイベントジョブが一部、実行中の状態で、イベント・アクション制御マネージャーを開始します。
- (O)  
 次のことを確認したあと、再度コールドスタートを実行してください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
  - 実行先ホスト、および JP1/AJS2 が起動しているか。

**KAVT0034-E**

An error occurred during processing of a request to kill an event icon. (保守情報) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)  
 イベントアイコン強制終了要求処理でエラーが発生しました (保守情報) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

イベントジョブの強制終了処理でエラーが発生しました。

- (S)  
 該当するイベントジョブの強制終了処理を中止します。イベントジョブは監視実行中の状態です。
- (O)  
 次のことを確認したあと、ajsname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からジョブ名を特定してください。特定したイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、ジョブ状態変更によってイベントジョブの状態を変更してください。

- ・システムのリソースが不足していないか。特に、JP1/AJS2 運用中に待機情報ファイル出力ディレクトリがあるディスク容量が不足していなかったか確認してください。
- ・JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- ・JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- ・実行先ホスト、および JP1/AJS2 が起動しているか。

#### KAVT0036-E

An error occurred during processing of a bypass request for an event icon. (保守情報) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

イベントアイコン計画未実行終了要求処理でエラーが発生しました (保守情報) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

イベントジョブの計画未実行処理でエラーが発生しました。

- (S)
- 該当するイベントジョブの終了処理を中止します。イベントジョブは監視実行中の状態です。
- (O)
- 次のことを確認したあと、ajssname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からジョブ名を特定してください。特定したイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、ジョブ状態変更によってイベントジョブの状態を変更してください。
- ・システムのリソースが不足していないか。
  - ・JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - ・JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
  - ・実行先ホスト、および JP1/AJS2 が起動しているか。

#### KAVT0039-I

Terminating because of a bypass request.  
計画未実行終了要求のために終了します

計画未実行終了要求を受け付けたため、イベント監視を終了します。

- (S)
- 処理を続行します。

#### KAVT0042-E

The standard error output file could not be output. (file=ファイル名) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)  
標準エラー出力ファイルへの出力に失敗しました (file=ファイル名) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

イベントジョブ実行時に標準エラー出力ファイルへの書き込みに失敗しました。

- (S)
- 実行結果詳細メッセージのファイルへの出力をせずに、処理を続行します。
- (O)
- 構成定義情報 (環境設定) のジョブエラー情報ディレクトリ名に指定したディレクトリがあることを確認したあと、ajssname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からジョブ名を特定してください。

#### KAVT0043-I

The icon will now end because of a kill request.  
強制終了要求のために終了します

強制終了要求を受け付けたため、イベント監視を終了します。

- (S)
- 処理を続行します。

#### KAVT0045-E

The icon will now end because an error occurred.  
エラーが発生したため、終了します

イベント開始処理時にエラーが発生しました。

- (S)
- 処理を続行します。
- (O)
- イベント・アクション制御の内部的な要因でエラーが発生しているため、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

#### KAVT0058-E

An error occurred during processing of the request to monitor the start condition. (保守情報)  
(AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)  
起動条件監視要求処理でエラーが発生しました (保守情報) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

起動条件付きジョブネットの監視開始処理中にエラーが発生しました。



(S)

該当する起動条件付きジョブネットを終了します。

(O)

次のことを確認したあと、ajsname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からユニット名を特定してください。特定した起動条件付きジョブネットを再度、実行登録してください。

- システムのリソースが不足していないか。特に、待機情報ファイル出力ディレクトリのディスク容量が不足していないか見直してください。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- 実行先ホスト、および JP1/AJS2 が起動しているか。

### KAVT0059-E

Past time is set as the stop time. (time=設定時間)  
(AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)  
停止時間に過去の時間が設定されています (time=設定時間) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

起動条件の有効範囲時間に、過去の時間が指定されていません。

(S)

起動条件付きジョブネットを終了します。

(O)

起動条件の有効範囲時間に未来の時間を指定したあと、再度、実行登録してください。

### KAVT0062-E

An error occurred during processing of the request to end start-condition monitoring. (保守情報)  
(AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)  
起動条件監視終了要求処理でエラーが発生しました (保守情報) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

起動条件付きジョブネットの強制終了処理中にエラーが発生しました。

(S)

該当する起動条件付きジョブネットの強制終了処理を中止して、処理を続行します。

(O)

次のことを確認したあと、ajsname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からユニット名を特定してください。特定した起動条件付きジョブネットの状態が変更されないことを確認し、ジョブ状態変更によって起動条件付きジョブネットの状態を変

更してください。

- システムのリソースが不足していないか。特に、JP1/AJS2 運用中に待機情報ファイル出力ディレクトリがあるディスク容量が不足していなかったか確認してください。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- 実行先ホスト、および JP1/AJS2 が起動しているか。

### KAVT0082-E

An error occurred during processing of phenomena at an event icon end. (保守情報) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

イベントアイコン終了事象処理でエラーが発生しました (保守情報) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

イベントジョブのイベント発生処理でエラーが発生しました。

(S)

該当するイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。

(O)

次のことを確認したあと、ajsname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からジョブ名を特定してください。特定したイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、ジョブ状態変更でイベントジョブの状態を変更してください。

- システムのリソースが不足していないか。特に、JP1/AJS2 運用中に待機情報ファイル出力ディレクトリがあるディスク容量が不足していなかったか確認してください。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- スケジューラーサービスが起動しているか。

### KAVT0084-E

The file for storing macro variables could not be output. (file=ファイル名) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)  
マクロ変数格納ファイルへの出力に失敗しました (file=ファイル名) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

マクロ変数格納ファイルへの出力に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のことを確認したあと、ajsname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からユニット名を特定してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT0089-E

An error occurred during processing of the phenomena at the start of event-icon monitoring. (保守情報) (host=エージェントホスト名, AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報) イベントアイコン監視開始事象処理でエラーが発生しました (保守情報) (host=エージェントホスト名, AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

エージェントからのイベントジョブ開始通知処理でエラーが発生しました。

(S)

該当するイベントジョブの監視を行わずに、処理を続行します。

(O)

次のことを確認したあと、ajsname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からジョブ名を特定してください。特定したイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、ジョブ状態変更によってイベントジョブの状態を変更してください。

- システムのリソースが不足していないか。特に、JP1/AJS2 運用中に待機情報ファイル出力ディレクトリがあるディスク容量が不足していなかったか確認してください。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- スケジューラーサービスが起動しているか。

### KAVT0092-E

An error occurred during processing of phenomena for the agent machine activation report. (保守情報, host=エージェントホスト名) エージェントマシン起動通知事象処理でエラーが発生しました (保守情報, host=エージェントホスト名)

エージェントホストが起動を通知しましたが、マネージャー内のエージェント起動処理でエラーが発生しました。

(S)

該当するエージェントで監視を行わずに、処理を続行

します。

(O)

次のことを確認したあと、エージェントホストの JP1/AJS2 を再起動してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- 実行先ホスト、および JP1/AJS2 が起動しているか。

### KAVT0094-E

The send source is invalid. (RequestPP=送信元) (保守情報)

送信元が不正です (RequestPP=送信元) (保守情報)

不正なデータを受信しました。

(S)

不正な受信データを破棄して、処理を続行します。

(O)

ポート (jp1ajs2eamgr) に不正なデータを検知しました。不正にポートがアクセスされたおそれがあるため、調査してください。

### KAVT0098-E

An error occurred in the processing of the time-out period of the start condition. (保守情報) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

起動条件の打ち切り時間処理でエラーが発生しました (保守情報) (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

起動条件付きジョブネットの打ち切り時間処理でエラーが発生しました。

(S)

該当する起動条件付きジョブネットが有効範囲時間になっても停止しません。起動条件付きジョブネットは監視中のままとなります。

(O)

次のことを確認したあと、ajsname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からユニット名を特定してください。特定した起動条件付きジョブネットを強制終了してください。強制終了できない場合は、イベントジョブの管理状態に不整合が発生しているため、マネージャーと、起動条件を実行しているエージェントを再起動してください。

- システムのリソースが不足していないか。特に、待機情報ファイル出力ディレクトリのディスク容量が不足していないか見直してください。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っている

るか。

- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- スケジューラーサービスが起動しているか。

#### KAVT0099-I

The start conditions stopped because the time-out period elapsed. (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID)  
打ち切り時間になったので起動条件を終了させました (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID)

起動条件の有効範囲時間になったので、起動条件を終了させました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT0101-E

An error occurred during resending of unreported information. (保守情報) (host=エージェントホスト名, AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)  
未通知情報の再送処理でエラーが発生しました (保守情報) (host=エージェントホスト名, AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

エージェントへの未通知情報再送処理でエラーが発生しました。

(S)

該当する起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。

(O)

次のことを確認したあと、ajssname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からユニット名を特定してください。特定した起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、ジョブ状態変更によって状態を変更してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- スケジューラーサービスが起動しているか。

#### KAVT0103-E

Even with the specified number of retries, no messages could be sent. (file=未知情報ファイル名) (host=エージェントホスト名, 保守情報)

指定回数リトライを行いました但し送信できませんでした (file=未知情報ファイル名) (host=エージェントホスト名, 保守情報)

マネージャーからエージェントホスト名に対する通信を一定時間 (86,400 秒) リトライしましたが、送信できませんでした。

(S)

該当するエージェントに対してその時点で送信できない通信データ群をすべて削除します。そのため、次のような現象が発生することがあります。

- イベントジョブを実行登録しても実行中にならないで、キューイングのままとなる。
- イベントジョブ (起動条件も含む) を強制終了してもジョブの状態が変わらないで、実行中のままとなる。

(O)

次のことを確認してください。

- マネージャーホスト上で、エージェントホスト名 (エージェントホスト上で hostname コマンドで求める名前) の名前解決ができるか。  
名前解決できない場合は、マネージャーホストの hosts ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの jplhosts ファイルなどを設定してエージェントホストの名前解決ができるようにしてください。
- マネージャーホスト上でエージェントホスト名を名前解決して求めた IP アドレスが、エージェントホストの実際の IP アドレスと一致しているか。  
IP アドレスが一致しない場合は、マネージャーホストの hosts ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの jplhosts ファイルなどを設定し、名前解決で正しいアドレスが求まるようにしてください。
- エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが起動しているか、またはエージェントホストが起動しているか。  
エージェントの JP1/AJS2 やホスト自体が起動していない場合は、起動してください。
- ネットワーク環境に問題がないか。  
ping コマンドなどで、マネージャーホストからエージェントホストに対して TCP/IP 通信ができるかどうかを確認し、問題があれば解消してください。

また、削除された通信データの種類によっては対処が必要となりますので、次のことも確認してください。

- イベントジョブを実行登録しても実行中とならずにキューイングのままとなっていないか。  
前述の確認、および対処を行ったあとに、該当するジョブを強制終了して再実行してください。
- イベントジョブ (起動条件も含む) を強制終了して

## KAVT0106-I ~ KAVT0116-E

もジョブの状態が変わらないで、実行中のままと  
なっていないか。

前述の確認、および対処を行ったあとに、再度、強  
制終了をしてください。

- 該当するメッセージが出力された時点から過去一定  
時間（86,400 秒）内にイベントを検知していない  
か。  
エージェント側に返信待ち状態のデータが滞留して  
いますので、前述の確認、および対処を行ったあと  
に、エージェントを起動してください。ただし、  
エージェントを再起動すると、エージェントは滞留  
しているデータをマネージャーに対して再度送信す  
るため、大量に滞留していた場合はマネージャーが  
高負荷状態になり、そのあとに実行したジョブが  
キューイングのままとなったり、イベントの検知が  
極端に遅延したりする場合があります。そのため、  
該当するメッセージが出力された時点から、過去一  
定時間（86,400 秒）内に検知したイベント数が  
1,000 件以上ある場合は、エージェントの再起動  
は、コールドスタートで行ってください。

### KAVT0106-I

The start condition stopped because the specified  
number was detected. (AjsServiceName=スケジュー  
ラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID)  
指定回数分の成立を検知したため、起動条件を終了させま  
した (AjsServiceName=スケジューラーサービス名,  
UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID)

指定回数分の起動条件成立を検知したため、起動条件を終  
了させました。

- (S)
- 処理を続行します。

### KAVT0108-I

The start condition was satisfied. (AjsServiceName=スケ  
ジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行  
ID)

起動条件が成立しました (AjsServiceName=スケジュー  
ラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID)

起動条件が成立しました。

- (S)
- 処理を続行します。

### KAVT0110-E

An error occurred during resending of unreported  
information to scheduler service. (保守情報)  
(AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユ  
ニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)  
スケジューラーサービスへの未通知情報の再送処理でエ  
ラーが発生しました (保守情報) (AjsServiceName=ス  
ケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=  
実行ID, 保守情報)

スケジューラーサービスへの未通知情報再送処理でエラー

が発生しました。

- (S)
- 該当する起動条件付きジョブネットの状態を変更しな  
いまま、処理を続行します。
- (O)
- 次のことを確認したあと、ajsname コマンドの -i  
オプションを使用して、ユニット ID からユニット名  
を特定してください。特定した起動条件付きジョブ  
ネット、またはイベントジョブの状態が変更されない  
ことを確認し、ジョブ状態変更によって状態を変更し  
てください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユー  
ザー権限、または Administrators 権限を持ってい  
るか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクト  
リを誤って削除していないか。
  - スケジューラーサービスが起動しているか。

### KAVT0116-E

Some information cannot be reported to scheduler  
service because the processing to recover consistency  
failed.

整合性回復処理に失敗した為、スケジューラーサービスに  
通知できない情報があります

JP1/AJS2 の開始処理時、停止前に通知できなかった情報  
の取得に失敗したため、スケジューラーサービスに通知で  
きない情報があります。

- (S)
- 前回、スケジューラーサービスに通知できなかった情  
報を破棄して、起動条件付きジョブネット、またはイ  
ベントジョブの状態を変更しないまま、イベント・ア  
クション制御マネージャーを開始します。

- (O)
- 次の確認項目を参照し、該当する項目の対処方法に  
従って対処してください。該当する項目がない場合  
は、システム管理者に連絡して資料を採取してくださ  
い (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してくださ  
い)。

#### 確認項目

1. 待機情報ファイル出力ディレクトリ下のファ  
イルを削除していないか。
2. 状態が変更されない起動条件付きジョブネッ  
ト、またはイベントジョブがないか。

#### 対処方法

1. 確認項目 1. が該当する場合、コールドスター  
トしてください。
2. 確認項目 2. が該当する場合、状態が変更され  
ない起動条件付きジョブネット、またはイベ  
ントジョブを確認し、ジョブ状態変更によっ  
て状態を変更してください。

**KAVT0118-E**

The shared definition could not be read. (保守情報)  
共通定義情報の読み込みに失敗しました (保守情報)

共通定義情報の読み込みに失敗しました。

- (S)  
デフォルト値を仮定して処理を続行します。  
続行できない場合は、このメッセージのあとに出力されたメッセージに従って対処してください。

- (O)  
jbsgetcnf コマンドで、エラーとなった論理ホストの共通定義情報が取得できるか確認してください。取得できない場合は、JP1/Base を再インストールしてください。取得できた場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVT0145-E**

An error occurred during sending of start mode to an agent host. (host=ホスト名, mode=スタートモード, 保守情報)  
エージェントホストへのスタートモードの送信処理でエラーが発生しました (host=ホスト名, mode=スタートモード, 保守情報)

エージェントホストへのスタートモードの送信処理でエラーが発生しました。「host=ホスト名」で示すエージェントに対しては、マネージャーホストの起動を通知できなかったため、エージェント上のイベント監視が正しくできないことがあります。

- (S)  
該当するデータを破棄するため、「host=ホスト名」で示すエージェントホストでのイベント監視が行われたままとします。
- (O)  
次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。  
  - ネットワークやエージェントホストが停止していないか。
  - ホスト名の解決ができていないか。解決できていない場合は、環境変数 JP1\_HOSTNAME, hosts ファイル, または DNS サーバなどの設定を確認してください。

**KAVT0147-E**

An error occurred during the processing of an event for reporting the shutdown of an agent machine. (保守情報)  
(host=エージェントホスト名, 保守情報)  
エージェントホストシャットダウン通知事象処理でエラーが発生しました (保守情報) (host=エージェントホスト名, 保守情報)

エージェントホストからのシャットダウン通知に対する処理でエラーが発生しました。

- (S)  
該当するエージェントで実行中のイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。

- (O)  
次のことを確認したあと、状態が変更されないイベントジョブを確認し、ジョブ状態変更や強制終了によってイベントジョブの状態を変更してください。  
  - システムのリソースが不足していないか。
  - JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
  - スケジューラーサービスが起動しているか。

**KAVT0157-E**

Start condition is cancelled due to failure in receiving new branch-execution ID within specified time interval. (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID) (time=指定時間, 保守情報)  
指定時間以内に枝実行IDを取得できなかったため、起動条件を終了します (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID) (time=指定時間, 保守情報)

指定時間以内に枝実行IDを取得できなかったため、起動条件を終了します。

- (S)  
該当する起動条件付きジョブネットは、監視打ち切り終了の状態を終了します。
- (O)  
スケジューラーサービスが起動していることを確認したあと、ajssname コマンドの -I オプションを使用して、ユニットIDからユニット名を特定してください。特定した起動条件付きジョブネットを再度、実行登録してください。

**KAVT0171-E**

Connection of the sending pipe failed. (保守情報)  
送信パイプの接続に失敗しました (保守情報)

送信パイプの接続に失敗しました。

- (S)  
イベント・アクション制御マネージャーを終了します。
- (O)  
次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。  
  - システムのリソースが不足していないか。
  - JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

## KAVT0178-E ~ KAVT0247-E

上記に該当しない場合には、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVT0178-E

An error occurred during child process creation. (保守情報) (保守情報)  
子プロセス生成処理でエラーが発生しました (保守情報) (保守情報)

子プロセス生成処理でエラーが発生しました。

- (S)
- イベント・アクション制御マネージャーを終了します。
- (O)
- 次のことを確認したあと、JP1/AJS2を再起動してください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - JP1/AJS2を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- 上記に該当しない場合には、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVT0187-E

The process will now stop because Event Action SubManager is finished.  
イベントアクション機能サブマネージャーが終了しているため、プロセスを停止します

イベント・アクション制御サブマネージャーが終了しているため、プロセスを停止します。

- (S)
- プロセスを終了します。
- (O)
- 待機情報ファイル出力ディレクトリが参照できるか確認してください。
- 特に、論理ホストの場合は JP1/AJS2 を起動したまま待機情報ファイル出力ディレクトリがある共有ディスクをアンマウントしていなかったか確認してください。
- そのあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

### KAVT0193-W

The events that occurred during the maintenance mode are discarded because the option to improve event job reliability is invalid. (スケジューラーサービス名)  
信頼性向上オプションが無効のため、メンテナンスモード中に発生したイベントは破棄されます (スケジューラーサービス名)

信頼性向上オプションが無効のため、メンテナンスモード中に発生したイベントは破棄されます。

- (S)
- 処理を続行します。
- メンテナンスモード中にイベントが発生した場合は破棄されます。
- (O)
- メンテナンスモード中にイベントが発生しない場合は無視してかまいません。イベントが発生する場合は、信頼性向上オプションを有効にしてください。

### KAVT0194-W

Memory became insufficient during the maintenance mode start notification. (スケジューラーサービス名)  
メンテナンスモード開始通知処理でメモリー不足が発生しました (スケジューラーサービス名)

メンテナンスモード開始通知処理でメモリー不足が発生しました。メンテナンスモード中に起動条件イベントを検知すると、エラーが発生するおそれがあります。

- (S)
- メンテナンスモードを続行します。
- (O)
- マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 4. 見積もり」を参照して、JP1/AJS2 の実行に必要なメモリー量が確保されているか確認してください。

### KAVT0247-E

The number of tokens from the send destination is invalid. (保守情報) (保守情報)  
送信先からのトークン数が不正です (保守情報) (保守情報)

送信先からの情報が誤っています。

- (S)
- 起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。
- (O)
- 次のことを確認してください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - マネージャーとエージェントのバージョンが合っているか。
  - JP1/Base と JP1/AJS2 の環境変数 LANG 設定が合っているか。
  - jplajs2eamgr に定義されているポートを JP1/AJS2 以外のプログラムが使用していないか、netstat コマンドなどで確認してください。

**KAVT0250-W**

Because the total of macro variables exceeded the maximum, part of the data was truncated.

マクロ変数の合計が最大値を超えたためにデータの一部を切り捨てました

マクロ変数の合計値が最大値を超えたため、データの一部を切り捨てました。

- (S) データを一部切り捨てた状態で、マクロ変数を引き継ぎます。
- (O) マクロ変数の合計値が 4,096 バイトを超えないように再定義してください。特に起動条件付きジョブネットを AND 条件で定義している場合、起動条件付きジョブネットに定義したすべてのイベントジョブのマクロ変数をマージします。そのため、マージしたマクロ変数の合計値が 4,096 バイトを超えていないか確認してください。

**KAVT0261-E**

The report to scheduler service failed. (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

フロー制御への通知に失敗しました (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

スケジューラーサービスへの送信に失敗しました。

- (S) 該当する起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。
- (O) スケジューラーサービスが起動しているか確認してください。また、スケジューラーサービス起動後、「AjsServiceName= スケジューラーサービス名」、「UnitID= ユニット ID」、「ExecID= 実行 ID」で示す起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの登録・実行・操作・イベント発生処理が行われていないおそれがあります。  
ajsname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からユニット名を特定してください。特定した起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、再度、実行登録するか、ジョブ状態変更によって状態を変更してください。

**KAVT0268-W**

The data arrival confirmation of a socket failed. (保守情報) (host=エージェントホスト名, 保守情報)

ソケットのデータ到着確認に失敗しました (保守情報) (host=エージェントホスト名, 保守情報)

一時的な通信障害のため、「host= エージェントホスト名」

で示すエージェントとの通信に失敗しました。起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの開始時刻が遅延するおそれがあります。

- (S) 一定時間 (30 秒) 後に再度、通信を行います。
- (O) 次の原因で通信エラーになっていることが考えられます。なお、通信エラーになったデータは、一定時間後に自動で再送するため、起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブに対する操作は不要です。
- ネットワークまたはエージェントホストが停止している。
  - 一時的な通信障害が発生している。
  - イベントジョブの処理能力をオーバーしている。
- ネットワーク障害が発生している場合、ネットワーク障害の原因を調べ、原因を解決してください。  
「host= エージェントホスト名」で示すエージェントホストが停止している場合、エージェントホストを起動してください。  
イベントジョブの処理が集中し通信に負荷が掛かっているなど、一時的な通信障害が発生している場合は、無視をして運用を続行してください。ただし、メッセージが頻繁に出力される場合は、処理能力を超えた運用となっているおそれがあるため、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 4. 見積もり」を参照して、イベントジョブを使用する場合の見積もりを再確認してください。

**KAVT0271-E**

An attempt to get the IP address of the host (IPアドレス取得失敗ホスト名) during the start notification from the agent (エージェントからの起動通知ホスト名) failed. (保守情報)

エージェント (エージェントからの起動通知ホスト名) からの起動通知処理中にホスト (IPアドレス取得失敗ホスト名) のIPアドレス取得に失敗しました。(保守情報)

エージェントホスト起動時、マネージャーの起動したエージェントに対する起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの開始処理が失敗しました。

- (S) 「IP アドレス取得失敗ホスト名」で監視していた起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブは監視を継続できません。
- (O) マネージャーホスト上で「IP アドレス取得失敗ホスト名」で示すホストの IP アドレスが取得できるか jplping コマンドで確認してください。jplping コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照してください。  
IP アドレスが取得できない場合は、マネージャーホストの hosts ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの jplhosts ファイルなどを設定し、名前解

決で正しいアドレスが求まるようにしてください。そのあと、該当する起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブを強制終了し、再実行してください。

#### KAVT0272-E

An attempt to get the IP address of the host (IPアドレス取得失敗ホスト名) during the stop notification from the agent (エージェントからの停止通知ホスト名) failed. (保守情報)

エージェント (エージェントからの停止通知ホスト名) からの停止通知処理中にホスト (IPアドレス取得失敗ホスト名) のIPアドレス取得に失敗しました。(保守情報)

エージェントホスト停止時、マネージャーの起動したエージェントに対するイベントジョブの停止処理が失敗しました。

- (S) 「IP アドレス取得失敗ホスト名」で実行していたイベントジョブの状態が実行中のままとなります。

- (O) マネージャーホスト上で「IP アドレス取得失敗ホスト名」で示すホストの IP アドレスが取得できるか `jplping` コマンドで確認してください。`jplping` コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」のマニュアルを参照してください。IP アドレスが取得できない場合は、マネージャーホストの `hosts` ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの `jplhosts` ファイルなどを設定し、名前解決で正しいアドレスが求まるようにしてください。そのあと、エージェントを起動し、該当するイベントジョブを強制終了してください。

#### KAVT0273-W

Too many simultaneous events are generated for a jobnet with a start condition, so processing performance may be degraded. (ジョブネット名) (host=エージェントホスト名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

起動条件付きジョブネット (ジョブネット名) に対する同時イベント発生数が多過ぎるため、処理性能が低下する可能性があります (host=エージェントホスト名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

起動条件付きジョブネットに対する同時イベント発生数が多過ぎるため、処理性能が低下するおそれがあります。

- (S) 処理を続行します。
- (O) `ajpname` コマンドの `-I` オプションを使用して、ユニット ID からユニット名を特定してください。特定した起動条件付きジョブネットに対して同時に発生するイベント数を見直し、イベント発生数を減らしてください。

#### KAVT0280-E

An attempt to get the IP address of the host (エージェントホスト名) during the starting of the manager failed. (保守情報)

マネージャーの起動処理中にホスト(エージェントホスト名)のIPアドレス取得に失敗しました(保守情報)

イベント・アクション制御マネージャーの起動処理中にエージェントホストの IP アドレス取得に失敗しました。

- (S) 処理を続行します。
- (O) エージェントホスト名の IP アドレスが取得できるか確認してください。取得できない場合は、DNS や `hosts` など IP アドレスを解決できるようにしてください。

#### KAVT0281-E

An error occurred, caused by an internal aspect of the event action function. Execution of the event job will result in an error. (AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)  
イベント・アクション機能の内部的な要因でエラーが発生しました。イベントジョブの実行がエラーとなります。  
(AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

イベント・アクション制御の内部的な要因でエラーが発生しました。イベントジョブの実行がエラーとなります。

- (S) 該当する起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。
- (O) イベント・アクション制御の内部的な要因でエラーが発生しているため、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。  
「AjsServiceName= スケジューラーサービス名」, 「UnitID= ユニット ID」, 「ExecID= 実行 ID」で示す起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの登録・実行・操作・イベント発生処理が行われていないおそれがあります。`ajpname` コマンドの `-I` オプションを使用して、ユニット ID からユニット名を特定してください。特定した起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、再度、実行登録するか、ジョブ状態変更によって状態を変更してください。

#### KAVT0282-E

An error occurred, caused by an internal aspect of the event action function. (保守情報)

イベント・アクション機能の内部的な要因でエラーが発生しました (保守情報)



イベント・アクション制御の内部的な要因でエラーが発生しました。

(S)

起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。

(O)

イベント・アクション制御の内部的な要因でエラーが発生しているため、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの登録・実行・操作・イベント発生処理が行われていないおそれがあります。現在実行している起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、再度、実行登録するか、ジョブ状態変更によって状態を変更してください。

### KAVT0283-E

Memory is insufficient. (保守情報)

メモリー不足が発生しました (保守情報)

メモリー不足が発生しました。

(S)

起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。

(O)

マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 4. 見積もり」を参照して、JP1/AJS2の実行に必要なメモリー量が確保されているか確認してください。起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの登録・実行・操作・イベント発生処理が行われていないおそれがあります。現在実行している起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、再度、実行登録するか、ジョブ状態変更によって状態を変更してください。

### KAVT0284-E

Memory is insufficient. (AjsServiceName=スケジューラサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

メモリー不足が発生しました (AjsServiceName=スケジューラサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

メモリー不足が発生しました。

(S)

該当する起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。

(O)

マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 4. 見積もり」を参照して、JP1/AJS2の実行に必要なメモリー量が確保され

ているか確認してください。「AjsServiceName=スケジューラサービス名」、「UnitID=ユニットID」、「ExecID=実行ID」で示す起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの登録・実行・操作・イベント発生処理が行われていないおそれがあります。  
ajsname コマンドの -I オプションを使用して、ユニットIDからユニット名を特定してください。特定した起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、再度、実行登録するか、ジョブ状態変更で状態を変更してください。

### KAVT0285-I

An attempt to communicate with the agent has failed.

(host=エージェントホスト名, 保守情報)

エージェントとの通信に失敗しました (host=エージェントホスト名, 保守情報)

エージェントとの通信に失敗しました。

一時的な通信障害のため、「host= エージェントホスト名」で示すエージェントとの通信に失敗しました。

(S)

一定時間 (30 秒) 後に再度、通信を行います。

### KAVT0287-E

The files will be deleted, because the internal files of

event action control have been destroyed. (保守情報)

イベント・アクション制御の内部ファイルが破壊されているため、ファイルを削除します (保守情報)

イベント・アクション制御の内部ファイルが破壊されているため、ファイルを削除します。

(S)

処理を続行します。

(O)

次の対処方法に従って対処してください。

1. マネージャー・エージェント構成で運用している場合、エージェントホストのJP1/AJS2をコールドスタートしてください。
2. このメッセージがJP1/AJS2起動時に出力されている場合、登録中の起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブはすべて異常終了するため、再度実行登録してください。
3. このメッセージが運用中に出力されている場合、JP1/AJS2を再起動してください。そのあと、異常終了した起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブを再度実行登録してください。

### KAVT0293-W

An attempt to communicate with the agent has failed.

(host=エージェントホスト名, 保守情報)

エージェントとの通信に失敗しました (host=エージェントホスト名, 保守情報)

通信障害のため、「host= エージェントホスト名」で示す

エージェントとの通信に失敗しました。起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの開始時刻が遅延するおそれがあります。

- (S) 一定時間 (30 秒) 後に再度、通信を行います。

- (O) 次の原因で通信エラーになっていることが考えられます。
- ネットワーク障害が発生している。
  - エージェントホスト、および JP1/AJS2 が停止している。
  - エージェントホスト名の IP アドレスが取得できない。

ネットワーク障害が発生している場合、ネットワーク障害の原因を調べ、原因を解決してください。  
「host= エージェントホスト名」で示すエージェントホスト、および JP1/AJS2 が停止している場合、エージェントホスト、および JP1/AJS2 を起動してください。  
「host= エージェントホスト名」で示すエージェントホストの IP アドレスが取得できない場合は、DNS や hosts など IP アドレスを解決できるようにしたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

#### KAVT0294-W

Unreported information for スケジューラーサービス名 will now be deleted, because the total amount of unreported information for the scheduler service has exceeded しきい値。

スケジューラーサービスに対する未通知情報の総数がしきい値を超えているため、スケジューラーサービス名に対する未通知情報を削除します。

スケジューラーサービスに対する未通知情報の総数がしきい値を超えているため、スケジューラーサービス名に対する未通知情報を削除します。

- (S) 以降しきい値を超えるたびに、スケジューラーサービスに対する未通知情報のうち、古いものから削除します。

- (O) 次のことを確認してください。
- スケジューラーサービスが起動しているか。
  - 不当に状態が変わらないイベントジョブがないか。該当するイベントジョブがあった場合、必要に応じてジョブ状態変更や再実行を実施してください。

#### KAVT0295-W

Unreported information will now be deleted, because the amount of unreported information for スケジューラーサービス名 has exceeded しきい値。

スケジューラーサービス名に対する未通知情報数がしきい値を超えているため、未通知情報を削除します。

スケジューラーサービス名に対する未通知情報数がしきい値を超えているため、未通知情報を削除します。

- (S) 以降しきい値を超えるたびに、該当するスケジューラーサービスに対する未通知情報のうち、古いものから削除します。

- (O) 次のことを確認してください。
- スケジューラーサービスが起動しているか。
  - 不当に状態が変わらないイベントジョブがないか。該当するイベントジョブがあった場合、必要に応じてジョブ状態変更や再実行を実施してください。

#### KAVT0296-W

Unreported information for エージェントホスト名 will now be deleted, because the total amount of unreported information for the agent has exceeded しきい値。  
エージェントに対する未通知情報数の総数がしきい値を超えているため、エージェントホスト名に対する未通知情報を削除します。

エージェントに対する未通知情報数の総数がしきい値を超えているため、エージェントホスト名に対する未通知情報を削除します。

- (S) 以降しきい値を超えるたびに、エージェントに対する未通知情報のうち、古いものから削除します。このため、次のような現象が発生することがあります。
- イベントジョブを実行登録しても実行中とならないで、キューイングのままとなる。
  - イベントジョブ (起動条件も含む) を強制終了してもジョブの状態が変わらないで、実行中のままとなる。

- (O) 次のことを確認してください。
- マネージャーホスト上で、エージェントホスト名 (エージェントホスト上で hostname コマンドで求める名前) の名前解決ができるか。  
名前解決できない場合は、マネージャーホストの hosts ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの jplhosts ファイルなどを設定してエージェントホスト名の名前解決ができるようにしてください。
  - マネージャーホスト上でエージェントホスト名を名前解決して求めた IP アドレスが、エージェントホストの実際の IP アドレスと一致しているか。  
IP アドレスが一致しない場合は、マネージャーホストの hosts ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの jplhosts ファイルなどを設定し、名前解決で正しいアドレスが求まるようにしてください。
  - エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが起動しているか、またはエージェントホストが起動しているか。  
エージェントの JP1/AJS2 やホスト自体が起動し

ていない場合は、起動してください。

- ネットワーク環境に問題がないか。  
ping コマンドなどで、マネージャーホストからエージェントホストに対して TCP/IP 通信ができるかどうかを確認し、問題があれば解消してください。

また、削除された通信データの種類によっては対処が必要となりますので、次のことも確認してください。

- イベントジョブを実行登録しても実行中とならずにキューイングのままとなっていないか。  
前述の確認、および対処を行ったあとに、該当するジョブを強制終了して再実行してください。
- イベントジョブ（起動条件も含む）を強制終了してもジョブの状態が変わらないで、実行中のままとなっていないか。  
前述の確認、および対処を行ったあとに、再度、強制終了をしてください。
- 該当するメッセージが出力された時点から過去数時間内にイベントを検知していないか。  
エージェント側に返信待ち状態のデータが滞留していますので、前述の確認、および対処を行ったあとに、エージェントを再起動してください。ただし、エージェントを再起動すると、エージェントは滞留しているデータをマネージャーに対して再度送信するため、大量に滞留していた場合はマネージャーが高負荷状態になり、そのあとに実行したジョブがキューイングのままとなったり、イベントの検知が極端に遅延したりする場合があります。そのため、該当するメッセージが出力された時点から、過去数時間内に検知したイベント数が 1,000 件以上ある場合は、エージェントの再起動は、コールドスタートで行ってください。

## KAVT0297-W

Unreported information will now be deleted, because the amount of unreported information for エージェントホスト名 has exceeded しきい値.

エージェントホスト名に対する未通知情報数がしきい値を超えているため、未通知情報を削除します。

エージェントホスト名に対する未通知情報数がしきい値を超えているため、未通知情報を削除します。

(S)

以降しきい値を超えるたびに、該当するエージェントに対する未通知情報のうち、古いものから削除します。このため、次のような現象が発生することがあります。

- イベントジョブを実行登録しても実行中とならないで、キューイングのままとなる。
- イベントジョブ（起動条件も含む）を強制終了してもジョブの状態が変わらないで、実行中のままとなる。

(O)

次のことを確認してください。

- マネージャーホスト上で、エージェントホスト名（エージェントホスト上で hostname コマンドで求

まる名前）の名前解決ができるか。

名前解決できない場合は、マネージャーホストの hosts ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの jplhosts ファイルなどを設定してエージェントホスト名の名前解決ができるようにしてください。

- マネージャーホスト上でエージェントホスト名を名前解決して求めた IP アドレスが、エージェントホストの実際の IP アドレスと一致しているか。  
IP アドレスが一致しない場合は、マネージャーホストの hosts ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの jplhosts ファイルなどを設定し、名前解決で正しいアドレスが求まるようにしてください。
- エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが起動しているか、またはエージェントホストが起動しているか。  
エージェントの JP1/AJS2 やホスト自体が起動していない場合は、起動してください。
- ネットワーク環境に問題がないか。  
ping コマンドなどで、マネージャーホストからエージェントホストに対して TCP/IP 通信ができるかどうかを確認し、問題があれば解消してください。

また、削除された通信データの種類によっては対処が必要となりますので、次のことも確認してください。

- イベントジョブを実行登録しても実行中とならずにキューイングのままとなっていないか。  
前述の確認、および対処を行ったあとに、該当するジョブを強制終了して再実行してください。
- イベントジョブ（起動条件も含む）を強制終了してもジョブの状態が変わらないで、実行中のままとなっていないか。  
前述の確認、および対処を行ったあとに、再度、強制終了をしてください。
- 該当するメッセージが出力された時点から過去数時間内にイベントを検知していないか。  
エージェント側に返信待ち状態のデータが滞留していますので、前述の確認、および対処を行ったあとに、エージェントを再起動してください。ただし、エージェントを再起動すると、エージェントは滞留しているデータをマネージャーに対して再度送信するため、大量に滞留していた場合はマネージャーが高負荷状態になり、そのあとに実行したジョブがキューイングのままとなったり、イベントの検知が極端に遅延したりする場合があります。そのため、該当するメッセージが出力された時点から、過去数時間内に検知したイベント数が 1,000 件以上ある場合は、エージェントの再起動は、コールドスタートで行ってください。

## KAVT0301-I

Event Action SubManager will now start.

イベントアクション機能サブマネージャーを開始します

イベント・アクション制御サブマネージャーを開始します。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT0302-I

Event Action SubManager has started.  
イベントアクション機能サブマネージャーを開始しました

イベント・アクション制御サブマネージャーが開始しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT0303-I

Event Action SubManager will now end.  
イベントアクション機能サブマネージャーを終了します

イベント・アクション制御サブマネージャーを終了します。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT0325-E

Event Action Manager has ended so the process will now stop.  
イベントアクション機能マネージャーが終了しているため、プロセスを中止します

イベント・アクション制御マネージャーが終了しているため、イベント・アクション制御サブマネージャーを終了します。

- (S)  
イベント・アクション制御サブマネージャーを終了します。
- (O)  
イベント・アクション制御マネージャーが終了した原因を統合トレースログで特定し、対処してください。そのあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

#### KAVT0328-E

The file read-in of list for repetition check failed. (保守情報)  
重複チェック用リストのファイル読み込みに失敗しました (保守情報)

イベント・アクション制御サブマネージャー内で使用する内部ファイルの読み込みに失敗しました。

- (S)  
イベント・アクション制御サブマネージャーを終了します。
- (O)  
次のことを確認してください。  
・ システムのリソースが不足していないか。  
・ JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユー

ザー権限、または Administrators 権限を持っているか。

#### KAVT0332-W

The number of requests from the scheduler service exceeds しきい値. Processing the requests from the scheduler service might be delayed.  
スケジューラーサービスからの要求数がしきい値を超えました。スケジューラーサービスからの要求に対する処理が遅延している可能性があります

スケジューラーサービスからの要求数がしきい値を超えました。スケジューラーサービスからの要求に対する処理が遅延しているおそれがあります

- (S)  
処理を続行します。

- (O)  
スケジュールを確認してください。一度に大量のイベントジョブや起動条件付きジョブネットを実行登録するようスケジュールされている場合、登録時間を分散するなど、運用を見直してください。

#### KAVT0333-W

The number of the reported events from エージェント名 exceeds しきい値. Processing the events from エージェント名 might be delayed.  
エージェント名からのイベント通知数がしきい値を超えました。エージェント名からのイベントに対する処理が遅延している可能性があります

エージェント名からのイベント通知数がしきい値を超えました。エージェント名からのイベントに対する処理が遅延しているおそれがあります。

- (S)  
処理を続行します。

- (O)  
次のことを確認してください。  
・ 該当するエージェントが実行ホストとなっているイベントジョブや起動条件付きジョブネットの定義を見直してください。一度に大量のイベントが発生するような定義になっている場合、イベントの発生量を抑えるように運用を見直してください。  
・ エージェントの JP1/AJS2 を再起動したあとに該当するメッセージが出力された場合は、次のことを確認してください。  
・ マネージャーホスト上で、エージェントホスト名 (エージェントホスト上で hostname コマンドで求まる名前) の名前解決ができるか。名前解決できない場合は、マネージャーホストの hosts ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの jplhosts ファイルなどを設定してエージェントホスト名の名前解決ができるようにしてください。  
・ マネージャーホスト上でエージェントホスト名を名前解決して求めた IP アドレスが、エー

ジェントホストの実際の IP アドレスと一致しているか。

IP アドレスが一致しない場合は、マネージャーホストの `hosts` ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの `jp1hosts` ファイルなどを設定し、名前解決で正しいアドレスが求まるようにしてください。

- エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが起動しているか、またはエージェントホストが起動しているか。  
エージェントの JP1/AJS2 やホスト自体が起動していない場合は、起動してください。
- ネットワーク環境に問題がないか。  
`ping` コマンドなどで、マネージャーホストからエージェントホストに対して TCP/IP 通信が可能であるか確認し、問題があれば解消してください。

### KAVT0340-W

Communication to check the operation of the Event Action SubManager failed. The communication will be retried.(保守情報)

イベントアクション機能サブマネージャーの動作チェック用の通信に失敗したため、リトライします(保守情報)

イベント・アクション制御サブマネージャーが動作しているかを定期的にチェックする処理で通信エラーが発生しました。  
リトライします。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のことを確認してください。

- 大量にイベントを検知していないか。
- 物理ホストの場合、JP1/AJS2 のインストール先ディレクトリのあるディスク容量が不足していないか。また、インストール先ディレクトリにアクセスできるか。
- 論理ホストの場合、共有ディスクの容量が不足していないか。また、共有ディスクにアクセスできるか。
- `jpgagtshow` コマンドを実行したときに表示されるエージェントホストすべてと通信できるか。また、イベントジョブ（起動条件含む）の実行先ホスト名にエイリアスホスト名を指定している場合、実ホスト名の名前解決はできているか。
- JP1/AJS2 のインストールパスにあるファイルにアクセスしているプロセスがないか。
- メモリーが不足していないか。

これらの要因を取り除いたあと、イベントジョブや起動条件が正常に動作しているか確認してください。しばらくしても正常に動作しない場合は、イベントジョブや起動条件の状態管理に問題が発生しているおそれがあります。「保守情報」に出力されているスケジューラーサービスをコールドスタートするか、また

は `jpomanevreset` コマンドを実行してください。

`jpomanevreset` コマンドについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `jpomanevreset`」を参照してください。

### KAVT0341-W

Communication to check the operation of the Event Action Manager failed. The communication will be retried.(保守情報)

イベントアクション機能マネージャーの動作チェック用の通信に失敗したため、リトライします(保守情報)

イベント・アクション制御マネージャーが動作しているかを定期的にチェックする通信で通信エラーが発生しました。  
リトライします。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のことを確認してください。

- 大量にイベントを検知していないか。
- 物理ホストの場合、JP1/AJS2 のインストール先ディレクトリのあるディスク容量が不足していないか。また、インストール先ディレクトリにアクセスできるか。
- 論理ホストの場合、共有ディスクの容量が不足していないか。また、共有ディスクにアクセスできるか。
- `jpgagtshow` コマンドを実行したときに表示されるエージェントホストすべてと通信できるか。また、イベントジョブ（起動条件含む）の実行先ホスト名にエイリアスホスト名を指定している場合、実ホスト名の名前解決はできているか。
- JP1/AJS2 のインストールパスにあるファイルにアクセスしているプロセスがないか。
- メモリーが不足していないか。

これらの要因を取り除いたあと、イベントジョブや起動条件が正常に動作しているか確認してください。しばらくしても正常に動作しない場合は、イベントジョブや起動条件の状態管理に問題が発生しているおそれがあります。「保守情報」に出力されているスケジューラーサービスをコールドスタートするか、または `jpomanevreset` コマンドを実行してください。  
`jpomanevreset` コマンドについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `jpomanevreset`」を参照してください。

### KAVT0342-I

Communication to check the operation of the Event Action SubManager has been restored.(保守情報)

イベントアクション機能サブマネージャーの動作チェック用の通信が回復しました(保守情報)

## KAVT0343-I ~ KAVT0346-I

イベント・アクション制御サブマネージャーの動作チェック用の通信が回復しました。

(S)

処理を続行します。

### KAVT0343-I

Communication to check the operation of the Event Action Manager has been restored.(保守情報)  
イベントアクション機能マネージャーの動作チェック用の通信が回復しました(保守情報)

イベント・アクション制御マネージャーの動作チェック用の通信が回復しました。

(S)

処理を続行します。

### KAVT0344-W

There is no response from the Event Action SubManager.(保守情報)  
イベントアクション機能サブマネージャーからの応答がありません(保守情報)

イベント・アクション制御サブマネージャーからの応答がありません。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のことを確認してください。

- 大量にイベントを検知していないか。
- 物理ホストの場合、JP1/AJS2 のインストール先ディレクトリのあるディスク容量が不足していないか。また、インストール先ディレクトリにアクセスできるか。
- 論理ホストの場合、共有ディスクの容量が不足していないか。また、共有ディスクにアクセスできるか。
- jppagts show コマンドを実行したときに表示されるエージェントホストすべてと通信できるか。また、イベントジョブ（起動条件含む）の実行先ホスト名にエイリアスホスト名を指定している場合、実ホスト名の名前解決はできているか。
- JP1/AJS2 のインストールパスにあるファイルにアクセスしているプロセスがないか。
- メモリーが不足していないか。

これらの要因を取り除いたあと、イベントジョブや起動条件が正常に動作しているか確認してください。しばらくしても正常に動作しない場合は、イベントジョブや起動条件の状態管理に問題が発生しているおそれがあります。「保守情報」に出力されているスケジューラーサービスをコールドスタートするか、または jpomanevreset コマンドを実行してください。jpomanevreset コマンドについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド jpomanevreset」を参

照してください。

### KAVT0345-W

There is no response from the Event Action Manager.(保守情報)  
イベントアクション機能マネージャーからの応答がありません(保守情報)

イベント・アクション制御マネージャーからの応答がありません。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のことを確認してください。

- 大量にイベントを検知していないか。
- 物理ホストの場合、JP1/AJS2 のインストール先ディレクトリのあるディスク容量が不足していないか。また、インストール先ディレクトリにアクセスできるか。
- 論理ホストの場合、共有ディスクの容量が不足していないか。また、共有ディスクにアクセスできるか。
- jppagts show コマンドを実行したときに表示されるエージェントホストすべてと通信できるか。また、イベントジョブ（起動条件含む）の実行先ホスト名にエイリアスホスト名を指定している場合、実ホスト名の名前解決はできているか。
- JP1/AJS2 のインストールパスにあるファイルにアクセスしているプロセスがないか。
- メモリーが不足していないか。

これらの要因を取り除いたあと、イベントジョブや起動条件が正常に動作しているか確認してください。しばらくしても正常に動作しない場合は、イベントジョブや起動条件の状態管理に問題が発生しているおそれがあります。「保守情報」に出力されているスケジューラーサービスをコールドスタートするか、または jpomanevreset コマンドを実行してください。jpomanevreset コマンドについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド jpomanevreset」を参照してください。

### KAVT0346-I

A response from the Event Action SubManager has been confirmed.(保守情報)  
イベントアクション機能サブマネージャーからの応答を確認しました(保守情報)

イベント・アクション制御サブマネージャーからの応答を確認しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVT0347-I**

A response from the Event Action Manager has been confirmed. (保守情報)

イベントアクション機能マネージャーからの応答を確認しました (保守情報)

イベント・アクション制御マネージャーからの応答を確認しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVT0401-E**

An internal error occurred. (保守情報)

内部エラーが発生しました (保守情報)

イベント・アクション制御の内部的な要因でエラーが発生しました。

(S)

該当するイベントジョブをエラーとします。

(O)

イベント・アクション制御の内部的な要因でエラーが発生しているため、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVT0402-E**

Memory became insufficient. (保守情報) (保守情報)

メモリー不足が発生しました (保守情報) (保守情報)

メモリー不足が発生しました。

(S)

該当するイベントジョブをエラーとします。

(O)

マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 4. 見積もり」を参照して、JP1/AJS2の実行に必要なメモリー量が確保されているか確認してください。

**KAVT0403-E**

The specified agent is not defined in the job execution environment. (host=エージェントホスト名, 保守情報)  
指定されたエージェントはジョブ実行環境に定義されていません (host=エージェントホスト名, 保守情報)

実行ホストに定義したホスト名が、エージェントホストとして定義されていません。

(S)

該当するイベントジョブをエラーとします。

(O)

実行ホストに定義したホスト名が正しいか確認してください。ホスト名が正しい場合は、実行ホストに定義したホスト名がエージェントホストとして定義されて

いません。実行ホストに定義したホスト名をエージェントホストとして追加してください。

**KAVT0404-E**

An error occurred during communication with the agent.

(保守情報)

エージェントとの通信時にエラーが発生しました (保守情報)

エージェントとの通信に失敗しました。

(S)

該当するイベントジョブをエラーとします。

(O)

実行先ホスト、および JP1/AJS2 が起動しているか確認してください。

**KAVT0405-W**

Because communication with the agent failed, it will be retried.

エージェントとの通信に失敗したため、リトライを行います

一時的な通信障害でエージェントとの通信に失敗しました。

(S)

一定時間 (30 秒) 後に再度、通信を行います。

(O)

実行先ホスト、および JP1/AJS2 が起動しているか確認してください。

**KAVT0406-E**

Socket communication failed. (保守情報)

ソケット通信に失敗しました (保守情報)

イベント・アクション制御マネージャーとの通信に失敗しました。

(S)

該当するイベントジョブをエラーとします。

(O)

ネットワークに障害が発生していないか確認してください。ネットワークに障害が発生していない場合は、イベント・アクション制御の内部的な要因でエラーが発生しているため、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

#### KAVT0408-E

The definition information of the specified agent is now being changed so you cannot use the agent. (host=エージェントホスト名, 保守情報)

指定されたエージェントは構成定義情報に変更中のため、使用できません (host=エージェントホスト名, 保守情報)

「host= エージェントホスト名」で示すエージェントホストは、構成定義情報に変更中のため、使用できません。

- (S) 該当するイベントジョブをエラーとします。
- (O) 構成定義情報 (環境設定) の変更が終了したあと、再度、操作を行ってください。

#### KAVT0409-I

The data was sent to the agent.  
エージェントにデータを送信しました

エージェントヘデータを送信しました。

- (S) 処理を続行します。

#### KAVT0410-E

The parameter (パラメーター) after replacing a macro variable is too long (length=パラメーター長).  
マクロ変数を置換した後のパラメーター (パラメーター) が長過ぎます (length=パラメーター長)

マクロ変数を置換したあとのパラメーターが長過ぎます。

- (S) 該当するイベントジョブをエラーとします。
- (O) エラーが発生したパラメーターの設定を見直したあと、再度イベントジョブを実行してください。  
パラメーターが ex の場合、ジョブネットの実行ホストも設定を見直してください。

#### KAVT0411-E

The macro variable (マクロ変数名) has not been inherited.  
マクロ変数 (マクロ変数名) が引き継がれていません

マクロ変数が引き継がれていません。

- (S) 該当するイベントジョブをエラーとします。
- (O) マクロ変数名が先行ジョブから引き継がれていません。ジョブネットの定義を見直したあと、再度イベントジョブを実行してください。

#### KAVT0498-I

JP1/AJS2 Event Action Manager will now start.  
JP1/AJS2イベントアクションマネージャーを開始します

イベント・アクション制御マネージャーを開始します。

- (S) 処理を続行します。

#### KAVT0499-I

JP1/AJS2 Event Action Manager will now end.  
JP1/AJS2イベントアクションマネージャーを終了します

イベント・アクション制御マネージャーを終了します。

- (S) 処理を続行します。

#### KAVT0502-E

The installation path could not be acquired.  
インストールパスの取得に失敗しました

JP1/AJS2 をインストールしているディレクトリの取得に失敗しました。Windows の場合、レジストリー情報が破壊されているおそれがあります。

- (S) イベント・アクション制御エージェントを終了します。
- (O) レジストリー情報が破壊されているおそれがあります。JP1/AJS2 を再インストールしたあと、再起動してください。

#### KAVT0508-E

A message-reception pipe could not be opened. (process type=プロセス種別 保守情報) (process name=プロセス名, 保守情報)  
受信パイプのオープンに失敗しました (プロセス種別=プロセス種別 保守情報) (process name=プロセス名, 保守情報)

イベント・アクション制御エージェント内で使用するパイプファイルの作成に失敗しました。

- (S) 「プロセス種別」で示すプロセスの制御が使用できない状態で処理を続行します。  
プロセス種別  
0 : JP1 イベント受信監視ジョブ, ログファイル監視ジョブ, Windows イベントログ監視ジョブ  
1 : ファイル監視ジョブ  
2 : メッセージキュー受信監視ジョブ  
3 : メール受信監視ジョブ  
4 : 実行間隔制御ジョブ  
5 : MSMQ 受信監視ジョブ



(O)

- 次のことを確認したあと、再度、操作を行ってください。
- ・システムリソースが不足していないか。
  - ・JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - ・JP1/AJS2 がインストールされたときに作成されたディレクトリを誤って削除していないか。

**KAVT0511-E**

Memory became insufficient. (host=マネージャーホスト名, AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)  
メモリーが不足しました (host=マネージャーホスト名, AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

メモリー不足が発生しました。

(S)

該当する起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。

(O)

- 該当する起動条件付きジョブネット名、またはイベントジョブ名を、ajsname コマンドの -I オプションを使用して特定し、次の操作を行ってジョブを終了状態に変更してください。
- ・起動条件付きジョブネットの場合は、強制終了してください。
  - ・イベントジョブの場合は、強制終了またはジョブ状態変更で終了させてください。

上記の操作後、必要に応じて再実行してください。  
ajsname コマンドについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsname」を参照してください。  
また、メモリーが不足していないか確認してください。JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

**KAVT0512-E**

The socket could not be opened. (Manager=送信先マネージャー名) (保守情報)  
ソケットのオープンに失敗しました (Manager=送信先マネージャー名) (保守情報)

マネージャーホストとの通信に失敗しました。

(S)

イベント・アクション制御エージェントプロセスの起動時に発生した場合にはプロセスを終了します。プロセスの起動後に発生した場合には処理を続行し、リトライを行います。

(O)

- 次の点について確認してください。
- ・ネットワーク障害が発生していないか
  - ・マネージャーホストの JP1/AJS2 が起動しているか
  - ・ホスト名が解決できているか  
解決できていない場合は、hosts ファイル、DNS サーバの設定、jplhosts を確認してください。

また、イベント・アクション制御エージェントプロセスの起動時に発生し、プロセスが起動できない場合は、次のことを確認してください。

- ・hosts ファイルに自ホスト名が登録されているか
- ・services ファイルに JP1/AJS2 のポート番号が登録されているか  
登録されていない場合は、登録後 JP1/AJS2 を再起動してください。
- ・jpo で始まるプロセスが存在していないか  
Windows の場合  
タスクマネージャを使って確認してください。プロセスがあるときは、JP1/AJS2 を再起動するか、システムを再起動してください。  
UNIX の場合  
ps コマンドを使って確認してください。プロセスがあるときは、kill コマンドでプロセスを強制終了して、JP1/AJS2 を再起動してください。

**KAVT0513-E**

JP1/AJS2 multi-weighting could not be initialized. (保守情報)  
AJSマルチウェイトの初期化に失敗しました (保守情報)

予期しないエラーです。

(S)

イベント・アクション制御エージェントを終了します。

(O)

- 次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。
- ・システムのリソースが不足していないか。
  - ・JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。

**KAVT0515-E**

Main loop of an agent failed. (保守情報)  
エージェントのメインループに失敗しました (保守情報)

イベント・アクション制御エージェントの起動に失敗しました。

(S)

イベント・アクション制御エージェントを終了します。

(O)

次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。

### KAVT0520-W

The event monitoring function is unusable. (保守情報, process name=プロセス名, 保守情報)  
イベント監視機能は使用できません (保守情報, process name=プロセス名, 保守情報)

JP1 イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、Windows イベントログ監視ジョブを実行するプロセスの起動に失敗したため、これらの機能は使用できません。

(S)

これらの機能について縮退して処理を続行します。

(O)

これらの機能を使用したい場合は、次の点を確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

使用しない場合は、このメッセージを無視して運用を続行してください。

- 「process name= プロセス名」で、表示されたプロセス名と同名の実行ファイルが存在するか
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか
- メモリーが不足していないか  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

### KAVT0521-W

The file monitoring function is unusable. (保守情報, process name=プロセス名, 保守情報)  
ファイル監視機能は使用できません (保守情報, process name=プロセス名, 保守情報)

ファイル監視ジョブを実行するプロセスの起動に失敗したため、この機能は使用できません。

(S)

この機能について縮退して処理を続行します。

(O)

この機能を使用したい場合は、次の点を確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

使用しない場合は、このメッセージを無視して運用を続行してください。

- 「process name= プロセス名」で、表示されたプロセス名と同名の実行ファイルが存在するか
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか

- メモリーが不足していないか

JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

### KAVT0522-W

The message queue monitoring function is unusable. (保守情報, process name=プロセス名, 保守情報)  
メッセージキュー監視は使用できません (保守情報, process name=プロセス名, 保守情報)

メッセージキュー受信監視ジョブを実行するプロセスの起動に失敗したため、この機能は使用できません。

(S)

この機能について縮退して処理を続行します。

(O)

この機能を使用したい場合は、次の点を確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

使用しない場合は、このメッセージを無視して運用を続行してください。

- 「process name= プロセス名」で、表示されたプロセス名と同名の実行ファイルが存在するか
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか
- メモリーが不足していないか  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

### KAVT0523-W

The mail monitoring function is unusable. (保守情報, process name=プロセス名, 保守情報)  
メール監視機能は使用できません (保守情報, process name=プロセス名, 保守情報)

メール受信監視ジョブを実行するプロセスの起動に失敗したため、この機能は使用できません。

(S)

この機能について縮退して処理を続行します。

(O)

この機能を使用したい場合は、次の点を確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

使用しない場合は、このメッセージを無視して運用を続行してください。

- 「process name= プロセス名」で、表示されたプロセス名と同名の実行ファイルが存在するか
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか
- メモリーが不足していないか  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付

のドキュメント（リリースノート、Readme.txt、またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

### KAVT0524-W

The timer monitoring function is unusable. (保守情報, process name=プロセス名, 保守情報)  
タイマー監視機能は使用できません（保守情報, process name=プロセス名, 保守情報）

実行間隔制御、および打ち切り時間を指定したジョブネットを実行するプロセスの起動に失敗したため、これらの機能は使用できません。

- (S) この機能について縮退して処理を続行します。
- (O) この機能を使用したい場合は、次の点を確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。  
使用しない場合は、このメッセージを無視して運用を続行してください。
- 「process name= プロセス名」で、表示されたプロセス名と同名の実行ファイルが存在するか
  - JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか
  - メモリーが不足していないか  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント（リリースノート、Readme.txt、またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

### KAVT0526-E

The JP1/Base definition could not be read. (保守情報)  
JP1/Base の定義読み込みに失敗しました（保守情報）

共通定義情報の読み込みに失敗しました。

- (S) イベント・アクション制御エージェントを終了します。
- (O) jbsgetcnf コマンドで、エラーとなった論理ホストの共通定義情報が取得できるか確認してください。取得できない場合は、JP1/Base を再インストールしてください。取得できた場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。

### KAVT0530-E

The end request for the pipe could not be written. (process type=プロセス種別 保守情報) (process name=プロセス名, 保守情報)  
終了要求のパイプの書き込みに失敗しました（プロセス種別=プロセス種別 保守情報）（process name=プロセス名, 保守情報）

イベント・アクション制御エージェント内で使用するパイプファイルの書き込みに失敗しました。

- (S) 「プロセス種別」で示すプロセスの機能が使用できない状態で処理を続行します。
- プロセス種別
- 0: JP1 イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、Windows イベントログ監視ジョブ
  - 1: ファイル監視ジョブ
  - 2: メッセージキュー受信監視ジョブ
  - 3: メール受信監視ジョブ
  - 4: 実行間隔制御ジョブ
  - 5: MSMQ 受信監視ジョブ
- (O) 「プロセス種別」で示すプロセスがシステムに残るおそれがあります。  
UNIX の場合は、ps コマンドによってプロセスがシステムに残っていないか確認してください。プロセスが残っているときは、kill コマンドによってプロセスを終了してください。  
Windows の場合は、システムを再起動してください。  
次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。
- システムリソースが不足していないか。
  - JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - JP1/AJS2 がインストールされたときに作成されたディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT0539-E

The auxiliary file could not be read. (auxiliary file = 補助ファイル名) (保守情報)  
補助ファイルへの書き込み失敗しました（補助ファイル=補助ファイル名）（保守情報）

イベント・アクション制御エージェント内で使用する監視プロセス通信の情報ファイルへの書き込みが失敗しました。

- (S) ジョブの状態を異常終了にして、処理を続行します。
- (O) 次のことを確認したあと、再度、操作を行ってください。
- システムリソースが不足していないか。
  - JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。

ザー権限, または Administrators 権限を持っているか。

- JP1/AJS2 がインストールされたときに作成されたディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT0541-E

The pipe could not be written to. (process type=プロセス種別, 保守情報)

パイプの書き込みに失敗しました (プロセス種別=プロセス種別, 保守情報)

イベント・アクション制御エージェント内で使用するパイプファイルの書き込みに失敗しました。

(S)

「プロセス種別」で示すプロセスの機能が使用できない状態で処理を続行します。

プロセス種別

- 0: JP1 イベント受信監視ジョブ, ログファイル監視ジョブ, Windows イベントログ監視ジョブ
- 1: ファイル監視ジョブ
- 2: メッセージキュー受信監視ジョブ
- 3: メール受信監視ジョブ
- 4: 実行間隔制御ジョブ
- 5: MSMQ 受信監視ジョブ

(O)

次のことを確認したあと, 再度, 操作を行ってください。

- システムリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが, スーパーユーザー権限, または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストールされたときに作成されたディレクトリを誤って削除していないか。

なお, 保守情報に表示された code が -1 の場合, エージェントのプロセスが終了しています。エージェントの JP1/AJS2 を再起動してください。

#### KAVT0542-E

The auxiliary file name could not be acquired. (保守情報)  
補助ファイル名の取得に失敗しました (保守情報)

イベント・アクション制御エージェント内で使用する監視プロセス通信用の情報ファイル名の取得に失敗しました。

(S)

ジョブの状態を異常終了にして, 処理を続行します。

(O)

次のことを確認したあと, 再度, 操作を行ってください。

- システムリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが, スーパーユーザー権限, または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストールされたときに作成された

ディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT0544-E

The auxiliary file could not be read. (auxiliary file=補助ファイル名) (保守情報)

補助ファイルの読み込みに失敗しました (補助ファイル=補助ファイル名) (保守情報)

イベント・アクション制御エージェント内で使用する監視プロセス通信用の情報ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

ジョブの状態を異常終了にして, 処理を続行します。

(O)

次のことを確認したあと, 再度, 操作を行ってください。

- システムリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが, スーパーユーザー権限, または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストールされたときに作成されたディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT0559-E

The socket sending failed. (Manager=送信先マネージャー名) (保守情報)

ソケットの送信に失敗しました (Manager=送信先マネージャー名) (保守情報)

マネージャーへのソケット送信に失敗しました。

(S)

起動条件付きジョブネット, またはイベントジョブの状態を変更しないまま, 処理を続行, または処理を終了します。

(O)

マネージャーの動作に負荷が掛かっている, またはネットワーク障害が発生しているような場合, このメッセージが出力されます。マネージャーホスト, および JP1/AJS2 が起動しているか確認し, 状態が変更されない起動条件付きジョブネット, またはイベントジョブを確認し, ジョブ状態変更によって状態を変更してください。

#### KAVT0562-I

The agent process of the event action function will now start.

イベントアクション機能エージェントプロセスを開始します

イベント・アクション制御エージェントを起動します。

(S)

イベント・アクション制御エージェントを起動します。

**KAVT0563-I**

The agent process of the event action function will now end.

イベントアクション機能エージェントプロセスを終了します

イベント・アクション制御エージェントを終了します。

(S)

イベント・アクション制御エージェントを終了します。

**KAVT0566-E**

The size of the working path exceeds the limit.

作業用パスの長さが制限値を超えています

次のどれかのパス名が 228 バイトを超えています。修正後に JP1/AJS2 サービスを停止し、再起動してください。

- JP1/AJS2 のインストールディレクトリ名
- EVAction.conf ( イベント・アクション定義ファイル ) の定義キー ( [JP1AOMAGENT] ) の  
WaitInfFileOutDir
- [ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ イベント起動 ] タブの待機情報出力ディレクトリ名 ( エージェントプロセスの設定 ) ( Windows の場合 )

(S)

処理を終了します。

(O)

次のパス名の長さを 228 バイト以内に變更してください。

- JP1/AJS2 のインストールディレクトリ名
- EVAction.conf ( イベント・アクション定義ファイル ) の定義キー ( [JP1AOMAGENT] ) の  
WaitInfFileOutDir
- [ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ イベント起動 ] タブの待機情報出力ディレクトリ名 ( エージェントプロセスの設定 ) ( Windows の場合 )

**KAVT0567-E**

The requested event icon is unusable. (event type = イベント種別) (host=マネージャーホスト名, 保守情報)  
要求されたイベントアイコンは使用できません (イベント種別=イベント種別) (host=マネージャーホスト名, 保守情報)

要求されたイベントジョブは使用できません。または支援されていないコードがマネージャーから要求されました。

(S)

「イベント種別」で示すイベントジョブの機能が使用できない状態で処理を続行します。

イベント種別

JP1/AJS2\_EVACT\_MAIL\_WATCH : メール受信監視ジョブ

JP1/AJS2\_EVACT\_MQ\_WATCH : メッセージ

キュー受信監視ジョブ

JP1/AJS2\_EVACT\_MSMQ\_WATCH : MSMQ 受信監視ジョブ

(O)

要求したイベントジョブの機能が、エージェントの構成定義情報 ( 環境設定 ) で使用できる設定になっているか確認してください。

- メール受信監視ジョブについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 連携ガイド 2. メールシステムとの連携」を参照してください。
- メッセージキュー受信監視ジョブ、および MSMQ 受信監視ジョブについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 連携ガイド 3. メッセージキューシステムとの連携 ( パージョン 7 互換機能 )」を参照してください。

**KAVT0570-E**

The handle from the process monitor could not be acquired. (保守情報) Stopping via the JPI/AJS2 service is not possible.

プロセスモニターからのハンドル取得 ( 保守情報 ) に失敗しました。JP1/AJS2 サービスによる停止は行えません

JP1/AJS2 のプロセス管理との通信に失敗しました。

(S)

処理を続行しますが、jajs\_spmd\_stop コマンド、または JP1/AJS2 サービスからの停止は受け付けません。

(O)

イベント・アクション制御エージェントを終了する場合は、UNIX の場合は、kill コマンドによって jpoagent プロセスを終了してください。Windows の場合は、システムを再起動してください。JP1/AJS2 のプロセス管理が正しく動作していないおそれがあります。JP1/AJS2 を再インストールしたあと、起動してください。

**KAVT0572-E**

A report to the process monitor failed. (保守情報)  
プロセスモニターへの通知 ( 保守情報 ) に失敗しました

JP1/AJS2 のプロセス管理との通信に失敗しました。

(S)

処理を続行しますが、jajs\_spmd\_stop コマンド、または JP1/AJS2 サービスからの停止は受け付けません。

(O)

イベント・アクション制御エージェントを終了する場合は、UNIX の場合は、kill コマンドによって jpoagent プロセスを終了してください。Windows の場合は、システムを再起動してください。JP1/AJS2 のプロセス管理が正しく動作していないお

それがあります。JP1/AJS2 を再インストールしたあと、起動してください。

### KAVT0582-W

Unreported information exceeded the warning value.  
Check whether the manager (マネージャー名) is running.  
未通知情報が警告値を超えました。マネージャー (マネージャー名) が動作しているか確認してください

マネージャーに通知できない未通知情報の保持数が警告値を超えました。

(S)

処理を続行します。

(O)

このメッセージは未処理のイベント数が一定値を超えたことに対する警告メッセージです。マネージャーが起動されているかどうかを確認してください。そのあと、次のことを確認してください。

- ・マネージャーが起動していない場合  
マネージャーを起動してエージェントからの通知を受け取るようにしてください。
- ・マネージャーが起動している場合  
次のことを確認してください。
  - ・イベントジョブが正常終了しているか。または起動条件付きジョブネットが起動されているか。  
特に問題なく処理が進んでいるようであれば、該当するメッセージは無視して運用を続けてください。
  - ・起動条件で監視しているイベントが大量に発生していないか。  
該当するエージェントが実行ホストとなっているイベントジョブや起動条件付きジョブネットの定義を見直してください。一度に大量のイベントが発生するような定義になっている場合、イベントの発生量を抑えるように運用を見直してください。
  - ・マネージャーとエージェント間で通信できているか。  
次に説明する補足事項を参照して、マネージャーとエージェント間で通信できているかを確認してください。

#### 補足事項

- ・マネージャーホスト上で、エージェントホスト名 (エージェントホスト上で `hostname` コマンドで求まる名前) の名前解決ができるか。名前解決できない場合は、マネージャーホストの `hosts` ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの `jp1hosts` ファイルなどを設定してエージェントホスト名の名前解決ができるようにしてください。
- ・エージェントホスト上で、マネージャーホスト名 (マネージャーホスト上で `hostname` コマンドで求まる名前) の名前解決ができるか。名前解決できない場合は、エージェントホ

ストの `hosts` ファイル、DNS の設定、エージェントホストの `jp1hosts` ファイルなどを設定してマネージャーホスト名の名前解決ができるようにしてください。

- ・マネージャーホスト上でエージェントホスト名を名前解決して求めた IP アドレスが、エージェントホストの実際の IP アドレスと一致しているか。  
IP アドレスが一致しない場合は、マネージャーホストの `hosts` ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの `jp1hosts` ファイルなどを設定し、名前解決で正しいアドレスが求まるようにしてください。
- ・エージェントホスト上でマネージャーホスト名を名前解決して求めた IP アドレスが、マネージャーホストの実際の IP アドレスと一致しているか。  
IP アドレスが一致しない場合は、エージェントホストの `hosts` ファイル、DNS の設定、エージェントホストの `jp1hosts` ファイルなどを設定し、名前解決で正しいアドレスが求まるようにしてください。
- ・ネットワーク環境に問題がないか。  
`ping` コマンドなどで、マネージャーホストからエージェントホストに対して TCP/IP 通信が可能であるか確認し、問題があれば解消してください。また、エージェントホストでも同様に確認し、問題があれば解消してください。

### KAVT0588-E

The specified working path does not exist.

指定された作業用パスは存在しません

次のどれかのパスがありません。修正後に JP1/AJS2 サービスを停止し、再起動してください。

- ・JP1/AJS2 のインストールディレクトリ名
- ・EVAAction.conf (イベント・アクション定義ファイル) の定義キー ( [JP1AOMAGENT] ) の  
WaitInfFileOutDir
- ・[ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ イベント起動 ] タブの待機情報出力ディレクトリ名 ( エージェントプロセスの設定 ) ( Windows の場合 )

(S)

処理を終了します。

(O)

次のパス名を指定し直してください。

- ・JP1/AJS2 のインストールディレクトリ名
- ・EVAAction.conf (イベント・アクション定義ファイル) の定義キー ( [JP1AOMAGENT] ) の  
WaitInfFileOutDir
- ・[ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ イベント起動 ] タブの待機情報出力ディレクトリ名 ( エージェントプロセスの設定 ) ( Windows の場合 )

**KAVT0590-W**

During end processing, an event request (イベント要求種別) from the manager (マネージャー名) cannot be accepted.

終了処理中の為、マネージャー（マネージャー名）からのイベント要求（イベント要求種別）は受け付けません

エージェントは終了処理中のため、マネージャーからの新規イベント要求を受け付けません。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
JP1/AJS2 を再起動したあと、jpoagtjobshow コマンドでイベントジョブが監視されていることを確認し、運用を続けてください。

**KAVT0593-W**

The MS message queue monitoring function is unusable. (保守情報, process name=プロセス名, 保守情報)

MSメッセージキュー監視機能は使用できません（保守情報, process name=プロセス名, 保守情報）

MSMQ 監視が使用できません。

- (S)  
これらの機能について縮退して処理を続行します。
- (O)  
原因となったメッセージを確認したあと、対処方法に従って対処してください。

**KAVT0600-E**

Failed in creation of status file. (保守情報)

エージェントのステータスファイルの作成に失敗しました（保守情報）

イベント・アクション制御エージェント内で使用する、エージェントの状態を管理する作業ファイルの作成に失敗しました。

- (S)  
イベント・アクション制御エージェントを終了します。
- (O)  
次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。
- ・システムリソースが不足していないか。
  - ・JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - ・JP1/AJS2 がインストールされたときに作成されたディレクトリを誤って削除していないか。

**KAVT0603-W**

Elapsed time since restart-time is used for time-out due to temporary interruption of monitoring.

監視が一時中断された為、打ち切り時間は再開始時間からの経過となります

エージェントホスト再起動などの理由によって監視が一時中断されたため、打ち切り時間は再監視が開始した時間からの経過となります。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
再開始時間を確認し運用を続行してください。

**KAVT0606-W**

Sending to the manager failed so the event job status will be re-reported.

(Manager=マネージャー名) (保守情報)

マネージャーへの送信に失敗したので、イベントジョブの状態は再送信されます

(Manager=マネージャー名) (保守情報)

エージェントからマネージャーへ、イベントジョブの状態を通知しようとしたが、一時的な通信障害で「Manager=マネージャー名」で示すマネージャーとの通信に失敗しました。

- (S)  
一定時間（10 秒）後に再度、通信を行います。
- (O)  
マネージャーの動作に負荷が掛かっているような場合、このメッセージが出力されます。通信に失敗したデータは、一定時間後に自動でマネージャーへ再送するため、無視をして運用を続行してください。ただし、メッセージが頻繁に出力される場合は、マネージャーホスト、および JP1/AJS2 が起動しているか確認してください。

**KAVT0607-W**

The socket could not be opened so the event job status will be re-reported.

(Manager=マネージャー名) (保守情報)

マネージャーとのソケットのオープンに失敗したので、イベントジョブの状態は再送信されます（Manager=マネージャー名）（保守情報）

エージェントからマネージャーへ、イベントジョブの状態を通知しようとしたが、一時的な通信障害で「Manager=マネージャー名」で示すマネージャーとの通信に失敗しました。

- (S)  
一定時間（10 秒）後に再度、通信を行います。
- (O)  
エージェントがマネージャーの名前解決ができない場合などに、このメッセージが出力されます。通信エ

ラーになったデータは、一定時間後に自動でマネージャーへ再送するため、無視して運用を続行してください。ただし、このメッセージが頻繁に出力される場合は、次のことを確認してください。

- ネットワークに障害が発生していないか。
- マネージャーホストが停止していないか。
- マネージャーホスト名の解決ができていないか。解決できていない場合は、環境変数 `JP1_HOSTNAME`、`hosts` ファイル、または DNS サーバなどの設定を確認してください。

#### KAVT0608-W

The socket accept failed. (保守情報)

ソケットのデータ受信に失敗しました (保守情報)

ソケットのデータ受信に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

ジョブがキューイングのままになったり、イベントが成立しているのにジョブの状態が実行中のままになったりするおそれがあります。ジョブの実行状態を確認してください。

#### KAVT0609-W

The socket receiving failed. (IP Address=IPアドレス host=ホスト名)

ソケットのデータ受信中に接続が切れました (IP Address=IPアドレス host=ホスト名)

ソケットのデータ受信中に接続が切れました。

(S)

処理を続行します。

(O)

ジョブがキューイングのままになったり、イベントが成立しているのにジョブの状態が実行中のままになったりするおそれがあります。メッセージ中に示すホストのジョブの実行状態を確認してください。

#### KAVT0610-W

The socket receive error occurred. (IP Address=IPアドレス host=ホスト名) (保守情報)

ソケットのデータ受信中にエラーが発生しました (IP Address=IPアドレス host=ホスト名) (保守情報)

ソケットのデータ受信中にエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

ジョブがキューイングのままになったり、イベントが成立しているのにジョブの状態が実行中のままになったりするおそれがあります。メッセージ中に示すホストのジョブの実行状態を確認してください。

#### KAVT0611-W

The socket close error occurred. (IP Address=IPアドレス host=ホスト名) (保守情報)

ソケットのデータ受信終了処理中にエラーが発生しました (IP Address=IPアドレス host=ホスト名) (保守情報)

ソケットのデータ受信終了処理中にエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

ジョブがキューイングのままになったり、イベントが成立しているのにジョブの状態が実行中のままになったりするおそれがあります。メッセージ中に示すホストのジョブの実行状態を確認してください。

#### KAVT0612-W

Sending to the manager confirm failed so the event job status will be re-reported.

(Manager=マネージャー名) (保守情報)

ソケットのデータ到達確認に失敗したので、イベントジョブの状態は再送信されます

(Manager=マネージャー名) (保守情報)

エージェントからマネージャーへイベントジョブの状態を通知しましたが、一時的な通信障害で「Manager= マネージャー名」で示すマネージャーからのデータ到達確認に失敗しました。

(S)

一定時間 (10 秒) 後に再度、通信を行います。

(O)

マネージャーとエージェント間の通信状態が不安定な場合に、このメッセージが出力されることがあります。通信に失敗したデータは、一定時間後に自動でマネージャーへ再送されるため、このメッセージは無視して運用を続行してください。

なお、このメッセージが頻繁に出力される場合は、次の点を確認してください。

- ネットワーク障害が発生していないか
- マネージャーホストの JP1/AJS2 が起動しているか
- マネージャーに負荷が掛かっていないか

#### KAVT0613-W

Sending to the manager confirm failed so the event job status will be re-reported.

(Manager=マネージャー名) (保守情報)

ソケットのデータ到達確認がタイムオーバーしたので、イベントジョブの状態は再送信されます

(Manager=マネージャー名) (保守情報)

エージェントからマネージャーへイベントジョブの状態を通知しましたが、一時的な通信障害で「Manager= マネージャー名」で示すマネージャーからのデータ到達確認に失敗しました。



(S)

一定時間 ( 10 秒 ) 後に再度、通信を行います。

(O)

マネージャーとエージェント間の通信状態が不安定な場合に、このメッセージが出力されることがあります。通信に失敗したデータは、一定時間後に自動でマネージャーへ再送されるため、このメッセージは無視して運用を続行してください。

なお、このメッセージが頻繁に出力される場合は、次の点を確認してください。

- ネットワーク障害が発生していないか
- マネージャーホストの JP1/AJS2 が起動しているか
- マネージャーに負荷が掛かっていないか

### KAVT0615-W

Unreported information resend max over. Unreported information will be abandoned. (Manager=マネージャー名)

エージェントの未通知再送が上限回数を超えました。未通知情報は破棄されます ( Manager=マネージャー名 )

エージェントからマネージャーへの通信を一定時間 ( 86,400 秒 ) リトライしましたが、イベントジョブの状態を送信できませんでした。

(S)

イベントジョブの状態を通知しないまま、処理を続行します。

(O)

マネージャーホストが起動していない場合や通信障害が発生している場合に、このメッセージが出力されます。マネージャーホスト、および JP1/AJS2 が起動しているか確認してください。

### KAVT0616-E

A subagent-message-reception pipe could not be opened. (code=保守コード)

サブエージェント受信パイプのオープンに失敗しました ( code=保守コード )

イベント・アクション制御サブエージェント内で使用するパイプファイルの作成に失敗しました。

(S)

イベント・アクション制御サブエージェントを終了します。

(O)

次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT0618-E

The end request for the subagent pipe could not be written. (code=保守コード)

サブエージェントへの終了要求のパイプ書き込みに失敗しました ( code=保守コード )

イベント・アクション制御サブエージェント内で使用するパイプファイルの書き込みに失敗しました。

(S)

イベント・アクション制御サブエージェントを終了します。

(O)

jpoagtsub プロセスがシステムに残るおそれがあります。

UNIX の場合は、ps コマンドによってプロセスがシステムに残っていないか確認してください。プロセスが残っている場合は、kill コマンドによってプロセスを終了してください。

Windows の場合は、システムを再起動してください。次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

- システムリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストールされたときに作成されたディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT0620-E

The subagent pipe could not be written to. (code=保守コード)

サブエージェントパイプへの書き込みに失敗しました ( code=保守コード )

イベント・アクション制御サブエージェント内で使用するパイプファイルの書き込みに失敗しました。

(S)

該当する起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。jpoagtsub プロセスが動作していない場合は、イベント・アクション制御サブエージェントを終了します。

(O)

次のことを確認したあと、起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、再度、操作を行ってください。

- システムのリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- ps コマンドなどで jpoagtsub プロセスが動作しているか確認してください。動作していない場合は

## KAVT0621-E ~ KAVT0632-E

JP1/AJS2 を再起動してください。

### KAVT0621-E

Waiting for a subagent pipe connection from the monitoring process failed. (code=保守コード)  
サブエージェントからのパイプ接続待ちに失敗しました (code=保守コード)

イベント・アクション制御サブエージェントからの情報取得に失敗しました。

(S)  
イベント・アクション制御エージェントを終了します。

(O)  
次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- 他のプログラムが不当に jpoagtsub プロセスを強制終了していないか。

### KAVT0625-E

A subagent-message-reception pipe could not be read. (code=保守コード)  
サブエージェント受信パイプの読み込みに失敗しました (code=保守コード)

イベント・アクション制御サブエージェントからの情報取得に失敗しました。

(S)  
イベント・アクション制御エージェントを終了します。

(O)  
次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- 他のプログラムが不当に jpoagtsub プロセスを強制終了していないか。

### KAVT0628-E

The subagent function is unusable. (保守情報)  
サブエージェントの起動に失敗しました (保守情報)

イベント・アクション制御サブエージェントの起動に失敗しました。

(S)  
イベント・アクション制御エージェントを終了します。

(O)  
次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT0629-E

An agent-message-reception pipe could not be opened. (code=保守コード)  
エージェント受信パイプのオープンに失敗しました (code=保守コード)

イベント・アクション制御エージェント内で使用するパイプファイルの作成に失敗しました。

(S)  
イベント・アクション制御エージェントを終了します。

(O)  
次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT0632-E

The agent pipe could not be written to. (code=保守コード)  
(host=マネージャーホスト名, AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)  
エージェントパイプへの書き込みに失敗しました (code=保守コード)  
(host=マネージャーホスト名, AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

イベント・アクション制御エージェント内で使用するパイプファイルの書き込みに失敗しました。

(S)  
該当する起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。

(O)  
次のことを確認したあと、ajsname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からユニット名を特定してください。特定した起動条件付きジョブ

ネット、またはイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、再度、操作を行ってください。

- ・ システムのリソースが不足していないか。
- ・ JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- ・ JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT0633-E

Waiting for an agent pipe connection from the monitoring process failed. (code=保守コード)

エージェントからのパイプ接続待ちに失敗しました (code=保守コード)

イベント・アクション制御エージェントからの情報取得に失敗しました。

- (S)
- イベント・アクション制御サブエージェントを終了します。
- (O)
- 次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。
- ・ システムのリソースが不足していないか。
  - ・ JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - ・ JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
  - ・ 他のプログラムが不当に jpoagent プロセスを強制終了していないか。

#### KAVT0635-E

The agent-message-sending pipe could not be connected. (code=保守コード)

エージェント送信パイプの接続に失敗しました (code=保守コード)

イベント・アクション制御エージェントへの通知に失敗しました。

- (S)
- イベント・アクション制御サブエージェントを終了します。
- (O)
- 次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。
- ・ システムのリソースが不足していないか。
  - ・ JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - ・ JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT0637-E

An agent-message-reception pipe could not be read.

(code=保守コード) (host=マネージャーホスト名, AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

エージェント受信パイプの読み込みに失敗しました (code=保守コード) (host=マネージャーホスト名, AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

イベント・アクション制御エージェントからの情報取得に失敗しました。

- (S)
- 該当する起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。
- (O)
- 次のことを確認したあと、ajsname コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からユニット名を特定してください。特定した起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、再度、操作を行ってください。
- ・ システムのリソースが不足していないか。
  - ・ JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
  - ・ JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT0641-W

An attempt to wait for connection from a host (IPアドレス) failed. (保守情報)

ホスト (IPアドレス) からの接続待機に失敗しました (保守情報)

ホストからの接続の待機に失敗しました。

- (S)
- 処理を続行します。
- (O)
- 「IP アドレス」で示すホストの定義が正しいか、jplhosts などを確認してください。また、jpmgrsub プロセス、および jpoagent プロセスがシステムに残るおそれがあります。UNIX の場合は、ps コマンドによってプロセスがシステムに残っていないか確認してください。プロセスが残っている場合は、kill コマンドによってプロセスを終了してください。Windows の場合は、システムを再起動してください。

#### KAVT0642-E

The process will now stop because Event Action Agent finished.

イベントアクション機能サブエージェントが終了しているため、プロセスを停止します

## KAVT0643-E ~ KAVT0651-E

イベント・アクション制御サブエージェントが終了しているため、イベント・アクション制御エージェントを停止します。

- (S)
- イベント・アクション制御エージェントを終了します。
- (O)
- イベント・アクション制御サブエージェントが終了した原因を統合トレースログで特定し、対処してください。そのあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

### KAVT0643-E

The process will now stop because Event Action Subagent finished.

イベントアクション機能エージェントが終了しているため、プロセスを停止します

イベント・アクション制御エージェントが終了しているため、イベント・アクション制御サブエージェントを停止します。

- (S)
- イベント・アクション制御サブエージェントを終了します。
- (O)
- イベント・アクション制御エージェントが終了した原因を統合トレースログで特定し、対処してください。そのあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

### KAVT0646-E

The agent pipe over retry count (code=保守情報) (host=マネージャーホスト名, AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

エージェントパイプ書き込みのリトライ数を超過しました (code=保守情報) (host=マネージャーホスト名, AjsServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID, 保守情報)

イベント・アクション制御エージェントのパイプファイルの書き込みに失敗しました。

- (S)
- 該当する起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を変更しないまま、処理を続行します。
- (O)
- 次のことを確認したあと、ajsgame コマンドの -I オプションを使用して、ユニット ID からユニット名を特定してください。特定した起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態が変更されないことを確認し、再度、操作を行ってください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。

- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT0649-E

An attempt to get a host name in FQDN format failed. Processing will now stop. (code=保守コード) (host=ホスト名, 保守情報)

FQDN形式のホスト名の取得に失敗しました。処理を中断します (code=保守コード) (host=ホスト名, 保守情報)

FQDN 形式のホスト名の取得に失敗しました。

- (S)
- 処理を終了します。
- (O)
- DNS が正しく設定されているか確認してください。

### KAVT0650-W

The default port number will be used because the port information of the event action function cannot be read. (port number=デフォルトポート番号, code=保守コード)

イベントアクション機能のポート情報が読み込みのためデフォルトのポート番号を使用します (port number=デフォルトポート番号 code=保守コード)

イベント・アクション制御のポート番号の情報が読み込みできないため、処理を終了します。

- (S)
- 処理を終了します。
- (O)
- イベント・アクション制御のポート番号が、services ファイルに設定されているか確認し、JP1/AJS2 を再起動してください。
- ポート番号については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 C.1 ポート番号一覧」を参照してください。

### KAVT0651-E

The port information of the event action function cannot be read. (port=サービス名, code=保守コード)

イベントアクション機能のポート情報が読み込みません (port=サービス名 code=保守コード)

イベント・アクション制御のポート番号の情報が読み込みできないため、処理を終了します。

- (S)
- 処理を終了します。
- (O)
- イベント・アクション制御のポート番号が、services ファイルに設定されているか確認し、JP1/AJS2 を再起動してください。
- ポート番号については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録

C.1 ポート番号一覧」を参照してください。

### KAVT0654-E

The files will be deleted, because the internal files of event action control have been destroyed. (保守情報)  
イベント・アクション制御の内部ファイルが破壊されているため、ファイルを削除します (保守情報)

イベント・アクション制御の内部ファイルが破壊されているため、ファイルを削除します。

このメッセージが出力された場合、次の現象が発生しているおそれがあります。

- JP1/AJS2 を停止する前に発生していたイベント情報をロストする。
- JP1/AJS2 を停止する前に実行していた起動条件付きジョブネット、およびイベントジョブの監視を再開しない。

(S)  
処理を続行します。

(O)  
エージェントでの監視を再開するために、マネージャホストの JP1/AJS2 を再起動してください。  
そのあと、起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブの状態を確認し、再度ジョブを実行登録してください。

### KAVT0900-I

JP1/AJS2 event action agent will now start.  
JP1/AJS2 イベントアクションエージェントを開始します

イベント・アクション制御エージェントを起動します。

(S)  
処理を続行します。

### KAVT0901-I

JP1/AJS2 event action agent will now end.  
JP1/AJS2 イベントアクションエージェントを終了します

イベント・アクション制御エージェントを終了します。

(S)  
処理を続行します。

### KAVT0910-E

Invalid specification in configuration definition. (項目名: 保守情報)  
構成定義に誤った指定があります (項目名: 保守情報)

構成定義に誤った指定があります。

(S)  
デフォルト値を仮定して、処理を続行します。

(O)  
「項目名」に出力された値を正しく設定してください。  
出力された項目名については、マニュアル「JP1/

Automatic Job Management System 2 セットアップ  
ガイド 4. 環境設定」, またはマニュアル「JP1/  
Automatic Job Management System 2 セットアップ  
ガイド 14. 環境設定」に記載されています。

### KAVT0911-E

An attempt to read the configuration definition failed. (項目名: 保守情報)  
構成定義の読み込みに失敗しました (項目名: 保守情報)

構成定義の読み込みに失敗しました。

(S)  
デフォルト値を仮定して、処理を続行します。

(O)  
仮定された値が意図しない値の場合は、エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。エラー要因としてはメモリー不足が発生しているおそれがあります。統合トレースログで同時刻にメモリー不足のログが出力されているか確認してください。メモリー不足のログが出力されている場合は、メモリー見込み量を見直してください。ほかの不要なアプリケーションが起動されている場合はアプリケーションを停止してください。エラー要因がメモリー不足でない場合は内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVT0912-E

Event Action process ended abnormally. (name: プロセス名, code: 終了コード, pid: プロセスID, sig: シグナル番号)  
イベント・アクション機能のプロセスが異常終了しました (name: プロセス名, code: 終了コード, pid: プロセスID, sig: シグナル番号)

プロセス名に示されているプロセスが終了コードに示されている終了コードで異常終了しました。

Windows の場合  
シグナル番号は 0 となります。

UNIX の場合  
シグナル番号が 0 以外の場合は、シグナル番号に該当するシグナルを受けて異常終了しました。

次の原因が考えられます

- シグナルなどにより JP1/AJS2 の常駐プロセスが異常終了する。
- `jajs_killall.cluster` などにより JP1/AJS2 の常駐プロセスを強制終了する。

(S)  
「プロセス名」に示されているプロセスが次の場合、イベント・アクション制御を終了します。

- `jpomgrsub`
- `jpoagtsub`

「プロセス名」に示されているプロセスが次の場合、プロセスに該当する機能が使用できない状態で縮退運転を行います。

- jpoeventwatch : JP1 イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、Windows イベントログ監視ジョブ
- jpocwtfMain : ファイル監視ジョブ
- jpocwtmMain : メール受信監視ジョブ
- jpocwtmqMain : メッセージキュー受信監視ジョブ
- jpocwtmMain : 実行間隔制御ジョブ、打ち切り時間を指定したイベントジョブ
- jpocwtmsMain : MSMQ 受信監視ジョブ

詳細プロセス終了時オプション指定値よっての動作

- 詳細プロセス終了時オプションを「無効」(環境設定パラメーター EVProcessHA に「N」を指定)で運用している場合、異常終了している詳細プロセスに該当するジョブを実行登録すると、そのジョブは異常終了します。  
例えば、jpocwtfMain プロセスが異常終了している状態でファイル監視ジョブを実行すると、そのジョブは異常終了します。
- クラスシステム、または詳細プロセス終了時オプションを「有効」(環境設定パラメーター EVProcessHA に「Y」を指定、またはデフォルト)で運用している場合は、「プロセス名」で示されるプロセスに関係なく、異常が発生しても縮退運転をしないでイベント・アクション制御を終了します。

詳細プロセス終了時オプションについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.3.2 マネージャ環境 (JP1/AJS2 - Manager) で設定する内容」、またはマニュアル「14.3.3 エージェント環境 (JP1/AJS2 - Agent) で設定する内容」を参照してください。

(O)

このエラーメッセージの前後に表示されたシステムのエラーメッセージから原因を調べ対処してください。前後のエラーメッセージから原因を特定できない場合は、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

運用を続ける場合、資料採取したあとに JP1/AJS2 を再起動してください。

なお、jajs\_killall.cluster を実行した場合は問題ありません。

## KAVT0950-I

The JP1/AJS2 monitor resource went online.  
JP1/AJS2監視リソースがオンラインになりました

監視しているリソースがオンラインになりました。

(S)

処理を続行します。

## KAVT0951-I

The JP1/AJS2 monitor resource went offline.  
JP1/AJS2監視リソースがオフラインになりました

監視しているリソースがオフラインになりました。

(S)

処理を続行します。

## KAVT0952-I

OpenView Environment (保守情報) Setup skipped.

hp OpenView 連携のセットアップをスキップします。

(S)

処理を続行します。

## KAVT0953-I

OpenView Environment of JP1/AJS2 was installed normally.

hp OpenView 連携のインストールが正常に終了しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVT0954-I

OpenView Environment of JP1/AJS2 was uninstalled normally.

hp OpenView 連携のアンインストールが正常に終了しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVT0955-I

Symbol of JP1/AJS2 was deleted normally.

シンボルの削除が正常に終了しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVT0958-I

Resource monitoring will now start.  
リソースの監視を開始します

リソースの監視を開始します。

(S)

処理を続行します。

## KAVT0959-I

Resource not found.  
リソースが見つかりません

リソースが見つかりません。

(S)

処理を続行します。

**KAVT0960-I**

Resource status to be offline.

リソースがオフラインになりました

リソースがオフラインになりました。

(S)

処理を続行します。

**KAVT0961-I**

Resource status to be online.

リソースがオンラインになりました

リソースがオンラインになりました。

(S)

処理を続行します。

**KAVT0962-I**

Resource monitoring bring to a termination.

リソースの監視を終了させました

リソースの監視を終了させました。

(S)

処理を終了します。

**KAVT0963-I**

Resource monitoring will now end.

リソースの監視を終了します

リソースの監視を終了します。

(S)

処理を終了します。

**KAVT0980-W**

Unreported information will now be deleted, because the amount of unreported information for マネージャーホスト名 has exceeded しきい値.(host=エージェントホスト名, AJSServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID 保守情報)  
 マネージャーホスト名に対する未通知情報数がしきい値(しきい値)を超えているため、未通知情報を削除します  
 (host=エージェントホスト名, AJSServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID 保守情報)

マネージャーホスト名に対する未通知情報数がしきい値を超えているため、未通知情報を削除します。

(S)

処理を続行します。

(O)

このメッセージは、マネージャーに通知できないで滞

留している未処理のデータ数がしきい値を超えた場合に、メモリ不足やディスク容量不足などのリソース不足が生じないように滞留している未処理のデータを削除する際に出力されます。

このメッセージで示されるマネージャーホスト・エージェントホストについて、マネージャーホストの JP1/AJS2 が起動しているかどうかを確認し、起動していない場合は起動してください。また、起動している場合は次のことを確認してください。

- ・起動条件付きジョブネットで監視しているイベントが大量に発生していないか

エージェントホストが実行ホストとなっているイベントジョブや起動条件付きジョブネットの定義を見直してください。一度に大量のイベントが発生するような定義になっている場合、イベントの発生量を抑えるように運用を見直してください。なお、起動条件付きジョブネット名は、次の手順で求めることができます。

1. このメッセージ内の「AJSServiceName= スケジューラーサービス名, UnitID= ユニットID」部分に出力されているスケジューラーサービス名およびユニットIDを確認する。
2. マネージャーホスト上で、手順1のスケジューラーサービス名およびユニットIDを指定し、ajssname コマンドを実行する。

(例)

```
ajssname -F スケジューラーサービス名 -I
ユニットID
/ 起動条件付きジョブネット名 /
.CONDITION/JP1 イベント受信監視
```

- ・マネージャーホストとエージェントホスト間で通信できているか

次のことを確認してください。

- ・マネージャーホスト上で、エージェントホスト名 の名前解決ができるか。  
名前解決できない場合は、マネージャーホストの hosts ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの jp1hosts ファイルなどの設定を見直し、エージェントホスト名の名前解決ができるようにしてください。
- ・エージェントホスト上で、マネージャーホスト名 の名前解決ができるか。  
名前解決できない場合は、エージェントホストの hosts ファイル、DNS の設定、エージェントホストの jp1hosts ファイルなどの設定を見直し、マネージャーホスト名の名前解決ができるようにしてください。
- ・マネージャーホスト上で名前解決をして求めたエージェントホストの IP アドレスが、実際のエージェントホストの IP アドレスと一致しているか。  
IP アドレスが一致しない場合は、マネージャーホストの hosts ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの jp1hosts ファイルなどの設定を見直し、名前解決で正しい IP

アドレスが求まるようにしてください。

- エージェントホスト上で名前解決をして求めたマネージャーホストの IP アドレスが、実際のマネージャーホストの IP アドレスと一致しているか。  
IP アドレスが一致しない場合は、エージェントホストの `hosts` ファイル、DNS の設定、エージェントホストの `jp1hosts` ファイルなどの設定を見直し、名前解決で正しい IP アドレスが求まるようにしてください。
- ネットワーク環境に問題がないか。  
`ping` コマンドなどで、マネージャーホストからエージェントホストに対して TCP/IP 通信ができるか確認し、問題があれば解消してください。また、エージェントホストでも同様に確認し、問題があれば解消してください。

注 ホスト名は次の方法で確認できます。

物理ホストの場合

エージェントホスト上で `hostname` コマンドを実行して求めるホスト名

論理ホストの場合

- Windows の場合  
エージェントホスト上の [ コントロールパネル ] ウィンドウで、[ サービス ] または [ 管理ツール ] - [ サービス ] を選択し、サービスウィンドウに表示される「JP1/AJS2\_XXXX」の「XXXX」の部分に表示されるホスト名。
- UNIX の場合  
`ps` コマンドを実行し、`jajs_spmd` プロセスの後ろに表示されるホスト名。

また、次についても確認し、必要に応じて対処してください。

- イベントジョブを実行登録しても、イベントジョブが実行中にならないでキューイング状態のままの場合、(O) に示した内容の確認後、該当するジョブを強制終了して再実行してください。
- 起動条件付きジョブネット、またはイベントジョブを強制終了してもイベントジョブの状態が変わらないで実行中のままの場合、(O) に示した内容の確認後、再度強制終了してください。
- このメッセージが出力された時点から過去一定時間 (86,400 秒) 内に、検知すべきイベントが発生していないかを確認し、検知すべきイベントが発生していた場合は、(O) に示した内容の確認後、必要に応じて該当するイベントジョブを再実行し、再度監視対象のイベントを発生させてください。

## KAVT0981-W

Reply queue information is discarded because there is no reply for a certain period of time to the information reported to マネージャーホスト名. (host=エージェントホスト名, AJSServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID 保守情報)  
マネージャーホスト名へ通知した情報への返信が一定時間なかったため、返信待ち情報を破棄します (host=エージェントホスト名, AJSServiceName=スケジューラーサービス名, UnitID=ユニットID, ExecID=実行ID 保守情報)

マネージャーホスト名へ通知した情報への返信が 24 時間経過してもなかったため、返信待ち情報を破棄します。

(S)

処理を続行します。

(O)

このメッセージは、マネージャーにデータを通知してから 24 時間経過しても返信がなかった場合に、メモリー不足やディスク容量不足などのリソース不足が生じないように返信待ちデータを削除する際に出力されます。

このメッセージで示されるマネージャーホスト・エージェントホストについて、マネージャーホストの JP1/AJS2 が起動しているかどうかを確認し、起動していない場合は起動してください。また、起動している場合は次のことを確認してください。

- 起動条件付きジョブネットで監視しているイベントが大量に発生していないか  
エージェントホストが実行ホストとなっているイベントジョブや起動条件付きジョブネットの定義を見直してください。一度に大量のイベントが発生するような定義になっている場合、イベントの発生量を抑えるように運用を見直してください。なお、起動条件付きジョブネット名は、次の手順で求めることができます。

1. このメッセージ内の「AJSServiceName= スケジューラーサービス名, UnitID= ユニット ID」部分に出力されているスケジューラーサービス名およびユニット ID を確認する。
2. マネージャーホスト上で、手順 1 のスケジューラーサービス名およびユニット ID を指定し、`ajssname` コマンドを実行する。

(例)

```
ajssname -F スケジューラーサービス名 -I
ユニット ID
/ 起動条件付きジョブネット名 /
.CONDITION/JP1 イベント受信監視
```

- マネージャーホストとエージェントホスト間で通信できているか

次のことを確認してください。

- マネージャーホスト上で、エージェントホスト名 の名前解決ができるか。  
名前解決できない場合は、マネージャーホストの `hosts` ファイル、DNS の設定、マネー



ジャーホストの `jplhosts` ファイルなどの設定を見直し、エージェントホスト名の名前解決ができるようにしてください。

- エージェントホスト上で、マネージャーホスト名 の名前解決ができるか。  
名前解決できない場合は、エージェントホストの `hosts` ファイル、DNS の設定、エージェントホストの `jplhosts` ファイルなどの設定を見直し、マネージャーホスト名の名前解決ができるようにしてください。
- マネージャーホスト上で名前解決をして求めたエージェントホストの IP アドレスが、実際のエージェントホストの IP アドレスと一致しているか。  
IP アドレスが一致しない場合は、マネージャーホストの `hosts` ファイル、DNS の設定、マネージャーホストの `jplhosts` ファイルなどの設定を見直し、名前解決で正しい IP アドレスが求まるようにしてください。
- エージェントホスト上で名前解決をして求めたマネージャーホストの IP アドレスが、実際のマネージャーホストの IP アドレスと一致しているか。  
IP アドレスが一致しない場合は、エージェントホストの `hosts` ファイル、DNS の設定、エージェントホストの `jplhosts` ファイルなどの設定を見直し、名前解決で正しい IP アドレスが求まるようにしてください。
- ネットワーク環境に問題がないか。  
`ping` コマンドなどで、マネージャーホストからエージェントホストに対して TCP/IP 通信ができるか確認し、問題があれば解消してください。また、エージェントホストでも同様に確認し、問題があれば解消してください。

注 ホスト名は次の方法で確認できます。

物理ホストの場合

エージェントホスト上で `hostname` コマンドを実行して求めるホスト名

論理ホストの場合

- Windows の場合  
エージェントホスト上の [ コントロールパネル ] ウィンドウで、[ サービス ] または [ 管理ツール ] - [ サービス ] を選択し、サービスウィンドウに表示される「JP1/AJS2\_XXXX」の「XXXX」の部分に表示されるホスト名。
- UNIX の場合  
`ps` コマンドを実行し、`jajs_spmd` プロセスの後ろに表示されるホスト名。

## KAVT1001-I

The event-receiving process will now end.  
イベント受信プロセスを終了します

JP1 イベント (JP1 イベントやログトラップなど) の監視用プロセスを終了します。

(S)

JP1 イベント (JP1 イベントやログトラップなど) の監視用プロセスを終了します。

## KAVT1002-I

The event-receiving process will now start  
イベント受信プロセスを開始します

JP1 イベント (JP1 イベントやログトラップなど) の監視用プロセスを開始します。

(S)

処理を続行します。

## KAVT1003-E

Failed to get logical host. (保守情報) (保守情報)  
論理ホスト名の取得に失敗しました (保守情報) (保守情報)

JP1 イベント (JP1 イベントやログトラップなど) の監視用プロセスの動作に必要な情報が取得できませんでした。

(S)

JP1 イベント (JP1 イベントやログトラップなど) の監視用プロセスを終了します。JP1 イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、Windows イベントログ監視ジョブは監視できません。

(O)

`jbsgetcnf` コマンドで、エラーとなった論理ホストの共通定義情報が取得できるか確認してください。取得できない場合は、JP1/Base を再インストールしてください。取得できた場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

## KAVT1004-I

The event sever was connected. (イベントサーバ名)  
イベントサーバに接続しました (イベントサーバ名)

JP1/Base イベントサービスに接続しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVT1005-W

Connection to the event server is not possible now. (イベントサーバ名)  
イベントサーバが接続不可になりました (イベントサーバ名)

JP1/Base イベントサービスとの接続が切れました。

(S)

JP1/Base イベントサービスとの接続が切れました。  
JP1/Base イベントサービスへの接続をリトライします。再度接続可能になるまでの JP1 イベント受信監視

## KAVT1006-I ~ KAVT1015-E

視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、Windows イベントログ監視ジョブは監視できません。

(O)

JP1/Base イベントサービスが起動されているか確認してください。

### KAVT1006-I

Connecting the event server will be retried. (イベントサーバ名)  
イベントサーバへの接続をリトライします (イベントサーバ名)

JP1/Base イベントサービスへの接続のリトライを開始します。

(S)

処理を続行します。

### KAVT1007-W

The event sever is inactive. (イベントサーバ名)  
イベントサーバが未起動です (イベントサーバ名)

JP1/Base イベントサービスが未起動です。

(S)

JP1/Base イベントサービスが未起動なため、接続のリトライをしながら処理を続行します。その間、JP1 イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、Windows イベントログ監視ジョブは監視できません。

(O)

JP1/Base イベントサービスが起動されているか確認してください。

### KAVT1008-E

Initialization error (保守情報) (保守情報)  
初期化に失敗しました (保守情報) (保守情報)

情報の取得のための初期化に失敗しました。

(S)

処理を続行します。発生個所によって JP1 イベント (JP1 イベントやログトラップなど) の監視用プロセスを終了します。JP1 イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、Windows イベントログ監視ジョブは監視できません。

(O)

JP1/Base イベントサービスが起動できるか確認してください。JP1/Base のイベントサービスが起動できた場合には、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVT1013-E

Failed to analyze job data. (保守情報) (保守情報)  
ジョブデータの解析に失敗しました (保守情報) (保守情報)

JP1 イベント受信監視ジョブ・ログファイル監視ジョブ・Windows イベントログ監視ジョブの定義に誤りがあります。

(S)

ジョブの定義内容に誤りがあるため、該当するジョブを異常終了します。

(O)

ジョブを実行する JP1/AJS2 のバージョンを確認し、そのバージョンで使用できない定義を指定していないか確認してください。

### KAVT1014-E

An error occurred during the creation of an action definition file. (保守情報)  
動作定義ファイルの作成でエラーが発生しました (保守情報)

ログファイル監視ジョブを起動するための内部処理 (ファイル作成) に失敗しました。

(S)

該当ログファイル監視ジョブを異常終了します。

(O)

システムのリソースが不足していないかを確認して、再度ログファイル監視ジョブを実行してください。特に、JP1/AJS2 用システムフォルダ (ディレクトリ) があるディスクの空き容量を確認してください。確認しても問題がない場合には、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVT1015-E

The log-file trap command could not start. (保守情報)  
ログファイルトラップコマンドの起動に失敗しました (保守情報)

ログファイル監視ジョブの起動に失敗しました。

(S)

該当するログファイル監視ジョブを異常検出終了にします。

(O)

ジョブの実行結果詳細上には JP1/Base のログファイルトラップ機能のエラーメッセージを出力していますので、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。また、該当するログファイル監視ジョブのログファイル出力形式に SEQ2 を指定している場合、ジョブの実行ホストに指定したホストの OS によって、次のことを確認してください。

- UNIX 環境の場合

JP1/Base および JP1/AJS2 がそれぞれ 07-00 以降であること

- Windows 環境の場合

JP1/Base が 08-10 以降, JP1/AJS2 が 08-00 以降であること

#### KAVT1017-I

Condition is concluded.(保守情報)

条件が成立しました (保守情報)

受信したイベントがジョブの条件に一致し, 成立しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT1025-W

No end judgment file exists. (終了判定ファイル名)

終了判定のファイルがありません (終了判定ファイル名)

JP1 イベント受信監視ジョブに指定した終了判定ファイルがありませんでした。

(S)

終了判定の情報がないものとして処理を続行します。  
[ 終了判定 ] に [ メッセージが一致したら正常 ] または [ 詳細情報が一致したら正常 ] が指定されている場合は, 該当する JP1 イベント受信監視ジョブを異常検出終了します。  
[ 終了判定 ] に [ メッセージが一致したら異常 ] または [ 詳細情報が一致したら異常 ] が指定されている場合は, 該当する JP1 イベント受信監視ジョブを正常終了します。

(O)

JP1 イベント受信監視ジョブに指定したファイルがあるかどうか確認してください。判定ファイルがないことで, ジョブの終了判定が正しく行われていないおそれがあります。該当する JP1 イベント受信ジョブを確認してください。

#### KAVT1026-W

The end judgment file includes no data. (終了判定ファイル名)

終了判定のファイル中にデータがありません (終了判定ファイル名)

JP1 イベント受信監視ジョブに指定した終了判定ファイル中にデータがありません。

(S)

終了判定の情報がないものとして処理を続行します。  
[ 終了判定 ] に [ メッセージが一致したら正常 ] または [ 詳細情報が一致したら正常 ] が指定されている場合は, 該当する JP1 イベント受信監視ジョブを異常検出終了します。  
[ 終了判定 ] に [ メッセージが一致したら異常 ] または [ 詳細情報が一致したら異常 ] が指定されている場

合は, 該当する JP1 イベント受信監視ジョブを正常終了します。

(O)

JP1 イベント受信監視ジョブに指定したファイルの中身を確認してください。また, ジョブの終了判定が正しく行われていないおそれがあります。該当する JP1 イベント受信ジョブを確認してください。

#### KAVT1027-E

An error occurred during processing of an end judgment file. (終了判定ファイル名)

終了判定ファイルの処理中でエラーが発生しました (終了判定ファイル名)

JP1 イベント受信監視ジョブに指定した終了判定ファイルが読み込めません。

(S)

終了判定の情報がないものとして処理を続行します。該当する JP1 イベント受信監視ジョブを異常終了します。

(O)

システムのリソースが不足していないか, JP1/AJS2 を起動したユーザーから JP1 イベント受信監視ジョブに指定したファイルが参照できるか確認してください。また, ジョブの終了判定が正しく行われていないおそれがあります。該当する JP1 イベント受信ジョブを確認してください。

#### KAVT1028-E

Memory became insufficient. (保守情報)

メモリー不足が発生しました (保守情報)

イベントジョブの処理中にメモリー不足が発生しました。

(S)

処理を続行します。発生個所によって, 該当するイベントジョブをエラーとします。

(O)

マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 4. 見積もり」を参照して, JP1/AJS2 の実行に必要なメモリー量が確保されているか確認してください。

#### KAVT1029-E

The event could not be created. (保守情報) (保守情報)

イベントの作成に失敗しました (保守情報) (保守情報)

JP1/Base イベントサービスへの接続に失敗しました。

(S)

JP1/Base イベントサービスに接続できるまでリトライします。リトライ中は JP1 イベント受信監視ジョブ, ログファイル監視ジョブ, および Windows イベントログ監視ジョブは監視できません。

## KAVT1030-E ~ KAVT1037-E

(O)

JP1/Base イベントサービスが起動できるか確認してください。JP1/Base のイベントサービスが起動できた場合には、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVT1030-E

The event server could not be connected. (保守情報) (保守情報)  
イベントサーバへの接続に失敗しました (保守情報) (保守情報)

JP1/Base イベントサービスへの接続に失敗しました。

(S)

JP1/Base イベントサービスに接続できるまでリトライします。リトライ中はJP1 イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、および Windows イベントログ監視ジョブは監視できません。

(O)

JP1/Base イベントサービスが起動できるか確認してください。JP1/Base のイベントサービスが起動できた場合には、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVT1031-E

Failed to get Pipe Data (保守情報) (保守情報)  
パイプデータの取得に失敗しました (保守情報) (保守情報)

エージェントまたはイベント検索プロセスからのパイプの受信に失敗しました。

(S)

パイプの処理を打ち切ります。発生個所によって、JP1 イベント (JP1 イベントやログトラップなど) の監視用プロセスを終了します。JP1 イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブまたは Windows イベントトラップジョブのイベントの検知が失敗しているおそれがあります。

(O)

システムのリソースが不足していないか、起動したユーザーの権限環境が正しいか、または JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを不当に削除していないか確認してください。

### KAVT1032-E

Failed to send Pipe Data (保守情報) (保守情報)  
パイプデータの送信に失敗しました (保守情報) (保守情報)

プロセス間の通信でエラーが発生しました。

(S)

プロセス間通信が失敗しました。処理を続行します。登録時に発生した場合にはイベントジョブの登録に失敗します。登録後に発生した場合、ジョブの実行状態が不正になっているおそれがあります。

(O)

次のことを確認したあと、エラーになったイベントジョブを再度、操作してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT1033-E

An auxiliary file could not be opened. (保守情報) (保守情報)  
補助ファイルのオープンに失敗しました (保守情報) (保守情報)

JP1 イベント (JP1 イベントやログトラップなど) の監視用プロセス内で使用する情報ファイルのオープンに失敗しました。

(S)

当該ジョブに対する監視開始処理ができません。

(O)

システムのリソースが不足していないか、または JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを不当に削除していないか確認してください。確認後、再度ジョブを登録してください。

### KAVT1037-E

Failed to get Event. (保守情報) (保守情報)  
イベントの取得に失敗しました (保守情報) (保守情報)

JP1 イベントの取得に失敗しました。一部 JP1 イベントが取得できません。

(S)

JP1/Base のイベントサービスへの接続をリトライします。  
KAVT1004-I または KAVT1044-I メッセージが出力されるまで、JP1 イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、および Windows イベントログ監視ジョブは監視できません。

(O)

JP1/Base イベントサービスが起動しているか確認してください。意図していないにもかかわらず JP1/Base のイベントサービスが終了していた場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVT1040-E**

Error occurred in Event function. (保守情報) (保守情報)  
 イベント処理関数でエラーが発生しました (保守情報)  
 (保守情報)

JP1 イベントの取得処理でエラーが発生しました。

(S)

JP1/Base のイベントサービスへの接続をリトライします。KAVT1004-I または KAVT1044-I メッセージが出力されるまで、イベントは監視できません。

(O)

マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」の API 設定ファイル (api) の説明を参照し、api ファイルの設定が正しく行われているかを見直してください。  
 JP1/Base イベントサービスが起動しているか確認してください。意図していないにもかかわらず JP1/Base のイベントサービスが終了していた場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVT1041-W**

A macro variable exceeds 4096 bytes.  
 マクロ変数が4096バイトを超えました

指定監視条件のイベントが発生しましたが、マクロ変数の合計値が 4,096 バイトを超えました。

(S)

マクロ変数の最大値は 4,096 バイトです。4,096 バイトを超えた場合には超えた部分の情報は切り捨てて処理を続けます。

(O)

マクロ変数の合計値が 4,096 バイトを超えないように再定義してください。マクロ変数の 4,096 バイトを超えた部分は後続のジョブネット・ジョブに引き継がれません。後続のジョブネット・ジョブの実行状態を確認して、問題がある場合にはジョブの定義を見直してください。

**KAVT1042-E**

Failed to start. 保守情報 保守情報  
 起動処理に失敗しました 保守情報 保守情報

JP1 イベントの監視用プロセスの初期化に失敗しました。

(S)

JP1 イベントの監視用プロセスが終了します。JP1 イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、および Windows イベントログ監視ジョブは監視できません。

(O)

イベント・アクション制御の内部的な要因でエラーが発生しているため、システム管理者に連絡して資料を

採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVT1045-E**

A log-file trap command parameter could not be created.  
 (保守情報)

ログファイルトラップコマンドのパラメーターの作成に失敗しました (保守情報)

ログファイル監視ジョブを起動するための内部処理に失敗しました。

(S)

メモリー不足が発生しました。当該ログファイル監視ジョブを異常終了します。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認して、再度、ログファイル監視ジョブを実行してください。

**KAVT1046-E**

The event ID is invalid. (保守情報)  
 イベントIDが不正です (保守情報)

JP1 イベント受信監視ジョブで定義されているイベントIDが不正です。

(S)

当該 JP1 イベント受信監視ジョブを異常終了します。

(O)

イベント ID を正しく定義して再度実行してください。

**KAVT1047-W**

An error occurred during analysis of macro variables. (保守情報) (保守情報)

マクロ変数の解析でエラーが発生しました (保守情報)  
 (保守情報)

マクロ変数の解析処理でエラーが発生しました。

(S)

マクロ変数を作成しないでジョブを異常終了します。

(O)

マクロ変数の指定が誤っているおそれがあります。定義を見直してジョブを再実行してください。

**KAVT1048-W**

The parameter (パラメーター) is not specified.  
 定義パラメーター (パラメーター) が指定されていません

ログファイル監視ジョブに必要なイベント監視条件を指定していません。

(S)

当該ログファイル監視ジョブを異常終了させます。

(O)

必要な監視条件を指定してください。

#### KAVT1050-E

Event receiving process ended. (保守情報) (保守情報)  
イベント受信プロセスを終了します (保守情報) (保守情報)

JP1 イベントの監視用プロセスが異常を検知し終了しました。

(S)

処理中に続行できないエラーが発生したため、JP1 イベントの監視用プロセスが終了しました。JP1 イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、および Windows イベントログ監視ジョブは監視できません。

(O)

直前に出力されているエラーメッセージの対処方法に従ってください。対処したあとに JP1/AJS2 を再起動してください。

#### KAVT1052-W

The log-file trap daemon (service) ended.  
ログファイルトラップのデーモン (サービス) が停止しました

ログファイルトラップ監視ジョブを実行中、ログファイルトラップのデーモン (サービス) が停止しました。

(S)

ログファイルトラップデーモン (サービス) が起動されるまで、リトライをしながら処理を続行します。

(O)

該当のデーモン (サービス) を起動してください。

#### KAVT1055-W

The log-file trap daemon (service) is inactive.  
ログファイルトラップのデーモン (サービス) が未起動です

ログファイル監視ジョブを開始しましたが、JP1/Base の「ログファイルトラップ管理デーモン (UNIX)」または「ログファイルトラップ管理サービス (Windows)」が未起動です。該当するログファイル監視ジョブは実行中のままとなり、ログファイルの監視はできません。

(S)

該当するログファイル監視ジョブの状態を実行中とし、JP1/Base の「ログファイルトラップ管理デーモン (UNIX)」または「ログファイルトラップ管理サービス (Windows)」が起動するまで、リトライします。

(O)

JP1/Base の「ログファイルトラップ管理デーモン (UNIX)」または「ログファイルトラップ管理サービ

ス (Windows)」を起動してください。

#### KAVT1056-W

Log Trap Job is finished.  
ログファイルトラップジョブが終了しています

ログファイルトラップが終了しています。

(S)

リトライしてコマンドを再実行し、監視を続けます。

(O)

このメッセージが出力された場合でも、ジョブが正常終了していれば運用には問題ありませんので、無視して運用を続行してください。  
メッセージが続けて出力される場合は、ログファイルトラップ機能が正しく動作しているか確認してください。

#### KAVT1058-I

retry again.  
リトライします

一時的なエラーが発生しました。ログファイルトラップコマンドを再実行します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT1059-I

Watching start.  
監視を実行します

ログファイルトラップコマンドの実行に成功しました。ログファイル監視処理を開始します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT1060-W

Forced termination request received.  
強制終了要求を受け付けました

強制終了要求を受け付けました。ジョブを強制終了します。

(S)

強制終了要求によって、該当するジョブを強制終了します。

#### KAVT1061-W

Cancel time up.  
打ち切り時間が経過しました

打ち切り時間が経過しました。ジョブを打ち切ります。

(S)

打ち切り時間指定によって、該当するジョブを打ち切り終了します。

**KAVT1062-W**

Information could not be output. (保守情報) (保守情報)  
情報の出力に失敗しました (保守情報) (保守情報)

メモリー不足が発生しました。JP1 イベント受信ジョブ  
が実行結果詳細上に出力するメッセージの出力に失敗しま  
した。

(S)

メモリーが不足したため、実行結果詳細にメッセージ  
を出力しないで処理を続行します。

(O)

メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付の  
ドキュメント (リリースノート, Readme.txt, また  
はソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量および  
ディスク占有量」を参照してください。

**KAVT1065-W**

The log-file trap command could not stop. (ログファイル  
トラップのプロセスID (スレッドID)) (ログファイルト  
ラップコマンド実行時の動作定義ファイル名)  
ログファイルトラップコマンドを停止できませんでした  
(ログファイルトラップのプロセスID (スレッドID))  
(ログファイルトラップコマンド実行時の動作定義ファ  
イル名)

ログファイル監視ジョブは正常終了しましたが、ログファ  
イルを監視するプロセスの停止または停止の確認に失敗し  
ました。ログファイルを監視するプロセスが停止されてい  
ないおそれがあります。

(S)

エラーを無視して処理を続行します。

(O)

リソース不足のおそれがあります。システムのリソー  
スが不足していないか確認してください。  
また、このメッセージが発生した場合には、次回  
JP1/AJS2 停止時に、JP1/Base の「ログファイルト  
ラップ管理デーモン (UNIX)」または「ログファイル  
トラップ管理サービス (Windows)」を停止してくだ  
さい。  
このメッセージが連続して発生した場合には、JP1/  
AJS2 のサービスを停止し、JP1/Base の「ログファ  
イルトラップ管理デーモン (UNIX)」または「ログ  
ファイルトラップ管理サービス (Windows)」を停止  
してください。

**KAVT1066-E**

Main loop of an event-receiving process failed. (保守情報)  
イベント受信プロセスのメインループに失敗しました (保  
守情報)

プロセスの初期化に失敗しました。

(S)

イベント (JP1 イベントやログトラップなど) の監  
視用プロセスを終了します。JP1 イベント受信監視  
ジョブ、ログファイル監視ジョブ、Windows イベント  
ログ監視ジョブは監視できません。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認をして、  
JP1/AJS2 を再起動してください。

**KAVT1067-E**

Language setting could not be acquired. (保守情報) (保守  
情報)

文字コードの取得に失敗しました (保守情報) (保守情  
報)

構成定義情報内の文字コードの取得に失敗しました。

(S)

文字コードを LANG=C として、JP1 イベント監視  
ジョブの監視条件の正規表現チェックを続行します。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認してく  
ださい。  
正規表現を使用した監視条件が正しく動作していない  
おそれがあります。発生した JP1 イベントを再度確  
認して、JP1 イベント受信監視ジョブの状態を変更  
してください。

**KAVT1200-E**

An error occurred during the search for JP1 events. The  
JP1 event search will now stop. (保守情報)

JP1 イベントの検索中にエラーが発生しました。JP1 イ  
ベントの検索を中止します。 (保守情報)

実行前のイベント検索機能で JP1 イベントを検索中にエ  
ラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1 イベントが使用できる状態か、また、JP1/Base  
のイベントサービスで問題が発生していないか確認し  
てください。

**KAVT1201-E**

An attempt was made to start a JP1 event search, but the  
JP1 events were in a disabled state. (保守情報)

JP1 イベントの検索を行おうとしましたが、JP1 イベント  
が使える状態ではありませんでした。 (保守情報)

実行前のイベント検索機能で JP1 イベントの検索ができ  
ない状態です。

(S)

処理を中断します。

(O)

## KAVT1202-E ~ KAVT1210-E

メモリーが不足していないか確認してください。  
メモリー所要量については、JP1/Base のリリース  
ノートを参照してください。

### KAVT1202-E

The reading of JP1 event search conditions from the file was not possible. (保守情報)  
JP1 イベントの検索条件をファイルから読み込むことができませんでした (保守情報)

実行前のイベント検索機能で検索する JP1 イベントの検索条件をファイルから読み込むことができませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
ファイルシステムに問題がないかどうか確認してください。

### KAVT1203-E

The writing of JP1 event search conditions to the file was not possible. (保守情報)  
検索したJP1イベントをファイルに書きこむことができませんでした (保守情報)

実行前のイベント検索機能で検索した JP1 イベントをファイルに書き込むことができませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
ファイルシステムに問題がないかどうか確認してください。

### KAVT1204-E

An error occurred during the reading of the event filter file. (保守情報, システムエラーのメッセージ)  
イベントフィルタファイルの読み込み処理中にエラーが発生しました (保守情報, システムエラーのメッセージ)

イベントフィルタファイルの読み込み処理中にエラーが発生しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
システムのエラーメッセージを基に読み込みできなかった原因を判断し、原因を取り除いてください。

### KAVT1205-E

An error occurred during the opening of the search results output file. (保守情報, システムエラーのメッセージ)  
検索結果出力ファイルのオープン処理中にエラーが発生しました (保守情報, システムエラーのメッセージ)

検索結果出力ファイルのオープン処理中にエラーが発生しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
システムのエラーメッセージを基に読み込みできなかった原因を判断し、原因を取り除いてください。

### KAVT1206-E

An error occurred during status file making process. 保守情報, システムのエラーメッセージ  
ステータスファイル作成処理中にエラーが発生しました (保守情報, システムのエラーメッセージ)

ステータスファイル作成処理中にエラーが発生しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
システムのエラーメッセージを基に読み込みできなかった原因を判断し、原因を取り除いてください。

### KAVT1207-E

An error occurred during the renaming of the search results output file. (保守情報)  
検索結果出力ファイルのリネーム処理中にエラーが発生しました (保守情報)

検索結果出力ファイルのリネーム処理中にエラーが発生しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
保守情報を基にリネームできなかった原因を判断し、原因を取り除いてください。

### KAVT1210-E

An attempt to create an event search filter file failed. The search for events prior to execution will not start.  
実行前のイベント検索が設定されていますが、イベントIDが指定されていません。実行前のイベント検索を使う場合には必ずイベントIDも指定してください。

JP1 イベント受信監視実行前のイベント検索オプションが設定されていますが、イベント ID が指定されていません。

- (S)  
該当する JP1 イベント受信監視ジョブを異常終了します。
- (O)  
JP1 イベント受信監視実行前のイベント検索オプションを使う場合には必ずイベント ID も指定してください。該当する JP1 イベント受信監視ジョブの定



義を見直し再度実行してください。

#### KAVT1211-E

An attempt to create an event search filter file failed.  
ファイル名, 保守情報  
イベント検索フィルタファイルの作成に失敗しました  
ファイル名, 保守情報

イベント検索フィルタファイルの作成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

イベント検索フィルタファイルが作成できなかった原因を取り除き、再度実行してください。

#### KAVT1212-E

An attempt to start the event search process failed. ファイル名, 保守情報  
イベント検索プロセスの起動に失敗しました ファイル名, 保守情報

イベント検索プロセスの起動に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

イベント検索プロセスが起動できなかった原因を取り除き、再度実行してください。

#### KAVT1213-E

An end that event search process did not expect was detected.  
イベント検索プロセスの予期しない終了を検出しました

イベント検索プロセスの予期しない終了を検出しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

イベント検索プロセスが予期しない終了をした原因を調べ、その原因を取り除いてください。

#### KAVT1214-E

Making of the pipe was failed, and the search for events prior to execution cannot use.保守情報  
パイプの作成に失敗しました。実行前のイベント検索は使用できません。保守情報

JP1 イベント受信監視実行前のイベント検索オプションで使う内部ファイルの作成に失敗しました。JP1 イベント受信監視実行前のイベント検索オプションが使用できません。

(S)

JP1 イベント受信監視実行前のイベント検索オプションの初期化処理を打ち切ります。JP1 イベント

受信監視実行前のイベント検索オプションを指定した JP1 イベント受信監視ジョブの実行状態が不正になっているおそれがあります。

(O)

システムのリソースが不足していないか、または JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを不当に削除していないか確認してください。実行状態が不正になっているイベントジョブに対してジョブの状態変更をするか、イベントジョブの受信情報の引き継ぎ（マクロ変数）を使用している場合には、再度監視条件に合致するイベントを発生させてください。

#### KAVT1217-I

An instance was established by the search for events prior to execution. (ジョブ名, Event Arrived Time=条件成立したイベントのイベント到着日時)  
実行前のイベント検索により、条件が成立しました (ジョブ名, Event Arrived Time=条件成立したイベントのイベント到着日時)

実行前のイベント検索を実施した結果、ジョブの条件に一致するイベントを見つけました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT1226-W

Old JP1 events will be discarded because the number of preserved JP1 events issued during a search of pre-execution events has exceeded しきい値. (Seq No=イベントDB内通し番号, Event ID=イベントIDの基本コード, Event Arrived Time=イベント到着日時)  
実行前のイベント検索中に発生したJP1イベントの保持数がしきい値を超えたため、古いJP1イベントから破棄します (Seq No=イベントDB内通し番号, Event ID=イベントIDの基本コード, Event Arrived Time=イベント到着日時)

実行前のイベント検索中に発生した JP1 イベントの保持数がしきい値を超えたため、古い JP1 イベントから破棄します。

(S)

以降、しきい値を超えるたびに、実行前のイベント検索中に発生した JP1 イベントのうち、古いJP1 イベントから破棄して、処理を続行します。

(O)

メッセージ中に示されるイベント DB 内通し番号以降の JP1 イベントで、検知されなかった JP1 イベントがないかどうか確認してください。検知されなかった JP1 イベントがある場合は、必要に応じてジョブの状態を変更してください。また、引き継ぎを使用している場合は、再度監視条件に合致する JP1 イベントを発生させてください。

#### KAVT2001-I

---

The file monitoring process will now start.  
ファイル監視プロセスを開始します

---

ファイル監視プロセスを開始しました。

- (S) ファイル監視用プロセスを開始します。

#### KAVT2004-I

---

The file (ファイル名) was created.  
ファイル (ファイル名) が作成されました

---

ファイルが作成されました。

- (S) 処理を続行します。

#### KAVT2005-I

---

The file (ファイル名) was deleted.  
ファイル (ファイル名) が削除されました

---

ファイルが削除されました。

- (S) 処理を続行します。

#### KAVT2006-I

---

The last modification time of file (ファイル名) has changed.  
ファイル (ファイル名) の最終書き込み時刻が変更されました

---

ファイルの最終書き込み時刻が変更されました。

- (S) 処理を続行します。

#### KAVT2007-I

---

The size of the file (ファイル名) has changed.  
ファイル (ファイル名) のサイズが変更されました

---

ファイルのサイズが変更されました。

- (S) 処理を続行します。

#### KAVT2012-I

---

The file monitoring process will now end.  
ファイル監視プロセスを終了します

---

ファイル監視プロセスを終了します。

- (S) ファイル監視用プロセスを終了します。

#### KAVT2013-E

---

The name of the file to be monitored is not specified.  
監視対象ファイル名の指定がありません

---

監視対象ファイル名を指定していません。

- (S) 該当するジョブを異常終了します。
- (O) `ajsdefine` コマンドに対するユニット定義パラメーターに、監視対象ファイル名を指定してください。

#### KAVT2014-E

---

The specified name of the file to be monitored is not a full path name.  
指定された監視対象ファイル名はファイル完全名ではありません

---

監視対象ファイル名の指定に誤りがあります。

- (S) 該当するジョブを異常終了します。
- (O) 監視対象ファイル名を確認したあと、正しい形式のフルパス名で指定してください。

#### KAVT2015-E

---

You cannot specify an asterisk (\*) in a directory name.  
ディレクトリ名部分に "\*" は指定できません

---

ディレクトリ名に、「\* (ワイルドカード)」は指定できません。

- (S) 該当するジョブを異常終了します。
- (O) 指定した監視対象ファイル名のディレクトリ部分に、「\* (ワイルドカード)」を指定していないか確認してください。

#### KAVT2016-E

---

The specified name of the file to be monitored already exists as a directory.  
指定された監視対象ファイル名はディレクトリとして既に存在します

---

指定された監視対象ファイル名は、ディレクトリとしてすでにあります。

- (S) 該当するジョブを異常終了します。
- (O) 正しい監視対象ファイル名を指定するか、ディレクトリを削除してください。

**KAVT2017-W**

The time-out period elapsed.  
打ち切り時間が経過しました

打ち切り時間が経過しました。ジョブを打ち切ります。

(S)

打ち切り時間指定によって、該当するジョブを打ち切り終了します。

**KAVT2018-W**

A kill request was accepted.  
強制終了要求を受け付けました

強制終了要求を受け付けました。ジョブを強制終了します。

(S)

強制終了要求によって、該当するジョブを強制終了します。

**KAVT2019-E**

The file monitoring process ended. (保守情報)  
ファイル監視プロセスを終了します (保守情報)

ファイル監視プロセスが異常を検知し終了しました。

(S)

処理中に続行できないエラーが発生したためファイル監視用プロセスが終了しました。ファイル監視ジョブは監視できません。

(O)

イベント・アクション制御の内部的な要因でエラーが発生しているため、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVT2020-I**

The watching start option (ファイル名) is satisfied.  
監視開始オプション (ファイル名) が成立しました

監視開始オプションが成立しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVT2021-W**

The memory for message output became insufficient. (ファイル名, 保守情報)  
メモリー不足が発生したため、実行結果詳細へのメッセージ出力ができません (ファイル名, 保守情報)

メモリー不足が発生しました。実行結果詳細へのメッセージ出力ができません。

(S)

メモリーが不足したため、実行結果詳細にメッセージを出力しないで処理を続行します。

(O)

メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

**KAVT2022-W**

The open file check cannot execute because memory became insufficient. (ファイル名, 保守情報)  
メモリー不足が発生したため、ファイルのオープンチェックを実行できません (ファイル名, 保守情報)

メモリー不足が発生しました。監視対象ファイルのファイルを別プロセスがオープンしているかチェックできませんでした。

(S)

次の監視間隔でファイルをオープンしているプロセスがあるか再度確認します。その間ファイル監視イベントジョブの成立は遅延します。

(O)

このメッセージが連続して出力される場合には、プログラムを実行するのに十分なメモリーがあるかどうか確認したあと、再度ファイル名で示されたファイルに対するファイル状態の変更を試みてください。

**KAVT2023-E**

Memory became insufficient. (保守情報)  
メモリー不足が発生しました (保守情報)

メモリー不足が発生しました。

(S)

次回監視間隔で再度ファイルの状態が更新されていないかチェックします。または、該当するジョブを異常終了させます。

(O)

プログラムを実行するのに十分なメモリーがあるかどうか確認してください。JP1/AJS2 - View を使用してファイル監視ジョブが異常終了していないかどうかチェックしてください。異常終了しているファイル監視ジョブがあった場合には、再度登録してください。

**KAVT2024-W**

The file information could not be obtained. The file monitoring event may not have occurred. (ファイル名, 保守情報)  
監視対象ファイルの情報の取得に失敗しました。イベントが発行できなかった可能性があります (ファイル名, 保守情報)

監視対象ファイルのファイル状態の取得に失敗しました。

(S)

監視対象ファイルの現在の状態が分かりませんでした。次回監視間隔で再度状態をチェックします。次回

## KAVT2025-E ~ KAVT2031-E

監視間隔までに行われたファイルの状態変更は検知できません。

(O)

次のことを確認してください。

- ・ リソース不足が発生していないか。
- ・ 監視対象ファイルのファイルサイズが 2 ギガバイトを超えていないか。  
2 ギガバイト以上のファイルを監視する場合は、  
ラージファイル対応オプションを指定してください。
- ・ 監視対象ファイルが更新中でないか。  
ファイル状態の変更が検知できなかった場合、  
ファイルの状態を確認して再度ファイル名で示された  
ファイルに対するファイル状態の変更を試みてください。

### KAVT2025-E

You cannot specify 10 for the file monitoring interval.  
監視間隔は10秒以上に設定してください

監視間隔は 10 秒以上に設定してください。

(S)

設定された監視間隔値が不正なので、該当するファイル監視ジョブを異常終了します。

(O)

10 秒以下の監視間隔が設定できる条件に当てはまる  
か見直してください。

### KAVT2026-E

The name of the file to be monitored cannot be obtained.  
(保守情報)(保守情報)  
監視対象ファイル名の取得に失敗しました。(保守情報)  
(保守情報)

監視対象ファイル名の取得に失敗しました。

(S)

監視対象ファイル名を取得する際にエラーが発生しました。  
該当するジョブを異常終了します。

(O)

監視対象となっているディレクトリやファイルの状態  
を確認してください。

### KAVT2028-E

An attempt to start the file monitoring process failed. (保守情報)(保守情報)  
ファイル監視プロセスの起動処理に失敗しました。(保守情報)  
(保守情報)

ファイル監視プロセスの起動処理に失敗しました。

(S)

ファイル監視プロセスの起動処理中に続行できないエラー  
が発生したため、プロセスを終了します。

(O)

次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

- ・ システムのリソースが不足していないか。
- ・ JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- ・ JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT2029-E

An attempt to obtain pipe data failed. (保守情報)(保守情報)  
パイプデータの取得に失敗しました。(保守情報)(保守情報)

エージェントからのパイプデータを受信できませんでした。

(S)

エージェントとのパイプ処理でエラーが発生したため、  
ファイル監視プロセスを終了します。

(O)

次のことを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

- ・ システムのリソースが不足していないか。
- ・ JP1/AJS2 を起動したユーザーが、スーパーユーザー権限、または Administrators 権限を持っているか。
- ・ JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT2030-E

An attempt to send pipe data failed. (保守情報)(保守情報)  
パイプデータの送信に失敗しました。(保守情報)(保守情報)

エージェントへのパイプデータを送信できませんでした。

(S)

エージェントとのパイプ処理でエラーが発生しました。  
発生個所によってはファイル監視プロセスを終了  
します。

(O)

次のことを確認してください。

- ・ システムのリソースが不足していないか。
- ・ 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- ・ JP1/AJS2 のインストール時に作成されたディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT2031-E

An error occurred during the operation of a file. (保守情報)(保守情報)  
ファイルの操作中にエラーが発生しました。(保守情報)  
(保守情報)

ファイル監視プロセスが扱うファイルへの操作中にエラー

が発生しました。

(S)

発生個所によっては該当するジョブが異常終了します。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 のインストール時に作成されたディレクトリを誤って削除していないか。
- 同時時間帯に KAVT2034-W メッセージが出力されていないか。  
出力されている場合は、KAVT2034-W メッセージの対処方法に従ってください。
- 監視対象ファイルのファイルサイズが 2 ギガバイトを超えていないか。  
2 ギガバイト以上のファイルを監視する場合は、  
ラージファイル対応オプションで、ラージファイルの監視を行う指定をしてください。

### KAVT2032-E

An error exists in the definition contents of the file monitoring job. (保守情報)(保守情報)  
ファイル監視ジョブの定義内容に誤りがあります。(保守情報)(保守情報)

ファイル監視ジョブの定義内容に誤りがあります。

(S)

ファイル監視ジョブの定義内容に誤りがあるため、該当するジョブを異常終了します。

(O)

定義内容を見直して、再度実行してください。

### KAVT2033-E

An attempt to set the next time monitoring failed. (保守情報)(保守情報)  
次回監視のための設定に失敗しました。(保守情報)(保守情報)

次回監視のための設定に失敗しました。

(S)

今回の監視をするための設定でエラーが発生しました。該当するジョブを異常終了します。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 のインストール時に作成されたディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT2034-W

The status passing option file cannot be opened. The status passing cannot be executed. (ファイル名, 保守情報)

状態引き継ぎ情報格納ファイルを開けません。状態引き継ぎは行われません。(ファイル名, 保守情報)

ファイル監視ジョブの状態引き継ぎ情報格納ファイルを開けません。ファイルの監視状態の状態引き継ぎは行われず、JP1/AJS2 起動時に、停止前の監視しているファイルの状態を引き継がないで処理を行います。

(S)

ファイルの監視状態の状態引き継ぎは行われず、JP1/AJS2 起動時に、停止前の監視しているファイルの状態を引き継がないでファイル監視ジョブの処理を行います。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
- クラスタシステムの場合、ファイル監視ジョブの状態引き継ぎオプションの設定が、実行系と待機系で異なっていないか。
- クラスタシステムの場合、イベントジョブを使用した DNS 運用時に、FQDN 形式で運用するための設定が実行系と待機系で異なっていないか。

なお、ファイル監視ジョブの状態引き継ぎオプションで状態が引き継がれる条件については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 8.3.2 ファイル監視ジョブの注意事項」を参照してください。

状態が引き継がれない条件のときに、このメッセージが出力された場合は、ファイル監視ジョブが終了したために状態引き継ぎ情報格納ファイルを削除したことによるものなので、無視して運用を続行してください。

### KAVT2035-E

The name of the file to be monitored includes an invalid character. (ファイル名, 保守情報)

監視対象ファイル名に不正な文字が含まれています。(ファイル名, 保守情報)

監視対象ファイル名に不正な文字が含まれています。

(S)

監視対象となるファイル名に不正な文字が含まれています。該当するジョブは異常終了します。

(O)

監視対象ファイル名が、JP1/AJS2 の認識できる文字コードで作成されているかどうか確認してください。

### KAVT2036-W

The open file check is impossible because the monitoring target file has no write permission. (ファイル名, 保守情報)

監視対象ファイルに対する書き込み権限がないため、ファイルのオープンチェックができません。(ファイル名, 保守情報)

監視対象ファイルへの書き込み権限がないため、監視対象ファイルのオープンチェックを実行できません。ファイル監視条件成立とはみなしません。

(S)

ファイル監視条件成立とみなさず、処理を続行します。

(O)

JP1/AJS2のサービスアカウントに、監視対象ファイルへの書き込み権限を与えてください。Windowsの場合、監視対象ファイルに読み取り専用のチェックがついている場合は、チェックを外してください。

### KAVT2037-W

A macro variable exceeds 4096 bytes.  
マクロ変数が4096バイトを超えました

指定監視条件のファイルの更新が発生しましたが、マクロ変数の合計値が4,096バイトを超えました。

(S)

1 イベント当たりで使用できる全マクロ変数のデータ量は、変数名を合わせて4,096バイトです。4,096バイトを超えた場合には超えた変数の情報を切り捨てて処理を続けます。

(O)

後続のジョブネット・ジョブの実行状態を確認して、問題がある場合にはジョブの定義を見直してください。

### KAVT2038-E

Monitoring can not be continued. Because the information on file of 2 Gbytes or more is contained in the status passing option file. (ファイル名)  
状態引き継ぎ情報格納ファイルの中にファイルサイズが2GB以上のファイルに関する情報が含まれていたため、監視を継続できません。(ファイル名)

状態引き継ぎ情報格納ファイルの中にファイルサイズが2ギガバイト以上のファイルに関する情報が含まれていたため、監視を継続できません。

(S)

ジョブが異常終了します。

(O)

ラージファイル対応オプションが「対応しない」になっていないかを確認してください。「対応しない」になっていた場合、JP1/AJS2 停止前にラージファイ

ル対応オプションが有効で、かつファイル監視ジョブの状態引き継ぎオプションが有効であったおそれがあります。

- ラージファイル対応オプションを有効にできる場合「ラージファイル対応オプション」を有効にしてJP1/AJS2を再起動し、ジョブを再実行してください。ただし、JP1/AJS2 停止前に監視していたファイルの状態は引き継ぎません。「ラージファイル対応オプション」を有効にする方法については、Windows ホストの場合「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.5 その他のオプションの設定」を、UNIX ホストの場合「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.21 ラージファイルを監視するための設定」を参照してください。
- ラージファイル対応オプションを有効にできない場合「ファイル名」に出力されたファイル、または総称名で指定されたディレクトリ配下に2ギガバイト以上のファイルがないことを確認し、監視対象ファイルが監視中に2ギガバイト以上のサイズにならないことを確認の上、ジョブを再実行してください。ただし、JP1/AJS2 停止前に監視していたファイルの状態は引き継ぎません。

なお、ファイル監視ジョブの状態引き継ぎオプションで、状態が引き継がれる条件については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 8.3.2 ファイル監視ジョブの注意事項」を参照してください。

### KAVT3001-I

Mail was received.

メールを受信しました

メールを受信しました。

(S)

処理を続行します。

### KAVT3002-E

Mail could not be received.

メールの受信に失敗しました

メールの受信に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

メールの送受信ができる環境かどうかを確認してください。

### KAVT3003-E

Mail could not be saved.

メールの保存に失敗しました

メールを保存できませんでした。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ディスク容量や権限など、ファイルが保存できる環境であるか確認してください。

### KAVT3006-E

Initialization failed. (発生要因)  
初期化に失敗しました (発生要因)

初期化できませんでした。

- (S) 処理を中断します。
- (O) メールを送受信できる環境が確認してください。「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

### KAVT3012-E

MAPI could not be initialized. (発生要因)  
MAPIの初期化に失敗しました (発生要因)

メールの送受信で使用する MAPI を初期化できませんでした。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、ジョブを再実行してください。JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。「発生要因」が mapi\_code = xxxxxxxx (8 けたの 16 進数) の場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.10(4) メール送信ジョブ・メール受信監視ジョブが異常終了する」を参照して問題を解決したあと、ジョブを再実行してください。また、JP1/AJS2 を使用しないで、Microsoft Outlook 単体でメールを送受信できるか、送受信の途中で応答を求めるダイアログボックスが表示されないかを確認してください。送受信できない場合やダイアログボックスが表示される場合は、プロファイルおよびメールアカウントの設定を見直してください。

### KAVT3014-E

Logon failed. (mapi\_code=保守情報 保守情報 保守情報 保守情報)  
ログオンに失敗しました ( mapi\_code=保守情報 保守情報 保守情報 保守情報)

ログオンできませんでした。

- (S) 処理を続行します。
- (O) セットアップで設定したプロファイル名が、正しいか確認してください。

### KAVT3015-I

The result of logon. (mapi\_code=保守情報 保守情報 保守情報 保守情報)  
ログオンの結果 ( mapi\_code=保守情報 保守情報 保守情報 保守情報)

プロファイルへのログオンの結果

- (S) 処理を続行します。

### KAVT3016-E

Profile name used in send processing during logon is not within the definition.  
送信処理でログオン時に使用するプロファイル名は定義外です

送信処理でログオン時に使用するプロファイル名を定義していません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) セットアップで設定したプロファイル名が正しいか確認したあと、再実行してください。

### KAVT3017-E

During send processing, logon failed. (発生要因)  
送信処理でログオンに失敗しました (発生要因)

メールの送信処理で、メールシステムにログオンできませんでした。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、ジョブを再実行してください。JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

さい。

「発生要因」が mapi\_code = xxxxxxxx (8けたの16進数)の場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.10(4) メール送信ジョブ・メール受信監視ジョブが異常終了する」を参照して問題を解決したあと、ジョブを再実行してください。

また、JP1/AJS2 を使用しないで、Microsoft Outlook 単体でメールを送受信できるか、送受信の途中で応答を求めるダイアログボックスが表示されないかを確認してください。送受信できない場合やダイアログボックスが表示される場合は、プロファイルおよびメールアカウントの設定を見直してください。

### KAVT3019-E

The send processing could not be initialized. (発生要因)  
送信処理の初期化に失敗しました (発生要因)

メールの送信処理を初期化できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、ジョブを再実行してください。JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

「発生要因」が mapi\_code = xxxxxxxx (8けたの16進数)の場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.10(4) メール送信ジョブ・メール受信監視ジョブが異常終了する」を参照して問題を解決したあと、ジョブを再実行してください。

また、JP1/AJS2 を使用しないで、Microsoft Outlook 単体でメールを送受信できるか、送受信の途中で応答を求めるダイアログボックスが表示されないかを確認してください。送受信できない場合やダイアログボックスが表示される場合は、プロファイルおよびメールアカウントの設定を見直してください。

### KAVT3023-E

Mail could not be initialized. (発生要因)  
メールの初期化に失敗しました (発生要因)

送信するメールの属性の初期化に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、ジョブを再実行してください。JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート,

Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

「発生要因」が mapi\_code = xxxxxxxx (8けたの16進数)の場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.10(4) メール送信ジョブ・メール受信監視ジョブが異常終了する」を参照して問題を解決したあと、ジョブを再実行してください。

また、JP1/AJS2 を使用しないで、Microsoft Outlook 単体でメールを送受信できるか、送受信の途中で応答を求めるダイアログボックスが表示されないかを確認してください。送受信できない場合やダイアログボックスが表示される場合は、プロファイルおよびメールアカウントの設定を見直してください。

### KAVT3025-E

The destination could not be set. (発生要因)  
宛先の設定に失敗しました (発生要因)

メールの宛先を設定できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、ジョブを再実行してください。JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

「発生要因」が mapi\_code = xxxxxxxx (8けたの16進数)の場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.10(4) メール送信ジョブ・メール受信監視ジョブが異常終了する」を参照して問題を解決したあと、ジョブを再実行してください。

また、JP1/AJS2 を使用しないで、Microsoft Outlook 単体でメールを送受信できるか、送受信の途中で応答を求めるダイアログボックスが表示されないかを確認してください。送受信できない場合やダイアログボックスが表示される場合は、プロファイルおよびメールアカウントの設定を見直してください。

### KAVT3027-E

Mail to be sent could not be created. (発生要因)  
送信メールの作成に失敗しました (発生要因)

送信メールを作成できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、ジョブを再実行して



ください。JP1/AJS2のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント（リリースノート、Readme.txt、またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

「発生要因」が mapi\_code = xxxxxxxx（8けたの16進数）の場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.10(4) メール送信ジョブ・メール受信監視ジョブが異常終了する」を参照して問題を解決したあと、ジョブを再実行してください。

また、JP1/AJS2を使用しないで、Microsoft Outlook 単体でメールを送受信できるか、送受信の途中で応答を求めるダイアログボックスが表示されないかを確認してください。送受信できない場合やダイアログボックスが表示される場合は、プロファイルおよびメールアドレスの設定を見直してください。

### KAVT3029-I

The text will be reprocessed because memory became insufficient.

メモリー不足の為本文の再処理を行います

メモリー不足のため、本文の再処理をします。

- (S)
- 処理を続行します。

### KAVT3030-E

The text could not be reprocessed. (発生要因)  
本文の再処理に失敗しました（発生要因）

メールの本文ファイルの処理でエラーが発生しました。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)

本文ファイルを参照するパス、ファイルのアクセス権限などの環境を確認してください。

「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、ジョブを再実行してください。JP1/AJS2のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント（リリースノート、Readme.txt、またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

「発生要因」が mapi\_code = xxxxxxxx（8けたの16進数）の場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.10(4) メール送信ジョブ・メール受信監視ジョブが異常終了する」を参照して問題を解決したあと、ジョブを再実行してください。

また、JP1/AJS2を使用しないで、Microsoft Outlook 単体でメールを送受信できるか、送受信の途中で応答を求めるダイアログボックスが表示されないかを確認してください。送受信できない場合やダイアログボックスが表示される場合は、プロファイルおよびメールアドレス

アカウントの設定を見直してください。

### KAVT3033-I

The text was re-processed.  
本文の再処理に成功しました

本文の再処理に成功しました。

- (S)
- 処理を続行します。

### KAVT3034-E

The attached file could not be defined. (発生要因)  
添付ファイルの設定に失敗しました（発生要因）

メールの添付ファイルを設定できませんでした。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)

添付ファイルを参照するパス、ファイルのアクセス権限などの環境を確認してください。

「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、ジョブを再実行してください。JP1/AJS2のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント（リリースノート、Readme.txt、またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

「発生要因」が mapi\_code = xxxxxxxx（8けたの16進数）の場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.10(4) メール送信ジョブ・メール受信監視ジョブが異常終了する」を参照して問題を解決したあと、ジョブを再実行してください。

### KAVT3036-E

Sending failed. (発生要因)  
送信処理に失敗しました（発生要因）

送信処理できませんでした。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)

メールを送受信できる環境が確認してください。

「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、ジョブを再実行してください。JP1/AJS2のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント（リリースノート、Readme.txt、またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

「発生要因」が mapi\_code = xxxxxxxx（8けたの16進数）の場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド

## KAVT3038-E ~ KAVT3048-E

17.5.10(4) メール送信ジョブ・メール受信監視ジョブが異常終了する」を参照し問題を解決したあと、再実行してください。

### KAVT3038-E

The send processing could not be preprocessed.  
送信処理の前処理に失敗しました

送信処理をする前の処理ができませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールを送受信できる環境が確認してください。  
「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、ジョブを再実行してください。JP1/AJS2のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント（リリースノート，Readme.txt，またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

### KAVT3039-E

During send processing, logoff failed. (発生要因)  
送信処理でログオフに失敗しました（発生要因）

メールの送信処理で、メールシステムからログオフできませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、ジョブを再実行してください。JP1/AJS2のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント（リリースノート，Readme.txt，またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。  
「発生要因」が mapi\_code = xxxxxxxx（8けたの16進数）の場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.10(4) メール送信ジョブ・メール受信監視ジョブが異常終了する」を参照して問題を解決したあと、ジョブを再実行してください。  
また、JP1/AJS2を使用しないで Microsoft Outlook 単体でメールを送受信できるか、送受信の途中で応答を求めるダイアログボックスが表示されないか確認してください。送受信できない場合やダイアログボックスが表示される場合は、プロファイルおよびメールアカウントの設定を見直してください。

### KAVT3041-E

The profile name used in the reception processing during logon is not within the definition.

受信処理でログオン時に使用するプロファイル名は定義外です

受信処理でログオン時に使用するプロファイル名を、環境設定に定義していません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
セットアップで設定したプロファイル名が正しいか確認したあと、再実行してください。

### KAVT3042-E

During reception processing, logon failed. (発生要因)  
受信処理でログオンに失敗しました（発生要因）

受信処理でログオンできませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールサーバがダウンしていないか、またはプロファイルが正しく作成されているか確認してください。

### KAVT3044-E

The reception processing could not be initialized. (発生要因)  
受信処理の初期化に失敗しました（発生要因）

受信処理を初期化できませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールを送受信できる環境が確認してください。「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

### KAVT3048-E

The list of received mail could not be acquired. (発生要因)  
受信メール一覧リストの取得に失敗しました（発生要因）

受信メール一覧リストを取得できませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールを送受信できる環境が確認してください。「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

**KAVT3050-E**

During reception processing, mail could not be read.  
受信処理でメールの読み込みに失敗しました

受信処理でメールを読み込めませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールを送受信できる環境が確認してください。

**KAVT3051-E**

Mail could not be read. (発生要因)  
メールの読み込みに失敗しました (発生要因)

メールを読み込めませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールを送受信できる環境が確認してください。「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

**KAVT3054-E**

The text could not be acquired. (発生要因)  
本文の取得に失敗しました (発生要因)

本文を取得できませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールを送受信できる環境が、または本文が正しく設定されているか確認してください。「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

**KAVT3057-E**

The data length of the text could not be acquired. (発生要因)  
本文のデータ長取得に失敗しました (発生要因)

本文のデータ長を取得できませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールを再受信できる環境が確認してください。また、本文、または本文ファイルが正しく設定されているか調べてください。「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

**KAVT3060-E**

The reception time could not be acquired.  
受信時刻の取得に失敗しました

受信時刻を取得できませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
システム管理者に連絡してください。

**KAVT3061-E**

The received mail could not be read. (発生要因)  
受信するメールの読み込みに失敗しました (発生要因)

受信するメールを読み込めませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールを送受信できる環境が確認してください。「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

**KAVT3064-E**

The list of attached files could not be acquired. (発生要因)  
添付ファイル一覧リストの取得に失敗しました (発生要因)

添付ファイル一覧リストを取得できませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
添付ファイル一覧リストが正しいか確認してください。

**KAVT3066-E**

During reception processing, the attached file could not be read.  
受信処理でメールの添付ファイルの読み込みに失敗しました

受信処理でメールの添付ファイルを読み込めませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
ディスクの容量が十分に確認してください。

**KAVT3067-E**

The attached file could not be read. (発生要因)  
添付ファイルの読み込みに失敗しました (発生要因)

## KAVT3070-E ~ KAVT3079-E

添付ファイルを読み込めませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
添付ファイルが正しいか確認してください。

### KAVT3070-E

---

The attached file could not be saved. (発生要因)  
添付ファイルの保存に失敗しました (発生要因)

---

添付ファイルを保存できませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
添付ファイルを保存できる環境が確認してください。  
「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

### KAVT3073-E

---

The attached file could not be saved.  
添付ファイルは保存できませんでした

---

添付ファイルは保存できませんでした。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
その前に出力されたメッセージを参照して、要因を特定してください。

### KAVT3074-E

---

The attached file could not be saved because it was an OLE object.  
添付ファイルはOLEオブジェクトのため保存できませんでした

---

メールの添付ファイルは OLE オブジェクトのため保存できませんでした。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
JP1/AJS2 のメール連携では、OLE オブジェクトを含む添付ファイルを保存できません。このようなファイルを添付したメールの受信監視はしないでください。  
または、メール受信監視ジョブの受信後のオプションで、添付ファイル保存先フォルダを指定しないでください。

### KAVT3075-E

---

An error occurred during the saving of the attached file.  
(GetLastError=エラーコード file=添付ファイル名)  
添付ファイル保存中にエラーが発生しました  
( GetLastError=エラーコード file=添付ファイル名 )

---

メールの添付ファイルの保存中にエラーが発生しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
表示されるエラーコード ( Windows の  
GetLastError() 関数のリターンコード ) を調べて対処してください。

### KAVT3076-E

---

The opening-completed setting failed. (発生要因)  
開封済みの設定に失敗しました (発生要因)

---

開封済みの設定に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールを送受信できる環境が確認してください。  
「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

### KAVT3078-E

---

The text could not be saved.  
本文は保存できませんでした

---

メールの本文を保存できませんでした。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
本文ファイルを保存するパス、保存先のディスク容量、ファイルのアクセス権限などの環境を確認してください。  
また、実行するのに十分なメモリーを確保してください。JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント ( リリースノート, Readme.txt , またはソフトウェア添付資料 ) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

### KAVT3079-E

---

The list file could not be created.  
リストファイルは作成できませんでした

---

メールの添付ファイル一覧であるリストファイルを作成できませんでした。

- (S)  
処理を続行します。

- (O)  
リストファイルを保存するパス、保存先のディスク容量、ファイルのアクセス権限などの環境を確認してください。  
また、実行するのに十分なメモリーを確保してください。JP1/AJS2のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント（リリースノート、Readme.txt、またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT3080-E

During reception processing, a file could not be saved.  
受信処理のファイル保存等に失敗しました

受信処理のファイル保存などに失敗しました。

- (S)  
処理を続行します。

- (O)  
ファイルを保存できる環境が確認してください。

#### KAVT3081-E

During reception processing, the icon could neither be sent nor received.  
受信処理で該当アイコンの通信に失敗しました

受信処理で該当するアイコンの通信に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールを送受信できる環境かどうかを確認してください。

#### KAVT3083-E

Failed to delete mail. (発生要因)  
メールの削除に失敗しました（発生要因）

メールの削除に失敗しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

#### KAVT3085-E

The reception processing could not be pre-processed.  
受信処理の前処理に失敗しました

受信処理をする前の処理に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)

その前に出力されたメッセージを参照して、要因を特定してください。

#### KAVT3086-E

During reception processing, logoff failed. (発生要因)  
受信処理でログオフに失敗しました（発生要因）

受信処理でログオフに失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールサーバにログインできる環境が確認してください。  
「発生要因」がメモリー不足の場合は、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

#### KAVT3100-E

An error occurred in Groupmax. (保守情報 保守情報 保守情報 保守情報)  
Groupmaxでエラーが発生しました（保守情報 保守情報 保守情報 保守情報）

Groupmax でエラーが発生しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
Groupmax のサーバに接続できる環境が確認してください。

#### KAVT3102-E

Groupmax could not be initialized.  
Groupmaxの初期化に失敗しました

Groupmax の初期化に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
Groupmax が使用できる環境が、確認してください。

#### KAVT3103-E

Another user has already logged in to Groupmax<<保守情報>>.  
Groupmaxは別ユーザー<<保守情報>>でログイン済みです

Groupmax は別ユーザーでログイン済みです。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
別のユーザーを使うか、またはログインしているユーザー

## KAVT3104-E ~ KAVT3202-I

ザーがログアウトするのを待ってください。

### KAVT3104-E

Login to Groupmax failed. (保守情報 保守情報 保守情報 保守情報)

Groupmaxのログインに失敗しました ( 保守情報 保守情報 保守情報 保守情報 保守情報 )

Groupmax のログインに失敗しました。

( S )

処理を中断します。

( O )

Groupmax にログインできる環境が、確認してください。

### KAVT3106-I

Mail reception will now start.

メール受信を開始します

メール受信を開始します。

( S )

処理を続行します。

### KAVT3107-I

Mail sending will now start.

メール送信を開始します

メール送信を開始します。

( S )

処理を続行します。

### KAVT3108-I

This is Groupmax version 2.

Groupmaxはバージョン2です

Groupmax はバージョン 2 です。

( S )

処理を続行します。

### KAVT3109-I

This is Groupmax version 3.

Groupmaxはバージョン3です

Groupmax はバージョン 3 です。

( S )

処理を続行します。

### KAVT3110-E

During send processing, sign-in failed.

送信処理でサインインに失敗しました

送信処理でサインインに失敗しました。

( S )

処理を中断します。

( O )

Groupmax が使用できる環境が確認してください。

### KAVT3111-E

During reception processing, sign-in failed.

受信処理でサインインに失敗しました

受信処理でサインインに失敗しました。

( S )

処理を中断します。

( O )

Groupmax が使用できる環境が確認してください。

### KAVT3112-E

The parameter is specified incorrectly.

パラメーターが違っています

パラメーターが異なっています。

( S )

処理を中断します。

( O )

誤りのあるパラメーターを修正したあと、再実行してください。

### KAVT3200-I

Start process of controlling MAPI (Send).

MAPI送信制御プロセスを開始します

MAPI 送信制御プロセスを開始します。

( S )

処理を続行します。

### KAVT3201-I

Start process of controlling MAPI (Receive).

MAPI受信制御プロセスを開始します

MAPI 受信制御プロセスを開始します。

( S )

処理を続行します。

### KAVT3202-I

End process of controlling MAPI (Send).

MAPI送信制御プロセスを終了します

MAPI 送信制御プロセスを終了します。

( S )

処理を続行します。

**KAVT3203-I**

End process of controlling MAPI (Receive).  
MAPI受信制御プロセスを終了します

MAPI 受信制御プロセスを終了します。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVT3204-E**

Failed to create a temporary file. (file=ファイル名  
GetLastError=GetLastError番号)  
一時ファイルの作成に失敗しました (file=ファイル名  
GetLastError=GetLastError番号)

メールシステム連携で使用する一時ファイルの作成に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
「file= ファイル名 GetLastError=GetLastError 番号」  
で、表示されたファイルを作成できない原因を調べてください。

**KAVT3205-E**

Failed to read a temporary file. (file=ファイル名  
GetLastError=GetLastError番号)  
一時ファイルの読み込みに失敗しました (file=ファイル  
名 GetLastError=GetLastError番号)

メールシステム連携で使用する一時ファイルの読み込みに失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
「file= ファイル名 GetLastError=GetLastError 番号」  
で表示されたファイルを読み込めない原因を調べてください。

**KAVT3206-E**

Failed to create a folder. 作成できなかったフォルダ名  
フォルダの作成に失敗しました 作成できなかったフォル  
ダ名

フォルダの作成に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
「作成できなかったフォルダ名」で表示されたフォル  
ダを作成できない原因を調べてください。

**KAVT3210-W**

The send destination address was not found. (保守情報)  
送信先メールアドレスは存在しません (保守情報)

指定したメールアドレスが送信先のメールシステム内に見  
つかりません。または、メールアドレスが登録されている  
メールシステムが見つかりません。  
保守情報にはメール送信ジョブで指定したメールアドレス  
のうち、見つからないメールアドレスの個数が表示されま  
す。

- (S)  
見つからないメールアドレスを無視して、処理を続行  
します。
- (O)  
指定したメールアドレスが送信先のメールシステムに  
登録されているか、またはメールシステムが起動され  
て通信できる状態を確認してください。  
また、送信先のメールアドレスに対して、JP1/AJS2  
を使用しないで Microsoft Outlook 単体でメールを送  
受信できるか、送受信の途中で応答を求めるダイアロ  
グボックスが表示されないかを確認してください。  
送受信できない場合やダイアログボックスが表示され  
る場合は、メールプロファイル中の次の設定を確認し  
て送受信できるようにして、そのあとでメール送信  
ジョブを実行してください。
- ・ 接続先に指定したメールシステム名が正しいか。
  - ・ 指定したメールアドレスが接続先のメールシス  
テムに登録されているか。
  - ・ メールアカウントに設定したパスワードは正しい  
か。
  - ・ メールプロファイルに設定されている内容に誤りが  
ないか。

**KAVT3211-W**

The send destination address is ambiguous. 保守情報  
送信先メールアドレスはあいまいなアドレスです 保守情  
報

指定されたメールアドレスでは、メール送信ジョブの送信  
先を特定できません。

- (S)  
特定できないメールアドレスを送信先から削除し、  
メール送信ジョブの処理を続行します。
- (O)  
保守情報 (指定したすべてのメールアドレスのうち、  
特定できないアドレスの個数) を参照して、指定した  
メールアドレスが正しいか確認してください。  
また、メールサーバに登録されているすべてのアカウ  
ントのプロパティをテキストなどの外部ファイルに出  
力し、指定したメールアドレスが、メールアドレス以  
外のプロパティ (例: 「名」、「姓」、「事業所」など)  
と重複していないか、検索して確認してください。  
メールサーバに登録されているアカウントのプロパ  
ティをテキストなどの外部ファイルに出力する方法  
は、各メールサーバのマニュアルを参照してくださ

い。

#### KAVT3212-E

None of the specified mail addresses exist or all the mail addresses were specified incorrectly, so sending of the mail will now stop. (mapi\_code=xxxxxxx)

送信先メールアドレスが1件も存在しないか、指定されたすべてのメールアドレスが正しくないため、メール送信を中止します (mapi\_code=xxxxxxx)

次に示す原因のため、メール送信を中止します。

- メール送信ジョブにメールアドレスが1件も指定されていない。
- 指定したすべてのメールアドレスが送信先のメールシステム内に見つからない。
- 指定したメールアドレスが登録されているすべてのメールシステムが見つからない。

(S)

処理を中止します。

(O)

メール送信ジョブにメールアドレスを指定していない場合は指定してください。

指定したメールアドレスが送信先のメールシステムに登録されているか、メールシステムが起動されて通信可能な状態か、確認してください。

mapi\_codeの内容については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.10(4) メール送信ジョブ・メール受信監視ジョブが異常終了する」を参照してください。

また、送信先のメールアドレスに対して、JP1/AJS2を使用しないで、Microsoft Outlook 単体でメールを送受信できるか、送受信の途中で応答を求めるダイアログボックスが表示されないかを確認してください。送受信できない場合やダイアログボックスが表示される場合は、メールプロファイル中の次の設定を確認して送受信できるようにし、そのあとでメール送信ジョブを実行してください。

- 接続先に指定したメールシステム名が正しいか。
- 指定したメールアカウントが接続先のメールシステムに登録されているか。
- メールアカウントに設定したパスワードは正しいか。
- メールプロファイルに設定されている内容に誤りがないか。

#### KAVT3268-I

Sent mail.

メールを送信しました

メールを送信しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT3271-E

Mail could not be sent.

メールの送信に失敗しました

メールの送信に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

直前に出力された、メールの送信に関するエラーまたは警告のメッセージを参照して、対応してください。

#### KAVT3273-I

Processing of mail sending will now start.

メール送信処理を開始します

メール送信処理を開始します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT3274-I

Processing of mail sending will now end.

メール送信処理を終了します

メール送信処理を終了します。

(S)

処理を終了します。

#### KAVT3275-E

The environment variable is specified incorrectly. (指定したデータ)

環境変数の指定が不正です (指定したデータ)

環境変数を誤って指定しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムのリソースを確認して、再実行してください。

#### KAVT3276-E

The data is specified incorrectly. (指定したデータ)

データの指定が不正です (指定したデータ)

メール送信ジョブの定義で、誤って指定しているデータがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

メール送信ジョブの定義のうち、(指定したデータ)に表示された部分 (メールの本文ファイル、添付ファイル、または添付ファイルのリストファイル)を確認してください。



**KAVT3277-E**

A required item is missing.  
必須項目が指定されていません

必要な項目を指定していません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メール送信定義で必要な項目を指定したあと、再実行してください。

**KAVT3278-E**

The parameter is specified incorrectly. (指定したデータ)  
パラメーターの指定が不正です (指定したデータ)

パラメーターを誤って指定しています。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
誤りのあるパラメーターを修正したあと、再実行してください。

**KAVT3279-E**

The configuration definition could not be read. (リターンコード)  
構成定義情報の読み込みに失敗しました (リターンコード)

[ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ メール連携 ] タブで設定する内容がシステムから読み込めません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
JP1/AJS2 が正しくインストールされているか、または [ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ メール連携 ] タブで正しく情報が設定されているか確認してください。  
また、次に示すアカウントの権限に Administrators 権限が設定されているか確認してください。  
  - JP1/AJS2 - View にログインする JP1 ユーザーがマッピングされている OS ユーザーのアカウント
  - JP1/AJS2 サービスでアカウントに OS ユーザーを設定している場合の、OS ユーザーのアカウント
  - メール連携でサービスを使用する場合、JP1/AJS2 Mail サービスに設定している OS ユーザーのアカウント
確認できない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVT3280-E**

You are not authorized to access the configuration definition. (リターンコード)  
構成定義情報へのアクセス権がありません (リターンコード)

構成定義情報へのアクセス権がありません。メールを送信する場合には、JP1/AJS2 の情報を参照できる権限のユーザーで実行する必要があります。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
Administrators 権限のあるユーザーで実行してください。

**KAVT3281-E**

The specified key does not exist in the configuration definition. (リターンコード)  
構成定義情報に指定キーが存在しません (リターンコード)

[ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ メール連携 ] タブで設定する内容がシステムから読み込めません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
JP1/AJS2 が正しくインストールされているか、または [ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ メール連携 ] タブで正しく情報が設定されているか確認してください。  
また、次に示すアカウントの権限に Administrators 権限が設定されているか確認してください。
  - JP1/AJS2 - View にログインする JP1 ユーザーがマッピングされている OS ユーザーのアカウント
  - JP1/AJS2 サービスでアカウントに OS ユーザーを設定している場合の、OS ユーザーのアカウント
  - メール連携でサービスを使用する場合、JP1/AJS2 Mail サービスに設定している OS ユーザーのアカウント
確認できない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVT3282-E**

An unexpected error occurred. (GetLastError関数のリターンコード)  
予期せぬエラーが発生しました (GetLastError関数のリターンコード)

メール送信ジョブで予期しないエラーが発生しました。

- (S)  
処理を中断します。

## KAVT3283-E ~ KAVT3289-E

- (O) 直前に出力されたメッセージを参照して、または Windows の GetLastError() 関数のリターンコードを調べて、対処してください。

### KAVT3283-E

The process will now stop because the mail monitoring process or service terminated.  
メール監視プロセスまたはサービスの停止により処理を中止します

メール監視プロセス、またはサービスの停止によって処理を中止します。

- (S) 処理を中断します。
- (O) その前に出力されたメッセージを参照して、要因を特定してください。

### KAVT3284-E

Contact with the mail monitoring process or service failed. (GetLastError関数のリターンコード)  
メール監視プロセスまたはサービスへの連絡に失敗しました ( GetLastError関数のリターンコード )

メール監視プロセス、またはサービスへの連絡に失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) JP1/AJS2 のメール監視プロセス、またはサービスが起動しているか確認してください。

### KAVT3285-E

Communication with the mail monitoring process or the service failed.  
メール監視プロセスまたはサービスへの通信に失敗しました

メール監視プロセス、またはサービスへの通信に失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) JP1/AJS2 のメール監視プロセス、またはサービスが起動しているか確認してください。

### KAVT3286-E

Communication of mail information failed.  
メール情報の通信に失敗しました

メール情報の通信に失敗しました。

- (S)

処理を中断します。

- (O) JP1/AJS2 のメール監視プロセス、またはサービスが起動しているか確認してください。

### KAVT3287-E

The communication pipe could not be created.  
通信パイプの作成に失敗しました

通信パイプの作成に失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) JP1/AJS2 のメール監視プロセス、またはサービスが起動しているか確認してください。

### KAVT3288-E

The thread could not be created. (GetLastError関数のリターンコード)  
スレッドの作成に失敗しました ( GetLastError関数のリターンコード )

メール送信ジョブでスレッドの作成に失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) Windows の GetLastError() 関数のリターンコードを調べて、対処してください。  
対処できない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

### KAVT3289-E

Fail to acquire completion status of thread. (GetLastError関数のリターンコード)  
スレッドの終了状態の取得に失敗しました ( GetLastError関数のリターンコード )

メール送信ジョブでスレッドの終了状態の取得に失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) Windows の GetLastError() 関数のリターンコードを調べて、対処してください。  
対処できない場合は、システム管理者に連絡して資料を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

**KAVT3290-E**

Memory became insufficient.  
メモリーが不足しています

メモリーが不足しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

**KAVT3291-E**

JP1/AJS2 mail monitoring process or service is not running. (GetLastError関数のリターンコード)  
JP1/AJS2メール監視プロセスまたはサービスが起動していません (GetLastError関数のリターンコード)

JP1/AJS2 メール監視プロセス、またはサービスが起動していません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 のメール監視プロセス、またはサービスを起動してください。

**KAVT3292-E**

The installation path for JP1/AJS2 could not be acquired. (リターンコード)  
JP1/AJS2のインストールパスが取得できませんでした (リターンコード)

JP1/AJS2 のインストールパスが取得できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 が正しくインストールされているか確認してください。または、メール送信ジョブを実行するユーザーに、レジストリーを参照する権限があるか確認してください。

**KAVT3293-E**

An error was detected in the mail monitoring process or service. (MAPI関数のリターンコード)  
メール監視プロセスまたはサービスで異常を検出しました (MAPI関数のリターンコード)

メール監視プロセス、またはサービスで異常を検出しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の MAPI Code と「MAPI 関数のリターンコード」

を対比してエラーの詳細を調べ、対処してください。  
また、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17. トラブルシューティング」を参照してください。

- 8004010D: ディスク容量が不足しています
- 8004010E: リソースが不足しています
- 80040111: ログオンに失敗しました
- 80040115: ネットワーク障害が発生しています
- 80040116: ディスク入出力エラーです
- 80040124: メールアカウントが無効になっています
- 8004010F: 送信先アドレスがありません
- 80040607: 送信先アドレスがありません
- 80040700: 送信先アドレスがあいまいです

**KAVT3294-E**

Operating environment of mail linkage is invalid. (definition=UNIX)  
メール連携機能の使用環境が不正です (定義内容=UNIX)

メール連携機能の環境設定で不正な文字が使用されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ メール連携 ] タブで、メール連携機能でデスクトップまたはサービスを使用する設定をしてください。

**KAVT3295-E**

No environment has been defined.  
環境設定がされていません

メール連携の設定がされていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ メール連携 ] タブで、メール連携機能でデスクトップまたはサービスを使用する設定をしたあと、メール送信ジョブを実行してください。

**KAVT3296-E**

The environment settings include an invalid character. (definition=実行モード)  
環境設定に不正な文字が設定されています (定義内容=実行モード)

メール連携機能の環境設定で不正な文字が使用されています。

(S)

処理を中断します。

## KAVT3297-E ~ KAVT3304-E

- (O) メッセージの(定義内容=実行モード)に表示された内容を確認したあと,[環境設定]ダイアログボックスの[メール連携]タブで,メール連携機能でデスクトップまたはサービスを使用する設定をしてください。

### KAVT3297-E

The length of the text exceeds the maximum.

本文の長さが上限を超えました

本文の長さが上限を超えました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 本文の上限値を確認してください。上限値については,マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 13. ウィンドウとダイアログボックス」を参照してください。

### KAVT3298-E

The folder specified for storing mail text files does not exist. (フォルダ名)

指定された本文ファイルを格納するフォルダが存在しません(フォルダ名)

指定された本文ファイルを格納するフォルダがありません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 指定したファイルの格納フォルダがあるか確認してください。

### KAVT3299-E

The folder specified for storing the attached files does not exist. (フォルダ名)

指定された添付ファイル格納フォルダが存在しません(フォルダ名)

指定された添付ファイル格納フォルダがありません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 指定したファイルの格納フォルダがあるか確認してください。

### KAVT3300-E

The folder specified for storing the list of attached files does not exist. (フォルダ名)

指定された添付ファイルリストを格納するフォルダが存在しません(フォルダ名)

指定された添付ファイルリストを格納するフォルダがありません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 指定したファイルの格納フォルダがあるか確認してください。

### KAVT3301-E

The specified mail text file does not exist. (ファイル名)  
指定された本文ファイルは存在しません(ファイル名)

指定された本文ファイルはありません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 指定したファイルがあるか確認してください。

### KAVT3302-E

The text file could not be read. (ファイル名)  
本文ファイルの読み込みに失敗しました(ファイル名)

本文ファイルの読み込みに失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 指定したファイルが正しいか確認してください。

### KAVT3303-E

The specified attached file or files do not exist.  
指定された添付ファイルまたは添付ファイルリストは存在しません

指定された添付ファイル,または添付ファイルリストはありません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 指定したファイルがあるか確認してください。

### KAVT3304-E

The attached files or list of attached files could not be read.  
添付ファイルまたは添付ファイルリストの読み込みに失敗しました

添付ファイル,または添付ファイルリストの読み込みに失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O)

指定したファイルが正しいか確認してください。

#### KAVT3401-I

Start JP1/AJS2 Mail monitor process.  
JP1/AJS2メール監視プロセスを起動します

JP1/AJS2 メール監視プロセスを起動します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT3402-I

The JP1/AJS2 mail monitoring process started.  
JP1/AJS2メール監視プロセスを起動しました

JP1/AJS2 メール監視プロセスを起動しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT3403-I

Start JP1/AJS2 Mail monitoring service.  
JP1/AJS2メール監視サービスを起動します

JP1/AJS2 メール監視サービスを起動します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT3404-I

The JP1/AJS2 mail monitoring service started.  
JP1/AJS2メール監視サービスを起動しました

JP1/AJS2 メール監視サービスを起動しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT3405-I

The JP1/AJS2 mail monitoring process will now end.  
JP1/AJS2メール監視プロセスを停止します

JP1/AJS2 メール監視プロセスを停止します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT3406-I

JP1/AJS2 Mail monitoring process stopped.  
JP1/AJS2メール監視プロセスを停止しました

JP1/AJS2 メール監視プロセスを停止しました。

(S)

処理を終了します。

#### KAVT3407-I

The JP1/AJS2 mail monitoring service will now end.  
JP1/AJS2メール監視サービスを停止します

JP1/AJS2 メール監視サービスを停止します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT3408-I

JP1/AJS2 Mail service stopped.  
JP1/AJS2メール監視サービスを停止しました

JP1/AJS2 メール監視サービスを停止しました。

(S)

処理を終了します。

#### KAVT3409-E

The environment definition could not be read.  
環境定義の読み込みに失敗しました

[ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ メール連携 ] タブで  
設定する内容がシステムから読み込めません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 が正しくインストールされているか、または  
[ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ メール連携 ]  
タブで正しく情報が設定されているか確認してくださ  
い。

また、次に示すアカウントの権限に Administrators  
権限が設定されているか確認してください。

- JP1/AJS2 - View にログインする JP1 ユーザーが  
マッピングされている OS ユーザーのアカウント
- JP1/AJS2 サービスでアカウントに OS ユーザーを  
設定している場合の、OS ユーザーのアカウント
- メール連携でサービスを使用する場合、JP1/AJS2  
Mail サービスに設定している OS ユーザーのアカ  
ウント

確認できない場合は、システム管理者に連絡して資料  
を採取してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」  
を参照してください)。

#### KAVT3420-W

The data set for inheritance information (切り詰められた  
データのマクロ変数名) is too long and was truncated to  
マクロ変数の最大サイズ bytes.

引継ぎ情報 (切り詰められたデータのマクロ変数名) に設  
定するデータが長い場合、マクロ変数の最大サイズバイト  
に切り詰めました

引き継ぎ情報の設定するデータが、マクロ変数の最大サイ  
ズより大きい場合、データを最大サイズに切り詰めまし  
た。

## KAVT3451-I ~ KAVT3460-E

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
後続のジョブが正しく動作できたかを確認してください。

### KAVT3451-I

The mail linkage communication process will now start.  
メール連携通信プロセスを起動します

メール連携通信プロセスを起動します。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVT3452-I

The mail linkage communication process started.  
メール連携通信プロセスが起動しました

メール連携通信プロセスが起動しました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVT3453-I

The mail linkage communication process stopped.  
メール連携通信プロセスを停止しました

メール連携通信プロセスを停止しました。

- (S)  
処理を終了します。

### KAVT3454-I

Mail reception monitoring will now start.  
メール受信監視を開始します

メール受信監視を開始します。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVT3455-E

Mail reception monitoring will now stop.  
メール受信監視を中止します

メール受信監視を中止します。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
その前に出力されたエラーメッセージを参照して、原因を特定してください。

### KAVT3456-I

The reception of messages that satisfy the conditions was confirmed.

条件にあったメールの受信を確認しました

条件に合ったメールの受信を確認しました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVT3457-I

Monitoring of mail reception will now end because the time-out period elapsed.

打ち切り時間になったため、メール受信監視を終了します

打ち切り時間になったため、メール受信監視を終了します。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVT3458-I

Method of mail monitor is "JP1/AJS2 Mail Service" か "JP1/AJS2 Mail Process".

メール監視の方法=メール連携の方法 ("JP1/AJS2 Mail Service" か "JP1/AJS2 Mail Process") が設定されます。

メール監視の方法を設定します。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVT3459-E

Method of mail monitor is not established. Please set up environment.

メール監視の方法が設定されていません。環境設定を行ってください。

環境定義の情報を確認したあと、再実行してください。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
環境定義の情報を確認したあと、再実行してください。

### KAVT3460-E

Cannot recognize method of mail monitoring. Please set up environment again. (設定内容)

メール監視の方法を認識できません。環境設定をやり直してください。(設定内容)

メール連携機能の環境設定で不正な文字が使用されています。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)

メッセージの（設定内容）に表示された内容を確認したあと、[ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ メール連携 ] タブで、メール連携機能でデスクトップまたはサービスを使用する設定をしてください。

#### KAVT3461-W

An error occurred during creation of a macro variable.  
マクロ変数作成中にエラーが発生しました

マクロ変数作成中にエラーが発生しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
その前に出力されたエラーメッセージを参照して原因を特定してください。

#### KAVT3462-W

A macro variable exceeds 4096 bytes. Some macro variables could not be created.  
マクロ変数が4096バイトを越えました。作成できなかったマクロ変数があります。

マクロ変数が 4,096 バイトを超えました。作成できなかったマクロ変数があります。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
マクロ変数は 4,096 バイトを超えないように設定してください。

#### KAVT3463-E

The platform is specified incorrectly.  
プラットフォームの指定に誤りがあります

プラットフォームを誤って指定しています。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
プラットフォームを確認したあと、再実行してください。

#### KAVT3464-W

The mail monitoring process or service is not running.  
メール監視プロセスまたはサービスが起動していません

メール監視プロセス、またはサービスが起動していません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メール監視プロセス、またはサービスを起動してください。

#### KAVT3465-I

Start of the mail monitoring process or service was confirmed.

メール監視プロセスまたはサービスの起動を確認しました

メール監視プロセス、またはサービスの起動を確認しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT3466-E

The definition of the mail monitoring job is invalid.  
メール受信監視ジョブの定義に誤りがあります

メール受信監視ジョブを誤って定義しています。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メール受信監視ジョブの定義を修正したあと、再実行してください。

#### KAVT3467-E

Memory became insufficient.  
メモリー不足が発生しました

メモリー不足が発生しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

#### KAVT3468-E

An event for canceling registration of a job could not be created.  
ジョブ登録解除用イベントの作成に失敗しました

ジョブ登録解除用イベントの作成に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
イベントサーバの状態を確認してください。

#### KAVT3469-E

The option for not linking mail is selected. Mail reception will not be monitored.  
メール連携をしない状態が選択されています。メール受信監視は行いません。

メール連携の設定がされていません。

- (S)  
処理を中断します。

## KAVT3473-E ~ KAVT3514-E

(O)

[ 環境設定 ] ダイアログボックスの [ メール連携 ] タブで、メール連携機能でデスクトップまたはサービスを使用する設定をしたあと、メール受信監視ジョブを実行してください。

### KAVT3473-E

The count of the mail monitoring job is over a max job's count. (Max job's count=制限登録数)  
メール受信監視ジョブの登録数が制限値 (制限登録数) を越えました

メール受信監視ジョブの登録数が、制限値を超えました。

(S)

処理を中断します。

(O)

必要に応じて、制限値以下になるように、メール受信監視ジョブの登録を解除してください。  
制限値については、マニュアル「JPI/Automatic Job Management System 2 連携ガイド 2.5.1 メール受信の定義方法」の注意事項を参照してください。

### KAVT3499-E

An unexpected error occurred. (保守情報)  
予期しないエラーが発生しました (保守情報)

メール受信監視ジョブのプロセス間通信でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

直前に出力されたメッセージを参照して、または保守情報 (Windows の GetLastError 関数のリターンコード) を調べて、対処してください。

### KAVT3501-I

The mail reception process will now start.  
メール受信プロセスを開始します

メール受信プロセスを開始します。

(S)

処理を続行します。

### KAVT3502-I

The mail reception process will now end.  
メール受信プロセスを終了します

メール受信プロセスを終了します。

(S)

処理を終了します。

### KAVT3504-E

Failed to analyze job data. (DBデータ) (関数のエラーコード)  
ジョブデータの解析に失敗しました (DBデータ) (関数のエラーコード)

ジョブのデータを解析する関数で失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブの定義に誤りがないか確認してください。

### KAVT3512-E

Memory became insufficient. (保守情報)  
メモリー不足が発生しました (保守情報)

メモリー不足が発生しました。

(S)

該当する処理を打ち切り、処理を続行します。

(O)

システム内に空き領域があるか確認してください。

### KAVT3513-E

Failed to get Pipe Data (保守情報) (保守情報)  
パイプデータの取得に失敗しました (保守情報) (保守情報)

エージェントからのパイプの受信に失敗しました。

(S)

パイプの処理を打ち切ります。発生個所によって、メール受信プロセスを終了します。ジョブの実行状態が正しくないおそれがあります。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JPI/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT3514-E

Failed to send Pipe Data (保守情報) (保守情報)  
パイプデータの送信に失敗しました (保守情報) (保守情報)

エージェントへのパイプの送信に失敗しました。

(S)

パイプの処理を打ち切り、処理を続行します。ジョブの実行状態が正しくないおそれがあります。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。



- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT3515-E

An auxiliary file could not be opened. (保守情報) (保守情報)  
補助ファイルのオープンに失敗しました (保守情報) (保守情報)

エージェントからの補助ファイルのオープンに失敗しました。

- (S) 該当するジョブの要求を異常終了します。
- (O) 次のことを確認してください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT3519-W

A macro variable exceeds 4096 bytes.  
マクロ変数が4096バイトを超えました

変換後のマクロ変数が 4,096 バイトを超えました。

- (S) 変換後のマクロ変数が 4,096 バイトを超えたため、以降のマクロ変数を切り捨てて処理を続行します。
- (O) マクロ変数のうち 4,096 バイトを超えた部分が渡っていません。確認して、問題がある場合にはジョブの定義を見直してください。

#### KAVT3520-E

Failed to start. (保守情報) (保守情報)  
起動処理に失敗しました (保守情報) (保守情報)

プロセスの起動準備処理に失敗しました。

- (S) メール受信プロセスを終了します。
- (O) メール受信プロセスを再起動してください。

#### KAVT3521-W

An error occurred during analysis of macro variables. (保守情報) (保守情報)  
マクロ変数の解析でエラーが発生しました (保守情報) (保守情報)

マクロ変数の解析処理でエラーが発生しました。

- (S) マクロ変数を作成しないで、ジョブを異常終了させま

す。

- (O) 必要に応じて、ジョブを再実行してください。

#### KAVT3522-W

Information could not be output. (保守情報) (保守情報)  
情報の出力に失敗しました (保守情報) (保守情報)

標準エラー出力への情報の出力に失敗しました。

- (S) メモリーが不足したため、情報を出力しないで、処理を続行します。
- (O) システム内の空き領域があるか確認してください。

#### KAVT3523-W

Forced termination request received.  
強制終了要求を受け付けました

強制終了要求を受け付けました。ジョブを強制終了します。

- (S) 強制終了要求によって、該当するジョブを強制終了します。

#### KAVT3524-W

Cancel time up.  
打ち切り時間が経過しました

打ち切り時間が経過しました。ジョブを打ち切ります。

- (S) 打ち切り時間指定によって、該当するジョブを打ち切り終了します。

#### KAVT3525-W

Mail Lock File(保守情報)could not be created.(保守情報)(保守情報)  
ロックファイル (保守情報) の作成に失敗しました (保守情報) (保守情報)

ファイルをロックするためのロックファイルの作成でエラーが発生しました。

- (S) 処理を中断し、監視間隔を待ったあと、処理を続行します。
- (O) このメッセージが連続して出力される場合、保守情報からエラーの要因を調査してください。

#### KAVT3526-W

---

Mail File(保守情報)can not be locked, because the file is being used by another application.

メールファイル（保守情報）が他プログラムで使用中のためロックできません

監視しているメールファイルにロックが掛かっているため、ロック処理に失敗しました。

- (S)
- 該当する処理を打ち切り、監視間隔を待ったあと、処理を続行します。

#### KAVT3528-W

---

Mail File(保守情報)could not be opened.(保守情報)  
メールファイル（保守情報）のオープンに失敗しました（保守情報）

メールファイルのオープンに失敗しました。

- (S)
- 該当する処理を打ち切り、処理を続行します。
- (O)
- ファイルがオープンされなかった原因を、保守情報から調べて対処してください。

#### KAVT3530-E

---

A mail lock file (ロックファイル名) could not be released. (保守情報) (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
ロックファイル（ロックファイル名）の解除に失敗しました（保守情報）（保守情報, システムのエラーメッセージ）

ロックファイルの解除に失敗しました。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 内部エラーのため資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVT3531-W

---

Mail File(保守情報)could not be read.(保守情報)(保守情報)  
メールファイル（保守情報）の読み込みに失敗しました（保守情報）（保守情報）

メールファイルの読み込みに失敗しました。

- (S)
- 該当する処理を打ち切り、処理を続行します。
- (O)
- ファイルが読み込まれなかった原因を、保守情報から調べて対処してください。

#### KAVT3532-W

---

Mail File(保守情報)could not be deleted.(保守情報)(保守情報)  
メールファイル（保守情報）の削除に失敗しました（保守情報）（保守情報）

メールファイルの削除に失敗しました。

- (S)
- 該当する処理を打ち切り、処理を続行します。
- (O)
- ファイルが削除されなかった原因を、保守情報から調べて対処してください。

#### KAVT3533-W

---

A mail file (メールファイル名) could not be written. (保守情報) (保守情報) (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
メールファイル（メールファイル名）の書き込みに失敗しました（保守情報）（保守情報）（保守情報, システムのエラーメッセージ）

メールファイルの書き込みに失敗しました。

- (S)
- 該当する処理を打ち切り、処理を続行します。
- (O)
- 保守情報およびシステムのエラーメッセージから、ファイルが書き込まれなかった原因を調べて、対処してください。

#### KAVT3534-E

---

Mail Watching ended. (保守情報) (保守情報)  
メール受信プロセスを終了します（保守情報）（保守情報）

メール受信プロセスが異常を検知し終了しました。

- (S)
- 処理中に続行できないエラーが発生したため、メール受信プロセスを終了します。
- (O)
- 直前に出力されているメッセージの対処方法に従ってください。正しく動作させるには、JP1/AJS2 を再起動してください。

#### KAVT3538-W

---

The environment definition could not be read. (保守情報) (保守情報)  
環境定義の読み込みに失敗しました（保守情報）（保守情報）

環境定義の読み込みに失敗しました。

- (S)
- 処理を続行します。

(O)

環境定義内容を確認したあと、必要に応じて、JP1/AJS2 を再起動してください。

#### KAVT3539-W

No monitoring user name is specified.  
監視ユーザー名の指定がありません

環境定義に監視ユーザー名を指定していません。

(S)

処理を続行します。

(O)

環境定義を再定義してください。

#### KAVT3540-W

No mail file directory is specified.  
メールファイルディレクトリの指定がありません

環境定義にメールファイルディレクトリを指定していません。

(S)

処理を続行します。

(O)

環境定義を再定義してください。

#### KAVT3541-W

The file for saving mail is not specified.  
メール保存先ファイルの指定がありません

環境定義にメール保存先ファイルを指定していません。

(S)

処理を続行します。

(O)

環境定義を再定義してください。

#### KAVT3542-W

The monitoring user name exceeds (指定バイト長) bytes.  
監視ユーザー名長が (指定バイト長) バイトを超えています

環境定義の監視ユーザー名の指定が、指定最大バイト長を超えています。

(S)

処理を続行します。

(O)

環境定義を再定義してください。

#### KAVT3543-W

The mail file directory name exceeds (指定バイト長) bytes.

メールファイルディレクトリ名長が (指定バイト長) バイトを超えています

環境定義のメールファイルディレクトリ名の指定が、指定最大バイト長を超えています。

(S)

処理を続行します。

(O)

環境定義を再定義してください。

#### KAVT3544-W

The name of the file for saving mail exceeds (指定バイト長) bytes.

メール保存先ファイル名長が (指定バイト長) バイトを超えています

環境定義のメール保存先ファイル名の指定が、指定最大バイト長を超えています。

(S)

処理を続行します。

(O)

環境定義を再定義してください。

#### KAVT3545-W

No directory is specified for backing up mismatched mail.  
不一致メール退避先ディレクトリの指定がありません

環境定義に、不一致メール退避先ディレクトリを指定していません。

(S)

処理を続行します。

(O)

必要に応じて、環境定義を再定義してください。

#### KAVT3546-W

The name of the directory for backing up mismatched mail exceeds (指定バイト長) bytes.  
不一致メール退避先ディレクトリ名長が (指定バイト長) バイトを超えています

環境定義の不一致メール退避先ディレクトリ名の指定が、指定最大バイト長を超えています。

(S)

処理を続行します。

(O)

環境定義を再定義してください。

#### KAVT3547-W

---

Information about mail file (メールファイル名) could not be obtained: (保守情報, 保守情報, システムのエラーメッセージ)

メールファイル (メールファイル名) の情報取得に失敗しました: (保守情報, 保守情報, システムのエラーメッセージ)

---

メールファイルのファイル情報の取得に失敗しました。

- (S) 処理を中断し, 監視間隔を待って, 処理を続行します。
- (O) 保守情報およびシステムのエラーメッセージから, ファイル情報が取得されなかった原因を調べて, 対処してください。

#### KAVT3548-W

---

The input file for the mail filtering application could not be opened: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メールフィルタアプリケーションの入力ファイルのオープンに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

---

メールフィルタアプリケーションの, 入力ファイルのオープンに失敗しました。

- (S) 処理を中断し, 監視間隔を待って, 処理を続行します。
- (O) 保守情報およびシステムのエラーメッセージから, ファイルがオープンされなかった原因を調べて, 対処してください。

#### KAVT3549-W

---

The input file for the mail filtering application could not be written to: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メールフィルタアプリケーションの入力ファイルへの書き込みに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

---

メールフィルタアプリケーションの, 入力ファイルへの書き込みに失敗しました。

- (S) 処理を中断し, 監視間隔を待って, 処理を続行します。
- (O) 保守情報およびシステムのエラーメッセージから, メールが書き込まれなかった原因を調べて, 対処してください。

#### KAVT3550-W

---

The output file from the mail filtering application could not be read: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メールフィルタアプリケーションからの出力ファイルの読み込みに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

---

メールフィルタアプリケーションの, 出力ファイルからの読み込みに失敗しました。

- (S) 処理を中断し, 監視間隔を待って, 処理を続行します。
- (O) 保守情報およびシステムのエラーメッセージから, メールが読み込まれなかった原因を調べて, 対処してください。

#### KAVT3551-E

---

An error occurred in the mail filtering application.

Return value: メールフィルタアプリケーションのリターン値

メールフィルタアプリケーションが失敗しました  
リターン値: メールフィルタアプリケーションのリターン値

---

メールフィルタアプリケーションの内部で, エラーが発生してメールが正しく変換されませんでした。

- (S) 処理を中断し, 監視間隔を待って, 処理を続行します。
- (O) メールフィルタアプリケーションを確認してください。

#### KAVT3552-W

---

Mail could not be taken out of the mail file.

メールファイルからのメールの取り出しに失敗しました

---

監視しているユーザーのメールファイルから, メールを取得に失敗しました。

- (S) 処理を中断し, 監視間隔を待って, 処理を続行します。

#### KAVT3553-W

---

The inherited mail file (ファイル名) could not be opened: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

引き継ぎメールファイル (ファイル名) のオープンに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

---

引き継ぎ用のメールファイルのオープンに失敗しました。

- (S) 引き継ぎ情報がないまま, 該当のジョブは終了します。

(O)

保守情報およびシステムのエラーメッセージから、ファイルがオープンされなかった原因を調べて、対処してください。必要に応じて、ジョブを再実行してください。

**KAVT3554-W**

The inherited mail file (ファイル名) could not be written to: (保守情報、システムのエラーメッセージ)  
引き継ぎメールファイル (ファイル名) の書き込みに失敗しました: (保守情報、システムのエラーメッセージ)

引き継ぎ用のメールファイルの書き込みに失敗しました。

(S)

引き継ぎ情報がないまま、該当のジョブは終了します。

(O)

保守情報およびシステムのエラーメッセージから、メールが書き込まれなかった原因を調べて、対処してください。必要に応じて、ジョブを再実行してください。

**KAVT3555-W**

The inherited mail file (ファイル名) could not be closed: (保守情報、システムのエラーメッセージ)  
引き継ぎメールファイル (ファイル名) のクローズに失敗しました: (保守情報、システムのエラーメッセージ)

引き継ぎ用のメールファイルのクローズに失敗しました。

(S)

引き継ぎ情報がないまま、該当のジョブは終了します。

(O)

保守情報およびシステムのエラーメッセージから、ファイルがクローズされなかった原因を調べて、対処してください。必要に応じて、ジョブを再実行してください。

**KAVT3556-W**

The file for saving mail (ファイル名) could not be opened: (保守情報、システムのエラーメッセージ)  
メール保存先ファイル (ファイル名) のオープンに失敗しました: (保守情報、システムのエラーメッセージ)

メール保存先ファイルのオープンに失敗しました。

(S)

該当のジョブは終了して、処理を続行します。

(O)

保守情報およびシステムのエラーメッセージから、ファイルがオープンされなかった原因を調べて、対処してください。必要に応じて、ジョブを再実行してください。

**KAVT3557-W**

The file for saving mail (ファイル名) could not be written to: (保守情報、システムのエラーメッセージ)  
メール保存先ファイル (ファイル名) の書き込みに失敗しました: (保守情報、システムのエラーメッセージ)

メール保存先ファイルの書き込みに失敗しました。

(S)

該当のジョブは終了して、処理を続行します。

(O)

保守情報およびシステムのエラーメッセージから、メールが書き込まれなかった原因を調べて、対処してください。必要に応じて、ジョブを再実行してください。

**KAVT3558-W**

The file for saving mail (ファイル名) could not be closed: (保守情報、システムのエラーメッセージ)  
メール保存先ファイル (ファイル名) のクローズに失敗しました: (保守情報、システムのエラーメッセージ)

メール保存先ファイルのクローズに失敗しました。

(S)

該当のジョブは終了して、処理を続行します。

(O)

保守情報およびシステムのエラーメッセージから、ファイルがクローズされなかった原因を調べて、対処してください。

**KAVT3559-E**

The mail filtering application could not be called: (保守情報、システムのエラーメッセージ)  
メールフィルタアプリケーションの呼び出しに失敗しました: (保守情報、システムのエラーメッセージ)

メールフィルタアプリケーションの呼び出しに失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

メールフィルタアプリケーションを確認してください。

**KAVT3560-W**

The output file from the mail filtering application could not be opened: (保守情報、システムのエラーメッセージ)  
メールフィルタアプリケーションの出力ファイルのオープンに失敗しました: (保守情報、システムのエラーメッセージ)

メールフィルタアプリケーションの、出力ファイルのオープンに失敗しました。

(S)

## KAVT3561-W ~ KAVT3567-W

処理を続行します。

(O)

保守情報およびシステムのエラーメッセージから、ファイルがオープンされなかった原因を調べて、対処してください。

### KAVT3561-W

---

File information about the mail filtering application could not be obtained: (保守情報、システムのエラーメッセージ)  
メールフィルタアプリケーションの出力ファイルの情報取得に失敗しました: (保守情報、システムのエラーメッセージ)

---

メールフィルタアプリケーションの、出力ファイルの情報取得に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

保守情報およびシステムのエラーメッセージから、ファイルの情報が取得されなかった原因を調べて、対処してください。

### KAVT3562-E

---

The file output from the mail filtering application contains no mail.  
メールフィルタアプリケーションの出力ファイル中にメールがありません

---

メールフィルタアプリケーションが、出力したファイル中にメールがありませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

メールフィルタアプリケーションを確認してください。

### KAVT3563-W

---

Unrecognized data exists at the beginning of the mail file.  
メールファイルの先頭に認識できないデータが存在します

---

監視しているメールファイルの先頭に不適切なデータがあります。

(S)

不適切なデータをメールに残し、処理を続行します。

(O)

必要に応じて、JP1/AJS2 を停止したあと、不適切なデータを削除してください。

### KAVT3564-W

---

The mail file has no recognizable data.  
メールファイル中に認識できるメールがありません

---

監視しているメールファイル中に不当なデータだけがあります。

(S)

不適切なデータをメールに残し、処理を続行します。

(O)

必要に応じて、JP1/AJS2 を停止したあと、不適切なデータを削除してください。

### KAVT3565-W

---

The arrival date of the mail cannot be confirmed.  
メールの到着日付が確認できません

---

メールに到着日付がありませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

必要に応じて、JP1/AJS2 を停止したあと、メールシステムを確認してください。

### KAVT3566-W

---

Mail File could not be compressed.: 保守情報 (保守情報、システムのエラーメッセージ)  
メールファイルの縮小に失敗しました: 保守情報 (保守情報、システムのエラーメッセージ)

---

メールファイルの縮小処理が失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

保守情報およびシステムのエラーメッセージから、書き換えの処理に失敗した原因を調べて、対処してください。

### KAVT3567-W

---

The mail reception list file (ファイル名) could not be created.  
メール受信リストファイル (ファイル名) の作成に失敗しました

---

メール受信リストファイルの作成に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

このメッセージの前に出力されているメッセージを参照して対応してください。

**KAVT3568-W**

The mail reception list file (ファイル名) could not be opened: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
 メール受信リストファイル (ファイル名) のオープンに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メール受信リストファイルのオープンに失敗しました。

- (S)  
 処理を続行します。
- (O)  
 保守情報およびシステムのエラーメッセージから、  
 ファイルがオープンされなかった原因を調べて、対処してください。

**KAVT3569-W**

The mail reception list file (ファイル名) could not be written to: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
 メール受信リストファイル (ファイル名) の書き込みに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メール受信リストファイルの書き込みに失敗しました。

- (S)  
 処理を続行します。
- (O)  
 保守情報およびシステムのエラーメッセージから、  
 受信リストが書き込まれなかった原因を調べて、対処してください。

**KAVT3570-W**

The mail reception list file (ファイル名) could not be closed: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
 メール受信リストファイル (ファイル名) のクローズに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メール受信リストファイルのクローズに失敗しました。

- (S)  
 処理を続行します。
- (O)  
 保守情報およびシステムのエラーメッセージから、  
 ファイルがクローズされなかった原因を調べて、対処してください。

**KAVT3571-W**

The error mail file (ファイル名) could not be opened: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
 障害用メールファイル (ファイル名) のオープンに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

障害用メールファイルのオープンに失敗しました。

- (S)  
 処理を中断し、監視間隔を待って、処理を続行します。

- (O)  
 保守情報およびシステムのエラーメッセージから、  
 ファイルがオープンされなかった原因を調べて、対処してください。

**KAVT3572-W**

The error mail file (ファイル名) could not be written: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
 障害用メールファイル (ファイル名) の書き込みに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

障害用メールファイルの書き込みに失敗しました。

- (S)  
 処理を中断し、監視間隔を待って、処理を続行します。
- (O)  
 保守情報およびシステムのエラーメッセージから、  
 メールが書き込まれなかった原因を調べて、対処してください。

**KAVT3573-W**

The error mail file (ファイル名) could not be closed: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
 障害用メールファイル (ファイル名) のクローズに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

障害用メールファイルのクローズに失敗しました。

- (S)  
 処理を中断し、監視間隔を待って、処理を続行します。
- (O)  
 保守情報およびシステムのエラーメッセージから、  
 ファイルがクローズされなかった原因を調べて、対処してください。

**KAVT3574-I**

Mail was saved in the error mail file (ファイル名).  
 メールを障害用メールファイル (ファイル名) に退避しました

障害用メールファイルにメールを退避しました。

- (S)  
 処理を続行します。発生箇所によっては、処理を中断し、監視間隔を待ってから、処理を再実行します。
- (O)  
 直前に出力されているメッセージの対処方法に従ってください。

#### KAVT3575-W

---

The file for storing mismatched mail (ファイル名) could not be opened: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
不一致メール退避先ファイル (ファイル名) のオープンに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

---

不一致メール退避先ファイルのオープンに失敗しました。

- (S) 処理を中断し, 監視間隔を待って, 処理を続行します。
- (O) 保守情報およびシステムのエラーメッセージから, ファイルがオープンされなかった原因を調べて, 対処してください。

#### KAVT3576-W

---

The file for storing mismatched mail (ファイル名) could not be written: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
不一致メール退避先ファイル (ファイル名) の書き込みに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

---

不一致メール退避先ファイルの書き込みに失敗しました。

- (S) 処理を中断し, 監視間隔を待って, 処理を続行します。
- (O) 保守情報およびシステムのエラーメッセージから, メールが書き込まれなかった原因を調べて, 対処してください。

#### KAVT3577-W

---

The file for storing mismatched mail (ファイル名) could not be closed: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
不一致メール退避先ファイル (ファイル名) のクローズに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

---

不一致メール退避先ファイルのクローズに失敗しました。

- (S) 処理を中断し, 監視間隔を待って, 処理を続行します。
- (O) 保守情報およびシステムのエラーメッセージから, ファイルがクローズされなかった原因を調べて, 対処してください。

#### KAVT3578-W

---

The file for storing mismatched mail (ファイル名) cannot be locked, because another application is using the file.  
不一致メール退避先ファイル (ファイル名) が他プログラムで使用中のためロックできません

---

不一致メール退避先ファイルにロックが掛かっているため, ロック処理に失敗しました。

- (S) 処理を中断し, 次の監視間隔まで待って, 処理を再実行します。

#### KAVT3580-I

---

The mail data table could not be created.  
メールデータテーブルの作成に失敗しました

---

監視メールとジョブ情報を検索するためのメールデータテーブルの作成に失敗しました。

- (S) 処理を中断し, 監視間隔を待ってから, 処理を再実行します。
- (O) 直前に出力されているメッセージの対処方法に従ってください。

#### KAVT3585-W

---

No monitoring interval is specified.  
監視間隔の指定がありません

---

環境定義に監視間隔を指定していません。

- (S) 10 分を仮定します。
- (O) 必要に応じて, 環境定義を再定義してください。

#### KAVT3586-W

---

Specify a monitoring interval from 1 to 1,440.  
監視間隔は1から1440の範囲で指定してください

---

環境定義の監視間隔の指定が 1 ~ 1,440 の指定範囲を超えています。

- (S) 10 分を仮定します。
- (O) 必要に応じて, 環境定義を再定義してください。

#### KAVT3587-W

---

The inherited mail file could not be created. (ファイル名)  
引き継ぎメールファイルの作成に失敗しました (ファイル名)

---

引き継ぎ用のメールファイルの作成に失敗しました。

- (S) 引き継ぎ用メールファイルを作成しないで, ジョブを終了します。
- (O) メール監視ログファイルを参照してください。



**KAVT3588-W**

The directory could not be created. (ディレクトリ名) (保守情報)  
ディレクトリの作成に失敗しました (ディレクトリ名) (保守情報)

ディレクトリの作成に失敗しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
保守情報からディレクトリが作成されなかった原因を調べて、対処してください。

**KAVT3593-W**

The directory to store inherited information is not specified.  
引き継ぎ情報格納ディレクトリの指定がありません

環境定義に引き継ぎ情報ディレクトリを指定していません。

- (S)  
論理ホスト単位の引き継ぎ情報格納ディレクトリを仮定します。
- (O)  
必要に応じて、環境定義を再定義してください。

**KAVT3594-I**

Mail will be monitored.  
メールを監視します

ジョブの要求に応じてメールを監視します。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVT3595-W**

Mail cannot be monitored.  
メールを監視できません

メールを監視できる状態ではないため、メールを監視できません。

- (S)  
処理を続行します。ジョブの要求は受け付けます。
- (O)  
環境定義を見直したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

**KAVT3596-E**

Main loop of a mail reception process failed.(保守情報)  
メール受信プロセスのメインループに失敗しました (保守情報)

メール受信プロセスのメイン処理の開始に失敗しました。

- (S)  
メール受信プロセスを終了します。
- (O)  
システムのリソースが不足していないか、起動したユーザーの権限環境が正しいか確認をして再実行してください。

**KAVT3597-E**

An error occurred during the access of the file (保守情報) (保守情報) (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
ファイル (ファイル名) のアクセスでエラーが発生しました (保守情報) (保守情報) (保守情報, システムのエラーメッセージ)

ファイルのアクセスで、エラーが発生しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
次のことを確認してください。  
• 保守情報からファイルがあるか。  
• システムのリソースが不足していないか。  
• 起動したユーザーの権限環境が正しいか。

**KAVT3598-E**

An error occurred during mail reception monitoring: 保守情報 保守情報 保守情報 保守情報  
メール受信監視でエラーが発生しました: 保守情報 保守情報 保守情報 保守情報

メール受信監視でエラーが発生しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
内部エラーのため資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVT3700-I**

jposendml command will now start.  
メール送信コマンドを開始します

メール送信コマンドを開始します。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVT3701-I**

sendmail will now start.  
sendmailを起動します

sendmail を起動します。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT3702-I

---

Mail was sent normally.  
メールは正常に送信されました

---

メールは正常に送信されました。

- (S)  
処理を終了します。

#### KAVT3703-I

---

temporary file:("temporaryファイル名")  
作業用ファイル：("temporaryファイル名")

---

作業用ファイル名が作成されました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT3704-E

---

The command was interrupted.  
コマンドは中断されました

---

コマンドは中断されました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
別に出力されているメッセージを参考に原因を特定したあと、再実行してください。

#### KAVT3705-E

---

Usage: jposendml [-p platform-name]

---

メール送信の指定が誤っています。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メール送信を正しく指定してください。

#### KAVT3706-E

---

A temporary file could not be created. (file:"temporary  
ファイル名")  
作業用ファイルの作成に失敗しました：(ファイル名：  
temporaryファイル名)

---

メール送信時に使用する一時ファイルの作成に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
ディスク容量が十分か確認したあと、再実行してください。

#### KAVT3707-E

---

The specified platform is invalid. (Platform:"プラットフォーム名")  
不正なプラットフォーム名が指定されました：(platform  
名："プラットフォーム名")

---

不正なプラットフォームが指定されました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
定義を見直して、ジョブを再実行してください。

#### KAVT3708-E

---

No platform is specified.  
プラットフォームが指定されていません

---

プラットフォームが指定されていません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
定義を見直して、ジョブを再実行してください。

#### KAVT3709-W

---

The title was too long, so it was truncated.  
件名は長すぎるので切りつめられました

---

送信時に使用する件名が長過ぎるので切り捨てました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
JP1/AJS2のジョブの定義を見直してください。

#### KAVT3710-E

---

The mail-destination address is invalid: ("メール送信先アドレス")  
メール送信先アドレスが不正です：(メール送信先アドレス)

---

メールの送信先のアドレスを誤って指定しています。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
定義を見直したあと、ジョブを再実行してください。

#### KAVT3711-E

---

No mail-destination address is specified.  
メール送信先アドレスが定義されていません

---

メールの送信先アドレスを定義していません。

- (S)  
処理を中断します。

(O)

定義を見直したあと、ジョブを再実行してください。

**KAVT3712-E**

The mail-destination address exceeds the maximum length: ("メール送信先アドレス")

メール送信先アドレスの長さが最大値を超えています：  
(メール送信先アドレス)

メールの送信先アドレスを 256 バイト以上で指定しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

定義を見直したあと、ジョブを再実行してください。

**KAVT3714-E**

No mail text file was found.

メール本文ファイルがありません

メール本文ファイル名を指定しましたが、ファイルがありませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したファイルがあるか確認してください。

**KAVT3715-E**

The mail text file cannot be read.

メール本文ファイルが読めません

メール本文ファイル名を指定しましたが、ファイルが読めませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したファイルが読めるか確認してください。

**KAVT3716-W**

Mail text was too long, so it was truncated.

メール本文が長すぎるので切り捨てました

メール本文が長過ぎるので切り捨てました。

(S)

処理は続行します。

(O)

送信する本文の長さ、および内容を確認してください。

**KAVT3717-E**

sendmail command caused an error: (error: sendmail コマンドのメッセージ)

sendmail コマンドがエラーになりました：(error: sendmail コマンドのメッセージ)

メール送信時に使用する sendmail コマンドがエラーになりました。

(S)

処理を中断します。

(O)

sendmail コマンドのメッセージから、エラーの原因を調べて対処してください。必要に応じて、ジョブを再実行してください。

**KAVT3718-I**

Mail has been queued.

メールはキューイングされました

メールはすぐに送信されません。キューイングされてから配信されます。

(S)

正常に送信されます。

(O)

しばらく待っても送信されない場合は、ディスク容量が十分か確認したあと、再実行してください。

**KAVT3719-E**

sendmail returned an unexpected error. (error: sendmail コマンドのリターンコード)

sendmail が予期しないエラーを返しました：(error: sendmail コマンドのリターンコード)

メール送信時に使用する sendmail が、予期しないエラーを返しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

sendmail コマンドのリターンコードから、エラーの原因を調べて対処してください。必要に応じて、ジョブを再実行してください。

**KAVT3720-E**

A required program is missing. (program: プログラム名)  
必要なプログラムがありません：(プログラム名: プログラム名)

メールを送信するのに必要なプログラムがありません。  
sendmail コマンドがあるか確認してください。

(S)

処理を中断します。

- (O) メールを送信するのに必要なプログラムがあるかどうか確認したあと、正しく動作できる環境にしてください。

#### KAVT3721-E

Message Put error. (error: メッセージ出力時のエラーコード, 出力しようとしたメッセージ)

メッセージを出力しようとしたのですが、エラーが発生しました。

- (S) 処理を続行します。
- (O) ディスク容量が十分か確認したあと、再実行してください。

#### KAVT3722-E

jposendml is unusable.  
メール送信処理は使用できません

この製品ではメール送信機能は使用できません。

- (S) 処理を中断します。

#### KAVT3723-E

Message Put error. (Insufficient memory)

メッセージを出力しようとしたのですが、メモリー不足が発生しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ディスク容量が十分か確認したあと、再実行してください。

#### KAVT3801-E

Illegal option (-文字) exists.  
不正なオプション (-文字) が指定されています

オプションを誤って指定しています。

- (S) 処理を中断します。
- (O) オプションを正しく指定してください。

#### KAVT3802-E

Value for option (-オプション) is not specified.  
オプション (-オプション) の値が指定されていません

値を必要とするオプションに対して値を指定していません。

- (S) 処理を中断します。

- (O) 必要なオプションを指定してください。

#### KAVT3803-E

Extra argument(s) exist.  
余分な引数が指定されています

余分な引数を指定しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 不要な引数を削除してください。

#### KAVT3804-E

Invalid value for option (-オプション).  
オプション (-オプション) の値に誤りがあります

オプションを誤って指定しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) オプションを正しく指定してください。

#### KAVT3805-E

Option (-オプション) appears twice or more.  
オプション (-オプション) が2回以上指定されています

同じオプションを2回以上指定しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 複数あるオプションを一つだけにしてください。

#### KAVT3806-E

Monitoring User name not specified.  
監視ユーザー名の指定がありません

監視ユーザー名を指定していません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 監視ユーザー名を指定してください。

#### KAVT3807-W

Retry processing is canceled.  
リトライ処理を打ち切りました

メールファイル排他処理のリトライが、指定されたリトライ打ち切り時間を経過したため打ち切りました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メールが送信元へバウンスされるので、必要に応じて、再送してください。

#### KAVT3810-E

I/O error occurred: 保守情報 保守情報 保守情報 システムのエラーメッセージ  
入出力エラーが発生しました：保守情報 保守情報 保守情報 システムのエラーメッセージ

メール配信コマンド実行中に、ファイルの入出力などで I/O エラーが発生しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
次のことを確認してください。
- ・システムのリソースが不足していないか。
  - ・起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - ・JPI/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT3811-E

Insufficient memory: 保守情報 保守情報 保守情報  
メモリー不足が発生しました：保守情報 保守情報 保守情報

メール配信コマンド実行中に、メモリー不足が発生しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
システム内に、メモリーの空き領域があるか確認してください。

#### KAVT3814-E

An error occurred in Mail Send Command: 保守情報 保守情報 (保守情報) (システムのエラーメッセージ)  
メール配信コマンドでエラーが発生しました：保守情報 保守情報 (保守情報) (システムのエラーメッセージ)

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
保守情報、およびシステムのエラーメッセージから、エラーの原因を調べて対処してください。

#### KAVT3820-I

Execute Mail Send Command.: 保守情報 保守情報  
メール配信コマンドを実行します：保守情報 保守情報

メール配信コマンドを実行します。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT3821-I

Mail Send Command finished.  
メール配信コマンドを終了します

メール配信コマンドが終了しました。

- (S)  
処理を終了します。

#### KAVT3822-I

Retrying.  
リトライします

メール配信コマンドで、ロックファイルの作成をリトライします。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT3823-I

Read a mail.  
メールを読み込みます

メール配信コマンドが標準入力からメールを読みます。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT3824-I

Wrote a mail.  
メールを書き込みました

メール配信コマンドが、メールファイルにメールを書き込みました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT4031-E

SUP will now stop because an error that stops processing occurred (GetLastError=GetLastErrorコード, Locate=出力箇所)  
続行不可能なエラーが発生したためSUPを停止します  
(GetLastError=GetLastErrorコード, Locate=出力箇所)

続行できないエラーが発生したため、SUP を停止します。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メッセージを送受信できる環境が確認してください。

#### KAVT4036-E

Messages could not be sent because an error that stops processing occurred. (GetLastErrorのコード, 出力個所)  
続行不可能なエラーが発生したためメッセージの送信は行えませんでした ( GetLastErrorのコード, 出力個所 )

続行できないエラーが発生したため, メッセージを送信できませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メッセージを送受信できる環境が確認してください。

#### KAVT4037-E

SUP management process stopped. Fatal error occurred. (エラーコード)  
続行不可能なエラーが発生したためSUP管理プロセスを停止します ( エラーコード )

続行できないエラーが発生したため, SUP 管理プロセスを停止します。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
JP1/AJS2 が, 正しくインストールされているか確認してください。

#### KAVT4039-E

The TP1 service does not exist.  
TP1のサービスが存在しません

TP1 のサービスがありません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
OpenTP1 が, 正しくインストールされているか確認してください。

#### KAVT4057-I

A message was received.  
メッセージを受信しました

メッセージを受信しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT4058-I

A message was sent.  
メッセージを送信しました

メッセージを送信しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT4068-E

Insufficient memory.(GetLastErrorのエラーコード)  
メモリーの確保ができません ( GetLastErrorのエラーコード )

メモリーの確保ができません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については, 製品添付のドキュメント ( リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料 ) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT4069-E

Unable to open message body file. (GetLastErrorのエラーコード)  
メッセージ本文ファイルのオープンができませんでした ( GetLastErrorのエラーコード )

メッセージ本文ファイルのオープンができませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
指定したファイルが, 正しいか確認してください。  
指定したファイルが正しい場合は, GetLastError のエラーコードから, ファイルをオープンできなかった原因を調査し, 対処してください。

#### KAVT4070-E

Unable to ascertain size of a message body file. (GetLastErrorのエラーコード)  
メッセージ本文ファイルのサイズが取得できませんでした ( GetLastErrorのエラーコード )

メッセージ本文ファイルのサイズが取得できませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
指定したファイルが, 正しいか確認してください。

#### KAVT4071-E

Unable to read message body file. (GetLastErrorのエラーコード)  
メッセージ本文ファイルの読み込みができませんでした ( GetLastErrorのエラーコード )

メッセージ本文ファイルの読み込みができませんでした。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
指定したファイルが、正しいか確認してください。  
指定したファイルが正しい場合は、システムのリソースが不足していないか確認してください。

#### KAVT4072-E

Unable to close message body file. (GetLastErrorのエラーコード)  
メッセージ本文ファイルがクローズできませんでした  
( GetLastErrorのエラーコード )

メッセージ本文ファイルがクローズできませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
GetLastError のエラーコードおよびシステムのエラーメッセージから、ファイルをクローズできなかった原因を調査し、対処してください。

#### KAVT4075-E

Unable to send message.  
メッセージの送信ができませんでした

メッセージの送信ができませんでした。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
指定したキューが、正しいか確認してください。

#### KAVT4076-E

Failed to close the queue.  
キューのクローズに失敗しました

キューのクローズに失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
指定したキューが、正しいか確認してください。

#### KAVT4080-E

Unexpected error occurred. (fail in acquisition of handle)(  
エラー箇所)  
予期せぬエラーが発生しました ( ハンドルの取得に失敗 )  
( エラー箇所 )

予期しないエラーが発生しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)

システム管理者に連絡してください。

#### KAVT4122-E

The MQSeries service is not running.  
MQSeriesサービスが起動されていません

MQSeries サービスが起動されていません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
MQSeries のサービスが開始になっているか確認してください。

#### KAVT4123-E

The MQSeries service does not exist.  
MQSeriesサービスが存在しません

MQSeries サービスがありません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
MQSeries が正しくインストールされているか確認してください。

#### KAVT4124-E

The status of the MQSeries service could not be acquired.  
MQSeriesサービスの状態の取得に失敗しました

MQSeries サービスの状態の取得に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
MQSeries が正しくインストールされているか確認してください。

#### KAVT4125-I

The MQSeries service was started.  
MQSeriesサービスが起動されました

MQSeries サービスが起動されました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT4134-I

The processing of message sending will now start.  
メッセージ送信処理を開始します

メッセージ送信処理を開始します。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT4135-I

The processing of message sending will now end.  
メッセージ送信処理を終了します

メッセージ送信処理を終了します。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT4136-E

The parameter is specified incorrectly.  
パラメーターの指定が不正です

パラメーターの指定が不正です。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
指定したパラメーターが正しいか確認してください。

#### KAVT4138-E

The data is specified incorrectly. (指定したデータ)  
データの指定が不正です (指定したデータ)

データの指定が不正です。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
指定したパラメーターの指定のしかたが正しいか確認してください。

#### KAVT4139-E

A required item is missing.  
必須項目が指定されていません

必要な項目を指定していません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メッセージキュー送信ジョブの必須項目が正しく指定されているかを確認してください。

#### KAVT4140-E

The configuration definition could not be read. (保守情報)  
構成定義情報の読み込みに失敗しました (保守情報)

構成定義情報の読み込みに失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
JP1/Base および JP1/AJS2 が、正しくインストールされているか確認してください。

#### KAVT4141-E

You are not authorized to access the configuration definition. (保守情報)  
構成定義情報へのアクセス権がありません (保守情報)

構成定義情報へのアクセス権がありません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
構成定義情報に対してアクセス権のあるユーザーで操作してください。

#### KAVT4142-E

The specified key does not exist in the configuration definition. (保守情報)  
構成定義情報に指定キーが存在しません (保守情報)

構成定義情報に指定キーがありません

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
JP1/AJS2 が正しくインストールされているか確認してください。  
正しくインストールされている場合は、メッセージキュー送信ジョブの構成定義情報に指定キーがない原因を調査し、対処してください。

#### KAVT4143-E

An unexpected error occurred. (保守情報)  
予期せぬエラーが発生しました (保守情報)

予期しないエラーが発生しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
JP1/AJS2 が正しくインストールされているか確認してください。  
正しくインストールされている場合は、システム管理者に連絡してください。

#### KAVT4144-E

The send process (起動に失敗したプロセス名) could not be started. (GetLastErrorのコード)  
(起動に失敗したプロセス名) 送信プロセスの起動に失敗しました (GetLastErrorのコード)

送信プロセスの起動に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
JP1/AJS2 が正しくインストールされているか確認してください。



正しくインストールされている場合は、  
GetLastError のコードから原因を調査し、送信プロセスを起動できなかった原因を取り除いたあと、再実行してください。

#### KAVT4148-E

The installation path for JP1/AJS2 was not found.  
JP1/AJS2 のインストール先が見つかりません

JP1/AJS2 のインストール先が見つかりません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
JP1/AJS2 が正しくインストールされているか確認してください。

#### KAVT4150-E

The send process (使用したシステム) ended abnormally.  
(GetLastErrorのコード)  
(使用したシステム) 送信プロセスが異常終了しました  
( GetLastErrorのコード )

「使用したシステム」で表示された送信プロセスが異常終了しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
GetLastError のコードから送信プロセスが異常終了した原因を調査し、対処してください。

#### KAVT4152-E

Failure occurred at the time of queue manager program connection (MQシリーズのエラーコード, エラー箇所)  
キュー管理プログラム接続時に失敗しました (MQシリーズのエラーコード, エラー箇所)

キュー管理プログラム接続時に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
キュー管理プログラムが起動しているか確認してください。  
起動している場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

#### KAVT4155-E

An error that stops processing occurred during message sending. (MQシリーズのエラーコード)  
メッセージ送信時に続行不可能なエラーが起きました  
(MQシリーズのエラーコード)

メッセージ送信時に、続行できないエラーが起きました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メッセージが送受信できる環境が確認してください。  
送受信できる環境である場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

#### KAVT4156-I

The queue was closed.  
キューのクローズに成功しました

キューのクローズに成功しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT4158-I

The queue was opened. (エラー箇所)  
キューのオープンに成功しました (エラー箇所)

キューのオープンに成功しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT4159-I

An attempt to open the queue will be retried. (エラー箇所)  
オープンのリトライを行います (エラー箇所)

オープンのリトライをします。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT4160-E

The queue cannot be opened because the specified remote queue name is invalid. (MQシリーズのエラーコード, エラー箇所)  
指定したリモートキュー名が不正なためキューのオープンができません (MQシリーズのエラーコード, エラー箇所)

指定したリモートキュー名が不正なため、キューをオープンできません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
リモートキューに接続できる環境が確認してください。  
接続できる環境である場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

### KAVT4161-E

The queue cannot be opened because the base queue of the specified alias queue cannot be recognized. (MQシリーズのエラーコード, エラー個所)

指定した別名キューのベースキューを認識できないためキューのオープンができません (MQシリーズのエラーコード, エラー個所)

指定した別名キューのベースキューを認識できないため、キューをオープンできません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) キューの指定が正しいか、またはキューが正しく作られているか確認してください。キューの指定が正しい、またはキューが正しく作られている場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

### KAVT4162-E

The queue cannot be opened because the transfer queue is being used incorrectly. (MQシリーズのエラーコード, エラー個所)

転送キューの使用方法に誤りがあるためキューのオープンができません (MQシリーズのエラーコード, エラー個所)

転送キューの使用方法に誤りがあるため、キューをオープンできません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) キューの指定が正しいか、またはキューが正しく作られているか確認してください。キューの指定が正しい、またはキューが正しく作られている場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

### KAVT4163-E

The queue cannot be opened because the transfer queue cannot be recognized. (MQシリーズのエラーコード, エラー個所)

転送キューを認識できないためキューのオープンができません (MQシリーズのエラーコード, エラー個所)

転送キューを認識できないため、キューをオープンできません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) キューの指定が正しいか、またはキューが正しく作られているか確認してください。キューの指定が正しい、またはキューが正しく作られている場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

い、またはキューが正しく作られている場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

### KAVT4164-E

The queue cannot be opened because the specified remote queue manager program cannot be recognized. (MQシリーズのエラーコード, エラー個所)

指定したリモートキュー管理プログラムを認識できないためキューのオープンができません (MQシリーズのエラーコード, エラー個所)

指定したリモートキュー管理プログラムを認識できないため、キューをオープンできません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 指定したキュー管理プログラムが正しいか確認してください。正しい場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

### KAVT4165-E

The queue cannot be opened because the specified queue manager program cannot be recognized. (MQシリーズのエラーコード, エラー個所)

指定したキュー管理プログラムを認識できないためキューのオープンができません (MQシリーズのエラーコード, エラー個所)

指定したキュー管理プログラムを認識できないため、キューをオープンできません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 指定したキュー管理プログラムが正しいか確認してください。正しい場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

### KAVT4166-E

The queue cannot be opened because the object cannot be recognized. (MQシリーズのエラーコード, エラー個所)

オブジェクトを認識できないためキューのオープンができません (MQシリーズのエラーコード, エラー個所)

オブジェクトを認識できないため、キューをオープンできません。

- (S) 処理を中断します。
- (O)

キューの指定が正しいか、またはキューが正しく作られているか確認してください。キューの指定が正しい、またはキューが正しく作られている場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

#### KAVT4167-E

The queue cannot be opened because the default transfer queue is being used incorrectly. (MQシリーズのエラーコード, エラー箇所)

省略時の転送キューの使用方法に誤りがあるためキューのオープンができません (MQシリーズのエラーコード, エラー箇所)

省略時の転送キューの使用方法に誤りがあるため、キューをオープンできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

キューの指定が正しいか、またはキューが正しく作られているか確認してください。キューの指定が正しい、またはキューが正しく作られている場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

#### KAVT4168-E

The default transfer queue cannot be recognized. (MQシリーズのエラーコード, エラー箇所)

省略時の転送キューが認識できません (MQシリーズのエラーコード, エラー箇所)

省略時の転送キューが認識できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

キューの指定が正しいか、またはキューが正しく作られているか確認してください。キューの指定が正しい、またはキューが正しく作られている場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

#### KAVT4170-E

Messages cannot be sent because the queue is full. (MQシリーズのエラーコード)

キューが満杯のためメッセージが送信できません (MQシリーズのエラーコード)

キューが満杯のためメッセージを送信できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なメッセージをキューから取り除いてください。不要なメッセージが取り除かれている場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

#### KAVT4171-E

Messages cannot be sent because the message length exceeds the maximum length for the queue. (MQシリーズのエラーコード)

メッセージ長がキューの最大長を超えているためメッセージを送信できません (MQシリーズのエラーコード)

メッセージ長がキューの最大長を超えているため、メッセージを送信できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

送信するメッセージ長を確認してください。送信するメッセージ長がキューの最大値を超えていない場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

#### KAVT4172-E

Messages cannot be sent because the queue was deleted. (MQシリーズのエラーコード)

キューが削除されているためメッセージを送信できません (MQシリーズのエラーコード)

キューが削除されているため、メッセージを送信できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したキューが正しいか確認してください。指定したキューが正しい場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

#### KAVT4173-E

Messages cannot be sent because there is insufficient disk space for the queue. (MQシリーズのエラーコード)

キューに対応するディスクに空き領域がないためメッセージを送信できません (MQシリーズのエラーコード)

キューに対応するディスクに空き領域がないため、メッセージを送信できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

## KAVT4174-E ~ KAVT4182-E

ディスクの空き容量を確認してください。  
ディスクに空き容量がある場合は、連携先のメッセージキューシステムのドキュメントを参照し、MQシリーズのエラーコードから原因を特定して対処してください。

### KAVT4174-E

Messages could not be sent because memory became insufficient. (MQシリーズのエラーコード)  
記憶容量が不足したためメッセージを送信できません (MQシリーズのエラーコード)

記憶容量が不足したため、メッセージを送信できません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
ディスクの空き容量を確認してください。

### KAVT4175-E

Messages could not be sent. (MQシリーズのエラーコード)  
メッセージの送信に失敗しました (MQシリーズのエラーコード)

メッセージの送信に失敗しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
メッセージを送受信できる環境が確認してください。

### KAVT4176-E

The message's priority exceeds the maximum. (MQシリーズのエラーコード)  
メッセージ優先度が最大値を超えています (MQシリーズのエラーコード)

メッセージ優先度が最大値を超えています。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
メッセージの優先度が正しく指定されているか確認してください。

### KAVT4177-W

An error occurred during connection to the queue manager program, but processing continues. (MQシリーズのエラーコード, エラー箇所)  
キュー管理プログラム接続時にエラーが発生しましたが処理は続行します (MQシリーズのエラーコード, エラー箇所)

キュー管理プログラム接続時に、エラーが発生しましたが、処理は続行します。

(S)

処理を中断します。

(O)  
メッセージの送受信が正しくされているか確認してください。

### KAVT4178-I

A message was sent to the dead-letter queue.  
メッセージをデッドレターキューに送信しました

メッセージをデッドレターキューに送信しました。

(S)  
処理を続行します。

### KAVT4179-I

A message was sent to the queue.  
メッセージをキューに送信しました

メッセージをキューに送信しました。

(S)  
処理を続行します。

### KAVT4180-E

The status of the TP1 service could not be acquired. (エラーコード)  
TP1サービスの状態の取得に失敗しました (エラーコード)

TP1 サービスの状態の取得に失敗しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
OpenTP1 が正しくインストールされているか確認してください。

### KAVT4181-E

The TP1 service is not running.  
TP1サービスが起動されていません

TP1 サービスが起動されていません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
OpenTP1 のサービスを起動してください。

### KAVT4182-E

An unexpected error occurred during communication with SUP (GetLastErrorのリターンコード, 出力箇所)  
SUPとの通信時に予期せぬエラーが発生しました (GetLastErrorのリターンコード, 出力箇所)

SUP との通信時に予期しないエラーが発生しました。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
JPOMQSUP が正しくセットアップされているか確認してください。

#### KAVT4183-E

The communication pipe with SUP could not be created.  
(GetLastErrorのリターンコード, 出力箇所)  
SUPとの通信パイプの作成に失敗しました (GetLastError  
のリターンコード, 出力箇所)

SUP との通信パイプの作成に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
JPOMQSUP が正しくセットアップされているか確認してください。

#### KAVT4184-E

Messages cannot be sent because the message data file  
could not be opened. (エラーコード)  
メッセージデータファイルのオープンに失敗したためメッ  
セージを送信できません (エラーコード)

メッセージデータファイルのオープンに失敗したため、  
メッセージを送信できません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
正しいメッセージデータファイルを指定しているか確認してください。

#### KAVT4185-E

Messages cannot be sent because the message data file  
could not be read. (エラーコード)  
メッセージデータファイルの読み込みに失敗したためメッ  
セージを送信できません (エラーコード)

メッセージデータファイルの読み込みに失敗したため、  
メッセージを送信できません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
正しいメッセージデータファイルを指定しているか確認してください。

#### KAVT4186-E

Messages cannot be sent because there is no message  
data file. (エラーコード)  
メッセージデータファイルがないためメッセージを送信で  
きません (エラーコード)

メッセージデータファイルがないため、メッセージを送信  
できません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
正しいメッセージデータファイルを指定しているか確認してください。

#### KAVT4187-E

Messages cannot be sent because memory became  
insufficient. (エラーコード)

メモリー不足が発生したためメッセージを送信できません  
(エラーコード)

メモリー不足が発生したため、メッセージを送信できま  
せん。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付の  
ドキュメント (リリースノート, Readme.txt, また  
はソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量および  
ディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT4188-E

Messages cannot be sent because memory could not be  
allocated. (エラーコード)

メモリーの確保に失敗したためメッセージを送信できま  
せん (エラーコード)

メモリーの確保に失敗したため、メッセージを送信できま  
せん。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付の  
ドキュメント (リリースノート, Readme.txt, また  
はソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量および  
ディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT4189-E

The queue could not be opened. (エラーコード)  
キューのオープンに失敗しました (エラーコード)

キューのオープンに失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
正しいキューを指定しているか確認してください。

#### KAVT4190-E

Messages could not be sent. (エラーコード)  
メッセージの送信に失敗しました (エラーコード)

メッセージの送信に失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) メッセージを送受信できる環境が確認してください。

#### KAVT4192-E

The queue cannot be opened because the specified remote queue name is invalid. (エラーコード)  
指定したリモートキュー名が不正なためキューのオープンができません (エラーコード)

指定したリモートキュー名が不正なため、キューのオープンができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューを指定しているか確認してください。

#### KAVT4193-E

Messages could not be received. (エラーコード)  
メッセージの受信に失敗しました (エラーコード)

メッセージの受信に失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) メッセージを送受信できる環境が確認してください。

#### KAVT4195-E

The queue could not be closed. (エラーコード)  
キューのクローズに失敗しました (エラーコード)

キューのクローズに失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューを指定しているか確認してください。

#### KAVT4196-E

Messages cannot be received because memory became insufficient. (エラーコード)  
メモリー不足が発生したためメッセージを受信できません (エラーコード)

メモリー不足が発生したため、メッセージを受信できません。

- (S) 処理を中断します。

- (O) メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT4197-E

Messages cannot be received because memory could not be allocated. (エラーコード)  
メモリーの確保に失敗したためメッセージを受信できません (エラーコード)

メモリーの確保に失敗したため、メッセージを受信できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT4198-E

Messages cannot be sent because the queue is full. (エラーコード)  
キューが満杯のためメッセージを送信できません (エラーコード)

キューが満杯のため、メッセージを送信できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 不要なメッセージを削除してください。

#### KAVT4199-E

Messages cannot be sent because the queue was deleted. (エラーコード)  
キューが削除されているためメッセージを送信できません (エラーコード)

キューが削除されているため、メッセージを送信できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューを指定しているか確認してください。

**KAVT4200-E**

Messages cannot be sent because there is insufficient disk space for the queue. (エラーコード)  
キューに対応するディスクに空き領域がないためメッセージを送信できません (エラーコード)

キューに対応するディスクに空き領域がないため、メッセージを送信できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ディスクの空き容量を確認してください。

**KAVT4201-E**

Messages cannot be sent because the message length exceeds the maximum length of the queue. (エラーコード)  
メッセージ長がキューの最大長を超えているためメッセージを送信できません (エラーコード)

メッセージ長がキューの最大長を超えているため、メッセージを送信できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 送信するメッセージ長を確認してください。

**KAVT4202-E**

Messages cannot be sent because memory became insufficient. (エラーコード)  
記憶容量が不足したためメッセージを送信できません (エラーコード)

記憶容量が不足したため、メッセージを送信できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ディスクの空き容量を確認してください。

**KAVT4203-E**

The queue cannot be opened because the base queue of the specified alias queue cannot be recognized. (エラーコード)  
指定した別名キューのベースキューを認識できないためキューのオープンができません (エラーコード)

指定した別名キューのベースキューを認識できないため、キューをオープンできません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューを指定しているか確認してください。

**KAVT4204-E**

The queue cannot be opened because the transfer queue is being used incorrectly. (エラーコード)  
転送キューの使用方法に誤りがあるためキューのオープンができません (エラーコード)

転送キューの使用方法に誤りがあるため、キューをオープンできません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューを指定しているか確認してください。

**KAVT4205-E**

The queue cannot be opened because the transfer queue cannot be recognized. (エラーコード)  
転送キューを認識できないためキューのオープンができません (エラーコード)

転送キューを認識できないため、キューのオープンができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューを指定しているか確認してください。

**KAVT4206-E**

The queue cannot be opened because the specified remote queue manager program cannot be recognized. (エラーコード)  
指定したリモートキューマネージャーを認識できないためキューのオープンができません (エラーコード)

指定したリモートキューマネージャーを認識できないため、キューのオープンができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューマネージャーを指定しているか確認してください。

**KAVT4207-E**

The queue cannot be opened because the specified queue manager cannot be recognized. (エラーコード)  
指定したキューマネージャーを認識できないためキューのオープンができません (エラーコード)

指定したキューマネージャーを認識できないため、キューのオープンができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューマネージャーを指定しているか確認してください。

ください。

#### KAVT4208-E

The queue cannot be opened because the specified queue name or model queue name cannot be recognized. (エラーコード)

指定したキュー名またはモデルキュー名を認識できないためキューのオープンができません (エラーコード)

指定したキュー名, またはモデルキュー名を認識できないため, キューのオープンができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

正しいキューを指定しているか確認してください。

#### KAVT4209-E

The queue cannot be opened because the default transfer queue is being used incorrectly. (エラーコード)

省略時の転送キューの使用法に誤りがあるためキューのオープンができません (エラーコード)

省略時の転送キューの使用法に誤りがあるため, キューのオープンができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

正しいキューを指定しているか確認してください。

#### KAVT4210-E

The queue cannot be opened because the default transfer queue cannot be recognized. (エラーコード)

省略時の転送キューを認識できないためキューのオープンができません (エラーコード)

省略時の転送キューの使用法に誤りがあるため, キューのオープンができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

正しいキューを指定しているか確認してください。

#### KAVT4211-E

Messages cannot be sent because the queue was deleted. (エラーコード)

キューが削除されているためメッセージを受信できません (エラーコード)

キューが削除されているため, メッセージを受信できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

正しいキューを指定しているか確認してください。

#### KAVT4212-E

Messages cannot be received because the queue manager program has ended. (エラーコード)

キューマネージャーが終了しているためメッセージを受信できません (エラーコード)

キューマネージャーが終了しているため, メッセージを受信できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

キューマネージャーを起動してください。

#### KAVT4213-E

The queue could not be re-opened because it was deleted. (エラーコード)

キューが削除されていたため再度オープンしようとしたが失敗しました (エラーコード)

キューが削除されていたため, 再オープンしようとしたが失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

正しいキューを指定しているか確認してください。

#### KAVT4214-E

Messages could not be sent because an error occurred in SUP. (エラーコード)

SUPでエラーが発生したためメッセージの送信を行えませんでした (エラーコード)

SUP でエラーが発生したため, メッセージを送信できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

JPOMQSUP が正しくセットアップされているか確認してください。

#### KAVT4215-E

Messages could not be received because an error occurred in SUP. (エラーコード)

SUPでエラーが発生したためメッセージの受信を行えませんでした (エラーコード)

SUP でエラーが発生したため, メッセージを受信できませんでした。

(S)

処理を中断します。



(O)

JPOMQSUP が正しくセットアップされているか確認してください。

**KAVT4216-E**

The file for storing messages could not be output. (エラーコード)  
メッセージ格納ファイルの出力に失敗しました (エラーコード)

メッセージ格納ファイルの出力に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルを書き込める状態が確認してください。

**KAVT4222-E**

The queue could not be opened.  
キューのオープンに失敗しました

キューのオープンに失敗しました。

(S)

該当するジョブがイベントジョブの場合は異常検出終了、起動条件付きジョブネットの場合は監視打ち切り終了とします。

(O)

統合トレースログに出力するメッセージ (KAVT4419-W) の対処方法に従って対処してください。  
原因が特定できない場合は、内部エラーのため資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVT4223-E**

An error occurred during message reception.  
メッセージ受信時にエラーが発生しました

メッセージ受信時にエラーが発生しました。

(S)

該当するジョブがイベントジョブの場合は異常検出終了、起動条件付きジョブネットの場合は監視打ち切り終了とします。

(O)

統合トレースログに出力するメッセージ (KAVT4419-W) の対処方法に従って対処してください。  
原因が特定できない場合は、内部エラーのため資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVT4230-E**

Messages could not be received because memory could not be allocated.

メモリーが確保できなかったためメッセージの受信を行えませんでした

メモリーが確保できなかったため、メッセージを受信できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

**KAVT4232-E**

The file for storing messages could not be output.  
メッセージ格納ファイルの出力に失敗しました

メッセージ格納ファイルの出力に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルに書き込める環境が確認してください。

**KAVT4235-E**

The queue cannot be opened because the specified remote queue name is invalid.

指定したリモートキュー名が不正なためキューのオープンができません

指定したリモートキュー名が不正なため、キューのオープンができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

正しいキューが指定されているか確認してください。

**KAVT4236-E**

The queue cannot be opened because the base queue of the specified alias queue cannot be recognized.

指定した別名キューのベースキューを認識できないためキューのオープンができません

指定した別名キューのベースキューを認識できないため、キューのオープンができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

正しいキューが指定されているか確認してください。

#### KAVT4237-E

---

The queue cannot be opened because the transfer queue is being used incorrectly.

転送キューの使用法に誤りがあるためキューのオープンができません

---

転送キューの使用法に誤りがあるため、キューのオープンができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューが指定されているか確認してください。

#### KAVT4238-E

---

The queue cannot be opened because the transfer queue cannot be recognized.

転送キューを認識できないためキューのオープンができません

---

転送キューを認識できないため、キューのオープンができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューが指定されているか確認してください。

#### KAVT4239-E

---

The queue cannot be opened because the specified remote queue manager program cannot be recognized.

指定したリモートキュー管理プログラムを認識できないためキューのオープンができません

---

指定したリモートキュー管理プログラムを認識できないため、キューのオープンができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキュー管理プログラムを指定しているか確認してください。

#### KAVT4240-E

---

The queue cannot be opened because the specified queue manager program cannot be recognized.

指定したキュー管理プログラムを認識できないためキューのオープンができません

---

指定したキュー管理プログラムを認識できないため、キューのオープンができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキュー管理プログラムを指定しているか確認してください。

#### KAVT4241-E

---

The queue cannot be opened because the specified queue name or model queue name cannot be recognized.

指定したキュー名またはモデルキュー名を認識できないためキューのオープンができません

---

指定したキュー、またはモデルキュー名を認識できないため、キューのオープンができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューを指定しているか確認してください。

#### KAVT4242-E

---

The queue cannot be opened because the default transfer queue is being used incorrectly.

省略時の転送キューの使用法に誤りがあるためキューのオープンができません

---

省略時の転送キューの使用法に誤りがあるため、キューのオープンができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューを指定しているか確認してください。

#### KAVT4243-E

---

The queue cannot be opened because the default transfer queue cannot be recognized.

省略時の転送キューを認識できないためキューのオープンができません

---

省略時の転送キューを認識できないため、キューのオープンができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューを指定しているか確認してください。

#### KAVT4244-E

---

Messages cannot be sent because the queue was deleted. キューが削除されているためメッセージを受信できません

---

キューが削除されているため、メッセージを受信できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 正しいキューを指定しているか確認してください。

**KAVT4245-E**

Messages could not be received because the queue manager program ended.

キュー管理プログラムが終了しているためメッセージを受信できません

キュー管理プログラムが終了しているため、メッセージを受信できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

キュー管理プログラムを起動してください。

**KAVT4246-E**

Messages cannot be received because memory became insufficient.

メモリー不足が発生したためメッセージを受信できません

メモリー不足が発生したため、メッセージを受信できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント（リリースノート、Readme.txt、またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

**KAVT4247-E**

Messages cannot be received because memory could not be allocated.

メモリーの確保に失敗したためメッセージを受信できません

メモリーの確保に失敗したため、メッセージを受信できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント（リリースノート、Readme.txt、またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

**KAVT4248-E**

The queue could not be closed.

キューのクローズに失敗しました

キューのクローズに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージが送受信できる環境が確認してください。

**KAVT4249-E**

The queue could not be disconnected.

キューの切断に失敗しました

キューの切断に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージが送受信できる環境が確認してください。

**KAVT4250-E**

The queue could not be connected.

キューの接続に失敗しました

キューの接続に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージが送受信できる環境が確認してください。

**KAVT4251-E**

Messages could not be received because an error occurred in the access process.

アクセスプロセスでエラーが発生したためメッセージの受信を行えませんでした

アクセスプロセスでエラーが発生したため、メッセージを受信できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージが送受信できる環境が確認してください。

**KAVT4252-E**

The queue could not be re-opened because it was deleted.

キューが削除されていたため再度オープンしようとしたが失敗しました

キューが削除されていたため、再オープンしようとしたが失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージが送受信できる環境が確認してください。

**KAVT4253-E**

The queue manager program stopped.

キュー管理プログラムが静止しました

## KAVT4254-E ~ KAVT4401-I

キュー管理プログラムが静止しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
キュー管理プログラムを起動してください。

### KAVT4254-E

Failed to execute SUP. (エラーコード)  
SUPの起動に失敗しました (エラーコード)

SUPの起動に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
JP1MQSUP が正しくセットアップされているか確認してください。

### KAVT4255-E

The data length is invalid. (データ名)  
データ長が不正です (データ名)

文字列の長さが不正です。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
指定したデータが正しいか確認してください。

### KAVT4256-E

The specified file does not exist. (リターンコード)  
指定したファイルは存在しません (リターンコード)

指定したファイルはありません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
指定したファイルが正しいか確認してください。

### KAVT4257-E

The queue could not be opened, so the data was sent to the dead-letter queue instead.  
キューのオープンに失敗したため、デッドレターキューへ送信しました

キューのオープンに失敗したため、デッドレターキューへ送信しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
指定したキューが正しいか、またはそのキューへメッセージを送信できる状態が確認してください。

### KAVT4258-E

Messages could not be sent, so data was sent to the dead-letter queue instead. (エラーコード)  
メッセージの送信に失敗したため、デッドレターキューへ送信しました (エラーコード)

メッセージの送信に失敗したため、デッドレターキューへ送信しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
指定したキューが正しいか、またはそのキューへメッセージを送信できる状態が確認してください。

### KAVT4259-E

An unjust character is designated in queuing system name of constitution definition information.  
構成定義情報のキューイングシステム名に不正な文字が指定されています

構成定義情報のキューイングシステム名に、不正な文字が指定されています。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
環境設定をしていないおそれがあります。再度環境設定をしてください。

### KAVT4260-I

Accept to request SUP stopped.  
SUPの停止要求を受け付けました

SUPの停止要求を受け付けました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVT4261-I

Accept to request SUP restarted.  
SUPの再開要求を受け付けました

SUPの再開要求を受け付けました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVT4401-I

JP1/AJS2 message queue monitoring process (TP1/Message Queue) will now start.  
JP1/AJS2メッセージキュー監視プロセス (TP1/Message Queue) を起動します

JP1/AJS2 メッセージキュー監視プロセス (TP1/Message Queue) を起動します。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4402-I**

The JP1/AJS2 message queue monitoring process (TP1/Message Queue) started.

JP1/AJS2メッセージキュー監視プロセス ( TP1/Message Queue ) を起動しました

JP1/AJS2 メッセージキュー監視プロセス ( TP1/Message Queue ) を起動しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4403-I**

The JP1/AJS2 message queue monitoring process (MQSeries) will now start.

JP1/AJS2メッセージキュー監視プロセス ( MQSeries ) を起動します

JP1/AJS2 メッセージキュー監視プロセス ( MQSeries ) を起動します。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4404-I**

The JP1/AJS2 message queue monitoring process (MQSeries) started.

JP1/AJS2メッセージキュー監視プロセス ( MQSeries ) を起動しました

JP1/AJS2 メッセージキュー監視プロセス ( MQSeries ) を起動しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4405-I**

The JP1/AJS2 message queue monitoring process (TP1/Message Queue) will now stop.

JP1/AJS2メッセージキュー監視プロセス ( TP1/Message Queue ) を停止します

JP1/AJS2 メッセージキュー監視プロセス ( TP1/Message Queue ) を停止します。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4406-I**

The JP1/AJS2 message queue monitoring process (TP1/Message Queue) stopped.

JP1/AJS2メッセージキュー監視プロセス ( TP1/Message Queue ) を停止しました

JP1/AJS2 メッセージキュー監視プロセス ( TP1/Message

Queue ) を停止しました。

(S)

処理を終了します。

**KAVT4407-I**

The JP1/AJS2 message queue monitoring process will now stop. (MQSeries)

JP1/AJS2メッセージキュー監視プロセス ( MQSeries ) を停止します

JP1/AJS2 メッセージキュー監視プロセス ( MQSeries ) を停止します。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4408-I**

The JP1/AJS2 message queue monitoring process (MQSeries) stopped.

JP1/AJS2メッセージキュー監視プロセス ( MQSeries ) を停止しました

JP1/AJS2 メッセージキュー監視プロセス ( MQSeries ) を停止しました。

(S)

処理を終了します。

**KAVT4409-I**

The JP1/AJS2 SUP control process will now start. JP1/AJS2 SUP管理プロセスを起動します

JP1/AJS2 SUP 管理プロセスを起動します。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4410-I**

The JP1/AJS2 SUP control process started. JP1/AJS2 SUP管理プロセスを起動しました

JP1/AJS2 SUP 管理プロセスを起動しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4411-I**

The JP1/AJS2 SUP control process will now stop. JP1/AJS2 SUP管理プロセスを停止します

JP1/AJS2 SUP 管理プロセスを停止します。

(S)

処理を続行します。

## KAVT4412-I ~ KAVT4453-I

### KAVT4412-I

The JP1/AJS2 SUP control process stopped.  
JP1/AJS2 SUP管理プロセスを停止しました

JP1/AJS2 SUP 管理プロセスを停止しました。

- (S)
- 処理を終了します。

### KAVT4413-I

Message Queue System to use it is 使用するメッセージキューシステム  
使用するメッセージキューシステム=使用するメッセージキューシステム

使用するメッセージキューシステム。

- (S)
- 処理を続行します。

### KAVT4414-E

The message queuing system to be used is not defined.  
Set up the environment.  
使用するメッセージキューシステムが設定されていません。環境設定を行ってください。

使用するメッセージキューシステムが設定されていません。環境を設定してください。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 環境設定を見直してください。

### KAVT4417-I

The message queue function to be linked has started.  
連携するメッセージキュー機能が開始しました

連携するメッセージキュー機能が起動されました。

- (S)
- 処理を続行します。

### KAVT4418-W

The message queue function to be linked is stopped. (保守情報)  
連携するメッセージキュー機能が停止しています (保守情報)

連携するメッセージキュー機能が停止しています。

- (S)
- メッセージキュー受信監視を中断し、連携するメッセージキュー機能の起動後に監視を再開します。
- (O)
- 連携するメッセージキュー機能が停止されました。計画的に停止した場合には特に対処はありません。予期

しないで停止した場合には、MQSeries の状態を確認して MQSeries を起動してください。なお、メッセージキュー監視ジョブは MQSeries が停止しても、監視中、実行中の状態を維持します。

### KAVT4419-W

An error occurred during an MQSeries access.  
(func=MQSeriesAPI名, ErrCode=MQSeriesAPI戻り値, 保守情報)  
MQSeries アクセス時にエラーが発生しました  
( func=MQSeriesAPI名, ErrCode=MQSeriesAPI戻り値, 保守情報 )

MQSeries の API でエラーが発生しました。

- (S)
- システムの動作については前後のメッセージを参照してください。
- (O)
- MQSeries のマニュアルなどを参照し、func ( エラーが発生した MQSeries の API 名 ), ErrCode (MQSeries の API から返ってきた戻り値) についてエラーの原因を調べ、必要に応じて対処してください。

### KAVT4451-I

The message queue linkage communication process will now start.  
メッセージキュー連携通信プロセスを起動します

メッセージキュー連携通信プロセスを起動します。

- (S)
- 処理を続行します。

### KAVT4452-I

The message queue linkage communication process started.  
メッセージキュー連携通信プロセスが起動しました

メッセージキュー連携通信プロセスが起動しました。

- (S)
- 処理を続行します。

### KAVT4453-I

The message queue linkage communication process stopped.  
メッセージキュー連携通信プロセスを停止しました

メッセージキュー連携通信プロセスを停止しました。

- (S)
- 処理を終了します。

**KAVT4454-I**

The monitoring of message queue reception will now start.

メッセージキュー受信監視を開始します

メッセージキュー受信監視を開始します。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4455-E**

The monitoring of message queue reception will now stop.

メッセージキュー受信監視を中止します

メッセージキュー受信監視を中止します。

(S)

処理を中断します。

(O)

その前に出力されたエラーメッセージを参考に、原因を特定してください。

**KAVT4456-I**

The reception of messages that satisfy the conditions was confirmed.

条件にあったメッセージの受信を確認しました

条件に合ったメッセージの受信を確認しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4457-I**

Monitoring of message queue linkage will now end because the time-out period elapsed.

打ち切り時間になったため、メッセージキュー連携監視を終了します

打ち切り時間になったため、メッセージキュー連携監視を終了します。

(S)

処理を終了します。

**KAVT4458-I**

Message Queue System to use it is 使用するメッセージキューシステム

使用するメッセージキューシステム=使用するメッセージキューシステム

使用するメッセージキューシステム。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4459-E**

No message queuing system has been established. Set up the environment.

使用するメッセージキューシステムが設定されていません。環境設定を行ってください。

使用するメッセージキューシステムが設定されていません。環境を設定してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

環境設定を見直してください。

**KAVT4460-E**

An unexpected value is specified for the message queuing system to be used. Set up the environment again. (保守情報)

使用するメッセージキューシステムに予期しないものが指定されています。環境設定をやり直してください。(保守情報)

使用するメッセージキューシステムに予期しないものが指定されています。環境を設定し直してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

環境設定を見直してください。

**KAVT4461-W**

An error occurred during creation of a macro variable. マクロ変数作成中にエラーが発生しました

マクロ変数作成中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したマクロ変数が正しいか確認してください。

**KAVT4462-W**

A macro variable exceeds 4096 bytes. Some macro variables could not be created.

マクロ変数が4096バイトを越えました。作成出来なかったマクロ変数があります。

マクロ変数が4,096バイトを超えました。作成できなかったマクロ変数があります。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定するマクロの数を少なくしてください。

#### KAVT4464-W

---

A service of the message queuing system is not running.  
メッセージキューシステムのサービスが起動していません

---

メッセージキューシステムのサービスが起動していません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
OpenTP1, または MQSeries のサービスを起動してください。

#### KAVT4465-I

---

The startup of the message queuing system service was confirmed.  
メッセージキューシステムのサービスの起動を確認しました

---

メッセージキューシステムのサービスの起動を確認しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVT4466-E

---

The definition of the message queue monitoring job is invalid.  
メッセージキュー受信監視ジョブの定義に誤りがあります

---

メッセージキュー受信監視ジョブの定義に誤りがあります。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
ジョブの定義を見直してください。

#### KAVT4467-E

---

Memory became insufficient.  
メモリー不足が発生しました

---

メモリー不足が発生しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT4468-E

---

An event for canceling registration of a job could not be created.  
ジョブ登録解除用イベントの作成に失敗しました

---

ジョブネット登録解除用イベントの作成に失敗しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
メッセージを送受信できる環境が確認してください。

#### KAVT4469-E

---

The option for not linking the message queue is selected.  
Message queue reception will not be monitored.  
メッセージキュー連携をしない状態が選択されています。  
メッセージキュー受信監視は行いません。

---

メッセージキュー連携をしない状態が選択されています。  
メッセージキュー受信監視をしません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
環境設定を見直してください。

#### KAVT4470-E

---

An unexpected value is specified in the option for message queue linkage. Set up the environment again. (保守情報)  
メッセージキュー連携の有無に予期しないものが指定されています。環境設定をやり直してください。 (保守情報)

---

メッセージキュー連携の有無に予期しないものが指定されています。環境を設定し直してください。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
環境設定を見直してください。

#### KAVT4471-W

---

The JP1/AJS2 message queue monitoring process is not running.  
JP1/AJS2 メッセージキュー監視プロセスが動作していません。動作ができる状態になるまで待機します。

---

JP1/AJS2 メッセージキュー監視プロセスが動作していません。動作ができる状態になるまで待機します。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
本エラーメッセージの前に出力されているエラーメッセージの情報からエラー要因を調べて、対処してください。



**KAVT4472-I**

The startup of the JP1/AJS2 message queue monitoring process was confirmed.

JP1/AJS2 メッセージキュー監視プロセスの起動を確認しました

JP1/AJS2 メッセージキュー監視プロセスの起動を確認しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4474-E**

The message queuing system service was not found.  
メッセージキューシステムのサービスを見つけることができませんでした

メッセージキューシステムのサービスを見つけることができませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージキューシステムが、正しくインストール・設定されているか確認してください。

**KAVT4499-E**

An unexpected error occurred.(保守情報)  
予期しないエラーが発生しました(保守情報)

予期しないエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

**KAVT4501-I**

A message was received. (キュー名, 相関識別子, メッセージ識別子)  
メッセージを受信しました(キュー名, 相関識別子, メッセージ識別子)

メッセージを受信しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4502-E**

The message queue will not be linked.  
メッセージキュー連携は行いません

メッセージキュー連携をしません。

(S)

メッセージキュー受信監視プロセスを休止します。

(O)

JP1/AJS2 の内部ログで原因を調べたあと、必要に応じて、JP1/AJS2 を再起動してください。

**KAVT4503-E**

Message queue linkage cannot start. (保守情報, 保守情報)  
メッセージキュー連携が開始できません(保守情報, 保守情報)

メッセージキュー連携が開始できません。

(S)

メッセージキュー監視プロセスを終了します。

(O)

JP1/AJS2 の内部ログなどで原因を調べたあと、必要に応じて JP1/AJS2 を再起動してください。

**KAVT4504-I**

The message queue monitoring process will now start.  
メッセージキュー監視を開始します

メッセージキュー監視プロセスを開始します。

(S)

処理を続行します。

**KAVT4505-I**

The message queue monitoring process will now end.  
メッセージキュー監視プロセスを終了します

メッセージキュー監視プロセスを終了します。

(S)

処理を終了します。

**KAVT4506-I**

The message queue monitoring process will now be suspended.  
メッセージキュー監視プロセスを休止します

メッセージキュー監視プロセスを休止します。

(S)

処理を終了します。

**KAVT4507-E**

The argument when the message queue monitoring process was called is invalid.  
メッセージキュー監視プロセス呼び出し時の引数が不正です

メッセージキュー監視プロセス呼び出し時の引数が誤っています。

(S)

メッセージキュー監視プロセスを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

#### KAVT4512-E

A temporary directory could not be created: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
テンポラリー用ディレクトリの作成に失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

一時ファイル用ディレクトリの作成に失敗しました。

- (S)      メッセージキュー監視プロセスを終了します。
- (O)      システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4513-E

The status file of the message queue linkage function could not be opened: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
メッセージキュー連携機能状態ファイルのオープンに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メッセージキュー連携機能状態ファイルのオープンに失敗しました。

- (S)      メッセージキュー監視プロセスを終了します。
- (O)      システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4517-E

An internal table could not be created because of insufficient memory: 保守情報  
メモリー不足のため内部テーブルの作成に失敗しました: 保守情報

メモリー不足のため、内部テーブルを作成できませんでした。

- (S)      メッセージキュー監視プロセスを休止します。
- (O)      メモリーが不足していないか確認してください。  
メモリーが不足している場合は、メモリーを確保し、JP1/AJS2を再起動してください。JP1/AJS2のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント(リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料)の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT4521-E

The file for storing messages (メッセージ格納ファイル名) could not be opened: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メッセージ格納ファイル (メッセージ格納ファイル名) のオープンに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メッセージ格納ファイルをオープンできませんでした。

- (S)      デッドレターキュー (送達不能キュー) へメッセージを転送します。
- (O)      システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4522-E

The file for storing messages (メッセージ格納ファイル名) could not be written: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メッセージ格納ファイル (メッセージ格納ファイル名) の書き込みに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メッセージ格納ファイルに書き込めませんでした。

- (S)      デッドレターキュー (送達不能キュー) へメッセージを転送します。
- (O)      システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4523-E

The temporary file for storing messages (メッセージ格納テンポラリーファイル名) could not be opened: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メッセージ格納テンポラリーファイル (メッセージ格納テンポラリーファイル名) のオープンに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メッセージ格納一時ファイルをオープンできませんでした。

- (S)      デッドレターキュー (送達不能キュー) へメッセージを転送します。
- (O)      システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

**KAVT4524-E**

The temporary file for storing messages (メッセージ格納テンポラリーファイル名) could not be written to: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
 メッセージ格納テンポラリーファイル (メッセージ格納テンポラリーファイル名) の書き込みに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メッセージ格納一時ファイルを書き込みできませんでした。

- (S) デッドレターキュー (送達不能キュー) へメッセージを転送します。
- (O) システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

**KAVT4525-E**

The file (ファイル名) could not be closed: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
 ファイル (ファイル名) のクローズに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

ファイルをクローズできませんでした。

- (S) 処理を続行します。
- (O) システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

**KAVT4526-E**

Memory became insufficient: 保守情報  
 メモリー不足が発生しました: 保守情報

メモリー不足が発生しました。

- (S) 現在処理中のメッセージに対する処理、およびメッセージ検索処理を中断して、次の監視間隔を待ちます。
- (O) メモリーが不足していないか確認してください。  
 メモリーが不足している場合は、メモリーを確保し、JP1/AJS2 を再起動してください。JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

**KAVT4527-E**

An error occurred during conversion of character codes: 保守情報  
 コード変換処理でエラーが発生しました: 保守情報

コード変換処理で、エラーが発生しました。

- (S) 現在処理中のメッセージに対する処理を中断します。  
 そのあと、現在のキューのメッセージ検索処理を続行します。
- (O) システム管理者に連絡してください。

**KAVT4528-E**

An error occurred in the processing of synchronous multi-I/O: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
 同期多重入出力処理でエラーが発生しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

同期多重入出力処理で、エラーが発生しました。

- (S) メッセージキュー監視プロセスを終了します。
- (O) システムのエラーメッセージの情報から、エラーの原因を調べて、対処してください。

**KAVT4529-E**

Invalid data was written to the pipe: (保守情報) 保守情報  
 パイプのデータが不正です: (保守情報) 保守情報

パイプのデータが誤っています。

- (S) メッセージキュー監視プロセスを終了します。
- (O) システム管理者に連絡してください。

**KAVT4530-W**

An error message remains in a file (ファイル名).  
 ファイル (ファイル名) にエラー発生時のメッセージ情報が残っています

ファイルにエラー発生時のメッセージ情報が残っています。

- (S) 処理を続行します。
- (O) 必要に応じて、一時ファイルの内容を削除してください。

**KAVT4531-E**

The process could not be started: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
 プロセスの起動に失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

プロセスを起動できませんでした。

## KAVT4532-E ~ KAVT4538-E

- (S)  
メッセージキュー監視プロセスを休止します。
- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。必要に応じて、JP1/AJS2 を再起動してください。

### KAVT4532-E

The pipe could not be opened: パイプ名 (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
パイプのオープンに失敗しました: パイプ名 (保守情報, システムのエラーメッセージ)

パイプをオープンできませんでした。

- (S)  
メッセージキュー監視プロセスを休止します。
- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。必要に応じて、JP1/AJS2 を再起動してください。

### KAVT4533-E

The pipe could not be read: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
パイプの読み込みに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

パイプを読み込めませんでした。

- (S)  
メッセージキュー監視プロセスを休止します。
- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。必要に応じて、JP1/AJS2 を再起動してください。

### KAVT4534-E

The pipe could not be written to: 保守情報 (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
パイプの書き込みに失敗しました: 保守情報 (保守情報, システムのエラーメッセージ)

パイプを書き込めませんでした。

- (S)  
メッセージキュー監視プロセスを休止します。
- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。必要に応じて、JP1/AJS2 を再起動してください。

### KAVT4535-E

The pipe could not be closed: パイプ名 (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
パイプのクローズに失敗しました: パイプ名 (保守情報, システムのエラーメッセージ)

パイプをクローズできませんでした。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

### KAVT4536-E

There is no reply to the pipe contact: 保守情報  
パイプの連絡に回答しません: 保守情報

パイプの連絡に回答しません。

- (S)  
メッセージキュー監視プロセスを休止します。次の監視間隔で処理を続行します。
- (O)  
前提のメッセージキューシステムの状態を確認してください。

### KAVT4537-E

The reply-wait failed: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
応答待ちに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

応答待ちに失敗しました。

- (S)  
メッセージキュー監視プロセスを休止します。
- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。必要に応じて、JP1/AJS2 を再起動してください。

### KAVT4538-E

Environment information could not be acquired: 保守情報 (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
環境情報の取得に失敗しました: 保守情報 (保守情報, システムのエラーメッセージ)

環境情報を取得できませんでした。

- (S)  
メッセージキュー監視プロセスを停止および休止します。または、メッセージ送信プロセスを終了します。
- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。必要に応じて、JP1/

AJS2 を再起動してください。

#### KAVT4539-E

The SUP process could not be started: エラーの発生した SUP 関数名 エラーの発生した SUP 関数のリターン値  
SUP 開始処理に失敗しました：エラーの発生した SUP 関数名 エラーの発生した SUP 関数のリターン値

SUP 開始処理に失敗しました。

- (S)  
メッセージキュー監視プロセスを休止します。
- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。必要に応じて、JP1/AJS2 を再起動してください。

#### KAVT4540-W

The transaction process failed, but SUP continues: エラーの発生した SUP 関数名 エラーの発生した SUP 関数のリターン値  
トランザクション処理に失敗しましたが、SUP は続行します：エラーの発生した SUP 関数名 エラーの発生した SUP 関数のリターン値

トランザクション処理に失敗しましたが、SUP は続行します。

- (S)  
現在の処理を中断し、次の処理を続行します。
- (O)  
エラーの発生した SUP の関数名、およびリターン値から、エラーの原因を調べて対処してください。

#### KAVT4541-E

SUP could not start.  
SUP が起動できませんでした

SUP を起動できませんでした。

- (S)  
現在の処理を中断し、次の監視間隔を待ちます。
- (O)  
OpenTP1 を起動してください。

#### KAVT4542-E

The results of the SUP start command could not be acquired: (保守情報、システムのエラーメッセージ)  
SUP 起動コマンドの結果の取得に失敗しました：(保守情報、システムのエラーメッセージ)

SUP 起動コマンドの結果を取得できませんでした。

- (S)  
メッセージキュー監視プロセスを休止します。

- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4543-E

An error occurred in the SUP start command: (起動コマンド発行時のエラーメッセージ)  
SUP 起動コマンドでエラーが発生しました：(起動コマンド発行時のエラーメッセージ)

SUP 起動コマンドでエラーが発生しました。

- (S)  
メッセージキュー監視プロセスを休止します。
- (O)  
起動コマンド発行時のエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4547-I

Messages are sent to the queue (キュー名).  
キュー (キュー名) にメッセージを送信しました

キューにメッセージを送信しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT4548-E

The value for option (オプション) is invalid.  
オプション (オプション) の値に誤りがあります

オプションの値を誤って指定しています。

- (S)  
メッセージキュー送信処理を中止します。
- (O)  
オプションの値を正しく指定したあと、メッセージキュー送信処理を再実行してください。

#### KAVT4549-E

An excess argument is specified.  
余分な引数が指定されています

不要な引数を指定しています。

- (S)  
メッセージキュー送信処理を中止します。
- (O)  
不要な引数を削除したあと、メッセージキュー送信処理を再実行してください。

#### KAVT4550-E

Option (オプション) is specified two or more times.  
オプション (オプション) が 2 回以上指定されています

オプションが 2 回以上指定されています。

## KAVT4551-E ~ KAVT4557-I

- (S)  
メッセージキュー送信処理の実行を中止します。
- (O)  
2 回以上指定したオプションを 1 回だけに指定し直したあと、メッセージキュー送信処理を再実行してください。

### KAVT4551-E

No value is specified for the option (オプション).  
オプション (オプション) の値が指定されていません

値を必要とするオプションに対して、値を指定していません。

- (S)  
メッセージキュー送信処理の実行を中止します。
- (O)  
オプションの値を指定したあと、メッセージキュー送信処理を再実行してください。

### KAVT4552-E

The file (ファイル名) could not be opened: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
ファイル (ファイル名) のオープンに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

ファイルをオープンできませんでした。

- (S)  
メッセージキュー送信処理を中止します。
- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

### KAVT4553-E

The status of the file (ファイル名) could not be acquired: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
ファイル (ファイル名) のファイルステータスの取り出しに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

ファイルのファイルステータスを取り出せませんでした。

- (S)  
メッセージキュー送信処理を中止します。
- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

### KAVT4554-E

The file (ファイル名) could not be read: (保守情報, システムのエラーメッセージ).  
ファイル (ファイル名) の読み込みに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

ファイルを読み込めませんでした。

- (S)  
メッセージキュー送信処理を中止します。
- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

### KAVT4555-E

The file(ファイル名) could not be closed: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
ファイル (ファイル名) のクローズに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

ファイルをクローズできませんでした。

- (S)  
メッセージキュー送信処理を続行します。
- (O)  
システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

### KAVT4556-E

Memory became insufficient: 保守情報  
メモリー不足が発生しました: 保守情報

メモリー不足が発生しました。

- (S)  
メッセージキュー送信処理を中止します。
- (O)  
メモリーが不足していないか確認してください。  
メモリーが不足している場合は、メモリーを確保し、JP1/AJS2 を再起動してください。JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント (リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

### KAVT4557-I

Message will be sent to the dead-letter queue (キュー名), because an error occurred.

エラーが発生したため送達不能キュー (キュー名) ヘメッセージを送信します

エラーが発生したため、デッドレターキュー (送達不能キュー) ヘメッセージを送信します。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
その前に出力されたエラーメッセージから原因を調べて、対処してください。

**KAVT4558-I**

Message will be re-sent to the dead-letter queue (キュー名).  
送達不能キュー (キュー名) へ再度メッセージを送信します

デッドレターキュー (送達不能キュー) へ再度メッセージを送信します。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVT4559-W**

The specified dynamic queue (キュー名) already exists.  
The existing queue will be opened.  
指定した動的キュー (キュー名) と同じ名前を持つキューがすでに存在したため既存キューをオープンします

指定した動的キューと同じ名前を持つキューがすでにあったため、既存キューをオープンします。

- (S)  
既存キューのキューにメッセージを送信します。
- (O)  
キューの状態を確認してください。

**KAVT4560-E**

An error occurred in the message queuing system: キュー名 MQI呼び出し名 MQI呼び出しからの理由コード 保守情報  
メッセージキューイングシステム処理でエラーが発生しました: キュー名 MQI呼び出し名 MQI呼び出しからの理由コード 保守情報

メッセージキューイングシステム処理で、エラーが発生しました。

- (S)  
メッセージキュー監視プロセス、またはメッセージキュー送信処理を中止します。デッドレターキュー (送達不能キュー) の指定がある場合は、デッドレターキュー (送達不能キュー) へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。
- (O)  
MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しからの理由コードの情報から、エラーの原因を調べて、対処してください。

**KAVT4561-I**

Open handles in the message queuing system exceed the maximum: キュー名 MQI呼び出し名 保守情報  
最大オープン・ハンドル数に到達しました: キュー名 MQI呼び出し名 保守情報

最大オープン・ハンドル数に到達しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
キュー管理プログラムのハンドルの最大数を見直してください。または、監視するキュー数を減らしてください。

**KAVT4562-E**

Insufficient system resources: キュー名 MQI呼び出し名 保守情報  
使用できるシステム資源が不足しています: キュー名 MQI呼び出し名 保守情報

使用できるシステムリソースが不足しています。

- (S)  
処理を中止します。デッドレターキュー (送達不能キュー) の指定がある場合は、デッドレターキュー (送達不能キュー) へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。
- (O)  
MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しの MQRC\_RESOURCE\_PROBLEM エラーを調べて、対処してください。

**KAVT4563-E**

Insufficient storage for message queuing system: キュー名 MQI呼び出し名 保守情報  
使用できる記憶域が不足しています: キュー名 MQI呼び出し名 保守情報

使用できる記憶域が不足しています。

- (S)  
メッセージキュー送信処理を中止します。デッドレターキュー (送達不能キュー) の指定がある場合は、デッドレターキュー (送達不能キュー) へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。
- (O)  
MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しの MQRC\_STORAGE\_NOT\_AVAILABLE エラーを調べて、対処してください。

**KAVT4564-W**

You are not authorized to access to the message queuing system: キュー名 MQI呼び出し名 保守情報  
アクセスが許可されていません: キュー名 MQI呼び出し名 保守情報

アクセスが許可されていません。

- (S)  
処理を中止します。デッドレターキュー (送達不能キュー) の指定がある場合は、デッドレターキュー (送達不能キュー) へのメッセージ送信処理をしたあ

## KAVT4565-E ~ KAVT4570-E

と、メッセージキュー送信処理を中止します。

(O)

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しの MQRC\_NOT\_AUTHORIZED エラーを調べて、対処してください。

### KAVT4565-E

The queue manager program could not be connected:

キュー名 MQI呼び出し名 保守情報

キュー管理プログラムと接続できません: キュー名 MQI呼び出し名 保守情報

キュー管理プログラムと接続できません。

(S)

処理を中止します。デッドレターキュー（送達不能キュー）の指定がある場合は、デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。

(O)

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しのリターン値を調べて、対処してください。

### KAVT4566-E

Object(キュー名) in the message queuing system was

destroyed: MQI呼び出し名 保守情報

オブジェクト（キュー名）が破損しました: MQI呼び出し名 保守情報

オブジェクトが破損しました。

(S)

処理を中止します。デッドレターキュー（送達不能キュー）の指定がある場合は、デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。

(O)

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しの MQRC\_OBJECT\_DAMAGED エラーを調べて、対処してください。

### KAVT4567-E

Object name (キュー名) in the message queuing system is

invalid: MQI呼び出し名 保守情報

オブジェクト名（キュー名）が不正です: MQI呼び出し名 保守情報

オブジェクト名が誤っています。

(S)

処理を中止します。デッドレターキュー（送達不能キュー）の指定がある場合は、デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。

(O)

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しのリターン値を調べて、対処してください。

### KAVT4568-E

Object(キュー名) in the message queuing system was

already opened by another option: MQI呼び出し名 保守情報

オブジェクト（キュー名）が矛盾するオプションです: MQI呼び出し名 保守情報

オブジェクトが矛盾するオプションで、すでにオープンされています。

(S)

処理を中止します。デッドレターキュー（送達不能キュー）の指定がある場合は、デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。

(O)

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しの MQRC\_OBJECT\_IN\_USE エラーを調べて、対処してください。

### KAVT4569-E

PUT usage is prohibited for the queue (キュー名): MQI呼び出し名 保守情報

キュー（キュー名）に対してPUTの使用が禁止されています: MQI呼び出し名 保守情報

キューに対してPUTの使用が禁止されています。

(S)

メッセージキュー送信処理を中止します。デッドレターキュー（送達不能キュー）の指定がある場合は、デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。

(O)

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しの MQRC\_PUT\_INHIBITED エラーを調べて、対処してください。

### KAVT4570-E

The queue(キュー名) was deleted: MQI呼び出し名 保守情報

キュー（キュー名）が削除されました: MQI呼び出し名 保守情報

キューが削除されました。

(S)

処理を中止します。デッドレターキュー（送達不能キュー）の指定がある場合は、デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。

(O)



MQSeries の MQI 呼び出しの MQRC\_Q\_DELETED エラーを調べて、対処してください。

#### KAVT4571-E

An object definition in the message queuing system was changed after the object was opened: キュー名 MQI 呼び出し名 保守情報  
オープンされた後でオブジェクト定義が変更されました: キュー名 MQI 呼び出し名 保守情報

オープンされたあとで、オブジェクト定義が変更されました。

(S)

処理を中止します。デッドレターキュー（送達不能キュー）の指定がある場合は、デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。

(O)

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しの MQRC\_OBJECT\_CHANGED エラーを調べて、対処してください。

#### KAVT4572-E

Messages cannot be sent because the queue (キュー名) is full: MQI 呼び出し名 保守情報  
キュー（キュー名）が満杯のためメッセージを送信できません: MQI 呼び出し名 保守情報

キューが満杯のため、メッセージを送信できません。

(S)

メッセージキュー送信処理を中止します。デッドレターキュー（送達不能キュー）の指定がある場合は、デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。

(O)

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しの MQRC\_Q\_FULL エラーを調べて、対処してください。

#### KAVT4573-E

The message could not be sent to the queue (キュー名) because there is no more disk space free for that queue: MQI 呼び出し名 保守情報  
ディスク上にキュー（キュー名）のためのスペースがないためメッセージを送信できません: MQI 呼び出し名 保守情報

ディスク上にキューのためのスペースがないために、メッセージを送信できません。

(S)

メッセージキュー送信処理を中止します。デッドレターキュー（送達不能キュー）の指定がある場合は、デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセー

ジ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。

(O)

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しの MQRC\_Q\_SAPCE\_NOT\_AVAILABLE エラーを調べて、対処してください。

#### KAVT4574-E

Messages cannot be sent because the message length exceeds the maximum length for the queue (キュー名): MQI 呼び出し名 保守情報

メッセージ長がキュー（キュー名）における最大長より大きいメッセージを送信できません: MQI 呼び出し名 保守情報

メッセージ長がキューでの最大長より大きいために、メッセージを送信できません。

(S)

メッセージキュー送信処理を中止します。デッドレターキュー（送達不能キュー）の指定がある場合は、デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。

(O)

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しの MQRC\_MSG\_TOO\_BIG\_FOR\_Q エラーを調べて、対処してください。

#### KAVT4575-E

The message could not be sent to the temporary dynamic queue: キュー名 MQI 呼び出し名 保守情報  
一時動的キューのメッセージを持続することはできないためメッセージを送信できません: キュー名 MQI 呼び出し名 保守情報

一時動的キューのメッセージを持続できないために、メッセージを送信できません。

(S)

メッセージキュー送信処理を中止します。デッドレターキュー（送達不能キュー）の指定がある場合は、デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。

(O)

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しの MQRC\_PERSISTENT\_NOT\_ALLOWED エラーを調べて、対処してください。

#### KAVT4576-E

An error occurred during sending of the message to the dead-letter queue (キュー名): 処理名 処理名がMQI呼び出しのときはMQI呼び出しからの理由コード（それ以外の場合は保守情報）保守情報

送達不能キュー（キュー名）へのメッセージ送信処理でエラーが発生しました：処理名 処理名がMQI呼び出しのときはMQI呼び出しからの理由コード（それ以外の場合は保守情報）保守情報

デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理で、エラーが発生しました。

- (S)
- 処理を中止します。デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理が1回目で、このエラーが発生した場合、再度デッドレターキュー（送達不能キュー）へのメッセージ送信処理をしたあと、メッセージキュー送信処理を中止します。

- (O)
- MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しからの理由コードの場合は、理由コードを調べて、対処してください。それ以外の場合は、メモリー不足が考えられるため、メモリー不足に対する処置をしてください。

#### KAVT4577-E

A sending of the message queue end error occurred in the message queuing system: キュー名 MQI呼び出し名 MQI呼び出しからの理由コード 保守情報

メッセージキュー送信処理中にメッセージキューイングシステム処理でエラーが発生しました：キュー名 MQI呼び出し名 MQI呼び出しからの理由コード 保守情報

メッセージキュー送信処理中に、メッセージキューイングシステム処理でエラーが発生しました。

- (S)
- 処理を続行します。
- (O)
- MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しからの理由コードを調べて、対処してください。

#### KAVT4579-I

Data was written to a pipe: パイプ名（保守情報）パイプにデータが書き込まれました：パイプ名（保守情報）

パイプにデータが書き込まれました。

- (S)
- 書き込まれた指示に従って、処理を実行します。

#### KAVT4581-E

A message queuing system that must not be specified was specified.

指定出来ないメッセージキューイングシステムを指定しました

指定できないメッセージキューイングシステムを指定しました。

- (S)
- メッセージキュー送信処理を中止します。または、メッセージキュー監視プロセスを休止します。
- (O)
- 指定されたメッセージキューイングシステムに対応しているか確認してください。

#### KAVT4582-E

The process could not be started: (保守情報 システムエラーメッセージ)  
プロセスの起動に失敗しました：（保守情報 システムエラーメッセージ）

プロセスを起動できませんでした。

- (S)
- メッセージキュー監視プロセスを休止します。
- (O)
- システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4583-E

The pipe could not be opened: パイプ名（保守情報、システムエラーメッセージ）  
パイプのオープンに失敗しました：パイプ名（保守情報、システムエラーメッセージ）

パイプをオープンできませんでした。

- (S)
- 処理を中止します。
- (O)
- システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4584-E

The pipe could not be read: (保守情報、システムのエラーメッセージ)  
パイプの読み込みに失敗しました：（保守情報、システムのエラーメッセージ）

パイプを読み込めませんでした。

- (S)
- 処理を中止します。
- (O)
- システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因

を調べて、対処してください。

#### KAVT4585-E

The pipe could not be written to when the message was output: 保守情報 (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
メッセージ出力時、パイプの書き込みに失敗しました: 保守情報 (保守情報, システムのエラーメッセージ)

メッセージ出力時に、パイプを書き込めませんでした。

- (S) 処理を終了します。
- (O) システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4586-E

The pipe could not be closed: パイプ名 (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
パイプのクローズに失敗しました: パイプ名 (保守情報, システムのエラーメッセージ)

パイプをクローズできませんでした。

- (S) 処理を続行します。
- (O) システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4587-E

There is no reply to the pipe contact: 保守情報  
パイプの連絡に回答しません: 保守情報

パイプの連絡に回答しません。

- (S) 処理を中止します。
- (O) システム管理者に連絡してください。

#### KAVT4588-E

The reply-wait failed: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
応答待ちに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

応答待ちに失敗しました。

- (S) 処理を中止します。
- (O) システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4589-E

The pipe could not be written to when SUP started: 保守情報 (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
SUP開始時、パイプの書き込みに失敗しました: 保守情報 (保守情報, システムのエラーメッセージ)

SUP 開始時に、パイプを書き込めませんでした。

- (S) 処理を中止します。
- (O) システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4590-E

After the process started, waiting for the replay failed: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
プロセスの起動後、応答待ちに失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

プロセスの起動後、応答待ちに失敗しました。

- (S) メッセージキュー監視プロセスを休止します。
- (O) システムのエラーメッセージの情報から、エラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4591-E

The process could not be created: (保守情報, システムのエラーメッセージ)  
プロセスの生成に失敗しました: (保守情報, システムのエラーメッセージ)

プロセスを生成できませんでした。

- (S) メッセージキュー送信処理を中止します。
- (O) システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

#### KAVT4593-I

Data was written to a pipe: パイプ名 (保守情報)  
パイプにデータが書き込まれました: パイプ名 (保守情報)

パイプにデータが書き込まれました

- (S) 書き込まれた指示に従って、処理を実行します。

### KAVT4595-E

The SUP process could not be started: エラーの発生した SUP 関数名 エラーの発生した SUP 関数のリターン値  
SUP 開始処理に失敗しました: エラーの発生した SUP 関  
数名 エラーの発生した SUP 関数のリターン値

SUP 開始処理に失敗しました。

- (S)
  - メッセージキュー監視プロセスを休止します。
- (O)
  - エラーの発生した SUP の関数名、およびリターン値  
から、エラーの原因を調べて、対処してください。

### KAVT4596-E

The transaction process failed, but SUP continues: エ  
ラーの発生した SUP 関数名 エラーの発生した SUP 関数の  
リターン値  
トランザクション処理に失敗しましたが、SUP は続行し  
ます: エラーの発生した SUP 関数名 エラーの発生した  
SUP 関数のリターン値

トランザクション処理に失敗しましたが、SUP は続行し  
ます。

- (S)
  - 現在の処理を中断し、次の処理を続行します。
- (O)
  - エラーの発生した SUP の関数名、およびリターン値  
から、エラーの原因を調べて、対処してください。

### KAVT4597-E

An error occurred in the SUP start command: (起動コマ  
ンド発行時のエラーメッセージ)  
SUP 起動コマンドでエラーが発生しました: (起動コマ  
ンド発行時のエラーメッセージ)

SUP 起動コマンドでエラーが発生しました。

- (S)
  - 処理を中断します。
- (O)
  - 起動コマンド発行時のエラーメッセージの情報から、  
エラーの原因を調べて、対処してください。

### KAVT4598-E

The results of the SUP start command could not be  
acquired: (保守情報、システムのエラーメッセージ)  
SUP 起動コマンドの結果の取得に失敗しました: (保守  
情報、システムのエラーメッセージ)

SUP 起動コマンドの結果を取得できませんでした。

- (S)
  - 処理を中断します。

- (O)
  - システムのエラーメッセージの情報から、エラーの原  
因を調べて、対処してください。

### KAVT4631-E

Fail in read in of configuration definitions information. (リ  
ターンコード)  
構成定義情報の読み込みに失敗しました (リターンコー  
ド)

構成定義情報が取得できませんでした。

- (S)
  - 処理を中断します。
- (O)
  - 構成定義が指定されていません。イベント・アクショ  
ン定義ファイルを修正し、jbssetcnf コマンドで構  
成定義情報に反映したあと、再実行してください。

### KAVT4632-E

There is not configuration definitions right to access to  
information. (リターンコード)  
構成定義情報へのアクセス権がありません (リターンコー  
ド)

構成定義情報への、アクセスの権限が不正です。

- (S)
  - 処理を中断します。
- (O)
  - メッセージを送受信するユーザーに JP1/AJS2 の情  
報を参照する権限がありません。権限のあるユーザー  
で実行してください。

### KAVT4633-E

Specification key does not exist in configuration  
definitions information. (リターンコード)  
構成定義情報に指定キーが存在しません (リターンコー  
ド)

構成定義が指定されていません。

- (S)
  - 処理を中断します。
- (O)
  - 構成定義が指定されていません。イベント・アクショ  
ン定義ファイルを修正し、jbssetcnf コマンドで構  
成定義情報に反映したあと、再実行してください。

### KAVT4634-E

Unexpected error occurred. (リターンコード)  
予期せぬエラーが発生しました (リターンコード)

予期しないエラーが発生しました。

- (S)
  - 処理を中断します。

(O)

その前に出力されたエラーメッセージを参考に原因を特定してください。

#### KAVT4663-E

Failed to open Support File (保守情報) (保守情報)  
補助ファイルのオープンに失敗しました (保守情報) (保守情報)

エージェントからの補助ファイルのオープンに失敗しました。

(S)

該当するジョブ要求を異常終了します。

(O)

次のことを確認してください。

- システムリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT4664-E

Failed to send Pipe Data (保守情報) (保守情報)  
パイプデータの送信に失敗しました (保守情報) (保守情報)

エージェントへのパイプの送信に失敗しました。

(S)

パイプの処理を打ち切り、処理を続行します。ジョブの実行状態が正しくないおそれがあります。

(O)

次のことを確認してください。

- システムリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT4672-I

The SUP started.  
SUPが起動しました

SUP が起動しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVT4676-E

Failed to get Pipe Data (保守情報) (保守情報)  
パイプデータの取得に失敗しました (保守情報) (保守情報)

エージェントからのパイプの受信に失敗しました。

(S)

パイプの処理を打ち切り、処理を続行します。ジョブの実行状態が正しくないおそれがあります。

(O)

次のことを確認してください。

- システムリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT4681-W

An error occurred during an macro variable. (保守情報)  
マクロ変数の解析でエラーが発生しました (保守情報)

マクロ変数の解析処理で、エラーが発生しました。

(S)

マクロ変数を作成しないで、ジョブを異常終了します。

(O)

必要に応じて、ジョブを再実行してください。

#### KAVT4682-W

Length of a macro value exceed 4096 bytes.  
マクロ変数が4096バイトを超えました

変換後のマクロ変数が、4,096 バイトを超えました。

(S)

変換後のマクロ変数が 4,096 バイトを超えたため、以降のマクロ変数を切り捨てて処理を続行します。

(O)

マクロ変数のうち 4,096 バイトを超えた部分がわたっていません。確認して問題がある場合には、ジョブの定義を見直してください。

#### KAVT4683-W

There was an error in the prerequisite program.  
前提プログラムでエラーが発生しました

前提プログラムとの連携するための環境に不備があるか、前提プログラムがインストールされていないおそれがあります。

(S)

イベント受信処理を終了後、メッセージキュー監視プロセスを休止します。

(O)

前提プログラムのインストールと環境設定が正しく行われているかを確認したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。  
JP1/AJS2 の環境設定でメッセージキューシステムを変更した場合は、JP1/AJS2 を再起動してください。

#### KAVT4684-E

Failed to analyze job data. (DBデータ)(関数のエラーコード)  
ジョブデータの解析に失敗しました (DBデータ) (関数のエラーコード)

ジョブのデータを解析する関数で失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
ジョブの定義に誤りがないか確認してください。

#### KAVT4685-W

Definitions parameter (パラメーター) is not specified.  
定義パラメーター (パラメーター) が指定されていません

必要なパラメーターを指定していません。

- (S)  
ジョブを終了します。
- (O)  
ジョブの定義に誤りがないか確認してください。

#### KAVT4687-E

There was an error in the prerequisite program.  
前提プログラムでエラーが発生しました

前提プログラムとの連携するための環境に不備があるか、  
前提プログラムがインストールされていないおそれがあります。

- (S)  
メッセージキュー送信処理を終了します。
- (O)  
前提プログラムのインストールと環境設定が正しくされているか確認したあと、ジョブを再実行します。

#### KAVT4688-W

GET request is rejected for Queue (キュー名), because the request is not permitted: MQI 呼び出し名 保守情報  
キュー (キュー名) に対してGETの使用が禁止されています : MQI 呼び出し名 保守情報

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しで、MQRC\_GET\_INHIBITED エラーが発生しました。

- (S)  
現在処理中のキューに対する処理を中断し、まだ処理されていないキューに対する処理を続行します。
- (O)  
MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出し戻りコードの訂正処理を調べてください。

#### KAVT4689-I

Job request was accepted.:メッセージキュー連携ファイル名  
ジョブ要求を受け付けました : メッセージキュー連携ファイル名

ジョブ要求を受け付けました。

- (S)  
ジョブ要求に対する処理をします。

#### KAVT4690-I

Stop request was accepted.  
終了要求を受け付けました

終了要求を受け付けました。

- (S)  
メッセージキュー監視プロセスの終了要求をします。

#### KAVT4691-I

Ended normally.: 処理名 キュー名 保守情報  
成功しました : 処理名 キュー名 保守情報

「処理名」で表示される処理に成功しました。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT4692-I

Queue (キュー名) is opened again.  
キュー (キュー名) を再オープンします

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しで、MQRC\_Q\_DELETE、または MQRC\_OBJECT\_CHANGED エラーが発生したため、キューを再オープンします。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT4693-I

Message was not found.: キュー名 MQI 呼び出し名 保守情報  
該当メッセージが存在しません : キュー名 MQI 呼び出し名 保守情報

MQSeries または TP1/Message Queue の MQI 呼び出しで、MQRC\_NO\_MSG\_AVAILABLE、または MQRC\_NO\_MSG\_UNDER\_CURSOR エラーが発生しました。

- (S)  
現在処理中のキューに対する処理を中断し、まだ処理をしていないキューに対する処理を続行します。

**KAVT4694-I**

The MQSeries process started.  
MQSeriesプロセスが起動しました

MQSeries が起動しました。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVT4695-E**

Sending of the message queue is unusable.  
メッセージキュー送信処理は使用できません

メッセージキュー送信処理は使用できません。

- (S)  
メッセージキュー送信処理を中止します。
- (O)  
メッセージキュー連携を使用できる環境が確認してください。

**KAVT4696-I**

The MQSeries process stopped.  
MQSeriesプロセスが停止しました

MQSeries プロセスが停止しました。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVT4697-I**

The SUP stopped.  
SUPが停止しました

SUP が停止しました。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVT4698-W**

The message queue monitoring process will now be retried.: 保守情報: EN=終了時応答待ち時間, ST=起動時応答待ち時間, CH=処理時応答待ち時間  
メッセージキュー監視プロセスのリトライ処理を行ないます: 保守情報: EN=終了時応答待ち時間, ST=起動時応答待ち時間, CH=処理時応答待ち時間

メッセージキュー監視プロセスのリトライ処理をします。

- (S)  
再度メッセージキュー監視プロセスの処理の終了を待ちます。
- (O)  
メッセージキュー監視プロセスの保守情報に記載されている応答待ち時間を見直すことをお勧めします。

**KAVT4699-I**

The retry of the message queue monitoring process finished.: リトライした回数

メッセージキュー監視プロセスのリトライ処理が終了しました: リトライした回数

メッセージキュー監視プロセスのリトライ処理が終了しました。

- (S)  
処理を続行します。

**KAVT4700-E**

The processing of the message queue monitor process did not finish.: リトライした回数

メッセージキュー監視プロセスの処理が終了しませんでした: リトライした回数

メッセージキュー監視プロセスの処理が終了しませんでした。

- (S)  
処理を中止します。
- (O)  
メッセージキュー監視プロセスの応答待ち時間、およびメッセージキュー監視プロセスのリトライ回数を見直してください。また、JP1/AJS2 を停止し、jpocwtmqmai プロセス、および jplmqsup プロセスを終了させたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

**KAVT4701-W**

The status report of the message queue monitoring process failed.: 保守情報: 2=領域確保失敗, 4=ステータスファイルオープン失敗, 8=ステータス書き込み失敗, 16=ディレクトリの作成に失敗  
メッセージキュー監視プロセスの状態通知に失敗しました: 保守情報: 2=領域確保失敗, 4=ステータスファイルオープン失敗, 8=ステータス書き込み失敗, 16=ディレクトリの作成に失敗

メッセージキュー監視プロセスの状態通知に失敗しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
挿入語句によって原因を調査し、JP1/AJS2 を再起動してください。

**KAVT4951-E**

An excess argument is specified.  
余分な引数が指定されています

余分な引数が指定されています。

- (S)  
コマンド処理を中止します。

## KAVT4952-E ~ KAVT4960-I

- (O) 不要な引数を削除したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVT4952-E

No options are specified.  
オプションが指定されていません

オプションが指定されていません。

- (S) コマンド処理を中止します。
- (O) オプションを指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVT4953-E

An invalid option is specified.  
不適正なオプションが指定されています

不適切なオプションが指定されています。

- (S) コマンド処理を中止します。
- (O) 正しいオプションを指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVT4954-I

A SUP stop was requested.  
SUPの停止を要求しました

SUPの停止を要求しました。

- (S) 処理を続行します。

### KAVT4955-E

SUP could not be stopped.  
SUPの停止要求に失敗しました

SUPの停止要求に失敗しました。

- (S) コマンド処理を中断します。
- (O) 起動コマンド発行時のエラーメッセージの情報から、エラーの原因を調べて、対処してください。

### KAVT4956-I

A SUP restart was requested.  
SUPの再起動を要求しました

SUPの再起動を要求しました。

- (S)

処理を続行します。

### KAVT4957-E

SUP could not be restarted.  
SUPの再起動要求に失敗しました

SUPの再起動要求に失敗しました。

- (S) コマンド処理を中断します。
- (O) 起動コマンド発行時のエラーメッセージの情報から、エラーの原因を調べて、対処してください。

### KAVT4958-E

The pipe could not be opened: pipe name: パイプ名 (エラー番号, エラーのメッセージ)  
パイプのオープンに失敗しました: pipe name: パイプ名 (エラー番号, エラーのメッセージ)

パイプのオープンに失敗しました。

- (S) コマンド処理を中止します。
- (O) システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

### KAVT4959-E

The pipe could not be written to when SUP started: パイプ名 (エラー番号, エラーのメッセージ)  
SUP開始時、パイプの書き込みに失敗しました: pipe name: パイプ名 (エラー番号, エラーのメッセージ)

SUP 開始時、パイプの書き込みに失敗しました。

- (S) メッセージキュー監視デーモンを休止します。
- (O) システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

### KAVT4960-I

Data was written to a pipe: pipe name: パイプ名 (コマンド名)  
パイプにデータが書き込まれました: pipe name: パイプ名 (コマンド名)

パイプにデータが書き込まれました。

- (S) 処理を続行します。



**KAVT4961-E**

The pipe could not be closed: pipe name: パイプ名 (エラー番号, エラーのメッセージ)  
 パイプのクローズに失敗しました: pipe name: パイプ名 (エラー番号, エラーのメッセージ)

パイプのクローズに失敗しました。

- (S)  
 処理を続行します。
- (O)  
 システムのエラーメッセージの情報からエラーの原因を調べて、対処してください。

**KAVT4962-E**

For execution, you must have permissions.  
 権限のあるユーザーで実行してください

コマンドを実行する権限が不正です。

- (S)  
 処理を中断します。
- (O)  
 ログインユーザーの権限を確認したあと、再実行してください。

**KAVT5251-I**

The processing of MSMQ sending will now start.  
 MSMQ送信処理を開始します

MSMQ 送信処理開始します。

- (S)  
 処理を開始します。

**KAVT5252-I**

The processing of MSMQ sending will now stop.  
 MSMQ送信処理を終了します

MSMQ 送信処理を終了します。

- (S)  
 処理を終了します。

**KAVT5253-E**

The parameter is specified incorrectly. (パラメーターに指定されたデータ)  
 パラメーターの指定が不正です (パラメーターに指定されたデータ)

パラメーターの指定が不正です。

- (S)  
 処理を中断します。
- (O)  
 必要な項目を指定してください。

**KAVT5254-E**

The parameter is specified incorrectly. (環境変数に指定されたデータ)  
 パラメーターの指定が不正です (環境変数に指定されたデータ)

パラメーターの指定が不正です。

- (S)  
 処理を中断します。
- (O)  
 必要な項目を指定してください。

**KAVT5255-E**

The data is specified incorrectly. (文字列チェックしたデータ)  
 データの指定が不正です (文字列チェックしたデータ)

データの指定が不正です。

- (S)  
 処理を中断します。
- (O)  
 必要な項目を指定してください。

**KAVT5256-E**

A required item is not designated.  
 必須項目が指定されていません

必要な項目を指定していません。

- (S)  
 処理を中断します。
- (O)  
 必要な項目を指定してください。

**KAVT5264-E**

The MSMQ service is not running. (サービスのステータスコード)  
 MSMQサービスが起動されていません (サービスのステータスコード)

MSMQ サービスが起動されていません。

- (S)  
 処理を続行します。
- (O)  
 MSMQ サービスを起動してください。

**KAVT5265-E**

The MSMQ service does not exist. (サービスのステータスコード)  
 MSMQサービスが存在しません (サービスのステータスコード)

## KAVT5266-E ~ KAVT5275-E

MSMQ サービスがありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

MSMQ をインストールしてください。

### KAVT5266-E

Information about the MSMQ service could not be acquired. (サービスのステータスコード)  
MSMQサービスの状態の取得に失敗しました (サービスのステータスコード)

MSMQ サービスの状態の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

MSMQ サービスが正常に稼働しているか確認してください。

### KAVT5267-E

The MSMQ server is not connected.  
MSMQサーバと接続されていません

MSMQ サーバと接続されていません。

(S)

処理を続行します。

(O)

MSMQ サーバを起動してください。

### KAVT5268-E

The connection with the MSMQ server cannot be confirmed. (サービスのステータスコード)  
MSMQサーバと接続確認ができません (サービスのステータスコード)

MSMQ サーバと接続確認ができません。

(S)

処理を続行します。

(O)

MSMQ サーバと JP1/AJS2 - Agent マシンの MSMQ が接続されているか確認してください。

### KAVT5269-E

Message sending will now stop because an error that stops processing occurred.  
続行不可能なエラーが発生したためメッセージの送信を中止します

続行できないエラーが発生したため、メッセージの送信を中止します。

(S)

処理を中断します。

(O)

MSMQ サービスが正常に稼働しているか確認してください。

### KAVT5272-E

The queue with the specified queue label name was not found.

指定されたキューラベル名のキューが見つかりません

指定されたキューラベル名のキューが見つかりません。

(S)

処理を中断します。

(O)

キューラベル名が正しいか、MSMQ エクスプローラなどで確認してください。

### KAVT5273-E

The queue could not be opened. (MQ関数の戻り値)  
キューのオープンに失敗しました (MQ関数の戻り値)

キューのオープンに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

キューのパス名が正しいか、またはアクセス権があるか確認してください。

### KAVT5274-E

Messages could not be sent. (MQ関数の戻り値)  
メッセージの送信ができませんでした (MQ関数の戻り値)

メッセージの送信ができませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

キューのアクセス権を確認してください。

### KAVT5275-E

The queue could not be closed. (MQ関数の戻り値)  
キューのクローズに失敗しました (MQ関数の戻り値)

キューのクローズに失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

メッセージの送受信が終了しているか確認してください。

**KAVT5276-E**

The format name could not be acquired from the path name of the queue. (MQ関数の戻り値)

キューのパス名からフォーマット名を取得できませんでした (MQ関数の戻り値)

キューのパス名から、フォーマット名を取得できませんでした。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
キューバス名が正しいか確認してください。

**KAVT5277-E**

An error occurred during an MSMQ access.  
(MQInstanceToFormatName)(MQ関数の戻り値)

MSMQアクセス時にエラーが発生しました  
(MQInstanceToFormatName) (MQ関数の戻り値)

MSMQ アクセス時にエラーが発生しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
キューバス名が正しいか確認してください。

**KAVT5278-E**

An error occurred during an MSMQ access.  
(MQLocateBegin)(MQ関数の戻り値)

MSMQアクセス時にエラーが発生しました  
(MQLocateBegin) (MQ関数の戻り値)

MSMQ アクセス時にエラーが発生しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
キューラベル名が正しいか確認してください。

**KAVT5279-E**

An error occurred during an MSMQ access.  
(MQLocateNext)(MQ関数の戻り値)

MSMQアクセス時にエラーが発生しました  
(MQLocateNext) (MQ関数の戻り値)

MSMQ アクセス時にエラーが発生しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
MSMQ サービスが正常に稼働しているか確認してください。

**KAVT5280-E**

An error occurred during an MSMQ access.  
(MQLocateEnd)(MQ関数の戻り値)

MSMQアクセス時にエラーが発生しました  
(MQLocateEnd) (MQ関数の戻り値)

MSMQ アクセス時にエラーが発生しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
MSMQ サービスが正常に稼働しているか確認してください。

**KAVT5281-E**

An error occurred during analysis of command arguments. (MQ関数の戻り値)

コマンド引数解析でエラーが発生しました (MQ関数の戻り値)

コマンド引数解析でエラーが発生しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
コマンド引数が正しいか確認してください。

**KAVT5286-E**

The MSMQ message queue linkage function is unavailable.

MSMQメッセージキュー連携機能は利用不可能な状態です

MSMQ メッセージキュー連携機能が利用できない状態です。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
MSMQ サービスが正常に稼働しているか確認してください。

**KAVT5287-E**

Message Reception Monitoring Interval is assumed because registry information was not acquired successfully.

レジストリー情報の取得に失敗したためメッセージ受信監視間隔を仮定します

レジストリー情報の取得に失敗したため、メッセージ受信監視間隔を仮定します。

(S)  
メッセージ受信監視間隔を仮定値に設定して処理を続行します。

(O)

レジストリー情報を取得できない原因を調査してください。

#### KAVT5291-E

The message text file could not be opened.

メッセージ本文ファイルのオープンができませんでした

メッセージ本文ファイルが、オープンできませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルのパス名が正しいか確認してください。

#### KAVT5292-E

The size of a message text file could not be acquired.

メッセージ本文ファイルのサイズが取得できませんでした

メッセージ本文ファイルのサイズが、取得できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルの状態を確認してください。

#### KAVT5293-E

Memory could not be allocated.

メモリーの確保ができません

メモリーの確保ができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付の  
ドキュメント (リリースノート, Readme.txt, また  
はソフトウェア添付資料) の「メモリー所要量および  
ディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT5294-E

The message text file could not be read.

メッセージ本文ファイルの読み込みができませんでした

メッセージ本文ファイルの読み込みができませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

メモリー不足の場合は、メモリーの確保をしてくだ  
さい。それ以外の場合は、ファイルの状態を確認してく  
ださい。

#### KAVT5295-E

The message text file could not be closed.

メッセージ本文ファイルがクローズできませんでした

メッセージ本文ファイルが、クローズできませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

ファイルの状態を確認してください。

#### KAVT5297-E

A message could not be sent (MQ関数の戻り値).

(MQ関数の戻り値) にメッセージを送信できませんでし  
た

メッセージを送信できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

直前のメッセージの内容を確認してください。

#### KAVT5307-E

The individual information file could not be accessed.

(ErrCode=ErrorCode番号,

GetLastErrorCode=GetLastError番号)

個別情報ファイルのアクセスに失敗しました

(ErrCode=ErrorCode番号,

GetLastErrorCode=GetLastError番号)

個別情報ファイルのアクセスに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

パラメーターを確認したあと、再実行してください。

#### KAVT5308-E

The registry information could not be acquired.

(ErrCode=ErrorCode番号,

GetLastErrorCode=GetLastError番号)

レジストリー情報の取得に失敗しました

(ErrCode=ErrorCode番号,

GetLastErrorCode=GetLastError番号)

レジストリー情報の取得に失敗しました。

(S)

値を仮定して処理を続行します。

(O)

レジストリーの情報が正しいか確認してください。

**KAVT5309-I**

Message Reception Monitoring Interval is assumed because registry information was not acquired successfully. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
 レジストリー情報の取得に失敗したためメッセージ受信監視間隔を仮定します ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

レジストリー情報の取得に失敗したため、メッセージ受信監視間隔を仮定します。

- ( S )  
 メッセージ受信監視間隔を仮定値に設定して処理を続行します。
- ( O )  
 レジストリー情報を取得できない原因を調査してください。

**KAVT5311-E**

Messages could not be received because initialization failed. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
 初期化に失敗したためメッセージの受信は行えませんでした ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

初期化に失敗しました。

- ( S )  
 処理を中断します。
- ( O )  
 JP1/AJS2 サービス、または OS を再起動してください。

**KAVT5312-E**

Messages cannot be received because an error that stops processing occurred. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
 続行不可能なエラーが発生したためメッセージの受信は行えませんでした ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

続行できないエラーが発生しました。

- ( S )  
 処理を中断します。
- ( O )  
 直前のメッセージの内容を確認してください。

**KAVT5313-E**

An error occurred in the end processing.  
 (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
 終了処理でエラーが発生しました ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

終了処理でエラーが発生しました。

- ( S )  
 処理を続行します。
- ( O )  
 ファイルおよびキューの状態を確認してください。

**KAVT5315-I**

A message was received. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
 メッセージを受信しました ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

メッセージを受信しました。

- ( S )  
 処理を続行します。

**KAVT5332-E**

Memory could not be allocated. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
 メモリーの確保ができません ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

メモリーの確保に失敗しました。

- ( S )  
 処理を中断します。
- ( O )  
 メモリーが不足していないか確認してください。  
 JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント ( リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料 ) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

**KAVT5338-E**

Message reception will now end because an error that stops processing occurred. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
 続行不可能なエラーが発生したためメッセージ受信処理を終了します ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

続行できないエラーが発生したため、メッセージ受信処理を終了します。

- ( S )  
 処理を中断します。
- ( O )

直前のメッセージの内容を確認してください。

#### KAVT5339-I

Although notification of Monitoring Interval failed, the message continued to be received. (ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
監視間隔の通知に失敗しましたがメッセージ受信処理は続行します (ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)

監視間隔の通知に失敗しましたが、メッセージ受信処理は続行します。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT5340-E

The queue could not be closed. (ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
キューのクローズに失敗しました (ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)

キューのクローズに失敗しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
「ErrCode=ErrorCodes 番号, GetLastErrorCode=GetLastError 番号」から原因を調査してください。

#### KAVT5342-E

The CCSID code is invalid. (ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
CCSIDコードが不正です (ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)

CCSID コードが不正です。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
コードを確認してください。

#### KAVT5343-E

The entered code is invalid. (ASCII) (ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
入力コードが不正です (ASCII) (ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)

入力コードが不正です (ASCII)。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
コードを確認してください。

#### KAVT5344-E

The entered code is invalid. (EBCDIC)  
(ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
入力コードが不正です (EBCDIC)  
(ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)

入力コードが不正です (EBCDIC)。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
コードを確認してください。

#### KAVT5345-E

The entered code is invalid. (EBCDIC)  
(ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
入力コードが不正です (EBCDIC)  
(ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)

入力コードが不正です (EBCDIC)。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
コードを確認してください。

#### KAVT5346-E

The OWNCCSID code is invalid. (ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
OWNCCSIDコードが不正です (ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)

OWNCCSID コードが不正です。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
コードを確認してください。

#### KAVT5352-E

Terminating because the pipe connection thread did not end. (ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
パイプ接続スレッドが終了しない為Terminateします (ErrCode=ErrorCodes番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)

MSMQ 監視プロセス終了処理で、終了しない内部スレッドがあったため、内部スレッドを強制停止させます。

- (S)  
処理を続行します。

(O)

JP1/AJS2 の停止中にこのメッセージが出力された場合は、次に JP1/AJS2 を起動させるときに、MSMQ 受信監視が正しく動作するかどうか確認してください。

JP1/AJS2 の停止中以外にこのメッセージが出力されたあと、MSMQ 受信監視が正しく動作していない場合は、JP1/AJS2 を再起動してください。

**KAVT5356-I**

End processing was forced. (ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)

終了処理を強制的に進めます ( ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

終了処理を強制的に進めます。

(S)

処理を続行します。

**KAVT5358-E**

The queue could not be opened: (ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)

キューオープン失敗: ( ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

キューのオープンに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

パス名とアクセス権を確認してください。

**KAVT5359-E**

An open error is being reported to ICON.

(ErrCode=ErrorCode番号,

GetLastErrorCode=GetLastError番号)

ICONにオープンエラー通知 ( ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

ICONにオープンのエラー通知をしました。

(S)

処理を中断します。

(O)

パス名とアクセス権を確認してください。

**KAVT5364-E**

There is no message : 保守情報

メッセージが存在しません : 保守情報

メッセージがありません。

(S)

監視を続行します。

(O)

監視しているキューにメッセージが届いている場合は、監視条件が正しいか確認してください。

**KAVT5367-E**

Initialization failed. (ErrCode=ErrorCode番号,

GetLastErrorCode=GetLastError番号)

初期化に失敗しました ( ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

初期化に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

サービス、または OS を再起動してください。

**KAVT5368-E**

There was an error in the prerequisite program.

(ErrCode=ErrorCode番号,

GetLastErrorCode=GetLastError番号)

前提プログラムでエラーが発生しました

( ErrCode=ErrorCode番号,

GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

MSMQ がインストールされていないおそれがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

MSMQ をインストールしてください。

**KAVT5371-E**

Messages could not be received because the format name could not be acquired from the path name of the queue.

(ErrCode=ErrorCode番号,

GetLastErrorCode=GetLastError番号)

キューのパス名からフォーマット名を取得できなかったためメッセージの受信を行えませんでした

( ErrCode=ErrorCode番号,

GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

キューのパス名からフォーマット名を取得できなかったため、メッセージを受信できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

キューパス名が正しいか確認してください。

#### KAVT5372-E

---

Messages could not be received because the queue could not be opened. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
キューのオープンに失敗しましたためメッセージの受信を行えませんでした ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

---

キューのオープンに失敗したため、メッセージを受信できませんでした。

- ( S )  
処理を中断します。
- ( O )  
キューバス名とアクセス権を確認してください。

#### KAVT5373-E

---

An error occurred during message reception. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
メッセージ受信時にエラーが発生しました ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

---

メッセージ受信にエラーが発生しました。

- ( S )  
処理を中断します。
- ( O )  
直前のメッセージの内容を確認してください。

#### KAVT5374-E

---

Memory could not be allocated during message reception. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
メッセージ受信処理中にメモリーの確保に失敗しました ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

---

メッセージの受信処理中に、メモリーの確保に失敗しました。

- ( S )  
処理を中断します。
- ( O )  
メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント（リリースノート、Readme.txt、またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT5376-E

---

The status of the queue was changed. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
キューの状態が変更されました ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

---

キューの状態が変更されました。

- ( S )  
キューをクローズして再オープンしたあと、監視を続行します。
- ( O )  
キューの状態を確認してください。

#### KAVT5377-E

---

The queue was deleted. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
キューが削除されました ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

---

キューが削除されました。

- ( S )  
キューをクローズして再オープンしたあと、監視を続行します。
- ( O )  
MSMQ エクスプローラでキューを作成してください。

#### KAVT5378-E

---

The MSMQ service is not running. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
MSMQサービスが起動されていません ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

---

MSMQ サービスが起動されていません。

- ( S )  
処理を続行します。
- ( O )  
MSMQ サービスを起動してください。

#### KAVT5379-E

---

The MSMQ server cannot be connected. (ErrCode=Errorcode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
MSMQサーバと接続できません ( ErrCode=Errorcode番号 , GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

---

MSMQ サーバと接続できません。

- ( S )  
処理を続行します。



(O)

ファイルのパス名が正しいか確認してください。

#### KAVT5380-E

Messages could not be received because memory could not be allocated. (ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
メモリーが確保できなかったためメッセージの受信を行いませんでした ( ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

メモリーが確保できなかったため、メッセージの受信に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント ( リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料 ) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT5381-E

Message could not be received because an error that stops processing occurred during message reception.  
メッセージ受信処理中に続行不可能なエラーが発生したためメッセージの受信を行いませんでした ( ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

メッセージ受信処理中に、続行できないエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

直前のメッセージの内容を確認してください。

#### KAVT5382-E

The file for storing messages could not be output. (ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
メッセージ格納ファイルの出力に失敗しました ( ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

メッセージ格納ファイルの出力に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

ファイルのパス名が正しいか確認してください。

#### KAVT5383-E

The queue handle is invalid. (ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
キューハンドルが不正です ( ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

キューハンドルが不正です。

(S)

キューをクローズして再オープンしたあと、監視を続行します。

(O)

キューの状態を確認してください。

#### KAVT5384-E

An error occurred during an MSMQ access. (MQCreateCursor). (ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
MSMQアクセス時にエラーが発生しました ( MQCreateCursor ) ( ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

MSMQ アクセス時にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

キューの状態を確認してください。

#### KAVT5385-E

The inherited information file could not be output. (ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号)  
引き継ぎ情報ファイルの出力に失敗しました ( ErrCode=ErrorCode番号, GetLastErrorCode=GetLastError番号 )

引き継ぎ情報ファイルの出力に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ディスク容量が不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のディスク占有量については、製品添付のドキュメント ( リリースノート, Readme.txt, またはソフトウェア添付資料 ) の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT5451-I

The MSMQ linkage communication process will now start.  
MSMQ連携通信プロセスを起動します

MSMQ 連携通信プロセスを起動します。

(S)

## KAVT5452-I ~ KAVT5466-E

処理を続行します。

### KAVT5452-I

The MSMQ linkage communication process started.  
MSMQ連携通信プロセスが起動しました

MSMQ 連携通信プロセスが起動しました。

(S)

処理を続行します。

### KAVT5453-I

The MSMQ linkage communication process stopped.  
MSMQ連携通信プロセスを停止しました

MSMQ 連携通信プロセスを停止しました。

(S)

処理を終了します。

### KAVT5454-I

The MSMQ reception monitoring will now start.  
MSMQ受信監視を開始します

MSMQ 受信監視を開始します。

(S)

処理を終了します。

### KAVT5455-E

The MSMQ reception monitoring will now stop.  
MSMQ受信監視を中止します

MSMQ 受信監視を中止します。

(S)

処理を中断します。

(O)

その前に出力されたエラーメッセージを参考に、原因を特定してください。

### KAVT5456-I

The reception of messages that satisfy the conditions was confirmed.  
条件にあったメッセージの受信を確認しました

条件に合ったメッセージの受信を確認しました。

(S)

処理を続行します。

### KAVT5457-I

Monitoring of MSMQ reception will now end because the time-out period elapsed.  
打ち切り時間になったため、MSMQ受信監視を終了します

打ち切り時間になったため、MSMQ 受信監視を終了します。

(S)

処理を続行します。

### KAVT5461-W

An error occurred during creation of a macro variable.  
マクロ変数作成中にエラーが発生しました

マクロ変数作成中にエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

引き継ぎ用マクロ変数が正しいか確認してください。

### KAVT5462-W

A macro variable exceeds 4096 bytes. Some macro variables could not be created.  
マクロ変数が4096バイトを越えました。作成出来なかったマクロ変数があります

マクロ変数が 4,096 バイトを超えました。作成できなかったマクロ変数があります。

(S)

処理を続行します。

(O)

引き継ぎ用マクロ変数が正しいか確認してください。

### KAVT5464-W

The MSMQ monitor process is not running.  
MSMQ監視プロセスが起動していません

MSMQ 監視プロセスが起動していません。

(S)

処理を中断します。

(O)

OpenTP1、または MSMQ のサービスを起動してください。

### KAVT5465-I

The start of the MSMQ monitor process was confirmed.  
MSMQ監視プロセスの起動を確認しました

MSMQ 監視プロセスの起動を確認しました。

(S)

処理を続行します。

### KAVT5466-E

The definition of the MSMQ monitor job is invalid.  
MSMQ受信監視ジョブの定義に誤りがあります

MSMQ 受信監視ジョブの定義に誤りがあります。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ジョブの定義を確認してください。

#### KAVT5467-E

Memory became insufficient.  
メモリー不足が発生しました

メモリー不足が発生しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント（リリースノート、Readme.txt、またはソフトウェア添付資料）の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT6001-I

The JP1 event send command has started.  
JP1 イベント送信コマンドを開始しました

JP1 イベント送信コマンドを開始します。

- (S) 処理を続行します。

#### KAVT6002-I

The JP1 event send command ended.  
JP1 イベント送信コマンドが終了しました

JP1 イベント送信コマンドを終了します。

- (S) 処理を続行します。

#### KAVT6003-E

No event ID is specified.  
イベントIDの指定がありません

イベント ID を指定していません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 定義を見直してイベント ID が設定されているか確認してください。イベント ID が設定されている場合は、システム管理者に連絡してください。

#### KAVT6004-E

An error occurred in the event service. (jevsend コマンドのリターンコード)  
イベントサービスでエラーが発生しました (jevsend コマンドのリターンコード)

イベントサービスでエラーが発生しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) jevsend コマンドのリターンコードを調査して、原因を特定してください。原因を解決したあと、再実行してください。

#### KAVT6005-E

The installation path of JP1/Base could not be obtained.  
JP1/Base のインストールパスの取得に失敗しました

JP1/Base をインストールしているディレクトリを取得することに失敗しました。Windows のレジストリー情報が破壊されているおそれがあります。

- (S) 処理を中断します。
- (O) JP1/Base のレジストリー情報を確認してください。  
レジストリー情報が破壊されていた場合、JP1/Base を再インストールしたあと、JP1/AJS2 を再起動してから、再度実行してください。

#### KAVT6006-E

Memory became insufficient.  
メモリー不足が発生しました

メモリー不足が発生しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) プログラムを実行するのに、十分なメモリーがあるかどうか確認して、再度実行してください。

#### KAVT6100-E

Transmission of the JP1 event was not possible.  
JP1 イベントの送信ができませんでした

JP1 イベントの送信ができませんでした。

- (S) 処理を中断します。
- (O) JP1 イベントが送信できる環境か、また、JP1/Base のイベントサービスに問題が発生していないかどうか確認してください。

## KAVT6101-E ~ KAVT7007-E

### KAVT6101-E

Confirmation of JP1 event arrival was not possible.  
JP1イベントの到達確認ができませんでした

JP1 イベントの到達確認を設定された回数分だけ確認しましたが、JP1 イベントの到達を確認できませんでした。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
JP1 イベントが送信できる環境か、また、JP1/Base  
のイベントサービスに問題が発生していないかどうか  
確認してください。

### KAVT6102-I

Event sending host = イベント送信先ホスト名  
イベント送信先ホスト=イベント送信先ホスト名

イベント送信先ホスト名を表示します。このメッセージは  
イベントの到達確認を行う場合だけ出力されます。

(S)  
処理を続行します。

### KAVT6103-I

The JP1 event was able to transmit a message.  
JP1イベントが送信できました

JP1 イベントが送信できました。

(S)  
処理を終了します。

### KAVT6104-E

An attempt to acquire the event sending source host  
name (自ホスト名) failed. 保守情報  
イベント送信先ホスト名 (自ホスト名) の取得に失敗しま  
した 保守情報

イベント送信先ホスト名が指定されていなかったため、自  
ホスト名をイベント送信先ホスト名とします。自ホスト名  
の取得を実施しましたが、取得に失敗しました。

(S)  
処理を中断します

(O)  
ネットワーク設定およびホスト名の設定に問題がない  
かどうか確認してください。解決できない場合は、イ  
ベント送信先ホストを指定して再度実行してくださ  
い。

### KAVT7001-I

Timer monitoring process will now start.  
タイマー監視プロセスを開始します

実行間隔制御用プロセスを開始します。

(S)  
処理を続行します。

### KAVT7002-I

Timer (タイマー値 min) monitoring will now start.  
タイマー (タイマー値 min) の監視を開始します

タイマーの監視を開始します。

(S)  
処理を続行します。

### KAVT7003-I

Timer (タイマー値 min) is over.  
タイマー (タイマー値 min) が満了しました

タイマーが満了しました。

(S)  
処理を終了します。

### KAVT7004-I

Timer monitoring process will now end.  
タイマー監視プロセスを終了します

実行間隔制御用プロセスを終了します。

(S)  
処理を終了します。

### KAVT7005-W

The time-out period elapsed.  
打ち切り時間が経過しました

打ち切り時間が経過しました。ジョブを打ち切ります。

(S)  
処理を中断します。

### KAVT7006-W

A kill request was accepted.  
強制終了要求を受け付けました

強制終了要求を受け付けました。ジョブを強制終了しま  
す。

(S)  
処理を中断します。

### KAVT7007-E

Timer monitoring process ended. (保守情報)  
タイマー監視プロセスを終了します (保守情報)

実行間隔制御用プロセスが異常を検知し終了します。

(S)  
処理中に続行できないエラーが発生したためプロセス  
が終了しました。実行間隔制御ジョブは監視できませ

ん。

(O)

イベント・アクション制御の内部的な要因でエラーが発生しているため、システム管理者に連絡して資料を採取してください(「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

#### KAVT7008-W

The memory for message output became insufficient. (保守情報)

メモリー不足が発生したため、実行結果詳細へのメッセージ出力ができません。(保守情報)

メモリー不足が発生しました。実行結果詳細へのメッセージ出力ができません。

(S)

メモリーが不足したため、実行結果詳細にメッセージを出力しないで処理を続行します。

(O)

メモリーが不足していないか確認してください。  
JP1/AJS2 のメモリー所要量については、製品添付のドキュメント(リリースノート、Readme.txt、またはソフトウェア添付資料)の「メモリー所要量およびディスク占有量」を参照してください。

#### KAVT7009-E

Memory became insufficient. (保守情報)

メモリー不足が発生しました。(保守情報)

メモリー不足が発生しました。当該ジョブを終了します。

(S)

メモリー不足が発生したため、当該ジョブを異常終了させます。

(O)

プログラムを実行するのに十分なメモリーがあるかどうか確認して、エラーとなったイベントジョブを JP1/AJS2 - View 上で調べて再度実行してください。

#### KAVT7010-E

An attempt to start the timer monitoring process failed.

(保守情報)(保守情報)

タイマー監視プロセスの起動処理に失敗しました。(保守情報)(保守情報)

実行間隔制御用プロセスの起動処理に失敗しました。

(S)

実行間隔制御用プロセスの起動処理中に、続行できないエラーが発生したためプロセスを終了します。実行間隔制御ジョブは監視できません。

(O)

リソース不足が発生していないか確認をしてください。確認後 JP1/AJS2 を再起動してください。

#### KAVT7011-E

An attempt to obtain pipe data failed. (保守情報)(保守情報)

パイプデータの取得に失敗しました。(保守情報)(保守情報)

エージェントとのプロセス間通信でエラーが発生したため、実行間隔制御用プロセスを終了します。

(S)

エージェントとのプロセス間通信でエラーが発生したため、実行間隔制御用プロセスを終了します。実行間隔制御ジョブは監視できません。

(O)

次のことを確認してください。  
・システムのリソースが不足していないか。  
・JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

確認後、JP1/AJS2 を再起動してください。

#### KAVT7012-E

An attempt to send pipe data failed. (保守情報)(保守情報)

パイプデータの送信に失敗しました。(保守情報)(保守情報)

エージェントへのプロセス間通信に失敗しました。

(S)

エージェントとのプロセス間通信でエラーが発生しました。発生個所によって、実行間隔制御用プロセスを終了します。その場合には、実行間隔制御ジョブは監視できません。実行間隔制御ジョブのイベントの検知が失敗しているおそれがあります。

(O)

システムのリソースが不足していないか、または JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを不当に削除していないか確認してください。実行間隔制御用プロセスが起動している場合には、エラーとなったイベントジョブを JP1/AJS2 - View 上で調べて再度実行してください。実行間隔制御用プロセスが停止している場合には、JP1/AJS2 を再起動してください。

#### KAVT7013-E

An error occurred during the operation of a file. (保守情報)

(保守情報)

ファイルの操作中にエラーが発生しました。(保守情報)(保守情報)

実行間隔制御用プロセスが扱う情報ファイルのオープンが失敗しました。

(S)

当該ジョブに対する監視開始処理が行えません。

(O)

システムのリソースが不足していないか、または

## KAVT7014-E ~ KAVT7507-I

JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを不当に削除していないか確認してください。  
確認後、エラーとなったイベントジョブを JP1/AJS2 - View 上で調べて再度実行してください。

### KAVT7014-E

An error exists in the definition contents of the timer monitoring job. (保守情報)(保守情報)  
タイマー監視ジョブの定義内容に誤りがあります。(保守情報)(保守情報)

タイマー監視ジョブの定義内容に誤りがあります。

- (S)
- タイマー監視ジョブの定義内容に誤りがあるため、該当するジョブを異常終了します。
- (O)
- 定義内容を見直して、再度実行してください。

### KAVT7015-E

An attempt to set the next time monitoring failed. (保守情報)(保守情報)  
次回監視のための設定に失敗しました。(保守情報)(保守情報)

システムのリソース不足が発生したために、実行間隔制御ジョブが異常終了します。

- (S)
- 今回の監視を行うための処理でリソース不足が発生しました。当該実行間隔制御ジョブは異常終了します。
- (O)
- 次のことを確認してください。
- システムのリソースが不足していないか。
- 確認後、エラーとなったイベントジョブを JP1/AJS2 - View 上で調べて再度実行してください。

### KAVT7016-W

A macro variable exceeds 4096 bytes.  
マクロ変数が4096バイトを超えました

変換後のマクロ変数が 4096 を超えました。

- (S)
- マクロ変数の最大値は 4,096 バイトです。4,096 バイトを超えた場合には、超えた部分の情報は切り捨てて処理を続けます。
- (O)
- マクロ変数の 4,096 バイトを超えた部分は、後続のジョブネット・ジョブに引き継がれません。後続のジョブネット・ジョブの実行状態を確認して、問題がある場合にはジョブの定義を見直してください。

### KAVT7501-E

Invalid parameter specification. (指定したパラメーター)  
パラメーターの指定が不正です(指定したパラメーター)

JP1/Cm2 状態通知ジョブのパラメーターの指定が不正です。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 指定したパラメーターの定義を見直したあと、再実行してください。

### KAVT7502-E

Invalid environment variable specification. (指定した環境変数)  
環境変数の指定が不正です(指定した環境変数)

JP1/Cm2 状態通知ジョブのパラメーターの指定が不正です。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 指定したパラメーターの定義を見直したあと、再実行してください。

### KAVT7503-E

Invalid data specification. (指定したデータ)  
データの指定が不正です(指定したデータ)

JP1/Cm2 状態通知ジョブのパラメーターの指定が不正です。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 指定したパラメーターの定義を見直したあと、再実行してください。

### KAVT7506-I

The status report will now start.  
状態通知を開始します

状態通知を開始します。

- (S)
- 処理を続行します。

### KAVT7507-I

The status report will now end.  
状態通知を終了します

状態通知を終了します。

- (S)

処理を終了します。

#### KAVT7508-E

Could not report status. SNMP service is not installed.  
SNMPサービスがインストールされていないため、状態通知を行えませんでした

SNMP サービスがインストールされていないため、状態通知できませんでした。

- (S) 処理を中断します。
- (O) SNMP サービスをインストールしてください。

#### KAVT7509-E

Could not report status. SNMP service is not started.  
SNMPサービスが起動していないため、状態通知を行えませんでした

SNMP サービスが起動していないため、状態を通知できませんでした。

- (S) 処理を中断します。
- (O) SNMP サービスを起動してください。

#### KAVT7510-E

Could not report status. SNMP service community name is not established.

SNMPサービスのコミュニティ名が設定されていないため、状態通知を行えませんでした

SNMP サービスのコミュニティ名が設定されていないため、状態を通知できませんでした。

- (S) 処理を中断します。
- (O) SNMP サービスにコミュニティ名を設定してください。

#### KAVT7511-E

The status could not be reported because the destination of the SNMP service trap was not specified.

SNMPサービスのトラップ送信先が設定されていないため、状態通知を行えませんでした

SNMP サービスのトラップ送信先が設定されていないため、状態を通知できませんでした。

- (S) 処理を中断します。
- (O) SNMP サービスのトラップ送信先を設定してください

い。

#### KAVT7512-E

Failed to report status. (Code =状態通知失敗のコード)  
状態通知に失敗しました (Code =状態通知失敗のコード)

状態通知に失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 状態通知失敗のコードが 10 の場合には、JP1/Cm2 状態通知ジョブをスーパーユーザー権限を持った JP1 ユーザーで実行されているかどうか確認してください。  
それ以外の場合は、システム管理者に連絡してください。

#### KAVT7513-E

Error in status specification. (ステータスに指定した文字)  
ステータスの指定に誤りがあります (ステータスに指定した文字)

ステータスの指定が正しくありません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ステータスを正しく指定してください。

#### KAVT7514-I

The status was reported. (status=送信した状態、info=送信した付加情報)  
状態通知を行いました (status=送信した状態、info=送信した付加情報)

状態通知をしました。

- (S) 処理を終了します。

#### KAVT8001-I

The common environment definition command will now start.

共通の環境定義コマンドを開始します

共通の環境定義コマンドを開始します。

- (S) 処理を開始します。

#### KAVT8002-I

The common environment definition command will now end.

共通の環境定義コマンドを終了します

## KAVT8003-E ~ KAVT8012-E

共通の環境定義コマンドを終了します。

- (S)  
コマンドを終了します。

### KAVT8003-E

The parameter is specified incorrectly.  
パラメーターの指定が不正です

パラメーターを誤って指定しています。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
定義パラメーターを正しく指定したあと、再実行してください。

### KAVT8004-E

The environment variable is specified incorrectly. (指定した環境変数)  
環境変数の指定が不正です (指定した環境変数)

環境変数を誤って指定しています。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
システムリソースの状態を確認したあと、再実行してください。

### KAVT8005-E

The data is specified incorrectly. (指定したデータ)  
データの指定が不正です (指定したデータ)

データを誤って指定しています。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
定義パラメーターを確認してください。

### KAVT8007-E

The configuration definition could not be read. (エラーコード)  
構成定義情報の書き込みに失敗しました (エラーコード)

構成定義情報の書き込みに失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
スーパーユーザーの権限で実行しているか確認してください。

### KAVT8008-E

A required item is missing.  
必須項目が指定されていません

必要な項目を指定していません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
必要な項目をすべて指定しているか確認してください。

### KAVT8009-I

The mail linkage setting was canceled.  
メール連携の設定を解除しました

メール連携の設定を解除しました。

- (S)  
コマンドを終了します。

### KAVT8010-E

The parameter is specified incorrectly.  
不正なパラメーターが指定されています

パラメーターを誤って指定しています。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
パラメーターが正しく指定されているか確認したあと、再実行してください。

### KAVT8011-E

You are not authorized to access the configuration definition. (エラーコード)  
構成定義情報へのアクセス権がありません (エラーコード)

構成定義情報へのアクセス権がありません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
構成定義情報にアクセスできる環境か確認したあと、再実行してください。

### KAVT8012-E

The specified key does not exist in the configuration definition. (エラーコード)  
構成定義情報に指定キーが存在しません (エラーコード)

構成定義情報に指定キーがありません。

- (S)  
処理を中断します。



- (O)  
JP1/AJS2 が正しくインストールされているか確認してください。

#### KAVT8013-E

An unexpected error occurred. (エラーコード)  
予期せぬエラーが発生しました (エラーコード)

予期しないエラーが発生しました。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
システム管理者に連絡してください。

#### KAVT8014-I

The message queue environment setting command will now start.  
メッセージキューの環境設定コマンドを開始します

メッセージキューの環境設定コマンドを開始します。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT8015-I

The message queue environment setting command will now end.  
メッセージキューの環境設定コマンドを終了します

メッセージキューの環境設定コマンドを終了します。

- (S)  
コマンドを終了します。

#### KAVT8016-I

The MSMQ environment setting command will now start.  
MSMQの環境設定コマンドを開始します

MSMQ の環境設定コマンドを開始します。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT8017-I

The MSMQ environment setting command will now end.  
MSMQの環境設定コマンドを終了します

MSMQ の環境設定コマンドを終了します。

- (S)  
コマンドを終了します。

#### KAVT8018-I

The mail environment setting command will now start.  
メールの環境設定コマンドを開始します

メールの環境設定コマンドを開始します。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAVT8019-I

The mail environment setting command will now end.  
メールの環境設定コマンドを終了します

メールの環境設定コマンドを終了します。

- (S)  
コマンドを終了します。

#### KAVT8020-E

The specified data is not used on the current platform. (指定したデータ)  
指定したデータは現在のPlatformでは使用しません (指定したデータ)

指定したデータは現在のプラットフォームでは使用しません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
データが現在のプラットフォームで使用できるか確認したあと、再実行してください。

#### KAVT8021-E

Environment setup did not end normally.  
環境設定が正常に終了しませんでした

環境設定が正常に終了しませんでした。

- (S)  
コマンドを終了します。
- (O)  
その前に出力されたエラーメッセージを参考に、原因を特定してください。

#### KAVT8022-E

For execution, you must have Administrator permissions.  
Administrator権限のあるユーザーで実行してください

Administrators 権限のあるユーザーで実行してください。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
ログインユーザーの権限を確認したあと、再実行してください。

#### KAVT8023-I

The message queue linkage settings were canceled.  
メッセージキュー連携の設定を解除しました

メッセージキュー連携の設定を解除しました。

- (S)  
コマンドを終了します。

#### KAVT8024-I

The MSMQ linkage setting was canceled.  
MSMQ連携の設定を解除しました

MSMQ 連携の設定を解除しました。

- (S)  
コマンドを終了します。

#### KAVT8025-E

The data length is invalid. (エラーコード)  
データ長が不正です (エラーコード)

データ長が不正です。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
データが指定範囲内か確認してください。

#### KAVT8026-E

Memory became insufficient. (保守情報)  
メモリーが不足しています (保守情報)

メモリーが不足しています。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
実行するために必要なメモリーを確保したあと、再実行してください。

#### KAVT8107-E

Memory became insufficient.  
メモリーが不足しています

メモリーが不足しています。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
実行するために必要なメモリーを確保したあと、再実行してください。

#### KAVT8301-I

The command terminated normally.  
コマンドが正常終了しました

一覧表示が正常に終了しました。

- (S)  
コマンドの実行を終了します。

#### KAVT8302-W

The command terminated abnormally.  
コマンドが異常終了しました

エラーが発生したため、コマンドは異常終了しました。

- (S)  
コマンドの実行を終了します。
- (O)  
その前に出力されたメッセージのエラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVT8303-E

Value for option (オプション) is not specified.  
オプション (オプション) の値が指定されていません

値を必要とするオプションに対して、値を指定していません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
オプションの値を指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVT8304-E

Extra argument(s) exist.  
余分な引数が指定されています

不要な引数を指定しています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
不要な引数を削除したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVT8305-E

Invalid value for option (オプション).  
オプション (オプション) の値に誤りがあります

オプションの値を誤って指定しています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
オプションの値を正しく指定したあと、コマンドを再

実行してください。

#### KAVT8306-E

Option (オプション) appears twice or more.  
オプション (オプション) が2回以上指定されています

同じオプションを 2 回以上指定しています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
2 回以上指定したオプションを 1 回だけに指定し直したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVT8307-E

Cannot specify these options together.  
同時に指定できないオプションが指定されています

同時に指定できないオプションを指定しています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
どちらかのオプションを削除したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVT8308-E

Insufficient memory occurred. (保守情報)  
メモリー不足が発生しました (保守情報)

メモリー不足が発生しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
メモリー所要量に余裕があるか確認してください。

#### KAVT8310-W

Because the data was long, the data was truncated and then displayed. (切り捨てたデータ (最大900バイトまで))(表示項目名)  
データが長かったため、切り捨てて表示します (切り捨てたデータ (最大900バイトまで)) (表示項目名)

表示するデータが予想しない長さだったため、データを切り捨てて表示します。

- (S)  
コマンドの実行を続行します。
- (O)  
JP1/AJS2 が正しく動作しているか確認してください。

#### KAVT8311-W

The deleting of files failed. (保守情報)  
ファイルの削除に失敗しました (保守情報)

終了処理中に作業用のファイルが削除できませんでした。

- (S)  
コマンドの実行を続行します。
- (O)  
作業ファイル格納フォルダ (ディレクトリ) 下の sys\_bak フォルダ (ディレクトリ) を削除してください。

#### KAVT8312-E

The copying of files failed. (保守情報)  
ファイルのコピーに失敗しました (保守情報)

ファイルをコピーできませんでした。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
次のことを確認してください。
  - システムのリソースが不足していないか。
  - 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
なお、イベントジョブおよび起動条件を一度も実行したことがない状態で jpomanjobshow コマンドを実行すると、このメッセージが標準エラー出力ファイルに出力されます。その場合は、メッセージを無視して運用を続行してください。

#### KAVT8313-W

An error occurred during the access of job data. (エラーコード)(関数名)(保守情報)  
ジョブデータのアクセスでエラーが発生しました (エラーコード) (関数名) (保守情報)

DB のアクセスでエラーが発生しました。

- (S)  
コマンドの実行を続行します。ただし、該当ジョブのジョブネット名と、ジョブ名は表示できません。
- (O)  
次のことを確認してください。
  - システムのリソースが不足していないか。
  - 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
  - メンテナンス実行中でないか。
  - 反映側 JP1/AJS2 - Datareplicator が起動中でないか。

### KAVT8314-E

An error occurred during communication with the agent.  
(エラーコード)(関数名)(保守情報)

エージェントとの通信でエラーが発生しました (エラーコード) (関数名) (保守情報)

エージェントとのパイプの作成, 書き込み, 読み込みでエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

クラスタシステムの場合は, コマンドを待機系で実行していないか確認したあと, コマンドを実行系で再実行してください。

### KAVT8315-W

An error occurred during communication with the monitoring process. (エラーコード)(関数名)(保守情報)  
監視系プロセスとの通信でエラーが発生しました (エラーコード) (関数名) (保守情報)

監視系プロセスとのパイプの作成, 書き込み, 読み込みでエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を続行します。ただし, Status が正しく表示されないおそれがあります。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT8316-E

An error occurred during the access of the agent information file. (エラーコード)(関数名)(保守情報)

エージェント情報ファイルのアクセスでエラーが発生しました (エラーコード) (関数名) (保守情報)

エージェントからの情報ファイルのオープンなどのアクセスで, エラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクト

リを誤って削除していないか。

### KAVT8317-W

An error occurred during the access of the monitoring process information file. (エラーコード)(関数名)(保守情報)

監視系プロセス情報ファイルのアクセスでエラーが発生しました (エラーコード) (関数名) (保守情報)

監視系プロセスからの情報ファイルのオープンなどのアクセスで, エラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を続行します。ただし, Status が正しく表示されないおそれがあります。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT8319-E

For execution, you must have Administrator permission.  
Administrator権限のあるユーザーで実行してください

Administrators 権限のないユーザーで実行したため, 実行する権限がありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

Administrators 権限のあるユーザーで, 再実行してください。

Windows で UAC 機能が有効の場合は, 管理者で再度コマンドを実行してください。

### KAVT8320-E

The host name could not be obtained. (エラーコード)(関数名)(保守情報)

ホスト名取得に失敗しました (エラーコード) (関数名) (保守情報)

ホスト名取得でエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 および JP1/Base が正しくインストールされているか。
- JP1/AJS2 および JP1/Base の環境設定が正しくされているか。

**KAVT8321-E**

The installation path could not be acquired.  
インストールパスの取得に失敗しました

インストールパスの取得でエラーが発生しました。

- (S)
- コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 次のことを確認してください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - JP1/AJS2 および JP1/Base が正しくインストールされているか。
  - JP1/AJS2 および JP1/Base の環境設定が正しくされているか。

**KAVT8322-E**

The configuration definition could not be read.  
構成定義情報の読み込みに失敗しました

構成定義情報の読み込みでエラーが発生しました。

- (S)
- コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 次のことを確認してください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - JP1/AJS2 および JP1/Base が正しくインストールされているか。
  - JP1/AJS2 および JP1/Base の環境設定が正しくされているか。

**KAVT8323-E**

The registration file could not be read. (パス名)(関数名)(  
保守情報)  
登録ファイルの読み込みに失敗しました (パス名) (関数  
名) (保守情報)

登録ファイルの読み込みでエラーが発生しました。

- (S)
- コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 次のことを確認してください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

**KAVT8324-W**

The definition information file could not be read. (エラー  
コード)(関数名)(保守情報)  
定義情報ファイルの読み込みに失敗しました (エラーコー  
ド) (関数名) (保守情報)

定義情報ファイルの読み込みでエラーが発生しました。

- (S)
- コマンドの実行を続行します。ただし、表示されないデータがあるおそれがあります。
- (O)
- 次のことを確認してください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

**KAVT8325-W**

The unreported information file could not be read. (関数  
名)(保守情報)  
エージェント未通知情報ファイルの読み込みに失敗しました  
(関数名) (保守情報)

エージェント未通知情報ファイルの読み込みで、エラーが  
発生しました。

- (S)
- コマンドの実行を続行します。ただし、Information  
が正しく表示されないおそれがあります。
- (O)
- 次のことを確認してください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

**KAVT8327-W**

There is no data so data cannot be displayed. (表示項目名  
) (保守情報)  
データがないため表示できません (表示項目名) (保守情  
報)

求めた値にデータがなかったため表示できません。

- (S)
- コマンドの実行を続行します。
- (O)
- JP1/AJS2 サービスが起動されているか、またはメン  
テナンス中でないか確認してください。

**KAVT8328-E**

There is no specified host name. (ホスト名)(関数名)  
指定したホスト名がありません (ホスト名) (関数名)

オペランド (-h) または環境変数 JP1\_HOSTNAME で指定

## KAVT8329-E ~ KAVT8334-E

したホスト名がありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
指定したホスト名があるか、または JP1/AJS2 の環境設定が正しくされているか確認してください。

### KAVT8329-E

The exclusion information could not be obtained. (エラーコード)(関数名)  
排除情報の取得に失敗しました (エラーコード) (関数名)

排除情報の取得に失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
次のことを確認してください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT8330-E

Exclusion failed. (エラーコード)(関数名)  
排除をかけるのに失敗しました (エラーコード) (関数名)

次に示すコマンドの実行時に、排除をかけるのに失敗しました。

- jpoagtjobshow
- jpomanevreset
- jpomanevshow
- jpomanjobshow

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
次のことを確認したあと、コマンドを再実行してください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。
  - 同じコマンドを複数同時に実行していないか。
  - クラスタシステムの場合は、コマンドを待機系で実行していないか。
- クラスタシステムの場合は、実行系でコマンドを再実行してください。

### KAVT8331-W

Deletion of the exclusion file failed. (エラーコード)(関数名)  
排除ファイルの削除に失敗しました (エラーコード) (関数名)

終了処理中に排除ファイルの削除に失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
次のことを確認してください。
- システムのリソースが不足していないか。
  - 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT8332-E

Exclusion is being applied. (エラーコード)(関数名)  
排除がかかっています (エラーコード) (関数名)

次に示すコマンドの実行によって排除が掛かっています。

- jpoagtjobshow
- jpomanevreset
- jpomanevshow
- jpomanjobshow

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
同じコマンドを複数同時に実行していないか確認し、先に実行中のコマンドが終了してから、コマンドを再実行してください。

### KAVT8333-E

The agent is not running.  
エージェントが未起動です

エージェントが未起動です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
エージェントが、起動されているか確認してください。必要に応じて、JP1/AJS2 を再起動してください。
- クラスタシステムの場合は、コマンドを待機系で実行していないか確認したあと、コマンドを実行系で再実行してください。

### KAVT8334-E

The manager name storage file could not be created. (エラーコード)(関数名)(保守情報)  
マネージャー名格納ファイルの作成に失敗しました (エラーコード) (関数名) (保守情報)

マネージャー名格納ファイル作成，書き込みでエラーが発生しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 次のことを確認してください。
- ・システムのリソースが不足していないか。
  - ・起動したユーザーの権限環境が正しいか。
  - ・JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

#### KAVT8335-E

A contradiction was detected during communication.  
通信で矛盾を検知しました

コマンドが取得している，イベントジョブ情報以外からの，イベントジョブ情報を検知しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 内部エラーのため資料を採取したあと，システム管理者に連絡してください。

#### KAVT8336-E

Some agent information could not be written.  
エージェント情報がいくつか書き込まれませんでした

エージェントの情報で，書き込まれなかった情報があります。

- (S) イベントジョブ一覧表示をしたあと（ただし，表示されないデータがあるおそれがあります），コマンドを異常終了します。
- (O) 統合トレースログから書き込まれなかった原因を調べて，対処してください。

#### KAVT8337-W

Some monitoring process information could not be written. (監視プロセス名)  
監視系プロセス情報がいくつか書き込まれませんでした（監視プロセス名）

監視系プロセスの情報で，書き込まれなかった情報があります。

- (S) コマンドの実行を続行します。ただし，Status が正しく表示されないおそれがあります。
- (O) 統合トレースログから書き込まれなかった原因を調べて，対処してください。

#### KAVT8338-E

None of the agent information could be written.  
エージェント情報が全て書き込まれませんでした

エージェントの情報が，すべて書き込まれませんでした。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 統合トレースログから書き込まれなかった原因を調べて，対処してください。

#### KAVT8339-W

None of the monitoring process information could be written. (監視プロセス名)  
監視系プロセス情報が全て書き込まれませんでした（監視プロセス名）

監視系プロセスの情報が，すべて書き込まれませんでした。

- (S) コマンドの実行を続行します。ただし，Status が正しく表示されないおそれがあります。
- (O) 統合トレースログから書き込まれなかった原因を調べて，対処してください。

#### KAVT8340-E

The main loop of the jpoagtjobshow command failed. (保守情報)  
jpoagtjobshow コマンドのメインループに失敗しました（保守情報）

jpoagtjobshow コマンドのメイン処理の開始に失敗しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) システムのリソースが不足していないか，起動したユーザーの権限環境を確認したあと，再実行してください。

#### KAVT8341-E

This command cannot be executed because the JP1/AJS2 service is running.  
JP1/AJS2 サービスが起動中のため，このコマンドは実行できません。

JP1/AJS2 サービスが起動中のため，このコマンドは実行できません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O)

## KAVT8342-E ~ KAVT8402-E

JP1/AJS2 サービスを停止したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVT8342-E

A file access error occurred. (ファイル名) (保守情報)  
ファイルアクセスエラーが発生しました (ファイル名) (保守情報)

ファイル名へのアクセス中にエラーが発生しました。

(S)

実行したコマンドによって、動作が異なります。

jpomanevreset コマンド

コマンドの実行を続行します。ただし、次の事象が発生するおそれがあります。

- 不要なファイルが残る。
- エージェント側の情報を削除しない。

jpomanevshow コマンド

コマンドの実行を中止します。

(O)

実行したコマンドによって、対処方法が異なります。

jpomanevreset コマンド

次のことを行ってください。

- メッセージ中のファイルを確認し、ファイルが残っている場合は、JP1/AJS2 を起動する前に必ず手動で削除してください。ただし、保守情報に「remove」または「DeleteFile」が含まれていない場合は、ファイルを削除しないで、ファイルへのアクセスに失敗した原因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。
- -s オプションを指定していない場合は、エージェント側の情報が残っているおそれがあるため、エージェント側の JP1/AJS2 を手動でコールドスタートしてください。

jpomanevshow コマンド

次のことを確認したあと、コマンドを再実行してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

### KAVT8343-W

An attempt to communicate with the agent has failed. (エージェントホスト名) (保守情報)  
エージェントとの通信に失敗しました (エージェントホスト名) (保守情報)

エージェントホスト名との通信に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を続行します。ただし、エージェント側の情報を削除しないおそれがあります。

(O)

次のことを確認してください。

- エージェントホスト、および JP1/AJS2 が起動しているか。
- ホスト名の解決ができていないか。  
解決できていない場合は、環境変数 JP1\_HOSTNAME、hosts ファイル、または DNS サーバなどの設定を確認してください。
- services ファイルに JP1/AJS2 のポート番号が登録されているか。  
登録されていない場合は、登録してください。

エラーが発生したエージェントの情報は削除されないため、必要に応じてエージェント側の JP1/AJS2 サービスをコールドスタートしてください。

### KAVT8401-E

The initialization of communication with the jpoagtjobshow command failed. (リターンコード)(行番号)  
jpoagtjobshow コマンドとの通信の初期化に失敗しました (リターンコード) (行番号)

jpoagtjobshow コマンドとの通信に必要な初期化に失敗しました。

(S)

処理を続行します。ただし、jpoagtjobshow コマンドには情報を提供できません。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

jpoagtjobshow コマンドで正しい情報を表示した場合は、JP1/AJS2 を再起動してください。

### KAVT8402-E

The reading of requests from the jpoagtjobshow command failed. (リターンコード)  
jpoagtjobshow コマンドからの要求の読み込みに失敗しました (リターンコード)

jpoagtjobshow コマンドとのパイプからの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を続行します。ただし、jpoagtjobshow コマンドには情報を提供できません。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

jpoagtjobshow コマンドで正しい情報を表示した場合は、コマンドを再実行してください。



**KAVT8403-E**

A request from jpoagtjobshow command is invalid. (保守情報)  
jpoagtjobshowコマンドからの要求が不正です (保守情報)

jpoagtjobshow コマンドから、予期しないデータが書き込まれました。

(S)

処理を続行します。ただし、jpoagtjobshow コマンドには情報を提供できません。

(O)

内部エラーのため資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。jpoagtjobshow コマンドで正しい情報を表示したい場合は、コマンドを再実行してください。

**KAVT8404-E**

The creation of information sent to the jpoagtjobshow command failed. (リターンコード)(行番号)  
jpoagtjobshowコマンドへの情報の作成に失敗しました (リターンコード) (行番号)

jpoagtjobshow コマンドへの、情報ファイルの作成に失敗しました。

(S)

処理を続行します。ただし、jpoagtjobshow コマンドには情報を提供できません。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

jpoagtjobshow コマンドで正しい情報を表示したい場合は、コマンドを再実行してください。

**KAVT8405-E**

The reporting of information to the jpoagtjobshow command failed. (リターンコード)  
jpoagtjobshowコマンドへの情報の通知処理に失敗しました (リターンコード)

jpoagtjobshow コマンドへの、パイプの書き込みに失敗しました。

(S)

処理を続行します。ただし、jpoagtjobshow コマンドには情報を提供できません。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。

- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

jpoagtjobshow コマンドで正しい情報を表示したい場合は、コマンドを再実行してください。

**KAVT8406-W**

The creation of the information to be sent to the jpoagtjobshow command is incomplete. (リターンコード)(行番号)

jpoagtjobshowコマンドへの情報の作成が完全ではありません (リターンコード) (行番号)

jpoagtjobshow コマンドへの情報ファイル作成時に、書き込めなかったジョブ情報があります。

(S)

処理を続行します。ただし、jpoagtjobshow コマンドには、完全には情報を提供できません。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- 起動したユーザーの権限環境が正しいか。
- JP1/AJS2 がインストール時に作成したディレクトリを誤って削除していないか。

jpoagtjobshow コマンドで正しい情報を表示したい場合は、コマンドを再実行してください。

## 2.5 KAVU で始まるメッセージ（ジョブ実行制御に関するメッセージ）

KAVU で始まるメッセージ（ジョブ実行制御に関するメッセージ）の一覧を次に示します。

「関数名：」が付いているメッセージの中には、場合によっては「関数名：」が表示されないものがあります。

### KAVU0200-E

関数名: A logical contradiction occurred.

関数名：論理矛盾が発生しました

論理矛盾が発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0201-E

関数名: The parameter is specified incorrectly.

関数名：パラメーターに誤りがあります

パラメーターに誤りがあります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

コマンドや関数を実行した場合は、指定した引数が正しいかどうか確認してください。  
コマンドの場合は、標準エラー出力メッセージも確認してください。また、統合トレースログで、このメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかどうか確認してください。出力されている場合は、そちらのメッセージの説明も参照してください。  
関数呼び出し元ホストとマネージャーホストの文字コードが異なる場合は、データ転送の際の文字コード変換でデータサイズが大きくなったおそれがあります。  
マネージャーホストの文字コードに変換した場合に、指定できる文字数を超える引数がないか確認してください。  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0202-E

関数名: An internal factor caused an error.

関数名：内部的要因でエラーになりました

内部的要因でエラーになりました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0203-E

関数名: JpqInit function is not issued.

関数名：JpqInit関数が発行されていません

JpqInit 関数が発行されていません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

JpqInit 関数を正しく呼び出していることを確認したあと、再度呼び出してください。

### KAVU0204-E

関数名: An environment setting or logical host name information is invalid.

関数名：環境設定が不正かもしくは論理ホスト名情報が不正です

環境設定が不正か、または論理ホスト名情報が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0205-E

関数名: Memory became insufficient.

関数名：メモリー不足が発生しました

メモリー不足が発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再度呼び出してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見積もりを見直してください。

### KAVU0206-E

関数名: A logical contradiction occurred.

関数名：論理矛盾が発生しました

クライアントからの要求を処理する際、通信プロトコルのパラメーターに不正が見つかりました。または、関数の発

行元で論理ホスト名情報の取得、または環境設定情報の取得に失敗しました。関数の発行元で要求発生時に hosts ファイルを上書きでコピーしてファイルの置換が発生するような操作を行っている、論理ホスト名の取得に失敗することがあります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照して、要因を取り除いたあと、再度要求を行ってください。出力されていない場合や問題が解決しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0207-E

関数名: The file cannot be opened because file path or file does not exist at the send source.

関数名: 転送元のファイルパス又はファイルが無い  
ためファイルをオープンできません

転送元のファイルパス、またはファイルがないため  
ファイルをオープンできません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0208-E

関数名: The file cannot be opened because you lack access permission for the file at the send source.

関数名: 転送元のファイルのアクセス権が無い  
ためファイルをオープンできません

転送元のファイルのアクセス権がないため、  
ファイルをオープンできません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0209-E

関数名: The file cannot be opened because some other process is using the file at the send source.

関数名: 転送元のファイルが他のプロセスで  
使用中のためファイルをオープンできません

転送元のファイルがほかのプロセスで  
使用中のため、ファイルをオープンできません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0210-E

関数名: The file at the send source cannot be opened.

関数名: 転送元のファイルをオープン  
できません

転送元のファイルをオープン  
できません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

システムで受け付けられないファイル名の形式、またはファイル名長であるおそれがあります。ジョブ定義の転送元のファイル名を確認してください。

### KAVU0211-E

関数名: The file at the send source cannot be read.

関数名: 転送元のファイルの読み込みに  
失敗しました

転送元のファイルの読み込みに  
失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0212-E

関数名: Insufficient disk space. The file specified as the acquisition destination of the standard output or standard error output file cannot be written.

関数名: ディスクに空き容量が無い  
ため標準出力・標準エラー出力  
ファイル取得先として指定した  
ファイルが書き込みできません

ディスクに空き容量がないため、  
標準出力・標準エラー出力  
ファイル取得先として指定した  
ファイルが書き込めません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ディスクの空き容量を作成した  
あと、再度呼び出してください。

### KAVU0213-E

関数名: The file specified as the acquisition destination of the standard output or standard error output file could not be written.

関数名: 標準出力・標準エラー出力  
取得先として指定した  
ファイルの書き込みに失敗  
しました

標準出力・標準エラー出力  
取得先として、指定した  
ファイルの書き込みに失敗  
しました。

ルの書き込みに失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0214-W

関数名: The standard (error) output file at the manager consists of 0 bytes of data.

関数名: マネージャー側の標準 (エラー) 出力ファイルが 0 バイトデータです

jppqjobget コマンドまたは JpqGetJob 関数で、標準出力ファイルまたは標準エラー出力ファイルのデータを取得しようとしたのですが、ファイルがありませんでした。

(S)

要求処理を終了します。

### KAVU0215-E

関数名: TCP/IP communication could not be connected to the manager.

関数名: マネージャーへのTCP/IP通信接続ができませんでした

ジョブ実行制御マネージャープロセスへのTCP/IP 通信接続ができませんでした。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

要求を実行する際に指定したマネージャーホストと要求元のクライアントホスト間でTCP/IP 通信ができることを確認してください。マネージャーホストと要求元のクライアントホストが同じ場合や、TCP/IP 通信ができる場合は、次に示すプロセスの起動状態を確認してください。

Windows の場合

メッセージを出力したプロセスがフロー制御プロセス (ajsflowd.exe) またはジョブ完了待ちプロセス (ajssubwd.exe) の場合は、統合トレースログに KAVU6100-I のメッセージが出力され、ジョブ実行制御状態通知プロセス (jqpnfyd.exe) が起動されていることを確認してください。メッセージを出力したプロセスがその他のプロセスの場合 (統合トレースログのプロセス名が「UAP」の場合は、ジョブ実行制御マネージャープロセス (jqpman.exe) が起動されていることを確認してください。これらのプロセスが起動していない場合は、JP1/AJS2 サービスを再起動してから再実行してください。

UNIX の場合

メッセージを出力したプロセスがフロー制御プロセス (ajsflowd) またはジョブ完了待ちプロセス

( ajssubwd ) の場合は、統合トレースログに KAVU6100-I のメッセージが出力され、ジョブ実行制御状態通知プロセス (jqpnfyd) が起動されていることを確認してください。メッセージを出力したプロセスがその他のプロセスの場合 (統合トレースログのプロセス名が「UAP」の場合は、ジョブ実行制御マネージャープロセス (jqpman) が起動されていることを確認してください。これらのプロセスが起動していない場合は、JP1/AJS2 サービスを再起動してから再実行してください。

また、マネージャーホストの統合トレースログで、このメッセージの前後にTCP/IP 通信接続エラーを示す KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合は、そちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合や原因が判明しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログは、マネージャーホストと要求元のクライアントホストの両方で採取してください。

### KAVU0216-E

関数名: A timeout occurred for the request to acquire status notification.

関数名: 状態通知取得要求がタイムアウトになりました

状態通知取得要求が、タイムアウトになりました。JP1/AJS2 - Client Toolkit, または JP1/AJS2 - SDK で提供している JpqGetReport 関数, JpqOpenEnumReport 関数を使用してジョブの状態通知情報を取得する場合、これらの関数の引数 ulTimeout で設定した時間を過ぎても状態通知情報を受信できませんでした。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

状態通知情報を受け取るジョブが正しいことを確認したあと、再度呼び出してください。JP1/AJS2 - Client Toolkit, または JP1/AJS2 - SDK で提供している JpqGetReport 関数, JpqOpenEnumReport 関数を使用してジョブの状態通知情報を取得する場合、アプリケーションの仕組みに依存しますが、アプリケーション内でリトライするか、アプリケーションそのものを再実行してください。

### KAVU0217-E

関数名: The IP address could not be converted.

関数名: IPアドレス変換に失敗しました

hosts ファイル, または DNS サーバなどで、指定したホスト名から IP アドレスが求まるように、ネットワークが設定されている必要があります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

指定した論理ホスト名で TCP/IP 通信ができることを確認したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0218-E**

関数名: The manager cannot accept requests in the present status.

関数名: マネージャーが要求を受け付けられない状態になっています

マネージャーが要求を受け付けられない状態になっています。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

次のおそれがあります。確認したあと、再度呼び出してください。

- ・デーモンが運用開始されていないか。
- ・マネージャーが縮退運転中ではないか。

**KAVU0219-E**

関数名: The specified queue or agent does not exist.

関数名: 指定されたキューまたはエージェントが存在しません

指定されたキュー、またはエージェントがありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

次の原因が考えられます。確認してください。

1. JP1 をインストールしたあとに自ホスト名を変更し、ローカルエージェントに対してジョブを実行した
2. ジョブネットの定義またはジョブの定義で、実行ホストとして指定したエージェントがマネージャーに定義されていない
3. マネージャーに定義されているエージェント名に誤りがある
4. キューが追加されていない
5. jpq で始まる名称のコマンドを使用した際に、キュー名またはエージェント名の指定が間違っている
6. ジョブの実行ホストを IP アドレスで指定した

各要因に対して次の対処を行ったあと、再実行してください。

1. マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 15.13.1 JP1/AJS2 が動作しているホスト名称を変更する」に従って正しくホスト名を変更してください
2. 実行ホスト名の指定を確認してください。誤ったホスト名を指定している場合は正しいホスト名を指定してください。マネージャーでエージェントの定義を追加するには 3. を行ってください
3. jpqimport コマンド、または jpqagtadd コマンドを使用して正しいエージェント名で定義を追加

してください

4. jpqqueadd コマンドでキューを追加してください
5. キュー名またはエージェント名を確認してください
6. マネージャーにエージェントとして定義した名称をジョブの実行ホストに指定してください

各コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 20. セットアップ時に使用するコマンド」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド」を参照してください。

**KAVU0220-E**

関数名: There is no response from the manager.

関数名: マネージャーからの応答が返ってきません

マネージャーからの応答が返ってきません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

次の原因が考えられます。確認してください。

1. 設定したポート番号に誤りがある
2. 通信障害が発生している
3. マネージャーが高負荷状態となっている
4. 「ファイル受信制限をするための設定」をしている場合、指定した転送ファイルのファイルサイズが「LimitReceiveFileSize」の設定値を超えている

各要因に対して次の対処を行ったあと、再実行してください。

1. ポート番号を見直してください
2. ネットワークの状態を確認してください。またネットワークカード・ケーブル・ハブなどのハードウェアが正しく動作しているか確認してください
3. UNIX の場合は top コマンド、Windows の場合はタスクマネージャを実行するなどの方法により負荷を掛けているプロセスの確認をしてください。また、JP1/AJS2 のジョブ情報削除処理時間と重なっていないか確認してください。重なっている場合、削除処理をジョブの実行が少ない時間帯に変更してください
4. 転送ファイルのファイルサイズが「LimitReceiveFileSize」の設定値を超えていないか確認してください

**KAVU0221-E**

関数名: An internal factor at the manager caused an error.

関数名: マネージャーの内部的要因でエラーが発生しました

マネージャーの内部的要因でエラーが発生しました。

(S)

## KAVU0222-E ~ KAVU0226-E

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかどうか確認してください。出力されている場合は、そちらのメッセージの説明を参照してエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0222-E

関数名: The queue is closed.

関数名: キューが閉じられています

キューの受付口がクローズされているため、ジョブ登録ができません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブを登録する場合は、jqqueueopen コマンドでキューの受付口をオープンしてから、再度要求を発行してください。  
jqqueueopen コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド jqqueueopen」を参照してください。

### KAVU0223-E

関数名: The number of queued jobs in the specified queue reached the limit or the queue resources reached the limit.

関数名: キューのキューイングジョブ数が上限に達しているかキューの制限値を超えています

キューに登録したジョブ数がキュー内のジョブ数の最大値に達しているか、またはシステム内の最大ジョブ数の上限値に達しています。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブの実行終了を待って再度要求を発行するか、またはキュー定義情報でキュー内のジョブ数の最大値またはシステム内の最大ジョブ数を見直してください。キュー内のジョブ数の最大値に達している場合は、統合トレースログに KAVU4515-W メッセージが出力されます。また、システム内の最大ジョブ数に達している場合は、統合トレースログに KAVU4520-W メッセージが出力されます。  
それぞれのメッセージの対処方法に従ってください。

### KAVU0224-E

関数名: You lack operate permission.

関数名: 操作権限がありません

ジョブ実行制御のマネージャープロセスに対して実行要求を行ったユーザーには、操作に必要な JP1 権限レベルがありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

実行要求を行ったユーザーの JP1 権限レベルを確認してください。  
ジョブ実行制御のコマンドの実行や関数の発行に際しては、要求を行う OS ユーザーを JP1 ユーザーとして認証サーバに登録しておく必要があります。また、必要に応じて、JP1 ユーザーに実行権限を与えてください。コマンドに必要な実行権限については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド コマンド一覧」を参照してください。また、JP1 権限レベルの設定方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 3.1.1(1) ユーザー情報を設定する」(Windows の場合)、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 13.1.1(1) ユーザー情報を設定する」(UNIX の場合)を参照してください。

### KAVU0225-W

関数名: The job does not exist.

関数名: 該当するジョブが存在しません

該当するジョブがありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブの列挙のコマンドまたは関数を実行した場合は、該当するジョブが 1 件もありませんでした。指定したホスト名やキュー名、ジョブの状態が正しいかを確認したあと、再実行してください。  
ジョブの列挙以外のコマンドを実行した場合、指定したジョブ番号に誤りがなければ確認したあと、再実行してください。指定したジョブ番号は、標準エラー出力または統合トレースログの、このメッセージの前後に出力された KAVU メッセージで確認してください。

### KAVU0226-E

関数名: You cannot perform this operation because this job is being executed (or has not ended).

関数名: 該当するジョブは実行中の（またはまだ終了していない）ため操作できません

該当するジョブは実行中、またはまだ終了していないため操作できません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブが終了したあと、再実行してください。

#### KAVU0227-E

関数名: The destination queue does not exist.

関数名: 移動先のキューが存在しません

移動先のキューがありません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ジョブ移動先のキュー名に指定したキュー名、およびキューの有無を確認したあと、再実行してください。

#### KAVU0228-E

関数名: The destination queue has reached the queuing limit.

関数名: 移動先のキューがキューイング上限数に達しています

ジョブの移動先に指定したキューに登録したジョブ数が、キュー内のジョブ数の最大値に達しています。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ジョブの実行終了を待って再度要求を発行するか、またはキュー定義情報でキュー内のジョブ数の最大値を見直してください。  
キューに登録したジョブ数は、jppquestshow コマンドの -q または -ah オプションで確認でき、「QUEUEING」と「EXECUTING」の両方を合わせた値になります。  
また、キュー内のジョブ数の最大値は、jppquealt コマンドで変更できます。これらのコマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド」を参照してください。

#### KAVU0231-W

関数名: There is no queue in the manager.

関数名: マネージャーにキューが存在しません

マネージャーホストにキューの定義情報が 1 件もありません。

- (S) 要求処理を終了します。

#### KAVU0232-E

関数名: No agent is connected to the manager.

関数名: マネージャーに接続しているエージェントが存在しません

マネージャーホストにエージェントの定義情報がありません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エージェントの定義情報は、jppagts show コマンドで確認できます。指定したエージェントの定義情報の有無を確認したあと、再実行してください。  
なお、エージェントの定義情報がない場合は、jppagts add コマンドで動的に追加することもできます。  
コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド」を参照してください。

#### KAVU0233-E

関数名: The macro variable (マクロ変数名) has not been inherited.

関数名: マクロ変数 (マクロ変数名) が引き継がれていません

マクロ変数が引き継がれていません。

- (S) 該当するジョブを起動失敗にします。
- (O) マクロ変数名が先行ジョブから引き継がれていません。ジョブネットの定義を見直したあと、再度ジョブを実行してください。

#### KAVU0234-W

関数名: The status notification process is closed.

関数名: 状態通知プロセスがクローズされました

ジョブの状態通知情報の取得要求をしている間に、JpqCloseReport 関数、または JpqCloseReportp 関数が発行されたため、状態監視プロセスを終了します。

- (S) 要求処理を中止します。

#### KAVU0235-E

関数名: The request to acquire status notification was already issued.

関数名: 既に状態通知取得要求が出されています

指定したジョブに対して、すでに状態変更通知情報の取得要求が出されています。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ほかに状態変更通知情報の取得要求を出していないか確認したあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0236-E

関数名: The status was acquired by another acquisition status notification request.

関数名: 他の状態通知取得要求で状態が取得されました

ほかの状態変更通知情報の取得要求で、状態変更が取得されていました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ほかで状態変更通知情報の取得要求を出していないか確認したあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0237-E

関数名: The manager (job status notification process) is busy.

関数名: マネージャー（状態通知プロセス）がビジー状態です

マネージャー、または状態通知プロセスがビジー状態です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

しばらくしてから要求を再実行してください。

#### KAVU0238-E

関数名: Memory became insufficient at the manager (job status notification process).

関数名: マネージャー（状態通知プロセス）でメモリー不足が発生しました

マネージャー、または状態通知プロセスで、メモリー不足が発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再度呼び出してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見積もりを見直してください。

#### KAVU0239-E

関数名: VOS3 user information is invalid.

関数名: VOS3のユーザー情報が不正です

VOS3のユーザー情報が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

jpqreguser コマンドで指定ユーザーが正しく登録されているか確認したあと、再実行してください。

#### KAVU0240-E

関数名: A fatal error occurred in the manager (job status notification process).

関数名: マネージャー（状態通知プロセス）で致命的なエラーが発生しました

マネージャー、または状態通知プロセスで、致命的なエラーが発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0241-E

関数名: A logical contradiction occurred in the manager (job status notification process).

関数名: マネージャー（状態通知プロセス）で論理矛盾が発生しました

マネージャー、または状態通知プロセスで、通信プロトコルのパラメーターに不正が見つかりました。また、JP1/OJE for VOS3 や JP1/NQSEXEC などの他システムと連携している場合にこのエラーメッセージが出力された場合は、他システム側で問題が発生している場合があります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照して、要因を取り除いたあと、再度要求を行ってください。出力されていない場合や問題が解決しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU0242-E

関数名: The requested the manager does not support the request.

関数名: 要求したマネージャーでは未サポート要求です

キューの操作や、エージェントの操作を JP1/NQSEXEC または JP1/OJE for VOS3 に対して実行すると発生するおそれがあります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

要求先のマネージャー（製品）で該当する要求が処理できるかどうかを確認してください。



**KAVU0243-E**

関数名: An error occurred after submission.

関数名: サブミット実行後にエラーが発生しました

サブミット実行後にエラーが発生しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再実行してください。

**KAVU0244-E**

関数名: The execution environment is invalid.

関数名: 実行環境不正です

ジョブ実行制御のシステム環境が不正であるため、ジョブが実行できないエラーを検知しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
認証サーバが起動されていないおそれがあります。認証サーバが起動されていない場合は、認証サーバを起動してください。また、このメッセージの前に KAVU2227-E のメッセージが出力されていた場合は、要求を発行するホストの IP アドレスが無効になり、使用できなくなっているおそれがあります。KAVU2227-E のメッセージに出力された IP アドレスが使用できる状態にあるか確認してください。オペレーションジョブを実行してこのメッセージが出力された場合は、オペレーションネットで使用する環境のセットアップが正しく行われていないおそれがあります。アンセットアップ後に再度セットアップを行い、オペレーションネットの環境を正常な状態にしてから再度実行してください。上記以外の場合は、統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合は、そちらのメッセージの説明も参照し、要因を取り除いたあとに再度要求を行ってください。出力されていない場合や問題が解決しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU0245-E**

関数名: The same external identifier already exists.

関数名: 既に同じ外部識別子が存在します

すでに、同じ外部識別子があります。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU0246-E**

関数名: The transfer file could not be created on the manager.

関数名: マネージャー上に転送ファイルが作成できませんでした

マネージャー上で、サブミット時に転送したファイルの作成に失敗しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再実行してください。

**KAVU0247-E**

関数名: The transfer file could not be written on the manager.

関数名: マネージャー上に転送ファイルが書き込めませんでした

マネージャー上で、サブミット時に転送したファイルの書き込みに失敗しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再実行してください。

**KAVU0248-E**

関数名: The job was forcibly terminated, but it might not have terminated.

関数名: ジョブの強制終了は行いましたがジョブが終了していない可能性があります

ジョブが強制終了されましたが、ジョブが終了していないおそれがあります。

- (S)  
要求処理を終了します。
- (O)  
統合トレースログでエラー要因を確認してください。

**KAVU0249-E**

関数名: The job status notification has already been received in the same process.

関数名: 同じプロセスで既に状態通知の受信が開始されています

同じプロセスで、すでに状態通知の受信が開始されています。

- (S)  
デーモンの起動処理を中止します。
- (O)  
同じプロセスで該当する要求を複数回呼び出していない

## KAVU0250-E ~ KAVU0256-E

いか確認してください。

### KAVU0250-E

関数名: The job status notification process cannot be created.

関数名: 状態通知プロセスが生成できませんでした

状態通知プロセスが生成できませんでした。

(S)

デーモンの起動処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0251-E

関数名: The job status notification could not be received because resources were insufficient when the notification started.

関数名: 状態通知開始時にリソースが不足したため状態通知の受信開始に失敗しました

状態通知開始時にリソースが不足したため、状態通知の受信開始に失敗しました。

(S)

デーモンの起動処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0252-E

関数名: The job status notification process could not be started.

関数名: 状態通知プロセスが開始できませんでした

状態通知プロセスが開始できませんでした。

(S)

デーモンの起動処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0253-E

関数名: The file cannot be created because there is no path to the file specified as the acquisition destination of the standard output or standard error output file.

関数名: 標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルパスが無い場合ファイルを作成できません

標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルパスがないため、ファイルを作成できません。

(S)

情報の取得だけです。

(O)

指定したファイルパスを確認したあと、再度呼び出してください。

### KAVU0254-E

関数名: The file cannot be created because you lack access permission to the file specified as the acquisition destination of the standard output or standard error output file.

関数名: 標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルのアクセス権が無い場合ファイルを作成できません

標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルのアクセス権がないため、ファイルを作成できません。

(S)

情報の取得だけです。

(O)

指定したファイルパスのアクセス権を確認したあと、再度呼び出してください。

### KAVU0255-E

関数名: The file cannot be opened because some other process is using the file specified as the acquisition destination of the standard output or standard error output file.

関数名: 標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルが他のプロセスで使用するためファイルをオープンできません

標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルがほかのプロセスで使用するため、ファイルをオープンできません。

(S)

情報の取得だけです。

(O)

指定したファイルにアクセスしているプロセスを終了させたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0256-E

関数名: The file specified as the acquisition destination of the standard output or standard error output file cannot be created.

関数名: 標準出力・標準エラー出力取得先として指定したファイルを作成できません

標準出力・標準エラー出力取得先として指定したファイルを作成できません。

(S)

情報の取得だけです。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0257-W**

関数名: The specified exclusive execution resource name does not exist.

関数名: 指定された排他実行リソース名が存在しません

指定された排他実行リソース名が、システムに定義されていません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

排他実行リソース名を正しく設定したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0258-W**

関数名: The specified queue or agent already exists.

関数名: 指定されたキューまたはエージェントは既に存在します

指定されたキュー、またはエージェントはすでに定義されています。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

キュー名、またはエージェント名を正しく設定したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0259-W**

関数名: The specified exclusive execution resource name already exists.

関数名: 指定された排他実行リソース名は既に存在します

指定された排他実行リソース名は、すでに定義されています。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

排他実行リソース名を正しく設定したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0260-E**

関数名: Failed to process because some job is being executed.

関数名: 実行中のジョブがあるため処理できません

実行中のジョブがあるため、変更・削除処理ができません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブの実行が終了したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0261-E**

関数名: Failed to process because of exceeding the maximum number defined in the environment settings.

関数名: 環境設定の最大定義数を超えるため処理できません

環境設定のキューの最大定義数、エージェントの最大定義数、または排他実行リソースの最大定義数を超えるため追加できません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

環境設定の最大定義数を見直したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0262-E**

関数名: The specified agent cannot be deleted because some queue is connected.

関数名: 指定されたエージェントはキューとの接続が解除されていないため削除できません

エージェントとキューとの接続が解除されていないため、エージェントを削除できません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

キューとの接続を解除したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0263-E**

関数名: The specified agent is not connected.

関数名: 指定されたエージェントは接続されていません

指定されたエージェントは、接続されていません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エージェントを正しく設定したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0264-E**

関数名: The agent is already connected.

関数名: エージェントは既に接続されています

指定されたエージェントは、すでに接続されています。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エージェントを正しく設定したあと、再度呼び出してください。

### KAVU0265-W

関数名: There is no exclusive execution resource in the manager.

関数名: マネージャーに排他実行リソースが存在しません

指定した排他実行リソースが定義されていません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0266-W

関数名: The agent to be changed the priority is not connected.

関数名: 優先順位を変更するエージェントが接続されていません

優先順位を変更するエージェントが、接続されていません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エージェントを正しく設定したあと、再度呼び出してください。

### KAVU0267-E

関数名: The agent cannot be added because the Event Action Manager is processing the modification of the agent.

関数名: イベント・アクションのマネージャプロセスがエージェント構成の変更処理中のためエージェントが追加できません

イベント・アクション制御マネージャーへエージェントの追加通知をしましたが、すでにエージェント構成の変更処理中であったため、通知処理に失敗してエージェントの追加処理ができませんでした。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ほかのエージェント変更処理が終了したあと、再度呼び出してください。

### KAVU0268-E

関数名: The agent cannot be deleted because the Event Action Manager is processing the modification of the agent.

関数名: イベント・アクションのマネージャプロセスがエージェント構成の変更処理中のためエージェントが削除できません

イベント・アクション制御マネージャーへエージェントの削除通知をしましたが、すでにエージェント構成の変更処

理中であったため、通知処理に失敗してエージェントの削除処理ができませんでした。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ほかのエージェント変更処理が終了したあと、再度呼び出してください。

### KAVU0269-E

関数名: Job could not be submitted because agent host was failed to create automatically.

関数名: エージェントの自動作成に失敗したのでジョブがサブミットできませんでした

エージェントを自動的に作成できなかったため、ジョブのサブミットが失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 統合トレースログで失敗の要因を確認し、要因を取り除いてから、再度ジョブを実行してください。

### KAVU0300-E

関数名: The logical host name could not be acquired.

関数名: 論理ホスト名の取得が出来ません

論理ホスト名を取得できません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 環境設定上の不正箇所、または定義不十分な要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0301-E

関数名: No agent host name is specified.

関数名: エージェントホスト名称が指定されていません

エージェントホスト名を指定していません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0302-E

関数名: The agent host name is too long.

関数名: エージェントホスト名称が長すぎます

エージェントホスト名が長過ぎます。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0303-E

関数名: The agent host name is invalid.

関数名: エージェントホスト名称が不正です

エージェントホスト名が誤っています。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0304-E

関数名: No destination is specified for storing the acquired number of agent information.

関数名: エージェント情報の取得数の格納先が指定されていません

エージェント情報の取得数の格納先が指定されていません。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0305-E

関数名: The standard error output file name at the agent is too long.

関数名: エージェント側の標準エラー出力ファイル名が長すぎます

エージェント側の標準エラー出力ファイル名が長過ぎます。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0306-E

関数名: The standard output file name at the agent is too long.

関数名: エージェント側の標準出力ファイル名が長すぎます

エージェント側の標準出力ファイル名が長過ぎます。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0307-E

関数名: The standard input file name at the agent is too long.

関数名: エージェント側の標準入力ファイル名が長すぎます

エージェント側の標準入力ファイル名が長過ぎます。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0308-E

関数名: The destination for storing the agent name is too small.

関数名: エージェント名称格納先のサイズが小さすぎます

エージェント名称格納先のサイズが小さ過ぎます。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0309-E

関数名: The type of open/close is specified incorrectly.

関数名: オープン・クローズする種類の指定が不正です

キューをオープン・クローズする種類の指定が誤っています。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0310-E

関数名: The status of job exit from the queue is invalid.

関数名: キューからのジョブ取出口の状態が不正です

キューからのジョブ取出口の状態が不正です。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0311-E

---

関数名: No destination is specified for storing the acquired number of connection information items about the queue and the agent.

関数名: キューとエージェントの接続情報の取得数の格納先が指定されていません

---

キューとエージェントの、接続情報の取得数の格納先が指定されていません。

(S) 要求処理を中止します。

(O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0312-E

---

関数名: The acquired number of connection information items about the queue and the agent is invalid.

関数名: キューとエージェントの接続情報の数が不正です

---

キューとエージェントの、接続情報の数が不正です。

(S) 要求処理を中止します。

(O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0313-E

---

関数名: The destination for storing the connection information about the queue and the agent is invalid.

関数名: キューとエージェントの接続情報の格納先が不正です

---

キューとエージェントの、接続情報の格納先が不正です。

(S) 要求処理を中止します。

(O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0314-E

---

関数名: The destination for storing the connection information about the queue and agent is too small.

関数名: キューとエージェントの接続情報の格納先の数が少なすぎます

---

キューとエージェントの、接続情報の格納先の数が少な過ぎます。

(S) 要求処理を中止します。

(O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0315-E

---

関数名: The status of job entrance for the queue is invalid.

関数名: キューへのジョブ受付口の状態が不正です

---

キューへのジョブ受付口の状態が不正です。

(S) 要求処理を中止します。

(O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0316-E

---

関数名: The process for the queue exit is invalid.

関数名: キュー取出口に対する処理の指定が不正です

---

キュー取出口に対する処理の指定が不正です。

(S) 要求処理を中止します。

(O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0317-E

---

関数名: No destination is specified for storing queue information.

関数名: キュー情報の格納先が指定されていません

---

キュー情報の格納先が指定されていません。

(S) 要求処理を中止します。

(O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0318-E

---

関数名: The process for the queue entrance is invalid.

関数名: キュー受付口に対する処理の指定が不正です

---

キュー受付口に対する処理の指定が不正です。

(S) 要求処理を中止します。

(O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0319-E

---

関数名: No queue name is specified.

関数名: キュー名称が指定されていません

---

キュー名を指定していません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0320-E

関数名: The queue name is too long.  
関数名: キュー名称が長すぎます

キュー名が長過ぎます。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0321-E

関数名: The queue name is invalid.  
関数名: キュー名称が不正です

キュー名が不正です。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0322-E

関数名: No size is specified for the queue name storing destination.  
関数名: キュー名称格納先のサイズが指定されていません

キュー名称格納先のサイズが指定されていません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0323-E

関数名: The client computer name could not be acquired.  
関数名: クライアントコンピュータ名称の取得に失敗しました

クライアントコンピュータ名の取得に失敗しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0324-E

関数名: The client host name is too long.  
関数名: クライアントホスト名が長すぎます

クライアントホスト名が長過ぎます。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0325-E

関数名: The service name (サービス名) could not be acquired.  
関数名: サービス名称 (サービス名) の取得に失敗しました

サービス名の取得に失敗しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
services ファイルを確認し、正しいサービス名を設定したあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0326-E

関数名: The request destination user name is too long.  
関数名: 要求先のユーザー名称が長すぎます

登録した VOS3 ユーザーのユーザー名が長過ぎます。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0327-E

関数名: The request destination password is too long.  
関数名: 要求先のパスワードが長すぎます

登録した VOS3 ユーザーのパスワードが長過ぎます。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0328-E

関数名: The request group name is too long.  
関数名: 要求先のグループ名称が長すぎます

登録した VOS3 ユーザーのグループ名が長過ぎます。

## KAVU0329-E ~ KAVU0336-E

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0329-E

関数名: The type of the submit destination name is invalid.

関数名: サブミット先名称の種類が不正です

サブミット先名称の種類が不正です。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0330-E

関数名: No destination is specified for storing the submit destination name type.

関数名: サブミット先名称の種類が指定されていません

サブミット先名称の種類が指定されていません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0331-E

関数名: The job number is invalid.

関数名: ジョブ番号が不正です

ジョブ番号が不正です。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0332-E

関数名: No destination is specified for storing the job number.

関数名: ジョブ番号の格納先が指定されていません

ジョブ番号の格納先が指定されていません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0333-E

関数名: No job submit date is specified.

関数名: ジョブサブミット日時が指定されていません

ジョブサブミット日時が指定されていません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0334-E

関数名: The job submit date is invalid.

関数名: ジョブサブミット日時が不正です

ジョブサブミット日時が不正です。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0335-E

関数名: No external identifier is specified to the job.

関数名: ジョブに付与する外部識別子が指定されていません

ジョブに付与する外部識別子が指定されていません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0336-E

関数名: The external identifier to the job is too long.

関数名: ジョブに付与する外部識別子の長さが不正です

ジョブに付与する外部識別子の長さが不正です。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。



**KAVU0337-E**

関数名: The job recovery status is specified incorrectly.

関数名: ジョブの回復ステータスの指定が不正です

ジョブの回復ステータスの指定が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0338-E**

関数名: The job execution method is specified incorrectly.

関数名: ジョブの実行方式の指定が不正です

ジョブの実行方式の指定が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0339-E**

関数名: The method for judging the job end status is specified incorrectly.

関数名: ジョブ終了ステータスの判定方法の指定が不正です

ジョブ終了ステータスの判定方法の指定が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0340-E**

関数名: No file name is specified for the job end judgment.

関数名: ジョブの終了判定用ファイル名称が指定されていません

ジョブの終了判定用ファイル名称が指定されていません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0341-E**

関数名: The file name for the job end judgment is too long.

関数名: ジョブの終了判定用ファイル名称が長すぎます

ジョブの終了判定用ファイル名称が長過ぎます。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0342-E**

関数名: The job request user name is too long.

関数名: ジョブの要求ユーザー名が長すぎます

ジョブの要求ユーザー名が長過ぎます。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0343-E**

関数名: Job moving destination queue name is too long.

関数名: ジョブ移動先キュー名称が長すぎます

ジョブ移動先キュー名称が長過ぎます。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0344-E**

関数名: Job execution account name is too long.

関数名: ジョブ実行アカウント名称が長すぎます

ジョブ実行アカウント名称が長過ぎます。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0345-E**

関数名: No job execution start date is specified.

関数名: ジョブ実行開始日時が指定されていません

ジョブ実行開始日時が指定されていません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU0346-E

関数名: The job execution start date is invalid.

関数名: ジョブ実行開始日時が不正です

ジョブ実行開始日時が不正です。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU0347-E

関数名: No job execution end date is specified.

関数名: ジョブ実行終了日時が指定されていません

ジョブ実行終了日時が指定されていません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU0348-E

関数名: The job execution end date is invalid.

関数名: ジョブ実行終了日時が不正です

ジョブ実行終了日時が不正です。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU0349-E

関数名: The job time-out period is out of range.

関数名: ジョブ実行打ち切り時間が範囲外です

ジョブ実行打ち切り時間が範囲外です。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0350-E

関数名: No job owner name is specified.

関数名: ジョブ所有者名称が指定されていません

ジョブ所有者名称が指定されていません。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0351-E

関数名: The job owner name is too long.

関数名: ジョブ所有者名称が長すぎます

ジョブ所有者名称が長過ぎます。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0352-E

関数名: The job owner name cannot be specified.

関数名: ジョブ所有者名称は指定できません

ジョブ所有者名称は指定できません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0353-E

関数名: No detailed information is specified about the job.

関数名: ジョブ詳細情報が指定されていません

ジョブ詳細情報が指定されていません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0354-E

関数名: The destination for storing job information is specified incorrectly.

関数名: ジョブ情報の格納先の指定が不正です

ジョブ情報の格納先の指定が不正です。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0355-E**

関数名: The job status is invalid.

関数名: ジョブ状態が不正です

ジョブ状態が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0356-E**

関数名: The requested amount of information is invalid.

関数名: 情報の要求数が不正です

情報の要求数が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0357-E**

関数名: The direction of the job insert relative position is specified incorrectly.

関数名: ジョブ挿入先相対位置の方向の指定が不正です

ジョブ挿入先相対位置の方向の指定が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0358-E**

関数名: The job definition information is invalid.

関数名: ジョブ定義情報に誤りがあります

ジョブ定義情報に誤りがあります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU0359-E**

関数名: The size of the job definition information is invalid.

関数名: ジョブ定義情報のサイズが不正です

ジョブ定義情報のサイズが不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU0360-E**

関数名: A parameter error occurred during the analysis of the job definition information.

関数名: ジョブ定義情報の解析中にパラメーターエラーが発生しました

ジョブ定義情報の解析中に、パラメーターエラーが発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU0361-E**

関数名: Memory became insufficient while analyzing the job definition information.

関数名: ジョブ定義情報の解析中にメモリー不足になりました

ジョブ定義情報の解析中に、メモリー不足になりました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再度呼び出してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見積もりを見直してください。

**KAVU0362-E**

関数名: An unknown error occurred while analyzing the job definition information.

関数名: ジョブ定義情報の解析中に原因不明のエラーが発生しました

ジョブ定義情報の解析中に、原因不明のエラーが発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU0363-E**

関数名: No job name is specified.

関数名: ジョブ名称が指定されていません

## KAVU0364-E ~ KAVU0372-E

ジョブ名が指定されていません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0364-E

関数名: The job name is too long.

関数名: ジョブ名称が長すぎます

ジョブ名が長過ぎます。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0366-E

関数名: The script is too long.

関数名: スクリプト文が長すぎます

スクリプト文が長過ぎます。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

マクロ変数を使用している場合は、引き継ぎ情報が長くなり過ぎないようにしてください。  
なお、「" (ダブルクォーテーションマーク)」の有効オプションを使用している場合は、引き継ぎ情報中の「"」が「¥"」に置換されるため、制限文字数を超過してしまうことがあります。

### KAVU0367-E

関数名: The process priority is invalid.

関数名: プロセス優先順位が不正です

プロセス優先順位が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0368-E

関数名: The port number is invalid.

関数名: ポート番号が不正です

ポート番号が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

services ファイルを確認し、正しいポート番号を設定したあと、再度呼び出してください。

### KAVU0369-E

関数名: The process of analyzing the macro valuable failed.

関数名: マクロ変数の解析処理に失敗しました

マクロ変数の解析処理に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0370-E

関数名: The macro variable is specified incorrectly.

関数名: マクロ変数の指定に誤りがあります

マクロ変数の指定に誤りがあります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0371-E

関数名: The response data from the manager is invalid.

関数名: マネージャーからの応答データが不正です

マネージャーからの応答データが不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

### KAVU0372-E

関数名: Enumerated information returned from the manager is invalid.

関数名: マネージャーから返された列挙情報が不正です

マネージャーから返された列挙情報が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0373-E**

関数名: The host name of manager is too long.  
 関数名：マネージャーのホスト名称が長すぎます

マネージャーのホスト名称が長過ぎます。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0374-E**

関数名: No destination is specified for storing the operating status of the manager.  
 関数名：マネージャーの運用状態の格納先が指定されていません

マネージャーの運用状態の格納先が指定されていません。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0375-E**

関数名: Memory could not be allocated.  
 関数名：メモリー確保に失敗しました

メモリー確保に失敗しました。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再度呼び出してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見積もりを見直してください。

**KAVU0376-E**

関数名: The exclusive execution resource name is too long.  
 関数名：排他実行リソース名称が長すぎます

排他実行リソース名が長過ぎます。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0377-E**

関数名: The work path name is too long.  
 関数名：ワークパス名が長すぎます

ワークパス名が長過ぎます。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0378-E**

関数名: The abnormal end threshold is invalid.  
 関数名：異常終了ステータスしきい値が不正です

異常終了ステータスしきい値が不正です。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0379-E**

関数名：The transmission source file name is too long.  
 関数名：転送元ファイル名が長すぎます

転送元ファイル名が長過ぎます。

- (S)  
 該当するジョブを起動失敗にします。
- (O)  
 転送元ファイル名に指定したマクロ変数名が、置換の結果長過ぎたおそれがあります。  
 引き継ぎ情報および転送元ファイル名の指定を見直したあと、再度ジョブを実行してください。

**KAVU0380-E**

関数名：The transmission destination file name is too long.  
 関数名：転送先ファイル名が長すぎます

転送先ファイル名が長過ぎます。

- (S)  
 該当するジョブを起動失敗にします。
- (O)  
 転送先ファイル名に指定したマクロ変数名が、置換の結果長過ぎたおそれがあります。  
 引き継ぎ情報および転送先ファイル名の指定を見直したあと、再度ジョブを実行してください。

#### KAVU0383-E

関数名: The environment variable information is invalid.

関数名: 環境変数情報が不正です

環境変数情報が不正です。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0384-E

関数名: The environment variable information is too big.

関数名: 環境変数情報のサイズが大きすぎます

環境変数情報のサイズが大き過ぎます。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) マクロ変数を使用している場合は、引き継ぎ情報が長くなり過ぎないようにしてください。

#### KAVU0385-E

関数名: The size of the environment variable information is invalid.

関数名: 環境変数情報のサイズが不正です

環境変数情報のサイズが不正です。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0386-E

関数名: The environment variable information file name is too long.

関数名: 環境変数情報ファイル名称が長すぎます

環境変数情報ファイル名称が長過ぎます。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0389-E

関数名: The warning end threshold is invalid.

関数名: 警告終了ステータスしきい値が不正です

警告終了ステータスしきい値が不正です。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0390-E

関数名: The user name of the own process cannot be acquired.

関数名: 自プロセスのユーザー名称が取得できません

自プロセスのユーザー名が取得できません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0391-E

関数名: The execution shell path name is too long.

関数名: 実行シェルのパス名称が長すぎます

実行シェルのパス名が長過ぎます。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0392-E

関数名: A command parameter for the execution file is too long.

関数名: 実行ファイルのコマンドパラメーターが長すぎます

実行ファイルのコマンドパラメーターが長過ぎます。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) マクロ変数を使用している場合は、引き継ぎ情報が長くなり過ぎないようにしてください。  
なお、「」（ダブルクォーテーションマーク）の有効オプションを使用している場合は、引き継ぎ情報中の「」が「¥」に置換されるため、制限文字数を超えてしまうことがあります。

#### KAVU0393-E

関数名: The execution file name is too long.

関数名: 実行ファイル名称が長すぎます

実行ファイル名が長過ぎます。

- (S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### **KAVU0395-E**

関数名: Neither the execution file name nor the execution script is specified.

関数名: 実行ファイル名称と実行スクリプト文の両方が指定されていません

実行ファイル名と、実行スクリプト文の両方が指定されていません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### **KAVU0396-E**

関数名: The time out value for reception-waiting is invalid.

関数名: 受信待ちのタイムアウト値が不正です

受信待ちのタイムアウト値が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### **KAVU0397-E**

関数名: The start date is invalid in enumerating the end time of the end job.

関数名: 終了ジョブの終了時間による列挙で開始日時の指定が不正です

終了ジョブの終了時間による列挙で、開始日時の指定が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### **KAVU0398-E**

関数名: The end date is invalid in enumerating the end time of the end job.

関数名: 終了ジョブの終了時間による列挙で終了日時の指定が不正です

終了ジョブの終了時間による列挙で終了日時の指定が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### **KAVU0399-E**

関数名: The status report identifier is invalid.

関数名: 状態通知の識別子が不正です

状態通知の識別子が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### **KAVU0400-E**

関数名: No destination is specified for storing the status report identifier.

関数名: 状態通知の識別子の格納先が指定されていません

状態通知の識別子の格納先が指定されていません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### **KAVU0401-E**

関数名: The destination for storing the status report information is invalid.

関数名: 状態通知情報の格納先が不正です

状態通知情報の格納先が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### **KAVU0402-E**

関数名: No information is specified about the host to which the status is reported.

関数名: 状態通知送信先ホスト情報が指定されていません

状態通知送信先ホスト情報が指定されていません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

い。

#### KAVU0403-E

関数名: The specified client computer name is too long.  
関数名: 設定されているクライアントコンピュータ名称が長すぎます

設定されているクライアントコンピュータ名称が長過ぎます。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0404-E

関数名: The start time of the concurrently-executable job limit information is invalid.  
関数名: 多重度情報の開始時刻が不正です

多重度情報の開始時刻が不正です。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0405-E

関数名: The end time for the concurrently-executable job limit information is invalid.  
関数名: 多重度情報の終了時刻が不正です

多重度情報の終了時刻が不正です。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0406-E

関数名: The number for storing the concurrently-executable job limit information is too small.  
関数名: 多重度情報の格納数が小さすぎます

多重度情報の格納数が小さ過ぎます。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0407-E

関数名: The destination for storing the concurrently-executable job limit information is invalid.  
関数名: 多重度情報の格納先の指定が不正です

多重度情報の格納先の指定が不正です。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0408-E

関数名: No transfer file information is specified.  
関数名: 転送ファイル情報が指定されていません

転送ファイル情報が指定されていません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0409-E

関数名: The number of transfer files is invalid.  
関数名: 転送ファイル数の指定が不正です

転送ファイル数の指定が不正です。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0410-E

関数名: The specification of whether to output the standard error output file is invalid.  
関数名: 標準エラー出力ファイルの出力有無の指定に誤りがあります

標準エラー出力ファイルの出力有無の指定に誤りがあります。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。



**KAVU0411-E**

関数名: The method for writing the standard error output file is specified incorrectly.

関数名: 標準エラー出力ファイルの書き込み方法の指定に誤りがあります

標準エラー出力ファイルの書き込み方法の指定に誤りがあります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0414-E**

関数名: The path name for the standard error output file is too long.

関数名: 標準エラー出力ファイルパス名称が長すぎます

標準エラー出力ファイルパス名が長過ぎます。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0415-E**

関数名: The file name for the standard error output file and the additional write flag specification do not match.

関数名: 標準エラー出力ファイル名称と追加書込フラグの指定が不一致です

標準エラー出力ファイル名と、追加書き込みフラグの指定が一致しませんでした。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0416-E**

関数名: The specification of whether to output the standard output file is invalid.

関数名: 標準出力ファイルの出力有無の指定に誤りがあります

標準出力ファイルの出力有無の指定に誤りがあります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0417-E**

関数名: The method for writing the standard output file is specified incorrectly.

関数名: 標準出力ファイルの書き込み方法の指定に誤りがあります

標準出力ファイルの書き込み方法の指定に誤りがあります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0420-E**

関数名: The standard output file path name is too long.

関数名: 標準出力ファイルパス名称が長すぎます

標準出力ファイルパス名称が長過ぎます。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0421-E**

関数名: The file name for the standard output file and the additional write flag specification do not match.

関数名: 標準出力ファイル名称と追加書込フラグの指定が不一致です

標準出力ファイル名称と、追加書き込みフラグの指定が一致しませんでした。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0422-E**

関数名: The path name for the standard input file is too long.

関数名: 標準入力ファイルパス名称が長すぎます

標準入力ファイルパス名が長過ぎます。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0423-E

関数名: An invalid agent name was returned.  
関数名: 不正なエージェント名称が返りました

不正なエージェント名が返りました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0424-E

関数名: An invalid queue name was returned.  
関数名: 不正なキュー名称が返りました

不正なキュー名が返りました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0425-E

関数名: The character code is specified incorrectly.  
関数名: 文字コードの指定が不正です

文字コードの指定が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0426-E

関数名: The number of agent information to be changed is invalid.  
関数名: 変更するエージェント情報数が不正です

変更するエージェント情報数が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0427-E

関数名: The flag specifying hold or release is invalid.  
関数名: 保留/保留解除を指定するフラグが不正です

保留または保留解除を指定するフラグが不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0428-E

関数名: The flag for registering hold jobs is invalid.  
関数名: 保留ジョブ登録のフラグが不正です

保留ジョブ登録のフラグが不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0429-E

関数名: The destination for storing the number of enumerated jobs is specified incorrectly.  
関数名: 列挙されたジョブ情報数の格納先の指定が不正です

列挙されたジョブ情報数の格納先の指定が不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0430-E

関数名: The flag indicating the job status to be enumerated is invalid.  
関数名: 列挙するジョブ状態を表わすフラグが不正です

列挙するジョブ状態を表すフラグが不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0431-E

関数名: The enumerated handle is invalid.  
関数名: 列挙ハンドルが不正です

列挙ハンドルが不正です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0432-E**

関数名: The password could not be created.

関数名: パスワードの作成に失敗しました

VOS3 ユーザーのパスワードの作成に失敗しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0433-E**

関数名: The execution start date for the specified job is too long.

関数名: 指定ジョブ実行開始日時が長すぎます

指定ジョブ実行開始日時が長過ぎます。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0434-E**

関数名: The name of the host to which the status is reported is too long.

関数名: 状態通知送信先ホスト名称が長すぎます

状態通知送信先ホスト名が長過ぎます。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0435-E**

関数名: No destination is specified for storing the current concurrently-executable job limit.

関数名: 取得する現在の多重度を格納する先が指定されていません

取得する現在の多重度を格納する先が指定されていません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0436-E**

関数名: No destination is specified for storing the number of currently executing jobs.

関数名: 取得する現在実行中のジョブの数を格納する先が指定されていません

取得する現在実行中のジョブの数を格納する先が指定されていません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0437-E**

関数名: No type is specified for the job status to be reported.

関数名: 送信する状態通知のジョブ状態種別が指定されていません

送信する状態通知のジョブ状態種別が指定されていません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0438-E**

関数名: The warning end threshold value exceeds the abnormal end threshold value.

関数名: 警告終了しきい値が異常終了しきい値の値を超えています

警告終了しきい値が、異常終了しきい値の値を超えています。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0439-E**

関数名: The moving destination queue cannot be specified when the home agent host name is specified.

関数名: 移動元エージェントホスト名指定の場合には移動先キューを指定できません

移動元にエージェントホスト名を指定した場合は、移動先キューを指定できません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)

エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0440-E

---

関数名: The direction of the job insert relative position cannot be specified when moving to another queue.

関数名：他キューへの移動の場合にはジョブ挿入先相対位置の方向は指定できません

---

ほかのキューへの移動の場合には、ジョブ挿入先相対位置の方向は指定できません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0441-E

---

関数名: The job insert relative position cannot be specified when moving to another queue.

関数名：他キューへの移動の場合にはジョブ挿入先相対位置は指定できません

---

ほかのキューへの移動の場合には、ジョブ挿入先相対位置は指定できません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0442-W

---

関数名: The standard output file used in the system could not be deleted.

関数名：システムで使用している標準出力ファイルの削除に失敗しました

---

システムで使用している標準出力ファイルの削除に失敗しました。

(S)  
要求処理を続行します。

#### KAVU0443-W

---

関数名: The standard error output file used in the system could not be deleted.

関数名：システムで使用している標準エラー出力ファイルの削除に失敗しました

---

システムで使用している標準エラー出力ファイルの削除に失敗しました。

(S)  
要求処理を続行します。

#### KAVU0451-E

---

関数名: The exclusive execution resource name is not specified.

関数名：排他実行リソース名が指定されていません

---

排他実行リソース名の指定がないため、情報を表示できません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
排他実行リソース名を指定したあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0452-E

---

関数名: The size of exclusive execution resource name buffer is not specified.

関数名：排他実行リソース名格納先のサイズが指定されていません

---

排他実行リソース名格納先のサイズが指定されていないため、情報を取得できません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
統合トレースログでエラー要因を確認して、取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0453-E

---

関数名: The maximum number of queuing jobs is out of range.

関数名：キュー内のジョブ数の最大値が範囲外です

---

ジョブ数の最大値が設定範囲（1 ~ 4,294,967,295）の値ではありません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
ジョブ数の最大値に適切な値を設定したあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0454-E

---

関数名: The warning number of queuing jobs is out of range.

関数名：キュー内のジョブ数の警告値が範囲外です

---

ジョブ数の警告値が設定範囲（1 ~ 4,294,967,295）の値ではありません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
ジョブ数の警告値に適切な値を設定したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0455-E**

関数名: The priority value is not specified.

関数名: 優先順位が指定されていません

優先順位を設定していません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

優先順位を設定したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0456-E**

関数名: The exclusive execution resource information is not specified.

関数名: 排他実行リソース情報が指定されていません

排他実行リソース情報の設定がありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認して、原因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0457-E**

関数名: The job number is not specified.

関数名: ジョブ番号が指定されていません

ジョブ番号の指定がありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認して、原因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0458-E**

関数名: The concurrently-executable job limit is invalid.

関数名: 実行多重度の指定が不正です

実行多重度の指定で時刻の値が誤っているか、または多重度が設定範囲 (0 ~ 4,294,967,295) を超えています。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

実行多重度に適切な値を設定したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0459-E**

関数名: The maximum number of jobs is not specified.

関数名: キュー内のジョブ数の最大値が指定されていません

ジョブ数の最大値の設定がありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

キュー内のジョブ数の最大値を設定したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0460-E**

関数名: The warning number of jobs is not specified.

関数名: キュー内のジョブ数の警告値が指定されていません

ジョブ数の警告値の設定がありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

キュー内のジョブ数の警告値を設定したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0461-E**

関数名: The exclusive execution resource status is invalid.

関数名: 排他実行リソース状態の指定が不正です

排他実行リソース状態の指定が誤っています。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認して、原因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0462-E**

関数名: Job number that use the exclusive execution resource is invalid.

関数名: 排他実行リソース使用中のジョブ番号の指定が不正です

排他実行リソース使用中のジョブ番号の指定が誤っています。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認して、原因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

**KAVU0463-E**

関数名: The warning number of jobs cannot be larger than the max number of jobs.

関数名: キュー内のジョブ数の警告値が最大値より大きい、最大値が警告値より小さい値は設定できません

指定されたキュー内のジョブ数の警告値が最大値より大きい、または最大値が警告値より小さい値となっています。

なお、キュー内のジョブ数の警告値、最大値を変更する場合は、現在キューに設定されている警告値、最大値と比較します。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 設定値を見直すか現在のキューの設定値を調べて、適切な値に変更したあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0464-E

関数名: An invalid exclusive execution resource name was returned.

関数名：不正な排他実行リソース名が返りました

不正な排他実行リソース名が、マネージャーから返されました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 統合トレースログでエラー要因を確認して、原因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0465-E

関数名: The specified port number is invalid.

関数名：ポート番号の指定に誤りがあります

ポート番号の指定オプションを設定した場合、キュー名の:(コロン)以下の値はポート番号として認識されますので、5けた以内のポート番号を指定してください。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ポート番号を正しく設定したあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0466-E

関数名: The agent name cannot be changed.

関数名：エージェント名を変更することは出来ません

キューの名称変更要求に、エージェントホスト名を指定しています。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 正しくキュー名を設定したあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0467-E

関数名: The specification of the manager host name is invalid (ホスト名).

関数名：マネージャーホスト名(ホスト名)の指定に誤りがあります

マネージャーホスト名として指定したホスト名が誤っています。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 緊急実行コマンドに、リモートホスト名を指定していないかを確認したあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0470-E

The job termination request failed.

ジョブの強制終了に失敗しました

エージェントホストにジョブの強制終了要求を行いました、が、ジョブの強制終了に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) このメッセージの前後に出力されている KAVU メッセージの説明を参照してください。また、マネージャーホストおよびエージェントホストの統合トレースログで、このジョブに対して KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

#### KAVU0471-W

The job does not exist. But the job might have ended.

該当するジョブが存在しません。ジョブは終了している可能性があります

ジョブの強制終了要求を行いました、が、該当するジョブがありませんでした。

- (S) 要求処理を終了します。
- (O) ジョブが実行されていないか、または強制終了前にエージェントホストですでにジョブが終了しているおそれがあります。jqjobget コマンドでジョブの状態を確認してください。それ以外には、次のことが考えられます。
- ジョブの情報をエージェントホストからマネージャーホストへ送信するのに失敗している状態で、エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが停止した。

- ・ エージェントホストでジョブを実行中のまま、JP1/AJS2 サービスが異常終了した。

マネージャーホストおよびエージェントホストの統合トレースログで、このジョブに対して KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

#### KAVU0474-E

関数名 : The job execution environment database is currently undergoing maintenance.

関数名 : ジョブ実行環境データベースがメンテナンス中です

ジョブ実行環境がメンテナンス中です。

(S)

ジョブ実行環境のメンテナンスを中止します。

(O)

jajs\_maintain プロセスが存在しないか確認し、必要に応じてコマンドを再実行してください。

#### KAVU0500-E

An attempt to acquire the database information failed.

関数名 : データベース情報取得処理に失敗しました

ジョブ実行環境のデータベース情報の取得に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

- 次のことを確認したあと、再度呼び出してください。
  - ・ システムのリソースが不足していないか。
  - ・ JP1/AJS2 の環境設定が正しくされているか。
  - ・ データベースが正しく作成されているか。

#### KAVU0800-I

The user profile was registered.

ユーザー情報を登録しました

jpqreguser コマンドで JP1/AJS2 ホストに、VOS3 ユーザーのユーザー情報を登録しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVU0801-I

The user profile was deleted.

ユーザー情報を削除しました

jpqreguser コマンドで JP1/AJS2 ホストから VOS3 ユーザーのユーザー情報を削除しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVU0802-I

The user profile was updated.

ユーザー情報を更新しました

jpqreguser コマンドで VOS3 ユーザーのユーザー情報を更新しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVU0803-I

The user profile information will be enumerated.

登録済みユーザー情報の列挙を開始します

jpqreguser コマンドで VOS3 ユーザーの登録済みユーザー情報の列挙を開始します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVU0804-I

Enumerating user profile information ended normally.

登録済みユーザー情報の列挙が正常終了しました

jpqreguser コマンドで VOS3 ユーザーの登録済みユーザー情報の列挙が正常終了しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVU0810-I

The job(ジョブ番号) was submitted.

ジョブ (ジョブ番号) をサブミットしました

ジョブを登録しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVU0811-I

The job(ジョブ番号) was canceled.

ジョブ (ジョブ番号) をキャンセルしました

ジョブを強制終了しました。なお、ジョブが実行待ち、保留、時間待ち状態の場合は、ジョブをキャンセルします。また、ジョブが実行中の場合は、強制終了します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVU0812-I

The job(ジョブ番号) status was changed(保留/保留解除).

ジョブ (ジョブ番号) の状態を変更 (保留/保留解除) しました

## KAVU0813-I ~ KAVU0825-I

ジョブの状態を保留 / 保留解除に変更しました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVU0813-I

The job(ジョブ番号) was moved.  
ジョブ (ジョブ番号) を移動しました

キュー内のジョブを移動しました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVU0814-I

The job(ジョブ番号) information was deleted.  
ジョブ情報 (ジョブ番号) を削除しました

ジョブ実行環境データベースから終了したジョブのジョブ  
情報および結果ファイルを削除しました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVU0815-I

The job(ジョブ番号) information will be displayed.  
ジョブ情報 (ジョブ番号) の表示を開始します

ジョブ情報 (ジョブ番号, ジョブ名, ジョブ状態, 登録時  
間など) を出力します。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVU0816-I

Displaying the job information ended normally.  
ジョブ情報の表示処理が正常終了しました

ジョブ情報の表示処理が正常終了しました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVU0817-I

JP1 user (JP1仮定ユーザー名) is registered for assumed  
JP1 user.  
JP1ユーザー (JP1仮定ユーザー名) をJP1仮定ユーザー  
として登録しました

指定された JP1 ユーザーを JP1 仮定ユーザーとして登録  
し, JP1 ユーザー仮定機能を有効にしました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVU0818-I

Assumed JP1 user(JP1仮定ユーザー名) is deleted.  
JP1仮定ユーザー (JP1仮定ユーザー名) を削除しました

JP1 仮定ユーザーを削除しました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVU0819-I

Assumed JP1 user (JP1仮定ユーザー名) is registered.  
JP1仮定ユーザー (JP1仮定ユーザー名) が登録されてい  
ます

現在登録されている JP1 仮定ユーザーを表示します。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVU0820-I

The job information will be enumerated.  
ジョブ情報の列挙を開始します

未終了ジョブのジョブ情報の一覧を出力します。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVU0821-I

Enumerating the job information ended normally.  
ジョブ情報の列挙処理が正常終了しました

未終了ジョブのジョブ情報 (ジョブ番号, ジョブ名, ジョ  
ブ状態など) の一覧の表示処理が正常終了しました。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVU0822-I

Assumed JP1 user is not registered.  
JP1仮定ユーザーは登録されていません

現在 JP1 仮定ユーザーは登録されていません。

- (S)  
処理を続行します。

### KAVU0825-I

The end job information will be enumerated.  
終了ジョブ情報の列挙を開始します

終了したジョブのジョブ情報の一覧を出力します。

- (S)  
処理を続行します。



**KAVU0826-I**

Enumerating the end job information ended normally.  
終了ジョブ情報の列挙処理が正常終了しました

終了したジョブのジョブ情報（ジョブ番号、ジョブ名、ジョブ状態など）の一覧の表示処理が正常終了しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0835-I**

Queue Entrance/Queue Exit of the queue (キュー名) was opened.

キュー（キュー名）のジョブ受付口/ジョブ取出口をオープンしました

キューのジョブ受付口、またはジョブ取出口を開きました。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0836-I**

Queue Entrance/Queue Exit of the queue (キュー名) was closed.

キュー（キュー名）のジョブ受付口/ジョブ取出口をクローズしました

キューのジョブ受付口、またはジョブ取出口を閉じました。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0837-I**

The queue(キュー名) information will be displayed.  
キュー情報（キュー名）の表示を開始します

キュー情報（キュー名、登録ジョブ数の最大値・警告値、登録済みのジョブ数など）を出力します。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0838-I**

Default queue(キュー名) information will be displayed.  
デフォルトキュー情報（キュー名）の表示を開始します

デフォルトキューのキュー情報（キュー名、登録ジョブ数の最大値・警告値、登録済みのジョブ数など）を出力します。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0839-I**

All queue information except default queue will be displayed.

デフォルトキューを除く全てのキュー情報の表示を開始します

デフォルトキュー以外のキュー情報を出力します。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0840-I**

All queue information including default queue will be displayed.

デフォルトキューを含む全てのキュー情報の表示を開始します

デフォルトキューを含むすべてのキュー情報を出力します。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0841-I**

The queue names will be enumerated.

キュー名称の列挙を開始します

デフォルトキュー以外のキューのキュー名称を出力します。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0842-I**

Displaying the queue information ended normally.  
キュー情報の表示処理が正常終了しました

キュー情報の表示処理が正常終了しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0850-I**

The agent(エージェント名) definition was changed.  
エージェント（エージェント名）の定義情報を変更しました

エージェントの定義情報（ジョブ実行多重度）を変更しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0851-I**

The agent host(エージェント名) information will be displayed.

エージェントホスト情報（エージェント名）の表示を開始します

エージェントホスト情報を出力します。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVU0852-I

All agent host information will be displayed.  
全てのエージェントホスト情報の表示を開始します

すべてのエージェントホスト情報を出力します。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVU0853-I

The agent host names will be enumerated.  
エージェントホスト名称の列挙を開始します

すべてのエージェントホストのエージェントホスト名称を出力します。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVU0854-I

Displaying the agent host information ended normally.  
エージェントホスト情報の表示処理が正常終了しました

エージェントホスト情報の表示処理が正常終了しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVU0860-I

The queue(キュー名) was added.  
キュー (キュー名) を追加しました

キューを追加しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVU0861-I

The queue(キュー名) was deleted.  
キュー (キュー名) を削除しました

キューを削除しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVU0862-I

The queue(キュー名) definition was changed.  
キュー (キュー名) の定義情報を変更しました

キューの定義情報を変更しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVU0863-I

The agent(エージェント名) was connected.  
エージェント (エージェント名) に接続しました

キューをエージェントに接続しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVU0864-I

The agent(エージェント名) was released.  
エージェント (エージェント名) との接続を解除しました

キューとエージェントの接続を解除しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVU0865-I

The agent(エージェント名) was added.  
エージェント (エージェント名) を追加しました

エージェントホストを追加しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVU0866-I

The agent(エージェント名) was deleted.  
エージェント (エージェント名) を削除しました

エージェントホストを削除しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVU0867-I

The exclusive execution resource name(排他実行リソース名) was added.  
排他実行リソース名 (排他実行リソース名) を追加しました

排他実行リソースを追加しました。

(S)  
処理を続行します。

#### KAVU0868-I

The exclusive execution resource name(排他実行リソース名) was deleted.  
排他実行リソース名 (排他実行リソース名) を削除しました

排他実行リソースを削除しました。

(S)  
処理を続行します。

**KAVU0869-I**

The exclusive execution resource name will be enumerated.

排他実行リソース名の列挙を開始します

すべての排他実行リソース名称を出力します。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0870-I**

The exclusive execution resource(排他実行リソース名) information will be displayed.

排他実行リソース情報(排他実行リソース名)の表示を開始します

排他実行リソース情報を出力します。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0871-I**

All exclusive execution resource information will be displayed.

全ての排他実行リソース情報の表示を開始します

すべての排他実行リソース情報を出力します。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0872-I**

Enumerating the exclusive execution resource name ended normally.

排他実行リソース名の列挙処理が正常終了しました

排他実行リソース名の列挙処理が正常終了しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0873-I**

Displaying the exclusive execution resource(排他実行リソース名) information ended normally.

排他実行リソース情報(排他実行リソース名)の表示処理が正常終了しました

排他実行リソース情報の表示処理が正常終了しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0874-I**

Displaying all exclusive execution resource information ended normally.

全ての排他実行リソース情報の表示処理が正常終了しました

すべての排他実行リソース情報の表示処理が正常終了しました。

した。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0875-I**

The agent(エージェント名) priority was changed.

エージェント(エージェント名)の優先順位を変更しました

接続済みエージェントホストの優先順位を変更しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVU0900-E**

Invalid option (オプション名).

無効なオプション(オプション名)です

無効なオプションです。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU0901-E**

The option (オプション名) is used more than once.

オプション(オプション名)が2回以上使用されています

オプションが2回以上使用されています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU0902-E**

A required option (オプション名) is missing.

必須オプション(オプション名)が指定されていません

必要なオプションが指定されていません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU0903-E**

Only administrator can use option (オプション名).

オプション(オプション名)は管理者しか使用できません

オプションは管理者だけが使用できます。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
管理者ユーザーでコマンドを再実行してください。

#### KAVU0904-E

Illegal character (不当文字) in operand (オペランド名).  
オペランド (オペランド名) 中に無効な文字 (不当文字) があります

引数の中に無効な文字があります。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0905-E

The operand (オペランド名) exceeds the specifiable number of characters (文字数).  
オペランド (オペランド名) が指定可能な文字数 (文字数) を超えています

指定できる文字数を超えて、引数を指定しています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0906-E

A required operand (オペランド名) is missing.  
必須オペランド (オペランド名) が指定されていません

必要な引数が指定されていません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0907-E

Value (設定値) in operand (オペランド名) exceeds the limit.  
オペランド (オペランド名) 中に指定範囲を超えた値 (設定値) が指定されています

引数の中に指定範囲を超えた値が指定されています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)

エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0908-E

Character (不当文字) in operand (オペランド名) is not a number.  
オペランド (オペランド名) 中に数値でない文字 (不当文字) が指定されています

引数の中に数値でない文字が指定されています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
引数に数字を指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0909-E

Invalid data format in operand (オペランド名).  
オペランド (オペランド名) のデータ形式が不正です

引数のデータ形式が不正です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0910-E

An unexpected error occurred. (reason code:要因番号)  
予期せぬエラーが発生しました (要因番号:要因番号)

パラメーター解析処理中に不正なデータを検出しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU0911-E

The options (オプション名) and (オプション名) cannot be specified simultaneously.  
オプション (オプション名) とオプション (オプション名) は同時に指定できません

指定されたオプションは、同時に指定できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU0912-E**

Environment settings or the logical host name is invalid.  
環境設定が不正かもしくは論理ホスト名が不正です

環境設定、または論理ホスト名が不正です。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    環境設定、または論理ホスト名を確認したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU0913-E**

Unexpected error occurred. Aborted. (module:要因箇所[  
要因箇所], (reason code:要因番号)

コマンド起動時の初期化処理が失敗しました。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU0914-E**

Insufficient options specified.  
オプションの指定が不足しています

必要なオプションを指定していません。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    必要なオプションを指定したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU0917-E**

The specification of the manager host name is invalid.  
マネージャーホスト名の指定に誤りがあります

マネージャーホスト名として指定したホスト名が誤っています。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    緊急実行コマンドに、リモートホスト名を指定していないかを確認したあと、再度呼び出してください。

**KAVU0920-E**

Parameter is specified incorrectly.  
パラメーターに誤りがあります

パラメーターに誤りがあります。

- (S)

コマンドの実行を中止します。

- (O)                    エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。  
コマンド実行ホストとマネージャーホストの文字コードが異なる場合は、データ転送の際の文字コード変換でデータサイズが大きくなったおそれがあります。  
マネージャーホストの文字コードに変換した場合に、指定できる文字数を超える引数がないか確認してください。

**KAVU0921-E**

The command could not be executed because of internal factor.

内部的要因でコマンドの実行に失敗しました

内部的要因でコマンドの実行に失敗しました。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU0922-E**

Memory became insufficient.  
メモリー不足が発生しました

メモリー不足が発生しました。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再実行してください。  
それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見積みもりを見直してください。

**KAVU0923-E**

A logical contradiction occurred.  
論理矛盾が発生しました

コマンドの初期化処理中に不正なエラーを検知しました。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU0924-E**

The file cannot be opened because file path or file does not exist at the send source.

転送元のファイルパス又はファイルが無い場合ファイルを開くできません

## KAVU0925-E ~ KAVU0930-E

転送元のファイルパス、またはファイルがないためファイルをオープンできません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0925-E

The file cannot be opened because you lack access permission for the file at the send source.  
転送元のファイルのアクセス権が無いためファイルをオープンできません

転送元のファイルのアクセス権がないため、ファイルをオープンできません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0926-E

The file cannot be opened because some other process is using the file at the send source.  
転送元のファイルが他のプロセスで使用中のためファイルをオープンできません

転送元のファイルがほかのプロセスで使用中のため、ファイルをオープンできません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0927-E

The file at the send source cannot be opened.  
転送元のファイルをオープンできません

転送元のファイルをオープンできません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
システムで受け付けられないファイル名の形式、またはファイル名長であるおそれがあります。指定した転送元のファイル名を確認してください。

### KAVU0928-E

The file at the send source cannot be read.  
転送元のファイルの読み込みに失敗しました

転送元のファイルの読み込みに失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0929-E

No file path is specified for the file that acquires the standard output file or standard error output file, so the file cannot be created.

標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルパスが無いためファイルを作成できません

標準出力ファイル・標準エラー出力ファイルのデータを取得するファイルとして、指定したファイルパスがないため、ファイルを作成できません。

jqjobget コマンドを使用した場合は、-oso または -ose オプションに指定したファイルがありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
標準出力ファイルまたは標準エラー出力ファイルのデータを取得するファイルに指定したファイルおよびファイルのパスがあるかどうかを確認してください。ファイルおよびパスがない場合は、作成してからコマンドを再実行してください。

### KAVU0930-E

You lack access permission for the file specified as the file that acquires the standard output file or standard error output file, so the file cannot be created.

標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルのアクセス権が無いためファイルを作成できません

標準出力ファイル・標準エラー出力ファイルのデータを取得するためのファイルにアクセス権がないため、ファイルを作成できません。

jqjobget コマンドを使用した場合は、-oso または -ose オプションに指定したファイルに書き込み権限がありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
標準出力ファイルまたは標準エラー出力ファイルのデータを取得するためのファイルとして指定したファイルのアクセス権を確認してください。書き込み権限がない場合は、権限を与えたあとコマンドを再実行してください。

**KAVU0931-E**

Insufficient disk space. The file specified as the file that acquires the standard output file or standard error output file cannot be written.

ディスクに空き容量が無いため標準出力・標準エラー出力ファイルが書き込みできません

ディスクに空き容量がないため、標準出力・標準エラー出力ファイルが書き込みません。

- (S)            コマンドの実行を中止します。
- (O)            ディスクの空き容量を作成したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU0932-E**

The file specified as the file that acquires the standard output file or standard error output file is being used in another process, so it cannot be opened.

標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルが他のプロセスで使用中のためファイルをオープンできません

標準出力ファイル・標準エラー出力ファイルのデータを取得するためのファイルとして指定したファイルがほかのプロセスで使用中のため、ファイルをオープンできません。

- (S)            コマンドの実行を中止します。
- (O)            標準出力ファイルまたは標準エラー出力ファイルのデータを取得するためのファイルとして指定したファイルに、ほかのプロセスがアクセスしていないかを確認してください。指定したファイルにアクセスしているプロセスを終了させたあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU0933-E**

The file specified as the file that acquires the standard output file or standard error output file cannot be created.

標準出力・標準エラー出力取得先として指定したファイルを作成できません

標準出力ファイル・標準エラー出力ファイルのデータを取得するためのファイルとして指定したファイルを作成できません。

- (S)            コマンドの実行を中止します。
- (O)            内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU0934-E**

The file specified as the file that acquires the standard output file or standard error output file could not be written.

標準出力・標準エラー出力取得先として指定したファイルの書き込みに失敗しました

標準出力ファイル・標準エラー出力ファイルのデータを取得するためのファイルとして指定したファイルの書き込みに失敗しました。

- (S)            コマンドの実行を中止します。
- (O)            内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU0935-W**

The standard output file or standard error output file contains 0 bytes of data.

標準出力・標準エラー出力ファイルが0バイトデータです

jpqjobget コマンドで標準出力ファイル、または標準エラー出力ファイルのデータを取得しようとしたが、ファイルがありませんでした。

- (S)            コマンド処理を終了します。

**KAVU0936-E**

Environment settings or the logical host name information is invalid.

環境設定が不正かもしくは論理ホスト名情報が不正です

環境設定、または論理ホスト名情報が不正であるため、環境設定パラメーターの読み込み処理でエラーが発生しました。

- (S)            コマンドの実行を中止します。
- (O)            統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。また、UNIXの場合は、コマンドを実行したユーザーが /opt/jp1/hcclibcnf/regdir/HKEY\_LOCAL\_MACHINE.dat に対して読み込み権限があるかどうかを確認してください。また、統合トレースログに「KAVU7221-E 論理ホスト名(論理ホスト名)上の環境設定パラメーター(TraceLogPath= ファイルパス)が不正です」のメッセージが出力されている場合、出力されたパスに対してコマンドを実行した OS ユーザーの書き込み権限および読み込み権限が設定されていないおそれがあります。設定されていない場合は、書き込み権限および読み込み権限を設定してから、コマンドを再実行してください。

**KAVU0937-E**

Job could not be submitted because agent host (エージェントホスト名) was failed to create automatically.  
エージェント (エージェントホスト名) の自動作成に失敗したのでジョブがサブミットできませんでした

エージェントを自動的に作成できなかったため、サブミットジョブの登録に失敗しました。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    失敗の要因の詳細については、統合トレースログでこのメッセージの前後に出力された KAVU メッセージを確認してください。要因を取り除いてから、再度サブミットジョブを実行してください。

**KAVU0938-E**

Assumed JP1 user is not registered.  
JP1 仮定ユーザーは登録されていません

JP1 仮定ユーザーが登録されていないか、不正な JP1 仮定ユーザーが登録されていました。

- (S)                    JP1 仮定ユーザーが登録されていない場合は、要求処理を中止します。不正な JP1 仮定ユーザー情報が登録されている場合は、情報を削除します。
- (O)                    jpqregguestuser コマンドを実行し、JP1 仮定ユーザーが登録されているか確認してください。  
jpqregguestuser コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 20. セットアップ時に使用するコマンド」を参照してください。

**KAVU0939-E**

Cannot access registry. Aborted.(module: 要因箇所[要因箇所], reason code: 要因番号)  
構成定義情報へのアクセスに失敗しました (要因箇所: 要因箇所 [ 要因箇所 ], 要因番号: 要因番号)

構成定義情報へのアクセスに失敗したため、jpqregguestuser コマンドの処理を中止します。

- (S)                    要求処理を中止します。
- (O)                    内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU0942-E**

The agent (エージェントホスト名) cannot be added because the Event Action Manager is processing the modification of the agent.

イベント・アクションのマネージャープロセスがエージェント構成の変更処理中のためエージェント (エージェントホスト名) が追加できません

イベント・アクション制御マネージャーへエージェントの追加通知をしましたが、すでにエージェント構成の変更処理中であったため、通知処理に失敗してエージェントの追加処理ができませんでした。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    ほかの jpqagtadd コマンドや jpqagtdel コマンドによるエージェント構成定義の変更処理が終了したあと、再実行してください。

**KAVU0943-E**

The agent (エージェントホスト名) cannot be deleted because the Event Action Manager is processing the modification of the agent.

イベント・アクションのマネージャープロセスがエージェント構成の変更処理中のためエージェント (エージェントホスト名) が削除できません

イベント・アクション制御マネージャーへエージェントの削除通知をしましたが、すでにエージェント構成の変更処理中であったため、通知処理に失敗してエージェントの削除処理ができませんでした。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    ほかの jpqagtadd コマンドや jpqagtdel コマンドによるエージェント構成定義の変更処理が終了したあと、再実行してください。

**KAVU0944-E**

The information cannot be displayed because of adding or changing processing.

追加・変更処理中のため情報の表示に失敗しました

キュー・エージェント・排他実行リソースの追加・変更処理中のため、情報の表示に失敗しました。

- (S)                    要求処理を中止します。
- (O)                    追加・変更処理が終了したあと、コマンドを再実行してください。



**KAVU0945-E**

The manager cannot be connected.  
マネージャーに接続できません

マネージャーに接続できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
デーモンが運用開始されていること、および指定した論理ホスト名で TCP/IP 通信ができることを確認したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU0946-E**

IP address could not be acquired from the manager host name.  
マネージャーホスト名から IP アドレス解決に失敗しました

hosts ファイル、または DNS サーバなどで、指定ホスト名から IP アドレスが求まるように、ネットワーク設定がされている必要があります。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
指定した論理ホスト名で TCP/IP 通信ができることを確認したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU0947-E**

The agent (エージェントホスト名) cannot be deleted because some event job is being executed.  
実行中のイベントジョブが存在するためエージェント (エージェントホスト名) が削除できません

指定したエージェントホストに、実行中のイベントジョブがあるため削除できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
イベントジョブの実行が終了したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU0948-E**

The maximum number of jobs or the warning number of jobs must be specified.  
最大ジョブ数・警告ジョブ数のいずれかを指定してください

必ず指定するオプションである最大ジョブ数・警告ジョブ数のどちらかを指定してください。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)

最大ジョブ数・警告ジョブ数のどちらかを指定したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU0949-E**

The specified agent (エージェントホスト名) cannot be released because some job is being executed.

実行中のジョブが存在するためエージェント (エージェントホスト名) との接続が解除できません

指定されたエージェントで、ジョブが実行中のため接続解除できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ジョブの終了後、コマンドを再実行してください。

**KAVU0950-E**

The manager status does not accept requests.

マネージャーが要求を受け付けない状態になっています

ジョブ実行制御のマネージャープロセスが、要求を受け付けない状態になっています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
マネージャーホストの JP1/AJS2 サービスが次の状態でないことを確認したあと、コマンドを再実行してください。
  - JP1/AJS2 サービスが運用開始処理中または停止処理中
  - JP1/AJS2 サービスがメンテナンスモード中

**KAVU0951-E**

The specified queue does not exist.

指定したキューが存在しません

指定したキューの定義情報がありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
キューの定義情報は、jqppqueshow コマンドで確認できます。指定したキューの定義情報の有無を確認したあと、再度実行してください。  
なお、キューの定義情報がない場合は、jqppqueadd コマンドで動的に追加することもできます。  
コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド」を参照してください。

**KAVU0952-E**

The specified agent does not exist.

指定したエージェントが存在しません

指定したエージェントの定義情報がありません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) エージェントの定義情報は、`jpgagtshow` コマンドで確認できます。指定したエージェントの定義情報の有無を確認したあと、再度実行してください。  
なお、エージェントの定義情報がない場合は、`jpgagtadd` コマンドで動的に追加することもできます。  
コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド」を参照してください。

### KAVU0953-E

No response from the manager.

マネージャーからの応答が返ってきません

ジョブ実行制御のマネージャープロセスからの応答が返ってきません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 統合トレースログでエラー要因を確認し、エラーが発生している場合は、要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。エラーとなっていない場合は、ジョブ実行制御のマネージャープロセスがほかの要求を処理中のため、応答が返せない状態です。この場合は、コマンドの実行を中止した場合でも処理が続行されているので、コマンド・統合ログなどで要求処理に対する結果を確認してください。

### KAVU0954-E

The command could not be executed because of internal factor at the manager.

マネージャーの内部的要因でコマンドの実行に失敗しました

ジョブ実行制御のマネージャープロセスの内部的要因で、コマンドの実行に失敗しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合は、そちらのメッセージの説明も参照して要因を取り除いたあと、再度実行してください。出力されていない場合や問題が解決しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0955-E

The specified queue is closed.

指定したキューが閉じられています

指定したキューの受付口が閉じられているため、ジョブを登録できません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 指定したキューの、ジョブの受付口が閉じているおそれがあります。`jpgqueueopen` コマンドを実行して、指定したキューの、ジョブの受付口を開き、コマンドを再度実行してください。コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド」を参照してください。

### KAVU0956-E

The number of queued jobs in the specified queue reached the limit or the queue resources reached the limit.

指定したキューのキューイングジョブ数が上限に達しているかキューの制限値を超えています

キューに登録したジョブ数がキュー内のジョブ数の最大値に達しているか、またはシステム内の最大ジョブ数の上限値に達しています。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ジョブの実行終了を待つて再度要求を発行するか、またはキュー定義情報でキュー内のジョブ数の最大値またはシステム内の最大ジョブ数を見直してください。キュー内のジョブ数の最大値に達している場合は、統合トレースログに KAVU4515-W メッセージが出力されます。また、システム内の最大ジョブ数に達している場合は、統合トレースログに KAVU4520-W メッセージが出力されます。  
それぞれのメッセージの対処方法に従ってください。

### KAVU0957-E

You lack execute permission for this command.

コマンドを実行する権限がありません

コマンドを実行しようとしたユーザーに、コマンド操作に必要な権限がありません。  
処理要求先マネージャーが使用する認証サーバで、アクセス権エラーになりました。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ジョブ実行制御のコマンド (`jpgxxxx` コマンド) を使用してジョブ実行環境上のジョブを単体で操作した

り、ジョブ実行環境を操作したりする場合は、コマンドを実行する OS ユーザー名と同一名称の JP1 ユーザー名で権限を確認します。  
 コマンドを実行した OS ユーザーが JP1 ユーザーとして認証サーバに登録されているか、またその JP1 ユーザー (OS ユーザー) の JP1 資源グループ (JP1\_Queue) に、コマンド実行に必要な JP1 権限レベルが設定されているか確認してください。  
 コマンドに必要な実行権限については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド コマンド一覧」を参照してください。また、JP1 権限レベルの設定方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 3.1.1(1) ユーザー情報を設定する」(Windows の場合)、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 13.1.1(1) ユーザー情報を設定する」(UNIX の場合)を参照してください。  
 Windows で UAC 機能が有効の場合は、管理者で再度コマンドを実行してください。

#### KAVU0958-W

The job does not exist.

該当ジョブが存在しません

jpqjobshow, または jpqendjobshow コマンドの実行時は、該当するジョブが 1 件もない場合に出力されます。それ以外のコマンド実行時は、指定されたジョブ番号に該当するジョブがない場合に出力されます。

- (S)
 

jpqjobshow, または jpqendjobshow 実行時は、コマンド処理を終了します。それ以外のコマンド実行時は、コマンドの実行を中止します。
- (O)
 

jpqjobshow, jpqendjobshow 以外のコマンドを実行した場合、指定したジョブ番号に誤りがないか確認したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0959-E

The job has already started.

該当ジョブが既に実行開始しています

該当するジョブがすでに実行開始しています。  
 jpqjobmove コマンドまたは jpqjobalt コマンドは、すでに実行開始しているジョブに対して操作できません。

- (S)
 

コマンドの実行を中止します。
- (O)
 

jpqjobmove コマンドまたは jpqjobalt コマンドは、実行開始していないジョブに対して実行してください。

#### KAVU0960-E

The job did not end yet.

該当ジョブはまだ終了していません

該当するジョブはまだ終了していません。

- (S)
 

コマンドの実行を中止します。
- (O)
 

jpqjobdel コマンドは、実行が終了していないジョブに対して操作できません。ジョブが終了するのを待ってから再度実行してください。

#### KAVU0961-E

The specified destination queue does not exist.

指定した移動先のキューは存在しません

指定した移動先のキューはありません。

- (S)
 

コマンドの実行を中止します。
- (O)
 

ジョブの移動先のキューがあるかどうかを確認し、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0962-E

The job cannot be moved. There are too many queued jobs in destination queue.

指定した移動先のキューがキューイングジョブ上限数に達してジョブを移動できません

ジョブの移動先に指定したキューに登録したジョブ数が、キュー内のジョブ数の最大値に達しているため、ジョブを移動できません。

- (S)
 

コマンドの実行を中止します。
- (O)
 

ジョブの実行終了を待って再度要求を発行するか、またはキュー定義情報でキュー内のジョブ数の最大値を見直してください。  
 キューに登録したジョブ数は、jpqqueshow コマンドの -q または -ah オプションで確認でき、「QUEUEING」と「EXECUTING」の両方を合わせた値になります。  
 また、キュー内のジョブ数の最大値は、jpqquealt コマンドで変更できます。これらのコマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド」を参照してください。

#### KAVU0963-W

There is no queue in the manager.

マネージャーにキューが存在しません

jpqqueshow コマンドで指定したマネージャーホストに、

## KAVU0964-E ~ KAVU0970-E

キューの定義情報が1件もありません。

(S)

コマンド処理を終了します。

### KAVU0964-E

No agent is connected to the manager.

マネージャーに接続しているエージェントが存在しません

指定したエージェントの定義情報がありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

エージェントの定義情報は、jpqagtshow コマンドで確認できます。指定したエージェントの定義情報の有無を確認したあと、再実行してください。  
なお、エージェントの定義情報がない場合は、jpqagtadd コマンドで動的に追加することもできます。  
コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド」を参照してください。

### KAVU0965-E

The manager is busy.

マネージャーがビジー状態です

マネージャーがビジー状態です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

しばらくしてから、コマンドを再実行してください。

### KAVU0966-E

Memory became insufficient at the manager.

マネージャーでメモリー不足が発生しました

マネージャーで、メモリー不足が発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、コマンドを再実行してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見込み量を見直してください。

### KAVU0967-E

VOS3 user information is invalid.

VOS3のユーザー情報が不正です

jpqreguser コマンドで登録した JP1/OJE for VOS3 のユーザー情報が不正です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

jpqreguser コマンドの -a オプションを実行して、ユーザー情報が正しく登録されているか確認したあと、コマンドを再実行してください。  
jpqreguser コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 20. セットアップ時に使用するコマンド」を参照してください。

### KAVU0968-E

A fatal error occurred in the manager.

マネージャーで致命的なエラーが発生しました

マネージャーで、致命的なエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。  
出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照し、要因を取り除いたあと再度実行してください。  
出力されていない場合や問題が解決しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0969-E

A logical contradiction occurred in the manager.

マネージャーで論理矛盾が発生しました

マネージャーで、論理矛盾が発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。  
出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照し、要因を取り除いたあと再度実行してください。  
出力されていない場合や問題が解決しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU0970-E

That request is not supported by the requested manager.

要求したマネージャーでは未サポート要求です

JP1/NQSEXEC や JP1/OJE for VOS3 など JP1/AJS2 以外のホストに対して、キューの操作やエージェントの操作などの未サポートの要求を実行したおそれがあります。

(S)

コマンドの実行を中止します。

- (O) 要求先の他システム製品でサポートされているかどうかを確認してください。  
各コマンドのサポート機能に関する詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド 他プログラムとの連携」を参照してください。

#### KAVU0971-E

An error occurred after submission.  
サブミット実行後にエラーが発生しました

サブミット実行後にエラーが発生しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0972-E

The execution environment is invalid.  
実行環境が不正です

実行環境が不正です。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 認証サーバが起動されていないおそれがあります。認証サーバが起動されていない場合は、認証サーバを起動してください。認証サーバが起動されている場合は、統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU0973-E

The transfer file could not be created on the manager.  
マネージャー上に転送ファイルが作成できませんでした

マネージャー上に転送ファイルが作成できませんでした。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0974-E

The transfer file could not be written on the manager.  
マネージャー上に転送ファイルが書き込めませんでした

マネージャー上に転送ファイルが書き込めませんでした。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0975-E

The job was forcibly terminated, but it might not have terminated.

ジョブの強制終了は行いましたがジョブが終了していない可能性があります

ジョブを強制終了しましたが、ジョブが終了していないおそれがあります。

- (S) コマンドの実行を終了します。
- (O) 統合トレースログでエラー要因を確認してください。

#### KAVU0976-E

The exclusive execution resource name (排他実行リソース名) cannot be deleted because some job is being executed.

実行中のジョブが存在するため排他実行リソース名(排他実行リソース名)が削除できません

指定した排他実行リソースを使用した、実行中のサブミットジョブがあるため、削除できません。

- (S) コマンドの実行を終了します。
- (O) サブミットジョブの実行が終了したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0977-E

The specified agent (エージェントホスト名) is not connected.

指定されたエージェント(エージェントホスト名)は接続されていません

指定したエージェントホストは、キューに接続されていません。

- (S) コマンドの実行を終了します。
- (O) 正しいエージェントホスト名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0978-E

The agent (エージェントホスト名) is already connected.  
エージェント(エージェントホスト名)は既に接続されています

指定したエージェントホストは、すでに接続されています。

- (S)

## KAVU0979-E ~ KAVU0985-E

コマンドの実行を終了します。

(O)

正しいエージェントホスト名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0979-E

The queue (キュー名) definition cannot be changed because some job is being submitted.  
サブミット中のジョブが存在するためキュー (キュー名) の定義情報が変更できません

指定されたキューにサブミット中のジョブがあるため、キューの定義情報の変更に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

ジョブの実行が終了したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0980-E

The agent (エージェントホスト名) cannot be registered because the agents exceeds the maximum number defined in the environment settings.  
環境設定のエージェントの最大定義数を超えているためエージェント (エージェントホスト名) は登録できません

エージェントの定義数が、環境設定の最大定義数を超えたため、エージェントを追加できません。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

不要なエージェントを削除するか、またはエージェントの最大定義数を見直したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0981-E

The queue (キュー名) cannot be registered because the queue exceeds the maximum number defined in the environment settings.  
環境設定のキューの最大定義数を超えているためキュー (キュー名) は登録できません

キューの定義数が、環境設定の最大定義数を超えたため、キューを追加できません。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

不要なキューを削除するか、またはキューの最大定義数を見直したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0982-E

The exclusive execution resource (排他実行リソース名) cannot be registered because the exclusive execution resource exceeds the maximum number defined in the environment settings.

環境設定の排他実行リソースの最大定義数を超えているため排他実行リソース (排他実行リソース名) は登録できません

排他実行リソースの定義数が、環境設定の最大定義数を超えたため、排他実行リソースを追加できません。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

不要な排他実行リソースを削除するか、または排他実行リソースの最大定義数を見直したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0983-E

The warning number of jobs is larger than the number of maximum number of jobs.

警告ジョブ数に最大ジョブ数より大きな値を指定しています

警告ジョブ数には、最大ジョブ数より大きな値を指定できません。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

警告ジョブ数に最適な値を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0984-E

The maximum number of jobs is less than the number of warning number of jobs.

最大ジョブ数に警告ジョブ数より小さな値を指定しています

最大ジョブ数には、警告ジョブ数より小さな値を指定できません。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

最大ジョブ数に最適な値を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0985-E

The user profile is not registered. (user: ユーザー名, remote-host: リモートホスト名)  
ユーザー情報が登録されていません (ユーザー名: ユーザー名, リモートホスト名: リモートホスト名)

ユーザー情報が登録されていません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
削除するユーザーを確認したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0986-W

The user profile does not exist.  
登録されているユーザー情報はありません

登録されているユーザー情報はありません。

- (S)  
コマンド処理を終了します。

#### KAVU0987-E

The password could not be scrambled. (reason code:要因番号)  
パスワードのスクランブルに失敗しました(要因番号:要因番号)

パスワードのスクランブルに失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU0988-E

The password could not be unscrambled. (要因番号)  
パスワードのアンスクランブルに失敗しました(要因番号)

パスワードのアンスクランブルに失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU0989-E

You lack access permission for, so process cannot be done.  
アクセス権不足のため操作できません

アクセス権不足のため操作できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
要求ユーザーのアクセス権を確認してください。

#### KAVU0990-E

The queue (キュー名) cannot be deleted because some job is being executed.

実行中のジョブが存在するためキュー(キュー名)が削除できません

キューに実行中のジョブがあるため、キューを削除できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ジョブの実行が終了したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0991-E

The specified agent (エージェントホスト名) cannot be deleted because some queue is connected.

指定されたエージェント(エージェントホスト名)はキューとの接続が解除されていないため削除できません

エージェントとキューとの接続が解除されていないため、エージェントを削除できません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
jppqagtunlink コマンドでエージェントとキューとの接続を解除してから、コマンドを再実行してください。jppqagtunlink コマンドについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド jppqagtunlink」を参照してください。

#### KAVU0992-E

The specified exclusive execution resource name (排他実行リソース名) does not exist.

指定した排他実行リソース名(排他実行リソース名)が存在しません

指定した排他実行リソース名は、定義されていません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
正しい排他実行リソース名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVU0993-W

There is no exclusive execution resource information to enumerate.

列挙すべき排他実行リソース情報が存在しません

排他実行リソース情報がありません。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

### KAVU0994-E

The maximum number of jobs or the warning number of jobs or the new queue name must be specified.

最大ジョブ数・警告ジョブ数・新しいキュー名のいずれかを指定してください

キュー内のジョブ数の最大値、キュー内のジョブ数の警告値、または変更後のキュー名のすべてを省略することはできません。必ず一つ以上を指定してください。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    最大ジョブ数・警告ジョブ数・新しいキュー名のどれかを指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0995-E

The specified agent (エージェントホスト名) does not exist.

指定したエージェント (エージェントホスト名) が存在しません

指定したエージェントが定義されていません。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    正しいエージェントホスト名を指定してください。  
エージェントの定義情報は、jqagts show コマンドで確認できます。指定したエージェントの定義情報の有無を確認したあと、再度実行してください。  
なお、エージェントの定義情報がない場合は、jqagts add コマンドで動的に追加することもできます。  
コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド」を参照してください。

### KAVU0996-E

The agent (エージェントホスト名) cannot be deleted because some job is being executed.

実行中のジョブが存在するためエージェント (エージェントホスト名) が削除できません

エージェントに実行中のジョブがあるため、削除できません。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    ジョブの実行が終了したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0997-E

The agent information (エージェントホスト名) already exists.

エージェント情報 (エージェントホスト名) は既に存在します

指定したエージェント名のエージェント情報は、すでに定義されているため、追加に失敗しました。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    正しいエージェントホスト名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0998-E

The queue information (キュー名) already exists.

キュー情報 (キュー名) は既に存在します

指定されたキュー名の情報は、すでに定義されているため追加に失敗しました。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    正しいキュー名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU0999-E

The exclusive execution resource information (排他実行リソース名) already exists.

排他実行リソース情報 (排他実行リソース名) は既に存在します

指定された排他実行リソース名の情報は、すでに定義されているため追加に失敗しました。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    正しい排他実行リソース名を指定したあと、コマンドを再実行してください。

### KAVU1100-I

Started process monitor (論理ホスト名).

プロセス監視モニター (論理ホスト名) が起動されました

プロセス監視モニターが起動されました。

- (S)                    デーモンの起動処理を続行します。



**KAVU1101-I**

Process monitor (論理ホスト名) ended normally.  
プロセス監視モニター (論理ホスト名) が正常終了しました

プロセス監視モニターが正常終了しました。

- (S)  
デーモンを停止します。

**KAVU1102-E**

Process monitor (論理ホスト名) ended abnormally.  
(reason code:要因番号)  
プロセス監視モニター (論理ホスト名) が異常終了しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のプロセス監視モニターが異常終了しました。

- (S)  
JP1/AJS2 サービスを停止します。

- (O)  
統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照して、要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1103-I**

Process monitor (論理ホスト名) is already running on the same host.  
同じ論理ホスト (論理ホスト名) 上でプロセス監視モニターが起動中です

同じ論理ホスト上で、デーモンを二重起動できません。

- (S)  
デーモンの起動処理を中止します。
- (O)  
JP1/AJS2 サービスがすでに起動されているかを確認してください。  
JP1/AJS2 サービスが起動されてない場合、JP1/AJS2 サービスが異常終了したあとでサービスを再起動するとこのメッセージが出力されることがあります。その場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.1(1) JP1/AJS2 のサービスが起動しない」を参照し、該当する場合は対処方法を実施してください。

**KAVU1104-E**

An abnormal end of job execution control was detected.  
ジョブ実行制御の異常停止を検知しました

ジョブ実行制御のエージェントプロセスの終了を検知した

ためプロセス監視モニターが異常終了しました。

- (S)  
JP1/AJS2 サービスを停止します。
- (O)  
統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照して、要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1105-E**

An abnormal end of job queuing control was detected.  
キューイング制御の異常停止を検知しました

ジョブ実行制御のマネージャープロセスの終了を検知したためプロセス監視モニターが異常終了しました。

- (S)  
JP1/AJS2 サービスを停止します。
- (O)  
統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照して、要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1106-E**

Job execution control process ended abnormally. (name : プロセス名, code : 終了コード, pid : プロセスID, sig : シグナル番号)  
ジョブ実行制御のプロセスが異常終了しました (name : プロセス名, code : 終了コード, pid : プロセスID, sig : シグナル番号)

プロセス名に示されているプロセスが終了コードに示されている終了コードで異常終了しました。

Windows の場合  
シグナル番号は 0 となります。

UNIX の場合  
シグナル番号が 0 以外の場合は、シグナル番号に該当するシグナルを受けて異常終了します。

次の原因が考えられます。

- シグナルなどにより JP1/AJS2 の常駐プロセスが異常終了する。
- jajs\_killall.cluster などにより JP1/AJS2 の常駐プロセスを強制終了する。

- (S)  
ジョブ実行制御を終了します。

- (O)

原因を特定できない場合は、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください（「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください）。  
運用を続ける場合、資料採取したあとに JP1/AJS2 を再起動してください。  
なお、`jajs_killall.cluster` を実行した場合は問題ありません。

#### KAVU1201-E

The logical host (ホスト名) is invalid.  
論理ホスト名（ホスト名）が不正です

環境変数 `JP1_HOSTNAME` に指定された論理ホスト名の長さが不正です。

- (S)  
JP1/AJS2 サービスを停止します。
- (O)  
環境変数 `JP1_HOSTNAME` に指定された論理ホスト名に不正がないかを確認し、不正な要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

#### KAVU1202-E

An error occurred while obtaining environment settings on the logical host (ホスト名). (reason code:要因番号)  
論理ホスト（ホスト名）の環境設定情報の取得にてエラーが発生しました（要因番号:要因番号）

論理ホストの環境設定情報の取得で、エラーが発生しました。

- (S)  
デーモンを停止します。
- (O)  
環境設定上の不正箇所、または定義不十分な要因を取り除いたあと、再起動してください。

#### KAVU1203-E

The agent process could not be started. (reason code:要因番号)  
エージェントプロセス起動に失敗しました（要因番号:要因番号）

エージェントプロセス起動に失敗しました。

- (S)  
デーモンを停止します。
- (O)  
UNIX の場合、要因番号 12 はメモリー不足です。要因番号 12 の場合には、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。  
また、要因番号 11 はシステムによって決められた同時に起動できるプロセス数の制限を一時的に超えている場合が考えられます。JP1/AJS2 を再起動してもこの要因番号のメッセージが出力される場合はカーネル

パラメーターで設定された、同時に起動できるプロセスの最大数を拡張してください。カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。  
これらを見直しても、なお原因が判明しない場合、または Windows でこのメッセージが出力される場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU1204-E

The manager process could not be started. (reason code:要因番号)

マネージャープロセス起動に失敗しました（要因番号:要因番号）

マネージャープロセス起動に失敗しました。

- (S)  
デーモンを停止します。
- (O)  
UNIX の場合、要因番号 12 はメモリー不足です。要因番号 12 の場合には、実行するのに十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。  
また、要因番号 11 はシステムによって決められた同時に起動できるプロセス数の制限を一時的に超えている場合が考えられます。JP1/AJS2 を再起動してもこの要因番号のメッセージが出力される場合はカーネルパラメーターで設定された、同時に起動できるプロセスの最大数を拡張してください。カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。  
これらを見直しても、なお原因が判明しない場合、または Windows でこのメッセージが出力される場合は内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU1205-E

A logical contradiction occurred. (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

論理矛盾が発生しました（要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号）

ジョブ実行制御のプロセス間通信で、パラメーター不正などによる論理矛盾が発生しました。

- (S)  
JP1/AJS2 サービスを停止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1206-E**

The wait for the agent initialization completion was timed out.

エージェントの初期化完了待ちがタイムアウトになりました

ジョブ実行制御のエージェントプロセスの初期化完了待ちでタイムアウトが発生しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを強制停止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照して、要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1207-E**

The wait for the manager initialization completion was timed out.

マネージャーの初期化完了待ちがタイムアウトになりました

ジョブ実行制御のマネージャープロセスの初期化完了待ちでタイムアウトが発生しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを強制停止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照して、要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1208-E**

The manager or the agent could not be forcibly terminated. (reason code: 要因番号)

エージェントまたはマネージャーの強制終了に失敗しました (要因番号: 要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスまたはエージェントプロセスの強制終了に失敗しました。要因番号が 0x00010025 の場合はマネージャープロセス、0x00010024 の場合はエージェントプロセスの強制終了で失敗しています。

(S)

JP1/AJS2 サービスの強制停止処理を続行します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU

メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照して、要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。マネージャープロセスまたはエージェントプロセスの有無を手動で確認し、存在している場合は手動で強制停止させてから、JP1/AJS2 を再起動してください。その他のメッセージが出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1211-E**

The wait for an event from the agent or the manager failed. (module: 要因箇所, reason code: 要因番号)

エージェントまたはマネージャーからのイベント待ちが失敗しました (要因箇所: 要因箇所, 要因番号: 要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセス、またはエージェントプロセスからの初期化完了イベント通知の受け取りに失敗しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照して、要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1212-E**

The wait for an event from the agent or the manager was timed out. (module: 要因箇所[要因箇所], reason code: 要因番号)

エージェントまたはマネージャーからのイベント待ちがタイムアウトになりました (要因箇所: 要因箇所[要因箇所], 要因番号: 要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセス、またはエージェントプロセスの初期化完了待ちでタイムアウトが発生しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを強制停止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照して、要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1220-E**

The start daemon could not be notified that initialization was completed. (reason code:要因番号)

起動デーモンへの初期化完了通知に失敗しました（要因番号:要因番号）

JP1/AJS2 起動プロセス (jajs\_spmdd) への初期化完了通知に失敗しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

統合トレースログに KAVB メッセージが出力されていないかを確認してください。出力されている場合は、マニュアル「JP1/Base メッセージ」を参照し説明を確認して要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。出力されていない場合や原因が判明しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1221-E**

The start daemon could not be notified that planned termination was completed. (reason code:要因番号)

起動デーモンへの計画停止完了通知に失敗しました（要因番号:要因番号）

JP1/AJS2 起動プロセス (jajs\_spmdd) への計画停止完了通知に失敗しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

(O)

統合トレースログに KAVB メッセージが出力されていないかを確認してください。出力されている場合は、マニュアル「JP1/Base メッセージ」を参照し説明を確認して要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。出力されていない場合や原因が判明しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1222-E**

The start daemon could not be notified that forced termination was completed. (reason code:要因番号)

起動デーモンへの強制停止完了通知に失敗しました（要因番号:要因番号）

JP1/AJS2 起動プロセス (jajs\_spmdd) への強制停止完了通知に失敗しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

(O)

統合トレースログに KAVB メッセージが出力されていないかを確認してください。出力されている場合は、マニュアル「JP1/Base メッセージ」を参照し説

明を確認して要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。出力されていない場合や原因が判明しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1224-E**

A logical contradiction occurred in pipe communication process. (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

パイプ通信処理にて論理矛盾が発生しました（要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号）

ジョブ実行制御のプロセス監視モニターのプロセス間パイプ通信処理でエラーが発生しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照して要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU1225-E**

Forced termination started because the start daemon ended abnormally.

起動デーモンが異常終了したため、強制停止します

起動デーモン (jajs\_spmdd) が異常終了したため、強制停止処理を開始します。

(S)

デーモンを停止します。

(O)

統合トレースログなどで起動デーモンが停止した要因を確認し、要因を取り除いたあと、再起動してください。

**KAVU1232-E**

An error occurred in process monitoring. Forced termination was sent to the agent and the manager. プロセス監視モニターでエラーが発生したためエージェントおよびマネージャーに強制停止を送信しました

ジョブ実行制御のプロセス監視モニターでエラーが発生したため、エージェントプロセスおよびマネージャープロセスに強制停止要求を送信しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。

出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照して、要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 を再起動してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU1240-I

A forced termination request was received from the start daemon.

起動デーモンから強制停止要求を受信しました

JP1/AJS2 起動プロセス (jajs\_spmc) から強制停止要求を受けました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

#### KAVU1241-I

The start daemon was notified about the forced termination.

起動デーモンへの強制停止完了通知に成功しました

JP1/AJS2 起動プロセス (jajs\_spmc) への強制停止完了通知に成功しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

#### KAVU1242-I

A forced termination was sent to the agent or the manager.

エージェントおよびマネージャーに強制停止を送信しました

ジョブ実行制御のマネージャープロセスおよびエージェントプロセスに強制停止要求を送信しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

#### KAVU1243-I

Forced termination of the agent was confirmed.

エージェントの強制停止を確認しました

ジョブ実行制御のエージェントプロセスの強制停止を確認しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

#### KAVU1244-I

Forced termination of the manager was confirmed.

マネージャーの強制停止を確認しました

ジョブ実行制御のマネージャープロセスの強制停止を確認しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

#### KAVU1250-I

A planned termination request (while waiting for a job in the queue to terminate) was received from the start daemon.

起動デーモンから計画停止要求 (キュー内ジョブ終了待ち) を受信しました

JP1/AJS2 起動プロセス (jajs\_spmc) から計画停止要求 (キュー内ジョブ終了待ち) を受けました。

(S)

キューイング中ジョブの終了を待って JP1/AJS2 サービスを停止します。

#### KAVU1255-I

Planned termination of the agent was confirmed.

エージェントの計画停止を確認しました

ジョブ実行制御のエージェントプロセスの計画停止を確認しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

#### KAVU1256-I

Planned termination of the manager was confirmed.

マネージャーの計画停止を確認しました

ジョブ実行制御のマネージャープロセスの計画停止を確認しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

#### KAVU1290-I

A jobnet restriction stop request was received from the start daemon.

起動デーモンからジョブネット制限停止要求を受信しました

JP1/AJS2 起動プロセス (jajs\_spmc) からジョブネット制限停止要求を受けました。

(S)

実行中のジョブネットがすべて終了したあと JP1/AJS2 サービスを停止します。

#### KAVU1291-I

A restriction stop request was received from the start daemon.

起動デーモンからジョブ制限停止要求を受信しました

JP1/AJS2 起動プロセス (jajs\_spmc) からジョブ制限停止要求を受けました。

(S)

実行中のジョブがすべて終了したあと JP1/AJS2 サービスを停止します。

### KAVU2200-W

---

Any transmission processing over the 100-file limit will be ignored.

処理可能な範囲（100個）以上のファイル転送処理は無視されました

---

処理できる範囲（100 個）以上のファイル転送処理は無視されました。

- (S) ファイル転送処理を中止します。
- (O) 転送ファイル数を 100 個以内に設定してください。

### KAVU2201-E

---

The communication protocol parameter (パラメーター名) exceeded the limit.

通信プロトコルにて処理可能な範囲を超えたパラメーター（パラメーター名）が指定されています

---

TCP/IP 通信プロトコルで、通信プロトコルデータの解析に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU2210-W

---

User mapping (ユーザー名) failed in the file transmission process.

ファイル転送処理でユーザーマッピング（ユーザー名）に失敗しました

---

ファイル転送処理で、ユーザーマッピングに失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ユーザーマッピング定義を確認したあと、再度要求を発行してください。

### KAVU2211-W

---

The user (ユーザー名) could not be masked in file transmission process.

ファイル転送処理でユーザー偽装（ユーザー名）に失敗しました

---

ファイル転送処理で、ユーザー偽装に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ユーザーマッピング定義を確認したあと、再度要求を

発行してください。

### KAVU2212-W

---

No work path exists, so the transfer file or the result file cannot be created.

ワークパスが無いため転送ファイルまたは結果ファイルを作成できません

---

ワークパスがないため、転送ファイルまたは結果ファイルを作成できません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 環境設定パラメーターで定義したマネージャープロセス実行時のワークディレクトリ、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ、およびジョブ実行時のワークパスがあるかどうかを確認し、再度要求を発行してください。

### KAVU2213-W

---

You lack access permission for the work path, so the transfer file or the result file could not be created.

ワークパスに対してアクセス権が無いため転送ファイルまたは結果ファイルを作成できません

---

ワークパスに対してアクセス権がないため、転送ファイルまたは結果ファイルを作成できません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 環境設定パラメーターで定義したマネージャープロセス実行時のワークディレクトリ、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ、およびジョブ実行時のワークパスのアクセス権を確認し、再度要求を発行してください。

### KAVU2214-W

---

No path (ファイル名) is specified to the destination for storing transfer files or result files.

転送ファイルまたは結果ファイルの格納先パス（ファイル名）がありません

---

転送ファイルまたは結果ファイルの格納先パスがありません。

ファイル名が M\_JPQSTDO\_ ジョブ番号または M\_JPQSTDE\_ ジョブ番号の場合は結果ファイル、それ以外の場合は転送ファイルの作成時に発生したエラーです。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 環境設定パラメーターで定義したマネージャープロセス実行時のワークディレクトリ、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ、およびジョブ実行時に指定した転送ファイルのパスがあるかどうかを確認

し、再度要求を発行してください。

#### KAVU2215-W

You lack access permission for the path to the destination for storing transfer files, result files or the file (ファイル名).

転送ファイルまたは結果ファイルの格納先パスまたはファイル (ファイル名) に対してアクセス権がありません

転送ファイルまたは結果ファイルの格納先パス、またはファイルに対してアクセス権がありません。  
ファイル名が M\_JPQSTDO\_ ジョブ番号または M\_JPQSTDE\_ ジョブ番号の場合は結果ファイル、それ以外の場合は転送ファイルの作成時に発生したエラーです。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

環境設定パラメーターで定義したマネージャープロセス実行時のワークディレクトリ名、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ、およびジョブ実行時に指定した転送ファイルのパスまたはファイルのアクセス権を確認し、再度要求を発行してください。

#### KAVU2216-W

The transfer file or the result file (ファイル名) cannot be opened.

転送ファイルまたは結果ファイル (ファイル名) がオープンできません

転送ファイルまたは結果ファイルがオープンできません。  
ファイル名が M\_JPQSTDO\_ ジョブ番号または M\_JPQSTDE\_ ジョブ番号の場合は結果ファイル、それ以外の場合は転送ファイルの作成時に発生したエラーです。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

システムで受け付けられないファイル名の形式、またはファイル名長であるおそれがあります。指定した転送元または転送先のファイル名を確認してください。  
ファイル名が M\_JPQSTDO\_ ジョブ番号または M\_JPQSTDE\_ ジョブ番号の場合は内部トレースログを採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU2217-W

Another process is using the transfer file or the result file (ファイル名).

転送ファイルまたは結果ファイル (ファイル名) が他プロセスで使用中です

転送ファイルまたは結果ファイルがほかのプロセスで使用中です。  
ファイル名が M\_JPQSTDO\_ ジョブ番号または M\_JPQSTDE\_ ジョブ番号の場合は結果ファイル、それ以外の場合は転送ファイルの作成時に発生したエラーです。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

指定した転送元または転送先のファイルが、ほかのプロセスで使用されていないか確認し、再度要求を発行してください。  
ファイル名が M\_JPQSTDO\_ ジョブ番号または M\_JPQSTDE\_ ジョブ番号の場合は内部トレースログを採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU2218-W

The transfer file or the result file (ファイル名) could not be accessed.

転送ファイルまたは結果ファイル (ファイル名) へのアクセスに失敗しました

転送ファイルまたは結果ファイルへのアクセスに失敗しました。

ファイル名が M\_JPQSTDO\_ ジョブ番号または M\_JPQSTDE\_ ジョブ番号の場合は結果ファイル、それ以外の場合は転送ファイルの作成時に発生したエラーです。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU2219-W

Because there is no environment settings work path, the transfer file cannot be processed.

環境設定のワークパスが無いため転送ファイル进行处理できません

環境設定のワークパスがないため、転送ファイル进行处理できません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

環境設定を確認したあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU2220-E

Memory could not be allocated. (size:サイズ, module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

メモリーの確保に失敗しました (サイズ:サイズ, 要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

メモリーの確保に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再度要求を発行してください。それでも同じメッセージが

出力される場合は、メモリー所要量を再見積もりしてください。

また、エージェントからマネージャーに転送されるファイルの容量が大きいためメモリー不足が発生したおそれがあります。

次の原因が考えられます。確認してください。

1. 標準出力データが大量に出力されるジョブの定義に、「標準出力ファイル名」を指定している
2. 標準エラー出力データが大量に出力されるジョブを定義した
3. ジョブの標準出力ファイルと標準エラー出力ファイルの「追加書き」オプションを指定している
4. サイズの大きいファイルを、ジョブの定義「転送元ファイル名」に指定している

各要因に対して次の対処を行ってください。

1. ジョブ定義の「標準出力ファイル名」に NULL デバイスを指定してください。具体的には、UNIX 上で実行するジョブの場合は「/dev/null」を記述し、Windows 上で実行するジョブの場合は「NUL」を記述してください。ジョブのスクリプトファイル内やバッチファイル内で、標準出力をリダイレクトしてください
2. ジョブ定義に「標準エラー出力ファイル名」を指定している場合  
ジョブ定義の「標準エラー出力ファイル名」に NULL デバイスを指定してください。具体的には、UNIX 上で実行するジョブの場合は「/dev/null」を記述し、Windows 上で実行するジョブの場合は「NUL」を記述してください  
ジョブ定義に「標準エラー出力ファイル名」を指定していない場合  
ジョブ定義の「標準エラー出力ファイル名」に NULL デバイスを指定してください。具体的には、UNIX 上で実行するジョブの場合は「/dev/null」を記述し、Windows 上で実行するジョブの場合は「NUL」を記述してください。または、ジョブのスクリプトファイル内やバッチファイル内で、標準エラー出力をリダイレクトしてください
3. 「追加書き」オプションの設定を無効にしてください
4. 「転送元ファイル名」にサイズの大きいファイルを指定しないでください

または、1 ~ 3 の原因に対し、標準出力ファイルおよび標準エラー出力ファイルを定期的に削除または退避して運用してください。

#### KAVU2221-E

There is insufficient disk space. (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

ディスク容量が不十分です (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ディスク容量が不十分です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ディスクの空き容量を作成したあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU2222-W

You lack access permission for the environment settings work path, so the transfer file cannot be processed.

環境設定のワークパスに対してアクセス権が無いため転送ファイル进行处理できません

環境設定のワークパスに対してアクセス権がないため、転送ファイル进行处理できません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

環境設定を確認したあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU2223-E

The file name of the transfer file (ファイル名) could not be changed because the file does not exist.

ファイルが存在しないため転送ファイル (ファイル名) のファイル名の変更に失敗しました

指定された転送ファイルをマネージャーホスト上の一時ファイルのファイル名に変更しようとしたが、通信プロトコルデータが不正で指定された転送ファイルが見つかりませんでした。

(S)

ジョブのサブミット要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU2224-E

The file name of the transfer file (ファイル名) could not be changed because there was no access permission to the file (ファイル名).

ファイルへのアクセス権がないため転送ファイル (ファイル名) のファイル名の変更に失敗しました

指定された転送ファイルをマネージャーホスト上の一時ファイルのファイル名に変更しようとしたが、通信プロトコルデータが不正で指定された転送ファイルのアクセス権の取得に失敗しました。

(S)

ジョブのサブミット要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。



**KAVU2225-E**

The file name of the transfer file (ファイル名) could not be changed because a system call error occurred (システムエラー番号).

システムコールエラー (システムエラー番号) が発生したため転送ファイル (ファイル名) のファイル名の変更に失敗しました

指定された転送ファイルをマネージャーホスト上の一時ファイルのファイル名に変更しようとしたが、通信プロトコルデータが不正でシステムコールエラーが発生しました。

(S)

ジョブのサブミット要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU2226-E**

The file name of the transfer file (ファイル名) could not be changed.

転送ファイル (ファイル名) のファイル名の変更に失敗しました

指定された転送ファイルをマネージャーホスト上の一時ファイルのファイル名に変更しようとしたが、通信プロトコルデータが不正で何らかのエラーが発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU2227-E**

A connection error occurred during TCP/IP communication. (connection destination host name: 接続先ホスト名, IP address: IPアドレス, port number: ポート番号, system error number: システムエラー番号)

TCP/IP通信で接続エラーが発生しました (接続先ホスト名:接続先ホスト名, IPアドレス: IPアドレス, ポート番号:ポート番号, システムエラー番号:システムエラー番号)

TCP/IP 通信で接続エラーが発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

次の原因が考えられます。確認してください。

1. 通信先の JP1/AJS2 が起動していない
2. ジョブをサブミットする際に使用するポート番号が、マネージャーとジョブの実行ホストとの間で一致していない
3. JP1/AJS2 を起動したままデフォルトゲートウェイを変更した

4. 論理ホストのマネージャーの IP アドレスと、エージェントの IP アドレスの属するネットワークが異なっている
5. ハードウェアを含めたネットワークに問題がある
6. システム全体で利用できるソケットポートが枯渇している
7. メモリー不足が発生している
8. クラスタ構成の場合、フェールオーバー時の設定が JP1/AJS2 の停止より論理 IP アドレス解放が早くなっている

各要因に対して次の対処を行ったあと、再度要求を発行してください。

1. JP1/AJS2 を起動してください
2. JP1/AJS2 のポート番号を変更しているか、または JP1/NQSEEXEC, JP1/OJE for VOS3 などの他システムと連携している場合には、services ファイルのポート番号を修正してください
3. ネットワーク構成を変更するときは、JP1/AJS2 サービスを止めてから実施してください
4. 属するネットワークを同じにしてください。またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 3.4 JP1/AJS2 が対応しているネットワーク構成と通信を確認する」を参照して、複数のネットワークアドレスを使用した通信の設定を行ってください
5. ハードウェアを含めたネットワークの設定を見直してください。例えば、ping コマンドを実行して通信できるかどうかを確認してください
6. ソケットの状態を確認し、TIME\_WAIT 状態のソケットが少なくなるまで待ってください。また、OS が管理する TIME\_WAIT ポートの回復時間を早めることによって通信エラーを抑止できます
7. メモリーの状態を確認し、メモリー所要量を再見積もりしてください
8. JP1/AJS2 の停止より論理 IP アドレスの解放があとに行われるように設定してください

**KAVU2228-E**

Connection processing timed out during TCP/IP communication. (connection destination host name: 接続先ホスト名, IP address: IPアドレス, port number: ポート番号, system error number: システムエラー番号)

TCP/IP通信で接続処理がタイムアウトになりました (接続先ホスト名:接続先ホスト名, IPアドレス: IPアドレス, ポート番号:ポート番号, システムエラー番号:システムエラー番号)

ジョブ実行制御の TCP/IP 通信処理でリモートホストへの通信接続要求がタイムアウトになりました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

接続先ホストの状態について次のことが考えられますので確認してエラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

1. 通信先の JP1/AJS2 が起動していない場合は起動してください。
2. ジョブをサブミットする際に使用するポート番号が、マネージャーとジョブの実行ホストとの間で一致しているか、または JP1/NQSEXEC, JP1/OJE for VOS3 などの他システムと連携している場合には、services ファイルのポート番号が正しいかどうかを確認してください。
3. JP1/AJS2 を起動したままデフォルトゲートウェイを変更した場合は、JP1/AJS2 サービスを止めてから実施してください。
4. 論理ホストのマネージャーの IP アドレスと、エージェントの IP アドレスの属するネットワークを同じにしてください。また、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 3.4 JP1/AJS2 が対応しているネットワーク構成と通信を確認する」を参照して、複数のネットワークアドレスを使用した通信の設定を行ってください。
5. ハードウェアを含めたネットワークに問題がないかネットワークの設定を見直してください。例えば、ping コマンドを実行して通信できるかどうかを確認してください。
6. クラスタ構成のとき、フェールオーバー時の設定が JP1/AJS2 の停止より論理 IP アドレスの解放が早くなっている場合は、JP1/AJS2 の停止より論理 IP アドレスの解放があとに行われるように設定してください。
7. 通信接続のタイムアウト値、リトライ回数、リトライ間隔の値を小さくし過ぎると、通信のリトライ間隔が短くなるため、逆に通信障害が回避できなくなり、このエラーが頻繁に発生することがありますので、注意してください。  
なお、通信接続のタイムアウト値は通常 90 秒に設定されています。タイムアウト値の変更方法などの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.19 TCP/IP 通信接続エラーのリトライ間隔・回数の変更」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.17 TCP/IP 通信接続エラーのリトライ間隔・回数の変更」を参照してください。

#### KAVU2229-E

A transmission error occurred during TCP/IP communication. (connection destination host name: 接続先ホスト名, IP address: IPアドレス, port number: ポート番号, system error number: システムエラー番号)  
TCP/IP通信で送信エラーが発生しました（接続先ホスト名:接続先ホスト名, IPアドレス: IPアドレス, ポート番号:ポート番号, システムエラー番号:システムエラー番号）

ジョブ実行制御の TCP/IP 通信処理でプロトコルデータの送信に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

通信先の JP1/AJS2 が通信中に異常終了したか、クラスタ構成の場合は、系切り替えが発生して JP1/AJS2 が強制停止した場合が考えられます。  
通信先ホストの JP1/AJS2 の状態や統合トレースログの内容を確認してエラー要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 が停止している場合は再起動して、再度要求を発行してください。原因が判明しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU2230-E

Transmission processing timed out during TCP/IP communication. (connection destination host name: 接続先ホスト名, IP address: IPアドレス, port number: ポート番号, system error number: システムエラー番号)  
TCP/IP通信で送信処理がタイムアウトになりました（接続先ホスト名:接続先ホスト名, IPアドレス: IPアドレス, ポート番号:ポート番号, システムエラー番号:システムエラー番号）

ジョブ実行制御の TCP/IP 通信処理でプロトコルデータのリモートホストへの送信処理がタイムアウトになりました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

通信先の JP1/AJS2 が通信中に異常終了したか、クラスタ構成の場合は、系切り替えが発生して JP1/AJS2 が強制停止した場合が考えられます。  
通信先ホストの JP1/AJS2 の状態や統合トレースログの内容を確認してエラー要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 が停止している場合は再起動して、再度要求を発行してください。原因が判明しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU2231-E

A reception error occurred during TCP/IP communication. (connection destination host name: 接続先ホスト名, IP address: IPアドレス, port number: ポート番号, system error number: システムエラー番号)  
TCP/IP通信で受信エラーが発生しました（接続先ホスト名:接続先ホスト名, IPアドレス: IPアドレス, ポート番号:ポート番号, システムエラー番号:システムエラー番号）

ジョブ実行制御の TCP/IP 通信処理でプロトコルデータの受信に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

通信先の JP1/AJS2 が通信中に異常終了したか、ク

ラスト構成の場合は、系切り替えが発生して JP1/AJS2 が強制停止した場合が考えられます。  
通信先ホストの JP1/AJS2 の状態や統合トレースログの内容を確認してエラー要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 が停止している場合は再起動して、再度要求を発行してください。原因が判明しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

## KAVU2232-E

Reception processing timed out during TCP/IP communication. (connection destination host name: 接続先ホスト名, IP address: IPアドレス, port number: ポート番号, system error number: システムエラー番号)  
TCP/IP通信で受信処理がタイムアウトになりました(接続先ホスト名:接続先ホスト名, IPアドレス: IPアドレス, ポート番号:ポート番号, システムエラー番号:システムエラー番号)

ジョブ実行制御の TCP/IP 通信でプロトコルデータ送信後の応答受信待ちでタイムアウトが発生しました。次の原因が考えられます。

1. ジョブの終了時にエージェントホストからマネージャホストに対して結果ファイルを転送する際、結果ファイルのサイズが大き過ぎて解析に時間が掛かっている。
2. 転送ファイルを指定したジョブを実行しようとした際、転送ファイルのサイズが大き過ぎて解析に時間が掛かっている。
3. 通信先のマネージャホストまたはエージェントホストの CPU 負荷が非常に高いかシステム資源が不足している。
4. マネージャホストでジョブ情報削除処理が行われている。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

各要因に対して次に示す対処を行ったあと、再度要求を発行してください。

1. ジョブの結果ファイルのサイズが大きくならないよう注意してください。また、標準出力ファイル、標準エラー出力ファイルに追加書きを指定している場合も大量に出力されないように注意してください。
2. ジョブを定義する際、サイズが大き過ぎる転送ファイルを指定しないように注意してください。
3. CPU の負荷状況を確認してください。また、カーネルパラメーターの設定でシステム資源の制限値を確認してください。
4. ジョブ情報削除処理が行われる時間帯を避けてジョブが実行されるようにスケジュールを調整してください。また、一度に大量のジョブに対して削除処理が行われないようにジョブ情報保存日数を小さくして削除対象となるジョブ数を減らすなどの対処をとってください。

なお、1.、2. についてはあらかじめ受信するファイル

のサイズを制限することによって、一部のジョブの処理でシステム全体に影響が出ないように運用することもできます。詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.16 ファイル受信制限をするための設定」、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.13 ファイル受信制限をするための設定」を参照してください。

## KAVU2235-E

Another process is using the specified port number(reason code:要因番号). Could not start process(host name:ホスト名, port number:ポート番号).  
指定のポート番号が他のプロセスによって使用されているため起動できません(ホスト名:ホスト名, ポート番号:ポート番号, 要因番号:要因番号)

指定のポート番号が、ほかのプロセスによって使用されているか、または設定ポート番号が重複しているため起動できません。

(S)

デーモンの起動処理を中止します。

(O)

JP1/AJS2 で使用しているポート番号が重複して設定されていたり、ほかのプログラムで同じポート番号を使用していたりしないかを確認してください。  
なお、指定ホスト名から IP アドレスが求まるように、ネットワーク設定が正しく設定されているかも確認してください。

## KAVU2236-E

The initialization for TCP/IP communication was failed(reason code:要因番号). Could not start process(host name:ホスト名, port number:ポート番号).  
TCP/IP通信の初期化に失敗したため起動できません(ホスト名:ホスト名, ポート番号:ポート番号, 要因番号:要因番号)

TCP/IP 通信の初期化に失敗したため起動できません。

(S)

デーモンの起動処理を中止します。

(O)

TCP/IP 通信が使用できる環境であるか、または運用上メモリーの容量が十分に足りているかを確認してください。  
それらを確認しても原因がはっきりしない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU2237-E**

Socket could not be opened because the process has too many open files. (host name: ホスト名, port number: ポート番号, module: 要因箇所[要因箇所], system error number: システムエラー番号)

オープンしているファイル数がシステムによって決められた上限に達しているためソケットのオープンに失敗しました (ホスト名:ホスト名, ポート番号:ポート番号, 要因箇所:要因箇所[要因箇所], システムエラー番号:システムエラー番号)

カーネルパラメーターで設定された、オープンできるファイルの最大数に達したため、ソケットのオープンに失敗しました。

(S)

要求受付処理の場合、要求受付処理を再試行します。  
再試行で回復できない場合にはエラーメッセージ「KAVU2241-E」を出力します。要求処理の場合、要求処理を中止します。

(O)

カーネルパラメーターで設定された、オープンできるファイルの最大数を拡張してください。そのあと、再度要求を行って「KAVU2241-E」が出力されていないときは、再試行で回復しているため問題はありません。「KAVU2241-E」が出力されている場合はまだ問題があるおそれがありますので、設定を見直してください。

なお、カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

**KAVU2238-E**

The local host name could not be acquired in the TCP/IP communication. (host name: ホスト名, port number: ポート番号, module: 要因箇所[要因箇所], system error number: システムエラー番号)

TCP/IP通信で自ホスト名の取得に失敗しました (ホスト名:ホスト名, ポート番号:ポート番号, 要因箇所:要因箇所[要因箇所], システムエラー番号:システムエラー番号)

TCP/IP 通信で自ホスト名の取得に失敗しました。

(S)

要求受付処理の場合、要求受付処理を再試行します。  
再試行で回復できない場合にはエラーメッセージ「KAVU2241-E」を出力します。要求処理の場合、要求処理を中止します。

(O)

要求受付処理の場合、このメッセージのあとに「KAVU2241-E」が出力されていないときは、再試行で回復しているため問題はありません。  
「KAVU2241-E」が出力されている場合、または要求処理の場合は、ネームサービスに問題が発生しているおそれがあります。自ホストの状態を確認してエラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

**KAVU2239-E**

Detected the failure of the network subsystem. (host name: ホスト名, port number: ポート番号, module: 要因箇所[要因箇所], system error number: システムエラー番号)

ネットワークサブシステムの異常を検出しました (ホスト名:ホスト名, ポート番号:ポート番号, 要因箇所:要因箇所[要因箇所], システムエラー番号:システムエラー番号)

ネットワークサブシステムの異常を検出しました。

(S)

要求受付処理の場合、要求受付処理を再試行します。  
再試行で回復できない場合にはエラーメッセージ「KAVU2241-E」を出力します。要求処理の場合、要求処理を中止します。

(O)

要求受付処理の場合、このメッセージのあとに「KAVU2241-E」が出力されていないときは、再試行で回復しているため問題はありません。  
「KAVU2241-E」が出力されている場合、または要求処理の場合は、ネットワークサブシステムに問題が発生しているおそれがあります。自ホストの状態を確認してエラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

**KAVU2240-E**

The acceptance error occurred during TCP/IP communication. (host name: ホスト名, port number: ポート番号, module: 要因箇所[要因箇所], system error number: システムエラー番号)

TCP/IP通信で要求受け付けエラーが発生しました (ホスト名:ホスト名, ポート番号:ポート番号, 要因箇所:要因箇所[要因箇所], システムエラー番号:システムエラー番号)

TCP/IP 通信で要求受付エラーが発生しました。

(S)

要求受付処理を再試行します。再試行で回復できない場合にはエラーメッセージ「KAVU2241-E」を出力します。

(O)

このメッセージのあとに「KAVU2241-E」が出力されていない場合は、再試行で回復しているため問題はありません。「KAVU2241-E」が出力されている場合は、次の情報を採取してシステム管理者に連絡してください。

- 内部トレースログ
- システムログ
- netstat -a -n 実行結果

**KAVU2241-E**

The fatal error occurred during TCP/IP communication.  
(host name: ホスト名, port number: ポート番号, module: 要因箇所[要因箇所], system error number: システムエラー番号)

TCP/IP通信で続行不可能なエラーが発生しました(ホスト名:ホスト名, ポート番号:ポート番号, 要因箇所:要因箇所[要因箇所], システムエラー番号:システムエラー番号)

TCP/IP 通信で再試行しても続行できないエラーが発生しました。

- (S) デーモンを停止します。
- (O) JP1/AJS2 を停止します。

**KAVU2242-W**

The error occurred during TCP/IP communication. (host name: ホスト名, port number: ポート番号, module: 要因箇所[要因箇所], system error number: システムエラー番号)

TCP/IP通信でエラーが発生しました(ホスト名:ホスト名, ポート番号:ポート番号, 要因箇所:要因箇所[要因箇所], システムエラー番号:システムエラー番号)

TCP/IP 通信でエラーが発生しました。

- (S) 処理を続行します。ただし、設定されている幾つかのソケットに対して通信できません。
- (O) 通信に関する設定 (IP アドレスの指定など) が正しく行われているか、または、通信状態に問題がないかを調査し、エラー原因を取り除いてください。  
エラー要因を取り除いた設定で運用する場合は、サービス (デーモン) を再起動してください。

**KAVU2243-I**

The size of the transmission source file of the job (ジョブ名) executed on the client (クライアントホスト名) exceeds the limit (バイト).(The transmission destination file name (転送先ファイル名))

クライアント (クライアントホスト名) で実行されたジョブ (ジョブ名) の転送元ファイルサイズが受信ファイルサイズの上限値 (バイト) を超えました (転送先ファイル名に指定されているファイル名 (転送先ファイル名))。

転送元ファイルのファイルサイズが上限値を超えています。

- (S) 処理を続行します。
- (O) システムに負荷が掛かっていることが予想されますので、運用に合わせて次の設定を見直してください。

転送元ファイルに指定されたファイルのサイズをファイルサイズの上限値 (LimitReceiveFileSize) 未満に減らすことをお勧めします。

転送ファイルの検索手順

クライアントホスト名に表示されたホスト上で実行された、ジョブ名に指定されているファイルになります。

注意事項

- ・転送先ファイル名を指定していないときは、「JPQ\_TEMP」が出力されます。
- ・ジョブ名を指定していないときは、「none」が出力されます。
- ・クライアントホスト名には次のホスト名が出力されます。  
1.jpqjobsub コマンドを実行したホスト名  
2. ジョブネットを定義して実行したホスト名  
3.JpqSubmitJob 関数を実行したホスト名  
なお、UNIX の場合は「none」が出力されます。

**KAVU2244-E**

The size of the transmission source file of the job (ジョブ名) executed on the client (クライアントホスト名) exceeds the limit (バイト).(The transmission destination file name (転送先ファイル名))

クライアント (クライアントホスト名) で実行されたジョブ (ジョブ名) の転送元ファイルサイズが受信ファイルサイズの上限値 (バイト) を超えました (転送先ファイル名に指定されているファイル名 (転送先ファイル名))。

転送元ファイルのファイルサイズが上限値を超えています。

- (S) 転送ファイルを受信しません。

- (O) 転送元ファイルに指定されたファイルのサイズをファイルサイズの上限値 (LimitReceiveFileSize) 未満に減らすか、ファイルサイズの上限値 (LimitReceiveFileSize) を見直したあと、再度ジョブを実行してください。

転送ファイルの検索手順

クライアントホスト名に表示されたホスト上で実行された、ジョブ名に指定されているファイルになります。

注意事項

- ・転送先ファイル名を指定していないときは、「JPQ\_TEMP」が出力されます。
- ・ジョブ名を指定していないときは、「none」が出力されます。
- ・クライアントホスト名には次のホスト名が出力されます。  
1.jpqjobsub コマンドを実行したホスト名  
2. ジョブネットを定義して実行したホスト名  
3.JpqSubmitJob 関数を実行したホスト名  
なお、UNIX の場合は「none」が出力されます。

す。

- 上限値に達してジョブが異常終了となった場合、実行結果詳細には KAVU0220-E メッセージが出力されます。

#### KAVU2245-W

Because a connection error occurred during TCP/IP communication, it will be retried.

(connection destination host name: 接続先ホスト名, IP address: IPアドレス, port number: ポート番号, system error number: システムエラー番号)

TCP/IP通信で接続エラーが発生したためリトライします ( 接続先ホスト名:接続先ホスト名, IPアドレス: IPアドレス, ポート番号:ポート番号, システムエラー番号:システムエラー番号 )

TCP/IP 通信で接続エラーが発生したためリトライします。

(S)

TCP/IP 通信の接続処理を再試行します。再試行で回復できない場合にはエラーメッセージ「KAVU2227-E」を出力します。

(O)

このメッセージのあとに「KAVU2227-E」が出力されていないときは、再試行で回復しているため問題はありません。「KAVU2227-E」が出力されている場合は、KAVU2227-E メッセージの対処方法を参照してください。

#### KAVU2246-W

Because a connection time-out occurred during TCP/IP communication, it will be retried.(connection destination host name: 接続先ホスト名, IP address: IPアドレス, port number: ポート番号, system error number: システムエラー番号)

TCP/IP通信で接続タイムアウトが発生したためリトライします ( 接続先ホスト名:接続先ホスト名, IPアドレス: IPアドレス, ポート番号:ポート番号, システムエラー番号:システムエラー番号 )

TCP/IP 通信で接続タイムアウトが発生したためリトライします。

(S)

TCP/IP 通信の接続処理を再試行します。再試行で回復できない場合にはエラーメッセージ「KAVU2228-E」を出力します。

(O)

このメッセージのあとに「KAVU2228-E」が出力されていないときは、再試行で回復しているため問題はありません。「KAVU2228-E」が出力されている場合は、KAVU2228-E メッセージの対処方法を参照してください。

#### KAVU3100-I

Job execution control (論理ホスト名) was started.

ジョブ実行制御 ( 論理ホスト名 ) が起動されました

ジョブ実行制御が起動されました。

(S)

デーモンの運用を開始します。

#### KAVU3101-I

Job execution control (論理ホスト名) is terminating.

ジョブ実行制御 ( 論理ホスト名 ) が停止処理中になりました

ジョブ実行制御が停止処理中です。

(S)

デーモンの停止処理を続行します。

#### KAVU3104-I

Job execution control (論理ホスト名) ended normally.

ジョブ実行制御 ( 論理ホスト名 ) が正常終了しました

ジョブ実行制御が正常終了しました。

(S)

デーモンを停止します。

#### KAVU3105-I

The boot environment of the job execution control (論理ホスト名) : 保守情報

ジョブ実行制御(論理ホスト名)の起動環境:保守情報

ジョブ実行制御の起動環境を表示します。

(S)

起動処理を続行します。

#### KAVU3110-E

Job execution control (論理ホスト名) ended abnormally.

(reason code:要因番号)

ジョブ実行制御 ( 論理ホスト名 ) が異常終了しました ( 要因番号:要因番号 )

ジョブ実行制御のエージェントプロセスが異常終了しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3111-E**

Job execution control (論理ホスト名) is already running on the same host.

同じ論理ホスト (論理ホスト名) 上でジョブ実行制御が起動中です

同じ論理ホスト上で、ジョブ実行制御のエージェントプロセスを二重起動しようとしています。

(S)

JP1/AJS2 サービスの起動処理を中止します。

(O)

JP1/AJS2 サービス (ジョブ実行制御のエージェントプロセス) がすでに起動されていないかを確認してください。

**KAVU3112-E**

Job execution control process ended abnormally. (name: プロセス名, code: 終了コード, pid: プロセスID, sig: シグナル番号)

ジョブ実行制御のプロセスが異常終了しました (name: プロセス名, code: 終了コード, pid: プロセスID, sig: シグナル番号)

プロセス名に示されているプロセスが終了コードに示されている終了コードで異常終了しました。

シグナル番号が 0 以外の場合はシグナル番号に該当するシグナルを受けて異常終了しました。

次の原因が考えられます。

- シグナルなどにより JP1/AJS2 の常駐プロセスが異常終了する。
- jajs\_killall.cluster などにより JP1/AJS2 の常駐プロセスを強制終了する。

(S)

プロセス名が jpqagtdmn の場合は、ジョブ実行制御を終了します。

プロセス名が jpqagtchild の場合は、要求処理を中止します。

(O)

原因を特定できない場合は、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください (「1.2.3 システム管理者の方へ」を参照してください)。

運用を続ける場合、資料採取したあとに JP1/AJS2 を再起動してください (異常終了したプロセスが jpqagtchild の場合は JP1/AJS2 の再起動は不要です)。

なお、次のどれかの場合は問題ありません。

- jajs\_killall.cluster を実行した場合
- このメッセージの直前に KAVU3589-E メッセージが出力されている場合  
この場合、KAVU3589-E メッセージの対処方法を参照して対処してください。

**KAVU3200-E**

The user (ユーザー名) request (要求名) for the parameter (パラメーター=パラメータ値) is invalid.

ユーザー (ユーザー名) の要求 (要求名) パラメーター (パラメーター=パラメータ値) が不正です

ジョブ実行制御のエージェントプロセスに対する要求の解析中に、要求パラメーターのデータ内容に不正が見つかりました。

(S)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスに対する要求の解析処理を中止します。

(O)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスでは受け付けない要求を受け付けたおそれがあります。マネージャーストおよびエージェントホストの services ファイルを確認し、jp1ajs2qagt のポート番号がほかのポート番号と重複していないかどうか確認してください。重複している場合は、別のポート番号になるように設定を変更してください。ポート番号を変更したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。上記以外の場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーストとエージェントホストの両方で採取してください。

**KAVU3201-E**

The user (ユーザー名) request (要求名) failed. (reason code: 要因番号)

ユーザー (ユーザー名) の要求 (要求名) が失敗しました (要因番号: 要因番号)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスに対する要求が失敗しました。

(S)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスに対する要求の解析処理を中止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーストとエージェントホストの両方で採取してください。

**KAVU3205-W**

The system detected a change in the size of the environment variable file (環境変数ファイル名) while the job (ジョブ番号) was starting.

ジョブ (ジョブ番号) の環境変数ファイル (環境変数ファイル名) がジョブ起動中に書き換えられました

ジョブ起動時に、ジョブ定義に従って環境変数ファイルを読み込みましたが、読み込み処理中に環境変数ファイルが

## KAVU3210-E ~ KAVU3213-E

書き換えられました。

正しい環境変数でジョブを起動していないおそれがあります。

(S)

ジョブ起動処理を続行します。

環境変数ファイルのサイズの増加量が 4,096 バイト未満の場合は、環境変数をすべて読み込んだ状態でジョブを起動します。しかし、読み込み処理中に書き換わったおそれがあるため、正しい環境変数でジョブを起動していないおそれがあります。

環境変数ファイルのサイズが 4,096 バイト以上増加した場合は、変更前のファイルサイズに 4,095 バイトを加算したサイズまで読み込み、ジョブを起動します。

(O)

ジョブの状態を確認し、環境変数すべてを読み込めていないおそれがある場合は対処してください。また、環境変数ファイルはエージェントにジョブが配信される前までに作成・更新してください。エージェントにジョブを配信したあとはジョブが実行中になるまで環境変数ファイルを更新しないでください。

### KAVU3210-E

Communication thread (論理ホスト名) ended abnormally. (reason code:要因番号)

通信スレッド (論理ホスト名) が異常終了しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスの通信要求受付スレッドが異常終了しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

CPU に非常に負荷が掛かっているおそれがあります。CPU の負荷状況を確認してください。また、統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU3211-E

The agent daemon process ended abnormally. (host name:ホスト名, process name:プロセス名, process id:プロセス番号)

エージェントデーモンが異常終了しました (ホスト名:ホスト名, プロセス名:プロセス名, プロセス番号:プロセス番号)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスが異常終了しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを終了します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU3212-E

The monitoring process for job (ジョブ番号) ended abnormally. (host name:ホスト名, process name:プロセス名, process id:プロセス番号)

ジョブ (ジョブ番号) の監視プロセスが異常終了しました (ホスト名:ホスト名, プロセス名:プロセス名, プロセス番号:プロセス番号)

ジョブ実行制御のジョブ監視プロセスが異常終了しました。

(S)

ジョブ番号のジョブの監視処理を中止します。

(O)

ジョブとして起動したジョブプロセスの状態を確認してください。再実行が可能な場合は再実行してください。

また、統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU3213-E

Failed to acquire permission to read environment variable file (ファイル名) for the user (ユーザー名). (system call name: システムコール名, reason code: 要因番号)

ユーザー (ユーザー名) での環境変数ファイル (ファイル名) への読み込み権限取得に失敗しました (システムコール名: システムコール名, 要因番号: 要因番号)

環境変数ファイルへのアクセスに失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ファイルパーミッション (ls -l コマンド) やアクセス制御リストの設定を基に、実行 OS ユーザーが指定した環境変数ファイルのファイルパスにアクセスできることを確認したあと、再度呼び出してください。



**KAVU3214-E**

Failed to acquire permission to execute the execution file (ファイル名) for the user (ユーザー名). (system call name: システムコール名, reason code: 要因番号)  
 ユーザー (ユーザー名) での実行ファイル (ファイル名) への実行権限取得に失敗しました (システムコール名: システムコール名, 要因番号: 要因番号)

実行ファイルへのアクセスに失敗しました。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 ファイルパーミッション (ls -l コマンド) やアクセス制御リストの設定を基に、実行 OS ユーザーが指定した実行ファイルのファイルパスにアクセスできることを確認したあと、再度呼び出してください。

**KAVU3215-E**

Failed to read the temporary file (ファイル名) for the transmission source for the user (ユーザー名). (system call name: システムコール名, reason code: 要因番号)  
 ユーザー (ユーザー名) での転送元の一時的ファイル (ファイル名) の読み込みに失敗しました (システムコール名: システムコール名, 要因番号: 要因番号)

転送元ファイルの読み込みに失敗しました。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 ファイルパーミッション (ls -l コマンド) やアクセス制御リストの設定を基に、実行 OS ユーザーが転送元ファイルのファイルパスの読み込みができることを確認したあと、再度呼び出してください。

**KAVU3216-E**

Failed to write the transmission destination file (ファイル名) for the user (ユーザー名). (system call name: システムコール名, reason code: 要因番号)  
 ユーザー (ユーザー名) での転送先ファイル (ファイル名) の書き込みに失敗しました (システムコール名: システムコール名, 要因番号: 要因番号)

転送先ファイルへの書き込みに失敗しました。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 ファイルパーミッション (ls -l コマンド) やアクセス制御リストの設定を基に、実行 OS ユーザーが指定した転送先ファイルのファイルパスに書き込みできることを確認したあと、再度呼び出してください。

**KAVU3221-E**

The manager (論理ホスト名) could not be notified about job status. (reason code: 要因番号)  
 マネージャー (論理ホスト名) へのジョブ状態通知が失敗しました (要因番号: 要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスへのジョブの状態通知が失敗しました。「ジョブ結果ファイルの二重受信防止の設定」を行っている場合、マネージャーホストで結果ファイル (標準出力ファイル, 標準エラー出力ファイル) が解析中であるため、ジョブの終了通知を受け付けられない状態であるおそれがあります。その場合はマネージャーホスト側では KAVU4297-W メッセージが出力されます。マネージャーホストは結果ファイルの解析完了後にジョブの終了通知を受け付けます。「ジョブ結果ファイルの二重受信防止の設定」を行っていない場合は、マネージャーホストが停止、またはマネージャーホストへの通信ができないことが考えられます。「ジョブ結果ファイルの二重受信防止の設定」については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.18 ジョブ結果ファイルの二重受信防止の設定」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.16 ジョブ結果ファイルの二重受信防止の設定」を参照してください。

- (S)  
 マネージャープロセスへのジョブの状態通知を中止します。
- (O)  
 マネージャーホスト側の統合トレースログも確認し、ジョブ実行制御のマネージャープロセスの稼働状況を確認してください。  
 また、統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

**KAVU3270-E**

Memory could not be allocated. (size: サイズ, module: 要因箇所[要因箇所], reason code: 要因番号)  
 メモリーの確保に失敗しました (サイズ: サイズ, 要因箇所: 要因箇所[要因箇所], 要因番号: 要因番号)

メモリーの確保に失敗しました。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再度要求を発行してください。  
 それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモ

リー見積もりを見直してください。

### KAVU3271-E

There is insufficient disk space. (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号, file name:ファイル名)  
ディスク容量が不十分です (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号, ファイル名:ファイル名)

ディスク容量が不十分です。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
「ファイル名」に表示されたファイルが存在するディスクの空き容量を作成したあと、再度要求を発行してください。

### KAVU3272-E

A system call error occurred when starting process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
起動処理 (論理ホスト名) でシステムコールエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスの起動処理でシステムコールエラーが発生しました。

- (S)  
JP1/AJS2 サービスを停止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU3274-W

A system call error occurred in the communication process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
通信処理 (論理ホスト名) でシステムコールエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

通信処理でシステムコールエラーが発生しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU3275-E

A logical contradiction occurred in the communication process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
通信処理 (論理ホスト名) で論理矛盾が発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスの通信処理で論理矛盾が発生しました。次のような要因が発生しているおそれがあります。

- ジョブ実行制御で使用する一時ファイルがなかった。  
(要因番号 = 0xe002110d)
- ジョブ実行制御で使用する一時ファイルにアクセス権がなかった。(要因番号 = 0xe002110e)
- ジョブ実行制御で使用する一時ファイル作成時にディスク容量不足が発生した。(要因番号 = 0xe002110f)
- ジョブ実行制御で使用する一時ファイルが占有オープンされていた。(要因番号 = 0xe0021110)
- 論理ホスト名、または IP アドレスの取得に失敗した。  
(要因番号 = 0xe0021120)

#### 注

ジョブ実行制御で使用する一時ファイルについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 8.1.10 標準出力ファイル・標準エラー出力ファイルの注意事項」を参照してください。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。その他の KAVU メッセージが出力されていない場合や上記以外の要因番号が出力されている場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU3276-W

A system call error occurred in the request process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
要求処理 (論理ホスト名) でシステムコールエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

要求処理でシステムコールエラーが発生しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3278-W**

A system call error occurred in the user mapping process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code: 要因番号)

ユーザーマッピング処理 (論理ホスト名) でシステムコールエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ユーザーマッピング処理でシステムコールエラーが発生しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3280-W**

A system call error occurred in the variable solution process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

変数解決処理 (論理ホスト名) でシステムコールエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号: 要因番号)

変数解決処理でシステムコールエラーが発生しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3281-E**

A logical contradiction occurred in the variable solution process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

変数解決処理 (論理ホスト名) で論理矛盾が発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスのマクロ変数解決処理で論理矛盾が発生しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3282-W**

A system call error occurred in the standard input/output process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

標準入出力処理 (論理ホスト名) でシステムコールエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

標準入出力処理でシステムコールエラーが発生しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3283-E**

A logical contradiction occurred in the standard input/output process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

標準入出力処理 (論理ホスト名) で論理矛盾が発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行時に使用するファイルのアクセス権限チェック時に論理矛盾が発生しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3284-W**

A system call error occurred in the internal process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code1:要因番号1, system call name:システムコール名, reason code2:要因番号2)

内部処理 (論理ホスト名) でシステムコールエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号1:要因番号1, システムコール名:システムコール名, 要因番号2: 要因番号2)

内部処理でシステムコールエラーが発生しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) システムコール名と要因番号2からエラーの原因を判断してください。  
要因番号2には次に示す値が出力されています。  
  
Windows の場合  
Win32API の GetLastError 関数で取得した値  
  
UNIX の場合  
errno で取得した値  
エラーの原因が判断できない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3285-E**

A logical contradiction occurred in the internal process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

内部処理 (論理ホスト名) で論理矛盾が発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスの内部処理で論理矛盾が発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3289-W**

The authentication server could not be connected, but initialization will continue.

認証サーバーに接続できませんでしたが初期化処理を続行します

認証サーバーに接続できませんでした。

(S)

デーモンを続行します。

(O)

認証サーバーが起動されていない場合は、認証サーバーを起動してください。

**KAVU3290-W**

You lack access permission for the temporary file (ファイル名). (reason code:要因番号)

一時作業用ファイル (ファイル名) へのアクセス権がありません (要因番号:要因番号)

次のファイル、またはディレクトリへのアクセス権がありません。

- エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ、またはワークディレクトリ内のファイル
- システムファイルディレクトリ、またはシステムファイルディレクトリ内のファイル

(S)

要求処理を中止します。

(O)

次の原因が考えられます。確認してください。

- システムファイルディレクトリ、(デフォルトでは、/var/opt/jplajs2/sys) の権限が変更されている。
- エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ、(デフォルトでは、/var/opt/jplajs2/tmp) の権限が変更されている。
- システムファイルディレクトリにある、jpqagtlck ファイル、または一時作業用ファイルの権限が変更されている。
- ほかのプログラムが、上記に示すディレクトリ、ま

たは一時作業用ファイルに対してアクセスしている。

ファイルやディレクトリの権限が変更されていた場合は、ジョブを実行する OS ユーザーに対して、書き込み、および読み込み権限を設定してください。ジョブが終了しても、一時作業用ファイル (A\_JPQ から始まるファイル) が、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリに残ったままとなることがあります。JP1/AJS2 を停止しても、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリに一時作業用ファイル (A\_JPQ から始まるファイル) が残っている場合は、削除してください。

**KAVU3291-W**

The temporary file (ファイル名) cannot be accessed (システムコール名). (reason code:要因番号)

一時作業用ファイル (ファイル名) へのアクセス (システムコール名) に失敗しました (要因番号:要因番号)

次のファイル、またはディレクトリへのアクセスに失敗しました。

- エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ、またはワークディレクトリ内のファイル
- システムファイルディレクトリ、またはシステムファイルディレクトリ内のファイル

(S)

要求処理を中止します。

(O)

次の原因が考えられます。確認してください。

- システムファイルディレクトリ、(デフォルトでは、/var/opt/jplajs2/sys) が削除されている。
- エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ、(デフォルトでは、/var/opt/jplajs2/tmp) が削除されている。
- システムファイルディレクトリにある、jpqagtlck ファイルまたは一時作業用ファイルが削除されている。
- ほかのプログラムが、上記に示すディレクトリ、または一時作業用ファイルに対してアクセスしている。
- エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ (デフォルトでは、/var/opt/jplajs2/tmp) に書き込み権限がない。

jpqagtlck ファイルや上記ディレクトリが削除されていた場合は、JP1/AJS2 を再インストールしてください。

また、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリがある場合は、指定されているディレクトリに書き込み権限があるかどうかを確認してください。書き込み権限がない場合は、権限を与えるか、書き込み権限のあるディレクトリに変更してください。

ジョブが正常終了しても、一時作業用ファイル (A\_JPQ から始まるファイル) が、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリに残ったままとなることがあります。JP1/AJS2 を停止しても、エージェ

ントプロセス実行時のワークディレクトリに一時作業用ファイル（A\_JPQ から始まるファイル）が残っている場合は、削除してください。

### KAVU3293-E

The process has too many open files. (reason code:要因番号)

オープンできるファイル数がシステムによって決められた上限に達しました（要因番号:要因番号）

カーネルパラメーターで設定された、オープンできるファイルの最大数に達しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

カーネルパラメーターで設定された、オープンできるファイルの最大数を拡張してください。

カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

### KAVU3295-E

No more process can be generated. (reason code:要因番号)

プロセス数がシステムによって決められた上限に達しました（要因番号:要因番号）

カーネルパラメーターで設定された、プロセスの最大数に達しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

カーネルパラメーターで設定された、プロセスの最大数を拡張してください。JP1/AJS2 のプロセス数に加えて、同時に実行するジョブプロセス数を考慮し、十分な値を設定してください。JP1/AJS2 のプロセスについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」のプロセスの状態を確認する説明を参照してください。

### KAVU3500-W

The operating status (運用状態名) does not allow executing request (要求名).

当該要求（要求名）を実行できる運用状態（運用状態名）ではありません

該当する要求を実行できる運用状態ではありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

サービス（デーモン）が運用開始されていることを確認してください。

### KAVU3502-W

The specified job (ジョブ番号) does not exist, or termination notification is already complete.

指定されたジョブ（ジョブ番号）がないかもしくは終了通知済みです

指定されたジョブがないか、または終了通知済みです。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

該当するジョブがすでに終了していることを確認してください。

### KAVU3503-E

The job (ジョブ番号) could not be executed.

ジョブ（ジョブ番号）の起動に失敗しました

ジョブの起動に失敗しました。

(S)

ジョブの実行要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明を参照し、エラー原因を取り除いてください。そのあと、ジョブを再実行してください。

### KAVU3504-W

The transfer file (ファイル名) was not found.

削除する転送ファイル（ファイル名）がありません

転送ファイルがすでにないため、そのファイルの削除に失敗しました。

(S)

要求処理を続行します。

(O)

削除指定の転送ファイルが、ジョブ終了前に削除されたおそれがあります。転送ファイルに対して、アクセスしているプログラム、またはスクリプトなどがないか確認してください。

### KAVU3505-W

You lack delete permission for the transfer file (ファイル名).

転送ファイル（ファイル名）を削除する権限がありません

転送ファイルを削除する権限がないため、そのファイルの削除に失敗しました。

(S)

要求処理を続行します。

(O)

削除指定の転送ファイルの権限が、ジョブ終了前に変更されたおそれがあります。転送ファイルに対して、アクセスしているプログラム、またはスクリプトなどがないか確認してください。

#### KAVU3506-W

---

The transfer file (ファイル名) could not be deleted.  
(reason code: 要因番号)  
転送ファイル (ファイル名) が削除できませんでした (要因番号: 要因番号)

---

転送ファイルの削除に失敗しました。

- (S)  
要求処理を続行します。

- (O)  
削除指定の転送ファイルの属性が、ジョブ終了前に変更されたおそれがあります。転送ファイルに対して、アクセスしているプログラム、またはスクリプトなどがないか確認してください。

#### KAVU3520-E

---

The monitoring thread for job (ジョブ番号) could not be generated. (reason code: 要因番号)  
ジョブ (ジョブ番号) の監視スレッド生成に失敗しました (要因番号: 要因番号)

---

ジョブの監視スレッド生成に失敗しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
Windows の場合で要因番号が 8 のとき、メモリー不足が発生しているおそれがあります。この場合は、メモリー見積もりを見直してください。  
それ以外の場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU3521-W

---

The job (ジョブ番号) process could not be generated.  
(reason code: 要因番号)  
ジョブ (ジョブ番号) のプロセス生成に失敗しました (要因番号: 要因番号)

---

ジョブのプロセス生成に失敗しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
メモリーが不足しているおそれがあります。メモリーの見積もりを確認してください。  
メモリー容量に問題がない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU3522-W

---

The job (ジョブ番号) return code could not be acquired.  
(reason code: 要因番号)  
ジョブ (ジョブ番号) の終了コード取得に失敗しました (要因番号: 要因番号)

---

ジョブの終了コード取得に失敗しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU3523-W

---

The job (ジョブ番号) could not be forcibly terminated.  
(reason code: 要因番号)  
ジョブ (ジョブ番号) の強制終了に失敗しました (要因番号: 要因番号)

---

ジョブの強制終了に失敗しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU3530-W

---

The manager (論理ホスト名) might have stopped, or an obstacle occurred.  
マネージャー (論理ホスト名) が停止もしくは障害が発生したと思われます

---

マネージャーが停止した、または障害が発生したと思われます。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
次のことを確認したあと、再度呼び出してください。
- ・デーモンが運用開始されている。
  - ・指定した論理ホスト名で TCP/IP 通信ができる。
  - ・ポート番号が正しく設定されている。
  - ・標準出力ファイル、または標準エラー出力ファイルに指定したファイルのサイズが大きい。

#### KAVU3531-W

---

The manager (論理ホスト名) host name might be invalid.  
マネージャー (論理ホスト名) のホスト名に誤りがあると思われます

---

hosts ファイル、または DNS サーバなどで、指定ホスト名から IP アドレスが求まるように、ネットワーク設定がされている必要があります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

指定した論理ホスト名で TCP/IP 通信ができることを確認したあと、再度呼び出してください。

**KAVU3532-W**

The host name (論理ホスト名) IP address could not be acquired.

ホスト名 (論理ホスト名) の IP アドレス解決に失敗しました

hosts ファイル、または DNS サーバなどで、マネージャホスト名から IP アドレスが求まるように、ネットワーク設定がされている必要があります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

マネージャホスト名で TCP/IP 通信ができることを確認したあと、再度呼び出してください。

**KAVU3540-I**

Planned termination of the agent (エージェント名) started.

エージェント (エージェント名) が計画停止処理を開始しました

ジョブ実行制御のエージェントプロセスが計画停止処理を開始しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

**KAVU3541-I**

Forced termination of the agent (エージェント名) started.

エージェント (エージェント名) が強制停止処理を開始しました

ジョブ実行制御のエージェントプロセスが強制停止処理を開始しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

**KAVU3542-I**

The agent (エージェント名) is monitoring job termination.

エージェント (エージェント名) が実行ジョブの終了監視を行います

ジョブ実行制御のエージェントプロセスが実行中ジョブの終了を監視します。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

**KAVU3546-E**

The temporary file (ファイル名) could not be opened.  
(system call name:システムコール名, reason code:要因番号)

一時ファイル (ファイル名) がオープンできません (システムコール名:システムコール名, 要因番号:要因番号)

一時ファイルのディレクトリがないため、ファイルをオープンできません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

一時ファイルの出力先ディレクトリがあることを確認してください。また、このディレクトリにジョブの実行 OS ユーザーでアクセスするのに必要なアクセス権が設定されていることを確認してください。

問題が解決しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3547-E**

An attempt to start the job process has failed because the user(ユーザー名) does not have permission to execute the executable file(ファイル名). (reason code: 要因番号)

ユーザー(ユーザー名)に実行ファイル(ファイル名)を実行する権限がないためジョブのプロセスの起動に失敗しました(要因番号: 要因番号)

ユーザーに実行ファイルを実行する権限がないため、ジョブのプロセスの起動に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

要因番号には Win32API の GetLastError 関数で取得した値が表示されます。  
Windows の UAC 機能が有効な場合は、実行ユーザーにマッピングされている OS ユーザーに管理者権限がないため、ジョブのプロセスの起動に失敗します。ビルトイン Administrator アカウントでジョブを実行してください。  
Windows の UAC 機能については、Microsoft のホームページなどで情報を確認してください。

**KAVU3548-E**

The size of argument and environment variable in job definition is greater than the system-imposed limit.  
(system call name:システムコール名, reason code:要因番号)

ジョブ定義のパラメーターと環境変数を合わせたサイズがシステムによって決められた上限を超えています (システムコール名:システムコール名, 要因番号:要因番号)

ジョブ定義に指定したパラメーター、環境変数、および環境変数ファイル名で指定した環境変数文のサイズが、OS によって決められた設定可能な環境変数の文字列の上限値を超えています。

## KAVU3549-E ~ KAVU3555-W

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
ジョブ定義に指定したパラメーター、環境変数、および環境変数ファイル名で指定した環境変数文を見直してください。

### KAVU3549-E

A system call (関数名) error occurred in a job execution process. (reason code:要因番号)  
ジョブ実行処理でシステムコール (関数名) でエラーが発生しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行処理でシステムコールエラーが発生しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
関数名=write、かつ要因番号=0x0000001c の場合は、実行ユーザーにマッピングされた OS ユーザーのホームディレクトリ、またはワークバスに指定したディレクトリが DiskFull の状態になっていないのか確認をしてください。  
DiskFull の場合、不要なファイルなどを削除して空き領域を増やしてから実行してください。それ以外の場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。  
また、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.6 ユーザープロファイルを必要とするジョブを実行するための設定」を有効にしている場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.26 ジョブ実行時にアクセストークンを再利用するための設定」を有効にしてください。

### KAVU3550-W

The execution file (ファイル名) was not found.  
実行ファイル (ファイル名) がありません

実行ファイルがありません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。  
なお、相対パスで指定している場合は、必要なフォルダおよびディレクトリに該当する環境変数 PATH が正しく設定されているかどうかを確認してください。

### KAVU3551-W

You lack access permission for the execution file (ファイル名).  
実行ファイル (ファイル名) へのアクセス権がありません

実行ファイルへのアクセス権がありません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

### KAVU3552-W

The environment variable file (ファイル名) was not found.  
環境変数ファイル (ファイル名) がありません

環境変数ファイルがありません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

### KAVU3553-W

You lack access permission for the environment variable file (ファイル名).  
環境変数ファイル (ファイル名) へのアクセス権がありません

環境変数ファイルへのアクセス権がありません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

### KAVU3554-W

The environment variable file (ファイル名) cannot be opened.  
環境変数ファイル (ファイル名) がオープンできません

環境変数ファイルがオープンできません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
システムで受け付けられないファイル名の形式、またはファイル名長であるおそれがあります。指定した環境変数ファイル名を確認してください。

### KAVU3555-W

The environment variable file (ファイル名) cannot be accessed (関数名). (reason code:要因番号)  
環境変数ファイル (ファイル名) へのアクセス (関数名) に失敗しました (要因番号:要因番号)

環境変数ファイルへのアクセスに失敗しました。



- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU3556-W

The standard input file (ファイル名) cannot be found.  
標準入力ファイル (ファイル名) がありません

標準入力ファイルがありません。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU3557-W

You lack access permission for the standard input file (ファイル名).  
標準入力ファイル (ファイル名) へのアクセス権がありません

標準入力ファイルへのアクセス権がありません。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU3558-W

The standard input file (ファイル名) cannot be opened.  
標準入力ファイル (ファイル名) がオープンできません

標準入力ファイルがオープンできません。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
システムで受け付けられないファイル名の形式、またはファイル名長であるおそれがあります。指定した標準入力ファイル名を確認してください。

#### KAVU3559-W

The standard input file (ファイル名) could not be accessed (関数名). (reason code: 要因番号)  
標準入力ファイル (ファイル名) へのアクセス (関数名) に失敗しました (要因番号: 要因番号)

標準入力ファイルへのアクセスに失敗しました。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU3560-W

You lack access permission for the standard output file (ファイル名).  
標準出力ファイル (ファイル名) へのアクセス権がありません

標準出力ファイルへのアクセス権がありません。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU3561-W

The standard output file (ファイル名) cannot be opened.  
標準出力ファイル (ファイル名) がオープンできません

標準出力ファイルがオープンできません。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
システムで受け付けられないファイル名の形式、またはファイル名長であるおそれがあります。指定した標準出力ファイル名を確認してください。

#### KAVU3562-W

The standard output file (ファイル名) could not be accessed (関数名). (reason code: 要因番号)  
標準出力ファイル (ファイル名) へのアクセス (関数名) に失敗しました (要因番号: 要因番号)

標準出力ファイルへのアクセスに失敗しました。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU3563-W

You lack access permission for the standard error output file (ファイル名).  
標準エラー出力ファイル (ファイル名) へのアクセス権がありません

標準エラー出力ファイルへのアクセス権がありません。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU3564-W

The standard error output file (ファイル名) could not be opened.

標準エラー出力ファイル (ファイル名) がオープンできません

標準エラー出力ファイルがオープンできません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) システムで受け付けられないファイル名の形式、またはファイル名長であるおそれがあります。指定した標準エラー出力ファイル名を確認してください。

#### KAVU3565-W

The standard error output file (ファイル名) could not be accessed (関数名). (reason code: 要因番号)

標準エラー出力ファイル (ファイル名) へのアクセス (関数名) に失敗しました (要因番号: 要因番号)

標準エラー出力ファイルへのアクセスに失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU3566-W

The work path name (パス名) is too long, so the file cannot be created.

ワークパス名 (パス名) が長い場合ファイルが作成できません

ワークパス名が長い場合ファイルが作成できません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU3567-W

The work path (パス名) cannot be found.

ワークパス (パス名) がありません

ワークパスがないか、またはワークパスへのアクセス権がありません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ユーザーマッピング定義に誤りがあると思われます。次の点について確認してください。
  - ユーザーマッピング定義で、該当する JP1 ユーザーを登録していない。

ワークパスがあるか確認してください。ワークパスがある場合は JP1/AJS2 サービスを起動したユーザーについて、ワークパスへのアクセス権が与えられているかを確認してください。これらのエラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU3568-W

You lack access permission for the work path (パス名).

ワークパス (パス名) へのアクセス権がありません

ワークパスへのアクセス権がありません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU3569-W

The file path (パス名) variable could not be resolved.

ファイルパス (パス名) の変数解決に失敗しました

ファイルパスの変数解決に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU3570-W

The parameter (パス名) variable could not be resolved.

パラメーター (パス名) の変数解決に失敗しました

パラメーターの変数解決に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU3571-W

User mapping (JP1ユーザー名) failed.

ユーザーマッピング (JP1ユーザー名) に失敗しました

ユーザーマッピングに失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ユーザーマッピング定義に誤りがあると思われます。次の点について確認してください。
  - ユーザーマッピング定義で、該当する JP1 ユーザーを登録していない。

- ユーザーマッピング定義で、存在しない OS ユーザーを登録している。
- ユーザーマッピング定義で、OS ユーザーのパスワードを誤って登録している。
- `ajsentry` コマンドを使用してジョブネットを登録するとき、マッピングされていない OS ユーザーで登録している。

ユーザーマッピング定義に誤りがない場合、メモリ不足が発生しているおそれがあります。その場合は、メモリ見積もりを見直してください。  
また、Windows で JPI/AJS2 サービスをユーザーアカウントで起動している場合、サービスに与えたユーザーの権限が不足しているときに、このメッセージが出力されることがあります。サービスに与えたユーザーの権限を確認してください。

### KAVU3572-W

The user (ユーザー名) could not be masked.  
ユーザー偽装 (ユーザー名) に失敗しました

ユーザー偽装に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ユーザーマッピング定義に誤りがあると思われます。次の点について確認してください。
- ユーザーマッピング定義で、存在しない OS ユーザーを登録している。
  - ユーザーマッピング定義で、OS ユーザーのパスワードを誤って登録している。

### KAVU3573-W

The job priority could not be changed.  
ジョブのプライオリティの変更に失敗しました

ジョブのプライオリティの変更に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU3574-W

An error occurred while generating a job process. (reason code:要因番号)  
ジョブのプロセス生成時にエラーが発生しました (要因番号:要因番号)

ジョブのプロセス生成時にエラーが発生しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 要因番号には次の値が表示されます。

Windows の場合

Win32API の `GetLastError` 関数で取得した値

UNIX の場合

`errno` で取得した値

要因番号に対する原因と対処方法を次に示します。

Windows の場合

- 要因番号: 87  
環境変数と環境変数ファイル名で指定した環境変数文のサイズが、OS によって決められた設定可能な環境変数の文字列の上限値を超えているおそれがあります。環境変数と環境変数ファイル名で指定した環境変数文を見直してください。
- 要因番号: 740  
Windows の UAC 機能が有効な場合は、実行ユーザーにマッピングされている OS ユーザーに管理者権限がないため、ジョブのプロセスの起動に失敗します。ビルトイン Administrator アカウントでジョブを実行してください。  
Windows の UAC 機能については、Microsoft のホームページなどで情報を確認してください。
- 要因番号: 1816  
OS のリソース不足が発生しているおそれがあります。OS のリソースがジョブの実行に十分か確認してください。

UNIX の場合

- 要因番号: 28  
OS のリソース不足が発生しているおそれがあります。OS のリソースがジョブの実行に十分か確認してください。

要因番号が上記以外の場合は、使用している OS のエラーコードの意味を確認した上で対応してください。問題が解決しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU3575-W

An error occurred while starting a job process. (reason code:要因番号)  
ジョブのプロセス起動時にエラーが発生しました (要因番号:要因番号)

ジョブのプロセス起動時にエラーが発生しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3576-W**

The standard error file or standard error output file could not be sent.

標準出力または標準エラー出力ファイルの転送に失敗しました

標準出力、または標準エラー出力ファイルの転送に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

**KAVU3577-W**

A system call (関数名) error occurred in a job execution process. (reason code:要因番号)

ジョブ実行処理でシステムコール (関数名) でエラーが発生しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行処理でシステムコールエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

関数名が UnloadUserProfile の場合は、Win32API の UnloadUserProfile 関数が失敗しています。この場合、処理は続行しますが、リソースリークが発生しているおそれがあります。

UnloadUserProfile 関数でこのメッセージが大量に出力されている場合は、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。

また、連続して出力されている場合、または UnloadUserProfile 関数以外でエラーが発生している場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

また、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.6 ユーザープロファイルを必要とするジョブを実行するための設定」を有効にしている場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.26 ジョブ実行時にアクセストークンを再利用するための設定」を有効にしてください。

**KAVU3578-W**

The execution file (ファイル名) could not be accessed (関数名). (reason code:要因番号)

実行ファイル (ファイル名) へのアクセス (関数名) に失敗しました (要因番号:要因番号)

実行ファイルへのアクセスに失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3579-W**

A logical contradiction occurred in the job execution process. (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

ジョブ実行処理で論理矛盾が発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行処理で論理矛盾が発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU3580-W**

The user (ユーザー名) does not have administrator permission.

ユーザー (ユーザー名) に管理者権限がありません

UNIX ジョブで実行優先順位を 4 または 5 に指定した場合は、実行 OS ユーザーにスーパーユーザー権限が必要です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

スーパーユーザー権限を持つユーザーで、再度要求を発行してください。

**KAVU3581-W**

The execution file (ファイル名) is not an executable file. 実行ファイル (ファイル名) は実行可能ファイルではありません

実行ファイルは実行可能ファイルではありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

**KAVU3582-W**

The specified execution file (ファイル名) cannot be merged with the command statement.

指定された実行ファイル (ファイル名) とコマンド文はマージできません

指定された実行ファイルとコマンド文はマージできません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

### KAVU3583-W

No path is specified to the destination for storing transfer files in the manager (論理ホスト名).  
マネージャー (論理ホスト名) に転送ファイルの格納先パスがありません

マネージャーに転送ファイルの格納先パスがありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

マネージャー上の環境設定で指定したワークパスがあるか確認してください。

### KAVU3584-W

The transfer files at the manager (論理ホスト名) could not be accessed.  
マネージャー (論理ホスト名) で転送ファイルへのアクセスに失敗しました

マネージャーで転送ファイルへのアクセスに失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

マネージャー上の環境設定で指定したワークパスへのアクセスができるか確認してください。

### KAVU3585-W

The manager (論理ホスト名) disk is full.  
マネージャー (論理ホスト名) のディスク容量が不足しています

マネージャーのディスク容量が不足しています。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

マネージャー上のディスクの空き容量を作成してください。

### KAVU3586-W

The privilege for service account was not set.  
サービスのアカウントに必要な権限が設定されていません

サービスのアカウントをユーザーアカウントに設定した場合、プロセス実行に必要な権限を設定する必要があります。

(S)

ジョブを終了します。

(O)

サービスのアカウント、およびサービスのアカウントに必要な権限を確認してください。サービスのアカウントをユーザーアカウントに設定した場合に必要な権限については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 5.2.3(1)(d) JP1/AJS2 のサービスをユーザーアカウントで運用する場合の権限」を参照してください。

### KAVU3587-W

Failed to set a limit (制限値) on a system resource (システム資源名). (reason code: 要因番号)  
システム資源 (システム資源名) に対する制限 (制限値) の設定に失敗しました (要因番号: 要因番号)

システム資源 (システム資源名) に対する制限値として、(制限値) を指定しようとしたところ、設定に失敗しました。

(S)

デフォルト値でジョブを実行します。

(O)

適切な制限値を設定してください。

### KAVU3588-E

Shared memory identifier could not be allocated.  
共有メモリ識別子の確保に失敗しました

システム全体で利用できる共有メモリー識別子の上限を超えたため、共有メモリー識別子の確保に失敗しました。

(S)

デーモンを停止します。

(O)

カーネルパラメーターで設定された、システム全体で利用できる共有メモリー識別子の最大数を増加したあと、再起動してください。カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

### KAVU3589-E

A pipe timeout error occurred in a job execution process (timeout value(second): タイムアウト値)  
ジョブ実行処理でパイプタイムアウトエラーが発生しました (タイムアウト値 (秒) : タイムアウト値)

ジョブ実行処理のパイプ通信処理でタイムアウトが発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

原因として、次のどれかのおそれがあります。

1. 大量のジョブが一時期に集中して実行された。
2. CPU の負荷が高い。
3. 実メモリーの不足で、ジョブ実行制御のエージェ

ントプロセスが 300 秒以上の間スワップアウトされて実行されなかった。

これらの発生条件が解消されず、パイプ通信のタイムアウトエラーが頻繁に発生するような場合は、エージェントプロセスが実行されるホスト上のパイプ通信のタイムアウト時間を長めに設定して運用することをお勧めします。

さらに、エラーの発生条件が、3. の条件に該当する場合は、システム全体のメモリ使用状況を確認して、メモリーを増設するか、または不要なプロセスの起動を抑止して、実メモリ不足を解消してください。

パイプ通信のタイムアウト値の変更については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.4 エージェントのパイプ通信タイムアウト値の変更」を参照してください。タイムアウト値を変更しても、このエラーが解消されない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU3590-W

The size of argument and environment variable in job definition is greater than the system-imposed limit.  
ジョブ定義のパラメーターと環境変数を合わせたサイズがシステムによって決められた上限を超えています

ジョブ定義に指定したパラメーター、および、環境変数と環境変数ファイル名で指定した環境変数文を合わせたサイズがシステムによって決められた上限を超えています。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブ定義に指定したパラメーター、または、環境変数と環境変数ファイル名で指定した環境変数文を見直してください。

### KAVU3591-W

The shell (シェル名) is not an executable file. (reason code:要因番号)  
実行可能なシェル (シェル名) ではありません (要因番号:要因番号)

ジョブの実行シェルが実行できるシェルではありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

実行 OS ユーザーのログインシェルが起動できるか確認してください。または、jqjobsjobsub コマンドや JpqSubmitJob 関数でシェルを指定している場合は、そのシェルが起動できるか確認してください。

### KAVU3592-W

The agent does not have permission for changing owner of the file (種別=ファイル名)。

ファイル (種別=ファイル名) の所有者を変更する権限がありません

ファイルの所有者を変更する権限がありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ファイルの格納先ディレクトリが NFS マウントされている場合、ファイルの所有者を変更できない場合があります。JP1/AJS2 サービスのアカウントでファイルおよび格納先ディレクトリにアクセスできるかどうか確認してください。そして、JP1/AJS2 サービスのアカウントでアクセスできるように、ファイルおよび格納先ディレクトリのアクセス権を変更するか、または格納先ディレクトリを変更してください。ファイルの種別ごとに格納先ディレクトリが異なります。次に示すファイルの種別に応じて対処してください。

- スクリプト一時ファイルの場合：ジョブ定義のワークバス、または実行ユーザーのホームディレクトリ
- 標準出力ファイルの場合：出力先ディレクトリ
- 標準出力一時ファイルの場合：エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ
- 標準エラー出力ファイルの場合：出力先ディレクトリ
- 標準エラー出力一時ファイルの場合：エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ

### KAVU3593-W

The PATH variable for the user (ユーザー名) could not be acquired.

ユーザー (ユーザー名) の PATH 環境変数の取得に失敗しました

実行 OS ユーザーの、環境変数 PATH の取得に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

次のことを確認してください。

- 実行 OS ユーザーのログインスクリプト内に、set -u や script コマンドを記述している場合は、途中で処理を終了してしまう条件がないか確認してください。ログインスクリプト内に JP1/AJS2 によるジョブの実行に不要な記述がある場合は、該当する箇所を削除するか、または環境変数 JP1JobID を用いて、該当する箇所をスキップするようにしてください。ログインスクリプトの変更方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 13.4.2 ログインスクリプトの変更」を参照してください。
- エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ

について、JP1/AJS2 サービスの起動ユーザーおよびジョブの実行 OS ユーザーのアクセス権限があるかを確認してください。読み込み権限および書き込み権限がない場合は、読み込み権限および書き込み権限を設定してください。

上記以外の場合は、ジョブ実行制御エージェントプロセス実行時のワークディレクトリとして使用されるディレクトリのディスク容量が不足していないか確認してください。ディスク容量が不足している場合は、空き容量を作成したあと再度要求を発行してください。

#### KAVU3594-W

The work path (ワークパス名) or the file path (ファイル名) is too long.

ワークパス名 (ワークパス名) もしくはファイル名 (ファイル名) が長すぎます

環境設定情報のワークディレクトリや、ジョブの定義に使用しているワークパス名、またはファイル名が長過ぎます。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ワークパス名やファイル名が定義できる文字数であっても、システムによっては、使用できる上限を超えてしまう場合があります。  
システムで使用できる範囲で、ワークパス名やファイル名を設定してください。

#### KAVU3595-W

The execution shell (実行シェル名) was not found.

実行シェル (実行シェル名) がありません

ジョブの実行に使用しているシェルがありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブの実行に使用しているシェルを確認してください。

#### KAVU3596-W

The temporary script file (ファイル名) for job (ジョブ番号) was not found. (system call name: システムコール名, reason code: 要因番号)

ジョブ (ジョブ番号) の一時スクリプトファイル (ファイル名) がありません (システムコール名: システムコール名, 要因番号: 要因番号)

ジョブの一時スクリプトファイルがありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブの一時スクリプトファイル (JPQ\_EXEC から始まるファイル) は、実行ユーザーにマッピングされた OS ユーザーのホームディレクトリ、またはワークパスで指定されたディレクトリに一時的に作成されます。

運用中に、このファイルを不当に削除していないか確認してください。JP1/AJS2 停止時にこれらのファイルが不当に残っている場合は削除してください。

#### KAVU3597-W

The temporary script file (ファイル名) for job (ジョブ番号) was busy. (system call name: システムコール名, reason code: 要因番号)

ジョブ (ジョブ番号) の一時スクリプトファイル (ファイル名) は実行中です (システムコール名: システムコール名, 要因番号: 要因番号)

ジョブの一時スクリプトファイルは実行中のため、一時スクリプトファイルの削除に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブの一時スクリプトファイル (JPQ\_EXEC から始まるファイル) は、実行ユーザーにマッピングされた OS ユーザーのホームディレクトリ、またはワークパスで指定されたディレクトリに一時的に作成されます。  
運用中に、ほかのプログラムからこのファイルに対して不当にアクセスしていないか確認してください。  
JP1/AJS2 停止時にこれらのファイルが不当に残っている場合は削除してください。

#### KAVU3598-W

The work path (パス名) is not a full path.

ワークパス (パス名) が絶対パス名称ではありません

ワークパスは絶対パス名称で指定する必要があります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブ定義のワークパスを確認してください。

#### KAVU3599-W

The end judgment file (ファイル名) could not be accessed. (reason code: 要因番号)

終了判定ファイル (ファイル名) へのアクセスに失敗しました (要因番号: 要因番号)

終了判定ファイルへのアクセスに失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブの定義で使用している終了判定ファイルに対し

て、不当にアクセス権を変更していないか確認してください。

### KAVU3800-I

Execution of command step (コマンドライン) terminated.  
(return code: 終了コード)

コマンドステップ (コマンドライン) が実行終了しました  
( 終了コード : 終了コード )

jpexec コマンドで指定したコマンドステップの実行が  
終了しました。

- (S)
- 処理を続行します。

### KAVU3900-E

The command step (コマンドライン) could not be started.  
(reason code: 要因番号)

コマンドステップ (コマンドライン) の起動に失敗しました  
( 要因番号: 要因番号 )

要因番号に Win32API の詳細コードが明記されます。

- (S)
- jpexec または jplexit コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 起動コマンドがない、またはアクセス権がないなどのエラー要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。
- Windows の UAC 機能が有効で、要因番号が 0x000002e4 の場合は、実行ユーザーにマッピングされている OS ユーザーに管理者権限がないため、ジョブのプロセスの起動に失敗します。ビルトイン Administrator アカウントでジョブを実行してください。
- Windows の UAC 機能については、Microsoft のホームページなどで情報を確認してください。

### KAVU3901-E

The return code for the command step (コマンドライン) could not be acquired. (reason code: 要因番号)

コマンドステップ (コマンドライン) の終了コードの取得に失敗しました ( 要因番号: 要因番号 )

コマンドステップの終了コードの取得に失敗しました。

- (S)
- jpexec または jplexit コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU3902-E

The temporary file for the command step (コマンドライン) could not be opened. (reason code: 要因番号)

コマンドステップ (コマンドライン) の一時ファイルが  
オープンできません ( 要因番号: 要因番号 )

コマンドステップの一時ファイルがオープンできません。

- (S)
- jpexec または jplexit コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU3903-E

The temporary file for the command step (コマンドライン) could not be accessed. (reason code: 要因番号)

コマンドステップ (コマンドライン) の一時ファイルへの  
アクセスに失敗しました ( 要因番号: 要因番号 )

コマンドステップの一時ファイルへのアクセスに失敗しました。

- (S)
- jpexec または jplexit コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 要因番号に Win32API の詳細コードが明記されます。
- 要因番号が 0 の場合は、一つのバッチファイル内で、複数の jplexit コマンドを連続で記述しているおそれがあります。jplexit コマンドを記述しているバッチファイルを確認してください。
- 問題が解消されない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU3904-E

The temporary file for the command step (コマンドライン) could not be deleted. (reason code: 要因番号)

コマンドステップ (コマンドライン) の一時ファイルが削除  
できません ( 要因番号: 要因番号 )

コマンドステップの一時ファイルが削除できません。

- (S)
- jpexec または jplexit コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 一つのバッチファイル内で、複数の jplexit コマンドを記述しているおそれがあります。jplexit コマンドを記述しているバッチファイルを確認してください。



**KAVU3905-E**

The host name could not be acquired in the command step. (reason code:要因番号)

コマンドステップでホスト名取得に失敗しました（要因番号:要因番号）

コマンドステップで、ホスト名取得に失敗しました。

(S)

jp1exec または jp1exit コマンドの実行を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再実行してください。

**KAVU3906-E**

Invalid environment settings were detected in the command step. (reason code:要因番号)

コマンドステップで環境設定不正を検知しました（要因番号:要因番号）

コマンドステップで環境設定不正を検知しました。

(S)

jp1exec または jp1exit コマンドの実行を中止します。

(O)

統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再実行してください。  
統合トレースログに「KAVU7221-E 論理ホスト名（論理ホスト名）上の環境設定パラメーター（TraceLogPath= ファイルパス）が不正です」のメッセージが出力されている場合、出力されたパスに対してジョブを実行した OS ユーザーの書き込み権限および読み込み権限が設定されていないおそれがあります。設定されていない場合は、書き込み権限および読み込み権限を設定してから、ジョブを再実行してください。

**KAVU4100-I**

Job queuing control (論理ホスト名) was started.  
キューイング制御（論理ホスト名）が起動されました

キューイング制御が起動されました。

(S)

デーモンの運用を開始します。

**KAVU4101-I**

Job queuing control (論理ホスト名) is terminating.  
キューイング制御（論理ホスト名）が停止処理中になりました

キューイング制御が停止処理中です。

(S)

デーモンの停止処理を続行します。

**KAVU4102-I**

Job queuing control (論理ホスト名) was paused.

キューイング制御（論理ホスト名）が一時停止されました

キューイング制御が一時停止されました。

(S)

デーモンの運用を一時停止します。

**KAVU4103-I**

Job queuing control (論理ホスト名) was restarted.

キューイング制御（論理ホスト名）が再開されました

キューイング制御が再開されました。

(S)

デーモンの運用を開始します。

**KAVU4104-I**

Job queuing control (論理ホスト名) ended normally.

キューイング制御（論理ホスト名）が正常終了しました

キューイング制御が正常終了しました。

(S)

デーモンを停止します。

**KAVU4105-I**

The queuing control (論理ホスト名) has changed to reduced manager operation mode.

キューイング制御（論理ホスト名）がマネージャー縮退運転中になりました

キューイング制御がマネージャー縮退運転になりました。

(S)

キューイング制御はマネージャー縮退運転となります。ジョブの実行要求およびコマンドからの要求は受け付けられない状態になります。

**KAVU4110-E**

Job queuing control (論理ホスト名) ended abnormally.  
(reason code:要因番号)

キューイング制御（論理ホスト名）が異常終了しました（要因番号:要因番号）

ジョブ実行制御のマネージャープロセスが異常終了しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU4111-E**

Job queuing control (論理ホスト名) or jpqimport command is already running on the same host.  
 同じ論理ホスト (論理ホスト名) 上でキューイング制御もしくはjpqimportコマンドが起動中です

同じ論理ホスト上で、ジョブ実行制御のマネージャープロセスを二重起動しようとしているか、jpqimport コマンドが起動中です。

- (S)  
 JP1/AJS2 サービスの起動処理を中止します。
- (O)  
 JP1/AJS2 サービスがすでに起動されているか、または jpqimport コマンドが起動中でないかを確認してください。

**KAVU4112-E**

The system will wait because the database could not be connected. (Waittime: 最大待ち合わせ時間, Host: ホスト名)  
 指定された時間内にデータベースに接続できませんでした (Waittime : 最大待ち合わせ時間, Host : ホスト名)

指定された最大待ち合わせ時間の間にデータベースに接続できませんでした。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 データベースが稼働しているかどうかを確認してください。  
 データベースが稼働しているかどうかの確認方法は、該当するデータベースのマニュアルを参照してください。  
 データベースが起動処理中である場合、最大待ち合わせ時間を見直してください。

**KAVU4113-W**

The database could not be connected within the specified time. (Waittime: 最大待ち合わせ時間, Host: ホスト名)  
 データベースに接続できなかったため待ち合わせを行います (Waittime : 最大待ち合わせ時間, Host : ホスト名)

データベースに接続できなかったため、待ち合わせを行います。

- (S)  
 一定時間後に再度接続を行います。
- (O)  
 データベースが稼働しているかどうかを確認してください。  
 データベースが稼働しているかどうかの確認方法は、該当するデータベースのマニュアルを参照してください。

**KAVU4200-E**

The user (ユーザー名) request (要求名) for the parameter (パラメーター名) is invalid.  
 ユーザー (ユーザー名) の要求 (要求名) パラメーター (パラメーター名) が不正です

ジョブ実行制御のマネージャープロセスに対する要求の解析中に、要求パラメーターのデータ内容に不正が見つかりました。

- (S)  
 ジョブ実行制御のマネージャープロセスに対する要求の解析処理を中止します。
- (O)  
 次のことを確認してください。
- 要求先ホストが JP1/AJS2 で、パラメーター名が jobNumber= の場合、指定したジョブ番号のけた数が 1 ~ 6 けた以内であることを確認してください。7 けた以上を指定していた場合は、1 ~ 6 けた以内のジョブ番号を指定して再実行してください。
  - 要求先ホストが JP1/AJS2 で、パラメーター名が controlStdFile= で、ジョブの標準出力ファイル名と標準エラー出力ファイル名に同じファイル名を指定している場合は、追加書きオプションの設定が一致しているかを確認してください。追加書きオプションの設定が一致していない場合は、設定を一致させてから再実行してください。また、設定を変える必要がある場合は、標準出力ファイル名と標準エラー出力ファイル名は異なるファイル名で指定してください。
  - 要求元ホストとマネージャーホストの文字コードが異なる場合は、実行ファイル名や環境変数などジョブの定義に指定した項目のどれかが、データ転送の際の文字コード変換でデータサイズが大きくなったおそれがあります。マネージャーホストの文字コードに変換した場合に、指定した文字数が指定できる文字数を超えないか確認してください。文字数が超えているおそれがある場合は、ジョブの定義に指定した項目の文字数を見直してから再実行してください。
  - 上記以外の場合、ジョブ実行制御のマネージャープロセスでは受け付けない要求を受け付けたおそれがあります。マネージャーホストおよび要求元ホストの services ファイルを確認し、jp1ajs2qman または jp1ajs2qnfy のポート番号がほかのポート番号と重複していないかどうか確認してください。これらのポート番号が重複している場合は、別のポート番号になるように設定を変更してください。ポート番号を変更したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

上記以外の場合、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログは、マネージャーホストと要求を行ったクライアントホストの両方で採取してください。

**KAVU4202-E**

The user (ユーザー名) lacks permission for the request (要求名). (reason code:要因番号)  
 ユーザー (ユーザー名) に要求 (要求名) に対する権限がありません (要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャプロセスに対して要求を行うユーザーに要求に必要な実行権限がありません。  
 また、JP1\_JPQ\_User 権限で他ユーザーのジョブを操作したおそれがあります。

- (S)  
 ジョブ実行制御のマネージャプロセスに対する要求の解析処理を中止します。
- (O)  
 ジョブ実行制御のコマンド (jpqxxx コマンド) の実行や関数の発行を行う場合は、操作を行う OS ユーザー名と同一名称の JP1 ユーザー名で権限を確認します。ジョブ実行制御のコマンドの実行や関数の発行を行う OS ユーザーが JP1 ユーザーとして認証サーバに登録されているか、また JP1 ユーザー (OS ユーザー) の JP1 資源グループ (JP1\_Queue) に、コマンド実行または関数発行に必要な JP1 権限レベルが設定されているか確認してください。  
 なお、操作を行う JP1 ユーザーに JP1\_JPQ\_User 権限しかない場合は、その JP1 ユーザーがサブミットしたジョブ以外のジョブに対して操作および参照できません。ジョブをサブミットしたユーザー、JP1\_JPQ\_Admin 権限があるユーザー、または JP1\_JPQ\_Operator 権限があるユーザーで実行してください。  
 OS ユーザーを JP1 ユーザーとして認証サーバに登録しておく必要があります。また、必要に応じて、JP1 ユーザーに実行権限を与えてください。  
 ジョブ実行制御のコマンドの実行権限については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド コマンド一覧」を参照してください。

**KAVU4203-E**

An error occurred while checking permission for the user (ユーザー名) request (要求名). (reason code:要因番号)  
 ユーザー (ユーザー名) の要求 (要求名) で権限チェックエラーが発生しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャプロセスに対して要求を行ったユーザーの実行権限をチェックする際にエラーが発生しました。

- (S)  
 ジョブ実行制御のマネージャプロセスに対する要求の解析処理を中止します。
- (O)  
 ユーザー認証サーバが起動しているかを確認してください。ユーザー認証サーバが起動されていないかかった場合は起動してから再度要求を実行してください。ユーザー

認証サーバが起動していてもこのエラーが発生する場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU4210-E**

The Communication thread (論理ホスト名) ended abnormally. (reason code:要因番号)  
 通信スレッド (論理ホスト名) が異常終了しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャプロセスの通信要求受付スレッドが異常終了しました。

- (S)  
 JP1/AJS2 サービスを停止します。
- (O)  
 CPU に非常に負荷が掛かっているおそれがあります。CPU の負荷状況を確認してください。また、統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU4211-E**

The job dispatcher thread (論理ホスト名) ended abnormally. (reason code:要因番号)  
 ジョブディスパッチャースレッド (論理ホスト名) が異常終了しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャプロセスのジョブ配信スレッドが異常終了しました。

- (S)  
 JP1/AJS2 サービスを停止します。
- (O)  
 統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU4212-E**

The scheduled monitoring thread (論理ホスト名) ended abnormally. (reason code:要因番号)  
 時間待ち監視スレッド (論理ホスト名) が異常終了しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャプロセスの時間待ちジョブ監視スレッドが異常終了しました。

- (S)  
 JP1/AJS2 サービスを停止します。
- (O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU4213-E

The thread (論理ホスト名) for monitoring the number of concurrently-executable jobs terminated abnormally. (reason code:要因番号)

実行多重度監視スレッド (論理ホスト名) が異常終了しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスの実行多重度監視スレッドが異常終了しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU4214-E

The automatic log deletion thread (論理ホスト名) ended abnormally. (reason code:要因番号)

自動ログ削除スレッド (論理ホスト名) が異常終了しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスのジョブ情報削除スレッドが異常終了しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU4215-E

The agent monitoring thread (論理ホスト名) ended abnormally. (reason code:要因番号)

エージェント監視スレッド (論理ホスト名) が異常終了しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスのエージェント監視スレッドが異常終了しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU4220-E

The job execution request to the agent (エージェントホスト名) failed. (reason code:要因番号)

エージェント (エージェントホスト名) へのジョブ実行要求が失敗しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスへのジョブの実行要求が失敗しました。次のような要因が発生しているおそれがあります。

- メモリーが不足している。(要因番号 = 0xe00a0002)
- ファイルの転送に失敗した。(要因番号 = 0xe00a000e)
- エージェントホストが停止している。(要因番号 = 0xe00a0007)
- エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが停止している。(要因番号 = 0xe00a0007)
- エージェントホスト名が不正である。(要因番号 = 0xe00a0008)
- エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが起動処理中または停止処理中である。(要因番号 = 0xe00a0009)
- エージェントホスト側に原因がある。(要因番号 = 0xe00a000d)
- 通信プロトコルが未サポートのものである。(要因番号 = 0xe00a000e)

(S)

エージェントホストへのジョブの実行要求を中止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。

要因番号が 0xe00a000d (エージェントホスト側に原因がある) の場合は、エージェントホスト側の統合トレースログも確認してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

### KAVU4221-E

The job termination request to the agent (エージェントホスト名) failed. (reason code:要因番号)

エージェント (エージェントホスト名) へのジョブ停止要求が失敗しました (要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスへのジョブの停止要求が失敗しました。次のような要因が発生しているおそ

れがあります。

- メモリーが不足している。(要因番号 = 0xe00a0002)
- エージェントホストが停止している。(要因番号 = 0xe00a0007)
- エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが停止している。(要因番号 = 0xe00a0007)
- エージェントホスト名が不正である。(要因番号 = 0xe00a0008)
- エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが起動処理中または停止処理中である。(要因番号 = 0xe00a0009)
- エージェントホスト側に原因がある。(要因番号 = 0xe00a000d)
- 通信プロトコルが未サポートのものである。(要因番号 = 0xe00a000e)
- エージェントホスト側にジョブがない。(要因番号 = 0xa00a0005)

(S)

エージェントホストへのジョブの停止要求を中止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。

要因番号が 0xe00a000d (エージェントホスト側に原因がある) の場合は、エージェントホスト側の統合トレースログも確認してください。

要因番号が 0xa00a0005 (エージェントホスト側にジョブがない) の場合は、強制終了前にエージェントホストですでにジョブが終了しているおそれがあります。jqjobget コマンドでジョブの状態を確認してください。

その他特にメッセージが出力されてなく、原因不明の場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

## KAVU4222-E

The job confirmation request to the agent (エージェントホスト名) failed. (reason code: 要因番号)

エージェント (エージェントホスト名) へのジョブ確認要求が失敗しました (要因番号: 要因番号)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスへのジョブの状態確認要求が失敗しました。次のような要因が発生しているおそれがあります。

- メモリーが不足している。(要因番号 = 0xe00a0002)
- エージェントホストが停止している。(要因番号 = 0xe00a0007)
- エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが停止している。(要因番号 = 0xe00a0007)
- エージェントホスト名が不正である。(要因番号 = 0xe00a0008)
- エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが起動処理

中または停止処理中である。(要因番号 = 0xe00a0009)

- エージェントホスト側に原因がある。(要因番号 = 0xe00a000d)
- 通信プロトコルが未サポートのものである。(要因番号 = 0xe00a000e)
- エージェントホスト側にジョブがない。(要因番号 = 0xa00a0005)

(S)

エージェントホストへのジョブの状態確認要求を中止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。

要因番号が 0xe00a000d (エージェントホスト側に原因がある) の場合は、エージェントホスト側の統合トレースログも確認してください。

要因番号が 0xa00a0005 (エージェントホスト側にジョブがない) の場合は、ジョブを実行中にエージェントの JP1/AJS2 サービスを再起動したおそれがあります。この場合は、ジョブを強制終了にします。

その他特にメッセージが出力されておらず原因不明の場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

## KAVU4223-E

The operating status confirmation request to the agent (エージェントホスト名) failed. (reason code: 要因番号)

エージェント (エージェントホスト名) への運用状態確認要求が失敗しました (要因番号: 要因番号)

ジョブ実行制御のエージェントプロセスへの運用状態確認要求が失敗しました。次のような要因が発生しているおそれがあります。

- メモリーが不足している。(要因番号 = 0xe00a0002)
- エージェントホストが停止している。(要因番号 = 0xe00a0007)
- エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが停止している。(要因番号 = 0xe00a0007)
- エージェントホスト名が不正である。(要因番号 = 0xe00a0008)
- エージェントホストの JP1/AJS2 サービスが起動処理中または停止処理中である。(要因番号 = 0xe00a0009)
- エージェントホスト側に原因がある。(要因番号 = 0xe00a000d)
- 通信プロトコルが未サポートのものである。(要因番号 = 0xe00a000e)

(S)

エージェントホストへの運用状態確認要求を中止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。

要因番号が 0xe00a000d (エージェントホスト側に原因がある) の場合は、エージェントホスト側の統合トレースログも確認してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

### KAVU4224-E

Client (クライアントホスト名) could not be notified about job status. (reason code: 要因番号)

クライアント (クライアントホスト名) へのジョブ状態通知が失敗しました (要因番号: 要因番号)

ジョブ実行制御の状態通知プロセスまたはクライアントホストの状態通知プロセスへのジョブの状態通知が失敗しました。次のような要因が発生しているおそれがあります。

- メモリーが不足している。(要因番号 = 0xe00a0002)
- クライアントホストが停止している。(要因番号 = 0xe00a0007)
- 状態通知プロセスが停止している。(要因番号 = 0xe00a0007)
- クライアントホスト名が不正である。(要因番号 = 0xe00a0008)
- クライアントホストの状態通知プロセスが起動処理中または停止処理中である。(要因番号 = 0xe00a0009)
- クライアントホスト側に原因がある。(要因番号 = 0xe00a000d)
- 通信プロトコルが未サポートのものである。(要因番号 = 0xe00a000e)

(S) 状態通知プロセスへのジョブの状態通知を中止します。

(O) 統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。

要因番号が 0xe00a000d (クライアントホスト側に原因がある) の場合は、クライアントホスト側の統合トレースログも確認してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとクライアントホストの両方で採取してください。

### KAVU4225-W

The operating status of the manager (論理ホスト名) could not be acquired. (reason code: 要因番号)

マネージャー (論理ホスト名) の運用状態の取得に失敗しました (要因番号: 要因番号)

マネージャーの運用状態の取得に失敗しました。

(S) 要求処理を中止します。

(O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU4226-W

The operating status of the manager (論理ホスト名) could not be changed (運用状態名). (reason code: 要因番号)

マネージャー (論理ホスト名) の運用状態の変更 (運用状態名) に失敗しました (要因番号: 要因番号)

マネージャーの運用状態の変更に失敗しました。

(S) 要求処理を中止します。

(O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU4250-E

The database (論理ホスト名) is not created correctly. (reason code: 要因番号)

データベース (論理ホスト名) が正しく作成されていません (要因番号: 要因番号)

ジョブ実行環境のデータベース格納ディレクトリのパスまたはデータベースファイルがありません。

(S) JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O) ジョブ実行環境の環境設定パラメーターの DatabasePath に設定しているジョブ実行環境のデータベース格納ディレクトリ名のパスとデータベースファイルが正しく作成されているかを確認してください。設定されていない場合は、jppqimport コマンドでデータベースを作成してから、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。

### KAVU4251-E

You lack operate permission for the database (論理ホスト名). (reason code: 要因番号)

データベース (論理ホスト名) への操作権限がありません (要因番号: 要因番号)

ジョブ実行環境のデータベース格納ディレクトリのパスまたはデータベースファイルに対してアクセス権限がありません

せん。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

ジョブ実行環境の環境設定パラメーターの DatabasePath に設定しているジョブ実行環境のデータベース格納ディレクトリ名のパスまたはデータベースファイルのアクセス権限を確認してください。JP1/AJS2 サービスを使用するアカウントに対して書き込み権限および読み込み権限が必要です。設定されていない場合は、必要な権限を与えてから、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。  
なお、データベースファイルには「JPQ」から始まる ISAM ファイルと「.jpqdb.lck」ファイルが含まれます。

### KAVU4252-E

A logical contradiction occurred in the database (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
データベース (論理ホスト名) に論理矛盾があります (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行環境のデータベースのキーファイルに不整合が見つかりました。不用意な電源断などで JP1/AJS2 を突然停止した場合にデータベースが壊れたおそれがあります。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

ジョブ実行環境のデータベースを再編成してから JP1/AJS2 サービスを再起動してください。それでもこのエラーが発生する場合は次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

- ジョブ実行環境のデータベースファイル
- 内部トレースログ

また、再編成を行ってもこのエラーが発生する場合は、データベースを再作成する必要があります。

### KAVU4253-E

Environment setting (論理ホスト名) does not match current information in the database.  
環境設定 (論理ホスト名) が現在のデータベース上の情報と合っていない

環境設定から読み込んだ構成定義の最大定義数がジョブ実行環境データベース上の定義数より小さく設定されています。ジョブ実行環境構成定義ファイル (jqsetup.conf) 使用して、ジョブ実行環境 (ジョブ実行エージェント、キュー、および排他実行リソース) を作成したあとや、ジョブをキューイングしたあとに環境設定の最大定義数が変更されたおそれがあります。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

ジョブ実行環境の作成に使用したジョブ実行環境構成定義ファイル (jqsetup.conf) に指定しているエージェント ID、キュー ID、または排他実行リソース ID の最大値が環境設定時に指定した最大定義数以下になっていることを確認してください。エージェント ID、キュー ID、または排他実行リソース ID のうちの構成定義が最大数を超えているかを調べるにはこのメッセージの直前に出力されている KAVU45xx メッセージを参照してください。また、ジョブの登録数が最大数を超えている場合は、環境設定でシステム内の最大ジョブ数が実際に登録されているジョブ数より少なく設定されていないかを確認してください。

### KAVU4254-E

It cannot access the database (論理ホスト名). (reason code:要因番号)  
データベース (論理ホスト名) にアクセスできません (要因番号:要因番号)

ジョブ実行環境のデータベースへのアクセスに失敗しました。次のような要因が発生しているおそれがあります。

- 指定したデータベースファイルがない。(要因番号 = 0xe00b0004)
- データベースのロックに失敗。(要因番号 = 0xe00b0008)
- システムリソース (セマフォ) が不足している。(要因番号 = 0xe00b000f)
- ディスク容量が不足している。(要因番号 = 0xe00b0010)
- ファイルのオープン数がシステムの上限に達した。(要因番号 = 0xe00b0011)

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログで要因番号を確認し、システムのリソース制限値の見直しが必要なものがないかを検討してください。要因を取り除いたあと、再度要求を行ってください。

### KAVU4255-E

It cannot connect the database (論理ホスト名). (reason code:要因番号)  
データベース (論理ホスト名) に接続できません (要因番号:要因番号)

ジョブ実行環境のデータベースへの接続に失敗しました。次の要因が発生しているおそれがあります。

- ユーザー名またはパスワードに誤りがある。(要因番号 = 0xe00b0016)
- データベースへの接続数がサーバの制限値を超えた。(要因番号 = 0xe00b0017)
- データベースが稼働していない。(要因番号 = 0xe00b0018)

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。その他の KAVU メッセージが出力されていない場合や上記以外の要因番号が出力されている場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU4280-E

Memory could not be allocated. (size:サイズ, module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
メモリーの確保に失敗しました (サイズ:サイズ, 要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

メモリーの確保に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再度要求を発行してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見積もりを見直してください。

#### KAVU4281-E

Insufficient disk space. (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
ディスク容量が不十分です (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ディスク容量が不十分です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ディスクの空き容量を作成したあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4282-E

A system call error occurred when starting process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
起動処理 (論理ホスト名) でシステムコールエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスの起動処理中に、システムコールエラーが発生しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスを停止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に

連絡してください。

#### KAVU4284-W

A system call error occurred in the communication process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
通信処理 (論理ホスト名) でシステムコールエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスのパイプ通信処理中に、システムコールエラーが発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU4286-W

A system call error occurred in the request process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
要求処理 (論理ホスト名) でシステムコールエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスの要求解析処理でシステムコールエラーが発生しました。

(S)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスに対する要求の解析処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU4287-E

A logical contradiction occurred in the request process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
要求処理 (論理ホスト名) で論理矛盾が発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスの要求解析処理で不正なパラメーターが見つかりました。

(S)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスに対する要求の解析処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。



**KAVU4288-W**

A system call error occurred in the internal process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

内部処理 (論理ホスト名) でシステムコールエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスでシステムコールエラーが発生しました。

- (S) ジョブ実行制御のマネージャープロセスに対する要求の解析処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU4289-E**

A logical contradiction occurred in the internal process (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

内部処理 (論理ホスト名) で論理矛盾が発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスの内部処理で論理矛盾が発生しました。または、ジョブ実行制御の監視プロセスからのシャットダウン要求に不正があったためシャットダウン要求を受け付けられませんでした。

- (S) ジョブ実行制御のマネージャープロセスに対する要求の解析処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU4290-E**

User authentication could not be initialized because the logical host name (論理ホスト名) or the authentication server is invalid.

論理ホスト名 (論理ホスト名) 不正または認証サーバー名不正のためユーザー認証初期化処理に失敗しました

論理ホスト名、または認証サーバ名が未設定であるか、IP アドレスの解決ができない名称であるため、ユーザー認証の初期化処理に失敗しました。

- (S) JP1/AJS2 サービスを停止します。
- (O) 論理ホスト名、または認証サーバ名が正しく設定されているか環境設定を見直してください。環境設定の論理ホスト名のキーまたは JP1\_DEFAULT キー以下の定義情報にフォーマット不正またはデータ不正がないかを確認してください。また、指定したホスト名称で IP アドレスの解決ができることを確認してください。

要因を取り除いたあと、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。

**KAVU4291-E**

A logical contradiction occurred during the initialization of user authentication (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

ユーザー認証初期化処理 (論理ホスト名) にて論理矛盾が発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスのユーザー認証の初期化処理で不正なパラメーターが見つかりました。

- (S) JP1/AJS2 サービスを停止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU4292-E**

A system call error occurred during the initialization of user authentication (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

ユーザー認証初期化処理 (論理ホスト名) にてシステムエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ジョブ実行制御のマネージャープロセスのユーザー認証の初期化処理でシステムコールエラーが発生しました。

- (S) JP1/AJS2 サービスを停止します。
- (O) エージェントホストの統合トレースログに JP1/Base の KAVA メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。原因が判明しない場合は内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU4293-W**

The authentication server could not be connected, but initialization will continue.

認証サーバーに接続できませんでしたが初期化処理を続行します

認証サーバに接続できませんでした。

- (S) JP1/AJS2 サービスの起動処理を続行します。
- (O) 認証サーバ名が正しく設定されているか、JP1/Base の認証サーバの設定を確認してください。認証サーバが起動していない場合は、認証サーバを起動してください。

**KAVU4294-I**

The total file size of the result files, i.e. STANDARD-OUTPUT-FILE and STANDARD-ERROR-FILE, of the job with the Job (ジョブ番号) and the Agent (エージェントホスト名), exceed the limit (バイト) of the size of the receiving file. ジョブ (ジョブ番号, エージェントホスト名) の結果ファイル (標準出力ファイル, 標準エラー出力ファイル) の総量のファイルサイズが受信ファイルサイズの上限值 (バイト) を超えました。

結果ファイルサイズが上限値を超えています。

- (S) 処理を続行します。
- (O) システムに負荷が掛かっていることが予想されますので、運用に合わせて次の設定を見直してください。ジョブに指定された結果ファイル (標準出力ファイル, 標準エラー出力ファイル) のサイズをファイルサイズの上限值 (LimitReceiveFileSize) 未満に減らすことをお勧めします。

結果ファイルの検索手順

1. 次のコマンドを実行します。  
`jpgjobget -j ジョブ番号 -oso 標準出力ファイル名 -ose 標準エラー出力ファイル名`
2. 指定した標準出力ファイル, および標準エラー出力ファイルのどちらかにファイルサイズの上限值までのファイルが出力されます。

**KAVU4295-W**

The total file size of the result files, i.e. STANDARD-OUTPUT-FILE and STANDARD-ERROR-FILE, of the job with the Job (ジョブ番号) and the Agent (エージェントホスト名), exceed the limit (バイト) of the size of the receiving file. ジョブ (ジョブ番号, エージェントホスト名) の結果ファイル (標準出力ファイル, 標準エラー出力ファイル) の総量のファイルサイズが受信ファイルサイズの上限值 (バイト) を超えました。

結果ファイルサイズが上限値を超えています。

- (S) 結果ファイルを受信サイズの上限值まで受信します。
- (O) 結果ファイルのサイズを減らしたあと, 標準出力ファイル, 標準エラー出力ファイルの情報が必要な場合は再度ジョブを実行してください。ジョブに指定された結果ファイル (標準出力ファイル, 標準エラー出力ファイル) のサイズをファイルサイズの上限值 (LimitReceiveFileSize) 未満に減らすか, ファイルサイズの上限值 (LimitReceiveFileSize) を見直してください。

結果ファイルの検索手順

1. 下記のコマンドを実行する。  
`jpgjobget -j ジョブ番号 -oso 標準出力`

- ファイル名 -ose 標準エラー出力ファイル名
2. 指定した標準出力ファイル, および標準エラー出力ファイルのどちらかにファイルサイズの上限值までのファイルが出力されます。

**KAVU4296-E**

The total file size of the result files, i.e. STANDARD-OUTPUT-FILE and STANDARD-ERROR-FILE, of the job with the Job (ジョブ番号) and the Agent (エージェントホスト名), exceed the limit (バイト) of the size of the receiving file. ジョブ (ジョブ番号, エージェントホスト名) の結果ファイル (標準出力ファイル, 標準エラー出力ファイル) の総量のファイルサイズが受信ファイルサイズの上限值 (バイト) を超えました。

結果ファイルサイズが上限値を超えています。

- (S) 結果ファイルを受信サイズの上限值まで受信します。
- (O) 結果ファイルのサイズを減らしたあと, 標準出力ファイル, 標準エラー出力ファイルの情報が必要な場合は再度ジョブを実行してください。ジョブに指定された結果ファイル (標準出力ファイル, 標準エラー出力ファイル) のサイズをファイルサイズの上限值 (LimitReceiveFileSize) 未満に減らすか, ファイルサイズの上限值 (LimitReceiveFileSize) を見直してください。

結果ファイルの検索手順

1. 下記のコマンドを実行する。  
`jpgjobget -j ジョブ番号 -oso 標準出力ファイル名 -ose 標準エラー出力ファイル名`
2. 指定した標準出力ファイル, および標準エラー出力ファイルのどちらかにファイルサイズの上限值までのファイルが出力されます。

**KAVU4297-W**

The result files (標準出力ファイル, 標準エラー出力ファイル) of the job (ジョブ番号, エージェントホスト名) are being analyzed.

ジョブ (ジョブ番号, エージェントホスト名) の結果ファイル (標準出力ファイル, 標準エラー出力ファイル) を解析中です

「ジョブ結果ファイルの二重受信防止の設定」を行っている場合に出力します。マネージャーで結果ファイル (標準出力ファイル, 標準エラー出力ファイル) を解析中であるため, エージェントホストからのジョブの終了通知を受け付けられない状態です。エージェントホストからのジョブの終了通知は結果ファイルの解析完了後に受け付けるので, ジョブの終了検知が遅れます。エージェントホストでは KAVU3221-E メッセージが出力されます。「ジョブ結果ファイルの二重受信防止の設定」については, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.18 ジョブ結果ファイルの二重受

信防止の設定」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.16 ジョブ結果ファイルの二重受信防止の設定」を参照してください。

- (S) ジョブの終了通知を破棄します。

- (O) 数メガバイトの結果ファイルを転送すると、要求が失敗したり時間が掛かったりする場合があります。実行結果詳細を参照する必要がなく、不必要なファイル出力をしないように運用したい場合は、ジョブ定義の「標準出力ファイル名」または「標準エラー出力ファイル名」に NULL デバイスを指定してください。UNIX の場合は「/dev/null」を Windows の場合は「NUL」を割り当ててください。具体的には、UNIX 上で実行するジョブの場合は「/dev/null」を記述し、Windows 上で実行するジョブの場合は「NUL」を記述してください。ファイル名を明記している場合は、ジョブのスクリプトファイル内やバッチファイル内で、標準出力をリダイレクトしてください。また、標準出力データや標準エラー出力データの追加書きオプションを設定している場合は、追加書きオプションの設定を無効にする、または標準出力データファイルや標準エラー出力データファイルを定期的に削除・退避してください。

#### KAVU4299-I

The job at the agent (エージェント名) was forcibly terminated.

エージェント (エージェント名) で実行中のジョブを強制終了しました

実行中のジョブを強制終了しました。

- (S) 要求処理を終了します。

#### KAVU4300-E

Failed to confirm the execution of event job at agent (エージェントホスト名). (reason code: 要因番号)

エージェント (エージェントホスト名) でのイベントジョブの実行確認に失敗しました (要因番号: 要因番号)

エージェントで、実行されているイベントジョブの有無を確認したところ、要求処理が失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度呼び出してください。

#### KAVU4301-E

The alteration of agent (エージェントホスト名) cannot be noticed to the Event Action Manager. (reason code: 要因番号)

イベント・アクションのマネージャープロセスへのエージェント (エージェントホスト名) 変更通知が失敗しました (要因番号: 要因番号)

イベント・アクション制御マネージャーに対して、エージェントの変更を通知したところ、要求処理に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) イベント・アクション制御マネージャーの起動状態を確認したあと、再度呼び出してください。

#### KAVU4302-E

Confirming the execution of event job at the agent (エージェントホスト名) was failed because the Event Action Manager is not started.

イベント・アクションのマネージャープロセスが起動されていないためエージェント (エージェントホスト名) のイベントジョブの実行確認ができません

イベント・アクション制御マネージャープロセスが起動されていないか、または動作していないために、要求処理が失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) イベント・アクション制御マネージャーの起動状態を確認したあと、再度呼び出してください。

#### KAVU4303-E

Confirming the execution of event job at the agent (エージェントホスト名) was timed out.

エージェント (エージェントホスト名) でのイベントジョブの実行確認がタイムアウトになりました

イベント・アクション制御マネージャーに、イベントジョブの実行確認をしたところ、タイムアウトが発生し要求処理が失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) イベント・アクション制御マネージャーの実行状態を確認したあと、再度呼び出してください。

**KAVU4304-E**

Confirming the execution of event job at the agent (エージェントホスト名) was failed because the Event Action Manager is processing other request.

イベント・アクションのマネージャープロセスが他の要求を処理中のためエージェント (エージェントホスト名) のイベントジョブの実行確認ができません

エージェントの追加・削除処理で、イベント・アクション制御マネージャープロセスが、現在別の要求を処理しているため、イベントジョブの実行が確認できません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) しばらく時間を置いてから、再度呼び出してください。

**KAVU4305-E**

The alteration of the agent (エージェントホスト名) cannot be noticed because the Event Action Manager is not started.

イベント・アクションのマネージャープロセスが起動されていないためエージェント (エージェントホスト名) の定義変更を通知できません

イベント・アクション制御マネージャープロセスが起動されていないか、または動作していないため、要求処理が失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) イベント・アクション制御マネージャーの起動状態を確認したあと、再度呼び出してください。

**KAVU4306-E**

The alteration of the agent (エージェントホスト名) cannot be noticed because the Event Action Manager is processing other request.

イベント・アクションのマネージャープロセスが他の要求を処理中のためエージェント (エージェントホスト名) の定義変更を通知できません

イベント・アクション制御マネージャープロセスが起動されていないか、または動作していないため、要求処理が失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) イベント・アクション制御マネージャーの起動状態を確認したあと、再度呼び出してください。

**KAVU4307-E**

Completion of the alteration of the agent (エージェントホスト名) cannot be noticed to the Event Action Manager. (reason code: 要因番号)

イベント・アクションのマネージャープロセスへのエージェント (エージェントホスト名) の定義変更の終了宣言が失敗しました (要因番号: 要因番号)

イベント・アクション制御マネージャープロセスに対し、エージェントの定義変更通知が終了したことを宣言しましたが失敗しました。

- (S) エージェントの定義変更をします。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU4308-I**

Job information delete process started. (host name: 論理ホスト名)

ジョブ情報の削除処理を開始します (ホスト名: 論理ホスト名)

ジョブ情報削除処理を開始します。  
ジョブ情報削除処理と並行してジョブを実行すると、ジョブの実行性能に影響することがあります。ジョブ情報削除処理の時間帯を意識してジョブを運用する必要がある場合、このメッセージの出力時間とジョブ情報の削除件数からジョブ削除処理時間を見積もることができます。  
なお、ジョブ情報の保存日数を 0 日にした場合はこのメッセージを出力しません。ジョブ情報削除処理の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 8.1.7 ジョブ情報削除処理の注意事項」を参照してください。

- (S) ジョブ情報削除処理を開始します。

**KAVU4309-I**

Job information is deleted. (host name: 論理ホスト名, the number of job information: 削除件数)

ジョブ情報を削除しました (ホスト名: 論理ホスト名, 件数: 削除件数)

ジョブ情報削除処理を終了します。  
ジョブ情報削除処理と並行してジョブを実行すると、ジョブの実行性能に影響することがあります。ジョブ情報削除処理の時間帯を意識してジョブを運用する必要がある場合、このメッセージの出力時間とジョブ情報の削除件数からジョブ削除処理時間を見積もることができます。  
なお、ジョブ情報の保存日数を 0 日にした場合はこのメッセージを出力しません。ジョブ情報削除処理の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 8.1.7 ジョブ情報削除処理の注意事項」を参照してください。

(S)

ジョブ情報削除処理を終了します。

### KAVU4310-I

The number of executing jobs reaches the concurrently-executable-job-limit (ジョブ実行多重度) at the agent(エージェントホスト名). (host name:ホスト名, job number:ジョブ番号)

エージェント(エージェントホスト名)で実行中のジョブ数がジョブ実行多重度(ジョブ実行多重度)に達しています(ホスト名:ホスト名, ジョブ番号:ジョブ番号)

エージェントホストで実行中のジョブ数がジョブ実行多重度に達しています。

(S)

ジョブ実行多重度到達を確認するメッセージを出力する設定を有効にしている場合、エージェントホストで実行中のジョブ数がジョブ実行多重度に達しているためにジョブが登録できなかったときに出力します。

(O)

エージェントホストで実行中のジョブ数がジョブ実行多重度に達している間は、実行中のジョブが終了するまでキューイングの状態になります。このメッセージが頻繁に出力される場合は、ジョブ実行多重度の設定を見直してください。ジョブ実行多重度は `jpqagtalt` コマンドで変更できます。

`jpqagtalt` コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `jpqagtalt`」を参照してください。

また、ジョブ実行多重度到達を確認するメッセージを出力する設定の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.27 ジョブ実行多重度到達を確認するメッセージを出力する設定」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.25 ジョブ実行多重度到達を確認するメッセージを出力する設定」を参照してください。

### KAVU4311-E

The specified value of a job number is out of range. Specify a job number in the range of 1 to 999999. ジョブ番号の指定値が範囲外です。ジョブ番号は1から999999の範囲で指定してください。

ジョブ番号の指定値が範囲外です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブ番号は 1 から 999,999 の範囲で指定してください。

要求先が他システムの場合は、指定したマネージャーホスト名に誤りがないか確認してください。

### KAVU4312-E

A system call error occurred while initializing the database of the job execution environment. (system call name:システムコール名, module: 要因箇所[要因箇所], reason code: 要因番号)

ジョブ実行環境のデータベースを初期化中にシステムコールエラーが発生しました(システムコール名: システムコール名, 要因箇所: 要因箇所[要因箇所], 要因番号: 要因番号)

コールドスタート時に、ジョブ実行環境のデータベースを初期化中にシステムコールエラーが発生しました。

(S)

ジョブ実行環境データベースの初期化処理を中断して、起動処理を続行します。

(O)

システムコール名と要因番号からエラーの原因を判断してください。

要因番号には、システムエラー番号が出力されています。エラーの原因が判断できない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU4331-E

The job execution environment database is currently undergoing maintenance. (host name:ホスト名)

ジョブ実行環境データベースがメンテナンス中です(ホスト名: ホスト名)

ジョブ実行環境がメンテナンス中です。

(S)

JP1/AJS2 サービスの起動処理を中止します。

(O)

`jajs_maintain` プロセスが存在しないか確認し、必要に応じて JP1/AJS2 を再起動してください。

### KAVU4500-W

The operating status (運用状態名) does not allow the executing request (要求名). (host = マネージャーホスト名, rec\_IPaddress = 要求元ホストIPアドレス, 要因箇所, 要因番号)

当該要求(要求名)を実行できる運用状態(運用状態名)ではありません(host = マネージャーホスト名, rec\_IPaddress = 要求元ホスト, 要因箇所, 要因番号)

該当する要求を実行できる運用状態ではありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

次のおそれがあります。確認したあと、再度要求を発行してください。

- デーモンが運用開始されていないか。
- マネージャーが縮退運転中ではないか。

**KAVU4501-W**

The request (要求名) cannot be executed in the current job status (状態名). (host = マネージャーホスト名, rec\_IPaddress = 要求元ホストIPアドレス, 要因箇所, 要因番号)  
 当該要求 (要求名) を実行できるジョブ状態 (状態名) ではありません (host = マネージャーホスト名, rec\_IPaddress = 要求元ホスト, 要因箇所, 要因番号)

該当する要求を実行できるジョブ状態ではありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

該当するジョブの状態を確認してください。

**KAVU4502-W**

The user (ユーザー名) lacks permission for that job (ジョブ番号).  
 ユーザー (ユーザー名) に当該ジョブ (ジョブ番号) に対する権限がありません

ユーザーに該当するジョブに対する権限がありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

要求ユーザーのアクセス権、および該当するジョブの所有ユーザー名を確認したあと、再度要求を発行してください。

**KAVU4503-E**

Agent host (エージェントホスト名) was failed to create automatically.  
 エージェント (エージェントホスト名) の自動作成に失敗しました

エージェントを自動的に作成しようとしたが失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログで失敗の要因を確認し、要因を取り除いてから、再度ジョブを実行してください。

**KAVU4504-W**

A pipe timeout error occurred in a job execution process at the agent(エージェントホスト名).  
 エージェント (エージェントホスト名) のジョブ実行処理でパイプタイムアウトエラーが発生しました

ジョブ実行処理のパイプ通信処理でタイムアウトが発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

原因として、次のどれかのおそれがあります。

1. 大量のジョブが一時期に集中して実行された。
2. CPU の負荷が高い。
3. 実メモリーの不足で、ジョブ実行制御のエージェントプロセスが 300 秒以上の間スワップアウトされて実行されなかった。

これらの発生条件が解消されず、パイプ通信のタイムアウトエラーが頻繁に発生するような場合は、エージェントプロセスが実行されるホスト上のパイプ通信のタイムアウト時間を長めに設定して運用することをお勧めします。

さらに、エラーの発生条件が、3. の条件に該当する場合は、システム全体のメモリー使用状況を確認して、メモリーを増設するか、または不要なプロセスの起動を抑止して、実メモリー不足を解消してください。

パイプ通信のタイムアウト値の変更については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.4 エージェントのパイプ通信タイムアウト値の変更」を参照してください。  
 タイムアウト値を変更しても、このエラーが解消されない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU4505-W**

An attempt to initialize the job execution environment database failed. Initialization will now be stopped.  
 ジョブ実行環境データベースの初期化処理に失敗しました。初期化処理を中断します

コールドスタート時にジョブ実行環境データベースの初期化処理に失敗しました。

(S)

通常の起動処理を行います。

(O)

次のことを確認してください。

- ジョブ実行環境のマネージャープロセス実行時のワークディレクトリが存在するディスクに容量不足が発生していないか。
- メモリー不足が発生していないか。
- ジョブ実行環境のデータベースファイルにアクセスしているプロセスがないか (Windows の場合)。

このメッセージが出力された場合、ジョブ実行環境データベースは初期化されていません。  
 初期化が必要な場合はこれらの要因を取り除いてから、JP1/AJS2 を再起動してください。  
 統合トレースログで、KAVU4312-E、KAVU5311-E、KAVU7238-E メッセージが出力されている場合があります。あわせて確認してください。

**KAVU4509-E**

The specified agent (エージェントホスト名) cannot be released because some job is being executed.  
指定されたエージェント (エージェントホスト名) でジョブが実行中のため接続解除できません

エージェントでジョブが実行中のため、接続解除が失敗しました。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
ジョブ終了後、再度呼び出してください。

**KAVU4510-W**

The specified job (ジョブ番号) does not exist.  
指定されたジョブ (ジョブ番号) がありません

指定されたジョブがありません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

**KAVU4511-W**

The specified agent (エージェントホスト名) does not exist.  
指定されたエージェント (エージェントホスト名) がありません

指定されたエージェントがありません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

**KAVU4512-W**

The specified queue (キュー名) does not exist.  
指定されたキュー (キュー名) がありません

指定されたキューがありません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

**KAVU4513-W**

The specified exclusive execution resource (排他実行リソース名) does not exist.  
指定された排他実行リソース (排他実行リソース名) がありません

指定された排他実行リソースがありません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

**KAVU4514-W**

The job cannot be registered because the entrance to queue (キュー名) is closed.  
キュー (キュー名) の受付口がクローズされているためジョブ登録できません

キューの受付口がクローズされているためジョブ登録できません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

**KAVU4515-W**

The job cannot be registered because the queue (キュー名) reached the maximum number of jobs (最大数).  
キュー (キュー名) のジョブ最大数 (最大数) に達したためジョブ登録できません

キューに登録したジョブ数がキュー内のジョブ数の最大値に達したため、ジョブが登録できません。

(S)  
要求処理を中止します。

(O)  
ジョブの実行終了を待って再度要求を発行するか、またはキュー定義情報でキュー内のジョブ数の最大値を見直してください。  
キューに登録したジョブ数は、jqqueshow コマンドの -q または -ah オプションで確認でき、「QUEUEING」と「EXECUTING」の両方を含めた値になります。  
また、キュー内のジョブ数の最大値は、jqquealt コマンドで変更できます。これらのコマンドの詳細については、マニュアル「JPI/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド」を参照してください。

### KAVU4516-W

The queue (キュー名) reached warning number of jobs (警告数).  
キュー (キュー名) のジョブ警告数 (警告数) に達しました

キューのジョブ警告数に達しました。

- (S)  
要求処理を続行します。

### KAVU4518-W

Information (エージェントID) about the agent connected to the queue (キュー名) is missing.  
キュー (キュー名) に接続されたエージェント情報 (エージェントID) がありません

キューに接続されたエージェント情報がデータベース中にありません。

- (S)  
デーモンを停止します。
- (O)  
データベースの内容を確認したあと、再起動してください。

### KAVU4519-E

Some event job is being executed at specified agent (エージェントホスト名).  
指定されたエージェント (エージェントホスト名) でイベントジョブが実行中です

エージェント (エージェントホスト名) で、イベントジョブが実行中のため、要求処理が失敗しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
イベントジョブを停止したあと、再度呼び出してください。

### KAVU4520-W

The job cannot be registered because the system already reached the maximum number of jobs (最大数), as stipulated in environment setting (論理ホスト名).  
環境設定 (論理ホスト名) のシステム内の最大ジョブ数 (最大数) に達したためジョブ登録ができません

キューに登録したジョブ数が環境設定のシステム内の最大ジョブ数に達したため、ジョブが登録できません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
ジョブの実行終了を待って再度要求を発行するか、ジョブ実行環境の環境設定に定義したシステム内の最大ジョブ数の値を見直してください。システム内の最

大ジョブ数の定義は次の個所を参照してください。

Windows の場合

[ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの  
[ ジョブ実行環境 ] タブにある , [ システム内の最大ジョブ数 ] に指定した値。

UNIX の場合

ジョブ実行環境設定ファイル ( Queue.conf ) の  
MaximumContentJob パラメーターに指定した値。

### KAVU4521-W

The agent cannot be registered because the system already reached the number of definitions (定義数) stipulated in environment setting (論理ホスト名).  
環境設定 (論理ホスト名) の定義数 (定義数) に達したためエージェント登録ができません

環境設定の定義数に達したため、エージェントの登録ができません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
環境設定の定義数を見直してください。

### KAVU4522-W

The queue cannot be registered because the system already reached the number of definitions (定義数) stipulated in environment setting (論理ホスト名).  
環境設定 (論理ホスト名) の定義数 (定義数) に達したためキュー登録ができません

環境設定の定義数に達したため、キューの登録ができません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
環境設定の定義数を見直してください。

### KAVU4523-W

The exclusive execution resource could not be registered because the system already reached the number of definitions (定義数) stipulated in environment setting (論理ホスト名).  
環境設定 (論理ホスト名) の定義数 (定義数) に達したため排他実行リソース登録ができません

環境設定の定義数に達したため、排他実行リソース登録ができません。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
環境設定の定義数を見直してください。



**KAVU4524-W**

The registered jobs exceed the warning number for the system (警告数), as stipulated in environment setting (論理ホスト名).

環境設定 (論理ホスト名) のシステム内の警告ジョブ数 (警告数) に達しました

環境設定のシステム内の警告ジョブ数に達しました。

(S)

要求処理を続行します。

**KAVU4525-W**

The agent cannot be registered because the system already reached the maximum number of execution jobs (最大数) stipulated in environment setting (論理ホスト名).

環境設定 (論理ホスト名) のジョブ実行最大数 (最大数) に達したためエージェント登録ができません

環境設定のジョブ実行最大数に達したため、エージェントの登録ができません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

環境設定の定義数を見直してください。

**KAVU4526-I**

The system recovered from the number of warning statuses, as stipulated in environment setting (マネージャホスト名).

環境設定 (マネージャホスト名) のシステム内の警告ジョブ数が警告状態から回復しました

環境設定のシステム内の警告ジョブ数よりジョブ数が少なくなったため、警告状態から回復しました。

(S)

処理を続行します。

**KAVU4527-E**

A logical contradiction occurred during the JP1 assume user check (論理ホスト名). (reason module: 要因箇所[要因箇所], reason code: 要因番号)

JP1ユーザー仮定機能 (論理ホスト名) にて論理矛盾が発生しました (要因箇所: 要因箇所 [要因箇所], 要因番号: 要因番号)

JP1 ユーザー仮定機能で論理矛盾が発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU4528-E**

Cannot set assume user (ユーザー名) because this user is not found.

ユーザー (ユーザー名) はJP1ユーザー未登録です。仮定ユーザーにできません。

「ユーザー名」で示すユーザーは、JP1 ユーザーとして登録されていないため、JP1 ユーザーに仮定できませんでした。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

「ユーザー名」で示すユーザーを JP1 ユーザーに登録してください。

または、jpqregguestuser コマンドを使用して、正しいJP1 仮定ユーザーを登録したあと、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。

**KAVU4529-I**

The information was recovered because the request for (要求先) was rejected. (reason code: 要因番号)

(要求先) に対する要求処理が取り消されたため、実行前の情報に戻しました (要因番号: 要因番号)

要求先に対する要求処理がなんらかの要因で取り消されたため、要求実行前の状態に戻されました。要求先は、キュー名、エージェント名、または排他実行リソース名です。

(S)

処理を続行します。

**KAVU4530-W**

The agent (エージェントホスト名) might have stopped, or an obstacle might have occurred.

エージェント (エージェントホスト名) が停止もしくは障害が発生したと思われます

エージェントが停止した、または障害が発生したと思われます。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

デーモンが運用開始されていること、エージェントホスト名でTCP/IP 通信ができること、およびポート番号が正しく設定されていることを確認してください。

**KAVU4531-W**

The agent (エージェントホスト名) host name might be invalid.

エージェント (エージェントホスト名) のホスト名に誤りがあると思われます

hosts ファイル、またはDNS サーバなどで、指定ホスト名からIP アドレスが求まるように、ネットワーク設定が

されている必要があります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エージェントホスト名で、TCP/IP 通信ができることを確認してください。

#### KAVU4532-W

The client (クライアントホスト名) might have stopped, or an obstacle might have occurred.

クライアント (クライアントホスト名) が停止もしくは障害が発生したと思われます

クライアントが停止した、または障害が発生したと思われます。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

クライアントアプリケーションが起動されていること、クライアントホスト名で TCP/IP 通信ができること、およびポート番号が正しく設定されていることを確認してください。

#### KAVU4533-W

The client (クライアントホスト名) host name might be invalid.

クライアント (クライアントホスト名) のホスト名に誤りがあると思われます

hosts ファイル、または DNS サーバなどで、指定ホスト名から IP アドレスが求まるように、ネットワーク設定がされている必要があります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

クライアントホスト名で、TCP/IP 通信ができることを確認してください。

#### KAVU4534-W

No response was received from the agent (エージェントホスト名), so the status of job (ジョブ番号) was changed to recovered (状態名).

エージェント (エージェントホスト名) の応答がないためジョブ (ジョブ番号) を回復状態 (状態名) にしました

エージェントホストにジョブの状態確認要求または強制終了要求を行いました。エージェントホストからの応答がありませんでした。

(S)

要求処理を中止し、ジョブを (状態名) 状態に変更します。

(O)

通信エラーが発生しているおそれがあります。マネージャーホストおよびエージェントホストの統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

#### KAVU4535-I

The agent (エージェントホスト名) operating status was changed to recovered.

エージェント (エージェントホスト名) の運用状態が回復しました

実行ホストの監視で、運用の回復 (障害の状態、または停止の状態の回復) を検知しました。実行ホストの運用の回復を検知すると、実行ホストにジョブの実行登録を再開します。「実行ホストの監視」の詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 8.2.2(2) 実行ホスト (エージェント) の監視」を参照してください。

(S)

処理を続行します。

#### KAVU4536-W

The transfer file could not be accessed. (reason code: 要因番号)

転送ファイルのアクセスに失敗しました (要因番号: 要因番号)

転送ファイルのアクセスに失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

要因番号に対する原因と対処方法を次に示します。なお、転送ファイルとは、ジョブを登録する際の転送元ファイル、またはジョブの終了通知を受けた際の結果ファイルになります。

要因番号が 0xE002110D

- 原因  
転送ファイルを転送しようとしたが、転送元にファイルがなかった。
- 対処  
転送元のファイルの有無を確認してください。

要因番号が 0xE002110E

- 原因  
転送ファイルに対するアクセス権がない。
- 対処  
転送ファイルに対するアクセス権の有無を確認してください。

要因番号が 0xE0021110

- 原因

転送ファイルがほかのプロセスで使用されている。

- 対処  
転送ファイルを使用しているほかのプロセスがないか確認してください。  
ほかのジョブで同じ転送元ファイル、同じ結果ファイルを使用していないか確認してください。

要因番号が 0xE0021111

- 原因  
転送ファイルの作成（オープン）に失敗した。
- 対処  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

要因番号が 0xE0021112

- 原因  
転送ファイルの読み込みに失敗した。
- 対処  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

上記以外の要因番号が出力された場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU4537-W

Job information is removed because inappropriate job information was detected in the database. (job number=ジョブ番号, job name=ジョブ名, file name=実行ファイル名, submitted time=登録日時, start time=実行開始日時, end time=実行終了日時)

データベース中に不整合なジョブ情報を検出したためジョブ情報を削除します (ジョブ番号=ジョブ番号, ジョブ名=ジョブ名, 実行ファイル名=実行ファイル名, 登録日時=登録日時, 実行開始日時=実行開始日時, 実行終了日時=実行終了日時)

ジョブ情報が壊れているため該当するジョブを削除します。

(S)

ジョブ登録、またはジョブ情報削除中に、JP1/AJS2 プロセスが停止したため、データベースに不整合が発生しました。  
該当するジョブ情報を削除して、データベースを正常な状態に戻したあと、処理を続行します。

### KAVU4538-W

The status of job (ジョブ番号) missed at the agent (エージェントホスト名) was changed to recovered (状態名). エージェント (エージェントホスト名) で消失したジョブ (ジョブ番号) を回復状態 (状態名) にしました

エージェントホストにジョブの状態確認要求または強制終了要求を行いました。エージェントホストに該当するジョブがありませんでした。

(S)

要求処理を中止し、ジョブを (状態名) 状態に変更します。

(O)

- 次のことが考えられます。
- エージェントホストからジョブの終了通知が失敗している状態でエージェントホストの JP1/AJS2 サービスが停止した。
- エージェントホストでジョブを実行中のまま、JP1/AJS2 サービスが異常終了した。

マネージャーホストおよびエージェントホストの統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

### KAVU4539-W

No agent can execute the job (ジョブ番号).

ジョブ (ジョブ番号) を実行できるエージェントがありません

ジョブを実行できるエージェントがありません。

(S)

ジョブの実行猶予時間を待ったあと、実行できるエージェントがない場合、ジョブの状態を変更します。

(O)

キューに接続しているエージェントの、デーモンの運用が開始されているか確認してください。

### KAVU4540-I

The manager (マネージャーホスト名) started planned termination.

マネージャー (マネージャーホスト名) が計画停止処理を開始しました

ジョブ実行制御のマネージャープロセスが計画停止処理を開始しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

### KAVU4541-I

The manager (マネージャーホスト名) started forced termination.

マネージャー (マネージャーホスト名) が強制停止処理を開始しました

ジョブ実行制御のマネージャープロセスが強制停止処理を開始しました。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

**KAVU4542-I**

The manager (マネージャーホスト名) is monitoring queuing job termination.

マネージャー (マネージャーホスト名) がキューイングジョブの終了監視を行います

ジョブ実行制御のマネージャープロセスがキューイング中ジョブの終了を監視します。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

**KAVU4543-I**

The manager (マネージャーホスト名) is monitoring executing job termination.

マネージャー (マネージャーホスト名) が実行ジョブの終了監視を行います

ジョブ実行制御のマネージャープロセスが実行中ジョブの終了を監視します。

(S)

JP1/AJS2 サービスの停止処理を続行します。

**KAVU4545-I**

The cold start processing will start in the manager (マネージャーホスト名).

マネージャー (マネージャーホスト名) でコールドスタート処理を行います

マネージャーでコールドスタート処理を行います。

(S)

処理を続行します。

**KAVU4546-W**

The PATH variable could not be acquired at the agent (エージェントホスト名).

エージェント (エージェントホスト名) でユーザーの PATH 環境変数の取得に失敗しました

エージェントで、実行 OS ユーザーの環境変数 PATH の取得に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

次のことを確認してください。

- ディスク容量不足が発生していないか。
  - 実行 OS ユーザーのログインスクリプト内に、途中で処理を終了してしまう条件がないか。
- その際、JP1/AJS2 によるジョブの実行で不要な記述がログインスクリプトにあれば、その該当する箇所を削除、または環境変数 JP1JobID を用いて該当する箇所をスキップするようにしてください。

**KAVU4547-W**

You are not authorized to access the temporary file at the agent (エージェントホスト名).

エージェント (エージェントホスト名) の一時作業用ファイルに対してアクセス権がありません

次のファイル、またはディレクトリへのアクセス権がありません。

- エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ、またはワークディレクトリ内のファイル
- システムファイルディレクトリ、またはシステムファイルディレクトリ内のファイル

(S)

要求処理を中止します。

(O)

次の原因が考えられます。エージェントホストの状態を確認してください。

- システムファイルディレクトリ (デフォルトでは /var/opt/jplajs2/sys) の権限が変更されている。
- エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ (デフォルトでは /var/opt/jplajs2/tmp) の権限が変更されている。
- システムファイルディレクトリにある jpqaglock ファイル、または一時作業用ファイルの権限が変更されている。
- ほかのプログラムが、上記に示すディレクトリ、または一時作業用ファイルに対してアクセスしている。

ファイルやディレクトリの権限が変更されていた場合は、ジョブを実行する OS ユーザーに対して、書き込み、および読み込み権限を設定してください。ジョブが終了しても、一時作業用ファイル (A\_JPQ から始まるファイル) が、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリに残ったままとなることがあります。JP1/AJS2 を停止しても、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリに一時作業用ファイル (A\_JPQ から始まるファイル) が残っている場合は、削除してください。

**KAVU4548-W**

The temporary file at the agent (エージェントホスト名) cannot be accessed.

エージェント (エージェントホスト名) の一時作業用ファイルへのアクセスに失敗しました

次のファイル、またはディレクトリへのアクセスに失敗しました。

- エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ、またはワークディレクトリ内のファイル
- システムファイルディレクトリ、またはシステムファイルディレクトリ内のファイル

(S)

要求処理を中止します。

(O)

次の原因が考えられます。エージェントホストの状態を確認してください。

- ・システムファイルディレクトリ（デフォルトでは /var/opt/jplajs2/sys）が削除されている。
- ・エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ（デフォルトでは /var/opt/jplajs2/tmp）が削除されている。
- ・システムファイルディレクトリにある jpqagtlck ファイル、または一時作業用ファイルが削除されている。
- ・ほかのプログラムが、上記に示すディレクトリ、または一時作業用ファイルに対してアクセスしている。
- ・マッピングしている OS ユーザーに対して /etc/passwd に指定したホームディレクトリがない。
- ・エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ（デフォルトでは、/var/opt/jplajs2/tmp）に書き込み権限がない。

jqpagtlck ファイルや上記ディレクトリが削除されていた場合は、JP1/AJS2 を再インストールしてください。

また、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリがある場合は、指定されているディレクトリに書き込み権限があるかどうかを確認してください。書き込み権限がない場合は、権限を与えるか、書き込み権限のあるディレクトリに変更してください。

ジョブが正常終了しても、一時作業用ファイル（A\_JPQ から始まるファイル）が、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリに残ったままとなることがあります。JP1/AJS2 を停止しても、エージェントプロセス実行時のワークディレクトリに一時作業用ファイル（A\_JPQ から始まるファイル）が残っている場合は、削除してください。

#### KAVU4549-W

The process has too many open files at the agent (エージェントホスト名).

エージェント（エージェントホスト名）でオープンできるファイル数がシステムによって決められた上限に達しました

エージェントのカーネルパラメーターで設定された、オープンできるファイルの最大数に達しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エージェントのカーネルパラメーターで設定された、オープンできるファイルの最大数を拡張してください。カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

#### KAVU4550-W

The execution file (ファイル名) is missing at the agent (エージェントホスト名).

エージェント（エージェントホスト名）に実行ファイル（ファイル名）がありません

エージェントに実行ファイルがありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

アクションジョブを実行してこのメッセージが出力された場合は、アクションジョブの詳細定義で設定したプラットフォームが誤っているおそれがあります。詳細定義を見直して再度実行してください。

オペレーションジョブを実行してこのメッセージが出力された場合は、オペレーションネットを使用する環境のセットアップが正しく行われていないおそれがあります。アンセットアップ後に再度セットアップを行い、オペレーションネットの環境を正常な状態にしてから再度実行してください。

#### KAVU4551-W

You are not authorized to access the execution file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名).

エージェント（エージェントホスト名）の実行ファイル（ファイル名）に対してアクセス権がありません

エージェントの実行ファイルに対してアクセス権がありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4552-W

The environment file (ファイル名) is missing at the agent (エージェントホスト名).

エージェント（エージェントホスト名）に環境変数ファイル（ファイル名）がありません

エージェントに環境変数ファイルがありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4553-W

You lack access permission for the environment file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名).  
エージェント (エージェントホスト名) の環境変数ファイル (ファイル名) に対してアクセス権がありません

エージェントの環境変数ファイルに対してアクセス権がありません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4554-W

The environment file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名) cannot be opened.  
エージェント (エージェントホスト名) の環境変数ファイル (ファイル名) がオープンできません

エージェントの環境変数ファイルがオープンできません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) システムで受け付けられないファイル名の形式、またはファイル名長であるおそれがあります。指定した環境変数ファイル名を確認してください。

#### KAVU4555-W

The environment file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名) cannot be accessed.  
エージェント (エージェントホスト名) で環境変数ファイル (ファイル名) へのアクセスに失敗しました

エージェントで環境変数ファイルへのアクセスに失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU4556-W

The standard input file (ファイル名) is missing at the agent (エージェントホスト名).  
エージェント (エージェントホスト名) に標準入力ファイル (ファイル名) がありません

エージェントに標準入力ファイルがありません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4557-W

You lack access permission for the standard input file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名).  
エージェント (エージェントホスト名) の標準入力ファイル (ファイル名) に対してアクセス権がありません

エージェントの標準入力ファイルに対してアクセス権がありません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4558-W

The standard input file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名) cannot be opened.  
エージェント (エージェントホスト名) の標準入力ファイル (ファイル名) がオープンできません

エージェントの標準入力ファイルがオープンできません。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) システムで受け付けられないファイル名の形式、またはファイル名長であるおそれがあります。指定した標準入力ファイル名を確認してください。

#### KAVU4559-W

The standard input file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名) cannot be accessed.  
エージェント (エージェントホスト名) で標準入力ファイル (ファイル名) へのアクセスに失敗しました

エージェントで標準入力ファイルへのアクセスに失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU4560-W

You lack access permission for the standard output file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名).  
エージェント (エージェントホスト名) の標準出力ファイル (ファイル名) に対してアクセス権がありません

エージェントの標準出力ファイルに対してアクセス権がありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4561-W

The standard output file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名) cannot be opened.  
エージェント (エージェントホスト名) の標準出力ファイル (ファイル名) がオープンできません

エージェントの標準出力ファイルがオープンできません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

システムで受け付けられないファイル名の形式、またはファイル名長であるとおそれがあります。指定した標準出力ファイル名を確認してください。

#### KAVU4562-W

The standard output file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名) cannot be accessed.  
エージェント (エージェントホスト名) で標準出力ファイル (ファイル名) へのアクセスに失敗しました

エージェントで標準出力ファイルへのアクセスに失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU4563-W

You lack access permission for the standard error output file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名).  
エージェント (エージェントホスト名) の標準エラー出力ファイル (ファイル名) に対してアクセス権がありません

エージェントの標準エラー出力ファイルに対してアクセス権がありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4564-W

The standard error output file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名) cannot be opened.  
エージェント (エージェントホスト名) の標準エラー出力ファイル (ファイル名) がオープンできません

エージェントの標準エラー出力ファイルがオープンできません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

システムで受け付けられないファイル名の形式、またはファイル名長であるおそれがあります。指定した標準エラー出力ファイル名を確認してください。

#### KAVU4565-W

The standard error output file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名) cannot be accessed.  
エージェント (エージェントホスト名) で標準エラー出力ファイル (ファイル名) へのアクセスに失敗しました

エージェントで標準エラー出力ファイルへのアクセスに失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU4566-W

The work path name is too long at the agent (エージェントホスト名), so the file cannot be created.  
エージェント (エージェントホスト名) のワークパス名が長い場合ファイルが作成できません

エージェントのワークパス名が長い場合、ファイルが作成できません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4567-W

There is no work path at the agent (エージェントホスト名).  
エージェント (エージェントホスト名) にワークパスがありません

エージェントにワークパスがありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブ実行制御の環境設定パラメーター「エージェントプロセス実行時のワークディレクトリ名」に指定しているディレクトリが存在しないおそれがあります。エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4568-W

You lack access permission for the work path at the agent (エージェントホスト名).

エージェント (エージェントホスト名) のワークパスに対してアクセス権がありません

エージェントのワークパスに対してアクセス権がありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4569-W

The file path (パス名) variable at the agent (エージェントホスト名) could not be resolved.

エージェント (エージェントホスト名) でファイルパス (パス名) の変数解決に失敗しました

エージェントでファイルパスの変数解決に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4570-W

The parameter (パラメーター名) variable at the agent (エージェントホスト名) could not be resolved.

エージェント (エージェントホスト名) でパラメーター (パラメーター名) の変数解決に失敗しました

エージェントでパラメーターの変数解決に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4571-W

The user mapping (JP1ユーザー名) at the agent (エージェントホスト名) failed.

エージェント (エージェントホスト名) でユーザーマッピング (JP1ユーザー名) に失敗しました

エージェントでユーザーマッピングに失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

次の原因が考えられます。確認してください。エージェントの統合トレースログに詳細なメッセージが出力されている場合があります。合わせて確認してください。

1. エージェントホストで、JP1 ユーザーのサーバホスト名に指定しているマネージャーホスト名が間違っている
2. エージェントのデフォルトキューの設定で、接続エージェントが複数設定しており、優先順位の設定に誤りがあり予期していないエージェントでジョブが実行されている
3. エージェントホストでユーザーマッピングを設定していない
4. エージェントホストの OS ユーザーのパスワードを変更した (Windows 限定)
5. ajsentry コマンドを実行した OS ユーザーと同名の JP1 ユーザーが存在しない
6. ジョブの詳細定義で指定している OS ユーザーが JP1 ユーザーにマッピングされていない
7. 所有者の JP1 ユーザーと実行登録した JP1 ユーザーが異なっている
8. メモリー不足が発生している

各要因に対して次の対処を行ったあと、再度要求を発行してください。

1. JP1 ユーザーのサーバホスト名に、正しいマネージャーホスト名を設定してください
2. jpqagtunlink コマンドを実行して、エージェントのデフォルトキューと予期していないエージェントとの接続を解除してください
3. ジョブを実行するエージェントで、JP1 ユーザーを OS ユーザーにマッピングしてください
4. jbsumappass コマンドを実行し、OS ユーザーのパスワードを再設定してください。「パスワード」には OS ユーザーのパスワードを指定してください (Windows 限定)
5. 次のどちらか対処をしたあと、再度 ajsentry コマンドを実行してください
  - ・ OS ユーザーと同一名称の JP1 ユーザーを追加し、JP1 ユーザーと OS ユーザーをマッピングする
  - ・ ジョブの定義で、ジョブの実行ユーザーに所有者ユーザーを指定する
6. ジョブの詳細定義で指定している OS ユーザーを確認してください。ジョブを実行するエージェントで、確認した OS ユーザーを JP1 ユーザーにマッピングしてください
7. 所有者と実行登録者のどちらでジョブを実行登録するかを決め、実行ユーザー種別を正しく設定してください
8. メモリーの状態を確認し、メモリー所要量を再見積もりしてください



ユーザーマッピングの設定方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 3. セットアップ」またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 13. セットアップ」を参照してください。

JP1/AJS2 のコマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド」を参照してください。  
JP1/Base のコマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照してください。

#### KAVU4572-W

The user (ユーザー名) could not be masked at the agent (エージェントホスト名).  
エージェント (エージェントホスト名) でユーザー偽装 (ユーザー名) に失敗しました

エージェントでユーザー偽装に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ユーザーマッピング定義を確認したあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4573-W

The job priority at the agent (エージェントホスト名) could not be changed.  
エージェント (エージェントホスト名) でジョブのプライオリティの変更に失敗しました

エージェントでジョブのプライオリティの変更に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU4574-W

An error occurred when a job process was generated at the agent (エージェントホスト名).  
エージェント (エージェントホスト名) でジョブのプロセス生成時にエラーが発生しました

エージェントでジョブのプロセス生成時にエラーが発生しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) Windows の場合は、エージェントホストのアカウントの権限が正しく設定されているかを確認してください。アカウントの権限の設定方法については、マニ

アル「JP1/Base 運用ガイド」の「ユーザーマッピングを設定する前に」の Active Directory 環境で OS ユーザーにユーザー権利を与える方法についての説明を参照してください。

なお、JP1/AJS2 サービスの起動アカウントを、システムアカウントからユーザーアカウントに変更する場合は、プロセスレベルトークンの置き換えの権限も必要です。サービスアカウントをユーザーアカウントに設定した場合に必要な権限については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 5.2.3(1)(d) JP1/AJS2 のサービスをユーザーアカウントで運用する場合の権限」を参照してください。

それ以外の場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU4575-W

An error occurred when a job process was started at the agent (エージェントホスト名).

エージェント (エージェントホスト名) でジョブのプロセス起動時にエラーが発生しました

エージェントでジョブのプロセス起動時にエラーが発生しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) エージェントの統合トレースログを確認し、エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4576-W

The standard error file or standard error output file could not be sent at the agent (エージェントホスト名).

エージェント (エージェントホスト名) で標準出力または標準エラー出力ファイルの転送に失敗しました

エージェントで標準出力、または標準エラー出力ファイルの転送に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4578-W

Execution file (ファイル名) could not be accessed at the agent (エージェントホスト名).

エージェント (エージェントホスト名) で実行ファイル (ファイル名) へのアクセスに失敗しました

エージェントで、実行ファイルへのアクセスに失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU4580-W

---

The user (ユーザー名) does not have administrator permission at the agent (エージェントホスト名).  
エージェント (エージェントホスト名) にてユーザー (ユーザー名) に管理者権限がありません

---

UNIX ジョブで実行優先順位を 4 または 5 に指定した場合は、実行 OS ユーザーにスーパーユーザー権限が必要です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

スーパーユーザー権限を持つユーザーで、再度要求を発行してください。

#### KAVU4581-W

---

The execution file (ファイル名) at the agent (エージェントホスト名) is not an executable file.  
エージェント (エージェントホスト名) の実行ファイル (ファイル名) は実行可能ファイルではありません

---

エージェントの実行ファイルは、実行可能ファイルではありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4582-W

---

The execution file (ファイル名) cannot be merged with the command statement at the agent (エージェントホスト名).  
エージェント (エージェントホスト名) の実行ファイル (ファイル名) とコマンド文はマージできません

---

エージェントの実行ファイルとコマンド文はマージできません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

#### KAVU4583-W

---

The execution shell is missing at the agent (エージェントホスト名).  
エージェント (エージェントホスト名) に実行シェルがありません

---

エージェントで、ジョブの実行に使用しているシェルがありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブの実行に使用しているシェルを確認してください。  
また、マッピングしている OS ユーザーに対して /  
etc/passwd に指定したログインシェルがあるかを  
確認してください。

#### KAVU4584-W

---

The agent (エージェントホスト名) does not have permission for changing owner of the file.  
エージェント (エージェントホスト名) でファイルの所有者を変更する権限がありません

---

エージェントで、ファイルの所有者を変更する権限がありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エージェントの統合トレースログに、出力されている警告メッセージ (KAVU3592-W) の内容を確認したあと、ファイルと格納先ディレクトリのアクセス権、または格納先ディレクトリを変更してください。

#### KAVU4585-W

---

No path is specified to the destination for storing transfer files at the agent (エージェントホスト名).  
エージェント (エージェントホスト名) に転送ファイルの格納先パスがありません

---

エージェントに、転送ファイルの格納先パスがありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

**KAVU4586-W**

You are not authorized to access the path to the destination for storing transfer files or the files at the agent (エージェントホスト名).

エージェント (エージェントホスト名) の転送ファイルの格納先パスまたはファイルに対してアクセス権がありません

エージェントの転送ファイルの格納先パス, またはファイルに対してアクセス権がありません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと, 再度要求を発行してください。

**KAVU4587-W**

The agent (エージェントホスト名) transfer files cannot be opened.

エージェント (エージェントホスト名) の転送ファイルがオープンできません

エージェントの転送ファイルがオープンできません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

システムで受け付けられないファイル名の形式, またはファイル名長であるおそれがあります。指定した転送先ファイル名を確認してください。

**KAVU4588-W**

Another process is using the agent (エージェントホスト名) transfer files.

エージェント (エージェントホスト名) の転送ファイルが他プロセスで使用中です

エージェントの転送ファイルが, ほかのプロセスで使用中です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エラー要因を取り除いたあと, 再度要求を発行してください。

**KAVU4589-W**

The transfer files could not be accessed at the agent (エージェントホスト名).

エージェント (エージェントホスト名) で転送ファイルへのアクセスに失敗しました

エージェントで転送ファイルへのアクセスに失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと, システム管理者に連絡してください。

**KAVU4590-W**

The job format is unacceptable at the agent (エージェントホスト名).

エージェント (エージェントホスト名) で受け付けられない形式のジョブです

エージェントホストにジョブの実行要求を行いました, パラメーターが不正のため要求を受け付けられませんでした。

(S)

ジョブの実行要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと, システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

**KAVU4591-W**

The agent (エージェントホスト名) job execution environment is invalid.

エージェント (エージェントホスト名) のジョブ実行環境が不正です

エージェントホストにジョブの実行要求を行いました, エージェントホスト側の実行環境が不正のため要求を受け付けられませんでした。次のような要因が発生しているおそれがあります。

- 指定した実行ファイルに実行権限がない。
- JP1/Script のジョブの場合, JP1/Script のバージョンが不適合, または JP1/Script の実行ファイルの形式でない。
- マネージャーホスト名の IP アドレス変換に失敗している。
- エージェントホストで共有メモリーが不足している。
- エージェントプロセスがログの初期化で失敗している。

(S)

ジョブの実行要求処理を中止します。

(O)

エージェントホストの統合トレースログでエラー要因を確認し, 要因を取り除いたあと, 再度要求を発行してください。原因が判明しない場合は内部トレースログを採取したあと, システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

**KAVU4593-W**

An executable the agent does not exist.

実行可能なエージェントがありません

## KAVU4594-W ~ KAVU4598-W

エージェントホストにジョブの実行要求を行いました，実行可能なエージェントホストがありませんでした。

(S)

ジョブの実行要求処理を中止します。

(O)

次の原因が考えられます。確認してください。

1. エージェントホストが停止しているかエージェントホストの JP1/AJS2 サービスが停止している
2. マネージャーでエージェントのホスト名解決ができていない
3. ハードウェアを含めたネットワークに問題がある
4. マネージャーとエージェント間でポート番号が正しく設定されていない

各要因に対して次の対処を行ったあと，再度要求を発行してください

1. エージェントホストまたは JP1/AJS2 サービスを起動してください
2. マネージャーの hosts ファイルにエージェントのホスト名を定義してください
3. ハードウェアを含めたネットワークの設定を見直してください
4. ポート番号を見直してください

また，マネージャーホストおよびエージェントホストの統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。

上記のことを確認しても原因が判明しない場合は内部トレースログを採取したあと，システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

### KAVU4594-W

The job execution was canceled.

ジョブが実行キャンセルされました

ジョブの実行がキャンセルされました。

(S)

要求処理を終了します。

### KAVU4596-W

No response was received from the agent (エージェントホスト名), so the job was forcibly terminated.

エージェント (エージェントホスト名) の応答がないためジョブを強制終了します

エージェントホストにジョブの状態確認要求または強制終了要求を行いました，エージェントホストからの応答がありませんでした。

(S)

要求処理を中止し，ジョブを強制終了状態に変更します。

(O)

通信エラーが発生しているおそれがあります。マネージャーホストおよびエージェントホストの統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は，内部トレースログを採取したあと，システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

### KAVU4597-W

A missed job at the agent (エージェントホスト名) was forcibly terminated.

エージェント (エージェントホスト名) で消失したジョブを強制終了します

エージェントホストにジョブの状態確認要求または強制終了要求を行いました，エージェントホストに該当するジョブがありませんでした。

(S)

要求処理を中止し，ジョブを強制終了状態に変更します。

(O)

次のことが考えられます。

- エージェントホストからジョブの終了通知が失敗している状態でエージェントホストの JP1/AJS2 サービスが停止した。
- エージェントホストでジョブを実行中のまま，JP1/AJS2 サービスが異常終了した。

マネージャーホストおよびエージェントホストの統合トレースログでこのメッセージの前後に KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。出力されていない場合は，内部トレースログを採取したあと，システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

### KAVU4598-W

The work path (パス名) at the agent (エージェントホスト名) is not a full path.

エージェント (エージェントホスト名) のワークパス (パス名) が絶対パス名称ではありません

ワークパスは絶対パス名称で指定する必要があります。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブ定義のワークパスを確認してください。

**KAVU4626-I**

Assume from OS user (OSユーザー名) to JP1 user (JP1ユーザー名).

OSユーザー (OSユーザー名) をJP1ユーザー (JP1ユーザー名) に仮定して実行します。

要求で指定された OS ユーザーが JP1 ユーザーに登録されていないため、JP1 ユーザー名に仮定します。

(S)

処理を続行します。

**KAVU4700-E**

A system call error occurred in a job execution process at the agent (エージェントホスト名).

エージェント (エージェントホスト名) のジョブ実行処理でシステムコールエラーが発生しました

エージェントのジョブ実行処理で、システムコールエラーが発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エージェントの統合トレースログに詳細なメッセージが出力されている場合があります。確認してください。原因が判明しない場合は内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU4701-E**

A logical contradiction occurred in a job execution process at the agent (エージェントホスト名).

エージェント (エージェントホスト名) のジョブ実行処理で論理矛盾が発生しました

エージェントホストのジョブ実行処理で、論理矛盾が発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エージェントホストの統合トレースログに KAVU メッセージが出力されているかを確認してください。出力されている場合はそちらのメッセージの説明も参照してください。原因が判明しない場合は内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログはマネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

**KAVU4702-E**

Memory at the agent (エージェントホスト名) could not be allocated.

エージェント (エージェントホスト名) でメモリーの確保に失敗しました

エージェントでメモリーの確保に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エージェントホスト側でメモリー所要量を確認し、ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再度要求を発行してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見込みりを見直してください。

**KAVU4703-E**

The agent (エージェントホスト名) disk is full.

エージェント (エージェントホスト名) のディスク容量が不足しています

エージェントホストにジョブの実行要求を行いました、ディスク容量が不足しているため要求を受け付けられませんでした。

(S)

ジョブの実行要求処理を中止します。

(O)

ディスクの空き容量を作成したあと、再度要求を発行してください。

**KAVU4704-E**

No more process can be generated at the agent (エージェントホスト名).

エージェント (エージェントホスト名) でプロセス数がシステムによって決められた上限に達しました

エージェントのカーネルパラメーターで設定された、プロセスの最大数に達しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

エージェントのカーネルパラメーターで設定された、プロセスの最大数を拡張してください。JP1/AJS2 のプロセス数に加えて、同時に実行するジョブプロセス数を考慮し、十分な値を設定してください。JP1/AJS2 のプロセスについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」のプロセスの状態を確認する説明を参照してください。

**KAVU4717-E**

An attempt by the agent (エージェントホスト名) to transmit the result file for the job (ジョブ番号) has failed. (reason code: 要因番号)

エージェント (エージェントホスト名) でジョブ (ジョブ番号) の結果ファイルの転送に失敗しました (要因番号: 要因番号)

ジョブの終了時に、エージェントホストからマネージャーホストへの結果ファイルの転送に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) 原因として、次のことが考えられます。確認してください。
- ジョブは終了コード「-1」で異常検出終了になりますが、ジョブプロセスそのものは正常終了しているおそれがあります。エージェントホストでジョブプロセスの終了状態を確認してください。
  - 要因番号が 0xe0021101 の場合は、結果ファイルの転送時にエージェントホストでメモリー不足が発生しているおそれがあります。ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再度実行してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見直しを確認してください。また、結果ファイルのサイズが大き過ぎてメモリー不足が発生しているおそれがあります。ジョブの結果ファイルのサイズが大きくなっていないかを確認してください。特に、標準出力ファイル、標準エラー出力ファイルに追加書きを指定している場合は大量に出力されないように注意してください。
  - 要因番号が 0xe0021127 の場合は、結果ファイルのサイズが大き過ぎて転送に失敗しているおそれがあります。その場合も同様にジョブの結果ファイルのサイズが大きくならないように注意してください。
  - その他の要因番号の場合は、マネージャーホストおよびエージェントホストの統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度実行してください。

原因が判明しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部トレースログは、マネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

## KAVU4718-E

An error occurred in the end processing of the job (ジョブ番号) at the agent (エージェントホスト名). (reason code: 要因番号)  
エージェント (エージェント名) でジョブ (ジョブ番号) の終了処理に失敗しました (要因番号: 要因番号)

エージェントホストでジョブプロセスが終了したあとの終了処理が失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) ジョブは終了コード「-1」で異常検出終了になりますが、ジョブプロセスそのものは正常終了しているおそれがあります。エージェントホストでジョブプロセスの終了状態を確認してください。  
マネージャーホストおよびエージェントホストの統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再度実行してください。  
原因が判明しない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。内部ト

レースログは、マネージャーホストとエージェントホストの両方で採取してください。

## KAVU4720-E

The Agent(エージェントホスト名) for operation net cannot be created automatically.

オペレーションネットで使用するエージェント(エージェントホスト名)は自動作成できません

オペレーションネットでセットアップしたエージェントは自動作成できません。  
エージェントが未定義の要因としては次に示すものが考えられます。

1. オペレーションネットで使用するエージェントを削除した。
2. オペレーションネットの環境が不正になっている。

- (S) 要求処理を中止します。

- (O) 要因が 1 の場合は ajsopesetup でエージェントを更新してください。  
要因が 2 の場合は ajsopesetup でアンセットアップを行ったあと、再度セットアップしてください。  
必要な場合は、対処後に再度ジョブを実行してください。

## KAVU5002-E

The command executed during reorganization of the job execution environment database ended abnormally. : Jischk -l3 テーブル名: return code = Jischkのリターンコード(Please look at メンテナンスログファイル名)  
ジョブ実行環境のデータベース再編成中に実行したコマンドが異常終了しました: Jischk -l3 テーブル名: return code = Jischkのリターンコード (Please look at メンテナンスログファイル名)

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、ISAM ファイルの整合性を検証する Jischk コマンドで、データ情報の不正を検出しました。Jischk のエラーメッセージについてはメンテナンスログファイルを参照してください。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実行を続行します。

- (O) メンテナンスログファイルを参照し、メンテナンス処理が異常終了した原因を取り除いた上で、メンテナンス処理を再実行してください。  
メンテナンスログファイルの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド jajs\_maintain」の注意事項を参照してください。また、Jischk コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照してください。

**KAVU5003-E**

The command executed during reorganization of the job execution environment database ended abnormally.:

Jisext テーブル名 テーブル名.back : return code = Jisext のリターンコード

ジョブ実行環境のデータベース再編成中に実行したコマンドが異常終了しました : Jisext テーブル名テーブル名.back : return code = Jisext のリターンコード

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、ISAM ファイルからデータを抽出する Jisext コマンドでエラーが発生しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実行を続行します。
- (O) スーパーユーザーまたは Administrators 権限を持つユーザーでコマンドを実行してください。サービスが起動中、またはファイルを占有しているプロセスがないかどうかを確認してください。また、ディスクに空き容量があるかどうかを確認してから、コマンドを再実行してください。

**KAVU5004-E**

The command executed during reorganization of the job execution environment database ended abnormally.:

Jisconv -t SI テーブル名.back テーブル名\_NEW : return code = Jisconv のリターンコード

ジョブ実行環境のデータベース再編成中に実行したコマンドが異常終了しました : Jisconv -t SI テーブル名.back テーブル名\_NEW : return code = Jisconv のリターンコード

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、抽出したデータから ISAM ファイルを再作成する Jisconv コマンドでエラーが発生しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実行を続行します。
- (O) スーパーユーザーまたは Administrators 権限を持つユーザーでコマンドを実行してください。また、ディスクに空き容量があるかどうかを確認してから、コマンドを再実行してください。原因不明の場合は、資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU5005-E**

An attempt to create a backup directory during reorganization of the job execution environment database failed.(ディレクトリ名) : return code = リターンコード

ジョブ実行環境のデータベース再編成中にバックアップディレクトリを作成する処理が失敗しました (ディレクトリ名) : return code = リターンコード

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、作業ディレクトリの作成に失敗しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) ジョブ実行環境の一時ファイル用ディレクトリに指定されているディレクトリに書き込み権限があるかどうか、また、ディスクに空き容量があるかどうかを確認してください。

**KAVU5007-E**

An attempt to copy files for backing up and recovering ISAM files during reorganization of the job execution environment database failed.(テーブル名) : return code = リターンコード

ジョブ実行環境のデータベース再編成中にISAMファイルをバックアップ・リカバリーするためのファイルコピー処理に失敗しました (テーブル名) : return code = リターンコード

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、ISAM ファイルをバックアップ・リカバリーするためのファイルのコピーに失敗しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実行を続行します。
- (O) ディスクに空き容量があるかどうかを確認してから、コマンドを再実行してください。

**KAVU5009-E**

An attempt to rename files for recovering ISAM files during reorganization of the job execution environment database failed.(テーブル名) : return code = リターンコード

ジョブ実行環境データベース再編成中にISAMファイルをリカバリーするためのファイルリネーム処理が失敗しました (テーブル名) : return code = リターンコード

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、ISAM ファイルをリカバリーするためのファイルのリネームに失敗しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実行を続行します。

- (O) ジョブ実行環境のデータベースディレクトリに指定されているディレクトリに書き込み権限があるかどうかを確認してください。

### KAVU5012-E

An attempt to start the script for reorganizing the job execution environment table(テーブル名) failed. : 保守情報  
ジョブ実行環境のテーブル (テーブル名) 再編成を行うためのスクリプト起動処理が失敗しました : 保守情報

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、テーブル再編成を行うためのスクリプト起動処理が失敗しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実行を続行します。
- (O) メモリー不足かシステムで起動できるプロセス数の上限に達したおそれがあります。原因不明の場合は、資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU5013-E

The script for reorganizing the job execution environment table(テーブル名) failed. : 保守情報  
ジョブ実行環境のテーブル (テーブル名) 再編成を行うためのスクリプトが異常終了しました : 保守情報

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、テーブル再編成を行うためのスクリプトが予期しないエラーで異常終了しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。ただし、未処理のテーブルがある場合は、コマンドの実行を続行します。
- (O) 再編成が異常終了したテーブルに問題がないか「Jischk -13 テーブル名」を実行して確認してください。また、資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU5014-E

An attempt to prepare for reorganization of the job execution environment database failed. : 保守情報  
ジョブ実行環境の再編成を行う前の準備処理が失敗しました : 保守情報

jajs\_maintain コマンドによるメンテナンス中に、テーブル再編成を行うための準備処理が失敗しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) メモリー不足でシステム資源が不足しているおそれが

あります。原因不明の場合は、資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU5015-I

The maintenance processing of the job execution environment ended normally.  
ジョブ実行環境のメンテナンス処理が正常終了しました

ジョブ実行環境のメンテナンス処理が正常終了しました。

- (S) ジョブ実行環境のメンテナンス処理を正常終了します。

### KAVU5016-E

The maintenance processing of the job execution environment ended abnormally. : 保守情報  
ジョブ実行環境のメンテナンス処理が異常終了しました : 保守情報

ジョブ実行環境のメンテナンス処理が異常終了しました。

- (S) ジョブ実行環境のメンテナンス処理を異常終了します。
- (O) メンテナンスログファイルを参照してメンテナンス処理が異常終了した原因を調査したあと、メンテナンス処理を再実行してください。

### KAVU5200-E

The database version (バージョン) is invalid.  
データベースバージョン (バージョン) が不正です

ジョブ実行環境のデータベースのバージョンが不正です。

- (S) JP1/AJS2 サービスを停止します。
- (O) ジョブ実行環境のデータベースを再作成したあと、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。

### KAVU5280-E

Memory could not be allocated. (size:サイズ, module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
メモリーの確保に失敗しました (サイズ:サイズ, 要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

メモリーの確保に失敗しました。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再度要求を発行してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見積もりを見直してください。



**KAVU5281-E**

Disk space is insufficient. (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
 ディスク容量が不十分です ( 要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号 )

ディスク容量が不十分です。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 ディスクの空き容量を作成したあと、再実行してください。

**KAVU5282-W**

A system call error occurred during a database process. (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
 データベース処理にてシステムコールエラーが発生しました ( 要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号 )

データベース処理でシステムコールエラーが発生しました。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。  
 JP1/AJS2 を運用中にこのメッセージが出力された場合は、データベースが稼働しているかを確認してください。稼働していない場合は、データベースを稼働したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

**KAVU5283-E**

A logical contradiction occurred during a database process. (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)  
 データベース処理にて論理矛盾が発生しました ( 要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号 )

ジョブ実行制御のデータベース処理で不正なパラメタが見つかりました。

- (S)  
 ジョブ実行制御のデータベース処理を中止します。
- (O)  
 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU5284-E**

It is short of the system resources. (要因箇所)  
 システム資源が不足しています ( 要因箇所 )

システムでオープンできるファイルの最大数に達しているか、またはセマフォが不足しています。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 統合トレースログで、KAVU5501-E メッセージの内容も参照してください。  
 システムでオープンできるファイルの最大数に達している場合はカーネルパラメーターで設定されているシステムでオープンできるファイルの最大数を拡張してください。セマフォが不足している場合は、カーネルパラメーターで設定されているセマフォ数を拡張してください。  
 カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

**KAVU5285-E**

There is no the database table, or it is short of the system resources. (要因箇所)  
 データベーステーブルがないかシステム資源が不足しています ( 要因箇所 )

データベーステーブルがないか、システム資源が不足しています。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 統合トレースログで、KAVU5501-E のメッセージの内容も参照してください。  
 データベーステーブルがない場合、ジョブ実行制御の環境設定パラメーター「DatabasePath」に設定しているディレクトリに該当するデータベーステーブルがあるかどうかを確認してください。データベーステーブルがない場合は、ジョブ実行制御のデータベースを再作成する必要があります。  
 また、データベーステーブルがある場合は、カーネルパラメーターの見積もりを確認してください。カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

**KAVU5286-E**

A disk difficulty occurred. (要因箇所)  
 ディスク障害が発生しました ( 要因箇所 )

ディスク I/O で障害が発生しました。

- (S)  
 要求処理を中止します。
- (O)  
 ディスクボリューム自体に問題がないか確認してください。

**KAVU5287-E**

The database table is locked. (要因箇所)  
 データベーステーブルがロックされています ( 要因箇所 )

データベーステーブルが、ほかのプログラムによってロックされています。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ジョブを実行する際に、次に示すどれかが行われていると発生するおそれがあります。

- JP1/AJS2 の資料採取ツール \_04.bat を実行している (Windows の場合だけ)
- JP1/Base または JP1/AJS2 の ISAM データベースの検証やコンデンスなど、ISAM データベースを操作するコマンドを実行している (jppqdbcond -L コマンドは含みません)
- バックアップソフトを実行している。

上記以外にも、ジョブ実行環境のデータベースファイルを専有モード、またはファイルの読み込みだけを共有とするモードでオープンするようなプログラムを実行していると、本現象が発生するおそれがあります。上記のような作業をスケジュールする場合、ジョブの実行時間と重ならないような運用を行うようにしてください。

また、JP1/AJS2 を運用中に、ジョブ実行環境で使用する ISAM ファイルの未使用領域率を表示する場合は、-L オプションを指定して jppqdbcond コマンドを実行してください。

## KAVU5288-E

The database table (テーブル名) could not condense.  
データベーステーブル (テーブル名) の再編成に失敗しました

ジョブ実行環境のデータベース再編成が異常終了しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

統合トレースログで、KAVU5501-E のメッセージの内容も参照してください。  
エラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、ジョブ実行環境の ISAM ファイルの再編成を再実行してください。

## KAVU5289-E

Not supported on related programs (プロダクト名).  
関連プログラム (プロダクト名) でサポートされていません

関連プログラムでサポートされていない機能を使用しようとしてしました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

関連プログラムのサポートバージョンを確認して、

バージョンアップしてください。

## KAVU5290-E

The database file size exceeded the limit or memory could not be allocated. (module: 要因箇所[要因箇所], reason code: 要因番号)

データベースのファイルサイズが制限値を超えているかメモリーの確保に失敗しました (要因箇所: 要因箇所 [要因箇所], 要因番号: 要因番号)

データベースへのアクセス処理でファイルサイズが制限値を超えているかメモリーの確保に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

原因として、次のどれかのおそれがあります。

1. ISAM ファイルの制限値である 2G バイト以上のファイルがジョブ実行環境にある。
2. ISAM ファイルが不正な状態になっている。
3. メモリー不足が発生している。

エラーの発生条件が、1. の条件に該当する場合は、ジョブ情報保存日数の見積もりの見直しとジョブ実行環境のデータベースの再作成を行ってください。  
ジョブ情報の保存日数については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.2.1 マネージャー環境の設定」

(Windows の場合), またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.2.2 マネージャー環境 (JP1/AJS2 - Manager) で設定する内容」(UNIX の場合) を参照してください。

ジョブ実行環境のデータベースの再作成については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 11.3.3 JP1/AJS2 - Manager の設定情報のリカバリー」のジョブ実行環境の作成の説明を参照してください。

エラーの発生条件が、2. の条件に該当するかどうかは、Jischk コマンドを使用して確認できます。  
ISAM ファイルの状態を確認し、不正な状態になっている場合は ISAM ファイルを再作成してください。  
ISAM ファイルの状態の確認方法、ISAM ファイルの再作成の手順については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.11(2) ISAM ファイルの状態確認および再作成の手順」を参照してください。

エラーの発生条件が、3. の条件に該当する場合は、ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再度要求を発行してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見積もりを見直してください。

上記に該当しない場合、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU5291-E**

The database file size exceeded the limit. (module: 要因箇所[要因箇所], reason code: 要因番号)  
データベースのファイルサイズが制限値を超えています  
( 要因箇所: 要因箇所 [ 要因箇所 ], 要因番号: 要因番号 )

ジョブ実行環境のデータベースが ISAM のファイルサイズの上限値を超えているため要求は処理されませんでした。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
原因として、ISAM ファイルの制限値である 2G バイト以上のファイルがジョブ実行環境にあるおそれがあります。  
ジョブ情報保存日数の見積もりの見直しとジョブ実行環境のデータベースの再作成を行ってください。  
ジョブ情報の保存日数については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.2.1 マネージャー環境の設定」( Windows の場合 ), またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.2.2 マネージャー環境 ( JP1/AJS2 - Manager ) で設定する内容」( UNIX の場合 ) を参照してください。  
ジョブ実行環境のデータベースの再作成については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 11.3.3 JP1/AJS2 - Manager の設定情報のリカバリー」のジョブ実行環境の作成の説明を参照してください。

**KAVU5292-E**

The specified tablespace or RDAREA does not exist. (module: 要因箇所[要因箇所])  
指定された表領域または RDAREA は存在しません ( 要因箇所: 要因箇所 [ 要因箇所 ] )

指定された表領域、または RDAREA がいないため、テーブルが作成できませんでした。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
正しい表領域、または RDAREA を指定したあとに、再実行してください。

**KAVU5293-E**

The specified tablespace or RDAREA is invalid. (module: 要因箇所[要因箇所])  
不正な表領域または RDAREA が指定されました ( 要因箇所: 要因箇所 [ 要因箇所 ] )

指定された表領域、または RDAREA が不正なため、テーブルが作成できませんでした。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
正しい表領域、または RDAREA を指定したあとに、再実行してください。

**KAVU5294-E**

Could not connect to the database because the upper limit of a server setting was exceeded. (module: 要因箇所[要因箇所])  
サーバー側の設定値の上限を超えたためデータベースに接続できませんでした ( 要因箇所: 要因箇所 [ 要因箇所 ] )

データベースサーバで、定義されている制限値を超えてしまったため、データベースに接続できませんでした。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
データベースに接続しているほかのプロセスを停止するか、データベースの制限を設定し直したあとに、再実行してください。

**KAVU5295-E**

Could not connect to the database because the username or password was invalid. (module: 要因箇所[要因箇所])  
ユーザー名またはパスワードに誤りがあるためデータベースに接続できませんでした ( 要因箇所: 要因箇所 [ 要因箇所 ] )

接続しようとしたユーザー名か、パスワードに誤りがあるため、データベースに接続できませんでした。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
正しいユーザー名とパスワードを設定したあとに、再実行してください。

**KAVU5296-E**

Could not connect to the database. (module: 要因箇所[要因箇所])  
データベースに接続できませんでした ( 要因箇所: 要因箇所 [ 要因箇所 ] )

データベースに接続できませんでした。

- (S)  
要求処理を中止します。

- (O)  
データベースが稼働しているか、確認してください。  
JP1/AJS2 を運用中にこのメッセージが出力された場合は、データベースを稼働したあと、JP1/AJS2 を再起動してください。

**KAVU5309-E**

A system call error occurred while checking the administrator permissions. (system call name:システムコール名,module:要因箇所[要因箇所],reason code:要因番号)  
 管理者権限チェック処理でシステムコールエラーが発生しました(システムコール名:システムコール名,要因箇所:要因箇所[要因箇所],要因番号:要因番号)

jpgqimport, jpgqexport, および jpgqdbcond コマンドの管理者権限チェック処理で、システムコールエラーが発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

システムコール名と要因番号からエラーの原因を判断してください。

要因番号には、Win32API の GetLastError 関数で取得した値が出力されています。エラーの原因が判断できない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU5310-E**

Memory allocation failed while checking the administrator permissions. (size:サイズ,module:要因箇所[要因箇所],reason code:要因番号)

管理者権限チェック処理でメモリーの確保に失敗しました(サイズ:サイズ,要因箇所:要因箇所[要因箇所],要因番号:要因番号)

jpgqimport, jpgqexport, および jpgqdbcond コマンドの管理者権限チェック処理で、メモリーの確保に失敗しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再度要求を発行してください。

それでも同じメッセージが出力される場合、メモリー見積もりを見直してください。

**KAVU5311-E**

A system call error occurred while initializing the database of the job execution environment.(system call name:システムコール名, module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

ジョブ実行環境のデータベースを初期化中にシステムコールエラーが発生しました(システムコール名:システムコール名, 要因箇所: 要因箇所[要因箇所], 要因番号: 要因番号)

コールドスタート時に、ジョブ実行環境のデータベースを初期化中にシステムコールエラーが発生しました。

(S)

ジョブ実行環境データベースの初期化処理を中断し

て、起動処理を続行します。

(O)

システムコール名と要因番号からエラーの原因を判断してください。

要因番号には、システムエラー番号が出力されています。

システムコール名が「mkdir」で、要因番号が書き込み、および読み込み権限の不足の場合は、ジョブ実行環境のマネージャープロセス実行時のワークディレクトリに、JP1/AJS2 を起動するユーザーの書き込み、および読み込み権限を設定してから、必要に応じて再起動してください。

- Windows のワークフォルダのデフォルト  
JP1/AJS2 - Manager のインストール先フォルダ  
¥tmp
- UNIX のワークディレクトリのデフォルト  
/var/opt/jp1ajs2/tmp

エラーの原因が判断できない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU5501-E**

message-from-database-system

(データベースシステムのメッセージ)

(データベースシステムのメッセージ)

(O)

次の原因が考えられます。確認してください。

1. メッセージ中に「File lock error」が含まれている  
データベースファイルが使用中のため、アクセスできなかった  
データベースが使用中になっていた原因としては、次のものが考えられます  
・バックアップを実行していた  
・ISAM データベースを操作するコマンド  
(jpgqdbcond -L コマンドを除く)を実行していた  
・ウイルスチェックプログラムを実行していた  
JP1/AJS2 の資料採取コマンド「\_04.bat」を実行していた
2. メッセージ中に「SHMMNI insufficient」が含まれている  
共有メモリー ID 不足が発生している
3. メッセージ中に「File not found or insufficient system resources」が含まれている  
ディスク容量不足が発生している
4. メッセージ中に「File not found or insufficient system resources」が含まれている  
ジョブ実行環境データベースがない
5. メッセージ中に「System error occurred」が含まれている  
ISAM ファイルが不正な状態になっている

各要因に対して次の対処を行ったあと、再度要求を発行してください。

1. データベースファイルを占有していたプログラム

またはコマンドの実行時間を調整し、ジョブの実行時間と重ならないよう設定するなどの対策をしてください。

2. カーネルパラメーターの設定値を確認し、現時点の使用量を確認 (ipcs) した上で、カーネルパラメーターの設定を見直してください。
3. ディスクの状態を確認してください。再編成時に出力された場合は必要なディスク容量をデータベースごとに見積もり、十分なディスクスペースを確保したあと、データベースを再編成してください。データベースの再編成については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 15.14.3 ISAM データベースを再編成する」を参照してください。
4. jpqimport コマンドでジョブ実行環境データベースを作成してください。  
コマンドの詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 20. セットアップ時に使用するコマンド」を参照してください。
5. ISAM ファイルの状態を確認し、不正な状態になっている場合は ISAM ファイルを再作成してください。  
ISAM ファイルの状態の確認方法、ISAM ファイルの再作成の手順については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.5.11(2) ISAM ファイルの状態確認および再作成の手順」を参照してください。

## KAVU5502-E

An attempt to acquire the status of the JP1/AJS2 - Datareplicator failed. (host name:ホスト名, function name:関数名, reason code:要因番号)  
JP1/AJS2 - Datareplicatorの状態の取得に失敗しました (ホスト名: ホスト名, 関数名: 関数名, 要因番号: 要因番号)

JP1/AJS2 - Datareplicator の状態の取得に失敗しました。  
次のような要因が発生しているおそれがあります。

- ファイルのオープン数がシステムの上限に達した。(要因番号 = 101, 102)
- メモリーが不足している。(要因番号 = 103)
- ディスク空き容量が不足している。(要因番号 = 104)

(S)

要求処理を中止します。

(O)

要因番号が 101, 102 (ファイルのオープン数がシステムの上限に達した) の場合は、カーネルパラメーターで設定された、オープンできるファイルの最大数を拡張してください。カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。  
要因番号が 103 (メモリーが不足している) の場合は、ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再実行してください。それでも同じメッセージが出力

される場合は、メモリー見積もりを見直してください。

要因番号が 104 (ディスク空き容量が不足している) の場合は、ディスクの空き容量を作成したあと、再実行してください。

上記以外の要因番号が出力された場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

## KAVU5800-I

The definition process for configuration definition ended normally.

構成定義情報の定義処理が正常終了しました

ジョブ実行環境構成定義ファイル (jqsetup.conf) の構成定義情報を、ジョブ実行環境データベースに一括定義しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVU5801-I

The output process for configuration definition ended normally.

構成定義情報の出力処理が正常終了しました

ジョブ実行環境の構成定義情報を、ファイルに出力しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVU5900-E

There is no daemon starting control lock file.  
デーモンの起動制御ロックファイルがありません

デーモンの起動制御ロックファイルがありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

システムファイルディレクトリ (/var/opt/jplajs2/sys) 下のロックファイル「.jqpmanlock」を確認してください。論理ホスト対応のデータベースを作成する場合は、「.jqpmanlock. 論理ホスト名」というファイル名になります。  
システムファイルディレクトリ、または上記のロックファイルが削除されている場合は、JP1/AJS2 を再インストールする必要があります。また、論理ホストの場合は、クラスタシステムの環境設定を再度行う必要があります。  
クラスタシステムの環境設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 18.4 クラスタ運用の環境設定」を参照してください

### KAVU5901-E

The specified file cannot be found.  
指定されたファイルがありません

jpgimport コマンド, または jpgexport コマンドで指定されたファイルがありません。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    エラー要因を取り除いたあと, コマンドを再実行してください。

### KAVU5902-E

The specified file already exists.  
指定されたファイルが既に存在します

指定されたファイルがすでにあります。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    jpgexport コマンドでジョブ実行環境を出力するファイルには, 情報の上書きができません。存在しないファイルを指定してください。  
また, ジョブ実行環境をファイルに出力する前には, 必ず作成済みのファイルを削除または退避しておいてください。  
エラー要因を取り除いたあと, コマンドを再実行してください。

### KAVU5903-E

You lack access permission for the specified file.  
指定されたファイルにアクセス権がありません

jpgimport コマンドで指定されたファイルやファイルの出力先ディレクトリ, または jpgexport コマンドで指定されたファイルの出力先ディレクトリにアクセス権がありません。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    jpgimport コマンドで指定したファイルやファイルの出力先ディレクトリ, または jpgexport コマンドで指定したファイルの出力先ディレクトリのアクセス権を確認してください。コマンドを実行するアカウントに対して, jpgimport コマンドには読み取り権限が, jpgexport コマンドには書き込み権限が必要です。  
エラー要因を取り除いたあと, コマンドを再実行してください。

### KAVU5904-E

The specified directory (folder) is missing.  
指定されたディレクトリ (フォルダ) がありません

指定されたディレクトリ (フォルダ) がありません。

- (S)                    コマンドの実行を中止します。
- (O)                    jpgimport コマンド, または jpgexport コマンドで指定したディレクトリの有無を確認してください。  
エラー要因を取り除いたあと, コマンドを再実行してください。

### KAVU5905-W

The system file (ファイル名) cannot be removed because it lacks access authority.  
アクセス権がないため削除できないシステムファイル (ファイル名) があります

アクセス権がないため削除できないシステムファイル (ジョブ実行制御の一時ファイル) があります。

- (S)                    システムファイルの削除を中止します。
- (O)                    システムファイル (ジョブ実行制御の一時ファイル) は, ジョブ実行環境マネージャプロセス実行時のワークディレクトリに格納されます。ディレクトリのアクセス権を確認してください。

Windows の場合

ジョブ実行環境マネージャプロセス実行時のワークディレクトリは, [ マネージャ環境設定 ] ダイアログボックスの [ ジョブ実行環境 ] の [ マネージャプロセス実行時のワークディレクトリ名 ] に指定したフォルダです。デフォルトは, 物理ホストの場合は「JP1/AJS2 - Manager のインストール先フォルダ¥jpls2¥tmp」, 論理ホストの場合は「共有フォルダ¥jpls2¥tmp」です。

UNIX の場合

ジョブ実行環境マネージャプロセス実行時のワークディレクトリは, 環境設定パラメーター [{JP1\_DEFAULT| 論理ホスト名 }¥JP1NBQMANAGER¥Process] の "WorkPath" に指定したディレクトリです。デフォルトは, 物理ホストの場合は「/var/opt/jpls2/tmp」, 論理ホストの場合は「共有ディレクトリ / jpls2/tmp」です。

### KAVU5906-W

The system file (ファイル名) could not be removed because a system call error occurred.  
システムコールエラーが発生したためシステムファイル (ファイル名) を削除できませんでした

システムコールエラーが発生したためシステムファイル

(ジョブ実行制御の一時ファイル)を削除できませんでした。

(S)

システムファイルの削除を中止します。

(O)

システムファイル(ジョブ実行制御の一時ファイル)は、ジョブ実行環境マネージャプロセス実行時のワークディレクトリに格納されます。ディレクトリの有無およびアクセス権限を確認してください。

Windows の場合

ジョブ実行環境マネージャプロセス実行時のワークディレクトリは、[ マネージャ環境設定 ] ダイアログボックスの [ ジョブ実行環境 ] の [ マネージャプロセス実行時のワークディレクトリ名 ] に指定したフォルダです。デフォルトは、物理ホストの場合は「JP1/AJS2 - Manager のインストール先フォルダ¥tmp」、論理ホストの場合は「共有フォルダ¥jplajs2¥tmp」です。

UNIX の場合

ジョブ実行環境マネージャプロセス実行時のワークディレクトリは、環境設定パラメーター [{JP1\_DEFAULT | 論理ホスト名 }¥JP1NBQMANAGER¥Process] の "WorkPath" に指定したディレクトリです。デフォルトは、物理ホストの場合は「/var/opt/jplajs2/tmp」、論理ホストの場合は「共有ディレクトリ / jplajs2/tmp」です。

## KAVU5910-E

There is no the database table, or it is short of the system resources.

データベーステーブルがないかシステム資源が不足しています

ジョブ実行制御のデータベーステーブルがないか、またはシステム資源が不足しています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

jpgexport コマンドの -dp オプションで指定したディレクトリ、またはジョブ実行制御の環境設定パラメーター DatabasePath に設定しているディレクトリにデータベーステーブルのファイルがあるかどうかを確認し、コマンドを再実行してください。データベーステーブルがない場合は、ジョブ実行制御のデータベースを再作成する必要があります。また、UNIX 環境でデータベーステーブルがある場合は、システム資源が不足しているおそれがあるため、カーネルパラメーターの見積もりを確認してください。カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

## KAVU5911-E

The specified database table already exists.

指定されたデータベースが既に存在します

指定されたデータベースがすでにあります。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ジョブ実行環境データベース格納ディレクトリ配下のデータベーステーブルのファイルを確認してください。

データベーステーブルのファイルがある場合は、バックアップしてファイルを削除したあと、コマンドを再実行してください。

Windows の場合

ジョブ実行環境データベース格納ディレクトリは、[ マネージャ環境設定 ] ダイアログボックスの [ ジョブ実行環境 ] の [ データベース格納ディレクトリ名 ] に指定したフォルダです。デフォルトは、物理ホストの場合は「JP1/AJS2 - Manager のインストール先フォルダ ¥database¥queue」、論理ホストの場合は「共有フォルダ ¥jplajs2¥database¥queue」です。

UNIX の場合

ジョブ実行環境データベース格納ディレクトリは、環境設定パラメーター [{JP1\_DEFAULT | 論理ホスト名 }¥JP1NBQMANAGER¥Database] の "DatabasePath" に指定したディレクトリです。デフォルトは、物理ホストの場合は「/var/opt/jplajs2/database/queue」、論理ホストの場合は「共有ディレクトリ / jplajs2 / database/queue」です。

## KAVU5912-E

You lack connect permission for that database.

データベースに接続するアクセス権がありません

データベースに接続するアクセス権がありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

データベースのアクセス権を確認してください。

## KAVU5913-E

You lack access permission for the database.

データベースのアクセス権がありません

データベースのアクセス権がありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

データベースのアクセス権を確認してください。

#### KAVU5914-E

You do not have administrator permission to execute the command.

コマンドの実行権限（管理者権限）がありません

コマンドの実行権限（管理者権限）がありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

管理者ユーザーで再実行してください。  
Windows の場合は Administrators, UNIX の場合はスーパーユーザーの実行権限が必要です。  
このメッセージと同時に KAVU5309-E のメッセージまたは KAVU5310-E のメッセージが出力されているかどうかを確認し、出力されている場合は、そちらのメッセージの説明も参照してください。  
Windows で UAC 機能が有効の場合は、管理者で再度コマンドを実行してください。

#### KAVU5915-E

There is no path for storing the database.  
データベース格納パスがありません

データベース格納パスがありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドで指定したディレクトリ、またはジョブ実行制御の環境設定パラメーター DatabasePath に設定しているディレクトリが正しいかどうかを確認したあと、コマンドを再実行してください。  
ジョブ実行制御データベース格納ディレクトリがない場合は、ジョブ実行制御データベースを再作成する必要があります。

#### KAVU5916-E

An attempt to acquire the status of the JP1/AJS2 - Datareplicator failed. (host name:ホスト名, function name:関数名, reason code:要因番号)  
JP1/AJS2 - Datareplicator の状態の取得に失敗しました (ホスト名: ホスト名, 関数名: 関数名, 要因番号: 要因番号)

JP1/AJS2 - Datareplicator の状態の取得に失敗しました。  
次のような要因が発生しているおそれがあります。

- ファイルのオープン数がシステムの上限に達した。(要因番号 = 101, 102)
- メモリーが不足している。(要因番号 = 103)
- ディスク空き容量が不足している。(要因番号 = 104)

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

要因番号が 101, 102 (ファイルのオープン数がシステムの上限に達した) の場合は、カーネルパラメーターで設定された、オープンできるファイルの最大数を拡張してください。カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

要因番号が 103 (メモリーが不足している) の場合は、ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、メモリー見積もりを見直してください。

要因番号が 104 (ディスク空き容量が不足している) の場合は、ディスクの空き容量を作成したあと、再実行してください。

上記以外の要因番号が出力された場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU5917-E

You cannot execute this command(コマンド名) under current condition. (reason code:要因番号)  
このコマンド (コマンド名) を実行できる状態ではありません (要因番号: 要因番号)

コマンドを実行できる状態ではありません。JP1/AJS2 - Datareplicator 運用をしている反映側マネージャーホストでは、jppqimport コマンドを実行できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

反映側マネージャーホストで実行していないかを確認してください。反映側マネージャーホストで実行していた場合は、抽出側マネージャーホストで再実行してください。

#### KAVU5920-E

The manager or the jppqimport command is running on the same logical host (論理ホスト名).  
同じ論理ホスト (論理ホスト名) 上でマネージャーもしくは jppqimport コマンドが起動中です

同じ論理ホスト上で、JP1/AJS2 サービス、または jppqimport コマンドが起動中です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/AJS2 サービスが起動している場合は、JP1/AJS2 サービスを停止したあと、コマンドを再実行してください。  
すでに jppqimport コマンドが起動中の場合は、jppqimport コマンドの終了を待ってから再実行してください。  
ジョブ実行環境データベースを再作成する前には必ず



JP1/AJS2 サービスを停止し、作成済みのジョブ実行制御データベース格納ディレクトリ配下のファイルを削除または退避してください。削除するファイルは、-dp オプションに指定したディレクトリ以下、またはジョブ実行制御の環境設定パラメーター DatabasePath に設定しているディレクトリ以下のすべてです。

### KAVU5921-E

Environment settings or the logical host name is invalid.  
環境設定が不正かもしくは論理ホスト名が不正です

環境設定が不正か、または論理ホスト名が不正です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
指定した論理ホスト名が正しいかどうか、指定した論理ホスト名と環境設定パラメーターの論理ホスト名が一致しているかどうかを確認してください。  
jpsqdbcond コマンドの場合、論理ホスト名を省略すると、環境変数 JP1\_HOSTNAME に指定した論理ホスト名が仮定されます。環境変数 JP1\_HOSTNAME を指定している場合は、指定したホスト名が正しいかどうかを確認してください。

### KAVU5930-E

Memory could not be allocated.  
メモリーの確保に失敗しました

メモリーの確保に失敗しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再実行してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見積もりを見直してください。

### KAVU5931-E

The disk is full.  
ディスク容量が不十分です

ディスク容量が不十分です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ディスクの空き容量を作成したあと、再実行してください。

### KAVU5932-E

A system call error occurred. (reason code:要因番号)  
システムコールエラーが発生しました (要因番号:要因番号)

システムコールエラーが発生しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
統合トレースログで、KAVU5501-E のメッセージの内容も参照してください。  
エラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、再実行してください。  
要因を特定できない場合は、マネージャーホストで内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU5933-E

A logical contradiction occurred. (reason code:要因番号)  
論理矛盾が発生しました (要因番号:要因番号)

論理矛盾が発生しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU5934-E

It is short of the system resources.  
システム資源が不足しています

システム資源が不足しています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
統合トレースログで、KAVU5501-E のメッセージの内容も参照してください。  
UNIX 環境では、カーネルパラメーターの設定値を確認してください。  
カーネルパラメーターの見積もりについては、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照してください。

### KAVU5935-E

A disk difficulty occurred.  
ディスク障害が発生しました

ディスク I/O で障害が発生しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。
- (O)  
ディスクボリューム自体に問題がないか確認してください。

**KAVU5936-E**

The database table is locked.

データベーステーブルがロックされています

データベーステーブルが、ほかのプログラムによってロックされています。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) バックアッププログラムなどによって、JP1/AJS2 のファイル、またはディレクトリに対してアクセスしていないか確認してください。  
統合トレースログで KAVU5501-E のメッセージが出力されている場合は、その対処方法も参照してください。

**KAVU5937-E**

The database version is invalid.

データベースバージョンが不正です

データベースバージョンが不正です。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) データベースが正しく作成されているか確認したあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU5938-E**

Condense failed.

再編成に失敗しました

ジョブ実行環境のデータベース再編成が異常終了しました。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) 統合トレースログでエラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、コマンドを再実行してください。

**KAVU5939-E**

This version does not support the request so the request cannot be processed.

このバージョンではサポートされていない要求の為、処理できません

現在の JP1/Base のバージョンでは、要求を処理できません。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) JP1/Base のサポートバージョンを確認して、バージョンアップしてください。

**KAVU5940-E**

The database file size exceeds the limit, so the request cannot be processed.

データベースのファイルサイズが制限値を超えているため、処理できません

ジョブ実行環境のデータベースが ISAM のファイルサイズの上限值を超えているため要求は処理されませんでした。

- (S) 要求処理を中止します。
- (O) 原因として、ISAM ファイルの制限値である 2G バイト以上のファイルがジョブ実行環境にあるおそれがあります。  
ジョブ情報保存日数の見直しの見直しとジョブ実行環境のデータベースの再作成を行ってください。  
ジョブ情報の保存日数については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.2.1 マネージャー環境の設定」(Windows の場合)、またはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 14.2.2 マネージャー環境 (JP1/AJS2 - Manager) で設定する内容」(UNIX の場合)を参照してください。  
ジョブ実行環境のデータベースの再作成については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 11.3.3 JP1/AJS2 - Manager の設定情報のリカバリー」のジョブ実行環境の作成の説明を参照してください。

**KAVU5941-E**

The specified tablespace or RDAREA does not exist.  
指定された表領域またはRDAREAは存在しません

jpqimport コマンドで指定された表領域、または RDAREA がいないため、テーブルが作成できませんでした。

- (S) コマンドの実行を中止します。
- (O) jpqimport コマンドの引数に正しい表領域、または RDAREA を指定したあとに、再実行してください。

**KAVU5942-E**

The specified tablespace or RDAREA is invalid.  
不正な表領域またはRDAREAが指定されました

jpqimport コマンドで指定された表領域、または RDAREA が不正なため、テーブルが作成できませんでした。

- (S) コマンドの実行を中止します。

(O)

jqpimport コマンドの引数に正しい表領域,または  
RDAREA を指定したあとに,再実行してください。

#### KAVU5943-E

Could not connect to the database because the upper  
limit of a server setting was exceeded.  
サーバー側の設定値の上限を超えたためデータベースに接  
続できませんでした

データベースサーバで,定義されている制限値を超えてし  
まったため,データベースに接続できませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

データベースに接続しているほかのプロセスを停止す  
るか,データベースの制限を設定し直したあとに,コ  
マンドを再実行してください。

#### KAVU5944-E

Could not connect to the database because the username  
or password was invalid.  
ユーザー名またはパスワードに誤りがあるためデータベ  
ースに接続できませんでした

接続しようとしたユーザー名か,パスワードに誤りがある  
ため,データベースに接続できませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

正しいユーザー名とパスワードを設定したあとに,コ  
マンドを再実行してください。

#### KAVU5945-E

Could not connect to the database.  
データベースに接続できませんでした

データベースに接続できませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

データベースが稼働しているか,確認してください。

#### KAVU5946-E

Cannot specify the operand(オペランド名) due to an  
invalid execution environment.  
実行環境が不正なためオペランド(オペランド名)は指定  
できません

実行環境が不正なため,-dt オプションに「オペランド  
名」で示すオペランドは指定できません。

- オペランド名が isam の場合

実行環境が JP1/AJS2 - Datareplicator 運用環境になっ

ている。

- オペランド名が replication の場合  
実行環境が JP1/AJS2 - Datareplicator 運用環境以外に  
なっている。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

オペランド名が isam の場合は,-dt オプションに  
replication を指定するか,実行環境を JP1/AJS2  
- Datareplicator 運用環境以外にして実行してくださ  
い。

オペランド名が replication の場合は,実行環境  
を JP1/AJS2 - Datareplicator 運用環境にするか,  
-dt オプションに isam を指定して実行してくださ  
い。

#### KAVU5948-E

A system call error occurred while checking the  
administrator permissions. (system call name:システム  
コール名,module:要因箇所[要因箇所],reason code:要因番  
号)

管理者権限チェック処理でシステムコールエラーが発生し  
ました(システムコール名:システムコール名,要因箇所:要  
因箇所[要因箇所],要因番号:要因番号)

jqpimport , jqpexport , および jqpqbcond コマンド  
の管理者権限チェック処理で,システムコールエラーが発  
生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

システムコール名と要因番号からエラーの原因を判断  
してください。  
要因番号には,Win32API の GetLastError 関数で取  
得した値が出力されています。エラーの原因が判断で  
きない場合は,内部トレースログを採取したあと,シ  
ステム管理者に連絡してください。

#### KAVU5949-E

Memory allocation failed while checking the  
administrator permissions. (size:サイズ,module:要因箇所  
[要因箇所],reason code:要因番号)

管理者権限チェック処理でメモリーの確保に失敗しました  
(サイズ:サイズ,要因箇所:要因箇所[要因箇所],要因番号:要  
因番号)

jqpimport , jqpexport , および jqpqbcond コマンド  
の管理者権限チェック処理で,メモリーの確保に失敗しま  
した。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ほかの不要なアプリケーションを停止したあと,再度

要求を発行してください。  
それでも同じメッセージが出力される場合、メモリー  
見直しを見直してください。

#### KAVU5950-E

The same identifier or object name is already specified.  
(line:行番号)  
同じ識別子またはオブジェクト名が指定されています (行  
番号:行番号)

同じキュー名, エージェント名, 排他実行リソース名が定  
義されている場合, または同じ識別子 (キュー ID, エー  
ジェント ID, 排他実行リソース ID) が重複して定義され  
ている場合に出力されます。  
その際, 行番号は, 定義ブロックの末尾 ( \$end が記述さ  
れている箇所) を示します。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルの行番号で示された  
定義情報を確認し, エラー要因を取り除いたあと, コ  
マンドを再実行してください。

#### KAVU5951-E

There is an invalid character in the object name. (line:行  
番号)  
オブジェクト名に不当な文字が含まれています (行番号:  
行番号)

オブジェクト名に不適切な文字が含まれています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取  
り除いたあと, 再実行してください。

#### KAVU5952-E

The object name is too long. (line:行番号)  
オブジェクト名の長さが最大長を超えています (行番号:  
行番号)

オブジェクト名の長さが最大長を超えています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取  
り除いたあと, 再実行してください。

#### KAVU5953-E

The object number is specified incorrectly. (line:行番号)  
オブジェクト番号の指定が不正です (行番号:行番号)

不適切な数値を指定している場合に出力されます。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取  
り除いたあと, 再実行してください。

#### KAVU5954-E

Invalid time specification. (line:行番号)  
時刻の指定が不正です (行番号:行番号)

多重度設定開始時刻, 多重度設定終了時刻の指定方法が  
誤っています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取  
り除いたあと, 再実行してください。

#### KAVU5955-E

The concurrently-executable job limit is invalid. (line:行  
番号)  
実行多重度の指定が不正です (行番号:行番号)

実行多重度の指定が不正です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取  
り除いたあと, 再実行してください。

#### KAVU5956-E

No default queue is defined. (line:行番号)  
デフォルトキューの定義がありません (行番号:行番号)

行番号は, 定義ブロックの末尾 ( \$end が記述されている  
箇所) を示します。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取  
り除いたあと, 再実行してください。

#### KAVU5957-E

More than one default queue is defined. (line:行番号)  
デフォルトキューの定義が重複しています (行番号:行番  
号)

デフォルトキューの定義が重複しています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)

ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取り除いたあと、再実行してください。

#### KAVU5958-E

The connection to the agent is incorrect. (line:行番号)  
エージェントに正しく接続されていません (行番号:行番号)

エージェントのデフォルトキューに接続するエージェントホストのエージェント ID、または優先順位の指定方法が不正です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取り除いたあと、再実行してください。

#### KAVU5959-E

The maximum number of queuing jobs is specified incorrectly. (line:行番号)  
キューイングジョブの最大値が不正です (行番号:行番号)

キュー内の、ジョブ数の最大値の指定が不正です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取り除いたあと、再実行してください。

#### KAVU5960-E

The warning number of queuing jobs is specified incorrectly. (line:行番号)  
キューイングジョブの警告値が不正です (行番号:行番号)

キュー内の、ジョブ数の警告値の指定が不正です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取り除いたあと、再実行してください。

#### KAVU5961-E

The priority value is invalid. (line:行番号)  
優先順位の値が不正です (行番号:行番号)

優先順位の値が不正です。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取

り除いたあと、再実行してください。

#### KAVU5962-E

A syntax error occurred. (line:行番号)  
シンタックスエラーが発生しました (行番号:行番号)

シンタックスエラーが発生しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取り除いたあと、再実行してください。

#### KAVU5963-E

An object number exceeds the number defined in the environment settings. (line:行番号)  
オブジェクト番号が環境設定の定義数を超えています (行番号:行番号)

エージェント ID、キュー ID、または排他実行リソース ID に環境設定で指定した最大定義数を超える値が指定されています。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
ジョブ実行環境構成定義ファイルからエラー要因を取り除いたあと、再実行してください。

#### KAVU5970-E

The definition process for configuration definition ended abnormally.  
構成定義情報の定義処理が異常終了しました

ジョブ実行環境構成定義情報の定義処理が、異常終了しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)  
同時に標準エラー出力に出力された KAVU メッセージでエラー要因を確認してください。エラー要因を取り除いたあと、再実行してください。

#### KAVU5971-E

The output process for configuration definition ended abnormally.  
構成定義情報の出力処理が異常終了しました

ジョブ実行環境構成定義情報の出力処理が、異常終了しました。

- (S)  
コマンドの実行を中止します。

- (O)

## KAVU5980-I ~ KAVU6101-I

同時に標準エラー出力に出力された KAVU メッセージでエラー要因を確認してください。エラー要因を取り除いたあと、再実行してください。

### KAVU5980-I

Database condensing of the job execution environment started. 開始日時

ジョブ実行環境のデータベース再編成を開始しました 開始日時

ジョブ実行環境のデータベース再編成を開始しました。

- (S)
- データベース再編成処理を続行します。

### KAVU5981-I

Database condensing of the job execution environment ended normally. 開始日時 - 終了日時 (所要時間)

ジョブ実行環境のデータベース再編成が正常終了しました 開始日時 - 終了日時 (所要時間)

ジョブ実行環境のデータベース再編成が正常終了しました。

- (S)
- データベース再編成処理を正常終了します。

### KAVU5982-E

Database condensing of the job execution environment ended abnormally. 開始日時 - 終了日時 (所要時間)

ジョブ実行環境のデータベース再編成が異常終了しました 開始日時 - 終了日時 (所要時間)

ジョブ実行環境のデータベース再編成が異常終了しました。

- (S)
- コマンドの実行を中止します。
- (O)
- 統合トレースログで、KAVU5501-E メッセージの内容も参照してください。エラー要因を確認し、要因を取り除いたあと、ジョブ実行環境の ISAM ファイルの再編成を再実行してください。

### KAVU5983-I

The ISAM unused area size on job execution environment is サイズMB.

ジョブ実行環境のISAM未使用領域サイズはサイズMBです

ジョブ実行環境の ISAM ファイル未使用領域サイズを出力します。

- (S)
- ISAM 未使用領域サイズを出力します。

### KAVU5984-W

The ISAM unused area size of the job execution environment is サイズMB, which exceeds the サイズMB threshold value.

ジョブ実行環境のISAM未使用領域サイズはサイズMBで、しきい値 (サイズMB) に達しています

ジョブ実行環境の ISAM ファイルの未使用領域サイズが、指定した未使用領域サイズに達しています。

- (S)
- コマンドの実行を続行します。
- (O)
- ジョブ実行環境の ISAM ファイルの再編成を実施してください。

### KAVU5986-W

The JP1 event could not be sent. (line:要因箇所, reason code:要因番号)

JP1 イベントの送信に失敗しました (要因箇所:要因箇所, 要因番号:要因番号)

オプションを指定して JP1 イベントを送信しようとしたが、失敗しました。

- (S)
- 処理を続行します。
- (O)
- システムのリソースが不足していないか、JP1/AJS2 が正しくインストールされているかなど、環境を確認してください。JP1 イベントを正しく送信したい場合は、コマンドを再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、内部トレースログを採取してから、システム管理者に連絡してください。

### KAVU6100-I

Job status notification process (host name:論理ホスト名, port number:ポート番号) was started.

状態通知プロセス (ホスト名:論理ホスト名, ポート番号:ポート番号) が起動されました

状態通知が起動されました。

- (S)
- デーモンの運用を開始します。

### KAVU6101-I

Job status notification process (host name:論理ホスト名, port number:ポート番号) ended normally.

状態通知プロセス (ホスト名:論理ホスト名, ポート番号:ポート番号) が正常終了しました

状態通知プロセスが、正常終了しました。

- (S)
- デーモンを停止します。

**KAVU6102-E**

Logical contradiction occurred (reson code:要因番号).  
 Could not start job status notification process (host name:論理ホスト名, port number:ポート番号).  
 論理矛盾エラーが発生したため状態通知プロセス（ホスト名:論理ホスト名, ポート番号:ポート番号）の起動に失敗しました（要因番号:要因番号）

論理矛盾エラーが発生したため、状態通知プロセスの起動に失敗しました。

- (S) デーモンの起動処理を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU6103-E**

Invalid environment settings (reson code:要因番号).  
 Could not start job status notification process (host name:論理ホスト名, port number:ポート番号).  
 環境設定不正のため状態通知プロセス（ホスト名:論理ホスト名, ポート番号:ポート番号）の起動に失敗しました（要因番号:要因番号）

環境設定不正のため、状態通知プロセスの起動に失敗しました。

- (S) デーモンの起動処理を中止します。
- (O) 統合トレースログで停止要因を確認し、要因を取り除いたあと、再起動してください。

**KAVU6104-E**

Another process is using the specified port number (reson code:要因番号). Could not start job status notification process (host name:論理ホスト名, port number:ポート番号).  
 指定のポート番号が他のプロセスによって使用されているため状態通知プロセス（ホスト名:論理ホスト名, ポート番号:ポート番号）の起動に失敗しました（要因番号:要因番号）

同じ論理ホスト、および同じポート番号で、ほかのプロセスと同時に起動できません。

- (S) デーモンの起動処理を中止します。
- (O) ほかのプロセスが指定ポートで起動されていないか確認してください。ポート番号を変更するなどの対応したあと、再起動してください。

**KAVU6105-E**

Specified port number is out of range. Could not start job status notification process (host name:論理ホスト名, port number:ポート番号).  
 指定されたポート番号の範囲不正のため状態通知プロセス（ホスト名:論理ホスト名, ポート番号:ポート番号）の起動に失敗しました

ポート番号は、1,024 ~ 65,535 の範囲の値を指定できません。

- (S) デーモンの起動処理を中止します。
- (O) 新しいポート番号を設定したあと、再起動してください。

**KAVU6106-E**

Insufficient memory (reson code:要因番号). Could not start job status notification process (host name:論理ホスト名, port number:ポート番号).  
 メモリー不足のため状態通知プロセス（ホスト名:論理ホスト名, ポート番号:ポート番号）の起動に失敗しました（要因番号:要因番号）

メモリー不足のため、状態通知プロセスの起動に失敗しました。

- (S) デーモンの起動処理を中止します。
- (O) ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、再起動してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見積もりを見直してください。

**KAVU6107-E**

Job status notification process (host name:論理ホスト名, port number:ポート番号) is already running on the same host. (reson code:要因番号)  
 同じ論理ホスト上で状態通知プロセス（ホスト名:論理ホスト名, ポート番号:ポート番号）が起動中です（要因番号:要因番号）

同じ論理ホスト、および同じポート番号で、デーモンを二重起動できません。

- (S) デーモンの起動処理を中止します。
- (O) デーモンがすでに起動されていることを確認してください。ポート番号を変更するなどの対応をしたあと、再起動してください。

### KAVU6108-E

Job status notification process (host name:論理ホスト名, port number:ポート番号) ended abnormally. (reson code:要因番号)

状態通知プロセス（ホスト名:論理ホスト名，ポート番号:ポート番号）が異常終了しました（要因番号:要因番号）

状態通知プロセスが異常終了しました。または、スケジューラーサービスの停止時および `jajs_killall.cluster` コマンドの実行時にも出力されることがあります。

- (S) デモンを停止します。
- (O) 統合トレースログで停止要因を確認し、要因を取り除いたあと、再起動してください。

### KAVU6109-E

Polling of job status notification process (host name:論理ホスト名, port number:ポート番号) ended abnormally. (reson code:要因番号)

状態通知プロセス（ホスト名:論理ホスト名，ポート番号:ポート番号）のポーリング処理が異常終了しました（要因番号:要因番号）

状態通知プロセスのポーリング処理が異常終了しました。

- (S) デモンを停止します。
- (O) 統合トレースログで停止要因を確認し、要因を取り除いたあと、再起動してください。

### KAVU6200-I

Polling for the job status notification process (host name:ホスト名, port number:ポート番号) was started.

状態通知プロセス（ホスト名:ホスト名，ポート番号:ポート番号）のポーリング処理を開始しました

ジョブ実行制御の状態通知プロセスがポーリング処理を開始しました。

- (S) 処理を続行します。

### KAVU6201-I

Polling for the job status notification process (host name:ホスト名, port number:ポート番号) ended normally.

状態通知プロセス（ホスト名:ホスト名，ポート番号:ポート番号）のポーリング処理が正常終了しました

ジョブ実行制御の状態通知プロセスのポーリング処理が正常終了しました。

- (S) 処理を続行します。

### KAVU6202-E

Data overflowed in the job status notification process(host name:論理ホスト名, port number:ポート番号), so the job status notification from the manager (論理ホスト名) is being ignored.

状態通知プロセス（ホスト名:論理ホスト名，ポート番号:ポート番号）の状態通知の登録数が上限を超えたためマネージャー（論理ホスト名）からの状態通知を無視しました

状態通知プロセスの状態通知の登録数が上限を超えたため、マネージャーからの状態通知を無視しました。

- (S) 該当するジョブ状態通知を無視します。次回ポーリング時に最新状態を取得します。
- (O) `JpqSetReport` 関数を発行していない場合は、ジョブの状態を確認してください。

### KAVU6203-E

The job status report information (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号, job status=ジョブ状態) could not be restored because memory became insufficient.

メモリー不足のため状態通知情報（マネージャー名:マネージャー名，ジョブ番号:ジョブ番号，ジョブ状態:ジョブ状態）の復元に失敗しました

メモリー不足のため、状態通知情報の復元に失敗しました。

- (S) 該当するジョブの状態通知情報が失われます。
- (O) 該当するジョブのポーリング監視を再度設定してください。

### KAVU6204-E

The job status report information (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号, job status=ジョブ状態) could not be restored.

状態通知情報（マネージャー名:マネージャー名，ジョブ番号:ジョブ番号，ジョブ状態:ジョブ状態）の復元に失敗しました

状態通知情報の復元に失敗しました。

- (S) 該当するジョブの状態通知情報が失われます。
- (O) 該当するジョブのポーリング監視を再度設定してください。



**KAVU6205-E**

The job status report information (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号, job status=ジョブ状態) was deleted because the job status report information was not acquired during the specified period. 規定時間の間状態通知情報の取得が行われなかったため状態通知情報 (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号, ジョブ状態:ジョブ状態) を削除しました

規定時間の間, 状態通知情報の取得ができなかったため, 状態通知情報を削除しました。

- (S)  
該当するジョブの状態通知情報が失われます。
- (O)  
該当するジョブのポーリング監視を再度設定してください。

**KAVU6206-E**

In the polling for the job status report process, a TCP/IP communication connection to the manager could not be made. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)

状態通知プロセスのポーリング処理でマネージャーへのTCP/IP通信接続ができませんでした (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

状態通知プロセスのポーリング処理で, マネージャーへのTCP/IP 通信接続ができませんでした。

- (S)  
該当するジョブは終了として通知されます。
- (O)  
マネージャーが起動していない場合はマネージャーを起動し, ジョブの状態を確認してください。

**KAVU6207-E**

In the polling for the job status report process, the manager's IP address could not be converted. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)

状態通知プロセスのポーリング処理でマネージャーのIPアドレス変換に失敗しました (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

状態通知プロセスのポーリング処理で, マネージャーのIP アドレス変換に失敗しました。

- (S)  
該当するジョブは, 終了として通知されます。
- (O)  
エラー要因を取り除いたあと, ジョブの状態を確認してください。

**KAVU6208-E**

In the polling for the job status report process, the corresponding job did not exist. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)

状態通知プロセスのポーリング処理で該当するジョブが存在しません (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

状態通知プロセスのポーリング処理で, 該当するジョブがありません。

- (S)  
該当するジョブは, 終了として通知されます。
- (O)  
マネージャー上に該当するジョブの情報が保存されていることを確認し, ジョブの状態を確認してください。

**KAVU6209-E**

In the polling for the job status report process, the specified queue or agent did not exist. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)

状態通知プロセスのポーリング処理で指定されたキューまたはエージェントが存在しません (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

状態通知プロセスのポーリング処理で, 指定されたキューまたはエージェントがありません。

- (S)  
該当するジョブは, 終了として通知されます。
- (O)  
キュー, またはエージェントを確認し, ジョブの状態を確認してください。

**KAVU6210-E**

In the polling for the job status report process, you lack operator permission. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)

状態通知プロセスのポーリング処理で操作権限がありません (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

状態通知プロセスのポーリング処理で, 操作権限がありません。

- (S)  
該当するジョブは, 終了として通知されます。
- (O)  
ポーリング設定時に指定したユーザーが, 該当するジョブの情報を参照できることを確認したあと, ジョブの状態を確認してください。

### KAVU6211-E

---

In the polling for the job status report process, an internal factor at the manager caused an error. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)  
マネージャーの内部的要因のため状態通知プロセスのポーリング処理でエラーが発生しました (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

---

マネージャーの内部的要因のため, 状態通知プロセスのポーリング処理でエラーが発生しました。

- (S) 該当するジョブは, 終了として通知されます。
- (O) マネージャー側のログを確認して, エラー要因を取り除いたあと, ジョブの状態を確認してください。

### KAVU6212-E

---

In the polling for the job status report process, an internal factor caused an error. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)  
内部的要因のため状態通知プロセスのポーリング処理でエラーが発生しました (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

---

内部的要因のため, 状態通知プロセスのポーリング処理でエラーが発生しました。

- (S) 該当するジョブは, 終了として通知されます。
- (O) 内部トレースログを採取したあと, システム管理者に連絡してください。

### KAVU6213-W

---

The file cannot be created because there is no path to the file specified as the acquisition destination of the standard output or standard error output file. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)  
標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルパスが無いためファイルを作成できません (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

---

標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルパスがないため, ファイルを作成できません。

- (S) 該当するジョブの情報は, 取得できています。
- (O) 指定したパスを確認し, 再度要求を発行してください。

### KAVU6214-W

---

The file specified as the acquisition destination of the standard output or standard error output file could not be written. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)  
標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルの書き込みに失敗しました (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

---

標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルの書き込みに失敗しました。

- (S) 該当するジョブの情報は取得できています。
- (O) 指定したパスを確認し, 再度要求を発行してください。

### KAVU6215-W

---

Insufficient disk space. The file specified as the acquisition destination of the standard output or standard error output file cannot be written. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)  
ディスクに空き容量が無いため標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルが書き込みできません (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

---

ディスクに空き容量がないため, 標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルが書き込みできません。

- (S) 該当するジョブの情報は取得できています。
- (O) ディスクの空き容量を確認し, 再度要求を発行してください。

### KAVU6216-W

---

The file cannot be opened because some other process is using the file specified as the acquisition destination of the standard output or standard error output file. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)  
標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルが他のプロセスで使用中のためファイルをオープンできません (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

---

標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として, 指定したファイルがほかのプロセスで使用中のためファイルをオープンできません。

- (S) 該当するジョブの情報は取得できています。
- (O) エラーの要因を取り除き, 再度要求を発行してください。

**KAVU6217-W**

The file specified as the acquisition destination of the standard output or standard error output file cannot be created. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)

標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として指定したファイルを作成できません (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

標準出力・標準エラー出力ファイル取得先として、指定したファイルを作成できません。

- (S)  
該当ジョブの情報は取得できています。

- (O)  
エラーの要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

**KAVU6218-W**

In the job status notification process, the job information was not acquired because the error occurred during TCP/IP communication. But the job might have ended normally. (manager descriptor=マネージャー名, job number=ジョブ番号)

状態通知プロセスのTCP/IP通信でエラーが発生したためジョブ情報が取得できませんでした。ジョブは正常終了している可能性があります (マネージャー名:マネージャー名, ジョブ番号:ジョブ番号)

状態通知プロセスがマネージャープロセスにジョブの状態を確認した際、TCP/IP 通信でエラーが発生したため、ジョブ情報を取得できませんでした。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
JP1/AJS2 - View で表示されるジョブ状態は異常検出終了となりますが、マネージャーではジョブが正常終了しているおそれがあります。メッセージ中のジョブ番号を -j オプションに指定して jpqjobget コマンドを実行し、ジョブ情報を確認してください。

**KAVU7110-E**

System call error occurred in initializing log process.

ログ出力制御の初期化でシステムエラーが発生しました

ログ出力制御の初期化で、システムエラーが発生しました。

- (S)  
デーモンの起動処理、またはコマンドの実行を中止します。
- (O)  
統合トレースログで停止要因を確認し、要因を取り除いたあと、サービスまたはデーモンを再起動してください。また、コマンドの場合は再実行してください。

**KAVU7111-E**

Logical contradiction occurred in initializing log process.

ログ出力制御の初期化で論理矛盾が発生しました

ログ出力制御の初期化で、論理矛盾が発生しました。

- (S)  
デーモンの起動処理、またはコマンドの実行を中止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

**KAVU7112-E**

Environment setting parameter (環境設定パラメーター=環境設定パラメーター値) on logical host (論理ホスト名) is invalid. Value (値) is used.

論理ホスト名 (論理ホスト名) 上の環境設定パラメーター (環境設定パラメーター=環境設定パラメーター値) が不正です。値 (値) を使用します

論理ホスト名上の環境設定パラメーターが不正です。

- (S)  
値を仮定してデーモンの起動処理、またはコマンドの実行を続行します。
- (O)  
環境設定上の不正箇所、または定義不十分な要因を取り除いてください。仮定された値が意図しない値の場合は、エラー要因を取り除いたあと、サービスまたはデーモンを再起動してください。また、コマンドの場合は再実行してください。

**KAVU7113-E**

An attempt to read the environment settings parameter (環境設定パラメーター) on the logical host (論理ホスト名) has failed (要因番号). The value (値) will be assumed. 論理ホスト名(論理ホスト名)上の環境設定パラメーター(環境設定パラメーター)の読み込みに失敗しました(要因番号)。値(値)を使用します

論理ホスト名上の環境設定パラメーターの読み込みに失敗しました。

- (S)  
値を仮定してデーモンの起動処理、またはコマンドの実行を続行します。
- (O)  
仮定された値が意図しない値の場合は、エラー要因を取り除いたあと、サービスまたはデーモンを再起動してください。また、コマンドの場合は再実行してください。エラー要因としてはメモリー不足が発生しているおそれがあります。統合トレースログで同時刻にメモリー不足のログが出力されているか確認してください。メモリー不足のログが出力されている場合は、メモリー見積もりを見直してください。ほかの不要なアプリケーションが起動されている場合はアプリケーション

ションを停止してください。エラー要因がメモリー不足でない場合は内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU7200-E

Memory could not be allocated. (size:サイズ, module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

メモリーの確保に失敗しました (サイズ:サイズ, 要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

メモリーの確保に失敗しました。

- (S) デモンの起動処理, またはコマンドの実行を中止します。
- (O) ほかの不要なアプリケーションを停止したあと、サービスまたはデモンを再起動してください。また、コマンドの場合は再実行してください。それでも、同じメッセージが出力される場合は、メモリー見積もりを見直してください。

#### KAVU7220-E

Environment settings could not be read because logical host name (論理ホスト名) is invalid.  
論理ホスト名 (論理ホスト名) 不正のため環境設定の読み込みに失敗しました

論理ホスト名が不正のため、環境設定の読み込みに失敗しました。

- (S) デモンの起動処理, またはコマンドの実行を中止します。
- (O) 環境設定上の不正箇所, または定義不十分な要因を取り除いたあと、サービスまたはデモンを再起動してください。また、コマンドの場合は再実行してください。

#### KAVU7221-E

Environment setting parameter (環境設定パラメーター=環境設定パラメーター値) on logical host (論理ホスト名) is invalid.

論理ホスト名 (論理ホスト名) 上の環境設定パラメーター (環境設定パラメーター=環境設定パラメーター値) が不正です

論理ホスト名上の環境設定パラメーターが不正です。

- (S) デモンの起動処理, またはコマンドの実行を中止します。
- (O) 環境設定上の不正箇所, または定義不十分な要因を取り除いたあと、サービスまたはデモンを再起動してください。また、コマンドの場合は再実行してください。

い。定義が正しく設定されているにもかかわらずこのメッセージが出力されている場合は、メモリー不足が発生しているおそれがあります。統合トレースログで同時刻にメモリー不足のログが出力されているか確認してください。メモリー不足のログが出力されている場合は、メモリー見積もりを見直してください。ほかの不要なアプリケーションが起動されている場合はアプリケーションを停止して、サービスまたはデモンを再起動してください。また、コマンドの場合は再実行してください。

パラメーター名が (ReportStatusPort=) となっている場合は、JP1/AJS2-Agent がインストールされているマシン上で「緊急実行コマンド」を実行したおそれがあります。JP1/AJS2-Agent 上では「緊急実行コマンド」は実行できません。

また、パラメーター名が「TraceLogPath=」となっている場合は、出力されたパスに対してコマンド、サービス、またはジョブを起動した OS ユーザーの書き込み権限および読み込み権限が設定されていないおそれがあります。設定されていない場合は、書き込み権限および読み込み権限を設定してから、コマンド、サービス、またはジョブを再実行してください。

#### KAVU7222-E

A system error occurred while acquiring environment settings on logical host name (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

論理ホスト名 (論理ホスト名) 上の環境設定取得処理にてシステムエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

論理ホスト名上の環境設定取得処理で、システムエラーが発生しました。

- (S) デモンの起動処理, またはコマンドの実行を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

#### KAVU7223-E

A logical contradiction occurred while acquiring environment settings on logical host name (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

論理ホスト名 (論理ホスト名) 上の環境設定取得処理にて論理矛盾が発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

論理ホスト名上の環境設定取得処理で、論理矛盾が発生しました。

- (S) デモンの起動処理, またはコマンドの実行を中止します。
- (O) 内部トレースログを採取したあと、システム管理者に

連絡してください。

#### KAVU7224-E

No physical host name can be acquired that corresponds to logical host name (論理ホスト名).

論理ホスト名 (論理ホスト名) に対応する物理ホスト名が取得できません

論理ホスト名に対応する物理ホスト名が取得できません。

- (S) デーモンの起動処理, またはコマンドの実行を中止します。
- (O) 環境設定上の不正箇所, または定義不十分な要因を取り除いたあと, サービスまたはデーモンを再起動してください。また, コマンドの場合は再実行してください。論理ホストの IP アドレスが解決できない場合もこのメッセージが出力されます。  
hosts ファイル, または DNS サーバなどで, 論理ホスト名から IP アドレスを求めることができるように, ネットワークが設定されているか確認してください。

#### KAVU7225-E

An environment setting on the logical host (論理ホスト名) is invalid, or memory became insufficient.

論理ホスト名 (論理ホスト名) 上の共通定義情報に誤りまたはメモリー不足が発生しました

指定された論理ホスト上の共通定義情報に誤り, またはメモリー不足が発生しました。

- (S) デーモンの起動処理, またはコマンドの実行を中止します。
- (O) 共通定義情報の不正箇所を取り除き, システムの空きメモリー容量を確認したあと, サービスまたはデーモンを再起動してください。また, コマンドの場合は再実行してください。

#### KAVU7226-E

An environment setting parameter (JP1HOSTS) on the logical host (論理ホスト名) is invalid.

論理ホスト名 (論理ホスト名) 上の共通定義情報の JP1HOSTS 定義に誤りがあります

指定された論理ホスト上の jp1hosts 情報に誤りがあります。

- (S) デーモンの起動処理, またはコマンドの実行を中止します。
- (O) jp1hosts の情報を確認したあと, サービスまたは

デーモンを再起動してください。また, コマンドの場合は再実行してください。

#### KAVU7227-E

Ineffective environment setting parameter (環境設定パラメーター=環境設定パラメーター値) on logical host (論理ホスト名) is specified.

論理ホスト名 (論理ホスト名) 上で無効な環境設定パラメーター (環境設定パラメーター=環境設定パラメーター値) が指定されています

環境設定で, 無効となるパラメーターが設定されています。

- (S) デーモンの起動処理, またはコマンドの実行を中止します。
- (O) 環境設定のパラメーターを見直したあと, サービスまたはデーモンを再起動してください。また, コマンドの場合は再実行してください。  
Solaris を使用している場合, IsLimitWorkSize パラメーターを指定すると, このエラーが発生します。  
Solaris を使用していてメッセージ中の環境設定パラメーターが IsLimitWorkSize の場合は, IsLimitWorkSize パラメーターを指定しないように環境設定を見直してください。

#### KAVU7228-W

No information can be output to the log file(ファイル名) on logical host(論理ホスト名).(reason code: 要因番号)  
論理ホスト名 (論理ホスト名) 上のログファイル (ファイル名) に出力できません(要因番号:要因番号)

ジョブ実行内部ログファイルに書き込み権限が不足しているか, または不正なパスが指定されたため, ログファイルに書き込めません。

次に示す要因が発生しているおそれがあります。

- ・ジョブ実行内部ログの出力先ディレクトリが存在しない。(要因番号 = 0x00000010)
- ・ジョブ実行内部ログファイルのパス名が長い場合ジョブ実行内部ログが作成できない。(要因番号 = 0x00000012)
- ・サービス起動 OS ユーザーまたは, コマンド実行 OS ユーザーに対して, ジョブ実行内部ログに対する書き込み権限が不足している。(要因番号 = 0x00000015)

- (S) JP1/AJS2 サービスの起動処理を中止します。  
処理を続行します。
- (O) 要因番号 0x00000010 の場合  
ジョブ実行内部ログの出力先ディレクトリを確認してください。存在しない場合は, ディレクトリを作成してください。  
要因番号 0x00000012 の場合

ログが出力できないため、トラブル発生時に資料が採取できなくなるおそれがあります。JP1/AJS2 のインストールパスの設定を 400 バイト未満になるように見直してください。

要因番号 0x00000015 の場合

サービス起動 OS ユーザーまたは、コマンド実行 OS ユーザーに対して、ログファイルが存在するディレクトリおよびログファイルへの書き込み権限を与えてください。

### KAVU7230-E

User mapping could not be initialized because logical host name (論理ホスト名) is invalid.

論理ホスト名 (論理ホスト名) 不正のためユーザーマッピング初期化処理に失敗しました

論理ホスト名が不正のため、ユーザーマッピングの初期化処理に失敗しました。

(S)

デーモンの起動処理を停止します。

(O)

環境設定上の不正箇所、または定義不十分な要因を取り除いたあと、サービスまたはデーモンを再起動してください。それでも解決しない場合は、プロセスのファイルオープン数の上限に達しているおそれがあるので、プロセスのファイルオープン数の上限に達していないことを確認して、サービスまたはデーモンを再起動してください。

### KAVU7231-E

A system error occurred during the initialization of user mapping (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

ユーザーマッピング初期化処理 (論理ホスト名) にてシステムエラーが発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ユーザーマッピングの初期化処理で、システムエラーが発生しました。

(S)

デーモンの起動処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU7232-E

A logical contradiction occurred during initialization of user mapping (論理ホスト名). (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

ユーザーマッピング初期化処理 (論理ホスト名) にて論理矛盾が発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ユーザーマッピングの初期化処理で、論理矛盾が発生しま

した。

(S)

デーモンの起動処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU7233-E

A Win32API error (Win32API関数名) occurred during of get user account. (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

アカウント取得処理でWin32APIエラー (Win32API関数名) が発生しました (要因箇所:要因箇所[要因箇所], 要因番号:要因番号)

ユーザーマッピングの初期化処理内部のアカウント取得処理で、Win32API エラーが発生しました。

(S)

デーモンの起動処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU7235-W

The user registered for assumed JP1 user is invalid.

Assumed JP1 user was ignored.

JP1 仮定ユーザー登録状態が不正です。JP1 ユーザー 仮定機能を無効にします。

JP1 仮定ユーザーとして登録しようとしたことが、失敗しました。

(S)

JP1 ユーザー 仮定機能を無効にして、サービス起動を続行します。

(O)

jpregguestuser コマンドを使用して、JP1 仮定ユーザーを削除したあと、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。JP1 仮定ユーザー機能を使用する場合は、jpregguestuser コマンドを使用して、正しい JP1 仮定ユーザーを登録したあと、JP1/AJS2 サービスを再起動してください。

### KAVU7236-W

The port number for service(サービス名) on logical host(論理ホスト名) could not be acquired. Default value(ポート番号) is used.

論理ホスト (論理ホスト名) のサービス (サービス名) のポート番号が取得できません。デフォルト値 (ポート番号) を使用します

指定された論理ホストのサービスのポート番号が取得できません。

- (S)  
デフォルトのポート番号を使用し、デーモンの起動、またはコマンドの実行を続行します。
- (O)  
services ファイルのポート番号を見直したあと、サービスまたはデーモンを再起動してください。

### KAVU7237-W

Environment setting parameter(環境設定パラメーター = 環境設定パラメーター値) on logical host(論理ホスト名) is invalid. Value(値) is used.

論理ホスト名(論理ホスト名)上の環境設定パラメーター(環境設定パラメーター=環境設定パラメーター値)が不正です。値(値)を使用します

論理ホスト名上の環境設定パラメーターが不正です。

- (S)  
値を仮定して処理を続行します。
- (O)  
環境設定上の不正箇所、または定義不十分な要因を取り除いてください。仮定された値が意図しない値の場合は、エラー要因を取り除いたあと、再度要求を発行してください。

### KAVU7238-E

A system call error occurred. (system call name: システムコール名, module: 要因箇所[要因箇所], reason code: 要因番号)

システムコールエラーが発生しました(システムコール名: システムコール名, 要因箇所: 要因箇所[要因箇所], 要因番号: 要因番号)

システムコールエラーが発生しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
システムコール名と要因番号からエラーの原因を判断してください。  
要因番号には、システムエラー番号が出力されています。  
システムコール名が「rename」で、要因番号が書き込み、および読み込み権限の不足の場合は、ジョブ実行環境のマネージャプロセス実行時のワークディレクトリに、JP1/AJS2 を起動するユーザーの書き込み、および読み込み権限を設定してから、必要に応じて再起動してください。  
エラーの原因が判断できない場合は、内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU7240-E

A double start confirmation file (ファイル名) cannot be accessed.

二重起動確認ファイル(ファイル名)にアクセスできません

二重起動確認ファイルにアクセスできません。

- (S)  
デーモンを停止、またはコマンドの実行を中止します。
- (O)  
システムファイルディレクトリ(/var/opt/jplajs2/sys)下のロックファイル「.jppqmonlock」、「.jppqmanlock」、または「.jppqagtlock」を確認してください。  
論理ホストの場合は、「.jppqmonlock. 論理ホスト名」、「.jppqmanlock. 論理ホスト名」、または「.jppqagtlock. 論理ホスト名」というファイル名です。  
システムファイルディレクトリまたはこれらのロックファイルが削除されている場合は、JP1/AJS2 を再インストールする必要があります。また、論理ホストの場合は、クラスタシステムの環境設定を再度行う必要があります。  
クラスタシステムの環境設定については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 18.4 クラスタ運用の環境設定」を参照してください。

### KAVU7530-E

A logical contradiction occurred in the mapping process for JP1 user (ユーザー名). (module: 要因箇所[要因箇所], reason code: 要因番号)

JP1ユーザー(ユーザー名)のマッピング処理にて論理矛盾が発生しました(要因箇所: 要因箇所[要因箇所], 要因番号: 要因番号)

JP1 ユーザーのマッピング処理で、論理矛盾が発生しました。

- (S)  
要求処理を中止します。
- (O)  
内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU7531-E

A system error occurred in the mapping process for JP1 user (ユーザー名). (module: 要因箇所[要因箇所], reason code: 要因番号)

JP1ユーザー(ユーザー名)のマッピング処理にてシステムエラーが発生しました(要因箇所: 要因箇所[要因箇所], 要因番号: 要因番号)

JP1 ユーザーのマッピング処理で、システムエラーが発

生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に連絡してください。

### KAVU7532-E

JP1 user account (host name=論理ホスト名, JP1 user name=ユーザー名) could not be mapped.  
JP1ユーザーアカウント (ホスト名=論理ホスト名, JP1 ユーザー名=ユーザー名) のユーザーマッピングに失敗しました

ユーザーマッピング定義にユーザー名の JP1 ユーザーアカウントは見つかりませんでした。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ユーザーマッピング定義に誤りがあると思われます。次のことを確認してください。

- ・ユーザーマッピング定義で、該当する JP1 ユーザーを登録していない。
- ・ユーザーマッピング定義で、存在しない OS ユーザーを登録している。
- ・ユーザーマッピング定義で、OS ユーザーのパスワードを誤って登録している。
- ・ajsentry コマンドを使用してジョブネットを登録するとき、マッピングされていない OS ユーザーで登録している。

ユーザーマッピング定義に誤りが無い場合、メモリ不足が発生しているおそれがあります。その場合は、メモリ見直しを見直してください。

### KAVU7533-E

The execution user(ユーザー名) mapped from JP1 user(host name=論理ホスト名, JP1 user name=ユーザー名) is invalid.(reason code:要因番号)  
JP1ユーザー (ホスト名=論理ホスト名, JP1ユーザー名=ユーザー名) からユーザーマッピングした実行ユーザー (ユーザー名) は使用できません (要因番号: 要因番号)

ユーザーマッピングした実行ユーザー名が無効です。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

要因番号には、次の値が表示されます。

Windows の場合

Win32API の GetLastError 関数で取得した値

UNIX の場合

errno で取得した値

要因番号に対する原因と対処方法を次に示します。

Windows の場合

・ 要因番号：1326

ジョブを実行する OS ユーザーのアクセストークンを取得できないおそれがあります。次のことを確認してください。

- ・ジョブの実行ユーザーがドメインユーザーの場合は、ドメインコントローラーの状態が原因となる場合があります。ユーザーアカウントを参照するため、ドメインユーザーがログオンできる状態になっている必要があります。JP1/AJS2 は、ドメインコントローラーの数や状態を意識して動作していません。ジョブの実行中にドメインコントローラーを再起動するような場合は注意してください。
- ・Win32API 関数の一時的エラーによって、アクセストークンを取得できない場合があります。詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 8.2.3 ジョブ実行時のユーザーアカウント」を参照してください。

・ 要因番号：1330

JP1/AJS2 サービスのアカウントと異なるユーザーアカウントでジョブを実行している場合は、ユーザーのパスワードの期限が満了していないかを確認してください。

・ 要因番号：1792

JP1/AJS2 サービスのアカウントと異なるユーザーアカウントでジョブを実行している場合は、Net Logon サービスが起動されているかどうかを確認してください。

・ 要因番号：1909

ジョブを実行する OS ユーザーのアカウントがロックアウトしているおそれがあります。ジョブを実行した OS ユーザーに対して不正なパスワードが指定されていないか確認してください。

アカウントがロックアウトしていた場合は、アカウントのロックアウトを解除し、ジョブを再実行してください。アカウントのロックアウトの解除方法については、Microsoft のホームページなどで確認してください。

UNIX の場合

ジョブを実行する OS ユーザーが登録されていても、OS ユーザーの登録、削除、パスワード変更などによって、OS のシステムコールで一時的なエラーが発生する場合があります。その場合は、OS ユーザーの登録、削除、パスワード変更などの操作が終了したあとに、ジョブを再実行してください。

なお、ユーザー情報取得時のリトライの回数や間隔は変更できます。詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 16.37 ユーザー情報取得時のリトライを変更する設定」を参照してください。



これらに該当しない場合は、ユーザーマッピング定義に不適切な OS ユーザーを登録しているおそれがあります。次の点について確認し、該当する場合は、適切な OS ユーザーを登録してください。

- 存在しない OS ユーザーを登録している。
- OS ユーザーのパスワードを誤って登録している。
- アカウントが無効である OS ユーザーを登録している。
- ログオンの権限がない OS ユーザーを登録している。

ユーザーマッピング定義に誤りがない場合、メモリー不足が発生しているおそれがあります。その場合は、メモリー見積もりを見直してください。

また、Windows の場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 7.26 ジョブ実行時にアクセストークンを再利用するための設定」を有効にし、アクセストークンを再利用することによって、発生頻度を抑えられます。

連絡してください。

#### KAVU7534-E

JP1 user account (host name=論理ホスト名, JP1 user name=ユーザー名) does not correspond to execution user name (ユーザー名).

JP1ユーザーアカウント（ホスト名=論理ホスト名, JP1ユーザー名=ユーザー名）と実行ユーザー名（ユーザー名）が対応しません

JP1 ユーザーアカウントと実行ユーザー名が対応しません。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

ユーザーマッピング定義に誤りがあると思われます。次のことを確認してください。

- ユーザーマッピング定義で、存在しない OS ユーザーを登録している。
- ユーザーマッピング定義で、OS ユーザーのパスワードを誤って登録している。

#### KAVU7535-E

A Win32API error (Win32API関数名) occurred during of check Administrator account. (module:要因箇所[要因箇所], reason code:要因番号)

管理者権限チェック処理でWin32APIエラー（Win32API関数名）が発生しました（要因箇所：要因箇所[要因箇所]，要因番号：要因番号）

JP1 ユーザーのマッピング処理内部の管理者権限チェック処理で、Win32API エラーが発生しました。

(S)

要求処理を中止します。

(O)

内部トレースログを採取したあと、システム管理者に

## 2.6 KAVV100 ~ KAVV899 ( JP1/AJS2 - View に関するメッセージ )

KAVV100 ~ KAVV899 のメッセージ ( JP1/AJS2 - View に関するメッセージ ) の一覧を次に示します。

KAVV900 ~ KAVV1199 のメッセージについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 メインフレーム リファレンス編」を参照してください。

### KAVV100-E

During (処理名) (例外名) occurred. JP1/AJS2 - View will now end. Detailed information: 詳細情報1, 詳細情報2 (処理名) 中に (例外名) が発生しました。JP1/AJS2 - Viewを終了します。詳細情報: 詳細情報1, 詳細情報2

「処理名」の処理中に「例外名」の例外が発生しました。

(S)

JP1/AJS2 - View を終了します。

(O)

次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

- 画面のハードコピー
- JP1/AJS2 - View のログファイル

JP1/AJS2 - View のログファイルはこのメッセージダイアログボックスの [ OK ] ボタンをクリックしたあとに採取してください。

### KAVV101-E

During (処理名) memory became insufficient. JP1/AJS2 - View will now end. detailed information: 詳細情報1, 詳細情報2

(処理名) 中にメモリ不足が発生しました。JP1/AJS2 - Viewを終了します。詳細情報: 詳細情報1, 詳細情報2

「処理名」の処理中にメモリー不足が発生しました。

(S)

JP1/AJS2 - View を終了します。

(O)

JP1/AJS2 - View で使用するメモリーサイズを変更してから、JP1/AJS2 - View を再起動してください。メモリーサイズの変更は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 10.2.4 メモリー所要量を設定する」を参照してください。

### KAVV102-E

A required class file (クラスファイル名) was not found. 必要なクラスファイル (クラスファイル名) が見つかりません。JP1/AJS2 - View が正しくインストールされているか確認してください。

JP1/AJS2 - View の実行に必要なクラスファイルが見つかりません。

(S)

JP1/AJS2 - View を終了します。

(O)

JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

### KAVV103-E

The value in the keyword (キーワード名) in the setting file (ファイル名) is specified incorrectly. The default value (デフォルト値) will be assumed and processing will continue.

設定ファイル (ファイル名) のキーワード (キーワード名) に指定されている値に誤りがあります。デフォルト値 (デフォルト値) を仮定して処理を続行します。

設定ファイルのキーワードを誤って指定しています。

(S)

「デフォルト値」を仮定して処理を続行します。

(O)

「キーワード名」に指定している値を修正したあと、JP1/AJS2 - View を再起動してください。

### KAVV107-E

An error occurred while outputting the setting file (ファイル名). 設定ファイル (ファイル名) の出力でエラーが発生しました。

設定ファイルの出力処理でエラーが発生しました。次の原因が考えられます。

- 設定ファイル格納フォルダ以下のファイルに対するアクセス権がない。
- ディスクの空き容量が不足している。
- ほかのプログラムで編集中心である。

設定ファイル格納フォルダの場所は次のとおりです。

Windows XP Professional および Windows Server 2003 の場合

JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ ¥conf

Windows Vista および Windows Server 2008 の場合

```
%ALLUSERSPROFILE%\Hitachi\JP1\JP1_DEFAULT\
T\JP1AJS2V\conf
「%ALLUSERSPROFILE%」のデフォルトは「システム
ドライブ\ProgramData」です。
```

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーの原因を取り除いてください。解決できない場合は、JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

### KAVV108-E

An error occurred while inputting the setting file (ファイル名).  
設定ファイル (ファイル名) の入力でエラーが発生しました。

設定ファイルの入力処理でエラーが発生しました。次の原因が考えられます。

- ・ 設定ファイル格納フォルダ以下のファイルに対するアクセス権がない。
- ・ ディスクの空き容量が不足している。
- ・ ほかのプログラムで編集集中である。

設定ファイル格納フォルダの場所は次のとおりです。

Windows XP Professional および Windows Server 2003  
の場合  
JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ ¥conf

Windows Vista および Windows Server 2008 の場合  
%ALLUSERSPROFILE%\Hitachi\JP1\JP1\_DEFAULT\
T\JP1AJS2V\conf  
「%ALLUSERSPROFILE%」のデフォルトは「システム
ドライブ\ProgramData」です。

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーの原因を取り除いてください。解決できない場合は、JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

### KAVV109-E

Enter the values (下限値) - (上限値) in (フィールド名).  
(フィールド名) には (下限値) - (上限値) の値を入力してください。

「フィールド名」に値を誤って入力しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

「フィールド名」に「下限値」 - 「上限値」の値を再入力してください。

### KAVV110-E

The specified (オブジェクト) has already been defined.  
指定された (オブジェクト) は既に定義されています。

指定された「オブジェクト」はすでに定義されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

重複しないオブジェクト (名称, 番号) を再入力してください。

### KAVV111-E

Enter the (フィールド名).  
(フィールド名) を入力してください。

「フィールド名」を入力していません。

(S)

処理を中断します。

(O)

「フィールド名」の値を入力してください。

### KAVV112-E

A period (.) and an at sign (@) cannot be specified at the beginning of the (オブジェクト).  
(オブジェクト) の先頭に「.(ピリオド)」や「@」は指定できません。

「オブジェクト」の先頭に指定できない「.(ピリオド)」または「@」を指定しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

「オブジェクト」の先頭に「.(ピリオド)」または「@」のない名称を再入力してください。

### KAVV113-E

The unit name is duplicated.  
ユニット名が重複しています。

指定したユニット名は重複しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

同一ユニット階層内では重複しないユニット名を指定してください。

## KAVV114-E

The log output processing could not be initialized.

Detailed information (詳細情報1, 詳細情報2)

ログ出力処理の初期化に失敗しました。詳細情報 (詳細情報1, 詳細情報2)

ログ出力処理の初期化処理でエラーが発生しました。次の原因が考えられます。

- ログフォルダ以下のファイルに対するアクセス権がない。
- ディスクの空き容量が不足している。

ログフォルダの場所は次のとおりです。

Windows XP Professional および Windows Server 2003  
の場合  
JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ ¥log

Windows Vista および Windows Server 2008 の場合  
%ALLUSERSPROFILE%\Hitachi¥JP1¥JP1\_DEFAULT  
T¥JP1AJS2V¥log  
「%ALLUSERSPROFILE%」のデフォルトは「システム  
ドライブ ¥ProgramData」です。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
エラーの原因を取り除いてください。解決できない場合は、JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

## KAVV115-E

The log could not be output. Detailed information (詳細情報1, 詳細情報2)

ログの出力に失敗しました。詳細情報 (詳細情報1, 詳細情報2)

ログ出力処理でエラーが発生しました。次の原因が考えられます。

- ログフォルダ以下のファイルに対するアクセス権がない。
- ディスクの空き容量が不足している。

ログフォルダの場所は次のとおりです。

Windows XP Professional および Windows Server 2003  
の場合  
JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ ¥log

Windows Vista および Windows Server 2008 の場合  
%ALLUSERSPROFILE%\Hitachi¥JP1¥JP1\_DEFAULT  
T¥JP1AJS2V¥log  
「%ALLUSERSPROFILE%」のデフォルトは「システム  
ドライブ ¥ProgramData」です。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
エラーの原因を取り除いてください。解決できない場

合は、JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

## KAVV116-E

Select a unit.

ユニットを選択してください。

ユニットが選択されていません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
操作対象のユニットを選択してください。

## KAVV117-E

Select a schedule that you want to change from the list of executions.

実行一覧から変更する予定を選択してください。

実行結果リストで操作対象の世代を選択していません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
実行結果リストから操作対象の世代を選択して、再度操作してください。

## KAVV118-E

The setting file (ファイル名) was not found.

設定ファイル (ファイル名) が見つかりません。

JP1/AJS2 - View の起動に必要な設定ファイル (ファイル名) が見つかりません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

## KAVV119-E

An error occurred while displaying the message box.

メッセージボックスの表示処理でエラーが発生しました。

メッセージボックスの表示処理でエラーが発生しました。

- (S)  
メッセージボックスの表示でエラーが発生したことをログに出力します。

- (O)  
次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。  
• JP1/AJS2 - View のログファイル

**KAVV120-E**

The unit cannot be specified in an exclusive jobnet.  
自ユニットを排他ジョブネットに指定することはできません。

自ジョブネットは排他ジョブネットに指定できません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
排他ジョブネットには、同一ユニット階層にある自ジョブネット以外のジョブネットまたはプランニンググループを指定してください。

**KAVV121-E**

The value in the keyword (キーワード名) in the setting file (ファイル名) is specified incorrectly. The specification will be ignored and processing will continue.

設定ファイル (ファイル名) のキーワード (キーワード名) に指定されている値に誤りがあります。指定を無視して処理を続行します。

設定ファイルのキーワードを誤って指定しています。

- (S)  
指定を無視して処理を続行します。
- (O)  
キーワードに正しい値を設定したあと、JP1/AJS2 - View を再起動してください。

**KAVV122-E**

The value in the keyword (キーワード名) of the common definition in the manager (マネージャ名) is specified incorrectly. The specification will be ignored and processing will continue.

マネージャ (マネージャ名) の共通定義情報のキーワード (キーワード名) に指定されている値に誤りがあります。指定を無視して処理を続行します。

接続先の JP1/AJS2 - Manager で設定する JP1/AJS2 - View のカスタマイズファイル (jajsDisableMenu) に誤りがあります。

- (S)  
指定を無視して処理を続行します。
- (O)  
接続先の JP1/AJS2 - Manager でカスタマイズファイル (jajsDisableMenu) を正しく定義したあと、再度 JP1/AJS2 - View でログインしてください。カスタマイズファイル (jajsDisableMenu) および定義方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 10.3.7 特定のメニューを不活性にする」を参照してください。

**KAVV124-E**

The help file could not be restarted.  
ヘルプファイルの起動に失敗しました。

ヘルプファイルの起動に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
htm ファイルとブラウザが正しく関連づけられているかを確認してください。

**KAVV125-I**

Two or more units are being processed. Please wait...  
複数ユニットを処理中です。しばらくお待ちください...

複数ユニットを処理していることを通知するメッセージです。

- (S)  
応答を待ちます。
- (O)  
処理を中断する場合は [ キャンセル ] ボタンを選択してください。

**KAVV126-I**

Now connecting with the Manager. Please wait.  
マネージャと接続中です。しばらくお待ちください。

マネージャとの通信待ちメッセージです。

- (S)  
マネージャとの通信中であることを通知しました。
- (O)  
操作・編集をキャンセルしたい場合は、[ キャンセル ] をクリックしてください。続行したい場合は、メッセージダイアログボックスが閉じるまで待ってください。

**KAVV127-E**

Enter the (フィールド名).  
(フィールド名) を入力してください。

「フィールド名」に値を入力していません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
「フィールド名」に値を入力してください。

### KAVV128-I

When only the calendar is packaged, the calendar information will be overwritten to the job group specified as an import destination.

カレンダーのみをパッケージングする場合、インポート先に指定されたジョブグループにカレンダー情報が上書きされます。

パッケージするときの注意事項です。

- (S)
- パッケージング時の注意を通知しました。
- (O)
- カレンダー情報を上書きしたくない場合は、[ OK ] をクリックしたあと、チェックを外した状態にしてください。

### KAVV130-E

Specify the root jobnet. (ユニット名)

ルートジョブネットを指定してください。(ユニット名)

選択された操作は、「ユニット名」に対しては実行できません。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- ルートジョブネットを選択したあと再度操作してください。

### KAVV131-E

Specify a jobnet. (ユニット名)

ジョブネットを指定してください。(ユニット名)

選択された操作は、「ユニット名」に対しては実行できません。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- ジョブネットを選択したあと再度操作してください。

### KAVV132-E

A unit that is cut or copied was not found.

コピー・切り取りされているユニットがありません。

コピーまたは切り取りをされているユニットがないため、貼り付けを行うことはできません。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 貼り付けを行う前にコピーまたは切り取りをしてください。

### KAVV134-E

You cannot paste a unit of a different scheduler service.

異なるスケジューラーサービスのユニットは貼り付けられません。

異なるスケジューラーサービスのユニットを貼り付けようとしてしました。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 同じスケジューラーサービスにあるユニットをコピー、または切り取りをしたあと、貼り付けをしてください。

### KAVV137-E

Specify a value greater than (最小値) in the field (フィールド名).

(フィールド名)には(最小値)以上の値を指定してください。

「フィールド名」に「最小値」より小さい値を指定しました。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 「最小値」以上の値を指定してください。

### KAVV138-E

Add a unit name to the (フィールド名).

(フィールド名)にユニット名を追加してください。

「フィールド名」にユニット名を追加してください。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- [ 退避 ] を行う場合は[ ユニットの要素 ]から[ 退避の対象 ]に退避させるユニットを追加してください。  
[ 回復 ] を行う場合は[ 退避ファイル ]から[ 回復の対象 ]に回復させるユニット(退避ファイル)を追加してください。

### KAVV140-E

The keyword (キーワード名) of the login information file (ファイル名) is not specified.

ログイン情報ファイル(ファイル名)のキーワード(キーワード名)が指定されていません。

ログイン情報ファイルに、「キーワード」が設定されていないため、自動ログインできませんでした。次の原因が考えられます。

- ・「キーワード」を設定していない。
- ・「キーワード」の前後に空白文字またはタブ記号などが含まれている。

(S)

自動ログイン処理を中断し,[ ログイン ] 画面を表示します。

(O)

[ ログイン ] 画面で必要な情報を入力したあと, ログインしてください。  
また, マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajs」を参照し, ログイン情報ファイルの内容を確認してください。

**KAVV141-E**

This operation is executable only during exclusive editing.

この操作は, 排他編集モードのみ実行可能です。

選択された操作は, 排他編集モードでないと実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ ジョブネットエディタ ] ウィンドウの [ 排他編集 ] がチェックされた状態にしたあと, 再度操作してください。

**KAVV142-E**

This operation cannot be executed because the map information is being loaded.

マップ情報の読み込み中のため, この操作は実行できません。

選択された操作は, マップ情報の読み込み中のため実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

マップ情報の読み込みが完了したあと, 再度操作してください。

**KAVV143-E**

There is no place to paste.

貼り付ける場所がありません。

貼り付ける場所がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

マップサイズを大きくしたあと, または不要なユニットを削除したあと, 再度操作してください。

**KAVV144-E**

This operation is not possible when two or more units are selected.

複数選択中に, この操作は行えません。

この操作は複数選択中に実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユニットを一つだけ選択したあと, 再度操作してください。

**KAVV145-E**

Two or more units are selected.

ユニットが複数選択されています。

選択された操作は, ユニットが複数選択されているため実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユニットを一つだけ選択したあと, 再度操作してください。

**KAVV146-E**

Select a jobnet.

ジョブネットを選択してください。

選択された操作は, ジョブネットが選択されていないため実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブネットを選択したあと, 再度操作してください。

**KAVV147-E**

The upper jobnet does not exist.

親ジョブネットがありません。

ルートジョブネットを表示している状態で, 親ジョブネットを表示しようとしました。

(S)

処理を中断します。

(O)

現在表示しているジョブネットの階層を確認してください。

**KAVV148-E**

Specify (フィールド名).

(フィールド名)を指定してください。

## KAVV149-E ~ KAVV156-E

「フィールド名」を指定していません。

(S)

処理を中断します。

(O)

「フィールド名」に値を入力して、再度操作してください。

### KAVV149-E

Specify both start and end days in the fixed schedule period.

確定期間には開始日と終了日の両方を指定してください。

確定期間の開始日と終了日の両方が指定されていないので、確定実行登録できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

確定期間を指定して確定実行登録する場合は、開始日と終了日の両方を指定してください。

### KAVV150-E

Specify the fixed schedule period or the number of future generations.

確定期間または未来世代数を指定してください。

確定期間、または未来世代数を指定されていないので、確定実行登録できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

確定実行登録する場合は確定期間、または未来世代数を指定してください。

### KAVV151-E

For the beginning date of the fixed schedule period, specify a date before the end day.

確定期間の開始日には終了日以前の日付を指定してください。

確定期間の開始日に、終了日よりあとの日付が指定されているので、確定実行登録できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

確定期間を指定して確定実行登録する場合は、開始日には終了日以前の日付を指定してください。

### KAVV152-E

No schedule exists. (ユニット名)

スケジュールが存在しません。(ユニット名)

操作対象世代が指定されていないので操作できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

予定または結果を選択したあと、再度操作してください。

### KAVV153-E

The root job group cannot be deleted.

ルートジョブグループは削除できません。

ルートジョブグループを削除しようとした。

(S)

処理を中断します。

(O)

ルートジョブグループ以外のユニットを削除してください。

### KAVV154-E

The root jobnet cannot be deleted.

ルートジョブネットは削除できません。

[ジョブネットエディタ]ウィンドウで、ルートジョブネットを削除しようとした。

(S)

処理を中断します。

(O)

[JP1/AJS2 - View]ウィンドウでルートジョブネットを削除してください。

### KAVV155-E

Select a jobnet.

ジョブネットを選択してください。

操作対象のジョブネットが選択されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブネットを選択したあと、再度操作してください。

### KAVV156-E

Select a job group.

ジョブグループを選択してください。

操作対象のジョブグループが選択されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブグループを選択したあと、再度操作してください。



**KAVV158-E**

Only an event icon can be used as a start condition.  
起動条件で使用できるのはイベントアイコンのみです。

起動条件に対して、イベントアイコン以外のユニットを配置しようとした。

(S)

処理を中断します。

(O)

起動条件にはイベントアイコンだけを配置してください。

**KAVV159-E**

A relation cannot be used as a start condition.  
起動条件で関連線を設定することはできません。

起動条件のユニット間で関連線を設定しようとした。

(S)

処理を中断します。

(O)

起動条件のユニット間には関連線は設定できません。

**KAVV160-E**

There is no [Jobnet Monitor | Detailed Information] that can be displayed in [Status | Result | Next Schedule] (ジョブネットモニタ | 詳細情報) で表示できる (状態 | 結果 | 次回予定) はありません。

指定された世代 (状態, 結果, 次回予定) が操作対象のジョブネットにないため, [ジョブネットモニタ] ウィンドウ, または [詳細情報] を表示できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

状態または結果を指定する前には, [JP1/AJS2 - View] ウィンドウで対応する世代に対する状態が表示されていることを確認してください。  
なお, 未登録のジョブネットに対しては [ジョブネットモニタ] ウィンドウまたは [詳細情報] の表示はできません。

**KAVV161-E**

Select a job group or a jobnet.  
ジョブグループまたはジョブネットを選択してください。

操作対象のジョブグループ, またはジョブネットが選択されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブグループ, またはジョブネットを選択したあと, 再度操作してください。

**KAVV162-E**

(ユニット名) was not found. It might have been deleted or the unit complete name might have been changed.  
Explore the hierarchy again.

(ユニット名) が見つかりません。削除されたかユニット完全名が変更された可能性があります。再度階層を展開してください。

選択された「ユニット名」が見つかりません。

(S)

処理を中断し, 可能であれば上位ユニットを選択します。

(O)

再度階層を展開し対象となるユニットがあるかどうかを確認してください。

**KAVV163-E**

A schedule cannot be set as a start condition.  
起動条件にスケジュール設定はできません。

起動条件に対して, スケジュールを設定しようとした。

(S)

処理を中断します。

(O)

ルートジョブネットに対してスケジュールを設定してください。

**KAVV164-E**

The port number could not be obtained. Confirm whether the service name is defined correctly.  
ポート番号の取得に失敗しました。サービス名が正しく設定されているか確認してください。

ポート番号の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

services ファイルにサービス名と jp1ajs2monitor のポート番号が正しく設定されているか確認してください。  
ポート番号が正しく定義されている場合は, メモリー不足, またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了したあと, JP1/AJS2 - View を再起動してください。

**KAVV165-E**

A start condition can be neither cut nor copied.  
起動条件をコピー・切り取りする事はできません。

起動条件に対してコピー, または切り取りをしようとした。

(S)

## KAVV166-E ~ KAVV172-E

処理を中断します。

- (O)
- 起動条件に対してはコピー、または切り取りができません。

### KAVV166-E

The root jobnet cannot be cut.

ルートジョブネットを切り取りする事はできません。

ルートジョブネットに対して、切り取りをしようとした。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)
- ルートジョブネットに対しては切り取りができません。

### KAVV167-E

You cannot paste a unit of a different scheduler service, a manager jobnet, or a manager job group.

異なるスケジューラサービスのユニット、ジョブグループ、マネージャージョブグループ、マネージャージョブネット、プランニンググループを貼り付けることはできません。

ジョブネットに異なるスケジューラサービスのユニットや、ジョブグループ、マネージャージョブグループ、マネージャージョブネット、またはプランニンググループを貼り付けようとした。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)
- 貼り付け先のジョブネットと同じスケジューラサービス内のジョブ、ジョブネットをコピーまたは切り取りしたあと、再度貼り付けを行ってください。
- また、マネージャージョブネットはジョブネットに貼り付けることはできません。

### KAVV168-E

Only an event icon can be pasted in a start condition.

起動条件に貼り付けられるユニットは、イベントアイコンのみです。

起動条件に、イベントアイコン以外のユニットを貼り付けようとした。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)
- イベントアイコンをコピーまたは切り取りしたあと、再度起動条件に対して貼り付けを行ってください。

### KAVV169-E

When you select 'Enable' in 'Concurrent Exec.', you cannot select 'Hold if prev. was "abend"' or 'Hold if prev. = "warning" or "abend"' in 'Hold'.

「多重起動」の「可能」を選択する場合、「保留」の「前回異常時だけ保留」と「前回異常警告時だけ保留」は選択できません。

ルートジョブネット、ルートルームジョブネットの詳細定義で、多重起動可能の設定と前回異常時だけ保留、または前回異常警告時だけ保留の設定が同時に指定されています。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)
- [ 多重起動 ] の設定を [ 不可能 ] にするか、[ 保留 ] の設定を [ しない ] か [ する ] にしてください。

### KAVV170-E

This operation cannot be executed because the Find dialog box is displayed.

「検索」ダイアログが表示されているので、この操作は実行できません。

[ 検索 ] ダイアログボックスが表示されているため、この操作は実行できません。

なお、このメッセージは接続先の JP1/AJS2 - Manager のバージョンが 06-00 の場合にだけ表示されます。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)
- [ 検索 ] ダイアログボックスを閉じたあと、再度操作してください。

### KAVV171-E

Up to (number) icons can be located in a start condition. 起動条件に配置できるアイコンは32個までです。

起動条件に 33 個以上のアイコンを配置しようとした。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)
- 起動条件に配置するアイコンは、32 個以内にしてください。

### KAVV172-E

Specify a job or root jobnet. (ユニット名)

ジョブまたはルートジョブネットを指定してください。(ユニット名)

ジョブまたはルートジョブネット以外には実行できない操作が選択されました。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
ジョブまたはルートジョブネットを選択したあと、再度操作してください。

#### KAVV173-E

The Define Detail dialog box cannot be displayed for an unknown unit.  
不明なユニットのため詳細定義ダイアログは表示できません。

指定したユニットが、上位バージョンで追加されたユニットか、または使用している JP1/AJS2 - View 上で登録されていないカスタムジョブのため、[詳細定義]ダイアログボックスを表示できません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
対象となるユニットがカスタムジョブである場合は、JP1/AJS2 - View を終了させて、必要なカスタムジョブを登録してください。  
接続先の JP1/AJS2 - Manager が JP1/AJS2 - View よりも上位バージョンである場合は、JP1/AJS2 - View を接続先の JP1/AJS2 - Manager と同じバージョンにアップグレードしてください。

#### KAVV175-E

A date before 1994 cannot be specified.  
1994年より前の日付は指定できません。

[デイリースケジュール] ウィンドウまたは [マンスリースケジュール] ウィンドウで 1994 年より前の日付を表示しようとした。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
[デイリースケジュール] ウィンドウまたは [マンスリースケジュール] ウィンドウでは 1994 年から 2036 年までの間で表示させてください。

#### KAVV176-E

A date after 2037 cannot be specified.  
2037年以降の日付は指定できません。

[デイリースケジュール] ウィンドウまたは [マンスリースケジュール] ウィンドウで 2037 年以降の日付を表示しようとした。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
[デイリースケジュール] ウィンドウまたは [マンス

リースケジュール] ウィンドウで 1994 年から 2036 年までの間で表示させてください。

#### KAVV177-E

Cannot be moved because the cut part and paste destination are the same.  
切り取り元と貼り付け先が同じなので移動できません。

切り取り元と貼り付け先が同じ階層なので移動できません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
移動を行う場合は切り取り元とは別の階層に貼り付けを行ってください。

#### KAVV178-E

Cannot be moved because the cut part and the paste destination overlap.  
切り取り元と貼り付け先が重なっているため移動できません。

切り取りをしたユニットをその下位の階層に貼り付けることはできません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
切り取りをしたユニットは、上位の階層または別の階層に貼り付けてください。

#### KAVV179-E

A unit cannot be defined because the unit hierarchy exceeded the maximum.  
ユニットの階層最大値を超えたためユニットを定義できません。

ユニットの階層が、最大値を超えました。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
ユニットの階層を最大値以内で定義してください。  
ユニットの最大階層数はルートジョブグループ直下から数えて 30 階層です (ルートジョブグループは含みません)。  
オペレーションネット用スケジューラーサービスの場合、ユニットの最大階層数はルートジョブグループ直下から数えて 7 階層です (ルートジョブグループは含みません)。

#### KAVV181-E

(フィールド名) is specified incorrectly.  
(フィールド名) が正しく指定されていません。

「フィールド名」に値を誤って指定しています。

## KAVV182-E ~ KAVV188-E

(S)

処理を中断します。

(O)

「フィールド名」に値を正しく指定してください。

### KAVV182-E

Cannot edit exclusively because the jobnet has already been registered.

ジョブネットが登録済みのため、排他編集は行えません。

登録中のジョブネットを、排他編集モードに切り替えようとしてしました。

(S)

処理を中断します。

(O)

登録解除したあと、[ジョブネットエディタ]ウィンドウの[排他編集]がチェックされた状態にしてください。

### KAVV183-E

A jobnet that is the basis of exclusive editing can be neither cut nor deleted.

排他編集の基準となるジョブネットに対して、切り取りを行う事はできません。

排他編集をしているジョブネットに対して、切り取りをしようとしてしました。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ジョブネットエディタ]ウィンドウで切り取りを行う場合は、マップエリア上のユニットを選択してください。

### KAVV184-E

A package cannot be used as the root job group.

ルートジョブグループに対してパッケージは使用できません。

ルートジョブグループに対して、パッケージングしようとしてしました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ルートジョブグループ以外のユニットを選択したあと、再度操作してください。

### KAVV185-E

(ユニット名) was not found. It might have been deleted or the unit name might have been changed. Select 'Refresh' to update the list area.

(ユニット名)が見つかりません。削除されたかユニット名が変更された可能性があります。[最新情報に更新]を選択してリストエリアを更新してください。

削除されたユニット、またはユニット名が変更されたおそれがあるユニットに対して操作しようとしてしました。

(S)

処理を中断します。

(O)

[JP1/AJS2 - View]ウィンドウで[最新情報に更新]を実行し、リストエリアを更新したあと、再度操作してください。

### KAVV186-E

Specify a job. (ユニット名)

ジョブを指定してください。(ユニット名)

ジョブ以外には実行できない操作が選択されました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブを選択したあと、再度操作してください。

### KAVV187-E

The scheduler service does not exist.

スケジューラーサービスが存在しません。

スケジューラーサービスがありません。次の原因が考えられます。

- ajs コマンドの -F オプションで指定したスケジューラーサービスが、接続先の JP1/AJS2 - Manager では定義されていません。
- 接続先の JP1/AJS2 - Manager で、スケジューラーサービスが定義されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 - View を終了させたあと、接続先の JP1/AJS2 - Manager でスケジューラーサービスの構成を確認してください。

### KAVV188-E

The status could not be obtained. The execution ID being monitored might have been lost or the registration might have been canceled.

状態の取得に失敗しました。監視中の実行IDが無くなったか、登録解除された可能性があります。

[ジョブネットモニタ]ウィンドウで、表示中のジョブ

ネットの状態取得に失敗しました。

または、リモートジョブネットに対して [ジョブネットモニタ] ウィンドウ、詳細情報の表示に失敗しました。次の原因が考えられます。

- 監視中の実行 ID がなくなった。
- 登録解除された。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ジョブネットモニタ] ウィンドウを表示している場合はウィンドウを閉じるか、[監視モード] が [固定監視] である場合は異なる監視モードを指定してください。

### KAVV189-I

The specified windows is minimized.

指定されたウィンドウはアイコン化されています。

ウィンドウを前面に出そうとしましたが、アイコン化されているため実行できませんでした。

(S)

ウィンドウを前面に出そうとしましたが、アイコン化されているため実行できなかったことを通知しました。

(O)

アイコン化されているウィンドウを、手動で元のサイズに戻してください。

### KAVV190-E

There is an ineffective parameter. (パラメーター)

無効なパラメータがあります。[ (パラメーター) ]

ajs コマンドの引数に指定されたパラメーターに、無効なパラメーターがあります。なお、このメッセージは最初に検出された無効なパラメーターに対して出力されます。

(S)

無効なパラメーターを無視して、処理を続行します。

(O)

指定されているパラメーターを確認し、無効なパラメーターを取り除いたあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVV191-E

There is an invalid parameter. (パラメーター)

不正なパラメータがあります。[ (パラメーター) ]

ajs コマンドの引数に指定されたパラメーターに、不正なパラメーターがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

誤っているパラメーターを修正したあと、再度コマン

ドを実行してください。

### KAVV192-E

A required parameter is missing. (パラメーター)

必要なパラメータが不足しています。[ (パラメーター) ]

ajs コマンドの引数に指定されたパラメーターが不足しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

不足しているパラメーターを追加したあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVV193-E

The same argument has already been defined. (パラメーター)

同じ引数が既に指定されています。[ (パラメーター) ]

ajs コマンドの引数に指定されたパラメーターが重複しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

重複しているパラメーターを取り除いたあと、再度コマンドを実行してください。

### KAVV194-E

Select a unit in the tree area.

ツリーエリアでユニットを選択してください。

ツリーエリアでユニットを選択していません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ツリーエリアでユニットを選択したあと、再度操作してください。

### KAVV195-E

The root job group cannot be copied.

ルートジョブグループはコピーできません。

ルートジョブグループをコピーしようとした。

(S)

処理を中断します。

(O)

ルートジョブグループ以外のユニットをコピーしてください。

## KAVV196-E

There is no start condition.

起動条件がありません。

起動条件の削除が実行されましたが、起動条件は定義されていません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
起動条件が定義されているかを確認してください。

## KAVV198-E

An unrestorable unit exists.

回復していないユニットが存在します。

次の理由によって、回復できないユニットがあります。

- ジョブネットの下にジョブグループを回復しようとした。
- サスペンド状態の、ルートジョブネットの下の実行中のユニットを回復しようとした。
- 回復するルートジョブネットが登録済みである。
- 回復するジョブグループの下に、登録済みのルートジョブネットがある。
- マネージャジョブネットを、ネストジョブネットとして回復しようとした。
- ホストリンクジョブネットを、ジョブグループの直下、またはリモートジョブネットの下に回復しようとした。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
登録済みのユニットがあるため、回復できない場合は、該当するユニットを登録解除してください。  
マネージャジョブネットは、ジョブネットの下に作成できません。ジョブネットの下には回復しないでください。

## KAVV199-E

A calendar cannot be set in the manager job group.

マネージャジョブグループにはカレンダーを設定できません。

マネージャジョブグループに、カレンダー情報を設定しようとした。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
参照先のジョブグループを開いたあと、カレンダー情報を設定してください。

## KAVV202-I

(定義情報種別) of (定義情報) (定義情報) was done.

(定義情報種別) (定義情報) を (定義情報) しました。

定義情報を編集したことを通知するメッセージです。

- (S)
- ユニット(「ユニット完全名」)を実行登録、サスペンド実行、サスペンド解除したことをログに出力しました。
  - スケジュールルール(「ルール番号」)を定義、追加、編集、コピー、削除したことをログに出力しました。
  - スケジュール(「ユニット完全名」)を定義したことをログに出力しました。
  - カレンダー(「週間標準値/年」)を要求、取得、保存したことをログに出力しました。

## KAVV204-I

(ウィンドウ名) was opened.

「(ウィンドウ名)」を開きました。

「ウィンドウ名」を開いたことを通知するメッセージです。

(S)  
「ウィンドウ名」を開いたことをログに出力しました。

## KAVV205-I

(ウィンドウ名) was closed.

「(ウィンドウ名)」を閉じました。

「ウィンドウ名」を閉じたことを通知するメッセージです。

(S)  
「ウィンドウ名」を閉じたことをログに出力しました。

## KAVV210-I

An auto refresh was performed on (ウィンドウ名).

「(ウィンドウ名)」で自動更新しました。

「ウィンドウ名」で自動更新したことを通知するメッセージです。

(S)  
「ウィンドウ名」で自動更新したことをログに出力しました。

## KAVV211-I

(メニュー名) was selected.

「(メニュー名)」を選択しました。

「メニュー名」が選択されたことを通知するメッセージです。

(S)  
「メニュー名」が選択されたことをログに出力しました。

**KAVV212-I**

The (ボタン名) button was pressed on [ウィンドウ名](ウィンドウ種別).  
「(ウィンドウ名)」(ウィンドウ種別)で[(ボタン名)]ボタンが押されました。

「ウィンドウ名」「ウィンドウ種別」で「ボタン名」ボタンがクリックされたことを通知するメッセージです。

(S)

「ウィンドウ名」「ウィンドウ種別」で「ボタン名」ボタンがクリックされたことをログに出力しました。

**KAVV213-I**

(メニュー名) was selected on (ウィンドウ名).  
「(ウィンドウ名)」で(メニュー名)を選択しました。

「ウィンドウ名」で「メニュー名」が選択されたことを通知するメッセージです。

(S)

「ウィンドウ名」で「メニュー名」が選択されたことをログに出力しました。

**KAVV214-I**

(メニュー名) was checked.  
「(メニュー名)」をチェックしました。

メニューチェックしたことを通知するメッセージです。

(S)

メニューチェックしたことをログに出力しました。

**KAVV215-I**

The check of (メニュー名) was released.  
「(メニュー名)」のチェックを解除しました。

メニューチェックを解除したことを通知するメッセージです。

(S)

メニューチェックを解除したことをログに出力しました。

**KAVV216-I**

JP1/AJS2 - View was started. (Version: (バージョン), OS user name: (OSユーザー名))  
JP1/AJS2 - Viewを起動しました。(バージョン: (バージョン), OSユーザー名: (OSユーザー名))

JP1/AJS2 - View を起動したことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 - View を起動したことをログに出力しました。

**KAVV217-I**

JP1/AJS2 - View was stopped.  
JP1/AJS2 - Viewを終了しました。

JP1/AJS2 - View を終了したことをログに出力しました。

(S)

JP1/AJS2 - View を終了したことをログに出力しました。

**KAVV218-I**

CONNECT [ F (接続先IPアドレス, 接続先ポート番号) L (接続元IPアドレス, 接続元ポート番号) ]

JP1/AJS2 - Manager との接続に成功したことを通知するメッセージです。

(S)

[ F「接続先 IP アドレス, 接続先ポート番号」L「接続元 IP アドレス, 接続元ポート番号」] で接続に成功したことをログに出力しました。

**KAVV219-I**

SEND: (データ0) (データ1) (データ2) (データ3) (データ4)

JP1/AJS2 - Manager ヘデータを送信したことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 - Manager ヘデータを送信したことをログに出力しました。

**KAVV220-I**

RECV: (データ0) (データ1) (データ2) (データ3) (データ4)

JP1/AJS2 - Manager からデータを受信したことを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 - Manager からデータを受信したことをログに出力しました。

**KAVV221-I**

CLOSE [ F (接続先IPアドレス, 接続先ポート番号) L (接続元IPアドレス, 接続元ポート番号) ]

JP1/AJS2 - Manager との接続をクローズしたことを通知するメッセージです。

(S)

[ F「接続先 IP アドレス, 接続先ポート番号」L「接続元 IP アドレス, 接続元ポート番号」] の接続をクローズしたことをログに出力しました。

### KAVV222-W

CLOSE ERR (保守情報) [ F (接続先IPアドレス, 接続先ポート番号) L (接続元IPアドレス, 接続元ポート番号) ]

JP1/AJS2 - Manager との接続のクローズに失敗したことを通知するメッセージです。

- (S)
- [ F 「接続先 IP アドレス, 接続先ポート番号」 L 「接続元 IP アドレス, 接続元ポート番号」 ] のクローズに失敗したことを, ログに出力しました。

### KAVV223-W

WARNNIG : 保守情報

続行できるエラーが発生したことを通知するメッセージです

- (S)
- 続行できるエラーが発生したことを, ログに出力しました。

### KAVV224-E

MANAGER\_ERR : 保守情報 / 保守情報

JP1/AJS2 - Manager からエラー応答があったときに, その詳細を通知するメッセージです。

- (S)
- JP1/AJS2 - Manager のエラー応答の詳細を, ログに出力しました。

### KAVV225-E

The session token could not be released. (保守情報: 保守情報)  
セッショントークンの解放に失敗しました。(保守情報: 保守情報)

ログイン情報の解放処理に失敗したことを通知するメッセージです。

- (S)
- ログイン情報の解放処理に失敗したことを, ログに出力しました。
- (O)
- このメッセージは内部ログであるため, 対処は不要です。

### KAVV226-E

SESSION\_ERR : 保守情報 / 保守情報 / 保守情報

接続先からエラー応答があったときに, その詳細を通知するメッセージです。

- (S)
- 接続先のエラー応答の詳細を, ログに出力しました。

(O)

このメッセージは内部ログであるため, 対処は不要です。

### KAVV227-I

REQ\_START : (データ0)

JP1/AJS2 - Manager への要求送信処理を開始したことを通知するメッセージです。

- (S)
- JP1/AJS2 - Manager への要求送信処理を開始したことをログに出力しました。

### KAVV228-I

REQ\_END : (データ0)

JP1/AJS2 - View から, JP1/AJS2 - Manager への要求が正常に実行されたことを通知するメッセージです。

- (S)
- JP1/AJS2 - Manager から正常な応答が帰り, JP1/AJS2 - View から JP1/AJS2 - Manager への要求が正常に実行されたことをログに出力しました。

### KAVV229-E

The registry could not be read. (保守情報)  
レジストリの読み込みに失敗しました。(保守情報)

Windows のレジストリーの読み込みに失敗したことを通知するメッセージです。

- (S)
- レジストリーの読み込みに失敗したことをログに出力しました。レジストリーで設定されている通信オプションはデフォルトを仮定して動作します。
- (O)
- メモリー不足のおそれがあります。設定値を反映した場合は不要なアプリケーションを終了させて, JP1/AJS2 - View を再起動してください。解決できない場合は, JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

### KAVV230-E

The communication options could not be acquired.  
通信オプションの取得に失敗しました。

通信オプションの読み込みに失敗したことを通知するメッセージです。

- (S)
- 通信オプションの読み込みに失敗したことを, ログに出力しました。デフォルトを仮定して処理を続行します。
- (O)
- JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられ



ます。修復インストールしてください。

### KAVV231-I

Communication options (receive timeout value: (設定値1)ms, receive retry count: (設定値2), connect retry count: (設定値3), connect interval value: (設定値4)ms)  
 設定した通信オプション { レシーブタイムアウト値: (設定値1) ms レシーブリトライ回数: (設定値2) コネクトリトライ回数: (設定値3) コネクトインターバル値: (設定値4) ms } }

現在設定されている JP1/AJS2 - View の通信オプション値を通知するメッセージです。

(S)

現在設定されている JP1/AJS2 - View の通信オプション値をログに出力しました。

### KAVV232-W

An invalid value is specified in the communication options. ((名前): (値))  
 通信オプションに不正な値が設定されていました。(名前: 値)

「名前」に指定された「値」が不正な値であることを通知するメッセージです。

(S)

不正な値が指定されていることを、ログに出力しました。  
 この場合は、デフォルト値を使用して処理を続行します。

### KAVV233-I

SDUMP: (データ0)

送信データを通知するメッセージです。

(S)

送信データをログに出力しました。

### KAVV234-I

RDUMP: (データ0)

受信データを通知するメッセージです。

(S)

受信データをログに出力しました。

### KAVV235-I

THROW CLIENT\_EXCEPTION ((例外名))

通信エラーや JP1/AJS2 - Manager からエラーが発生したなどの理由で、JP1/AJS2 - View から JP1/AJS2 - Manager への要求が実行されなかったことを通知するメッセージです。

(S)

通信エラーや JP1/AJS2 - Manager からエラーが発生したなどの理由で、JP1/AJS2 - View から JP1/AJS2 - Manager への要求が実行されなかったことをログに出力しました。

### KAVV236-I

There are no execution result details.

実行結果詳細はありません。

実行結果詳細を参照しようとしたましたが、結果が出力されていません。

ジョブの標準エラー出力が出力されていないか、または標準エラー出力ファイルの転送に失敗したおそれがあります。

(S)

実行結果詳細を参照しようとしたましたが、結果が出力されていないことを通知しました。

(O)

ジョブの標準エラー出力が出力されていないか、または標準エラー出力ファイルの転送に失敗していないかを確認してください。

### KAVV237-I

An error occurred when updating. The window display might differ from the actual status.

更新時にエラーが発生しました。画面表示と実際の状態が一致しない可能性があります。

[ジョブネットモニタ] ウィンドウや [ジョブネットエディタ] ウィンドウの更新処理中にエラーが発生したために、現在表示している内容と実際の状態が一致しない場合があることを通知するメッセージです。

(S)

[ジョブネットモニタ] ウィンドウや [ジョブネットエディタ] ウィンドウの更新処理中にエラーが発生したために、現在表示している内容と実際の状態が一致しない場合があることを通知しました。

(O)

[最新情報に更新] を選択し、実行した更新処理がどこまで反映されているかを確認してください。

### KAVV238-I

ER\_SDUMP: (データ0)

JP1/AJS2 - Manager でエラーが発生したときや、通信エラーが発生したときなどに、送信したデータを通知するメッセージです。

(S)

JP1/AJS2 - Manager でエラーが発生したときや、通信エラーが発生したときなどに送信したデータをログに出力しました。

#### KAVV240-I

ER\_RDUMP: (データ0)

通信エラーが発生した場合などに、途中まで受信したデータを通知するメッセージです。

- (S) 通信エラーが発生した場合などに、途中まで受信したデータをログに出力しました。

#### KAVV241-E

ENCODE\_ERR: 文字コード: 保守情報

サポートしていない文字コードが指定されているため、データを文字列に変換できなかったことを通知するメッセージです。

- (S) サポートしていない文字コードが指定されているため、データを文字列に変換できなかったことをログに出力しました。

#### KAVV242-E

CONNECT\_ERR (保守情報 / 保守情報) [L (接続元IPアドレス, 接続元ポート番号) F (接続先IPアドレス, 接続先ポート番号)]

接続時にエラーになったことや、接続の途中で接続が切断されたことを通知するメッセージです。ただし、接続時にエラーの場合は、L「接続元 IP アドレス, 接続元ポート番号」は表示されません。

- (S) 接続に失敗したことを、ログに出力しました。
- (O) このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

#### KAVV243-E

SEND\_ERR (保守情報 / 保守情報) [L (接続元IPアドレス, 接続元ポート番号) F (接続先IPアドレス, 接続先ポート番号)]

データの送信に失敗したことを通知するメッセージです。

- (S) データの送信に失敗したことをログに出力しました。
- (O) このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

#### KAVV244-E

RECV\_ERR (保守情報 / 保守情報) [L (接続元IPアドレス, 接続元ポート番号) F (接続先IPアドレス, 接続先ポート番号)]

データの受信に失敗したことを通知するメッセージです。

- (S) データの受信に失敗したことをログに出力しました。

- (O) このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

#### KAVV245-I

NETMONITOR\_START

コネクションの監視を開始したことを通知するメッセージです。

- (S) コネクションの監視を開始したことをログに出力しました。

#### KAVV246-E

NETMONITOR\_ERR (保守情報: 保守情報: 保守情報)

コネクションの監視中に、エラーが発生したことを通知するメッセージです。

- (S) コネクションの監視中に、エラーが発生したことをログに出力しました。

- (O) このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

#### KAVV247-I

NETMONITOR\_STOP

コネクションの監視を終了したことを通知するメッセージです。

- (S) コネクションの監視を終了したことをログに出力しました。

#### KAVV248-I

(個数) units were selected.

(個数) 個のユニットが選択されました。

選択されたユニットの数を通知するメッセージです。

- (S) 複数ユニット操作時に選択されたユニットの数をログに出力しました。

#### KAVV249-E

The編集内容 attempt for (定義情報種別) (ユニット完全名またはユニット名) failed.

(定義情報種別) (ユニット完全名またはユニット名) の (編集内容) に失敗しました。

選択されたユニットの操作に失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

複数ユニット操作時に操作に失敗したことをログに出  
力しました。

(O)

複数ユニットの操作時に失敗した場合は、[ 複数処理  
結果 ] ダイアログボックスが表示されますので、個々  
のエラーの内容について確認してください。

**KAVV250-E**

No reference destination host is set, or the execution  
manager is unknown.

参照先ホストが設定されていない、または実行マネージャ  
が不明です。

マネージャジョブグループまたはマネージャジョブ  
ネットで参照先ホストが設定されていないので、参照先の  
ユニットが表示できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

対象となるマネージャジョブグループ、またはマ  
ネージャジョブネットの定義で [ 参照先ホスト ] を  
正しく設定してください。

**KAVV251-E**

No reference destination unit name is set.

参照先ユニット名が設定されていません。

マネージャジョブグループまたはマネージャジョブ  
ネットで参照先ユニット名が設定されていないので、参照  
先のユニットが表示できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

対象となるマネージャジョブグループ、またはマ  
ネージャジョブネットの定義で [ 参照先ユニット  
名 ] を正しく設定してください。

**KAVV252-E**

Reference destination unit name is invalid.

参照先ユニット名が不正です。

マネージャジョブグループまたはマネージャジョブ  
ネットで参照先ユニット名の指定に誤りがあるので、参照  
先のユニットが表示できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

対象となるマネージャジョブグループ、またはマ  
ネージャジョブネットの定義で [ 参照先ユニット  
名 ] を、正しく設定してください。[ 参照先ユニット  
名 ] にはスケジューラサービス名付きのユニット完  
全名を指定してください。

**KAVV253-E**

An unrecoverable unit exists.

回復していないユニットが存在します。

回復できないユニットがあります。次の原因が考えられま  
す。

- 回復先が [ 退避時と同じ位置 ] の場合、ユニットの階層  
構造が退避時と異なる。
- 回復先がマネージャジョブグループ、またはマネー  
ジャジョブネットである。
- 起動条件の下にイベントジョブ以外のユニットを回復し  
た。

(S)

処理を中断します。

(O)

回復先の指定を見直してください。  
回復先が起動条件の場合は [ 回復 ] ダイアログボック  
スで [ 退避ファイル ] の [ 種別 ] が「イベント」に  
なっているものだけを [ 回復の対象 ] に追加してくだ  
さい。

**KAVV254-E**

A recovery unit must be followed by another recovery  
unit.

リカバリユニットの後続は、リカバリユニットである必要  
があります。

リカバリユニットの後続に、リカバリではないユニッ  
トを定義しようとした。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 種別 ] の設定を [ リカバリ ] に戻してください。

**KAVV255-E**

This operation cannot be performed on the manager  
jobnet.

マネージャジョブネットにこの操作はできません。

マネージャジョブネットにはできない操作が行われまし  
た。

(S)

処理を中断します。

(O)

マネージャジョブネットの参照先ジョブネットに対  
して再度操作してください。

**KAVV256-E**

A schedule cannot be defined in the manager jobnet.

マネージャジョブネットにスケジュールは定義できませ  
ん。

マネージャジョブネットに、スケジュール情報を定義し  
ようとした。

## KAVV257-E ~ KAVV263-E

(S)

処理を中断します。

(O)

マネージャージョブネットの参照先ジョブネットに、スケジュール情報を定義してください。

### KAVV257-E

The specified (Job Group | Jobnet | Unit) was not found. (ユニット名)

指定された (ジョブグループ | ジョブネット | ユニット) が見つかりません。 (ユニット名)

処理対象のユニットが見つからないかユニット種別が不正であるために処理できませんでした。次の原因が考えられます。

マネージャージョブネットを表示した場合

- 指定したユニットがない。
- 指定したユニットがルートジョブネットでない (リモートルートジョブネットも不可)。

マネージャージョブグループを表示した場合

- 指定したユニットがない。
- 指定したユニットがジョブグループでない。

状態記憶の復帰時

- [ JP1/AJS2 - View ] ウィンドウで状態記憶時に表示していたツリーエリアで選択していたジョブグループがない。

ajs コマンド起動時

- n オプションで指定したユニットがない。

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーの原因を取り除いてください。  
状態記憶されている場合は、JP1/AJS2 - View ウィンドウで [ オプション ] - [ 状態記憶 ] - [ 取り消し ] を行うか、再度状態記憶を行ってください。

### KAVV258-I

(ダイアログ名) was opened.

「 (ダイアログ名) 」ダイアログを開きました。

「ダイアログ名」ダイアログボックスを開いたことを通知するメッセージです。

(S)

「ダイアログ名」ダイアログボックスを開いたことをログに出力しました。

### KAVV259-I

(ダイアログ名) was closed.

「 (ダイアログ名) 」ダイアログを閉じました。

「ダイアログ名」ダイアログボックスを閉じたことを通知するメッセージです。

(S)

「ダイアログ名」ダイアログボックスを閉じたことをログに出力しました。

### KAVV261-E

Enter a job group name with up to 930 bytes, including the complete name of the upper unit.

ジョブグループ名には、上位ユニットの完全名を付加した上で930バイト以内になるように入力してください。

カレンダー参照先ジョブグループに指定されたジョブグループ名称が長過ぎます。

(S)

処理を中断します。

(O)

カレンダー参照先ジョブグループ名には、上位ユニットの完全名を付加した上で 930 バイト以内になるように入力してください。

### KAVV262-E

An invalid unit is specified.

不正なユニットが指定されました。

処理対象のユニット種別が不正であるために処理できませんでした。次の原因が考えられます。

状態記憶の復帰時

- 状態記憶時に記憶していたユニットが削除され同一名称で異なるユニット種別のユニットが作成されている。

ajs コマンド起動時

- n オプションで指定したユニットがジョブまたはジョブネットでない。
- n オプションで指定したユニットがマネージャージョブネットである。

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーの原因を取り除いてください。  
状態記憶されている場合は、JP1/AJS2 - View ウィンドウで [ オプション ] - [ 状態記憶 ] - [ 取り消し ] を行うか、再度状態記憶を行ってください。

### KAVV263-E

This operation cannot be executed because the execution ID cannot be acquired.

実行IDが取得できないため、この操作は実行できません。

ジョブネットが登録解除されたなどの理由によって、最新の状態、または最新の結果の実行 ID が取得できないため、指定された操作は実行できません。

(S)

処理を中断します。

- (O)  
ジョブネットが、実行登録されているかどうか確認してください。

#### KAVV264-I

There is a canceled operation because an error occurred.  
エラーが発生したため、実行されなかった操作があります。

指定された操作を実行する前に、ほかの処理でエラーが発生したため、実行されなかった操作があります。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
[ 最新情報に更新 ] を実行したあと、再操作をしてください。

#### KAVV265-E

A start condition cannot be set in the remote jobnet.  
リモートジョブネットに起動条件は設定できません。

リモートジョブネットには、起動条件を設定できません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
リモートジョブネットには、起動条件を設定しないでください。

#### KAVV266-E

You cannot use the current login information to connect.  
Log in again.  
現在のログイン情報では接続できません。再ログインしてください。

認証サーバが再起動されたか、現在の JP1/AJS2 - View を起動した View がログアウトしたため、現在のログイン情報が無効になり、接続先と接続できなくなりました。

- (S)  
処理を中断し、[ ログイン ] 画面を表示します。
- (O)  
再ログインしてください。ただし、直前の操作は取り消されますので、ログイン後は同じ操作を繰り返してください。

#### KAVV267-E

An application required for this operation is not installed.  
この操作に必要なアプリケーションがインストールされていません。

必要なアプリケーションがインストールされていなかったため、選択した操作を実行できません。

- (S)  
処理を中断して、参照モードに戻ります。

処理を中断します。

- (O)  
必要なアプリケーションをインストールしたあと、JP1/AJS2 - View を再起動してください。

#### KAVV268-E

An application required for this operation is unavailable.  
この操作に必要なアプリケーションが使用できる状態ではありません。

この操作に必要なアプリケーションがインストールされていますが、使用できる状態ではありません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
接続先で JP1/AJS2 - Manager for Mainframe がインストールされているか、また、正しくセットアップされているかを確認してください。

#### KAVV269-E

This operation cannot be executed for (ユニット種別).  
(ユニット種別) にこの操作はできません。

ホストリンクジョブネットまたはホストサービス、ホストシステム ID に対してできない操作を行おうとしました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
ホストリンクジョブネットまたはホストサービス、ホストシステム ID 以外のユニットを選択して、再度操作してください。

#### KAVV270-E

Select a (ユニット種別).  
(ユニット種別) を選択してください。

指定されたユニットは、この操作に使用できません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
操作対象として正しいユニットを選択してください。

#### KAVV271-E

To edit exclusively, you must cancel the registration or be in the suspended state.  
排他編集を行うには、登録解除するかサスペンド状態にしてください。

ジョブネットが実行登録中であるため、排他編集モードにできません。

- (S)  
処理を中断して、参照モードに戻ります。

## KAVV272-E ~ KAVV280-E

(O)

排他編集モードにするには、ルートジョブネットに対して [ 登録解除 ], または [ サスペンド実行 ] を選択してください。

### KAVV272-E

This operation cannot be executed for (ユニット種別) in the suspended state.  
サスペンド状態であるため、(ユニット種別) にこの操作はできません。

指定したユニット種別のユニットに対して、サスペンド状態ではできない操作がされました。

(S)

処理を中断します。

(O)

「ユニット種別」以外のユニットを選択して操作してください。

### KAVV273-E

This operation cannot be executed in the suspended state.  
サスペンド状態であるため、この操作はできません。

サスペンド状態ではできない操作がされました。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ JP1/AJS2 - View ] ウィンドウで、ルートジョブネットの状態を確認してください。[ 最新情報に更新 ] をすることを、お勧めします。

### KAVV274-E

The specification with a regular expression is incorrect.  
正規表現での指定に誤りがあります。

正規表現での指定に誤りがあるため、検索処理を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

検索名を正規表現で指定する場合、文字列の末尾を '¥' で指定しないでください。

### KAVV275-I

Search results exceeded the max. displayable number, so some search results are not displayed.  
検索結果が最大表示数を超えたため、表示できない結果があります。

検索結果が最大表示数を超えたため、表示していない検索結果があることを通知するメッセージです。

(S)

検索結果が最大表示数を超えたため、表示していない検索結果があることを通知しました。

### KAVV276-I

No unit satisfies the search condition.

検索条件を満たすユニットがありませんでした。

検索条件を満たすユニットがないことを通知するメッセージです。

(S)

検索条件を満たすユニットがないことを通知しました。

### KAVV277-E

The specified unit does not exist, so it is not selected.

指定されたユニットが存在しないため、正しく選択表示されません。

指定されたユニットが JP1/AJS2 - View 上にないため、正しく選択表示されません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 - View と JP1/AJS2 - Manager で保持しているユニット情報が、異なっているおそれがあります。[ 最新情報に更新 ] を実行することをお勧めします。

### KAVV279-E

From the execution results list, select the schedule to be displayed.

実行一覧から表示する予定を選択してください。

実行一覧で操作対象となる世代が選択されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

実行結果リストから表示する世代を選択してください。

### KAVV280-E

You cannot define a hostlink jobnet under a remote jobnet.

リモートジョブネットの下にはホストリンクジョブネットを定義できません。

リモートジョブネットの下階層には、ホストリンクジョブネットを定義できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

リモートジョブネットの下階層に、ホストリンクジョブネットを定義しないでください。

**KAVV281-E**

A hostlink jobnet must not be followed by a recovery unit.  
ホストリンクジョブネットの後続は、リカバリユニットにできません。

ホストリンクジョブネットの後続ユニットは、リカバリユニットにできません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
ホストリンクジョブネットの後続ユニットは、リカバリユニットにしないでください。

**KAVV282-E**

An attempt to read the file (ファイル名) failed.  
ファイル (ファイル名) の読み込みに失敗しました。

「ファイル名」の読み込みに失敗しました。

- (S)  
JP1/AJS2 - View for Mainframe を使用しないで、  
JP1/AJS2 - View を起動します。
- (O)  
JP1/AJS2 - View for Mainframe が正しくインストールされているか、「ファイル名」のファイルに読み込み権限があるか確認してください。

**KAVV283-E**

An attempt to create an add-in application (formview) failed.  
アドインアプリケーション (formview) の作成に失敗しました。

JP1/AJS2 - View for Mainframe の起動に失敗しました。

- (S)  
JP1/AJS2 - View for Mainframe を使用しないで、  
JP1/AJS2 - View を起動します。
- (O)  
JP1/AJS2 - View for Mainframe が正しくインストールされているか確認してください。

**KAVV284-E**

The specified unit is now being created or deleted.  
指定したユニットは作成中または削除中です。

指定したユニットは、作成中、または削除中です。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
ウィンドウ起動時にこのメッセージが表示された場合は、しばらく時間を空けてから、再度ウィンドウを起動してください。

また、[ JP1/AJS2 - View ] ウィンドウや [ ジョブネットエディタ ] ウィンドウ、[ ジョブネットモニタ ] ウィンドウのツリーエリアで、ユニットを選択したときにこのメッセージが表示された場合は、しばらく時間を空けてから再度ユニットを選択してください。

**KAVV285-E**

The (行数) line of the settings file (ファイル名) is incorrect.

設定ファイル (ファイル名) の (行数) 行目に誤りがあります。

壁紙設定の管理ファイルに誤りがあります。

- (S)  
誤りがあった行の設定を無視して処理を継続します。  
管理ファイルで最初に検出された誤りに対してはエラーメッセージダイアログボックスでエラーを通知します。それ以降の誤りに対してはログに出力します。
- (O)  
マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 13.4.6 [ 壁紙の設定 ] ダイアログボックス」を参照し、壁紙設定の管理ファイルで誤りのある行を訂正してください。

**KAVV286-E**

The specified file ((ファイル名)) was not found.

指定されたファイル ( (ファイル名) ) が見つかりません。

[ 壁紙の設定 ] ダイアログボックスで、プレビュー表示しようとしたが、壁紙のイメージとして指定されたファイルが見つからないので、プレビュー表示できません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
指定したファイルがあるかを確認してください。

**KAVV287-E**

The number of data items in the settings file (ファイル名) exceeded 10,000 so registration failed.

設定ファイル (ファイル名) 内のデータ件数が10,000件を超えたため、設定を登録できません。

壁紙の設定件数が 10,000 件を超えたため、登録できません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
10,000 件以内で壁紙の設定を登録してください。

### KAVV288-E

The backup box could not be created, so backup is not possible.

退避ボックスの作成に失敗したため、退避できませんでした。

退避ボックスの作成に失敗したため、ユニットを退避できません。次の原因が考えられます。

- 接続先で JP1 ユーザーにマッピングされた OS ユーザーが退避情報ディレクトリに対する書き込み権限がない。
- 接続先で退避情報ディレクトリがあるディスクに退避ボックスを作成する容量がない。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
エラーの原因を取り除いたあと、再度退避してください。

### KAVV289-E

The backup box cannot be accessed, so backup is not possible.

退避ボックスにアクセスできないため、退避できません。

退避ボックスにアクセスできないためユニットを退避できません。次の原因が考えられます。

- 接続先で退避情報ディレクトリがない。
- 接続先で JP1 ユーザーにマッピングされた OS ユーザーが退避情報ディレクトリにアクセスする権限がない。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
エラーの原因を取り除いたあと、再度退避してください。

### KAVV290-E

An unexpected error occurred in start processing.

(Detailed information: 保守情報, 保守情報)

起動処理中に予期しないエラーが発生しました。(詳細情報: 保守情報, 保守情報)

JP1/AJS2 - View の起動処理中に予期しないエラーが発生しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
メモリー不足、またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了したあと、JP1/AJS2 - View を再起動してください。  
解決できない場合は、JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

### KAVV291-E

Failed to start JP1/AJS2 - View. (Detailed information: 保守情報)

JP1/AJS2 - View の起動に失敗しました。(詳細情報: 保守情報)

JP1/AJS2 - View の起動に失敗しました。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
メモリー不足、またはディスクの空き容量不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了したあと、JP1/AJS2 - View を再起動してください。  
ドライブ直下にインストールしないでください。  
解決できない場合は、JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

### KAVV293-E

JP1/AJS2 - View is installed in an invalid folder.

不正なフォルダにインストールされています。

起動された JP1/AJS2 - View が正しいフォルダにインストールされていません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
JP1/AJS2 - View の起動ファイル (ajs.exe) が、次のフォルダにあることを確認してください。  
JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ ¥bin

### KAVV295-E

An option specified in ajs2.conf is too long.

ajs2.conf で指定されたオプションが長すぎます。

ajs2.conf の jreparam に指定されたオプションが長過ぎるため、JP1/AJS2 - View が起動できません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
ajs2.conf.model と比較し、不要なオプションが、指定されていないか確認してください。

### KAVV296-E

The command line parameter is too long.

コマンドラインパラメータが長すぎます。

ajs コマンドに指定したコマンドラインパラメータが長過ぎるため、JP1/AJS2 - View が起動できません。

(S)  
処理を中断します。



(O)

正しくコマンドラインパラメーターを指定したあと、JP1/AJS2 - View を再起動してください。

**KAVV304-E**

The specified operation cannot be performed for the unit under the Operation Net scheduler service.

オペレーションネット用スケジューラサービス配下のユニットに対して、指定された操作はできません。

オペレーションネット用スケジューラサービス配下のユニットに対して許可されていない操作をしました。

(S)

処理を中断します。

(O)

オペレーションネット用スケジューラサービス配下のユニットに対して許可されていない操作をしないでください。

**KAVV305-E**

The version of JP1/AJS2 - View for Mainframe is not compatible.

JP1/AJS2 - View for Mainframeのバージョンが対応していません。

JP1/AJS2 - View for Mainframe のバージョンが対応していないため、指定された操作はできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 - View に対応しているバージョンの JP1/AJS2 - View for Mainframe をインストール後、再度操作してください。

**KAVV307-Q**

Are you sure you want to release the changes in selected (個数) units?

選択された (個数) 個のユニットの変更を解除します。よろしいですか？

複数ユニットの一時変更を解除するかどうかを確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

変更解除する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

**KAVV308-Q**

Are you sure you want to delete the (ユニット名)? (ユニット名) を削除します。よろしいですか？

ユニットを削除するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

削除する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] をクリックしてください。

**KAVV309-Q**

Are you sure you want to cancel the registration of the (ユニット名)?

(ユニット名) を登録解除します。よろしいですか？

ユニットの登録を解除するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

解除する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] をクリックしてください。

**KAVV310-Q**

An attempt to (操作名) (ユニット名) failed. Are you sure you want to continue?

(ユニット名) の (操作名) に失敗しました。このまま処理を続行しますか？

複数ユニットの処理に失敗しました。このまま処理を続行するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

処理を続行する場合 [ はい ] を、処理を続行して今後このメッセージを表示しない場合は [ すべてはい ] を、処理を中断する場合は [ いいえ ] を選択してください。

**KAVV311-Q**

Are you sure you want to cancel the registration of the selected (個数) units?

選択された (個数) 個のユニットを登録解除します。よろしいですか？

複数ユニットの登録を解除するかどうか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

登録解除を行う場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

**KAVV312-Q**

Are you sure you want to prohibit execution of the selected (個数) units?

選択された (個数) 個のユニットを実行中止します。よろしいですか？

## KAVV313-Q ~ KAVV320-Q

複数ユニットの実行を中止するかどうか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

実行を中止する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

### KAVV313-Q

Are you sure you want to set the hold attribute for the selected (個数) units?

選択された (個数) 個のユニットの保留属性を設定します。よろしいですか？

複数ユニットの保留属性を設定するかどうか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

保留属性を設定する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

### KAVV314-Q

Are you sure you want to release the selected (個数) units?

選択された (個数) 個のユニットを保留解除します。よろしいですか？

複数ユニットを保留解除するかどうか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

保留解除する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

### KAVV315-Q

Are you sure you want to forcibly end the selected (個数) units?

選択された (個数) 個のユニットを強制終了します。よろしいですか？

複数ユニットを強制終了するかどうか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

強制終了する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

### KAVV316-Q

Are you sure you want to interrupt the selected (個数) units?

選択された (個数) 個のユニットを中断します。よろしいですか？

複数ユニットを中断するかどうか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

中断する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

### KAVV317-E

The operation is not possible for the specified status or result.

指定された状態または結果に対して操作できません。

指定された世代 (状態, 結果) が操作対象のジョブネットにないため、操作できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

状態または結果を指定する前には, [ JP1/AJS2 - View ] ウィンドウで対応する世代に対する状態が表示されていることを確認してください。

### KAVV318-Q

Are you sure you want to prohibit execution of (ユニット名) (実行ID)?

(ユニット名) (実行ID) を実行中止します。よろしいですか？

ユニットの実行を中止するかどうか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

実行を中止する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] をクリックしてください。

### KAVV319-Q

Are you sure you want to release the changes in (ユニット名) (実行ID)?

(ユニット名) (実行ID) の変更を解除します。よろしいですか？

ユニットの予定一時変更の解除を確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

解除する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] をクリックしてください。

### KAVV320-Q

Are you sure you want to set the hold attribute for (ユニット名) (実行ID)?

(ユニット名) (実行ID) の保留属性を設定します。よろしいですか？

ユニットの保留属性を設定するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

保留を設定する場合は[ はい ]を、取り消す場合は  
[ いいえ ]をクリックしてください。

#### KAVV321-Q

Are you sure you want to release (ユニット名)(実行ID)?  
(ユニット名) (実行ID)を保留解除します。よろしいで  
すか?

ユニットの保留を解除するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

保留解除をする場合は[ はい ]を、取り消す場合は  
[ いいえ ]をクリックしてください。

#### KAVV322-Q

Are you sure you want to interrupt (ジョブネット名)(実行  
ID)?  
(ジョブネット名) (実行ID)を中断します。よろしいで  
すか?

ジョブネットを中断するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

中断する場合は[ はい ]を、取り消す場合は[ いい  
え ]をクリックしてください。

#### KAVV323-Q

Are you sure you want to forcibly end (ユニット名)(実行  
ID)?  
(ユニット名) (実行ID)を強制終了します。よろしいで  
すか?

ユニットを強制終了するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

強制終了する場合は[ はい ]を、取り消す場合は[ いい  
え ]をクリックしてください。

#### KAVV324-Q

Are you sure you want to delete the schedule rule (ルール  
番号)?  
スケジュールルール (ルール番号)を削除します。よろし  
いですか?

スケジュールルールを削除するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

削除する場合は[ はい ]を、取り消す場合は[ いい  
え ]をクリックしてください。

#### KAVV325-Q

Are you sure you want to save the window status?  
ウィンドウの状態を記憶します。よろしいですか?

ウィンドウ状態を記憶するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

状態記憶をする場合は[ はい ]を、取り消す場合は  
[ いいえ ]をクリックしてください。

#### KAVV326-Q

Are you sure you want to clear the saved status?  
状態記憶を取り消します。よろしいですか?

ウィンドウ状態の状態記憶を取り消すか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

取り消しをする場合は[ はい ]を、取り消す場合は  
[ いいえ ]をクリックしてください。

#### KAVV327-Q

Are you sure you want to delete the (ユニット名)?  
(ユニット名)を削除します。よろしいですか?

[ ジョブネットエディタ ] ウィンドウでユニットを削除す  
るか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

削除する場合は[ はい ]を、取り消す場合は[ いい  
え ]をクリックしてください。

#### KAVV328-Q

Are you sure you want to delete the selected (個数) units?  
選択された (個数) 個のユニットを削除します。よろしい  
ですか?

ユニットを削除するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

削除する場合は[ はい ]を、取り消す場合は[ いい  
え ]をクリックしてください。

### KAVV329-Q

This operation can be done only during exclusive editing. Are you sure you want to edit exclusively?

この操作は排他編集集中でないと実行できません。排他編集を行いますか？

排他編集モードにするか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

排他編集する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] をクリックしてください。

### KAVV330-Q

To delete the start condition, the root jobnet in the exclusive-editing status must be displayed in the map area. Are you sure you want to continue?

起動条件を削除するには、排他編集状態でマップエリアにルートジョブネットを表示する必要があります。続行しますか？

起動条件を削除するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

削除する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] をクリックしてください。

### KAVV332-Q

The calendar has been changed. Are you sure you want to save it?

カレンダーが変更されています。保存しますか？

カレンダーでの定義情報を保存するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

保存する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] をクリックしてください。

### KAVV333-Q

To create a start condition, the root jobnet in the exclusive-editing status must be displayed in the map area. Are you sure you want to continue?

起動条件を新規作成するには、排他編集状態でマップエリアにルートジョブネットを表示する必要があります。続行しますか？

起動条件を新規作成するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

起動条件を作成する場合は [ はい ] を、取り消す場合

は [ いいえ ] をクリックしてください。

### KAVV334-Q

Are you sure you want to log out?

終了（ログアウト）してもよろしいですか？

JP1/AJS2 - View を終了するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

終了する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] をクリックしてください。

### KAVV335-Q

Closing the windows makes you log out. Are you sure you want to log out?

このウィンドウを閉じると終了（ログアウト）します。よろしいですか？

JP1/AJS2 - View を終了するか、終了しないかを確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

終了する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] をクリックしてください。

### KAVV336-Q

The connection with the Manager was severed. Do you want to re-connect?

マネージャーとの接続が切れています。再接続を行いますか？

マネージャーと再接続するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

再接続する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] をクリックしてください。

### KAVV337-Q

Another user changed the schedule while you were editing it. Are you sure you want to save the edited settings?

編集中に他のユーザーからスケジュールの設定が変更されています。このまま、編集した設定を保存してもよろしいですか？

スケジュール情報を上書きするか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

上書きする場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ]

え]をクリックしてください。

#### KAVV338-Q

Registration cannot be executed because the specified job group does not exist or you are not authorized to register it. Are you sure you want to define the schedule?

指定されたジョブグループは存在しないか、または権限がありません。このままでは実行登録できませんが、スケジュールを設定してもよろしいですか？

スケジュール情報を設定するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

設定する場合は[はい]を、取り消す場合は[いいえ]をクリックしてください。

#### KAVV339-Q

The changed data will be lost. Are you sure you want to save it?

変更されたデータが失われます。保存しますか？

カレンダー情報を保存するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

保存する場合は[はい]を、保存しない場合は[いいえ]をクリックしてください。

#### KAVV340-Q

Copying the schedule of an upper jobnet to a lower jobnet will delete the existing schedule (if any) of the lower jobnet. Are you sure you want to copy?

上位ジョブネットからスケジュールの設定をコピーします。既にコピー先のジョブネットにスケジュールが設定してある場合、その設定は失われます。よろしいですか？

上位ジョブネットから、スケジュール情報をコピーする場合、すでにあるスケジュール情報に上書きするか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

コピーする場合は[はい]を、取り消す場合は[いいえ]をクリックしてください。

#### KAVV341-Q

You specified "All" for a start point or end point. Are you sure you want to define?

開始点または終了点に全体が指定されていますがよろしいですか？

ホストリンクジョブネットの開始点、または終了点に[全体]を指定するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

そのまま保存する場合は[はい]を、取り消す場合は[いいえ]をクリックしてください。

#### KAVV344-Q

The search might take a long time. Are you sure you want to search?

検索処理に時間がかかる可能性があります。よろしいですか？

下位のユニットを検索したり、検索名を考慮しないで検索したりするか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

そのまま検索する場合は[はい]を、取り消す場合は[いいえ]をクリックしてください。

#### KAVV350-E

When you register for execution a jobnet that is directly under a planning group, you can only perform fixed registration specified with a fixed schedule period.

プランニンググループ直下のジョブネットを実行登録する場合、確定期間を指定した確定登録のみが可能です。

プランニンググループの直下のジョブネットに対しては、計画登録、即時登録ができません。また、未来世代数を指定して確定登録することはできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

プランニンググループの直下のジョブネットに対しては、確定期間を指定して確定登録してください。

#### KAVV351-E

When you add a planning group or a jobnet that is directly under a planning group to a schedule, you can only perform fixed registration specified with a fixed schedule period.

プランニンググループおよびプランニンググループ直下のジョブネットに予定を追加する場合、確定期間を指定した確定登録のみが可能です。

プランニンググループおよびプランニンググループの直下のジョブネットには、予定を追加できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

予定を追加する場合は、対象となるプランニンググループ直下のジョブネットに対して、次の操作を行ってください。

既存のスケジュールに基づき予定を追加する場合

## KAVV352-E ~ KAVV358-E

新しい期間を指定して確定実行登録を行ってください。

既存のスケジュールとは別に単発的に予定を追加する場合  
計画一時変更で次回予定を追加してください。  
なお、この場合追加した予定に対する変更解除はできません。変更解除する場合は実行中止をしてください。

### KAVV352-E

Today is shown because the specified date (日付) cannot be shown.

表示できない日付 (日付) のため、今日を表示します。

[ デイリースケジュール ] ウィンドウ、または [ マンスリースケジュール ] ウィンドウに表示できない日付を指定しました。

- (S) 処理を継続します。表示日を今日と仮定して、表示します。
- (O) このウィンドウの表示元のウィンドウで 1994 年 ~ 2036 年の期間以外の日付を表示していないかどうかを確認してください。

### KAVV353-E

Directly under a planning group, you can only create a jobnet or remote jobnet.

プランニンググループ直下には、ジョブネット、またはリモートジョブネットのみ作成可能です。

プランニンググループの直下には、ルートジョブネット、ルートリモートジョブネット以外のユニットを作成できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) プランニンググループの直下にユニットを作成する場合は、ルートジョブネット、またはルートリモートジョブネットを作成してください。

### KAVV354-E

Specify a date in end day, after the start day.

解除期間では、終了日には開始日以降の日付を指定してください。

解除期間の終了日に、開始日より前の日付が指定されているので、期間指定で登録解除ができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 期間指定で登録解除する場合には、[ 解除期間 ] の終了日に、開始日以降の日付を指定してください。

### KAVV355-E

Schedule for releasing registration does not exist.

登録解除するためのスケジュールが存在しません。

登録解除するためのスケジュールがありません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 指定した期間内にスケジュールがあることを確認の上、再度登録解除をしてください。

### KAVV356-E

Directly under a planning group, you can only paste a jobnet or remote jobnet.

プランニンググループ直下には、ジョブネット、またはリモートジョブネットのみ貼り付け可能です。

プランニンググループの直下には、ルートジョブネット、ルートリモートジョブネット以外のユニットは貼り付けられません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) プランニンググループの直下にユニットを貼り付ける場合は、ルートジョブネット、またはルートリモートジョブネットを貼り付けてください。

### KAVV357-Q

Fixed schedule period is over the (数値) month. Register in the settings?

確定期間が数値ヶ月を超えていますが、このまま実行登録をしてもよろしいですか？

実行登録をするかどうかの確認です。確定登録での確定期間が、ユーザーの指定した期間を超えています。入力に誤りがないか確認してください。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 実行登録する場合は [ はい ] を、しない場合は [ いいえ ] を選択してください。

### KAVV358-E

A maximum of 50 colors can be created.

表示色は最大50色まで作成可能です。

表示色は最大 50 色までしか作成できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 作成した表示色のうち不要なものを削除してから、再度表示色を作成してください。

**KAVV359-E**

A color with the specified RGB element already exists, so you cannot specify the RGB element.

既に存在する表示色と同じRGB要素を指定することはできません。

同一の RGB 要素を持つ表示色を複数作成することはできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

既存の表示色と重複しない RGB 値を指定してください。

**KAVV360-E**

A color with the same name already exists, so you cannot specify the name.

既に存在する表示色と同じ名称を指定することはできません。

同一名称の表示色を複数作成することはできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

既存の表示色の名称以外の文字列を指定してください。

**KAVV361-Q**

The specified color (表示色名) is in use. Are you sure you want to delete it?

指定した表示色(表示色名)は、現在使用中です。このまま削除してもよろしいですか？

指定したユーザー表示色を削除するかどうかの確認です。現在、実行状態や遅延に割り当てられている表示色を削除しようとしています。削除した場合は、デフォルトの設定が適用されます。

(S)

処理を中断します。

(O)

削除する場合は [ はい ] を、しない場合は [ いいえ ] を選択してください。

**KAVV362-E**

The specified operation cannot be performed because the unit is defined by JP1/AJS2 - Scenario Operation.

JP1/AJS2 - Scenario Operation から定義したユニットに対して、指定された操作はできません。

JP1/AJS2 - Scenario Operation から定義されたユニットに対して許可されない操作をしようしました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 - Scenario Operation からの操作により回避してください。

**KAVV363-E**

Select an item in the (リスト名).

(リスト名) で項目を選択してください。

「リスト名」で項目が選択されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

「リスト名」で項目を選択してください。

- [ 表示色の選択 ] ダイアログボックスの場合 : [ 選択可能な表示色の一覧 ]
- [ 変数使用状況 ] ダイアログボックスの場合 : [ 変数一覧 ]

**KAVV364-E**

The available file extensions are .jpg (.JPG) and .gif (.GIF). Specify a valid file name.

ファイルの拡張子は「.jpg」(.JPG) 及び「.gif」(.GIF) が有効となります。再度正しいファイル名を入力してください。

壁紙とするイメージファイルの拡張子に「.jpg」

(.JPG), および「.gif」(.GIF) 以外の拡張子を指定しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

壁紙とするイメージファイルの拡張子には「.jpg」(.JPG), または「.gif」(.GIF) を指定してください。

**KAVV365-Q**

Are you sure you want to end specifying wallpaper settings without saving the settings?

設定した情報を保存せずに、壁紙の設定を終了します。よろしいですか？

設定した情報を保存せず、壁紙の設定を終了するかどうかの確認です。

(S)

応答を待ちます。

(O)

終了する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

### KAVV366-Q

The specified file (ファイル名) was not found. Are you sure you want to use the specified file name for wallpaper?

指定されたファイル (ファイル名) が見つかりません。このまま、指定されたファイル名を壁紙に設定してもよろしいですか？

指定したファイルがない場合に、指定したファイル名を、そのまま壁紙に設定するかどうかを確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

設定する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

### KAVV367-E

Specify both start and end days in the cancel period.  
解除期間には開始日と終了日の両方を指定してください。

期間指定で登録解除する場合は、[ 解除期間 ] の開始日および終了日を省略できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

期間指定で登録解除する場合は、[ 解除期間 ] の開始日と終了日の両方を指定してください。

### KAVV368-Q

A relation line cannot be pasted when Paste (Extension) is executed under the start condition. Are you sure you want to continue?

起動条件に対して貼り付け (拡張) を実行する場合、関連線は貼り付けることができません。続行しますか？

貼り付け (拡張) を実行するかどうかの確認です。  
起動条件の配下で貼り付け (拡張) を実行した場合、関連線は貼り付けることができません。ユニットの相対的な座標位置は維持したまま貼り付けることができます。

(S)

応答を待ちます。

(O)

貼り付け (拡張) を実行する場合は [ はい ] を、実行しない場合は [ いいえ ] を選択してください。

### KAVV369-E

The (行数) line of the settings file (ファイル名) is incorrect.  
設定ファイル (ファイル名) の (行数) 行目に誤りがあります。

壁紙の設定ファイルに誤りがあります。

(S)

誤りがあった行の設定を無視して処理を継続します。  
設定ファイルで最初に検出された誤りに対してはエラーメッセージダイアログボックスでエラーを通知します。それ以降の誤りに対してはログに出力します。

(O)

[ 壁紙の設定 ] ダイアログボックスを表示して、  
[ OK ] ボタンをクリックすると誤りのある定義は削除されます。

### KAVV370-Q

The optimization might take a long time.  
Discontinuation of processing during optimization is possible. Are you sure you want to optimize?  
最適化処理に時間がかかる可能性があります。最適化中に処理の中断は可能です。最適化しますか？

最適化処理をするかどうかの確認です。

(S)

応答を待ちます。

(O)

最適化する場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

### KAVV371-I

Now optimizing. You can use the Cancel button to discontinue the processing.  
最適化中です。キャンセルボタンで処理を中断することができます。

最適化の処理中です。最適化処理は [ キャンセル ] で中断できます。

(S)

処理を継続します。

(O)

処理を中断する場合は [ キャンセル ] を選択してください。

### KAVV372-E

The number of data items in the settings file (ファイル名) exceeded 9,999 so registration failed.  
設定ファイル (ファイル名) 内のデータ件数が9,999件を超えたため、設定を登録できません。

壁紙の設定可能なホスト数が9,999を超えたので、現在の接続先に対して壁紙の設定を登録できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

マニュアル「JP1/Automatic Job Management  
System 2 操作ガイド 13.4.6 [ 壁紙の設定 ] ダイアログボックス」の補足事項を参照し壁紙設定の管理ファイルから不要な行を削除してください。



**KAVV373-Q**

The common user profile of the connection destination will be downloaded. Are you sure you want to overwrite all of the settings for (JP1ユーザー名) on this JP1/AJS2 - View machine?

接続先のユーザー共通プロファイルをダウンロードします。このJP1/AJS2 - Viewマシンの (JP1ユーザー名) のダウンロード対象の設定はすべて上書きされます。よろしいですか？

ユーザー共通プロファイルをダウンロードするかどうか確認します。

- (S) 応答を待ちます。
- (O) 接続先のユーザー共通プロファイルをダウンロードする場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

**KAVV374-Q**

Are you sure you want to upload the setup of (JP1ユーザー名) on this JP1/AJS2 - View machine as the common user profile on the connection destination?

このJP1/AJS2 - Viewマシンの (JP1ユーザー名) の設定を接続先のユーザー共通プロファイルとしてアップロードします。よろしいですか？

このJP1/AJS2 - View マシンの「JP1 ユーザー名」の設定を接続先のユーザー共通プロファイルとしてアップロードするかどうか確認します。

- (S) 応答を待ちます。
- (O) ユーザー共通プロファイルとしてアップロードする場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

**KAVV375-I**

The upload/download ended normally.  
(アップロード/ダウンロード) は正常に終了しました。

アップロードまたはダウンロードが正常に終了したことを通知するメッセージです。

- (S) アップロードまたはダウンロードが正常に終了したことを通知します。

**KAVV376-E**

The common user profile is not uploaded at the connection destination.  
接続先にユーザー共通プロファイルがアップロードされていません。

接続先の JP1/AJS2 - Manager にユーザー共通プロファイルがアップロードされていないためダウンロードできません。

ん。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ユーザー共通プロファイルがアップロードされたあと、再度ダウンロードしてください。

**KAVV377-Q**

All the common user profile values of the connection destination are default values. Are you sure you want to continue downloading?

接続先のユーザー共通プロファイルはすべてデフォルト値です。このままダウンロードしてもよろしいですか？

接続先のユーザー共通プロファイルはすべてデフォルト値です。このまま処理を続行するとダウンロード対象の設定はすべてデフォルト値になります。すべてデフォルト値のユーザー共通プロファイルをダウンロードするかどうか確認します。

- (S) 応答を待ちます。
- (O) 接続先のユーザー共通プロファイルをダウンロードする場合は [ はい ] を、取り消す場合は [ いいえ ] を選択してください。

**KAVV378-E**

A required option is missing.[オプション]  
必要なオプションが不足しています。[ オプション ]

ajs コマンドに必要なオプションが不足しています。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 必要なオプションを指定したあと、再度 ajs コマンドを実行してください。必要なオプションの組み合わせは、次のとおりです。
- -v monitor -n ジョブネットまたはジョブの完全名 -l 実行 ID
  - -v monitor -n ジョブネットまたはジョブの完全名 -m state または result

**KAVV379-E**

An option that cannot be specified simultaneously is specified.[オプション]  
同時に指定できないオプションが指定されています。[ オプション ]

同時に指定できないオプションが指定されています。

- (S) 処理を中断します。
- (O)

-l または -m オプションのどちらかを指定して、再度 `ajs` コマンドを実行してください。

### KAVV380-E

The login information file (ファイル名) is not found.  
ログイン情報ファイル (ファイル名) が見つかりません。  
詳細情報: 詳細情報1, 詳細情報2

ログイン情報ファイルとして指定したファイル名が見つかりません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
-a オプションに指定したログイン情報ファイルが次の場所に作成されているかどうか確認してください。  
JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ `¥conf¥`

### KAVV381-E

Specify the value of the login information (キーワード名) of the login information file (ファイル名).  
ログイン情報ファイル (ファイル名) のログイン情報 (キーワード名) の値を指定してください。

ログイン情報ファイルに、「キーワード」に対する値が設定されていないため、自動ログインできませんでした。

- (S)  
自動ログイン処理を中断し、[ ログイン ] 画面を表示します。
- (O)  
[ ログイン ] 画面で必要な情報を入力したあと、ログインしてください。  
また、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド `ajs`」を参照し、ログイン情報ファイルの内容を確認してください。

### KAVV382-E

An error occurred during the input of the login information file (ファイル名).  
ログイン情報ファイル (ファイル名) の入力でエラーが発生しました。詳細情報: 詳細情報1, 詳細情報2

ログイン情報ファイルの入力処理でエラーが発生しました。次の原因が考えられます。

- ファイルまたはディレクトリに対するアクセス権がない。
- 他のプログラムで編集している。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
エラーの原因を取り除いてください。

### KAVV383-E

The maximum number of selectable units for the specified operation is (ユニット数).  
指定された操作で選択可能なユニットの最大数は (ユニット数) 個です。

指定された操作をするために選択できるユニット最大数は「ユニット数」に示された個数です。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
「ユニット数」に示された最大数以下でユニットを選択して、操作をしてください。

### KAVV384-Q

The monitor start delay for the specified jobnet cannot be changed because the jobnet is being executed. Are you sure you want to apply the changes other than the monitor start delay change?

指定したジョブネットは実行中のため開始遅延監視を変更することができません。開始遅延監視以外を変更しますか？

指定されたジョブネットの実行状態が実行中のため、開始遅延監視を変更することができません。このため、開始遅延監視以外 (終了遅延監視, ジョブネット監視) を変更するかどうか確認します。

- (S)  
応答を待ちます。
- (O)  
開始遅延監視以外を変更する場合は [ はい ] を、遅延監視の一時変更をしない場合は [ いいえ ] を選択してください。

### KAVV385-E

The (フィールド名) is duplicated.  
(フィールド名) が重複しています。

「フィールド名」を重複して指定することはできません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
「フィールド名」に重複しない名称を指定したあと、再度操作してください。
- [ ツールの登録 ] ダイアログボックスの場合 : [ 登録名 ]
  - [ 引き継ぎ情報の登録 ] ダイアログボックスの場合 : [ 変数名 ]

### KAVV386-Q

The settings have been changed. Are you sure you want to save the settings?

設定が変更されています。保存しますか？

設定の変更を保存するかどうかを確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

設定を保存する場合は「はい」を、保存しない場合は「いいえ」を、取り消す場合は「キャンセル」を選択してください。

### KAVV387-E

An attempt to start the tool failed. (Entry name:(登録名), Command:(起動コマンド))

ツールの起動に失敗しました。(登録名:登録名), 起動コマンド:(起動コマンド)

ツールの起動に失敗しました。次の原因が考えられます。

- ・実行ファイルがない。
- ・実行ファイルに対して実行権限がない。
- ・環境変数 PATH の設定が正しくない。
- ・置換文字列を使用している場合に、その前後に半角スペースがない。

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーの原因を取り除いたあと再度ツールを起動してください。

### KAVV388-I

The tool was started.(Entry name:(登録名), Command:(起動コマンド))

ツールを起動しました。(登録名:(登録名), 起動コマンド:(起動コマンド))

ツールを起動しました。

(S)

ツールの起動を通知しました。

### KAVV389-E

The tool cannot be started because a character that cannot be used in the character string for replacement is included.

置換対象文字列に使用できない文字が含まれているためツール起動できません。

登録されている起動コマンドに置換文字列「(UNIT\_NAME)」が指定されていて、置換対象となるユニット完全名にツール起動で使用できない文字が含まれているためツール起動できません。

注

次の半角文字  
"& '\* < > ? [ \ ] ^ ' { | } ~

(S)

処理を中断します。

(O)

別の方法でコマンドを実行してください。

### KAVV390-E

Passing information cannot be set in (ユニット種別). (ユニット種別) には引き継ぎ情報を設定できません。

「ユニット種別」に対して、引き継ぎ情報を設定して実行登録、または追加しようとした。

(S)

処理を中断します。

(O)

「ユニット種別」に対しては、引き継ぎ情報を設定しないで実行登録、または追加してください。

### KAVV391-E

An unit (ユニット名) defined by JP1/AJS2 - Scenario Operation is included. This unit will be ignored and processing will continue.

JP1/AJS2 - Scenario Operation から定義したユニット (ユニット名) が含まれています。このユニットを無視して処理を続行します。

JP1/AJS2 - Scenario Operation から定義したユニットに対して許可されない操作をしようとした。

(S)

処理を続行します。

(O)

JP1/AJS2 - Scenario Operation から定義したユニットに対して許可されない操作をしないでください。

### KAVV392-I

No variables have been used.

変数は使用されていません。

変数が使用されていないことを通知するメッセージです。

補足事項

変数が表示されるユニットを次に示します。

- ・引き継ぎ情報を参照している(後続の)ジョブ。
- ・判定条件に変数(文字列)または変数(数値)を定義している判定ジョブ。

なお、リモートジョブネット配下のジョブは表示の対象になりません。

(S)

変数が使用されていないことをログに出力しました。

### KAVV393-I

There is no inherited result.

引き継ぎ結果はありません。

引き継ぎ結果がないことを通知するメッセージです。

補足事項

## KAVV394-E ~ KAVV401-E

- 引き継ぎ結果が表示されるユニットを次に示します。
- 実行登録または追加を実行時に、引き継ぎ情報を設定したルートジョブネット。
  - 引き継ぎ情報を参照している（後続の）ジョブ。
- なお、引き継ぎ情報を設定している（先行の）ジョブでは表示されません。

(S)

引き継ぎ結果がないことをログに出力しました。

### KAVV394-E

An inherited result cannot be displayed for the (ユニット種別).

(ユニット種別) に対して引き継ぎ結果は表示できません。

「ユニット種別」に対して引き継ぎ結果を表示しようとしてしました。

(S)

処理を中断します。

(O)

「ユニット種別」以外のユニットに対して引き継ぎ結果を表示してください。

### KAVV397-E

To change a recovery attribute, a judgment job (判定ジョブ名) must be followed by another recovery unit. リカバリーに変更するには判定ジョブ（判定ジョブ名）の後続がリカバリーユニットである必要があります。

判定ジョブの後続ユニットにリカバリーユニットでないユニットが関連づけられているため、従属ジョブをリカバリーに変更することができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

種別を [ 通常 ] に戻して、[ 詳細定義 ] ダイアログボックスを閉じたあと、判定ジョブの後続ユニットをすべてリカバリーユニットに変更して、再度リカバリーに変更してください。

### KAVV399-E

An error occurred in inter-process communication. プロセス間通信処理でエラーが発生しました。

プロセス間通信処理でエラーが発生しました。

(S)

- プロセス間通信処理を中断するため、次の機能が正しく動作しません。
- [ ジョブネットモニタ ] ウィンドウの起動方式を変更する機能

(O)

現在、起動しているすべての JP1/AJS2 - View を終了したあと、次のファイルがある場合は、手動で削除

してください。

Windows XP Professional および Windows Server 2003 の場合  
JP1/AJS2 - View のインストール先フォルダ  
¥conf¥port.conf

Windows Vista および Windows Server 2008 の場合  
%ALLUSERSPROFILE%¥Hitachi¥JP1¥JP1\_DE  
FAULT¥JP1AJS2V¥conf¥port.conf  
「%ALLUSERSPROFILE%」のデフォルトは「システムドライブ ¥ProgramData」です。

### KAVV400-E

Cannot connect to the host (ホスト名). Detailed information: ポート番号, IPアドレス  
接続先ホスト（ホスト名）または接続先ホストの JP1/AJS2 Monitor サービスに接続できません。詳細情報：  
ポート番号, IPアドレス

接続先ホスト、または接続先ホストの JP1/AJS2 Monitor サービスに接続できません。次の原因が考えられます。

- 接続先ホストの JP1/AJS2 Monitor サービスが起動していない。
- ポート番号 (jp1ajs2monitor) の定義が、接続先と一致していない。
- 接続先ホストが起動していない。
- 接続先ホストとネットワーク接続できる状態ではない。
- 接続先との間にファイアウォールがある場合は、通過できるように設定されていない。通過方向については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 C.2 ファイアウォールの通過方向」を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーの原因を取り除いたあと、再度操作してください。  
また、接続先ホストがビジーな状態の場合は接続できない場合があります。接続しようとしている JP1/AJS2 - Manager に対して、複数の JP1/AJS2 - View から接続しようとする場合は、リトライ回数を設定してください（デフォルトは 3 回です）。  
リトライ回数の設定方法を次に示します。  
レジストリーキー  
[ HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Hitachi¥JP1AJS2V ] に CONN\_RETRYCOUNT という名前の DWORD 値を作成し、値にリトライ数を設定してください。

### KAVV401-E

The data to the connection destination could not be sent or received.  
接続先とのデータの送受信に失敗しました。

JP1/AJS2 - Manager とのデータの送受信に失敗しまし

た。

(S)

処理を中断します。

(O)

ネットワークの一時的な問題が考えられます。更新、または操作時にこのメッセージが表示された場合は、最新情報に更新して、更新、または操作が有効になっているか確認してください。有効になっていない場合や、データの取得時の場合は、再度、同じ操作をしてください。

何度もこのメッセージが表示される場合は、JP1/AJS2・Manager で異常が発生しているおそれがあります。JP1/AJS2・Manager のホストにある syslog ファイル (UNIX の場合) や、イベントログ (Windows の場合) などのログ情報を参照して調査してください。そのあと、調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。ログファイルの内容については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.2 ログ情報の種類」を参照してください。

また、接続先ホストが Windows で、かつログイン直後にこのメッセージが出力される場合は、接続先ホストでデスクトップヒープ領域不足が発生しているおそれがあります。接続先ホストでデスクトップヒープ領域の消費を抑える設定 ([ マネージャー環境設定 ] ダイアログボックスの [ 論理ホスト共通 ] タブの [ ログオンセッションのプロセス起動方法 ] および [ ログオン共有セッション数 ]) をしてください。詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.1.1 論理ホスト共通の情報を定義する」を参照してください。

## KAVV402-E

A timeout occurred while waiting for the response from the connection destination. Detailed information: 保守情報, 保守情報

接続先からの応答待ちにタイムアウトしました。詳細情報: 保守情報, 保守情報

JP1/AJS2・Manager からの応答待ちでタイムアウトが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2・Manager に異常がないか確認してください。JP1/AJS2・Manager での処理に時間が掛かっている場合もありますので、最新情報に更新したあと、処理がされているか確認してください。

また、待ち時間の変更が可能です (デフォルトは 30 分です)。待ち時間の設定方法を次に示します。

レジストリキー

[ HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Hitachi\JP1AJS2V ] に REC\_TIMEOUT という名前の DWORD 値を作成し、値にタイムアウト時間 (秒) を設定してく

ださい。REC\_TIMEOUT の上限値は 16 進数で 00093A80 (10 進数で 604,800) です。

注意事項

"0" を設定しないでください。

## KAVV403-E

The transmitted data could not be encoded. (文字コード) 送受信データのエンコードに失敗しました。(文字コード)

送受信データのエンコードに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2・Manager の文字コードの設定が正しいか確認してください。

## KAVV405-E

Processing was interrupted because an error was detected in the received data. Confirm that the port number (jp1ajs2monitor) is the same at the connection destination. Details: 保守情報, 保守情報  
受信データに異常を検出したため、処理を中断します。ポート番号 (jp1ajs2monitor) の定義が接続先と一致しているかを確認してください。詳細情報: 保守情報, 保守情報

JP1/AJS2・Manager から送られてきたデータにプロトコル上の不正なデータを検出しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ポート番号 (jp1ajs2monitor) の定義が接続先と一致しているかを確認してください。

## KAVV406-E

The version of the connection destination is unknown. Detailed information: 保守情報, 保守情報  
接続先のバージョンが不明です。詳細情報: 保守情報, 保守情報

接続先の JP1/AJS2・Manager のバージョンが不明です。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先のホストに JP1/AJS2・Manager が正しくインストールされているか確認してください。

## KAVV407-E

The character code for the connection destination is unknown.

Detailed information: 保守情報, 保守情報

接続先の文字コードが不明です。

詳細情報: 保守情報, 保守情報

接続先の JP1/AJS2・Manager の文字コードが不明です。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先のホストに JP1/AJS2・Manager が正しくインストールされているか確認してください。

## KAVV408-E

Login information cannot be obtained.

ログイン情報が取得できません。

ログイン情報が取得できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。

- 画面のハードコピー
- JP1/AJS2・View のログ情報
- JP1/AJS2・Manager のログ情報
- JP1/Base のログ情報 (認証サーバが別のホストにある場合は、認証サーバ側の JP1/Base のログ情報も含みます)

ログ情報の採取方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、および「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

また、JP1/Base のログ情報の採取方法は、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照してください。

## KAVV409-E

Information about the connection destination cannot be obtained.

Detailed information: 保守情報, 保守情報

接続先の情報が得られませんでした。

詳細情報: 保守情報, 保守情報

接続先の情報が取得できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先のホストに JP1/AJS2・Manager が正しくインストールされているか確認してください。

## KAVV411-E

Invalid data was detected. Confirm the setting for the Manager's character code-set. (文字コード)

不正なデータを検出しました。マネージャーの文字コードの設定を確認してください。(文字コード)

文字コードの不正によって、JP1/AJS2・View では表示できない不正なデータを検出しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ログアウトしたあと、接続先の JP1/AJS2・Manager の設定で次のことを確認してください。

- JP1/AJS2・Manager の OS の文字コードと、JP1/AJS2・Manager の文字コードの設定が一致しているか。
- JP1/AJS2・Manager の文字コードの設定を途中で変更し、かつ変更前のデータが残っていないか。
- リモートジョブネットの定義で、実行先マネージャーとの文字コードが一致しているか。

なお、このメッセージが表示されていない場合で、JP1/AJS2・View の表示が文字化けしているときでも、上記と同じ対処をしてください。

## KAVV412-E

The host name is specified incorrectly.

ホスト名が不正です。

接続先ホスト名で指定されたホスト名では、ホスト名解決できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

正しいホスト名、または IP アドレスを入力してください。

## KAVV413-E

Invalid data was detected in the file (ファイル名) at the connection destination.

接続先のファイル (ファイル名) で不正なデータを検出しました。

接続先のユーザー共通プロファイルに不正なデータを検出しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先のユーザー共通プロファイルが SJIS で記述されていることを確認してください。  
ユーザー共通プロファイル格納ディレクトリのパスはマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 10.1.2 ユーザー共通プロファイルの利用」を参照してください。

**KAVV414-I**

ENUM\_RECV : (受信情報)  
 ENUM\_RECV : ( 受信情報 )

JP1/AJS2 - Manager からデータを受信したことを通知するメッセージです。

- (S)  
 JP1/AJS2 - Manager からデータを受信したことをログに出力しました。

**KAVV415-I**

InterProcess : (通信データ)  
 InterProcess : ( 通信データ )

プロセス間通信処理を行っていることを通知するメッセージです。

- (S)  
 プロセス間通信処理を行っていることをログに出力しました。

**KAVV416-W**

InterProcess : (保守情報)  
 InterProcess : ( 保守情報 )

プロセス間通信処理中に、続行できるエラーが発生したことを通知するメッセージです。

- (S)  
 プロセス間通信処理中に、続行できるエラーが発生したことをログに出力しました。
- (O)  
 このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

**KAVV417-E**

InterProcess : (保守情報)  
 InterProcess : ( 保守情報 )

プロセス間通信処理中に、エラーが発生したことを通知するメッセージです。

- (S)  
 プロセス間通信処理中に、エラーが発生したことをログに出力しました。
- (O)  
 このメッセージは内部ログであるため、対処は不要です。

**KAVV450-E**

An error occurred in session processing.  
 セッション処理でエラーが発生しました。

JP1/AJS2 - View から送信したデータに不正がありました。または、JP1/AJS2 - Manager から予期しない応答が

ありました。

- (S)  
 処理を中断します。
- (O)  
 接続先の JP1/AJS2 - Manager が 06:00 のクラスタ構成で、物理ホストのスケジューラサービスに対して JP1/AJS2 - View からアクセスした場合に表示されることがあります。この場合は、論理ホストのスケジューラサービスを選択して [ ファイル ] - [ 別のウィンドウで表示 ] を実行してください。上記以外の場合は、次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。
- 画面のハードコピー
  - JP1/AJS2 - View のログ情報
  - JP1/AJS2 - Manager のログ情報
- ログ情報の採取方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、および「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

**KAVV451-E**

The JP1/AJS service at the connection destination has not been started.

接続先のAJSサービスが未起動です。

- 次の原因が考えられます。
- 接続先で AJS サービスが起動していない。
  - 接続先の JP1/Base の設定で物理ホストに対して受信側バインド方式が IP バインド方式になっている場合、物理ホストおよびどの論理ホストにもバインドされていない IP アドレスで接続しようとした。
  - 接続先が UNIX の場合、接続先で JP1/AJS2 - Manager の構成変更時に ajsshmdel コマンドを実行していない、またはすべての JP1/AJS2 のサービスを停止せずに、ajsshmdel コマンドを実行した。
  - 接続先が Windows の場合、接続先で JP1/AJS2 - Manager の構成変更時にすべての JP1/AJS2 のサービスを停止しなかった。

- (S)  
 処理を中断します。
- (O)  
 エラーの原因を取り除いたあと、再度操作してください。
- 接続先の、物理ホストおよびどの論理ホストにもバインドされていない IP アドレスで接続しようとした場合は、バインドされた IP アドレスで接続するか、または接続先で jp1hosts 情報を定義するなどして対処してください。jp1hosts 情報の定義については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照してください。
- 接続先での JP1/AJS2 - Manager の構成変更時の作業

が原因の場合は、接続先で次の手順に従って対処をしてください。

1. 動作中の JP1/AJS2 のすべてのプロセス（サービス、コマンドなど）を停止する。  
接続先が Windows の場合は、手順 3 に進んでください。  
接続先が UNIX の場合は、手順 2 に進んでください。
2. `ajsshmdel` コマンドを実行する。
3. JP1/AJS2 を再起動する。

### KAVV452-E

Cannot connect because the number of connections exceeded the maximum.

接続数が最大値を超えたため接続できません。

JP1/AJS2 - Manager との接続数が最大値を超えたため接続できません。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 接続数が最大値未満になったあと、再接続してください。  
最大接続数は JP1/AJS2 - Manager の環境設定で変更できます。必要に応じて構成定義パラメーター `MAXSESSION` の値を設定してください。  
他で接続されていないはずなのに、このメッセージが表示される場合は、接続先で JP1/AJS2 - Manager のセットアップが行われているかを確認してください。

### KAVV453-E

The specified scheduler service does not exist.  
指定したスケジューラーサービスは存在しません。

指定したスケジューラーサービスはありません。次の原因が考えられます。

- `ajs` コマンドで `-n` オプションに指定しているスケジューラーサービスが接続先の JP1/AJS2 - Manager がない。
- 接続先の JP1/AJS2 - Manager がクラスタ構成でかつ、論理ホストにログインした場合でも、すべてのスケジューラーサービスを表示させている場合に、ログインした論理ホスト外のスケジューラーサービスにアクセスした。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- `ajs` コマンドで `-n` オプションを指定している場合  
接続先の JP1/AJS2 - Manager に指定したスケジューラーサービスがあるかどうかを確認し、正しいスケジューラーサービス名を指定したあと再度コマンドを実行してください。  
接続先が論理ホストの場合

論理ホストのスケジューラーサービスを選択して  
[ ファイル ] - [ 別のウィンドウで表示 ] を実行してください。

上記以外の場合

接続先の JP1/AJS2 - Manager の構成定義情報が変更されていないかを確認したあと、JP1/AJS2 - View を再度起動してください。

### KAVV454-E

The user could not be authenticated at the connection destination.

接続先でユーザー認証に失敗しました。

接続先でユーザー認証に失敗しました。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。
- 画面のハードコピー
  - JP1/AJS2 - View のログ情報
  - 接続先の JP1/AJS2 - Manager のログ情報
  - JP1/Base のログ情報（認証サーバが別のホストにある場合は、認証サーバ側の JP1/Base のログ情報も含みます）

ログ情報の採取方法については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.3 トラブル発生時に採取が必要な資料」、および「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.4 資料の採取方法」を参照してください。

また、JP1/Base のログ情報の採取方法は、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照してください。

### KAVV455-E

The request cannot be processed at the connected JP1/AJS.

接続先の AJS ではその要求を処理することができません。

接続した JP1/AJS2 - Manager のバージョンでは、JP1/AJS2 - View の要求がサポートされていません。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 接続先に、JP1/AJS2 - View の要求を満たすバージョンの JP1/AJS2 - Manager がインストールされているか確認してください。  
JP1/AJS2 - View と JP1/AJS2 - Manager のバージョン互換については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 9.1.2 JP1/AJS2 - Manager または JP1/AJS2 - Light Edition と JP1/AJS2 - View のバージョン互換」、お



よびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 付録 A.1 JP1/AJS2 - Manager とのバージョン互換」を参照してください。

### KAVV456-E

The specified unit has already been registered.  
指定されたユニットは登録済みです。

登録済みユニットのユニット構成を変更しようとした。次の原因が考えられます。

- ・切り取り元ユニットが登録済みである。
- ・貼り付け先ユニットが登録済みである。

(S)

処理を中断します。

(O)

切り取り元および貼り付け先ユニットの状態を確認してください。

### KAVV457-E

The user name or password is invalid.  
ユーザー名かパスワードに誤りがあります。

JP1 ユーザー名かパスワードに誤りがあったため、ログインできませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先の認証サーバで登録されている、JP1 ユーザー名とパスワードを入力して、ログインしてください。

### KAVV458-E

User mapping failed. The user was not associated with an OS user at the connection destination.  
接続先でユーザーマッピングに失敗しました。

接続先でユーザーマッピングに失敗したため、ログインできませんでした。次の原因が考えられます。

- ・接続先の JP1/Base のユーザーマッピングの設定で、JP1 ユーザー名と OS ユーザー名がマッピング定義されていない。
- ・接続先の JP1/Base のユーザーマッピングの設定で、JP1 ユーザー名とマッピングしている OS ユーザーが OS の設定で削除されているか、またはパスワードが変更されている。
- ・接続先の JP1/Base のユーザーマッピングの設定で、JP1 ユーザー名とマッピングしている OS ユーザーのユーザー ID またはグループ ID が不正な値である。
- ・接続先の JP1/Base のパスワード管理の設定で、JP1 ユーザー名とマッピングする OS ユーザーが登録されていない。
- ・接続先の JP1/Base のパスワード管理の設定で、JP1 ユーザー名とマッピングする OS ユーザーのアカウントがロックアウトされている。

- ・接続先の JP1/Base のユーザーマッピングの設定で、サーバホスト名に自ホスト名を指定していないか、または誤って指定している。  
自ホスト名の指定方法に関する注意事項は、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」のユーザーマッピングの設定の説明を参照してください。
- ・ユーザーマッピング時にメモリー不足が発生した。

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーの原因を取り除いて再度ログインしてください。

### KAVV459-E

An error occurred in JP1/Base at the connection destination.  
接続先の JP1/Base でエラーが発生しました。

ユーザー認証処理中に接続先の JP1/Base でエラーが発生したため、ログイン、または接続できませんでした。次の原因が考えられます。

- ・接続先の JP1/Base の設定で認証サーバのホスト名を誤って指定している。
- ・接続先の Windows イベントログまたは syslog で、「KAVS1005-E 認証サーバに接続できません」というエラーメッセージが表示されている場合は、認証サーバが起動していない。

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーの原因を取り除いて再度同じ操作をしてください。

なお、接続先が UNIX で、認証サーバを自ホストに指定している場合は、JP1/Base を認証サーバとして起動する設定が必要です。設定方法は、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」の認証サーバの指定の説明を参照してください。

### KAVV460-E

You cannot use the current login information to log in.  
現在のログイン情報ではログインできません。

JP1/IM - View の統合機能メニューから JP1/AJS2 - View を起動した場合は接続先の認証圏が異なるか、または JP1/AJS2 - View を起動するまでに認証サーバが再起動したため、現在のログイン情報でログインできませんでした。通常に JP1/AJS2 - View を起動した場合は、JP1/AJS2 - View のログイン処理中に認証サーバが再起動したため、現在のログイン情報でログインできませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

再度ログインしてください。

#### KAVV461-E

The connection is not possible because the specified scheduler service is under maintenance.  
指定したスケジューラーサービスはメンテナンス中のため接続できません。

対象スケジューラーサービスは、メンテナンス中、または反映側 JP1/AJS2・Datareplicator が起動中であるためアクセスできません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
対象スケジューラーサービスのメンテナンスの終了、または反映側 JP1/AJS2・Datareplicator の停止を確認したあと、再度操作してください。

#### KAVV462-E

An unrecovered unit exists because the unit definition is invalid.  
ユニット定義内容が不正なため、回復していないユニットが存在します。

退避ファイルのユニット定義が不正であるため、回復できないユニットがあります。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
退避元のスケジューラーサービスで、もう一度ユニットを退避してから、再度回復を行ってください。

#### KAVV501-E

An error occurred at the connection destination.  
Detailed information: 保守情報1, 保守情報2  
接続先でエラーが発生しました。  
詳細情報: 保守情報1, 保守情報2

接続先でエラーが発生しました。  
[ 退避 ] ダイアログボックスや [ 回復 ] ダイアログボックスでこのメッセージが出力された場合は、退避ボックスの内容が不正になっているおそれがあります。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
JP1/AJS2・Manager のホストにある syslog ファイル (UNIX の場合) や、イベントログ (Windows の場合) などのログ情報を参照して調査してください。そのあと、調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。  
ログファイルの内容については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.2 ログ情報の種類」を参照してください。

ログ情報については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 E ログ情報」を参照してください。

また、このメッセージの保守情報 1 が 0 で、接続先の JP1/AJS2・Manager が UNIX の場合は、ログインする JP1 ユーザーにマッピングされている OS ユーザーのホームディレクトリがあるかを確認し、ない場合は作成してください。

[ 退避 ] ダイアログボックスや [ 回復 ] ダイアログボックスでこのメッセージが出力された場合  
メッセージが出力されたタイミングによって、次の退避ボックスの内容が不正になっているおそれがあります。

- [ 退避 ] ダイアログボックスや [ 回復 ] ダイアログボックスを表示したときに出力された場合  
[ 退避ボックス ] の先頭に表示された退避ボックス
- [ 退避 ] ダイアログボックスや [ 回復 ] ダイアログボックスで [ 退避ボックス ] に表示された退避ボックスを選択したときに出力された場合  
[ 退避ボックス ] で選択した退避ボックス
- [ 退避 ] ダイアログボックスで [ 退避ボックス名 ] に退避ボックスを入力して [ OK ] ボタンをクリックしたときに出力された場合  
[ 退避ボックス名 ] に入力した退避ボックス

これらの退避ボックスが次のどれかの場合は、該当する退避ボックスを退避情報ディレクトリ配下から削除してください。

- ほかの JP1/AJS2・Manager で退避した退避ボックス
- 文字コードが異なる環境で退避した退避ボックス
- 退避情報管理ファイルを編集した退避ボックス

#### KAVV502-E

The specified unit does not exist.  
指定されたユニットは存在しません。

指定されたユニットはありません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
[ 最新情報に更新 ] を実行したあと、ユニットが削除されていないことを確認してください。  
[ デイリースケジュール ] ウィンドウ、または [ マンスリースケジュール ] ウィンドウの場合は、ウィンドウを再起動してください。

**KAVV503-E**

The unit cannot be defined because the unit hierarchy exceeded the maximum.

ユニットの階層最大値を超えたためユニット定義できません。

ユニットの階層が最大値を超えたため、ユニットを定義できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ユニットの階層を最大値以内に、ユニットを定義してください。  
 ユニットの最大階層数はルートジョブグループ直下から数えて 30 階層です (ルートジョブグループは含みません)。  
 オペレーションネット用スケジューラサービスの場合、ユニットの最大階層数はルートジョブグループ直下から数えて 7 階層です (ルートジョブグループは含みません)。

**KAVV504-E**

Cannot delete - Specified Unit is Registered.

指定したユニットは登録されているため削除できません。

登録中のユニットを削除しようとした。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 登録解除したあと、削除してください。登録解除を実行する前に [ 最新情報に更新 ] を実行することをお勧めします。

**KAVV505-E**

The specified unit can be neither deleted nor renamed because it is registered.

指定したユニットは登録されているため、削除または名称変更できません。

登録中のユニットに対して、削除、または名称変更しようとした。

または、登録中の接続先のジョブネットに対して、ユニット定義情報を変更しようとした。[ 詳細定義 ] ダイアログボックスを表示してから [ OK ] ボタンをクリックするまでの間に、ジョブネットが実行登録されたおそれがあります。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 登録解除したあと、再度削除または名称変更してください。登録解除を実行する前に [ 最新情報に更新 ] を実行することをお勧めします。  
 接続先のジョブネットの場合には、[ 詳細定義 ] ダイアログボックスを [ キャンセル ] ボタンで一度閉じ、

再度 [ 詳細定義 ] ダイアログボックスを表示してからユニット定義情報を変更してください。[ 詳細定義 ] ダイアログボックスを再表示する前に [ 最新情報に更新 ] を実行することをお勧めします。

**KAVV506-E**

The job group can be neither deleted nor renamed because a registered jobnet exists.

登録されているジョブネットが存在するため、削除または名称変更できません。

下位に登録されているジョブネットがあるジョブグループを削除、または名称変更しようとした。

または、下位に登録されているジョブネットがある接続先のプランニンググループに対して、ユニット定義情報を変更しようとした。[ 詳細定義 ] ダイアログボックスを表示してから [ OK ] ボタンをクリックするまでの間に、下位のジョブネットが実行登録されたおそれがあります。

- (S) 処理を中断します。

- (O) 下位にあるすべてのジョブネットを登録解除したあと、再度削除または名称変更してください。登録解除を実行する前に [ 最新情報に更新 ] を実行することをお勧めします。  
 接続先のプランニンググループの場合には、[ 詳細定義 ] ダイアログボックスを [ キャンセル ] ボタンで一度閉じ、再度 [ 詳細定義 ] ダイアログボックスを表示してからユニット定義情報を変更してください。[ 詳細定義 ] ダイアログボックスを再表示する前に [ 最新情報に更新 ] を実行することをお勧めします。

**KAVV507-E**

A past date is specified for an execution start day.

実行開始日時に過去の日付が指定されています。

確定実行登録時の確定期間の開始日に過去に日付が指定されています。または、日時変更時の開始日時に過去の日付が指定されています。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 実行開始日時に現在以降の日付を指定したあと、再度操作してください。

**KAVV508-E**

Cannot treat as Jobnet.

ジョブネットとして扱えません。

指定されたユニットは、ジョブネットとして扱えません。リカバリー属性を持つルートジョブネットを実行登録したことが考えられます。

- (S) 処理を中断します。

(O)

ジョブネットの定義内容が誤っていないか確認してください。実行登録時はルートジョブネットがリカバリ属性を持っていないかどうかを確認してください。

#### KAVV509-E

It has no schedule.  
予定がありません。

次回実行予定のないジョブネットに対して、計画一時変更を行いました。

(S)

処理を中断します。

(O)

該当するジョブネットの状態を確認したあと、再度操作してください。

#### KAVV510-E

Cannot treat as Unit.  
ユニットとして扱えません。

指定されたユニットは、ユニットとして扱えません。または、ユニットがありません。

次の原因が考えられます。

- 処理対処のユニットが他で削除された。
- `ajs` コマンドに指定したユニット完全名が 930 バイトを超えた。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 最新情報に更新 ] を行い、操作対象のユニットがあるかを確認してください。  
-n オプションでユニット完全名を指定して `ajs` コマンドを実行した場合は、ユニット完全名の指定を見直し再度実行してください。

#### KAVV511-E

The specified jobnet has no information to display.  
指定したジョブネットには表示する情報がありません。

指定したジョブネットには、表示する情報がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブネットの定義内容が誤っていないか確認してください。

#### KAVV512-E

The unit cannot be defined because the limit has been exceeded.

定義可能なユニットの限界値を超えたため、ユニット定義できません。

定義できるユニットの数が限界値を超えたため、ユニットを定義できません。次の原因が考えられます。

- 接続先が JP1/AJS2 - Light Edition の場合で、作成できるルートジョブネットの最大数 (200 個) を超えた。
- 起動条件に回復する際に起動条件に定義できるイベントジョブの最大数 (32 個) を超えた。
- 定義できるユニットの最大数 (接続先の JP1/AJS2 - Manager が使用する DBMS に依存) を超えた。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なユニットを削除し、限界値以内でユニットを定義してください。

#### KAVV513-E

Cannot be registered because the limit on registered jobnet has been exceeded.

登録可能なジョブネット数が限界値を超えたため、登録できません。

登録できるジョブネットの数が限界値を超えたため、登録できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なジョブネットの登録を解除したあと、再度実行登録してください。  
登録できるジョブネットの最大数は 2,147,483,647 です。

#### KAVV520-E

Jobnet already registered.

ジョブネットは既に登録されています。

登録中のジョブネットに対して、実行できない操作が選択されました。

(S)

処理を中断します。

(O)

登録解除したあと、再度操作してください。登録解除を実行する前に [ 最新情報に更新 ] を実行することをお勧めします。

#### KAVV521-E

Specified jobnet is not registered.

指定したジョブネットは登録されていません。

未登録のジョブネットに対して実行できない操作が選択されました。

(S)

処理を中断します。

(O)

実行登録したあと、再度操作してください。実行登録する前に [ 最新情報に更新 ] を実行することをお勧めします。

#### KAVV522-E

The specified job or jobnet is being executed.  
指定したジョブまたはジョブネットは実行中です。

実行中のジョブ、またはジョブネットに対して実行できない操作が選択されました。

(S)

処理を中断します。

(O)

実行が終了したあと、再度操作してください。

#### KAVV523-E

The specified job or jobnet has no schedule to be executed.  
指定したジョブまたはジョブネットには実行予定がありません。

指定したジョブ、またはジョブネットには実行予定がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

次回以降の実行予定を確認し、予定世代に対して操作を行ってください。  
予定世代に対して操作を行っているのに、このメッセージが表示される場合は、ほかで「実行中止」されていることが考えられます。  
[ 最新情報に更新 ] を行い、操作対象世代を確認してください。

#### KAVV524-E

Cannot change the schedule temporarily because the execution start day of the specified jobnet differs from that of the upper jobnet.  
指定したジョブネットの実行開始日時が上位ジョブネットと異なるため計画一時変更ができません。

指定したジョブネットの実行開始日時がルートジョブネットの実行開始日の基準時刻から 48 時間の範囲内でないため計画一時変更ができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

計画一時変更時に指定する実行開始日時には、ルート

ジョブネットの実行開始日の基準時刻から 48 時間の範囲内で指定してください。

#### KAVV525-I

The date has not been changed or the execution has not been stopped.  
日時変更または実行中止が行われていません。

日時変更、または実行中止が行われていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

操作対象となる予定に誤りがないか確認してください。

#### KAVV526-E

Cannot operate - wait for activation condition.  
起動条件待ちのため操作できません。

起動条件待ちのため操作できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

起動条件が成立したあと、再度操作してください。

#### KAVV527-E

Cannot operate - Jobnet has been shutdown.  
閉塞中のため操作できません。

閉塞中のため操作できません。

次の原因が考えられます。

- ・ カレンダー参照先ジョブグループがない。
- ・ 排他スケジュールで指定したユニットが同一階層にない。

(S)

処理を中断します。

(O)

閉塞した原因を取り除いたあと、閉塞したジョブネットを登録解除してください。必要に応じて再度実行登録してください。

#### KAVV528-E

A unit with the same name already exists.  
既に同一名称のユニットが存在します。

すでに同一名称のユニットがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

名称を変更したあと、再度更新してください。操作する前に [ 最新情報に更新 ] を実行することをお勧めします。

#### KAVV529-E

The backup box is full.  
退避ボックスは満杯です。

退避ボックスが満杯になりました。

- (S) 処理を中断します。

- (O) 退避ボックスを変更するか、接続先で ajsbkudel コマンドにより対象退避ボックス中の不要な退避ファイルを削除したあと再度退避させてください。

#### KAVV532-E

The jobnet cannot be registered because no effective start day is defined.

有効な開始日定義が無いため、ジョブネットは登録できません。

スケジュール情報の定義で有効な開始日時が定義されていないため、登録できません。

次の原因が考えられます。

- 登録日が有効期日を過ぎている。
- 確定実行登録時に確定期間の開始日が実行開始日よりあとになっている。
- スケジュール定義で開始日が有効期日を過ぎている。
- 登録日時が開始日時を過ぎているのにスケジュール定義で処理サイクルを指定していない。
- スケジュール定義で開始日時が休業日であるのに休業日振り替えが「実行しない」で、処理サイクルを指定していない。

- (S) 処理を中断します。

- (O) 実行登録時の指定またはスケジュール定義を正しく指定したあと、再度実行登録してください。

#### KAVV533-E

The jobnet cannot be registered because no schedule is defined.

スケジュール定義が未定義なため、ジョブネットは登録できません。

スケジュール情報の定義がされていないため登録できません。

- (S) 処理を中断します。

- (O) スケジュールルールを作成したあと再度実行登録してください。

#### KAVV534-E

There is no execution schedule in the specified period.  
指定した期間に実行予定はありません。

指定された期間に実行予定がありません。

- (S) 処理を中断します。

- (O) スケジュール情報の設定を確認してください。

#### KAVV535-E

The jobnet cannot be registered because the exclusive jobnet is invalid.

排他ジョブネットに誤りがあるため、ジョブネットは登録できません。

排他ジョブネットの設定に誤りがあるため、登録できません。

- (S) 処理を中断します。

- (O) 排他ジョブネットに指定しているユニットが同一階層のジョブネットまたはプランニンググループを確認し、正しく設定したあと再度実行登録してください。

#### KAVV536-E

The jobnet cannot be registered because the calendar information is invalid.

カレンダー情報に誤りがあるため、ジョブネットは登録できません。

カレンダー情報に誤りがあるため、登録できません。

- (S) 処理を中断します。

- (O) カレンダー参照先ジョブグループがあるかを確認し、正しいジョブグループを指定したあと再度実行登録してください。

#### KAVV537-E

The specified unit has neither a forecast nor performance.

指定されたユニットの予実績はありません。

指定されたユニットの予実績がありません。

- (S) 処理を中断します。

- (O) 予定または結果のあるユニットを選択してください。

#### KAVV538-E

Specified Execution ID does not found.

指定した実行IDは登録されていません。

操作対象の実行 ID がいないため処理できません。

次の原因が考えられます。

- ・ 操作対象世代が保存世代数を越えた。
- ・ 操作対象世代が期間指定で登録解除された。
- ・ 対象ジョブネットが登録解除されたあと再度実行登録された。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 最新情報に更新 ] を行ったあとに再度操作してください。

### KAVV539-E

The specified jobnet does not exist.  
指定したジョブネットは存在しません。

指定されたジョブネットはありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 最新情報に更新 ] を実行したあと、ジョブネットがあるか確認してください。

### KAVV540-E

Specified Jobnet is not executing.  
指定したジョブネットは実行中ではありません。

指定されたジョブネットは実行中でないため、指示された操作はできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブネットの状態を確認してください。

### KAVV541-E

Specified Job is not being executed.  
指定したジョブは実行中ではありません。

指定されたジョブは実行中でないため、指示された操作はできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブの状態を確認してください。

### KAVV542-E

Insufficient memory occurred at the connection destination.  
接続先でメモリ不足が発生しました。

接続先の JP1/AJS2 - Manager でメモリ不足が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先の JP1/AJS2 - Manager が、メモリ不足の発生する状態になっていないか確認してください。

### KAVV543-E

There is insufficient space for the file at the connection destination.

接続先でファイルの空き容量がありません。

接続先の JP1/AJS2 - Manager でファイルを書き込もうとしているファイルシステム、またはデバイスに空き容量がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先の不要なファイルを削除して、空き容量を作成してください。

また、接続の JP1/AJS2 - Manager が使用するデータベースの表領域または RDAREA に空きがあるかどうかを確認し、ない場合はマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 15.14.4 組み込み DB データベースを再編成する」を参照して空き領域を作成してください。

### KAVV544-E

The specified unit is being used elsewhere.  
指定したユニットは他で使用中です。

ほかのユーザーがユニットを使用中のため、指定された操作、および編集は実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 - Manager に接続しているすべての JP1/AJS2 - View で、ユニットが使用中でないか確認してください。

指定したユニットまたはその配下のユニットが次のウィンドウで表示されている場合は、ウィンドウを閉じたあとに再度操作してください。

- ・ [ JP1/AJS2 - View ] ウィンドウ
- ・ [ ジョブネットエディタ ] ウィンドウ
- ・ [ 月間カレンダー編集 ] ウィンドウ
- ・ [ 年間カレンダー編集 ] ウィンドウ
- ・ [ デイリースケジュール ( 階層表示 ) ] ウィンドウ
- ・ [ デイリースケジュール ( 全ジョブ表示 ) ] ウィンドウ
- ・ [ マンスリースケジュール ] ウィンドウ
- ・ [ ジョブネットモニタ ] ウィンドウ

**KAVV545-E**

No authorization.  
権限がありません。

JP1/AJS2 Monitor サービスおよび JP1 ユーザーにマッピングされた OS ユーザーに必要な権限がないために処理できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザー共通プロファイルのアップロード・ダウンロード時にこのメッセージが表示された場合は、接続先でマッピングされた OS ユーザーが、接続先のユーザー共通プロファイルのディレクトリおよびファイルにアクセス権があるかどうかを確認してください。接続先のユーザー共通プロファイルの格納場所については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 10.1.2 ユーザー共通プロファイルの利用」を参照してください。それ以外の場合については、次の要因が考えられますので、確認し要因を取り除いてください。

接続先が Windows 版の JP1/AJS2 - Manager

- JP1/AJS2 サービスをユーザーアカウントで運用している場合は、必要な権限を持っていない。  
必要な権限については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 5.2.3 JP1/AJS2 のサービスの設定を変更する必要がある場合（Windows 限定）」を参照してください。
- JP1 ユーザーにマッピングされた OS ユーザーが、ドメインユーザーである場合は、JP1/Base のユーザーマッピングの設定で、マッピング OS ユーザーが「ドメイン名 ¥ ユーザー名」で指定されていない。
- スケジューラーサービスのデータベースディレクトリ名で指定したフォルダとその下にあるファイルに対して、JP1 ユーザーにマッピングされた OS ユーザーの読み取り権限および書き込み権限が設定されていない。

接続先が UNIX 版の JP1/AJS2 - Manager

- JP1 ユーザーにマッピングされた OS ユーザーが構成定義ファイル（/opt/jp1/hcclibcnf/regdir 以下のファイル）を読み込む権限がない。
- スケジューラーサービスのデータベースディレクトリ名で指定したディレクトリとその下にあるファイルに対して、JP1 ユーザーにマッピングされた OS ユーザーの更新権限（rwx）が設定されていない。

**KAVV546-E**

You are not authorized to operate those jobs.  
ジョブの操作権限がありません。

指定された操作をする権限がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザーの権限を確認してください。

**KAVV547-E**

Only the superuser can perform that process.  
特権管理者でなければ操作できません。

指定された操作をする権限がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザーの権限を確認してください。

**KAVV548-E**

No authority for Specified Unit.  
指定したユニットへの権限がありません。

指定されたユニットに対して参照、操作および編集をする権限がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1 ユーザーの権限を確認してください。

**KAVV549-E**

The specified scheduler service is not running.  
指定したスケジューラーサービスは起動していません。

操作対象のユニットが属するスケジューラーサービスが起動されていないため操作できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先の JP1/AJS2 - Manager で操作対象のスケジューラーサービスを起動してください。

**KAVV550-E**

Error occurred during database access at the connection destination.  
接続先でデータベースのアクセス中にエラーが発生しました。

接続先の JP1/AJS2 - Manager でデータベースアクセス中にエラーが発生しました。



(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 - Manager のホストにある syslog ファイル (UNIX の場合) や、イベントログ (Windows の場合) などのログ情報を参照して調査してください。そのあと、調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。

ログファイルの内容については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.2 ログ情報の種類」を参照してください。ログ情報については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 E ログ情報」を参照してください。

### KAVV551-E

Resources became insufficient at the connection destination.

接続先でリソース不足が発生しました。

接続先の JP1/AJS2 - Manager でリソース不足が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AJS2 - Manager のホストにある syslog ファイル (UNIX の場合) や、イベントログ (Windows の場合) などのログ情報を参照して調査してください。そのあと、調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。

ログファイルの内容については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.2 ログ情報の種類」を参照してください。ログ情報については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 E ログ情報」を参照してください。

### KAVV552-E

Invalid Unit definition.

ユニット定義内容が不正です。

ユニットを誤って定義しています。次の原因が考えられます。

- ジョブグループの定義内容を更新しようとしたときに、他で対象ジョブグループが削除されている。
- 次のバージョンの JP1/AJS2 - View で上位バージョンの JP1/AJS2 - Manager に接続したときに、エラーになる操作が行われた。

JP1/AJS2 - View が 06-00 の場合

- ホストリンクジョブネットが含まれるユニットに確定実行登録以外の実行登録を行う。
- 起動条件付きジョブネットにホストリンクジョブネットが含まれている場合に実行登録を行う。

JP1/AJS2 - View が 06-51 以前の場合

- プランニンググループ直下のジョブネットを期間指定の確定実行登録以外で実行登録する。
- プランニンググループ直下にジョブネット、リモートジョブネット以外を定義する。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブグループを更新した場合にこのエラーが発生した場合は、対象ジョブグループがあるか確認してください。それ以外の場合は、エラーの原因を取り除き再度操作してください。

### KAVV554-E

At the connection destination, a required file cannot be accessed.

接続先で必要なファイルにアクセスできません。

接続先の JP1/AJS2 - Manager で必要なファイルが見つからない、またはアクセスできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージは表示される条件によって対処方法が異なります。次の表示条件に従い対処してください。

[ 退避 ] ダイアログボックスで、退避ボックスを選択した場合

[ 退避 ] ダイアログボックス表示中に

ajsbkudel コマンドにより対象退避ボックスが削除されたことが考えられます。

[ 退避 ] ダイアログボックスを閉じてから再度表示させてください。

ダウンロードまたはアップロード中の場合

接続先で JP1 ユーザーのマッピング OS ユーザーが、ユーザー共通プロファイル格納ディレクトリ以下のファイルまたはその上位ディレクトリに対してアクセス権があるかを確認してください。

ユーザー共通プロファイル格納ディレクトリのパスについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 10.1.2 ユーザー共通プロファイルの利用」を参照してください。

上記以外の場合

接続先でロックファイルや ISAM ファイルがあるか確認して、セマフォや共有メモリーなどのカーネルパラメーターを見直してください。また、JP1/AJS2 - Manager のホストにある syslog ファイル (UNIX の場合) や、イベントログ (Windows の場合) などのログ情報を参照して調査してください。そのあと、調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。ログファイルの内容については、マニュアル

「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 17.2 ログ情報の種類」を参照してください。  
 ログ情報については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 付録 E ログ情報」を参照してください。

### KAVV555-E

The unit is not in a re-executable status.  
 再実行可能な状態ではありません。

指定されたユニットは、再実行できる状態ではありません。  
 次の原因が考えられます。  
 ・実行されていないジョブネットを再実行した。  
 ・実行中のルートジョブネットに対して、保留オプションを指定して再実行した。  
 ・実行中であり、かつリモートジョブネットのルートジョブネットを再実行した。

(S)  
 処理を中断します。

(O)  
 [最新情報に更新] を実行して、ユニットの状態を確認したあと、再実行してください。

### KAVV556-E

The unit cannot be operated.  
 指定されたユニットは操作できません。

指定されたユニットが削除されたため見つからない、または起動条件中のユニットであるので操作できませんでした。

(S)  
 処理を中断します。

(O)  
 [最新情報に更新] を実行して、操作対象のユニットがあるか、または起動条件中（起動条件も含む）ユニットでないかを確認してください。  
 [デイリースケジュール] ウィンドウ、または [マンスリースケジュール] ウィンドウの場合は、ウィンドウを再起動してください。また、起動条件中のユニットに対しては操作をしないでください。  
 なお、次のバージョンの JP1/AJS2 - View では上位バージョンの JP1/AJS2 - Manager に接続したときにもこのメッセージが表示されます。

JP1/AJS2 - View が 06-00 の場合

- ・対象ユニットがサスペンド状態であるのに、サスペンド状態でできない操作をした。
- ・対象ユニットがサスペンド状態でないとできない操作をした。
- ・サスペンド状態にあるときに、ホストリンクジョブネットを含むユニットを削除、貼り付けをしようとした。

- ・サスペンド状態にあるときに実行中ユニットの削除、リカバリー属性の変更を行った。
- ・ホストリンクジョブネットを含むユニットに対して、接続先で JP1/AJS2 - Manager for Mainframe が起動していない状態で操作を行った。

### KAVV557-E

File processing count exceeds the limit at the connection destination.

接続先で処理できるファイル数の上限を超えました。

接続先で処理できるファイル数の制限値を超えました。

(S)  
 処理を中断します。

(O)  
 接続先で不要なウィンドウやダイアログボックスを閉じたあと、再度操作してください。  
 接続先が UNIX の場合、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターの次の項目を確認してください。  
 ・プロセスやシステムの最大ファイルオープン数  
 ・最大ファイル記述子数（ファイルシステムに関わる制限値）

### KAVV558-E

Lock resources count exceeds the limit at the connection destination.

接続先で処理できるロック資源数の上限を超えました。

接続先で処理できるロック資源数の制限値を超えました。

(S)  
 処理を中断します。

(O)  
 接続先で不要なウィンドウやダイアログボックスを閉じたあと、再度操作してください。  
 接続先が UNIX の場合、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターの次の項目を確認してください。  
 ・プロセスやシステムの最大ファイルオープン数  
 ・最大ファイル記述子数（ファイルシステムに関わる制限値）

### KAVV559-E

Not enough space in file system at the connection destination.

接続先のファイルシステムに十分な領域がありません。

接続先のファイルシステムに十分な領域がありません。

(S)  
 処理を中断します。

(O)  
 接続先で不要なウィンドウやダイアログボックスを閉じ、不要なファイルを削除した上、使用可能な領域を

- 確保したあと、再度操作してください。
- 接続先が UNIX の場合、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターの次の項目を確認してください。
- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
  - 最大ファイル記述子数（ファイルシステムに関わる制限値）

#### KAVV560-E

Insufficient system resource occurred at the connection destination.

接続先でシステムリソース不足が発生しました。

接続先でシステムリソース不足が発生しました。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 接続先で不要なウィンドウやダイアログボックスを閉じたあと、再度操作してください。
- 接続先が UNIX の場合、ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、カーネルパラメーターの次の項目を確認してください。
- プロセスやシステムの最大ファイルオープン数
  - 最大ファイル記述子数（ファイルシステムに関わる制限値）

#### KAVV561-E

Shared memory is not available at the connection destination.

接続先で共有メモリが確保できません。

接続先の JP1/AJS2 - Manager でシステムリソースの一つである共有メモリーが取得できないか、または必要な共有メモリーがありません。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- ソフトウェア添付資料またはリリースノートを参照し、接続先でシステムの共有メモリーの見積もりが正しいかを確認しカーネルパラメーターを拡大してください。
- また、スケジューラーサービスの稼働に必要な共有メモリーが削除された場合は、スケジューラーサービスを再起動してください。

#### KAVV562-E

The backup box name is invalid.

退避ボックス名が不正です。

退避ボックス名として使用できない文字が指定されています。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)

- 退避ボックス名を正しく指定したあと、再度退避を行ってください。
- 退避ボックス名に指定できる文字は、接続先 OS のファイルシステムに依存しますので、半角英数字を使用することをお勧めします。

#### KAVV563-E

Cannot obtain configuration definition at the connection destination.

接続先で構成定義情報が取得できませんでした。

接続先で構成定義情報が取得できませんでした。次の原因が考えられます。

- 退避時は構成定義パラメーター `AJSBKUROOT` の値が指定されていない。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)
- エラーの原因を取り除いてください。

#### KAVV564-E

Cannot add because the execution start date of the specified jobnet differs from that of the upper jobnet.  
指定したジョブネットの実行開始日時が上位ジョブネットと異なるため追加ができません。

指定したジョブネットの実行開始日時が、ルートジョブネットの実行開始日の基準時刻から 48 時間の範囲内でないため追加ができません。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 追加時に指定する実行開始日時には、ルートジョブネットの実行開始日の基準時刻から 48 時間の範囲内で指定してください。

#### KAVV565-E

The specified job or jobnet has no schedule to be added.  
指定したジョブまたはジョブネットには追加できる予定がありません。

表示している実行予定の中に追加できる予定（指定したジョブ、またはジョブネットの上位ジョブネットに予定があつて、指定したジョブ、またはジョブネットにはない状態の予定）がありません。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 追加しようとした、または指定したユニットが正しいか確認してください。

### KAVV566-E

The date is specified incorrectly.

日付の指定に誤りがあります。

日付を誤って指定しています。

- (S) 処理を中断します。

- (O) 日付を正しく指定してください。  
なお、次のバージョンの JP1/AJS2 - View では上位バージョンの JP1/AJS2 - Manager に接続したときにもこのメッセージが表示されます。  
JP1/AJS2 - View が 06-00 の場合
- 相対日時で日時変更する場合に変更した日時が 2037 年以降になる。

### KAVV567-E

There is no place to restore.

回復する場所がありません。

ジョブネットにユニットを回復するときに、回復先のジョブネットのマップサイズにユニットが収まりません。

- (S) マップサイズに収まるまでユニットを回復します。
- (O) マップサイズを大きくしたあと、再度回復してください。

### KAVV568-E

This operation cannot be executed for the specified unit's status.

この操作は指定したユニットの状態に対して実行できません。

指定したユニットの状態に対して、実行できない操作がされました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 指定したユニットの状態を確認してください。[ 最新情報に更新 ] を実行することをお勧めします。  
ジョブ状態変更時にこのメッセージが表示された場合は、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajschgstat」を参照し、現在の状態に対して変更後の指定した状態に誤りがないかどうか、終了コードは変更可能かを確認してください。

### KAVV569-E

Cannot hold rerun - specified Jobnet already running.

指定したジョブネットは実行中のため保留再実行できません。

実行中のジョブネットは保留再実行できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ジョブの状態を確認してください。[ 最新情報に更新 ] を実行することをお勧めします。

### KAVV570-E

Specified Unit cannot rerun.

指定したユニットは再実行できません。

指定したユニットは再実行可能なユニットおよび状態ではありません。

次の原因が考えられます。

- 再実行しようとしたネストジョブネットまたはジョブの状態が、実行中、異常検出実行中、警告検出実行中、先行終了待ち、開始時刻待ち、または保留中である
- 再実行しようとしたネストジョブネットまたはジョブがリカバリー属性を持ち、先行のジョブネットまたはジョブの状態が正常終了または警告終了である
- 再実行しようとしたネストジョブネットまたはジョブが、判定ジョブまたは判定ジョブの従属ユニットである
- 再実行しようとしたネストジョブネットまたはジョブの上位ジョブネットにスケジュールがない

- (S) 処理を中断します。
- (O) 再実行しようとしたユニットのユニット種別または状態を確認してください。  
状態を確認する場合は [ 最新情報に更新 ] を実行することをお勧めします。

### KAVV571-E

Cannot operate because it is being restrict-processed.

制限処理中なので操作できません。

操作対象のユニットが属するスケジューラーサービスは制限処理中なので操作できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 接続先で ajsstop コマンドにより対象となるスケジューラーサービスの制限を解除するか、スケジューラーサービスが再開したあと、再度操作してください。  
なお、次のバージョンの JP1/AJS2 - View では上位バージョンの JP1/AJS2 - Manager に接続したときにもこのメッセージが表示されます。  
JP1/AJS2 - View が 06-71 以前の場合
- メンテナンス中のスケジューラーサービスにアクセスした。

**KAVV572-E**

The database files of the scheduler service do not exist.  
スケジューラーサービスのデータベースファイルが存在しません。

指定したスケジューラーサービスのデータベースファイルがありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先の JP1/AJS2 - Manager で、指定したスケジューラーサービスに対する環境設定内容、およびディスクのマウント状態を見直したあと、ファイルへアクセスできる状態にして再接続してください。

**KAVV573-E**

You can perform fixed registration only, because the specified jobnet has a hostlink jobnet.

指定したジョブネットにはホストリンクジョブネットが存在するため確定登録しかできません。

ホストリンクジョブネットがあるジョブネットは、確定実行登録以外の実行登録はできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホストリンクジョブネットがあるジョブネットに対して実行登録するときは、確定実行登録してください。

**KAVV574-E**

You cannot perform the operation because the hostlink jobnet is in a jobnet that has a start condition.

起動条件付きのジョブネットにホストリンクジョブネットが含まれているため操作できません。

起動条件とホストリンクジョブネットが、混在するジョブネットに対して、実行登録できません。

または、サスペンド状態のホストリンクジョブネットを含むジョブネットに対して、起動条件が設定されたためサスペンドの解除はできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

起動条件、またはホストリンクジョブネットを削除してから、再度操作してください。  
ただし、サスペンド状態のジョブネットに対して、ホストリンクジョブネットは削除できませんので、サスペンド状態のときは起動条件を削除してください。

**KAVV575-E**

You cannot change the definition of the hostlink jobnet because it is registered for execution.

登録されているため、ホストリンクジョブネットの定義変更はできません。

[ 詳細定義 - [ ホストリンクジョブネット ] ] ダイアログボックスを表示させている間に実行登録されたため、ホストリンクジョブネットの定義を変更できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

属性だけを変更したい場合は、再度 [ 詳細定義 - [ ホストリンクジョブネット ] ] ダイアログボックスを表示させて変更してください。

**KAVV576-E**

You cannot paste a unit that contains a hostlink jobnet under a remote jobnet.

リモートジョブネットの下位の階層にはホストリンクジョブネットを含むユニットを貼り付けることができません。

リモートジョブネットの下位の階層には、ホストリンクジョブネットを含むユニットを貼り付けることができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

リモートジョブネットの下位の階層には、ホストリンクジョブネットが定義できないため、ホストリンクジョブネットを含むユニットを貼り付けしないでください。

**KAVV577-E**

You cannot delete or paste a unit that has a lower-level hostlink jobnet.

下位の階層にホストリンクジョブネットが存在するため、削除または貼り付けができません。

サスペンド状態では下位の階層にホストリンクジョブネットがあるユニットを削除、または貼り付けできません。

(S)

処理を中断します。  
複数ユニットを選択して削除・貼り付け処理を行った場合は、削除・貼り付け処理が実行されなかったユニットがあります。

(O)

サスペンド状態のときは、下の階層にホストリンクジョブネットを持つユニットの削除、または貼り付けをしないでください。  
複数ユニットを選択していた場合に処理が実行されなかったユニットについては、下の階層にホストリンクジョブネットがないことを確認したあと、再度ユニットを選択してから削除・貼り付け処理をしてください。

### KAVV578-E

This operation cannot be executed because JP1/AJS2 - Manager for Mainframe has not started at the connection destination.

接続先でJP1/AJS2 - Manager for Mainframeが起動していないため、操作できません。

接続先で JP1/AJS2 - Manager for Mainframe が起動していないため、ホストリンクジョブネットを含むユニットは操作できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 接続先で JP1/AJS2 - Manager for Mainframe のサービスを起動してください。

### KAVV579-E

An abnormality occurred in JP1/AJS2 - Manager for Mainframe or in the mainframe at the connection destination.

接続先のJP1/AJS2 - Manager for Mainframeまたはメインフレームで異常が発生しました。

接続先の JP1/AJS2 - Manager for Mainframe、またはメインフレームで異常が発生したため、操作に失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 接続先 JP1/AJS2 - Manager のホストにある syslog (UNIX の場合) や、Windows イベントログ (Windows の場合) などのログ情報を参照して調査してください。ログファイルの内容・情報については、JP1/AJS2 - Manager for Mainframe のマニュアルを参照してください。

### KAVV580-E

The suspend function is ineffective at the connection destination.

接続先でサスペンド機能が有効になっていません。

接続先の JP1/AJS2 - Manager でサスペンド機能が有効になっていないため、操作できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド 4.7.7 サスペンド機能の設定」を参照し、接続先の JP1/AJS2 - Manager でサスペンド機能を有効にしてください。なお、サスペンド機能のセットアップ時は JP1/AJS2 - View をログアウトしてください。

### KAVV581-E

This operation cannot be executed because the specified unit is currently setting or releasing the suspend setting. 指定したユニットはサスペンド設定中または解除中のため操作できません。

指定したユニットはサスペンド設定中、または解除中のため、サスペンド実行・解除はできません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 少し時間を空けてから再度操作してください。再度操作する前に、[ 最新情報に更新 ] をすることをお勧めします。

### KAVV582-E

This operation cannot be executed because the specified unit is in the suspended state.

指定したユニットはサスペンド状態のため、この操作はできません。

指定したユニットはサスペンド状態にあるため、操作できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) サスペンド解除をしてから、操作してください。

### KAVV583-E

The specified jobnet is already suspended.

指定したジョブネットは既にサスペンド状態です。

指定したジョブネットはすでにサスペンド状態です。

- (S) 処理を中断します。
- (O) サスペンド状態かどうかを確認してください。[ 最新情報に更新 ] をすることをお勧めします。

### KAVV584-E

The specified jobnet is not suspended.

指定したユニットはサスペンド状態ではありません。

指定したユニットはサスペンド状態にないため、操作できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) サスペンド状態かどうかを確認してください。[ 最新情報に更新 ] をすることをお勧めします。

**KAVV585-E**

The specified jobnet is now monitoring so it cannot be suspended.

指定したジョブネットは起動条件監視中のためサスペンド状態にできません。

指定したジョブネットには、起動条件監視中の世代があるため、サスペンド状態にできません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
ジョブネットの状態を確認してください。[ 最新情報に更新 ] をすることをお勧めします。

**KAVV586-E**

The specified jobnet is now running so it cannot be suspended.

指定したジョブネットは実行中のためサスペンド状態にできません。

指定したジョブネットには、実行中の世代があるため、サスペンド状態にできません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
ジョブネットの状態を確認してください。[ 最新情報に更新 ] をすることをお勧めします。  
また、サスペンド状態にしたい場合は、[ サスペンド実行 ] ダイアログボックスのサスペンド実行時のオプションの [ 実行中の世代がある場合 ] で、[ サスペンドする ] を選択してください。

**KAVV587-E**

The system could not connect to the Access Control Server at the connection destination.

接続先で認証サーバに接続できません。

接続先で認証サーバに接続できないため、処理できません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
接続先の JP1/Base で指定している認証サーバが、起動しているかどうかを確認してください。

**KAVV588-E**

You cannot make a temporary schedule change to the specified execution start day.

指定した開始日時に計画一時変更できません。

開始日時が 2037 年以降になるため、計画一時変更できません。

- (S)

処理を中断します。

- (O)  
相対日時で日時変更する場合は、変更した日時が 2037 年以降にならないように指定してください。

**KAVV589-E**

The configuration definition at the connection destination is specified incorrectly. (構成定義パラメタ名)  
接続先の構成定義情報に誤った指定があります。(構成定義パラメタ名)

接続先の JP1/AJS2 - Manager で環境設定が正しく行われていないため処理できません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
接続先の JP1/AJS2 - Manager の環境設定で、メッセージに表示されている構成定義パラメーターを正しく設定してください。

**KAVV590-E**

The logical host name at the connection destination is specified incorrectly.

接続先の自論理ホスト名の設定に誤りがあります。

接続先の環境設定で、JP1/AJS2 - View で接続した論理ホストに対応するホスト名が正しく設定されていないため処理できません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
接続先で、JP1/AJS2 - View で接続した IP アドレスに対応する論理ホスト名が正しく設定されているかを確認してください。また、その論理ホスト名が接続先の環境設定で正しく論理ホストとして設定されていることを確認してください。  
また、接続先が UNIX 版の JP1/AJS2 - Manager の場合、マッピングされた OS ユーザーが構成定義ファイル ( /opt/jp1/hcclibcnf/regdir 以下のファイル ) を読み込む権限があるかを確認してください。

**KAVV591-E**

You cannot change a recovery attribute, or delete, because the specified unit is now executing.

指定したユニットは実行中のため削除またはリカバリ属性の変更はできません。

指定したユニットは実行中のため削除、またはリカバリ属性の変更はできません。

- (S)  
処理を中断します。  
複数のユニットを選択して削除した場合は、削除されなかったユニットがある場合があります。

## KAVV592-E ~ KAVV596-E

(O)

サスペンド状態であっても、実行中のユニットに対して削除、またはリカバリー属性の変更はできません。ユニットが終了状態になってから再度操作してください。

複数のユニットを選択したときは、削除されなかったユニットが実行中でないかどうかを確認したあと、再度ユニットを選択して削除してください。

### KAVV592-E

Perform the operation on a jobnet that is not scheduled to execute or is registered for a fixed execution.

状態が未計画または確定実行登録したジョブネットに対して操作してください

指定したジョブネットの状態が未計画、または確定実行登録されていないため、ルートジョブネットのスケジュールを追加できませんでした。次の原因が考えられます。

- 指定したジョブネットが計画実行登録されていて次回予定がある。
- 指定したジョブネットが即時実行登録されていて、まだ実行されていない。

(S)

処理を中断します。

(O)

ルートジョブネットのスケジュールを追加する場合は、未計画、または確定実行登録したルートジョブネットに対して操作を行ってください。

### KAVV593-E

A directory required at the connection destination cannot be accessed.

接続先に必要なディレクトリにアクセスできません。詳細情報：詳細情報1，詳細情報2

接続先の JP1/AJS2 - Manager で必要なディレクトリが見つからない、またはアクセスできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザー共通プロファイルのアップロードまたはダウンロード時にこのメッセージが表示された場合は、接続先の JP1/AJS2 - Manager でユーザー共通プロファイル格納ディレクトリがあるか、ディスクの空き容量が不足していないかを確認してください。

ユーザー共通プロファイル格納ディレクトリのパスについては、マニュアル「JP1/Automatic Job

Management System 2 操作ガイド 10.1.2 ユーザー共通プロファイルの利用」を参照してください。

### KAVV594-E

The unusual end of the specified unit has not been carried out.

指定されたユニットは、異常終了していません。

操作対象のジョブネットの状態は異常検出実行中または異常検出終了でないため、異常終了したユニットを起点とする次の再実行はできません。

- 異常終了ジョブから再実行
- 異常終了ジョブの次から再実行
- 異常終了ジョブネットから再実行

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 複数処理結果 ] ダイアログボックスで、このメッセージを表示しているユニットを確認し必要に応じて再実行してください。

### KAVV595-E

This operation cannot be executed because the number of jobnet generations had been reached the system limit at the connection destination.

接続先で世代数が上限値に達したため操作できません。

接続先の JP1/AJS2 - Manager で世代数が上限値に達したため、この操作を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブネットの世代数（起動条件成立によって作成される世代数を除く）が 8,000 世代を超えることはできません。

日付指定による確定実行登録および計画一時変更の次回予定追加で予定を追加する場合、実行中の世代が一つ以上終了してから再度操作してください。

期間指定による確定実行登録の場合、合計が 8,000 世代を超えない分については登録できています。

それ以降の予定については、登録しようとする世代数の世代が終了してから再度操作してください

### KAVV596-E

This operation cannot be executed because the system failed to delete an execution result at the connection destination.

接続先で実行結果の削除に失敗したため操作できません。

接続先の JP1/AJS2 - Manager で実行結果の削除に失敗したため、この操作を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先の JP1/AJS2 - Manager で KAVS0699-E の直前に syslog およびイベントログに出力されているメッセージに従って対処してください。



**KAVV597-E**

The jobnet monitor cannot display the next schedule of a remote jobnet.

リモートジョブネットの次回予定は、ジョブネットモニタで表示することはできません。

リモートジョブネットの次回予定は、[ジョブネットモニタ]ウィンドウで表示することはできません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
リモートジョブネットの次回予定は、メニューから  
[表示] - [詳細情報] - [次回予定]を選択して、  
[詳細情報]ダイアログボックスで確認してください。

**KAVV598-E**

The jobnet monitor or detailed information cannot display the next schedule of a manager jobnet.  
マネージャジョブネットの次回予定は、ジョブネットモニタまたは詳細情報で表示することはできません。

マネージャジョブネットの次回予定は、[ジョブネットモニタ]ウィンドウまたは[詳細情報]ダイアログボックスで表示することはできません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
マネージャジョブネットの次回予定は、[デイリースケジュール]ウィンドウまたは[マンスリースケジュール]ウィンドウで確認してください。

**KAVV599-E**

An unrecovered unit exists because the number of saved generations exceeds the maximum.  
保存世代数が最大値を超えているため、回復していないユニットが存在します。

回復しようとしたジョブネットの保存世代数が、回復先のスケジューラーサービスに設定された保存世代数の最大値を超えるため回復できません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
回復先のスケジューラーサービスで保存世代数の最大値を回避したユニットのスケジューラーサービスの設定に変更したあと、再度回復してください。  
なお、保存世代数の最大値を変更する場合はJP1/AJS2・Viewを終了してから行ってください。

**KAVV600-E**

Invalid definition in (項目名).  
(項目名)の定義内容が不正です。

定義内容が誤っています。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
定義できる内容を確認したあと、再度入力してください。

**KAVV601-E**

(項目名) exceeds (数値) bytes.  
(項目名)の指定が(数値)バイトを超えています。

「項目名」で表示された指定が制限値を超えています。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
項目を「数値」に表示された長さ以内で指定してください。

**KAVV605-E**

Specify the macro variable information to be passed.  
引き継ぎ情報のマクロ変数を指定してください。

引き継ぎ情報のマクロ変数を指定していません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
引き継ぎ情報のマクロ変数を指定してください。

**KAVV606-E**

Specify the value of the passing information.  
引き継ぎ情報の値を指定してください。

引き継ぎ情報の値を指定していません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
引き継ぎ情報の値を指定してください。

**KAVV607-E**

The value (引き継ぎ情報) specified for the passing information is invalid.  
引き継ぎ情報に指定した値(引き継ぎ情報)は不正です。

引き継ぎ情報の値に誤りがあります。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 解説 付録A イベントジョブで引き継ぐ情報」を参照し、定義可能な値を再度入力してください。

## KAVV608-E

The setting for passing information exceeds a total of (数値) bytes.

引き継ぎ情報の設定がトータル (数値) バイトを超えています。

引き継ぎ情報の設定が、指定できる値を超えています。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
不要な引き継ぎ情報が定義されていれば削除してください。また、マクロ変数名を短くすることが可能かを確認してください。

## KAVV610-E

For an event ID, you cannot specify an extension ID only. イベントIDに拡張IDのみの指定は出来ません。

JP1 イベント受信監視ジョブでイベントIDに基本コードが指定されていません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
イベントIDに基本コードの指定をするか、またはイベントIDを指定しないようにしてください。

## KAVV611-E

Specify the end-judgment file name. 終了判定のファイル名を指定してください。

JP1 イベント受信監視ジョブで終了判定のファイル名が指定されていません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
終了判定の条件としてメッセージおよび詳細情報を使用する場合は、終了判定のファイル名を指定してください。

## KAVV612-E

Specify the extension attribute name. 拡張属性名を指定してください。

拡張属性名を指定していません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
拡張属性名を指定してください。

## KAVV613-E

The extension attribute name (拡張属性名) is invalid. 拡張属性名 (拡張属性名) は不正です。

JP1 イベント受信監視ジョブで拡張属性名に誤りがあります。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド 13.4.16 [詳細定義 - [JP1 イベント受信監視] - [拡張属性指定]] ダイアログボックス」を参照し、定義可能な拡張属性名を再度入力してください。

## KAVV614-E

Specify a value for the extension attribute name. 拡張属性名の値を指定してください。

拡張属性名の値を指定していません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
拡張属性名の値を指定してください。

## KAVV615-E

The extension attribute name specification exceeds (数値) bytes. 拡張属性名の指定が (数値) バイトを超えています。

JP1 イベント受信監視ジョブで指定したユーザー任意の拡張属性が制限値を超えています。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
不要な拡張属性が定義されていれば削除してください。

## KAVV616-E

The definition of an extension attribute contains an error. 任意の拡張属性の定義に誤りがあります。

拡張属性の定義に誤りがあります。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
定義できる内容を確認したあと、再度入力してください。

**KAVV617-E**

The IP address of the event issuer is invalid.  
イベント発行元IPアドレスが不正です。

JP1 イベント受信監視ジョブで指定したイベント発行元の IP アドレスに誤りがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

正しく IP アドレスを指定するか、イベント発行元の IP アドレスの各項目はすべて空白を指定してください。

**KAVV618-E**

Specify 1 to 720 minutes for finding events before execution.

実行前のイベント検索には1-720分を指定してください。

JP1 イベント受信監視ジョブで [ 実行前のイベント検索 ] を行う場合に、イベント検索を行う対象時間が正しく指定されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 実行前のイベント検索 ] を行う場合には、イベント検索を行う対象時間を 1 分前から 720 分前の間で指定してください。

**KAVV619-E**

Specify the value of the event ID when you select "Yes" in the "Find event before exec."

実行前のイベント検索に「する」を選択する場合、イベント ID を指定してください。

JP1 イベント受信監視ジョブで [ 実行前のイベント検索 ] を行う場合には、イベント ID を指定する必要があります。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 実行前のイベント検索 ] を行わないか、イベント ID を指定してください。

**KAVV620-E**

Enter the name of the file to be monitored.  
監視対象ファイル名を入力してください。

ファイル監視ジョブで監視対象ファイル名を指定されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

監視対象ファイル名を入力してください。

**KAVV621-E**

You cannot simultaneously specify the monitoring options "size change" and "Latest write time change".  
監視条件の"サイズ変更"と"最終書き込み時刻変更"条件を同時に指定することは出来ません。

ファイル監視ジョブで監視条件としてサイズ変更と最終書き込み時刻変更の両方が条件に指定されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

監視条件には、サイズ変更か最終書き込み時刻変更のどちらかを指定するか、またはどちらも指定しないでください。

**KAVV622-E**

Specify the monitoring options.  
監視条件を指定してください。

ファイル監視ジョブに監視条件を指定していません。

(S)

処理を中断します。

(O)

監視条件を指定してください。

**KAVV623-E**

Specify from (数値) to (数値) seconds for the monitoring interval.

監視間隔には (数値) - (数値) 秒を指定してください。

ファイル監視ジョブで監視間隔の指定に誤りがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

監視間隔を指定しないか、メッセージに表示した範囲内で監視間隔を指定してください。監視間隔を指定しない場合は、60 秒が仮定されます。

**KAVV624-E**

When a generic name is specified for a monitoring file, specify the number of seconds (from (数値) to (数値)) for the monitoring interval.

監視対象ファイル名に総称名を指定する場合、監視間隔には (数値) - (数値) 秒を指定してください。

ファイル監視ジョブで監視間隔の指定に誤りがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

## KAVV630-E ~ KAVV637-E

監視間隔を指定しないか、メッセージに表示した範囲内で監視間隔を指定してください。監視間隔を指定しない場合は、60 秒が仮定されます。

### KAVV630-E

Specify the profile name.

プロファイル名を指定してください。

メール受信監視ジョブでプロファイル名を指定されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

プロファイル名を指定してください。

### KAVV631-E

Specify the list of senders, subjects, or message text.

差出人一覧、件名一覧、または本文一覧を指定してください。

メール受信監視ジョブで差出人一覧、件名一覧、または本文一覧がどれも指定されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

差出人一覧、件名一覧、または本文一覧のどれかを指定してください。

### KAVV632-E

You can register a maximum of 20 entries in the list of senders.

差出人一覧の登録は20件までです。

メール受信監視ジョブで差出人一覧の登録件数が最大値の20 件に達しているため、差出人を追加登録することができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要な差出人があれば削除し、差出人一覧には20 件以内で登録してください。

### KAVV633-E

You can register a maximum of 20 entries in the list of subjects.

件名一覧の登録は20件までです。

メール受信監視ジョブで件名一覧の登録件数が最大値の20 件に達しているため、件名を追加登録することができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要な件名があれば削除し、件名一覧には20 件以内で登録してください。

### KAVV634-E

You can register a maximum of 20 entries in the list of message texts.

本文一覧の登録は20件までです。

メール受信監視ジョブで本文一覧の登録件数が最大値の20 件に達しているため、本文を追加登録することができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要な本文があれば削除し、本文一覧には20 件以内で登録してください。

### KAVV635-E

The specification of the message text file exceeds (数値) bytes.

本文ファイルの指定が(数値)バイトを超えています。

本文ファイルの指定が制限値を超えています。

(S)

処理を中断します。

(O)

定義できる内容を確認したあと、再度入力してください。

### KAVV636-E

The specification of the folder for saving attached files exceed (数値) bytes.

添付ファイル保存先フォルダの指定が(数値)バイトを超えています。

添付ファイル保存先フォルダの指定が制限値を超えています。

(S)

処理を中断します。

(O)

定義できる内容を確認したあと、再度入力してください。

### KAVV637-E

The specification of the list file exceeds (数値) bytes.

リストファイルの指定が(数値)バイトを超えています。

リストファイルの指定が制限値を超えています。

(S)

処理を中断します。

(O)

定義できる内容を確認したあと、再度入力してください。

#### KAVV638-E

The specification of the list of received mail exceeds (数値) bytes.

メール受信リストの指定が(数値)バイトを超えています。

メール受信リストの指定が制限値を超えています。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
定義できる内容を確認したあと、再度入力してください。

#### KAVV640-E

Specify a correlation ID.  
相関識別子を指定してください。

メッセージキュー受信監視ジョブに相関識別子が指定されていません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
相関識別子を指定してください。

#### KAVV641-E

Specify a message input queue.  
メッセージ入力キューを指定してください。

メッセージキュー受信監視ジョブにメッセージ入力キューが指定されていません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
メッセージ入力キューを指定してください。

#### KAVV650-E

Enter a path name.  
パス名を指定してください。

MSMQ 受信監視ジョブにパス名を指定されていません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
パス名を指定してください。

#### KAVV660-E

Specify a file to be monitored.  
ログファイル名を指定してください。

ログファイル監視ジョブにログファイル名が指定されていません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
ログファイル名を指定してください。

#### KAVV661-E

Specify the date to be trapped.  
トラップするデータを指定してください。

ログファイル監視ジョブにトラップするデータが指定されていません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
トラップするデータを指定してください。

#### KAVV662-E

(区切り文字) specified for variable-length delimiter character in the record format is invalid.  
レコード形式の可変長区切り文字に指定した(区切り文字)は不正です。

ログファイル監視ジョブのログファイル動作定義として、区切り文字に使用できない文字が指定されています。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
区切り文字には'¥'および2バイト以上の文字列は指定しないでください。ただし、¥でエスケープする場合は¥を指定することは可能です。

#### KAVV663-E

Specify from (数値) to (数値) bytes for the fixed-length of record format.  
レコード形式の固定長レコード長には(数値)・(数値)バイトを指定してください。

ログファイル監視ジョブのログファイル動作定義として、レコード長の指定に誤りがあります。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
メッセージに表示した範囲内でレコード長を指定してください。

### KAVV664-E

Specify from (数値) to (数値) lines for the number of header lines in the header specification.

ヘッダー指定のヘッダー行数には (数値)・(数値) 行を指定してください。

ヘッダー行数が制限値を超えています。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 定義できる内容を確認したあと、再度入力してください。

### KAVV665-E

Specify from (数値) to (数値) bytes for the header size in the header specification.

ヘッダー指定のヘッダーサイズには (数値)・(数値) バイトを指定してください。

ヘッダーサイズが制限値を超えています。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 定義できる内容を確認したあと、再度入力してください。

### KAVV666-E

Specify from (数値) to (数値) seconds for the monitoring interval.

監視間隔には (数値)・(数値) 秒を指定してください。

ログファイル監視ジョブのログファイル動作定義として監視間隔の指定に誤りがあります。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 監視間隔を設定しないか、メッセージに表示した範囲内で監視間隔を指定してください。監視間隔を指定しない場合は、10 秒が仮定されます。

### KAVV667-E

Specify from (数値) to (数値) bytes for the event data length.

イベントデータ長には (数値)・(数値) バイトを指定してください。

ログファイル監視ジョブのログファイル動作定義としてイベントデータ長の指定に誤りがあります。

- (S) 処理を中断します。
- (O) イベントデータ長を設定しないか、メッセージに表示

した範囲内でイベントデータ長を指定してください。  
イベントデータ長を指定しない場合は、512 バイトが仮定されます。

### KAVV668-E

You can register a maximum of 8 files to be monitored.  
ログファイル名の登録は8件までです。

ログファイル監視ジョブでログファイル名の登録件数が最大値の 8 件に達しているため、監視対象とするログファイルを追加登録することができません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 不要なログファイルがあれば削除し、ログファイル名には 8 件以内で登録してください。

### KAVV670-E

The setting for the data to be trapped exceeds a total of (数値) bytes.

トラップするデータの設定がトータル (数値) バイトを超えています。

ログファイル監視ジョブでトラップするデータの設定が制限値を超えています。

- (S) 処理を中断します。
- (O) トラップするデータに不要なものがあれば削除してください。

### KAVV671-E

The setting for data lines except log information exceeds a total of (数値) bytes.

ログ情報以外のデータ行の指定の設定がトータル (数値) バイトを超えています。

ログファイル監視ジョブでログ情報以外のデータ行が制限値を超えています。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ログ情報以外のデータ行に不要なものがあれば削除してください。

### KAVV680-E

Specify the event type.

イベントの種類を指定してください。

Windows イベントログ監視ジョブでイベントの種類が指定されていません。

- (S) 処理を中断します。

- (O)  
イベントの種類を指定してください。

#### KAVV681-E

Specify from (数値) to (数値) for the event ID.  
イベントIDには (数値) - (数値) を指定してください。

Windows イベントログ監視ジョブでイベント ID の指定に誤りがあります。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
イベント ID を設定しないか、メッセージに表示した範囲内でイベント ID を指定してください。

#### KAVV690-E

Specify the waiting time.  
待ち時間を指定してください。

実行間隔制御ジョブで待ち時間が指定されていません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
待ち時間を指定してください。

#### KAVV691-E

Specify from (数値) to (数値) minutes for the waiting time.  
待ち時間には (数値) - (数値) 分を指定してください。

実行間隔制御ジョブで待ち時間の指定に誤りがあります。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メッセージに表示した範囲内で待ち時間を指定してください。

#### KAVV692-E

Enter the correlation.  
相互関係を入力してください。

MSMQ 受信監視ジョブで相互関係が指定されていません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
相互関係を入力してください。

#### KAVV701-E

Enter (項目名).  
(項目名) を入力してください。

「項目名」を入力していません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
項目名を入力してください。

#### KAVV703-E

For the time to reach queue, specify from -2 to 2147483647.  
配信制限時間には -2 ~ 2147483647 を指定してください。

MSMQ 送信ジョブで配信制限時間の指定に誤りがあります。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メッセージに表示した範囲内で配信制御時間を指定してください。

#### KAVV704-E

For the retention time, specify from -1 to 2147483647.  
保持時間には -1 ~ 2147483647 を指定してください。

MSMQ 送信ジョブで保持時間の指定に誤りがあります。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
メッセージに表示した範囲内で保持時間を指定してください。

#### KAVV705-E

(例外) occurred at the time of (処理).(処理).  
(処理) 時に (例外) が発生しました。(処理)

処理中に予期しないエラーが発生しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
次の資料を採取したあと、システム管理者に連絡してください。
  - 画面のハードコピー
  - JP1/AJS2 - View のログファイル

#### KAVV706-E

The number of characters in (項目名) exceeds the size limit.  
(項目名) の文字数が規定のサイズを超えています。

項目名が制限値を超えて指定されています。

- (S)  
処理を中断します。

## KAVV707-E ~ KAVV715-E

(O)

エラーメッセージを表示したダイアログボックスからヘルプを起動して、表示された項目名の制限値を確認してください。

### KAVV707-E

The input value (項目名) contains an error.  
(項目名) の入力値に誤りがあります。

入力された値に誤りがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーメッセージを表示したダイアログボックスからヘルプを起動して、表示された項目名の定義方法を確認してください。

### KAVV709-E

The maximum number of recipients is 20.  
宛先一覧は20件までです。

メール送信ジョブで宛先一覧の登録件数が最大値の 20 件に達しているため、宛先を追加登録することができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要な宛先があれば削除し、宛先一覧には 20 件以内で登録してください。

### KAVV710-E

The maximum number of attached files is 20.  
添付ファイル一覧は20件までです。

メール送信ジョブで添付ファイル一覧の登録件数が最大値の 20 件に達しているため、添付ファイルを追加登録することができません。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要な添付ファイルがあれば削除し、添付ファイル一覧には 20 件以内で登録してください。

### KAVV711-E

For an event ID, Specify from 00000000 to 00001FFF, or from 7FFF8000 to 7FFFFFFF.  
イベントIDには00000000-00001FFF, 7FFF8000-7FFFFFFFを指定してください。

JP1 イベント送信ジョブでイベント ID の指定に誤りがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

イベント ID には 00000000 から 00001FFF, 7FFF8000 から 7FFFFFFF の値を指定してください。

### KAVV712-E

Specify a capital letter at the beginning of the extension attribute name.  
拡張属性名の先頭文字には、英大文字を指定してください。

JP1 イベント送信ジョブで拡張属性名の先頭文字に、英大文字以外の文字が指定されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

拡張属性名の先頭文字は、英大文字を指定してください。

### KAVV713-E

You cannot specify all spaces for (項目名).  
(項目名) にスペースのみの設定はできません。

「項目名」にスペース以外の文字が指定されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

「項目名」にはスペースだけの文字列を指定しないでください。

### KAVV714-E

Specify from 1 to 9999999 minutes for the retention time.  
保持時間には1-9999999を指定してください。

メッセージキュー送信ジョブの保持時間の指定に誤りがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

保持時間を設定しないか、メッセージに表示した範囲内で保持時間を指定してください。保持時間を指定しない場合は、制限時間がないものと扱います。

### KAVV715-E

Specify 3 to 600 seconds for the check interval.  
確認間隔には3-600秒を指定してください。

JP1 イベント送信ジョブの確認間隔の指定に誤りがあります。

(S)

処理を中断します。



- (O) イベント到達確認を行う場合は、メッセージに表示した範囲内で確認間隔を指定してください。

### KAVV716-E

Specify 0 to 999 times for the check count.  
確認回数には0-999回を指定してください。

JP1 イベント送信ジョブの確認回数の指定に誤りがあります。

- (S) 処理を中断します。
- (O) イベント到達確認を行う場合は、メッセージに表示した範囲内で確認回数を指定してください。

### KAVV801-E

Cannot find (ファイル名). Please check whether JP1/AJS2 - View is correctly installed.  
ファイル (ファイル名) が見つかりません。JP1/AJS2 - Viewが正しくインストールされているかどうか確認してください。

カスタムジョブ定義連携に必要なファイルが見つかりません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) [ 詳細定義 - [ Custom Job ] ] ダイアログボックスの [ 定義 ] タブで [ 詳細 ] ボタンをクリックしたときにこのメッセージが表示された場合は、フォルダ (SystemDrive:¥temp) があるかどうか確認してください。  
各カスタムジョブの定義編集時に、一時ファイルの格納フォルダとして SystemDrive:¥temp を使用します。このフォルダがない場合には、SystemDrive:¥temp フォルダを作成するか、または次のようにレジストリーの値を任意の一時ファイルの格納フォルダ名称に変更してください。  
「HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥HITACHI¥JP1AJS2¥CustomJobTemp」  
なお、空白を含むフォルダ名称は指定しないでください。

### KAVV802-E

Error occurred at file(ファイル名) input/output.  
ファイル (ファイル名) の入出力でエラーが発生しました。

カスタムジョブ定義連携に必要なファイルの入出力でエラーが発生しました。

- (S) 処理を中断します。

- (O) カスタムジョブ定義連携で使用するフォルダがあるディスクの空き容量が不足していないかどうか確認してください。カスタムジョブ定義連携で使用するフォルダのデフォルトは、システムドライブ ¥temp です。

### KAVV803-E

Failed to start custom job(カスタムジョブ名). Please check whether custom job(カスタムジョブ名) is correctly installed.

カスタムジョブ (カスタムジョブ名) の起動に失敗しました。カスタムジョブ (カスタムジョブ名) が正しくインストールされているかどうか確認してください。

カスタムジョブ定義プログラムの起動に失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) [ カスタムジョブ登録 ] ダイアログボックスで指定した定義プログラムがあるかどうかを確認してください。

### KAVV804-E

Error occurred at registry input/output.  
レジストリの入力でエラーが発生しました。

レジストリーの読み込みでエラーが発生しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) メモリー不足のおそれがあります。不要なアプリケーションを終了したあと、再度操作してください。解決できない場合は、JP1/AJS2 - View の構成が壊れていることが考えられます。修復インストールしてください。

### KAVV812-E

The host name (接続ホスト名) of the connection host cannot be resolved.

接続ホスト (接続ホスト名) のホスト名解決に失敗しました。

接続ホスト名のホスト名解決に失敗しました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ホスト名解決ができるように、hosts ファイルなどの設定を確認したあと、再度操作してください。

**KAVV813-E**

(実行IDまたはユニット名) of the jobnet for the connection destination could not be obtained. Detailed information: Connection host=接続ホスト名, Connection service=接続サービス名, Unit name=ユニット名

接続先のジョブネットの(実行IDまたはユニット名)を取得できませんでした。詳細情報: 接続ホスト名=接続ホスト名, 接続サービス名=接続サービス名, ユニット名=ユニット名

接続先のジョブネットが存在するホストと通信中にエラーが発生したため、接続先のジョブネットの実行IDまたはユニット名を取得できませんでした。

- (S) 処理を中断します。

- (O) このメッセージの直前に表示されたメッセージの対処方法に従って対処してください。直前のメッセージが確認できなかった場合は、JP1/AJS2・View を起動して接続先のジョブネットが存在するホストにログインできるか確認してください。

**KAVV814-E**

A different jobnet connector might be defined at the jobnet for the connection destination. Detailed information: Connection host=接続ホスト名, Connection service=接続サービス名, Jobnet Connector=ジョブネットコネクタ名

接続先のジョブネットには別のジョブネットコネクタが定義されている可能性があります。詳細情報: 接続ホスト名=接続ホスト名, 接続サービス名=接続サービス名, ジョブネットコネクタ名=ジョブネットコネクタ名

記憶元の接続先のジョブネットの[接続範囲]に[別サービス]が設定されているため、ジョブネットコネクタを自動生成できません。

- (S) 処理を中断します。

- (O) ジョブネットコネクタを自動生成できるのは、[接続範囲]に[同一サービス]が設定されている場合だけです。[接続範囲]に[別サービス]を設定している場合は、手動でジョブネットコネクタを作成してください。

**KAVV815-Q**

A different jobnet connector might be defined at the jobnet for the connection destination. Are you sure you want to continue? Detailed information: Connection host=接続ホスト名, Connection service=接続サービス名, Jobnet Connector=ジョブネットコネクタ名  
接続先のジョブネットには別のジョブネットコネクタが定義されている可能性があります。続行しますか? 詳細情報: 接続ホスト名=接続ホスト名, 接続サービス名=接続サービス名, ジョブネットコネクタ名=ジョブネットコネクタ名

[接続先のジョブネット名]に指定したユニットの[接続範囲]に[別サービス]が設定されています。このまま、ジョブネットコネクタを定義するかどうかを確認します。

- (S) 応答を待ちます。

- (O) 続行する場合は[はい]ボタンを、取り消す場合は[いいえ]ボタンをクリックしてください。

**KAVV816-Q**

A different jobnet for the connection destination might be defined at the jobnet connector. Are you sure you want to continue? Detailed information: Connection host=接続ホスト名, Connection service=接続サービス名, Connection destination=接続先のジョブネット名

ジョブネットコネクタには別の接続先のジョブネットが定義されている可能性があります。続行しますか? 詳細情報: 接続ホスト名=接続ホスト名, 接続サービス名=接続サービス名, 接続先のジョブネット名=接続先のジョブネット名

[ジョブネットコネクタ名]に指定したユニットの[接続範囲]に[別サービス]が設定されています。このまま、接続先のジョブネットを定義するかどうかを確認します。

- (S) 応答を待ちます。

- (O) 続行する場合は[はい]ボタンを、取り消す場合は[いいえ]ボタンをクリックしてください。

**KAVV850-Q**

A jobnet for the connection destination is not specified. Are you sure you want to continue?

接続先のジョブネットが指定されていません。続行しますか?

[接続先のジョブネット名]が指定されないまま、ジョブネットコネクタを定義するかどうかを確認します。

- (S) 応答を待ちます。

- (O) 続行する場合は[はい]ボタンを、取り消す場合は[いいえ]ボタンをクリックしてください。

**KAVV851-Q**

The jobnet for the connection destination does not exist.  
Are you sure you want to continue?

接続先のジョブネットが存在しません。続行しますか？

[ 接続先のジョブネット名 ] に指定されたユニットがない  
まま、ジョブネットコネクタを定義するかどうかを確認し  
ます。

(S)

応答を待ちます。

(O)

続行する場合は [ はい ] ボタンを、取り消す場合は  
[ いいえ ] ボタンをクリックしてください。

**KAVV852-E**

Unit type of jobnet for the connection destination is  
invalid.

接続先のジョブネットのユニット種別が不正です。

[ 接続先のジョブネット名 ] に、ルートジョブネットまた  
はプランニンググループ以外のユニットが指定されまし  
た。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 接続先のジョブネット名 ] には、ルートジョブネッ  
トまたはプランニンググループを指定してください。

**KAVV853-Q**

A different jobnet connector is defined at the jobnet for  
the connection destination. Are you sure you want to  
continue? (ユニット名)

接続先のジョブネットには別のジョブネットコネクタが定  
義されています。続行しますか？ (ユニット名)

[ 接続先のジョブネット名 ] に指定したユニットには、別  
のジョブネットコネクタが定義されています。このまま、  
ジョブネットコネクタを定義するかどうかを確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

続行する場合は [ はい ] ボタンを、取り消す場合は  
[ いいえ ] ボタンをクリックしてください。

**KAVV854-Q**

A jobnet connector is not specified. Are you sure you want  
to continue?

ジョブネットコネクタが指定されていません。続行しま  
すか？

[ ジョブネットコネクタ名 ] が指定されないまま、接続先  
のジョブネットを定義するかどうかを確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

続行する場合は [ はい ] ボタンを、取り消す場合は  
[ いいえ ] ボタンをクリックしてください。

**KAVV855-Q**

The jobnet connector does not exist. Are you sure you  
want to continue?

ジョブネットコネクタが存在しません。続行しますか？

[ ジョブネットコネクタ名 ] に指定されたユニットがない  
まま、接続先のジョブネットを定義するかどうかを確認し  
ます。

(S)

応答を待ちます。

(O)

続行する場合は [ はい ] ボタンを、取り消す場合は  
[ いいえ ] ボタンをクリックしてください。

**KAVV856-E**

The specified unit in the jobnet connector name is not a  
jobnet connector.

ジョブネットコネクタ名に指定したユニットはジョブネッ  
トコネクタではありません。

[ ジョブネットコネクタ名 ] に、ジョブネットコネクタ以  
外のユニットが指定されました。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ ジョブネットコネクタ名 ] には、ジョブネットコネ  
クタを指定してください。

**KAVV857-Q**

A different jobnet for the connection destination is  
defined at the jobnet connector. Are you sure you want to  
continue? (ユニット名)

ジョブネットコネクタには別の接続先のジョブネットが定  
義されています。続行しますか？ (ユニット名)

[ ジョブネットコネクタ名 ] に指定されたユニットには、  
別の接続先のジョブネットが定義されています。このま  
ま、接続先のジョブネットを定義するかどうかを確認しま  
す。なお、ユニット名は次の形式で表示されます。

- 接続範囲が同一スケジューラサービスの場合  
ユニット完全名
- 接続範囲が別スケジューラサービスで、接続ホスト名  
が省略されている場合  
スケジューラサービス名: ユニット完全名
- 接続範囲が別スケジューラサービスで、接続ホスト名  
が指定されている場合  
ホスト名: スケジューラサービス名: ユニット完全名

(S)

応答を待ちます。

(O)

続行する場合は [ はい ] ボタンを、取り消す場合は [ いいえ ] ボタンをクリックしてください。

#### KAVV858-E

Cannot define a jobnet connector under the ユニット種別. ユニット種別配下にジョブネットコネクタは定義できません。

ユニット種別の配下には、ジョブネットコネクタを定義できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユニット種別の配下には、ジョブネットコネクタを定義しないでください。

#### KAVV859-E

Select a root jobnet or a planning group.  
ルートジョブネットまたはプランニンググループを選択してください。

ルートジョブネットまたはプランニンググループ以外のユニットに対して、指定された操作はできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ルートジョブネットまたはプランニンググループを選択してから、再度操作してください。

#### KAVV860-E

The relation of the units is looped. (ユニット名)  
関連線の接続がループしています。(ユニット名)

関連線の接続がループしているため、強調表示できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

関連線のループを取り除いたあとに再度操作してください。

#### KAVV861-E

Select one unit in the map area.  
マップエリアでユニットを一つ選択してください。

マップエリアでユニットが複数選択されているため、強調表示できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

マップエリアでユニットを一つだけ選択したあとに再

度操作してください。

#### KAVV862-E

Select a schedule of ユニット種別 in the list of executions.  
実行一覧でユニット種別の予定を選択してください。

実行結果リストでユニット種別の予定が選択されていないため、指定された操作はできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

実行結果リストでユニット種別の予定を選択してから、再度操作してください。

#### KAVV863-E

This operation cannot be executed for a jobnet connector.  
ジョブネットコネクタにこの操作はできません。

ジョブネットコネクタに対して、指定された操作はできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブネットコネクタに対してできる範囲で操作してください。

#### KAVV864-E

Failed to change the definition of the saved jobnet for the connection destination. (ユニット名)  
記憶元の接続先のジョブネットの定義変更に失敗しました。(ユニット名)

記憶元の接続先のジョブネットの定義 [ ジョブネットコネクタ名 ] を変更できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先のジョブネットの定義の [ ジョブネットコネクタ名 ] を手入力で変更してください。

#### KAVV865-E

The jobnet for the connection destination has no generation connected to the jobnet connector (実行ID).  
接続先のジョブネットには、ジョブネットコネクタ (実行ID) と接続している世代がありません。

接続先のジョブネットには、ジョブネットコネクタの世代と接続している世代がないため、接続先のスケジュールを表示できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先のジョブネットの世代と接続関係のあるジョブネットコネクタの世代に対して再度操作してください。

### KAVV866-E

No jobnet connector information is saved for auto-creation.

自動作成するジョブネットコネクタの情報が記憶されていません。

自動作成するジョブネットコネクタの情報が記憶されていないため、ジョブネットコネクタを自動作成できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ JP1/AJS2 - View ] ウィンドウで接続先のジョブネットを選択し, [ オプション ] - [ ジョブネットコネクタとして記憶 ] メニューを選択してから, 再度操作してください。

### KAVV867-E

Cannot automatically create a jobnet connector saved for another scheduler service.

異なるスケジューラーサービスで記憶したユニットのため、ジョブネットコネクタを自動生成できません。

異なるスケジューラーサービスで記憶した情報でジョブネットコネクタを自動生成しようとした。

(S)

処理を中断します。

(O)

[ ジョブネットコネクタとして記憶 ] と [ ジョブネットコネクタの自動生成 ] は, 同じスケジューラーサービスで操作してください。

### KAVV868-E

Cannot automatically create a jobnet connector because the jobnet for the connection destination is already registered.

接続先のジョブネットが登録済みのため、ジョブネットコネクタを自動生成できません。

接続先のジョブネットが登録済みの場合、接続先のジョブネットの定義 [ ジョブネットコネクタ名 ] を変更できないため、ジョブネットコネクタを自動生成できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先のジョブネットを登録解除してから、再度ジョブネットコネクタを自動生成してください。

### KAVV869-E

Cannot save a root jobnet in a planning group as a jobnet connector.

プランニンググループ配下のルートジョブネットは、ジョブネットコネクタとして記憶できません。

プランニンググループ配下のルートジョブネットは接続先のジョブネットとして指定できないため、ジョブネットコネクタとして記憶できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブグループ直下のルートジョブネット、またはプランニンググループに対して、ジョブネットコネクタとして記憶させてください。

### KAVV870-E

Cannot delete or paste a unit that has a jobnet connector. 下位の階層にジョブネットコネクタが存在するため、削除または貼り付けができません。

サスペンド状態では、下位の階層にジョブネットコネクタを持つユニットを削除または貼り付けできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

サスペンド状態では、ジョブネットコネクタを含まないユニットに対して削除または貼り付けを行ってください。下位にジョブネットコネクタを持つユニットを削除または貼り付けする場合は、登録解除後に操作してください。

### KAVV871-E

The jobnet for the connection destination does not exist. 接続先のジョブネットが存在しません。

接続先のジョブネットがないため、指定された操作はできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先のジョブネットがあることを確認してから、再度操作してください。

### KAVV872-E

A different jobnet connector is defined at the jobnet for the connection destination. (ユニット名)

接続先のジョブネットには別のジョブネットコネクタが定義されています。(ユニット名)

接続先のジョブネットには、すでに別のジョブネットコネクタが定義されているため、ジョブネットコネクタを自動生成できません。

## KAVV873-Q ~ KAVV879-E

- (S) 応答を待ちます。
- (O) ジョブネットコネクタ名が定義されていない接続先のジョブネットをジョブネットコネクタとして記憶させてから、再度操作してください。

### KAVV873-Q

No authority for the ユニット種別. Are you sure you want to continue? (ユニット名)  
ユニット種別への権限がありません。続行しますか？ (ユニット名)

ユニット名に対して参照、操作、または編集する権限がないまま、指定された操作を続行するかどうかを確認します。

- (S) 応答を待ちます。
- (O) 続行する場合は [ はい ] ボタンを、取り消す場合は [ いいえ ] ボタンをクリックしてください。

### KAVV874-E

A jobnet for the connection destination is not specified.  
接続先のジョブネットが指定されていません。

接続先のジョブネットが指定されていないため、操作できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) 接続先のジョブネットが指定されていることを確認してから、再度操作してください。

### KAVV875-Q

Are you sure you want to set the control method of execution order to 同期 / 非同期 for ユニット名 (実行ID)?  
ユニット名 (実行ID) の実行順序制御方式を同期 / 非同期に設定します。よろしいですか？

ユニットの実行順序制御方式を変更するかを確認します。

- (S) 応答を待ちます。
- (O) 実行順序制御方式を変更する場合は [ はい ] ボタンを、取り消す場合は [ いいえ ] ボタンをクリックしてください。

### KAVV876-E

Cannot paste a jobnet connector under the ユニット種別.  
ジョブネットコネクタをユニット種別直下に貼り付けることはできません。

ジョブネットコネクタを定義できない階層に貼り付けようとしてしました。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ジョブネットコネクタを定義できる階層に貼り付けてください。

### KAVV877-E

No authority for the ユニット種別. (ユニット名)  
ユニット種別への権限がありません。 (ユニット名)

ユニット名に対して参照、操作、および編集する権限がないため、指定された操作はできません。

なお、ユニット名は次の形式で表示されます。

- 記憶元の接続先のジョブネットが同一スケジューラーサービスにある場合  
ユニット完全名
- 記憶元の接続先のジョブネットが同一ホスト内の別スケジューラーサービスにある場合  
スケジューラーサービス名: ユニット完全名
- 記憶元の接続先のジョブネットが別ホストのスケジューラーサービスにある場合  
ホスト名: スケジューラーサービス名: ユニット完全名

- (S) 処理を中断します。
- (O) アクセス権があるユニットに対して操作してください。

### KAVV878-E

The jobnet for the connection destination is defined under a ユニット種別.  
接続先のジョブネットはユニット種別配下に定義されています。

ユニット種別配下のユニットは、接続先のジョブネットとして指定できません。

- (S) 処理を中断します。
- (O) ユニット種別配下でないユニットを接続先のジョブネットとして指定してから、再度操作してください。

### KAVV879-E

There is no place to automatically create a jobnet connector.  
ジョブネットコネクタを自動生成する場所がありません。

マップエリアに空き領域がないため、ジョブネットコネクタを自動生成できません。

- (S) 処理を中断します。

(O)

マップサイズを大きくするか、幾つかのユニットをネストジョブネットとして階層化し、マップエリアに空き領域を作成したあと、再度操作してください。

**KAVV880-E**

The jobnet name for the connection destination is the upper unit.

接続先のジョブネット名に上位ユニットが指定されています。

上位ユニットを接続先のジョブネットとして指定しているため、ジョブネットコネクタを定義できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

上位ユニット以外を接続先のジョブネットとして指定してから、再度操作してください。

**KAVV881-E**

The jobnet connector name is the lower unit.

ジョブネットコネクタ名に下位ユニットが指定されています。

下位ユニットをジョブネットコネクタとして指定しているため、接続先のジョブネットを定義できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

下位ユニット以外をジョブネットコネクタとして指定してから、再度操作してください。

**KAVV882-E**

The specified jobnet name for the connection destination is invalid.

指定された接続先のジョブネット名が不正です

[ 接続先のジョブネット名 ] に指定されたユニット名が不正です。

次の原因が考えられます。

- ユニット名の先頭が「/(スラッシュ)」でない
- ユニット名の「/」の間が 30 バイトを超えている箇所がある
- ユニット名の末尾が「/」である

(S)

処理を中断します。

(O)

[ 接続先のジョブネット名 ] に正しいユニット名を指定してから、再度操作してください。

**KAVV883-E**

The specified jobnet connector name is invalid.

指定されたジョブネットコネクタ名が不正です

[ ジョブネットコネクタ名 ] に指定されたユニット名が不正です。

次の原因が考えられます。

- ユニット名の先頭が「/(スラッシュ)」でない
- ユニット名の「/」の間が 30 バイトを超えている箇所がある
- ユニット名の末尾が「/」である

(S)

処理を中断します。

(O)

[ ジョブネットコネクタ名 ] に正しいユニット名を指定してから、再度操作してください。

**KAVV884-E**

Cannot paste a unit that has jobnet connector under a remote jobnet.

リモートジョブネットの下位の階層にはジョブネットコネクタを含むユニットを貼り付けることができません。

リモートジョブネットの下位の階層には、ジョブネットコネクタを含むユニットを貼り付けることはできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

リモートジョブネットの下位の階層にはジョブネットコネクタを定義できないため、ジョブネットコネクタを含むユニットを貼り付けしないでください。

**KAVV885-E**

Cannot automatically create a jobnet connector because an upper unit is saved as a jobnet connector.

上位ユニットをジョブネットコネクタとして記憶しているため、ジョブネットコネクタを自動生成できません。

上位ユニットをジョブネットコネクタとして記憶しているため、ジョブネットコネクタを自動生成できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

上位ユニット以外をジョブネットコネクタとして記憶してから、再度ジョブネットコネクタを自動生成してください。

### KAVV886-E

---

The unit to be operated is a jobnet for the connection destination. The specified operation cannot be performed because it has a ユニット種別.

操作対象ユニットは、接続先のジョブネットです。ユニット種別が定義されているため、指定された操作はできません。

---

操作対象ユニットは接続先のジョブネットです。ユニット種別が定義されているため、指定された操作はできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユニット種別を削除してから、再度操作してください。

### KAVV887-E

---

The specified operation cannot be performed because the jobnet connector is in a jobnet that has a start condition. 起動条件付きのジョブネットにジョブネットコネクタが含まれているため、指定された操作はできません。

---

起動条件付きのジョブネットにジョブネットコネクタが含まれているため、指定された操作はできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブネットコネクタを使用する場合は、起動条件を削除してから、再度操作してください。

### KAVV888-E

---

The unit to be operated is a root jobnet that is directly under the planning group for the connection destination. The specified operation cannot be performed because it has a ユニット種別.

操作対象ユニットは、接続先のプランニンググループ直下のルートジョブネットです。ユニット種別が定義されているため、指定された操作はできません。

---

操作対象ユニットは、接続先のプランニンググループ直下のルートジョブネットです。ユニット種別が定義されているため、指定された操作はできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユニット種別を削除してから、再度操作してください。

### KAVV889-E

---

The specified operation cannot be performed because the root remote jobnet is directly under the planning group for the connection destination.

接続先のプランニンググループ直下のルートリモートジョブネットであるため、指定された操作はできません。

---

接続先のプランニンググループ直下のルートリモートジョブネットを、実行登録した状態にはできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ジョブグループ直下、または接続先でないプランニンググループ直下にルートリモートジョブネットを定義してから、再度操作してください。



## 2.7 KFP で始まるメッセージ（組み込み DB 関連のメッセージ）

### KFFPA11561-E

Specified authorization identifier aa.....aa has no connect privilege (A)

指定した認可識別子 aa.....aa には CONNECT 権限がありません。

**aa.....aa** : CONNECT 権限がない認可識別子

(S)

処理を終了します。

[対策]

環境設定パラメーター RDBAUTHID の値を見直してください。

### KFFPA11720-E

Error occurred in HiRDB/client, inf1=aa.....aa, inf2=bbbb (L + A)

組み込み DB システムのクライアントライブラリで内部矛盾が発生しました。

考えられる原因を次に示します。

- ajsembdbstart コマンドで指定するホストおよび PDHOST で指定するホストと、クライアント側のシステムがネットワークで通信できない状態になっているか、または通信の負荷が高くなっている

**aa.....aa** : エラーを検出したソースファイルの名称

**bbbb** : エラーを検出した位置（行番号）

(S)

処理を終了します。

[対策]

エラーが出力されたエラーログファイルのバックアップを取得して保守員に連絡してください。

### KFFPA11723-E

Communication error occurred, reason=aa.....aa (L + A)

組み込み DB システムまたは組み込み DB サーバとの通信でエラーが発生しました。または、組み込み DB システムまたは組み込み DB サーバがダウンしています。

**aa.....aa** : 障害の内容を示す文字列

CLIENT MEMORY : クライアントライブラリでメモリ不足が発生しました。

FES (SDS) CLOSE : サーバの終了処理中です。

FES (SDS) NOT UP : サーバが稼働していません。または、開始中です。

HiRDB BUSY : 組み込み DB（サーバ）が BUSY のため、コネク特できません。

HiRDB DATA ERROR : 組み込み DB システムまたは組み込み DB サーバからの通信データが不正です。

HiRDB INITIALIZE : 組み込み DB システムまたは組み込み DB サーバの初期化処理中です。

HiRDB NOT UP : 組み込み DB システムまたは組み込み DB サーバが稼働していません。または、組み込み DB サーバ側で Listen キューが不足しています。

HiRDB SYSTEM ERROR : HiRDB システムまたは HiRDB サーバでシステムエラーを検出しました。

HiRDB MEMORY : 組み込み DB システムまたは組み込み DB サーバでメモリ不足が発生しました。

INIT ERROR : 通信の初期化処理でエラーが発生しました。

INVALID SERVER TYPE : 組み込み DB（サーバ）のサーバ種別が、PDSRVTYPE（クライアント環境定義）と異なります。

NETWORK : ネットワークに障害が発生しました。または、組み込み DB サーバが異常終了してコネクションが切断されました。

(S)

処理を終了します。

(P)

aa.....aa が HiRDB BUSY の場合

時間を置いて再度実行してください。再度このメッセージが出力されたときは、組み込み DB システム管理者へ連絡してください。

aa.....aa が HiRDB BUSY 以外の場合

組み込み DB システム管理者に障害の内容を連絡し、障害を取り除いたあと再度実行してください。

[対策]

組み込み DB クライアントが出力するエラーログファイルから障害の原因を調べ、原因を取り除いて再度実行してください。

接続対象の組み込み DB が開始しているのに、接続時にこのメッセージ（aa.....aa が "HiRDB NOT UP"）が出力され続ける場合は、JP1/AJS2 の環境設定パラメーターを見直してください。また、組み込み DB サーバで障害が発生していないか、syslog（Windows の場合は Windows イベントログ）で確認してください。

い。  
JP1/AJS2の環境設定パラメーターの値が正しくて、エラーログファイルに KFPZ02444-E メッセージ (func=connect で errno の示す値が ETIMEDOUT または ECONNREFUSED) が出力されている場合は、組み込み DB サーバに対する接続要求が多過ぎるおそれがあります。この場合、時間を置いて再度実行するか、または Listen キューの指定値を大きくしてください。  
なお、このメッセージが出力された場合、組み込み DB サーバとの接続が切断されているため、再度実行するときは CONNECT 文から実行する必要があります。

#### KFPA11724-E

Environment definition error, variable=aa....aa, reason=bb....bb, identifier="cc....cc" ( L + A )

環境変数の指定に誤りがあります。

**aa....aa** : 誤りがあった環境変数名

**bb....bb** : エラーの理由

INVALID CHAR : 指定できない文字があります。  
NET ENVIRONMENT : 指定内容がネットワーク環境と一致しません。  
NO VALUE : 指定値がありません。  
OUT OF RANGE : 指定値が範囲外です。  
NOT ENVIRONMENT GROUP : レジストリー中に指定した環境変数グループがありません。  
INVALID IDENTIFIER : 識別子が不正です。

**cc....cc** : 不正な識別子 (30 バイトを超える場合は、先頭 30 バイトを表示)  
理由が INVALID IDENTIFIER の場合にのみ表示されます。それ以外の場合は表示されません。

(S) 処理を終了します。

(P) 環境変数の指定を正しくして、再度実行してください。

#### KFPA11732-E

Time over, no response from HiRDB ( L + A )

組み込み DB サーバが停止しました。または、組み込み DB サーバの処理がタイム監視時間よりも長く掛かりました。このため、組み込み DB サーバへの問い合わせができません。

(S) 処理を終了します。

(P) 組み込み DB サーバが停止した場合は、組み込み DB サーバの開始を確認し、再度実行してください。

組み込み DB サーバが停止していない場合は、環境変数 (PDCWAITTIME) でタイム監視時間を大きくして、UAP を再度実行してください。なお、このメッセージが出力された場合、組み込み DB サーバとの接続が切断されているため、再度 UAP を実行するときは CONNECT 文から実行する必要があります。

#### KFPA11756-E

No available pages in RDAREA, RDAREA=aa....aa ( A )

RD エリアのページが不足しました。

**aa....aa** : 空き領域が不足した RD エリア名

(S) このトランザクションを無効にします。

[ 対策 ]

- 次のどれかの対処をしてから再度実行してください。
- RD エリアの拡張  
ajsembdbaddarea コマンドで、不足した RD エリアの容量を拡張してください。
  - 表の再編成  
ajsembdbbrorg コマンドで、該当する RD エリアに格納されている表を再編成してください。
  - 空きページの解放  
ajsembdbstatus コマンドの -db オプションを指定して実行し、該当する RD エリアの状態を解析して、必要であればインデクスに対して ajsembdbreclaim コマンドを実行してください。

#### KFPA11912-E

Insufficient memory for DB exclusive control ( A )

排他制御のための作業領域が不足しました。

(S) 処理を終了します。または、コマンドの処理を打ち切ります。

(P)

JP1/AJS2 の動作中に発生した場合

- 現状のリソース排他状況を調べてください。  
負荷が低くなるまで待ってから再度実行してください。

ajsembdbbrorg コマンドの実行で発生した場合

- 現状のリソース排他状況を調べてください。  
負荷が低くなるまで待ってから再度実行してください。
- 負荷が低い状態でも発生する場合は、該当表をユティリティで処理するだけの排他資源管理テーブルが確保できない状態となっています。

[ 対策 ]

表排他用資源が不足している場合は、シングルサーバ定義の pd\_lck\_pool\_size オペランドの指定値を増や

して、組み込み DB を開始してください。

### KFPFA11928-I

RDAREA aa....aa held pdhold command in process  
( L )

指定した RD エリア aa....aa は、閉塞処理中です。

**aa....aa** : RD エリア名

( S )

このトランザクションを無効にします。

[ 対策 ]

RD エリアを回復し、再度このトランザクションを実行してください。

### KFPFA11932-E

Number of connect users exceeded max users ( A )

組み込み DB サーバへの接続数が最大同時接続数を超えました。

( S )

処理を終了します。

( P )

他のジョブ、またはコマンドの実行終了を待って、再度 UAP、ユティリティを実行します。

[ 対策 ]

- このメッセージが出力された場合  
可能であれば、pd\_max\_users オペランドの指定値を大きくしてください。

### KFPFA11990-E

Incompatible character code  
set,HiRDB=aa....aa,client=bb....bb ( A )

組み込み DB と連携する環境の環境変数の文字コードが不一致です。

**aa....aa** : 組み込み DB の文字コード

**bb....bb** : 組み込み DB と連携する環境の環境変数に対応した文字コード  
LANG-C : 7 ビット ASCII 文字コード  
SJIS : シフト JIS コード  
UJIS : EUC 文字コード  
UTF-8 : UTF-8 文字コード  
上記以外 : サポートしていない文字コード

( S )

処理を中断します。

( O )

エラーとなった JP1/AJS2 のコマンド実行環境、またはエラーとなった JP1/AJS2 関連サービスの起動環境の環境変数 LANG 設定値を、ajsembdbbuild コマンドの -lc オプションに指定した組み込み DB 文

字コード種別に対応した設定値に変更し、再度実行してください。

### KFPFH00115-I

aa....aa command failed ( L + S )

組み込み DB のコマンド aa....aa は、処理できません。

**aa....aa** : コマンドの名称

( S )

入力されたコマンドを無視して、処理を終了します。

### KFPFH00131-E

pdhold command failed due to RDAREA already held,  
RDAREA=aa....aa ( L )

指定した RD エリアはすでに障害閉塞しているため、コマンドでの閉塞はできません。

**aa....aa** : RD エリア名称

( S )

該当する RD エリアの処理を無視して、処理を実行します。

( O )

障害閉塞になった原因を取り除いて閉塞解除したあと、再度コマンドを実行してください。

### KFPFH00211-I

RDAREA usage aaa%, RDAREA = "bb....bb"cc....cc  
( L )

状況によるメッセージの意味を、次に示します。

ユーザー用 :

RD エリア "bb....bb" の、RD エリア全体のセグメントのうち、使用率 aaa% 目となるセグメントを使用し始めました。現在の、未使用セグメントの数は、cc....cc です。

**aaa** : 次のうち、どれかが出力されます。

- RD エリアの最終ファイルの使用セグメント相対位置
- RD エリア全体のセグメント使用率
- RD エリア全体の使用セグメント相対位置

**bb....bb** : 該当する RD エリア名称

**cc....cc** : セグメント使用率追加情報、dd....dd segments unused  
( dd....dd 残りセグメント数 )

( S )

処理を続行します。

このメッセージの対象となる RD エリアは、容量不足で新しいセグメントを割り当てできなくても、追加、更新などを行っている既存のセグメントに空きがあれば、そのセグメントを利用して処理を続行します。  
なお、このメッセージは、表示の対象となったセグメ

ントが、表の削除、表の再編成などによって解放されて、そのあと、同じセグメントを使用すると、再度表示されます。

(P)

組み込み DB システム管理者に連絡してください。

[ 対策 ]

ajsembdbstatus -db コマンドを実行してデータベースの空き領域を確認し、次に示す処置を取ってください。

- ajsembdbstatus -db コマンド、またはメッセージに出力されたセグメント使用率追加情報を参照して、対象となる RD エリアの使用状況を調べます。
- 使用状況に応じて、再編成をしてください。または、RD エリアを拡張してください。

### KFPFH00212-I

Table should be reorganized,RDAREA="aa....aa",AUTHID=bb....bb,TABLE=cc....cc (L)

表の再編成が必要な状態になりました。

aa....aa : RD エリア名

bb....bb : 認識別子

cc....cc : 表識別子

(S) 処理を続行します。

[ 対策 ]

ajsembdbreclaim コマンドでメンテナンスを行うか、ajsembdbreorg コマンドで、表を再編成してください。ただし、次に示す場合は、RD エリアの容量を拡張する必要があります。

- 同一の RD エリアの表に対してこのメッセージが頻繁に出力される場合
- 表の再編成中、または表の再編成直後にこのメッセージが出力される場合

### KFPFH22014-E

RDAREA "aa....aa" not found in dictionary server (L)

ディクショナリサーバに必要な RD エリア "aa....aa" がありません。

aa....aa : RD エリア名

\*masterdirectory\* : マスタディレクトリ

\*datadirectory\* : データディレクトリ

\*datadictionary\* : データディクショナリ

(S)

組み込み DB が異常終了します。

[ 対策 ]

該当する RD エリアが破壊されている場合、データを回復したあと、再度実行してください。

### KFPFH27008-E

aa....aa command failed due to DATA DICTIONARY RDAREA(bb....bb) status invalid, RDAREA = cc....cc (L + S)

データディクショナリ用 RD エリア bb....bb を参照できないため、指定された RD エリア cc....cc のデータベース運用コマンド aa....aa が処理できません。

aa....aa : コマンド名称

bb....bb : データディクショナリ用 RD エリア名称

cc....cc : RD エリア名称 (RD エリア名称が取得できない場合は \*\*\*\*\* が表示されます)

(S)

該当する RD エリアの処理を無効にして、処理を続行します。

(O)

データディクショナリ用 RD エリアの状態を正しくしてから、再度コマンドを実行してください。

### KFPFH27058-E

Unable to use specified command option aa for bb....bb, command=cc....cc, RDAREA name="dd....dd" (L + S)

コマンド cc....cc の場合、"bb....bb" に対して aa オプションを指定できません。

aa : オプション名

-u

bb....bb : エラーの要因

shared RDAREA : 共用 RD エリア

cc....cc : コマンド名

pdhold

dd....dd : RD エリア名

(S)

RD エリア "dd....dd" の処理を無効にして、処理を続行します。

[ 対策 ]

aa オプションを削除して、コマンドを再度実行してください。

### KFPK00002-E

aa....aa: file open failed, file\_kind:bb....bb file\_name:cc....cc errno=dd....dd (D + E)

指定したファイルまたはコマンドが一時的に作成したファイルをオープンできません。

aa....aa : コマンド種別

Pddbst : ajsembdbstatus

**bb....bb : ファイル種別**

control file : 制御文ファイル  
 edit work file : ワーク用ファイル  
 sort data file : ソート用ワークファイル  
 unload log file : アンロードログファイル  
 DAT file : DAT 形式ファイル  
 predict csv file : CSV 出力ファイル

**cc....cc : ファイル名****dd....dd** : open システムコールから返却された errno

(S)

標準エラー出力に出力された場合  
 処理を終了します。

エラーメッセージダイアログに出力された場合  
 エラーが発生する直前の画面に戻ります。

(O)

errno を基に、errno.h およびユーザーが使用する  
 OS のマニュアルを参照してエラーの原因を取り除  
 き、再度コマンドを実行してください。

**KFPK00003-E**

aa....aa: file close failed, file\_kind:bb....bb  
 file\_name:cc....cc errno=dd....dd (D + E)

ファイルをクローズできません。

**aa....aa : コマンド種別**

Pddbst : ajsembdbstatus

**bb....bb : ファイル種別**

control file : 制御文ファイル  
 edit work file : ワーク用ファイル  
 sort data file : ソート用ワークファイル  
 unload log file : アンロードログファイル  
 predict csv file : CSV 出力ファイル

**cc....cc : ファイル名****dd....dd** : close システムコールから返却された errno

(S)

標準エラー出力に出力された場合  
 処理を終了します。

エラーメッセージダイアログに出力された場合  
 エラーが発生する直前の画面に戻ります。

(O)

**dd....dd** に表示されている errno のエラー原因を取り  
 除き、再度コマンドを実行してください。

**KFPK00004-E**

aa....aa: I/O error, cause:bb....bb file\_name:cc....cc  
 errno=dd....dd (D + E)

入出力エラーが発生しました。

**aa....aa : コマンド種別**

Pddbst : ajsembdbstatus

**bb....bb : エラーが発生したシステムコール種別**

LSEEK : lseek システムコール  
 READ : read システムコール  
 WRITE : write システムコール

**cc....cc : ファイル名****dd....dd** : システムコールから返却された errno

(S)

標準エラー出力に出力された場合  
 処理を終了します。

エラーメッセージダイアログに出力された場合  
 エラーが発生する直前の画面に戻ります。

(O)

**dd....dd** に表示されている errno のエラー原因を取り  
 除き、再度コマンドを実行してください。

**KFPK00005-E**

aa....aa: system call error, func=bb....bb, errno=cc....cc  
 (D + E)

システムコール (関数) でエラーが発生しました。

**aa....aa : コマンド種別**

Pddbst : ajsembdbstatus

**bb....bb : エラーが発生したシステムコール名****cc....cc** : システムコールから返却された errno

(S)

標準エラー出力に出力された場合  
 処理を終了します。

エラーメッセージダイアログに出力された場合  
 エラーが発生する直前の画面に戻ります。

(O)

**cc....cc** に表示されている errno のエラー原因を取り  
 除き、再度コマンドを実行してください。

**KFPK00006-E**

aa....aa: unrecoverable error, func=bb....bb, errno=ccc  
 (D + E)

回復不能なエラーが発生しました。

**aa....aa : コマンド種別**

Pddbst : ajsembdbstatus

**bb....bb : エラーが発生したシステムコール種別**

CLOSEDIR : closedir システムコール  
 CREATE : create または open システムコール  
 DELETE : unlink システムコール  
 OPENDIR : opendir システムコール

## KFPK00013-E ~ KFPK10016-E

READDIR : readdir システムコール

**ccc** : システムコールから返却された errno

( S )

標準エラー出力に出力された場合  
処理を終了します。

エラーメッセージダイアログに出力された場合  
エラーが発生する直前の画面に戻ります。

( O )

**ccc** に表示されている errno のエラー原因を取り除き、再度コマンドを実行してください。エラー番号が \*\*\* の場合は、直前に出力されているエラーメッセージを基に原因を調査してください。

### KFPK00013-E

aa....aa: system call error, func=bb....bb,  
file\_name=cc....cc, errno=dd....dd ( D + E )

ファイルアクセスをするシステムコール (関数) でエラーが発生しました。

**aa....aa** : コマンド種別

Pddbst : ajsembdbstatus

**bb....bb** : エラーが発生したシステムコール名

**cc....cc** : ファイル名

**dd....dd** : errno に設定したエラー番号

( S )

標準エラー出力に出力された場合、処理を終了します。メッセージダイアログに出力された場合、エラー発生直前の画面に戻ります。

( O )

**dd....dd** に表示されている errno のエラー原因を取り除き、再度コマンドを実行してください。

### KFPK00050-E

aa....aa: insufficient memory, size=bb....bb ( D + E )

メモリー不足が発生しました。

**aa....aa** : コマンド種別

Pddbst : ajsembdbstatus

**bb....bb** : 確保しようとしたメモリーサイズ (単位: バイト)

( S )

標準エラー出力に出力された場合  
処理を終了します。

エラーメッセージダイアログに出力された場合  
エラーが発生する直前の画面に戻ります。

( O )

大量にメモリーを使用するプロセスがほかにあるか確認してください。

大量にメモリーを使用するプロセスがある場合  
該当するプロセスの終了を待って、再度コマンドを実行してください。

大量にメモリーを使用するプロセスがない場合  
次のどれかの方法で、使用できるメモリーに余裕を持たせてください。

- 同時実行しているプロセスの数を減らしてください。
- スワップ領域を増やしてください。
- 実メモリーを増設してください。

### KFPK00100-E

aa....aa: interface error, func=bb....bb, return code=cccc  
( D + E )

プログラム内の関数間でインターフェースエラーが発生しました。

**aa....aa** : コマンド種別

Pddbst : ajsembdbstatus

**bb....bb** : 不正なコードを返却した関数名

**cccc** : 詳細コード

( S )

標準エラー出力に出力された場合  
処理を終了します。

エラーメッセージダイアログに出力された場合  
エラーが発生する直前の画面に戻ります。

( O )

HiRDB 管理者へ連絡してください。

### KFPK00207-E

aaaaaa: unable to assume user id ( E )

-a または -ap に指定した値が誤っています。

**aaaaaa** : ユティリティ種別

Pddbst : ajsembdbstatus

( S )

処理を終了します。

( O )

-a または -ap オプションに正しい値を指定して再実行してください。

### KFPK10016-E

Insufficient memory in message buffer pool due to concurrent execution of "pddbst" ( D + E )

ajsembdbstatus -db オプション指定を同時実行したため、ユティリティサーバ用のメッセージ格納バッファープールのメモリーが、一時的に不足しました。なお、該当

するエラーの発生に伴って、KFPS00854-W が出力されることがあります。しかし、この場合は、サーバ障害ではありません。

(S)

標準エラー出力に出力された場合  
処理を終了します。

メッセージダイアログに出力された場合  
エラーが発生する直前の画面に戻ります。

(O)

現在実行中の `ajsembdbstatus` コマンドの実行完了後、再度実行してください。

### KFPK10101-E

Unable to start pddbst (E)

`ajsembdbstatus -db` オプションが次に示すどちらかの理由で起動できません。

- HiRDB システム全体としての最大同時実行ユーティリティ数を超過しています。
- HiRDB 本体が終了処理中です。

(S)

処理を終了します。

(O)

エラーの原因を取り除き、再度起動してください。

### KFPK10107-W

No data  
RDAREA="aa....aa" server=bb....bb (E)

RD エリア中に、表またはインデクスが一つもありません。そのため、状態を表示できません。

**aa....aa** : RD エリア名

**bb....bb** : 組み込み DB 名

(S)

標準エラー出力に出力された場合、処理を終了します。

(O)

`ajsembdbsetup` コマンドを実行し、データベースを組み込み DB へ移行したあと、コマンドを再実行してください。

### KFPK10300-I

Pddbst started (E)

`ajsembdbstatus -db` オプションの実行を開始しました。

(S)

処理を続行します。

### KFPK10301-I

Pddbst terminated, return code=aa....aa (E)

`ajsembdbstatus -db` オプションの実行が終了しました。

**aa....aa** : リターンコード

0 : 正常に終了しました。

4 : 正常に終了したが警告メッセージを出力しました。または、処理の一部をスキップしました。

8 : エラー発生のため処理を打ち切りました。

(S)

処理を終了します。

(O)

リターンコードが 4 および 8 の場合、標準エラー出力、またはメッセージログファイルに出力された、警告メッセージまたはエラーメッセージを参照して原因を取り除いてください。

### KFPL00712-I

aa....aa started, table=bb....bb.cc....cc,  
server=dd....dd,spacelvl=e, generation=ff (L)

サーバ `dd....dd` の表 `bb....bb.cc....cc` に対するアンロード、またはリロード処理を開始しました。

**aa....aa** : 実行した処理

{Reload | Unload}

**bb....bb** : 認識別子

**cc....cc** : 表識別子

**dd....dd** : サーバ名

**e** : 空白変換レベル

(S)

処理を続行します。

### KFPL00714-I

aa....aa ended, table=bb....bb.cc....cc, server=dd....dd,  
return code=ee (L)

サーバ `dd....dd` の表 `bb....bb.cc....cc` に対するアンロード処理、リロード処理、使用中空きページ解放処理、または使用中ページの読み込み処理が終了しました。

**aa....aa** : 実行した処理

{Unload | Reload | Reclaim | Page read}

**bb....bb** : 認識別子

**cc....cc** : 表識別子

**dd....dd** : サーバ名

**ee** : リターンコード

## KFPL00715-I ~ KFPL00732-I

- (S)  
0 または 4 の場合、処理を続行します。また、0 または 4 以外の場合、処理を終了します。
- (O)  
リターンコードが 0 または 4 以外の場合はメッセージログファイルに出力されたエラーメッセージを参照してエラーの原因を取り除いたあと、再度コマンドを実行してください。

### KFPL00715-I

Index load started at aa....aa, index=bb....bb."cc....cc",  
RDAREA=dd....dd, generation=ee ( L )

インデクスロードの処理を開始しました。

**aa....aa** : サーバ名  
**bb....bb** : 認識別子  
**cc....cc** : インデクス識別子  
**dd....dd** : RD エリア名

- (S)  
処理を続行します。

### KFPL00716-I

Index load ended at aa....aa, index=bb....bb,  
RDAREA=cc....cc, return code=dd ( L )

インデクスロード処理がリターンコード dd で終了しました。

**aa....aa** : サーバ名  
**bb....bb** : インデクス識別子  
**cc....cc** : RD エリア名  
**dd** : リターンコード  
0 : 正常終了  
8 : 異常終了

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
異常終了の場合は、このメッセージの前に出力したエラーメッセージを参照して、エラーの原因を取り除いてください。

### KFPL00717-I

Pdrorg started, func=aaaa ( L )

ajsembdborg の処理 aaaa を開始しました。

**aaaa** : 処理内容  
rorg : 表の再編成  
unld : 表のアンロード

reld : 表のリロード  
ixmk : インデクスの一括作成  
ixrc : インデクスの再作成  
ixor : インデクスの再編成  
reclm : 使用中空きページ解放処理  
bfon : ページ読み込み処理

- (S)  
処理を続行します。

### KFPL00719-I

Pdrorg terminated, return code=aa ( E + L )

ajsembdborg の処理が終了しました。

**aa** : リターンコード  
0 : 正常終了しました。  
4 : 正常終了しました。ただし、処理に関係ない警告レベルのエラーが発生しました。  
8 : 異常終了しました。

- (S)  
処理を終了します。

- (O)  
リターンコードが 0 または 4 以外の場合は、標準出力またはメッセージログファイルに出力されたエラーメッセージを参照してエラーの原因を取り除き、再度コマンドを実行してください。  
リターンコードが 4 の場合は、メッセージを無視して処理を続行してください。

### KFPL00721-I

aa....aa in table bb....bb.cc....cc deleted,  
RDAREA=dd....dd ( L )

表 bb....bb.cc....cc の RD エリア dd....dd の行データを削除しました。

**aa....aa** : 削除したデータ  
Data : 行データ

**bb....bb** : 認識別子

**cc....cc** : 表識別子

**dd....dd** : RD エリア名

- (S)  
処理を続行します。

### KFPL00732-I

aa....aa started, table=bb....bb.cc....cc, spacelv=d,  
generation=ee ( L )

表 bb....bb.cc....cc に対するアンロードまたはリロード処理を開始しました。

**aa....aa** : 実行した処理



{Reload | Unload}

**bb....bb** : 認識別子

**cc....cc** : 表識別子

(S)

処理を続行します。

---

**KFPL00734-I**

---

aa....aa ended, table=bb....bb.cc....cc, return code=dd (L)

---

表 bb....bb.cc....cc に対するアンロードまたはリロード処理が終了しました。

**aa....aa** : 処理内容

Unload : アンロード

Reload : リロード

**bb....bb** : 認識別子

**cc....cc** : 表識別子

**dd** : リターンコード

(S)

(リターンコードが0または4の場合)

処理を続行します。

(リターンコードが0または4以外の場合)

処理を終了します。

(O)

(リターンコードが0または4以外の場合)

ログファイルに出力されたエラーメッセージを参照して、エラーの原因を取り除いたあと、再度コマンドを実行してください。

### KFPL00736-I

Pdrorg restarted, at  
aa....aa, table=bb....bb."cc....cc"dd....dd (L)

表の再編成処理を aa....aa から再開しました。

**aa....aa** : 処理の種類

unload : アンロード処理

delete : データ削除処理

reload : リロード処理

ixrc : インデクス再作成処理

status clear : ステータスクリア処理

**bb....bb** : 認識別子

**cc....cc** : 表識別子

**dd....dd** : ", server= サーバ名 " が表示されます。

(S)

処理を続行します。

### KFPL00739-I

Pdreclaim terminated, return code=aaa (L)

ajsembdbreclaim の処理がリターンコード aaa で終了しました。

**aaa** : リターンコード

0 : 正常終了 (使用中空きページ解放完了)

4 : タイムアウト発生 (使用中空きページ解放途中)

8 : 異常終了 (使用中空きページ解放失敗)

上記以外の値 : 異常終了 (ajsembdbreclaim を起動できない, または ajsembdbreclaim が異常終了)

(S)

処理を終了します。

(O)

- リターンコードが4の場合  
使用中空きページ解放の対象表をアクセスしているジョブの終了を待ってから再実行してください。
- リターンコードが8の場合  
このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。
- リターンコードが0, 4, および8以外の場合  
値はシステム関数の戻り値です。標準エラー出力、メッセージログファイル、syslog、またはイベントログを参照して、異常終了した原因を取り除いたあと、ajsembdbreclaim を再度実行してください。

### KFPL00810-I

aa....aa restart at bb....bbth row (E + L)

コマンドの処理を bb....bb 行目から再開しました。

**aa....aa** : コマンド名

Pdrorg : ajsembdborg

**bb....bb** : アンロードデータファイルの先頭からの行数

(S)

処理を続行します。

### KFPL15047-E

File I/O error occurred, reason=aa....aa, func=bb....bb, errno=cc....cc, (dd....dd) (E + L)

ファイル入出力中にエラーが発生しました。

**aa....aa** : エラーの理由

Empty-file :  
指定されたファイルは空 (0 バイト) です。

File-format :  
指定したファイル名が誤っています。

File-lock :  
該当するファイルは、ほかのユーザーが使用しています。コマンドラインや制御文に指定したファ

イル名が、別のユーザーで使用中のファイル名と重複しているか、または OS のカーネルパラメーターのファイルロック用資源が不足しているおそれがあります。

ajsembddbcond-sample スクリプトを実行していた場合、実行中のスクリプトが終了してから再実行してください。ajsembddbcond-sample スクリプトを実行していない場合、カーネルパラメーターのファイルシステムの各パラメーターに設定されている値を見直してください。

#### Invalid-device :

指定されたファイルのエントリータイプ (属性) が不正です。ファイル名を指定する必要がある個所にディレクトリ名を指定したり (またはその逆)、キャラクタ型スペシャルファイルを使用できないファイルにキャラクタ型スペシャルファイルを割り当てたりしているおそれがあります。

#### Invalid-path :

パス名が誤っています。

#### Invalid-permission :

指定したファイルのパーミッションが不正 (アクセス権限エラー) です。組み込み DB システム管理者にファイルアクセス権限を与えていないファイルを使用しているおそれがあります。

#### No-file :

読み込み用のファイルがありません。または書き込み中のファイルが削除されました。

#### No-space :

書き込むファイルに十分な容量がありません。  
UNIX 版の場合 :  
ディスク容量が十分な状態でこのエラーになる場合は、組み込み DB ファイルシステム領域をラージファイルとして定義していないか、または OS のカーネルパラメーターの制限に該当しているおそれがあります。  
ajsembdbsetup コマンドを実行していた場合、組み込み DB 環境を ajsembdbunsetup コマンドで削除し、ajsembdbbuild コマンドに -c オプションを指定して組み込み DB 環境を構築したあとに ajsembdbsetup コマンドを再実行してください。  
上記以外の場合は、カーネルパラメーターのファイルシステムの設定で、扱えるファイルの最大サイズを 2 ギガバイト以上または無制限に設定してください。特に AIX では、デフォルトのファイルサイズ制限が 1 ギガバイトになっているため、注意してください。

#### bb....bb : エラーが発生した関数名

- OS がエラーを検知した場合はシステム関数名
- 組み込み DB ファイルシステムでエラーを検知した場合は p\_f\_ios で始まる組み込み DB ファイルシステムの関数名
- 上記以外の場合は「\*\*\*」

#### cc....cc : エラーコード

- OS がエラーを検知した場合はシステム関数が返却したエラー番号 (errno : エラー状態を表す外部参照変数)。
- 組み込み DB ファイルシステムでエラーを検知した場合は組み込み DB ファイルシステムのエラーコード。エラーコードについては、「付録 C 組み込み DB ファイルシステムに対するアクセス要求から返されるエラーコード」を参照してください。考えられる主なエラー原因と対処を次に示します。  
-1511 :  
指定したファイルパス名が組み込み DB ファイルシステムのファイル名称規則に違反しているおそれがあります。領域名は 117 文字以内、ファイル名は 30 文字以内としてください。  
-1532 :  
指定したファイルパス名が誤っているおそれがあります。ファイルパス名を修正してください。なお、組み込み DB ファイルシステム名だけ指定して、ファイル名まで指定していない場合は、ファイル名まで指定してください。  
-1534 :  
指定したファイル名が別のジョブで使用中のファイル名と重複しているおそれがあります。ファイル名を変更してください。  
-1535 :  
容量不足です。なお、処理開始直後に容量不足となる場合は、コマンドラインや制御文に指定したファイルサイズの指定値が、組み込み DB ファイルシステムの制限値を超えていることが考えられます。ajsembdbaddarea コマンドで容量を追加してください。  
-1540 :  
組み込み DB ファイルシステム名へのアクセス権限がありません。組み込み DB システム管理者に対してアクセス権限を与えてください。
- 上記以外のエラー要因の場合は「0」。

#### dd....dd : トラブルシュート情報 (障害を検知したソースファイル名と行番号)

##### (S)

処理を終了します。

##### (O)

エラーの理由、関数名、およびエラーコードから、errno.h、ユーザーが使用する OS のマニュアル、および「付録 C 組み込み DB ファイルシステムに対するアクセス要求から返されるエラーコード」を参照してエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

#### KFPL15227-E

---

Unable to aa....aa without bbbbbb privilege (E)

---

表のアクセス権限がないため、aa....aa コマンドは実行できません。

**aa....aa** : コマンド

pdrrg : ajsembdbrrg  
pdreclaim : ajsembdbreclaim

**bbbbbb** : 必要なアクセス権限

DBA : DBA 権限  
delete : DELETE 権限  
insert : INSERT 権限  
select : SELECT 権限

(S)

処理を終了します。

(O)

次のアクセス権限があるユーザーで再実行してください。

- Windows の場合 : Administrators 権限
- UNIX の場合 : スーパーユーザー権限

ajsembdbsetup コマンドに、-a, -ap オプションを指定して実行している場合、ajsembdbrrg または ajsembdbreclaim コマンドに ajsembdbsetup で指定した -a, -ap オプションと同じ値を指定して実行してください。

#### KFPL20001-E

Insufficient memory in message buffer pool due to concurrent execution of aa....aa (L)

同一組み込み DB に対して ajsembdbreclaim および ajsembdbrrg コマンドを同時実行または多重実行するときに、メッセージ格納バッファープールのメモリーが一時的に不足しました。なお、該当するエラーの発生に伴って、KFPS00854-W が出力されることがあります。しかし、この場合は、サーバ障害ではありません。

**aa....aa** : プログラム名  
{ "pdrrg" }

(S)

処理を終了します。

(O)

現在実行中の ajsembdbreclaim および ajsembdbrrg コマンドの実行完了後、再度実行してください。

#### KFPL20020-E

Transaction (aa....aa) error occurred, code=bbbbbb (L)

トランザクションの開始または決着に失敗しました。

**aa....aa** : トランザクションの種類  
{ begin | commit | rollback }

**bbbbbb** : エラー詳細コード

(S)

処理を終了します。

(O)

「付録 B システムコールのリターンコード」を参照してエラーの原因を取り除いたあと、再度コマンドを実行してください。

#### KFPL25005-E

Invalid attribute exists in Control file, line=aa....aa (E)

制御情報ファイルの、aa....aa 行目の値が誤っています。次の原因が考えられます。

- ajsembdbrrg コマンドの -d オプションに指定したパスに誤りがある
- ajsrpdsync コマンドの -b オプションに指定したパスに誤りがある

**aa....aa** : 解析時にエラーになった行番号

(S)

処理を終了します。

(O)

ajsembdbrrg コマンドの -d オプション、または ajsrpdsync コマンドの -b オプションに絶対パスを指定して、再実行してください。

#### KFPL27500-E

Transaction wait time  
over,index=aa....aa."bb....bb",RDAREA=cc....cc (L)

ajsembdbreclaim コマンドを実行しましたが、タイムアウトしました (該当するインデックスをアクセスするトランザクションが決着しなかったため)。

**aa....aa** : 認可識別子

**bb....bb** : インデックス識別子

**cc....cc** : RD エリア名

(S)

処理を終了します。

(O)

実行中のジョブの終了を待ってから再実行してください。

#### KFPL31010-E

Invalid row length, line=aa....aa (R)

入力ファイル中の行番号 aa....aa の行データの長さが不正です。

ajsembdbrrg コマンドの -d に指定したディレクトリに格納されているデータファイルに問題がある場合に出力されます。

**aa....aa** : 行番号

## KFPL90002-I ~ KFPL90026-I

(S)

処理を終了します。

(O)

ajsembdbbrorg コマンドの -d オプションに指定したディレクトリに格納されているデータファイルの文字コードまたはエンディアンが不一致であるおそれがあります。指定したファイルが正しいかどうかを確認して再実行してください。

### KFPL90002-I

Process aa.....aa ended. return code=bb,yyyy/mm/dd,hh:mm:ss (S)

aa.....aa 処理を終了します。

aa.....aa : 処理種別

rorg : 再編成

bb : リターンコード

0 : 正常終了。すべての表の再編成処理が終了しました。  
4 : 正常終了。表の再編成途中です。  
8 : エラー終了。バックアップから回復しました。  
12 : エラー終了。バックアップからの回復は失敗しました。

yyyy/mm/dd : 実行終了年月日

hh:mm:ss : 実行終了時間

(S)

処理を終了します。

(O)

- リターンコードが 4 の場合 :  
ほかのプログラムによるマシンの負荷が高いため、コマンドの応答が遅延しているおそれがあります。マシンの負荷が低い時間帯に再実行してください。
- リターンコードが 8, 12 の場合 :  
エラーの詳細については、KFPL90003-E で示す実行情報ファイルの内容を確認してください。  
ajsembdbcond-sample スクリプトを実行している場合、エラーの原因を取り除いたあと、マニュアル「JPI/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 15.14.4(6) 組み込み DB 再編成スクリプト」の「(b) 再編成スクリプトのカスタマイズ」に記載の、エラー発生時の対処方法についての補足事項を参照して対処してください。  
ajsembdbbrorg コマンドを実行している場合、エラーの原因を取り除いたあと、再実行してください。

### KFPL90003-E

Eliminating the cause of the error, refer to executed information file="aa.....aa" (E)

実行情報ファイルに示すエラーがあります。

aa.....aa : 実行情報ファイル名

(S)

処理を終了します。

(O)

実行情報ファイルの内容からエラーの詳細を確認して、エラーの原因を取り除いてください。

### KFPL90021-I

DB hold step ended (S)

データベースの閉塞処理を終了します。

(S)

処理を続行します。

### KFPL90022-I

Before backup step ended (S)

処理前のバックアップ処理を終了します。

(S)

処理を続行します。

### KFPL90023-I

aa.....aa step started (S)

aa.....aa 処理を開始します。

aa.....aa : 処理種別

Reorganize : 再編成

(S)

処理を続行します。

### KFPL90024-I

aa.....aa step ended (S)

aa.....aa 処理を終了します。

aa.....aa : 処理種別

Reorganize : 再編成

(S)

処理を続行します。

### KFPL90025-I

After backup step ended (S)

処理後のバックアップを終了します。

(S)

処理を続行します。

### KFPL90026-I

DB release step ended (S)

データベースの閉塞解除処理を終了します。

(S)

処理を続行します。

#### KFPL90027-I

DB stop process started (S)

エラー回復処理のため、データベースを停止します。

(S)

処理を続行します。

#### KFPL90028-I

Recover step started on aa....aa error (S)

バックアップファイルからのデータベースの回復処理を開始します。

aa....aa : 処理種別

rorg : 再編成

(S)

処理を続行します。

#### KFPL90101-I

aa....aa (R)

実行時のコマンドラインを出力します。

aa....aa : ajsembdborg 実行時のコマンドライン

(S)

処理を続行します。

#### KFPL90102-I

aa....aa (R)

ajsembdborg 実行時の制御文 1 行分を出力します。

aa....aa : ajsembdborg 実行時の制御文

システム コール名	呼び出しモ ジュール	errno	エラーの内容	対策方法
open	任意	23	ファイルのオープン数がシステム の上限を超えました。 組み込み DB サーバが Windows の場合、インストー ルドライブの容量不足によっ て、共有メモリー用の作業ファ イルが確保できません。	OS のオペレーティングシステムパラ メタ (カーネルパラメーター) の nfile の指定値を大きくしてください。 また、不要なプロセスやウィンドウが ある場合は停止してください。 組み込み DB サーバが Windows の場 合、インストールドライブに、共有メ モリーサイズ以上の空き容量を確保し てください。

(S)

処理を続行します。

#### KFPO00107-E

"aa....aa(bb....bb)" failed. errno=cc....cc : dd....dd

(E)

組み込み DB システム内で発行したシステムコールに、エ  
ラーが発生しました。

aa....aa : システムコール名

bb....bb : システムコールを呼び出したモジュール、また  
は関数名

cc....cc : システムコールエラー時の errno 値

dd....dd : システムコールエラーの内容

(S)

障害の重要度によって、次に示すどれかの処置を取り  
ます。

- 処理を打ち切り、プロセスを異常終了させます。
- 処理を打ち切り、実行中サービスの呼び出し元へ戻  
します。
- そのまま処理を続行します。

(O)

システムコール名と errno 値を基に、ユーザーが使用  
する OS のマニュアルで原因を調査してください。コ  
アファイルにダンプが出力されている場合は、そのダ  
ンプを保存して組み込み DB システム管理者に連絡し  
てください。

[ 対策 ]

システムコール名と errno 値を基に、ユーザーが使用  
する OS のマニュアルで原因を調査し、UAP の修正、  
システム定義の変更、またはオペレーティングシステ  
ムを再度生成してください。  
主な対策方法を次に示します。

システム コール名	呼び出しモ ジュール	erno	エラーの内容	対策方法
		24	該当するプロセスでオープンしているファイル数が多過ぎます。 組み込み DB サーバが Windows の場合、インストールドライブの容量不足によって、共有メモリー用の作業ファイルが確保できません。	組み込み DB を操作するコマンド実行中に発生した場合、OS のオペレーティングシステムパラメタ（カーネルパラメーター）の maxfiles の値を大きくしてください。 組み込み DB サーバが Windows の場合、インストールドライブに、共有メモリーサイズ以上の空き容量を確保してください。
	logbllib.c	999	Windows の場合、組み込み DB の作業ファイルが破壊されているおそれがあります。	組み込み DB が停止しているのを確認してから、次に示すファイルをすべて削除して回復してください。 ただし、4 以降のファイルはないことがあります。 1. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥uxpldir¥spool¥system¥filmng.dat 2. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥uxpldir¥spool¥system¥flg.dat 3. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥uxpldir¥spool¥system¥shmmng.dat 4. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥ ~ pdatmode 5. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥ ~ pdipcid 6. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥oslmqid 7. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥oslsmid 8. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥pdprcsts 9. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥scdqid1 10. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥scdqid2 11. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥tmp¥pdommenv 12. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥uxpldir¥spool¥shm 下の全ファイル 13. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥uxpldir¥spool¥system¥semmng.dat 14. 組み込み DB 運用ディレクトリ ¥uxpldir¥spool¥system¥msgmng.dat  これらのファイルを削除したあとに組み込み DB を開始する場合、エクスプローラなどの他アプリケーションで「組み込み DB 運用ディレクトリ ¥tmp」にアクセスしたままの状態、組み込み DB を開始しないでください。
write	uss_dump uss_dump_h uss_dump_d usm_dump usm_rmdump usm_svdump	12	組み込み DB の運用ディレクトリがあるファイルシステムが満杯状態です。	組み込み DB の運用ディレクトリ下のトラブル情報を削除してください。 トラブル情報を削除するには、OS の rm コマンド（Windows の場合は del コマンド）を使用してください。

システム コール名	呼び出しモ ジュール	errno	エラーの内容	対策方法
shmat	ommalloc ommrmalc	22	組み込み DB の共有メモリーがありません（組み込み DB の共有メモリーを削除したおそれがあります）。 OS 起動完了前に組み込み DB を操作するコマンドを入力した（/etc/localrc などの OS の環境ファイルに組み込み DB のコマンドを記述した場合も含む）ことが考えられます。 Windows の場合、組み込み DB 稼働中に、組み込み DB 運用ディレクトリ下の作業ファイルを削除したおそれがあります。	組み込み DB の共有メモリーを削除した場合は、保守員に連絡してください。 OS 起動完了前に組み込み DB のコマンドを実行した場合は、OS の起動完了を待って再度コマンドを実行してください。 OS の環境ファイル /etc/localrc に組み込み DB を操作するコマンドを記述した場合は、OS の起動完了前に実行されるため、エラーとなります。したがって、/etc/localrc には組み込み DB を操作するコマンドを記述しないでください。 Windows の場合、組み込み DB が異常終了していなければ、強制終了してください。そのあと、組み込み DB のサービスを再開してください。 なお、組み込み DB の稼働に関係なく実行できるコマンドを実行した場合、このメッセージはエラーとしては無視してください。コマンドは正常に動作しているため、コマンドの実行結果を確認してください。
	ommrmalc	24	呼び出し元プロセスに接続される共有メモリー数がシステムの上限值を超えました。	次のオペレーティングパラメタに適切な値を設定してください。 • HP-UX の場合：shmseg • Solaris の場合：shminfo_shmseg • Linux の場合：SHMSEG  AIX 5L の場合は環境変数 EXTSHM に ON を設定してください。
shmctl	ommfixed	1	実行者がスーパーユーザーではありません。 組み込み DB 運用ディレクトリ /bin 下のファイルの所有者が、不当に変更されたことが考えられます。	実行形式ファイル（組み込み DB 運用ディレクトリ /bin 下にある pdommmixed）の所有者および所有者の実行権限を確認してください。 所有者が root、所有者の実行権限が s（ファイルモードが r-sr-xr-x）でない場合、pdsetup コマンド実行後に組み込み DB 運用ディレクトリ /bin 下のファイルの所有者が変更されています。スーパーユーザーで組み込み DB の環境を再構築する必要があります。そのあと、組み込み DB を再開してください。
semget	osysemg	12	Windows の場合、セマフォ識別子に空きがありません。	組み込み DB が必要とするセマフォ識別子数を見積もって、それより大きい値をシステム環境変数 PDUXPLSEMMAX に設定してください。 設定後、組み込み DB を終了してサービスを再開してください。
	pdi_osm_get	999		

その他の代表的な errno については、「付録 B システムコールのリターンコード」を参照してください。

(S)  
処理を続行します。

KFPR00754-I

Pdcopy started ( L + S )

ajsembdbbackup コマンドの処理を開始しました。

KFPR00756-I

Pdcopy terminated, return code=aa ( L + S )

ajsembdbbackup コマンドの処理が次に示すリターン

## KFPR00764-I ~ KFPR16014-E

コードの内容で終了しました。

**aa** : ajsembddbbackup コマンドのリターンコード  
0 : 正常終了  
8 : 異常終了 (複製処理中にエラーが発生しましたが、バックアップの取得に成功したものもあります)  
12 : 異常終了 (複製処理はすべて失敗しました)

(S)  
処理を続行します。

(O)  
異常終了の場合は、このメッセージの前に出力したエラーメッセージを参照してエラーの原因を取り除いたあと、再実行してください。

### KFPR00764-I

---

Pdrstr started ( L + S )

---

ajsembdbrstr コマンドの処理を開始しました。

(S)  
処理を続行します。

### KFPR00765-I

---

Pdrstr terminated, return code=aa ( L + S )

---

ajsembdbrstr コマンドの内部処理が次に示すリターンコードの内容で終了しました。

**aa** : ajsembdbrstr コマンド内部処理のリターンコード  
0 : 正常終了  
4 : 警告終了 (バックアップファイルまたはアンロードログファイルのクローズエラー、またはバックアップファイル中に回復対象の RD エリアのデータがありません)  
8 : 異常終了 (エラーが発生しましたが一つ以上回復に成功した RD エリアがあります)  
12 : 異常終了 (すべての RD エリアの回復に失敗しました)

(S)  
処理を続行します。

[ 対策 ]  
異常終了の場合は、このメッセージの前に出力したエラーメッセージを参照して、エラーの原因を取り除いてください。

### KFPR16003-E

---

aaaaaa error occurred, file=bb....bb ( E + L )

---

ファイルへの入出力エラーが発生しました。

**aaaaaa** : エラーの発生した処理  
Close : クローズ処理  
Open : オープン処理

Read : 読み込み処理  
Reopen : マルチボリュームファイルの 2 巻目以降のオープン処理  
Write : 書き込み処理

**bb....bb** : ファイル名称

(S)  
処理を終了します。ただし、ファイルの Close エラーのときは処理を続行する場合があります。

[ 対策 ]  
このメッセージに続いて出力されるメッセージを参照して、エラーの原因を取り除き、再度コマンドを実行してください。

### KFPR16005-E

---

Insufficient memory for PROCESS, size=aa....aa ( L + S )

---

ajsembddbbackup コマンドの実行に必要な作業領域を確保しようとしたましたが、メモリーが不足しているため確保できません。

**aa....aa** : 確保しようとした領域長 (単位 : バイト)

(S)  
処理を終了します。

[ 対策 ]  
不要なプロセスを終了するなどしてメモリーの使用量を減らしたあと、再度実行してください。または、OS の実メモリーを増やしてください。

### KFPR16014-E

---

Pdcopy version aa....aa and HiRDB version bb....bb do not match ( L + S )

---

ajsembddbbackup 内部で使用しているコマンドのバージョンが組み込み DB のバージョンと異なります。  
ajsembddbbackup コマンドの -d オプションで指定しているデータベース領域が、-id オプションに指定している組み込み DB とは別の領域を指定しているおそれがあります。

**aa....aa** : ajsembddbbackup 内部で使用しているコマンドのバージョンリビジョン番号

**bb....bb** : 組み込み DB のバージョンリビジョン番号

(S)  
処理を終了します。

(O)  
ajsembddbbackup コマンドの -d オプションと -id オプションに指定している値が、ajsembdbbuild コマンドを実行したときの -d オプションと -id オプションの組み合わせと一致していることを確認し、再度実行してください。



**KFPR16101-E**

File I/O error occurred, reason=aa....aa, func=bb....bb,  
errno=cc....cc, (dd....dd) ( L + S )

ファイルへの入出力処理中にエラーが発生しました。

**aa....aa** : エラーの理由

File-lock :

使用するファイルは、ほかのユティリティで排他制御されています。そのため、ファイルの読み書きができません。コマンドラインや制御文に指定したファイル名が別のジョブで使用中のファイル名と重複しているか、または OS のカーネルパラメーターのファイルロック用資源が不足しているおそれがあります。

Invalid-device :

指定したファイルのエントリータイプ（属性）が不正です。ファイル名を指定する必要がある個所にディレクトリ名を指定したり（またはその逆）、キャラクタ型スペシャルファイルを使用できないファイルにキャラクタ型スペシャルファイルを割り当てたりしているおそれがあります。

Invalid-path :

パス名が誤っています。

Invalid-permission :

指定したファイルのパーミッションが不正（アクセス権限エラー）です。組み込み DB システム管理者にファイルアクセス権限を与えていないファイルを使用しているおそれがあります。

No-file :

読み込み用にオープンしようとしたファイルがあ

りません。または書き込み中のファイルが消去されました。

No-space :

書き込むファイルに十分な容量がありません。容量を確保してください。

UNIX 版の場合で、ディスク容量が十分な状態でこのエラーになるときは、OS のカーネルパラメーターの制限に該当しているおそれがあります。

**bb....bb** : エラーが発生した関数名

- 組み込み DB ファイルシステムでエラーを検知した場合は p\_f\_ios で始まる組み込み DB ファイルシステムの関数名
- 関数使用時以外で検知したエラーの場合は「\*\*\*」
- 上記以外の場合はシステム関数名

**cc....cc** : 関数が返却したエラー番号 ( errno )

- 組み込み DB ファイルシステムでエラーを検知した場合は組み込み DB ファイルシステムのエラーコード
- OS がエラーを検知した場合はシステム関数が返却したエラー番号 ( errno : エラー状態を表す外部参照変数 )

**dd....dd** : 障害を検知したソースファイル名と行番号

( S )

処理を終了します。

[ 対策 ]

次の表に従って対策してください。

エラー要因	対策
組み込み DB ファイルシステムでエラーを検知した場合	「付録 C 組み込み DB ファイルシステムに対するアクセス要求から返されるエラーコード」を参照してエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
関数以外でエラーを検知した場合	aa....aa のエラー理由からエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
OS がエラーを検知した場合	OS のマニュアルを参照してエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

**KFPR16205-E**

Insufficient memory for PROCESS, size=aa....aa ( L + S )

ajsembdbrstr コマンドの実行に必要な作業領域を確保しようとしたのですが、プロセス固有領域が不足しているため確保できません。

**aa....aa** : 確保しようとした領域長（単位：バイト）

( S )

処理を終了します。

[ 対策 ]

大量にメモリーを使用するプロセスがないか確認してください。

大量にメモリーを使用するプロセスがある場合：

該当するプロセスの終了を待って、再度コマンドを実行してください。

大量にメモリーを使用するプロセスがない場合：

次のどれかの方法で、使用できるメモリーに余裕を持たせてください。

- 同時実行しているプロセスの数を減らす
- スワップ領域を増やす
- 実メモリーを増設する

## KFPR16214-E

Pdrstr version aa....aa and HiRDB version bb....bb do not match ( L + S )

ajsembdbrstr コマンドの内部で使用するコマンドのバージョンが組み込み DB のバージョンと異なります。ajsembdbrstr コマンドの -d オプションで指定しているデータベース領域が、-id オプションに指定している組み込み DB とは別の領域を指定しているおそれがあります。

**aa....aa** : データベース回復ユティリティのバージョンリビジョン番号

**bb....bb** : HiRDB のバージョンリビジョン番号

( S )  
処理を終了します。

( O )  
ajsembdbrstr コマンドの -d オプションで指定しているデータベース領域が、-id オプションに指定している組み込み DB のものであることを確認してください。

## KFPR16318-E

Backup data not found, RDAREA name="aa....aa" ( L + S )

指定されたバックアップファイルには、該当する RD エリアのバックアップはありません。

**aa....aa** : バックアップデータのない RD エリア名

( S )  
該当する RD エリアは、バックアップデータを使用しないで回復します。アンロードログファイルの指定があり、該当する RD エリアの更新ログがあれば、ログだけを使用して回復します。ただし、-L オプションが指定されている場合は、処理を中断します。

( O )  
次の内容を確認して誤りを修正し、再度実行してください。

- ajsembdbrstr コマンドを実行する前に、この RD エリアが回復できる状態になっているか確認してください。
- バックアップファイルを正しく指定しているか確認してください。
- ajsembdbrstr コマンドに -lr オプションを指定している場合、ajsembdbbackup コマンド実行時に、-z オプションを指定して作成したバックアップファイルを指定しているか確認してください。

## KFPR16330-E

Log was not found when backup aa....aa at bb....bb-cc....cc, server=dd....dd ( L + S )

ajsembdbrstr コマンドの -l オプションを指定した場合、回復に必要な期間の情報がアンロードログファイルに含まれていません。

ajsembdbrstr コマンドの -lr オプションを指定した場合、回復に必要な期間の情報がシステムログファイルに含まれていません。

**aa....aa** : 含まれていない日時

- started : 複写取得開始時点
- ended : 複写取得終了時点

**bb....bb** : システムログレコード番号 1

**cc....cc** : システムログレコード番号 2

**dd....dd** : 回復対象のサーバ名称

( S )  
組み込み DB の回復処理を中断します。

( O )  
ajsembdbrstr コマンドの -l オプションを指定した場合、回復に必要な期間の情報が含まれるアンロードログファイルを指定して再度実行してください。必要なアンロードログファイルがない場合は、アンロードログファイルを使用しないでバックアップファイルだけで回復させてください。  
ajsembdbrstr コマンドの -lr オプションを指定した場合、システムログを使用しないでバックアップファイルだけで回復させてください。

## KFPR26001-E

Communication "aa....aa" error occurred, code=bbbbbb ( L + S )

ajsembdbbackup コマンドの実行中に通信エラーが発生しました。

**aa....aa** : エラーが発生した RPC 関連関数の名称

**bbbbbb** : エラーが発生した RPC 関連関数のエラーコード

( S )  
処理を終了します。

[ 対策 ]  
「付録 B システムコールのリターンコード」を参照してエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、組み込み DB システム管理者が対処できないエラーが発生している場合は、保守員に連絡してください。

## KFPR26006-E

Invalid parameter aa....aa exists at -b option in command line ( L + S )

コマンドラインのオプション中に不正なパラメタがあります。リスト用 RD エリアの場合は、複写・回復の対象になりません。

**aa....aa** : 不正なパラメタ

**b** : オプション名

(S)

コマンドラインの解析終了後、処理を中断します。ただし、次の条件をすべて満たす場合は処理を続行します。

- -J オプションおよび -r オプションを指定している
- KFPR26061-W メッセージが出力されている

[ 対策 ]

コマンドラインの指定を修正し、再度実行してください。

### KFPR26012-E

HiRDB file aa....aa error, errno=bb....bb, HiRDB file name=cc....cc ( L + S )

cc....cc で示すファイルに、aa....aa のエラーが発生しました。

**aa....aa** : エラーの内容

close : ファイルのクローズ  
create : ファイルの作成  
fstat : ファイル情報の取得  
open : ファイルのオープン  
read : ファイルの読み込み  
write : ファイルの書き込み  
expand : ファイルの拡張  
reopen : マルチファイル時の二つ目のファイル以降のオープン

エラーコード	要因
-1556	組み込み DB ファイルが初期割り当てサイズを超えたため、増分割り当てサイズで拡張しようとしたが失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 該当する組み込み DB ファイルシステム領域の増分回数指定を超えて拡張しようとした。</li> <li>• 該当する組み込み DB ファイルが、上限 (23 回) を超えて拡張しようとした。</li> </ul>
-1562	該当する組み込み DB ファイルシステム領域の種別が UTL ではありません。

原因が特定できない場合には、保守員に連絡してください。

### KFPR26017-E

Insufficient memory in message buffer pool due to concurrent execution of "pdcopy" ( L + S )

ajsembdbbackup コマンドを同時実行するときに、ユーティリティサーバ用のメッセージ格納バッファープールのメモリーが、一時的に不足しました。なお、該当するエラーの発生に伴って、KFPS00854-W が出力されることがあります。しかし、この場合はサーバ障害ではありません。

(S)

処理を終了します。

**bb....bb** : エラーコード

0 : 要求したサイズの読み出しまたは書き込みができませんでした。

0 以外 : 「付録 C 組み込み DB ファイルシステムに対するアクセス要求から返されるエラーコード」を参照してください。

**cc....cc** : エラーの発生したファイル名

(S)

バックアップ用のファイルの場合は、処理を中断します。ただし、ほかのバックアップファイルがある場合、または次の条件をすべて満たす場合は処理を続行します。

- 該当するファイルが、RD エリアを構成する組み込み DB ファイルである
- -J オプションを指定している
- エラーの内容が open または close である
- KFPR26061-W メッセージが出力されている
- ほかに処理されていない RD エリアがある

[ 対策 ]

ファイルがデータベース用の場合

該当する RD エリアを回復して、再度実行してください。

ファイルがバックアップ用の場合

「付録 C 組み込み DB ファイルシステムに対するアクセス要求から返されるエラーコード」を参照して、エラーの原因を取り除き、再度実行してください。エラーコードが -1556 または -1562 の場合は、次の要因が考えられます。

(O)

現在実行中の ajsembdbbackup コマンドの実行完了後、再度実行してください。

### KFPR26021-E

Unable to output result of pdcopy ( L + S )

このメッセージの前に出力されたエラーが原因で、ajsembdbbackup コマンドの処理結果を出力できません。

(S)

処理を終了します。

[ 対策 ]

エラーの原因を取り除き、再度実行してください。た

## KFPR26022-I ~ KFPR26217-E

だし、ほかのエラーが発生していないときは、バックアップ処理は終了しています。そのため、実行結果が不要の場合は再実行する必要はありません。

### KFPR26022-I

Output result of pdcopy to aa....aa ( L + S )

ajsembdbbackup コマンドの処理結果をファイル aa....aa に出力します。

**aa....aa** : 出力するファイル名

( S )  
処理を終了します。

### KFPR26072-E

Invalid time stamp found, RDAREA name=aa....aa, file name=bb....bb, offset=cc....cc, time stamp=(dd....dd,ee....ee) ( L + S )

ページ内タイムスタンプが不正であるページを見つけました。

**aa....aa** : RD エリア名

**bb....bb** : 組み込み DB ファイル名。後ろから 64 バイトを表示します。

**cc....cc** : タイムスタンプが不正であるページの、組み込み DB ファイルの先頭からの相対レコード位置。10 進数で表示します。

**dd....dd** : ページ先頭にあるタイムスタンプ。日時形式 YYYY/MM/DD HH:MM:SS に変換して表示します。

**ee....ee** : ページ後尾にあるタイムスタンプ。日時形式 YYYY/MM/DD HH:MM:SS に変換して表示します。

( S )  
処理を終了します。

( O )  
ajsembdbbackup コマンドに -s オプションを指定してバックアップを取得している場合  
バックアップ対象ページが出力中のためバックアップ取得に失敗しました。ajsembdbbackup コマンドを再実行してください。  
ajsembdbbackup コマンドに -s オプションを指定しないでバックアップを取得している場合  
表示された RD エリアの領域が壊れています。前回取得したバックアップを使用して回復する必要があります。

### KFPR26201-E

Communication "aa....aa" error occurred, code=bbbb ( L + S )

ajsembdbrstr コマンドの実行中に通信エラーが発生しました。

**aa....aa** : エラーが発生した RPC 関連関数の名称

**bbbb** : エラーが発生した RPC 関連関数のエラーコード

( S )  
処理を終了します。

[ 対策 ]  
「付録 B システムコールのリターンコード」を参照してエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

### KFPR26212-E

HiRDB file aa....aa error, errno=bb....bb, HiRDB file name=cc....cc ( L + S )

cc....cc で示すファイルに、aa....aa のエラーが発生しました。

**aa....aa** : エラーの内容

close : ファイルのクローズ  
create : ファイルの作成  
fstat : ファイル情報の取得  
open : ファイルのオープン  
read : ファイルの読み込み  
write : ファイルの書き込み  
expand : ファイルの拡張

**bb....bb** : エラーコード

0 : 要求したサイズの読み出しまたは書き込みができませんでした。  
0 以外 : 「付録 C 組み込み DB ファイルシステムに対するアクセス要求から返されるエラーコード」を参照してください。

**cc....cc** : エラーの発生したファイル名

( S )  
ファイルがデータベース用の場合  
該当する RD エリアの回復処理をスキップして、ほかの RD エリアの回復処理を続行します。

ファイルがバックアップ用の場合  
回復処理を中断します。

( O )  
ファイルがデータベース用の場合  
ajsembdbbuild コマンドで組み込み DB を再構築したあと、再度実行してください。  
ファイルがバックアップ用の場合  
ほかのバックアップファイルを用いて、再度実行してください。  
エラーの内容が write で、エラーコードが 0 の場合は、OS のファイルシステムの容量不足が考えられます。

### KFPR26217-E

Insufficient memory in message buffer pool due to concurrent execution of "pdrstr" ( L + S )

ajsembdbrstr コマンドを同時実行したときに、ユーティリティーサーバ用のメッセージ格納バッファープールのメモリーが一時的に不足しました。なお、該当するエラーの発生に伴って、KFPS00854-W が出力されることがあります。しかし、この場合はサーバ障害ではありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

現在実行中の ajsembdbrstr コマンドの実行完了後、再度実行してください。

### KFPR26220-E

System manager "aa....aa" failed, return code=bb....bb  
( L + S )

システム関連の "aa....aa" 関数エラーが発生しました。

**aa....aa** : エラーが発生したシステム関連関数の名称

**bb....bb** : エラーが発生したシステム関連関数のエラーコード

(S)

処理を終了します。

[ 対策 ]

- エラーが発生したシステム関数の名称が pdi\_omm\_attach で、そのエラーコードが -144 の場合  
次のどちらかの要因が考えられます。-mh オプションに正しいホスト名称を指定して、再度実行してください。
- -mh オプションでホスト名称を省略していて、指定したマスタディレクトリ用 RD エリアが ajsembdbrstr コマンドを入力したサーバマシンにない
  - -mh オプションで指定したホスト名称のサーバマシンにマスタディレクトリ用 RD エリアがない

その他の場合

「付録 B システムコールのリターンコード」を参照してエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

### KFPR26221-E

Unable to output result of pdrstr ( L + S )

このメッセージの前に出力されたエラーが原因で、ajsembdbrstr コマンドの処理結果を出力できません。

(S)

処理を終了します。

[ 対策 ]

エラーの原因を取り除き、再度実行してください。ただし、ほかのエラーが発生していないときは回復処理

が終了しているため、実行結果が不要な場合は再度実行する必要はありません。

### KFPR26222-I

Output result of pdrstr to aa....aa ( L + S )

ajsembdbrstr コマンドの処理結果をファイル aa....aa に出力します。

**aa....aa** : 出力するファイル名称

(S)

処理を続行します。

### KFPR26226-E

SystemID of aa....aa is invalid ( L + S )

aa....aa のシステム ID が稼働中の組み込み DB と一致していません。このため、データベースを回復できません。

**aa....aa** : ファイル種別

backup file : バックアップファイル

sys log file : システムログファイル

unload log file : アンロードログファイル

(S)

処理を終了します。

[ 対策 ]

次に示すどれかの処置をしてください。

- バックアップファイルまたはアンロードログファイルの場合  
正しいファイルを指定して、再度実行してください。
- システムログファイルの場合  
システムログが破壊されたおそれがあります。ajsembdbbbuild コマンドで組み込み DB 環境を再構築したあと、ajsembdbbbackup コマンドで取得したバックアップで回復を行ってください。

### KFPR26227-E

-l or -d option is not specified for backup file with -M s option ( L + S )

-M s オプションを指定して取得したバックアップファイルを使用して回復するときに、アンロードログファイルを指定していません。

(S)

処理を終了します。

[ 対策 ]

-l を指定している場合 :

アンロードログファイルを指定して、再度実行してください。

-d を指定している場合 :

アンロードログファイルが格納されているディレクトリを指定して、再度実行してください。

**KFPR26229-E**

To recover Master RDAREA, pdstart should be executed with -r option ( L + S )

マスタディレクトリ用 RD エリアの回復時は、組み込み DB を ajsembdbstart コマンドに -r オプションを指定して開始してください。

( S )

処理を終了します。

( O )

組み込み DB を ajsembdbstop コマンドで終了させて ajsembdbstart コマンドに -r オプションを指定し、開始し直したあとに実行してください。

**KFPR26270-W**

Log information, specified log Run ID=aa.....aa Gen No=bb....bb, log Run ID=cc.....cc Gen No=dd....dd in RDAREA name="ee.....ee" ( L )

ajsembdbrstr コマンドの -l オプションに、データベースの回復に必要なアンロードログファイルがすべて指定されていません。RD エリアに格納されているログ情報と、ajsembdbrstr コマンドの -l オプションで指定したアンロードログファイルのログ情報を表示します。

**注意事項**

次に示す方法でバックアップを取得した場合は、データベースの回復に必要なアンロードログファイルがすべて指定されていてもこの警告メッセージが出力されます。その場合は、この警告メッセージを無視してください。

- 組み込み DB を正常終了したあとにバックアップを取得した場合  
 次の正常開始以降に使用したシステムログを格納した全アンロードログファイルを -l オプションに指定しても、この警告メッセージが出力されます。
- ajsembdbbackup コマンド実行時に、ジョブネットの更新など、スケジューラサービスのデータベースが更新されていた場合  
 システムログファイルのスワップ以降に使用したシステムログを格納した全アンロードログファイルを -l オプションに指定しても、この警告メッセージが出力されます。

**aa.....aa** : -l オプションの先頭に指定したアンロードログファイル <sup>1</sup> のログ情報 (システムログファイルのログサーバラン ID)

**bb....bb** : -l オプションの先頭に指定したアンロードログファイル <sup>1</sup> のログ情報 (システムログファイルの世代番号)

**cc....cc** : RD エリアに格納されているログ情報 (システムログファイルのログサーバラン ID) ID <sup>2</sup>

**dd....dd** : RD エリアに格納されているログ情報 (システム

ムログファイルの世代番号) <sup>2</sup>

**ee....ee** : RD エリア名称

注 1 先頭のアンロードログファイルが対象になります。

注 2 組み込み DB の正常終了時に、ログ情報を RD エリアに格納します。

**[ 対策 ]**

ajsembdbrstr コマンドの -l オプションに、データベースの回復に必要なアンロードログファイルをすべて指定してください。cc....cc および dd....dd を参照して、必要なアンロードログファイルを指定して再実行してください。

**KFPR26280-E**

Specified backup file invalid. filename=aa.....aa, code=bb....bb ( S + L )

指定したバックアップファイルは不正です。

**aa.....aa** : エラーとなったバックアップファイルの名称 (100 文字を超える場合、バックアップファイル名の後ろから 100 文字だけ出力します)

**bb....bb** : エラー要因

other : ajsembdbbackup コマンド以外で取得したバックアップファイル  
 error : pdcopy で取得したバックアップであるが、エラー (リターンコード 12) で終了しているバックアップファイル

( S )

処理を終了します。

( O )

正しいバックアップファイル名を指定して、再度実行してください。

**KFPS00705-E**

Error found while analyzing definition file ( L )

組み込み DB のシステム定義ファイルの解析中にエラーを検出しました。

( S )

組み込み DB の開始を待っています。

**[ 対策 ]**

組み込み DB のシステム定義ファイルが不当に変更されていないか確認してください。変更されている場合は、元の状態に戻してから ajsembdbstart コマンドを実行してください。  
 このメッセージの前後に別のメッセージが出力されている場合は、そのメッセージも参照してください。エラーの要因が取り除けない場合は、保守員に連絡してください。

**KFPS00715-E**

Unable to continue processing serious error occurred  
(reason code=aaa). enter pdrpause (E + L)

組み込み DB の処理を続行できないエラーが発生しました。

**aaa** : 要因コード

- 1: 組み込み DB のインストール環境に問題があります。
- 2: メモリー不足が発生しました。
- 3, 4, 5, 8, 9, 10, 11, 13, 14, 15, 42, 43, 44, 101, 102, 103, 104, 105: 組み込み DB のシステムファイルへのアクセスに失敗しました。
- 6: システム時刻の取得処理が失敗しました。
- 7: 組み込み DB の再開始処理で組み込み DB が 30 分以内に 3 回連続で異常終了しました。
- 20: 組み込み DB のシステム定義に誤りがあります。

(S)

処理を終了します。

[ 対策 ]

次の手順に従って対策してください。

1. このメッセージの出力後に、ajsembdbstart コマンドが終了していない場合、ajsembdbstop -f コマンドを実行して終了させてください。
2. このメッセージの前後に別のメッセージが出力されている場合は、そのメッセージも参照してください。
3. 要因コードに対応した障害要因を取り除いてください。
  - 1:
    - ・組み込み DB のインストールが正常終了しているか確認してください。
    - ・UNIX 版の場合、/etc/inittab ファイルが不当に変更されていないか確認してください。
  - 2:
    - ・稼働しているプロセスの状態を確認し、見積もり値以上のメモリーがあるか確認してください。
  - 3, 4, 5, 8, 9, 10, 11, 13, 14, 15, 42, 43, 44, 101, 102, 103, 104, 105:
    - ・組み込み DB のシステムファイルが不当に変更されていないか確認してください。
  - 6:
    - ・OS の稼働状況に問題がないか (リソース不足などが発生していないか) を確認してください。
  - 7:
    - ・組み込み DB のシステムログファイルがすべて満杯となり、上書きできない状態になっていないか確認してください。
    - ・同一ホスト内の他の組み込み DB 環境との設定内容 (各ディレクトリ、ポート番号など) が重複していないか確認してください。
    - ・UNIX 版の場合、OS と組み込み DB との文字コード種別の設定が一致しているか確認してください。

20:

- ・組み込み DB のシステム定義ファイルが不当に変更されていないか確認してください。
4. UNIX 版の場合は、ajsembdbstart -R コマンドを実行してください。
  5. Windows 版の場合は、組み込み DB のサービス (HiRDB/EmbeddedEdition 組み込み DB 識別子名) を再開始してください。サービスが停止していない場合は、サービスをいったん停止したあと、再度サービスを開始してください。
  6. 組み込み DB が自動起動しない場合は、ajsembdbstart コマンドを実行してください。
  7. 以上の手順で対処できない場合は、保守員に連絡してください。

**KFPS00993-I**

Accepted process abnormal end request. PID=aa....aa,  
TRNGID=bb....bb, TRNBID=cc....cc, REQUEST=dd....dd  
(L)

次に示すどれかの場合に、出力されることがあります。

- ・組み込み DB システムが異常終了した。
- ・組み込み DB へのアクセス処理でエラーが発生した。
- ・ajsembdbcancel コマンドによって、組み込み DB 操作コマンドの処理を中断した。

**aa....aa** : 保守情報

**bb....bb** : 保守情報

**cc....cc** : 保守情報

**dd....dd** : 保守情報

(S)

該当する処理を終了します。

[ 対策 ]

通常はこのメッセージを無視してください。なお、ほかに JP1/AJS2 で出力されたエラーメッセージがある場合は、それらのメッセージに従って対策してください。

**KFPS01040-E**

aa....aa error occurred in physical status file bb....bb.  
reason code=cc....cc (E + L)

組み込み DB のシステムファイル bb....bb へのアクセス時にエラーが発生しました。

**aa....aa** : 保守情報

**bb....bb** : システムファイルのパス名

**cc....cc** : 理由コード

(S)

ほかのシステムファイルに切り替えて処理を続行します。

[ 対策 ]

次に示す理由コードから原因を特定し、対策してください。

理由コード	原因	対策
0000000006	ファイルがありません。	組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリに、システムファイルがあるか確認してください。
0000000020	アクセス権限がありません。	組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリおよび作成されているシステムファイルに、アクセス権限があるか確認してください。
0000000021	アクセス権限がありません。	組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリおよび作成されているシステムファイルに、アクセス権限があるか確認してください。
0000000022	排他エラー（ほかのプロセスで使用中）が発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>しばらく待ってから再度実行してください。</li> <li>クラスタ構成時には、実行系および待機系の両方から共有ディスク上のシステムファイルにアクセスしていないか確認してください。</li> </ul>
0000000023	システム資源（ファイルロック）不足が発生しました。	OS のシステムパラメーターを見直してください。
0000000024	アクセス権限がありません。	組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリおよび作成されているシステムファイルに、アクセス権限があるか確認してください。
0000000025	システム資源（ファイルディスクリプタ）不足が発生しました。	OS のシステムパラメーターを見直してください。
0000000026	ファイルがありません。	組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリに、システムファイルがあるか確認してください。
0000000027	入出力エラーが発生しました。	ディスク障害などの OS 上の障害が発生していないか確認してください。組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリにアクセスできるか確認してください。
0000000028	メモリー不足が発生しました。	OS のシステムパラメーターを見直してください。
0000000029	ファイルがありません。	組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリに、システムファイルがあるか確認してください。
0000000030	UNIX 版の場合はキャラクタ型スペシャルファイルのオープン数オーバー、Windows 版の場合はファイルのオープン数オーバーが発生しました。	OS のシステムパラメーターを見直してください。
0000000031	ファイル名が不正です。	<p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファイル名に使用できない文字を指定しています。</li> <li>ファイル名の長さが制限値を超えました。</li> </ul> <p>組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリ名称を確認してください。</p>
0000000037	ファイルがありません。	組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリに、システムファイルがあるか確認してください。

#### KFPS01150-E

Auto log unload service terminated.  
server=aa....aa:create dir=bb....bb:reason=cccc  
( L )



aa....aa サーバで自動ログアンロード機能を停止しました。

aa....aa：組み込み DB サーバ名

bb....bb：アンロードログファイル作成ディレクトリ名

cccc：障害の内容を表す理由コード

- 1660：全アンロードログファイル作成ディレクトリでシステムログファイルのアンロード処理に失敗しました。
- 1661：自動ログアンロード処理のプロセス生成に失敗しました。
- 1664：作成しようとしたアンロードログファイルがほかのプロセスで使用中です。

(S)  
処理を続行します。

[ 対策 ]

- 次に示すどれかの処置をしてください。
- 理由コードが 1660 の場合  
アンロードログファイル作成ディレクトリの空きディスク容量が不足しているか、またはディスク障害が発生しています。空きディスク容量を確保するか、またはディスク障害を回復してください。そのあと、ajsembdboplog -r コマンドを実行するか、または組み込み DB を再度正常開始して自動ログアンロード機能を再開してください。
  - 理由コードが 1661 の場合  
サーバマシンで実行できるプロセスの最大実行数を確認して不要なプロセスを終了してください。また、メモリなどのシステムリソースに空きがあるかを確認してください。
  - 理由コードが 1664 の場合  
アンロードログファイル作成先ディレクトリ内のファイルを操作しているプロセスがあるかどうかを確認してください。そのあと、ajsembdboplog -r コマンドを実行するか、または組み込み DB を再度正常開始して自動ログアンロード機能を再開してください。
  - 上記以外の場合  
次に示す資料を取得して保守員に連絡してください。
    - ・組み込み DB 運用ディレクトリ /spool または組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool 下の全ファイル
    - ・システム定義ファイル
    - ・syslog ( Windows 版の場合はイベントログ )
    - ・ajsembdbstatus -l コマンドの実行結果

KFPS01153-I

Auto log unload service restart. server=aa....aa:create  
dir=bb....bb:reason=cccc ( L )

組み込み DB の自動ログアンロード機能を再開します。

理由コード	意味	組み込み DB システム管理者の処置
101	メモリー不足が発生しました。	メモリーの再見積もりをしてください。

aa....aa：保守情報

bb....bb：アンロードログファイル作成ディレクトリ名

cccc：理由コード

1662：ajsembdboplog -r コマンドを実行して自動ログアンロード機能を再開しました。

(S)  
処理を続行します。

KFPS01154-I

Auto log unload service stopped. server=aa....aa:create  
dir=bb....bb:reason=cccc ( L )

組み込み DB の自動ログアンロード機能を停止しました。

aa....aa：保守情報

bb....bb：アンロードログファイル作成ディレクトリ名

cccc：理由コード

1662：ajsembdboplog -t コマンドを実行して自動ログアンロード機能を停止しました。

(S)  
処理を続行します。

KFPS01200-E

Failure to open aaaa(xx....xx)log file. element file:  
bb....bb, system A/B: c,reason code=dddd-ee ( L )

組み込み DB システムファイルのオープンに失敗しました。

aaaa：ファイル種別  
sys：システムログファイル

xx....xx：保守情報

bb....bb：ファイル名

c：系種別  
a：A 系  
b：B 系

dddd：理由コード

ee：保守情報

理由コードと対策を表に示します。

(S)  
障害が発生したファイルを閉塞し、処理を続行します。

[ 対策 ]  
理由コード一覧を見て対策してください。

理由コード	意味	組み込み DB システム管理者の処置
201	ファイル名が不正です。	次の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ファイル名に使用できない文字を指定しています。</li><li>• ファイル名の長さが制限値を超えました。</li></ul> ファイル名を正しく指定し直し、再度コマンドを実行してください。
202	指定したファイル名が RAW ファイルではありません。またはこのファイルに対応する装置がありません。	組み込み DB 環境構築時の内容を見直してください。
203	組み込み DB システムファイルがありません。	
207	ファイルのオープン数オーバーが発生しました。	OS のシステムパラメータを見直してください。
208	アクセス権限がありません。	組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリおよび作成されているシステムファイルに、アクセス権限があるか確認してください。
209	入出力エラーが発生しました。	ディスク障害などの OS 上の障害が発生していないか確認してください。組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリにアクセスできるか確認してください。
210	組み込み DB のシステムファイルが不整合となっています。	組み込み DB 環境を再構築してください。再構築してもエラーの要因が取り除けない場合は、保守員に連絡してください。
211	アクセス権限がありません。	組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリおよび作成されているシステムファイルに、アクセス権限があるか確認してください。
212	ファイルがありません。	組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリに、システムファイルがあるか確認してください。
218 219	指定されたファイルはログファイルとして使用できないファイルです。	別のファイルを使用してください。新たにファイルが必要な場合は、ajsembdbaddlog コマンドで追加してください。
220	指定されたファイルはログファイルではありません。	組み込み DB 環境構築時の内容を見直してください。
221	ロックセグメント不足が発生しました。	OS のシステムパラメータを見直してください。
222	排他エラー（ほかのプロセスで使用中）が発生しました。	<ul style="list-style-type: none"><li>• しばらく待ってから再度実行してください。</li><li>• クラスタ構成時には、実行系および待機系の両方から共有ディスク上のシステムファイルにアクセスしていないか確認してください。</li></ul>

**KFPS01202-E**

Failure to write to aaaa(xx....xx) log file. element file:  
bb....bb, system A/B: c,reason code=dddd·ee ( L )

組み込み DB システムファイルの書き込みに失敗しました。

**aaaa** : ファイル種別  
sys : システムログファイル

**xx....xx** : 保守情報

**bb....bb** : ファイル名

**c** : 系種別  
a : A 系  
b : B 系

**dddd** : 理由コード  
209 : 入出力エラーが発生しました。

**ee** : 保守情報

- (S)  
障害となったファイルを閉塞し、処理を続行します。

[ 対策 ]

- 次に示す処置をしてください。
- 理由コードが 209 の場合  
ディスク障害などの OS 上の障害が発生していないか確認してください。組み込み DB 環境構築時に指定したディレクトリにアクセスできるか確認してください。

### KFPS01228-W

Error occurred aaaa(bb....bb) log for waiting syncpoint acquisition opportunities. reason code=cccc ( L )

組み込み DB の内部処理完了待ちで、タイムアウトが発生しました。

**aaaa** : 保守情報

**bb....bb** : 保守情報

**cccc** : 保守情報

- (S)  
処理を続行します。

[ 対策 ]

ajsembddbbackup コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は、しばらく待ってから再度実行してください。再度実行してもこのメッセージが出力される場合、また ajsembddbbackup コマンド実行時以外に出力された場合には、保守員に連絡してください。

### KFPS01251-E

aaaa (xx....xx) log file group bb....bb is in invalid state; change file group state. ( L )

aaaa (xx....xx) のログファイルグループ bb....bb は、状態が不正です。ファイルグループの状態を変更してください。

このログファイルグループは前回オンラインで障害が発生したため、ログファイルグループの状態が不正です。この状態のままでは、ログ情報を取得できません。

ajsembdboplog コマンドの -g, -o オプションでログファイルのアンロードを実行してください。これによって、ログファイルグループの状態がアンロード済みに変更されます。

**aaaa** : ログファイル種別

**sys** : システムログファイル

**xx....xx** : HiRDB のサーバ名

**bb....bb** : ログファイルグループの状態が不正なログファイルグループ名

- (S)  
ログサービス機能の開始処理を続行します。

(O)

ajsembdboplog コマンドを実行してログ情報を取得してファイルグループ状態を変更してください。  
ajsembdboplog コマンドについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsembdboplog」を参照してください。

### KFPS01271-I

Unloading comleted. generation number=aa....aa, start block number=bb....bb, end block number=cc....cc  
( E + L )

アンロードが終了しました。アンロードしたブロック番号の範囲を示します。

**aa....aa** : アンロード元ログファイルグループの世代番号

**bb....bb** : アンロード済み先頭ブロック番号

**cc....cc** : アンロード済み最終ブロック番号

注

cc....cc は、アンロードしたログブロックがない場合、「\*\*\*\*\*」が表示されます。なお、このメッセージは自動ログアンロード機能使用時にだけ表示されません。

### KFPS01277-E

Log point information is invalid. info=aaaa ( L )

組み込み DB のリストア時に環境の不正を検知しました。

**aaaa** : 保守情報

- (S)  
処理を続行します。

[ 対策 ]

次に示す項目について、調査および対策を実施してください。

- ajsembdbrstr コマンドに指定したバックアップファイルが誤っていないか確認してください。
- バックアップ時点以降のシステムログが、上書きまたは削除などによって失われているか確認してください。失われている場合には、ajsembdbrstr コマンドの -lr オプション指定によるリストアを実施することができません。
- 上記に該当しない場合は、保守員に連絡してください。

### KFPS01278-W

Failure to processing log file group. type :  
aaa(bb....bb),file group : cc....cc,reason code=dddd-ee  
( L )

bb....bb サーバが使用する cc....cc ログファイルグループは、dddd に示す理由でファイルの状態を参照できないため、処理対象から除外します。

**aaa** : ログ種別 ( sys, または lar )

**bb....bb** : 組み込み DB サーバ名称

**cc....cc** : ファイルグループ名称

**dddd** : 理由コード

- 209 : ログファイルの入出力エラー
- 213 : ログファイルのオープンエラー
- 215 : ログファイルの入力不可
- 222 : ほかのプロセスでこのファイルグループを使用  
中
- 1601 : 対象ログファイルなし

**ee** : システム保守情報

(S)

処理を続行します。該当するログファイルグループ  
は、処理の対象から除外します。

(O)

該当するログファイルを使用していない場合、特に問  
題ありません。

- **ajsembdbrstr** コマンド実行時  
バックアップ取得から現在までの間に該当するログ  
ファイルを使用している場合、データベースが正し  
く回復できないことがあります。KFPS01279-W  
メッセージが出力されている場合、その内容も考慮  
し、管理者に連絡して対策したあとに再度実行して  
ください。
- それ以外の場合  
理由コードに従って対策をしたあとに再度コマンド  
を実行してください。また、KFPS01279-W メッ  
セージが出力されている場合は、メッセージで出力  
された障害を対策したあとに再度コマンドを実行し  
てください。

[ 対策 ]

該当するログファイルが **ajsembdbrstr** コマンドの  
実行に不要な場合、特に問題ありません。該当するロ  
グファイルが上記コマンドの実行に必要な場合、次に  
示す項目について、調査および対策を実施してくださ  
い。

1. 該当するログファイルグループに障害が発生した、  
または該当するログファイルグループをオンライ  
ンで使用後、初期化している場合、ログファイル

が回復できる場合、回復後に再度実行してくださ  
い。

2. サーバ定義中のログファイルに関する記述が誤っ  
ていないかを確認し、誤っている場合には、正し  
く訂正したあとに再度実行してください。
3. 上記に該当しない場合は、保守員に連絡してくだ  
さい。

## KFPS01279-W

Unable to use log file. element file : aa....aa, system A/  
B : b,reason code=cccc-dd ( L )

aa....aa ログファイルは、cccc に示す理由でファイルの状  
態を参照できません。処理対象から除外します。

**aa....aa** : ログファイル名称

**b** : 障害が発生した系 ( a , または b )

**cccc** : 理由コード

**dd** : システム保守情報

(S)

処理を続行します。該当するログファイルは、処理の  
対象から除外します。

(O)

該当するログファイルを使用していない場合、特に問  
題ありません。このメッセージの直後に、該当するロ  
グファイルが属するファイルグループについて  
KFPS01278-W メッセージが出力されていない場合、  
問題ありません。上記に該当しない場合、理由コード  
の内容から原因を調査し、管理者に連絡してくださ  
い。

[ 対策 ]

該当するログファイルが **ajsembdbrstr** コマンドの  
実行に不要な場合、特に問題ありません。該当するロ  
グファイルが上記コマンドの実行に必要な場合、理由  
コードの内容から原因を調査し、KFPS01278-W に  
記述した内容に従って回復して、再度実行してくださ  
い。理由コードを次に示します。

理由コード	意味	オペレータの処置	組み込み DB システム 管理者の処置
101	メモリー不足が発生しまし た。	現在実行中のプロセスの終了 を待って、再度コマンドを実 行してください。	メモリーの見積もりをし直し てください。
201	ファイル名が不正です。	次に示す原因が考えられま す。 <ul style="list-style-type: none"><li>• パス名に使用できない文字 を指定しています。</li><li>• 組み込み DB ファイル名の 長さが制限 ( 30 文字 ) を 超えました。</li></ul> ファイル名を正しく指定し直 し、再度コマンドを実行して ください。	-

理由コード	意味	オペレータの処置	組み込み DB システム 管理者の処置
202	指定したバスの 組み込み DB ファイルシステム領域名が、 組み込み DB ファイルシステ ム領域ではありません。	指定したバスの 組み込み DB ファイルシステム領域名を見 直して、再度コマンドを実行 してください。	pdlogadpf オペランドのファ イルの指定を見直してくださ い。
203	指定したバスの装置が組み込 み DB ファイルシステム用に 初期化されていません。	-	
207	指定したバスの 組み込み DB ファイルシステム領域のオー プンで、上限値オーバが発生 しました。	-	
208	指定したバスの 組み込み DB ファイルシステム領域に対 し、アクセス権限がありませ ん。	組み込み DB ファイルのアク セス権限について確認してく ださい。	pdlogadpf オペランドのファ イルの指定を見直してくださ い。
209	入出力エラーが発生しまし た。	入出力エラーが発生した原因 を調査し、対策してくださ い。	-
210	組み込み DB ファイルシステ ムのバージョンが一致してい ません。	-	pdlogadpf オペランドのファ イルの指定を見直してくださ い。
211	指定したファイルに対するア クセス権限がありません。	ログのアクセス権限について 確認してください。	-
212	指定したファイルがありませ ん。	-	pdlogadpf オペランドのファ イルの指定を見直してくださ い。
221	ロックセグメント不足が発生 しました。	-	OS のシステム起動時に、指 定したレコードロックセグメ ント数を見直してください。
222	該当するシステムログファイ ルはほかのプロセスで使用中 です。	該当するシステムログファイ ルまたはそのファイルグルー プの運用状態を確認し、再度 コマンドを実行してくださ い。	-
603	ファイル上の管理情報が破壊 されています。	このファイルを初期化してく ださい。	-
605	ファイル上のファイル構成が 現ファイル構成と異なりま す。ファイル構成を変更した おそれがあります。	組み込み DB システム管理者 に連絡し、ファイル構成を変 更していないか確認してくだ さい。ファイル構成を変更し ていない場合は、このファイ ルを初期化してください。	定義を調べ、該当するファイ ルを使用するファイルグルー プ、およびシステムログファ イルを変更していないかどう か、確認してください。ファ イル構成を変更している場 合、定義上のファイル構成を 元に戻してください。
1607	ファイルは組み込み DB で未 使用です。	該当するファイルグループを 見直してください。	-

(凡例) - : 該当しません。

#### KFPS01286-E

Unable to perform swapping because no standby log file  
group is available. (E)

交代用ログファイルグループがないため、スワップできま  
せん。

(S)

スワップコマンドを中止します。

(O)

ajsembdboplog コマンドを実行してログファイ  
ルグループをアンロード済み状態にし、交代先を用意し

てください。または、ajsembdbaddlog コマンドでログファイルグループを追加してください。その後、必要に応じて再度コマンドを実行してください。

ajsembdboplog コマンドおよび ajsembdbaddlog コマンドについては、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsembdboplog」およびマニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス 1. コマンド ajsembdbaddlog」を参照してください。

## KFPS01801-E

Unable to start HiRDB unit due to improper operational environment. reason code=aa....aa (E)

組み込み DB の動作環境が整っていないため開始できません。

aa....aa：理由コード

(S)

組み込み DB の開始処理を中断します。

[ 対策 ]

次に示す対策をしたあとに組み込み DB を開始してください。

理由コード	原因	対策
MEMORY	プロセス固有メモリーまたは共有メモリーが不足しています。	SHM_EINVAL, SHM_ENOMEM, および SHM_ENOSPC の説明を参照してください。
PAUSE	組み込み DB の処理を続行できないエラーが発生しています。	コマンド入力画面、および syslog ファイル (またはイベントログ) に出力されているほかのメッセージを参照してください。
PROGRAM	前提製品がありません。	前提製品をインストールしてください。
RPL_FILE	JP1/AJS2・Datareplicator とのデータ連動用連絡ファイルがないか、アクセス権限がないか、または内容が不正です。	JP1/AJS2・Datareplicator のデータ連動用連絡ファイルの障害を回復してください。
RPL_INSTALL	次に示す要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>JP1/AJS2・Datareplicator をインストールしているディスクに障害が発生しているなど、JP1/AJS2・Datareplicator のインストールディレクトリが参照できない障害が発生しています。</li> <li>JP1/AJS2・Datareplicator がインストールされていません。</li> </ul>	次に示す項目について確認し対策してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>JP1/AJS2・Datareplicator をインストールしているディスクに障害が発生しているなど、JP1/AJS2・Datareplicator のインストールディレクトリが参照できない障害が発生していないか確認してください。障害がある場合は、原因を取り除いてください。</li> <li>JP1/AJS2・Datareplicator がインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、JP1/AJS2・Datareplicator をインストールしてください。</li> </ul>
RPL_STOP	JP1/AJS2・Datareplicator が組み込み DB とのデータ連動を中止しています。	データ連動が中止した原因を調査して問題を取り除いてください。
SETUP	組み込み DB が OS に登録されていません。Windows 版の場合は組み込み DB のサービスが停止しています。	UNIX 版の場合は、ajsembdbbuild コマンドで組み込み DB を OS に登録してください。Windows 版の場合は、組み込み DB のサービスを開始してください。
SHM_EINTR	共有メモリーの確保処理を実行中にシグナルを受けました。	シグナル発生要因を調査し対策したあとに、再度組み込み DB を開始してください。
SHM_EINVAL	共有メモリーサイズがシステムの上限值を超えました。Windows 版の場合、組み込み DB インストールドライブの容量不足によって、共有メモリー用の作業ファイルが確保できません。	システムの共有メモリーセグメントの最大サイズを大きくしてください。Windows 版の場合、組み込み DB のインストールドライブに、共有メモリーサイズ以上の空き容量を確保してください。
SHM_EMFILE	オープンしているファイル数がシステムでオープンできるファイル数を超えました。	オープンしているファイル数を減らしてください。または、オープンできるファイル数を増やしてください。

理由コード	原因	対策
SHM_ENOMEM	共有メモリーサイズに相当するメモリーがシステム上にありません。	システム上の実メモリーを増やしてください。このメッセージの前後に KFPO00107-E、KFPO00113-E メッセージが出力されている場合は、これらのメッセージも参照してください。
SHM_ENOSPC	UNIX 版の場合、共有メモリー識別子の数がシステムで定義されている最大値を超えました。Windows 版の場合、組み込み DB のインストールドライブに、共有メモリーを確保するだけのディスク容量がありません。	UNIX 版の場合、共有メモリー面数を減らしてください。または、共有メモリー識別子の最大数を大きくしてください。Windows 版の場合、このメッセージの前後に KFPO00107-E、KFPO00113-E メッセージが出力されている場合は、これらのメッセージを参照してください。
SHM_EOVER	内部矛盾が発生しました。	保守員に連絡してください。
SHM_CALC * * *	内部矛盾が発生しました。* * * は任意の文字列（保守情報）です。	保守員に連絡してください。

eeffgg : 保守情報

### KFPS01819-I

Server aa....aa failed information. process ID=bb....bb,  
C-PID=cc....cc(dd....dd), TIME=eeffgg,  
PROGRAM=hh....hh ( L )

hh....hh : 保守情報

( S )

処理を続行します。

組み込み DB の保守情報を示します。

aa....aa : 保守情報

bb....bb : 保守情報

cc....cc : 保守情報

dd....dd : 保守情報

### KFPS01820-E

Server aa....aa failed. process ID=bb....bb, service group  
name=cc....cc, run mode=dd....dd, critical state=e,critical  
mask=ff....ff, end state=gg....gg, server type=hhh  
( E + L )

サーバ aa....aa が停止しました。次の状態を検出しています。

gg....gg の値	説明
007f 0009	サーバプロセスの強制終了要求を受け付けました。ajsembdbcancel コマンドを実行した場合には、このメッセージが出力されます。このメッセージの前後に出力されているメッセージなどから、プロセスが強制停止要求を受けた原因 ( ajsembdbcancel コマンドの実行を含む ) を調査し、必要に応じて対処してください。
0003 0083	サーバプロセスの強制終了要求を受け付けました。実行したトランザクションの状態、このメッセージの前後に出力されているメッセージなどから、プロセスが強制停止要求を受けた原因を調査し、必要に応じて対処してください。
0006 0086 0100 0800	処理中に異常を検知したため、組み込み DB プロセスが異常終了しました。このメッセージの前後に出力されているメッセージなどから、異常終了した原因を調査し、必要に応じて対処してください。
8000	メモリー不足によって、プロセスの起動失敗、またはプロセスが異常終了しました。次のどれかの方法で対策してください。 ・ 同一サーバマシン内で稼働しているほかのプロセスの数を減らしてください。 ・ スワップ領域を増やしてください。 ・ 実メモリーを増設してください。 ・ Windows 版の場合、デスクトップヒープ指定値を見直してください。
c000	connect システムコールを発行しましたが、接続先がダウンしているか、またはネットワーク障害によって接続できませんでした。
c100	2 回目以降の SQL の応答送信時に送信先がダウンしているか、またはネットワーク障害によって送信できませんでした。

gg....gg の値	説明
c200	組み込み DB クライアント側に制御があって、トランザクション中に組み込み DB クライアントのタイムアウトを検知しました。
c300	通信処理中に通信相手に異常が発生し相手通信ソケットがクローズされました。
c400	クライアント側に制御があって、トランザクション中でない場合に、クライアントのタイムアウトを検出しました。または、Windows 版組み込み DB クライアントの接続中に組み込み DB システムで設定している pd_watch_pc_client_time のタイムアウトを検出しました。
c500	サーバ起動時に、スペシャルファイル (FIFO) が取得できませんでした。
c600	組み込み DB で同時に処理できるトランザクション数の上限を超えました。ロールバックが多発していることが考えられるため、ロールバックの完了を待って UAP を再度実行してください。
c700	組み込み DB で SQL 実行中に SQL 要求元のクライアント (JP1/AJS2 スケジューラサービスプロセス) の異常終了を検知しました。
c800	該当するサーバとシステムマネージャとの間でネットワーク障害が発生していたため、SQL の要求送信に失敗しました。
c900	2 回目以降の SQL の要求受信時に、送信元とシステムマネージャとの間でネットワーク障害が発生していたため、SQL の要求受信に失敗しました。
d000	トランザクション処理中に親プロセスが強制終了したため、子プロセスを強制終了させました。
d100	UAP の処理が、クライアント環境定義 PDSWAITTIME および PDSWATCHTIME で設定した監視時間内に終了しないため、サーバの処理を中断しました。または、pdcancel コマンドが実行されたため、関連するサーバの処理を中断しました。
d300	異常を検知したが、pd_dump_suppress_watch_time オペランドの指定が有効なため、トラブルシュート情報を出力しないで終了しました。
d500	トランザクションの決着処理中にエラーが発生しました。
000f ff00	組み込み DB のサーバプロセスを OS の kill コマンドで強制停止しました。
008b	組み込み DB の稼働中に OS のスタックオーバーフローが発生したおそれがあります。スタックオーバーフローが発生する原因と対策を次に示します。 原因 1 次に示す原因が考えられます。 ・呼び出しを多数行ったり、無限に繰り返したりするユーザー定義ルーチンを実行した 原因 1 の対策 ・カーネルパラメーター maxssiz の値を見直して、スタックサイズを増やしてください。 原因 2 OS のメモリー不足が発生したため、スタック拡張に失敗しました。 原因 2 の対策 不要なプログラムを終了してメモリーの空き容量を増やしてください。

**aa....aa** : 停止したサーバ名

**bb....bb** : 停止したサーバのプロセス ID

**cc....cc** : 停止したサーバのサービスグループ名

**dd....dd** : 停止直前のサーバの走行モード

PDBSV : 組み込み DB サーバ

PDBSYS : 組み込み DB 処理中

**e** :

N : クリティカル状態ではありません。

Y : クリティカル状態です。

組み込み DB は、複数プロセスで情報を共有するため、共有メモリー上の管理テーブルを参照・更新します。このとき、共有メモリーを更新中のプロセスが異

常終了すると、テーブル情報が不整合となり、他プロセスを含めた後続の処理ができなくなるため、このような処理区間（これをクリティカル区間と呼んでいます）での強制終了をできるだけ抑止します。また、この区間での異常終了を抑止できない障害の場合、組み込み DB は終了し、再開時にテーブル情報の整合性を回復します。

**ff....ff** : クリティカル情報

**gg....gg** : wait(2) で返されるプロセス終了状態（組み込み DB のコマンドの場合は、\*\*\*\* を表示します）。

**hhh** : サーバ種別（組み込み DB サーバ以外のときは、\*\*\* を表示します）



(S)

エラーの起きたサーバの処理を終了してから、必要であれば、サーバを再度起動します。

[ 対策 ]

このメッセージの前に出力されたメッセージ、またはトラブルシュート情報（ダンプ、トレースなど）に従って、サーバの停止要因を調査し、対策してください。そのあと、必要であれば、サーバを再度起動してください。なお、gg....gg が c000, c100, c200, c300, c400, c500, c600, c700, c800, c900, d000, d100, d200, d300, および d500 の場合は、トラブルシュート情報は出力されません。

**KFPS01826-I**


---

```
HiRDB dir = aa.....aaHiRDB vrs = bb....bbunit run ID =
cc.....ccHiRDB ID = ddddunit ID = eeee      ( L )
```

---

組み込み DB の環境を表示します。

**aa.....aa** : 組み込み DB 運用ディレクトリ名

**bb....bb** : 組み込み DB のバージョン

**cc....cc** : 保守情報

**dddd** : 保守情報

**eeee** : 保守情報

(S)

処理を続行します。

**KFPS01829-E**


---

```
aa.....aa invalid ; stops unit startup      ( E )
```

---

組み込み DB を正常停止しないで、aa.....aa の内容が変更されました。

**aa.....aa** : 変更内容

System Version : 組み込み DB のバージョン

(S)

組み込み DB の開始処理を中断します。

[ 対策 ]

System Version : 組み込み DB のバージョンを変更前に戻してから一度組み込み DB を起動し、そのあと正常停止してください。次に組み込み DB のバージョンを変更してから、再度組み込み DB を起動してください。

**KFPS01832-I**


---

```
Data replication restart. unit ID=aa.....aa, reason
code=bb....bb      ( E + L )
```

---

JP1/AJS2・Datareplicator 連携を再開しました。

**aa.....aa** : 保守情報

**bb....bb** : 理由コード

STATUS : JP1/AJS2・Datareplicator のデータ連動用連絡ファイルが初期化または障害が発生、または組み込み DB のシステムファイルが初期化または障害が発生しました。

(S)

JP1/AJS2・Datareplicator 連携をいったん停止したあと、再開します。

[ 対策 ]

必要であれば、JP1/AJS2・Datareplicator のデータ連動用連絡ファイルの初期化および反映側のデータベースを再作成してください。

**KFPS01851-E**


---

```
Server aa.....aa initialization error occurred ; return
code=bb....bb      ( E + L )
```

---

組み込み DB の開始時に初期化エラーが発生しました。

**aa.....aa** : 保守情報

**bb....bb** : 保守情報

(S)

組み込み DB が異常終了します。

[ 対策 ]

再度組み込み DB を開始してください。再度組み込み DB を開始してもこのメッセージが出力される場合は保守員に連絡してください。

**KFPS04619-E**


---

```
Unable to execute aa.....aa command due to HiRDB unit
not offline or not terminate normally      ( S + R )
```

---

組み込み DB が停止状態でないため、aa.....aa コマンドを実行できません。

**aa.....aa** : コマンド名

(S)

処理を終了します。

[ 対策 ]

コマンド実行時、組み込み DB が稼働中（開始・終了処理中も含みます）であることが考えられます。このような状態でこのコマンドを実行できません。組み込み DB が稼働中の場合は、ajsembdbstop コマンドで組み込み DB を正常停止してから再度実行してください。そうでない場合は、一度組み込み DB を開始したあと、ajsembdbstop コマンドで組み込み DB を正常停止してから再度実行してください。

UNIX 版限定の注意事項

ajsembdbunset コマンドの場合、組み込み DB が異常終了、または ajsembdbstop -f コマンドによって強制停止している場合は入力できません。

**KFPS05120-W**

Waiting for UAP and/or utility disconnect in HiRDB unit  
aaaa, current connect user count = bbb ( L )

UAP またはユーティリティの終了を待ち合わせています。

**aaaa** : 終了を待ち合わせているユニット識別子

**bbb** : 終了を待ち合わせている接続ユーザー数

( S )

処理を続行します。このあと、新たなユーザーは組み込み DB に接続できません。UAP またはユーティリティの処理が終了するまで組み込み DB の終了処理を保留します ( 15 分間 )。UAP またはユーティリティの処理が終了すると、組み込み DB の終了処理を開始します。

組み込み DB に接続しているユーザーの詳細情報を接続ユーザー情報ファイル ( 組み込み DB 運用ディレクトリ /spool/cnctusrinf または組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥cnctusrinf ) に出力します。また、コマンドの実行結果を接続ユーザー詳細ファイル ( 組み込み DB 運用ディレクトリ /spool または組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool 下にある cnctusrdtl ) に出力します。

また、このメッセージの出力時刻前後に、実行中の UAP またはユーティリティが停止した場合、これらの情報は組み込み DB に接続しているユーザーの詳細情報に含まれないことがあります。

( O )

接続ユーザー情報ファイル ( 組み込み DB 運用ディレクトリ /spool/cnctusrinf または組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥cnctusrinf ) に出力された情報を参照して、接続しているユーザーを調べて対処してください。それでも、接続しているユーザーが分からない場合は、接続ユーザー詳細ファイル ( 組み込み DB 運用ディレクトリ /spool/cnctusrdtl または組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥cnctusrdtl ) に出力された情報を参照して、接続しているユーザーを調べて対処してください。

接続ユーザー情報ファイルの出力例を次に示します。  
出力例

```
UNIT ID : M350(173420)
UID PID GID SVID TIME PROGRAM
C-GRP C-PID C-IP
334 22118 300 fes1 173330 uap00
WS 22205 172.17.32.37
```

UNIT ID :

ユニット識別子および cnctusrinf ファイル作成時刻 ( 時分秒 ) を表示します。

UID :

組み込み DB に接続中のユーザーのユーザー ID を表示します。

PID :

組み込み DB に接続中のユーザーのプロセス ID を表示します。

GID :

組み込み DB に接続中のユーザーのグループ ID を表示します。

SVID :

ユーザーが接続しているサーバのサーバ名を表示します。  
組み込み DB のサーバプロセス起動直後には、空白が表示される場合があります。

TIME :

組み込み DB がサービスの要求を受け付けた時刻 ( 時分秒 ) を表示します。ユーザーが接続していないサーバについては 999999 を表示します。

PROGRAM :

接続プロセス名が表示されます。  
• JP1/AJS2 のコマンド、またはデーモンの名称を 30 文字以内で出力します。一部、組み込み DB 用のコマンドを実行すると、実行したコマンド名称以外が出力されることがあります。  
• 組み込み DB のサーバプロセス起動直後には、「\*\*\*\*\*」が表示される場合があります。

C-GRP :

常に空欄となります。

C-PID :

クライアントのプロセス ID を表示します。

C-IP :

クライアントの IP アドレスを表示します。

**KFPS05201-Q**

Dictionary not initialized ; enter pdinit command  
( L + S )

組み込み DB システムのディクショナリの初期化が完了していません。pdinit コマンドを入力してディクショナリを初期化してください。

( S )

pdinit -d コマンドでディクショナリの初期化が完了するのを待ちます。

[ 対策 ]

pdinit コマンドは組み込み DB が実行するため、対処の必要はありません。

# 付録

---

付録 A KAVU で始まるメッセージの要因番号

---

付録 B システムコールのリターンコード

---

付録 C 組み込み DB ファイルシステムに対するアクセス要求から返される  
エラーコード

---

付録 D 各バージョンの変更内容

---

付録 E ( 3020-3-K28-43 ) の変更内容

---

付録 F 用語解説

---

## 付録 A KAVU で始まるメッセージの要因番号

KAVU で始まるメッセージ（ジョブ実行制御に関するメッセージ）で出力される要因番号について、主なものを次の一覧表に示します。

表 A-1 KAVU で始まるメッセージの要因番号

要因番号（16進数）	内容
0x00010001	ジョブ実行制御の監視プロセスが二重に起動された。
0x00010006	ジョブ実行制御の監視プロセスが環境設定パラメーターの取得に失敗した。
0x00010007	ジョブ実行制御のマネージャープロセスの起動に失敗した。
0x00010008	ジョブ実行制御のエージェントプロセスの起動に失敗した。
0x0001000b	ジョブ実行制御の監視プロセスがパイプの作成に失敗した。
0xa0080002	ジョブ実行制御のマネージャープロセスが二重に起動された。
0xa0080011	ジョブ実行制御のマネージャープロセスでメモリー不足が発生した。
0xe0090001	ジョブ実行制御のマネージャープロセスでメモリー不足が発生した。
0xe0090008	ユーザーの操作権限がない。
0xa00a0005	指定されたジョブがない。
0xe0021101	ジョブ実行制御の TCP/IP 通信でメモリー不足が発生した。
0xe002110d	ジョブ実行制御で使用する一時ファイルが存在しなかった。
0xe002110e	ジョブ実行制御で使用する一時ファイルにアクセス権がなかった。
0xe002110f	ジョブ実行制御で使用する一時ファイル作成時にディスク容量不足が発生した。
0xe0021110	ジョブ実行制御で使用する一時ファイルが占有オープンされていた。
0xe0021120	論理ホスト名、または IP アドレスの取得に失敗した。
0xe0021127	ジョブ実行制御の TCP/IP 通信で受信処理がタイムアウトで失敗した。
0xe00a0002	ジョブ実行制御のマネージャープロセスでメモリー不足が発生した。
0xe00a0003	ジョブ実行制御のマネージャープロセスでディスク容量不足が発生した。
0xe00a0007	ジョブ実行制御のマネージャープロセスで通信接続に失敗した。
0xe00a0008	指定された通信接続先のホストが不正である。
0xe00b0003	ジョブ実行制御のデータベース格納パスがない。
0xe00b0004	指定されたデータベーステーブルがない。
0xe00b0008	ジョブ実行制御のデータベーステーブルのロックに失敗した。
0xe00b0009	データベーステーブルへの接続権限がない。
0xe00b000a	データベーステーブルへのアクセス権限がない。
0xe00b000f	ジョブ実行制御のデータベース処理でセマフォが不足した。
0xe00b0010	ジョブ実行制御のデータベース処理でディスク障害が発生した。
0xe00b0011	ジョブ実行制御のデータベース処理でファイルオープン数が不足した。

要因番号 ( 16 進数 )	内容
0xe00b0016	ユーザー名またはパスワードに誤りがある。
0xe00b0017	データベースへの接続数がサーバーの制限値を超えた。
0xe00b0018	データベースが稼働していない。
0x20100002	ジョブ実行制御のエージェントプロセスが二重に起動された。
0x20100004	ジョブ実行制御のエージェントプロセスでメモリー不足が発生した。
0xe0800002	ジョブ実行制御の状態通知プロセスでメモリー不足が発生した。
0xe080100a	ジョブ実行制御の状態通知プロセスが環境設定パラメーターの取得に失敗した。
0xe080100b	ジョブ実行制御の状態通知プロセスの通信処理でバインドエラーが発生した。
0xe080100d	ジョブ実行制御の状態通知プロセスの通信処理で使用するポート番号が不正である。
0xe080100e	ジョブ実行制御の状態通知プロセスが二重に起動された。

## 付録 B システムコールのリターンコード

代表的なシステムコールのリターンコードに対する原因と対策を次の表に示します。表にないエラーについては、使用している OS のマニュアルを参照してください。

なお、特に断り書きがないかぎり HP-UX での `errno` を記載しています。

主なシステムコールについてだけ記述しているので、正確に調べる場合には、メッセージで表示された `errno` の値の該当する二モニックを、使用している OS の `errno` 定義ファイル（HP-UX、および Solaris の場合は `/usr/include/sys/errno.h`、Windows および Visual C++ の場合はヘッダー `errno.h` に定義されている内容）で調べてください。さらに、エラーとなったシステムコールについてマニュアルで調べて、該当する二モニックのエラーが返った原因を特定してください。

表 B-1 システムコールのリターンコードに対する原因と対策

システムコール	errno	二モニック	考えられる主な原因	対策
fork	11	EAGAIN	プロセスの数が多過ぎるか、一時的なメモリー不足が発生しています。	再度実行しても繰り返し発生する場合は、不要なプロセスを停止させてください。
	12	ENOMEM	次のどちらかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>スワップ領域または仮想メモリー不足のため、プロセスを新しく生成できません。</li> <li>プロセスの数が多過ぎるか、または一部のプロセスが大量のメモリーを消費しています。</li> </ul>	スワップ領域または仮想メモリーが足りない場合は、拡張してください。これらを拡張できない場合は、不要なプロセスを停止させてください。一部のプロセスが大量のメモリーを消費している場合は、該当するプロセスをいったん停止できないか検討してください。
malloc	12	ENOMEM	次のどちらかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>スワップ領域または仮想メモリー不足でプロセス固有メモリーを確保できません。</li> <li>プロセスの数が多過ぎるか、または一部のプロセスが大量のメモリーを消費しています。</li> </ul>	スワップ領域または仮想メモリーが足りない場合は、拡張してください。これらを拡張できない場合は、不要なプロセスを停止させてください。一部のプロセスが大量のメモリーを消費している場合は、該当するプロセスをいったん停止できないか検討してください。
	22	EINVAL	メモリー管理情報の不正を検知しました。	保守員に連絡してください。
mkdir	13	EACCESS	アクセス権限が不正です。	組み込み DB 運用ディレクトリ下の、ファイルに対するアクセス権限が正しいか確認してください。

システムコール	errno	ニモニック	考えられる主な原因	対策
	28	ENOSPC	ファイルシステムに十分な空き領域がありません。	空き領域を確保してください。
msgget	28	ENOSPC	msgmni (メッセージキュー識別子数) の指定値が小さいです。 Windows の場合、インストールドライブの容量、または使用リソース数が不足しています。	msgmni の該当するサーバマシン内で稼働する、全プログラムの所要量を見積もり、指定値を変更したあとに該当するサーバマシンを再起動してください。 Windows の場合、インストールドライブに、共用メモリーサイズ以上の空き容量を確保してください。
msgrcv	22 36	EINVAL EIDRM	組み込み DB が使用するメッセージキューが削除されました。 Windows の場合、組み込み DB 稼働中に、組み込み DB のインストールディレクトリ下の作業ファイルを削除したおそれがあります。	組み込み DB が異常終了していなければ、強制停止してください。その後、該当するサーバマシンを再起動してください (Windows の場合、組み込み DB のサービスを再度開始してください)。
msgsnd	11	EAGAIN	msgmni (メッセージキュー識別子の数)、または msgtql (メッセージ数) の指定値が小さいです。	msgmni, msgtql の該当するサーバマシン内で稼働する、全プログラムの所要量を見積もり、指定値を変更したあとに該当するサーバマシンを再起動してください。
	22	EINVAL	組み込み DB が使用するメッセージキューが削除されました。	組み込み DB が異常終了していなければ、強制停止してください。その後、該当するサーバマシンを再起動してください。
open	2	ENOENT	ファイル、またはディレクトリが見つかりません。 KFPO00107-E メッセージの呼び出しモジュールに logblib.c が出力されている場合は、メッセージテキストファイルが見つかりません。その場合、現在使用していない組み込み DB が OS に登録されている可能性があります。	現在使用していない組み込み DB を ajsembdbunset コマンドで削除してください。

システムコール	errno	ニモニック	考えられる主な原因	対策
	6	ENXIO	ファイルに対するアクセス権がありません。	デバイスが存在するか、またデバイスが有効化しているかどうかを確認してください。デバイスが有効化されていない場合は有効化してください。それ以外の原因の場合は、使用している OS のマニュアルを参照し対策してください。
	13	EACCES	ファイルに対するアクセス権がありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象とするファイル、ディレクトリ、または組み込み DB 運用ディレクトリの権限を見直してください。</li> <li>対象とするファイル、ディレクトリ、または組み込み DB 運用ディレクトリに対して、実行者がアクセス権を持っているか確認してください。</li> </ul>
	17	EEXIST	作成しようとしたファイルはすでに存在します。	ファイル名を変更して再度実行するか、または既存のファイルが不要であれば、削除してから再度実行してください。
	23	ENFILE	ファイルのオープン数がシステムの上限を超えました。Windows 版の場合、インストールドライブの容量が不足しています。	OS のオペレーティングシステムパラメタ（カーネルパラメタ）の、システムでオープンできるファイル最大数（HP-UX の場合は <code>nfile</code> 、AIX 5L の場合は <code>maxuproc</code> * <code>nofiles</code> * 固定ライセンス数、Linux の場合は <code>NR_FILE</code> または <code>fs.file-max</code> ）の指定値を大きくしてください。また、不要なプロセスやウィンドウがありましたら停止してください。Windows 版の場合、インストールドライブに、共用メモリーサイズ以上の空き容量を確保してください。



システムコール	errno	ニモニック	考えられる主な原因	対策
	24	EMFILE	<p>該当するプロセスでオープンしているファイル数が多過ぎます。</p> <p>Windows 版の場合、インストールドライブの容量が不足しています。</p>	<p>OS のオペレーティングシステムパラメタ（カーネルパラメタ）の、プロセスでオープンできるファイル数の最大（HP-UX の場合は <code>maxfiles</code> , Solaris の場合は <code>rlim_fd_cur</code> , AIX 5L の場合は <code>nofiles</code> , Linux の場合は <code>INR_OPEN</code>）の値を大きくしてください。</p> <p>Windows 版の場合、インストールドライブに、共用メモリーサイズ以上の空き容量を確保してください。</p>

システムコール	errno	ニモニック	考えられる主な原因	対策
	999	ENOENT	Windows の場合、組み込み DB の作業ファイルが破壊されているおそれがあります。	<p>組み込み DB が停止しているのを確認してから、次に示すファイルをすべて削除して回復してください。</p> <p>ただし、4 以降のファイルはないことがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥uxpldir¥spool¥system¥filmng.dat</li> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥uxpldir¥spool¥system¥flg.dat</li> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥uxpldir¥spool¥system¥shmmng.dat</li> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥ ~ pdatmode</li> <li>%PDDIR¥¥spool¥ ~ pdipcid</li> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥oslmqid</li> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥oslsmid</li> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥pdprcsts</li> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥scdqid1</li> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥spool¥scdqid2</li> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥tmp¥pdommenv</li> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥uxpldir¥spool¥shmm 下の全ファイル</li> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥uxpldir¥spool¥system¥semng.dat</li> <li>組み込み DB 運用ディレクトリ ¥uxpldir¥spool¥system¥msgmng.dat</li> </ol>

システムコール	errno	ニモニック	考えられる主な原因	対策
				これらのファイルを削除したあとに組み込み DB を開始する場合、エクスプローラなどの他アプリケーションで組み込み DB 運用ディレクトリ ¥tmp にアクセスしたままの状態 で、組み込み DB を開始 しないでください。
semget	28	ENOSPC	semmni (セマフォ識別子の数)、または semmns (システム内のセマフォ数) の指定値が小さいです。Windows の場合、インストールドライブの容量が不足しています。	semmni、および semmns の該当するサーバマシン内で稼働する、全プログラムの所要量を見積もり、指定値を変更したあとに該当するサーバマシンを再起動してください。Windows の場合、インストールドライブに、共用メモリーサイズ以上の空き容量を確保してください。
semop	22	EINVAL	組み込み DB が使用するセマフォが削除されました。Windows の場合、組み込み DB 稼働中に、組み込み DB のインストールディレクトリ下の作業ファイルを削除したおそれがあります。	組み込み DB が異常終了していないければ、強制停止してください。その後、該当するサーバマシンを再起動してください (Windows の場合、組み込み DB のサービスを再開始してください)。
shmat	12	ENOMEM	次のどれかの原因が考えられます。 1. 使用できるリソース数が不足しています。共用メモリーをアタッチするプロセスの空間内に連続した空き領域を確保できない場合を含みます。 2. Windows の場合、Windows のレジストリーを参照中にエラーが発生しました。 3. Windows の場合、組み込み DB のサービスが開始されていません (共用メモリーをページングファイルに割り当てている場合)。	1. メモリーを確保して再実行してください。 2. Windows のレジストリーが破損しているおそれがあります。この場合、保守員に連絡してください。 3. 組み込み DB のサービスが開始状態が確認してください。組み込み DB のサービスが停止状態の場合は、サービスを開始してください。

システムコール	errno	二モニック	考えられる主な原因	対策
	22	EINVAL	組み込み DB の共用メモリーがありません。 OS 起動完了前 ( /etc/rc 実行中 ) にコマンドを実行したことが考えられます。 Windows の場合、組み込み DB 稼働中に、組み込み DB のインストールディレクトリ下の作業ファイルを削除したおそれがあります。 または、組み込み DB の起動が完了していない状態でコマンドを実行したことが考えられます。	OS 起動完了前にコマンドを実行したのであれば、OS の起動完了を待って再度コマンドを実行してください。組み込み DB が起動完了していない場合は、組み込み DB の起動が完了してからコマンドを実行してください。 Windows の場合、組み込み DB が異常終了していなければ、強制停止してください。その後、組み込み DB のサービスを再開始してください。
shmdt	12	ENOMEM	Windows の場合、次のどちらかの原因が考えられます。 • Windows のレジストリーを参照中にエラーが発生しました。 • 組み込み DB のサービスが開始されていません ( 共用メモリーをページングファイルに割り当てている場合 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows のレジストリーが破損しているおそれがあります。この場合、保守員に連絡してください。</li> <li>共用メモリーをページングファイルに割り当てている場合、組み込み DB のサービスが開始状態が確認してください。組み込み DB のサービスが停止状態の場合は、サービスを開始してください。</li> </ul>
shmctl	1	EPERM	オーナーではないので共用メモリーを処理できません。	KFPO00107-E メッセージが出力されている場合は、そのメッセージを参照してください。
	12	ENOMEM	Windows の場合、次のどちらかの原因が考えられます。 • Windows のレジストリーを参照中にエラーが発生しました。 • 組み込み DB のサービスが開始されていません ( 共用メモリーをページングファイルに割り当てている場合 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows のレジストリーが破損しているおそれがあります。この場合、保守員に連絡してください。</li> <li>組み込み DB のサービスが開始状態が確認してください。組み込み DB のサービスが停止状態の場合は、サービスを開始してください。</li> </ul>
shmget	12	ENOMEM	UNIX の場合、要求されたサイズの共用メモリーを確保するだけのメモリー量がサーバマシンにはありません。 Windows の場合は表 B-2 を参照してください。	UNIX の場合、サーバマシンのメモリー使用量を減らしてください。または、OS の実メモリーを増やしてください。 Windows の場合は表 B-2 を参照してください。

システムコール	errno	ニモニック	考えられる主な原因	対策
	22	EINVAL	UNIX の場合、獲得しようとした共用メモリーのサイズが、OS のオペレーティングシステムパラメタ（カーネルパラメタ）の <code>shmmax</code> の指定値を超えました。 Windows の場合、組み込み DB 稼働中に、組み込み DB のインストールディレクトリ下の作業ファイルを削除したおそれがあります。	UNIX の場合、OS のオペレーティングシステムパラメタ（カーネルパラメタ）の <code>shmmax</code> の指定値を大きくしてください。 指定を変更したあとに該当するサーバマシンを再起動してください。 組み込み DB サーバが Windows 版の場合、組み込み DB が異常終了していなければ、強制停止してください。その後、組み込み DB のサービスを再開してください。
	28	ENOSPC	UNIX の場合、共用メモリー識別子の数が OS の上限値を超えました。 Windows の場合、インストールドライブの容量が不足しています。Windows の場合、組み込み DB サーバが Windows 版の場合、インストールドライブの容量が不足しています。また、共用メモリーとしてページングファイルを割り当てている場合は、組み込み DB のサービスが共用メモリーを管理するためのプロセス固有メモリーが不足していることが考えられます。	UNIX の場合、次に示す項目の中で対処できることを一つ以上してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 同一マシン上にある共用メモリーセグメント数を減らしてください。</li> <li>• OS のオペレーティングシステムパラメタ（カーネルパラメタ）の <code>shmmni</code> の指定値を大きくしてください。</li> </ul> Windows の場合、インストールドライブに、共用メモリーサイズ以上の空き容量を確保してください。 また、共用メモリーとしてページングファイルを割り当てている場合は、システム全体のメモリーの最大使用量を確認して、物理メモリーまたはページングファイルを拡張してください。
write	5	EIO	入出力エラーが発生しました。	OS やハードウェアの情報に従って対策してください。

システムコール	errno	ニモニック	考えられる主な原因	対策
	14	EFAULT	アクセスできない領域に書き込みしようとした。書き込みしようとしたディスクが切り離されたおそれがあります。	系切り替えに伴うディスクの切り替え中の場合は、問題ありませんので無視してください。組み込み DB 稼働中に誤ってディスクを切り離してしまった場合は、該当するファイルをバックアップから回復するか、初期化してから使用してください。それ以外の場合は、保守員に連絡してください。
	27	EFBIG	ファイルの大きさがシステム制限値を超えました。	組み込み DB システム管理者、およびルートユーザーでのファイルサイズの制限値を組み込み DB システムで使用するファイルより大きく、または無制限に変更してください。または使用するファイルサイズを小さくしてください。
	28	ENOSPC	ファイルシステムに十分な領域がありません。	空き領域を確保してください。

システムコール	errno	二モニック	考えられる主な原因	対策
abort , creat , execl , execl , execlp , execv , execvp , fopen , fork , gethostbyaddr , gethostbyname , mmap , msgctl , msgget , msgrcv , msgsnd , open , read , readv , select , semctl , semget , semop , shmat , shmctl , shmdt , shmget , signal , sigrelse , sigset , sigsetmask , sigvector , stat , system , write , writev など	22	EINVAL	Windows 版の場合、メモリー不足が考えられます。	Windows 版の場合、次に示す項目の中で対処できることをしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバマシン内のデータベースの総容量を減らしてください。</li> <li>・システムの仮想メモリーの初期サイズと最大サイズを同じ値（固定値）にしてください。</li> </ul>

表 B-2 shmget でエラーが発生した場合の対処方法（Windows の場合）

共用メモリーの割り当て場所	要因	確認方法	対処方法
ファイルの場合	インストールディスクの空き容量が不足している場合	組み込み DB をインストールしたドライブに、十分な空き容量があるかを確認してください。	空き容量が少ないときは、不要なファイルを削除してください。
	仮想メモリーの初期値と最大値の指定が異なるため、ディスクページングファイルを配置したディスクに空き容量がない場合	ディスクページングファイルを配置したディスクに空き容量があるかを確認してください。	ディスクに空き容量がないときは、仮想メモリーを再配置してください。仮想メモリーを再配置するときは、ドライブに連続した領域を作成するように、初期サイズと最大サイズを同じ値（固定値）にしてください。

共用メモリーの割り当て場所	要因	確認方法	対処方法
	メモリーが不足している場合	メモリーの使用量を確認してください。	仮想メモリーを拡張または再配置してください。仮想メモリーを拡張または再配置するときは、ドライブに連続した領域を作成するように、初期サイズと最大サイズを同じ値（固定値）にしてください。
		ページングファイルがあるディスクに十分な空き容量があるかを確認してください。	仮想メモリーに拡張が必要ならば拡張してください。このとき、仮想メモリーの指定値は、初期値と最大値を同じ値に指定してください。
ページングファイルの場合	インストールディスクの空き容量が不足している場合	組み込み DB をインストールしたドライブに、十分な空き容量があるかを確認してください。	空き容量が少ないときは、不要なファイルを削除してください。
	仮想メモリーの初期値と最大値の指定が異なるため、ディスクページングファイルを配置したディスクに空き容量がない場合	ディスクページングファイルを配置したディスクに空き容量があるかを確認してください。	ディスクに空き容量がないときは、仮想メモリーを再配置してください。仮想メモリーを再配置するときは、ドライブに連続した領域を作成するように、初期サイズと最大サイズを同じ値（固定値）にしてください。
	メモリーが不足している場合	メモリーの使用量を確認してください。	仮想メモリーを拡張または再配置してください。仮想メモリーを拡張または再配置するときは、ドライブに連続した領域を作成するように、初期サイズと最大サイズを同じ値（固定値）にしてください。
		ページングファイルがあるディスクに十分な空き容量があるかを確認してください。	仮想メモリーに拡張が必要ならば拡張してください。このとき、仮想メモリーの指定値は、初期値と最大値を同じ値に指定してください。
	組み込み DB のサービスが開始していない場合	組み込み DB のサービスが開始状態かどうかを確認してください。	組み込み DB のサービスが停止状態のときはサービスを開始してください。



## 付録 C 組み込み DB ファイルシステムに対するアクセス要求から返されるエラーコード

組み込み DB ファイルシステムに対するアクセス要求から返されるエラー要因コードの一覧を次の表に示します。

表 C-1 組み込み DB ファイルシステムに対するアクセス要求から返されるエラー要因コード

エラーコード	内容	対策
-1511	パス名の指定が不正です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>パス名に使用できない文字を指定しています。</li> <li>パス名の長さが制限（167 文字）を超えました。</li> <li>組み込み DB ファイルシステム領域名の長さが制限（165 文字）を超えました。</li> <li>組み込み DB ファイル名の長さが制限（30 文字）を超えました。</li> </ul>	コマンドラインに指定したパス名を見直してください。 問題がない場合は保守員に連絡してください。
-1514	セクタ長の指定が不正です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>セクタ長を指定して作成した組み込み DB ファイルシステム領域には対応していません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セクタ長を指定しないで作成した組み込み DB ファイルシステム領域を使用してください。</li> </ul> <p>該当しない場合は保守員に連絡してください。</p>
-1532	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常ファイル、またはキャラクタ型スペシャルファイル（Windows の場合はダイレクトディスクアクセス）以外のファイルを指定しました。</li> <li>組み込み DB ファイルシステム領域がありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コマンドラインに指定したパス名を間違えていないかどうかが見直してください。</li> <li>通常ファイル、またはキャラクタ型スペシャルファイル（Windows の場合はダイレクトディスクアクセス）以外は組み込み DB ファイルシステム領域として使用できません。</li> <li>メッセージに表示された組み込み DB ファイルシステム領域が削除されていないか、シンボリックリンクが切れていないか確認してください。</li> </ul>
-1534	排他エラーです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>メッセージに出力された組み込み DB ファイルシステム領域をコマンドで使用中の場合、コマンドが終了するまで待つて再度実行してください。</li> <li>コマンド実行によってこのエラーになる場合、組み込み DB を終了して実行してください（組み込み DB の停止中に実行するコマンドに限る）。</li> <li>上記対策を実行しても問題が解決しない場合は保守員に連絡してください。</li> </ul>

エラーコード	内容	対策
-1535	<ul style="list-style-type: none"> <li>組み込み DB ファイルシステム領域内の空き容量が不足しています。</li> <li>組み込み DB ファイルシステム領域を作成したディスクの空き容量が不足し、ディスクが満杯になりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常ファイルの組み込み DB ファイルシステム領域を運用中にディスクが満杯になった場合はほかのファイルを削除するか、ディスクを拡張して空き容量を増やしてください。</li> <li>キャラクタ型スペシャルファイルの組み込み DB ファイルシステム領域を使用している場合はディスクが満杯になることはありません。ただし、シンボリックリンクを使用して運用している場合は誤って通常ファイルにリンクしていないかどうかを確認してください。</li> </ul>
-1538	組み込み DB ファイルシステム領域ではありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>HiRDB ファイルシステム領域が壊れているおそれがあります。保守員に連絡してください。</li> </ul>
-1539	組み込み DB ファイルがありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>組み込み DB の運用中に RD エリアを構成する組み込み DB ファイルからエラーが発生した場合、原因として RD エリアの構成変更前のバックアップを使用して回復した場合や、強制的に組み込み DB ファイルを削除した場合が考えられます。正しい回復手順で RD エリアを回復するか、または再初期化を実行してください。</li> </ul> <p>該当しない場合は保守員に連絡してください。</p>
-1540	アクセス権がありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コマンドライン、およびシステム定義ファイルに指定したファイルのアクセス権を見直してください。</li> <li>Windows 版の場合、ダイレクトディスクアクセスを使用している領域で発生したときは、フォーマットされたディスクを指定していないか見直してください。</li> </ul>
-1541	組み込み DB ファイルがすでに定義されています。	<p>コマンドラインに指定した組み込み DB ファイルがすでに存在します。重複しないように組み込み DB ファイルを指定してください。</p> <p>重複する組み込み DB ファイルがない場合は保守員に連絡してください。</p>
-1543	バージョンが一致しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作中の組み込み DB のバージョンが、組み込み DB ファイルシステム領域を作成したバージョンより古いです。新しいバージョンの HiRDB で作成した領域は、古いバージョンの組み込み DB で使用できません。</li> <li>複数バージョンの組み込み DB をインストールしている場合、実行する絶対パス名を見直してください。</li> </ul>

エラーコード	内容	対策
-1544	入出力エラーです。	syslog ( Windows 版の場合はイベントログ ) の KFPO00107-E メッセージの errno に対応した処置をしてください。 KFPO00107-E が出力されていない場合は保守員に連絡してください。
-1548	ロックセグメントが不足しています。	syslog ( Windows 版の場合はイベントログ ) の KFPO00107-E メッセージの errno に対応した処置をしてください。errno が 46 ( ENOLCK ) の場合は OS のロックセグメントが不足しています。 HP-UX の場合は、nflck を見直してください。 その他の OS の場合は、ロックを使用している他プロセスの終了を待って、再度実行してください。 上記対策を実行しても問題が解決しない場合は保守員に連絡してください。
-1549	システムのオープン数の上限を超えました。または、プロセスのオープン数の上限を超えました。	syslog ( Windows 版の場合はイベントログ ) の KFPO00107-E メッセージの errno に対応した処置をしてください。 次の値を見直してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• HP-UX の場合 nfile, maxfiles_lim</li> <li>• Solaris の場合 rlim_fd_max</li> <li>• AIX 5L の場合 nofiles_hard</li> <li>• Linux の場合 NR_FILE, NR_OPEN</li> </ul>
-1550	メモリーが不足しています。	メモリーの見積もりを見直し、問題があればメモリーを増やす、常駐プロセス数を減らすなどの対処をしてください。 対策をしても問題が解決しない場合は保守員に連絡してください。
-1555	並列入出力機能で、ロックセグメント不足、ファイルオープン数の上限オーバ、メモリー不足のどれかが発生しました。	-1548, -1549, -1550 のエラーコードに記述された対策を実行してください。 対策をしても問題が解決しない場合は保守員に連絡してください。
その他	-	保守員に連絡してください。

( 凡例 ) - : 該当しません。

---

## 付録 D 各バージョンの変更内容

各バージョン（07-00以降）での変更点を次に示します。

### 付録 D.1 08-50 の変更内容

08-50 での変更点をプログラムごとに示します。

#### （１）JP1/AJS2 - Manager の変更内容

- ジョブを実行所要時間によって終了遅延監視する機能を追加した。
- ジョブネットコネクタで異なるスケジューラサービス間のルートジョブネットの実行順序を制御できるようにした。
- 定義内容の事前チェックで、チェック対象のジョブネット配下にユニット間の実行順序不正があった場合、該当するユニット名をチェック結果格納ファイルに出力するようにした。
- UNIX ジョブ実行時のファイル権限チェックで、ファイルパーミッションのほか、アクセス制御リストやセカンダリーグループの設定を有効にする機能を追加した。
- 実行ホストの JP1/AJS2 サービスが停止してもイベントジョブの実行を継続させる機能を追加した。
- ジョブネットの実行登録状態を登録予定情報としてエクスポート/インポートする機能を追加した。
- UNIX ホストのメッセージキュー（TP1/LiNK, TP1/Message Queue, MQSeries）連携をサポート対象外とした。
- Windows Server 2008, Windows Server 2008 (IPF) をサポート対象 OS とした。

#### （２）JP1/AJS2 - Agent の変更内容

- UNIX ジョブ実行時のファイル権限チェックで、ファイルパーミッションのほか、アクセス制御リストやセカンダリーグループの設定を有効にする機能を追加した。
- UNIX ホストのメッセージキュー（TP1/LiNK, TP1/Message Queue, MQSeries）連携をサポート対象外とした。
- Windows Server 2008, Windows Server 2008 (IPF) をサポート対象 OS とした。

#### （３）JP1/AJS2 - View の変更内容

- ジョブを実行所要時間によって終了遅延監視する機能を追加した。
- ジョブネットコネクタで異なるスケジューラサービス間のルートジョブネットの実行順序を制御できるようにした。
- [フィルタの設定] ダイアログボックスに、[デリースケジュール] ウィンドウおよび [マンスリースケジュール] ウィンドウで、保留予定ユニットを「保留中」のユニットとしてフィルター表示させるオプションを追加した。
- Windows Server 2008 をサポート対象 OS とした。

## 付録 D.2 08-10 の変更内容

08-10 での変更点をプログラムごとに示します。

### (1) JP1/AJS2 - Manager の変更内容

- ルートジョブネットの実行順序を制御するジョブネットコネクタを追加した。
- ジョブネット定義変更など、操作履歴の詳細をスケジューラーログに出力するオプションを追加した。
- スケジューラーログからログを抽出する `ajslogprint` コマンドを追加した。

### (2) JP1/AJS2 - View の変更内容

- ルートジョブネットの実行順序を制御するジョブネットコネクタを定義、操作、監視できるようにした。
- 任意のジョブまたはジョブネットの先行・後続ユニットを強調表示する機能を追加した。
- Windows Vista をサポート対象 OS とした。

## 付録 D.3 08-00 の変更内容

08-00 での変更点をプログラムごとに示します。

### (1) JP1/AJS2 - Manager の変更内容

- インストール・セットアップ時に、環境設定項目の推奨値を設定するようにした。
- ファイル監視ジョブで 2 ギガバイトを超えるファイル（ラージファイル）を監視できるようにした。
- JP1/AJS2 - View の接続状況を `ajsstatus` コマンドで出力できるようにした。
- 組み込み DB を制御する次のコマンドを追加した。
  - `ajsembdbaddarea` コマンド（組み込み DB のデータベース領域の拡張）
  - `ajsembdbaddlog` コマンド（組み込み DB のログ領域の拡張）
  - `ajsembdbcancel` コマンド（組み込み DB の操作コマンドの実行中断）
  - `ajsembdboplog` コマンド（組み込み DB のログ操作）
  - `ajsembdbreclaim` コマンド（組み込み DB のメンテナンス）
  - `ajsembdbroorg` コマンド（組み込み DB のデータのアンロード・リロード）
  - `ajsembdbbrstr` コマンド（組み込み DB のバックアップ・リストア）
  - `ajsembdbstart` コマンド（組み込み DB の開始）
  - `ajsembdbstatus` コマンド（組み込み DB の監視）
  - `ajsembdbstop` コマンド（組み込み DB の停止）
  - `ajsembdbunset` コマンド（組み込み DB のアンセットアップ）

なお、`ajsembdbreclaim` コマンドのサポートに合わせて、空きページ回収に掛かる実行時間を改善した。

- JP1/AJS2 - Datareplicator と連携して別ホストへの DB レプリケーションをできるようにした。

- JP1/AJS2 - Configuration と連携して構成情報を管理できるようにした。
- JP1/IM - Planning Operation と連携してオペレーションジョブを実行できるようにした。
- JP1/Performance Management - Agent Option for JP1/AJS2 と連携して稼働状況を分析できるようにした。
- `jajs_start` コマンド、および `jajs_start.cluster` コマンドで JP1/AJS2 起動時にプロセスの起動状態を確認できるようにした (UNIX 限定)。
- 使用できる言語に Unicode (UTF-8) を追加した (Linux 限定)。
- Windows 2000, Windows XP Professional, および Windows Server 2003 で提供していた関数を廃止した。
- Windows 2000, Windows XP Professional, Windows Server 2003, および Windows Server 2003 (IPF) で提供していた次のコマンドを廃止した。
  - `jsubcmd` コマンド
  - `jsubwin` コマンド

## (2) JP1/AJS2 - Agent の変更内容

- インストール・セットアップ時に、環境設定項目の推奨値を設定するようにした。
- ファイル監視ジョブで 2 ギガバイトを超えるファイル (ラージファイル) を監視できるようにした。
- 使用できる言語に Unicode (UTF-8) を追加した (Linux 限定)。

## (3) JP1/AJS2 - View の変更内容

- JP1/AJS2 - Configuration Manager と連携できるようにした。
- JP1/IM - Planning Operation 用のオペレーションジョブを操作できるようにした。
- アイコンを変更した。

## 付録 D.4 07-50 の変更内容

07-50 での変更点をプログラムごとに示します。

### (1) JP1/AJS2 - Manager の変更内容

- JP1/AJS2 - Scenario Operation Manager との連携機能をサポートした。
- 実行登録時にマクロ変数の引き継ぎ情報を指定できる機能を追加した。
- 判定ジョブで変数の判定をできるようにした。
- 起動条件付きジョブネットが異常終了したときの実行抑止機能を追加した。
- ユニット定義を開発環境から本番環境に移行したとき、本番環境上で最終チェックとして使用できる定義内容の事前チェック機能を追加した。
- イベント・アクション制御マネージャーに未処理のデータが大量に蓄積して遅延が発生した場合に、イベント・アクション制御マネージャーが保持している情報を削除できる `jpomanevreset` コマンドを追加した。また、問題の発生している起動条件とエージェントを特定する方法として、送信頻度の高いエージェントと起動条件の情報を表示する `jpomanevshow` コマンドを追加した。

## (2) JP1/AJS2 - Agent の変更内容

- ・ユニット定義を開発環境から本番環境に移行したとき、本番環境上で最終チェックとして使用できる定義内容の事前チェック機能を追加した。

## (3) JP1/AJS2 - Light Edition の変更内容

- ・実行登録時にマクロ変数の引き継ぎ情報を指定できる機能を追加した。
- ・判定ジョブで変数の判定をできるようにした。
- ・起動条件付きジョブネットが異常終了したときの実行抑止機能を追加した。
- ・ユニット定義を開発環境から本番環境に移行したとき、本番環境上で最終チェックとして使用できる定義内容の事前チェック機能を追加した。
- ・イベント・アクション制御マネージャーに未処理のデータが大量に蓄積して遅延が発生した場合に、イベント・アクション制御マネージャーが保持している情報を削除できる `jpomanevreset` コマンドを追加した。また、問題の発生している起動条件とエージェントを特定する方法として、送信頻度の高いエージェントと起動条件の情報を表示する `jpomanevshow` コマンドを追加した。

## (4) JP1/AJS2 - View の変更内容

- ・JP1/AJS2 - Scenario Operation Manager との連携機能をサポートした。
- ・実行登録時にマクロ変数の引き継ぎ情報を指定できる機能を追加した。
- ・判定ジョブで変数の判定をできるようにした。
- ・起動条件付きジョブネットが異常終了したときの実行抑止機能を追加した。
- ・[ JP1/AJS2 - View ] ウィンドウに、[ 追加 ], [ 日時変更 ], [ 即時実行 ], [ 変更解除 ] の操作を実行できるオプションを追加した。

# 付録 D.5 07-11 の変更内容

07-11 での変更点をプログラムごとに示します。

## (1) JP1/AJS2 - Manager の変更内容

- ・Cm2 連携で JP1/Cm2/NNM 07-10 と連携できるようにした。
- ・デスクトップヒープ領域の消費を抑える機能を追加した (Windows 限定)。
- ・スケジューラサービスのデータベースへの接続の最大待ち合わせ時間を指定できる機能を追加した。

## (2) JP1/AJS2 - Light Edition の変更内容

- ・Cm2 連携で JP1/Cm2/NNM 07-10 と連携できるようにした。
- ・デスクトップヒープ領域の消費を抑える機能を追加した。
- ・スケジューラサービスのデータベースへの接続の最大待ち合わせ時間を指定できる機能を追加した。

## (3) JP1/AJS2 - View の追加・変更機能

- ・[ 貼り付け (拡張) ] メニューコマンドを追加し、ジョブネットワーク要素と関連線を同時に複写できるようにした。

- 複数のジョブネット要素から一つのジョブネットワーク要素に対して関連線を引けるようにした。
- Cm2 連携で JP1/Cm2/NNM 07-10 と連携できるようにした。
- JP1/AJS2 Console View から JP1/AJS2 - View の [ ジョブネットモニタ ] ウィンドウを表示するとき、すでに起動されている JP1/AJS2 - View があれば、その JP1/AJS2 - View 上で [ ジョブネットモニタ ] ウィンドウを起動する機能を追加した。

## 付録 D.6 07-10 の変更内容

07-10 での変更点をプログラムごとに示します。

### (1) JP1/AJS2 - Manager の変更内容

- Linux 版 JP1/Automatic Job Management System 2 - Manager をサポートした。
- 統合トレースログだけに出力していたメッセージを syslog にも出力できるようにした (UNIX 限定)。
- 資料採取ツールで次の機能を追加した。
  - 論理ホスト名を指定できるようにした。
  - 採取できる資料を限定できる機能を追加した。
  - 採取できる資料を追加した。
- メッセージの説明を改善した。
- 障害時に緊急で実行できる緊急実行コマンドを追加した。
- 受信するファイルのファイルサイズなどに制限を掛けて、一部のジョブの処理でシステム全体に影響が出ないように運用するための機能を追加した。
- イベント・ジョブ情報、待機情報ファイルの更新時に同期書き込みを行う機能を追加した。
- MQ Series 連携時の監視間隔を秒単位で設定する機能を追加した。
- Cm2 連携で JP1/Cm2/NNM 07-01 と連携し、Windows XP 上で動作できるようにした。
- Cm2 連携で JP1/Cm2/NNM 07-01 と連携し、Solaris 9 上で動作できるようにした。
- Cm2 連携で、JP1/Cm2/NNM 07-10 および hp OpenView NNM 6.41 との連携をサポートした。
- TCP/IP 通信接続エラーのリトライ間隔・回数を変更できるようにした。
- ジョブを配信するエージェントホストの決定方式を設定できるようにした。
- イベント・アクション制御の詳細プロセスがシグナル終了した場合、すべての詳細プロセスを停止してイベント・アクション制御のエージェントプロセスを終了する機能を追加した。
- 提供する関数の対応するコンパイラーとして、Microsoft(R) Visual C++ .NET Version 2003 を追加した。
- ajsshow コマンドで終了状態の保留属性を表示できるようにした。
- ajsshow コマンドのフォーマット指示子指定で、未来世代数を出力できるようにした。



- `ajssname` コマンドでユニット ID からユニット完全名を出力する機能を追加した。

## (2) JP1/AJS2 - Agent の変更内容

- 資料採取ツールで次の機能を追加した。
  - 論理ホスト名を指定できるようにした。
  - 採取できる資料を限定できる機能を追加した。
  - 採取できる資料を追加した。
- メッセージの説明を改善した。
- MQ Series 連携時の監視間隔を秒単位で設定する機能を追加した。
- イベント・アクション制御の詳細プロセスがシグナル終了した場合、すべての詳細プロセスを停止してイベント・アクション制御のエージェントプロセスを終了する機能を追加した。
- イベント・ジョブ情報、待機情報ファイルの更新時に同期書き込みを行う機能を追加した。
- 統合トレースログだけに出力していたメッセージを `syslog` にも出力できるようにした (UNIX 限定)。

## (3) JP1/AJS2 - Light Edition の変更内容

- 統合トレースログだけに出力していたメッセージを `syslog` にも出力できるようにした (UNIX 限定)。
- 資料採取ツールで次の機能を追加した。
  - 論理ホスト名を指定できるようにした。
  - 採取できる資料を限定できる機能を追加した。
  - 採取できる資料を追加した。
- メッセージの説明を改善した。
- 受信するファイルのファイルサイズなどに制限を掛けて、一部のジョブの処理でシステム全体に影響が出ないように運用するための機能を追加した。
- 障害時に緊急で実行できる緊急実行コマンドを追加した。
- イベント・ジョブ情報、待機情報ファイルの更新時に同期書き込みを行う機能を追加した。
- MQ Series 連携時の監視間隔を秒単位で設定する機能を追加した。
- Cm2 連携で JP1/Cm2/NNM 07-01 と連携し、Windows XP 上で動作できるようにした。
- Cm2 連携で JP1/Cm2/NNM 07-01 と連携し、Solaris 9 上で動作できるようにした。
- TCP/IP 通信接続エラーのリトライ間隔・回数を変更できるようにした。
- イベント・アクション制御の詳細プロセスがシグナル終了した場合、すべての詳細プロセスを停止してイベント・アクション制御のエージェントプロセスを終了する機能を追加した。
- 提供する関数の対応するコンパイラーとして、Microsoft(R) Visual C++ .NET Version 2003 を追加した。
- `ajssshow` コマンドで終了状態の保留属性を表示できるようにした。
- `ajssshow` コマンドのフォーマット指示子指定で、未来世代数を出力できるようにした。

た。

- `ajssname` コマンドでユニット ID からユニット完全名を出力する機能を追加した。

#### (4) JP1/AJS2 - Client Toolkit の変更内容

- 資料採取ツールで次の機能を追加した。
  - 採取できる資料を追加した。
- メッセージの説明を改善した。

#### (5) JP1/AJS2 - View の追加・変更機能

- 資料採取ツールで次の機能を追加した。
  - 論理ホスト名を指定できるようにした。
  - 採取できる資料を限定できる機能を追加した。
  - 採取できる資料を追加した。
- メッセージの説明を改善した。
- 標準カスタムジョブに、Cosminexus Manager と連携するジョブ（クラス名：COSMNGSV、COSMNGAP）を追加した。
- JP1/AJS2 - View のログファイルの上限値を拡張した。
- JP1/AJS2 Console View のログファイルの上限値を拡張した。
- JP1/AJS2 - View で、繰り返し出力していたログ情報をまとめて出力するようにした。
- JP1/AJS2 Console View で、繰り返し出力していたログ情報をまとめて出力するようにした。
- Windows 版の JP1/AJS2 - View で [ スタート ] メニューに [ ヘルプ ] メニューを追加した。
- Cm2 連携で JP1/Cm2/NNM 07-01 と連携し、Windows XP 上で動作できるようにした。
- Cm2 連携で JP1/Cm2/NNM 07-01 と連携し、Solaris 9 上で動作できるようにした。

## 付録 D.7 07-00 の変更内容

#### (1) JP1/AJS2 - Manager の変更内容

- JP1/AJS2 を一時的に縮退させ、運用している業務を途切れることなく、ISAM データベース（スケジューラーデータベースおよびジョブ実行環境データベース）を再編成できる機能をサポートした。
- ISAM データベースを並列に再編成できるようにした。
- 追加できるスケジューラーサービスの数を、9 から 20 に変更した。
- `ajssshow` などのコマンド（参照系コマンド）の実行時期や、操作系のコマンドのサービスへの処理要求履歴を、操作ログとしてスケジューラーログに出力するオプションをサポートした。
- ジョブネットの保存世代数を、99 から 999 に変更した。
- JP1/AJS2 のコールドスタート時に、ジョブ実行環境のデータベースを削除して、JP1/AJS2 の起動時間が短くなるようにした。

- ジョブ実行制御の環境設定で、ユーザープロファイル情報を有効にする機能をサポートした。
- ジョブ情報の保存日数を 0 日にした場合で、ジョブが異常終了しても、保存時間を変更することで対処できるようにした。
- JP1/AJS2 起動時にジョブ情報削除処理を抑止できるようにした。
- イベントジョブを使用する場合、DNS 環境（FQDN 形式のホスト名）でも運用できるようにした。
- 引き継ぎ情報中の「」（ダブルクォーテーションマーク）の有無を意識しないで、イベントジョブの受信情報をマクロ変数として、標準ジョブやアクションジョブのパラメーターに引き継げるようにした。
- JP1/Base で対応した拡張正規表現を、JP1/Base の設定に合わせて、イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、および Windows イベントログ監視ジョブで使えるようにした。
- キューレスジョブを実行できる機能をサポートした。
- 以前のバージョン（06-71）で別製品であった JP1/AJS2 - Console を統合した。
- JP1/AJS2 - Console で業務スコープを階層化できる機能を追加した。
- JP1/AJS2 - Console で監視オブジェクトに対して操作できる機能を追加した。
- JP1/AJS2 - Console で任意の画像を背景として表示できる機能を追加した。
- JP1/AJS2 - Console で監視オブジェクトと業務スコープのアイコンを任意のアイコンに変更できる機能を追加した。
- JP1/AJS2 - Console で保留属性が設定されている監視オブジェクトを色で識別できる機能を追加した。
- JP1/AJS2 - Console で監視オブジェクトの状態を任意のタイミングで更新できる機能を追加した。
- JP1/AJS2 - Console で監視オブジェクトの監視方法に次のモードを追加した。
  - 当日時刻予定優先
  - 全世代時刻予定優先
- JP1/AJS2 - Console の定義情報を標準出力ファイルに出力するコマンド（ajscmprint）を追加した。
- ジョブネットの実行所要時間に対する終了遅延の監視ができる機能をサポートした。
- ajsprint コマンドのフォーマット指示子指定で、ユニットの作成日時を出力できるようにした。
- ajsshow コマンドのフォーマット指示子指定で、ユニットに設定されたコメントを出力できるようにした。
- ajsshow コマンドのフォーマット指示子指定で、ジョブが異常終了した場合に、異常終了ジョブまたはその後続ユニットから再実行した場合に掛かる実行所要時間の推定値を出力できるようにした。
- イベントジョブが、打ち切り時間で終了するときの終了状態を選択できるようにした。
- JP1 イベント送信ジョブにイベントの到達確認機能をサポートした。
- JP1 イベント受信監視ジョブに過去のイベントを検索する機能をサポートした。

## (2) JP1/AJS2 - Advanced Manager の変更内容

- JP1/AJS2 で使用できるデータベース種別として、組み込み DB (HiRDB) をサポートした。

## (3) JP1/AJS2 - Light Edition の変更内容

- JP1/AJS2 を一時的に縮退させ、運用している業務を途切れことなく、ISAM データベース (スケジューラーデータベースおよびジョブ実行環境データベース) を再編成できる機能をサポートした。
- ISAM データベースを並列に再編成できるようにした。
- 追加できるスケジューラーサービスの数を、9 から 20 に変更した。
- `ajsshow` などのコマンド (参照系コマンド) の実行時期や、操作系のコマンドのサービスへの処理要求履歴を、操作ログとしてスケジューラーログに出力するオプションをサポートした。
- ジョブネットの保存世代数を、99 から 999 に変更した。
- JP1/AJS2 のコールドスタート時に、ジョブ実行環境のデータベースを削除して、JP1/AJS2 の起動時間が短くなるようにした。
- ジョブ実行制御の環境設定で、ユーザープロファイル情報を有効にする機能をサポートした。
- ジョブ情報の保存日数を 0 日にした場合で、ジョブが異常終了しても、保存時間を変更することで対処できるようにした。
- JP1/AJS2 起動時にジョブ情報削除処理を抑止できるようにした。
- イベントジョブを使用する場合、DNS 環境 (FQDN 形式のホスト名) でも運用できるようにした。
- 引き継ぎ情報中の「" (ダブルクォーテーションマーク)」の有無を意識しないで、イベントジョブの受信情報をマクロ変数として、標準ジョブやアクションジョブのパラメーターに引き継げるようにした。
- JP1/Base で対応した拡張正規表現を、JP1/Base の設定に合わせて、イベント受信監視ジョブ、ログファイル監視ジョブ、および Windows イベントログ監視ジョブで使えるようにした。
- 以前のバージョン (06-71) で別製品であった JP1/AJS2 - Console を統合した。
- JP1/AJS2 - Console で業務スコープを階層化できる機能を追加した。
- JP1/AJS2 - Console で監視オブジェクトに対して操作できる機能を追加した。
- JP1/AJS2 - Console で任意の画像を背景として表示できる機能を追加した。
- JP1/AJS2 - Console で監視オブジェクトと業務スコープのアイコンを任意のアイコンに変更できる機能を追加した。
- JP1/AJS2 - Console で保留属性が設定されている監視オブジェクトを色で識別できる機能を追加した。
- JP1/AJS2 - Console で監視オブジェクトの状態を任意のタイミングで更新できる機能を追加した。
- JP1/AJS2 - Console で監視オブジェクトの監視方法に次のモードを追加した。
  - 当日時刻予定優先

- 全世代時刻予定優先
- JP1/AJS2 - Console の定義情報を標準出力ファイルに出力するコマンド (ajscmprint) を追加した。
- ジョブネットの実行所要時間に対する終了遅延の監視ができる機能をサポートした。
- ajssprint コマンドのフォーマット指示子指定で、ユニットの作成日時を出力できるようにした。
- ajsshow コマンドのフォーマット指示子指定で、ユニットに設定されたコメントを出力できるようにした。
- ajsshow コマンドのフォーマット指示子指定で、ジョブが異常終了した場合に、異常終了ジョブまたはその後続ユニットから再実行した場合に掛かる実行所要時間の推定値を出力できるようにした。
- イベントジョブが、打ち切り時間で終了するときの終了状態を選択できるようにした。
- JP1 イベント送信ジョブにイベントの到達確認機能をサポートした。
- JP1 イベント受信監視ジョブに過去のイベントを検索する機能をサポートした。

#### (4) JP1/AJS2 - Agent の変更内容

- 引き継ぎ情報中の「」(ダブルクォーテーションマーク)の有無を意識しないで、イベントジョブの受信情報をマクロ変数として、標準ジョブやアクションジョブのパラメーターに引き継げるようにした。
- キューレスジョブを実行できる機能をサポートした。
- JP1 イベント送信ジョブにイベントの到達確認機能をサポートした。
- イベントジョブが、打ち切り時間で終了するときの終了状態を選択できるようにした。
- JP1 イベント受信監視ジョブに過去のイベントを検索する機能をサポートした。
- JP1/AJS2 - Agent の起動時に認証サーバへのアクセスを行わないようにした (07-00/C以降)。

#### (5) JP1/AJS2 - View の変更内容

- ユーザー共通プロファイルを利用して、JP1/AJS2 - View の環境を設定できるようにした。
- [ジョブネットエディタ] ウィンドウと [ジョブネットモニタ] ウィンドウのマップエリアに表示される、ユニット名を任意の位置で改行できるようにした。
- ダイアログボックスのデフォルト値を変更できるようにした。
- 次に示す場所の表示項目(カラム)を選択できるようにした。
  - [JP1/AJS2 - View] ウィンドウのリストエリア
  - [デイリースケジュール] ウィンドウの実行結果リスト
  - [マンスリースケジュール] ウィンドウの実行結果リスト
- [JP1/AJS2 - View] ウィンドウで複数のユニットを選択して、編集や操作が行える機能を追加した。
- 保留属性が設定されているユニットを色で識別できる機能を追加した。
- [実行結果詳細] ダイアログボックスのサイズを変更できる機能を追加した。
- [JP1/AJS2 - View] ウィンドウと [メインスコープ] ウィンドウ間で JP1/AJS2 のコ

ニット定義を JP1/AJS2 - Console の監視オブジェクトとして自動作成する機能を追加した。

- 任意のアイコンイメージを使用できる機能を追加した。
- JP1/IM - View から [ ジョブネットモニタ ] ウィンドウを起動した場合に、指定したジョブを直接マップエリアに表示する機能を追加した。

## 付録 E ( 3020-3-K28-43 ) の変更内容

3020-3-K28-43 の変更内容を次の表に示します。

表 E-1 ( 3020-3-K28-43 ) の変更内容

項番	変更箇所	追加・変更内容
1	全体	64 ビット版 Windows 環境の場合の、プログラムのインストール先ディレクトリおよび各種ファイルの格納先を追加した。
2	1.3(1)	注意事項を削除した。
3	1.3(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>次に示すメッセージを出力先一覧に追加した、または出力先を変更した。 KAVS0242, KAVS0252 ~ KAVS0254, KAVS0278, KAVS1514 ~ KAVS1515</li> <li>次に示すメッセージの注 の番号、および注 の内容を変更した。 KAVS0200 ~ KAVS0201, KAVS0220 ~ KAVS0221, KAVS0240 ~ KAVS0241, KAVS0243 ~ KAVS0244, KAVS0248, KAVS0260 ~ KAVS0262, KAVS0263 ~ KAVS0264, KAVS0265, KAVS0268, KAVS0269, KAVS0270, KAVS0271, KAVS0275 ~ KAVS0276, KAVS0279, KAVS0530 ~ KAVS0535, KAVS1009, KAVS4700 ~ KAVS4707, KAVS4708</li> <li>次に示すメッセージを出力先一覧から削除した。 KAVS0255 ~ KAVS0256</li> </ul>
4	1.3(4)	<p>次に示すメッセージを出力先一覧に追加した、または出力先を変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>KAVT0340 ~ KAVT0347, KAVT3504, KAVT0570, KAVT0572, KAVT3514</li> </ul>
5	1.3(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>次に示すメッセージを出力先一覧に追加した、または出力先を変更した。 KAVU0470 ~ KAVU0471, KAVU1106, KAVU2242, KAVU3112, KAVU4297, KAVU4299, KAVU7112 ~ KAVU7113</li> <li>次に示すメッセージの注 の番号、および注 の内容を変更した。 KAVU0201 ~ KAVU0203, KAVU0205 ~ KAVU0206, KAVU0215 ~ KAVU0221, KAVU0224 ~ KAVU0225, KAVU0235, KAVU0237 ~ KAVU0242, KAVU0244, KAVU0248 ~ KAVU0252, KAVU3105,</li> <li>次に示すメッセージを出力先一覧から削除した。 KAVU3106 ~ KAVU3109</li> </ul>
6	1.4(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>次に示すメッセージを一覧に追加した。 KAVS0946-E, KAVT0570-E, KAVT0572-E, KAVT0912-E, KAVU1106-E, KAVU3112-E, KAVU7112-E, KAVU7113-E</li> <li>次に示すメッセージを一覧から削除した。 KAVS0242-I</li> <li>次に示すメッセージのイベント ID と種類を変更した。 KAVT3504-E, KAVU3105-I, KAVU7110-E, KAVU7111-E</li> </ul>

項番	変更箇所	追加・変更内容
7	2.	<ul style="list-style-type: none"> <li>次に示すメッセージの説明を変更した。 KAVS0932-E, KAVS1850-E, KAVS1897-E, KAVT8312-E, KAVU3574-W, KAVU3900-E, KAVU4293-W, KAVU7533-E, KFFPA11912-E</li> <li>次に示すメッセージを追加した。 KAVS0946-E, KAVT0340-W, KAVT0341-W, KAVT0342-I, KAVT0343-I, KAVT0344-W, KAVT0345-W, KAVT0346-I, KAVT0347-I, KAVU3105-I, KAVU3547-E</li> </ul>
8	2.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>冒頭の注意事項を削除した。</li> <li>リード文を追加した。</li> </ul>
9	2.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>次に示すメッセージを削除した。 KAVS1000-I, KAVS1001-I</li> <li>次に示すメッセージを変更した。 KAVS0180-E, KAVS0184-E</li> <li>次に示すメッセージの説明を変更した。 KAVS1884-E, KAVS1888-E</li> </ul>
10	2.5	次に示すメッセージの説明を変更した。 KAVU7533-E
11	2.6	次に示すメッセージの説明を変更した。 KAVV402-E, KAVV501-E, KAVV502-E, KAVV544-E, KAVV545-E
12	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>次に示すメッセージの説明を変更した。 KFPS05201-Q</li> <li>次に示すメッセージを追加した。 KFPK10107-W</li> </ul>



---

## 付録 F 用語解説

### ( 英字 )

---

#### AJS2 ユニット監視オブジェクト

JP1/AJS2 の業務の状態を監視するためのオブジェクトです。業務には、JP1/AJS2 - Manager のホストのルートジョブネットを指定します。このオブジェクトで監視内容を定義し、監視モードに切り替えることでオブジェクト（業務）を監視できるようになります。

#### AJSPATH

JP1/AJS2 で使用するパスを定義するための環境変数です。環境変数を指定しておくと、コマンドでジョブネット名を指定するときに完全パス名の指定が不要になります。

#### HITSENER Data Mart Server

データマート（データウェアハウスのデータから目的に合わせて必要なデータを抽出した、利用目的ごとのデータベース）の作成、変更、および運用の自動化をプログラミングなしで実現するソフトウェアです。HITSENER Data Mart Server で定義した運用情報を JP1/AJS2 のジョブネットに登録することで、データマートをスケジュールに従って運用できます。

#### hp OpenView

ネットワークの構成、性能、および障害を管理する、ヒューレット・パッカード社の統合ネットワーク管理プログラムの総称です。

#### JP1/AJS2 - Definition Assistant

Excel のテンプレートで編集した大量の JP1/AJS2 の定義情報を、マネージャーホストに登録したり、マネージャーホストに登録されている JP1/AJS2 の定義情報を、Excel のテンプレートに取得したりできるプログラムです。JP1/AJS2 - Definition Assistant で提供されている、Excel のテンプレートを定義情報管理テンプレートといいます。一覧表形式の定義情報管理テンプレートでは、オートフィルやオートフィルターなどの Excel の機能を使って、効率良く定義情報の入力や編集ができます。

#### JP1/AJS2 - Print Option

JP1/AJS2 のジョブネットやスケジュールの情報を、ジョブネット定義情報、実行予実績確認表、実行結果確認表などの帳票レイアウトの形式で表示したり、印刷したりするためのプログラムです。また、JP1/AJS2 のジョブネットやスケジュールの情報を CSV 形式で出力できます。

#### JP1/AJS2 - Web Operation Assistant

複数のマネージャーホスト上で実行されているユニットの状態や結果を、Web ブラウザー上一覧表示するプログラムです。操作したいジョブやジョブネットを Web ブラウザー上で選択して再実行などの操作をしたり、ジョブネットモニタを起動して状態や結果を確認したりできます。

#### JP1/AJS2 Console Agent

JP1/AJS2 Console Agent は、JP1/AJS2 Console Manager で指示された自ホストの監視対象（ルートジョブネット）の状態を定期的に監視するコンポーネントです。監視対象の状態に変更があれば、JP1/AJS2 Console Manager に通知します。

## JP1/AJS2 Console Manager

JP1/AJS2 Console Manager は、JP1/AJS2 Console View で定義された監視対象の定義情報を保存したり、JP1/AJS2 Console Agent に指示して、監視対象の状態を取得したりするコンポーネントです。

## JP1/AJS2 Console View

GUI で監視対象を定義するコンポーネントです。定義した情報は、JP1/AJS2 Console Manager に保存されます。また、JP1/AJS2 Console Agent から JP1/AJS2 Console Manager に通知された監視対象の状態を表示して監視します。JP1/AJS2 Console Manager にログインして使用します。

## JP1/AJS2 for Enterprise Applications

R/3 以外のシステムから R/3 システムのジョブを制御するプログラムです。R/3 ジョブの投入、削除、および監視ができます。

JP1/AJS2 のジョブネット定義時に JP1/AJS2 for Enterprise Applications のカスタムジョブをジョブネットに登録すると、JP1/AJS2 から R/3 ジョブを自動実行できます。

なお、JP1/AJS2 for Enterprise Applications は、JP1/Application Manager for R/3 を名称変更したものです。

## JP1/AJS2 for Mainframe

JP1/AJS2 と連携して、メインフレームのジョブスケジューラーが管理する大規模なジョブネットを実行するためのプログラムです。メインフレームのジョブスケジューラーが管理するジョブネットと JP1/AJS2 が管理するジョブネットの定義、監視、操作方法の統一と一元管理ができます。

## JP1/AJS2 for Oracle E-Business Suite

Oracle E-Business Suite 以外のシステムから Oracle E-Business Suite にアクセスして、業務の実行を依頼する（コンカレント要求を発行する）プログラムです。

また、JP1/AJS2 のジョブネットに JP1/AJS2 for Oracle E-Business Suite のカスタムジョブに登録すると、JP1/AJS2 からコンカレント要求を発行できます。

また、JP1/AJS2 のスケジュール定義機能を利用すると、コンカレント要求の処理サイクルや実行日を指定できます。

なお、JP1/AJS2 for Oracle E-Business Suite は、JP1/Application Manager for Oracle E-Business Suite を名称変更したものです。

## JP1/AJS2 for Web Service

Web サービスシステムと JP1/AJS2 システムを仲介し、JP1/AJS2 で Web サービスを一連の業務として実行させるためのプログラムです。

Web アプリケーションサーバ上の Web サービスを JP1/AJS2 のジョブとして実行できます。

## JP1/AJS2 for 活文 PDFstaff

活文 PDFstaff と連携し、PDF 変換を行います。作成する PDF ファイルには、パスワード、印刷禁止 / 許可などの操作制限、ヘッダー・フッター、透かし文字などのセキュリティ情報を設定できます。

## JP1/Base

イベントサービス機能を提供するプログラムです。サービスの起動順序を制御したり、JP1 イベントを送受信したりできます。また、JP1/Base は、JP1/IM、JP1/AJS2、および JP1/Power Monitor の前提プログラムです。JP1/IM、および JP1/AJS2 を使ったシステムを導入する場合、JP1 コー

ザーの操作を制限する機能を提供します。

## JP1/Cm2

ネットワークの構成，性能，および障害を管理するための統合ネットワーク管理プログラムの総称です。

## JP1/FTP

業務と連携したファイル送受信，ファイルのスケジュール伝送，ファイル受信後のプログラムの自動起動など，ファイル伝送業務を効率的に運用するためのプログラムです。また，ファイル伝送状態を監視できるため，ファイル伝送業務の信頼性を向上できます。

## JP1/IM

分散システムを集中的に監視するためのプログラムです。分散システム内での業務の実行状況や障害などの情報を表す JP1 イベントを，JP1/IM・View の画面を通じて監視できます。

## JP1/NETM/DM

ソフトウェアの配布およびクライアントの管理を，ネットワークを利用し一括して行うシステムの総称です。

JP1/NETM/DM のコマンドインターフェースを使用して JP1/AJS2 と連携すると，ソフトウェアの配布などを自動化できます。

## JP1/NQSEXEC

定型的なバッチ処理を分散システム上で実行し，バッチジョブを効率良く運用するためのプログラムです。

## JP1/OJE for Midrange Computer

Windows ホストや UNIX ホストから AS/400 にバッチジョブを投入したり，AS/400 から Windows ホストや UNIX ホストにバッチジョブを投入したりするためのプログラムです。

## JP1/OJE for VOS1

JP1/AJS2 と連携して，Windows および UNIX と，メインフレーム（VOS1）間のバッチジョブを実行したり監視したりするプログラムです。

## JP1/OJE for VOS3

JP1/AJS2 と連携して，Windows および UNIX と，メインフレーム（VOS3）間のバッチジョブを実行したり監視したりするプログラムです。

## JP1/OJE for VOSK

JP1/AJS2 と連携して，Windows および UNIX と，メインフレーム（VOSK）間のバッチジョブを実行したり監視したりするプログラムです。

## JP1/Power Monitor

ホストを自動的に起動・終了するプログラムです。スケジュールを設定してホストを起動・終了したり，離れた場所にあるホストを起動・終了したりできます。

## JP1/Script

Windows 上でジョブを制御するスクリプト（バッチファイル）を作成して実行するためのプログラムです。JP1/AJS2 と連携すると，ジョブを自動運転できます。

## JP1 イベント

システム内で何らかの事象が発生した際に、その事象の発生を通知する情報です。JP1 イベントは、JP1/Base を経由して、ほかのシステムなどに通知されます。

## JP1 権限レベル

JP1/AJS2 で定義した業務やイベントなどの管理対象（資源）に対して、JP1 ユーザーがどのような操作をできるかを表した名称です。JP1/Base で定義します。

## JP1 資源グループ

JP1/AJS2 の各ユニットに対する JP1 ユーザーのアクセスを制御するために、ユニットに設定する名称です。

## JP1 ユーザー

JP1/AJS2 または JP1/IM を使用するときのユーザー名です。JP1 ユーザーとして認証サーバに登録すると、管理対象（資源）へのアクセスが制御されます。

## MAPI ( Messaging Application Programming Interface )

Windows 用の標準的なメッセージング API です。

## MIME ( Multipurpose Internet Mail Extensions )

SMTP の拡張機能で、ASCII データ以外のデータを送受信する場合に使います。

メールシステム間でのデータ送受信の方法や、メールを転送するために交換する制御メッセージのフォーマットなどを定めています。

## MQSeries

IBM 社の製品で、メッセージキューを使って、同一のプラットフォームまたは異なるプラットフォーム間でメッセージをやり取りするためのプログラムです。

## MQ 文字列

TP1/Message Queue および MQSeries で定義されている文字列です。

MQ 文字列には次の文字が指定できます。

- A ~ Z , a ~ z ( 英文字 )
- 0 ~ 9 ( アラビア数字 )
- . ( ピリオド )
- / ( スラント )
- \_ ( アンダーバー )
- % ( パーセント )

## MSMQ

Microsoft Message Queue Server の略で、Windows 上でメッセージキューイング機能を実現するソフトウェアです。

## SMTP ( Simple Mail Transfer Protocol )

UNIX のネットワークで一般的に使われているプロトコルです。このプロトコルは、TCP/IP 上で異なるシステム間での ASCII データの転送を実現するための規約です。

## SUP

TP1/LiNK または TP1/Server Base のクライアントとなるプログラムのことです。JP1/AJS2 では、SUP を使用してメッセージキュー連携機能を実現しています。メッセージキュー連携機能を使用するときは、TP1/LiNK または TP1/Server Base の SUP に JP1/AJS2 のユーザーサーバを設定しておきます。

## TP1/LiNK

オープンシステムでトランザクション処理、およびサーバの処理分散化を実現するソフトウェアです。JP1/AJS2 では、これらの機能のうちトランザクション処理を使用しています。

## TP1/Message Queue

TP1/LiNK または TP1/Server Base と連携して、メッセージキューイング機能を実現するソフトウェアです。OpenTP1 システムに組み込み、異なるアプリケーション同士でプログラム間通信ができます。TP1/Message Queue は一連のメッセージキューイング機能のプログラム間でメッセージ送受信が簡単にできます。また、TP1/Message Queue は、OpenTP1 システムのメッセージキューマネージャーの役割を持ち、メッセージキューの管理およびメッセージの送受信をします。

## TP1/Server Base

オープンシステムでトランザクション処理、およびサーバの処理分散化を実現するソフトウェアです。JP1/AJS2 では、これらの機能のうちトランザクション処理を使用しています。

## Windows Messaging 機能

電子メールを送受信するためのインターフェースを提供する機能です。Windows Messaging を使うと、オンラインサービスから受け取ったデータなど、さまざまな種類の情報を管理、アクセス、および共有することができます。

## (ア行)

---

### アクションジョブ

メールやメッセージキューを送信したり、JP1/IM や JP1/Cm2 に状態を知らせるイベントを送信したりするジョブです。

### 異常終了

ジョブネットの異常終了は、ジョブネットに定義した処理の一部が正しく実行されず、その時点でジョブネットを終了することです。障害が発生した部分からあとに定義されている処理は実行されず、ジョブネットは中断されます。

ジョブの異常終了は、ジョブが正しく実行されず、処理を途中で中断することです。

組み込み DB システムの異常終了は、組み込み DB システムに対して何らかの障害が発生した場合に、組み込み DB システム停止操作が実行されていないのに、稼働状態だった組み込み DB システムが停止状態または再起動中断状態に遷移することです。詳細については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド 8.7 組み込み DB の動作に関する知識」を参照してください。

### 異常終了しきい値

ジョブが正常終了したか異常終了したかを、ジョブの終了コードで判断するための値です。

## イベント

メールの受信や、ファイルの更新など、システム内で起こる特定の事象のことで、ジョブやジョブネットなどの実行契機となります。イベントの発生は、イベントジョブを使って監視します。

## イベントジョブ

システム内の特定の事象の発生を監視するジョブです。イベントジョブを開始すると、ファイルの更新やメッセージの受信などを監視し始めます。

## 打ち切り時間

ジョブを実行したとき、ジョブからの応答がなかったり終了しなかったりした場合に、ジョブを強制的に打ち切るまでの時間です。

## 運用日

ジョブネットを実行する日です。

## エージェントホスト

エージェントホストとは、マネージャーホストから依頼されたジョブを実行するホストです。このホストには、JP1/AJS2 - Agent をインストールします。なお、JP1/AJS2 - Manager も JP1/AJS2 - Agent の機能を持っているため、エージェントホストに JP1/AJS2 - Manager をインストールすることもできます。

エージェントホストは、マネージャーホストからジョブの依頼を受け、ジョブを実行します。ジョブの実行が終わると、エージェントホストは、実行ファイルの実行結果（戻り値）を受け取り、ジョブの実行結果をマネージャーホストに転送します。

## （力行）

---

### 確定実行登録

スケジュール定義に基づいてあらかじめ実行日時を算出しておき、その日時に従ってジョブネットを起動し、処理を開始する場合の実行登録方法です。

### 確定スケジュール

確定実行登録時に決められた、絶対日時で確定しているスケジュールのことです。

### カスタムジョブ

ある特定の機能を持つジョブを実行するように、あらかじめ定義されたジョブです。ファイル転送やメインフレームへのジョブ依頼など、標準カスタムジョブとして提供しているもののほかに、業務の中でよく使うジョブをカスタムジョブとして登録しておくこともできます。カスタムジョブとして登録する場合、専用のアイコンの形、絵、またはジョブ情報入力のためのダイアログボックスが作成できます。

なお、カスタムジョブを使用する場合は、そのジョブに必要なプログラムをインストールしておく必要があります。

### カレンダー情報

業務の運用日と休業日についての情報です。ジョブグループごとに定義できます。この情報によって、ジョブグループ中のジョブネットを実行する日と実行しない日が決定します（ただし、休業日振り替え実行が定義されている場合は、休業日でもジョブネットを実行します）。

また、運用日に合わせて、基準日と月区分、基準時刻の設定もできます。

## 環境設定パラメーター

JP1/AJS2 の運用に必要な各種情報を設定するためのパラメーターで、環境設定ファイルの中に記述します。例えば、ジョブネットワーク要素を作成するディレクトリを指定したり、syslog メッセージの出力の要否を指定したりします。

## 環境設定ファイル

スケジューラーサービスの環境やジョブの実行環境など、JP1/AJS2 の運用に必要な情報を設定するファイルです。

## 起算スケジュール

実行開始日時、処理サイクル、および休業日の振り替えに従って決められた次回実行予定日を起点日として扱い、新たに次回実行予定日を算出したい場合に定義するスケジュールのことです。

## 起算猶予日数

起算後の次回実行予定日が休業日の場合に、実行予定日を探す期間を日数で定義したもののことです。

## 基準時刻

JP1/AJS2 を運用するときの、日付の境となる時刻です。

例えば、基準時刻を「8 時」と設定すると、7 時 59 分までは前日扱いとなります。

## 基準日

カレンダー情報で、月の開始日として指定した日のことです。

## 起動条件

特定の事象を契機としてジョブネットを実行させる場合に、どのような条件が成立したときにジョブネットを実行させるか定義したもののことです。

## キュー

実行登録されたジョブを一時的にためておくところです。ジョブは、登録された順番でキューに並び、そのキューに接続されているエージェントに対して順次転送され、実行されます。

大量のジョブが同時に実行されシステムの性能が低下しないよう、キューは、エージェントで同時に実行するジョブの数を制御します。

## キューイングジョブ

キューへジョブを直接登録して実行依頼する形態のジョブです。

## 休業日

ジョブネットを実行しない日です。ただし、休業日振り替え実行が定義されている場合はジョブネットを実行します。

## キューレスジョブ

キューを使わず、マネージャーから直接エージェントへ送られて実行されるジョブです。キューでのジョブの管理を省略し処理を簡略化しているため、通常のジョブに比べて処理性能が向上し、一定の時間に、より多くのジョブを実行できます。

ジョブネットに定義する PC ジョブ、および UNIX ジョブをキューレスジョブとして定義できます。

## キューレスジョブ実行環境

キューレスジョブ実行環境は、JP1/AJS2 のマネージャー（スケジューラーサービスとキューレスファイル転送サービス）とキューレスエージェント（キューレスエージェントサービス）で構成され、キューレスジョブの実行を管理します。

キューレスジョブを使用する場合は、`ajsqlsetup` コマンドでキューレスジョブ実行環境をセットアップしておく必要があります。セットアップされたキューレスジョブ実行環境は、環境設定パラメーターで設定できます。

## 強制終了

実行中のユニットを強制終了します。

ルートジョブネットを強制終了した場合、実行中のジョブをすべて強制終了し、ジョブネットを中断します。

## 組み込み DB 管理者（DB 管理者）

組み込み DB で、各種権限の付与および取り消しを行う権限を持っているユーザー（DBA 権限所持ユーザー）を示します。

組み込み DB の内部で管理されているユーザーです。

## 組み込み DB サービス

Windows 上での組み込み DB 使用環境を提供するサービスです。組み込み DB を使用するには、このサービスを開始する必要があります。サービス名称は「HiRDB/EmbeddedEdition セットアップ識別子」です。

## 組み込み DB システム管理者

組み込み DB 運用ディレクトリおよび組み込み DB ファイルシステム領域（データ領域、システム領域）の所有者であり、組み込み DB の各コマンドを実行することができるユーザーを示します。

OS 上で管理されているユーザーです。

## 組み込み DB 操作コマンド

`ajsembdb` で始まる名称のコマンドの総称です。

## クラスタシステム

クラスタシステムとは、複数のサーバシステムを連携して一つのシステムとして運用するシステムで、障害が発生しても業務を継続できるようにすることを目的としています。業務を実行中のサーバ（実行系）で障害が発生すると、待機していた別のサーバ（待機系）が業務の処理を引き継ぎます。実行「系」から待機「系」へ業務を切り替えるので、「系切り替えシステム」とも呼びます。なお、クラスタシステムという用語には、並列処理による負荷分散機能という意味もありますが、このマニュアルでは、系を切り替えて業務の中断を防ぐ機能のことだけを指します。

## 計画実行登録

スケジュール定義に基づいてジョブネットを起動し、処理を開始する場合の実行登録方法です。

## 系切り替えシステム

クラスタシステムを参照してください。

## 警告終了

ジョブネットに定義した処理の一部が正しく実行されないままジョブネットを終了することです。ジョブネットは中断されず、最後まで実行されます。



発生した障害が、ジョブネットを中断するほど重大でない場合に、この終了方法にします。

### 警告終了しきい値

ジョブが警告終了したかを判断するための値です。

### 件名

メール中の Subject: に記述される文字列です。JP1/AJS2 では、件名に ASCII 文字列以外も設定できますが、接続しているメールシステムによっては ASCII 文字列以外を扱えない場合もあります。

### 後続ジョブ

あるジョブ、またはジョブネットの直後に実行するジョブのことです。

### 後続ジョブネット

あるジョブ、またはジョブネットの直後に実行するジョブネットのことです。

## (サ行)

---

### サーバリンクジョブ

JP1/AJS2 で定義したジョブネットをメインフレームで管理するために、JP1/AJS2 for Mainframe で定義するジョブネットです。サーバリンクジョブネットは、JP1/AJS2 のルートジョブネットと関連づけられます。

### サスペンド

ルートジョブネット、およびルートジョブネットの下位にあるユニットの実行を抑止することです。実行登録中のルートジョブネットの下位にある定義を変更するときに、定義処理と実行制御処理のずれ違いなどの誤動作を防止するために、ルートジョブネットをサスペンドする必要があります。ルートジョブネットをサスペンドすることで、実行制御処理と同期を取って定義を変更できます。

### サブミット

ジョブの実行を依頼することです。

### サブミットジョブ

jpgjjobsub コマンドを使用して登録する標準ジョブのことです。

### しきい値

ジョブの終了状態を判断するための値です。ジョブには、異常終了しきい値と警告終了しきい値を定義できます。

### 実行 ID

最上位ジョブネットの実行予定の一つに対して一つ割り振られる番号のことです。

### 従属ジョブ

判定ジョブの判定結果が真のときに実行するジョブのことです。

### 従属ジョブネット

判定ジョブの判定結果が真のときに実行するジョブネットのことです。

## ジョブ

コマンド、シェルスクリプト、Windows 実行ファイルなどの集まりです。

## ジョブグループ

複数の業務を分類して管理するためのフォルダです。

## ジョブ実行環境

ジョブ実行環境は、JP1/AJS2 のマネージャーとエージェントから構成されます。

マネージャーのジョブ実行環境では、ジョブを登録するキューやジョブを実行するエージェントの定義情報（ジョブの実行多重度、最大ジョブ数など）、ジョブの配信方法、ジョブの実行結果などを管理します。

エージェントのジョブ実行環境では、主にジョブの実行方法を管理します。

これらのジョブ実行環境は、ISAM データベースと環境設定パラメーターで管理されます。

なお、キューレスジョブの場合は、キューレスジョブ実行環境で管理します。

## ジョブ多重度

同時に実行できるジョブの数のことです。

## ジョブネット

実行順序に関連づけたジョブの集まりです。ジョブネットを実行すると、ジョブネット中のジョブが実行順序に従って自動的に実行されます。

## ジョブネットエディタウィンドウ

ジョブネットを新規に作成したり、作成済みのジョブネットを編集したりするウィンドウのことです。

## ジョブネットコネクタ

ルートジョブネットの実行順序を制御するためのジョブネットワーク要素です。対象のルートジョブネットと接続関係を持ち、その終了や開始を待ち合わせます。

## ジョブネットモニタウィンドウ

ジョブネットやジョブの実行状況や実行の詳細結果を表示したり、ジョブネットやジョブを操作したりするウィンドウです。

## ジョブネットワーク要素

ジョブネットワークを定義するための要素です。これらの要素を総称して「ユニット」とも呼びます。

## 処理サイクル

ジョブネットの実行開始日から、次の実行開始日までの間隔のことです。処理サイクルを定義しておくと、定期的にジョブネットを実行できます。

## スケジューラーサービス

ジョブネットを実行するスケジュールを管理し、スケジュールに従って、処理を実行します。スケジューラーサービスは、スケジューラーサービス名と同じ名称のルートジョブグループ配下のユニットを管理します。

スケジューラーサービスは、一つのマネージャーで複数起動できます。スケジューラーサービスを複数起動すると、スケジューラーサービスごとにルートジョブグループを管理できるようになります。例えば、スケジューラーサービスを業務ごとに分けて起動すると、それぞれのスケジューラー

サービスが、ほかのスケジューラーサービスの影響を受けることなく、独立して業務（ジョブネットおよびジョブ）を並行実行できます。

### スケジュールルール

ジョブネットの実行開始日時や処理サイクルなどの情報です。一つのジョブネットに 144 個までスケジュールルールを定義できます。

### 正常終了

ジョブネットの正常終了は、ジョブネットに定義した処理がすべて正しく実行されて、ジョブネットが終了することです。

ジョブの正常終了は、ジョブが正しく実行されて終了することです。

### 先行ジョブ

あるジョブ、またはジョブネットの直前に実行されるジョブのことです。

### 先行ジョブネット

あるジョブ、またはジョブネットの直前に実行されるジョブネットのことです。

### 関連識別子

ユーザーが任意の目的で利用できるメッセージ中の項目です。メッセージ識別子と同じように、メッセージを識別するために使用します。関連識別子は、送信元が設定した文字コードで格納されています。

### 相互関係

送受信するメッセージを識別するために使用する情報です。相互関係は、送信元が設定した文字コードで受信されます。

### 即時実行登録

実行登録と同時にジョブネットを起動し、処理を開始する場合の実行登録方法です。

## （タ行）

---

### 退避ファイル

JP1/AJS2 で定義したジョブネットワーク要素を格納したファイルです。

### 退避ボックス

退避ファイルを格納するためのディレクトリまたはフォルダです。

### デイリースケジュールウィンドウ

1 日ごとの実行予定、実行状況、および実行結果を表示するためのウィンドウです。

### デフォルトキュー

ジョブを実行するために、エージェントホストと対で作成するキューです。このキューは必ず作成しておく必要があります。

ジョブを実行する際、ジョブのサブミット先や実行先としてエージェントホスト名を指定すると、ジョブはそのエージェントホストのデフォルトキューにサブミットされます。

## (ナ行)

---

### ネストジョブネット

ジョブネット中に定義したジョブネットです。

## (ハ行)

---

### 排他実行リソース

複数のジョブの同時実行を抑止したい場合に、おのおののジョブで同じリソース名（排他実行リソース名）を指定しておき、同時実行を抑止することです。

### 判定ジョブ

指定された条件を判定し、判定結果が真であれば、従属ジョブ（ジョブネット）を実行するジョブです。

### 判定値

ジョブが正常終了したか異常終了したかを判断するための値です。

### 標準ジョブ

標準ジョブとは、実行ファイルや実行先ホスト名などを指定して処理を実行させるジョブのことです。標準ジョブには次の 3 種類があります。

- UNIX ジョブ
- PC ジョブ
- QUEUE ジョブ

### 物理ホスト

クラスタシステムを構成する各サーバに固有な環境のことです。物理ホストの環境は、系切り替え時にもほかのサーバに引き継がれません。

### プランニンググループ

複数のルートジョブネットを計画的に切り替えて実行するためのユニットです。プランニンググループの直下に異なる定義内容のルートジョブネットを複数作成し、それぞれに異なったスケジュールを定義することで、指定したスケジュールに従って自動的にジョブネットを切り替えて実行できます。

### 振り替え

スケジュールに従って決められた次回実行予定日が休業日だった場合に、ほかの日にジョブネットを実行させることです。

### 振り替え猶予日数

振り替え日が休業日の場合に、振り替え日を探す期間を日数で定義したもののことです。

### 閉塞状態

障害の発生などによってジョブネットが開始または終了できず、実行状況や次回実行予定が確認できない状態になっていることです。この場合、実行登録を解除して、登録し直す必要があります。

## ホストリンクジョブネット

メインフレームのジョブスケジューラーで管理されているジョブネットを JP1/AJS2 で監視するために、JP1/AJS2 で定義するジョブネットです。ホストリンクジョブネットは、JP1/AJS2 for Mainframe の「ネットグループ」という管理単位を介して、メインフレームのジョブネットと関連づけられます。

## (マ行)

---

### マクロ変数

後続ジョブでイベント受信情報を参照するために定義する変数です。イベントジョブに情報を引き継ぐためのマクロ変数名を定義し、引き継ぐイベントのマクロ変数を後続ジョブで指定します。マクロ変数は「?AJS2XXXXXXXX? : 引き継ぎ情報名」の形式で指定します。

### マネージャージョブグループ

JP1/AJS2 - Manager から、別の JP1/AJS2 - Manager の業務を監視するためのジョブグループです。

### マネージャージョブネット

JP1/AJS2 - Manager から、別の JP1/AJS2 - Manager の業務を監視するためのジョブネットです。

### マネージャースト

マネージャーストは、ジョブネットの定義情報やスケジュール情報をデータベースで管理し、ジョブの実行をエージェントホストに依頼して実行させます。マネージャーストには、JP1/AJS2 - Manager をインストールします。

マネージャーストでは、定義されたスケジュール情報を基に、ジョブネットの実行予定が作成されます。実行開始時刻になると、マネージャーストは、ジョブとして定義された実行ファイルを起動して、ジョブ定義情報をエージェントホストに転送し、エージェントホストにジョブを実行させます。実行が終わると、エージェントホストでのジョブの実行結果を受け取り、データベースに反映します。その反映された情報を基に、後続ジョブを実行したり、次の実行予定を作成したりします。

### マンスリースケジュールウィンドウ

1 か月ごとの実行予定や実行結果を表示するためのウィンドウです。

### メール受信パラメーターファイル

ユーザーが設定したメール受信監視パラメーターを記録したファイルです。拡張子は、「.prm」です。このファイルは、ユーザーがメール受信イベントジョブを定義したときに自動的に作成されます。

### メール送信パラメーターファイル

ユーザーが設定したメール送信パラメーターを記録したファイルです。拡張子は、「.prm」です。このファイルは、ユーザーがメール送信アクションジョブを定義したときに自動的に作成されます。

### メールフィルターアプリケーション

メールの形式を変換するためのプログラムまたはシェルスクリプトです。メール連携で RFC822 形式以外のメールを使うには、文字コードを変換するためのメールフィル

ターアプリケーションが必要です。

## メッセージキュー

アプリケーションプログラムからのメッセージを登録しておくファイルのことです。メッセージキューマネージャーによって管理されます。メッセージキューには、受信したメッセージを格納する入力キューと、ほかのシステムへ送信するメッセージを格納する出力キューがあります。また、入力キューと出力キューは同一キューを使用することもできます。

## メッセージキューイング機能

メッセージキューマネージャーの機能で、アプリケーションプログラム間のメッセージ送受信をメッセージキューと呼ばれるキューを使用して処理することです。アプリケーションプログラムは、メッセージキューに対して送信または受信の処理をします。メッセージがメッセージキューに登録されたあとは、メッセージキューマネージャーがメッセージの処理をするためアプリケーションプログラムの負荷が軽くなります。また、相手側プログラムが受信したことを自アプリケーション側で待つ必要がないため、プログラム間の非同期処理を実行することができます。

## メッセージ識別子

MQSeriesのメッセージ記述子という情報の中の1項目です。メッセージ識別子は、送信元が設定した文字コードで格納されています。メッセージ識別子は、メッセージを特定するためのメッセージIDなどを設定しておくところとして利用されます。

# (ヤ行)

---

## ユーザー共通プロファイル

JP1 ユーザーが共通に使用できるように、JP1/AJS2・View の環境設定情報を保存したファイルです。管理者は、ユーザー共通プロファイルを JP1/AJS2・Manager に保存しておき、必要に応じて、JP1 ユーザーがこのファイルをダウンロードすることで、JP1/AJS2・View の環境を JP1 ユーザー間で共通の設定にすることができます。多くの JP1 ユーザーに同じ環境で JP1/AJS2・View を使わせたい場合に役に立ちます。

## ユニット

ジョブネットワーク要素の総称です。

## ユニット ID

一つのユニットに対して一つ割り振られる番号です。

## ユニット定義パラメーターファイル

ユニット定義パラメーターを格納したテキストファイルです。コマンドでジョブネットワーク要素を定義する場合の入力情報になります。

## 予定情報ファイル

予定情報パラメーターを格納したテキストファイルです。コマンドでジョブネットを確定実行登録する場合の入力情報になります。

## (ラ行)

---

### リカバリージョブ

先行するジョブ，またはジョブネットが異常終了したときに実行されるジョブです。

### リカバリージョブネット

先行するジョブ，またはジョブネットが異常終了したときに実行されるジョブネットです。

### リストファイル

送受信したメールの内容の抜粋をリスト形式で記録したファイルです。

### 論理ホスト

クラスタシステムでの運用時に JP1 の実行環境となる論理上のサーバのことです。障害の発生時には，論理ホスト単位で系が切り替わります。

論理ホストは専用の IP アドレスを持ち，系切り替え時にはその IP アドレスを引き継いで動作します。そのため，障害で物理的なサーバが切り替わった場合も，クライアントからは同じ IP アドレスでアクセスでき，一つのサーバが常に動作しているように見えます。





---

# 索引

## 数字

---

07-00 の変更内容 658  
07-10 の変更内容 656  
07-11 の変更内容 655  
07-50 の変更内容 654  
08-00 の変更内容 653  
08-10 の変更内容 653  
08-50 の変更内容 652

## A

---

AJS2 ユニット監視オブジェクト 665  
AJSPATH 665

## D

---

DB 管理者 672

## H

---

HITSENSER Data Mart Server 665  
hp OpenView 665

## J

---

JP1/AJS2 - Definition Assistant 665  
JP1/AJS2 - Print Option 665  
JP1/AJS2 - View に関するメッセージの出力  
先 44  
JP1/AJS2 - Web Operation Assistant 665  
JP1/AJS2 Console Agent 665  
JP1/AJS2 Console Agent に関するメッセー  
ジ 11  
JP1/AJS2 Console Manager 666  
JP1/AJS2 Console Manager に関するメッ  
セージ 10  
JP1/AJS2 Console View 666  
JP1/AJS2 Console Viewに関するメッセージ  
12  
JP1/AJS2 for Enterprise Applications 666  
JP1/AJS2 for Mainframe 666  
JP1/AJS2 for Oracle E-Business Suite 666

JP1/AJS2 for Web Service 666  
JP1/AJS2 for 活文 PDFstaff 666  
JP1/Base 666  
JP1/Cm2 667  
JP1/FTP 667  
JP1/IM 667  
JP1/NETM/DM 667  
JP1/NQSEXEC 667  
JP1/OJE for Midrange Computer 667  
JP1/OJE for VOS1 667  
JP1/OJE for VOS3 667  
JP1/OJE for VOSK 667  
JP1/Power Monitor 667  
JP1/Script 667  
JP1 イベント 668  
JP1 権限レベル 668  
JP1 資源グループ 668  
JP1 ユーザー 668

## K

---

KAVU で始まるメッセージの要因番号 636

## M

---

MAPI 668  
MIME 668  
MQSeries 668  
MQ 文字列 668  
MSMQ 668

## S

---

SMTP 668  
SUP 669  
syslog ( UNIX ) の priority レベルとの対応  
5

## T

---

TP1/LiNK 669  
TP1/Message Queue 669  
TP1/Server Base 669

## W

---

Windows Messaging 機能 669

Windows イベントログと syslog の一覧 46

## あ

---

アクションジョブ 669

## い

---

異常終了 669

異常終了しきい値 669

イベント 670

イベント・アクション制御に関するメッセージの出力先 28

イベントジョブ 670

## う

---

打ち切り時間 670

運用日 670

## え

---

エージェントホスト 670

## か

---

確定実行登録 670

確定スケジュール 670

各バージョンの変更内容 652

カスタムジョブ 670

カレンダー情報 670

環境設定パラメーター 671

環境設定ファイル 671

## き

---

起算スケジュール 671

起算猶予日数 671

基準時刻 671

基準日 671

起動条件 671

キュー 671

キューイングジョブ 671

休業日 671

キューレスジョブ 671

キューレスジョブ実行環境 672

強制終了 672

## く

---

組み込み DB 管理者 672

組み込み DB サービス 672

組み込み DB システム管理者 672

組み込み DB 操作コマンド 672

組み込み DB ファイルシステムに対するアクセス要求から返されるエラーコード 649

クラスタシステム 672

## け

---

計画実行登録 672

系切り替えシステム 672

警告終了 672

警告終了しきい値 673

件名 673

## こ

---

後続ジョブ 673

後続ジョブネット 673

## さ

---

サーバリンクジョブ 673

サスペンド 673

サブミット 673

サブミットジョブ 673

## し

---

しきい値 673

システム管理者の方へ 7

システムコールのリターンコード 638

実行 ID 673

従属ジョブ 673

従属ジョブネット 673

ジョブ 674

ジョブグループ 674

ジョブ実行環境 674

ジョブ実行制御に関するメッセージの出力先  
40

ジョブ多重度 674

ジョブネット 674

ジョブネットエディタウィンドウ 674

ジョブネットコネクタ 674

ジョブネットモニタウィンドウ 674

ジョブネットワーク要素 674

処理サイクル 674

---

## す

スケジューラサービス 674

スケジューラに関するメッセージの出力先  
15

スケジュールルール 675

---

## せ

正常終了 675

先行ジョブ 675

先行ジョブネット 675

---

## そ

関連識別子 675

相互関係 675

即時実行登録 675

---

## た

退避ファイル 675

退避ボックス 675

---

## て

デイリースケジュールウィンドウ 675

デフォルトキュー 675

---

## ね

ネストジョブネット 676

---

## は

排他実行リソース 676

判定ジョブ 676

判定値 676

---

## ひ

標準ジョブ 676

---

## ふ

物理ホスト 676

プランニンググループ 676

振り替え 676

振り替え猶予日数 676

---

## へ

閉塞状態 676

---

## ほ

ホストリンクジョブネット 677

---

## ま

マクロ変数 677

マネージャージョブグループ 677

マネージャージョブネット 677

マネージャーホスト 677

マンスリースケジュールウィンドウ 677

---

## め

メール受信パラメーターファイル 677

メール送信パラメーターファイル 677

メールフィルタアプリケーション 677

メッセージキュー 678

メッセージキューイング機能 678

メッセージ識別子 678

メッセージの記載形式 6

メッセージの形式 4

メッセージの出力形式 4

メッセージの出力先一覧 8

メッセージの分類 2

メッセージレベルとイベントログ

( Windows ) との対応 5

## ゆ

---

ユーザー共通プロファイル 678

ユニット 678

ユニット ID 678

ユニット定義パラメーターファイル 678

## よ

---

用語解説 665

予定情報ファイル 678

## り

---

リカバリージョブ 679

リカバリージョブネット 679

リストファイル 679

## ろ

---

論理ホスト 679

# ソフトウェアマニュアルのサービス ご案内

## 1. マニュアル情報ホームページ

ソフトウェアマニュアルの情報をインターネットで公開しています。

URL <http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/>

ホームページのメニューは次のとおりです。

マニュアル一覧	日立コンピュータ製品マニュアルを製品カテゴリ、マニュアル名称、資料番号のいずれかから検索できます。
CD-ROMマニュアル	日立ソフトウェアマニュアルと製品群別CD-ROMマニュアルの仕様について記載しています。
マニュアルのご購入	マニュアルご購入時のお申し込み方法を記載しています。
オンラインマニュアル	一部製品のマニュアルをインターネットで公開しています。
サポートサービス	ソフトウェアサポートサービスお客様向けページでのマニュアル公開サービスを記載しています。
ご意見・お問い合わせ	マニュアルに関するご意見、ご要望をお寄せください。

## 2. インターネットでのマニュアル公開

2種類のマニュアル公開サービスを実施しています。

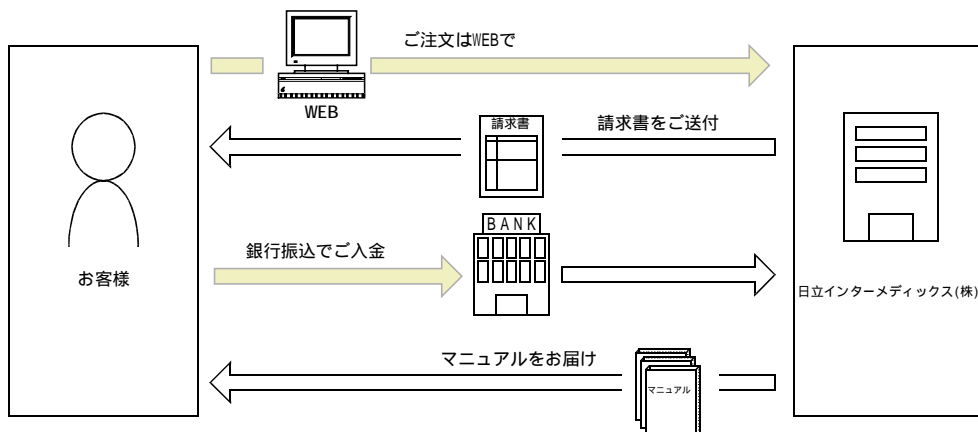
(1) マニュアル情報ホームページ「オンラインマニュアル」での公開

製品をよりご理解いただくためのご参考として、一部製品のマニュアルを公開しています。

(2) ソフトウェアサポートサービスお客様向けページでのマニュアル公開

ソフトウェアサポートサービスご契約のお客様向けにマニュアルを公開しています。公開しているマニュアルの一覧、本サービスの対象となる契約の種別などはマニュアル情報ホームページの「サポートサービス」をご参照ください。

## 3. マニュアルのご注文



マニュアル情報ホームページの「マニュアルのご購入」にアクセスし、お申し込み方法をご確認のうえ WEB からご注文ください。ご注文先は日立インターメディックス(株)となります。

ご注文いただいたマニュアルについて請求書をお送りします。

請求書の金額を指定銀行へ振り込んでください。

入金確認後 7 日以内にお届けします。在庫切れの場合は、納期を別途ご案内いたします。